様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　160-0004

住　所　東京都新宿区四谷1-23

法人名　株式会社第一ヒューテック

代表者　島谷 聡

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3353-3655

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　第一ヒューテック（本社）
事業場の所在地	東京都新宿区四谷1-23
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完工高（本社）72.5億円
③従業員数	（本社）121人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>66 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
分別の徹底
簡易梱包
実寸作成</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き取組みを継続</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
金属くず・紙くず・木くず・廃プラ・混合等に分別</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
引続き分別を継続</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
		（これまでに実施した取組）	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
		（今後実施する予定の取組）	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
		（これまでに実施した取組）	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
		（今後実施する予定の取組）	

t	t
t	t
t	t
t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 優良認定業者への処理委託の推進		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き取組みを継続</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成36年06月25日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都新宿区四谷1-23

氏 名　株式会社 第一ヒューテック

代表取締役社長　島谷　　聡

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3359-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　第一ヒューテック（本社）
事業場の所在地	東京都新宿区四谷1-23
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事　業　の　種　類	総合工事業
②事　業　の　規　模	完工高（本社）　　72.5億円
③従　　業　　員　　数	（本社）121人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　Ａ列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
分別の徹底
簡易梱包
実寸作成</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き取組みを継続</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
金属くず・紙くず・木くず・廃プラ・混合等に分別</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引続き分別を継続</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
		（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="2">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
優良認定業者への処理委託の推進
再生利用業者への処理委託の推進</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
引続き取組みを継続</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１　処理工程図

汚泥　→　脱水・乾燥（委託）　→　再生・埋立

木くず　→　破砕（委託）　→　原料・燃料

紙くず　→　破砕・圧縮・溶融（委託）　→　燃料

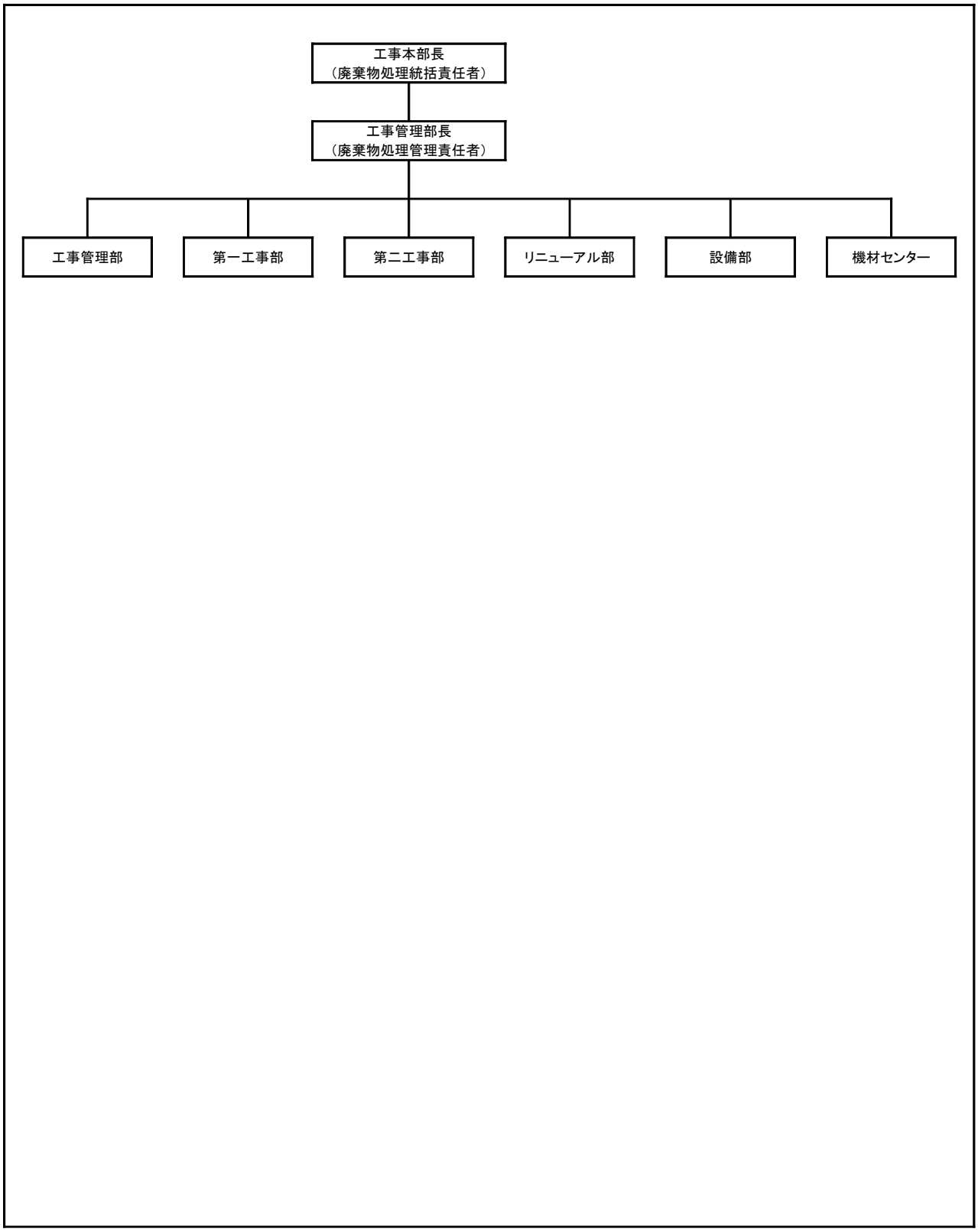
金属くず　→　破砕（委託）　→　原料

石膏ボード　→　破砕・粉砕（委託）　→　原料・燃料

がれき類　→　破砕（委託）　→　再生砕石等

廃プラ　→　切断・圧縮・破砕（委託）　→　原料・燃料

別添２　管理体制図


工事本部長
（廃棄物処理統括責任者）
工事管理部長
（廃棄物処理管理責任者）
工事管理部
第一工事部
第二工事部
リニューアル部
設備部
機材センター

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
排出量	2.10 t	0.15 t	19.26 t	5,730.25 t	129.47 t	66.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
排出量	1.89 t	0.14 t	17.33 t	5,157.23 t	116.52 t	59.40 t												

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
全処理委託量	2.10 t	0.15 t	19.26 t	5,730.25 t	129.47 t	66.00 t												
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.28 t	56.45 t	129.47 t	9.00 t												
再生利用業者への処理委託量	2.10 t	0.15 t	19.26 t	5,679.72 t	1.48 t	66.00 t												
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）												
全処理委託量	1.89 t	0.14 t	17.33 t	5,157.23 t	116.52 t	59.40 t												
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.25 t	50.81 t	116.52 t	8.10 t												
再生利用業者への処理委託量	1.89 t	0.14 t	17.33 t	5,111.75 t	1.33 t	59.40 t												
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　160-0004

住所　東京都新宿区四谷1-23

法人名 株式会社第一ヒューテック

代表者 島谷 聡

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3353-3655

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　第一ヒューテック(本社)
事業場の所在地	東京都新宿区四谷1-23
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

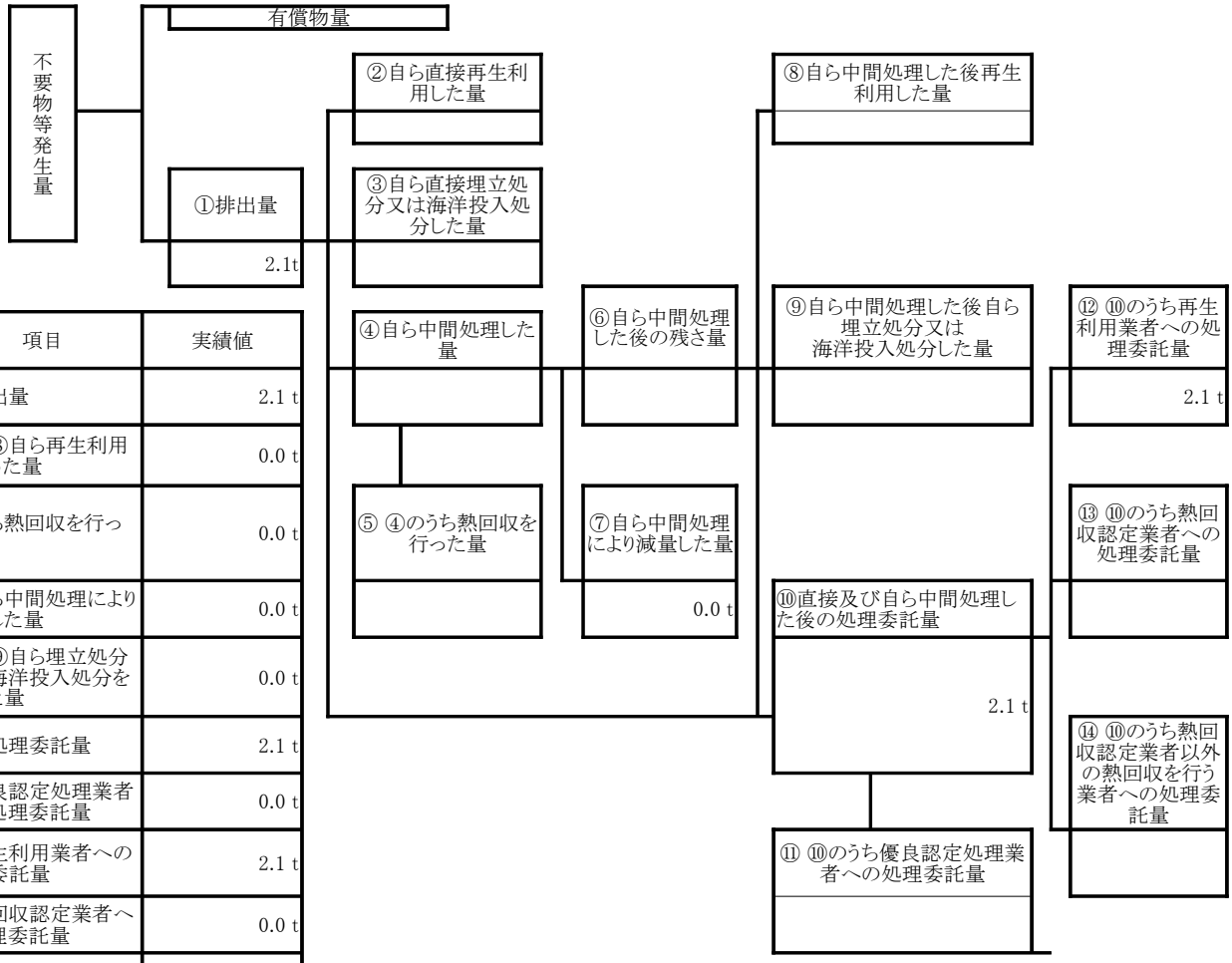
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6144.79 t	全処理委託量	6144.79 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2868.49 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3371.54 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	1.33 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

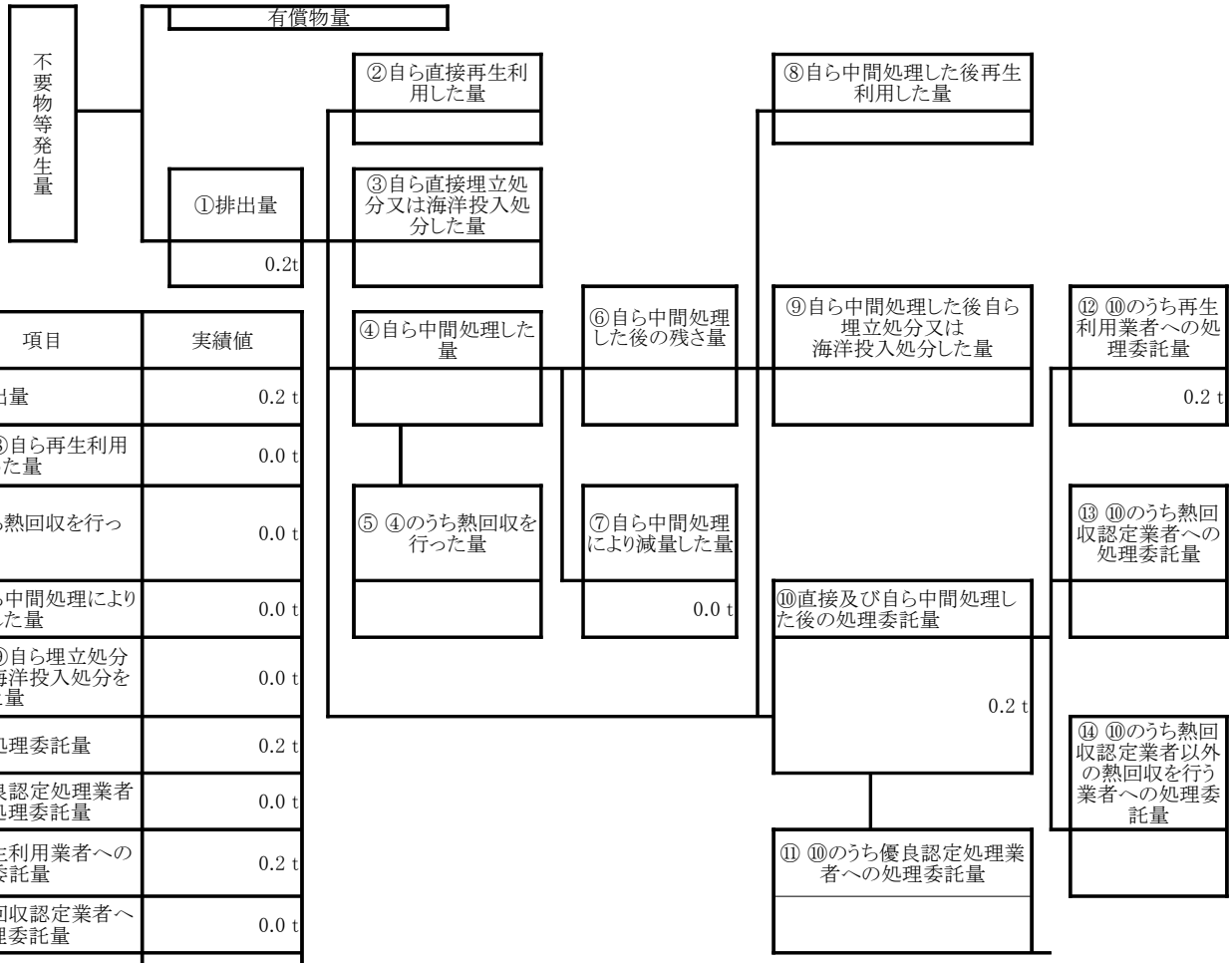


項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



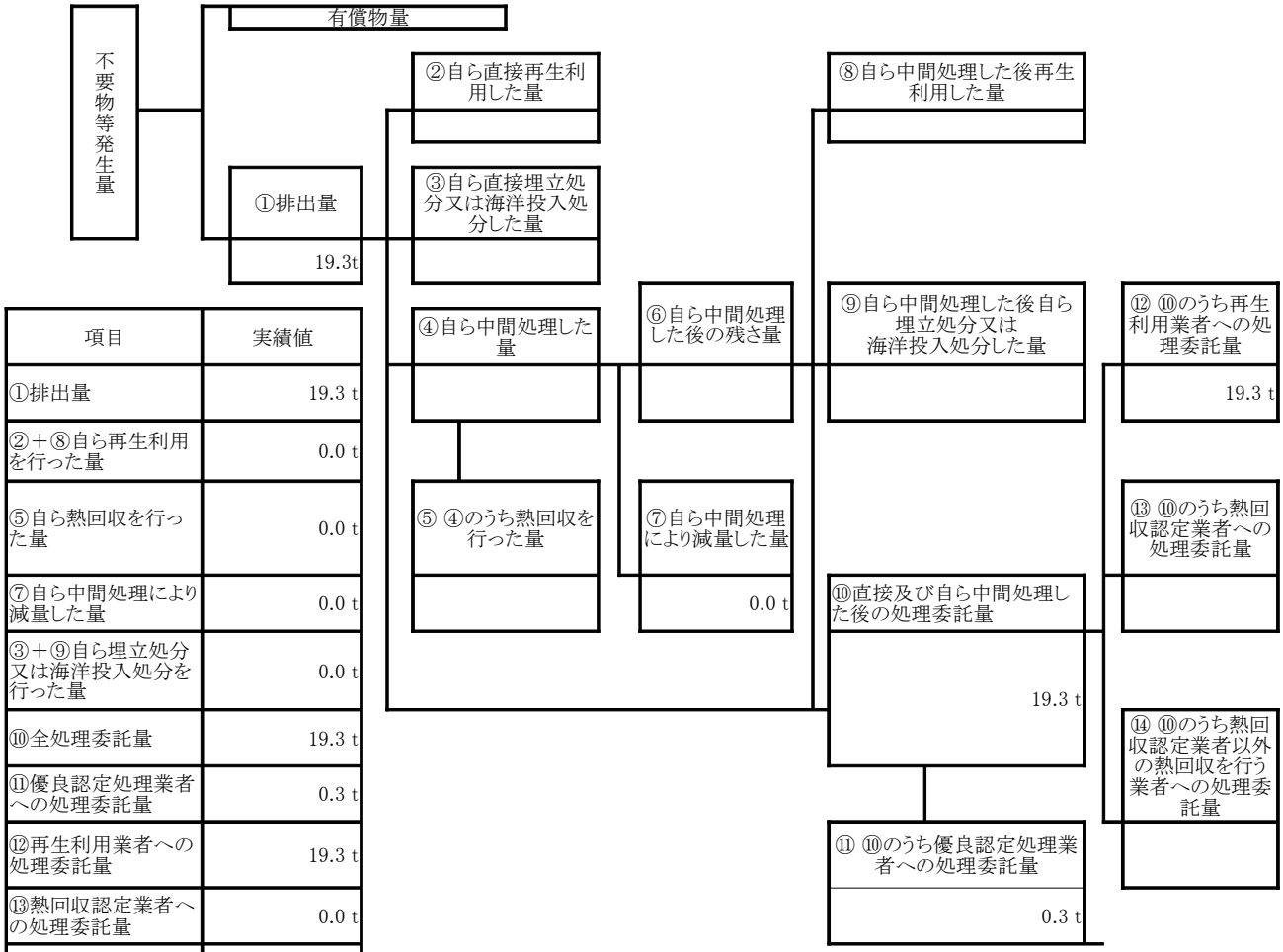
項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



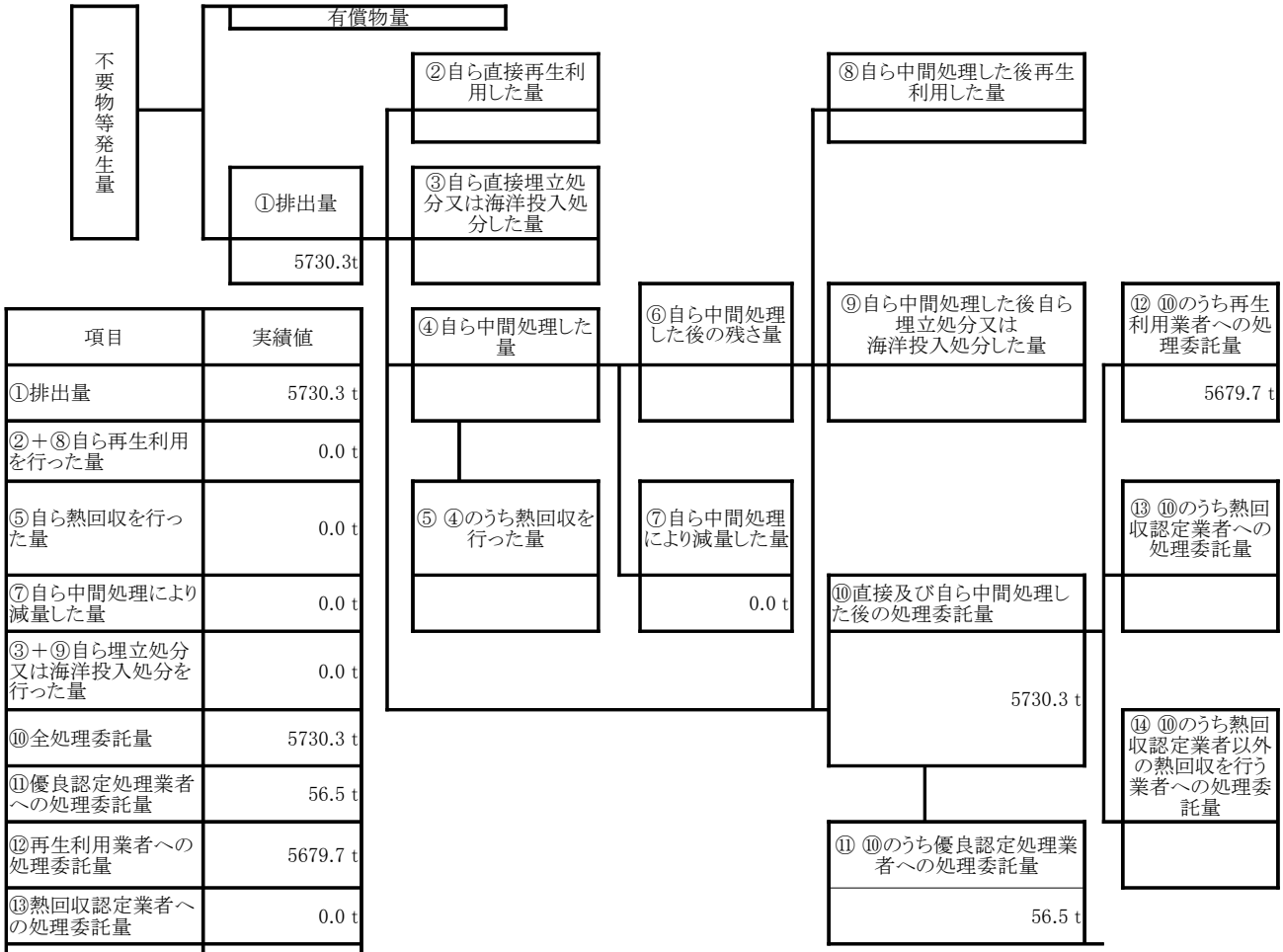
項目	実績値
①排出量	19.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



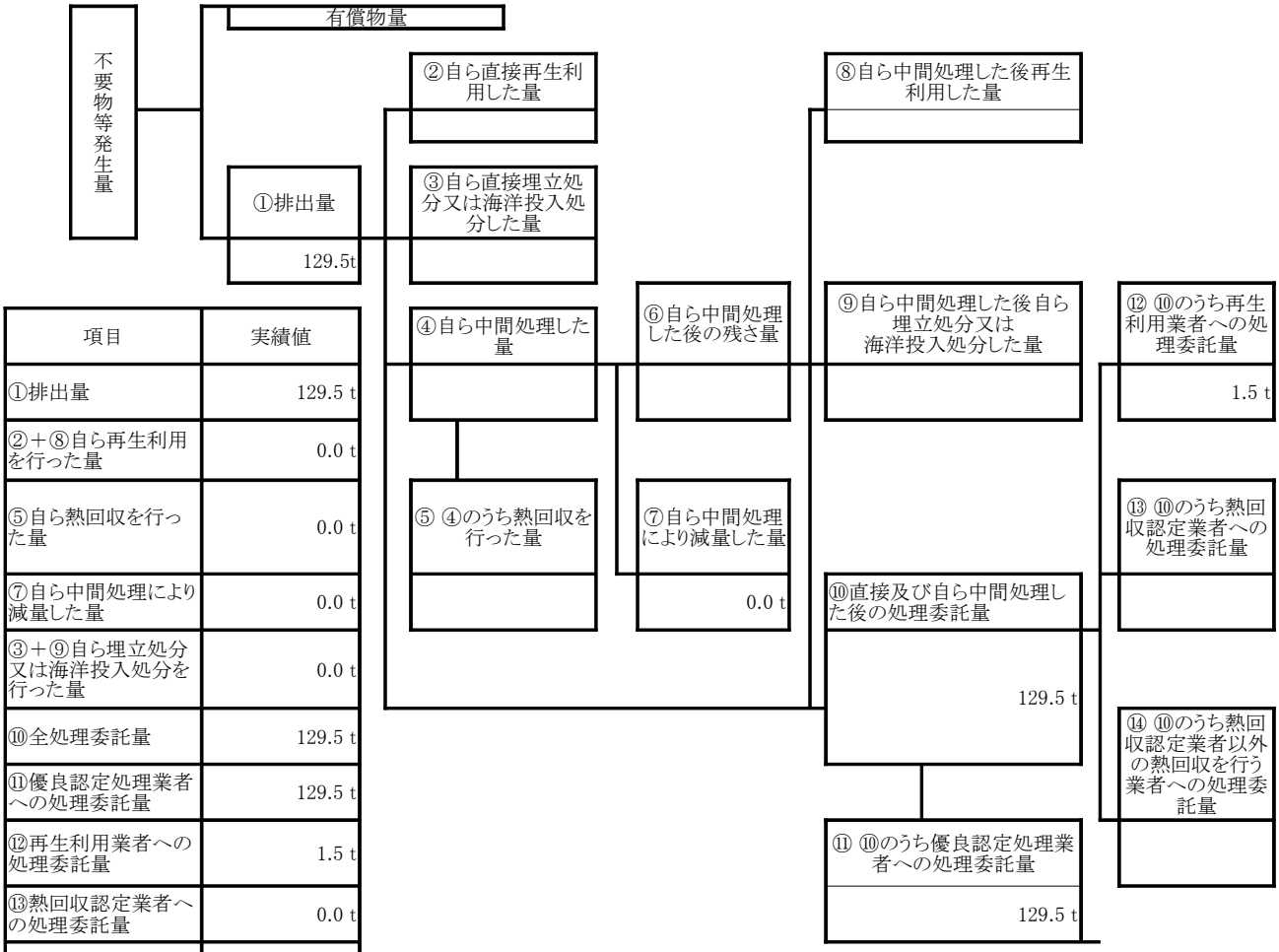
項目	実績値
①排出量	5730.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5730.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5679.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

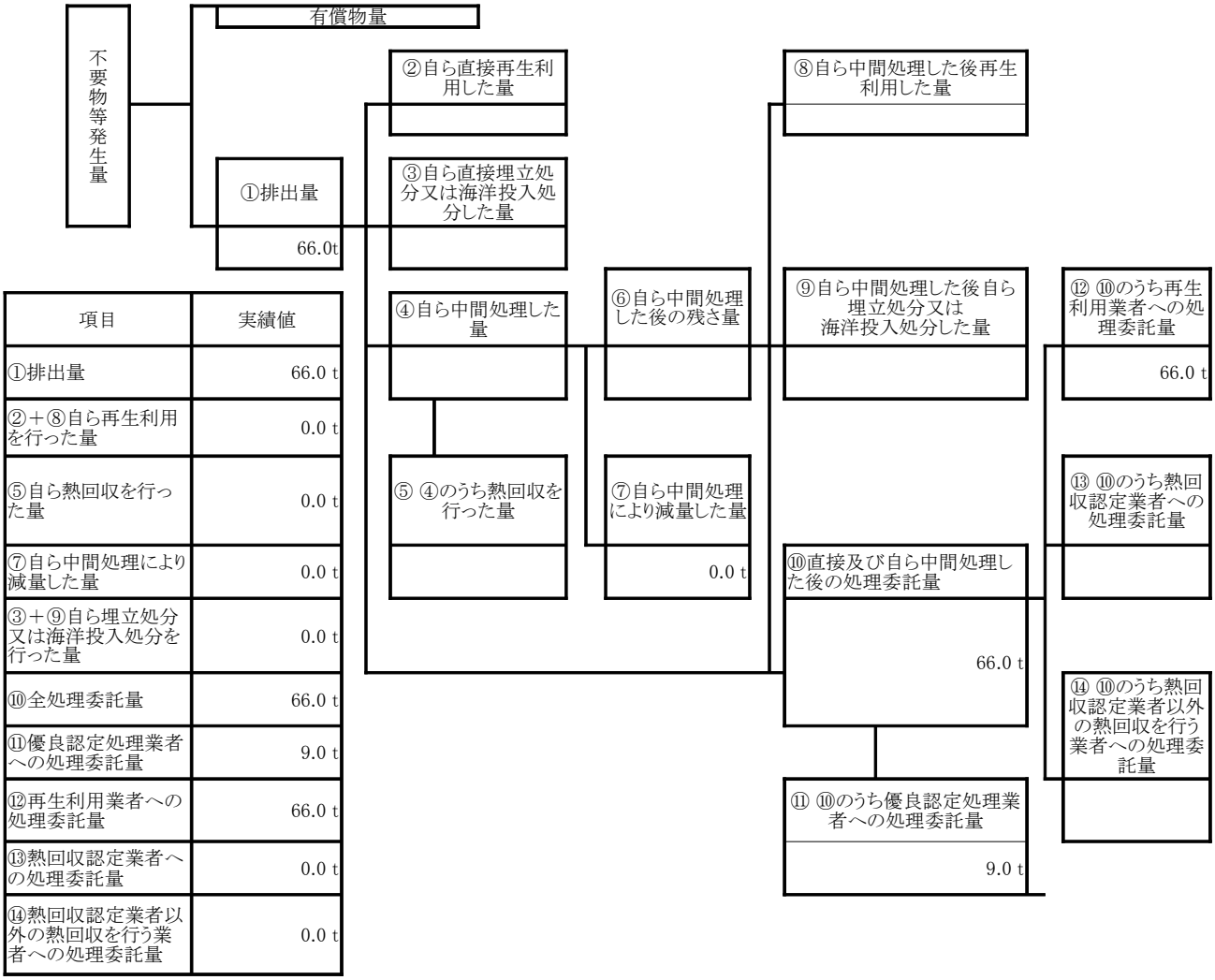


項目	実績値
①排出量	129.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	129.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	129.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



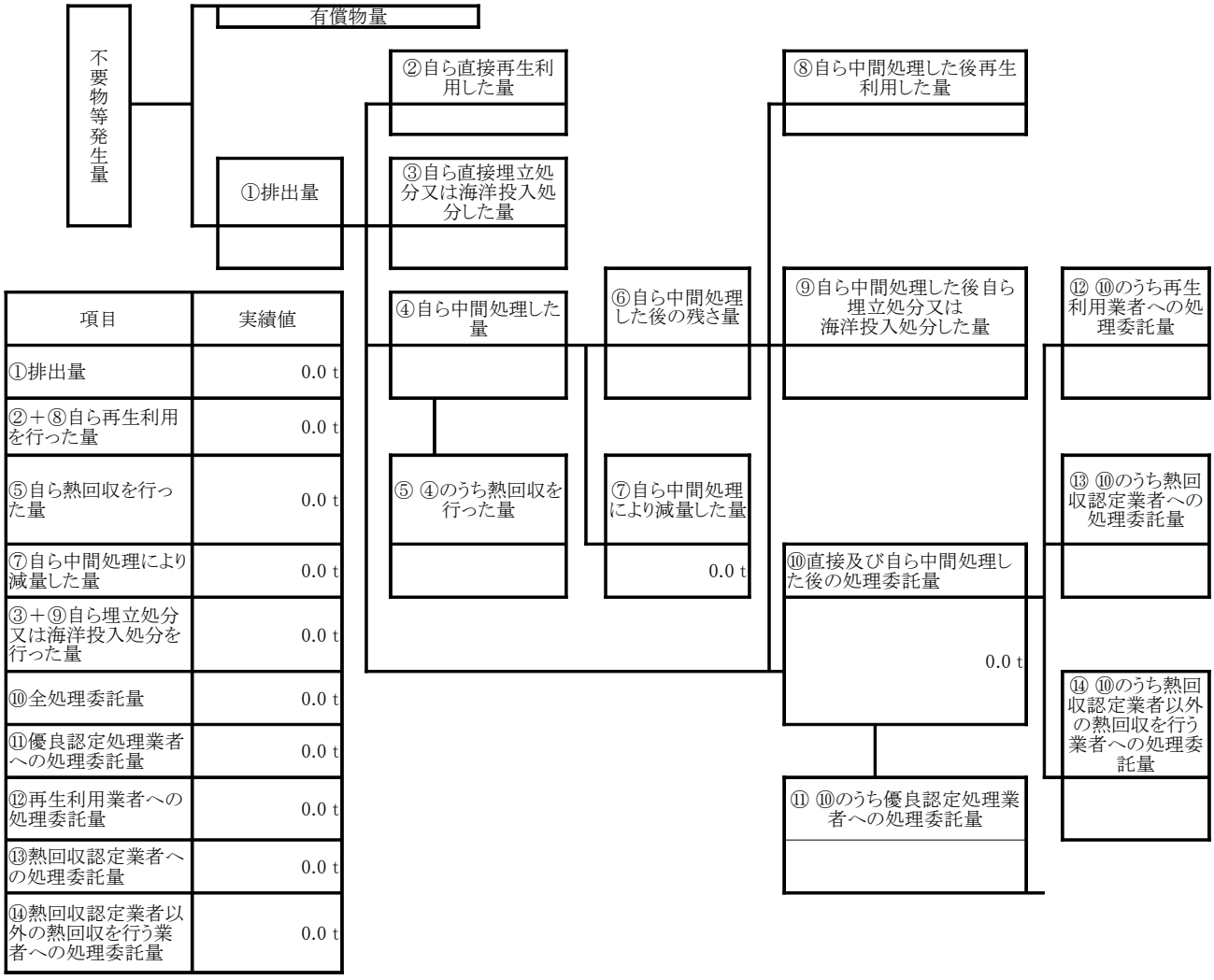
項目	実績値
①排出量	66.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	66.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	66.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



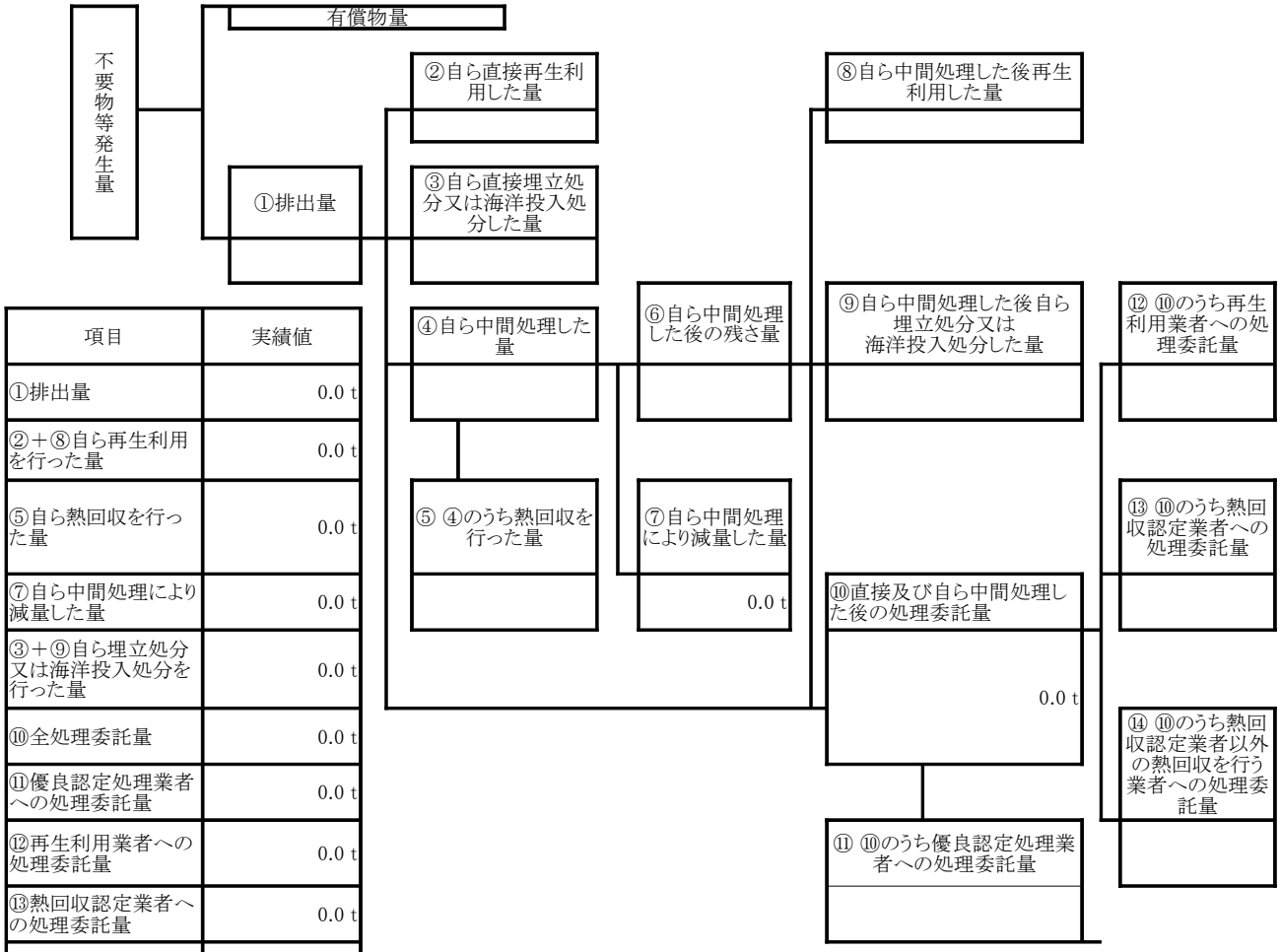
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

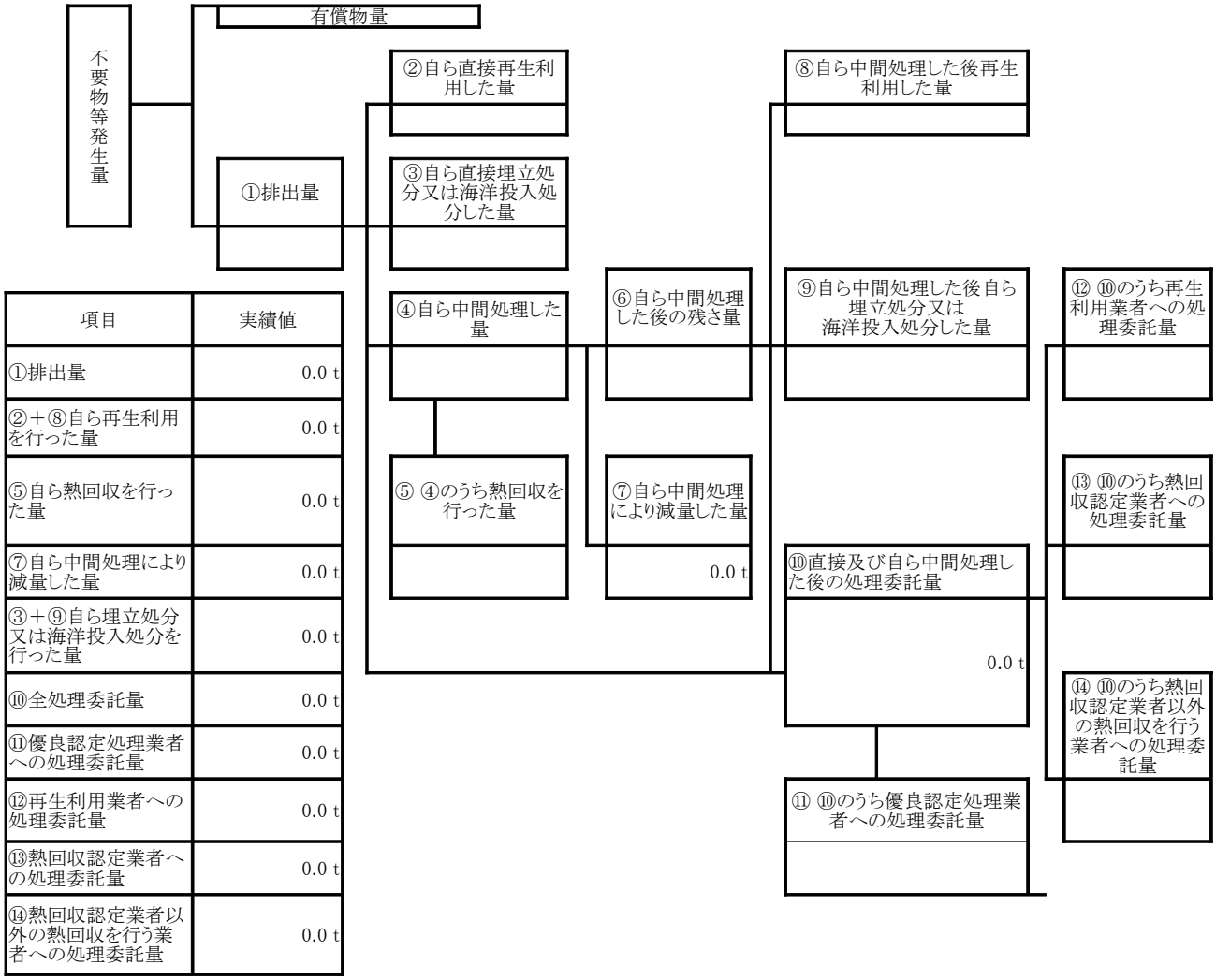


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

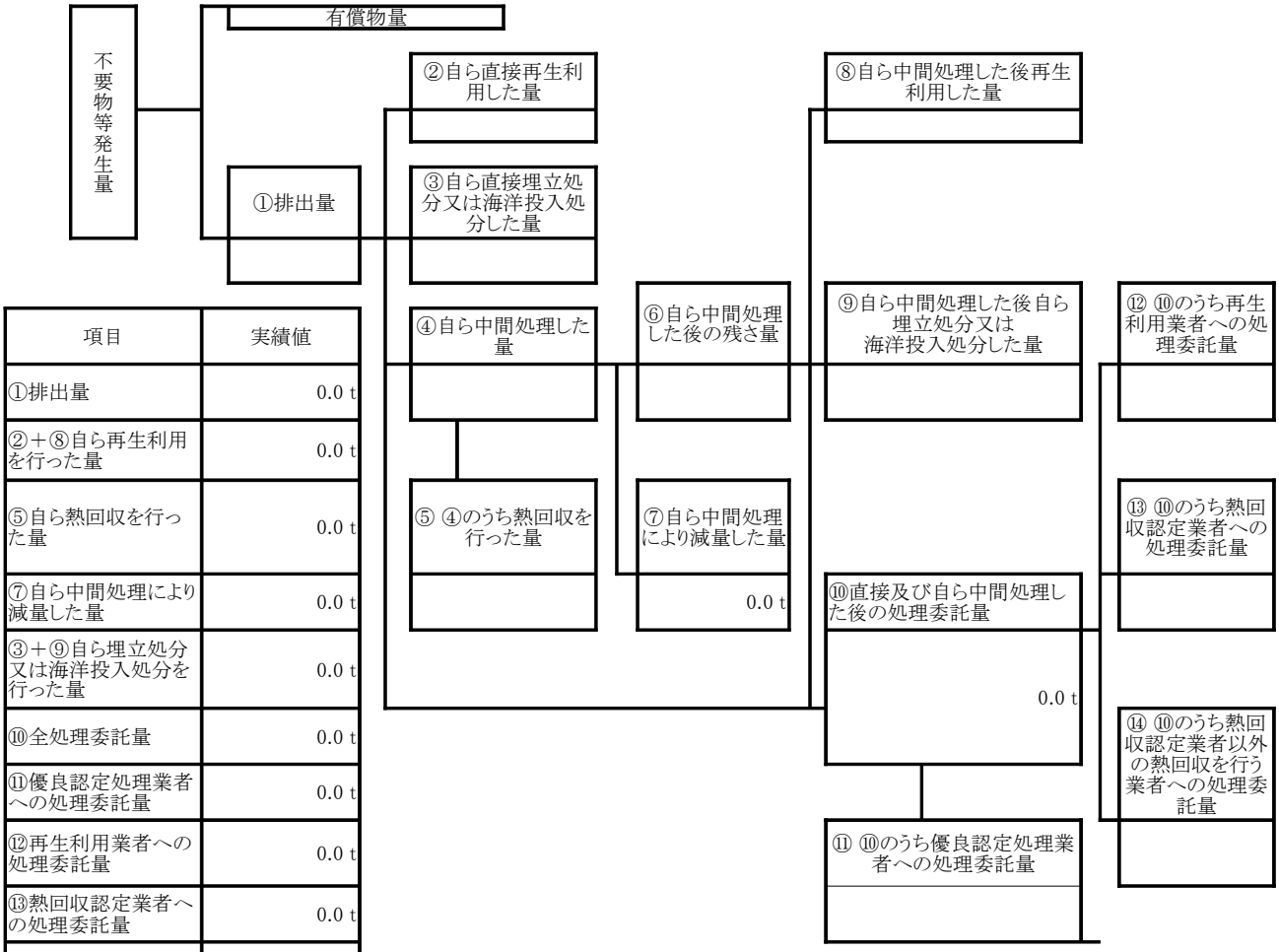


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

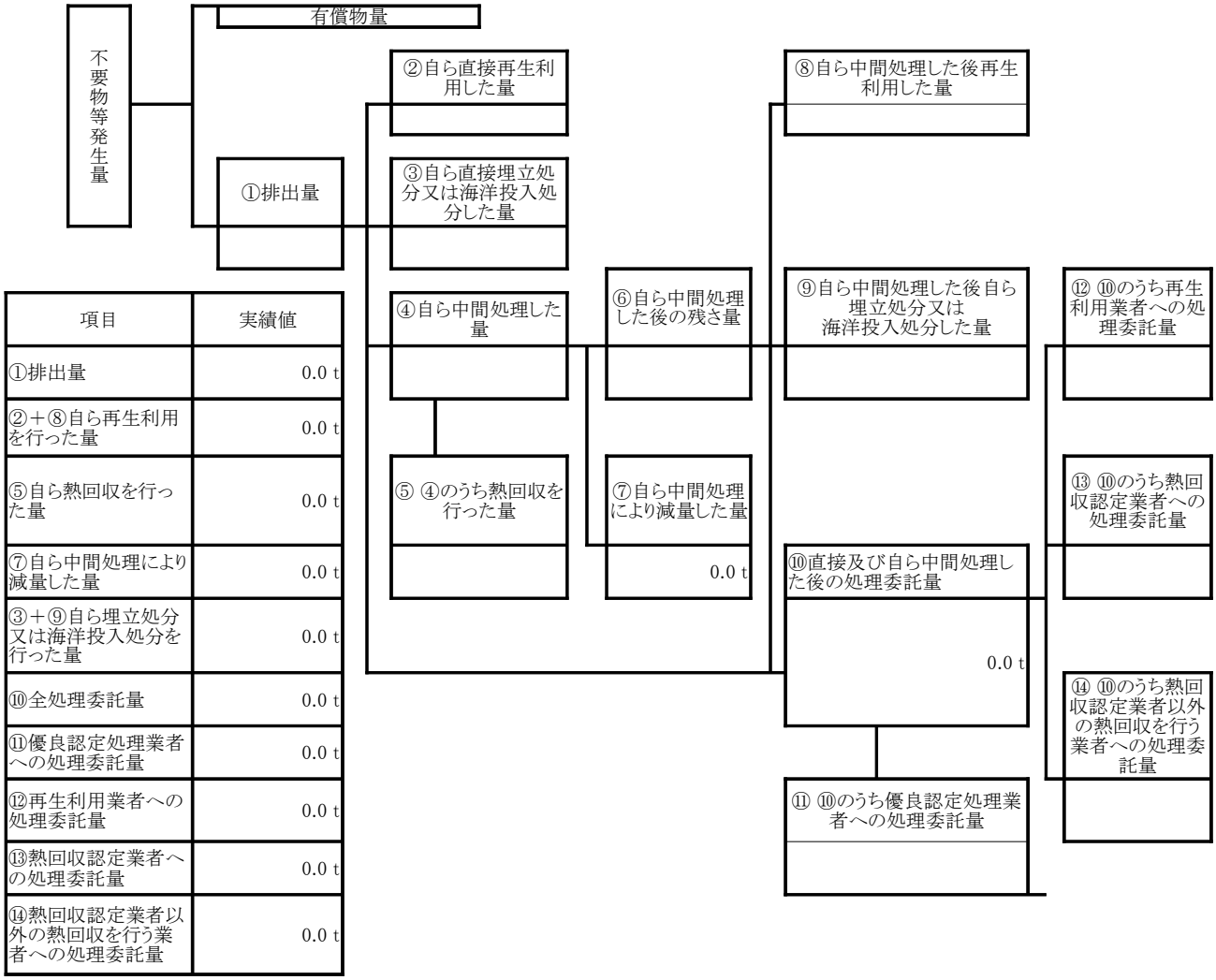


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



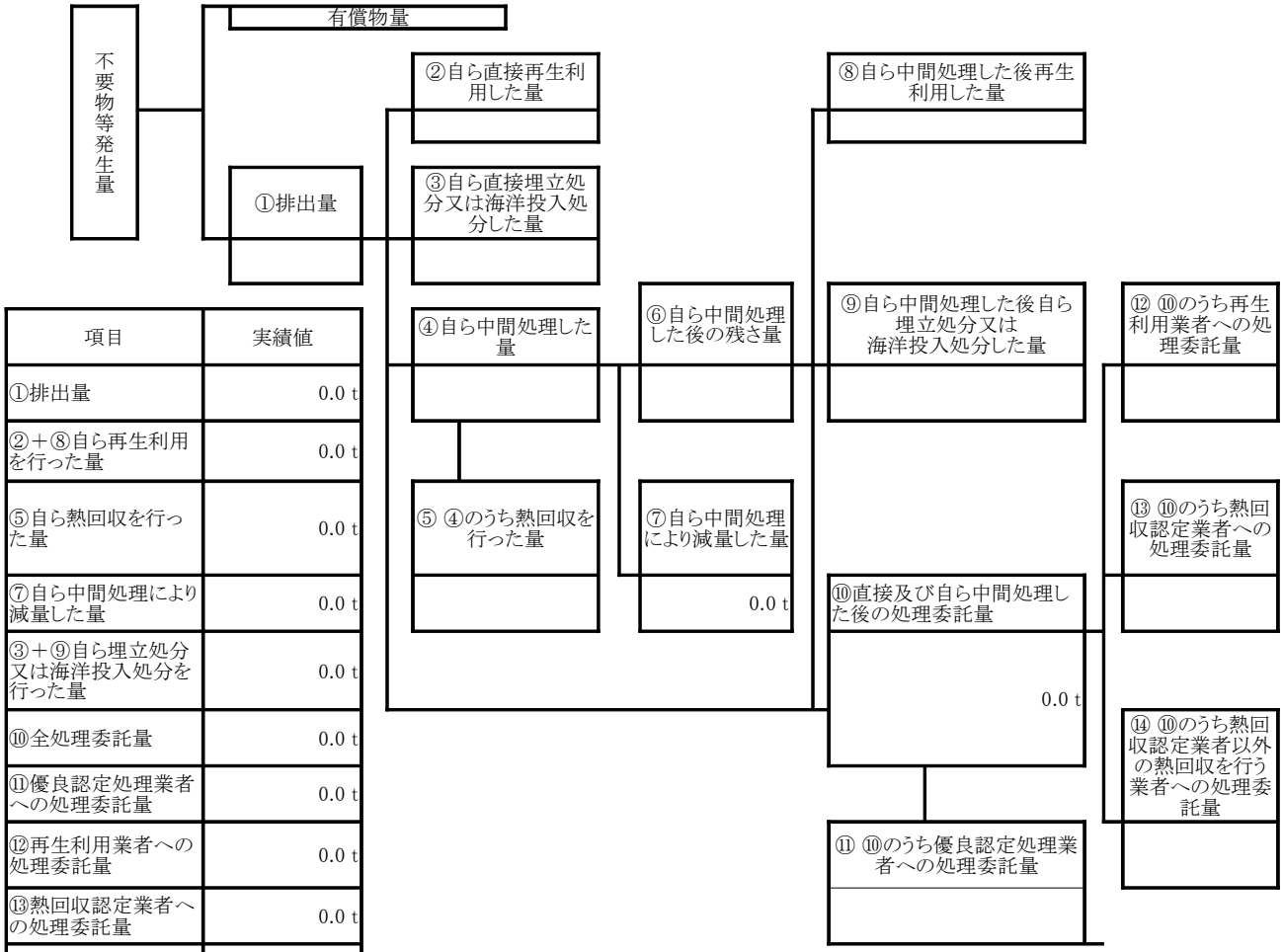
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



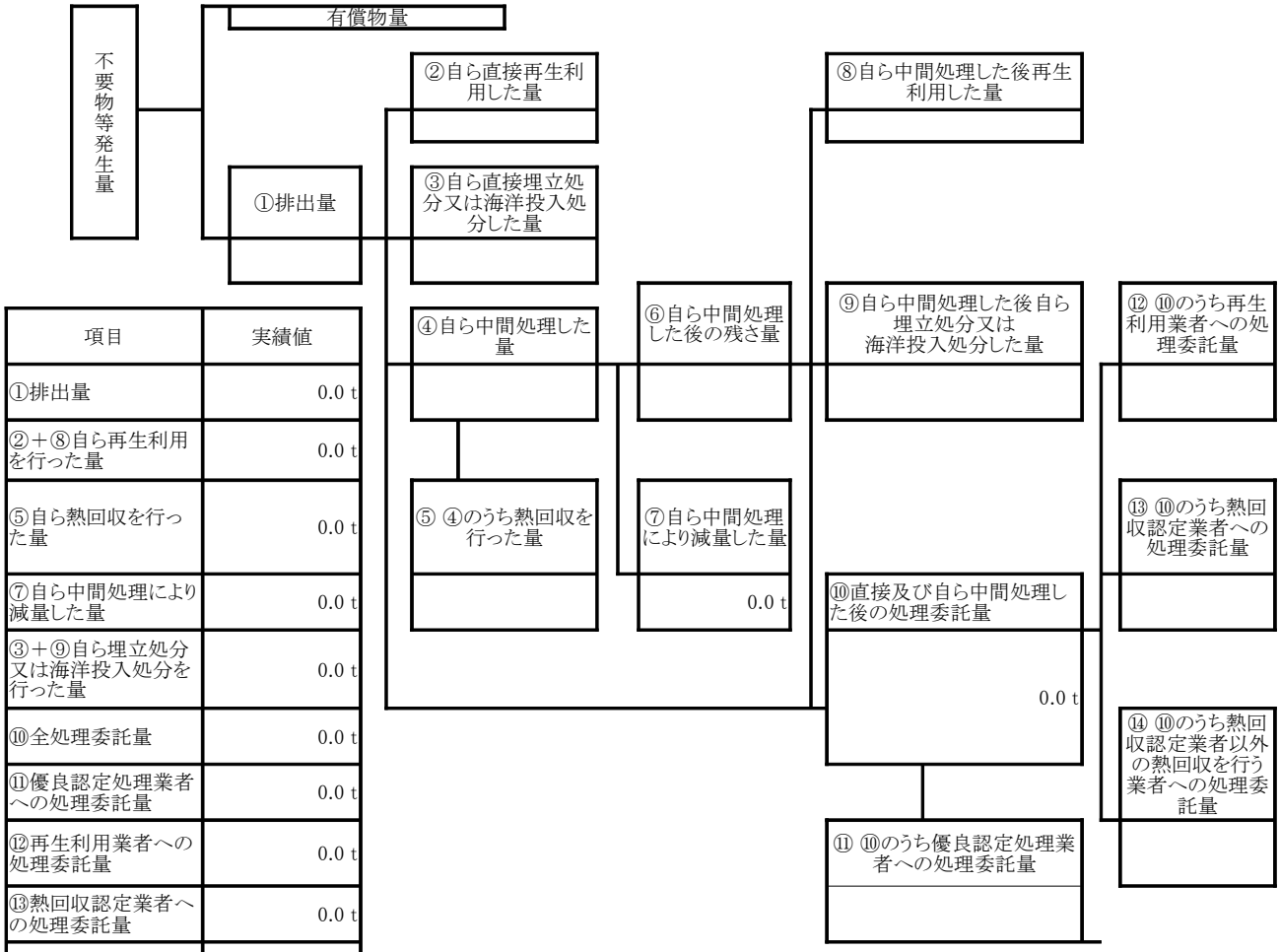
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



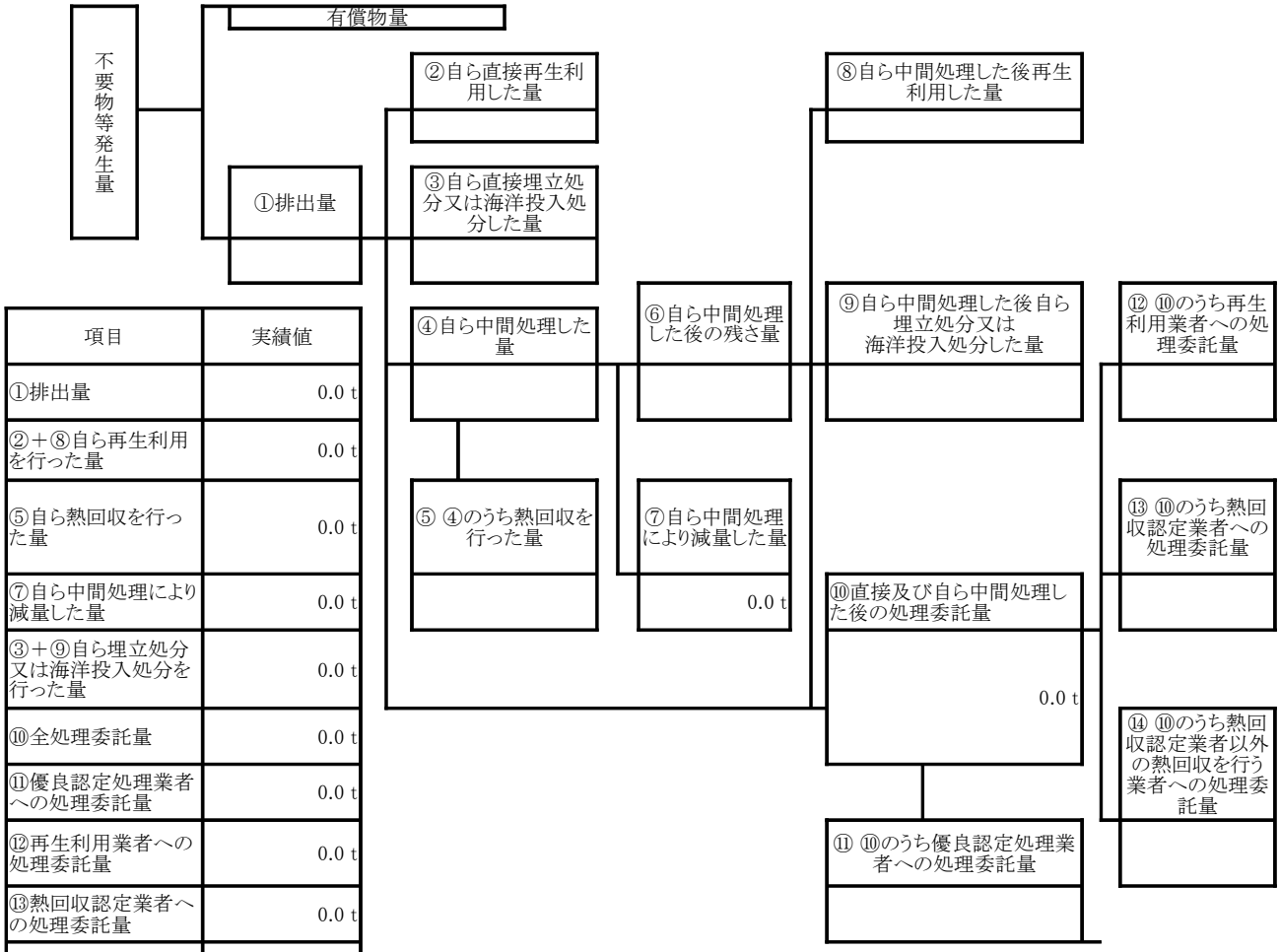
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



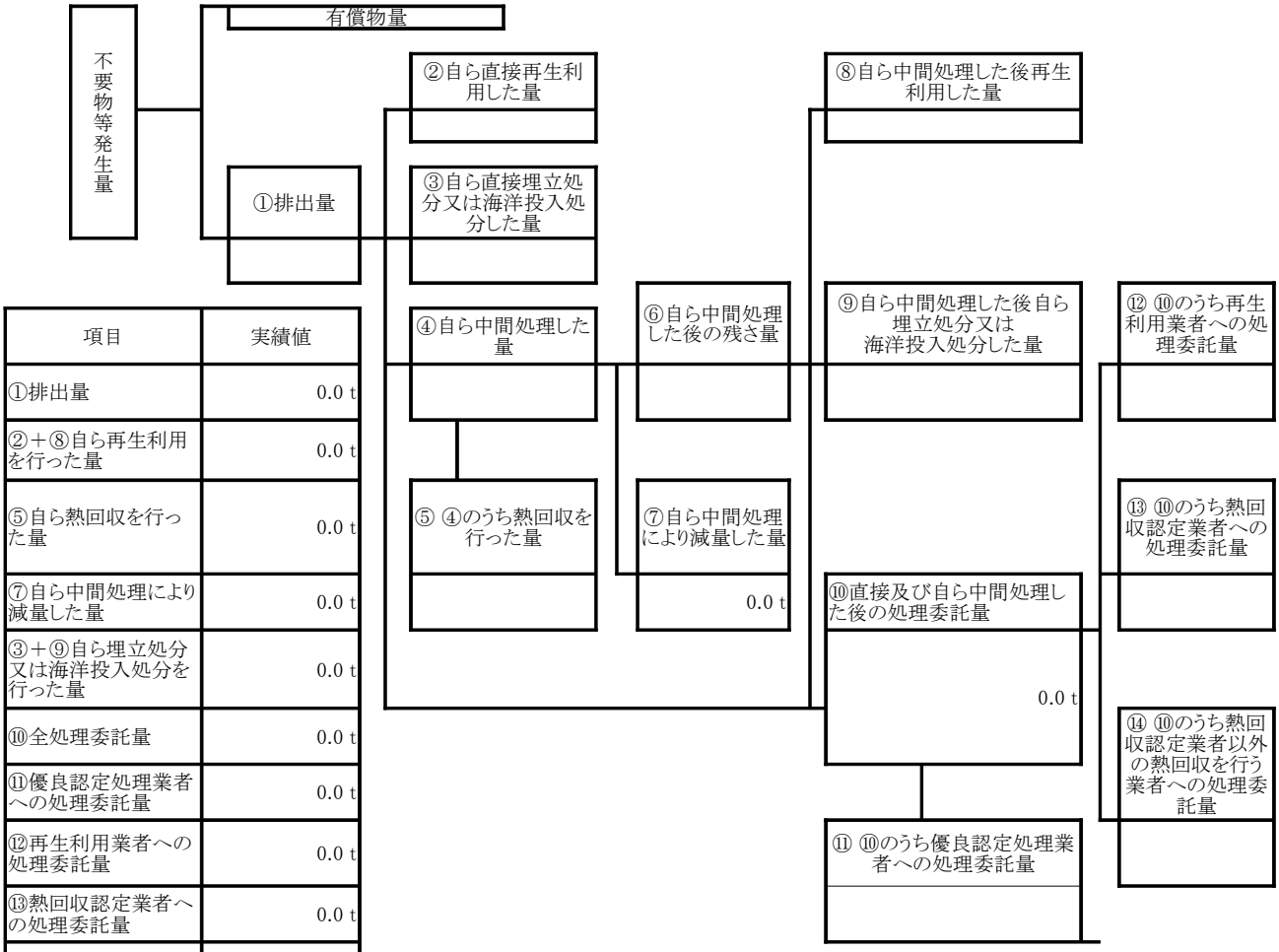
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



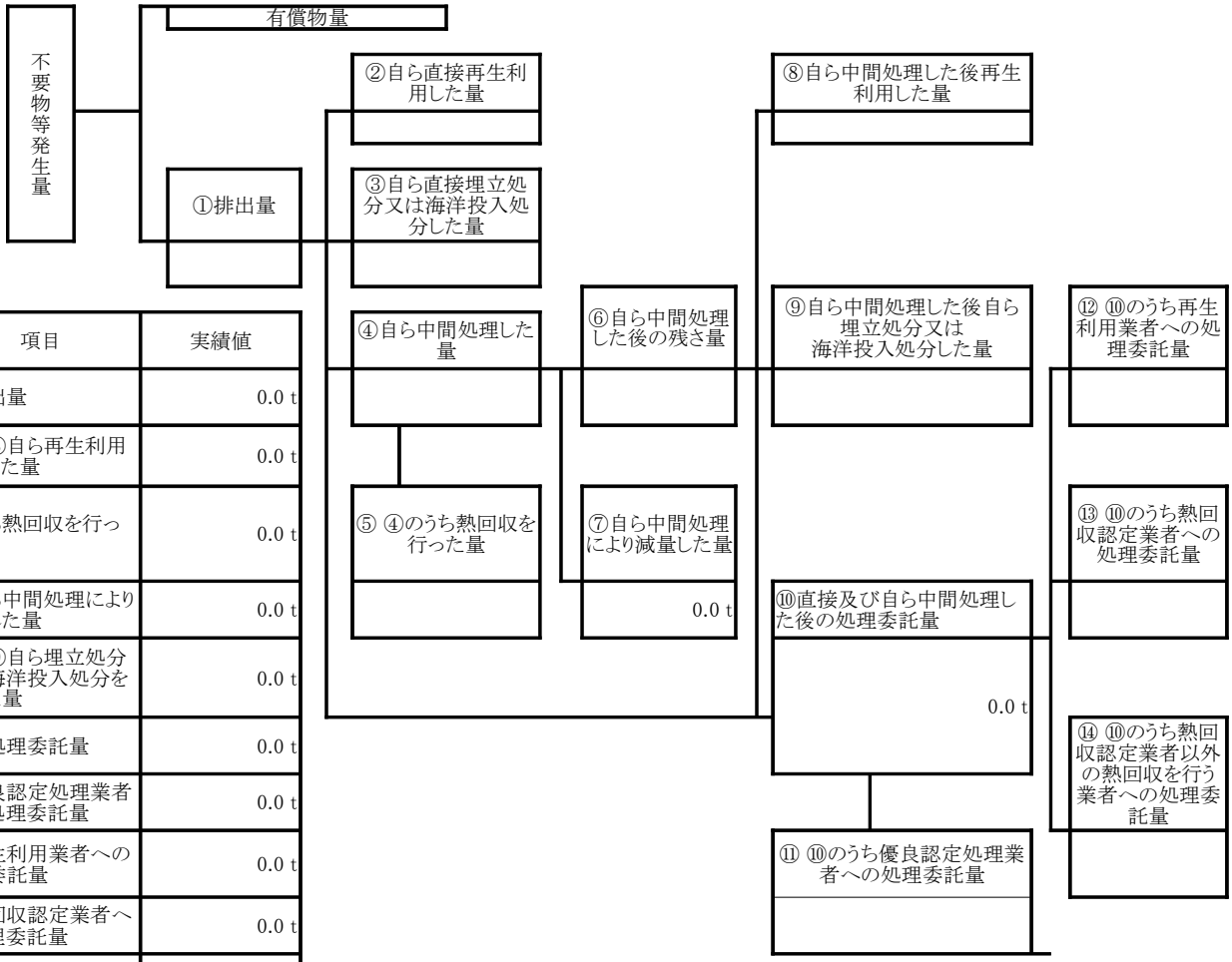
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



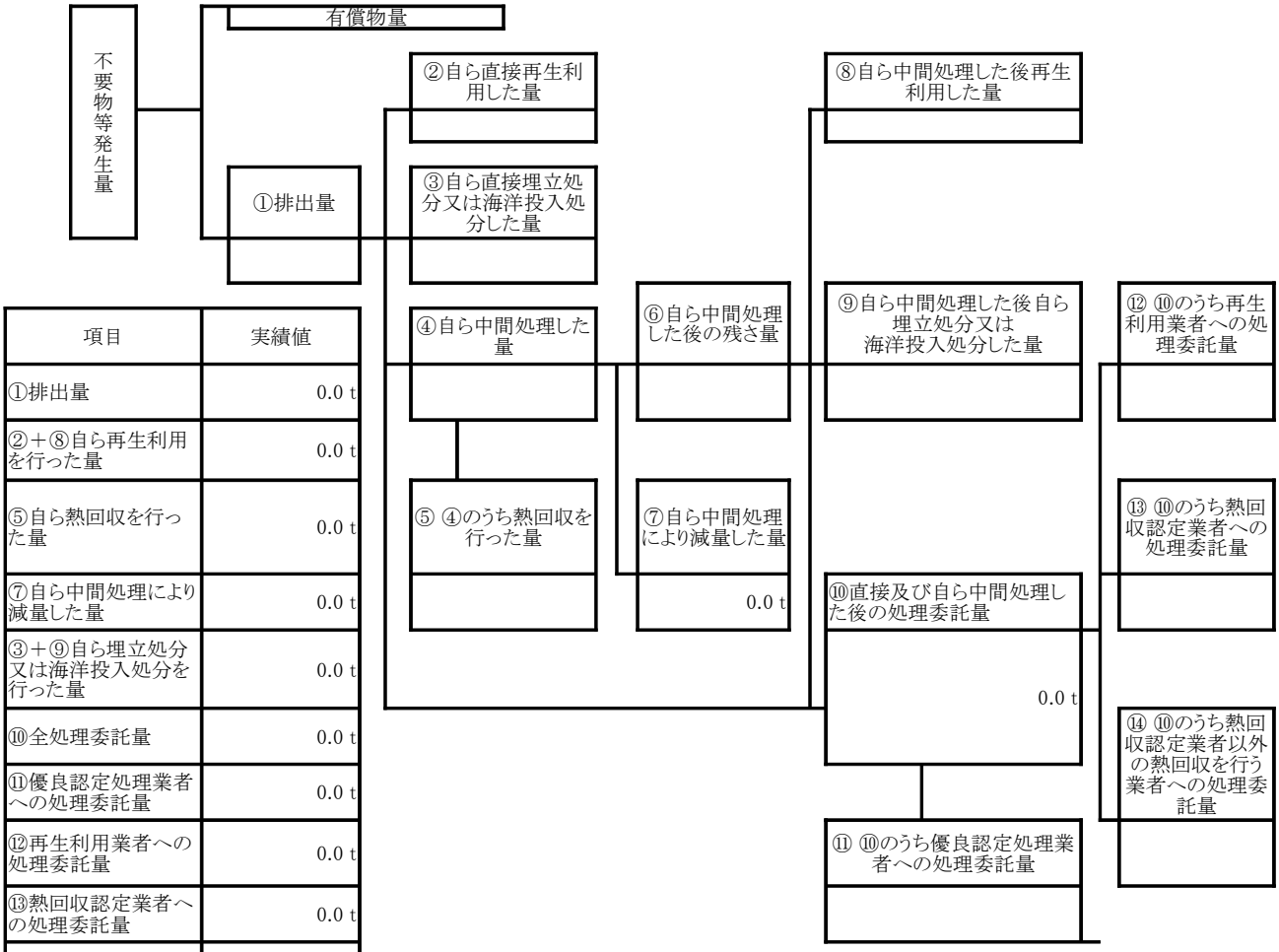
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



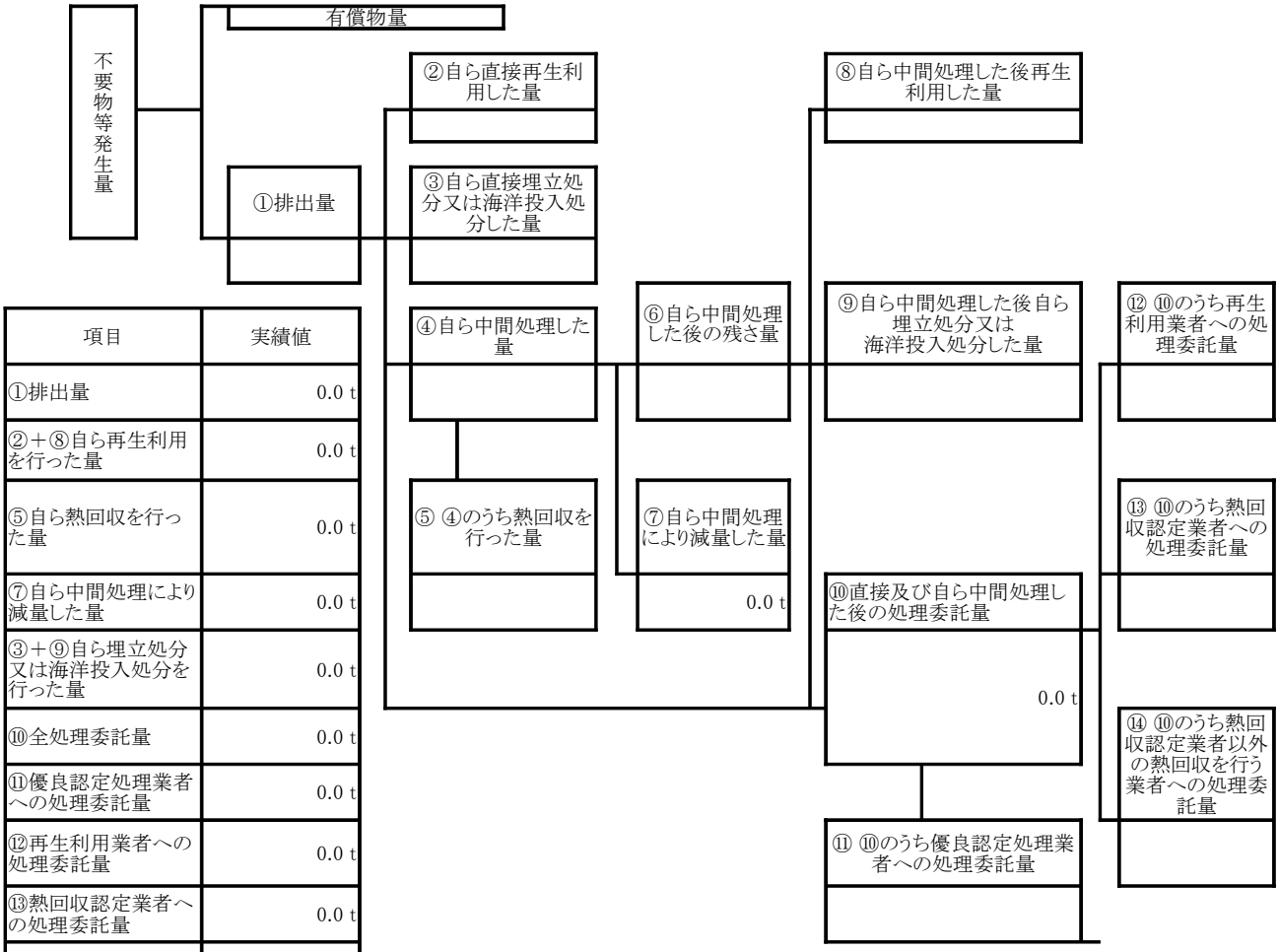
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



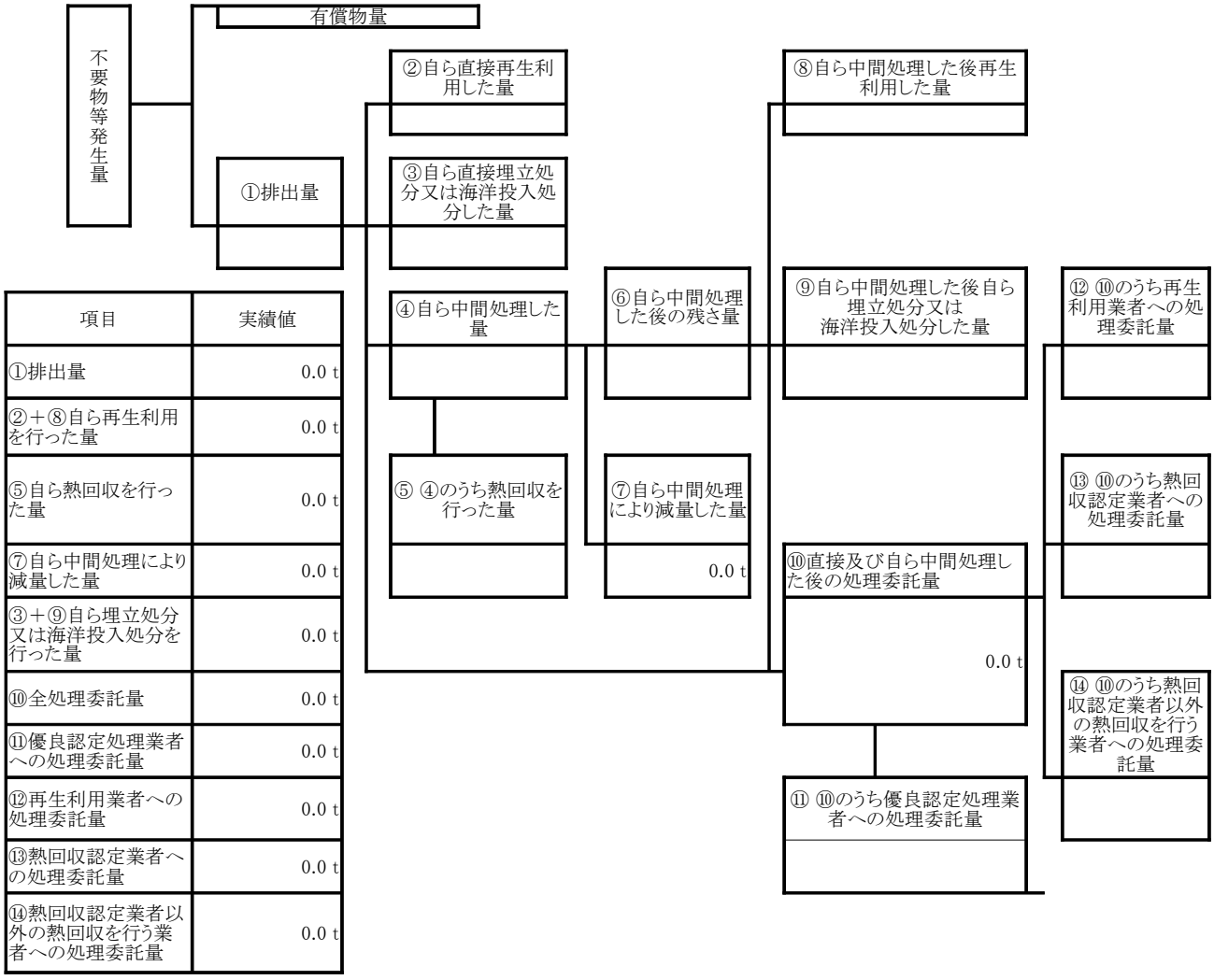
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



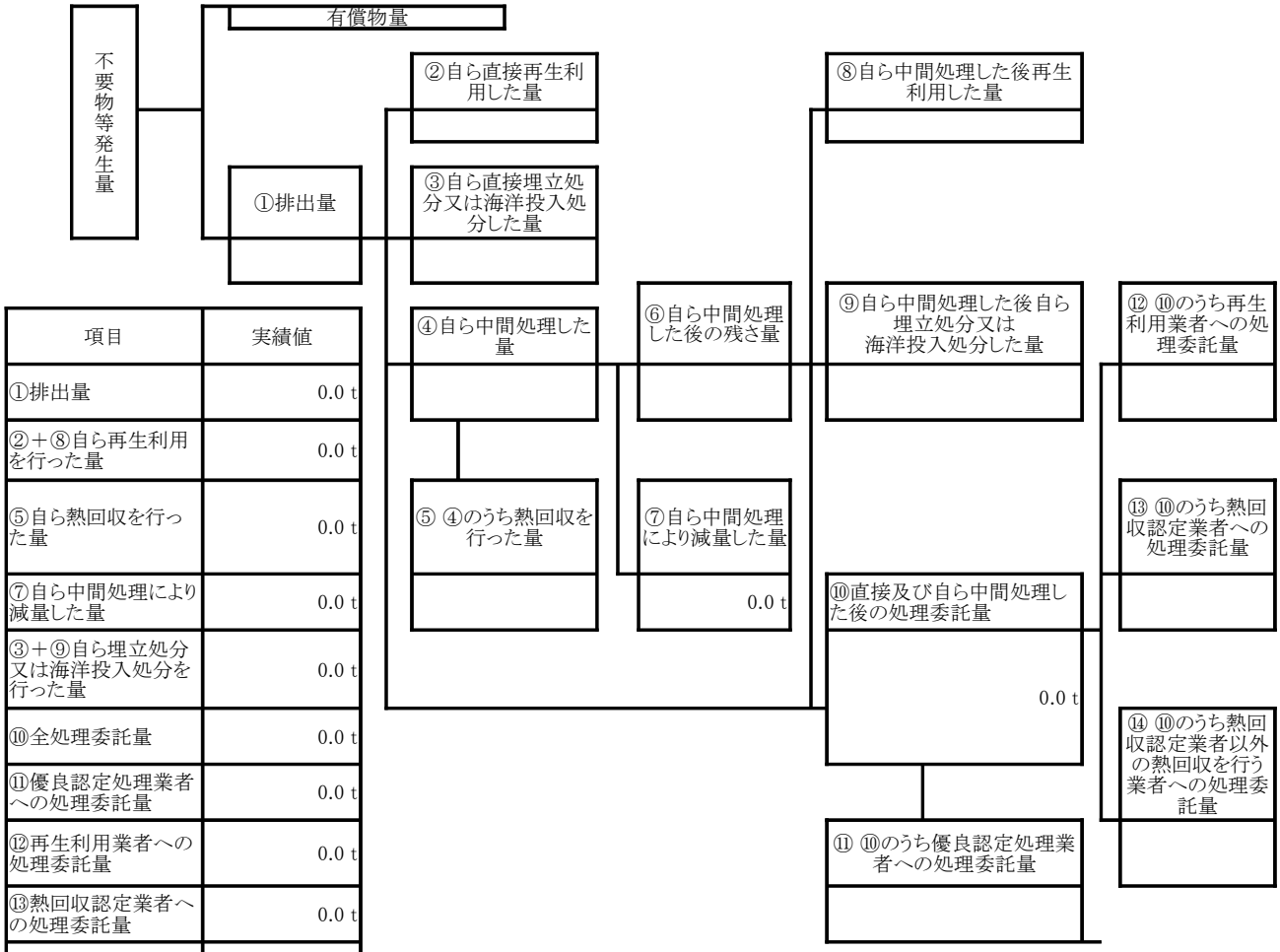
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　278-0006

住　所　千葉県野田市柳沢３０２－１０

法人名　大現建設株式会社

代表者　大野　里砂

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7124-3161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大現建設株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市柳沢３０２－１０
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高：２６６，４３５千円
③従業員数	7人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	2122.67 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

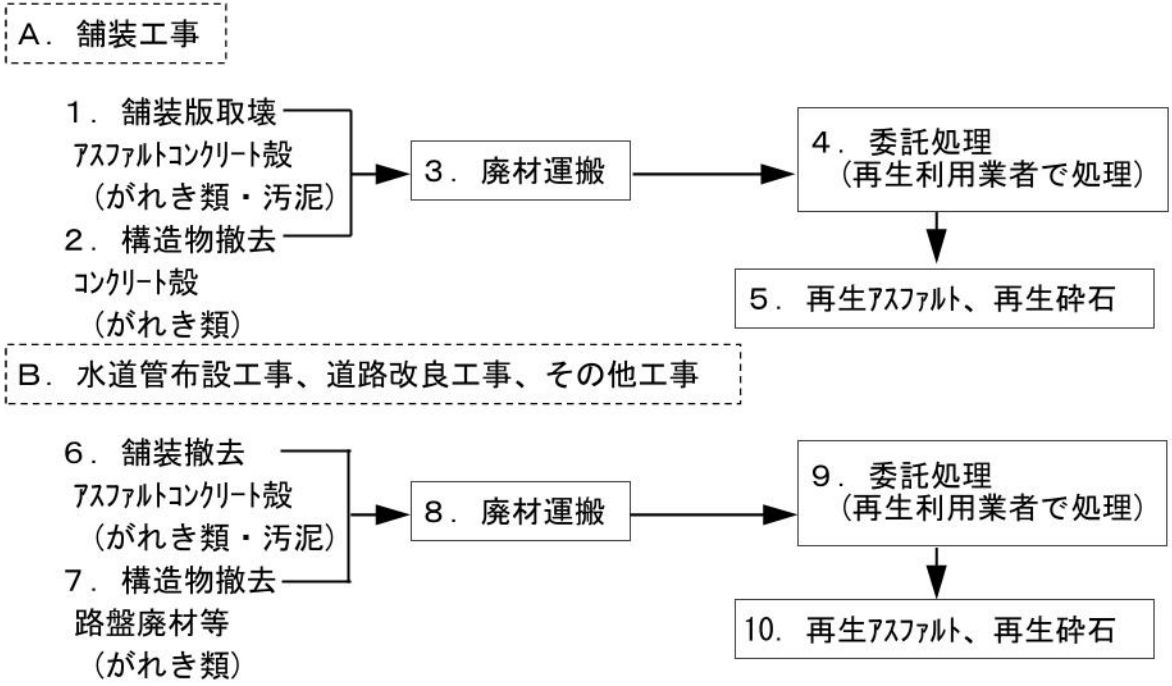
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

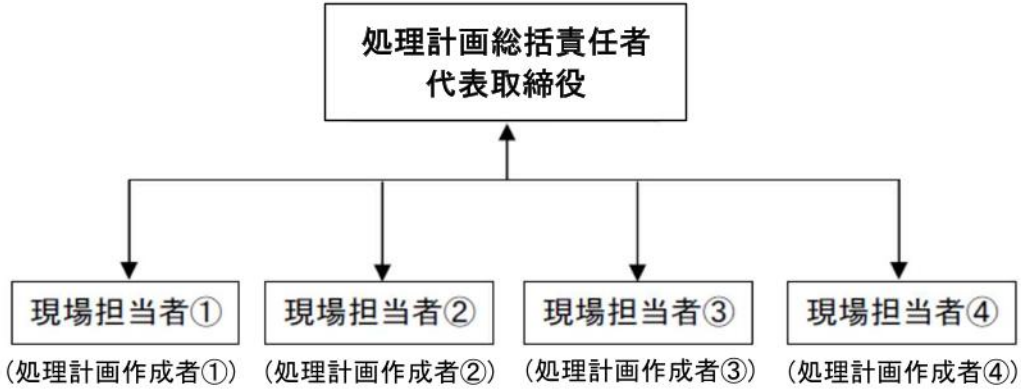
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


A．舗装工事
1．舗装版取壊
ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ殻
（がれき類・汚泥）
2．構造物撤去
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻
（がれき類）
3．廃材運搬
4．委託処理
（再生利用業者で処理）
5．再生ｱｽﾌｧﾙﾄ、再生砕石
B．水道管布設工事、道路改良工事、その他工事
6．舗装撤去
ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ殻
（がれき類・汚泥）
7．構造物撤去
路盤廃材等
（がれき類）
8．廃材運搬
9．委託処理
（再生利用業者で処理）
10．再生ｱｽﾌｧﾙﾄ、再生砕石

（管理体制図）


処理計画総括責任者
代表取締役
現場担当者①
現場担当者②
現場担当者③
現場担当者④
（処理計画作成者①）
（処理計画作成者②）
（処理計画作成者③）
（処理計画作成者④）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月２１日

千葉県知事　殿

提出者

住　　所　千葉県野田市柳沢302-10

氏　　名　大現建設株式会社
代表取締役　大野　照美

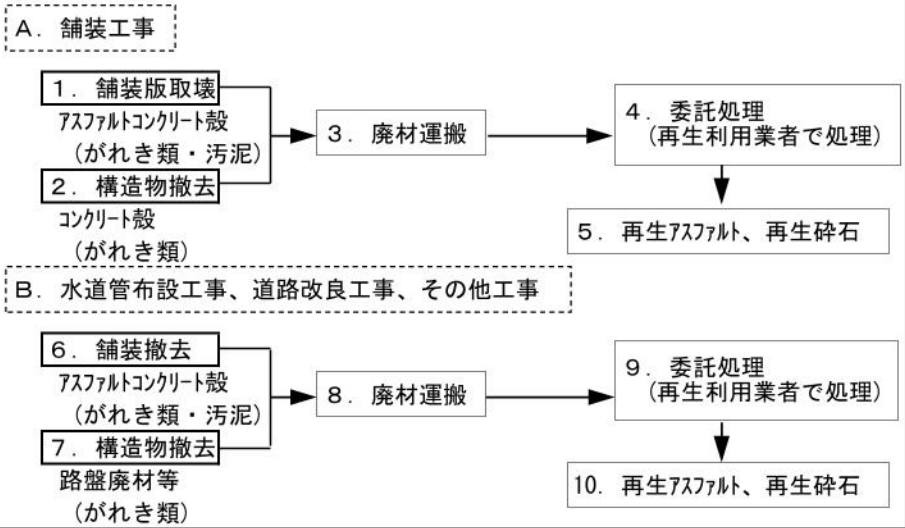
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０４－７１２４－３１６１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

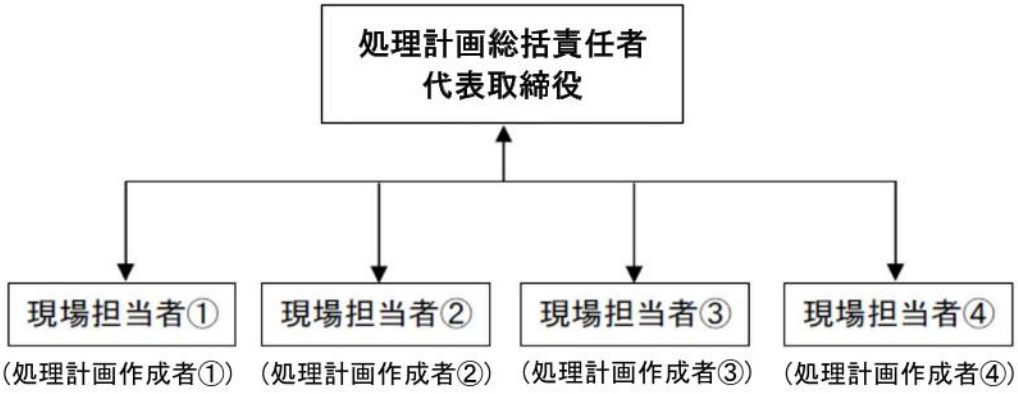
事業場の名称	大現建設株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市柳沢３０２－１０
計画期間	令和６年　４月　１日～令和７年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高：２６６，４３５千円
③従業員数	７人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
排　出　量	1444.55t	7t	667.15t	3.974t

（これまでに実施した取組）

請負工事の質と量により変動する。

②計画

【目　標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
排　出　量	1,500t	10t	1000t	5t

（今後実施する予定の取組）

請負工事の質と量により変動する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

請負工事の質と量により変動する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

請負工事の質と量により変動する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目　標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目　標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
自ら再熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目　標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
全処理委託量	1444.55t	7t	667.15t	3.974t
優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
再生利用処理業者への処理委託量	1444.55t	7t	667.15t	3.974t
認定熱回収処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

請負工事の質と量により変動する。

	②計画	【目　標】				
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら（がれき類）	コンクリートがら（がれき類）	路盤廃材等（がれき類）	汚泥
		全処理委託量	1,500t	10t	1000t	5t
		優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
		再生利用処理業者への処理委託量	1,500t	10t	1000t	5t
		認定熱回収処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
		認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
		（今後実施する予定の取組） 請負工事の質と量により変動する。				
※事務処理欄						

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年7月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　278-0006

住所 千葉県野田市柳沢302－10

法人名 大現建設株式会社

代表者 大野 照美

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7124-3161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大現建設株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市柳沢302-10
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3332 t	全処理委託量	3332 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3332 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

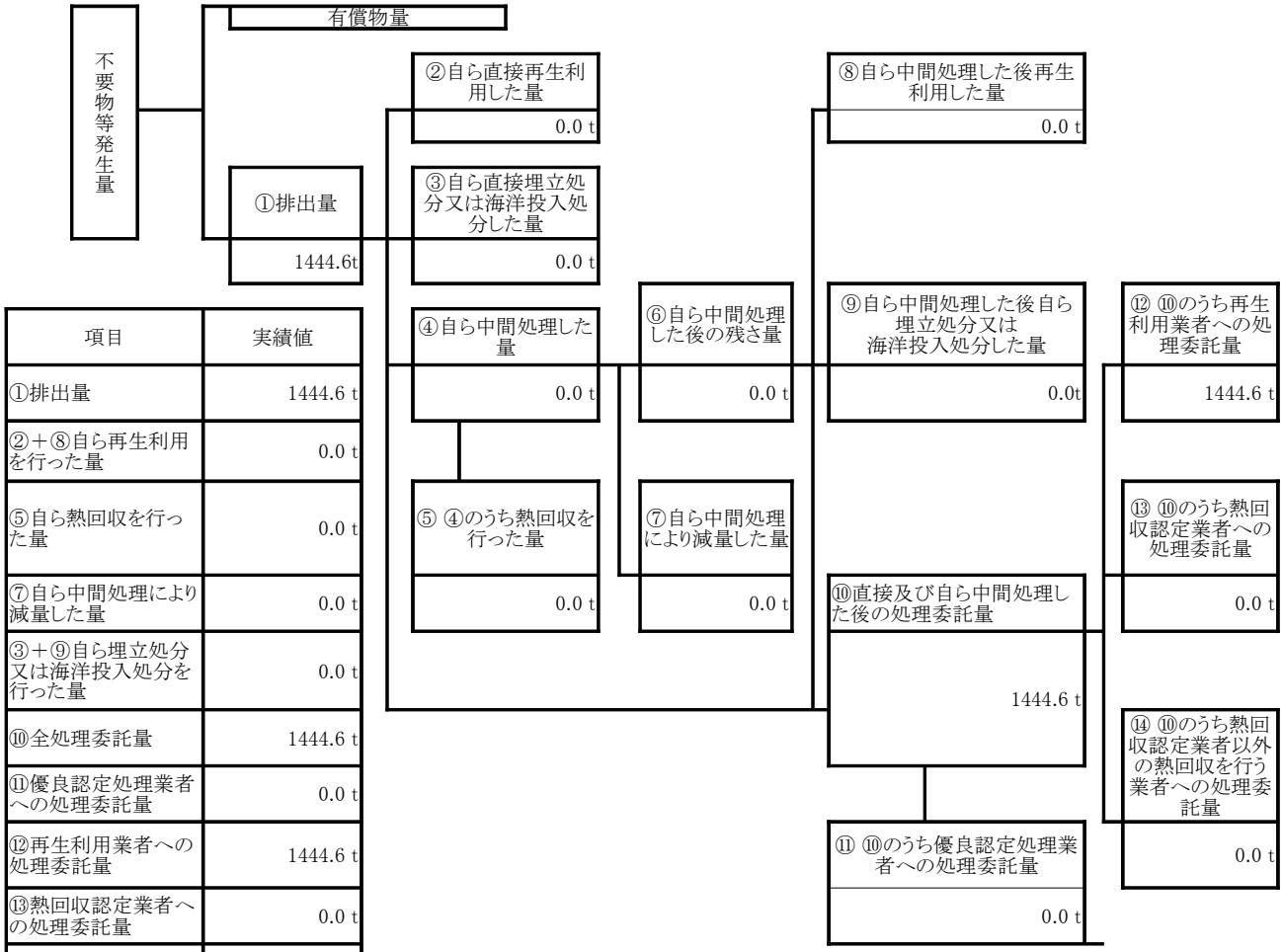
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルトコンクリートがら（がれき類））

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

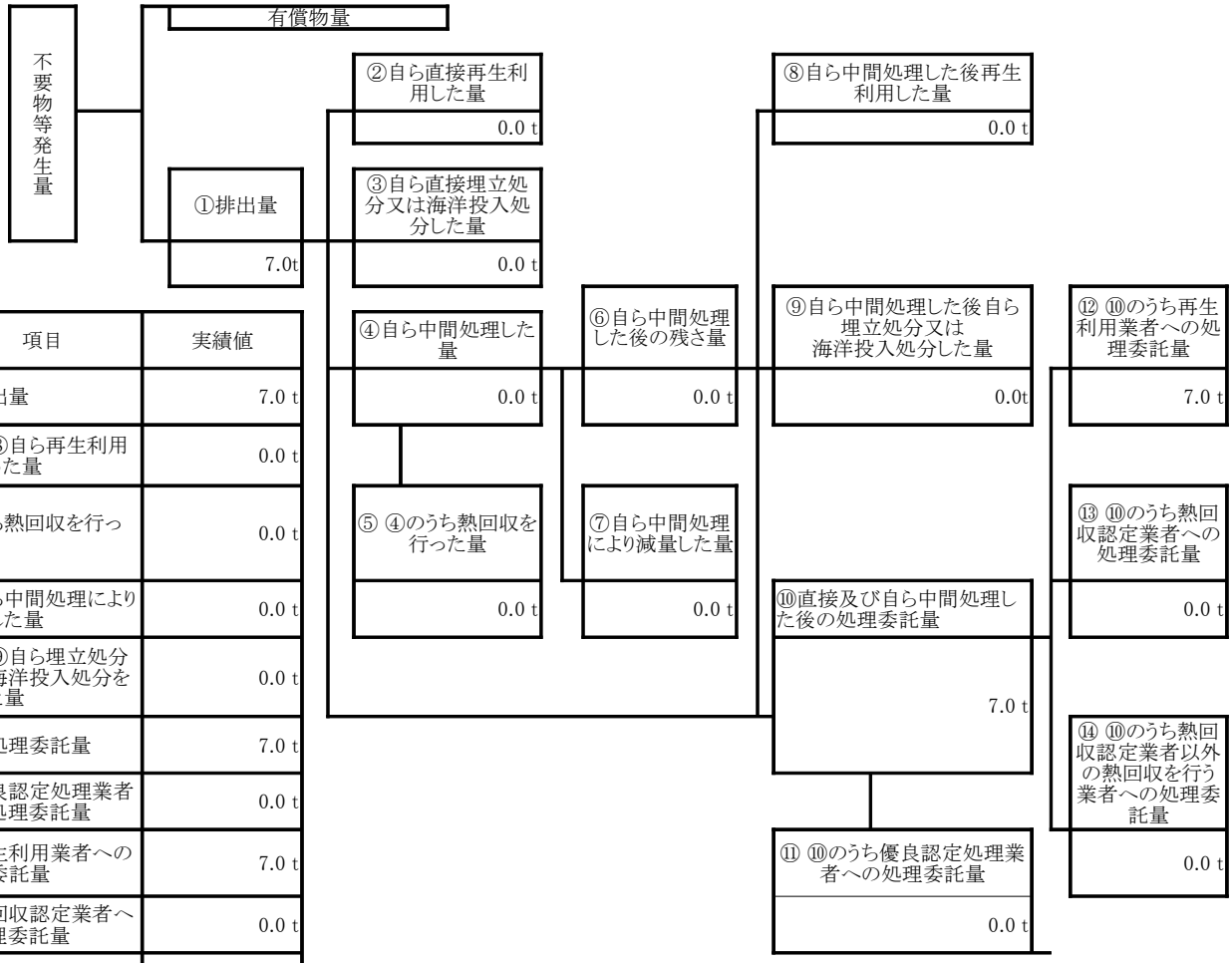


項目	実績値
①排出量	1444.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1444.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1444.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリートがら（がれき類））

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

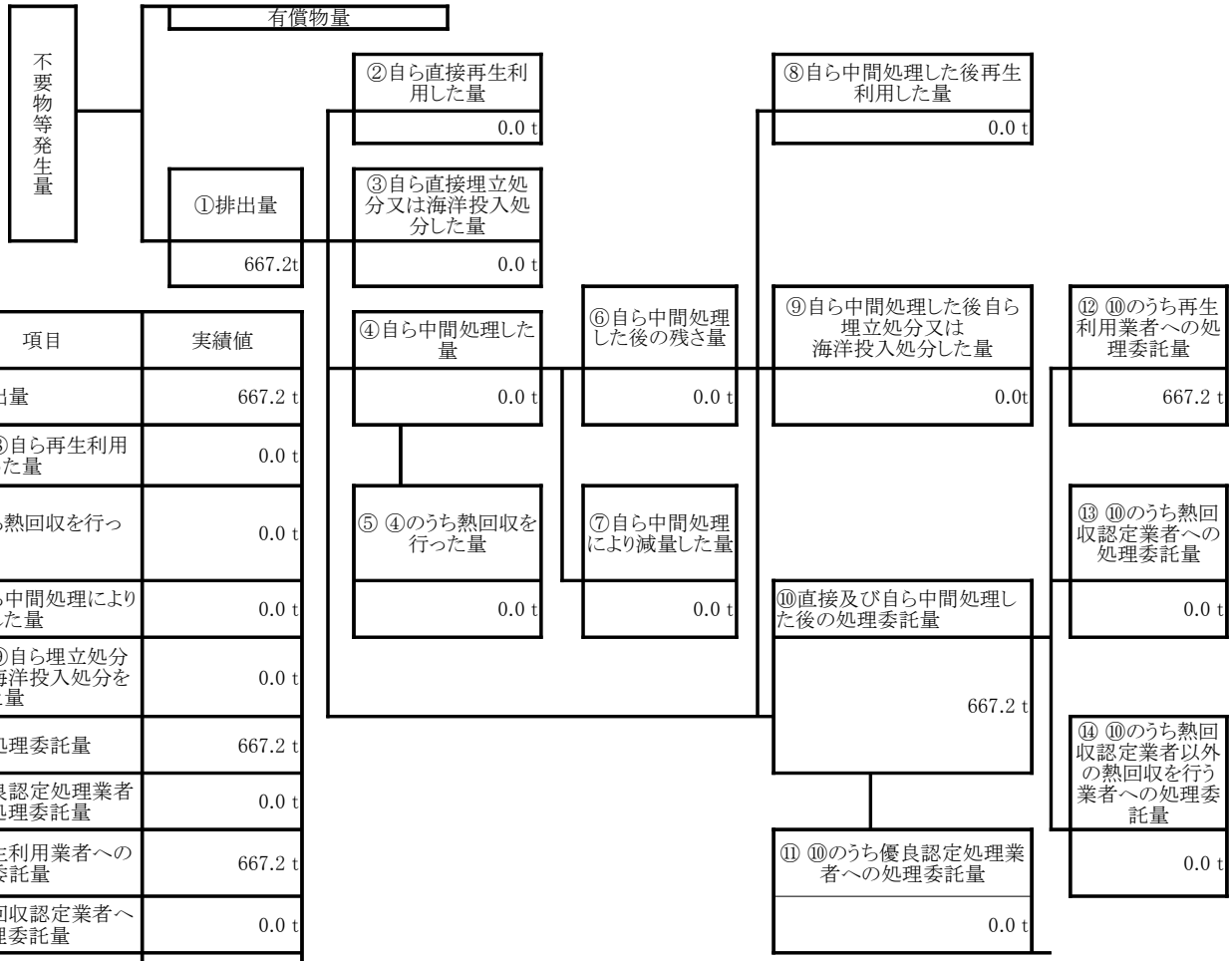


項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**路盤廃材等（がれき類）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

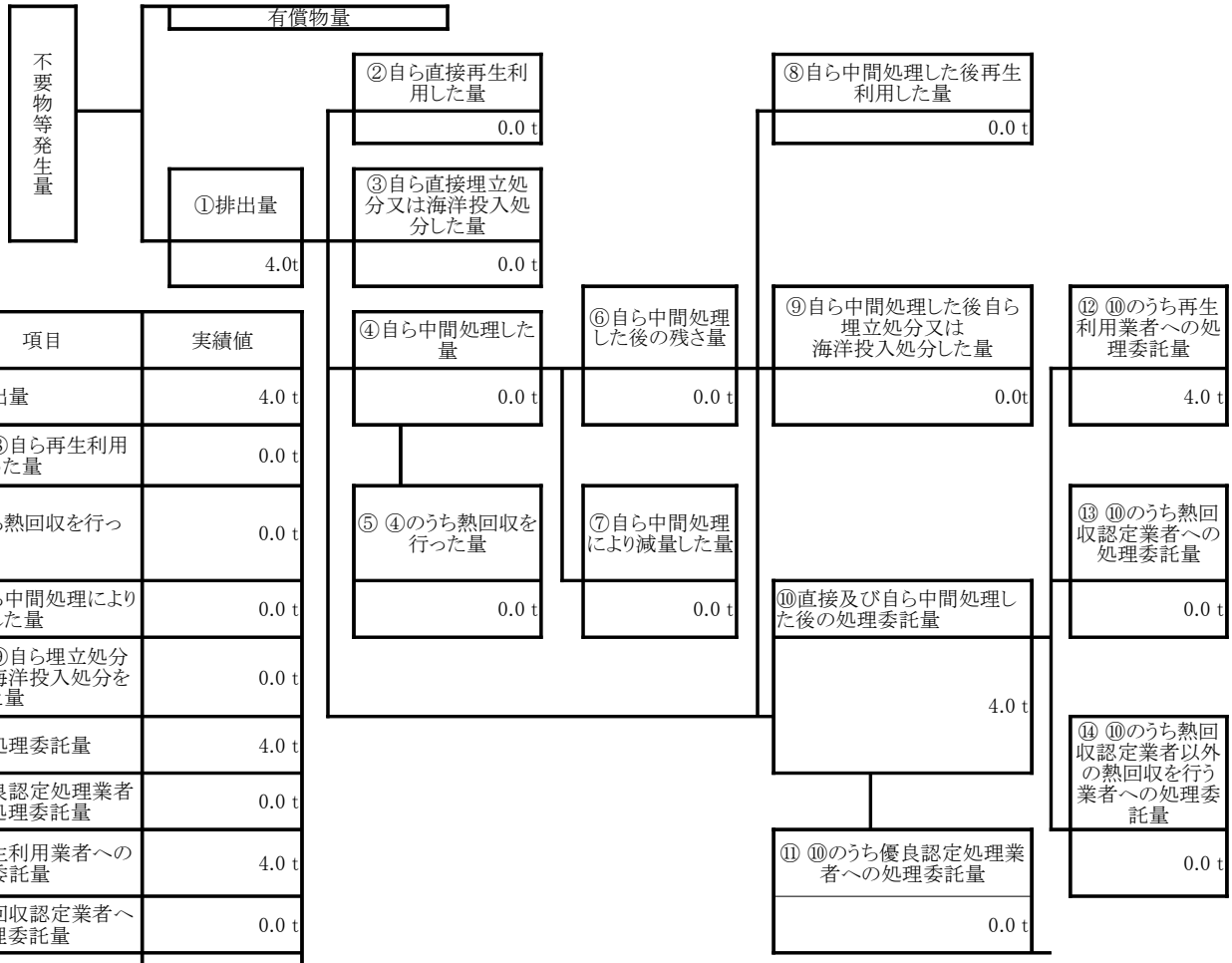


項目	実績値
①排出量	667.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	667.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	667.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



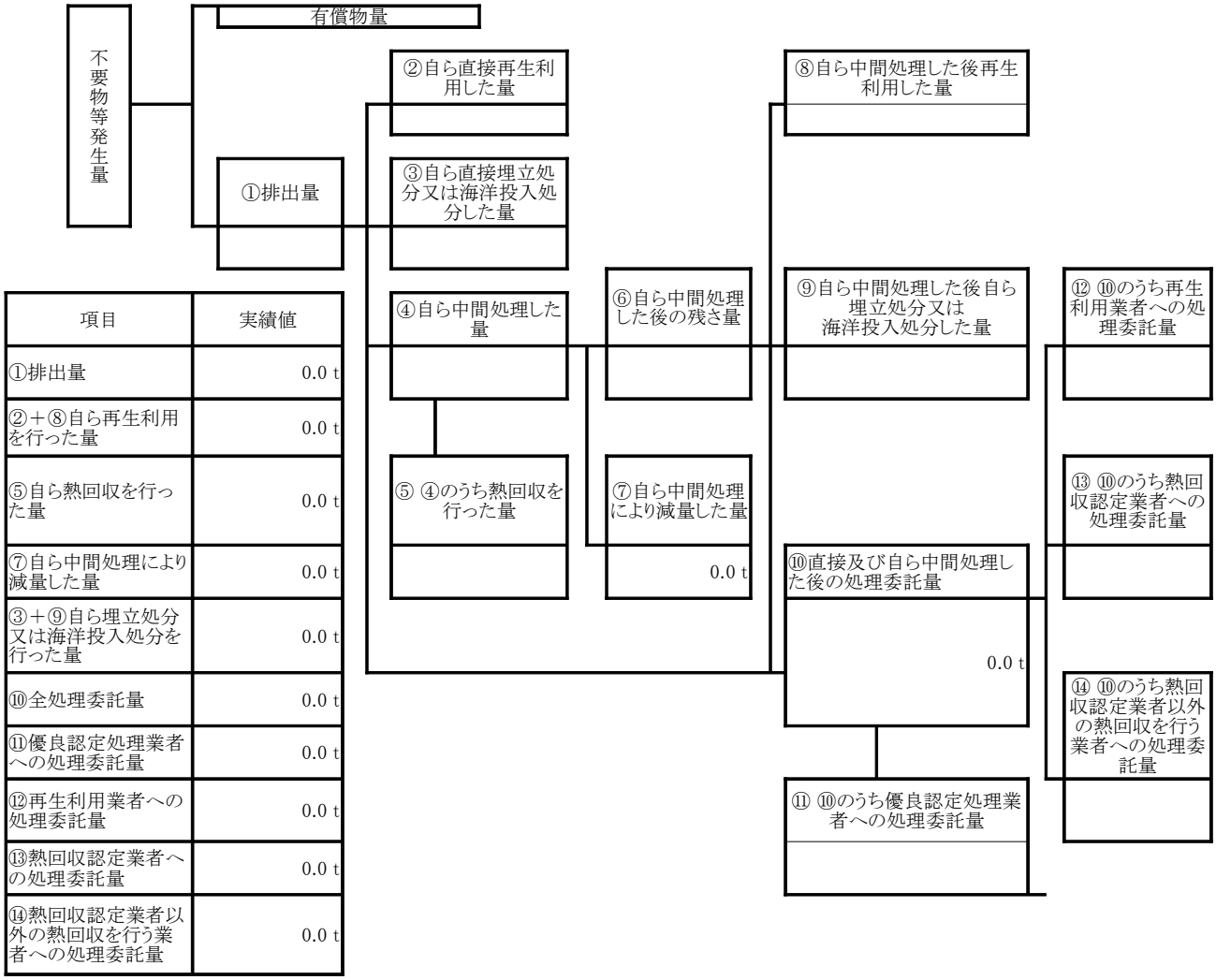
項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

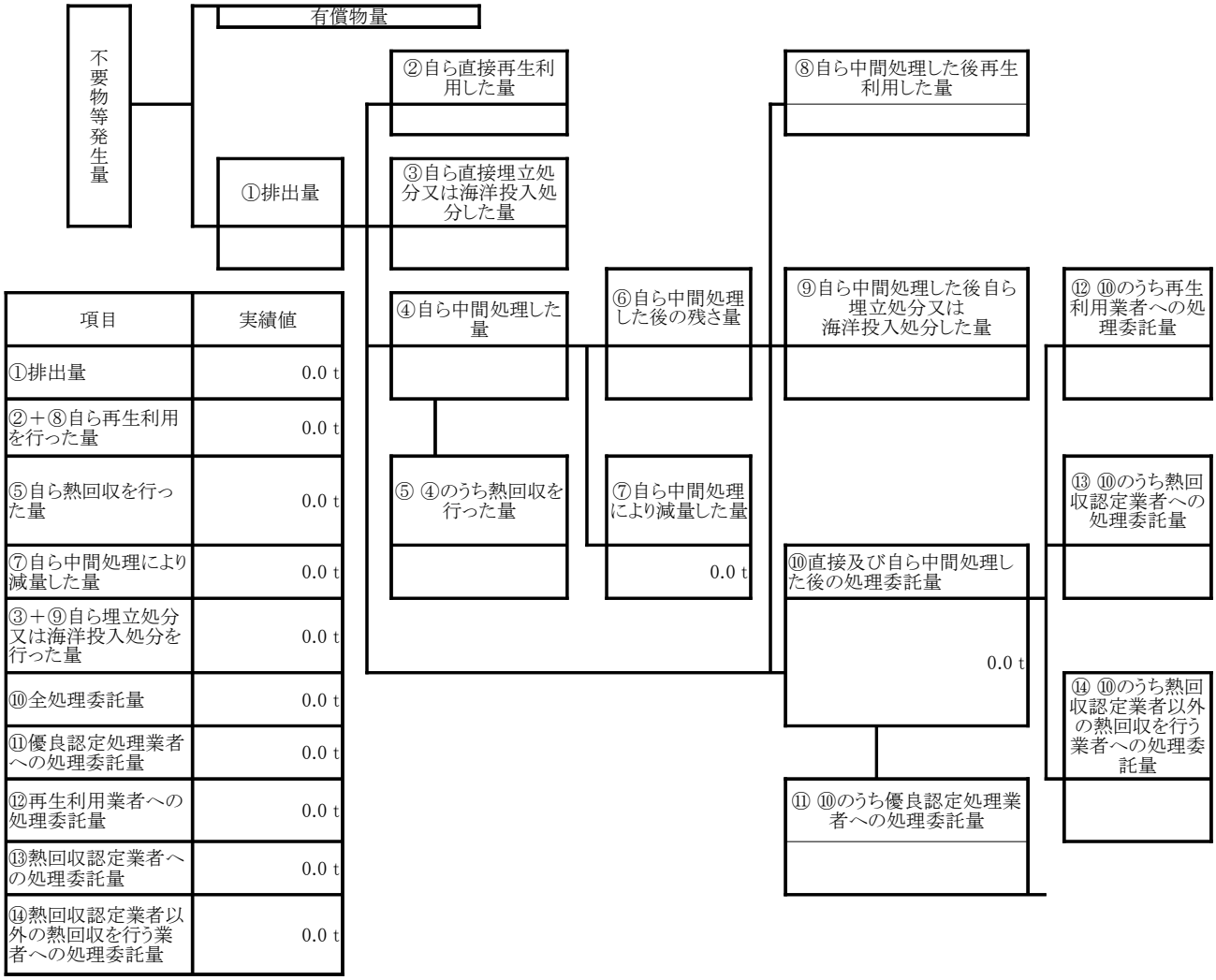


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



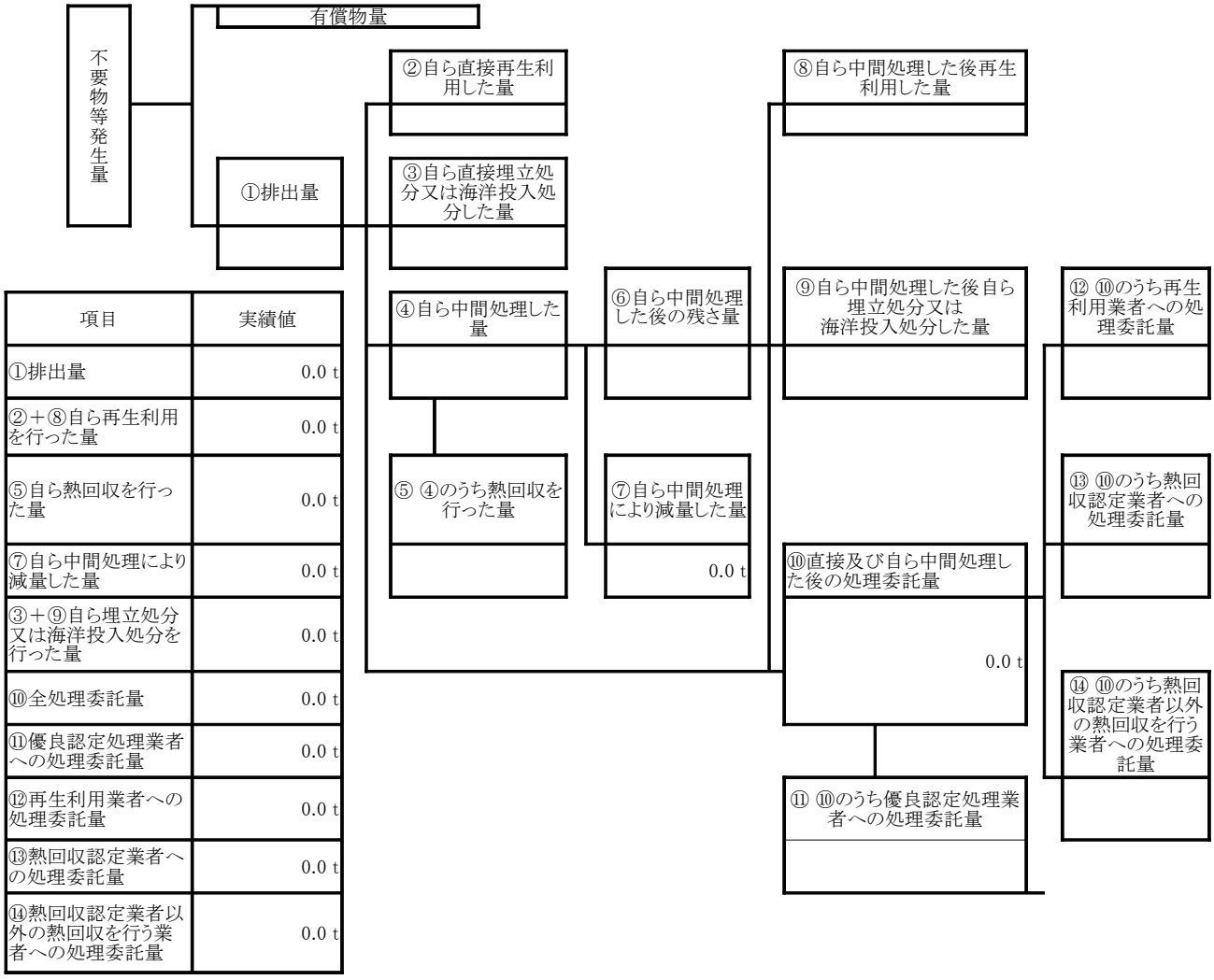
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



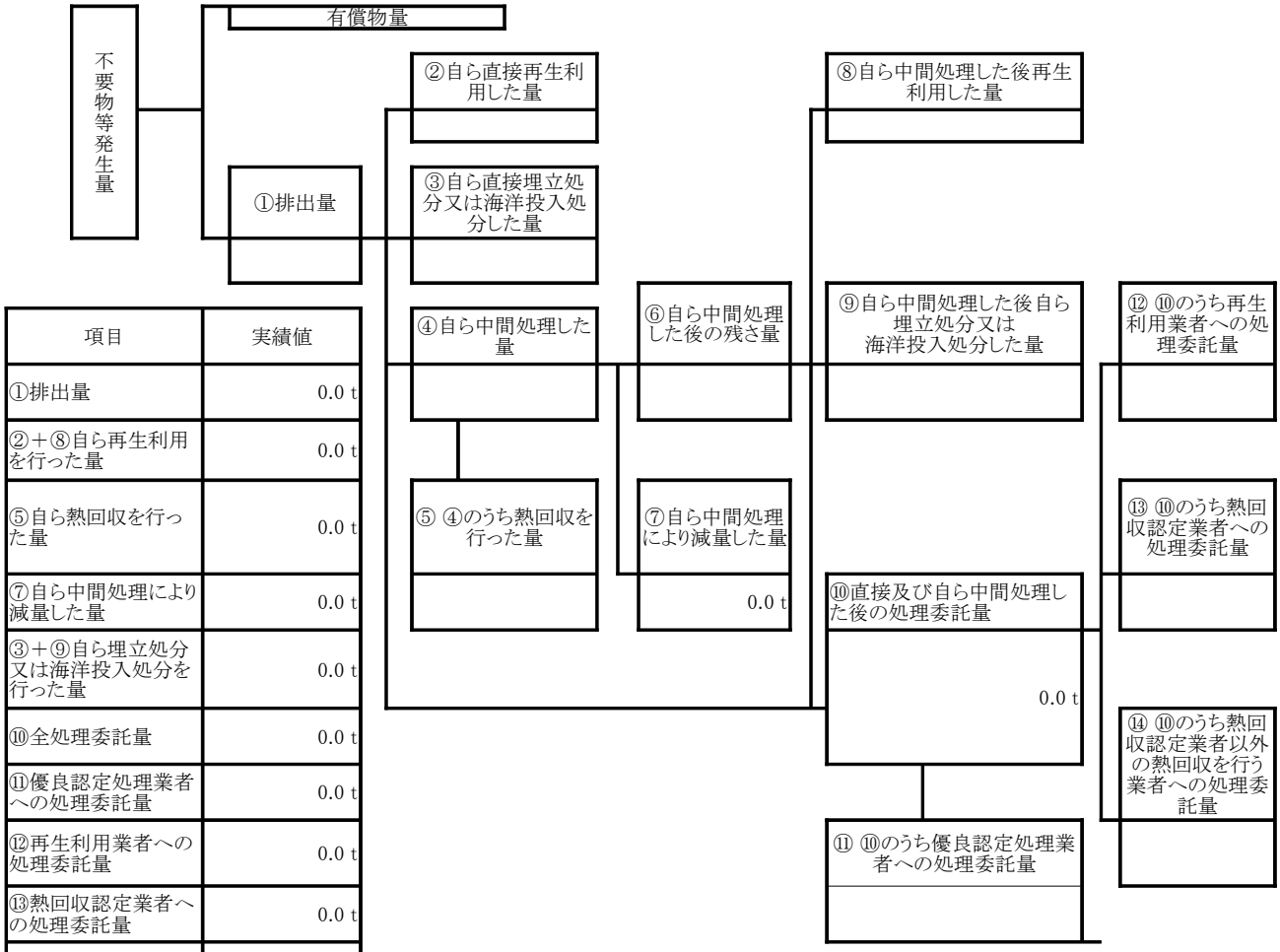
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

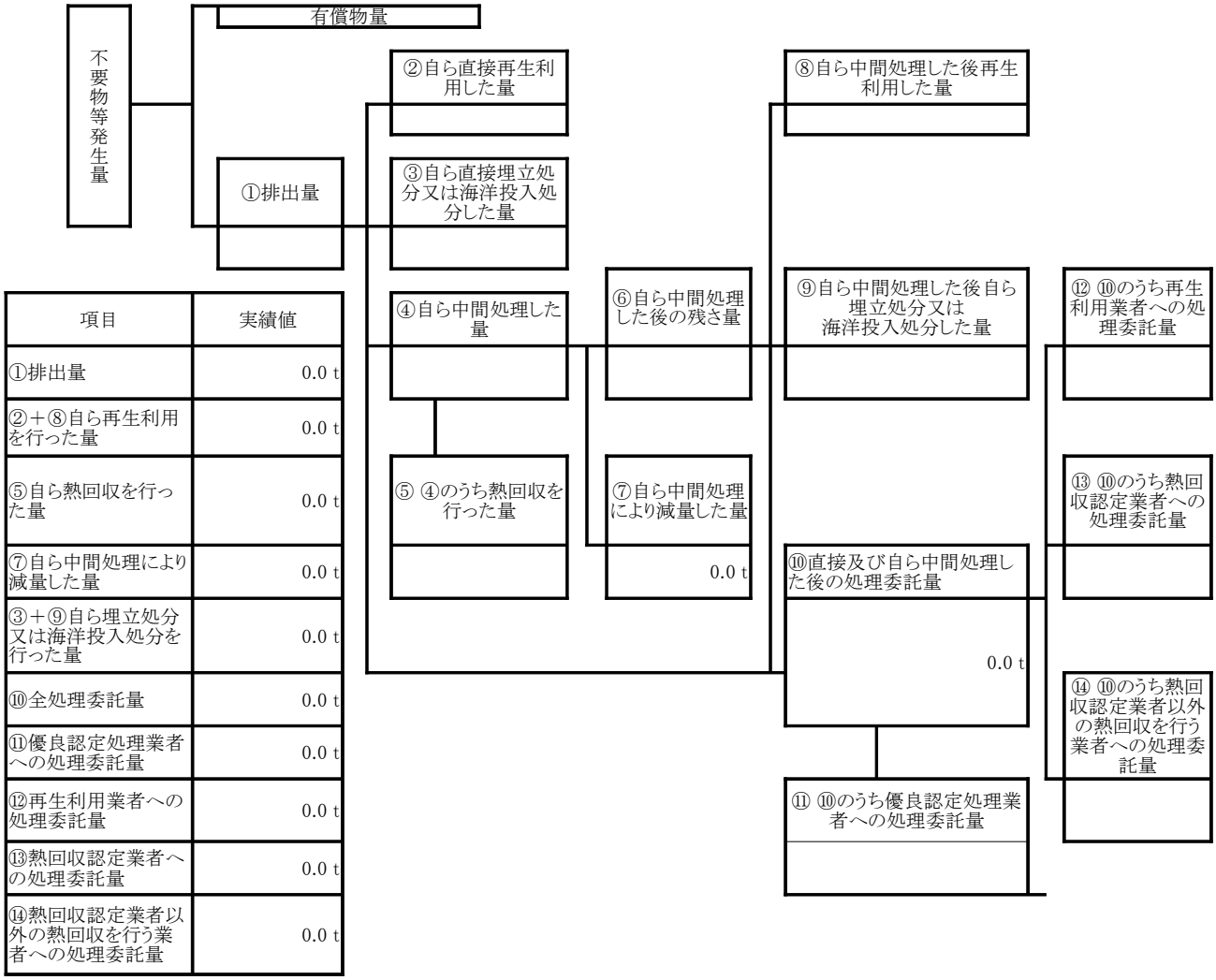


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

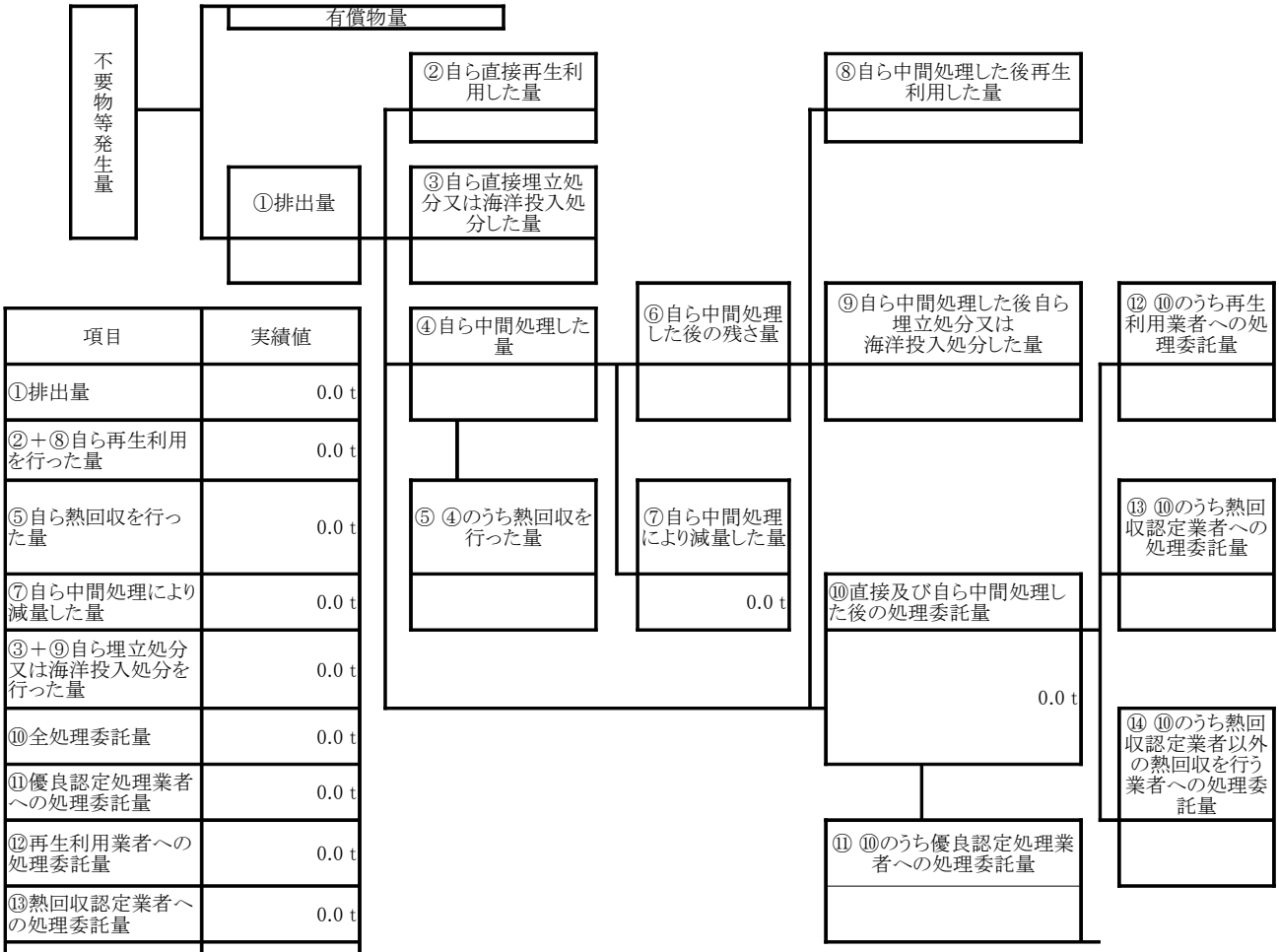


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

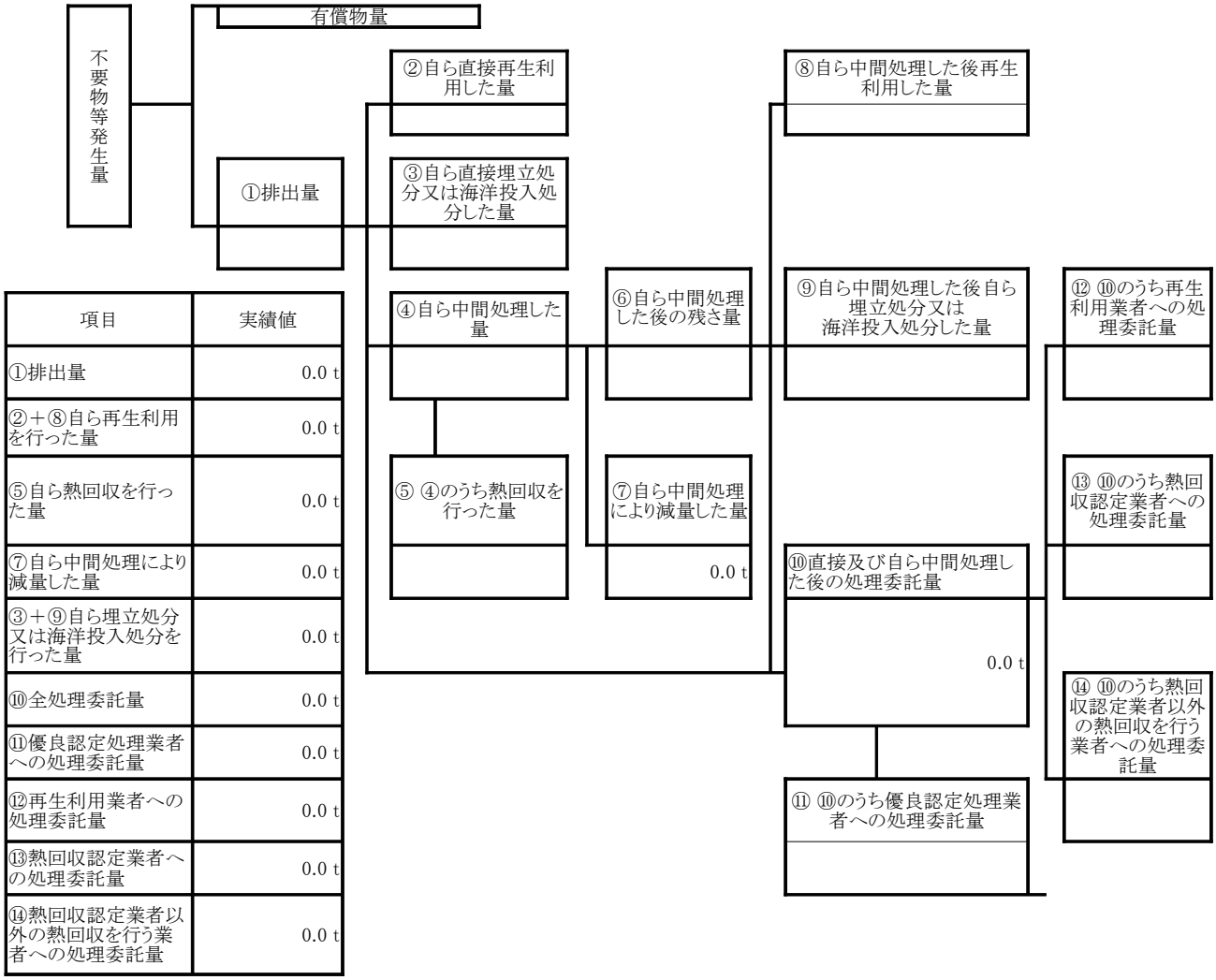


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



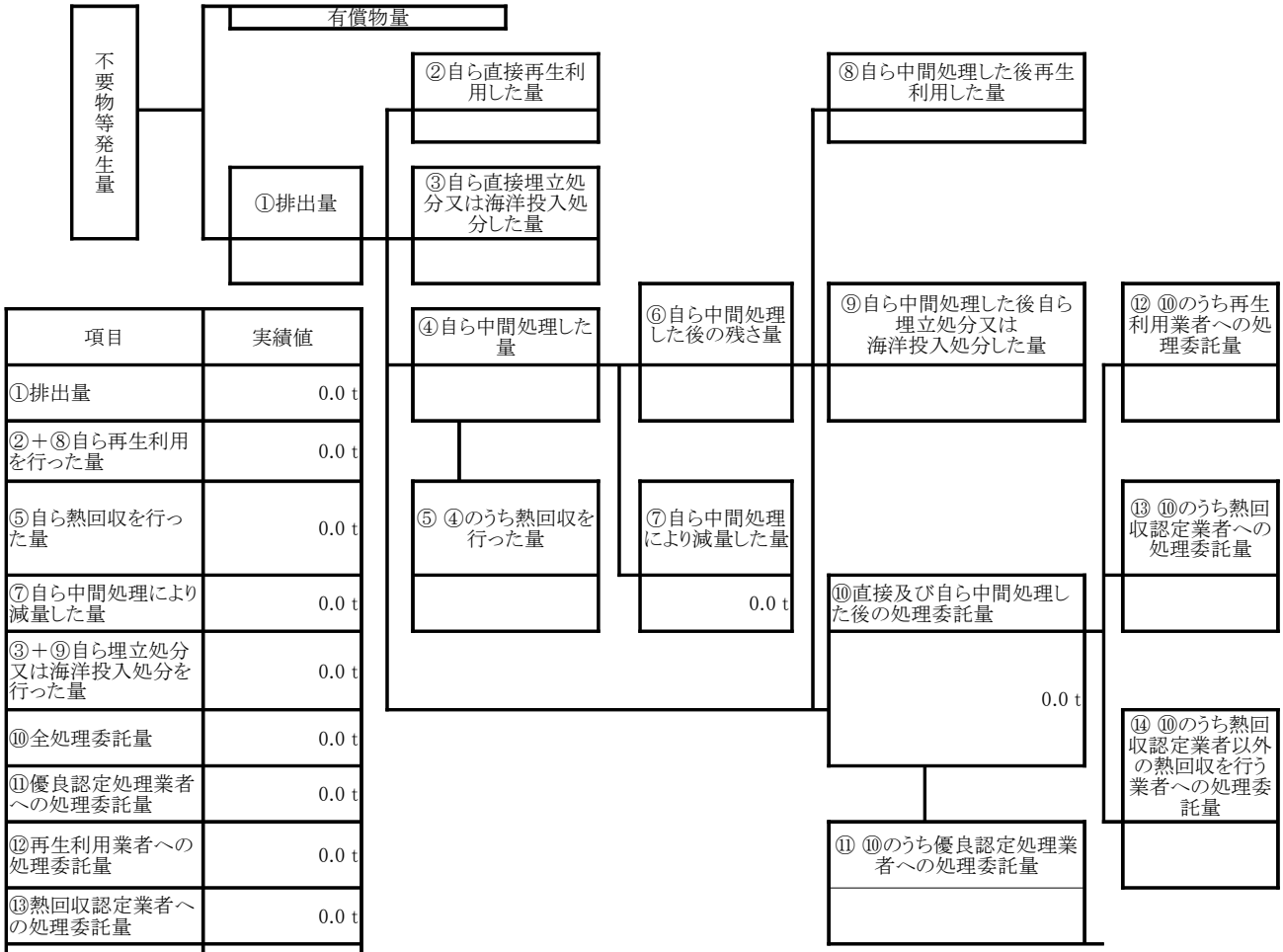
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



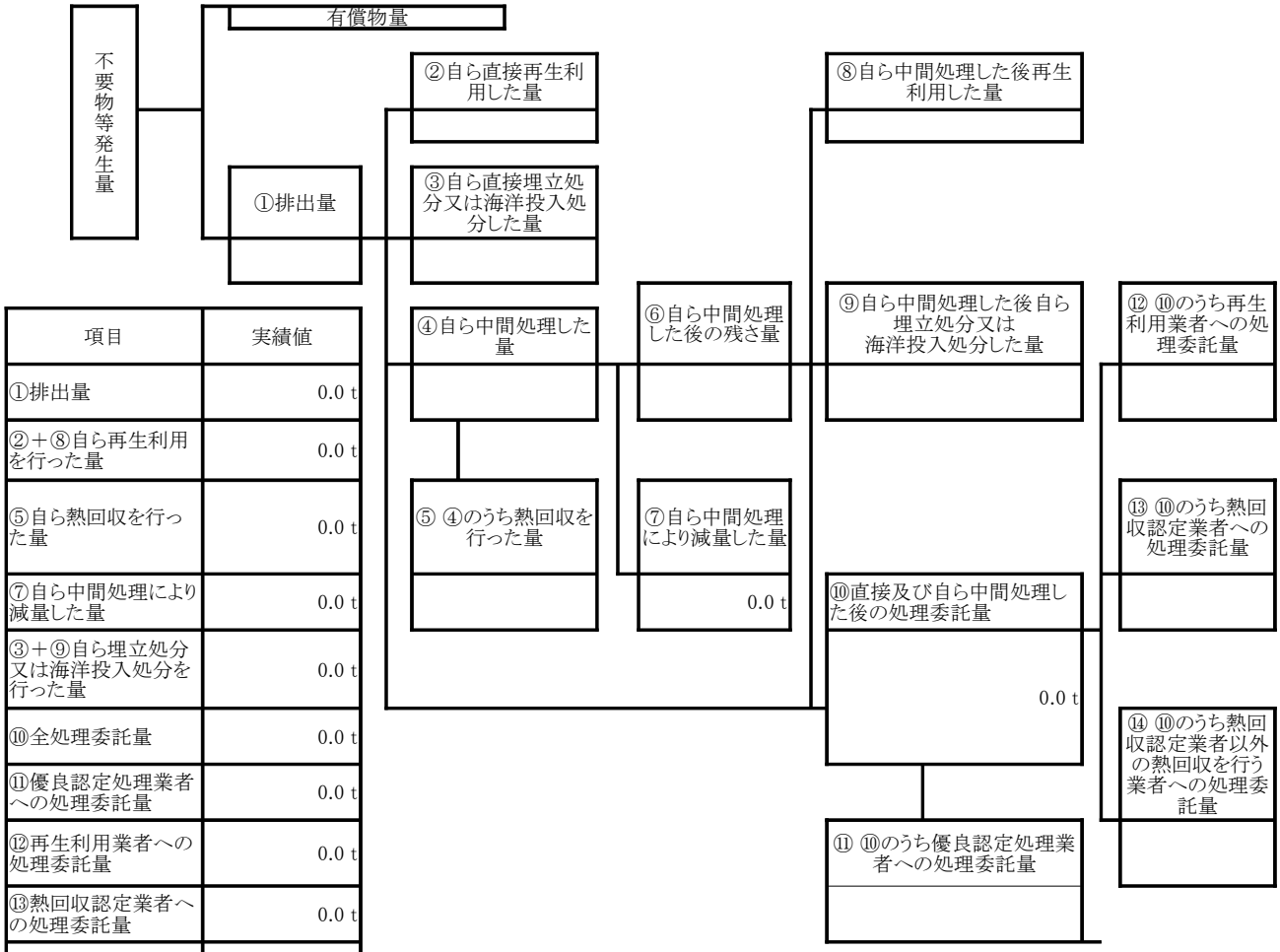
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



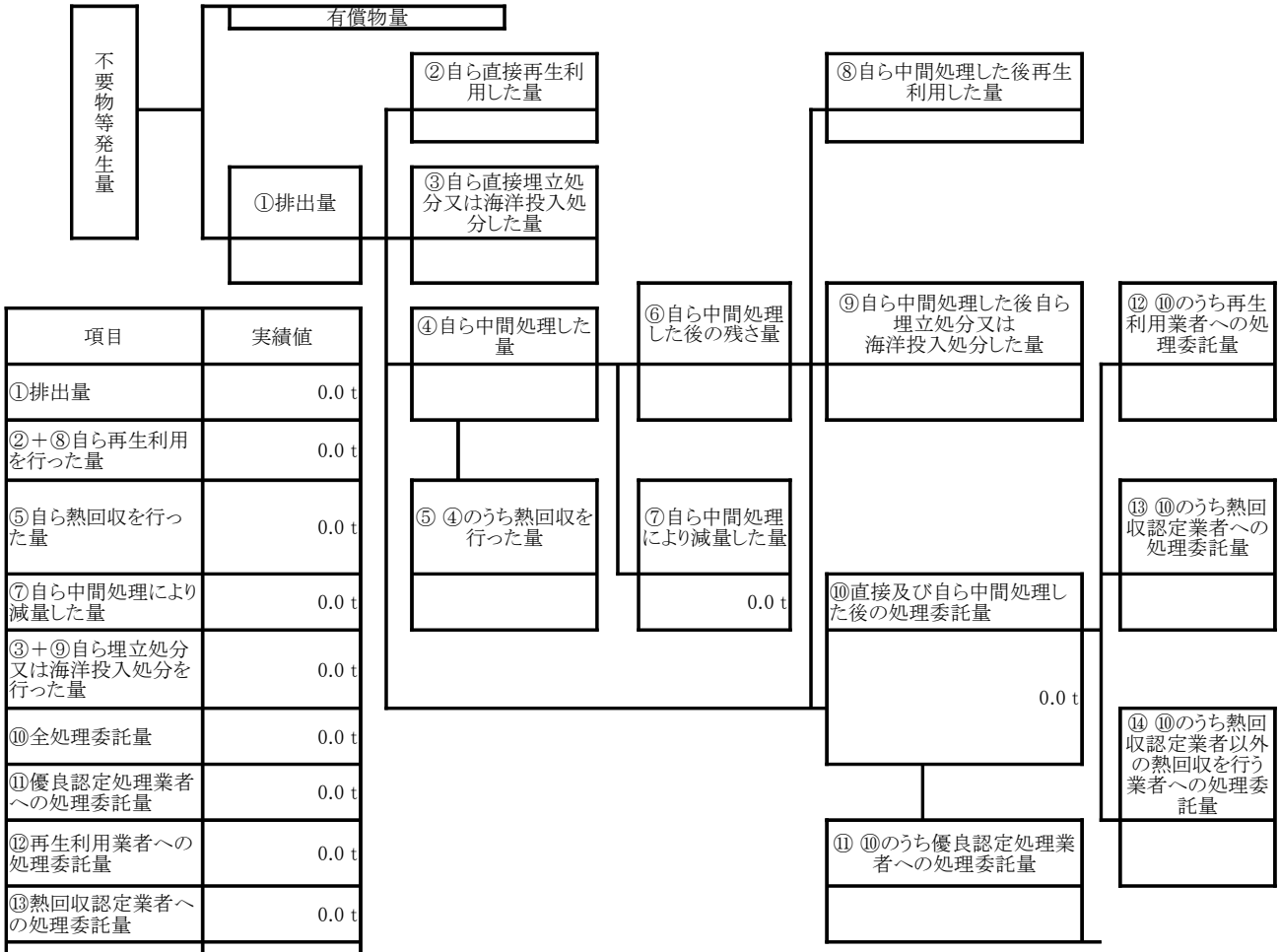
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



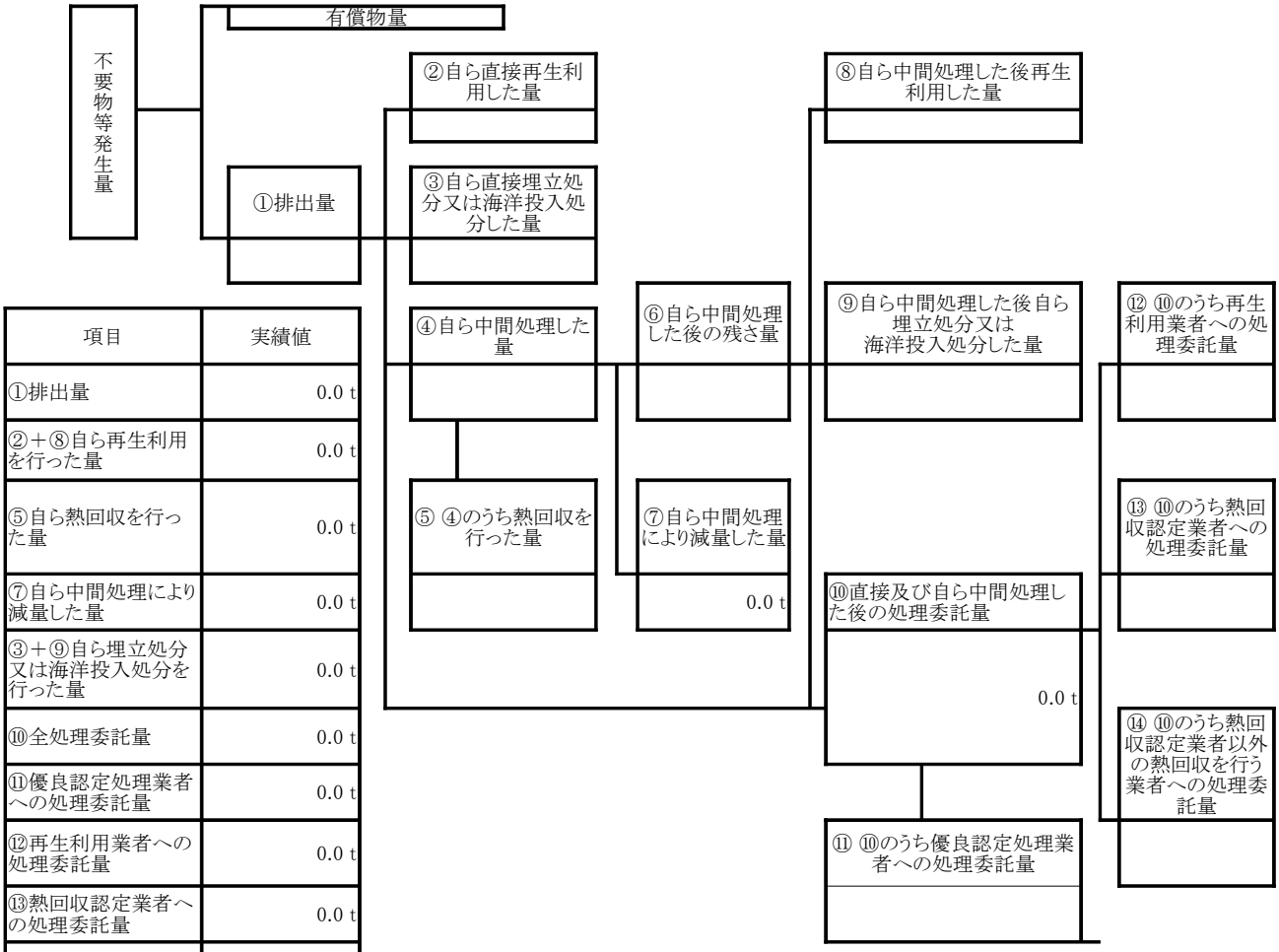
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



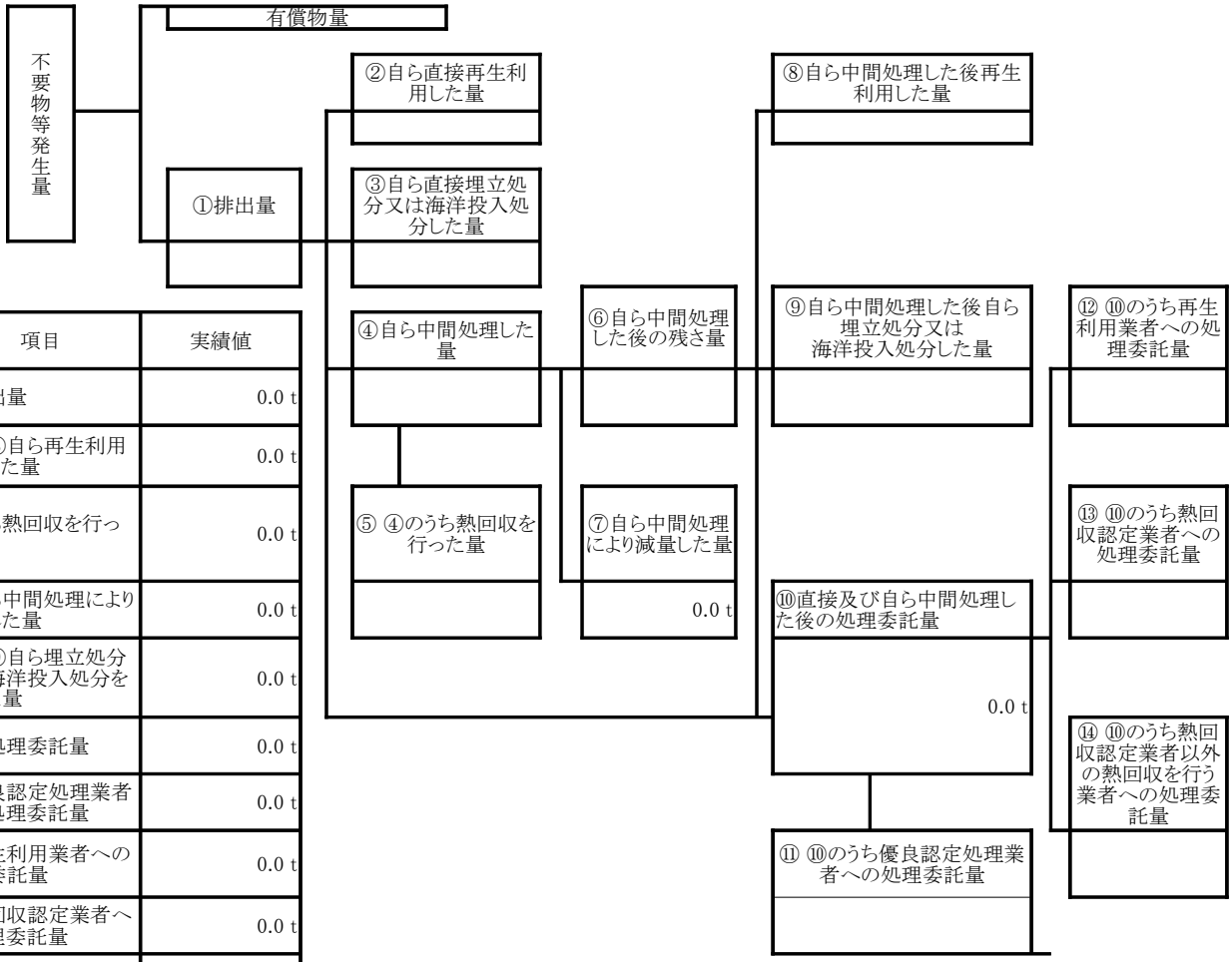
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



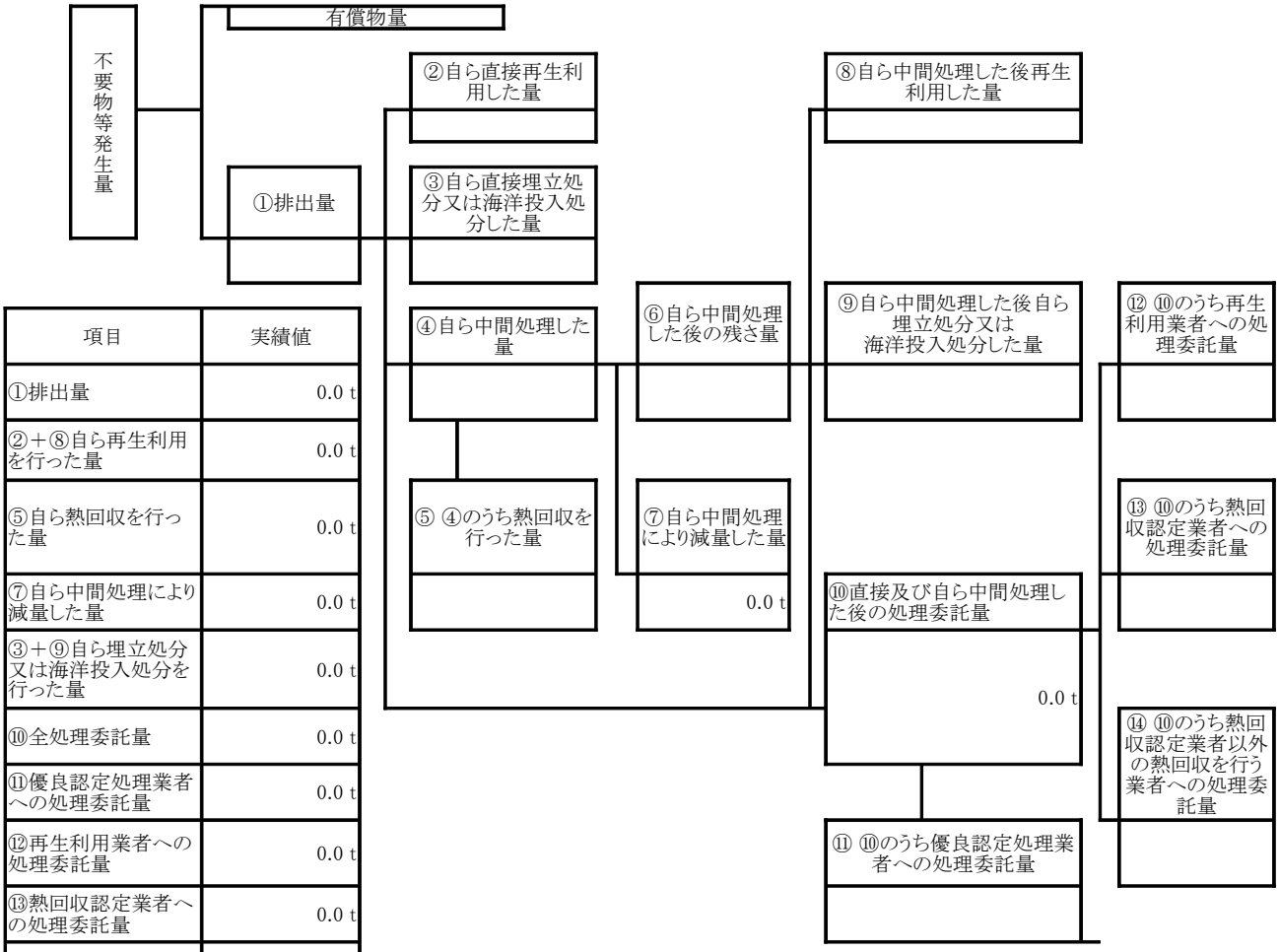
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



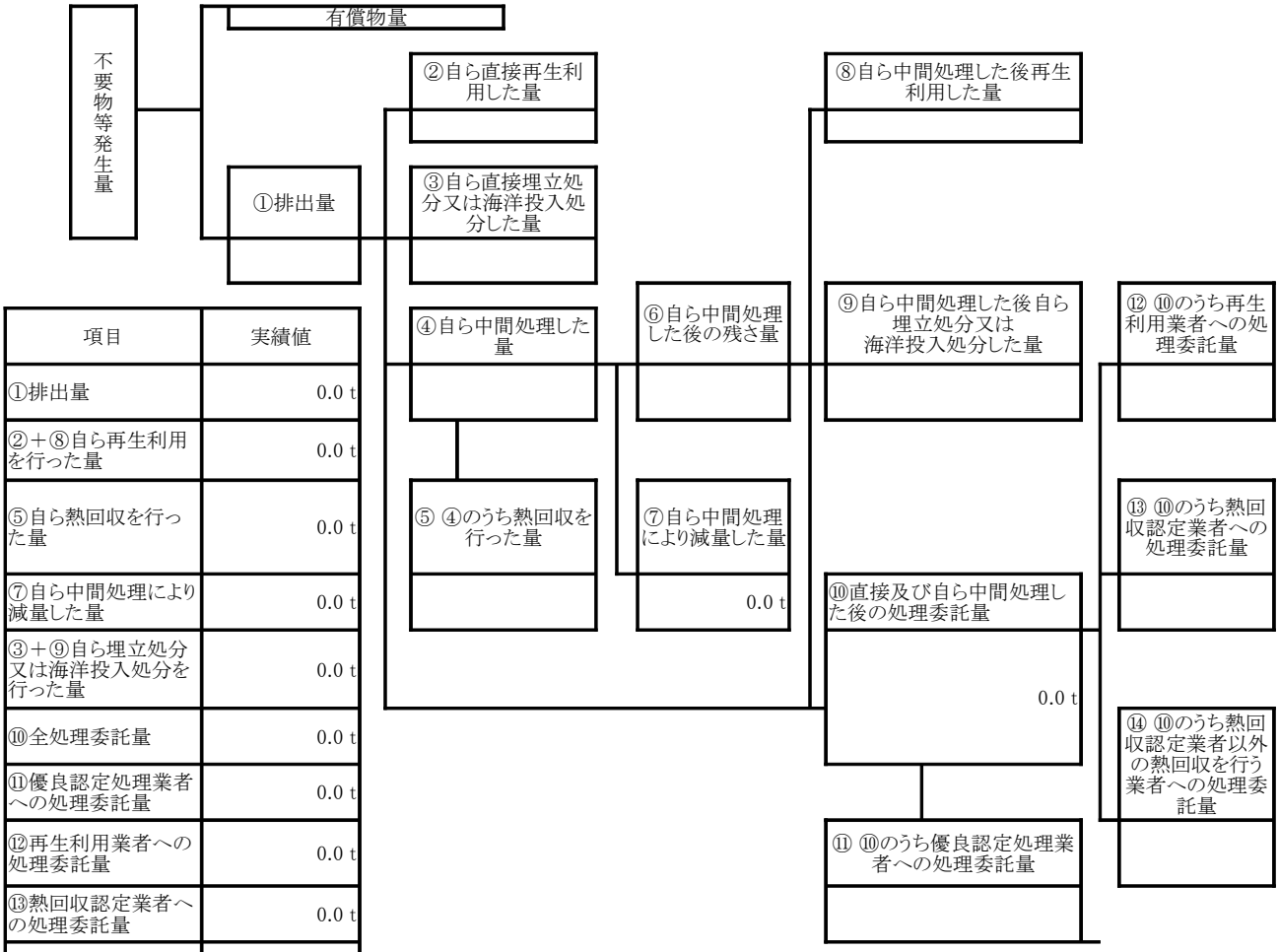
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



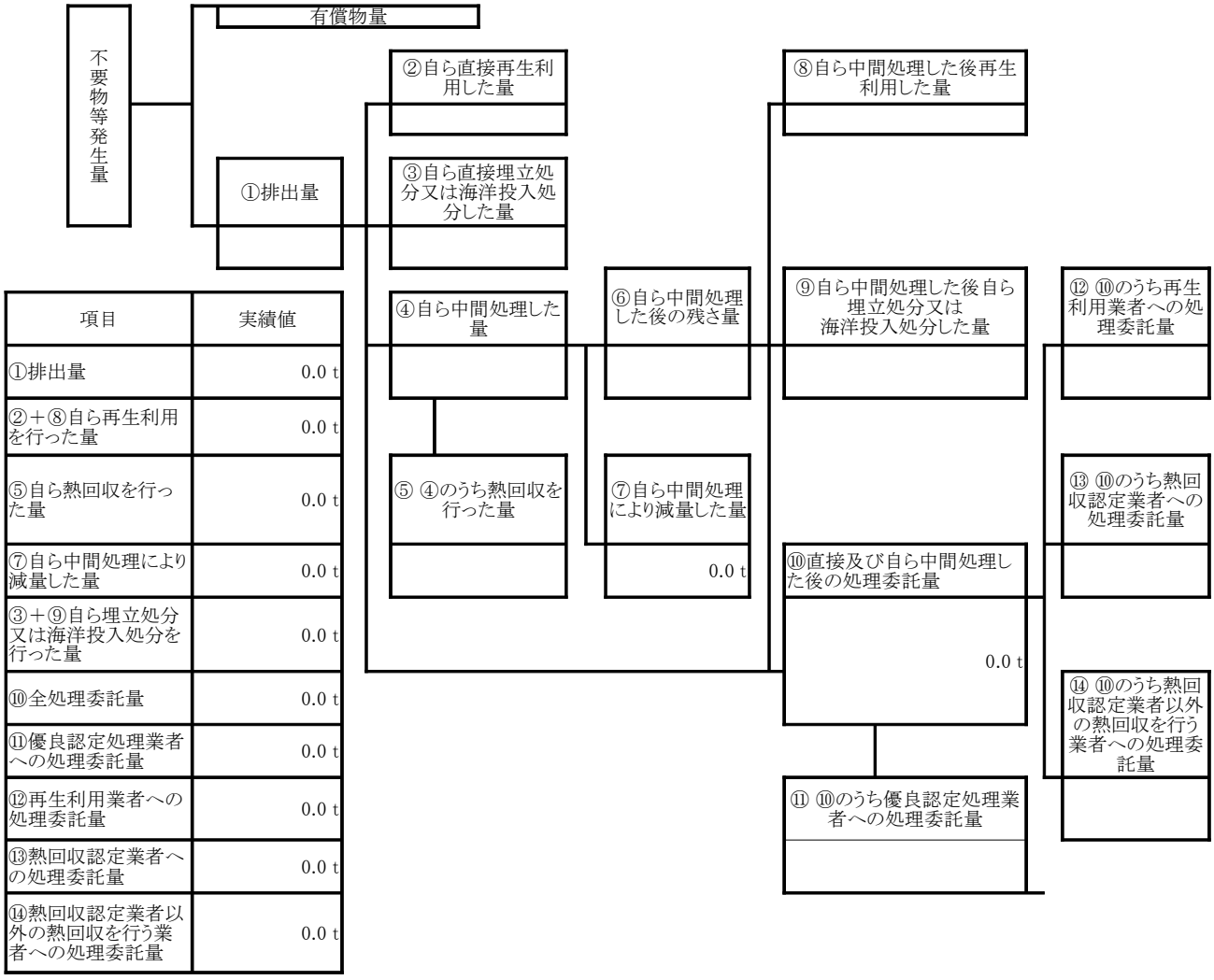
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



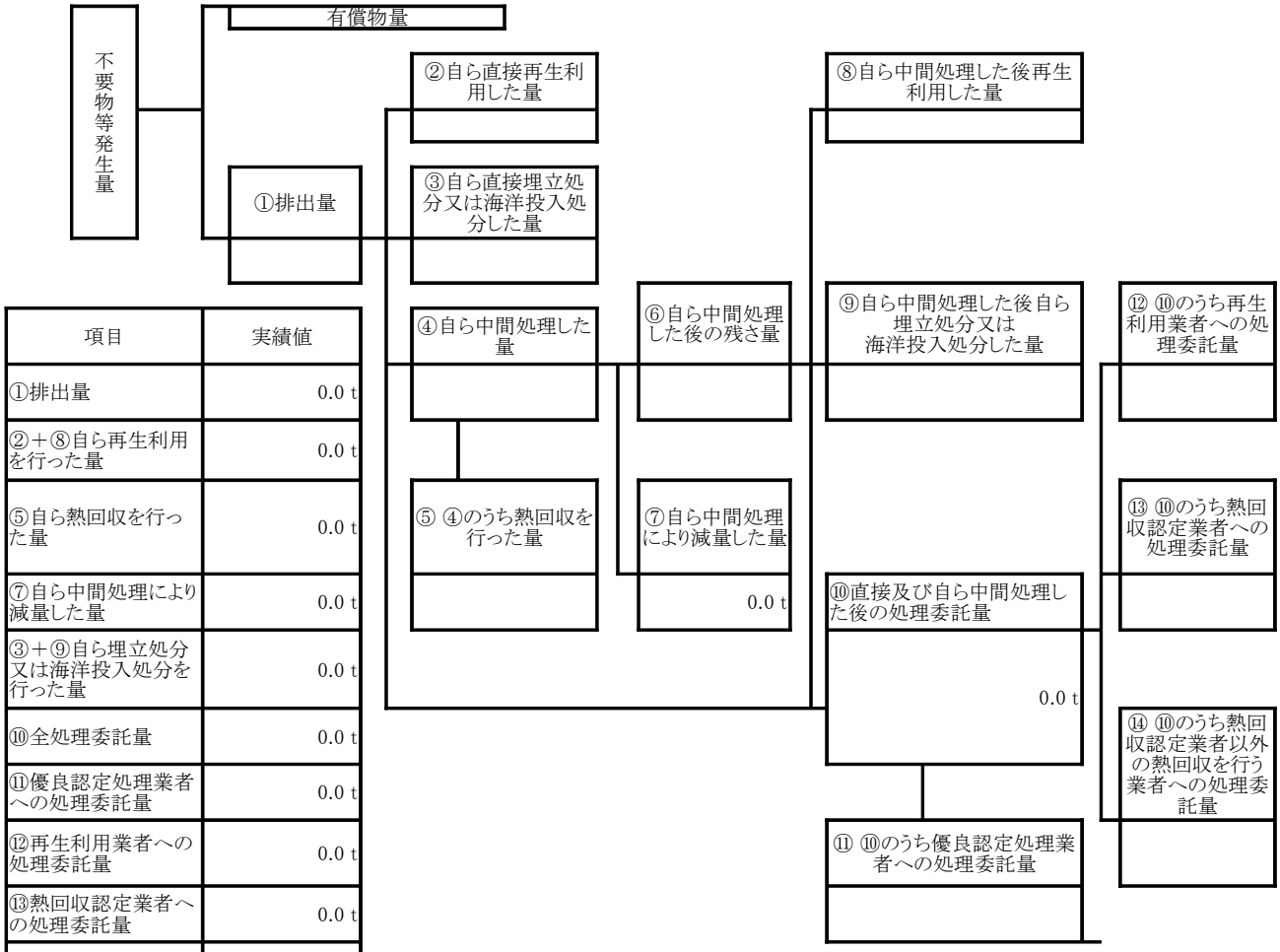
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月１８日

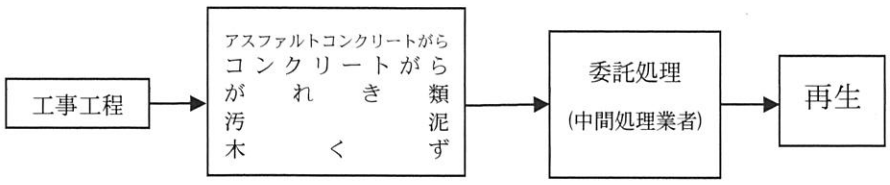
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　市川市鬼越２丁目５番４号
住　所　株式会社　大　進　工　業
氏　名　　代表取締役　五十子　祐輝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７（３３６）２８９６

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大進工業
事業場の所在地	市川市鬼越２丁目５番４号
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

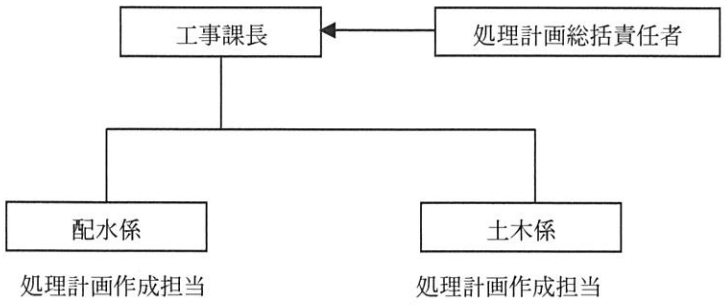
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高　５億円
③従業員数	３７人（正社員３７人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　　5　年度）実績】　　別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	排　出　量	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組）				
② 計画	【目標】　　別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	排　出　量	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組）				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類： 工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類： 原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="4">【前年度（　　5　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="4">【目標】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="4">【前年度（　　5　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="4">【目標】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（　　５　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="5">【目標】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（　　５　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="5">【目標】　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="6">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
排出量	3995.1t	154.7t	4007.0t	26.6t	0.4t					

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
排出量	3990.0t	150.0t	4000.0t	26.0t	0t					

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進

別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

③ 現状

【前年度（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（今後実施する予定の取組）

特になし

別紙

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

④ 現状

【前年度（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					

（今後実施する予定の取組）

特になし

別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

⑤ 現状

【前年度（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（今後実施する予定の取組）

特になし

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
全処理委託量	3995.1t	154.7t	4007.0t	26.6t	0.4t					
優良認定処理業者処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
再生利用業者への処理委託量	3995.1t	154.7t	4007.0t	26.6t	0.4t					
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					

（これまでに実施した取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。

別紙

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリトがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
全処理委託量	3990.0t	150.0t	4000.0t	26.0t	0t					
優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
再生利用業者への処理委託量	3990.0t	150.0t	4000.0t	26.0t	0t					
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 18日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住所　市川市鬼越２丁目５番４号
氏名　株式会社 大進工業
代表取締役 五十子 祐輝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047（336）2896

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 大進工業
事業場の所在地	市川市鬼越2丁目5番4号
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

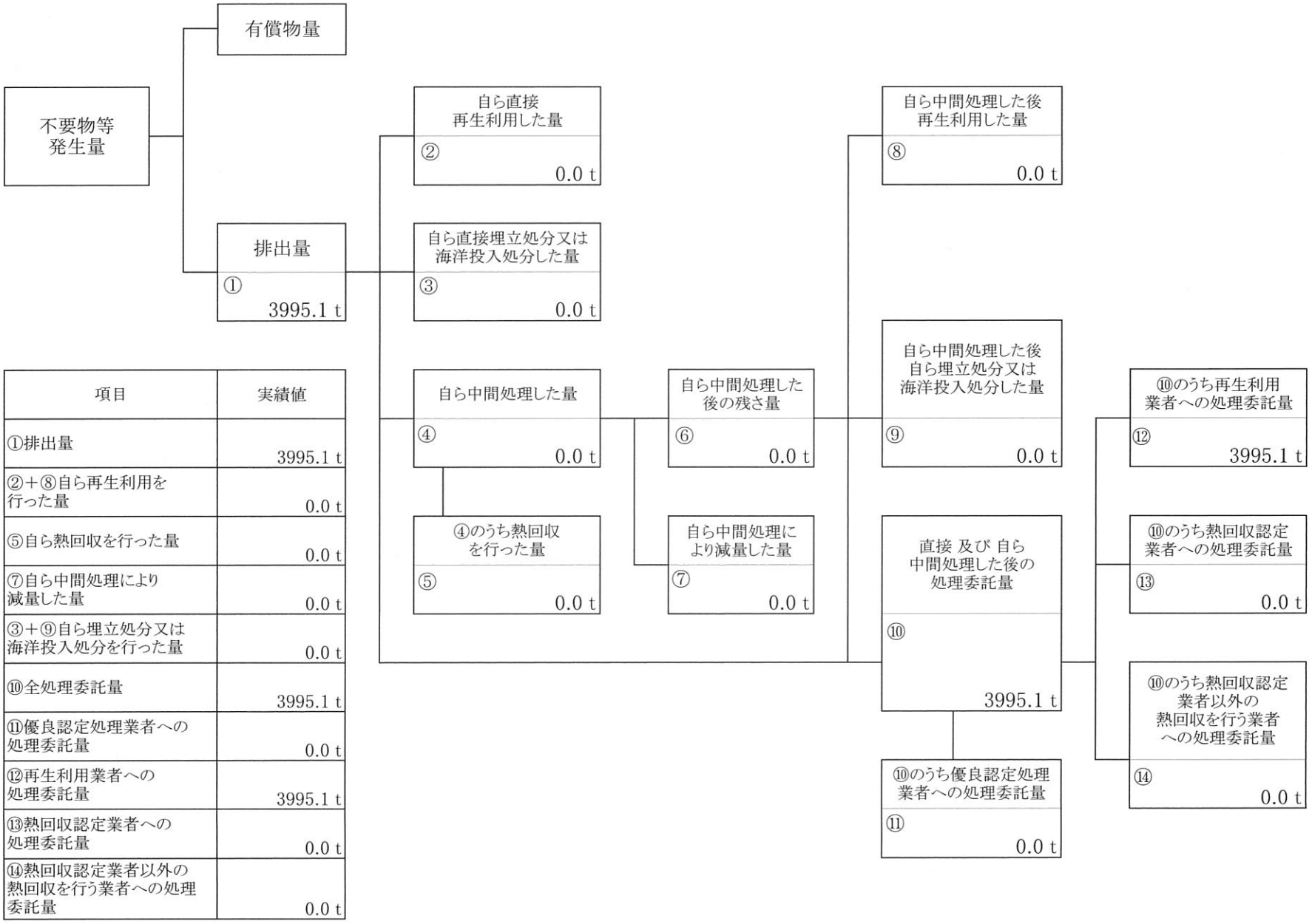
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,300.0 t	全処理委託量	3,300.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3,300.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　アスファルト・コンクリートがら　　）

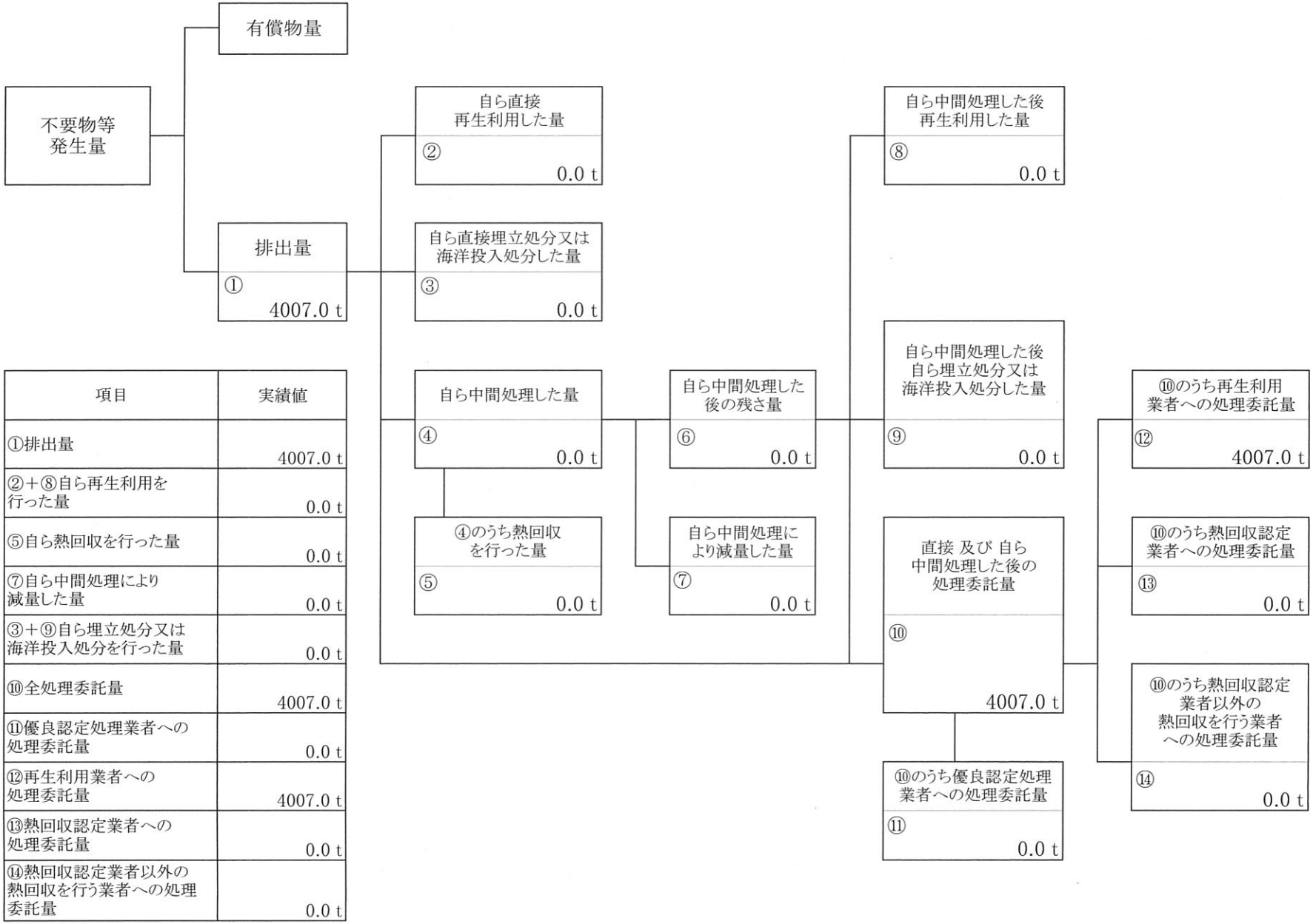


項目	実績値
①排出量	3995.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3995.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3995.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

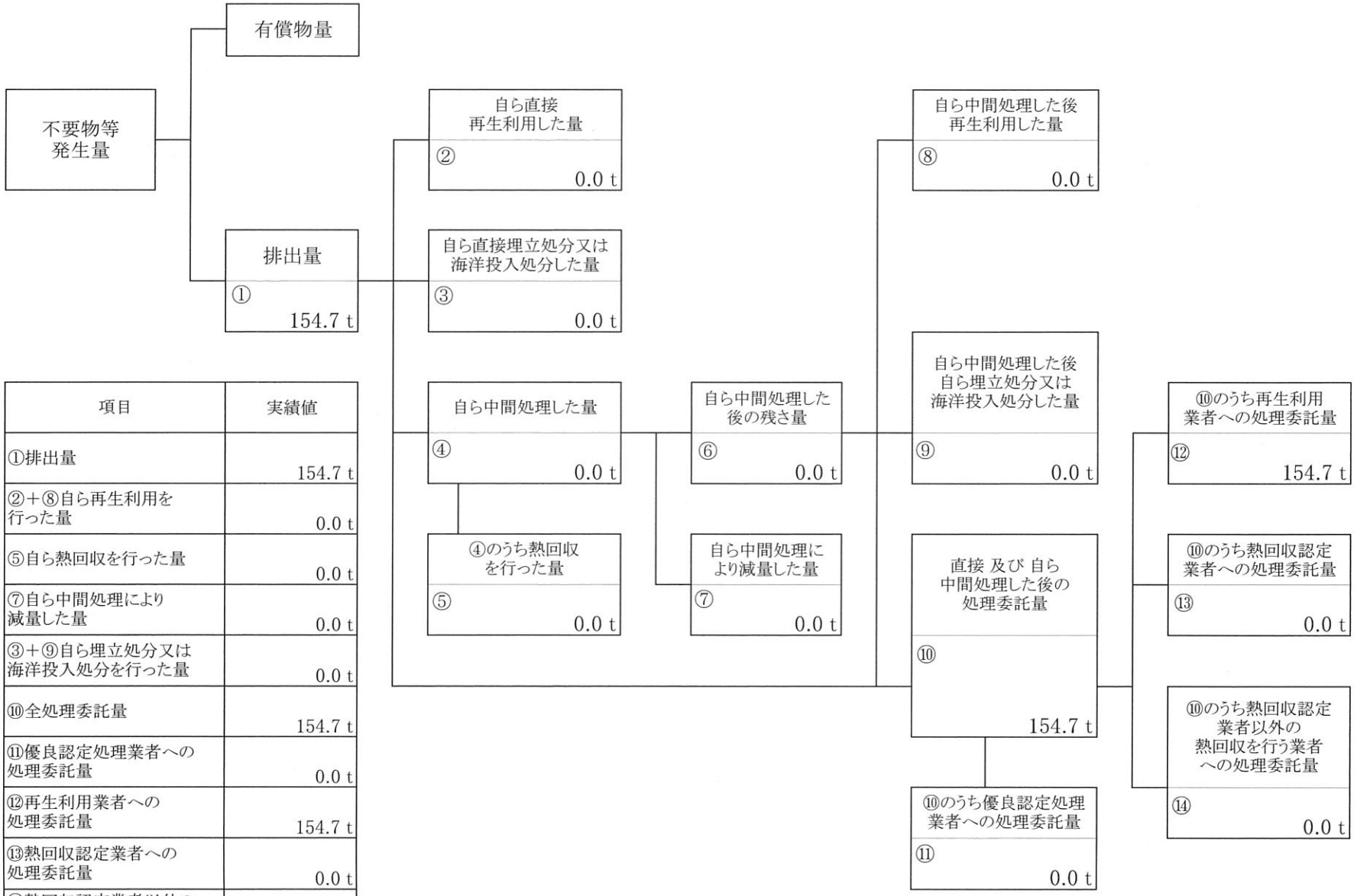


項目	実績値
①排出量	4007.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4007.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4007.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　コンクリートがら　　）

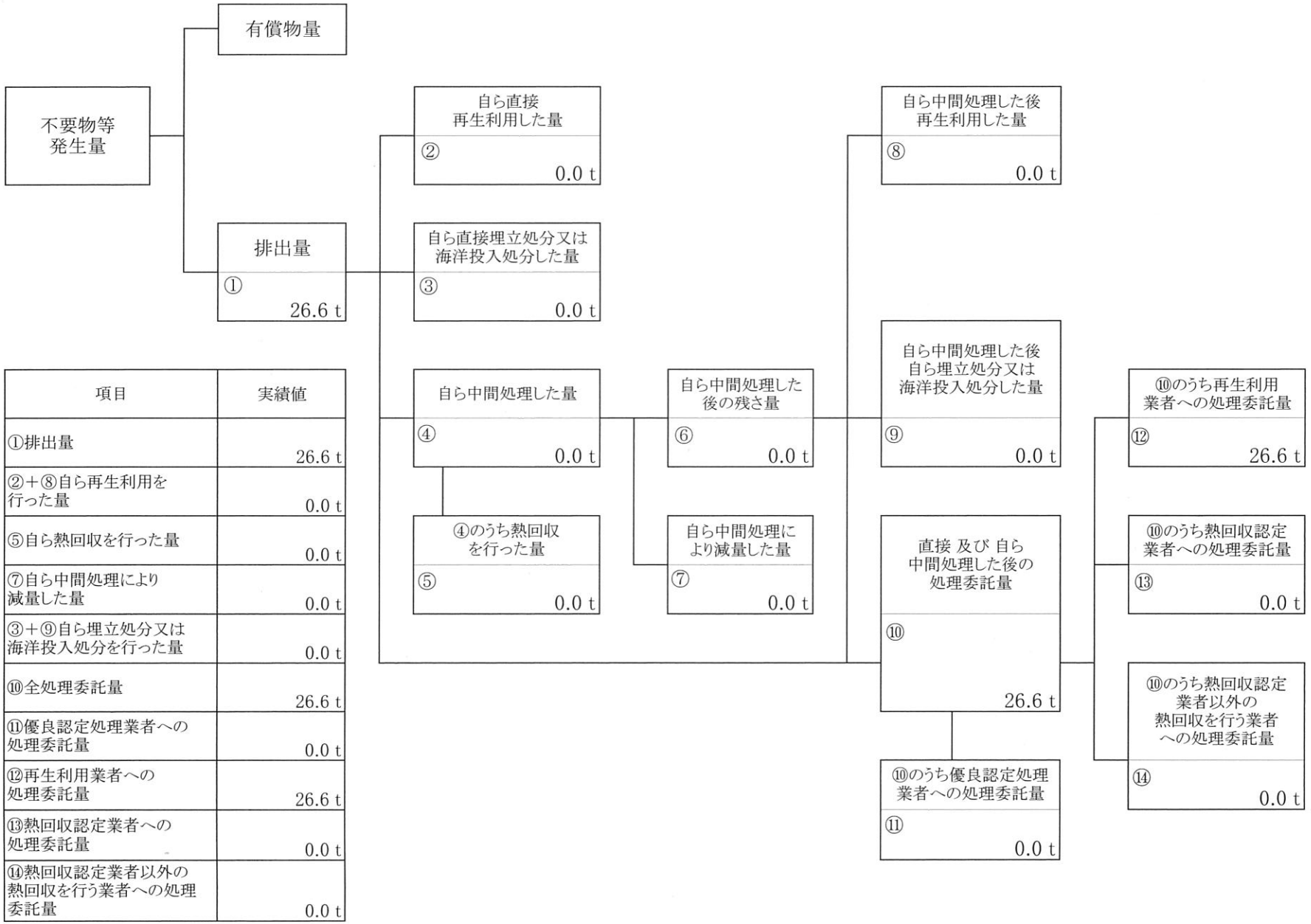


項目	実績値
①排出量	154.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	154.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	154.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

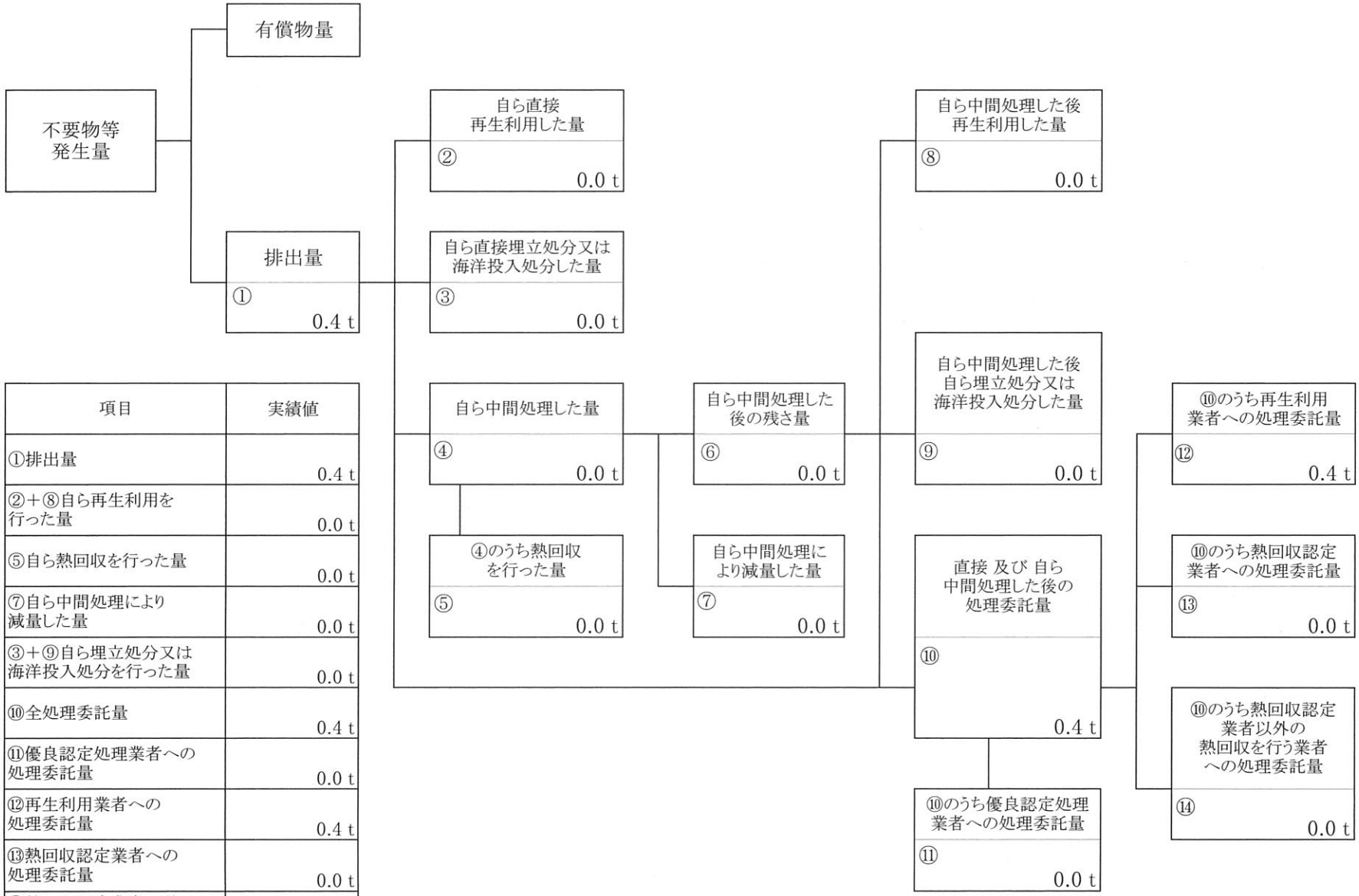


項目	実績値
①排出量	26.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年4月22 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒289-0517
住 所　千葉県旭市萬力1370番地の1
氏 名　大真工業株式会社
代表取締役 伊藤 裕之
電話番号 0479-68-4331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和　5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大真工業株式会社
事業場の所在地	千葉県旭市萬力1370番地の1（現場:旭市 ）
事業の種類	建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

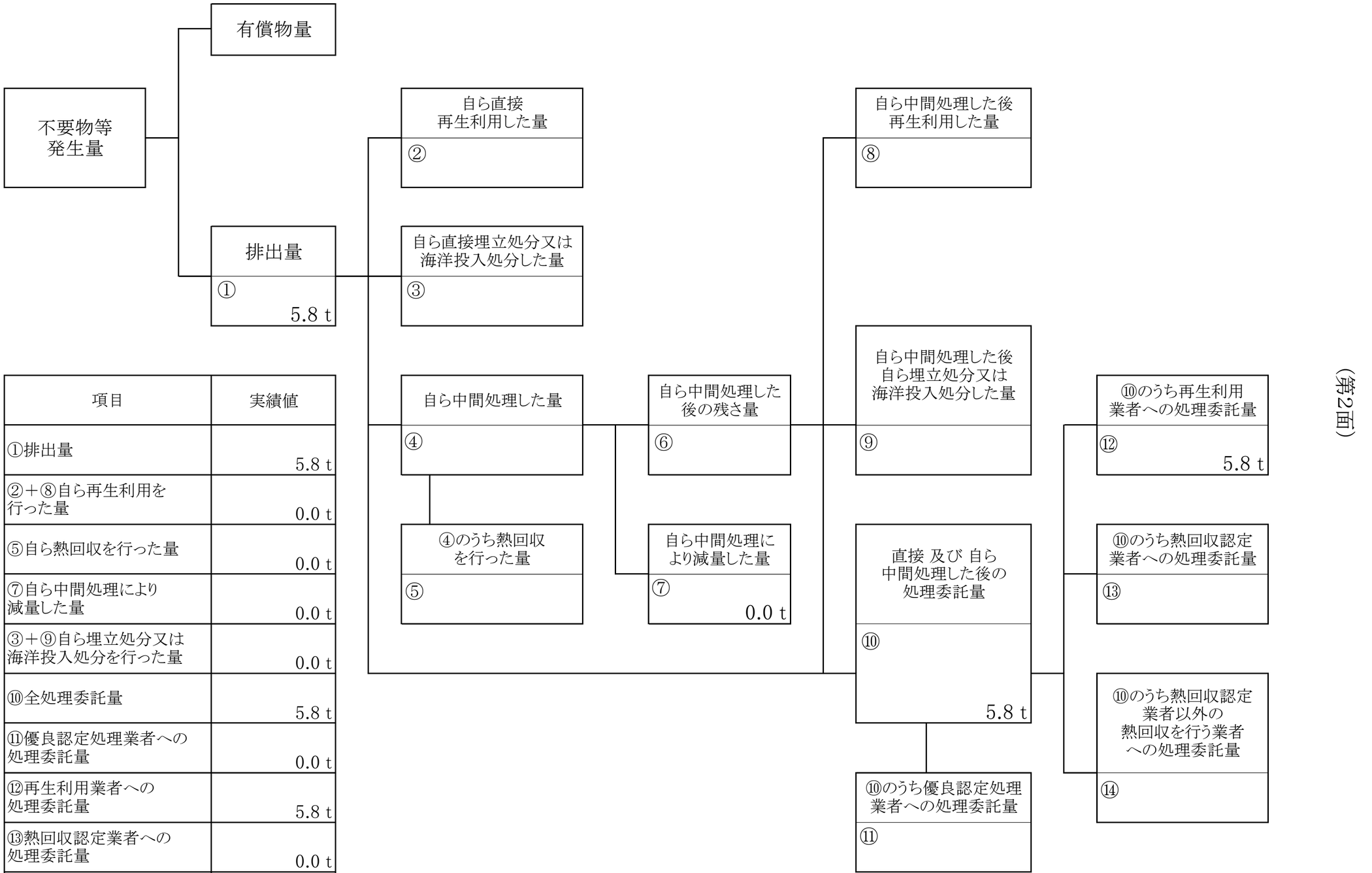
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1733.1 t	全処理委託量	1733.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1733.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

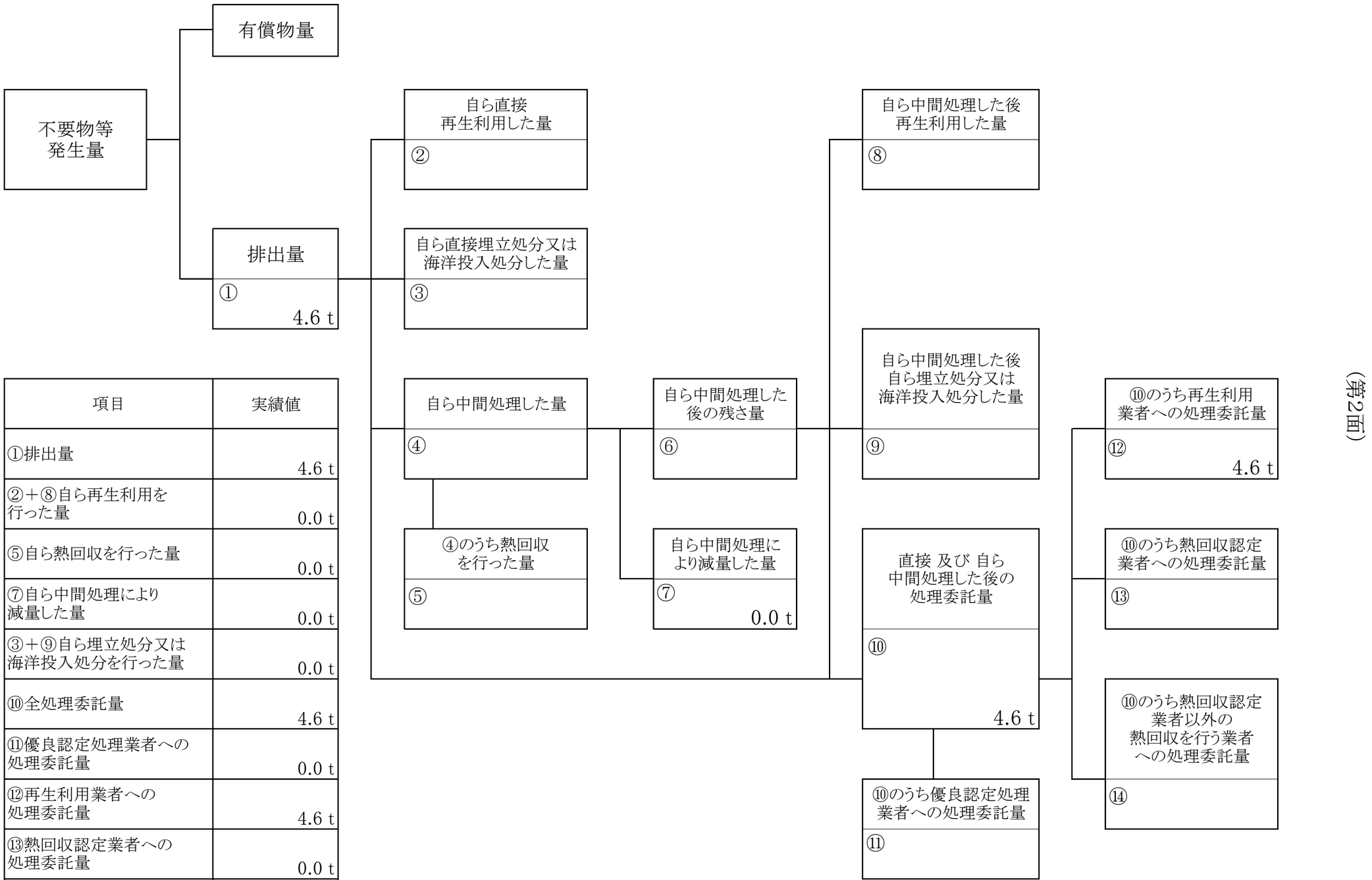


項目	実績値
①排出量	5.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥**　）

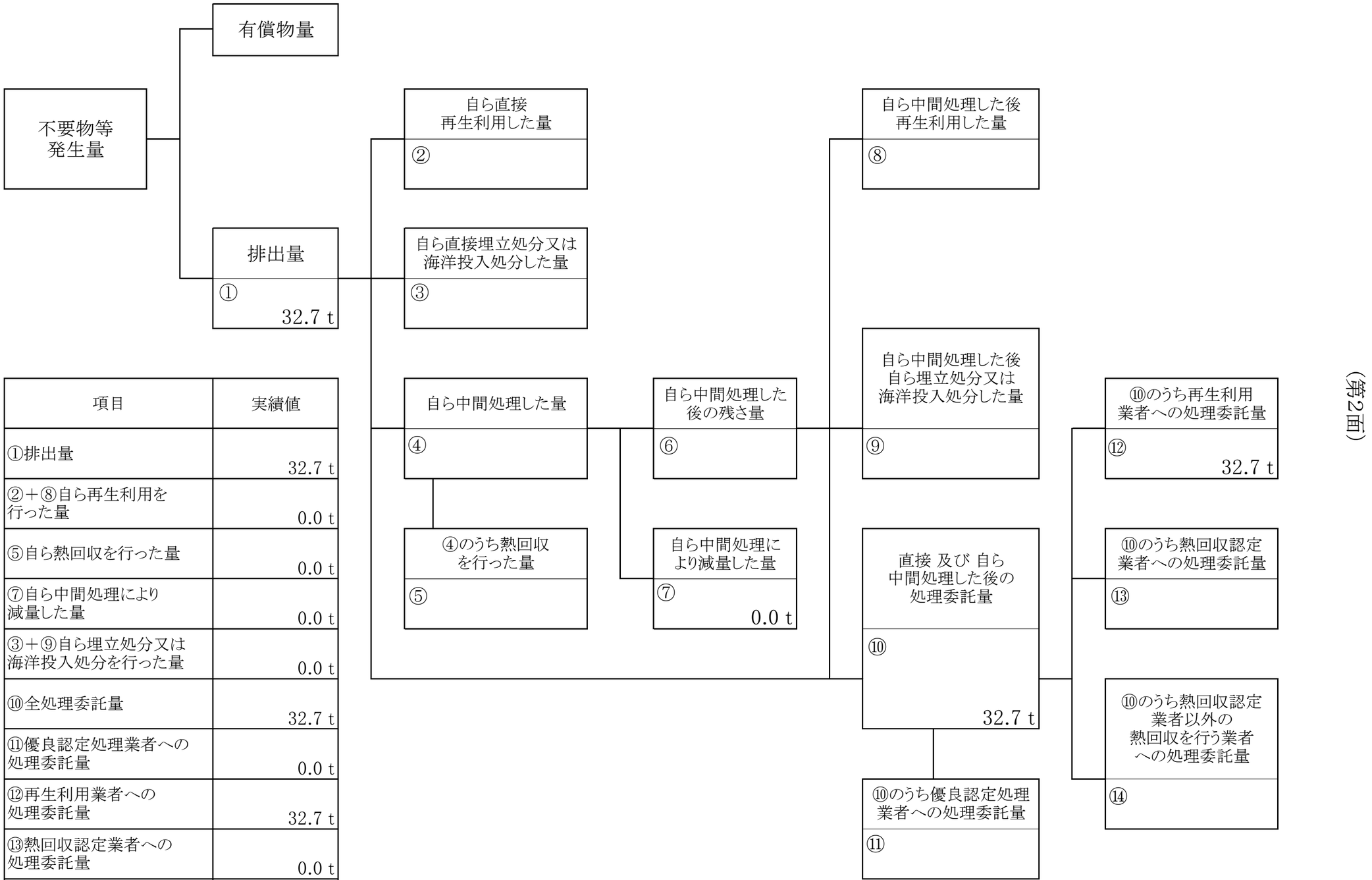


項目	実績値
①排出量	4.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートガラ　）

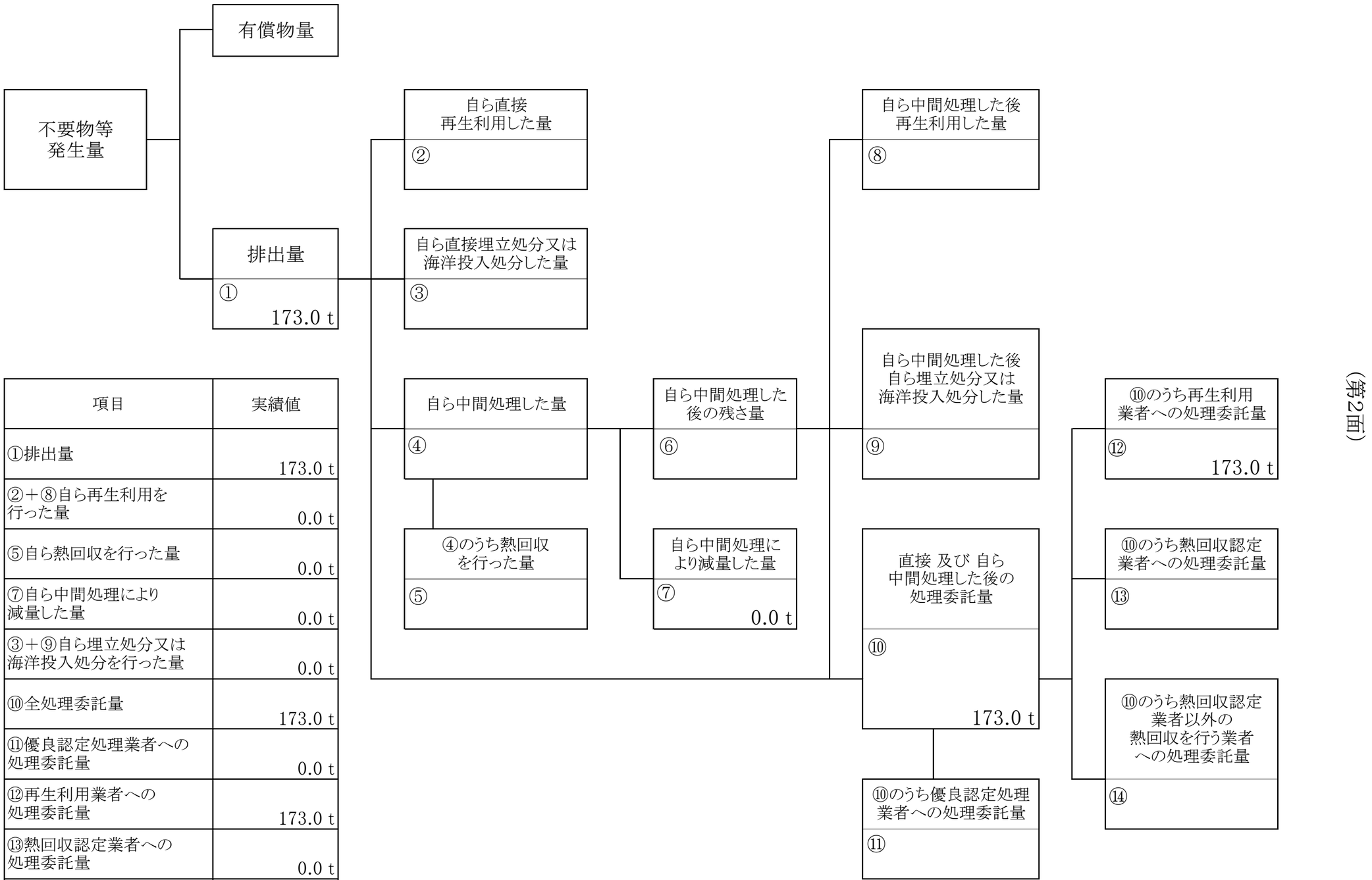


項目	実績値
①排出量	32.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

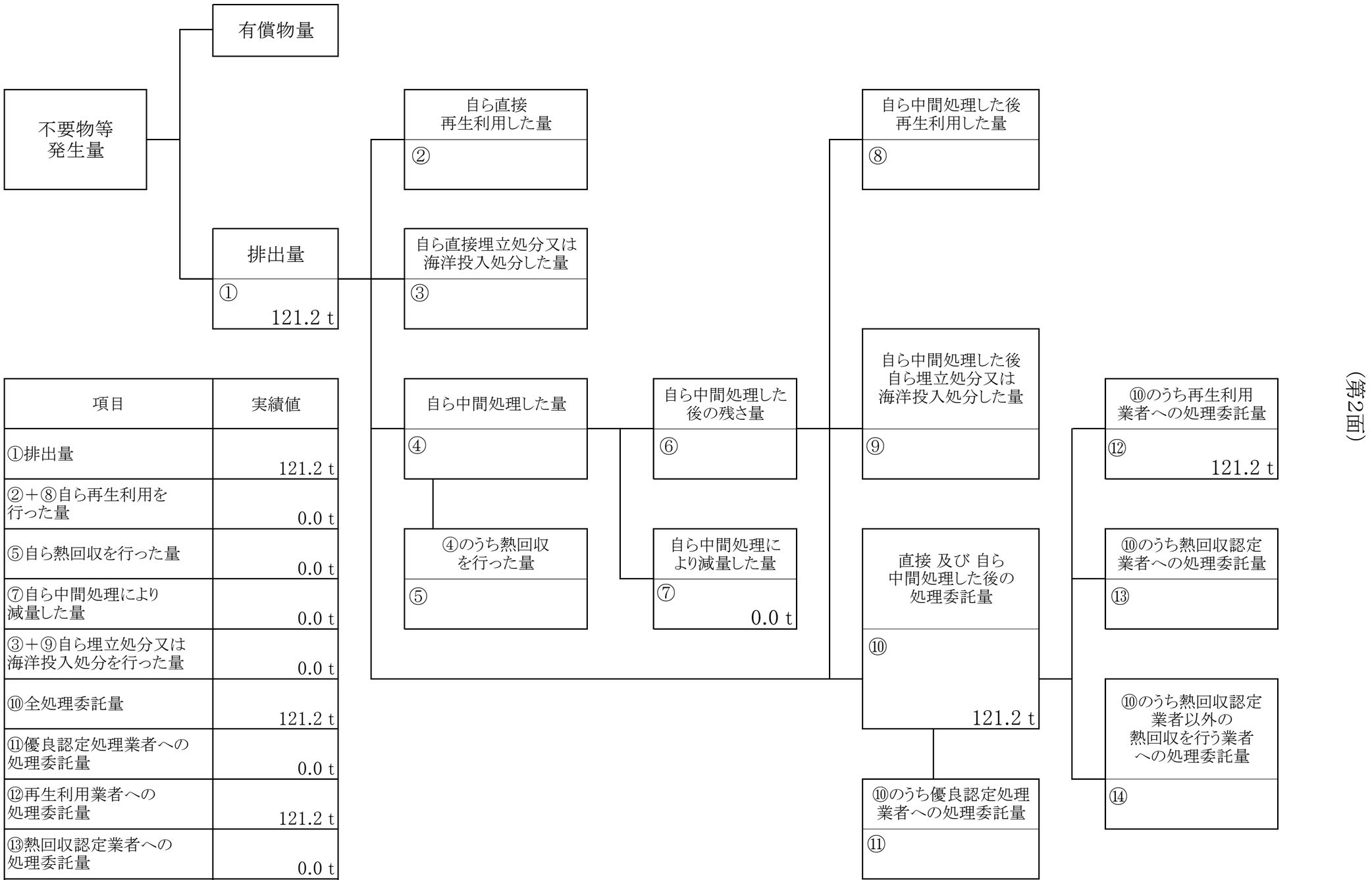


項目	実績値
①排出量	173.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	173.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	173.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリートガラ　）

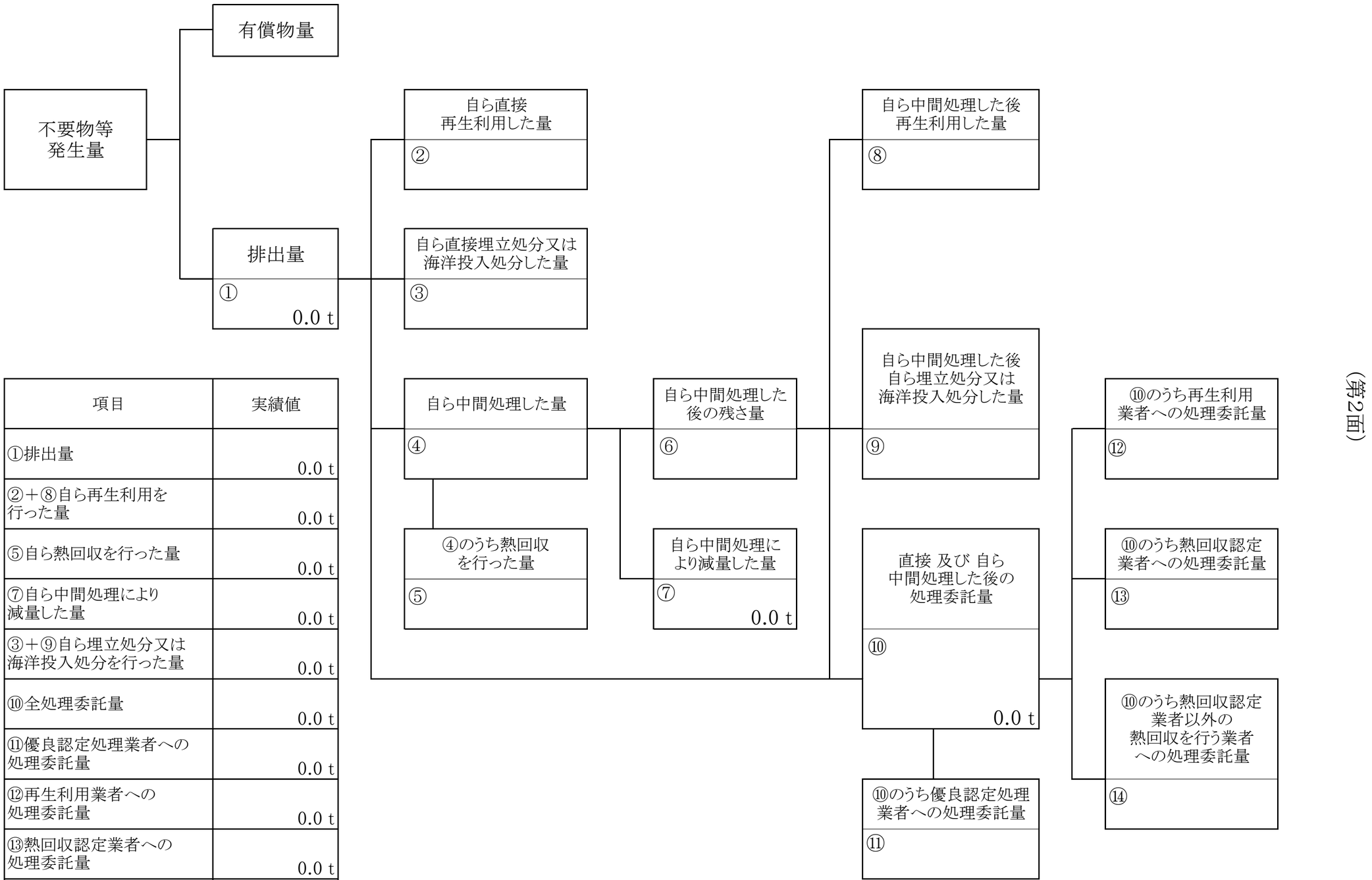


項目	実績値
①排出量	121.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	121.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	121.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃水銀等**　）

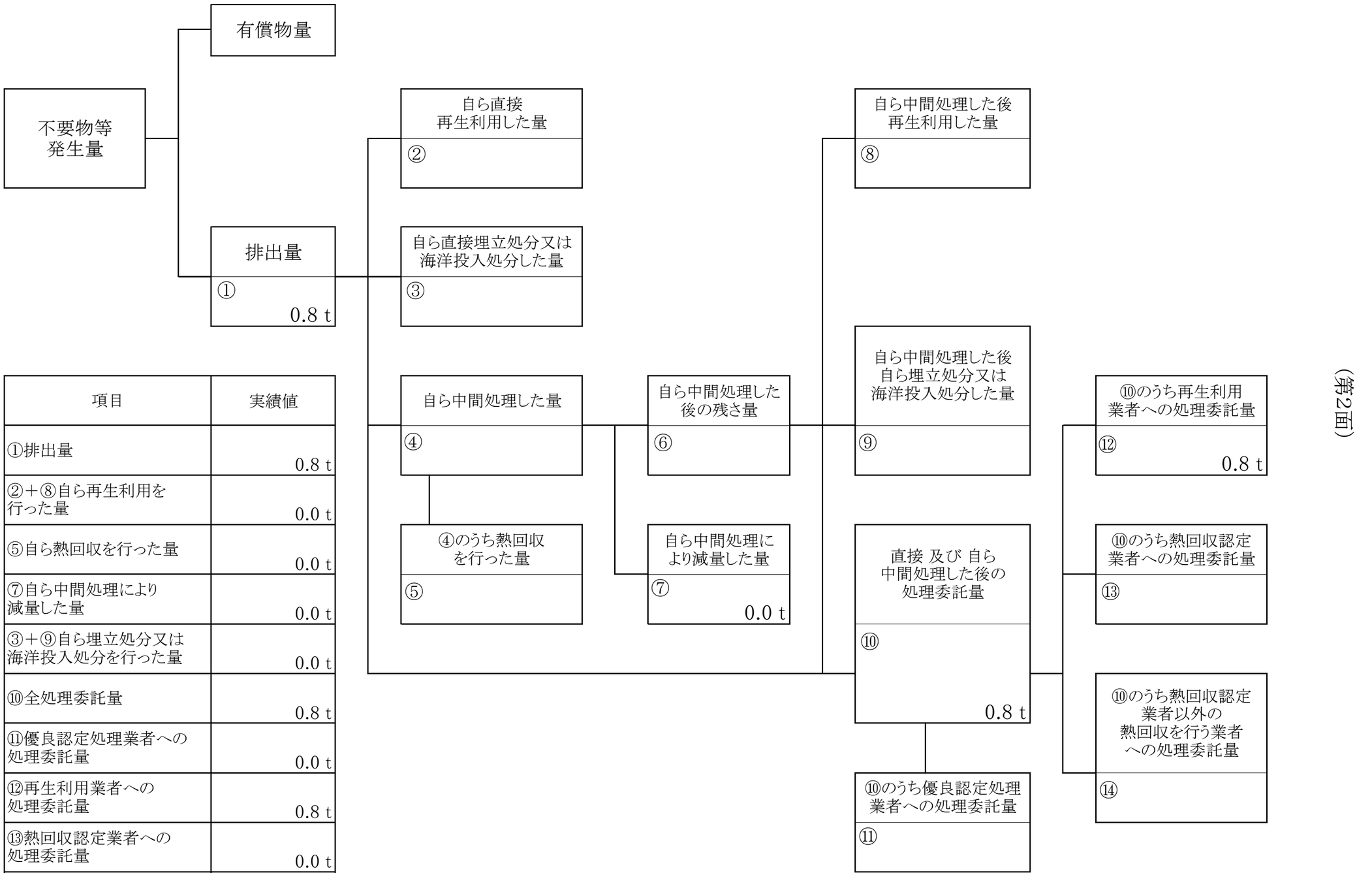


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

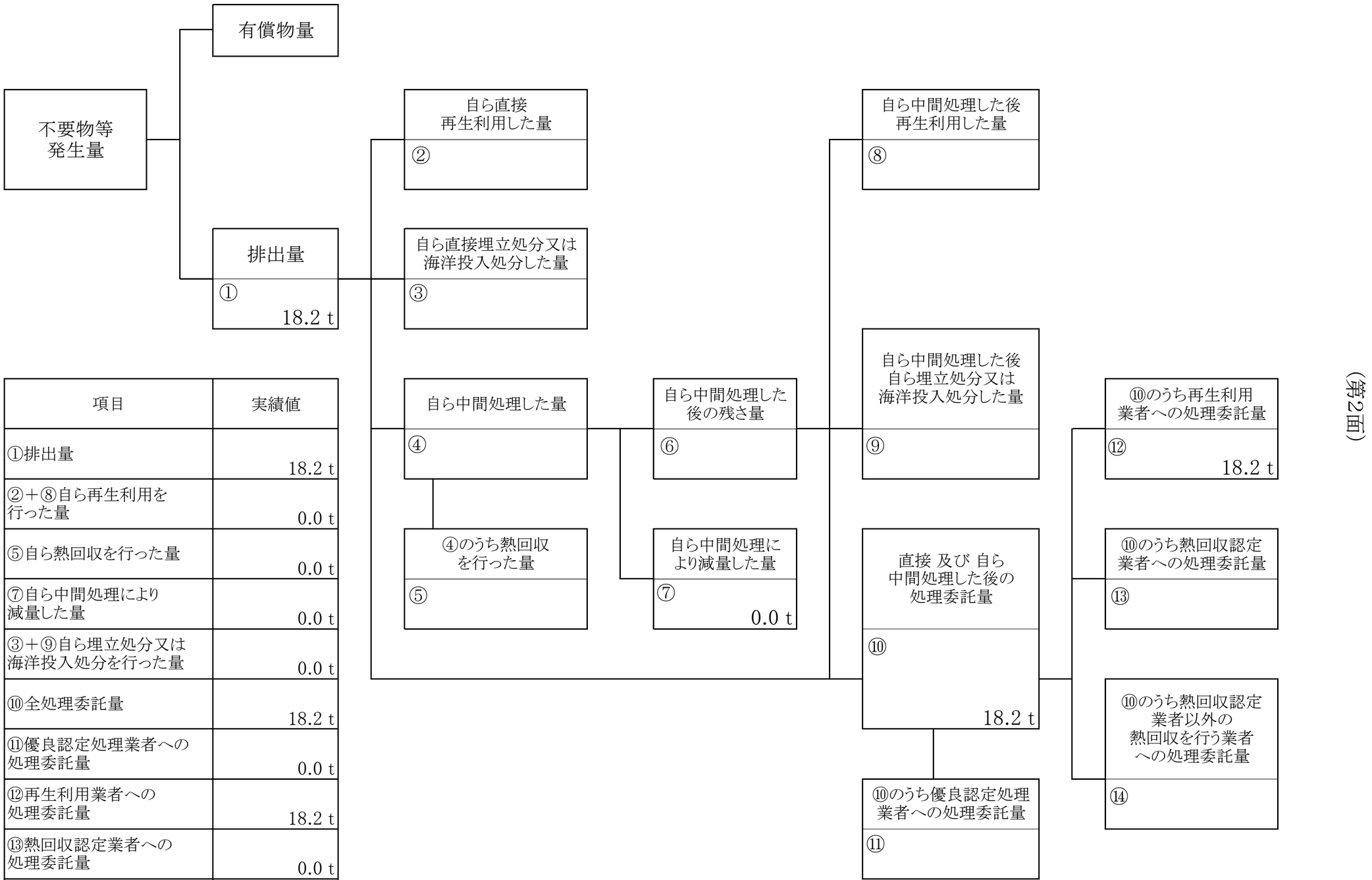


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

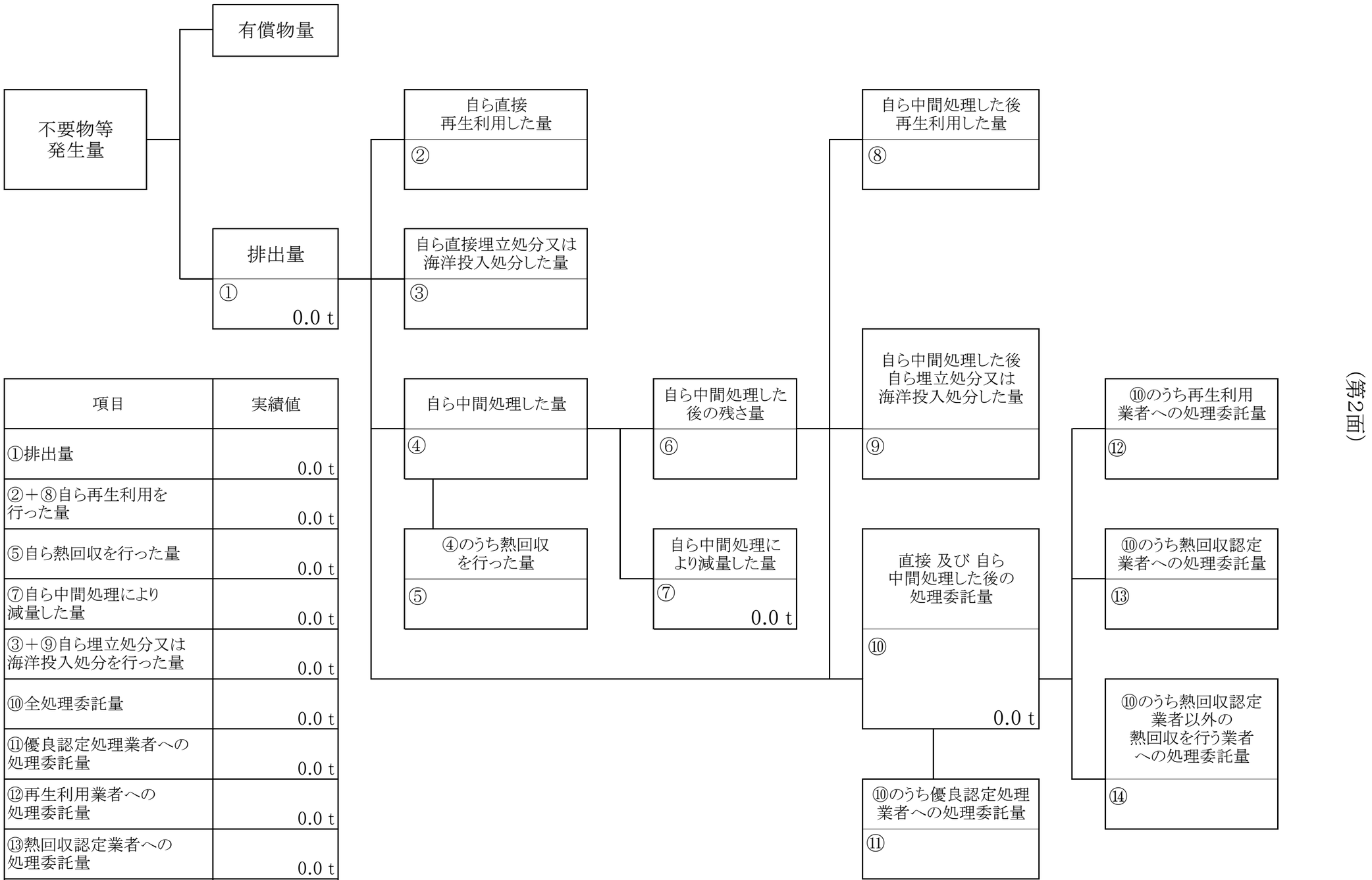


項目	実績値
①排出量	18.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**繊維くず**　）

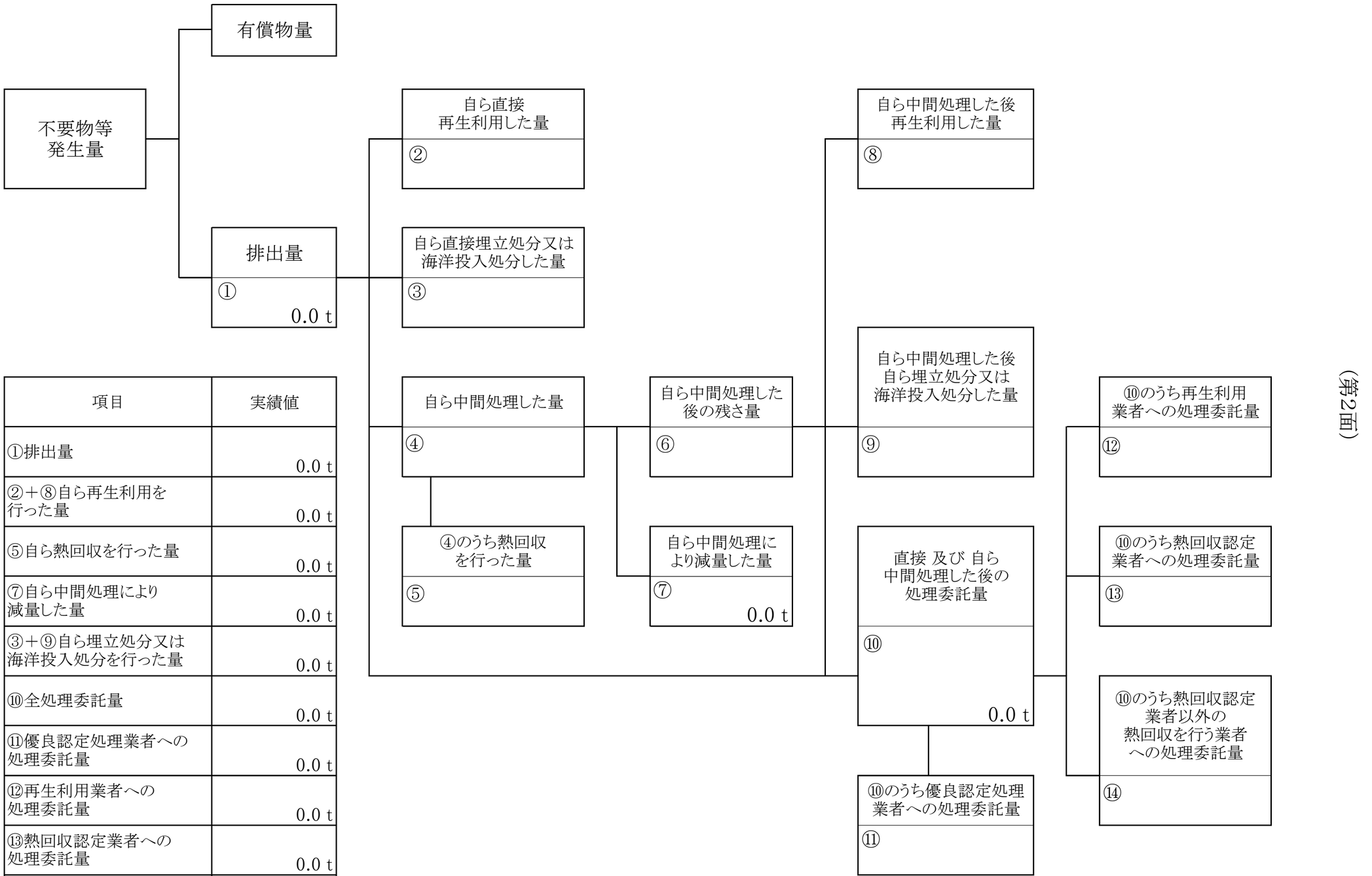


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**管理型混合廃棄物**　）

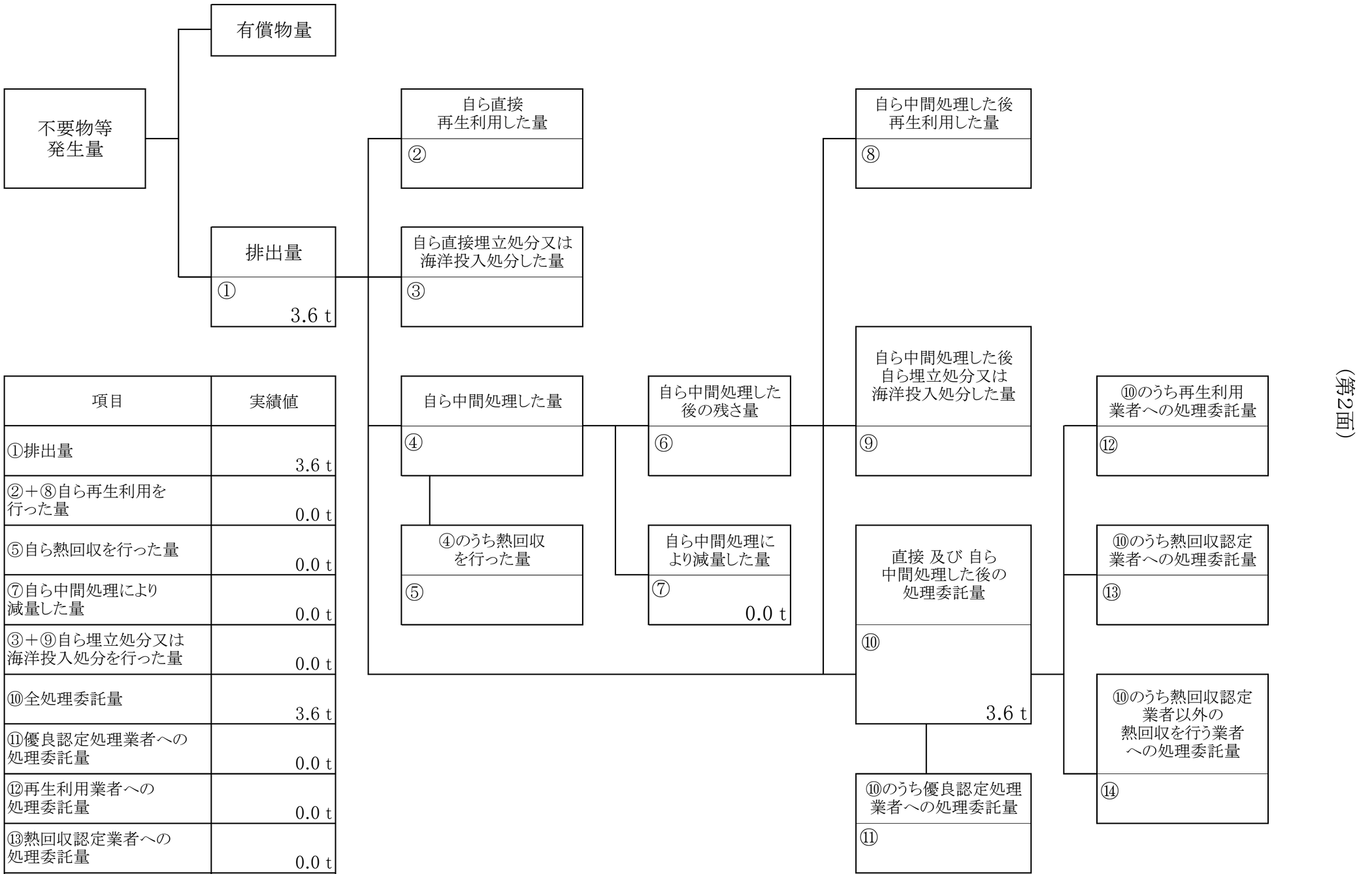


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**安定型混合廃棄物**　）

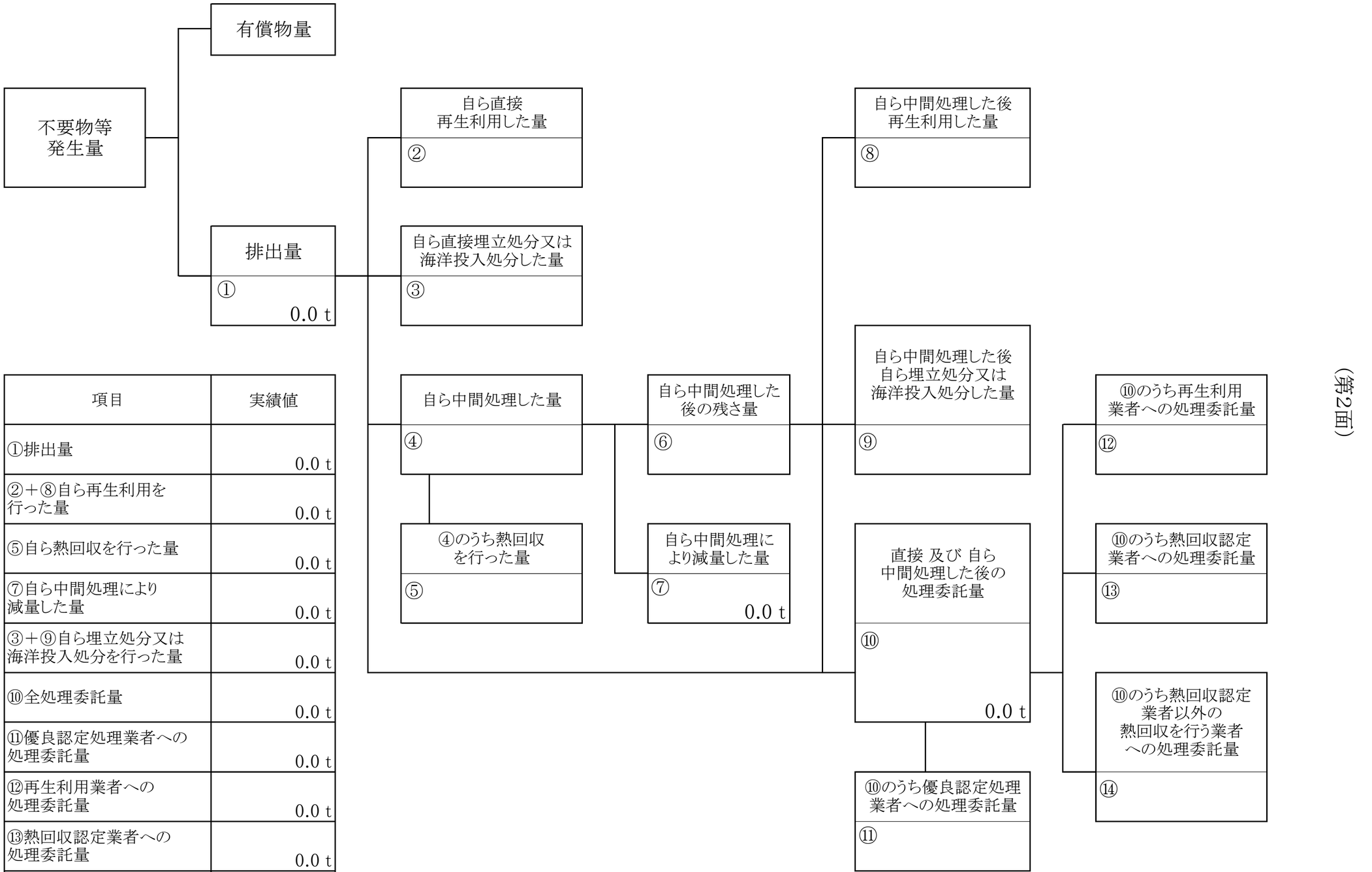


項目	実績値
①排出量	3.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： **廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）** ）

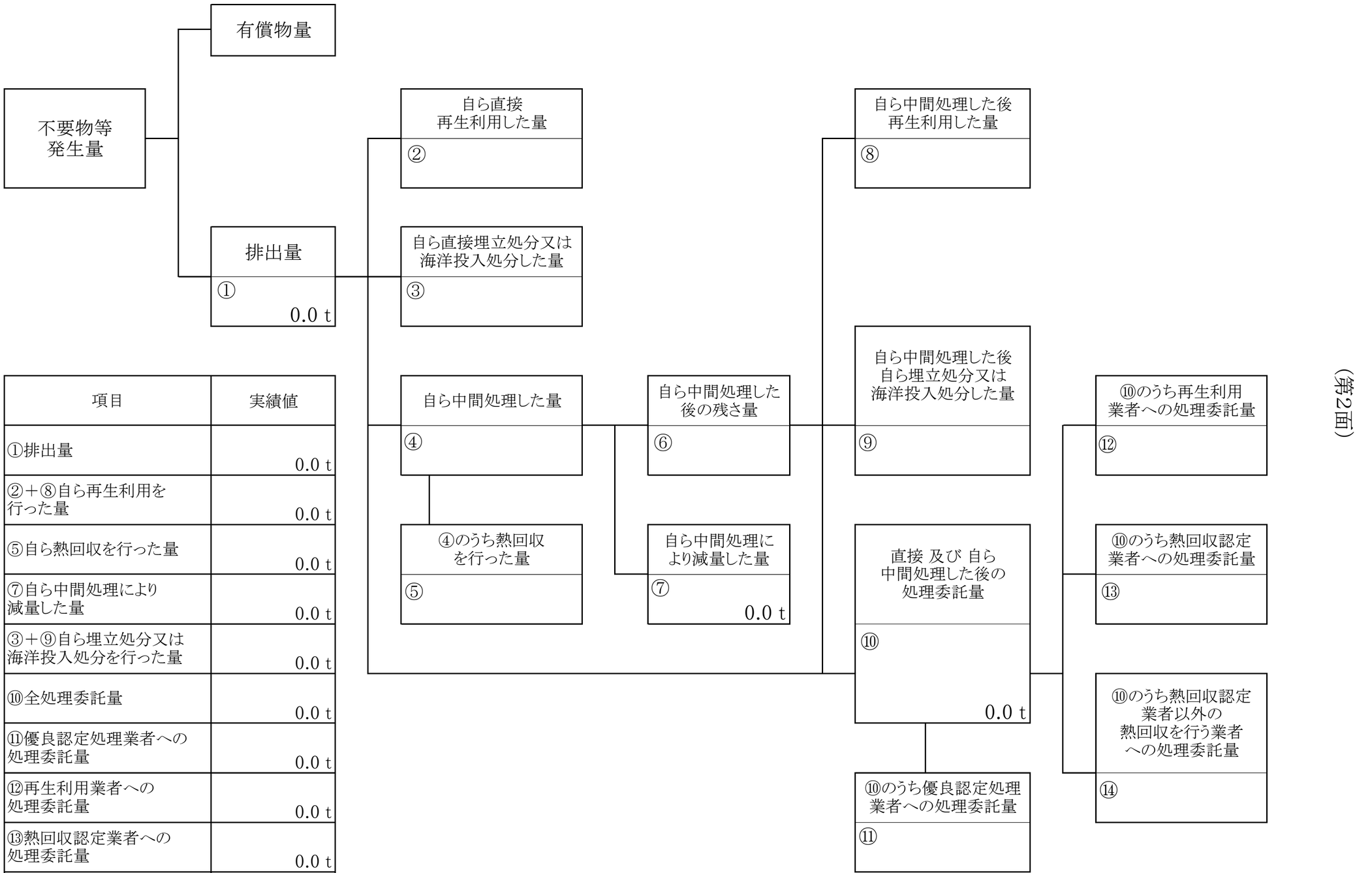


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類（石綿含有産業廃棄物）**　）

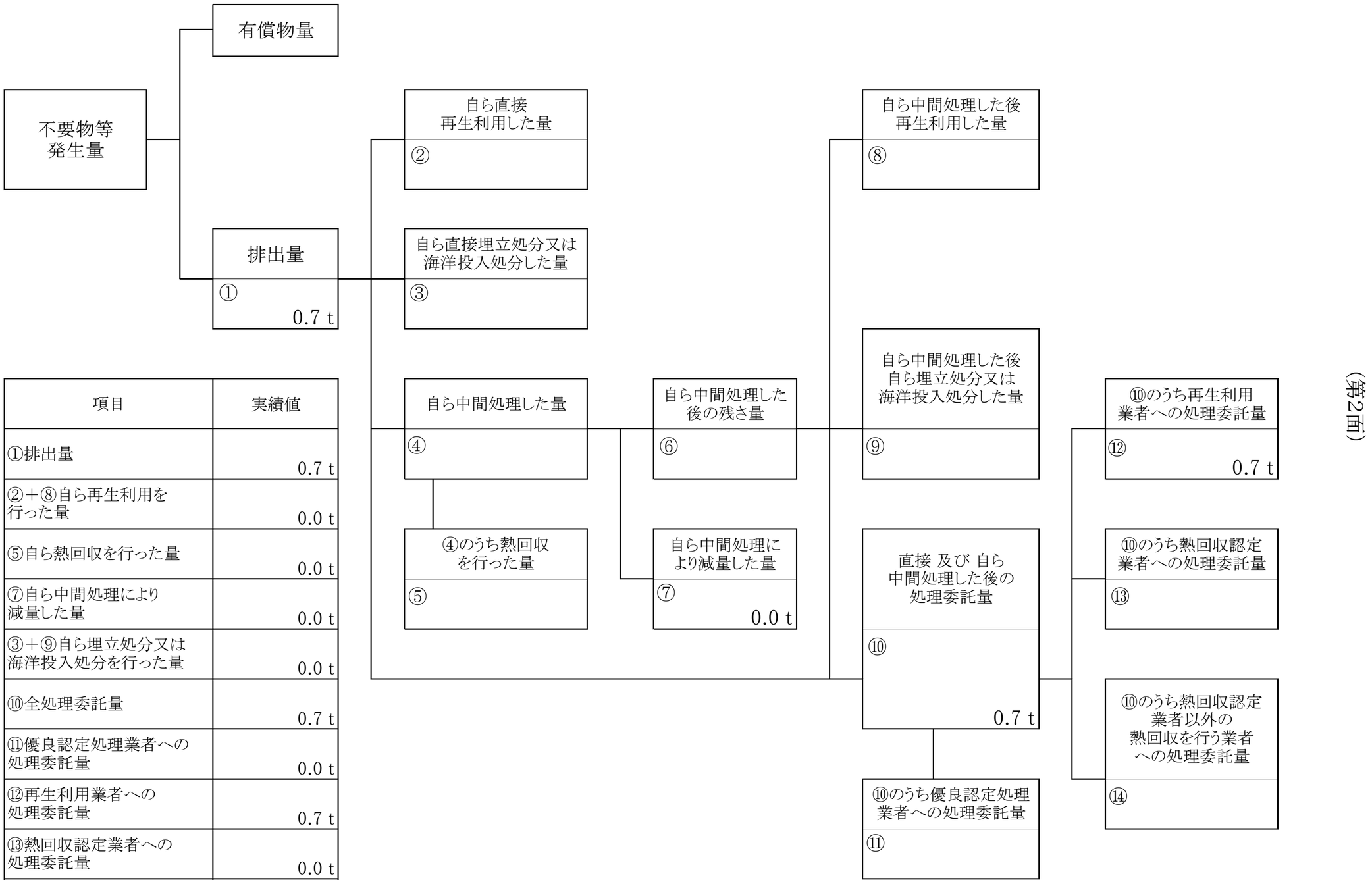


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

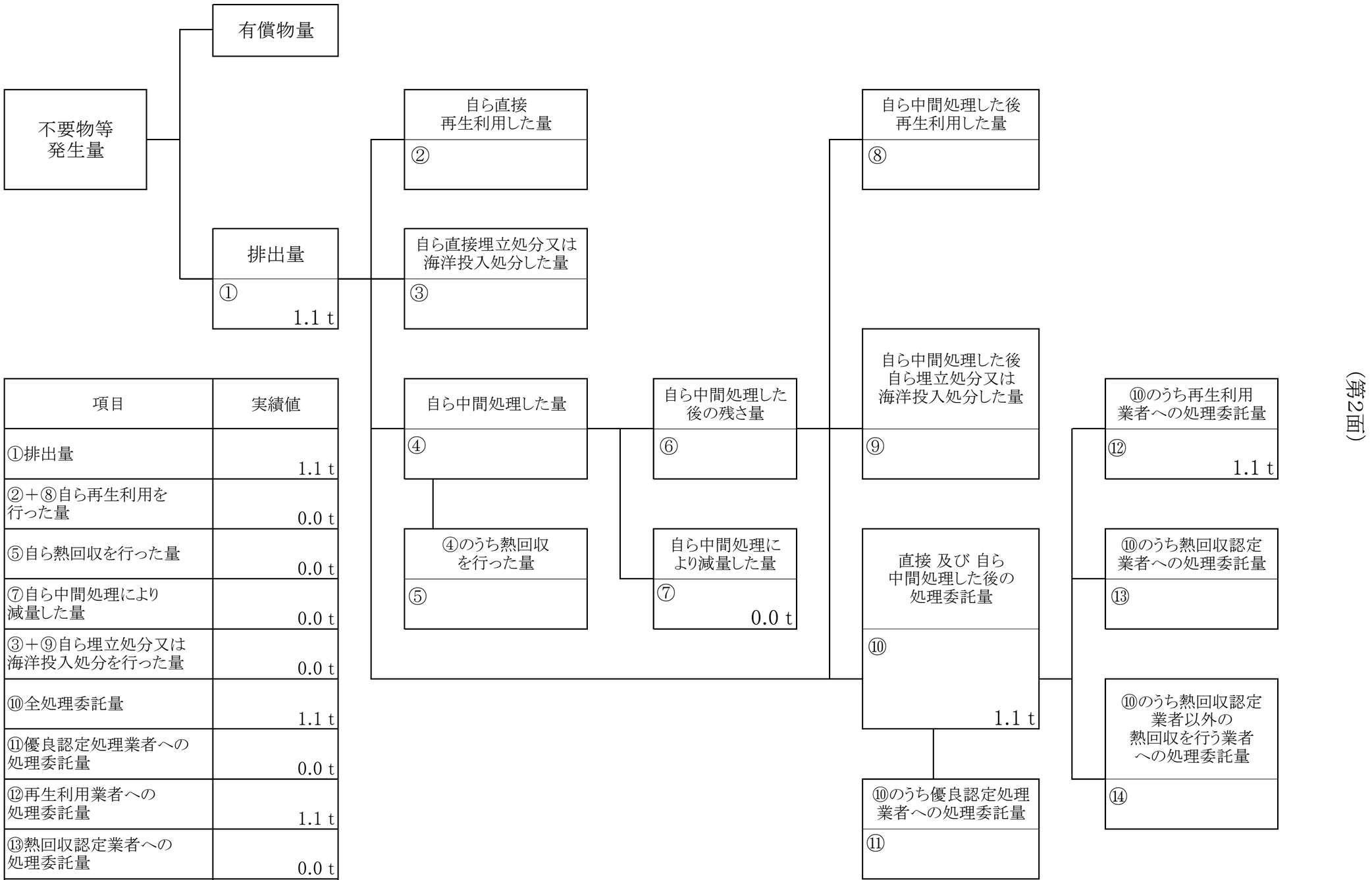


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥・廃アルカリ**　）



項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６　月　12　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒263-0002

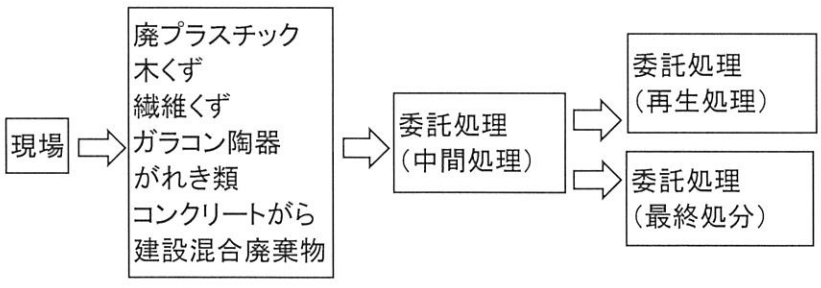
住　所　千葉市稲毛区山王町94-46

氏　名　株式会社　大　成

代表取締役　古野　凌汰

電話番号　043-304-9200

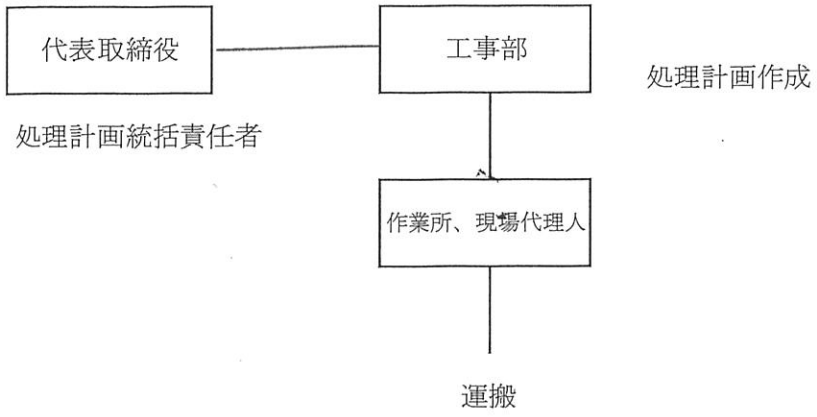
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大　成
事業場の所在地	千葉県内（政令市を除く）の各作業所
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②　事業の規模	元請完成工事高　5.64億
③　従業員数	11名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	28.42　t	1195.65　t
	（これまでに実施した取組） ・廃棄物を再利用できるよう、種類ごとに分別作業を行っている。		
②計画	別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	26　t	1100　t
	（今後実施する予定の取組） ・分別により混合廃棄物の抑制の推進を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生可能品目については各品目毎に分類を行い、混合廃棄物としての軽減に努めている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 細分化した分別処理を継続実地する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自社で行った事はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これからも自社で行う予定なし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自社で行った事はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これからも自社で行う予定なし。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
これまでに自社で行った事はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
これからも自社で行う予定なし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
全処理委託量	28.42 t	1195.65 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	28.42 t	1195.65 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
産業廃棄物の処理は、委託契約を終結した処分業者のみに委託する事を徹底している。現地確認を行い、適正な運搬・処分を確認している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙のとおり
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>廃プラスチック類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>26 t</td><td>1100 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>26 t</td><td>1100 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
廃棄物管理票（マニフェスト）により、正確な数量把握を行い、最終処分までの工程の確認を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
		排　出　量	3.79 t	134.946 t	336.122 t	1436.03 t	107.788 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
		排　出　量	3.5 t	130 t	320 t	1400 t	100 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
	全処理委託量	3.79 t	134.946 t	336.122 t	1436.03 t	107.788 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.79 t	134.946 t	336.122 t	1436.03 t	107.788 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートがら	混合廃棄物			
	全処理委託量	3.5 t	130 t	320 t	1400 t	100 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.5 t	130 t	320 t	1400 t	100 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２４年　６月　１３日

千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉県千葉市中央区新町1000番地
大成建設株式会社　千葉支店
氏　名　　執行役員支店長　廣瀬　淳一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　043-243-3123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区新町１０００番地
計画期間	２０２４年　４月　１日　～　２０２５年　３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業　　総合工事業
②事業の規模	千葉県内の事業　売上高：７８８億円（２０２３年度）
③従業員数	４７０名（２０２４年　５月　１日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙－１の通り」

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

「別紙－２の通り」</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－１の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>７４，２１０．９ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「別紙３－３項の通り」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　　計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－２の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>５９，３６６．０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙３－３項の継続実施」</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①　現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙３－４項の通り」</td></tr>
<tr><td>②　計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙３－４項の通り」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「別紙３－５の通り」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">③ 計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙３－５の通り」</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行なっていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行なわない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行なっていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行なわない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－１の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>７４，２１０．９ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>１，５９２．０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>６５，６１３．０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「別紙３－６項の通り」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②　計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－２の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>５９，３６６.０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>１，２７４.０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>５２，４８９.０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙３－６項の継続実施」</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙-1


大品目
細品目
中間処理
売却・リサイクル品
再中間処理
リサイクル品
最終処分場
がれき類
コンクリート
破砕
再生砕石・砂
アスファルト
破砕
再生砕石・砂
その他のがれき
破砕
再生砕石・砂
安定型
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
破砕
再生砕石・砂
焼却・溶融
発電・ｽﾗｸﾞ化・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
安定型
廃石膏ボード
破砕
破砕
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ原料
金属くず
アスファルト
破砕
金属・非鉄金属
安定型
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
塩ビ管
圧縮・減容
塩ビ材
廃ﾌﾟﾗ・塩ビ管
圧縮・減容
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料・RPF
焼却・溶融・破砕・焼成・減容固化
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・ｾﾒﾝﾄ原料化・RPF・発電・ｽﾗｸﾞ化・塩ﾋﾞｼｰﾄ
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
圧縮・減容
安定型
木くず
木くず
破砕
ﾁｯﾌﾟ・ﾊﾟｰﾁｶﾙﾎﾞｰﾄ
焼却・溶融・破砕
燃料ﾁｯﾌﾟ・ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化・ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
管理型
紙くず
ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ・紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
焼却・溶融・
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化
管理型
繊維くず
繊維くず
破砕
破砕
堆肥・RPF
管理型
建設汚泥
建設汚泥
脱水・調質改良
改良土・流動化処理土
蛍光灯
蛍光管
破砕
ｶﾞﾗｽ・金属・水銀
乾燥・固化
覆土材
廃油
含油廃水・油水分離
焼却・再生油
混合産廃（管理型）
混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞなし）
選別し細品目に分け、各品目毎の処理フローにより処理。
混合産廃（安定型含）
混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞあり）
石綿含有産廃
安定型

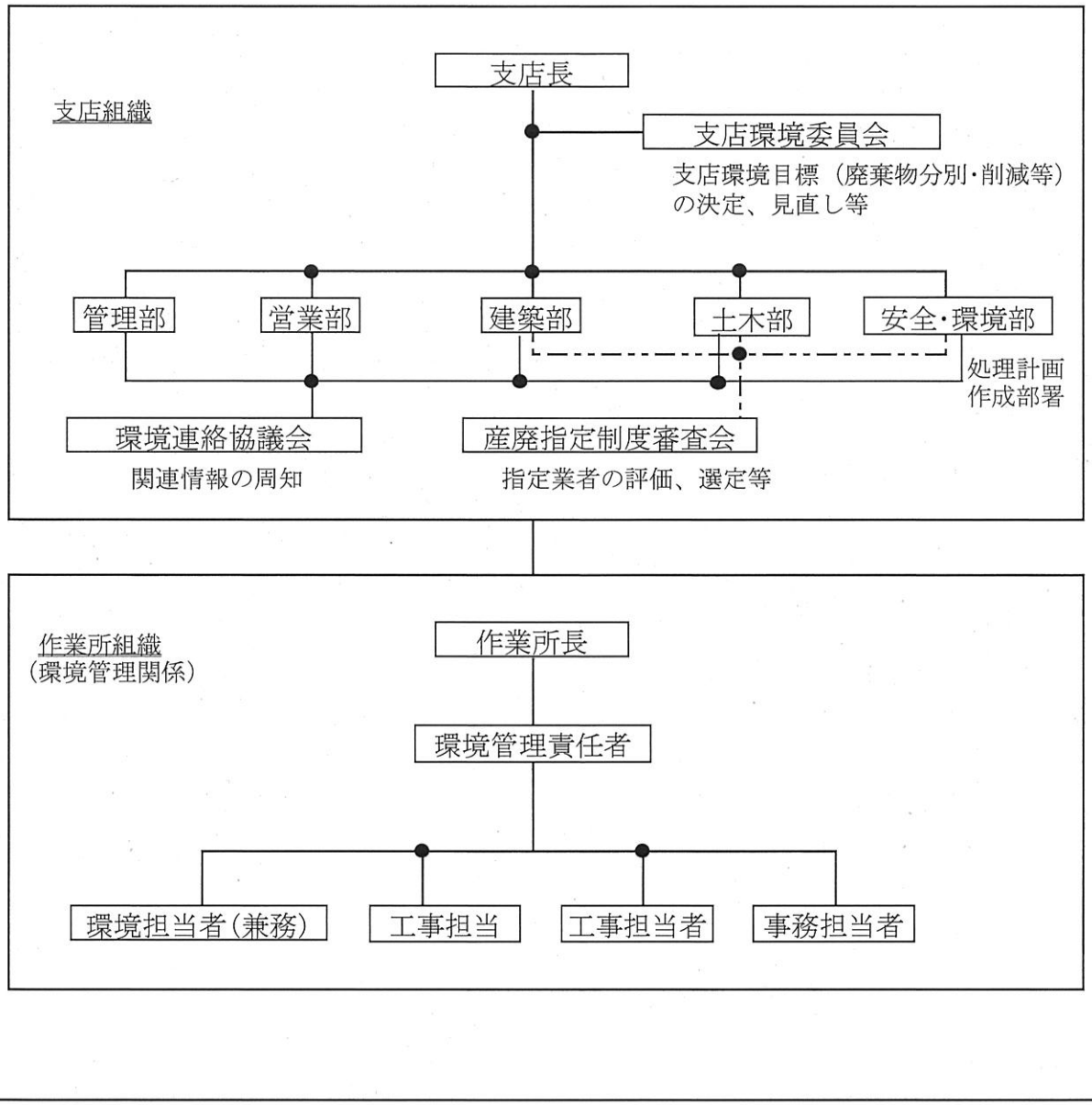
別紙－２

管理体制図

（１） 当事業における責任及び管理組織図

統括責任者		千葉支店長
	担当部署（指導）	安全･環境部
		建築部　安全･環境推進室
		土木部　安全･環境推進室
作業所	責任者	（建築、土木）作業所長または担当所長
	担当者	作業所長が指名

管理組織



別紙－３

取組みの現状(継続しての実施事項)

1. 管理体制等の強化

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

1）建設廃棄物の分別･リサイクル等に関する環境目標の設定
2）産業廃棄物の処理に関する手順の策定
3）作業所毎の法規制等チェックシートによる関係法令の遵守
4）計画的な内部環境監査及び環境パトロールの実施
5）外部環境監査による指摘と是正（再発防止含む）
6）年度ごとの見直しを行い、継続的な改善を図る
7）環境負荷低減活動の展開
8）協力会で行なう環境パトロールによる指摘業者への指導
9）職長会による分別指導

2. 教育

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

1）社員教育
①環境問題の概要
②環境方針、ＥＭＳを遵守することの重要性
③各業務が実際に又は、潜在的に持つ著しい環境への影響、環境管理改善の便益
④環境方針､環境目標､ＥＭＳ活動の目的・目標を達成するための役割と責任
⑤規定された環境に関する標準、要領・手順を逸脱した場合に予想される結果
⑥廃掃法はじめ、関連法改正を含めた最新環境情報の伝達
※全従業員を対象に定期的に集合教育（OFF.J.T）を行う。受講できなかった者に対しては内勤者は室長、作業所は作業所長がO.J.Tを実施する。

2）専門工事業者教育
①作業所毎、新規入場者教育時に作業所環境目標、実施手順に係る教育を実施。
②作業所へ作業員を送出す際に当社作成の環境教育資料を基に環境教育を実施。
③各種大会、講習会時に３Ｒ活動を含めた環境教育を実施。
④協力会組織の環境委員会活動により専門工事業者会員の環境意識の向上を図る。

3. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

施工計画時において下記事項を検討し、実施可能な項目を採用している。

・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・工法変更による廃材の抑制
・資材の転用　その他

4. 産業廃棄物の分別に関する事項

当社の副産物処理要領書に則り、作業所において分別計画を立て実施する。
計画の策定に当っては、地域の産業廃棄物中間処理施設、リサイクル施設等の分別品目の受入れ条件を十分考慮する。

5. 産業廃棄物の再生利用に関する事項

建設リサイクル法等関係法令を遵守し、作業所毎に再生資源利用(促進)計画を策定し、実施の記録を保管する。
グリーン購入標準、グリーン調達ガイドラインに基づく環境配慮品の採用。

6. 産業廃棄物の処理に関する事項

廃掃法及び当社の副産物処理要領書に則り、保管基準、処理基準、委託基準を遵守する。特に注力する事項を下記に示す。

1）当社書式による委託契約書の作成・保管。
2）電子マニフェスト化を積極的に展開し普及率を把握（毎月）し向上を図る。
3）紙マニフェストの交付及び照合・保管。
紙マニフェストは、建設六団体副産物対策協議会発行のものを使用する。
4）支店、本社における作業所の廃棄物処理状況の把握。
作業所は「環境データ管理システム（E-DAM)」によりその都度入力する。
支店、本社は本社サーバーに集積された各作業所からのデータ（E-DAM)を閲覧し、指導する。
5）指定業者制度(混合廃棄、建設汚泥）を採用し、支店担当者がチェックシートにより毎年指定業者処理場を評価し、審査会に諮り審議することよりリスクの軽減を図っている。

別紙４－１
産業廃棄物の処理の委託に関する事項
【前年度（2023年度）実績】

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	① 排出量	②'-a 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	②'-b 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	② 自ら直接再生利用した量（②-a+②-b）	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩'-a 中間処理量	⑩'-b 最終処分量	⑩ 『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量（⑩-a+⑩-b）	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	有価・広域認定物売却量
廃棄物																				
コンクリートがら		13,376.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13,376.0	0.0	13,376.0	315.4	13,376.0	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		4,290.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,290.1	0.0	4,290.1	17.1	4,290.1	0.0	0.0	
その他がれき類		5,777.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,777.0	0.0	5,777.0	164.8	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		331.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	331.3	0.0	331.3	110.0	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		122.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	111.2	11.2	122.4	18.6	0.0	0.0	0.0	
金属くず		75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	75.0	26.0	75.0	0.0	0.0	
汚泥		44,833.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44,833.0	0.0	44,833.0	0.0	44,833.0	0.0	0.0	
紙くず		79.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.9	0.0	79.9	24.1	79.9	0.0	0.0	
木くず		2,959.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,959.0	0.0	2,959.0	108.9	2,959.0	0.0	0.0	
繊維くず		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃石膏ボード		133.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	133.1	0.0	133.1	7.3	0.0	0.0	1.2	
廃油		78.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	0.0	78.6	78.6	0.0	0.0	0.0	
水銀使用産廃（蛍光灯）		0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.6	
燃え殻		767.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	767.4	767.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（安定型のみ）		77.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.0	0.0	77.0	15.9	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		1,112.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,112.5	0.0	1,112.5	704.8	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（がれき類）		154.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	154.0	154.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（ガラス陶磁器くず）		21.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	21.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（廃プラ）		22.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.5	22.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
小計	0.0	74,210.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73,234.8	976.1	74,210.9	1,592.0	65,613.0	0.0	1.8	

別紙４－２

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	① 排出量	②'-a 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	②'-b 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	② 自ら直接再生利用した量（②-a+②-b）	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩'-a 中間処理量	⑩'-b 最終処分量	⑩ 『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量（⑩-a+⑩-b）	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	有価・広域認定物売却量
廃棄物																				
コンクリートがら		10,700.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10,700.3	0.0	10,700.3	252.3	10,700.3	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		3,432.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,432.1	0.0	3,432.1	13.7	3,432.1	0.0	0.0	
その他がれき類		4,621.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,621.6	0.0	4,621.6	131.8	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		265.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	265.0	0.0	265.0	88.0	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		97.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.0	9.0	97.9	14.9	0.0	0.0	0.0	
金属くず		60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	60.0	20.8	60.0	0.0	0.0	
汚泥		35,866.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35,866.4	0.0	35,866.4	0.0	35,866.4	0.0	0.0	
紙くず		63.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.0	0.0	63.0	19.3	63.0	0.0	0.0	
木くず		2,367.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,367.2	0.0	2,367.2	87.1	2,367.2	0.0	0.0	
繊維くず		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃石膏ボード		106.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106.3	0.0	106.3	5.8	0.0	0.0	0.0	
廃油		62.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.9	0.0	62.9	62.9	0.0	0.0	0.0	
水銀使用産廃（蛍光灯）		0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	
燃え殻		613.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	613.0	613.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（安定型のみ）		61.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.6	0.0	61.6	13.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		890.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	890.0	0.0	890.0	563.8	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（がれき類）		123.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	123.2	123.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（ガラス陶磁器くず）		16.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.8	16.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（廃プラ）		18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小計	0.0	59,366.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58,586.1	780.0	59,366.0	1,274.0	52,489.0	0.0	0.0	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

２０２４年　６月　１３日

千葉県知事　殿

提出者
住所　　千葉県千葉市中央区新町1000番地
大成建設株式会社　千葉支店
氏名　　執行役員支店長　廣瀬　淳一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　　043-243-3123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、２０２３年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町１０００番地
事業の種類	建設業　　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	２０２３年　４月　１日～２０２４年　３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

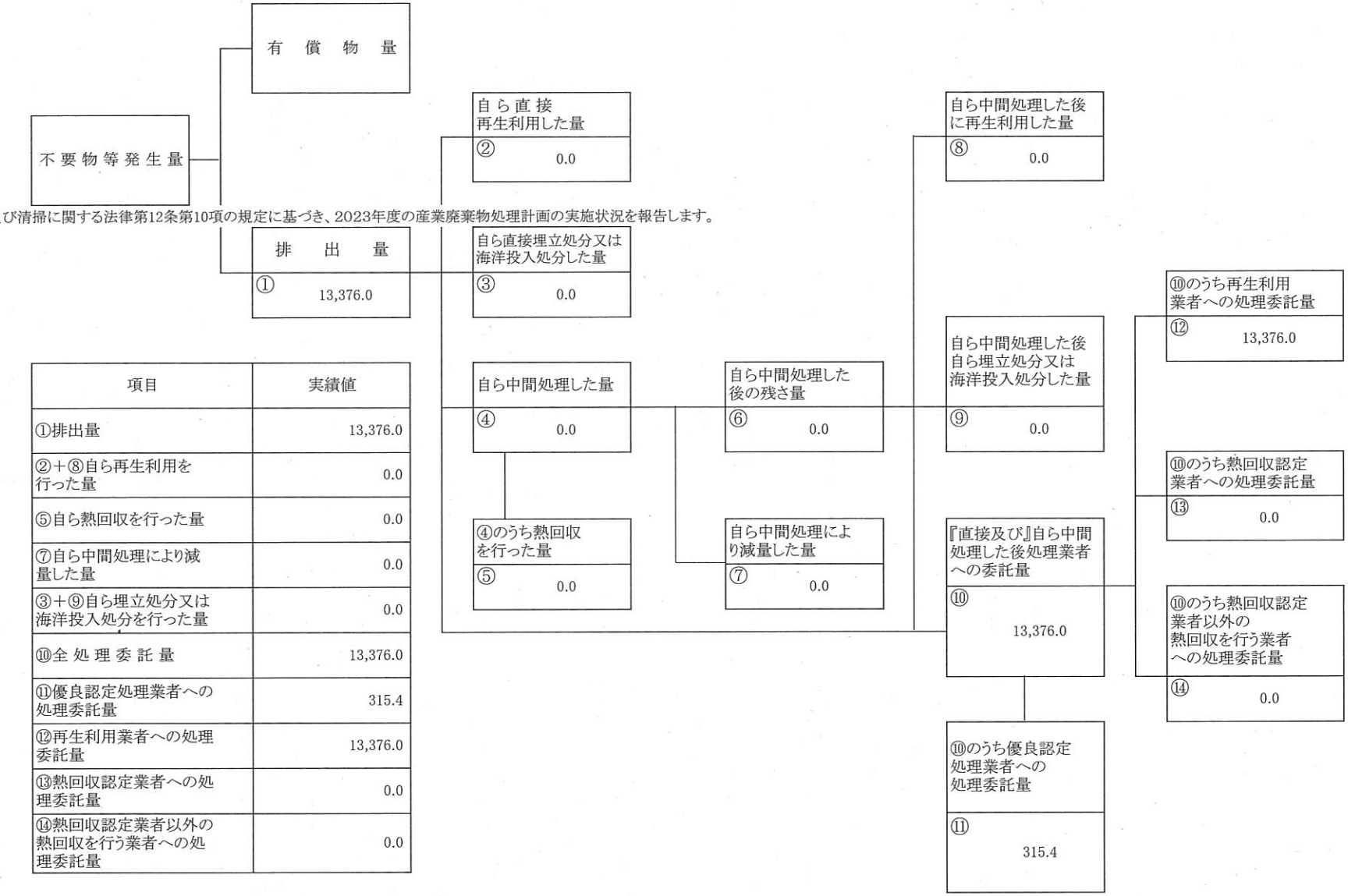
項目	目標値	項目	目標値
排出量	４４，８５１ｔ	全処理委託量	４４，８５１ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	１，９９２．０ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ｔ	再生利用業者への処理委託量	３９，２６７．０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ

※事務処理欄	

(日本工業規格　A列４番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートがら　　）

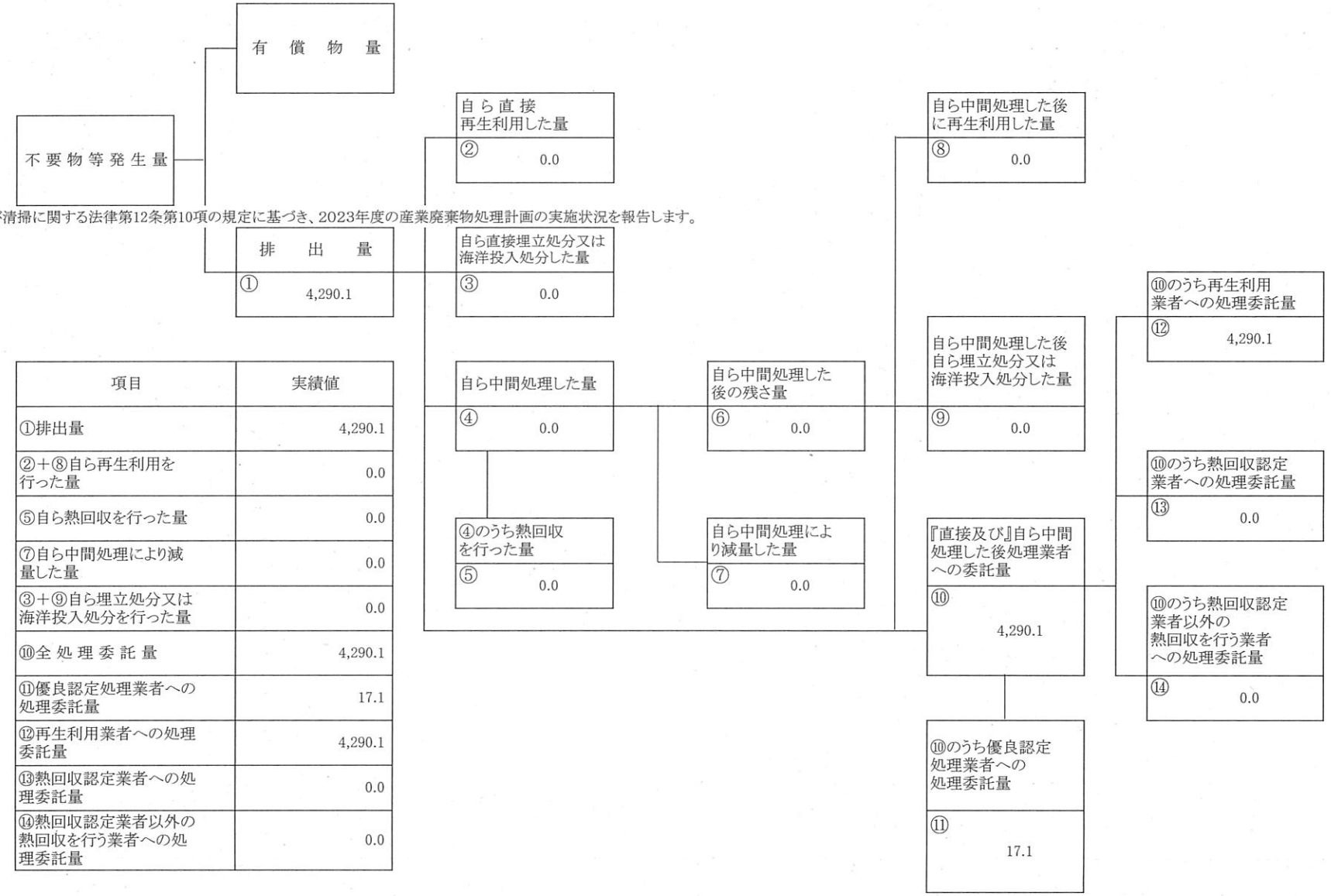


項目	実績値
①排出量	13,376.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	13,376.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	315.4
⑫再生利用業者への処理委託量	13,376.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリートがら　　）

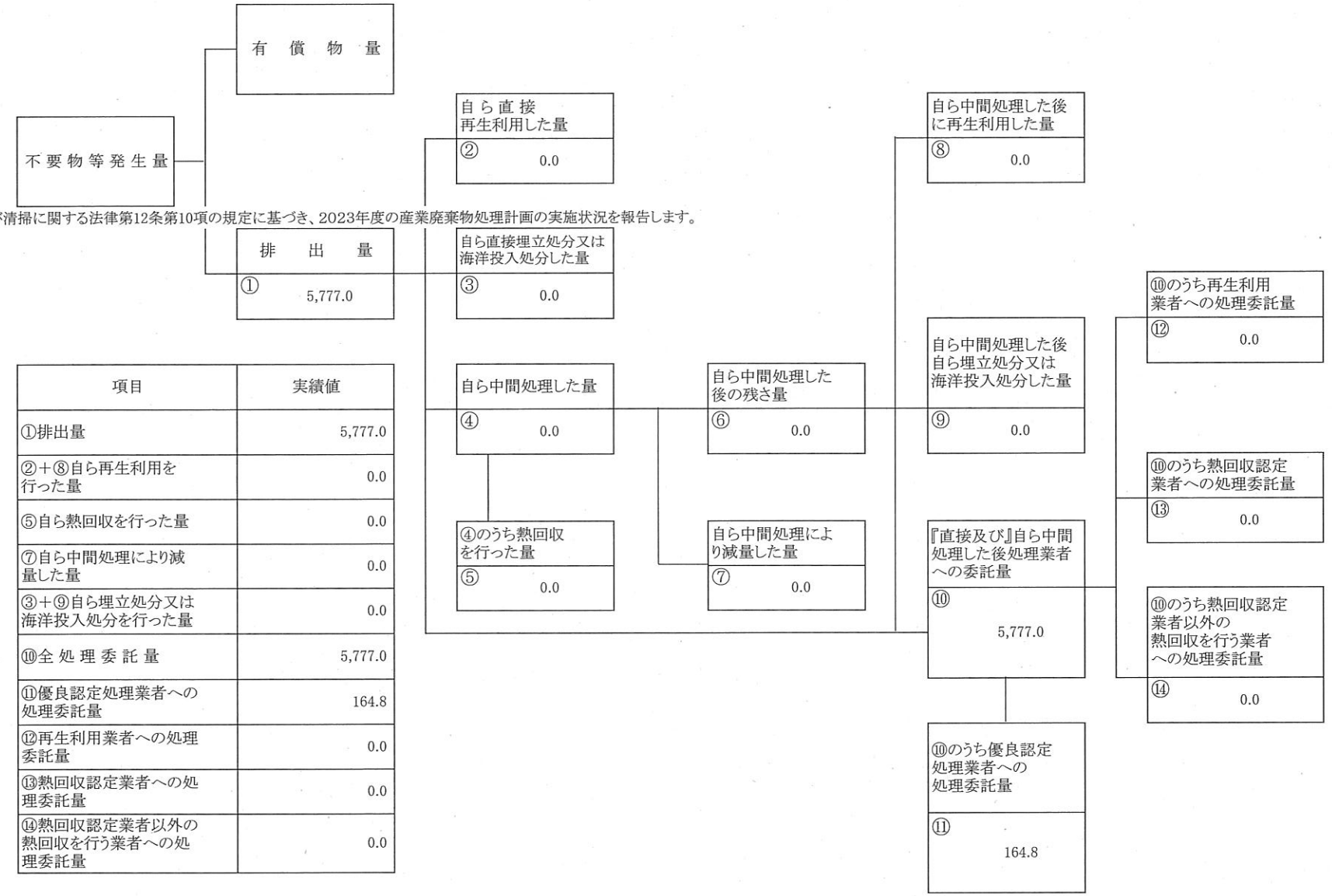


項目	実績値
①排出量	4,290.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	4,290.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.1
⑫再生利用業者への処理委託量	4,290.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　その他がれき類　　）



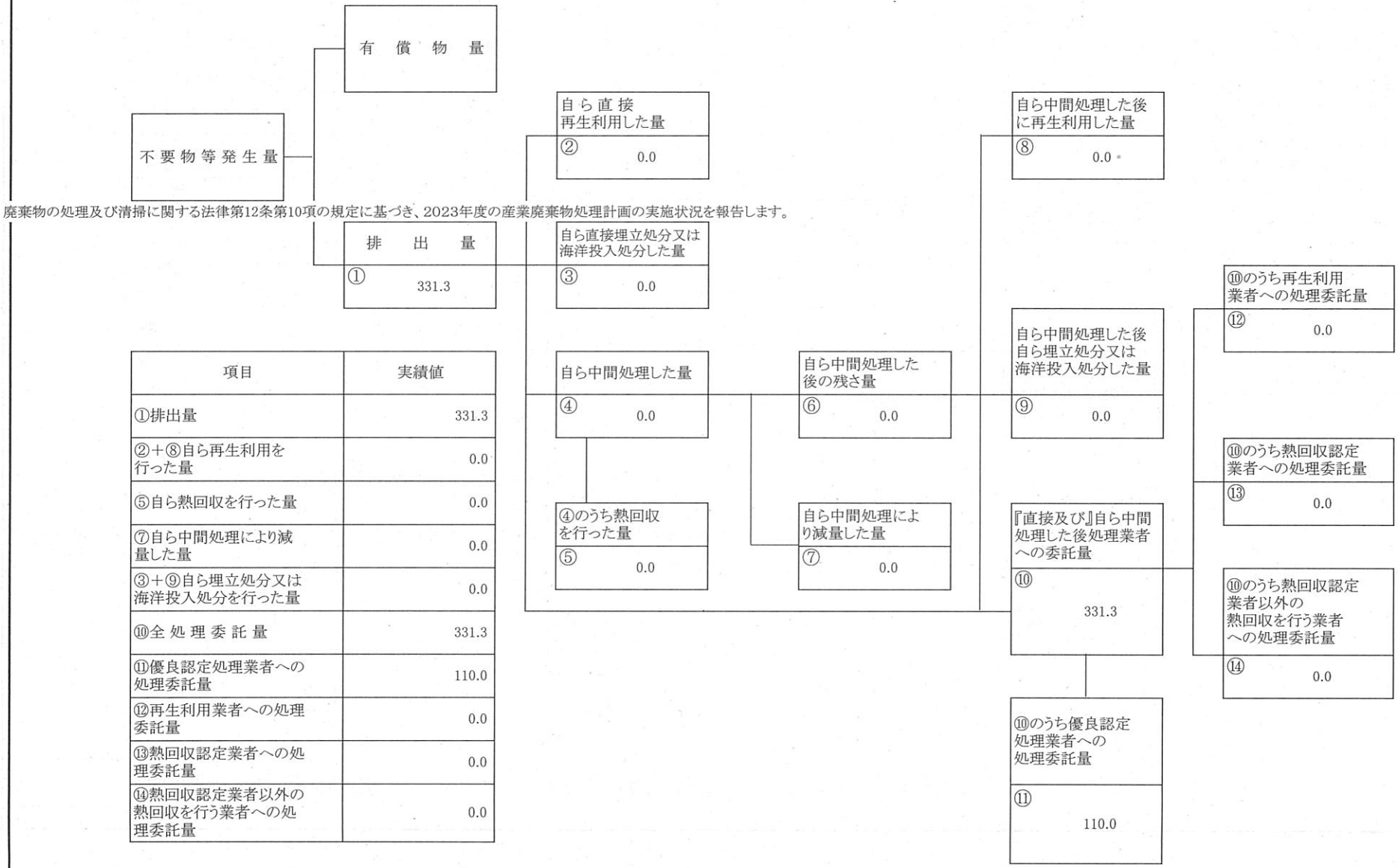
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	5,777.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	5,777.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	164.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

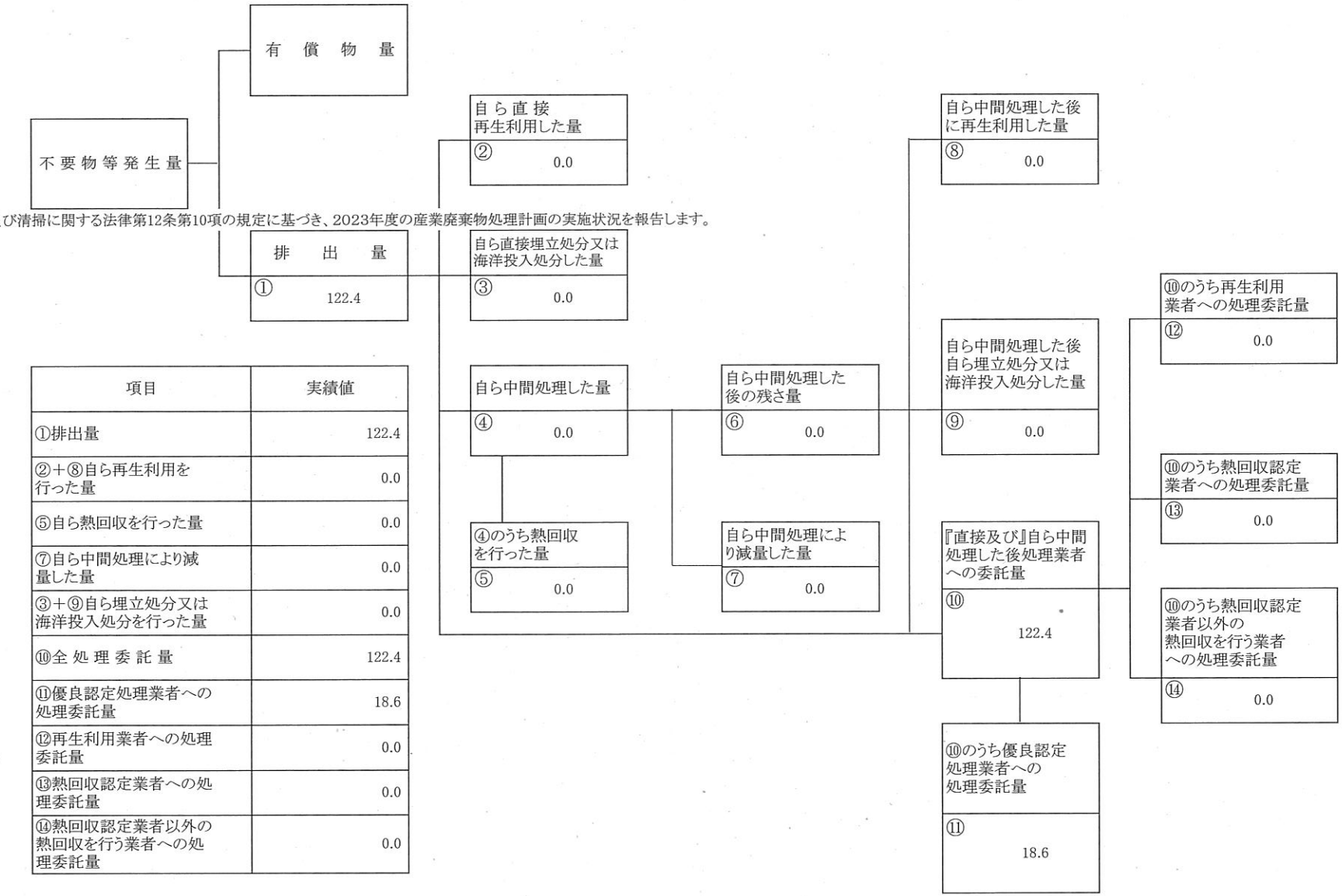


項目	実績値
①排出量	331.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	331.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	110.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラスくず及び陶磁器くず　）



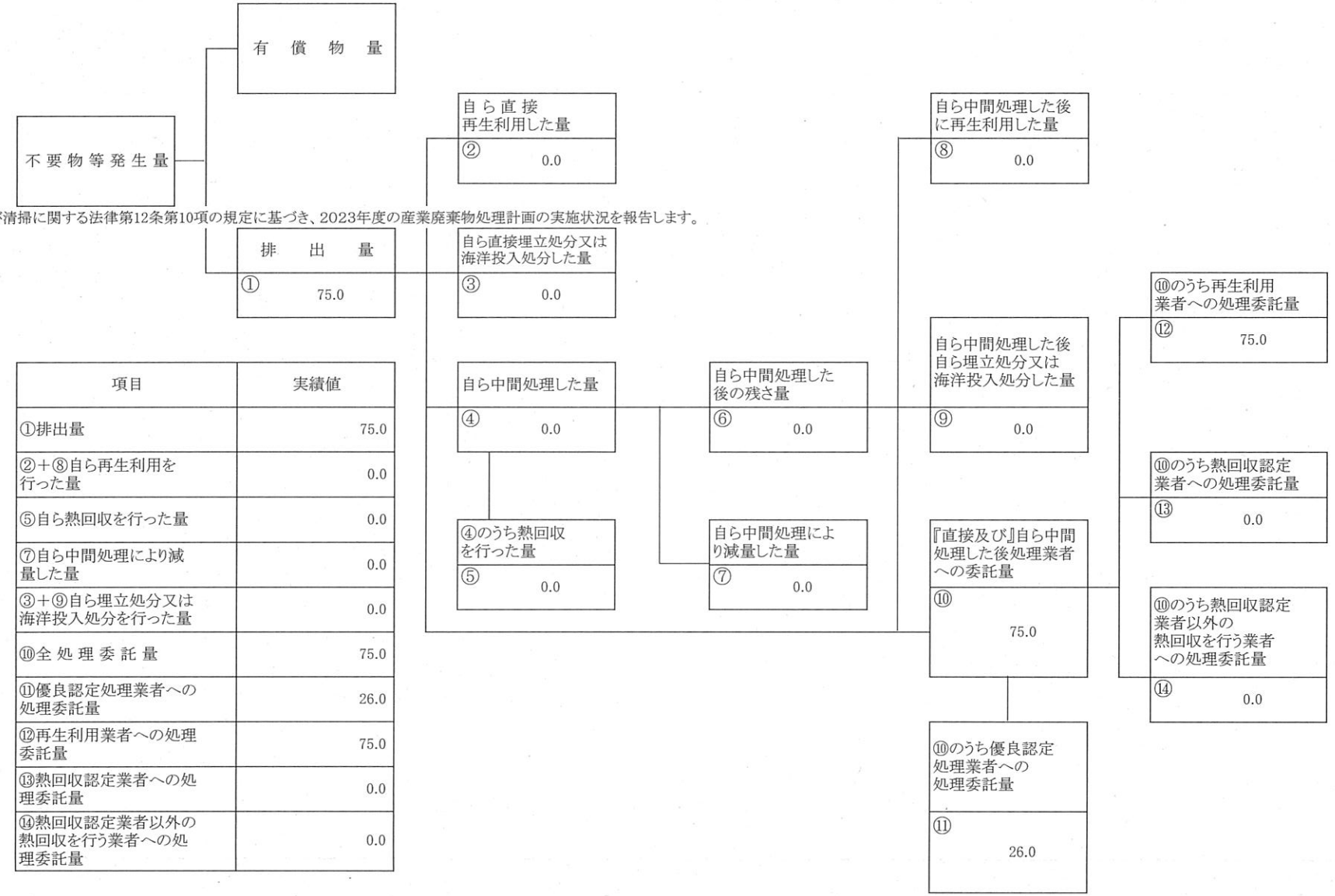
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	122.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	122.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.6
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

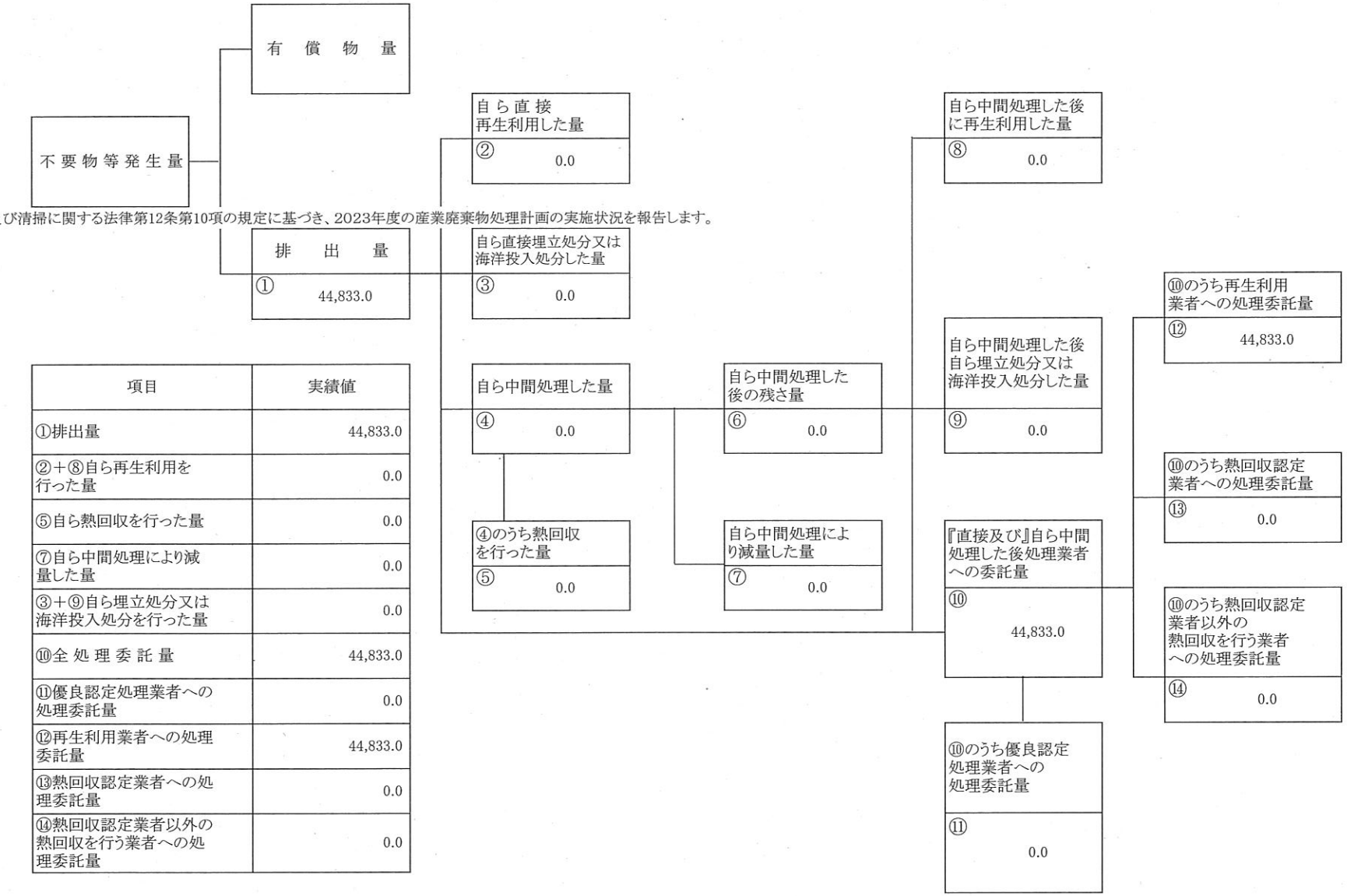


項目	実績値
①排出量	75.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	75.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.0
⑫再生利用業者への処理委託量	75.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　汚泥　　）



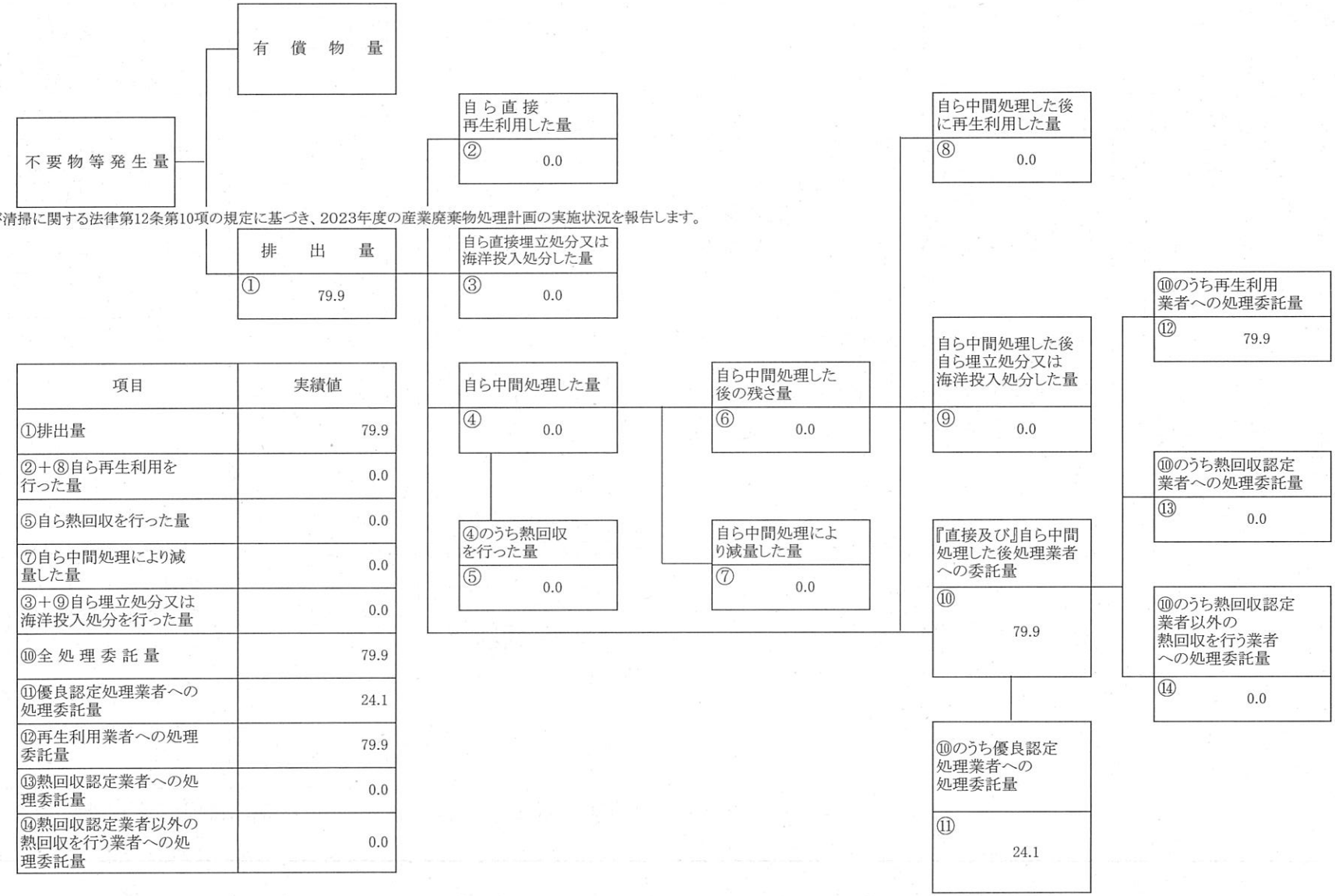
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	44,833.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	44,833.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	44,833.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　　）



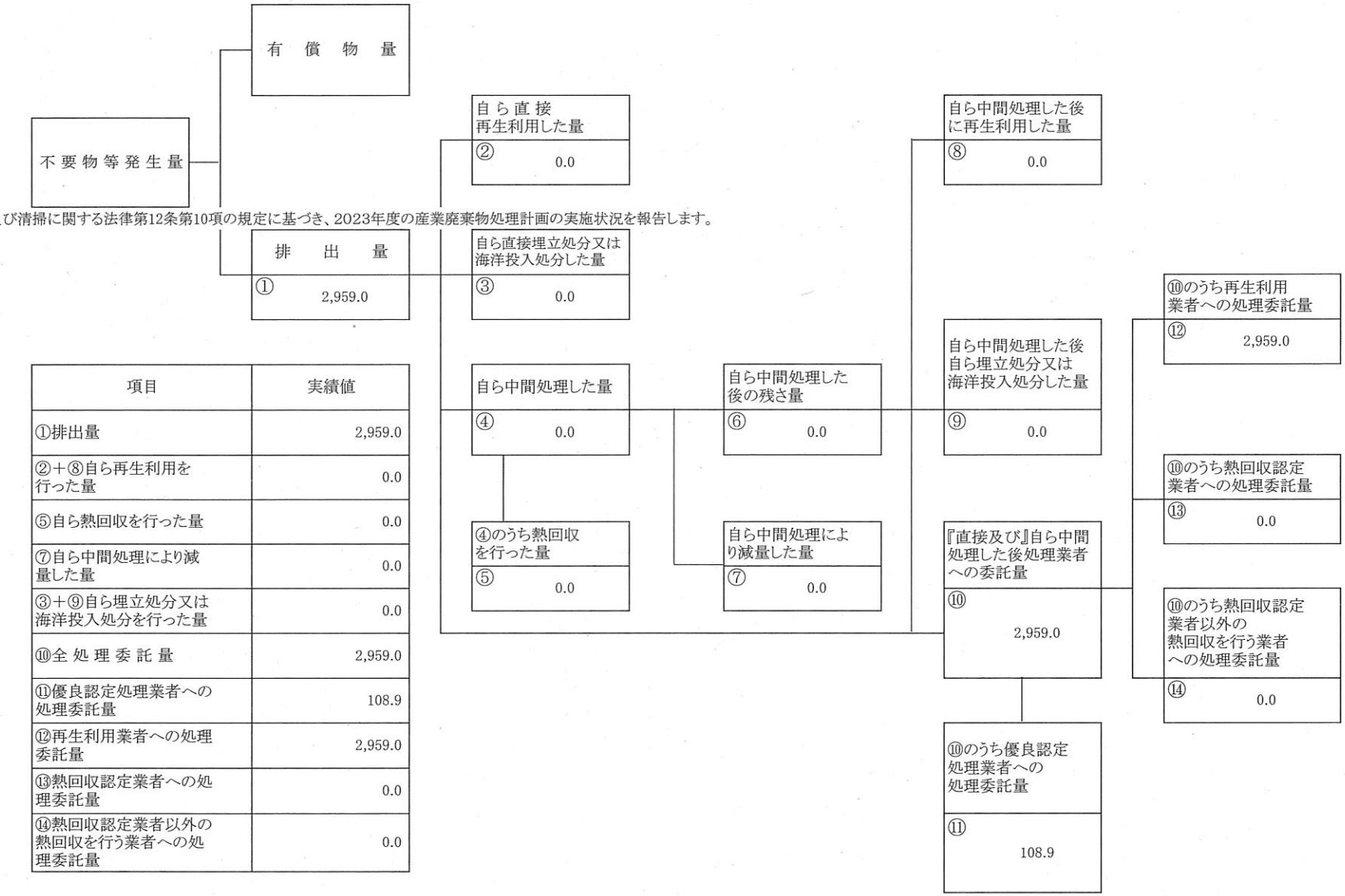
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	79.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	79.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.1
⑫再生利用業者への処理委託量	79.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）



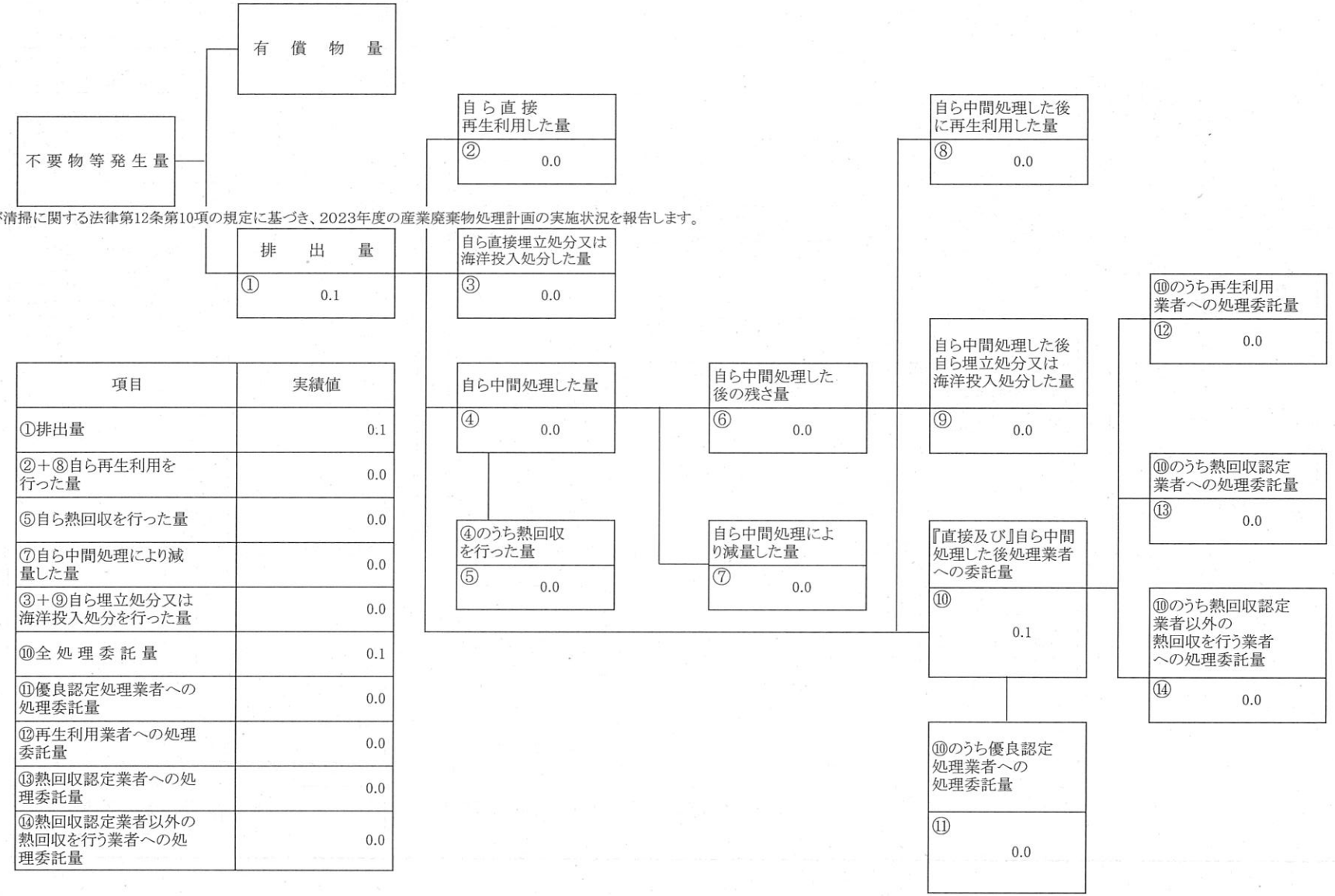
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	2,959.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	2,959.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	108.9
⑫再生利用業者への処理委託量	2,959.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　繊維くず　）



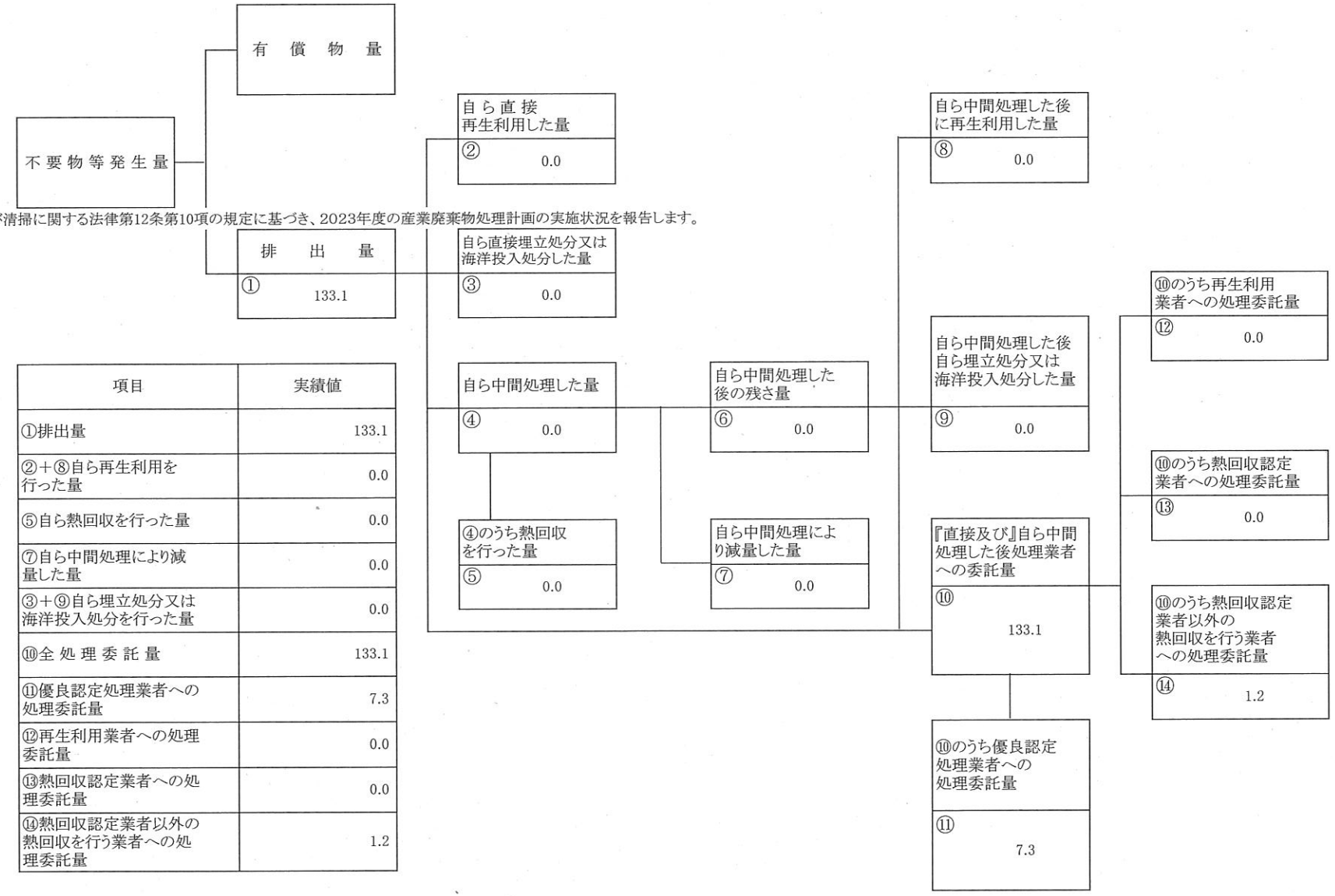
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	0.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　）

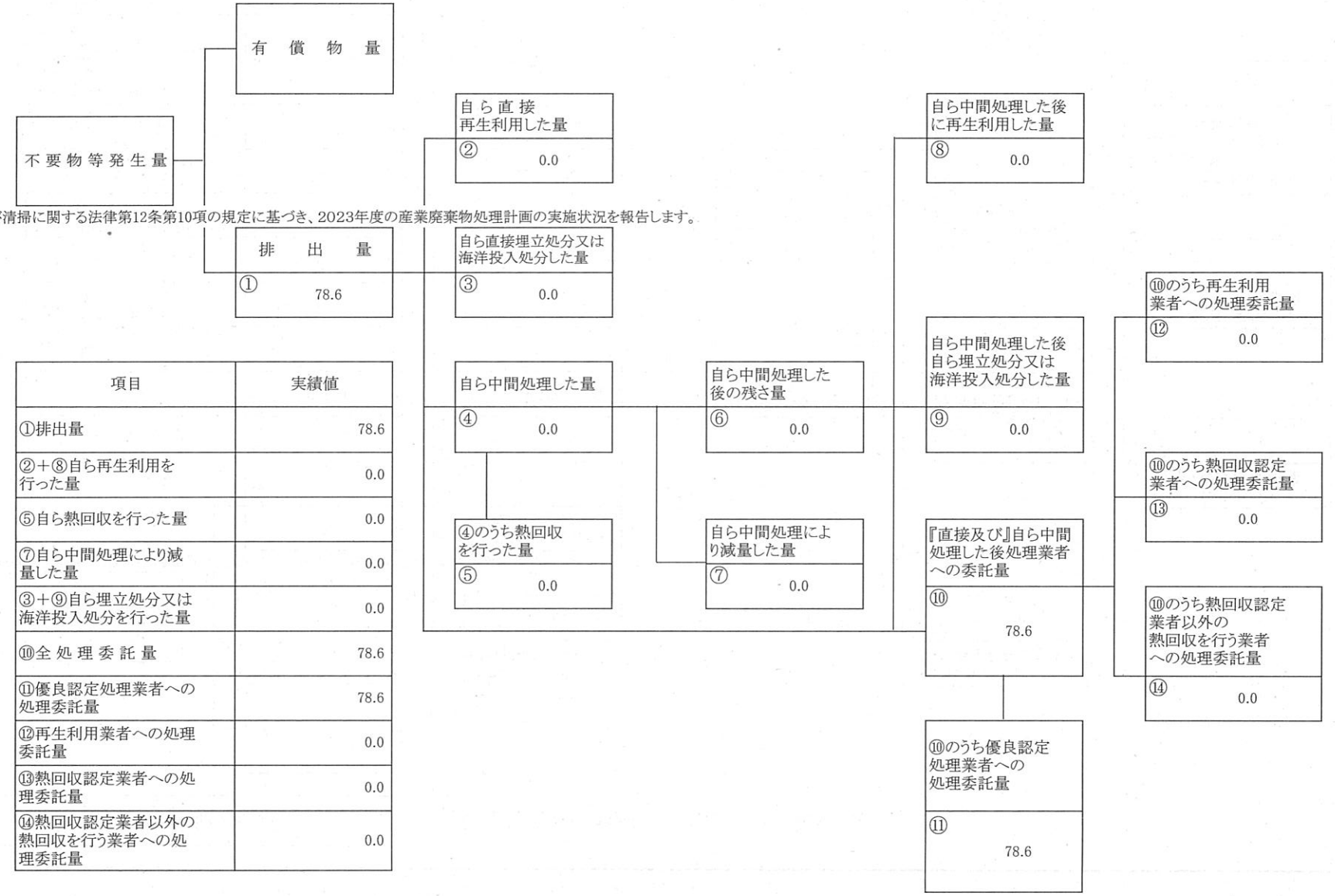


項目	実績値
①排出量	133.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	133.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.3
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.2

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃油　）



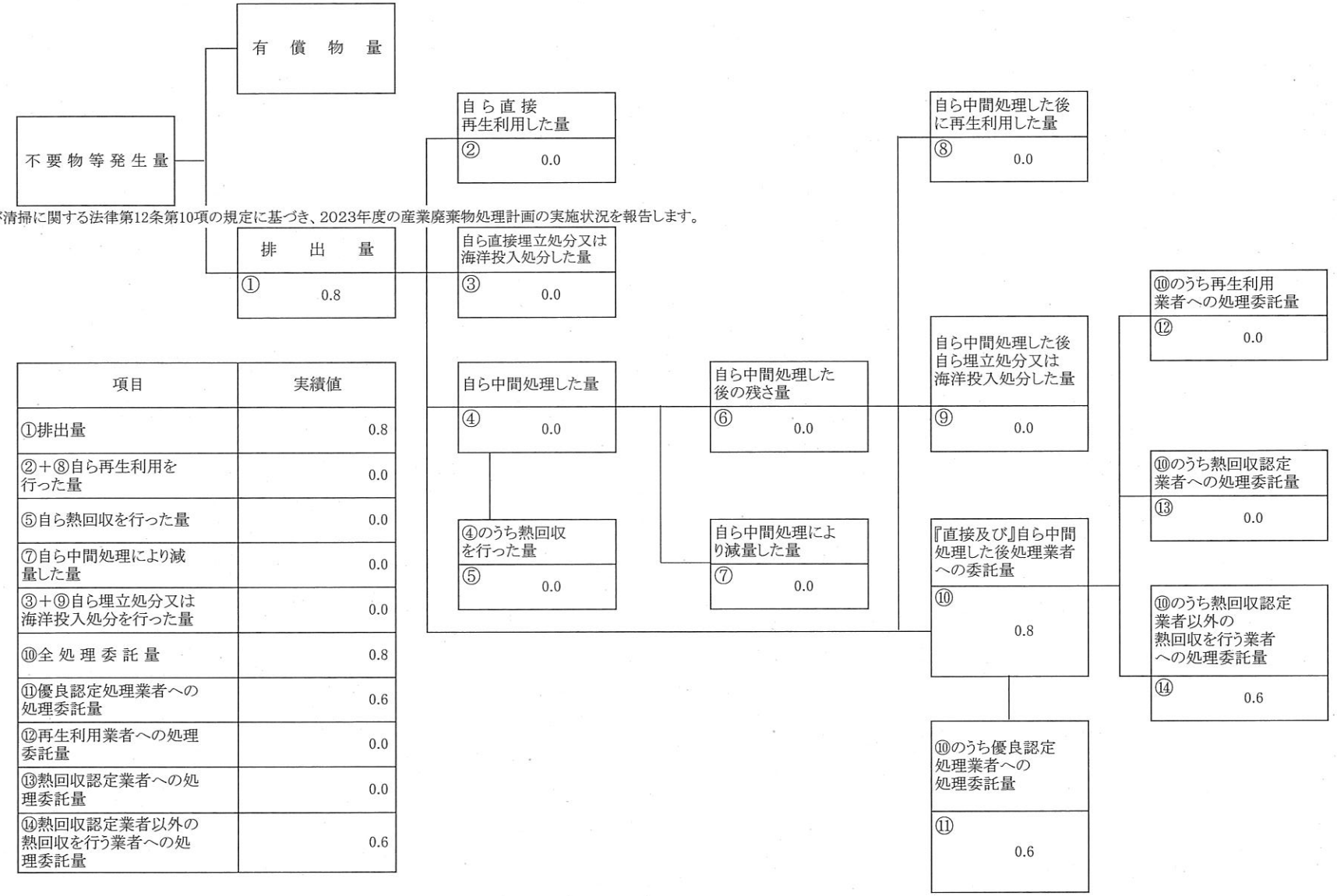
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	78.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	78.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	78.6
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　水銀使用産廃(蛍光灯)　）

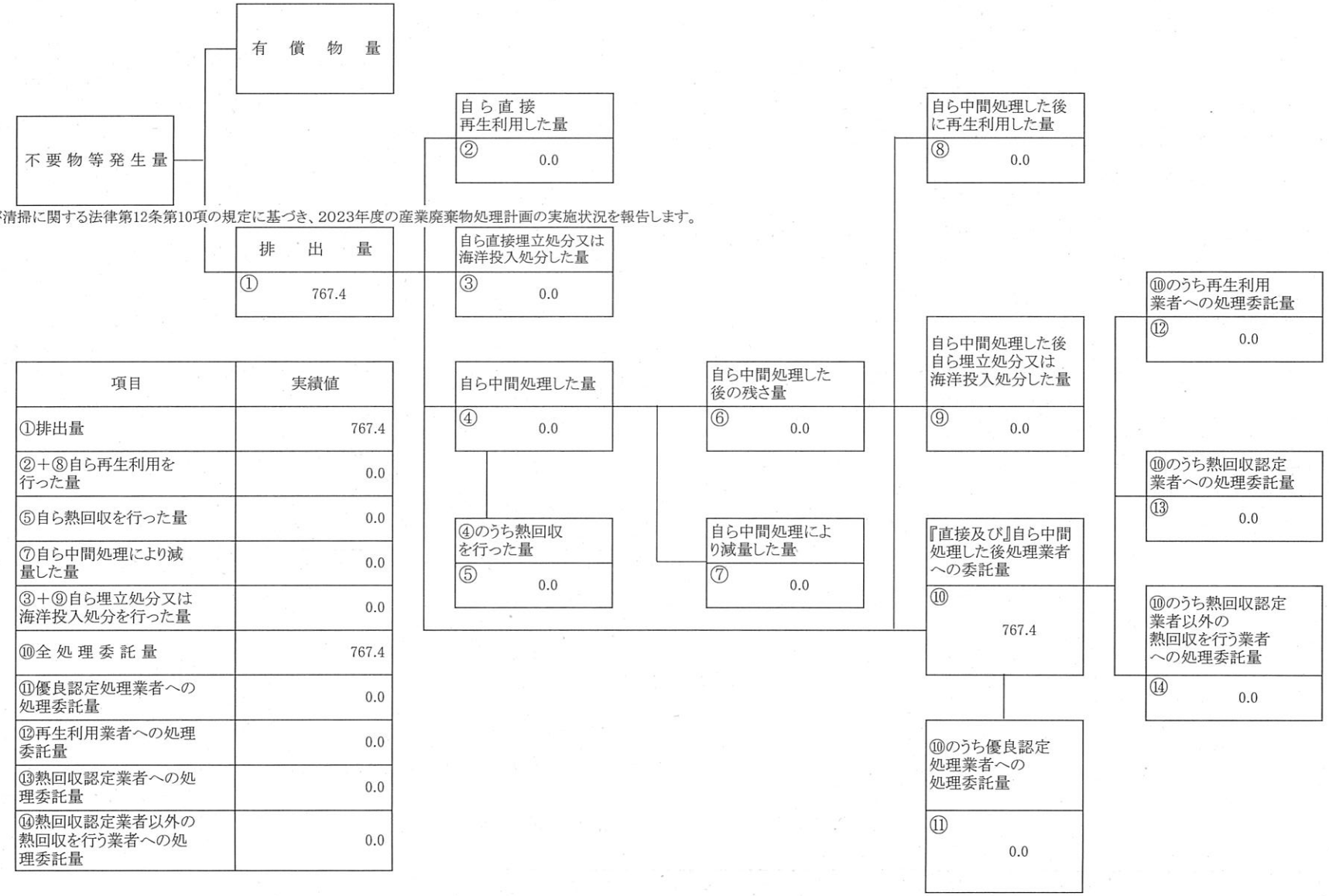


項目	実績値
①排出量	0.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.6

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　燃え殻　　）



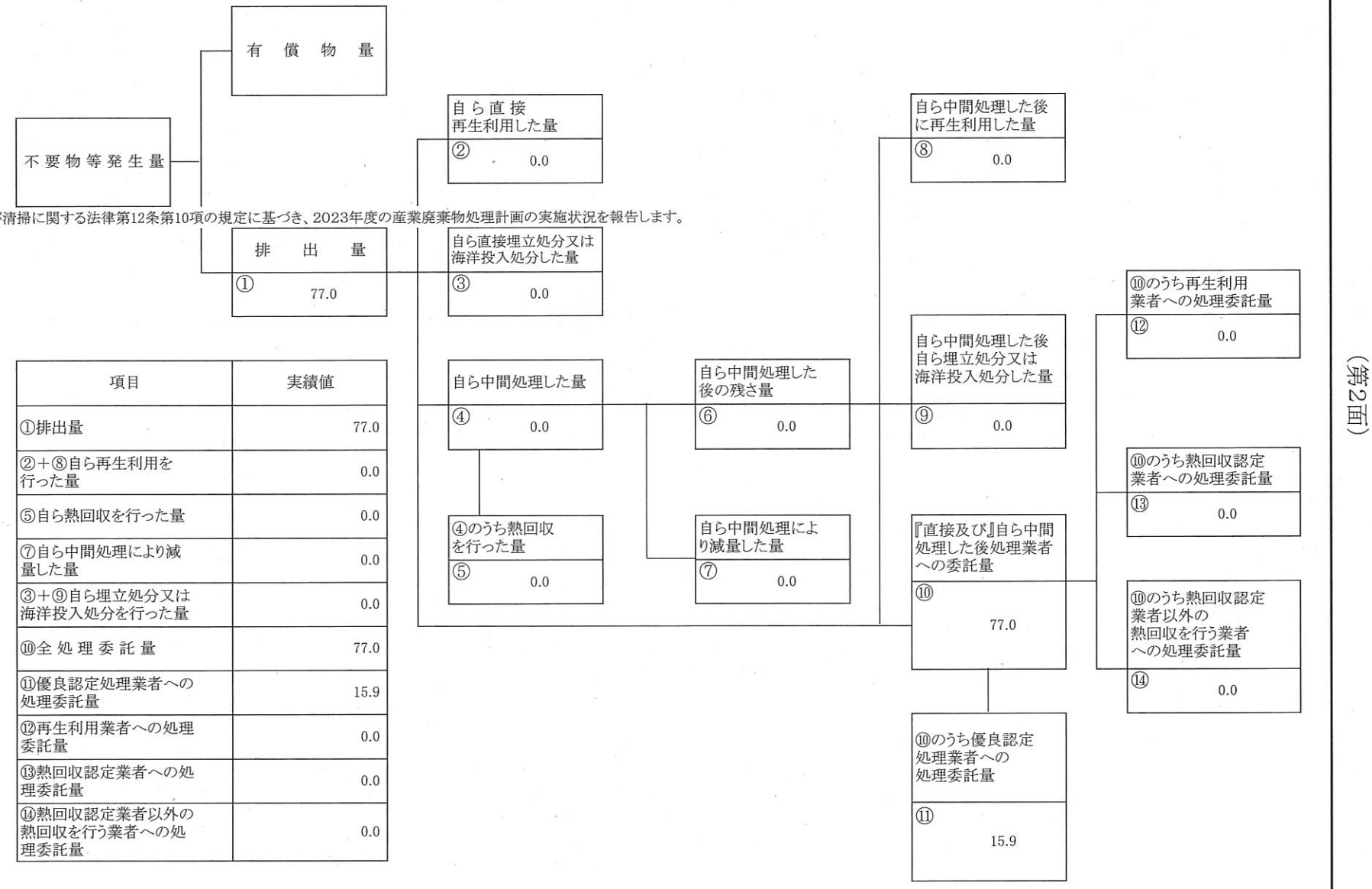
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	767.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	767.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混廃（安定型のみ）　）



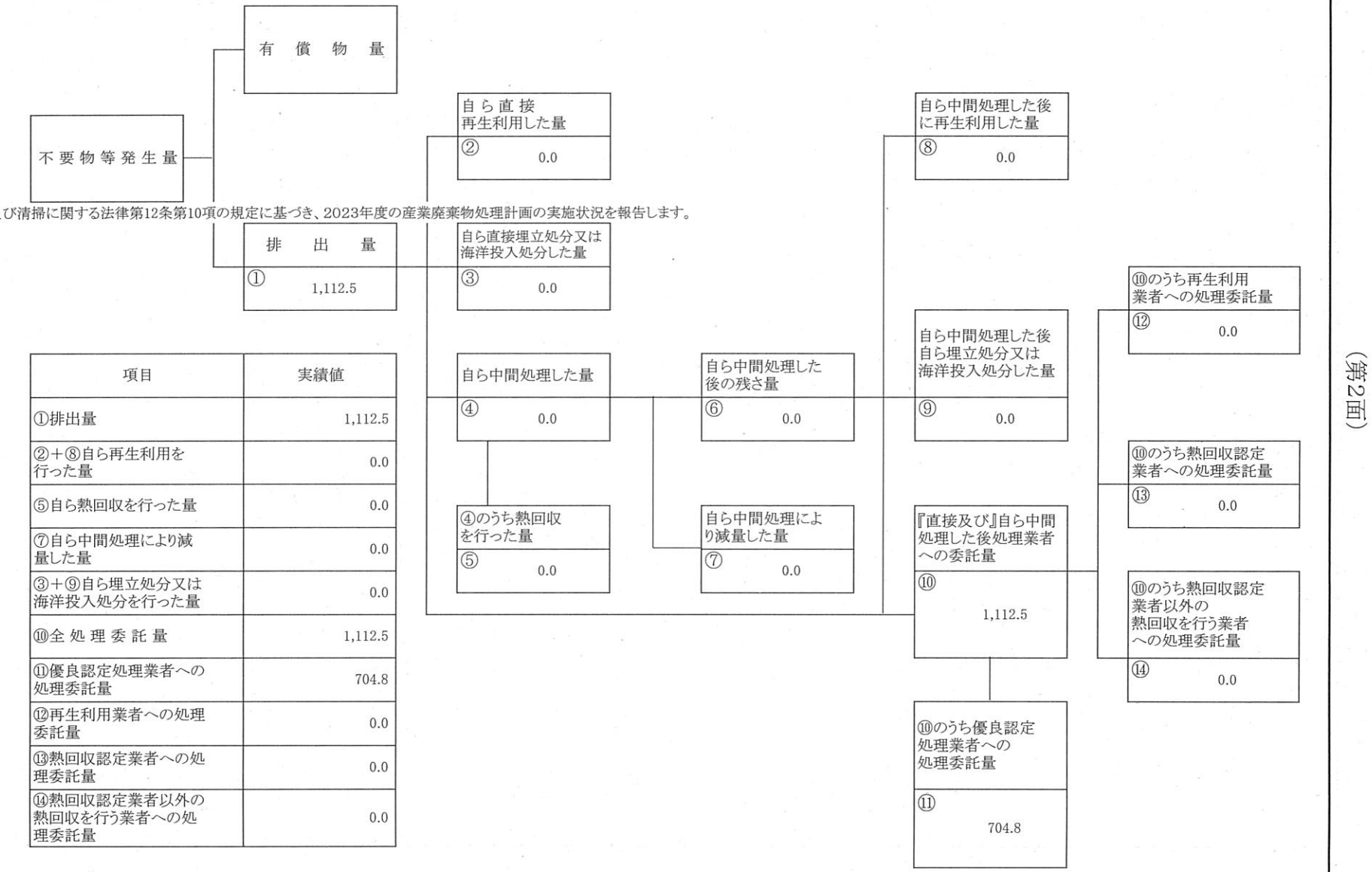
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	77.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	77.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.9
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混廃（管理型含む）　）



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

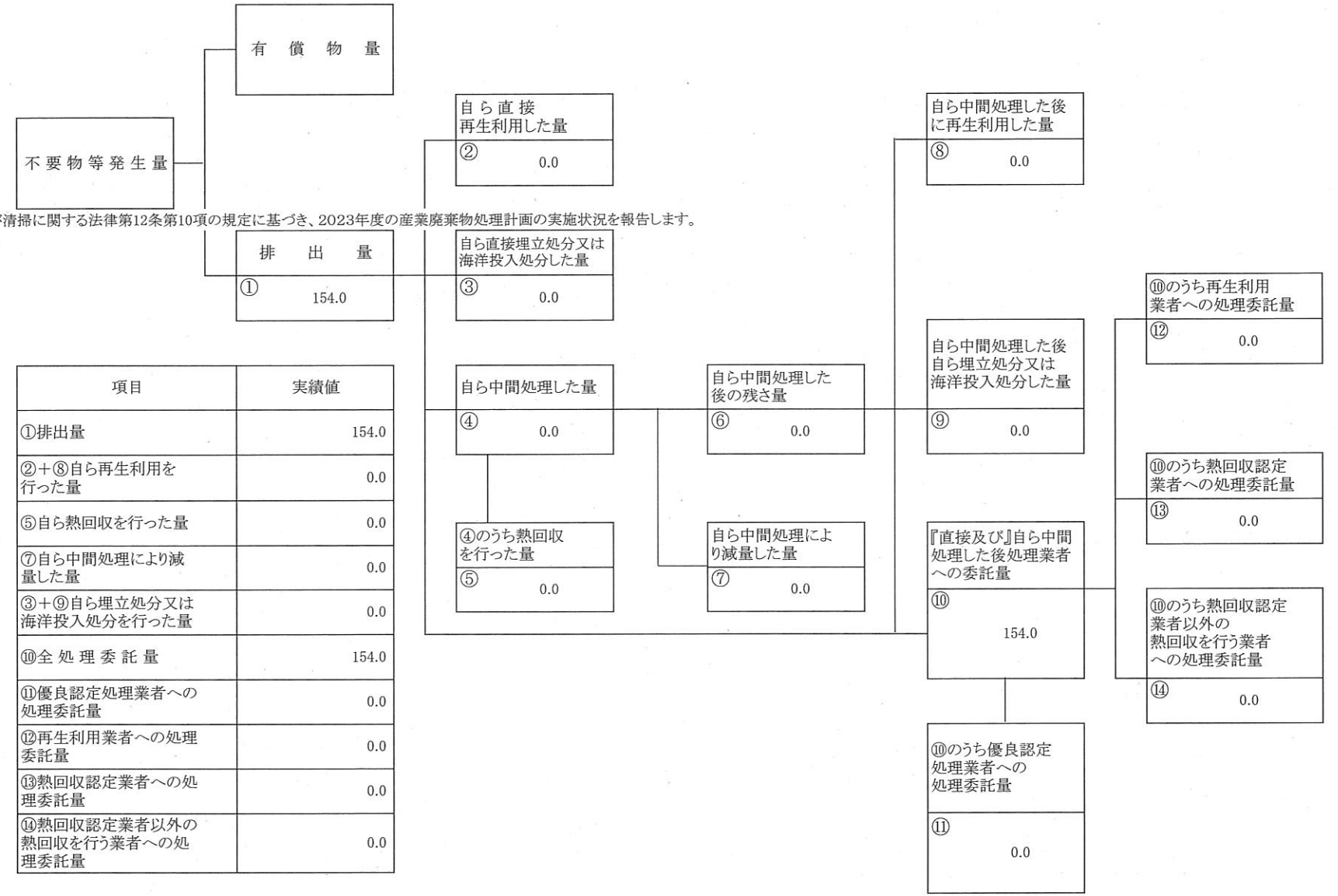
項目	実績値
①排出量	1,112.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,112.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	704.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産廃（がれき類）　）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

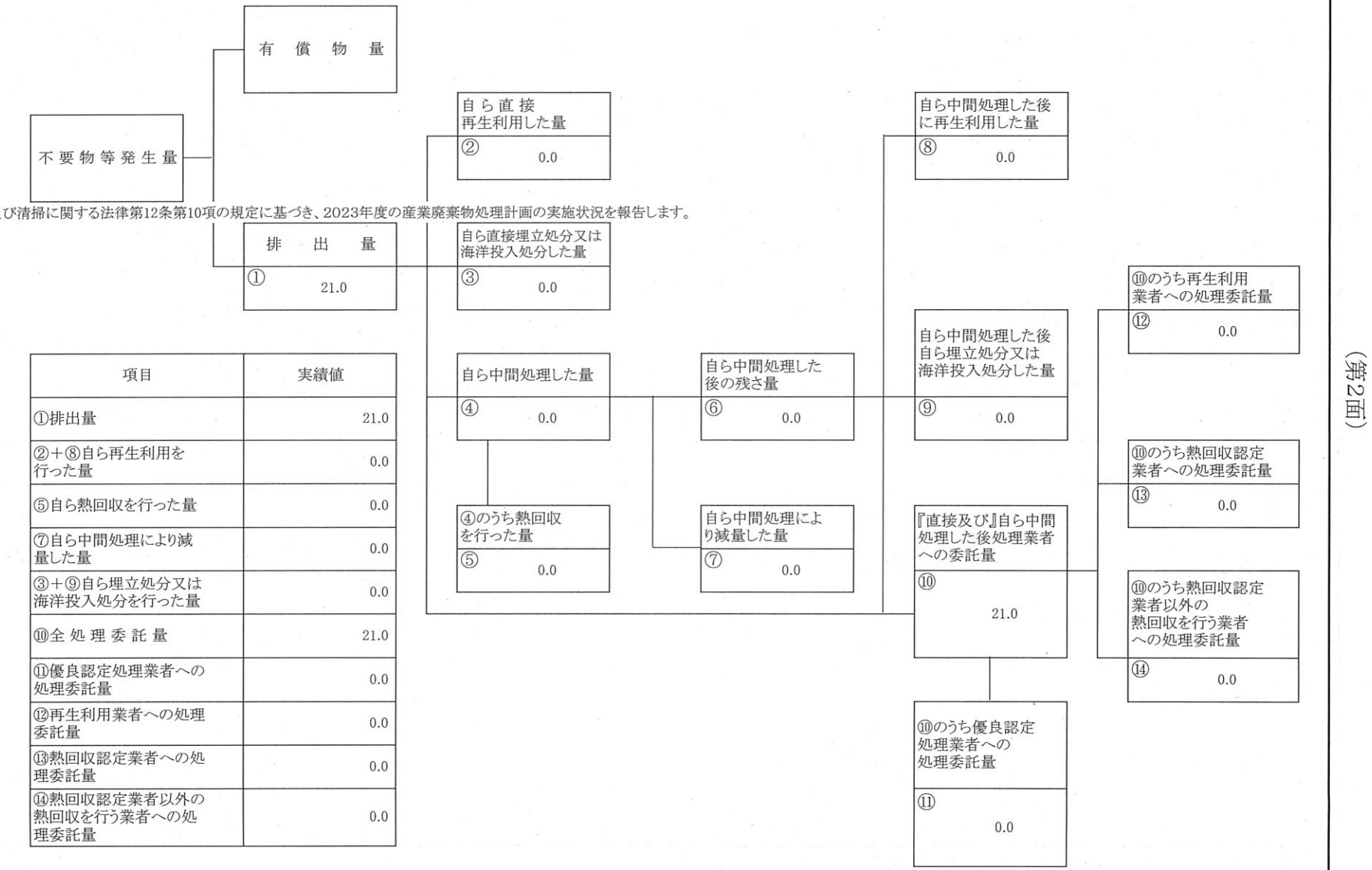


項目	実績値
①排出量	154.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	154.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産廃（ガラス陶磁器くず）　）

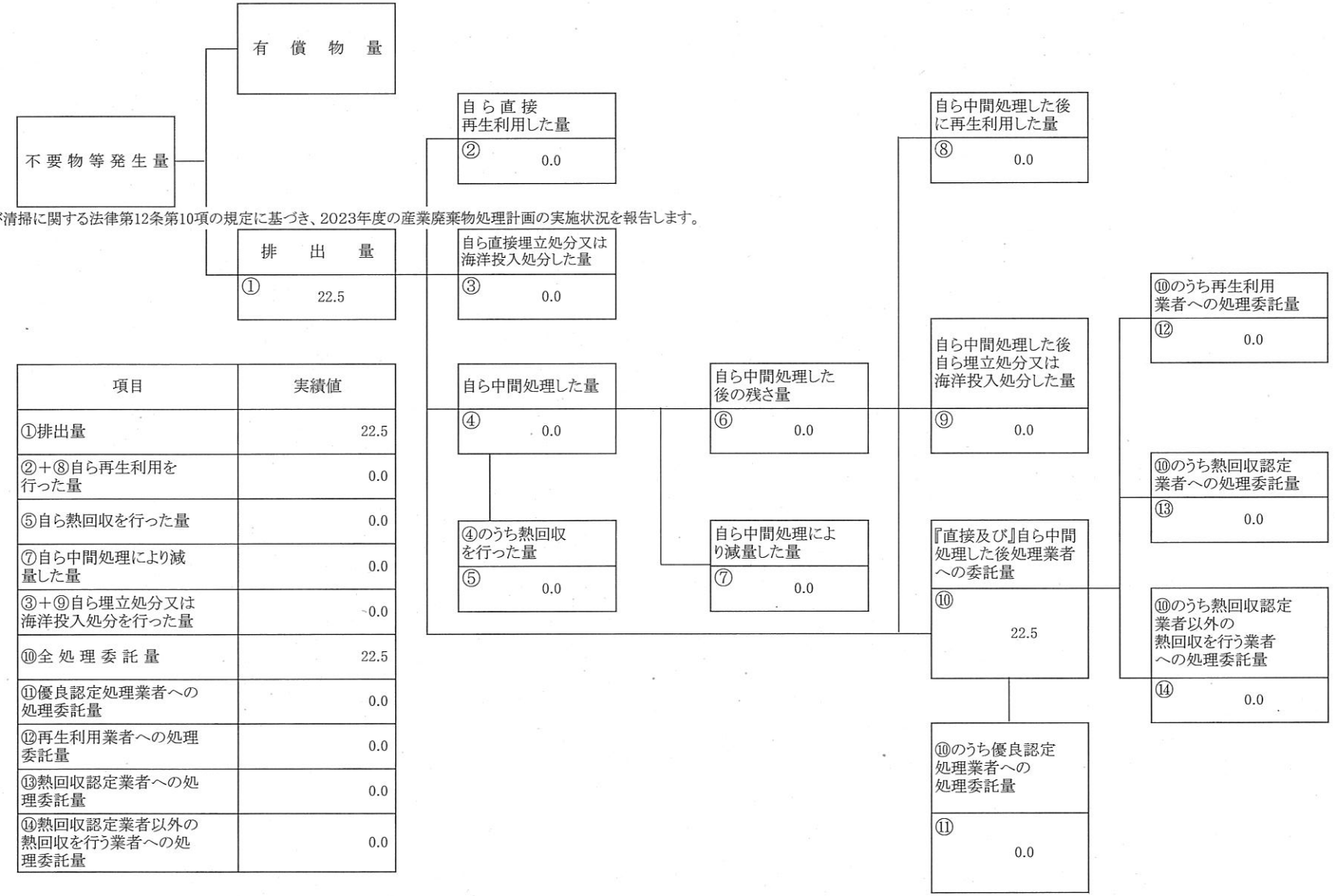


項目	実績値
①排出量	21.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	21.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産廃（廃プラ）　）



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

項目	実績値
①排出量	22.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	22.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

熊

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　氏名　　執行役員支店長　山浦　真幸

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

づき、(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒163-6007

住　所　東京都新宿区西新宿六丁目８番１号

氏　名　大成建設株式会社 東京支店
常務執行役員 支店長　中村 有孝

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5381-5372

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社　東京支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1(新宿オークタワー)
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	3,545億円
③　従業員数	1,696人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙-1の通り」

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

「別紙-2の通り」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
	排出量	別紙-4-1の通り（現状） t	別紙-4-2の通り（目標） t
	（これまでに実施した取組） 「別紙3-3項の通り」		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
	排出量	別紙-4-1の通り（現状） t	別紙-4-2の通り（目標） t
	（今後実施する予定の取組） 「別紙3-3項の継続実施」		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 「別紙3-4項の通り」
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 「別紙3-4項の継続実施」

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

「別紙3-5項の通り」

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

「別紙3-5項の継続実施」

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙-4-1の通り（現状）	別紙-4-2の通り（目標）
全処理委託量＿	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

「別紙3-6項の通り」

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙-4-1の通り
（現状）</td><td>別紙-4-2の通り
（目標）</td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙3-6項の継続実施」</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙-1

大品目	細品目	中間処理	売却・リサイクル品	再中間処理	リサイクル品	最終処分場
がれき類	コンクリート	破砕	再生砕石・砂			
	アスファルト	破砕	再生砕石・砂			
	その他のがれき	破砕	再生砕石・砂			
						安定型
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	破砕	再生砕石・砂			
				焼却・溶融	発電・ｽﾗｸﾞ化・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	
						安定型
	廃石膏ボード	破砕		破砕	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ原料	
金属くず	アスファルト	破砕	金属・非鉄金属			
						安定型
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	塩ビ管	圧縮・減容	塩ビ材			
	廃ﾌﾟﾗ・塩ビ管	圧縮・減容	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料・RPF	焼却・溶融・破砕・焼成・減容固化	ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・ｾﾒﾝﾄ原料化・RPF・発電・ｽﾗｸﾞ化・塩ﾋﾞｼｰﾄ	
	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	圧縮・減容				
						安定型
木くず	木くず	破砕	ﾁｯﾌﾟ・ﾊﾟｰﾁｶﾙﾎﾞｰﾄﾞ	焼却・溶融・破砕	燃料ﾁｯﾌﾟ・ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化・ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	
						管理型
紙くず	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ・紙くず	圧縮・減容	再生紙原料			
	紙くず	圧縮・減容	再生紙原料	焼却・溶融・	ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化	
						管理型
繊維くず	繊維くず	破砕		破砕	堆肥・RPF	
						管理型
建設汚泥	建設汚泥	脱水・調質改	改良土・流動化処理土			
水銀使用製品産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	破砕	ｶﾞﾗｽ・金属・水銀			
				乾燥・固化	覆土材	
廃油	含油廃水・油水分離	焼却・再生油				
混合産廃（管理型）	混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞなし）	選別し細品目に分け、各品目毎の処理フローにより処理。				
混合産廃（安定型含）	混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞあり）					
石綿含有産廃						安定型

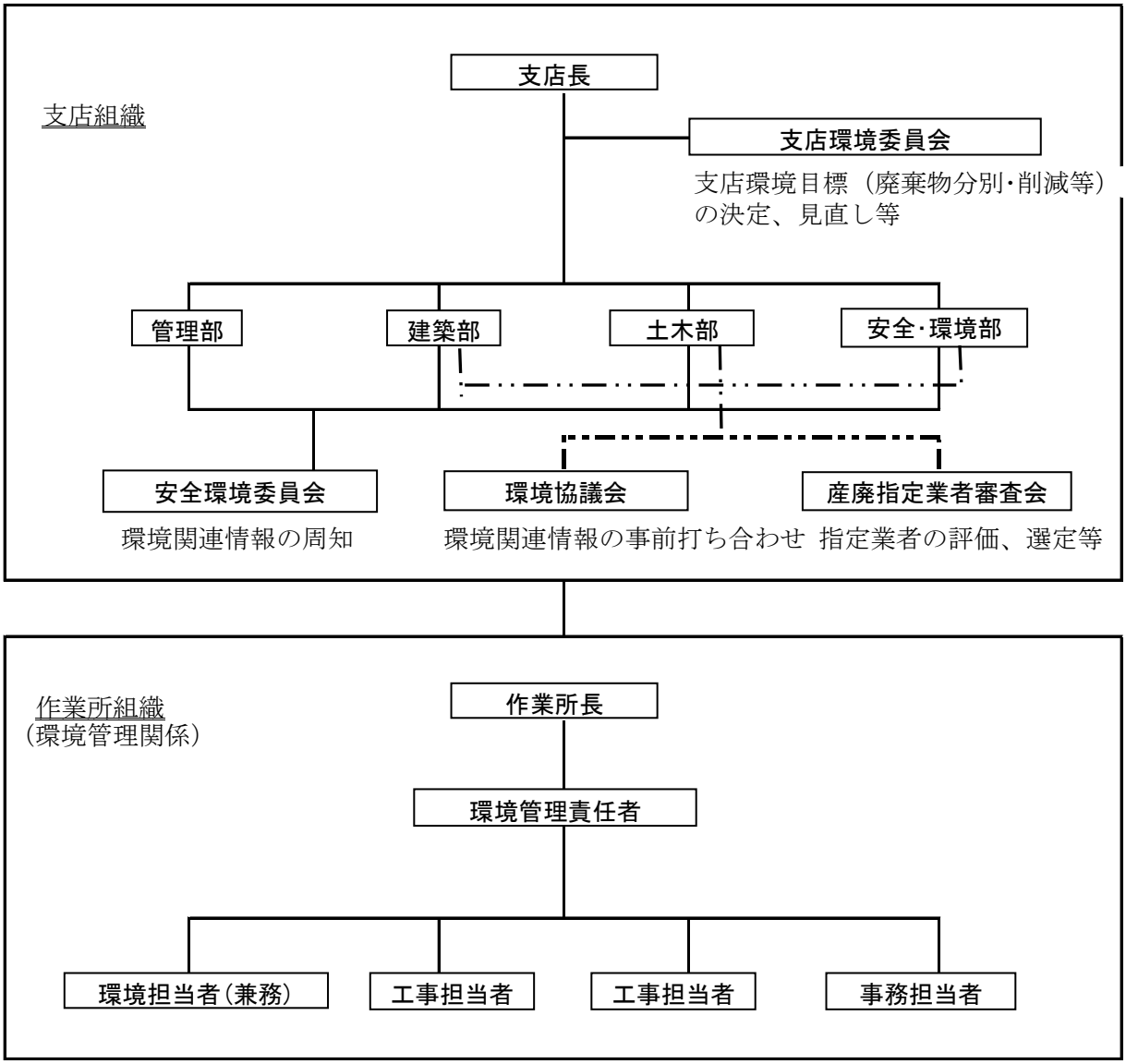
別紙- 2

管理体制図

当事業における責任及び管理組織図

統括責任者		東京支店長
	担当部署（指導）	安全･環境部　安全･環境管理室
		建築部　安全･環境推進室
		土木部　安全･環境推進室
作業所	責任者	（建築、土木）作業所長
	担当者	作業所長が指名

管理組織



別紙-３

取組みの現状(継続しての実施事項)

1. 管理体制等の強化

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

１）建設廃棄物の分別･リサイクル等に関する環境目標の設定
２）産業廃棄物の処理に関する手順の策定
３）作業所毎の法規制等チェックシートによる関係法令の遵守
４）計画的な内部環境監査及び環境パトロールの実施
５）外部環境監査による指摘と是正（再発防止含む）
６）年度ごとの見直しを行い、継続的な改善を図る
７）ゼロエミッション重点実施作業所の継続した設置と推進
８）環境負荷低減活動(TAISEI Sustainable Action)による環境配慮型社会の展開
９）協力会で行なう環境パトロールによる指摘業者への指導
10）職長会による分別指導

2. 教育

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

１）社員教育
①環境問題の概要
②環境方針、ＥＭＳを遵守することの重要性
③各業務が実際に又は、潜在的に持つ著しい環境への影響、環境管理改善の便益
④環境方針､環境目標､ＥＭＳ活動の目的・目標を達成するための役割と責任
⑤規定された環境に関する標準、要領・手順を逸脱した場合に予想される結果
⑥廃掃法はじめ、関連法改正を含めた最新環境情報の伝達
※全従業員を対象に定期的に集合教育（0.J.T）を行う。受講できなかった者に対しては内勤者は室長、作業所は作業所長が0.J.Tを実施する。

２）専門工事業者教育
①作業所毎、新規入場者教育時に作業所環境目標、実施手順に係る教育を実施。
②作業所へ作業員を送出す際に当社作成の環境教育資料を基に環境教育を実施。
③各種大会、講習会時に３Ｒ活動を含めた環境教育を実施。
④協力会組織の環境委員会活動により専門工事業者会員の環境意識の向上を図る。

3. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

施工計画時において下記事項を検討し、実施可能な項目を採用している。

・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・工法変更による廃材の抑制
・資材の転用　その他

4. 産業廃棄物の分別に関する事項

・ 当社の副産物処理要領書に則り、作業所において分別計画を立て実施する。
・ 計画の策定に当っては、地域の産業廃棄物中間処理施設、リサイクル施設等の分別品目の受入れ条件を十分考慮する。

5. 産業廃棄物の再生利用に関する事項

・ 建設リサイクル法等関係法令を遵守し、作業所毎に再生資源利用(促進)計画を策定し、実施の記録を保管する。
・ グリーン購入標準、グリーン調達ガイドラインに基づく環境配慮品の採用。

6. 産業廃棄物の処理に関する事項

・ 廃掃法及び当社の副産物処理要領書に則り、保管基準、処理基準、委託基準を遵守する。特に注力する事項を下記に示す。

１）当社書式による委託契約書の作成・保管。
２）紙マニフェストの交付及び照合・保管。
　紙マニフェストは、建設六団体副産物対策協議会発行のものを使用する。
３）電子マニフェスト化を積極的に展開し普及率を把握（毎月）し向上を図る。
４）支店、本社における作業所の廃棄物処理状況の把握。
　作業所は「環境データ管理システム（E-DAM)」によりその都度入力する。
　支店、本社は本社サーバーに集積された各作業所からのデータ（E-DAM)を閲覧し、指導する。
５）指定業者制度(混合廃棄、建設汚泥）を採用し、支店担当者がチェックシートにより毎年指定業者処理場を評価し、審査会に諮り審議することよりリスクの軽減を図っている。

多量排出事業者実績報告一覧
(表示期間:2023年04月～2024年03月)

別紙－４－１

本部名:土木/建築　支店名:東京　工事部名:指定なし　作業所名:指定なし　科目コード:指定なし
該当工種:指定なし　　都道府県:千葉県　　政令市:政令市を除く　　所轄保健所:指定なし　　排出区分:指定なし

産業廃棄物

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	①	②'-a	②'－b	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩'-a	⑩'－b	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	有価・広域認定物売却量
		排出量	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	自ら直接再生利用した量 (②-a+②-b)	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後に再生利用した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した	中間処理量	最終処分量	『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	
廃棄物																				
コンクリートがら		1,265.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,265.6	0.0	1,265.6	1,260.8	1,265.6	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	0.0	7.2	3.2	7.2	0.0	0.0	
その他がれき類		52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0	0.0	52.0	52.0	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		160.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	160.0	0.0	160.0	0.7	0.0	0.0	0.0	
金属くず		1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	
汚泥		146.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	146.4	0.0	146.4	146.4	146.4	0.0	0.0	
紙くず		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	
木くず		35.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.8	0.0	35.8	35.0	35.8	0.0	0.0	
廃石膏ボード		5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	5.4	2.1	0.0	0.0	0.0	
廃油		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	0.0	48.0	45.5	0.0	0.0	0.0	
合計	0.0	1,725.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,725.6	0.0	1,725.6	1,550.9	1,457.2	0.0	0.0	0.0

多量排出事業者実績計画一覧
(表示期間:2024年04月～2025年03月)

別紙－４－２

本部名:土木/建築　支店名:東京　工事部名:指定なし　作業所名:指定なし　科目コード:指定なし
該当工種:指定なし　　都道府県:千葉県　　政令市:政令市を除く　　所轄保健所:指定なし　　排出区分:指定なし

産業廃棄物

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	①	②'-a	②'－b	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩'-a	⑩'－b	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	有価・広域認定物売却量
		排出量	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	自ら直接再生利用した量 (②-a+②-b)	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後に再生利用した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した	中間処理量	最終処分量	『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	
廃棄物																				
コンクリートがら		1,260.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,260.0	0.0	1,260.0	1,250.0	1,260.0	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	7.0	3.0	7.0	0.0	0.0	
その他がれき類		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		160.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	160.0	0.0	160.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
金属くず		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	
汚泥		145.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	145.0	0.0	145.0	145.0	145.0	0.0	0.0	
紙くず		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.7	0.0	0.0	
木くず		30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	30.0	30.0	30.0	0.0	0.0	
廃石膏ボード		3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	
廃油		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	36.0	0.0	0.0	0.0	
合計	0.0	1,700.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,700.0	0.0	1,700.0	1,523.0	1,443.7	0.0	0.0	0.0

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒163-6007
住 所　東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
氏 名　大成建設株式会社 東京支店
常務執行役員 支店長 中村 有孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5381-5372

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成建設株式会社 東京支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1(新宿オークタワー)
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

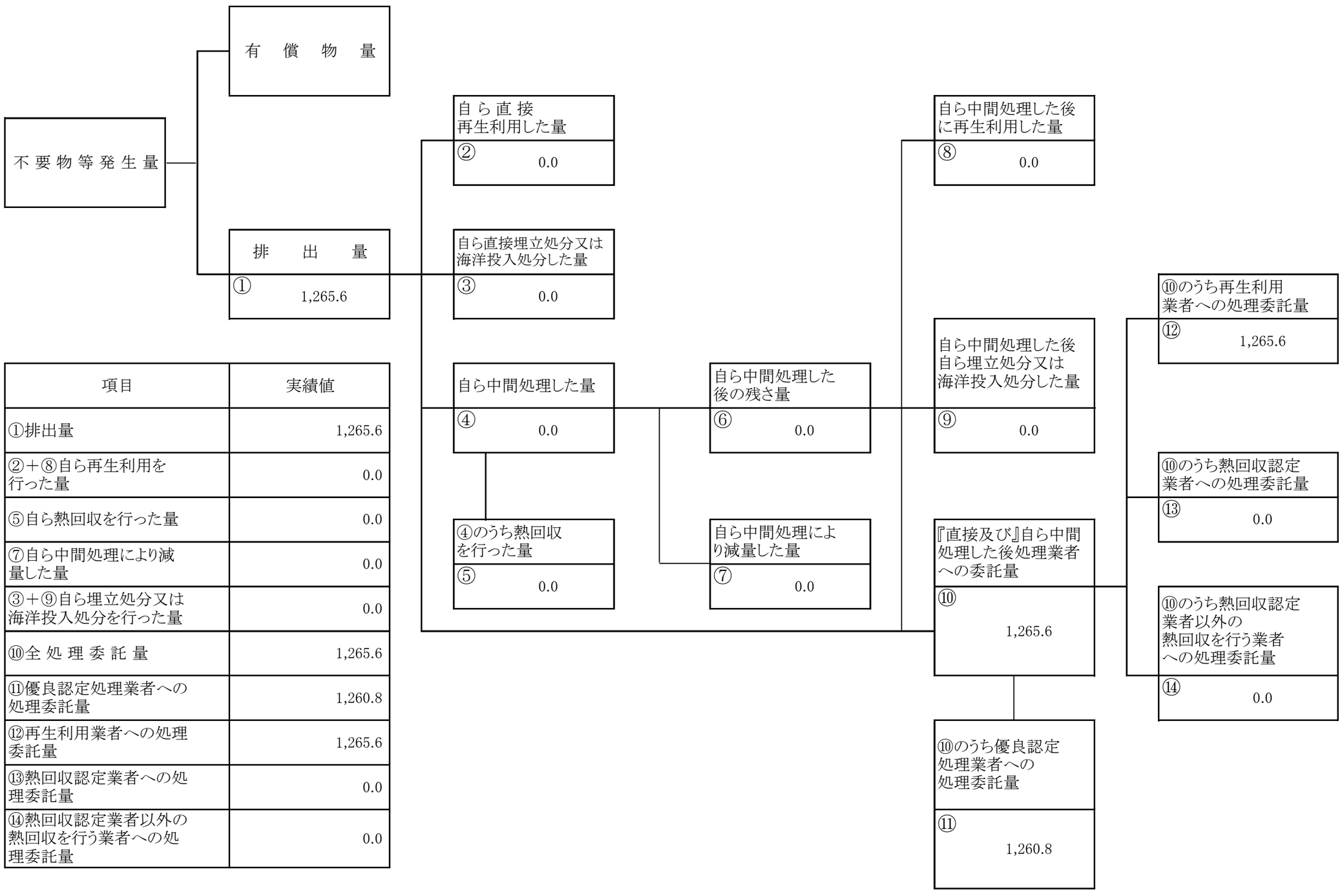
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,000.0t	全処理委託量	4,000.0t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2,200.0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2,180.0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

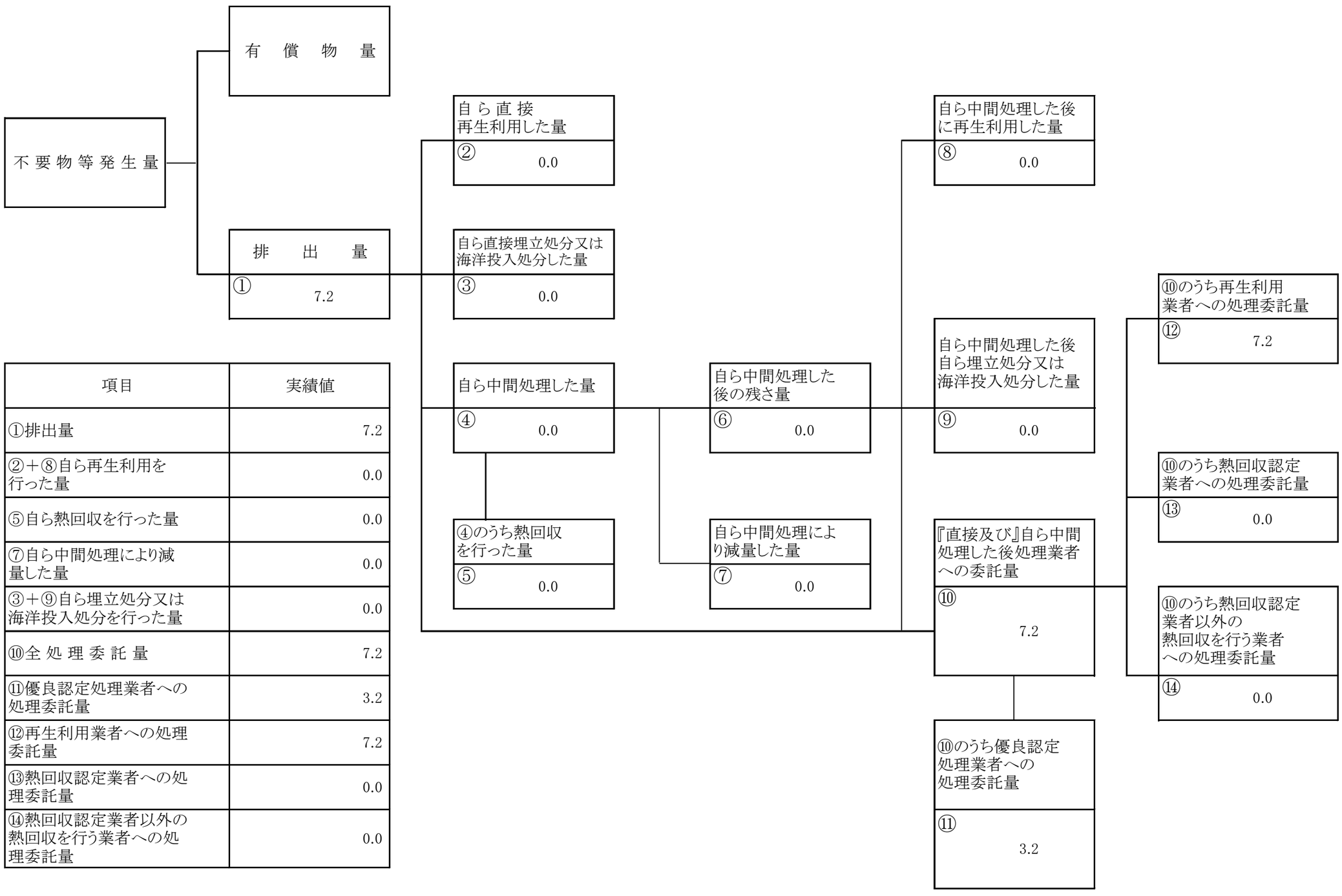


項目	実績値
①排出量	1,265.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,265.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,260.8
⑫再生利用業者への処理委託量	1,265.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

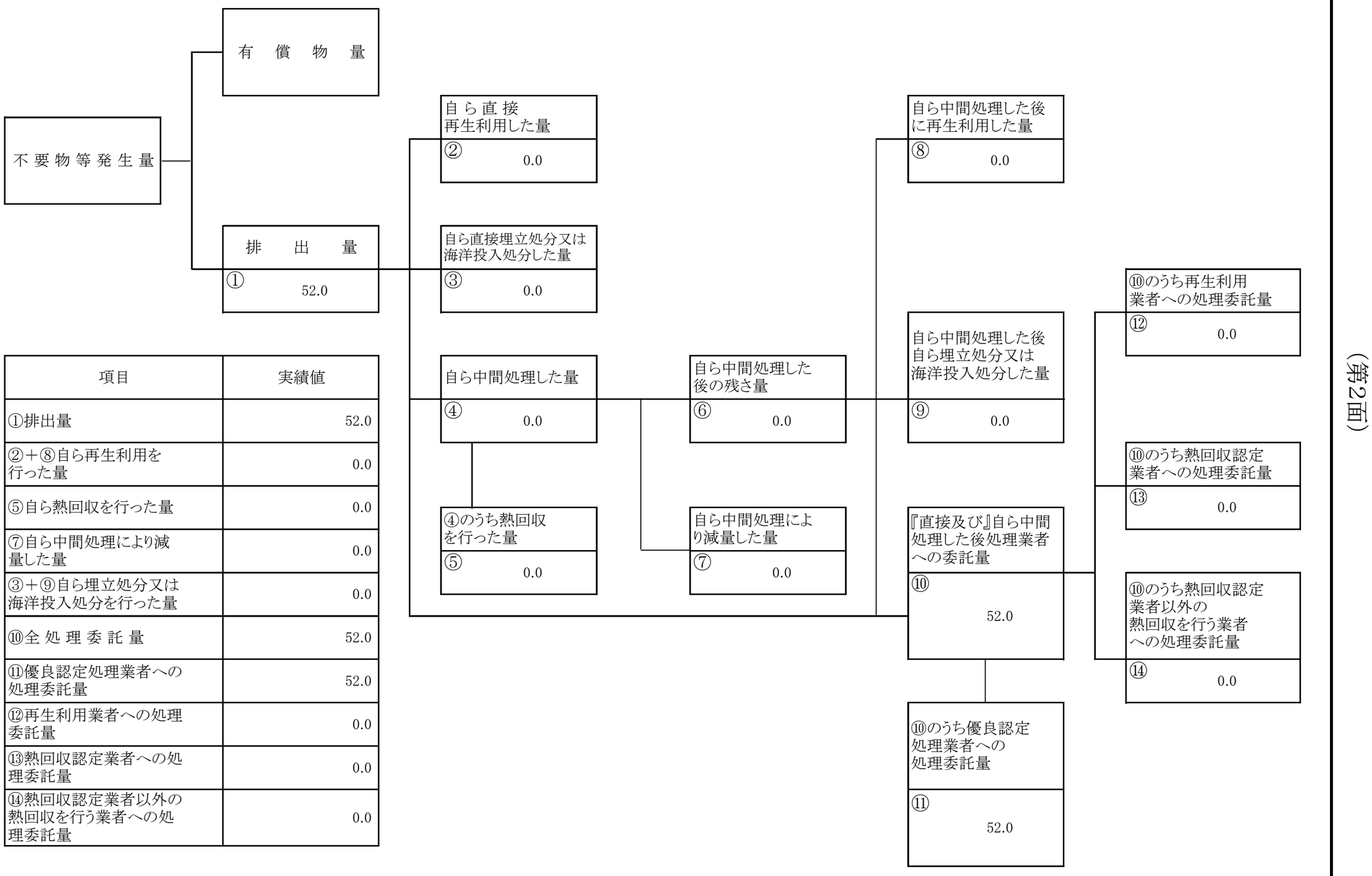


項目	実績値
①排出量	7.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	7.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.2
⑫再生利用業者への処理委託量	7.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　その他がれき類　）

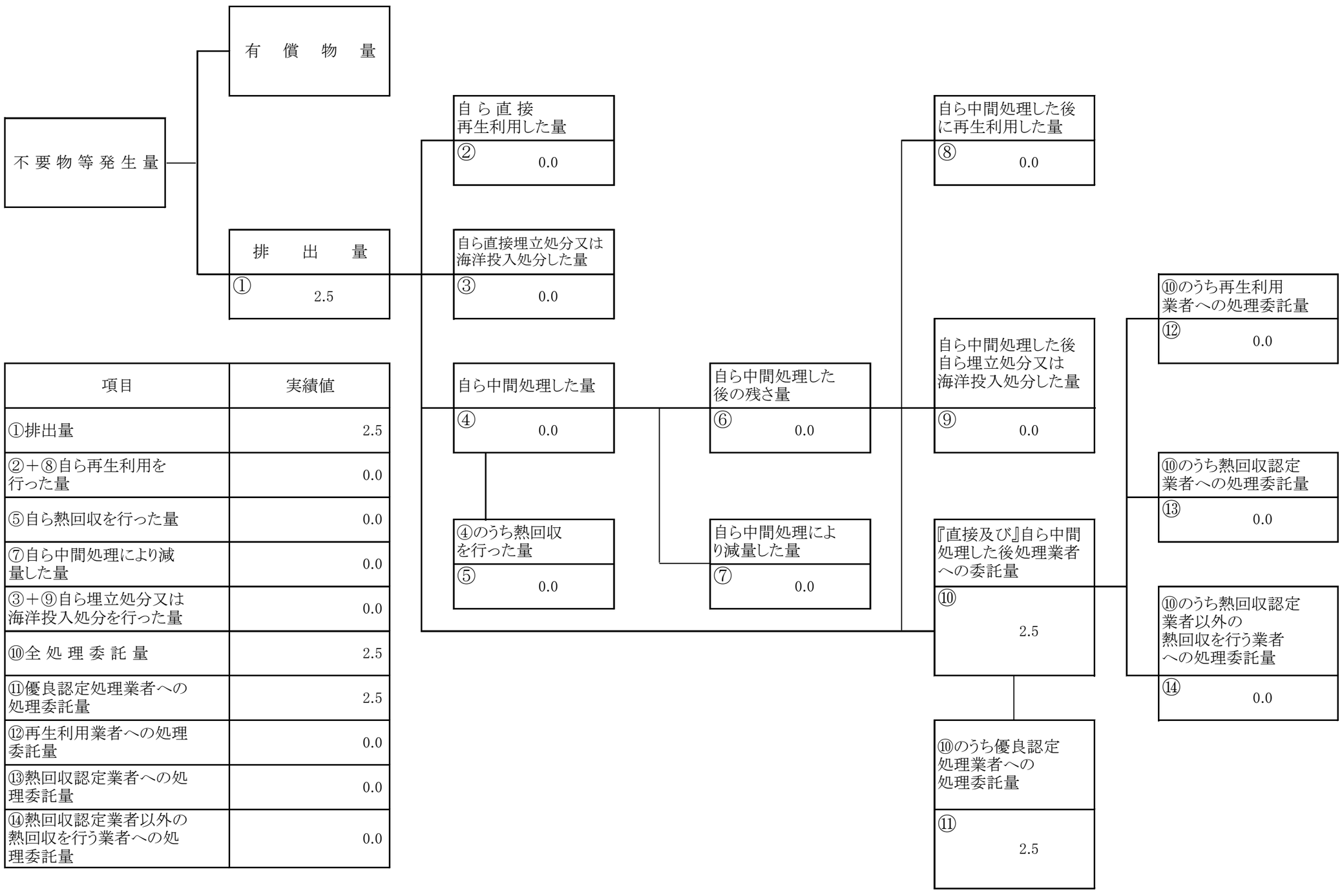


項目	実績値
①排出量	52.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	52.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック類　）

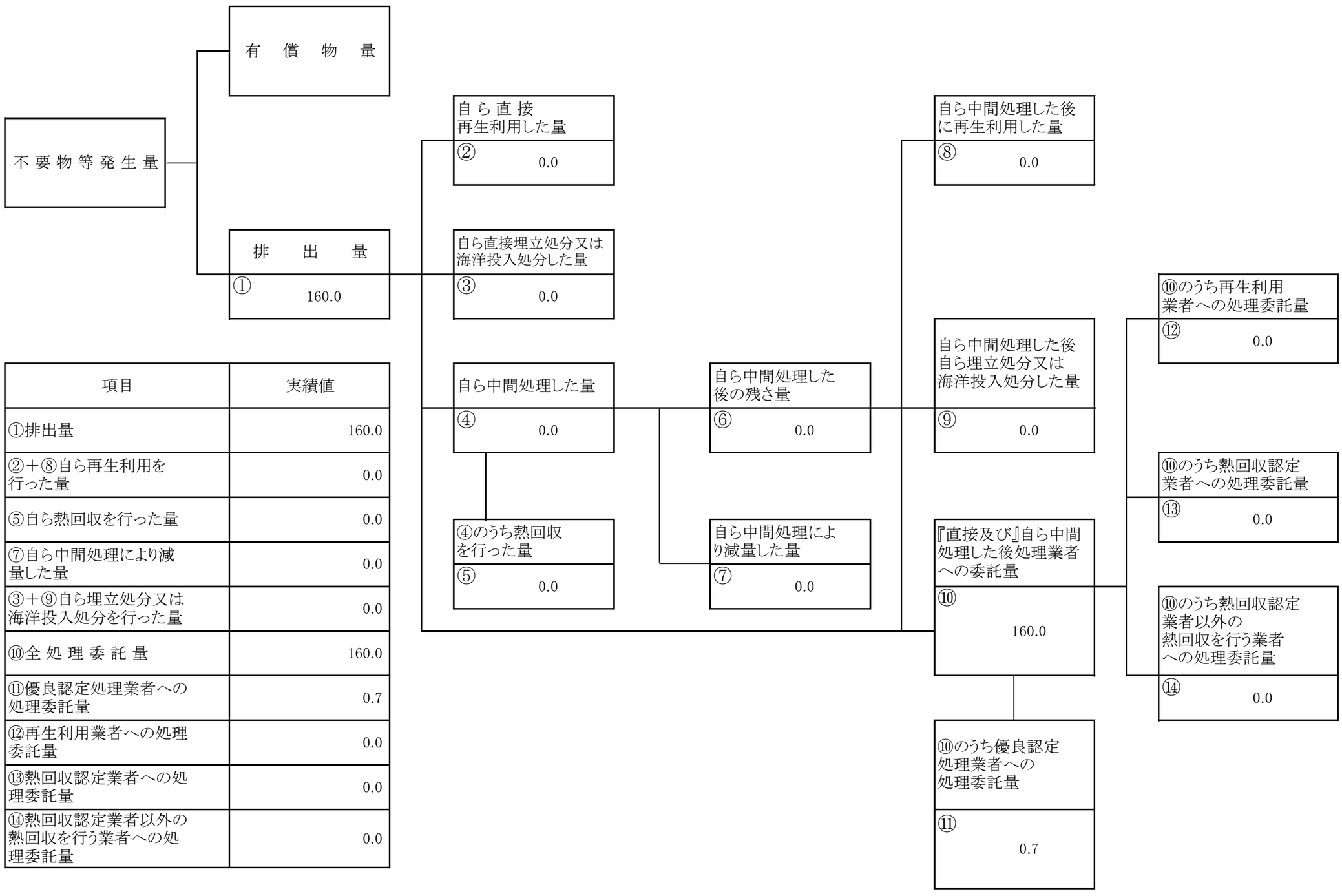


項目	実績値
①排出量	2.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	2.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　ガラスくず及び陶磁器くず　）

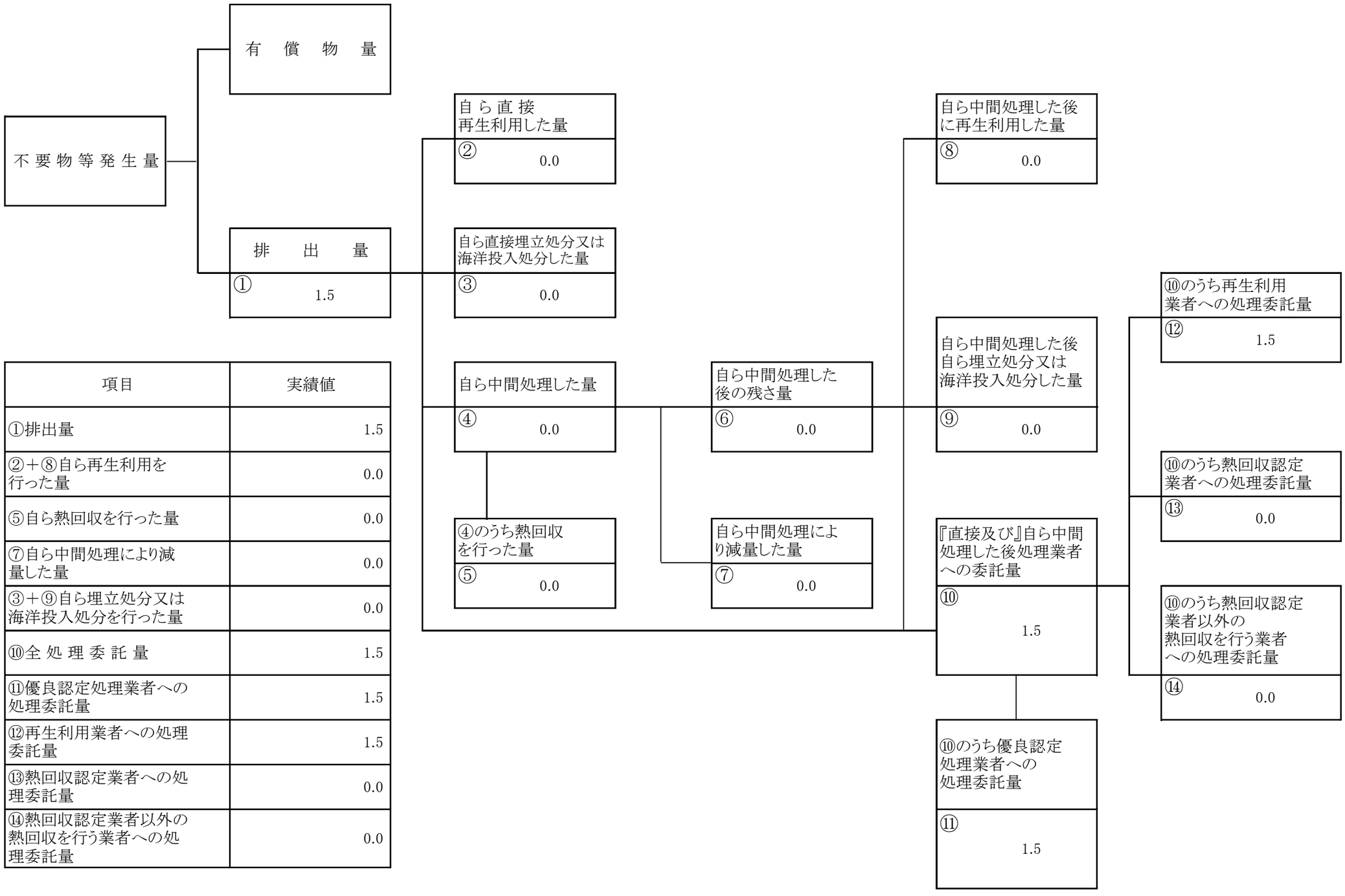


項目	実績値
①排出量	160.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	160.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

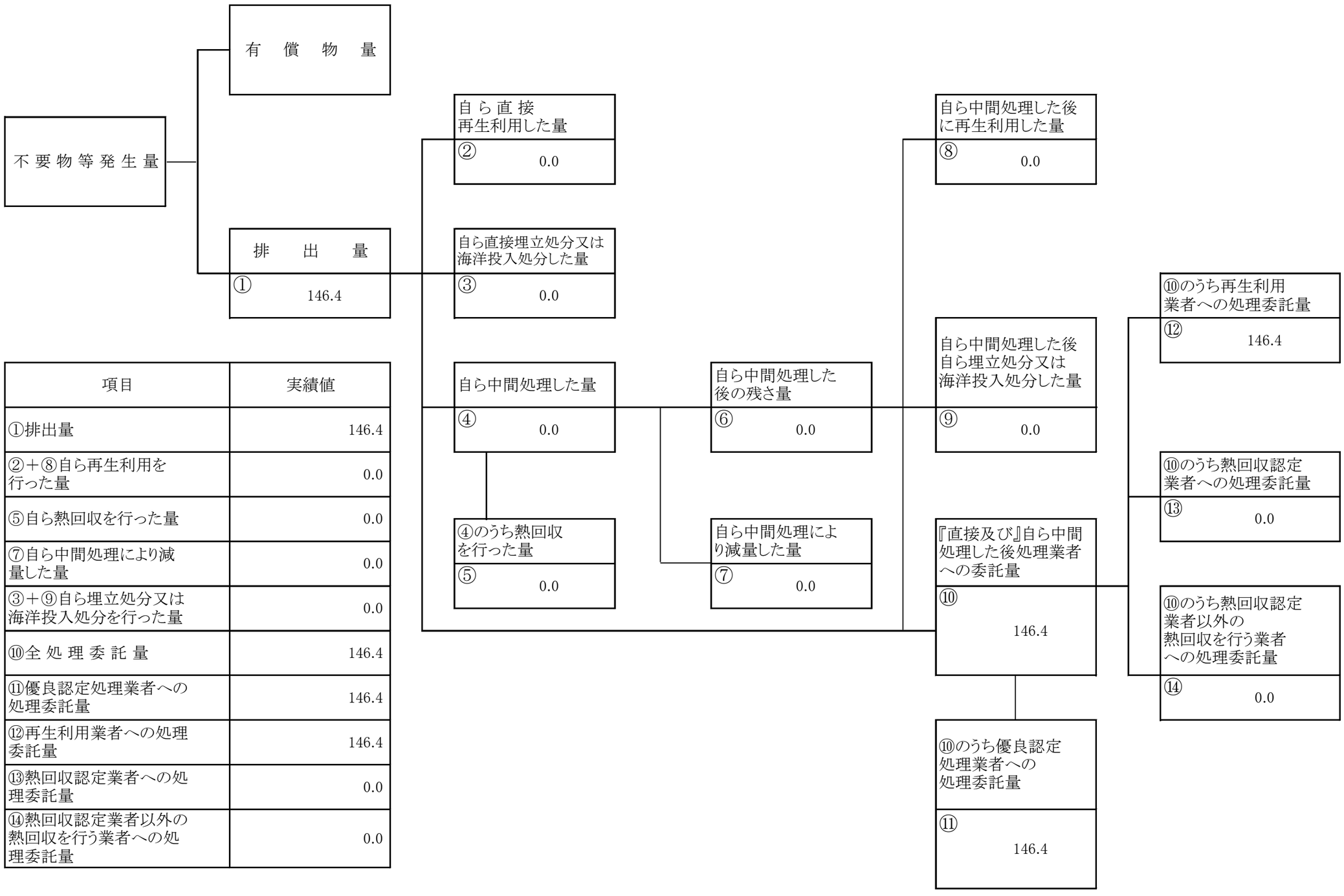


項目	実績値
①排出量	1.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

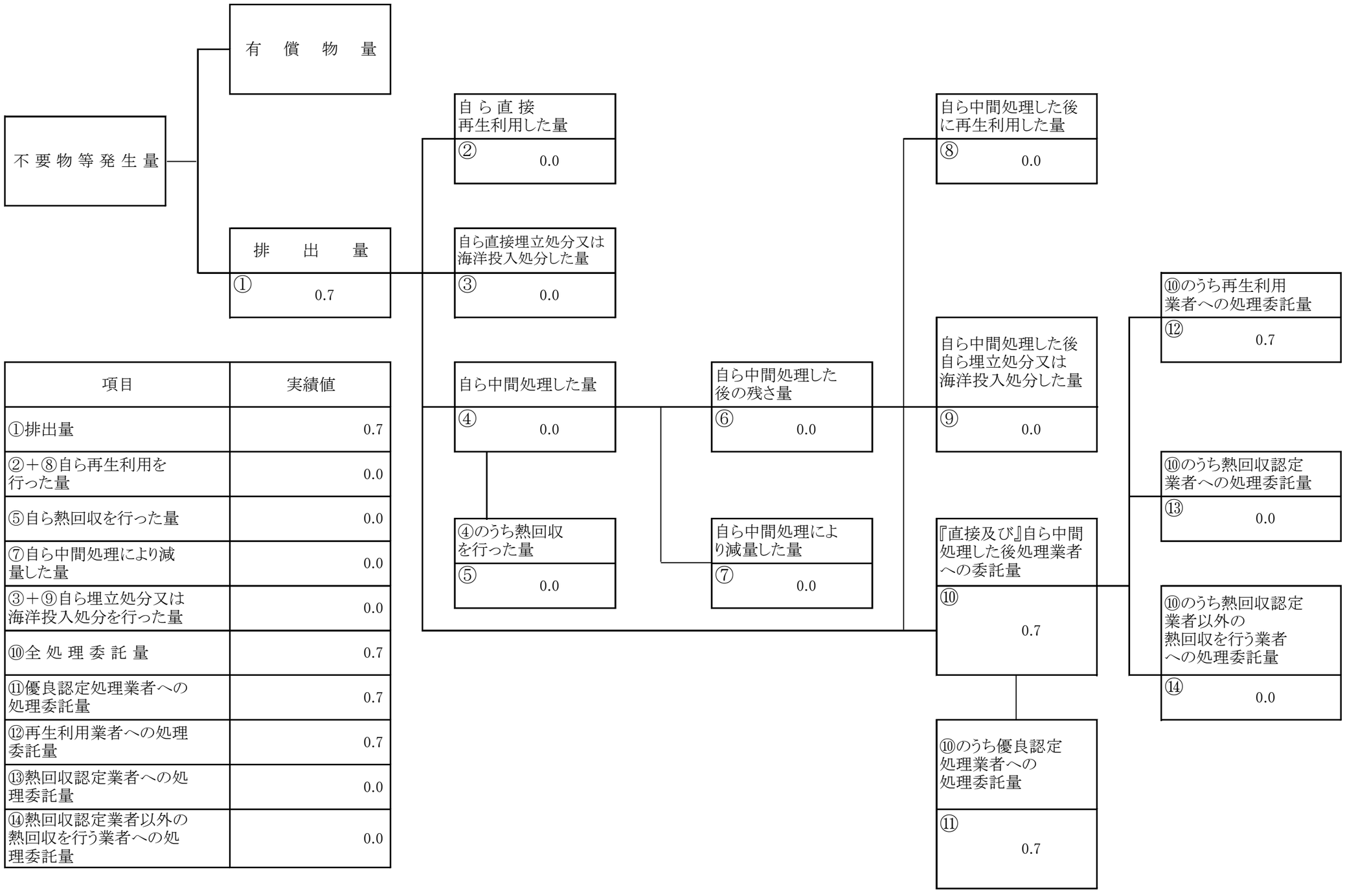


項目	実績値
①排出量	146.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	146.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	146.4
⑫再生利用業者への処理委託量	146.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

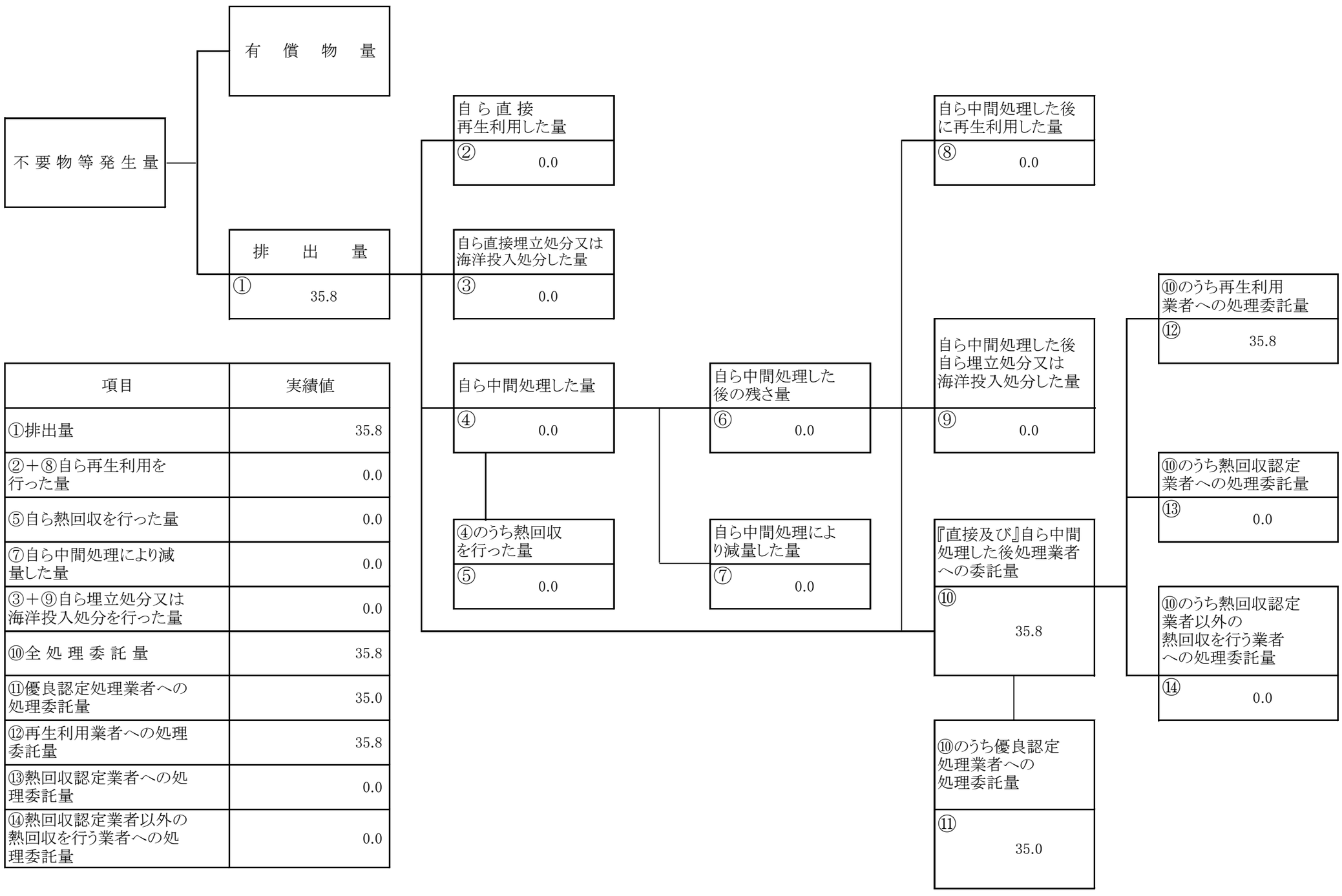


項目	実績値
①排出量	0.7
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

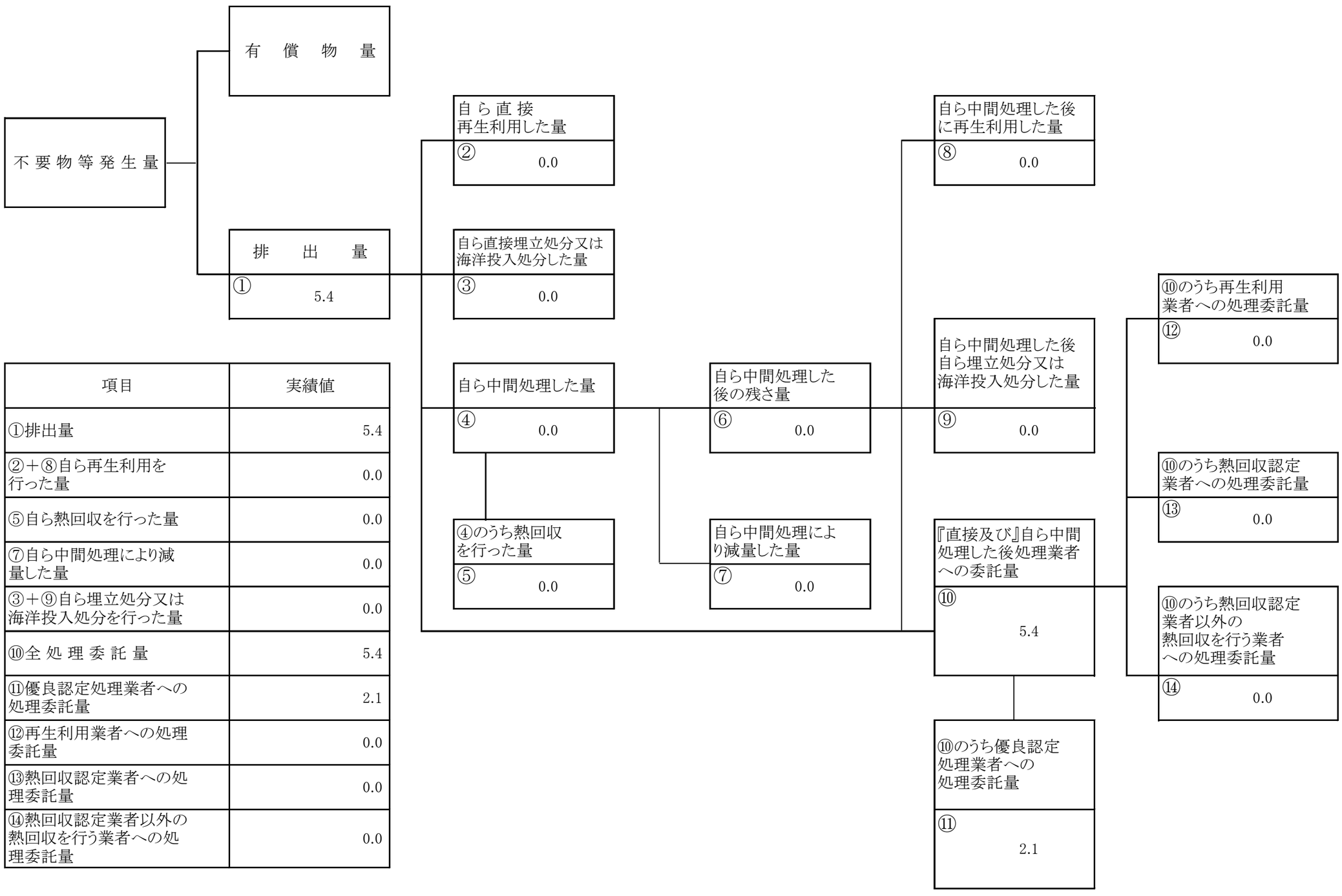


項目	実績値
①排出量	35.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	35.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.0
⑫再生利用業者への処理委託量	35.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃石膏ボード　）

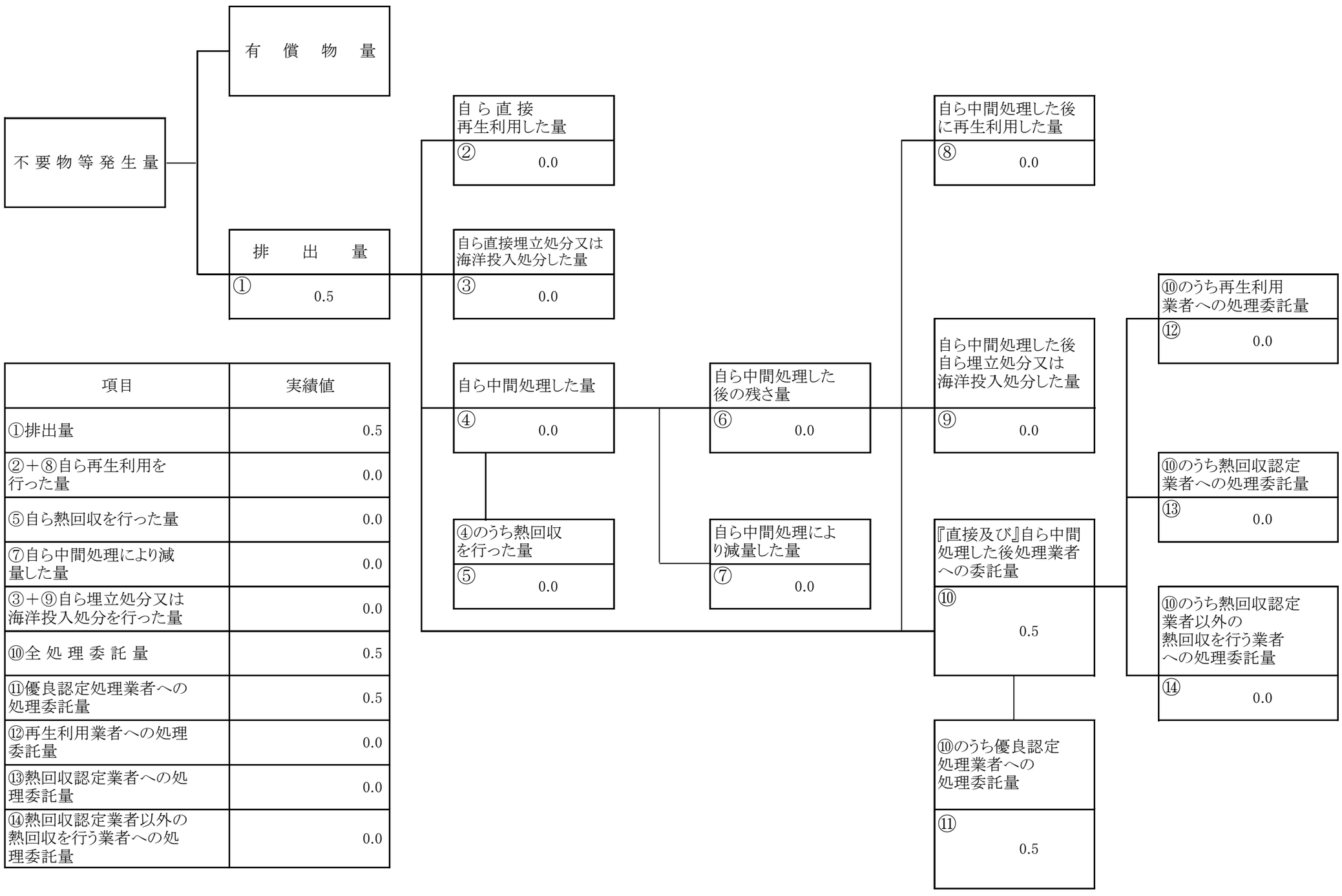


項目	実績値
①排出量	5.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	5.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃油　）

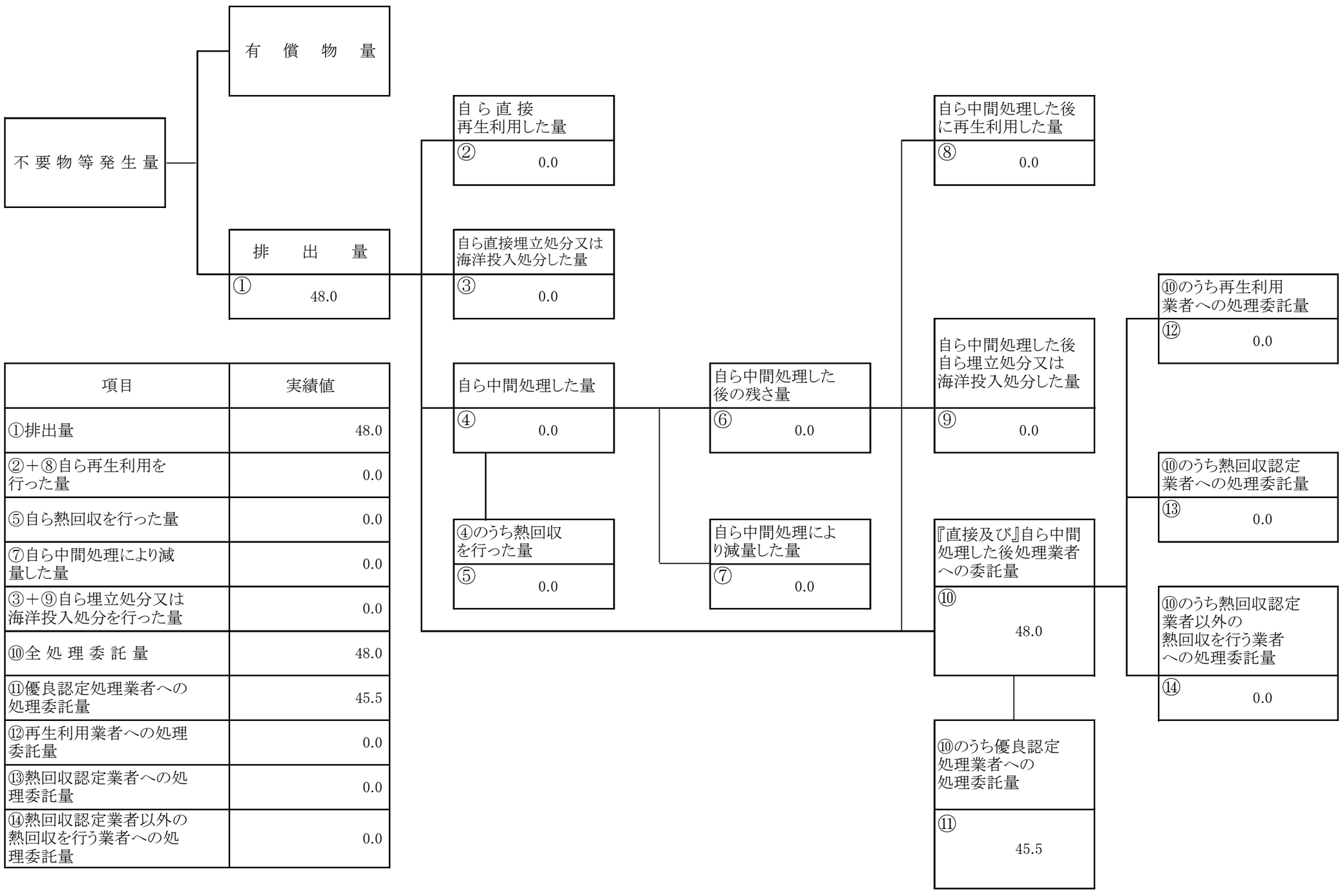


項目	実績値
①排出量	0.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　混廃（管理型含む）　）



項目	実績値
①排出量	48.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	48.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

多量排出事業者実績報告一覧
(表示期間:2023年04月～2024年03月)

本部名:土木/建築　支店名:東京　工事部名:指定なし　作業所名:指定なし　科目コード:指定なし
該当工種:指定なし　　都道府県:千葉県　　政令市:政令市を除く　　所轄保健所:指定なし　　排出区分:指定なし

産業廃棄物

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	①	②'-a	②'-b	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩'-a	⑩'-b	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	有価・広域認定物売却量
		排出量	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	自ら直接再生利用した量 (②-a+②-b)	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後に再生利用した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した	中間処理量	最終処分量	『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	
廃棄物																				
コンクリートがら		1,265.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,265.6	0.0	1,265.6	1,260.8	1,265.6	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	0.0	7.2	3.2	7.2	0.0	0.0	
その他がれき類		52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0	0.0	52.0	52.0	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		160.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	160.0	0.0	160.0	0.7	0.0	0.0	0.0	
金属くず		1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	
汚泥		146.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	146.4	0.0	146.4	146.4	146.4	0.0	0.0	
紙くず		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	
木くず		35.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.8	0.0	35.8	35.0	35.8	0.0	0.0	
廃石膏ボード		5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	5.4	2.1	0.0	0.0	0.0	
廃油		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	0.0	48.0	45.5	0.0	0.0	0.0	
合計	0.0	1,725.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,725.6	0.0	1,725.6	1,550.9	1,457.2	0.0	0.0	0.0

多量排出事業者実績計画一覧
(表示期間:2024年04月～2025年03月)

本部名:土木/建築　支店名:東京　工事部名:指定なし　作業所名:指定なし　科目コード:指定なし
該当工種:指定なし　　都道府県:千葉県　　政令市:政令市を除く　　所轄保健所:指定なし　　排出区分:指定なし

産業廃棄物

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	①	②'-a	②'-b	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩'-a	⑩'-b	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	有価・広域認定物売却量
		排出量	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	自ら直接再生利用した量 (②-a+②-b)	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後に再生利用した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した	中間処理量	最終処分量	『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	
廃棄物																				
コンクリートがら		1,260.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,260.0	0.0	1,260.0	1,250.0	1,260.0	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	7.0	3.0	7.0	0.0	0.0	
その他がれき類		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		160.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	160.0	0.0	160.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
金属くず		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	
汚泥		145.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	145.0	0.0	145.0	145.0	145.0	0.0	0.0	
紙くず		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.7	0.0	0.0	
木くず		30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	30.0	30.0	30.0	0.0	0.0	
廃石膏ボード		3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	
廃油		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	36.0	0.0	0.0	0.0	
合計	0.0	1,700.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,700.0	0.0	1,700.0	1,523.0	1,443.7	0.0	0.0	0.0

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月13日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　105-0001

住所　東京都港区虎ノ門2-2-1住友不動産虎ノ門タワー

法人名 大成ユーレック株式会社

代表者 青木 卓

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6230-1707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成ユーレック株式会社
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

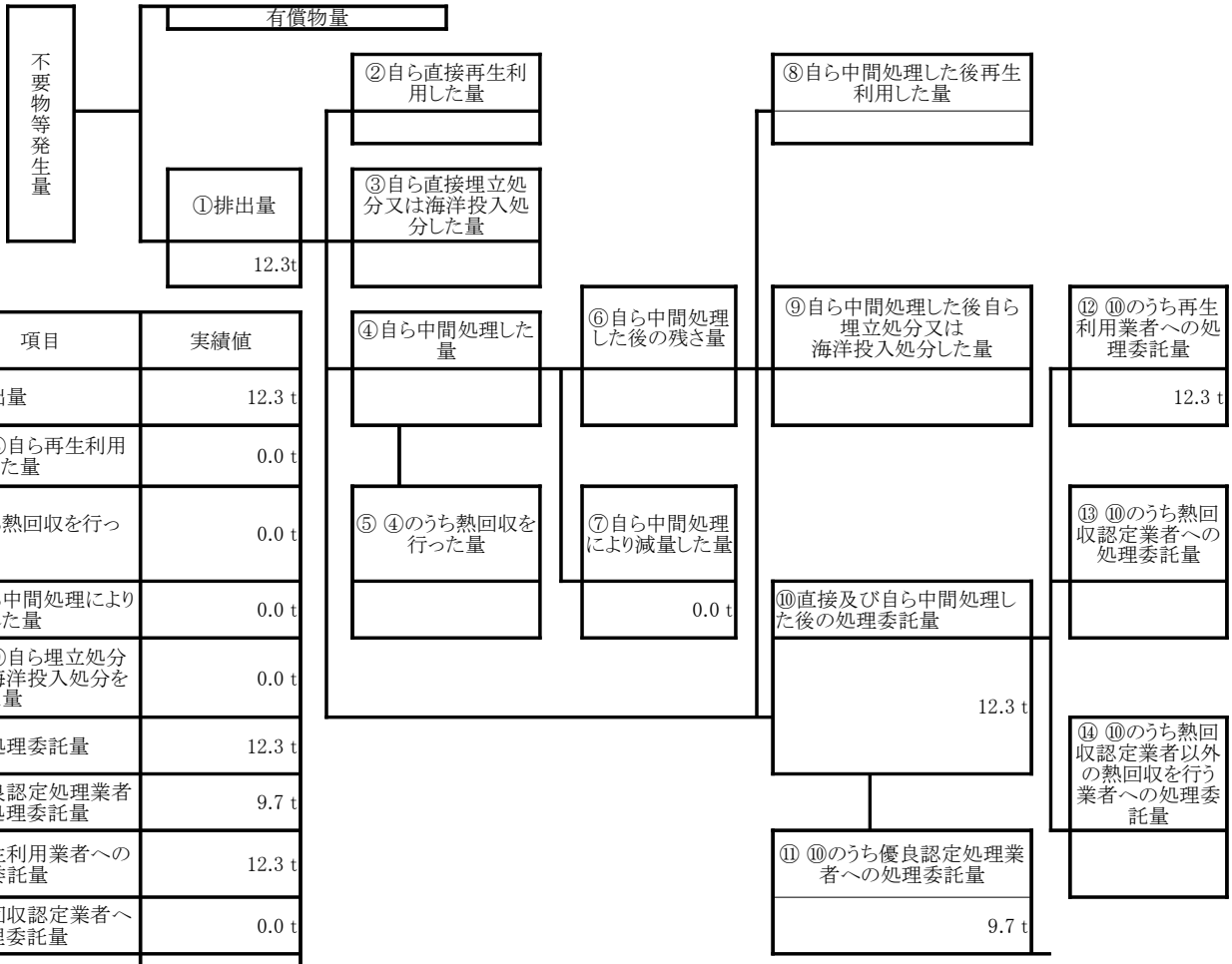
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1366.89 t	全処理委託量	1366.89 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	112.36 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1028.56 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	7.84 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

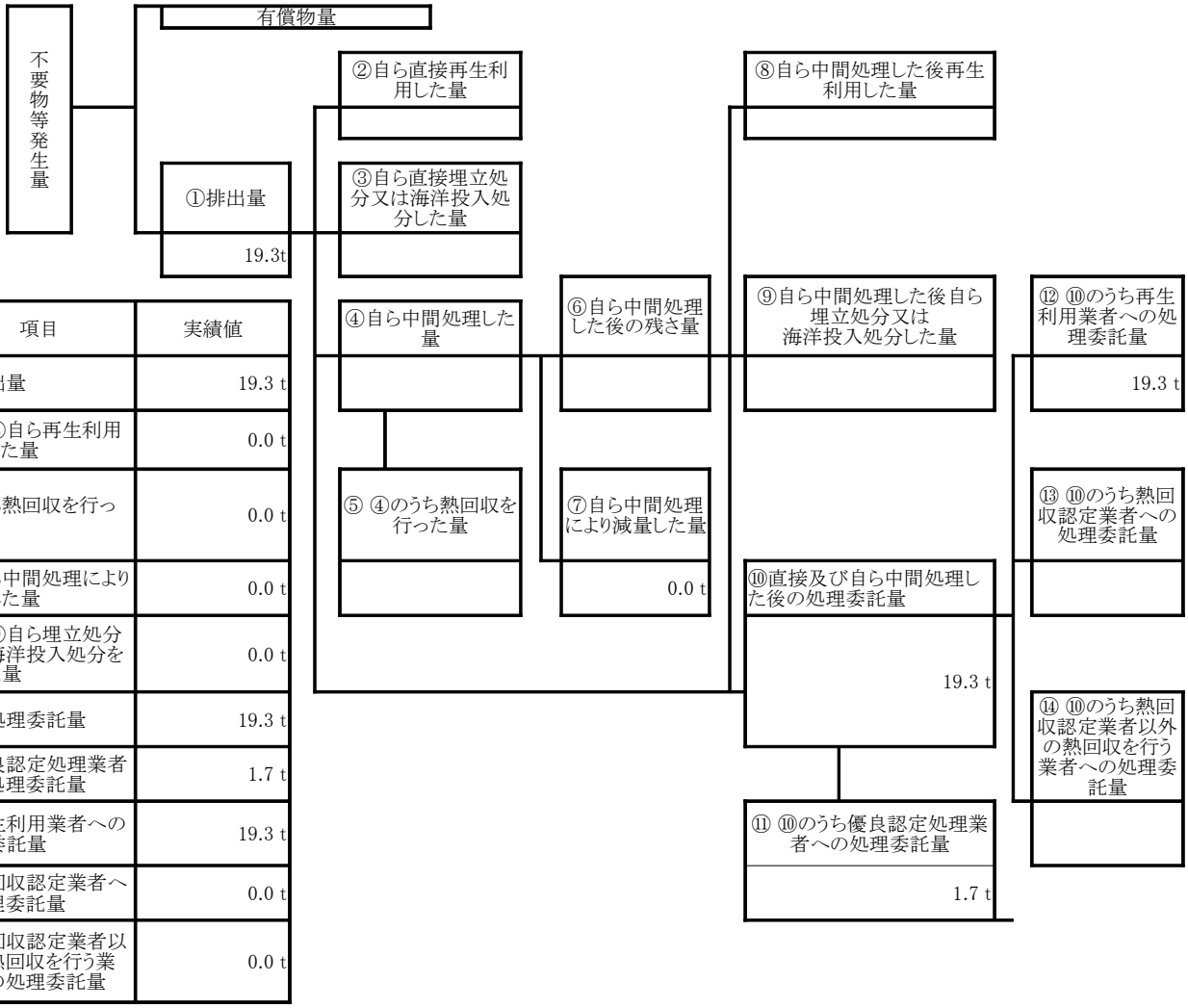


項目	実績値
①排出量	12.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

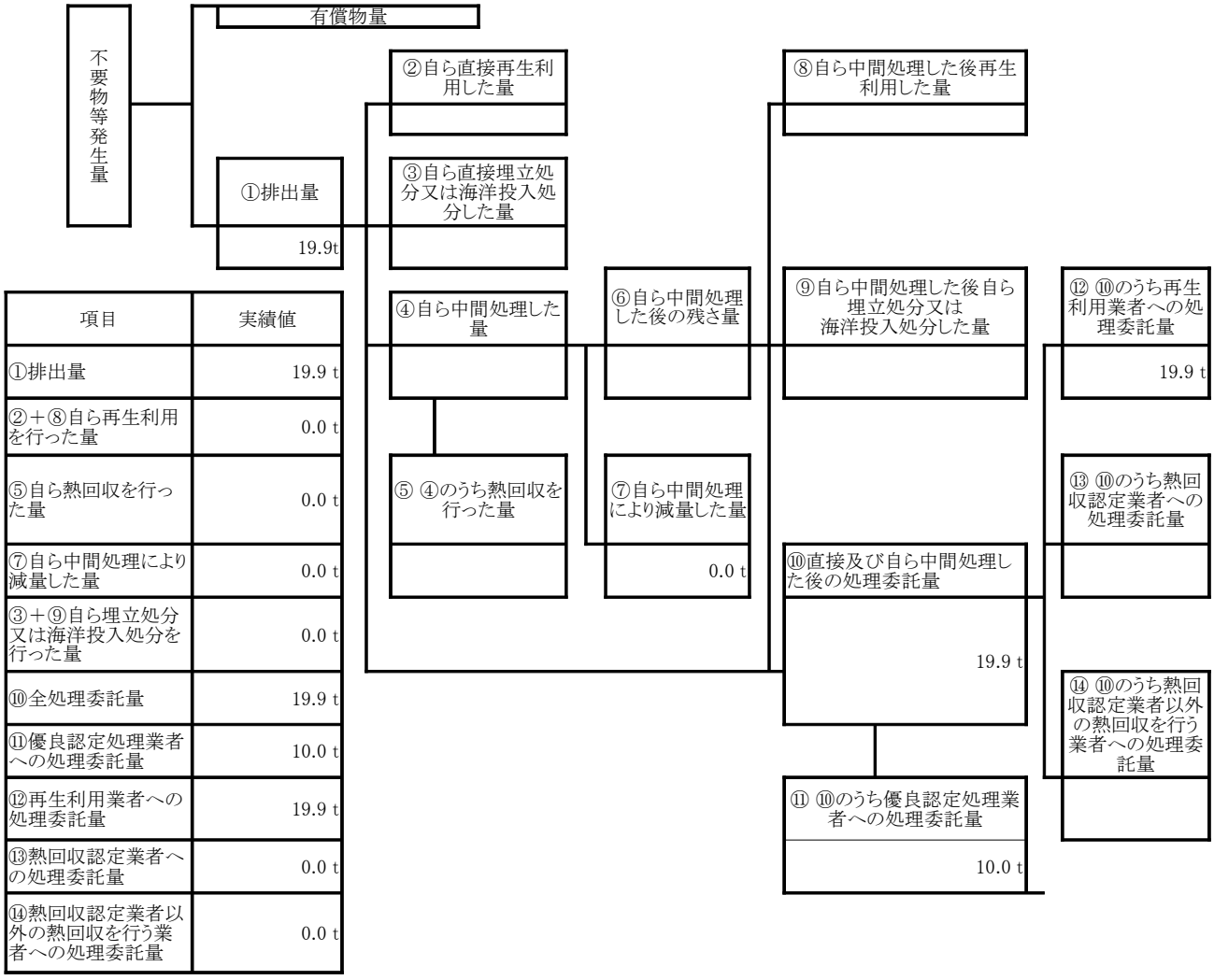


項目	実績値
①排出量	19.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

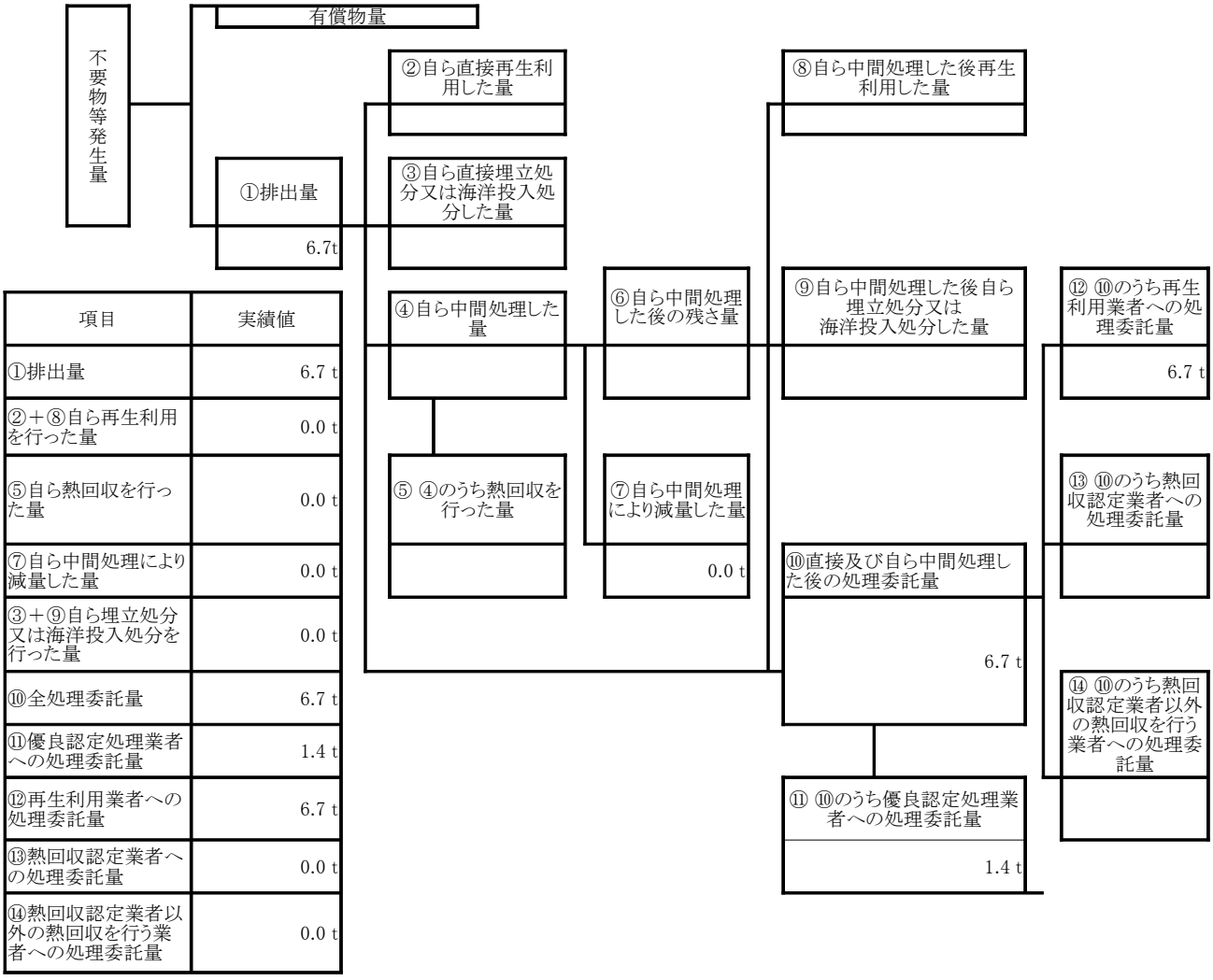


項目	実績値
①排出量	19.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



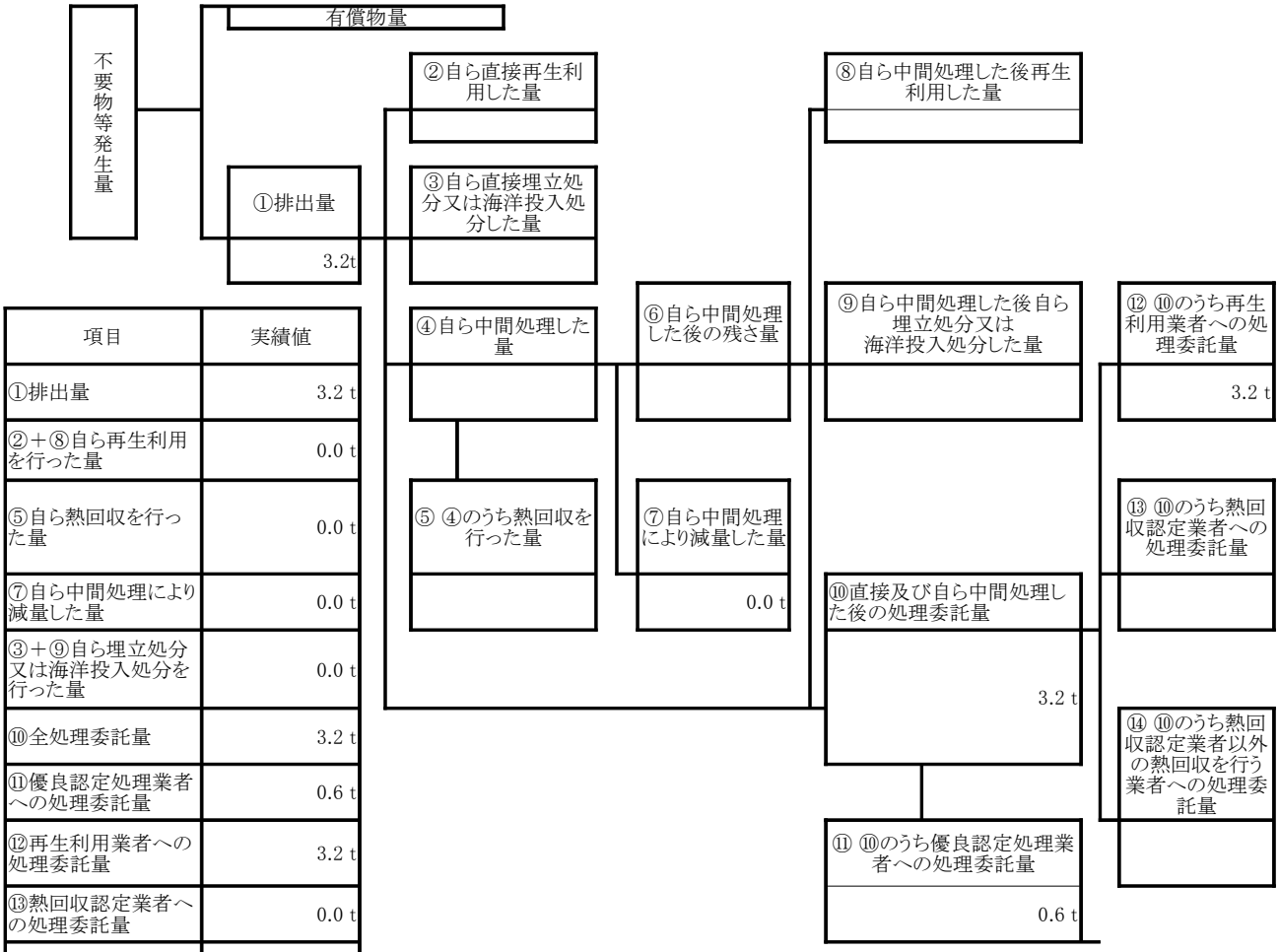
項目	実績値
①排出量	6.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



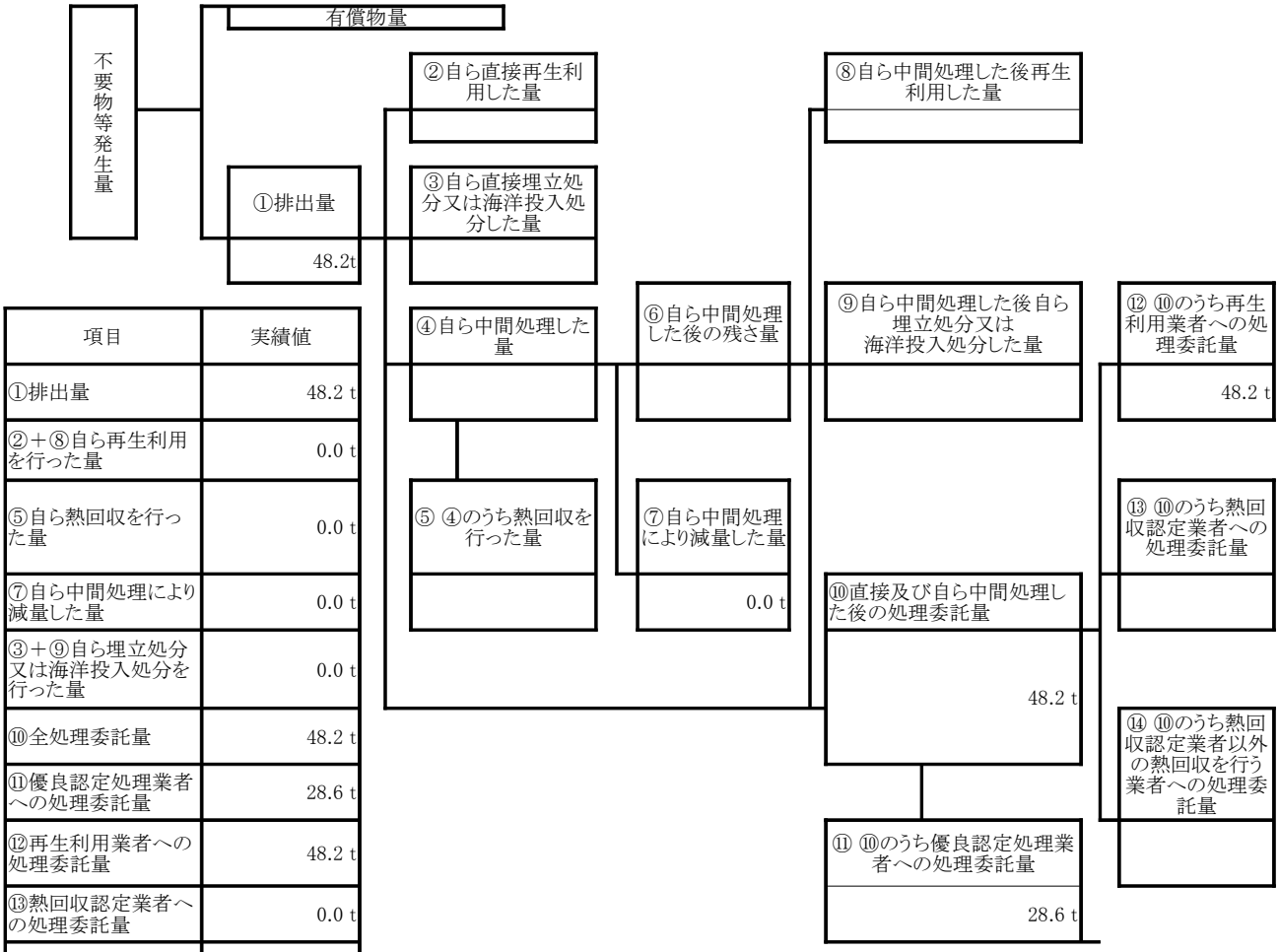
項目	実績値
①排出量	3.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

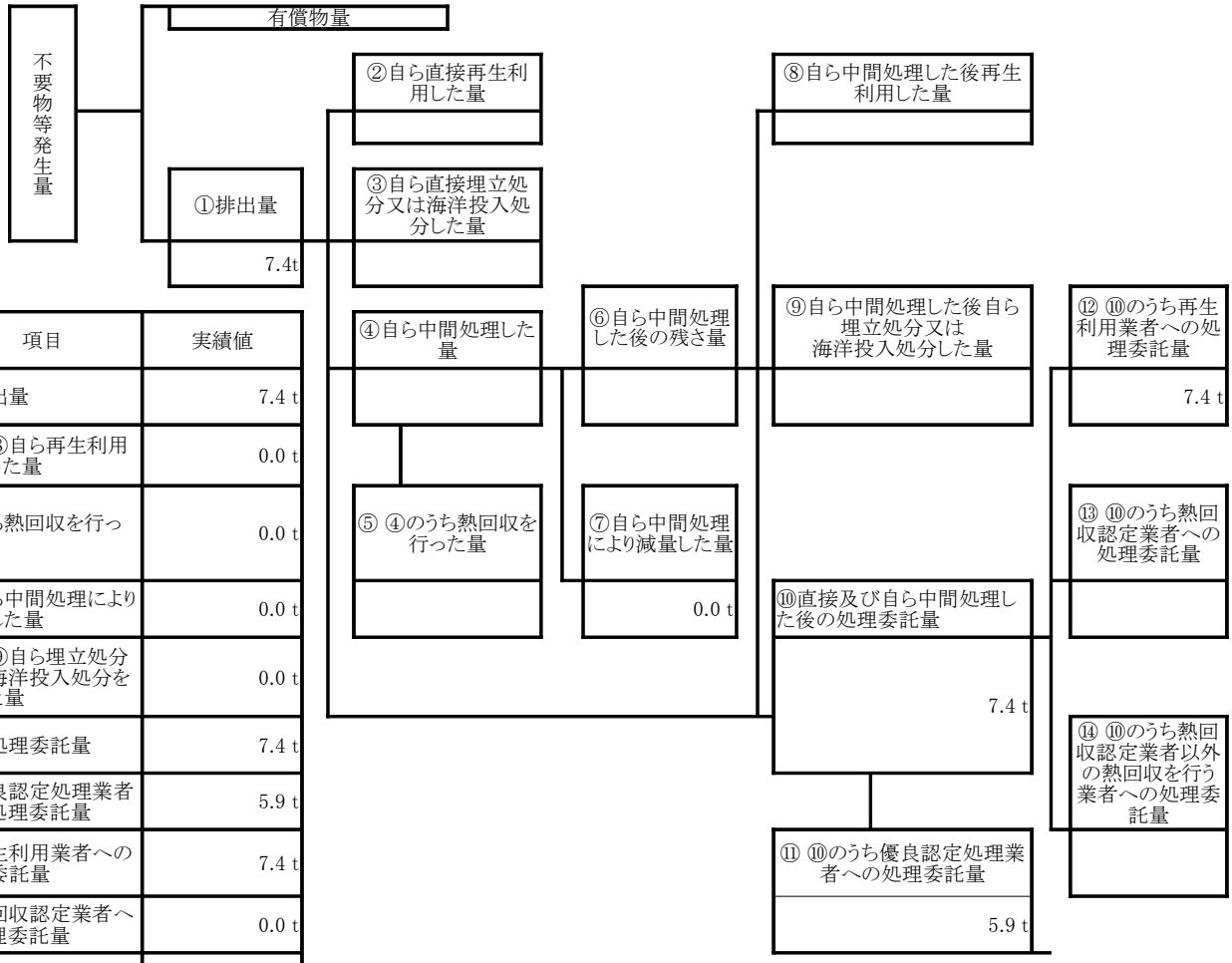


項目	実績値
①排出量	48.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	48.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	48.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

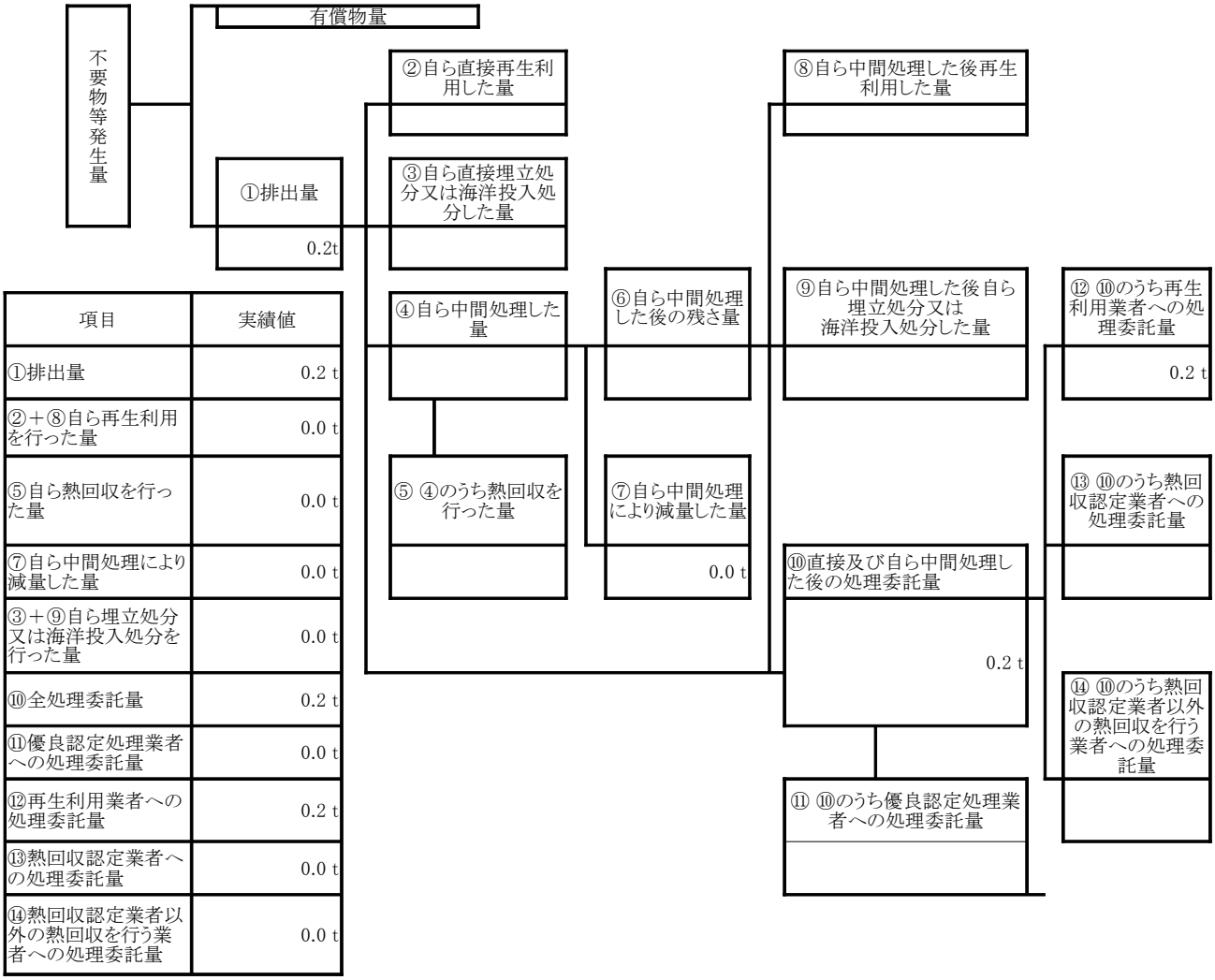


項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（安定型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

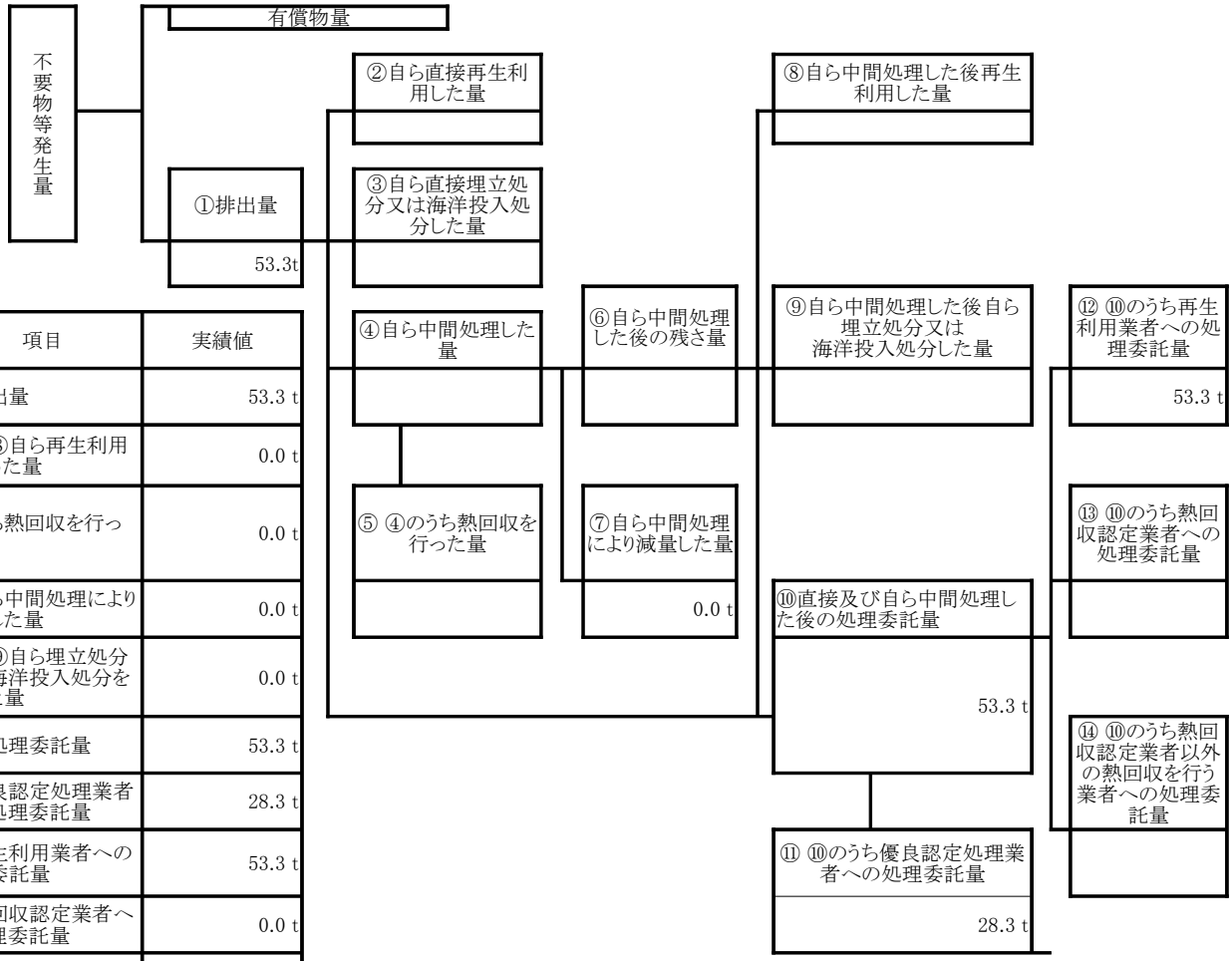


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

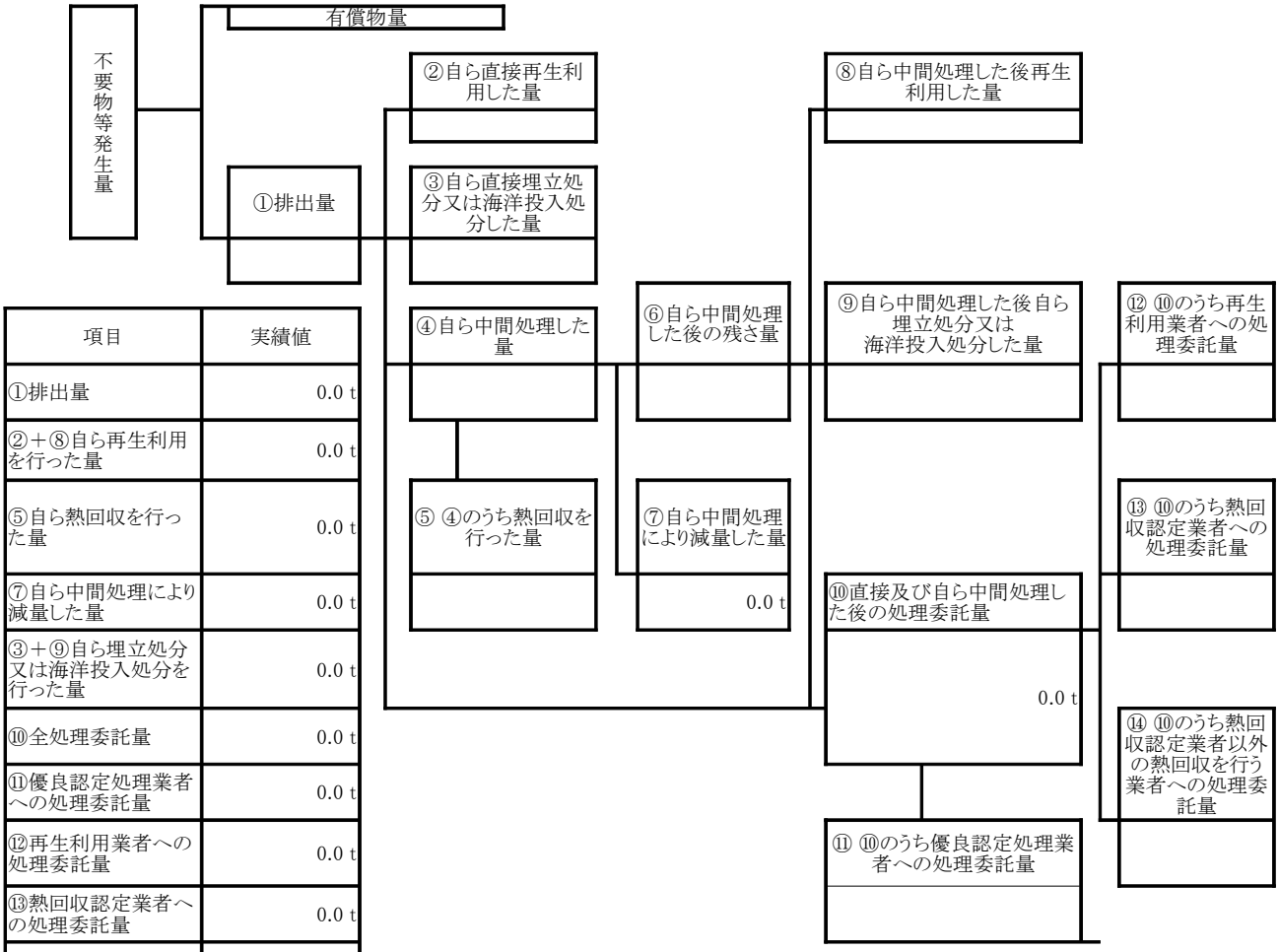


項目	実績値
①排出量	53.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	53.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	53.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

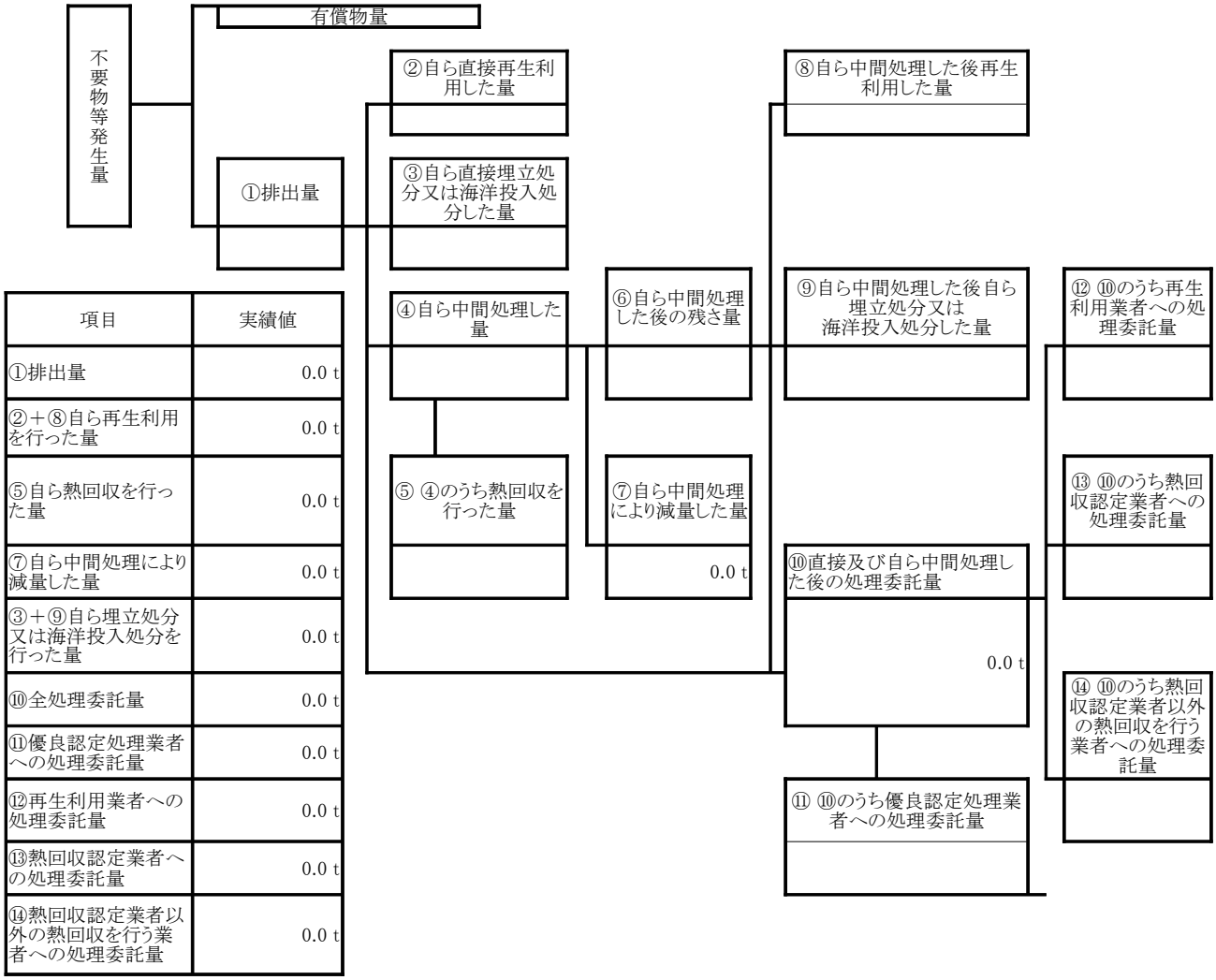


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



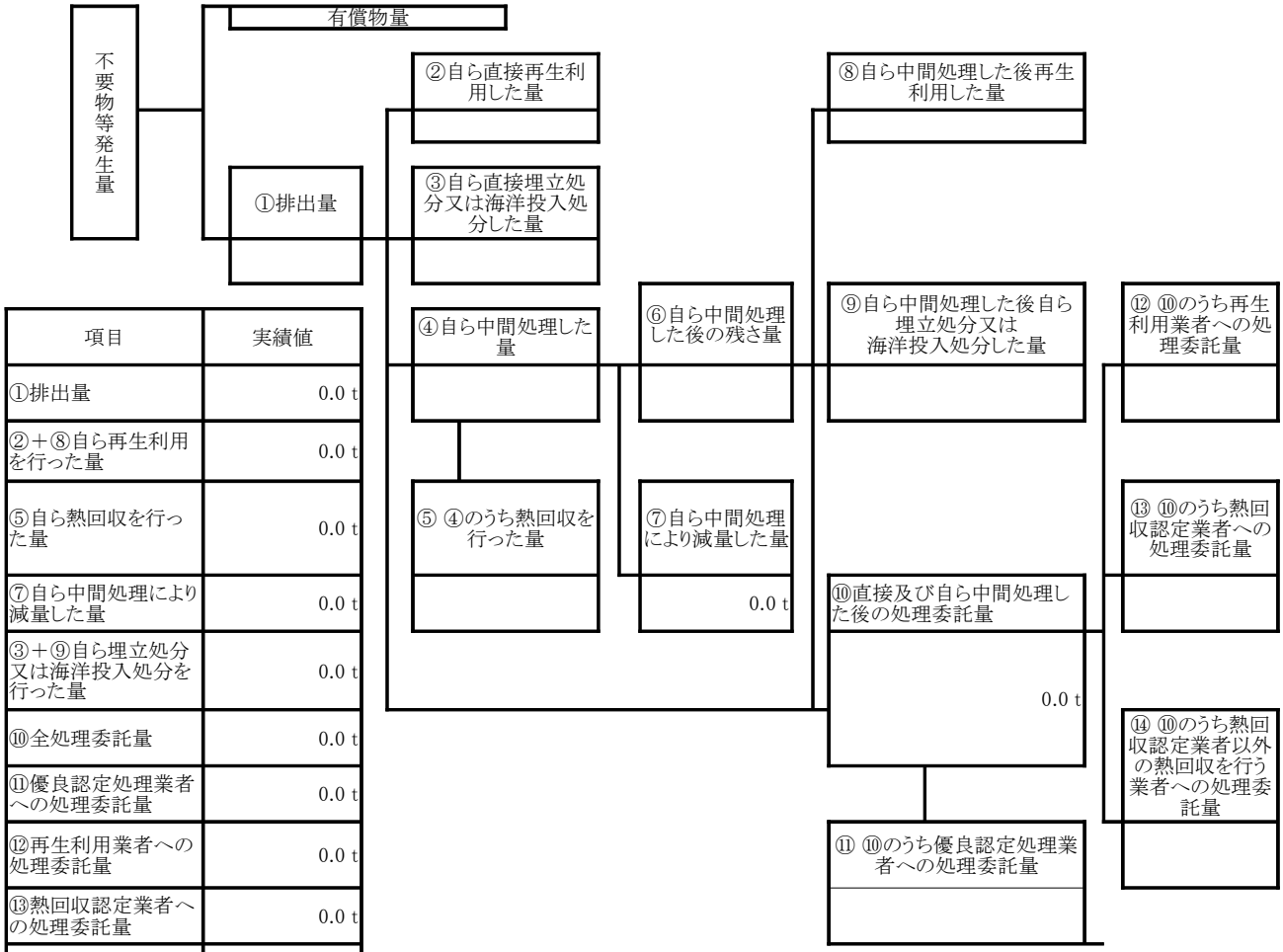
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



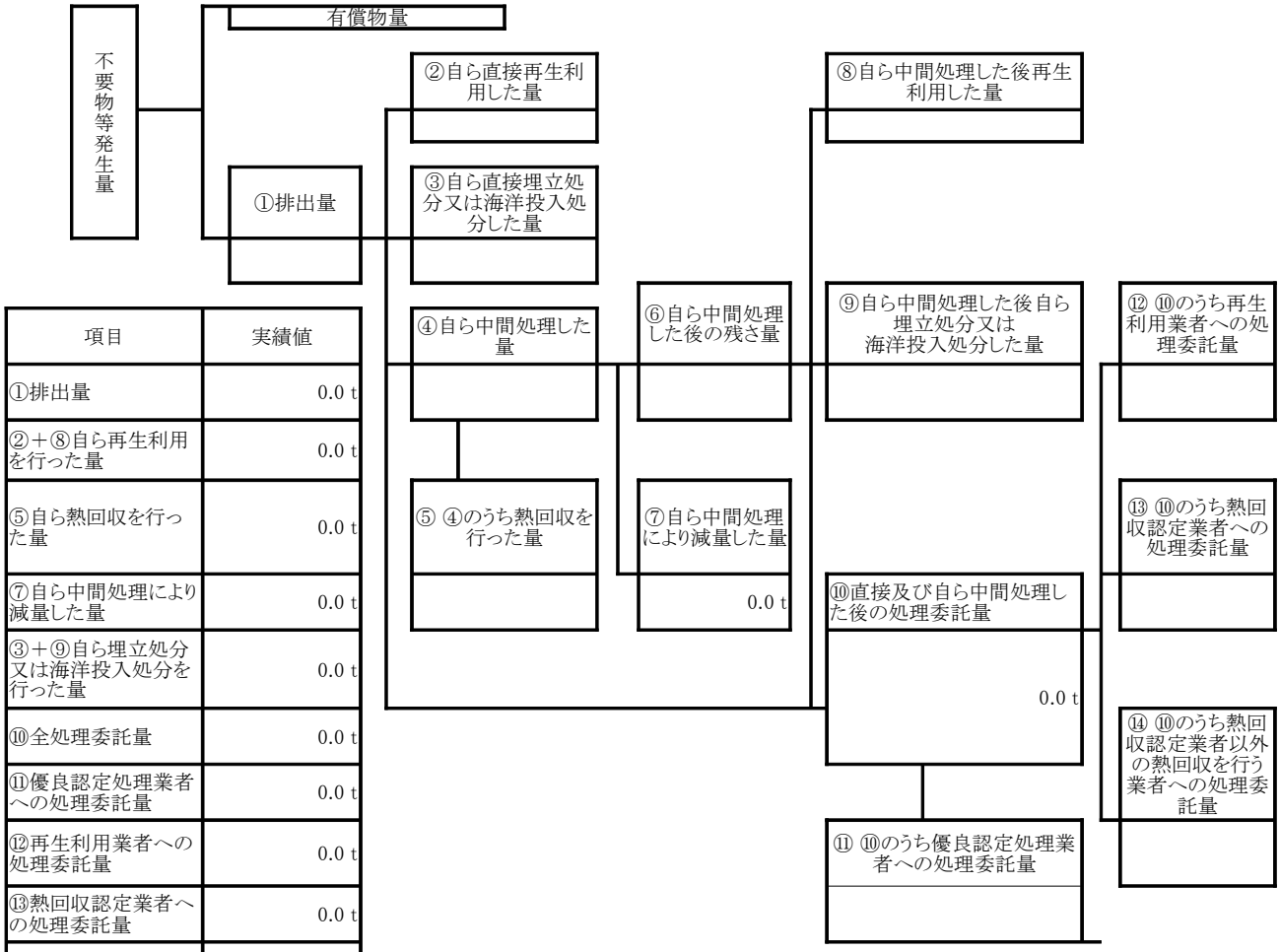
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



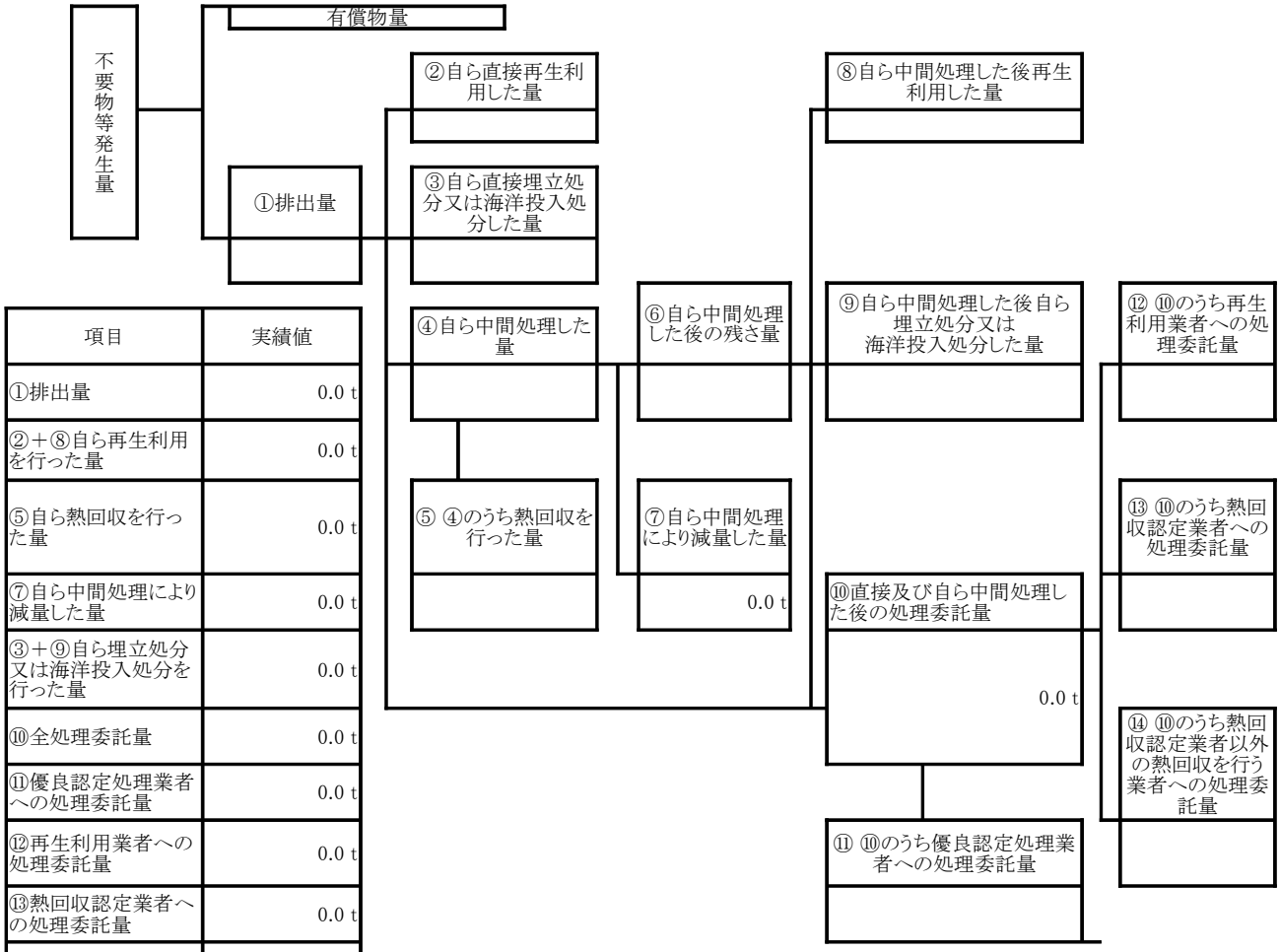
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



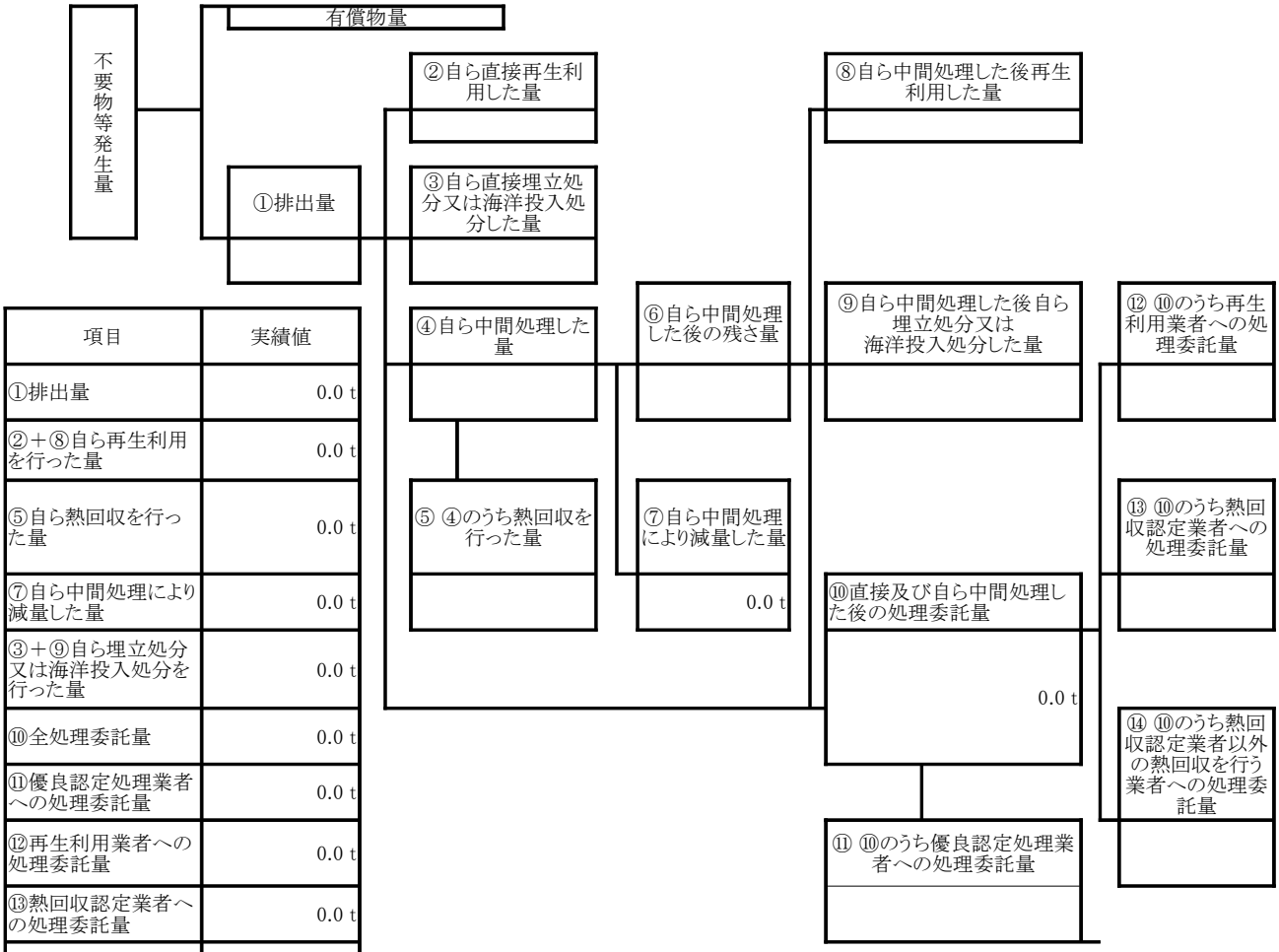
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



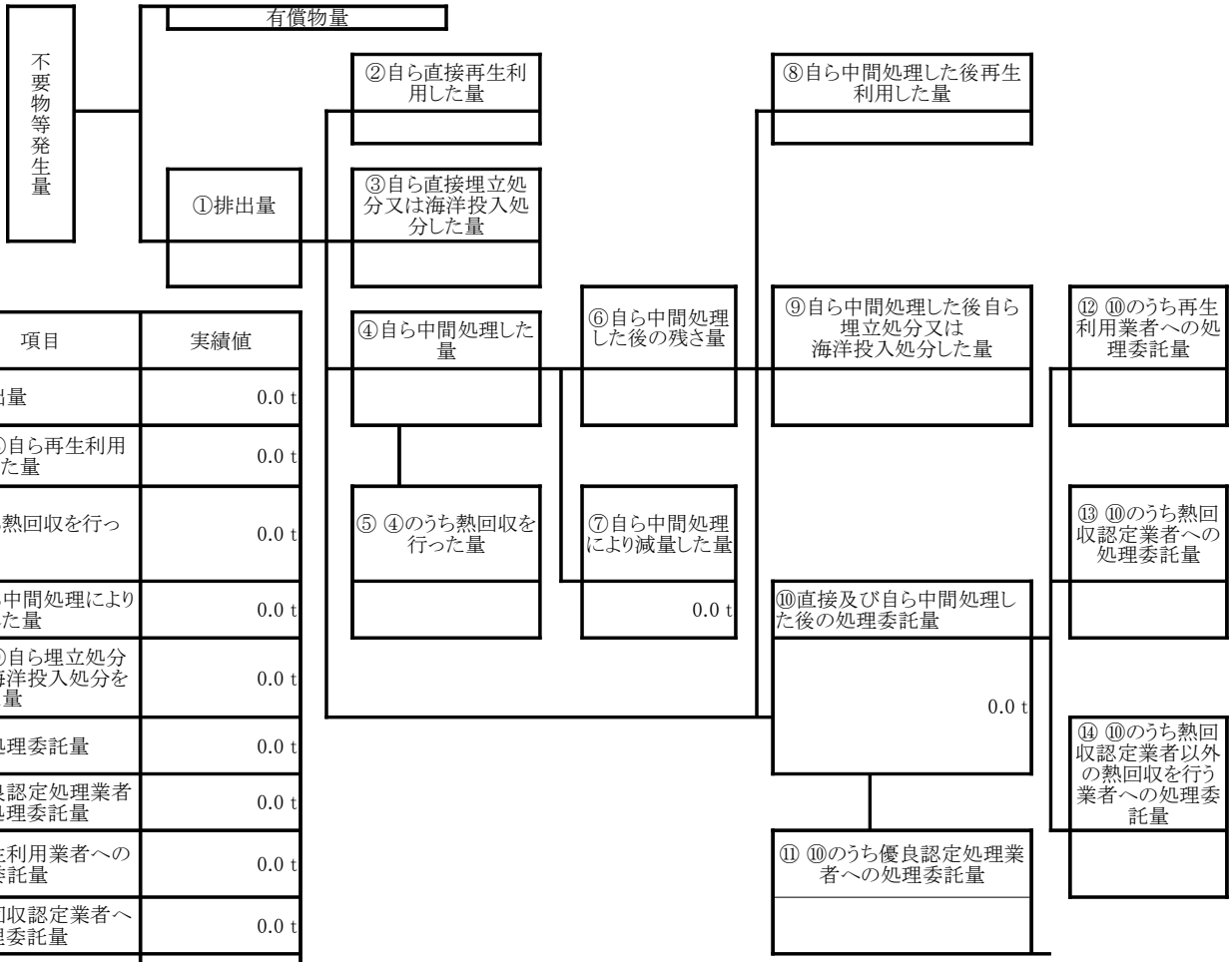
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



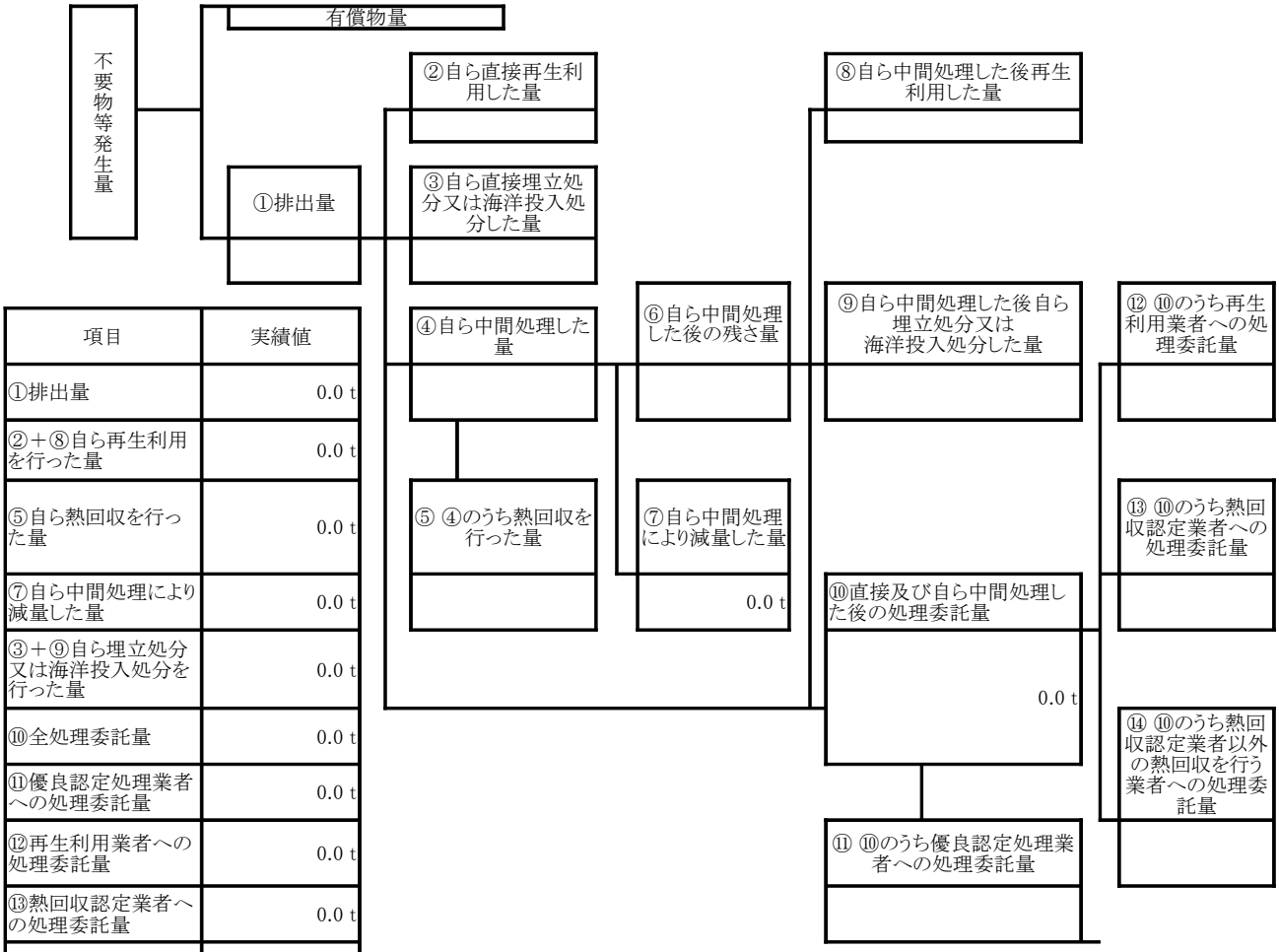
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



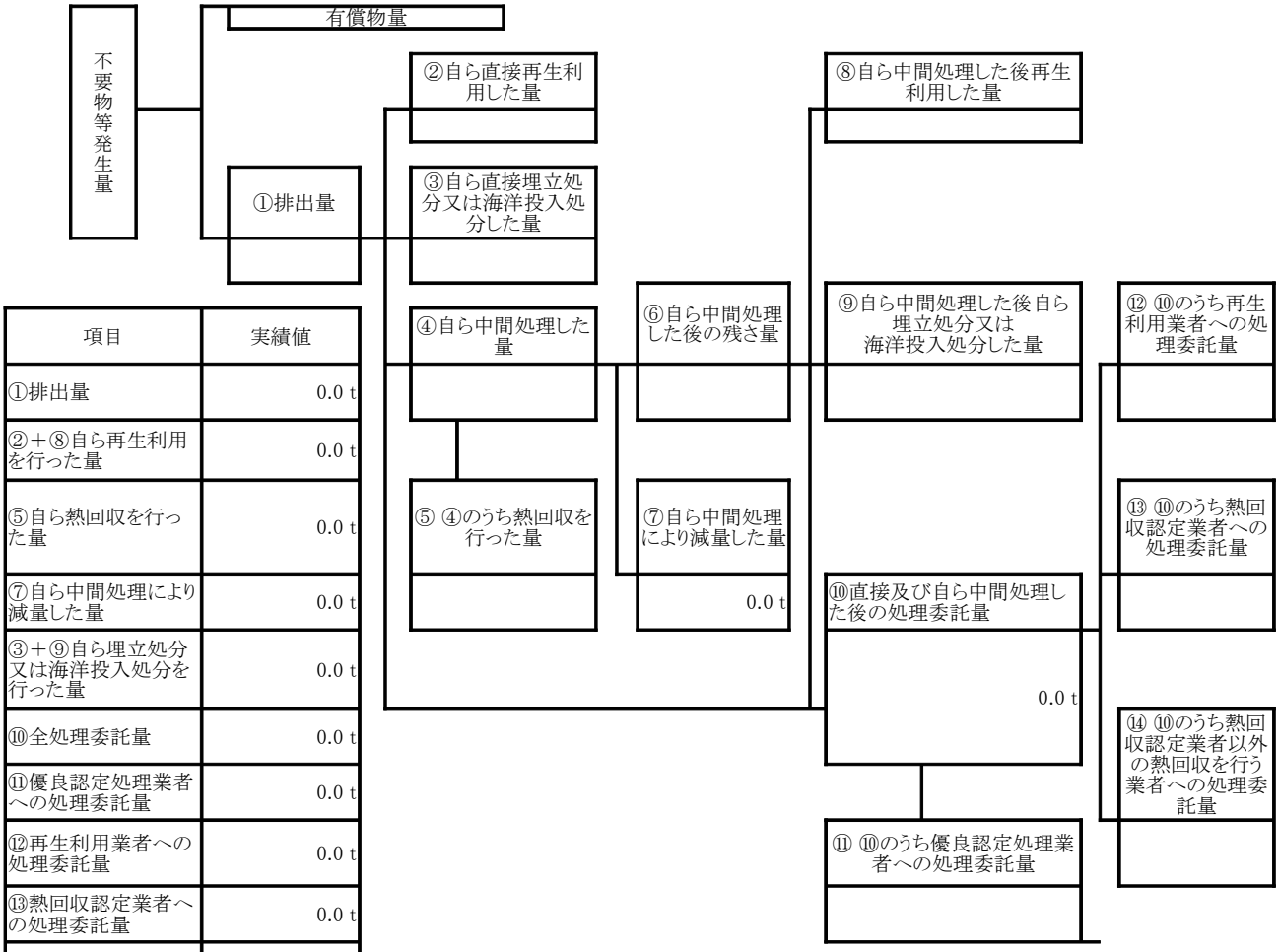
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



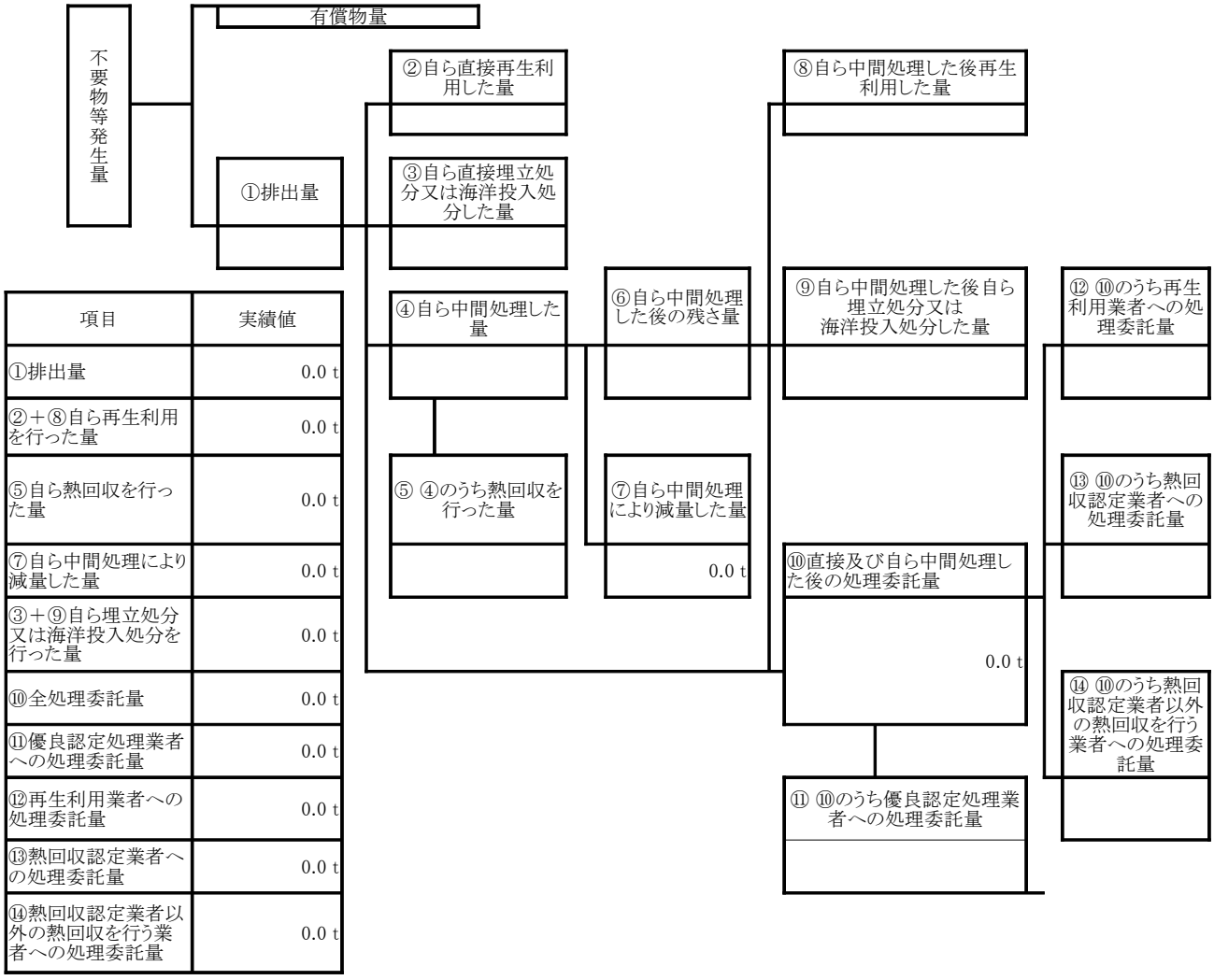
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



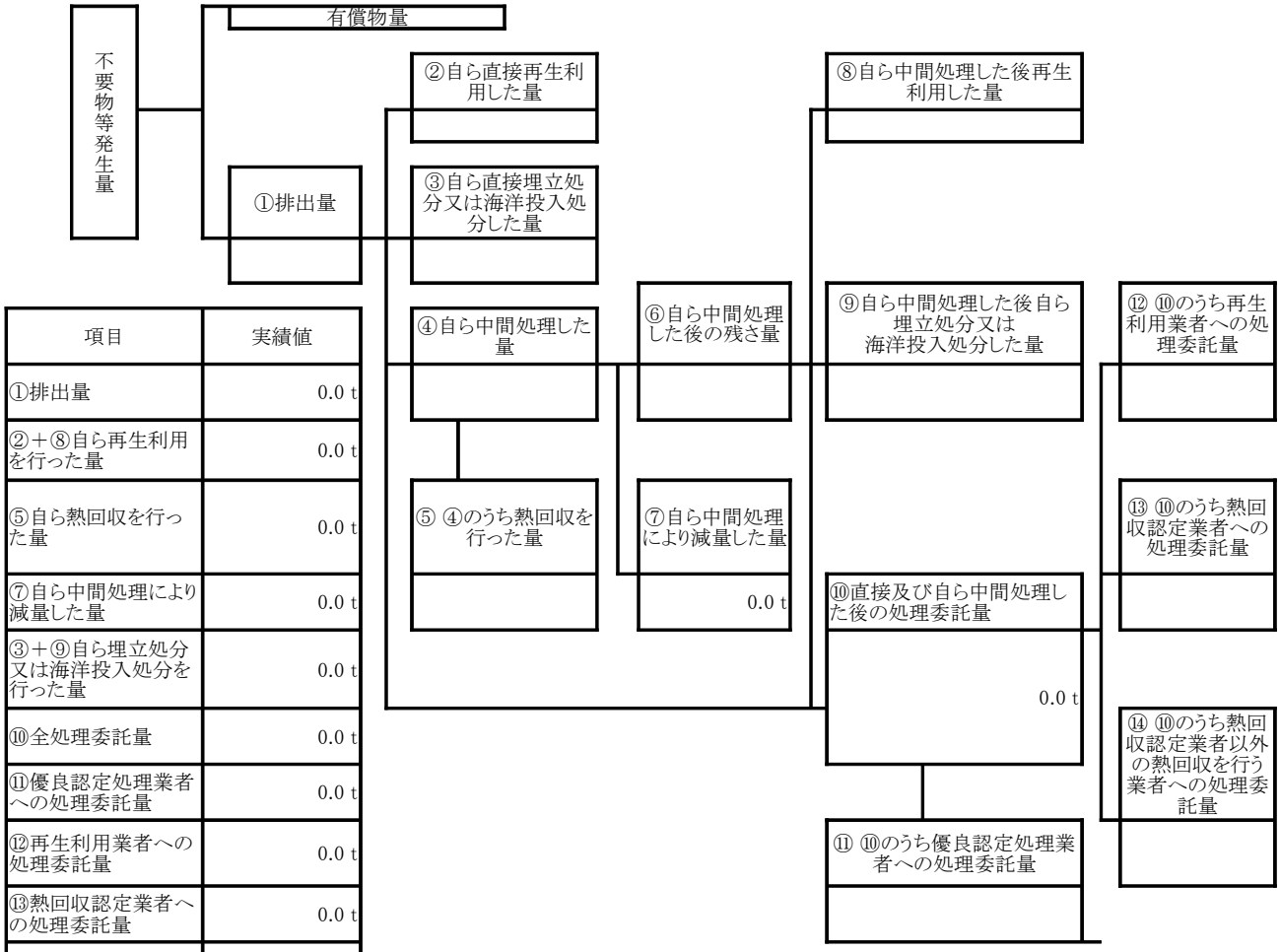
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月30日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市中央区新町1000番地

氏 名　大成ロテック株式会社　東関東支社

支社長　浜田　　裕

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-238-6311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

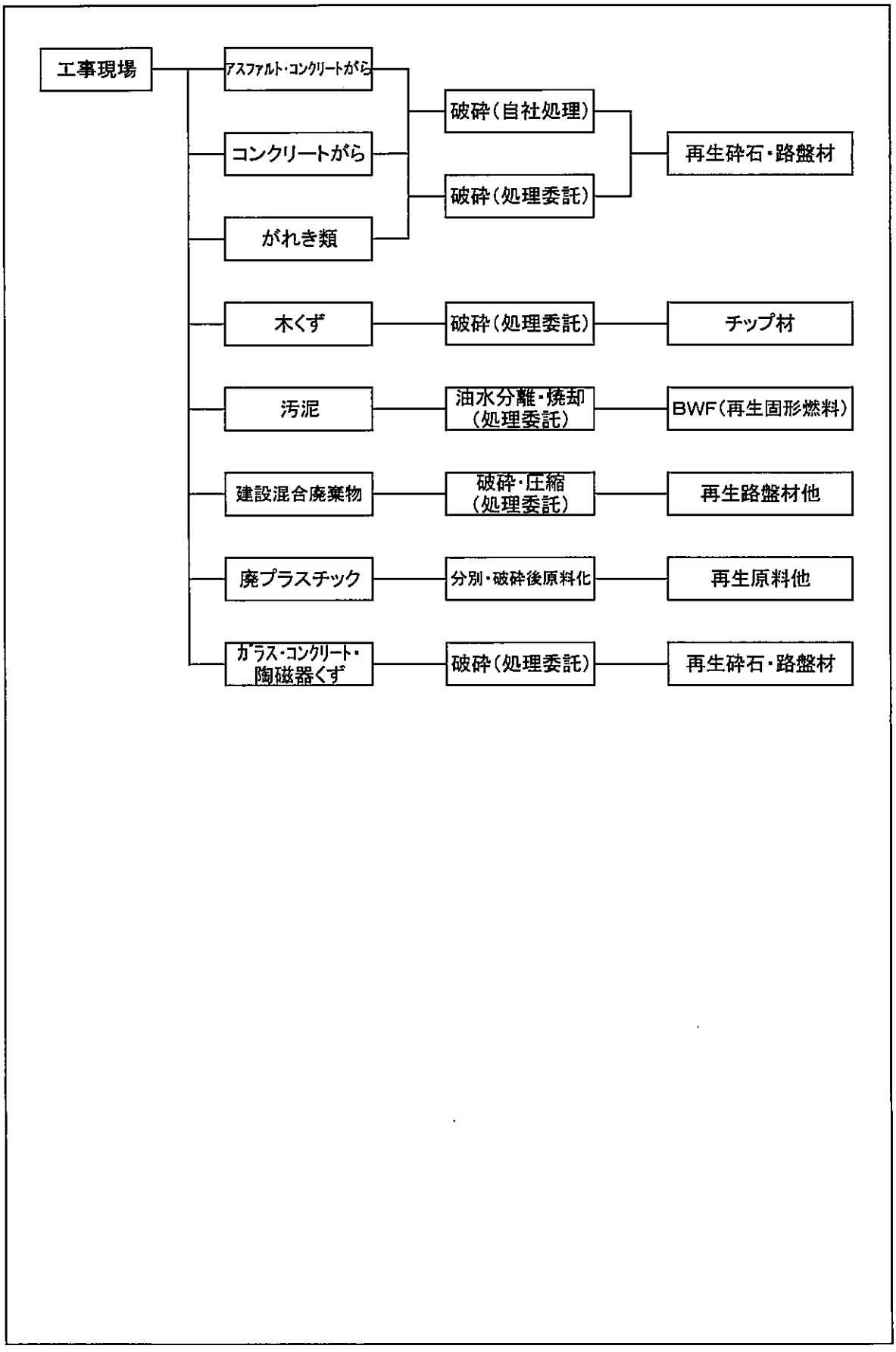
事業場の名称	大成ロテック株式会社　東関東支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町1000番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	８，９００，０００千円
③従業員数	108人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

別添１ 処理工程図


工事現場
アスファルト・コンクリートがら
コンクリートがら
がれき類
破砕（自社処理）
破砕（処理委託）
再生砕石・路盤材
木くず
破砕（処理委託）
チップ材
汚泥
油水分離・焼却
（処理委託）
BWF（再生固形燃料）
建設混合廃棄物
破砕・圧縮
（処理委託）
再生路盤材他
廃プラスチック
分別・破砕後原料化
再生原料他
ガラス・コンクリート・
陶磁器くず
破砕（処理委託）
再生砕石・路盤材

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（これまでに実施した取組）
発注者と施工計画段階で排出を抑制する工法を協議・検討を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
発注者と施工計画段階で排出を抑制する工法を協議・検討を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

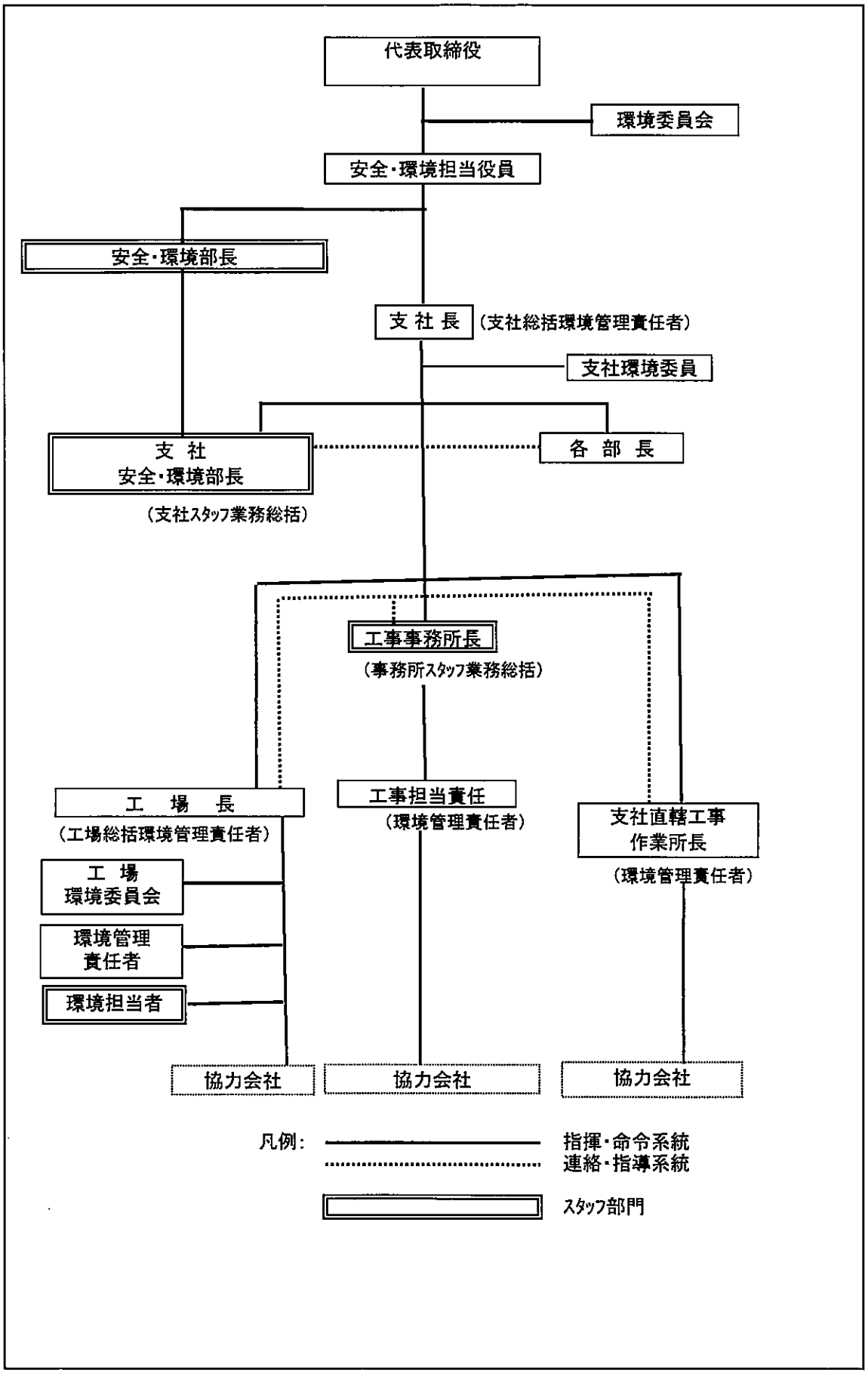
①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
As廃材、Co廃材、プラスチック廃材、可燃物等

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
As廃材、Co廃材、プラスチック廃材、木くず、紙くず等

別添２ 管理体制図


代表取締役
環境委員会
安全・環境担当役員
安全・環境部長
支 社 長
（支社総括環境管理責任者）
支社環境委員
支 社
安全・環境部長
（支社スタッフ業務総括）
各 部 長
工事事務所長
（事務所スタッフ業務総括）
工 場 長
（工場総括環境管理責任者）
工事担当責任
（環境管理責任者）
支社直轄工事
作業所長
（環境管理責任者）
工 場
環境委員会
環境管理
責任者
環境担当者
協力会社
協力会社
協力会社
凡例：
指揮・命令系統
連絡・指導系統
スタッフ部門

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材としての再生利用に努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材としての再生利用に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で熱回収を行ったことはない。
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場での破砕に努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、熱回収する予定は無い。
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場での破砕に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、埋立処分又は海洋投入処分をする予定は無い。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材として再生利用し、その他の廃棄物についてはすべて再生利用業者へ処理委託しました。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材として再生利用し、その他の廃棄物についてはすべて再生利用業者へ処理委託に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
排出量	0.96 t	1.89 t	4.20 t	3.60 t	787.33 t	1.80 t	29.00 t	1,755.00 t	408.00 t	27.43 t

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
排出量	0.86 t	1.70 t	3.78 t	3.24 t	708.60 t	1.62 t	26.10 t	1,579.50 t	367.20 t	24.69 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	20.00 t	1,690.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	18.00 t	1,521.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
全処理委託量	0.96 t	1.89 t	4.20 t	3.60 t	787.33 t	1.80 t	9.00 t	65.00 t	408.00 t	27.43 t
収集運搬業者への処理委託量	0.00 t	0.63 t	4.20 t	3.60 t	7.70 t	1.80 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	27.43 t
再生利用業者への処理委託量	0.96 t	1.89 t	4.20 t	3.60 t	787.33 t	1.80 t	9.00 t	65.00 t	408.00 t	27.43 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
全処理委託量	0.86 t	1.70 t	3.78 t	3.24 t	708.60 t	1.62 t	8.10 t	58.50 t	367.20 t	24.69 t
収集運搬業者への処理委託量	0.00 t	0.57 t	3.78 t	3.24 t	6.93 t	1.62 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	24.69 t
再生利用業者への処理委託量	0.86 t	1.70 t	3.78 t	3.24 t	708.60 t	1.62 t	8.10 t	58.50 t	367.20 t	24.69 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月10日

千葉県知事　　殿

提出者

住所　千葉県柏市若柴226－1中央146街区5エクセレントファミリー柏の葉

氏名　大東建託株式会社　柏 支店

支店長　森　秀爾

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　04-7133-7272

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大東建託株式会社　柏支店
事業場の所在地	千葉県柏市若柴２２６－１中央１４６街区５エクセレントファミリー柏の葉
計画期間	令和６年４月１日　から　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	Ｄ０６　総合工事業
②事業の規模	10,013　百万円（前年度完工高）
③従業員数	126　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥　→ 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類　→ 破砕 → 再生砕石として再生利用 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ → 破砕､圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず　→ 切断、破砕　→　原料として再利用 紙くず　→ 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず　→ 破砕 → ﾁｯﾌﾟ・燃料等として再生利用 ｶﾞﾗｽくず､ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず　→　破砕　→　再利用または埋立

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　　出　　量	295.4　t	548.8　t

（これまでに実施した取組）
・電子マニフェストの導入。
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　　出　　量	385.7　t	716.7　t

（今後実施する予定の取組）
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。
・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・狭小現場での分別の仕組をつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　　出　　量	149.4　t	3,386.6　t	0.8　t	179.2　t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　　出　　量	195.1　t	4,422.6　t	1.0　t	234.1　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　　出　　量	422.8　t	244.7　t	825.5　t	1,608.9　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　　出　　量	552.1　t	319.6　t	1,078.1　t	2,101.1　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　　出　　量	87.3　t	13.0　t	－　t	186.9　t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　　出　　量	114.0　t	17.0　t	－　t	244.1　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	295.4 t	548.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	295.4 t	492.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	149.4 t	3,386.6 t	0.8 t	179.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	149.4 t	3,386.6 t	0.8 t	179.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	422.8 t	244.7 t	825.5 t	1,608.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	341.1 t	244.7 t	562.2 t	1,608.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	87.3 t	13.0 t	0.0 t	186.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	87.3 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>385.7　t</td><td>716.7　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0.0　t</td><td>0.0　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>385.7　t</td><td>643.7　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0.0　t</td><td>0.0　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0.0　t</td><td>0.0　t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・現場作業、現場加工の削減。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	195.1 t	4,422.6 t	1.0 t	234.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	195.1 t	4,422.6 t	1.0 t	234.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	552.1 t	319.6 t	1,078.1 t	2,101.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	445.5 t	319.6 t	734.2 t	2,101.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	114.0 t	17.0 t	0.0 t	244.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	114.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画内訳

整 理 番 号 :

（単位:トン）

廃棄物の種類	前年度の産業廃棄物発生量	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	⑧直接委託及び自己処理後委託処分量
汚泥	295.4	385.7							385.7
廃プラスチック	548.8	716.7							716.7
紙くず	149.4	195.1							195.1
木くず	3,386.6	4,422.6							4,422.6
繊維くず	0.8	1.0							1.0
金属くず	179.2	234.1							234.1
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	422.8	552.1							552.1
石膏ボード	244.7	319.6							319.6
がれき類	825.5	1,078.1							1,078.1
コンクリート破片	1,608.9	2,101.1							2,101.1
アスファルト・コンクリート破片	87.3	114.0							114.0
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	13.0	17.0							17.0
【石綿含有】廃プラスチック	0.0	0.0							0.0
【石綿含有】がれき類	186.9	244.1							244.1
【石綿含有】紙くず	0.0	0.0							0.0
混合（安定型）	0.0	0.0							0.0
混合（管理型）	0.0	0.0							0.0
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）	0.0	0.0							0.0
廃石綿	0.0	0.0							0.0
合計	7,949.4	10,381.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10,381.3

産業廃棄物処理計画書

事業場の名称	大東建託株式会社　柏支店
事業場の所在地	千葉県柏市若柴２２６－１中央１４６街区５エクセレントファミリー柏の葉
①当該事業場における事業の概要	別添のとおり
②計画期間	令和６年４月１日　から　令和７年３月３１日
③産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
④産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑤産業廃棄物の分別に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑥産業廃棄物の再生利用に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑦産業廃棄物の処理に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
備考	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月10日

千葉県知事　　殿

提出者
住 所　千葉県柏市若柴226－1中央146街区5エクセレントファミリー柏の葉
氏 名　大東建託株式会社　柏　支店
支店長　森　秀爾
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　04-7133-7272

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

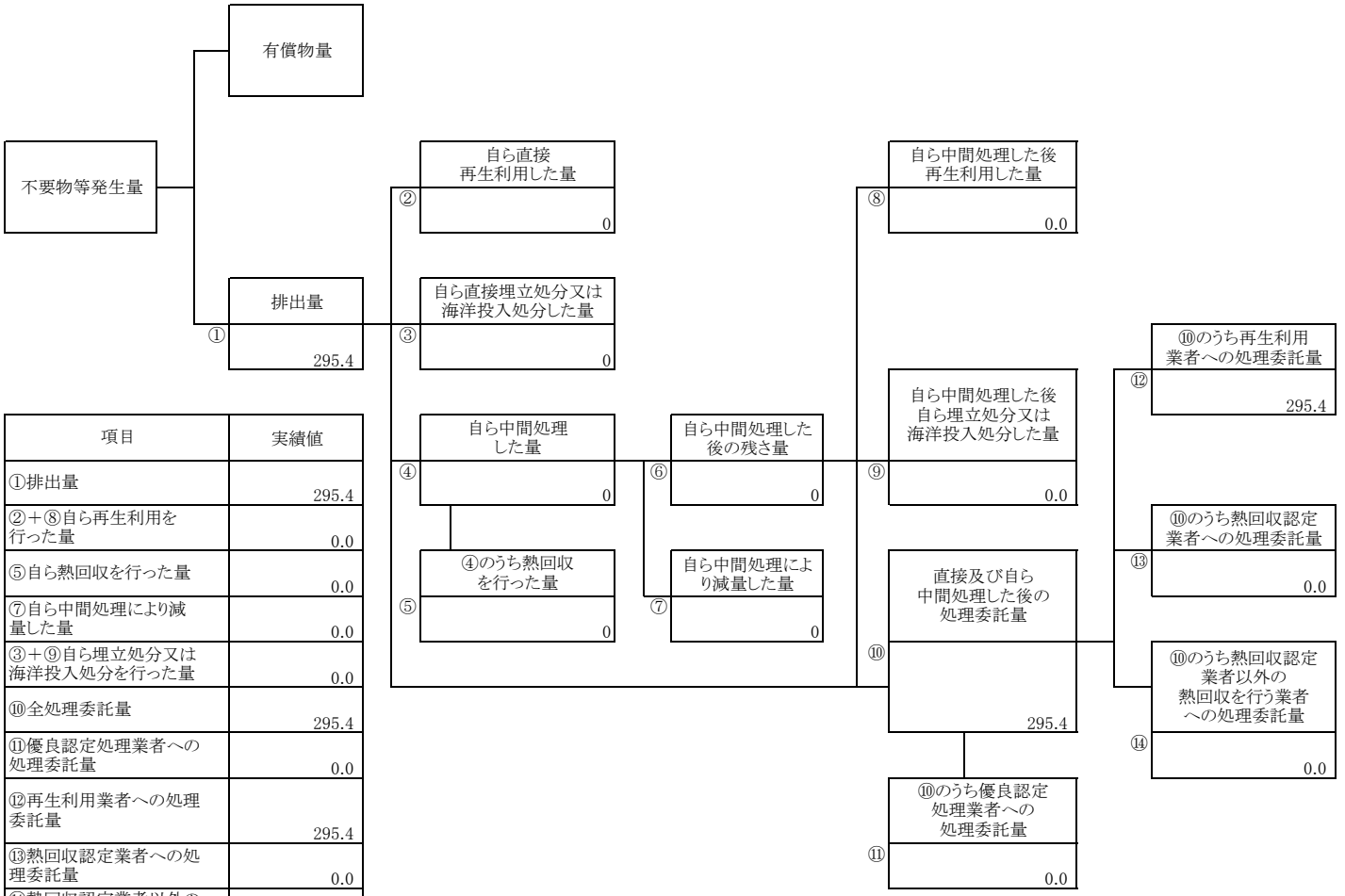
事業場の名称	大東建託株式会社　柏 支店
事業場の所在地	千葉県柏市若柴226－1中央146街区5エクセレントファミリー柏の葉
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日から令和6年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5873.0t	全処理委託量	5873.0t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5272.4t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

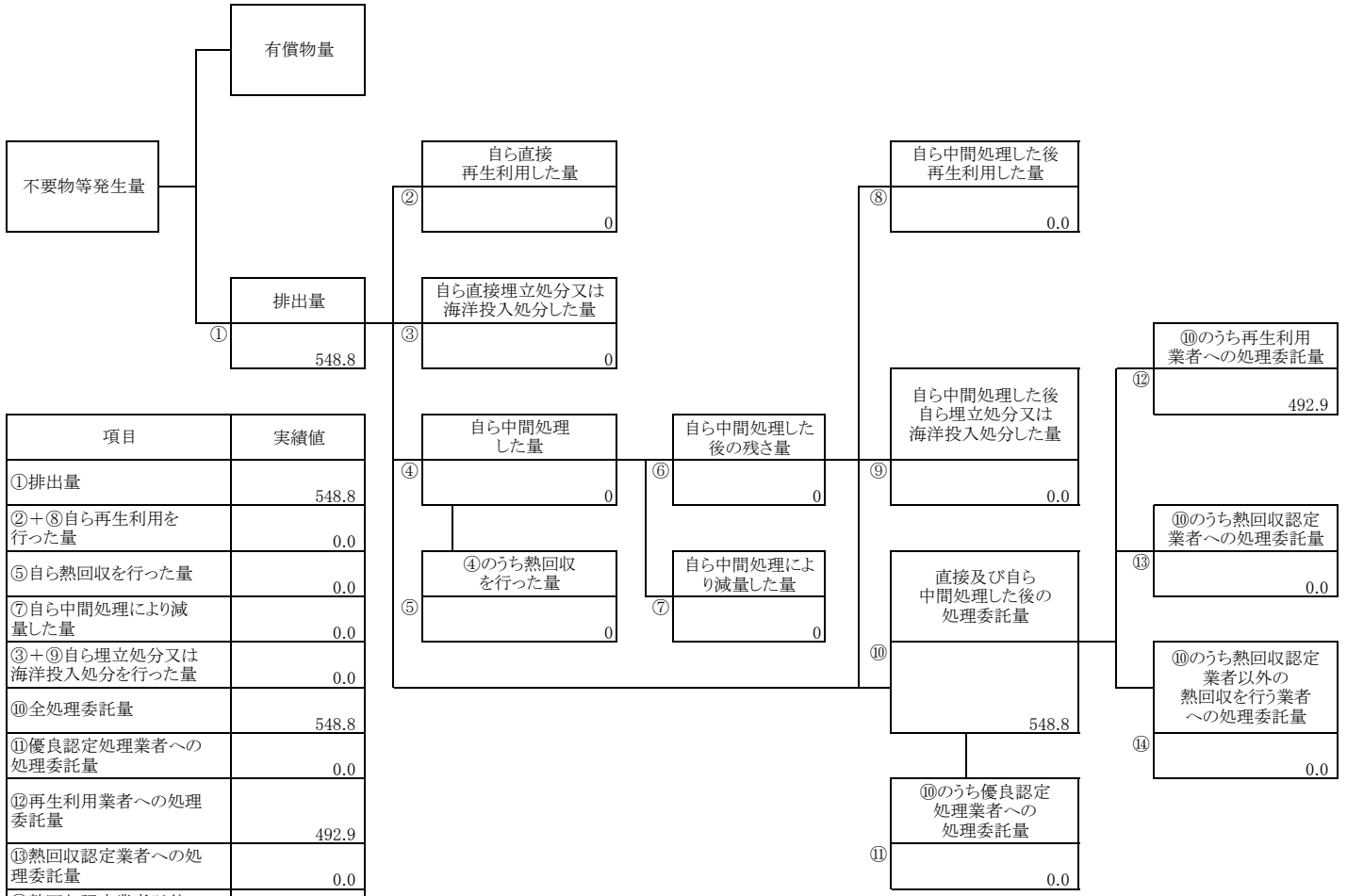
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	295.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	295.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	295.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

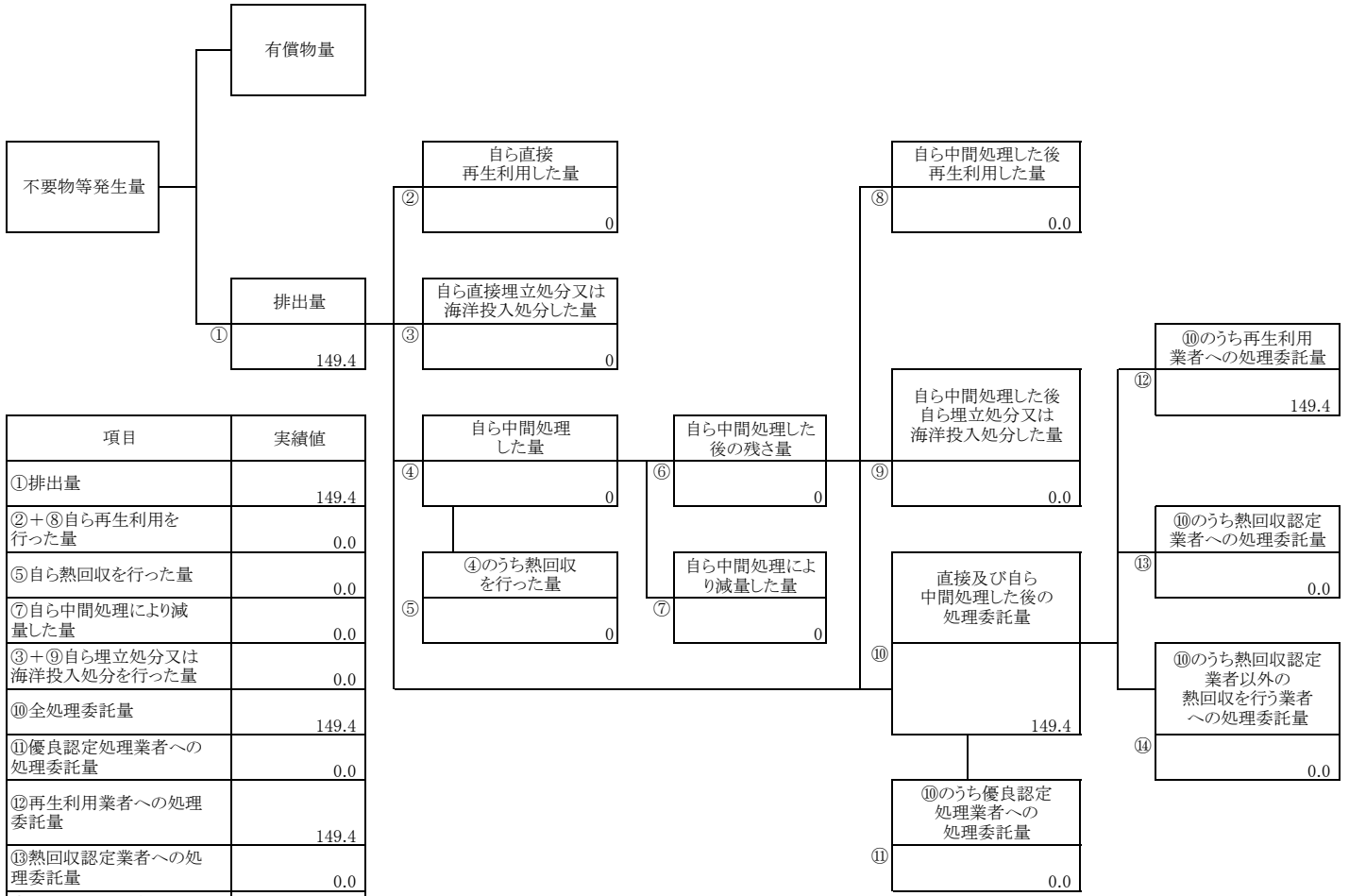
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	548.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	548.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	492.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

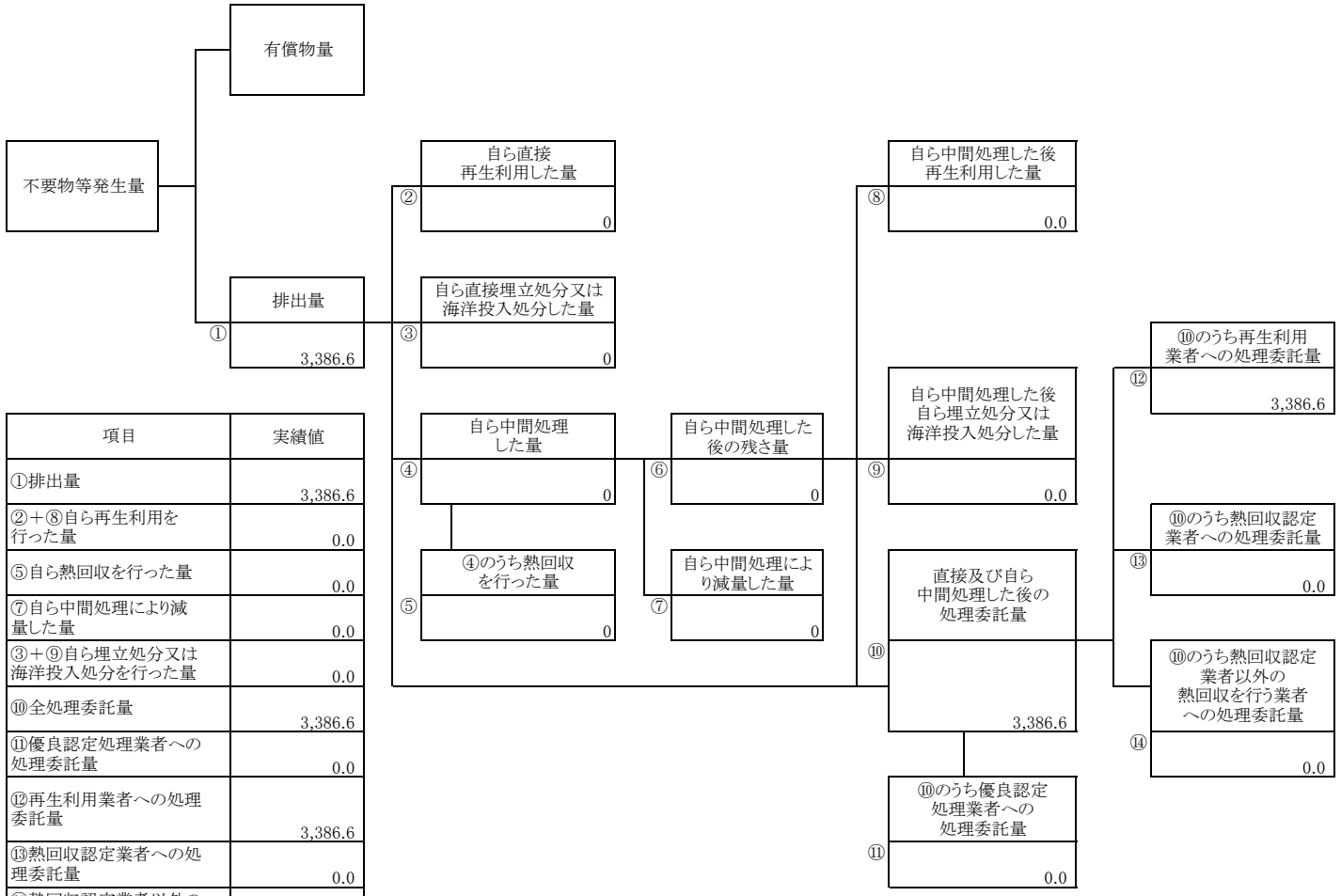
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	149.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	149.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	149.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

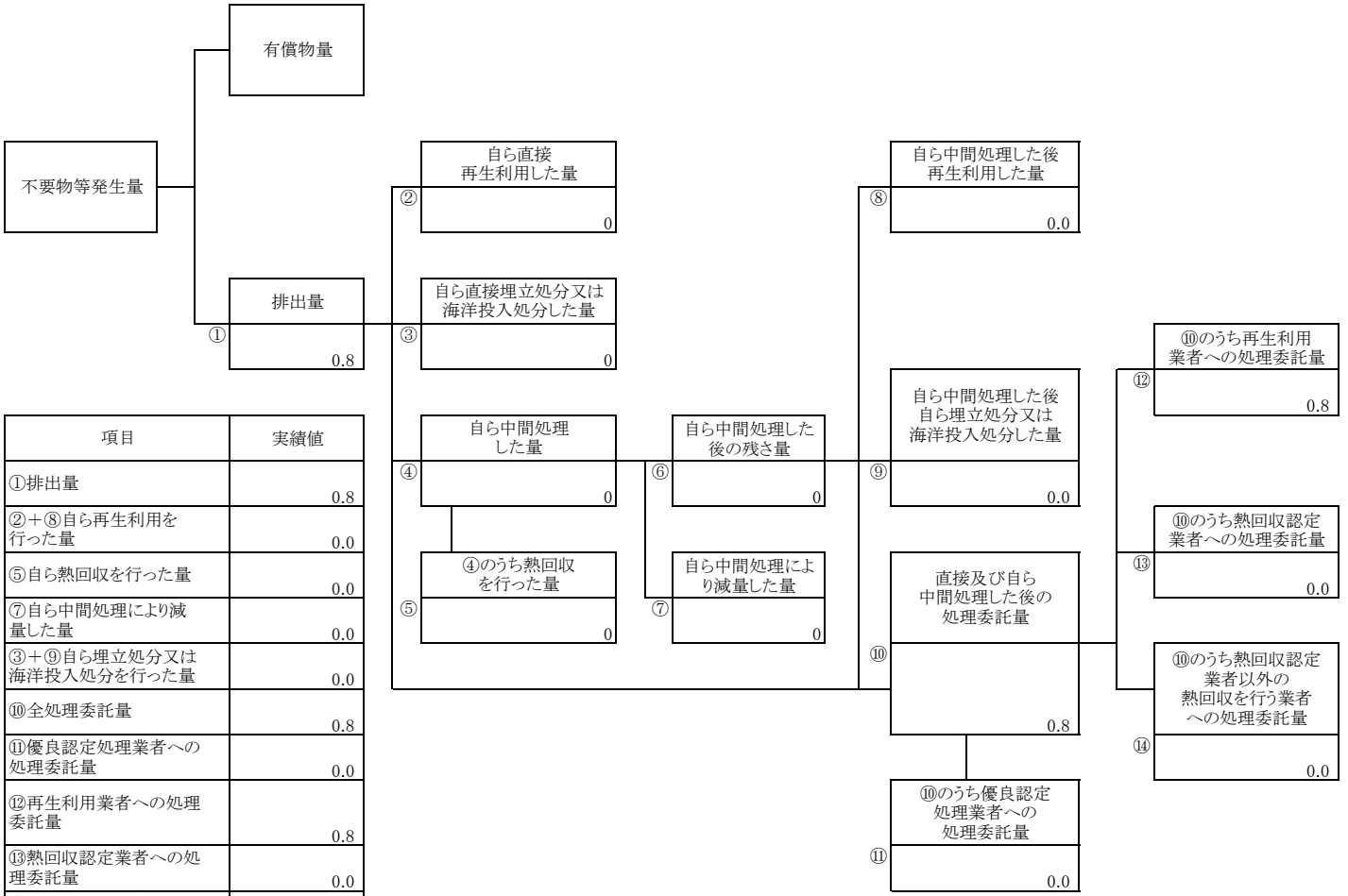
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	3,386.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	3,386.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	3,386.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

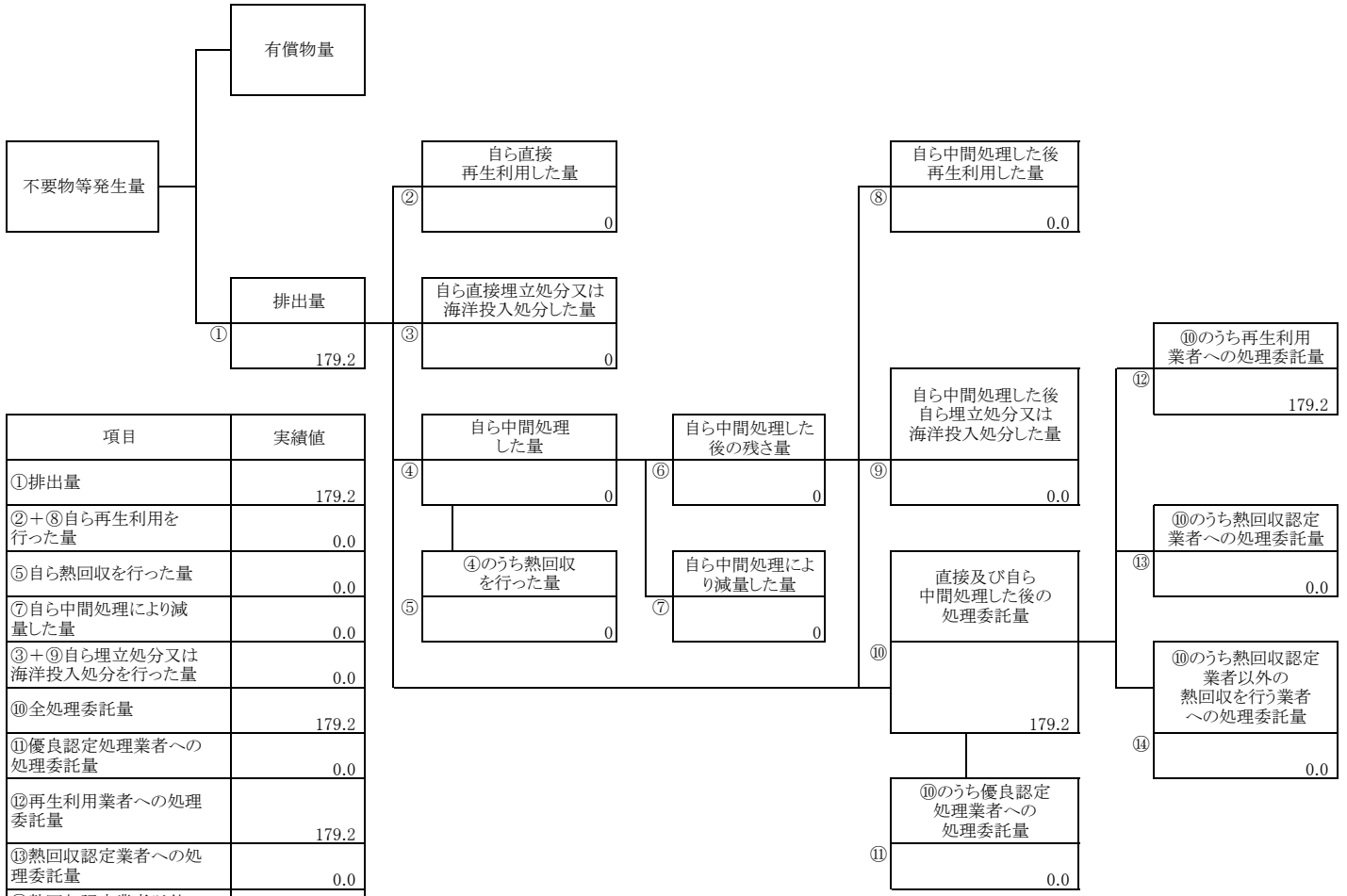
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

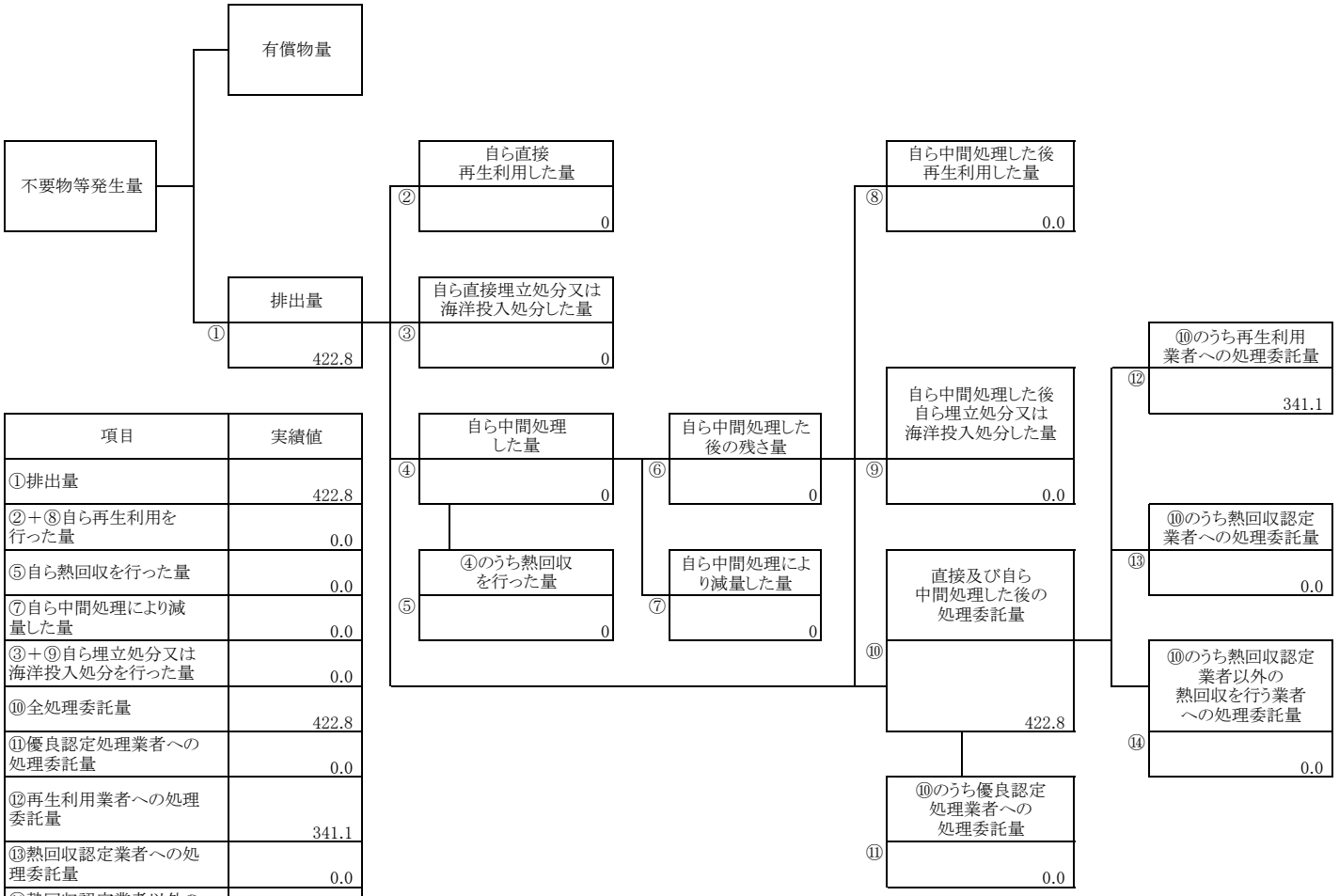


項目	実績値
①排出量	179.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	179.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	179.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

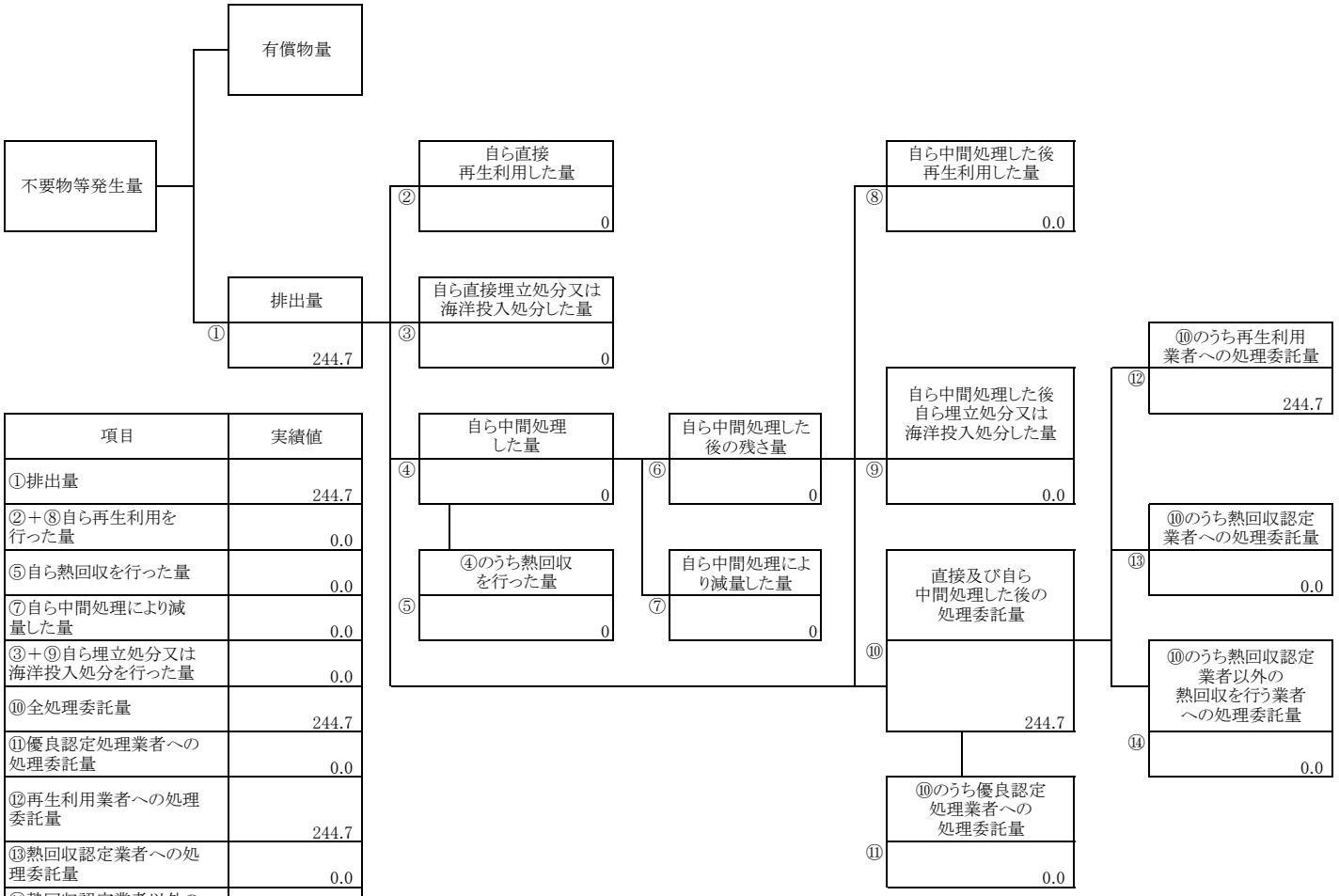
（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）



項目	実績値
①排出量	422.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	422.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	341.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

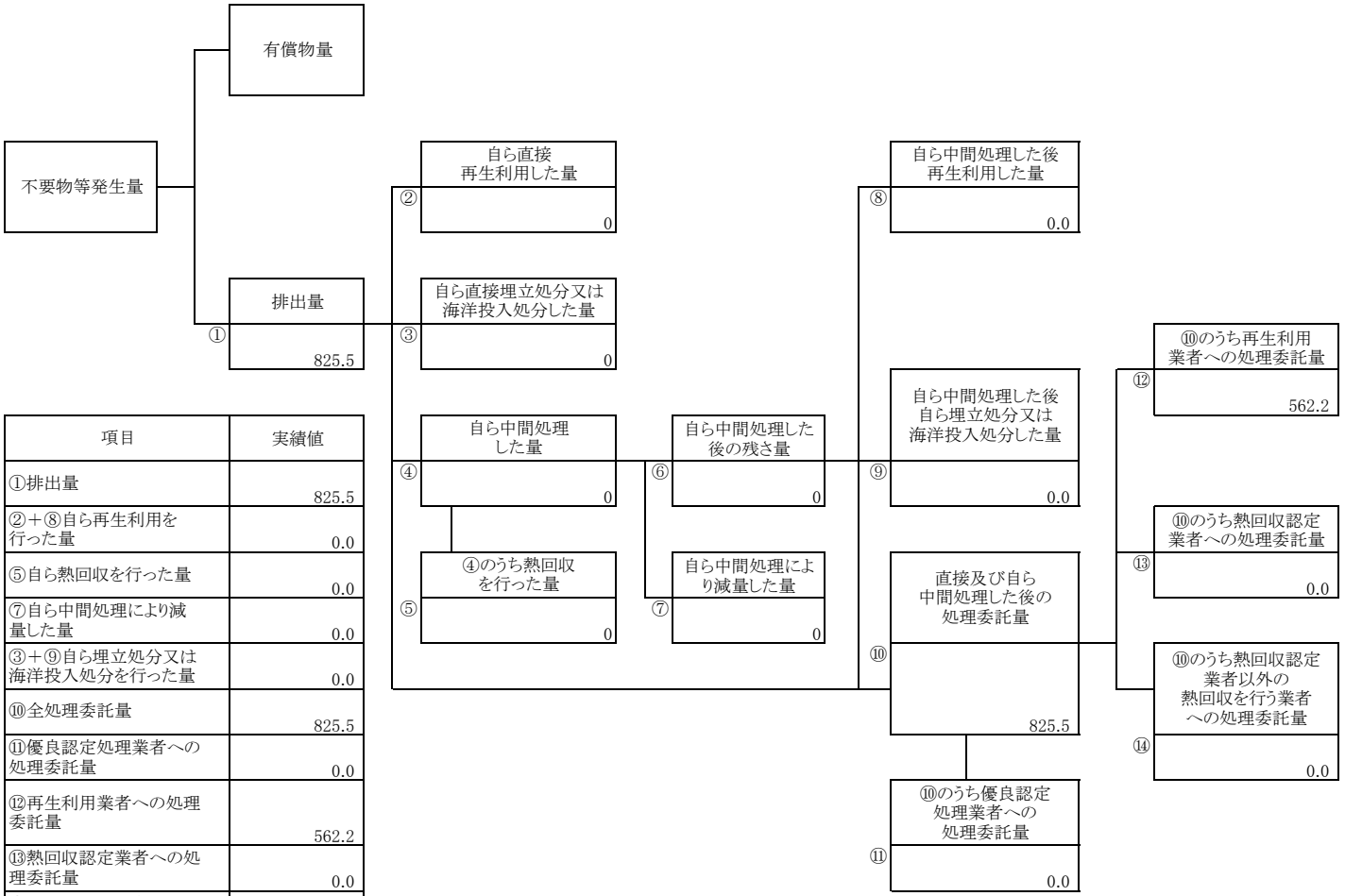
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	244.7
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	244.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	244.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）

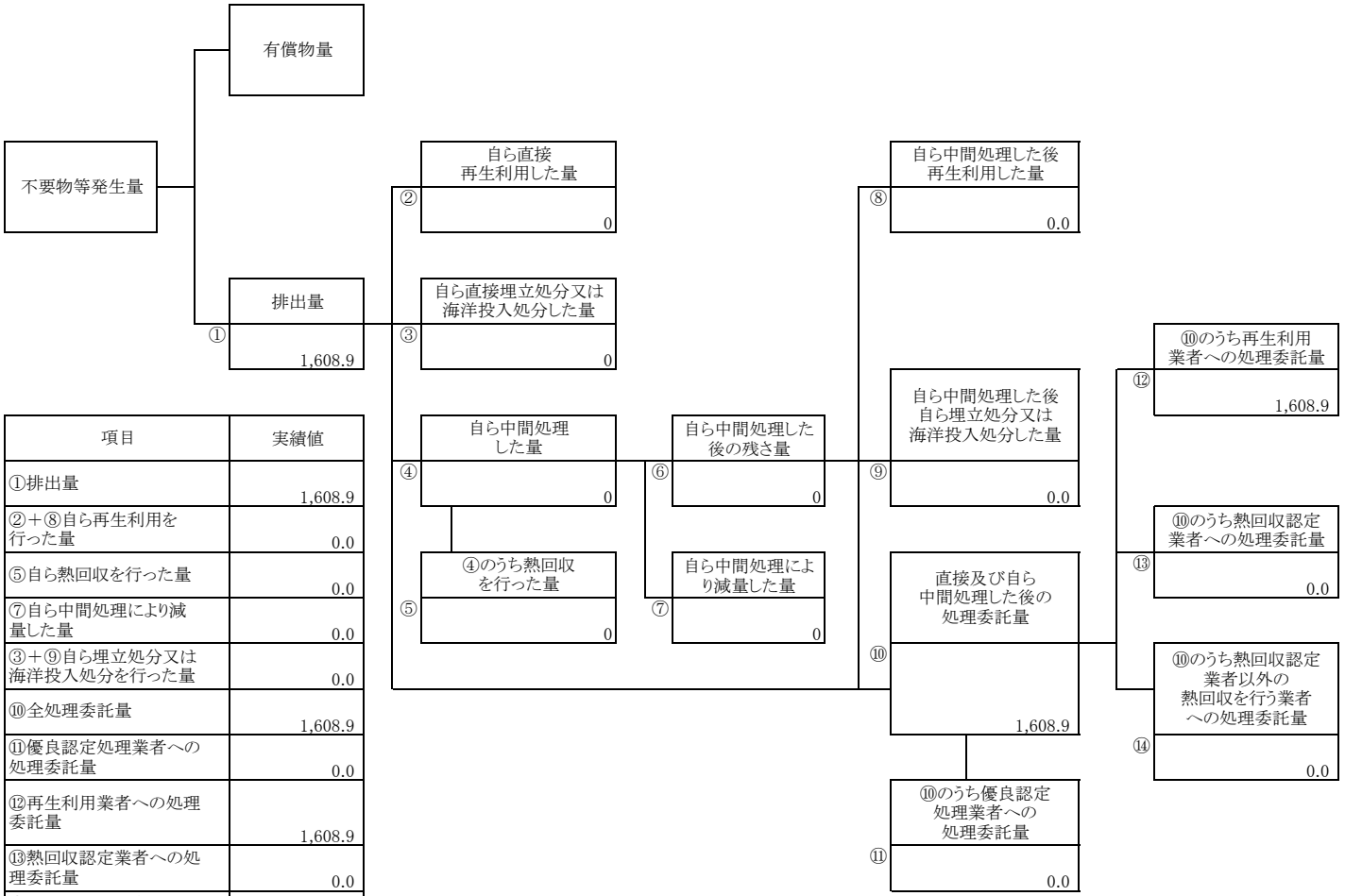


項目	実績値
①排出量	825.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	825.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	562.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

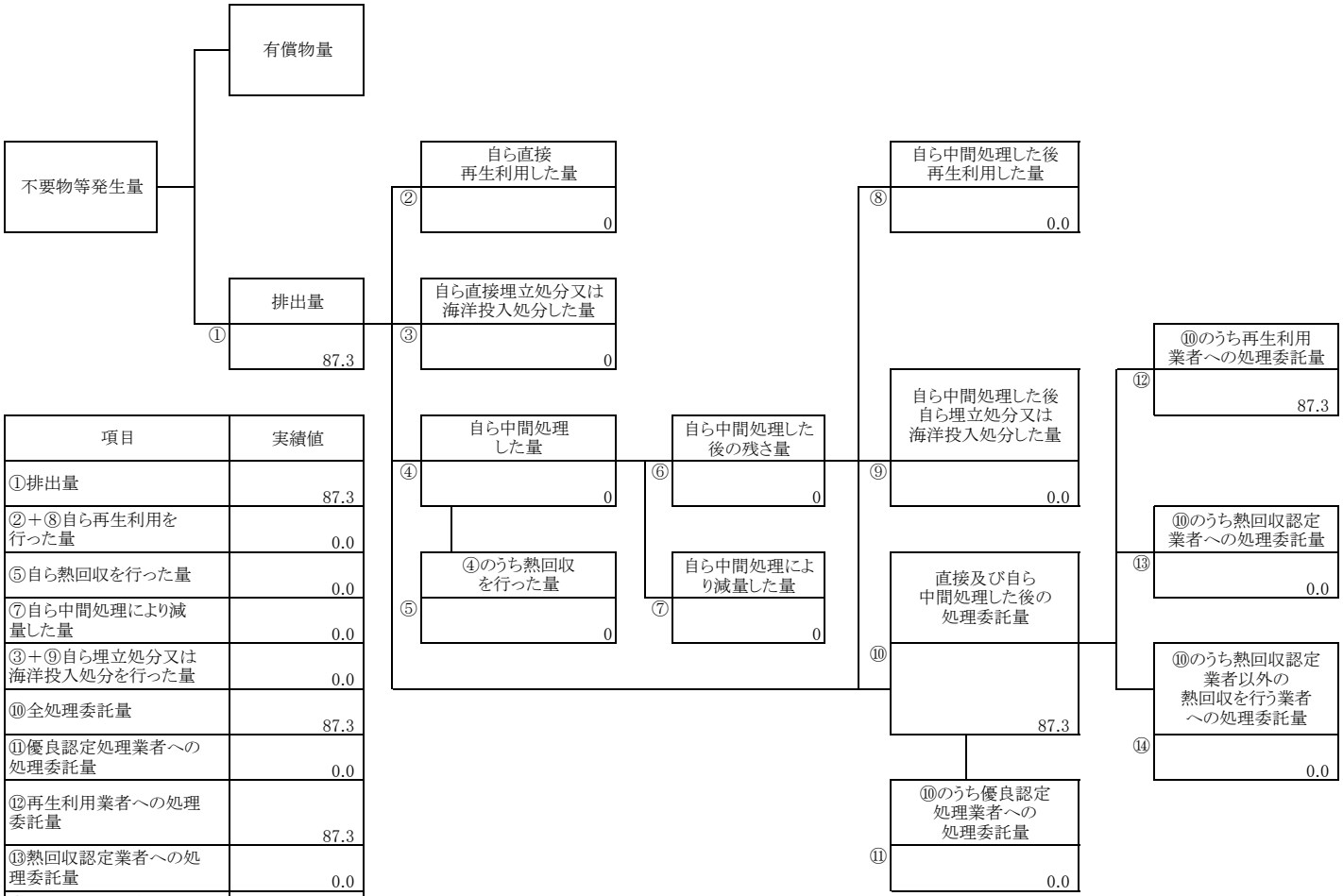
（産業廃棄物の種類：コンクリート破片　　）



項目	実績値
①排出量	1,608.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,608.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,608.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：アスファルト破片　　）

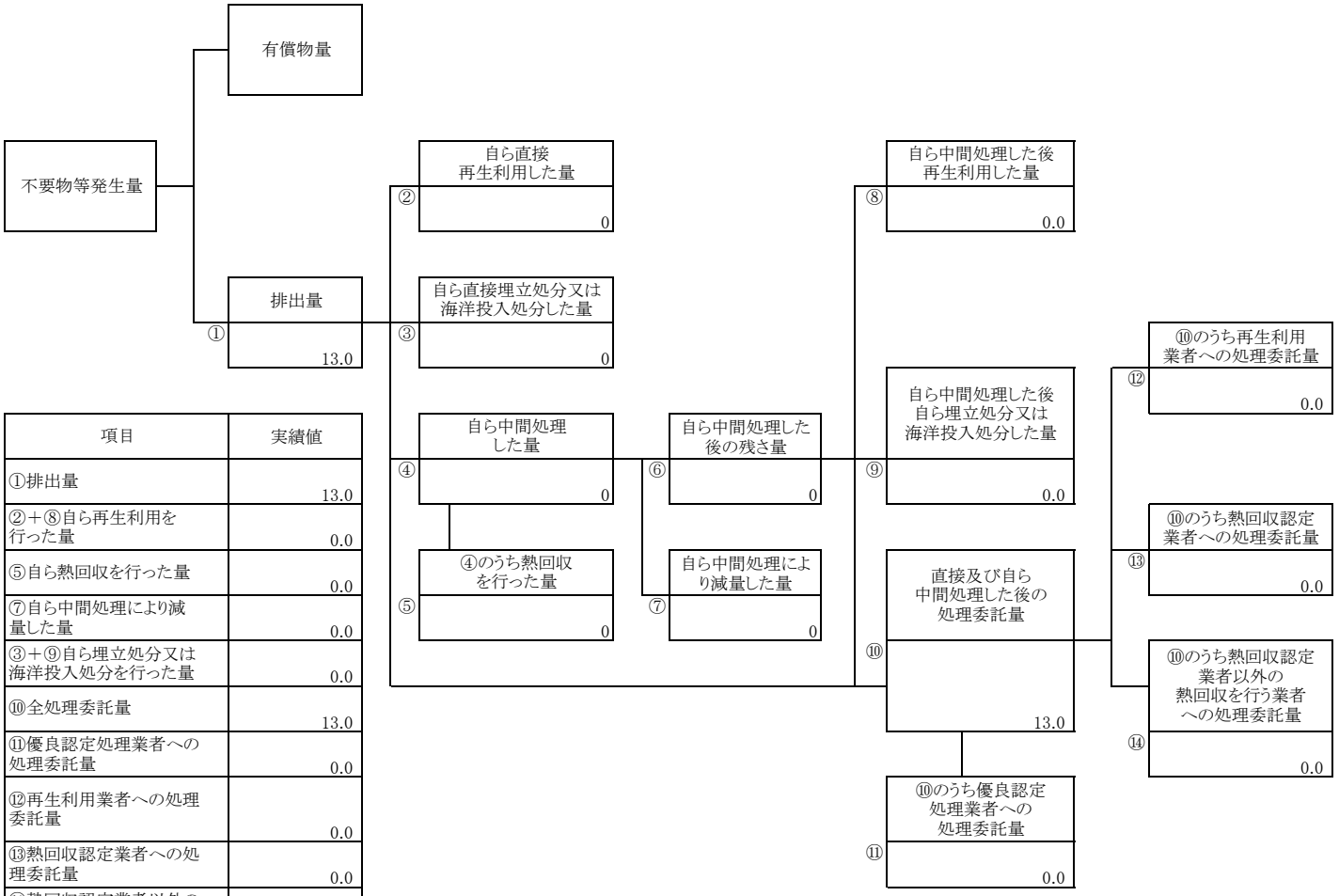


項目	実績値
①排出量	87.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	87.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	87.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：【石綿含有】ガラスくず、陶磁器くず　　）

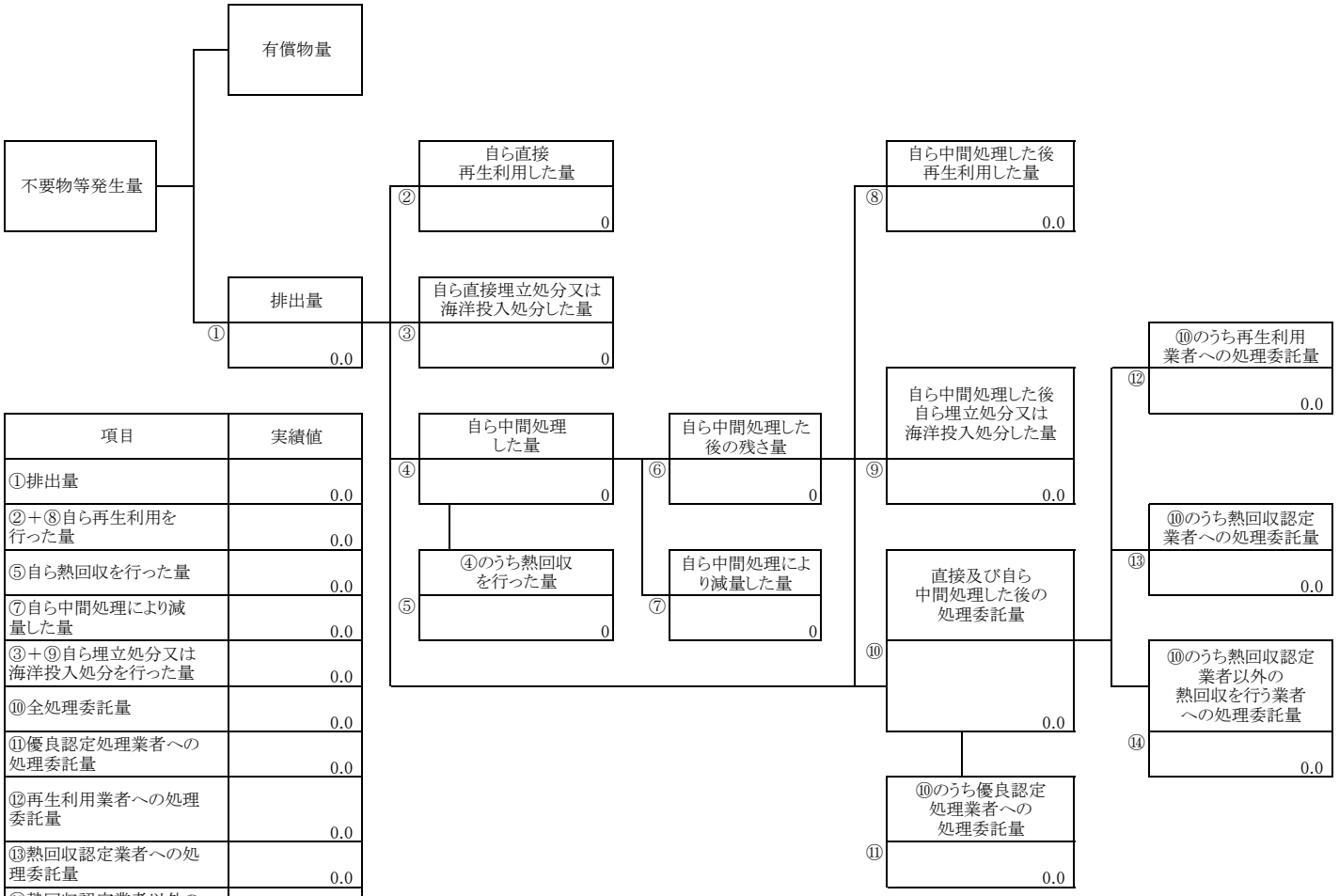


項目	実績値
①排出量	13.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	13.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

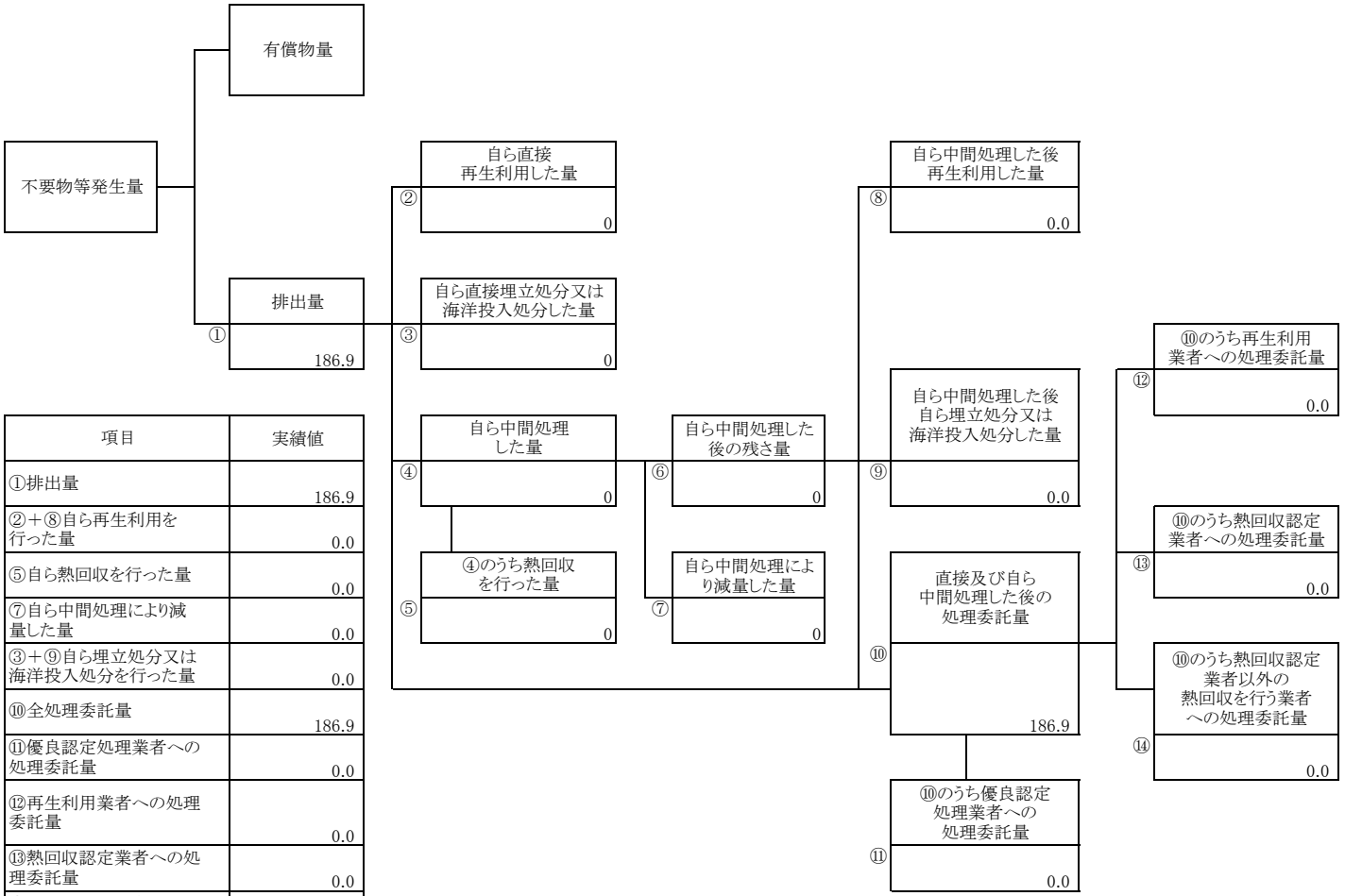
（産業廃棄物の種類:【石綿含有】廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

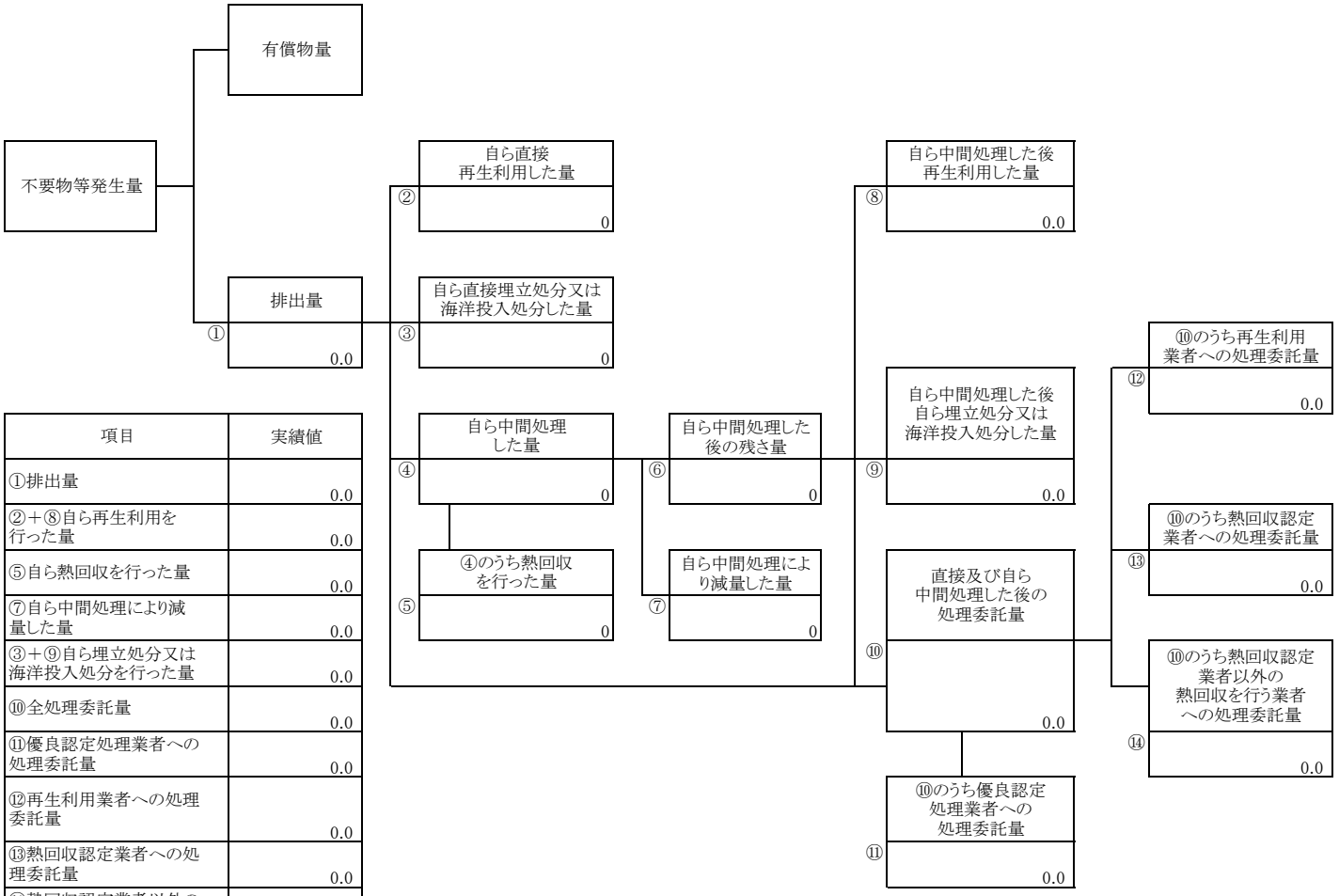
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:【石綿含有】がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	186.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	186.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

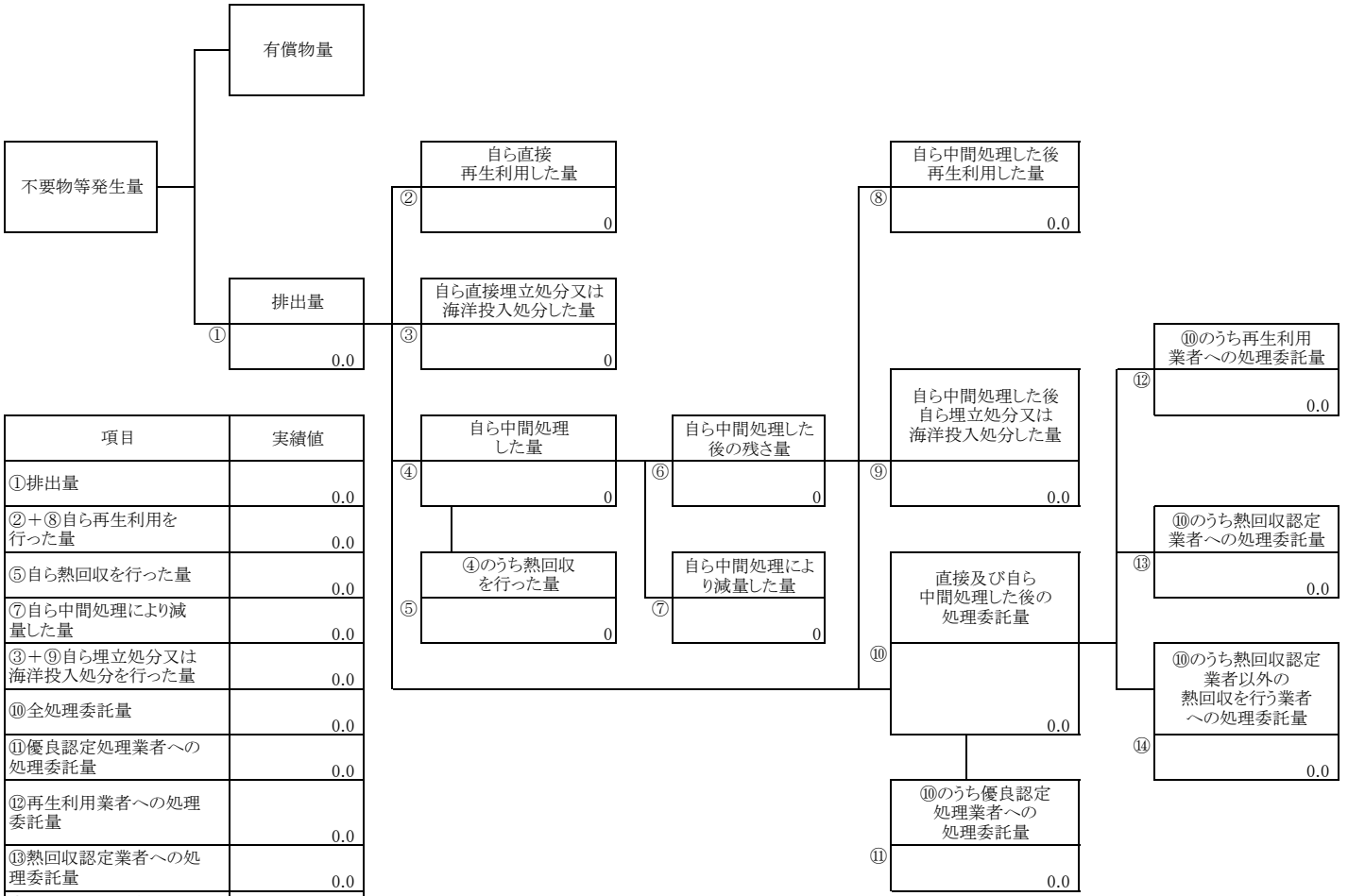
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

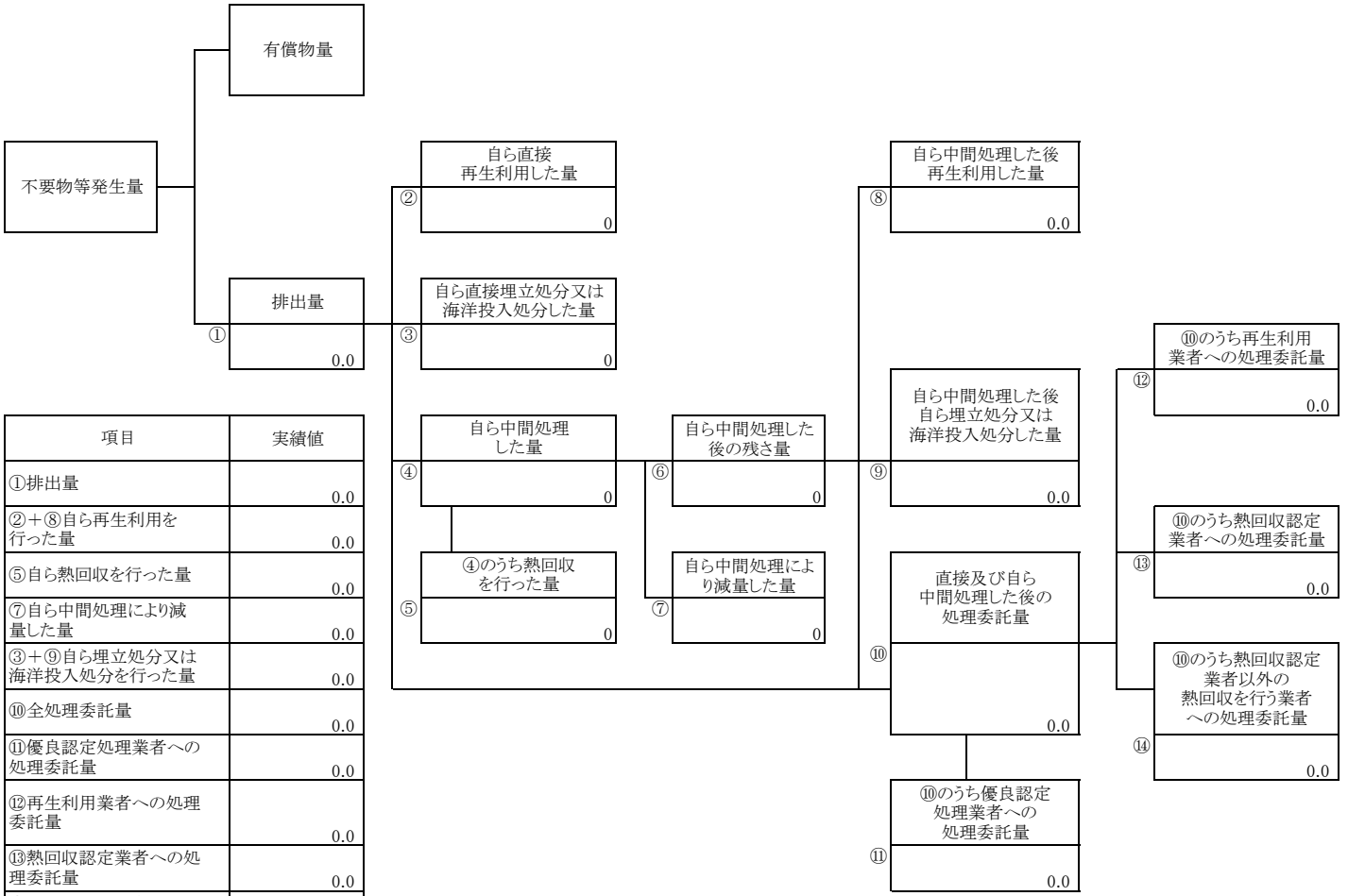
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合（安定型）　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合（管理型）　　）

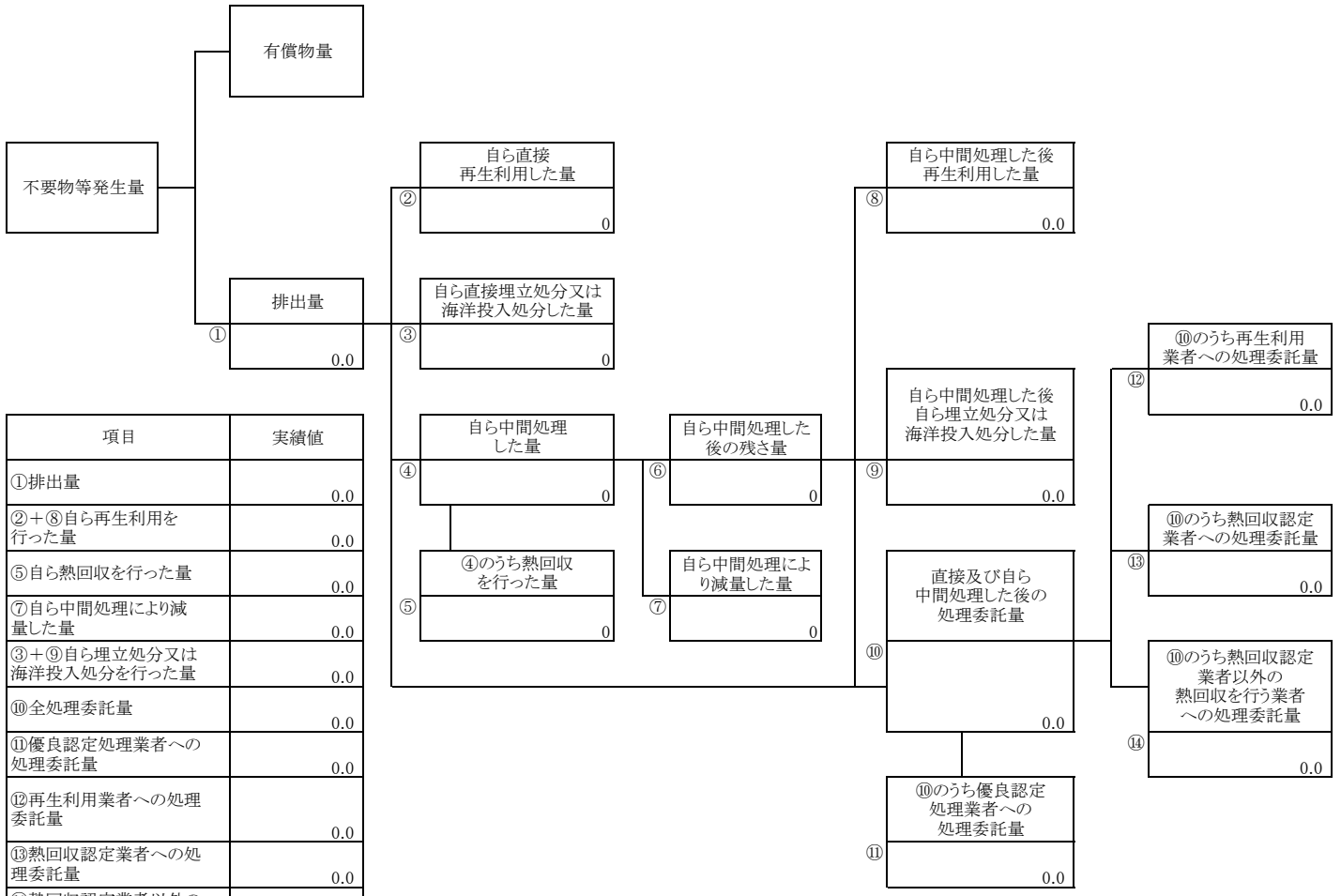


項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

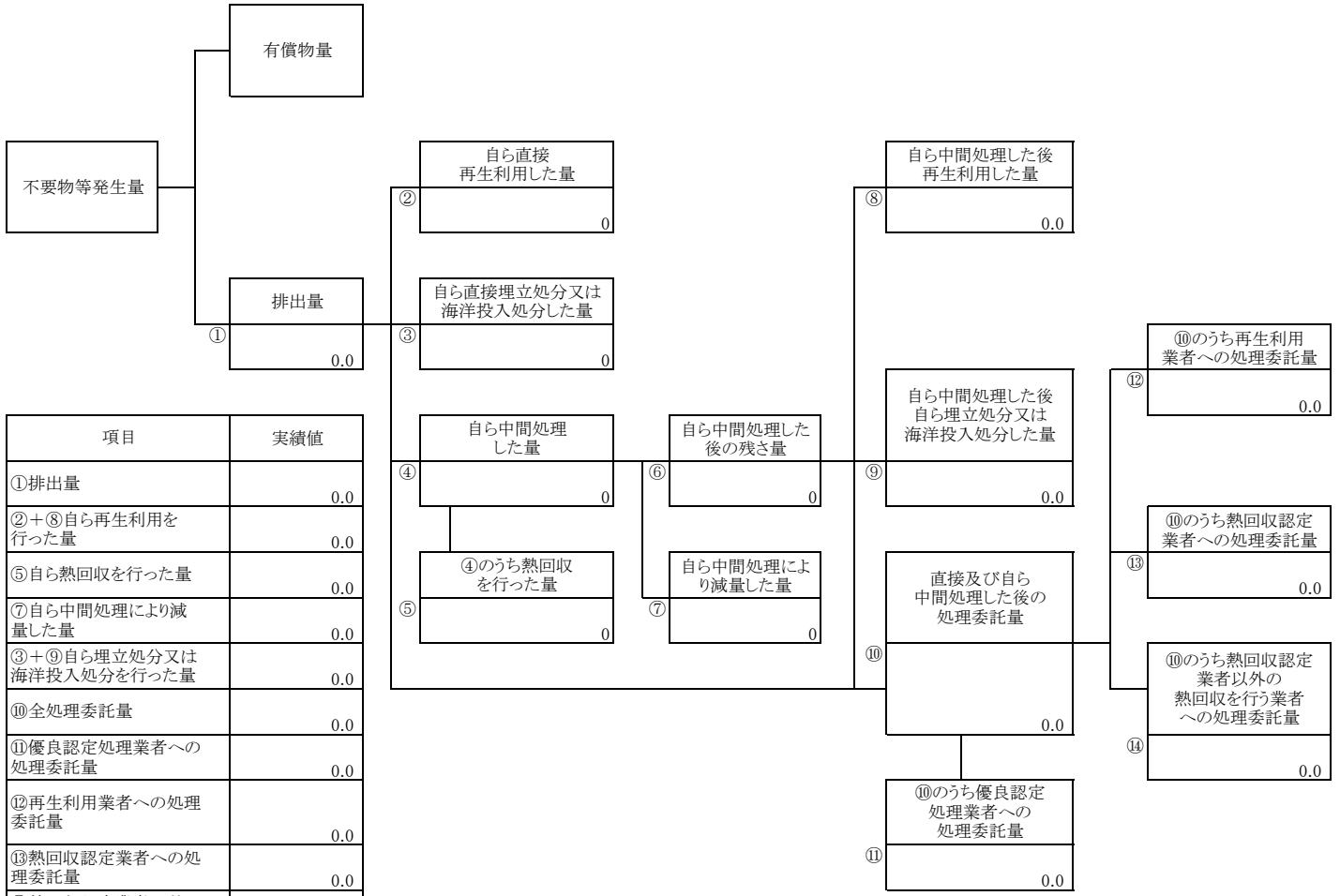
（産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃石綿　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況内訳

整 理 番 号 :

（単位:トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
汚泥										
	小計	0.0	295.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	295.4
廃プラスチック										
	小計	559.4	548.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	548.8
紙くず										
	小計	102.2	149.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	149.4
木くず										
	小計	1,200.0	3,386.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,386.6
繊維くず										
	小計	6.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
金属くず										
	小計	496.7	179.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	179.2
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	374.9	422.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	422.8
石膏ボード										
	小計	227.6	244.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	244.7
がれき類										
	小計	980.3	825.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	825.5
コンクリート破片										
	小計	1,756.5	1,608.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,608.9
アスファルト・コンクリート破片										
	小計	51.8	87.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.3
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	15.9	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0

（単位:トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
【石綿含有】廃プラスチック										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【石綿含有】がれき類										
	小計	101.2	186.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	186.9
【石綿含有】紙くず										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合（安定型）										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合（管理型）										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃石綿										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合　　計		5,873.0	7,949.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,949.4

産業廃棄物適正処理報告書

産業廃棄物の減量及び適正な処理を図るために柏支店で講じている取組について、次のとおり報告します。

1　事業場における事業の概要

ホームページURL	http://www.kentaku.co.jp/		
資本金又は資本金	29,060		百万円
全社員数	8,172名　（2024年3月末現在）		名
柏支店社員数	126		名
柏支店完工高	10,013		百万円
柏支店事業内容	①アパート、マンション、貸店舗、貸工場、貸倉庫、及び貸事務所等の建設業務 ②入居者斡旋等の不動産仲介業務、及び建物管理、並びに賃貸借契約管理等の不動産管理業務		
柏支店事業展望	賃貸住宅の分野でのシェア拡大		
記入者所属	大東建託株式会社　柏支店　工事課		
記入者	部　長　岡田　知朗	電話番号	04-7133-7272

2　事業場における産業廃棄物処理の概要

産業廃棄物※1の分別品目と処理の方法	
分別品目	処理の方法
コンクリートがら	発生現場から分別作業を経て中間処理（破砕）へ排出し、再生利用を行っている。
アスファルトがら	発生現場から分別作業を経て中間処理（破砕）へ排出し、道路材等に再生利用を行っている。
がれき類	発生現場から分別作業を経て中間処理（破砕）へ排出し再生利用を行っている。
ガラス･陶磁器くず	埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、再生利用及び埋立処分を行っている。
廃プラスチック類	埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、再生利用及び埋立処分を行っている。
金属くず	埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、再生利用及び埋立処分を行っている。
建設汚泥	脱水による中間処理後埋立処分されている。
紙くず	中間処理（破砕）後、再生古紙化し有償譲渡・再生利用を行っている。
木くず	新築工事・解体工事共に中間処理（破砕）へ排出し、チップ及びオガ粉化し有償譲渡・サーマル再生利用を行っている。
繊維くず	中間処理施設にて選別破砕処理後、再中間処理施設にて焼却処理、管理型埋立処理を行っている。
廃石膏ボード	新築工事・解体工事共に中間処理（破砕）へ搬出し、紙及び廃石膏に分ける。紙は、畜舎の敷材。廃石膏は、処分会社の処分場の覆土材として再生利用を行っている。広域再生利用も促進。
混合	混合廃棄物廃棄物は、埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、埋立処分を行っている。

（日本工業規格Ａ列４番）

3　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る管理体制に関する事項

(1)　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る経営上の方針

別紙：１，２による。

(2)　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る総括的な責任を担う組織の設置及び取組の状況

①　総括的な責任を担う組織（以下「総括的組織」という。）の名称

大東建託株式会社　安全品質管理部　環境指導課

②　総括的組織が取り組んでいる事項

ア　社内における産業廃棄物の管理体制

■ 経営者層を含めた、産業廃棄物の減量及び適正処理に関する委員会等を設置している。

■ 産業廃棄物処理※2の委託先の選定・契約に関与する組織の間で、産業廃棄物処理について必要な情報を共有している。

■ 産業廃棄物処理の履行状況の確認に電子マニフェスト※3を導入している。

□ 産業廃棄物処理の履行状況の確認にＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用した産業廃棄物の追跡システムを導入している。

■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する手順書を策定している。

＜策定している手順書に含まれている内容＞

■ 適正な処理委託契約を行うための手順

■ 適正な分別や保管の手順

■ 紙マニフェスト※4及び電子マニフェスト（以下「マニフェスト等」という。）の運用を適正に行うための手順

□ 処理施設を設置している場合、施設での適正な処理を行うための手順

□ その他　（　　）

■ 事故発生時の連絡対応の体制を構築している。

■ 産業廃棄物の適正処理に係る内部監査の実施体制を構築している。

■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する情報を外部発信するための体制を構築している。

■ 下請事業者等の関連事業者を含めた、減量及び適正処理確保のための体制を構築している。

□ 事業者自らが産業廃棄物の処理を行う施設を管理運営するための体制を構築している。

□ その他　（　　）

イ　産業廃棄物の減量及び適正処理に関する社内のコミュニケーション

■ 各事業場の産業廃棄物の排出状況、分別状況、保管状況、処理実績を把握している。

■ 各事業場の産業廃棄物の処理に関する委託契約の締結状況を把握している。

■ 各事業場から排出される産業廃棄物の委託処理に関するマニフェスト等の運用状況を把握している。

＜把握している内容＞

■ 紙マニフェストの交付状況及び電子マニフェストの登録状況

■ 処理業者からの紙マニフェスト（写）の送付状況

■ マニフェスト等の確認による、各事業場の委託処理の履行状況

（日本工業規格Ａ列４番）

■ 竣工後の紙マニフェスト（写）の保存状況
■ その他　（　　）
■ 各事業場の産業廃棄物の委託処理に関する料金の支払状況を把握している。
■ 従業者の教育訓練を実施している。
■ 産業廃棄物の減量や適正な処理に関する計画やルールを各事業場に伝達している。
■ 産業廃棄物の適正処理に係る監査の指摘事項に関する改善を指示している。
□ その他　（　　）

(3)　産業廃棄物管理責任者の役職及び役割
①　産業廃棄物管理責任者の役職名

大東建託株式会社　柏支店　部　長

②　産業廃棄物管理責任者が取り組んでいる事項
■ 事業場の産業廃棄物排出状況・処理状況の実績を把握している。
■ 事業場の産業廃棄物処理に関する委託契約の締結状況を把握している。
■ 事業場から排出される産業廃棄物の委託処理に関するマニフェスト等の運用状況を把握している。
＜把握している内容＞
■ 紙マニフェストの交付状況及び電子マニフェストの登録状況
■ 処理業者からの紙マニフェスト（写）の送付状況
■ マニフェスト等の確認による、委託処理の履行状況
■ 紙マニフェスト（写）の保存状況
□ その他　（　　）
■ 事業場の産業廃棄物の委託処理に関する料金の支払状況を把握している。
■ 事業場の産業廃棄物の減量及び適正処理に関する手順書を策定している。
＜策定している手順書に含まれている内容＞
■ 適正な処理委託契約を行うための手順
■ 適正な分別や保管の手順
■ マニフェスト等の運用を適正に行うための手順
□ 自ら処理を行うための施設を設置している場合、施設での適正な処理の手順
□ その他　（　　）
■ 事業場の従業者の教育訓練を実施している。
■ 産業廃棄物の減量や適正な処理に関する計画やルールを事業場に伝達している。
■ 産業廃棄物の適正処理に係る監査の指摘事項に関する改善を指示している。
□ その他　（　　）

(4)　従業者の教育訓練の実施状況
①　全従業者を対象とした研修の内容
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する経営上の方針について
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する計画や目標について
■ 産業廃棄物の適正な分別、保管の徹底について
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する各従業者の役割について
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関するルールについて
■ 廃棄物関係法令の概要について
■ 外部機関が行う、産業廃棄物の減量及び適正処理に関する研修を受講
□ その他　（　　）
＜従業者の研修受講頻度：年１回程度　＞

②　産業廃棄物管理責任者を対象とした研修の内容
■ 廃棄物関係法令について
■ 各事業場の特性に応じた分別の方法について
■ 事業場の従業者の教育について

（日本工業規格Ａ列４番）

■ 優れた取組を行っている他事業場の排出現場の視察や取組事例の紹介
■ 処理委託先の施設の視察を行い、その処理に見合った分別を再確認
■ 外部機関が行う、産業廃棄物の減量及び適正処理に関する研修を受講
□ その他　（　　）

＜産業廃棄物管理責任者の研修受講頻度：　　＞

③　教育訓練用テキストの作成状況
■ 社外で作成されたテキストを活用している。
■ 全従業者を対象とした教育訓練用のテキストを作成している。
■ 産業廃棄物管理責任者を対象とした教育訓練用のテキストを作成している。
□ その他　（　　）

④　教育訓練の効果促進に向けた取組
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る取組に関して提案募集制度を導入している。
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る取組事例の発表会を開催している。
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る優れた取組に対して、社内表彰制度を導入している。

□ その他　（　　）

(5)　産業廃棄物処理に係る監査の実施状況
①　産業廃棄物処理に関する内部監査の監査項目
■ 処理委託契約書の内容に関する事項
■ マニフェスト等の運用に関する事項
■ 産業廃棄物の分別状況
■ 産業廃棄物の保管状況
□ 産業廃棄物の減量や適正な処理に関する計画等の達成状況
□ 自ら処理を行う場合の処理状況
□ その他　（　　）

＜内部監査の実施頻度 年１回程度　　＞

②　産業廃棄物処理に関する外部監査の頻度　　（頻度：　　）

4　関連事業者に対する産業廃棄物の減量及び適正な処理の普及、支援等の取組
①　子会社を含めた取組
□ 子会社を有していない。
■ 産業廃棄物の適正な処理に関する情報を共有している。
■ 子会社も含めた研修や勉強会を実施している。　　（頻度：　年１回程度　　）
□ その他　（　　）

②　下請事業者を含めた取組
□ 工事に下請事業者が入ることは無い。
■ 当該工事の下請事業者に産業廃棄物処理を委託する場合、工事契約とは別に処理委託契約を締結している。
■ 当該工事の下請事業者に産業廃棄物処理を委託する場合、産業廃棄物の処理費用は工事費とは別に設定している。
■ 下請事業者のマニフェスト等の運用状況を確認している。
■ 産業廃棄物の適正な処理に関する情報を共有している。
■ 下請事業者も含めた研修や勉強会を実施している。　　（頻度：　年１回程度　　）
□ その他　（　　）

③　建設資材等の納入事業者を含めた取組
□ 納入事業者が入ることは無い。
■ 納入時の荷姿や梱包を簡素化している。
■ 納入事業者も含めた研修や勉強会を実施している。　　（頻度：　年１回程度　　）
□ その他　（　　）

（日本工業規格Ａ列４番）

5　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る情報の発信に係る取組

□ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る経営上の方針
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　■ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ 産業廃棄物の排出状況・処理状況
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　■ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ 資源化の実績
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ 再生資源の利用状況の実績
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ 自ら処理を行う場合の、処理施設から生じる環境汚染物質等の測定値
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ その他　（　　）
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ その他　（　　）
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

□ その他　（
＜公表方法＞
□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載
□ その他　（　　）

6　処理を委託した産業廃棄物の適正な処理を確保するための取組

(1)　産業廃棄物の処理の委託先を選定するときに確認している事項

①　収集運搬業者を選定するときに確認している事項

■ 自社との過去の契約実績を確認している。
■ 複数の収集運搬業者の料金を比較している。
■ 許可証の内容を確認している。
＜確認内容＞
■ 許可の期限　■ 許可品目　■ 積込み場所と運搬先の許可の有無
■ 積替え保管の有無
□ その他　（　　）
■ 委託する産業廃棄物の品目の収集運搬実績を確認している。
□ 処理業者団体に照会している。
■ 収集運搬業者選定のためのチェックリストを作成して活用している。

（日本工業規格Ａ列４番）

■ 積替え保管を伴う場合には、積替え保管施設を現地確認している。
＜確認内容＞
■ 実際に保管されている産業廃棄物の種類
■ 保管量
■ 飛散や流出の防止対策
■ 廃棄物処理法で記載と備付けが義務付けられている帳簿の内容
□ その他　（　　）
□ 従業者の教育訓練の実施状況を確認している。
□ 車両事故等の緊急時における対応方法を確認している。
□ 財務状況を確認している。
■ 電子マニフェストの導入状況を確認している。
□ ＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用した産業廃棄物の追跡システムの導入状況を確認している。
□ その他　（　　）

② 処分※5業者を選定するときに確認している事項
■ 自社との過去の契約実績を確認している。
■ 複数の処分業者の料金を比較している。
■ 許可証の内容を確認している。
＜確認内容＞
■ 許可の期限　■ 許可品目　■ 処理方法　■ 処理能力
□ その他　（　　）
■ 委託する産業廃棄物の品目の処分方法や処分実績を確認している。
□ 処理業者団体に照会している。
■ 処分業者選定のためのチェックリストを作成して活用している。
□ 都内での処分を委託する場合は、都の報告・公表制度の内容を参考にしている。
＜参考にしている内容＞
□ 事業概要　□ 報告期間末の施設の現況　□ 処理の実績
□ その他　（　　）
■ 処分業者の施設を現地確認している。
＜確認内容＞
■ 処理されている産業廃棄物の品目　■ 処理方法
■ 処理前、処理後の産業廃棄物の保管量　■ 飛散や流出の防止対策
■ 廃棄物処理法で記載と備付けが義務付けられている帳簿の内容
□ その他　（　　）
■ 従業者の教育訓練の実施状況を確認している。
■ 中間処理を委託する場合、中間処理後の残さの処分先（最終処分場等）を現地で確認している。
＜確認内容＞
■ 搬入されている産業廃棄物の種類　■ 最終処分場の残存容量
■ 廃棄物処理法で記載と備付けが義務付けられている帳簿の内容
□ その他　（　　）
■ 危機管理体制を確認している。
■ 環境保全への取組状況を確認している。
□ 財務状況を確認している。
■ 電子マニフェストの導入状況を確認している。
□ ＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用した産業廃棄物の追跡システムの導入状況を確認している。
□ その他　（　　）

(2) 産業廃棄物の処理の過程において当該産業廃棄物に関して確認している事項
■ 収集運搬業者に引き渡す際に従業者が立ち会っている。
■ 収集運搬業者に引き渡す際に産業廃棄物の種類を再確認している。
■ 収集運搬業者に引き渡す際に産業廃棄物の数量を再確認している。
■ 収集運搬業者が使用する運搬車両の許可番号表示※6の有無を確認している。

□ ＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用して処理の履行状況を随時確認している。
■ すべてのマニフェスト等と契約書の内容を突合して、委託の履行状況を再確認している。
□ その他　（　　）

(3)　産業廃棄物処理に係る費用の支払方法
■ 収集運搬業者、処分業者に個別に支払っている。
＜支払時期＞
（収集運搬業者への支払時期）
□ 収集運搬業者に引き渡す時点　　■ 運搬の終了を確認後
□ 処分委託先での処分の終了を確認後　　□ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）
（処分業者への支払時期）
□ 処分委託先での処分の終了を確認後　　■ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）
□ 処分業者に一括して支払っている。
＜支払時期＞
□ 運搬の終了を確認後　　□ 委託処分先での処分の終了を確認後
□ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）
□ 収集運搬業者に一括して支払っている。
＜支払時期＞
□ 収集運搬業者に引き渡す時点　　□ 運搬の終了を確認後
□ 処分委託先での処分の終了を確認後　　□ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）

(4)　委託先が産業廃棄物の適正な処理を行い得る状態が維持されているか確認している事項
■ 許可内容の変更の有無を確認している。
（確認頻度　　）
■ 行政処分の状況を確認している。
（確認頻度　　）
■ 委託先と意見交換を実施している。
（確認頻度　　）
■ 委託先が都の報告・公表制度の対象となる事業者である場合には、公表内容を確認している。
（確認頻度　　）
■ 委託先の処分業者の施設を定期的に現地確認している。
（確認頻度　　）
■ 中間処理を委託している場合は、中間処理後の残さの処分先施設を定期的に現地確認している。
（確認頻度　　）
□ その他　（　　）
（確認頻度　　）

7　産業廃棄物の処理に伴う環境への負荷を低減するための取組
■ 排出抑制の目標を設定している。
□ 資源化目標を設定している。
□ 建設資材等の発注及び使用を計画的に行っている。
□ 再使用、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルの優先順位に配慮した処理方法を選択している。
□ 自ら設置する処理施設から生じる環境汚染物質等の定期的測定と改善を行っている。
□ ライフサイクルアセスメント（ＬＣＡ）手法を導入している。
□ その他　（　　）

（日本工業規格Ａ列４番）

8　産業廃棄物の再生状況

【資源化率（%）＝資源化量／発生量×１００】

■ 古紙	⇒	資源化率（ 100% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ 石膏ボード	⇒	資源化率（ 100% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ 木くず	⇒	資源化率（ 100% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ 廃プラ	⇒	資源化率（ 90% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ コンクリがら	⇒	資源化率（ 100% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）

9　再生資源の利用状況

□ 溶融スラグ（直接利用）　■ コンクリート二次製品（溶融スラグを用いた物）
■ 再生過熱アスファルト混合物（溶融スラグを用いた物）　□ エコセメント
□ 建設泥土から再生処理した処理土　□ 土工用水砕スラグ　■ 再生骨材
□ 再生過熱アスファルト混合物　□ 高炉スラグ骨材　□ フェロニッケルスラグ材
□ 銅スラグ材　□ 鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物　□ 鉄鋼スラグ混入路盤材
□ 高炉セメント　□ フライアッシュセメント　■ パーティクルボード
■ 再生木質ボード
□ その他　（　　）
（　　）
（　　）

１０　その他の取組

別紙１，２による

※１　廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）第２条第４項に規定する産業廃棄物及び同第２条第５項に規定する特別管理産業廃棄物を指す。

※２　収集運搬、中間処理、最終処分を指す。

※３　廃棄物処理法第12条の５に規定する、電子情報処理組織を使用して産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の運搬及び処分が終了した旨を情報処理センターに報告する仕組みを指す。

※４　廃棄物処理法第12条の３第１項に規定する産業廃棄物管理票を指す。本様式においては「紙マニフェスト」という。

※５　中間処理、最終処分を指す。

※６　廃棄物処理法施行令第６条第１項第１号イ及び同第６条の５第１項第１号に規定する表示を指す。

（日本工業規格Ａ列４番）

（別紙：１）

１．管理体制（廃棄物処理に関する管理組織等）

本社		大東建託株式会社　安全品質管理部　環境指導課
支店（責任者）		大東建託株式会社　　柏　　支店 部　長
支店（担当者）		大東建託株式会社　　柏　　支店 担当者　　11　人
役割	本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
	支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
	支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

２．管理方針

１）廃棄物処理

（１）法令の遵守等

●産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに、行政の環境施策に協力する。

（２）排出事業者の処理責任

●産業廃棄物の処理責任が自らにあることを十分に認識するとともに、廃棄物処理法や循環型社会形成推進基本法、建設リサイクル法等の関係法令に関する趣旨を作業員に対しても周知することにより、産業廃棄物に関する主体的取り組みを促進する。

●産業廃棄物の処理を処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から最終処分に至るまでマニフェストにより確認し、適正に管理する。（H18年10月より電子マニフェストにて運用）

●下請業者の廃棄物の排出は元請業者が排出事業者となることから、排出事業者として処理責任を果たす。

（３）目標の設定

●発生量の抑制、減量化、循環利用の推進、最終処分量の削減について、数値目標及びその達成期間を定め実施する。

●これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。

（日本工業規格Ａ列４番）

（４）廃棄物処理の取り組み

●廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また協力会社にも必要な指導を行う。

①：発生抑制（※１）

・設計及び施工段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を採用する。

②：循環利用（※２）（再使用（※３）、再生利用（※４）、熱回収（※５））

・現場内で資材を繰り返し利用する。

・廃棄物の分別を徹底し、再生利用を推進する。

・建設リサイクル法及びその基本方針に基づき分別解体を実施し、建設資材の再資源化を図ることにより埋立処分量の削減を図る。

③：その他

・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。

（※１）原材料等の効率的な利用等により、産業廃棄物の発生を抑制すること。

（※２）発生した産業廃棄物を再使用、再生利用及び熱回収すること。

（※３）発生した産業廃棄物のうち有用なものをそのまま使用したり、他の製品や部品として使用すること。

（※４）発生した産業廃棄物を中間処理して再生し、原材料として利用すること。

（※５）発生した産業廃棄物をそのまま燃焼し、熱エネルギーとして回収すること。

（５）教育・研修等

●発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、作業員等に定期的に教育、研修等を行う。

（６）情報公開

●廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生や処理状況について情報の公開に努める。

２）環境全般

『環境と調和』を重要な課題の一つとして捉え、環境の継続的な改善を推進する。

①環境関連の法令及び会社が定める規定等を遵守し、環境の改善に努める。

②当支店の環境に関連する対策として、次のことを推進する。

●環境汚染防止と資源の有効利用を目指し、産業廃棄物の削減と再生利用を推進する。

●建築にあたっては、主要資材や建築物が廃棄物になった場合の環境への影響に配慮する。

③環境、安全に関する啓発活動を積極的に行ない、各従業員の環境意識の高揚を図るとともに情報公開などにより地域住民の理解を深めるように努める。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月2日

千葉市長　　殿

提出者

住所　　千葉県千葉市中央区旭町24番12号ブライトン1F

氏名　大東建託株式会社　　千葉 支店

支店長　　髙橋　清人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-202-1002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大東建託株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区旭町２４番１２号ブライトン１Ｆ
計画期間	令和６年４月１日　から　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	Ｄ０６　総合工事業
②事業の規模	15,062　百万円（前年度完工高）
③従業員数	126　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥　→ 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類　→ 破砕 → 再生砕石として再生利用 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ → 破砕､圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず　→ 切断、破砕　→　原料として再利用 紙くず　→ 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず　→ 破砕 → ﾁｯﾌﾟ・燃料等として再生利用 ｶﾞﾗｽくず､ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず　→　破砕　→　再利用または埋立

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　　出　　量	－　t	320.3　t

（これまでに実施した取組）
・電子マニフェストの導入。
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　　出　　量	－　t	305.7　t

（今後実施する予定の取組）
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。
・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・狭小現場での分別の仕組をつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　　出　　量	3.0　t	1,484.6　t	2.9　t	26.8　t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　　出　　量	2.9　t	1,416.8　t	2.7　t	25.6　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　　出　　量	146.4　t	79.8　t	155.8　t	288.9　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　　出　　量	139.7　t	76.2　t	148.7　t	275.7　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　　出　　量	－　t	22.0　t	－　t	82.0　t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　　出　　量	－　t	21.0　t	－　t	78.2　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	0.0 t	320.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	314.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	3.0 t	1,484.6 t	2.9 t	26.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	3.0 t	1,474.6 t	2.8 t	26.6 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	146.4　t	79.8　t	155.8　t	288.9　t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
再生利用業者への処理委託量	141.5　t	77.1　t	154.6　t	172.1　t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	0.0 t	22.0 t	0.0 t	82.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>0.0　t</td><td>305.7　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.0　t</td><td>0.0　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.0　t</td><td>300.1　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0　t</td><td>0.0　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0　t</td><td>0.0　t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・現場作業、現場加工の削減。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	2.9 t	1,416.8 t	2.7 t	25.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	2.8 t	1,407.3 t	2.7 t	25.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	139.7 t	76.2 t	148.7 t	275.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	135.0 t	73.6 t	147.5 t	164.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	0.0 t	21.0 t	0.0 t	78.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画内訳

整 理 番 号 :

（単位:トン）

廃棄物の種類	前年度の産業廃棄物発生量	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	⑧直接委託及び自己処理後委託処分量
汚泥	0.0	0.0							0.0
廃プラスチック	320.3	305.7							305.7
紙くず	3.0	2.9							2.9
木くず	1,484.6	1,416.8							1,416.8
繊維くず	2.9	2.7							2.7
金属くず	26.8	25.6							25.6
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	146.4	139.7							139.7
石膏ボード	79.8	76.2							76.2
がれき類	155.8	148.7							148.7
コンクリート破片	288.9	275.7							275.7
アスファルト・コンクリート破片	0.0	0.0							0.0
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	22.0	21.0							21.0
【石綿含有】廃プラスチック	0.0	0.0							0.0
【石綿含有】がれき類	82.0	78.2							78.2
【石綿含有】紙くず	0.0	0.0							0.0
混合（安定型）	0.0	0.0							0.0
混合（管理型）	0.0	0.0							0.0
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）	0.0	0.0							0.0
廃石綿	0.0	0.0							0.0
合計	2,612.5	2,493.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,493.2

産業廃棄物処理計画書

事業場の名称	大東建託株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区旭町２４番１２号ブライトン１Ｆ
①当該事業場における事業の概要	別添のとおり
②計画期間	令和６年４月１日　から　令和７年３月３１日
③産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
④産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑤産業廃棄物の分別に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑥産業廃棄物の再生利用に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑦産業廃棄物の処理に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
備考	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月2日

千葉市長　　殿

提出者
住 所　千葉県千葉市中央区旭町24番12号ブライトン1F
氏 名　大東建託株式会社　千葉　支店
支店長　髙橋　清人
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-202-1002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

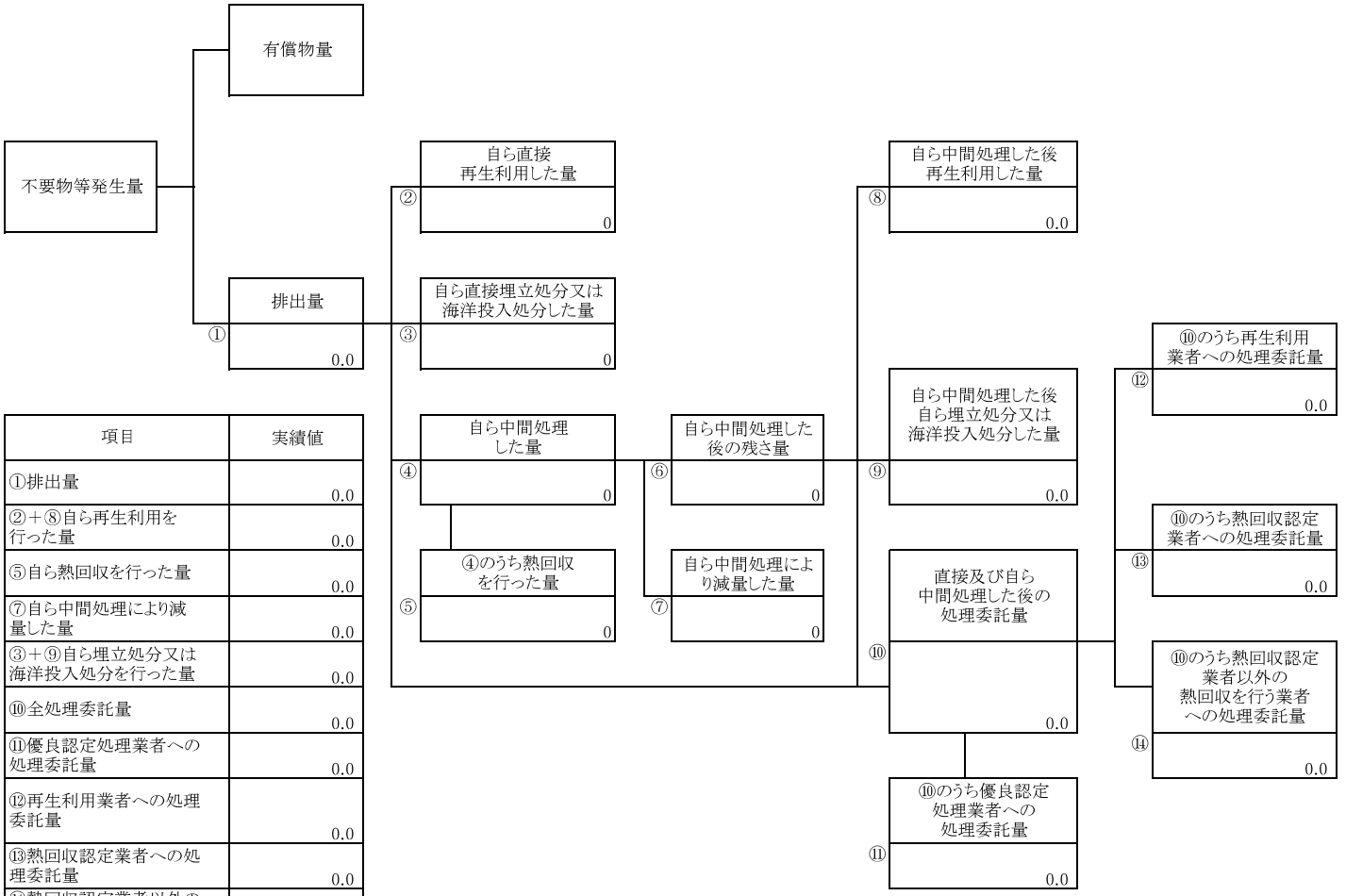
事業場の名称	大東建託株式会社　千葉 支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区旭町24番12号ブライトン1F
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日から令和6年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3188.6t	全処理委託量	3188.6t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	97.6t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1933.5t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

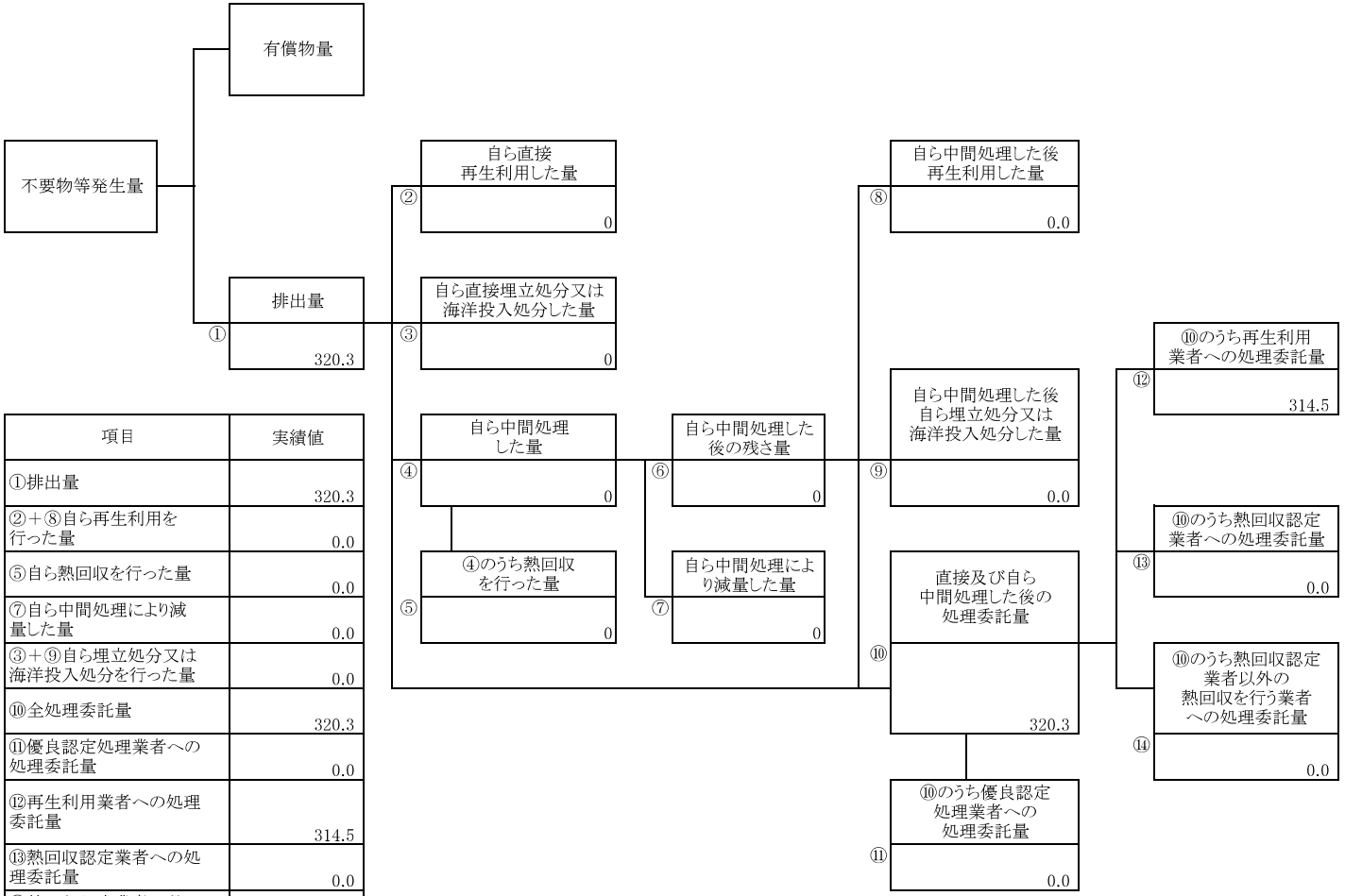
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

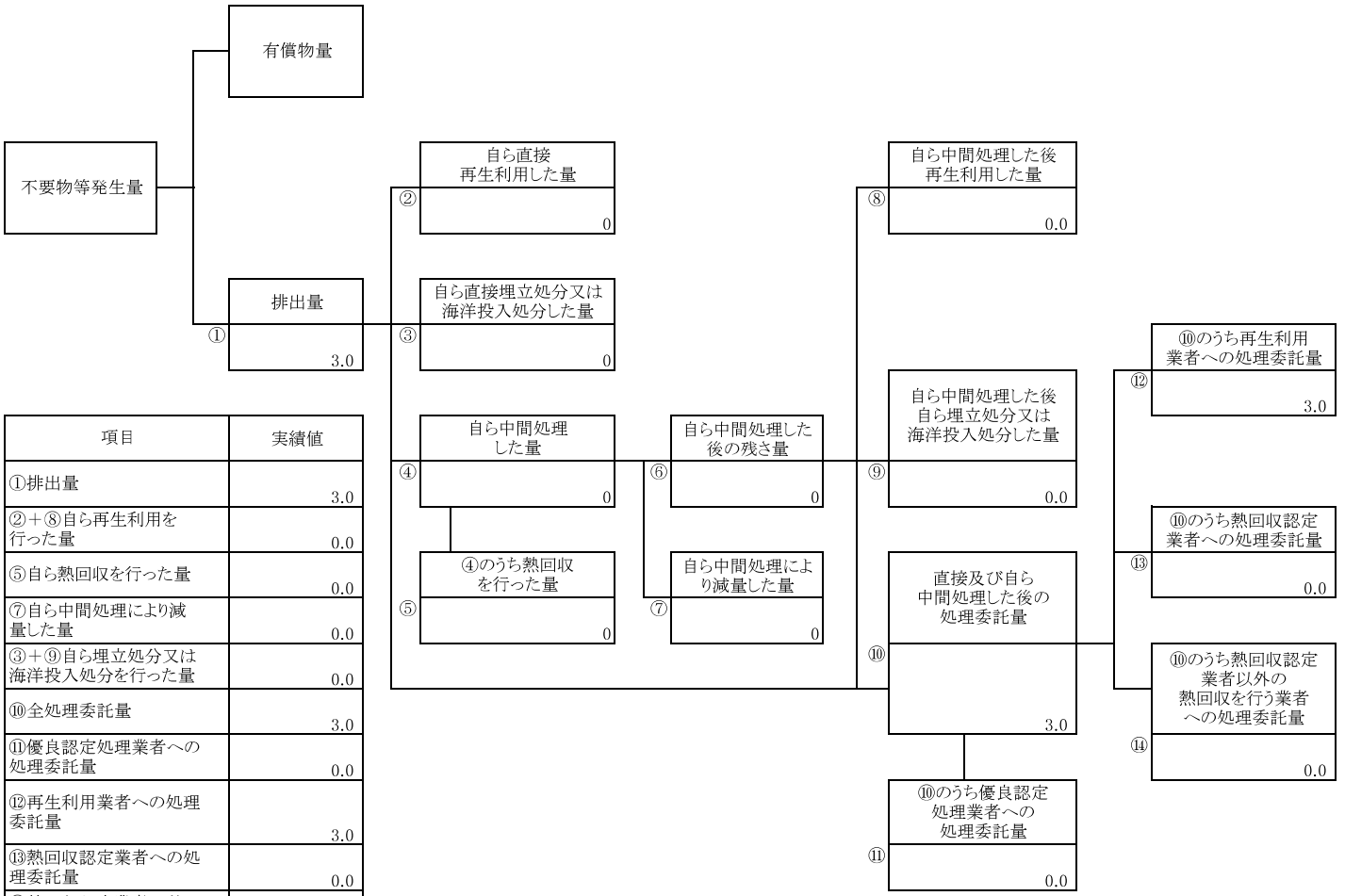
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	320.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	320.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	314.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

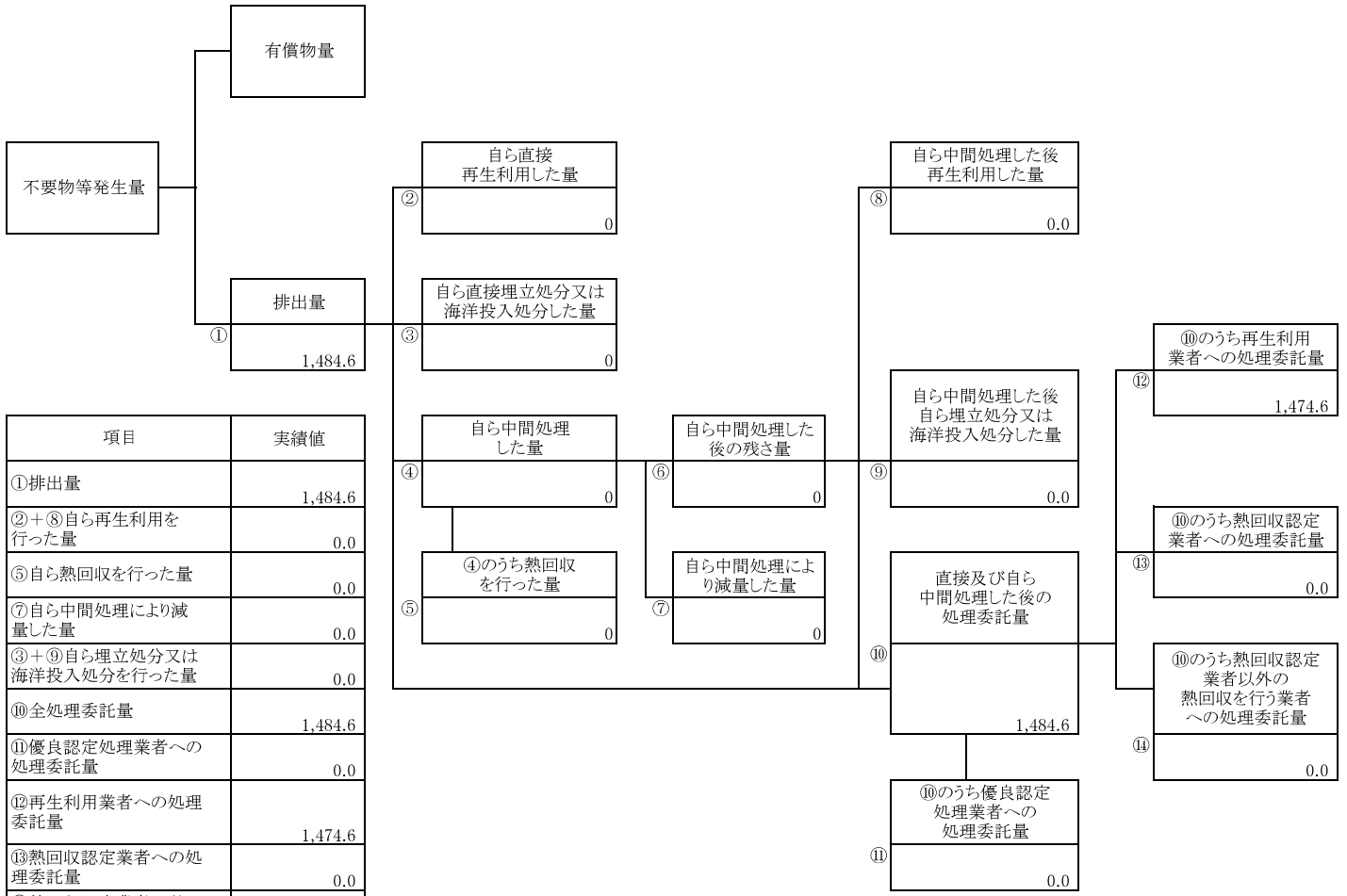
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	3.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	3.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

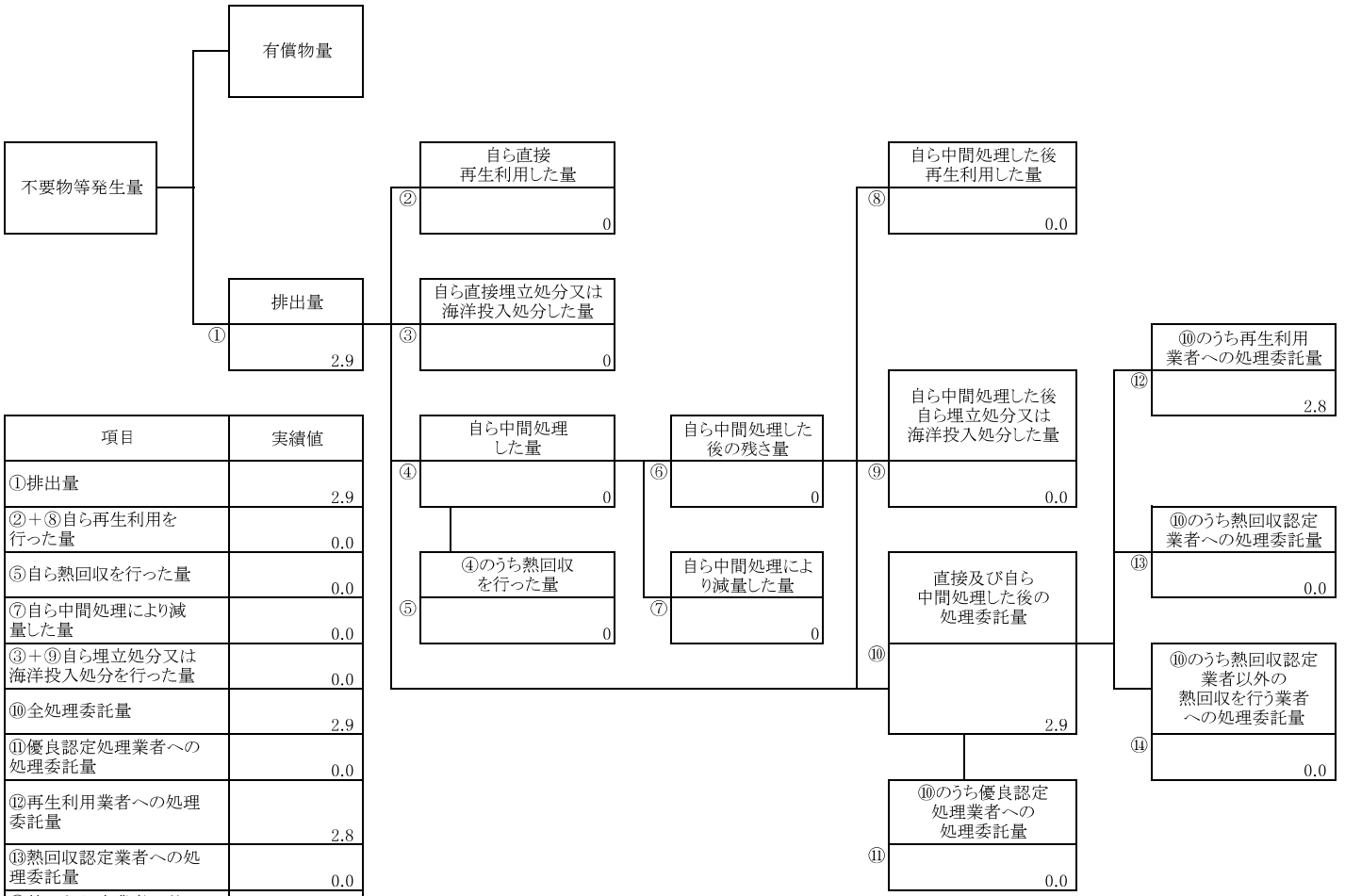
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	1,484.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,484.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,474.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

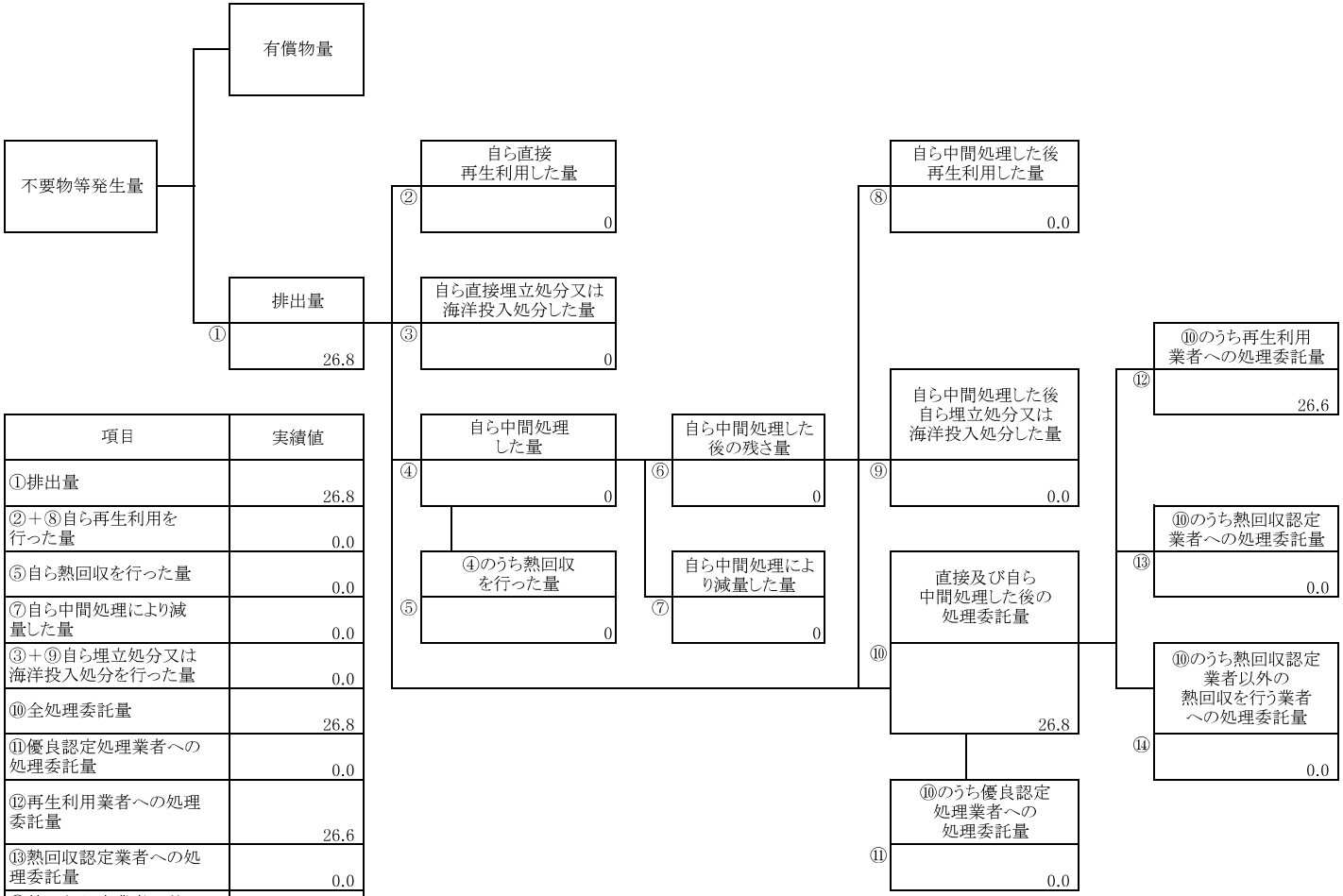
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）



項目	実績値
①排出量	2.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	2.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	2.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

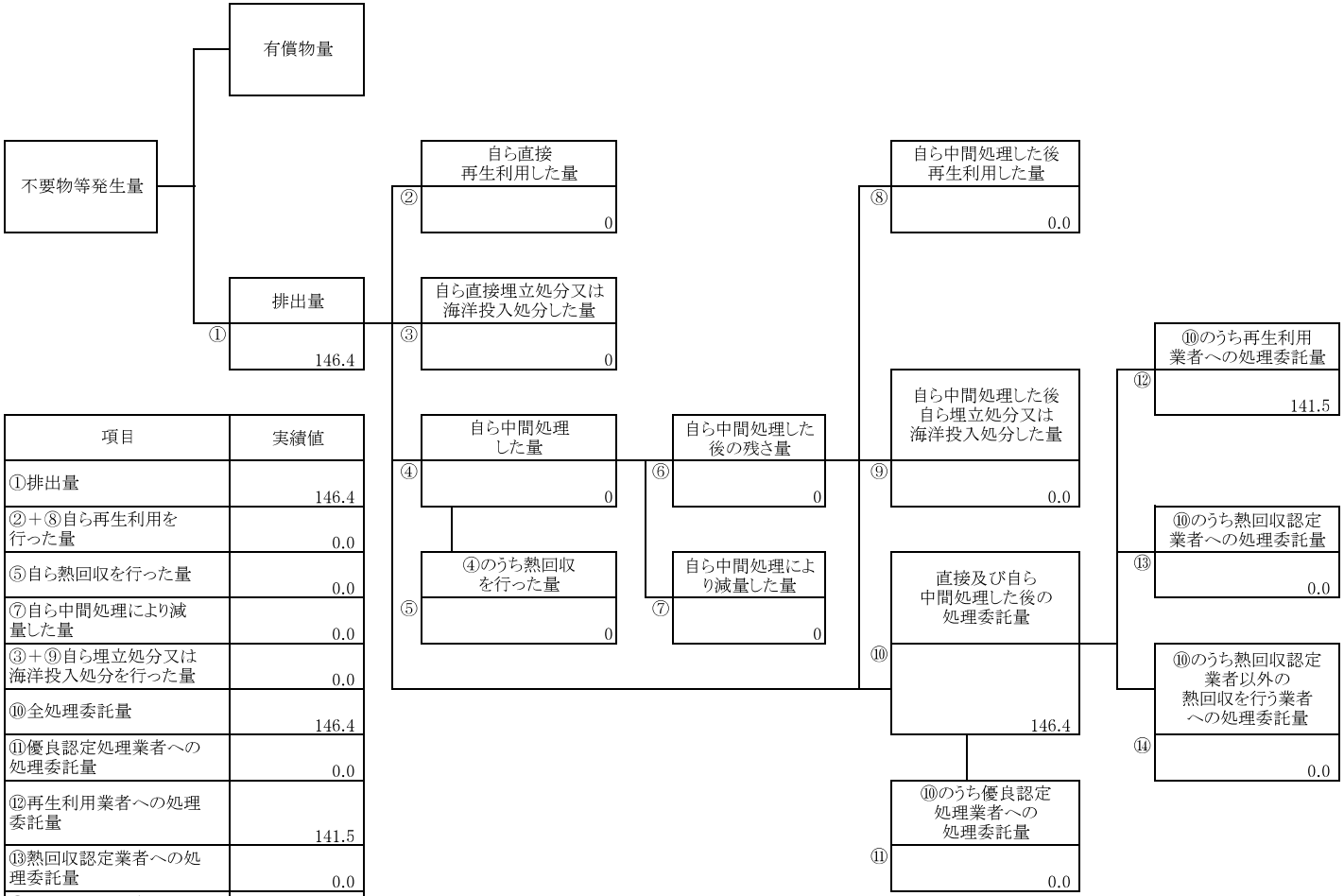


項目	実績値
①排出量	26.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	26.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	26.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

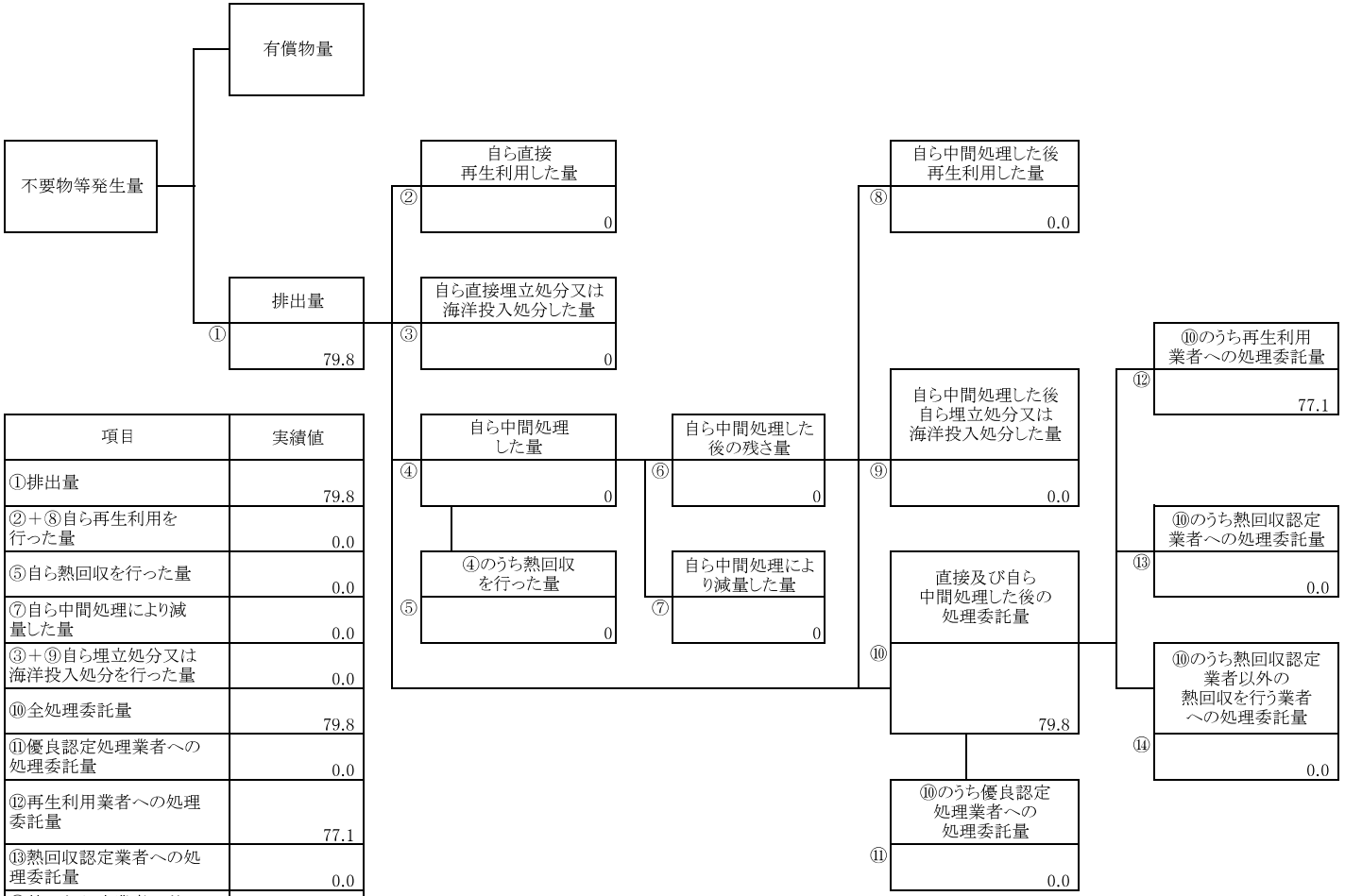
（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）



項目	実績値
①排出量	146.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	146.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	141.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

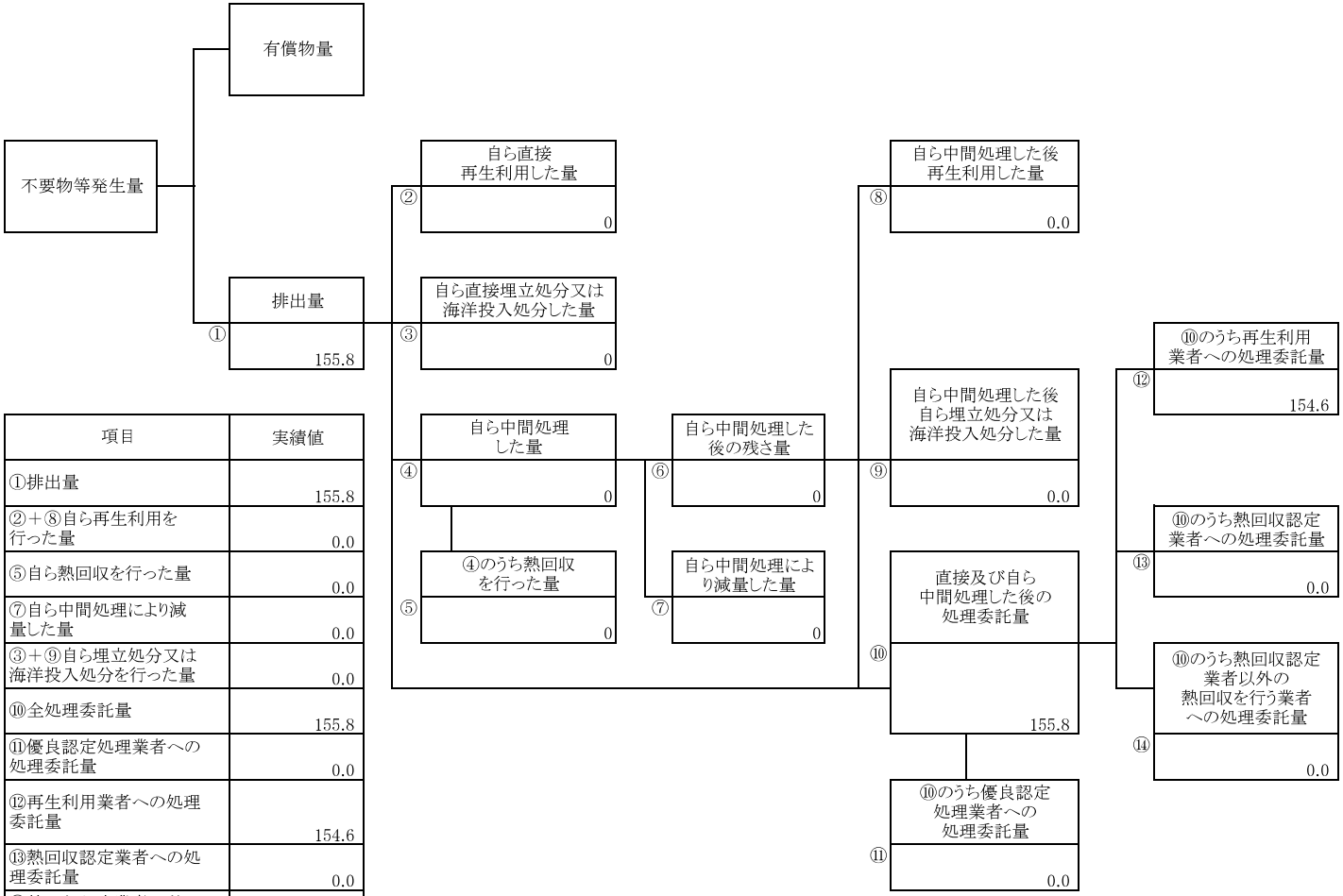
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	79.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	79.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	77.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

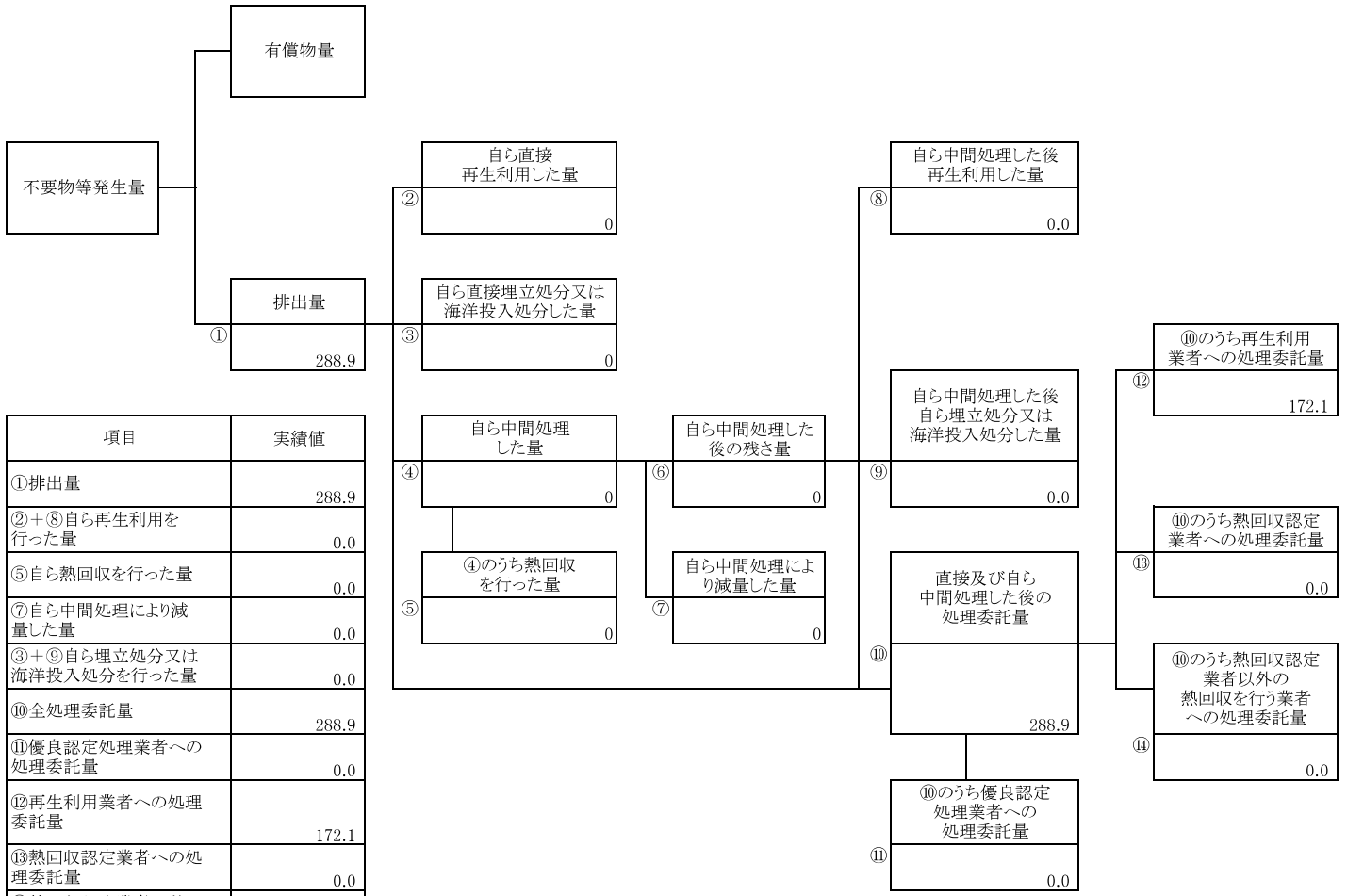
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	155.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	155.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	154.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

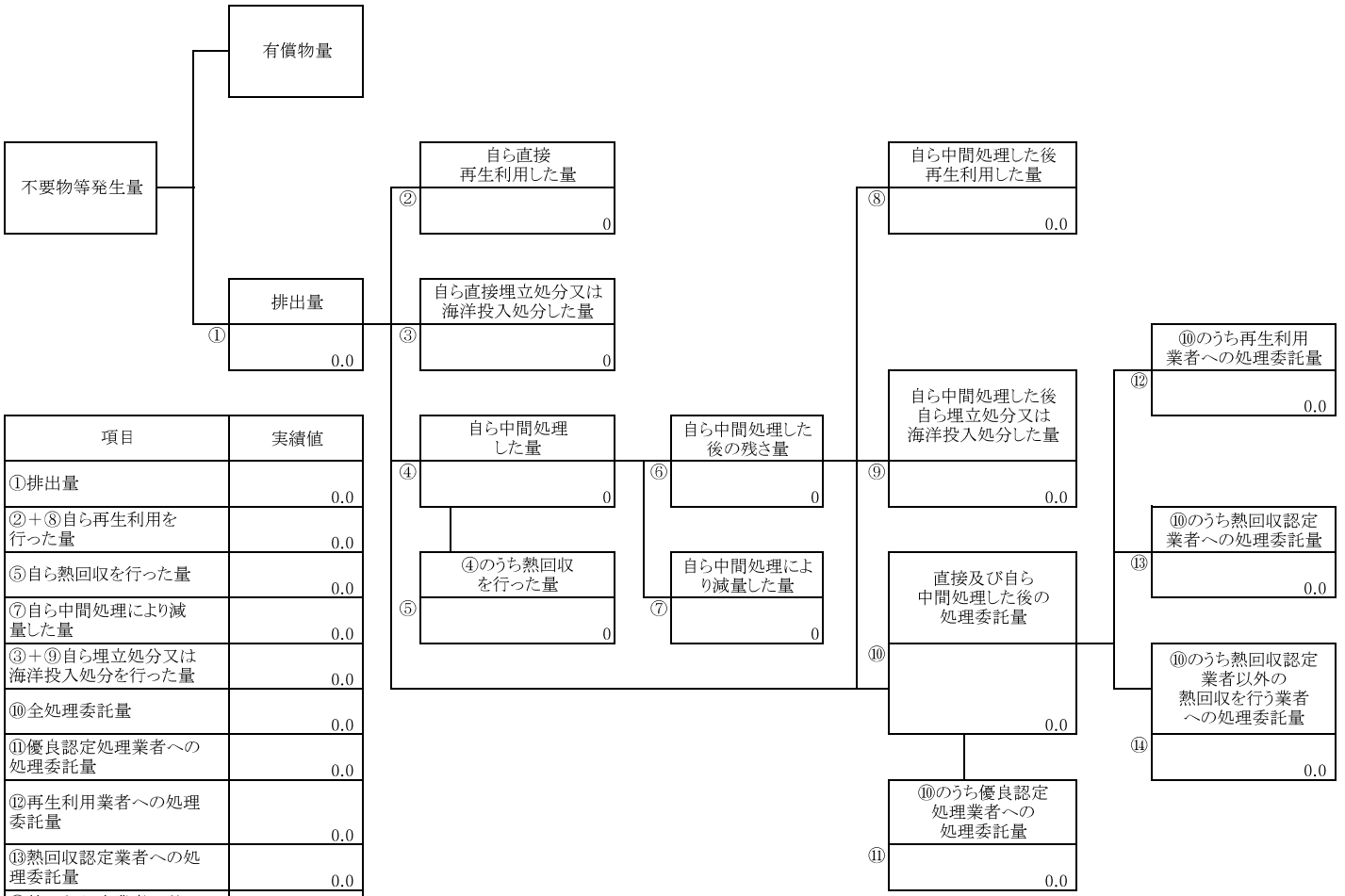
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：コンクリート破片　　）



項目	実績値
①排出量	288.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	288.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	172.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：アスファルト破片　　）

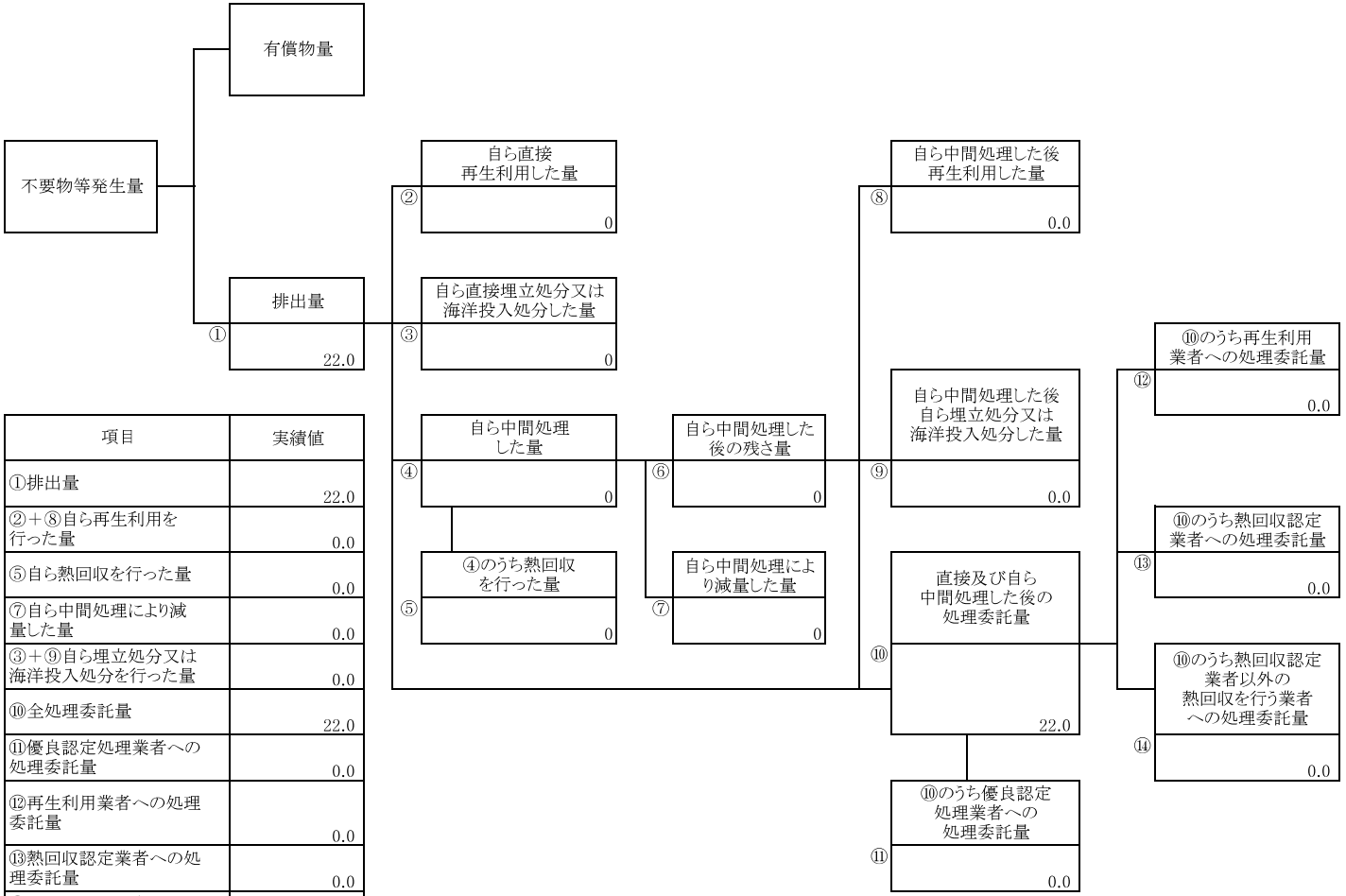


項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：【石綿含有】ガラスくず、陶磁器くず　　）

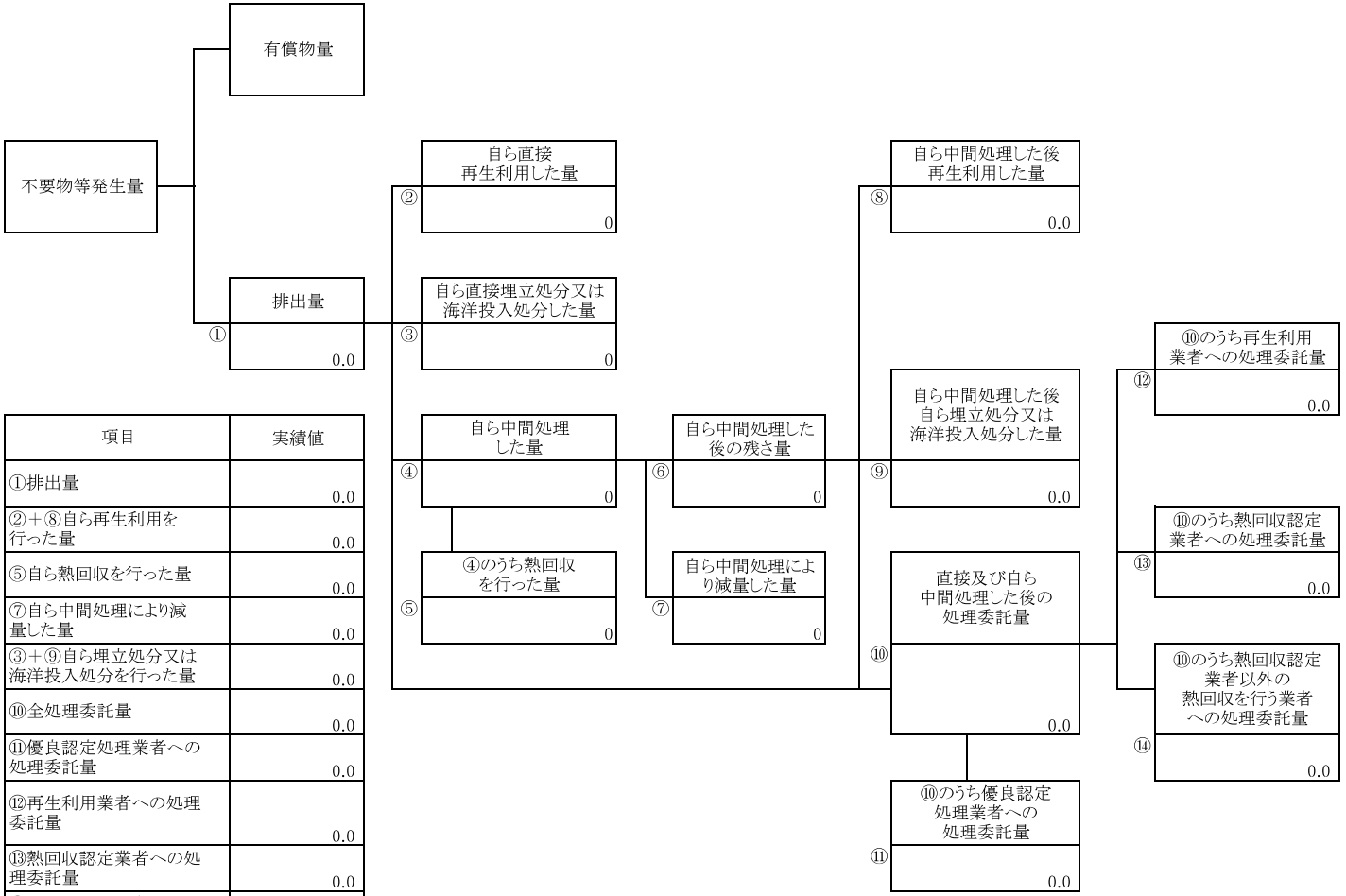


項目	実績値
①排出量	22.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	22.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

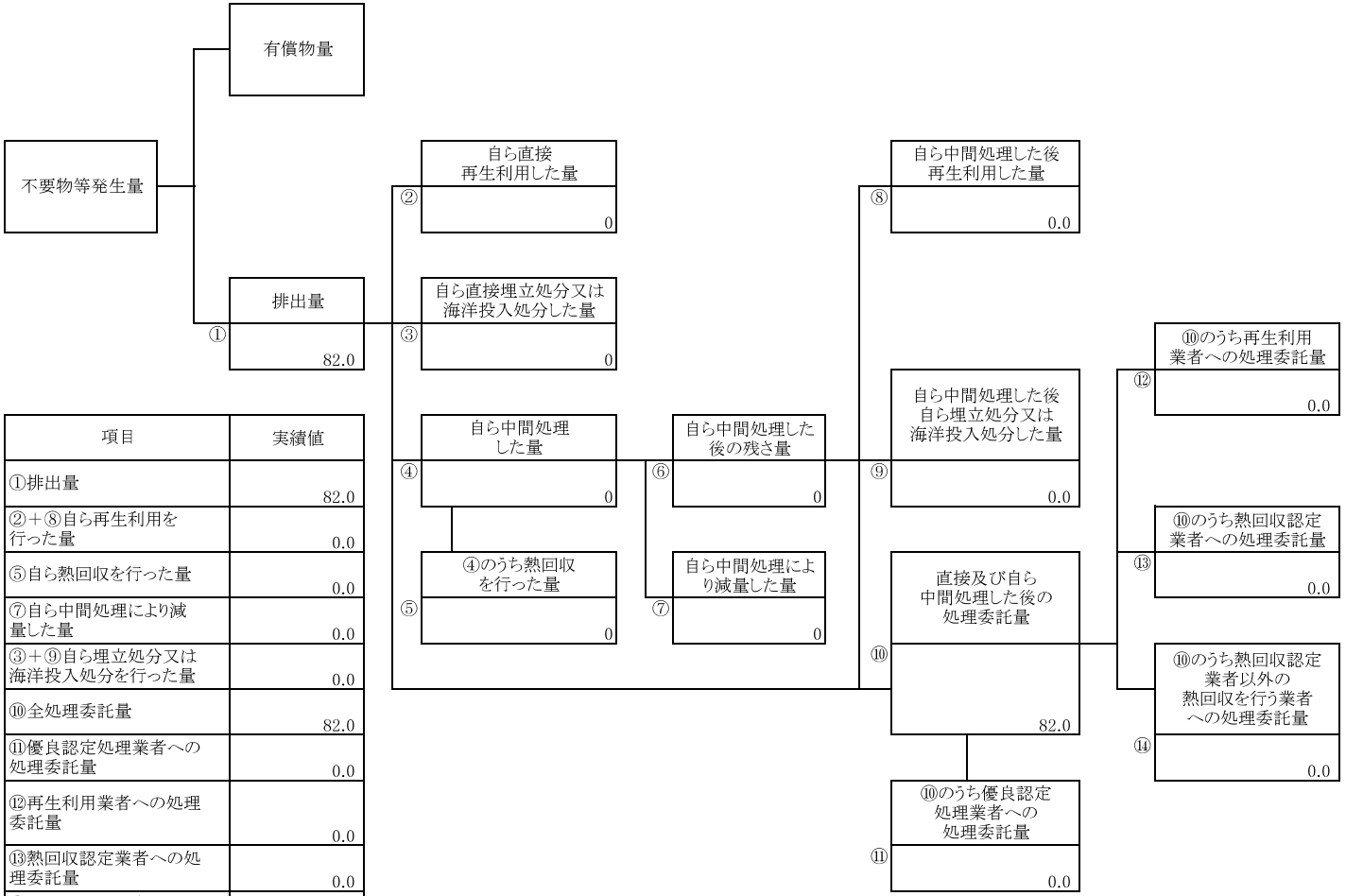
（産業廃棄物の種類：【石綿含有】廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

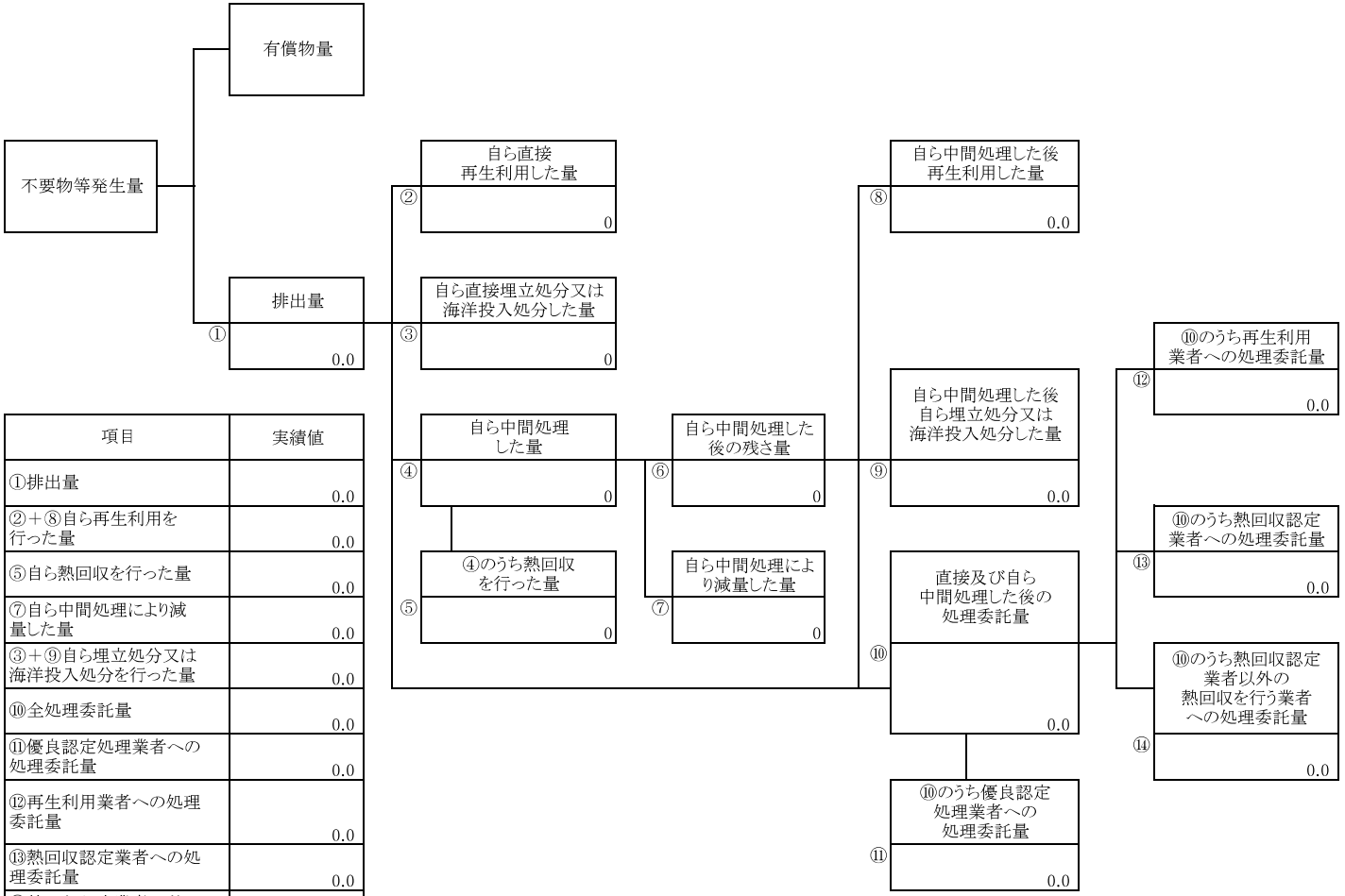
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	82.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	82.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

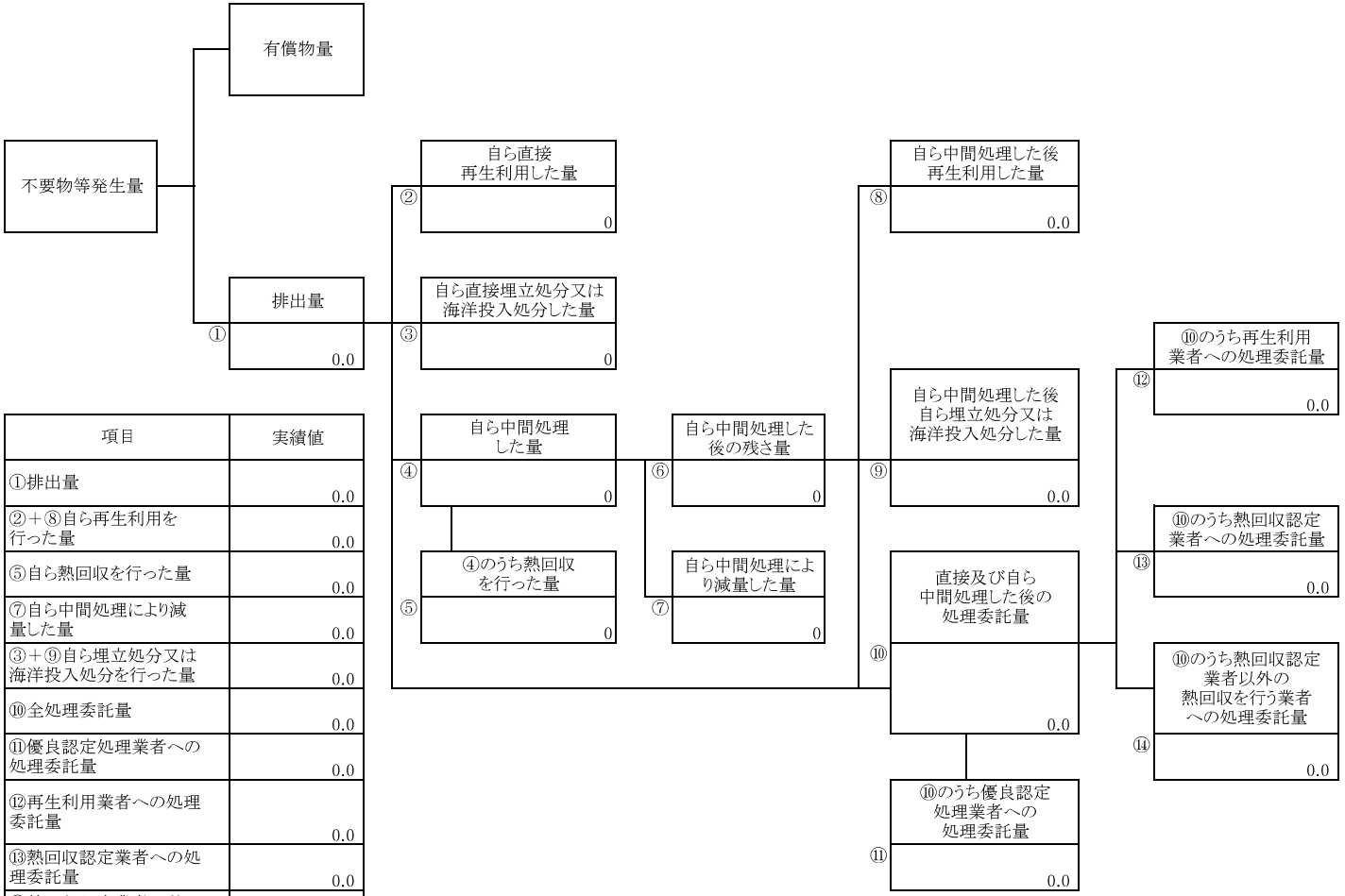
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

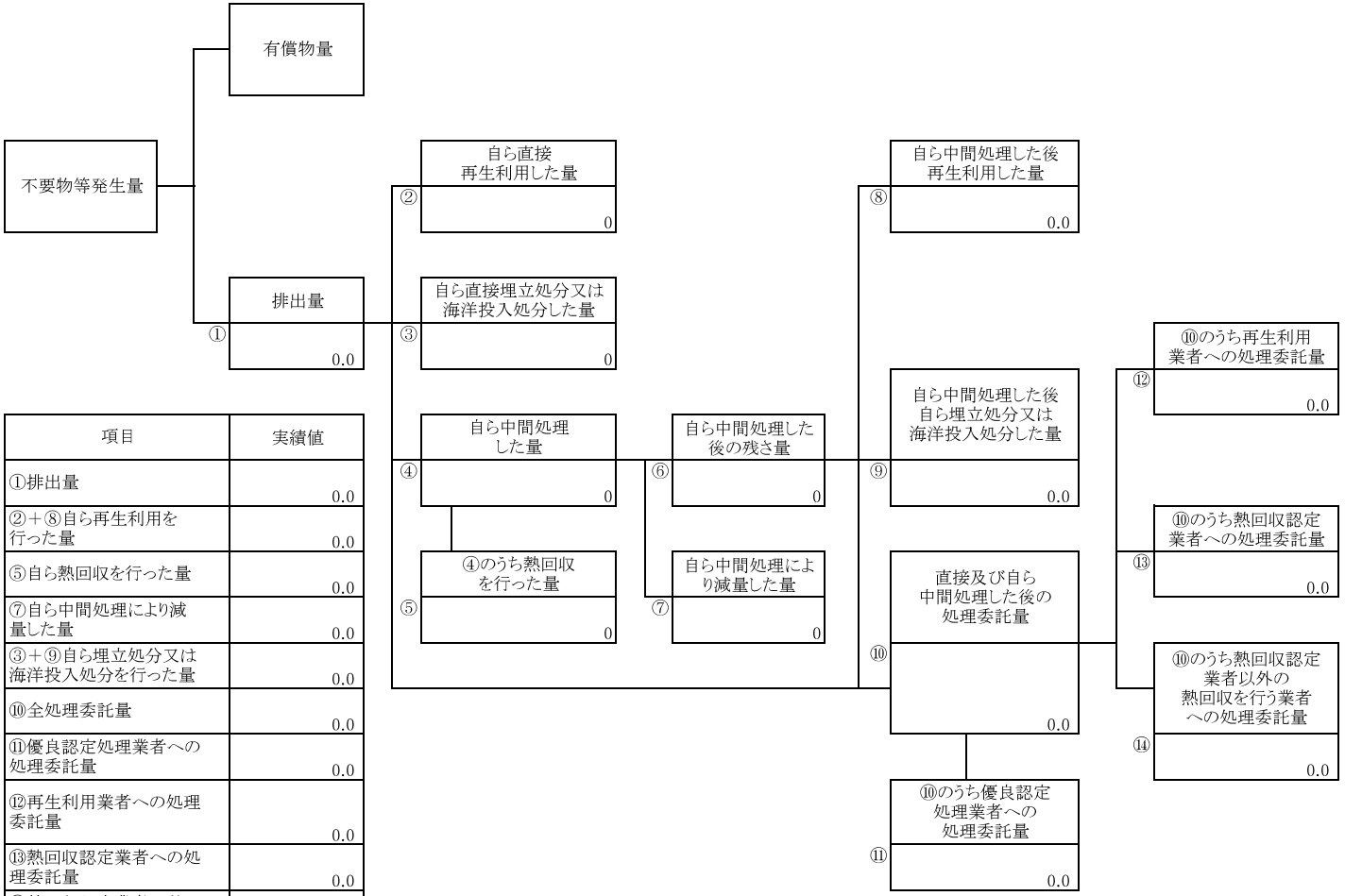
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合(安定型)　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合（管理型）　　）

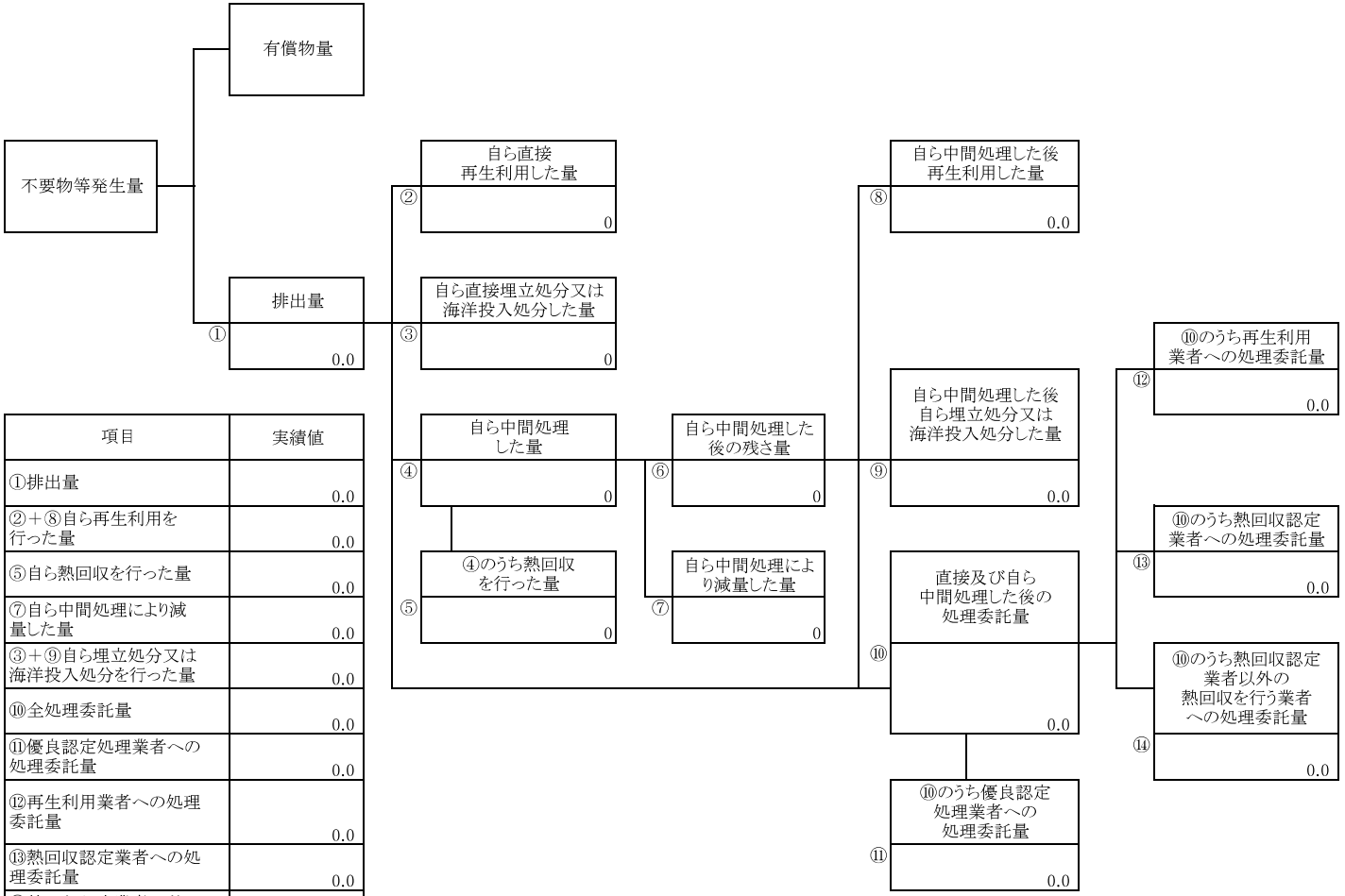


項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

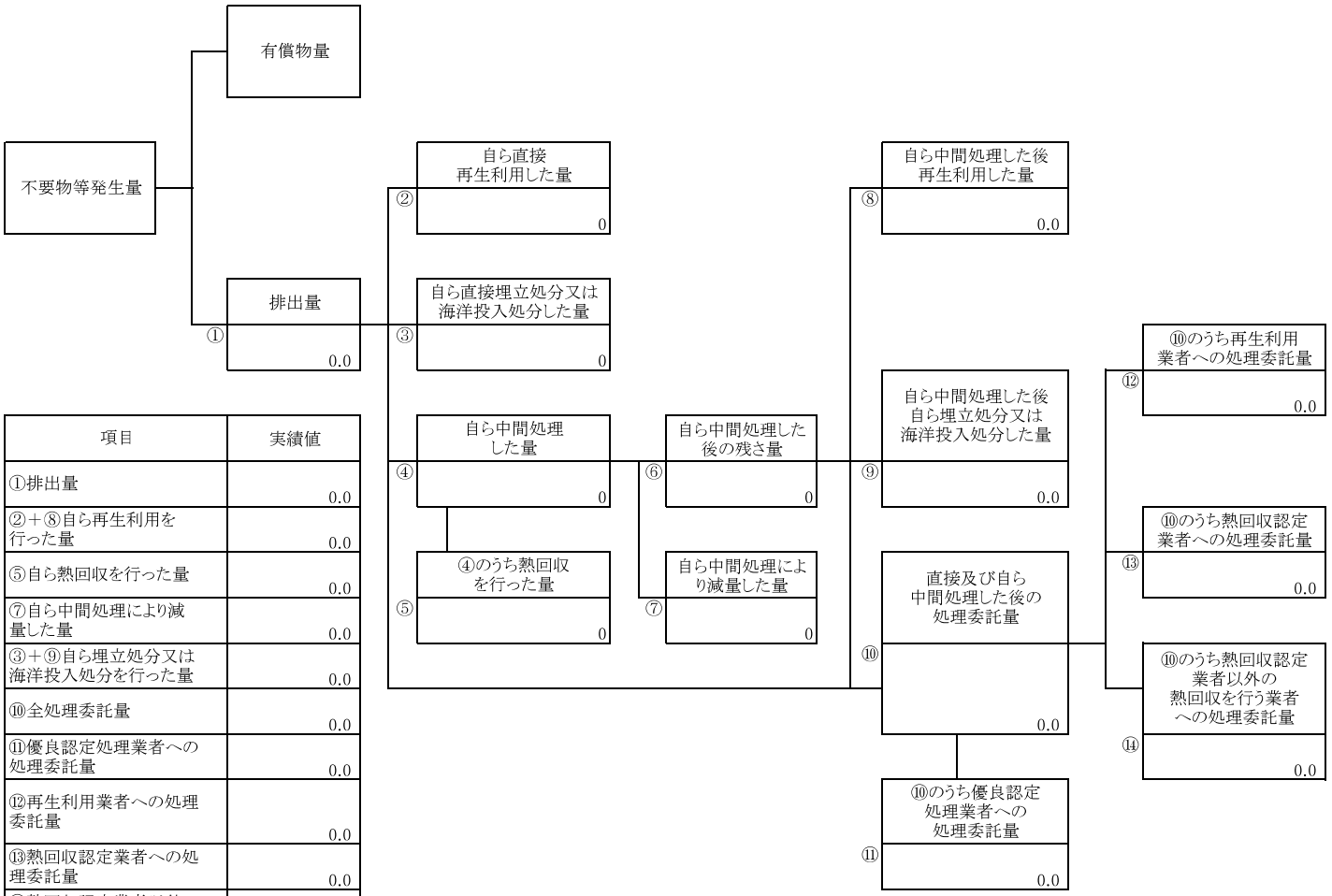
（産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃石綿　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況内訳

整 理 番 号 ：

（単位:トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
汚泥										
	小計	642.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック										
	小計	240.9	320.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	320.3
紙くず										
	小計	12.7	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
木くず										
	小計	503.9	1,484.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,484.6
繊維くず										
	小計	2.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
金属くず										
	小計	127.7	26.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.8
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	257.7	146.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	146.4
石膏ボード										
	小計	92.8	79.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.8
がれき類										
	小計	396.0	155.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	155.8
コンクリート破片										
	小計	814.3	288.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	288.9
アスファルト・コンクリート破片										
	小計	42.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	7.7	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0

（単位:トン）

廃棄物の種類		発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
項目	詳細									
【石綿含有】廃プラスチック										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【石綿含有】がれき類										
	小計	46.8	82.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.0
【石綿含有】紙くず										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合（安定型）										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合（管理型）										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃石綿										
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合　　計		3,188.6	2,612.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,612.5

産業廃棄物適正処理報告書

産業廃棄物の減量及び適正な処理を図るために千葉支店で講じている取組について、次のとおり報告します。

1　事業場における事業の概要

ホームページURL	http://www.kentaku.co.jp/		
資本金又は資本金	29,060		百万円
全社員数	8,172名　（2024年3月末現在）		名
千葉支店社員数	126		名
千葉支店完工高	15,062		百万円
千葉支店事業内容	①アパート、マンション、貸店舗、貸工場、貸倉庫、及び貸事務所等の建設業務 ②入居者斡旋等の不動産仲介業務、及び建物管理、並びに賃貸借契約管理等の不動産管理業務		
千葉支店事業展望	賃貸住宅の分野でのシェア拡大		
記入者所属	大東建託株式会社　千葉支店　工事課		
記入者	部　長　若狭　誠	電話番号	043-202-1002

2　事業場における産業廃棄物処理の概要

産業廃棄物※1の分別品目と処理の方法	
分別品目	処理の方法
コンクリートがら	発生現場から分別作業を経て中間処理（破砕）へ排出し、再生利用を行っている。
アスファルトがら	発生現場から分別作業を経て中間処理（破砕）へ排出し、道路材等に再生利用を行っている。
がれき類	発生現場から分別作業を経て中間処理（破砕）へ排出し再生利用を行っている。
ガラス･陶磁器くず	埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、再生利用及び埋立処分を行っている。
廃プラスチック類	埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、再生利用及び埋立処分を行っている。
金属くず	埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、再生利用及び埋立処分を行っている。
建設汚泥	脱水による中間処理後埋立処分されている。
紙くず	中間処理（破砕）後、再生古紙化し有償譲渡・再生利用を行っている。
木くず	新築工事・解体工事共に中間処理（破砕）へ排出し、チップ及びオガ粉化し有償譲渡・サーマル再生利用を行っている。
繊維くず	中間処理施設にて選別破砕処理後、再中間処理施設にて焼却処理、管理型埋立処理を行っている。
廃石膏ボード	新築工事・解体工事共に中間処理（破砕）へ搬出し、紙及び廃石膏に分ける。紙は、畜舎の敷材。廃石膏は、処分会社の処分場の覆土材として再生利用を行っている。広域再生利用も促進。
混合	混合廃棄物廃棄物は、埋立前に展開作業を行い埋立不可能物、再生利用物、有価物とに分け、埋立処分を行っている。

（日本工業規格Ａ列４番）

3　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る管理体制に関する事項

(1)　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る経営上の方針

別紙：１，２による。

(2)　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る総括的な責任を担う組織の設置及び取組の状況

①　総括的な責任を担う組織（以下「総括的組織」という。）の名称

大東建託株式会社　安全品質管理部　環境指導課

②　総括的組織が取り組んでいる事項

ア　社内における産業廃棄物の管理体制

■ 経営者層を含めた、産業廃棄物の減量及び適正処理に関する委員会等を設置している。

■ 産業廃棄物処理※2の委託先の選定・契約に関与する組織の間で、産業廃棄物処理について必要な情報を共有している。

■ 産業廃棄物処理の履行状況の確認に電子マニフェスト※3を導入している。

□ 産業廃棄物処理の履行状況の確認にＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用した産業廃棄物の追跡システムを導入している。

■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する手順書を策定している。

＜策定している手順書に含まれている内容＞

■ 適正な処理委託契約を行うための手順

■ 適正な分別や保管の手順

■ 紙マニフェスト※4及び電子マニフェスト（以下「マニフェスト等」という。）の運用を適正に行うための手順

□ 処理施設を設置している場合、施設での適正な処理を行うための手順

□ その他　（　　）

■ 事故発生時の連絡対応の体制を構築している。

■ 産業廃棄物の適正処理に係る内部監査の実施体制を構築している。

■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する情報を外部発信するための体制を構築している。

■ 下請事業者等の関連事業者を含めた、減量及び適正処理確保のための体制を構築している。

□ 事業者自らが産業廃棄物の処理を行う施設を管理運営するための体制を構築している。

□ その他　（　　）

イ　産業廃棄物の減量及び適正処理に関する社内のコミュニケーション

■ 各事業場の産業廃棄物の排出状況、分別状況、保管状況、処理実績を把握している。

■ 各事業場の産業廃棄物の処理に関する委託契約の締結状況を把握している。

■ 各事業場から排出される産業廃棄物の委託処理に関するマニフェスト等の運用状況を把握している。

＜把握している内容＞

■ 紙マニフェストの交付状況及び電子マニフェストの登録状況

■ 処理業者からの紙マニフェスト（写）の送付状況

■ マニフェスト等の確認による、各事業場の委託処理の履行状況

（日本工業規格Ａ列４番）

■ 竣工後の紙マニフェスト（写）の保存状況
■ その他　（　　）
■ 各事業場の産業廃棄物の委託処理に関する料金の支払状況を把握している。
■ 従業者の教育訓練を実施している。
■ 産業廃棄物の減量や適正な処理に関する計画やルールを各事業場に伝達している。
■ 産業廃棄物の適正処理に係る監査の指摘事項に関する改善を指示している。
□ その他　（　　）

(3)　産業廃棄物管理責任者の役職及び役割

①　産業廃棄物管理責任者の役職名

大東建託株式会社　千葉支店　部　長

②　産業廃棄物管理責任者が取り組んでいる事項

■ 事業場の産業廃棄物排出状況・処理状況の実績を把握している。
■ 事業場の産業廃棄物処理に関する委託契約の締結状況を把握している。
■ 事業場から排出される産業廃棄物の委託処理に関するマニフェスト等の運用状況を把握している。
＜把握している内容＞
■ 紙マニフェストの交付状況及び電子マニフェストの登録状況
■ 処理業者からの紙マニフェスト（写）の送付状況
■ マニフェスト等の確認による、委託処理の履行状況
■ 紙マニフェスト（写）の保存状況
□ その他　（　　）
■ 事業場の産業廃棄物の委託処理に関する料金の支払状況を把握している。
■ 事業場の産業廃棄物の減量及び適正処理に関する手順書を策定している。
＜策定している手順書に含まれている内容＞
■ 適正な処理委託契約を行うための手順
■ 適正な分別や保管の手順
■ マニフェスト等の運用を適正に行うための手順
□ 自ら処理を行うための施設を設置している場合、施設での適正な処理の手順
□ その他　（　　）
■ 事業場の従業者の教育訓練を実施している。
■ 産業廃棄物の減量や適正な処理に関する計画やルールを事業場に伝達している。
■ 産業廃棄物の適正処理に係る監査の指摘事項に関する改善を指示している。
□ その他　（　　）

(4)　従業者の教育訓練の実施状況

①　全従業者を対象とした研修の内容

■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する経営上の方針について
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する計画や目標について
■ 産業廃棄物の適正な分別、保管の徹底について
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関する各従業者の役割について
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に関するルールについて
■ 廃棄物関係法令の概要について
■ 外部機関が行う、産業廃棄物の減量及び適正処理に関する研修を受講
□ その他　（　　）

＜従業者の研修受講頻度：年１回程度　＞

②　産業廃棄物管理責任者を対象とした研修の内容

■ 廃棄物関係法令について
■ 各事業場の特性に応じた分別の方法について
■ 事業場の従業者の教育について

（日本工業規格Ａ列４番）

■ 優れた取組を行っている他事業場の排出現場の視察や取組事例の紹介
■ 処理委託先の施設の視察を行い、その処理に見合った分別を再確認
■ 外部機関が行う、産業廃棄物の減量及び適正処理に関する研修を受講
□ その他　（　　）

＜産業廃棄物管理責任者の研修受講頻度：　　＞

③　教育訓練用テキストの作成状況
■ 社外で作成されたテキストを活用している。
■ 全従業者を対象とした教育訓練用のテキストを作成している。
■ 産業廃棄物管理責任者を対象とした教育訓練用のテキストを作成している。
□ その他　（　　）

④　教育訓練の効果促進に向けた取組
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る取組に関して提案募集制度を導入している。
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る取組事例の発表会を開催している。
■ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る優れた取組に対して、社内表彰制度を導入している。

□ その他　（　　）

(5)　産業廃棄物処理に係る監査の実施状況
①　産業廃棄物処理に関する内部監査の監査項目
■ 処理委託契約書の内容に関する事項
■ マニフェスト等の運用に関する事項
■ 産業廃棄物の分別状況
■ 産業廃棄物の保管状況
□ 産業廃棄物の減量や適正な処理に関する計画等の達成状況
□ 自ら処理を行う場合の処理状況
□ その他　（　　）

＜内部監査の実施頻度 年１回程度　　＞

②　産業廃棄物処理に関する外部監査の頻度　　（頻度：　　）

4　関連事業者に対する産業廃棄物の減量及び適正な処理の普及、支援等の取組
①　子会社を含めた取組
□ 子会社を有していない。
■ 産業廃棄物の適正な処理に関する情報を共有している。
■ 子会社も含めた研修や勉強会を実施している。　（頻度：　年１回程度　）
□ その他　（　　）

②　下請事業者を含めた取組
□ 工事に下請事業者が入ることは無い。
■ 当該工事の下請事業者に産業廃棄物処理を委託する場合、工事契約とは別に処理委託契約を締結している。
■ 当該工事の下請事業者に産業廃棄物処理を委託する場合、産業廃棄物の処理費用は工事費とは別に設定している。
■ 下請事業者のマニフェスト等の運用状況を確認している。
■ 産業廃棄物の適正な処理に関する情報を共有している。
■ 下請事業者も含めた研修や勉強会を実施している。　（頻度：　年１回程度　）
□ その他　（　　）

③　建設資材等の納入事業者を含めた取組
□ 納入事業者が入ることは無い。
■ 納入時の荷姿や梱包を簡素化している。
■ 納入事業者も含めた研修や勉強会を実施している。　（頻度：　年１回程度　）
□ その他　（　　）

（日本工業規格Ａ列４番）

5　産業廃棄物の減量及び適正な処理に係る情報の発信に係る取組

□ 産業廃棄物の減量及び適正処理に係る経営上の方針

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　■ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ 産業廃棄物の排出状況・処理状況

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　■ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ 資源化の実績

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ 再生資源の利用状況の実績

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ 自ら処理を行う場合の、処理施設から生じる環境汚染物質等の測定値

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ その他　（　　）

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ その他　（　　）

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

□ その他　（

＜公表方法＞

□ 現場での掲示　□ ホームページへの掲載　□ 環境報告書への掲載

□ その他　（　　）

6　処理を委託した産業廃棄物の適正な処理を確保するための取組

(1)　産業廃棄物の処理の委託先を選定するときに確認している事項

①　収集運搬業者を選定するときに確認している事項

■ 自社との過去の契約実績を確認している。

■ 複数の収集運搬業者の料金を比較している。

■ 許可証の内容を確認している。

＜確認内容＞

■ 許可の期限　■ 許可品目　■ 積込み場所と運搬先の許可の有無

■ 積替え保管の有無

□ その他　（　　）

■ 委託する産業廃棄物の品目の収集運搬実績を確認している。

□ 処理業者団体に照会している。

■ 収集運搬業者選定のためのチェックリストを作成して活用している。

（日本工業規格Ａ列４番）

■ 積替え保管を伴う場合には、積替え保管施設を現地確認している。
＜確認内容＞
■ 実際に保管されている産業廃棄物の種類
■ 保管量
■ 飛散や流出の防止対策
■ 廃棄物処理法で記載と備付けが義務付けられている帳簿の内容
□ その他　（　　）
□ 従業者の教育訓練の実施状況を確認している。
□ 車両事故等の緊急時における対応方法を確認している。
□ 財務状況を確認している。
■ 電子マニフェストの導入状況を確認している。
□ ＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用した産業廃棄物の追跡システムの導入状況を確認している。
□ その他　（　　）

② 処分※5業者を選定するときに確認している事項
■ 自社との過去の契約実績を確認している。
■ 複数の処分業者の料金を比較している。
■ 許可証の内容を確認している。
＜確認内容＞
■ 許可の期限　■ 許可品目　■ 処理方法　■ 処理能力
□ その他　（　　）
■ 委託する産業廃棄物の品目の処分方法や処分実績を確認している。
□ 処理業者団体に照会している。
■ 処分業者選定のためのチェックリストを作成して活用している。
□ 都内での処分を委託する場合は、都の報告・公表制度の内容を参考にしている。
＜参考にしている内容＞
□ 事業概要　□ 報告期間末の施設の現況　□ 処理の実績
□ その他　（　　）
■ 処分業者の施設を現地確認している。
＜確認内容＞
■ 処理されている産業廃棄物の品目　■ 処理方法
■ 処理前、処理後の産業廃棄物の保管量　■ 飛散や流出の防止対策
■ 廃棄物処理法で記載と備付けが義務付けられている帳簿の内容
□ その他　（　　）
■ 従業者の教育訓練の実施状況を確認している。
■ 中間処理を委託する場合、中間処理後の残さの処分先（最終処分場等）を現地で確認している。
＜確認内容＞
■ 搬入されている産業廃棄物の種類　■ 最終処分場の残存容量
■ 廃棄物処理法で記載と備付けが義務付けられている帳簿の内容
□ その他　（　　）
■ 危機管理体制を確認している。
■ 環境保全への取組状況を確認している。
□ 財務状況を確認している。
■ 電子マニフェストの導入状況を確認している。
□ ＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用した産業廃棄物の追跡システムの導入状況を確認している。
□ その他　（　　）

(2) 産業廃棄物の処理の過程において当該産業廃棄物に関して確認している事項
■ 収集運搬業者に引き渡す際に従業者が立ち会っている。
■ 収集運搬業者に引き渡す際に産業廃棄物の種類を再確認している。
■ 収集運搬業者に引き渡す際に産業廃棄物の数量を再確認している。
■ 収集運搬業者が使用する運搬車両の許可番号表示※6の有無を確認している。

□ ＧＰＳやＩＣタグ等のＩＴを活用して処理の履行状況を随時確認している。
■ すべてのマニフェスト等と契約書の内容を突合して、委託の履行状況を再確認している。
□ その他　（　　）

(3)　産業廃棄物処理に係る費用の支払方法
■ 収集運搬業者、処分業者に個別に支払っている。
＜支払時期＞
（収集運搬業者への支払時期）
□ 収集運搬業者に引き渡す時点　　■ 運搬の終了を確認後
□ 処分委託先での処分の終了を確認後　　□ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）
（処分業者への支払時期）
□ 処分委託先での処分の終了を確認後　　■ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）
□ 処分業者に一括して支払っている。
＜支払時期＞
□ 運搬の終了を確認後　　□ 委託処分先での処分の終了を確認後
□ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）
□ 収集運搬業者に一括して支払っている。
＜支払時期＞
□ 収集運搬業者に引き渡す時点　　□ 運搬の終了を確認後
□ 処分委託先での処分の終了を確認後　　□ 最終処分の終了を確認後
□ その他　（　　）

(4)　委託先が産業廃棄物の適正な処理を行い得る状態が維持されているか確認している事項
■ 許可内容の変更の有無を確認している。
（確認頻度　　）
■ 行政処分の状況を確認している。
（確認頻度　　）
■ 委託先と意見交換を実施している。
（確認頻度　　）
■ 委託先が都の報告・公表制度の対象となる事業者である場合には、公表内容を確認している。
（確認頻度　　）
■ 委託先の処分業者の施設を定期的に現地確認している。
（確認頻度　　）
■ 中間処理を委託している場合は、中間処理後の残さの処分先施設を定期的に現地確認している。
（確認頻度　　）
□ その他　（　　）
（確認頻度　　）

7　産業廃棄物の処理に伴う環境への負荷を低減するための取組
■ 排出抑制の目標を設定している。
□ 資源化目標を設定している。
□ 建設資材等の発注及び使用を計画的に行っている。
□ 再使用、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルの優先順位に配慮した処理方法を選択している。
□ 自ら設置する処理施設から生じる環境汚染物質等の定期的測定と改善を行っている。
□ ライフサイクルアセスメント（ＬＣＡ）手法を導入している。
□ その他　（　　）

（日本工業規格Ａ列４番）

８　産業廃棄物の再生状況

【資源化率（%）＝資源化量／発生量×１００】

■ 古紙	⇒	資源化率（　99% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ 石膏ボード	⇒	資源化率（　97% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ 木くず	⇒	資源化率（　99% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ 廃プラ	⇒	資源化率（　98% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）
■ コンクリがら	⇒	資源化率（　60% ）	資源化内容（１　事業場における産業廃棄物処理の概要による）

９　再生資源の利用状況

□ 溶融スラグ（直接利用）	■ コンクリート二次製品（溶融スラグを用いた物）	
■ 再生過熱アスファルト混合物（溶融スラグを用いた物）		□ エコセメント
□ 建設泥土から再生処理した処理土	□ 土工用水砕スラグ	■ 再生骨材
□ 再生過熱アスファルト混合物	□ 高炉スラグ骨材	□ フェロニッケルスラグ材
□ 銅スラグ材	□ 鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	□ 鉄鋼スラグ混入路盤材
□ 高炉セメント	□ フライアッシュセメント	■ パーティクルボード
■ 再生木質ボード		

□ その他　（　　）
（　　）
（　　）

１０　その他の取組

別紙１，２による

※１　廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）第２条第４項に規定する産業廃棄物及び同第２条第５項に規定する特別管理産業廃棄物を指す。

※２　収集運搬、中間処理、最終処分を指す。

※３　廃棄物処理法第12条の５に規定する、電子情報処理組織を使用して産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の運搬及び処分が終了した旨を情報処理センターに報告する仕組みを指す。

※４　廃棄物処理法第12条の３第１項に規定する産業廃棄物管理票を指す。本様式においては「紙マニフェスト」という。

※５　中間処理、最終処分を指す。

※６　廃棄物処理法施行令第６条第１項第１号イ及び同第６条の５第１項第１号に規定する表示を指す。

（日本工業規格Ａ列４番）

（別紙：１）

１．管理体制（廃棄物処理に関する管理組織等）

本社		大東建託株式会社　安全品質管理部　環境指導課
支店（責任者）		大東建託株式会社　　千葉　　支店 部　長
支店（担当者）		大東建託株式会社　　千葉　　支店 担当者　　14　人
役割	本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
	支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
	支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

２．管理方針

１）廃棄物処理

（１）法令の遵守等

●産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに、行政の環境施策に協力する。

（２）排出事業者の処理責任

●産業廃棄物の処理責任が自らにあることを十分に認識するとともに、廃棄物処理法や循環型社会形成推進基本法、建設リサイクル法等の関係法令に関する趣旨を作業員に対しても周知することにより、産業廃棄物に関する主体的取り組みを促進する。

●産業廃棄物の処理を処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から最終処分に至るまでマニフェストにより確認し、適正に管理する。（H18年10月より電子マニフェストにて運用）

●下請業者の廃棄物の排出は元請業者が排出事業者となることから、排出事業者として処理責任を果たす。

（３）目標の設定

●発生量の抑制、減量化、循環利用の推進、最終処分量の削減について、数値目標及びその達成期間を定め実施する。

●これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。

（日本工業規格Ａ列４番）

（４）廃棄物処理の取り組み

●廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また協力会社にも必要な指導を行う。

①：発生抑制（※１）

・設計及び施工段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を採用する。

②：循環利用（※２）（再使用（※３）、再生利用（※４）、熱回収（※５））

・現場内で資材を繰り返し利用する。

・廃棄物の分別を徹底し、再生利用を推進する。

・建設リサイクル法及びその基本方針に基づき分別解体を実施し、建設資材の再資源化を図ることにより埋立処分量の削減を図る。

③：その他

・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。

（※１）原材料等の効率的な利用等により、産業廃棄物の発生を抑制すること。

（※２）発生した産業廃棄物を再使用、再生利用及び熱回収すること。

（※３）発生した産業廃棄物のうち有用なものをそのまま使用したり、他の製品や部品として使用すること。

（※４）発生した産業廃棄物を中間処理して再生し、原材料として利用すること。

（※５）発生した産業廃棄物をそのまま燃焼し、熱エネルギーとして回収すること。

（５）教育・研修等

●発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、作業員等に定期的に教育、研修等を行う。

（６）情報公開

●廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生や処理状況について情報の公開に努める。

２）環境全般

『環境と調和』を重要な課題の一つとして捉え、環境の継続的な改善を推進する。

①環境関連の法令及び会社が定める規定等を遵守し、環境の改善に努める。

②当支店の環境に関連する対策として、次のことを推進する。

●環境汚染防止と資源の有効利用を目指し、産業廃棄物の削減と再生利用を推進する。

●建築にあたっては、主要資材や建築物が廃棄物になった場合の環境への影響に配慮する。

③環境、安全に関する啓発活動を積極的に行ない、各従業員の環境意識の高揚を図るとともに情報公開などにより地域住民の理解を深めるように努める。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月5日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　286-0811

住　所　千葉県成田市磯部５４１番地１

法人名　大徳産業株式会社

代表者　大徳 静夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-36-1514

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大徳産業株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市磯部５４１番地１（現場：成田市）
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　3億円
③従業員数	１１名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場～委託先運搬～中間処理施設(合材外の再資源化施設)

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
社長→マニフェスト担当者→各作業所→マニフェスト担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスコン殻	
排出量	299.29 t	t

（これまでに実施した取組）
分別を徹底して削減を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスコン殻	
排出量	1000 t	t

（今後実施する予定の取組）
今年以上に分別を徹底して削減に心掛ける。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスコン殻、コン殻、がれき類、目視による分別。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
アスコン殻、コン殻、がれき類、目視による確認。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスコン殻</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスコン殻</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスコン殻</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスコン殻</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	
	全処理委託量	299.29 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	299.29 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用業者に委託して出している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスコン殻	
		全 処 理 委 託 量	1000 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	1000 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 今後も再生利用業者に委託する。		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　286-0811

住所 千葉県成田市磯部541番地1

法人名 大徳産業株式会社

代表者 大徳 静夫

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0476-36-1514

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大徳産業株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市磯部541番地1
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1500 t	全処理委託量	1500 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

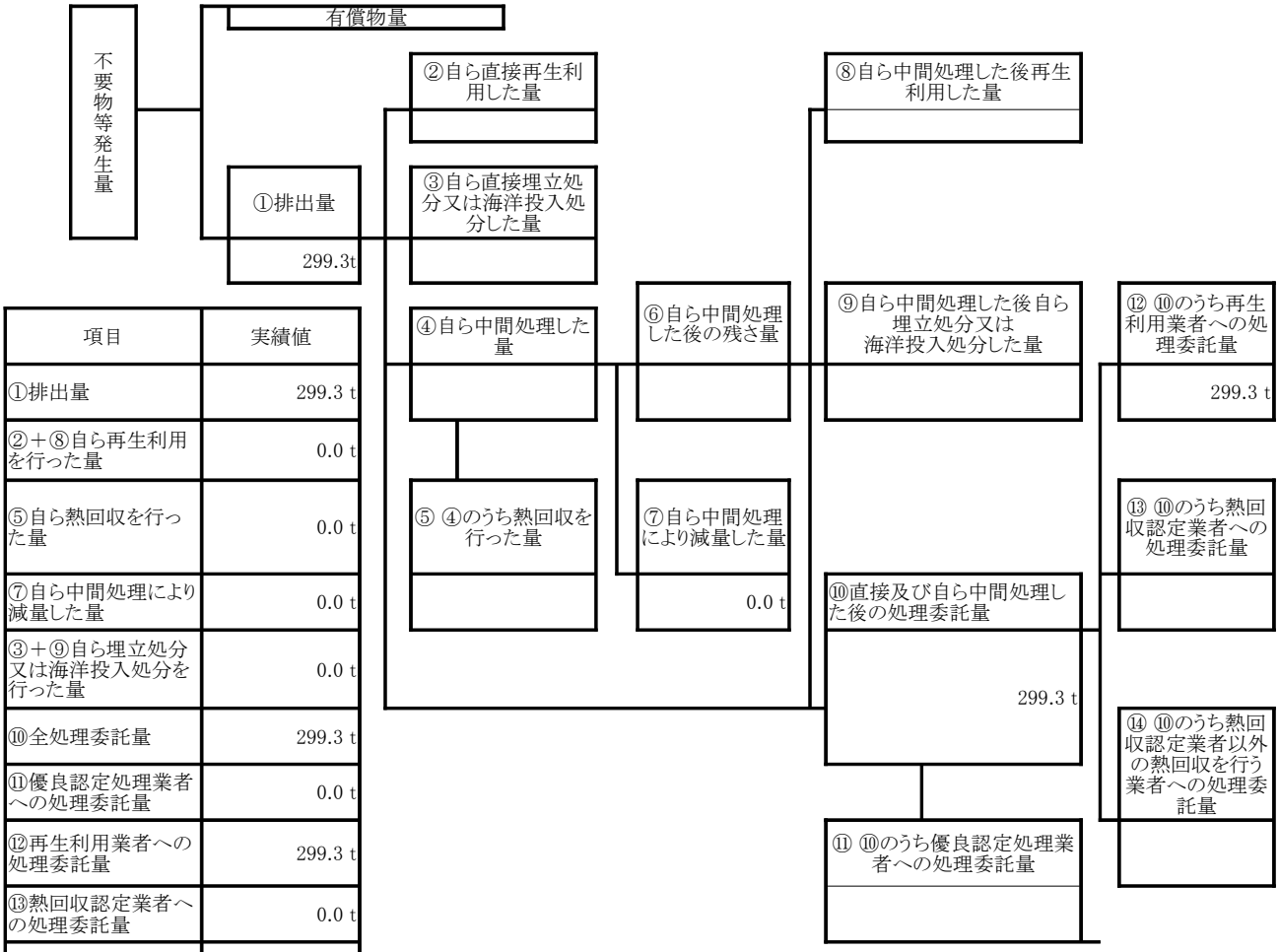
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスコン殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



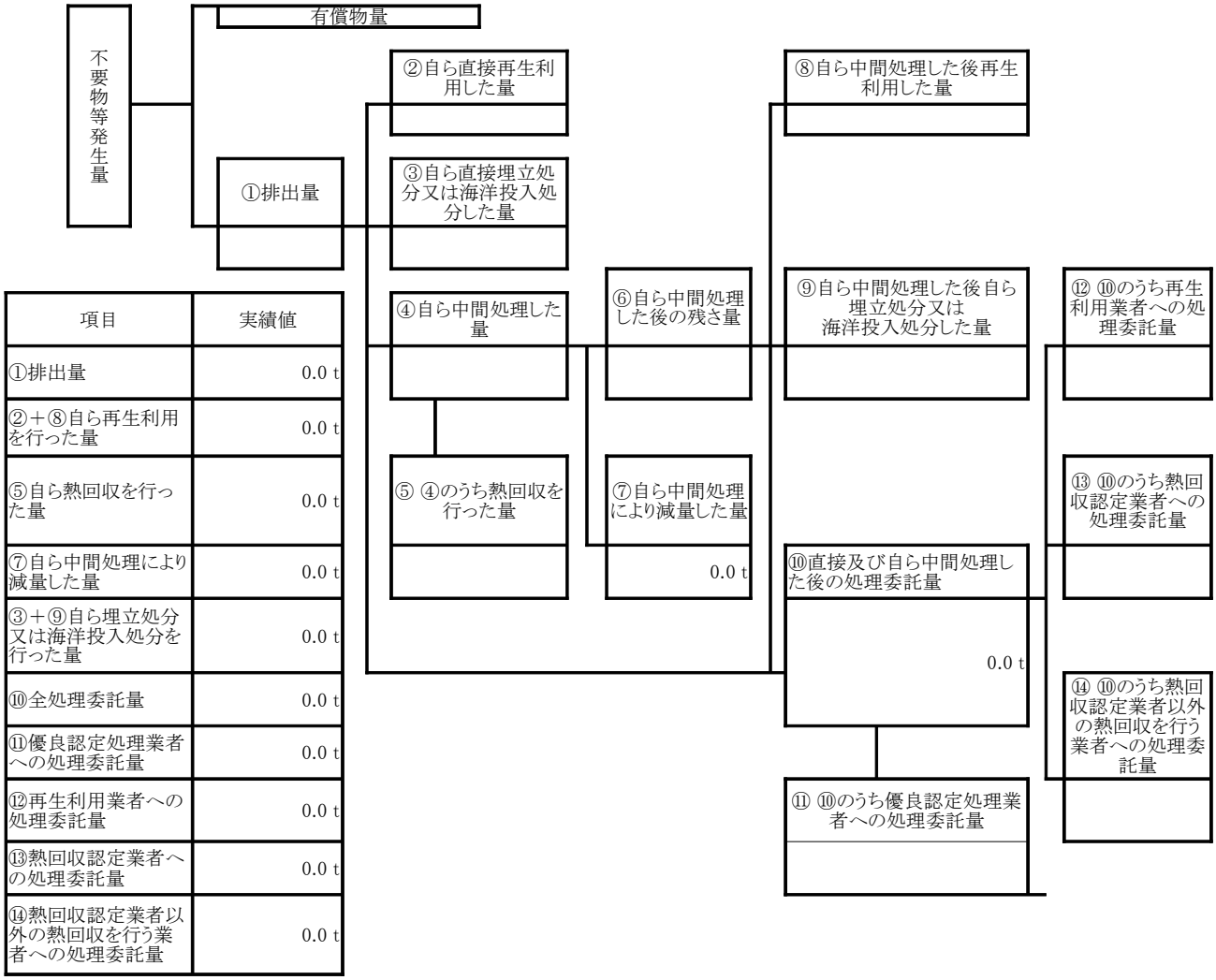
項目	実績値
①排出量	299.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	299.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	299.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



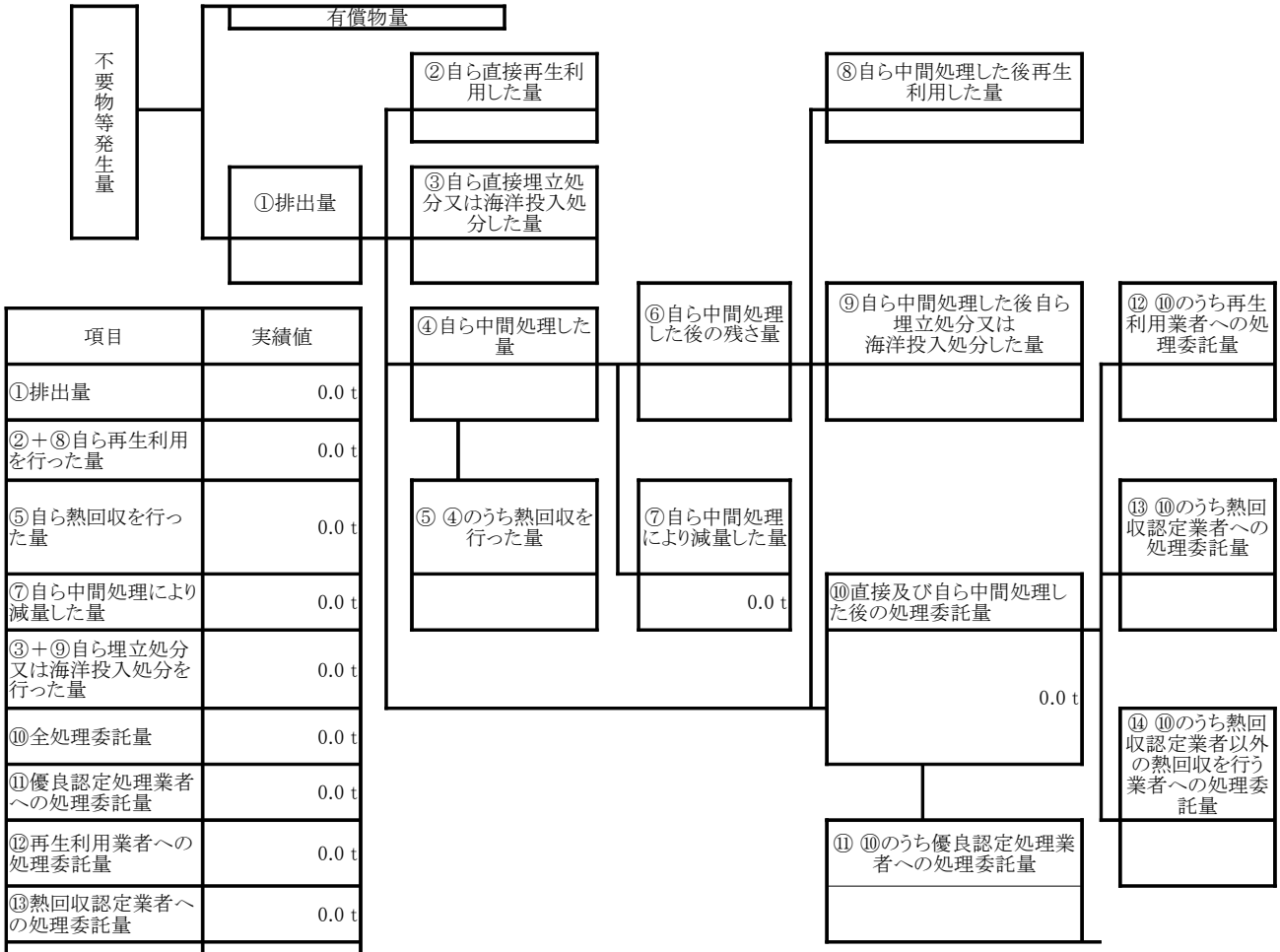
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

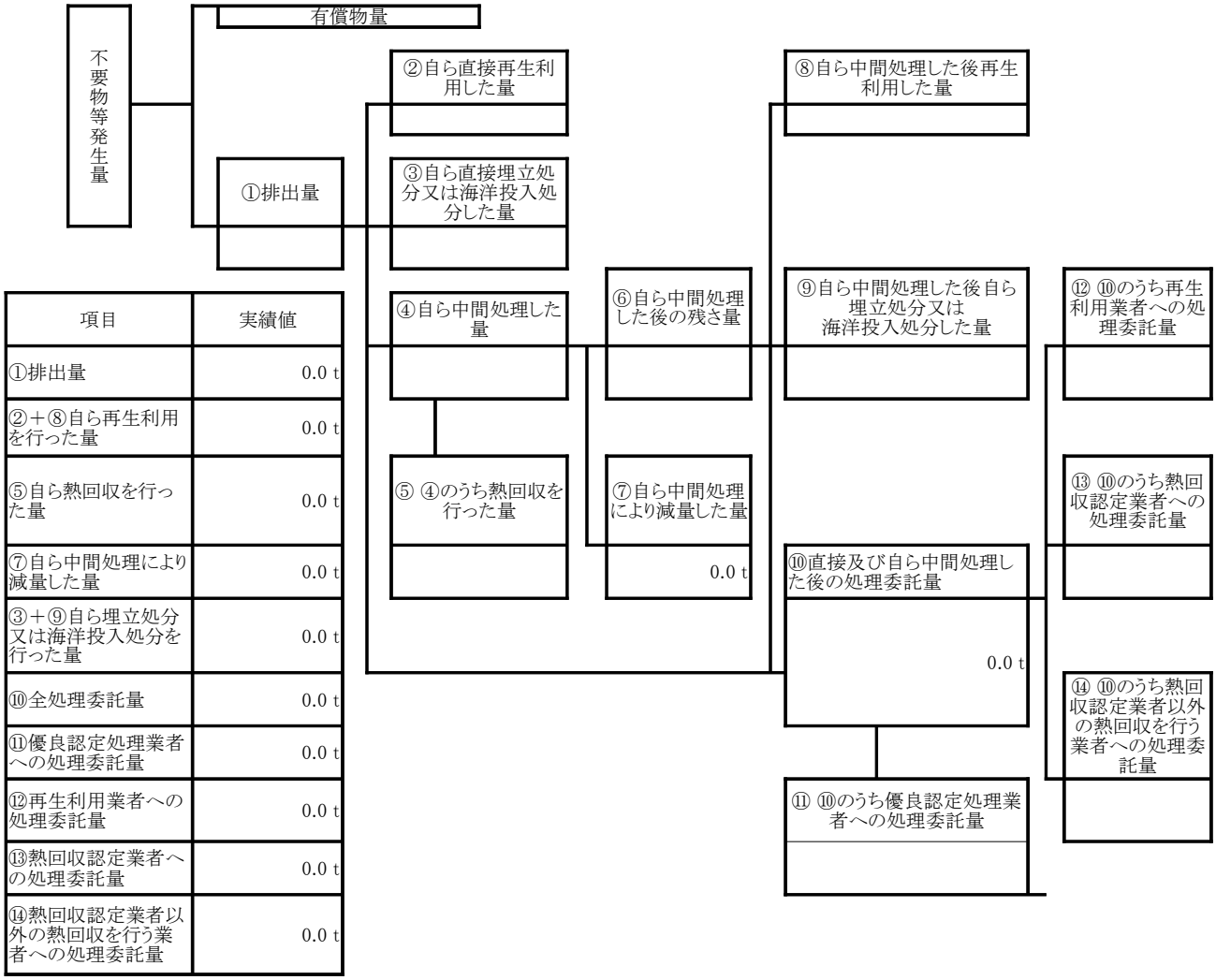


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



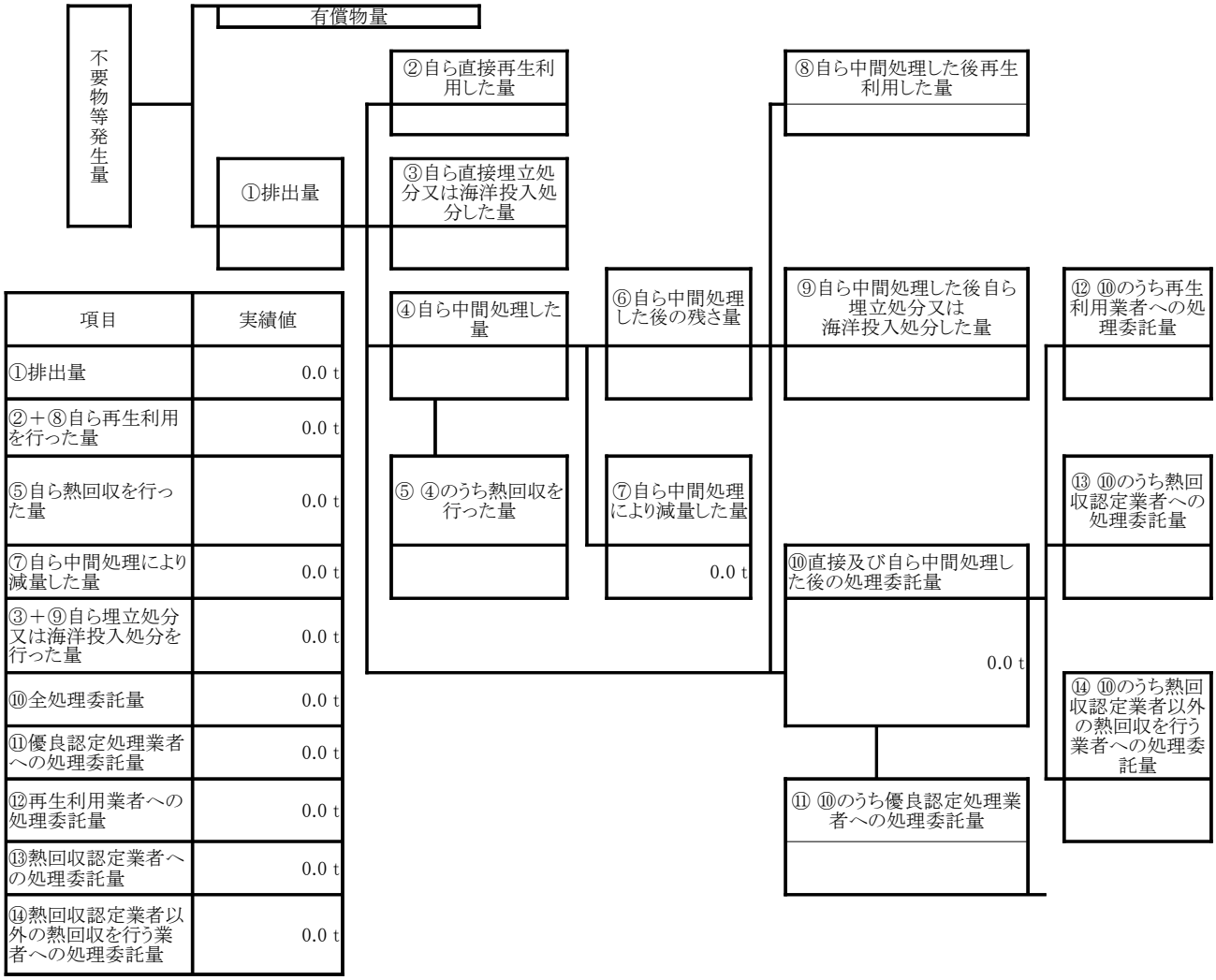
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

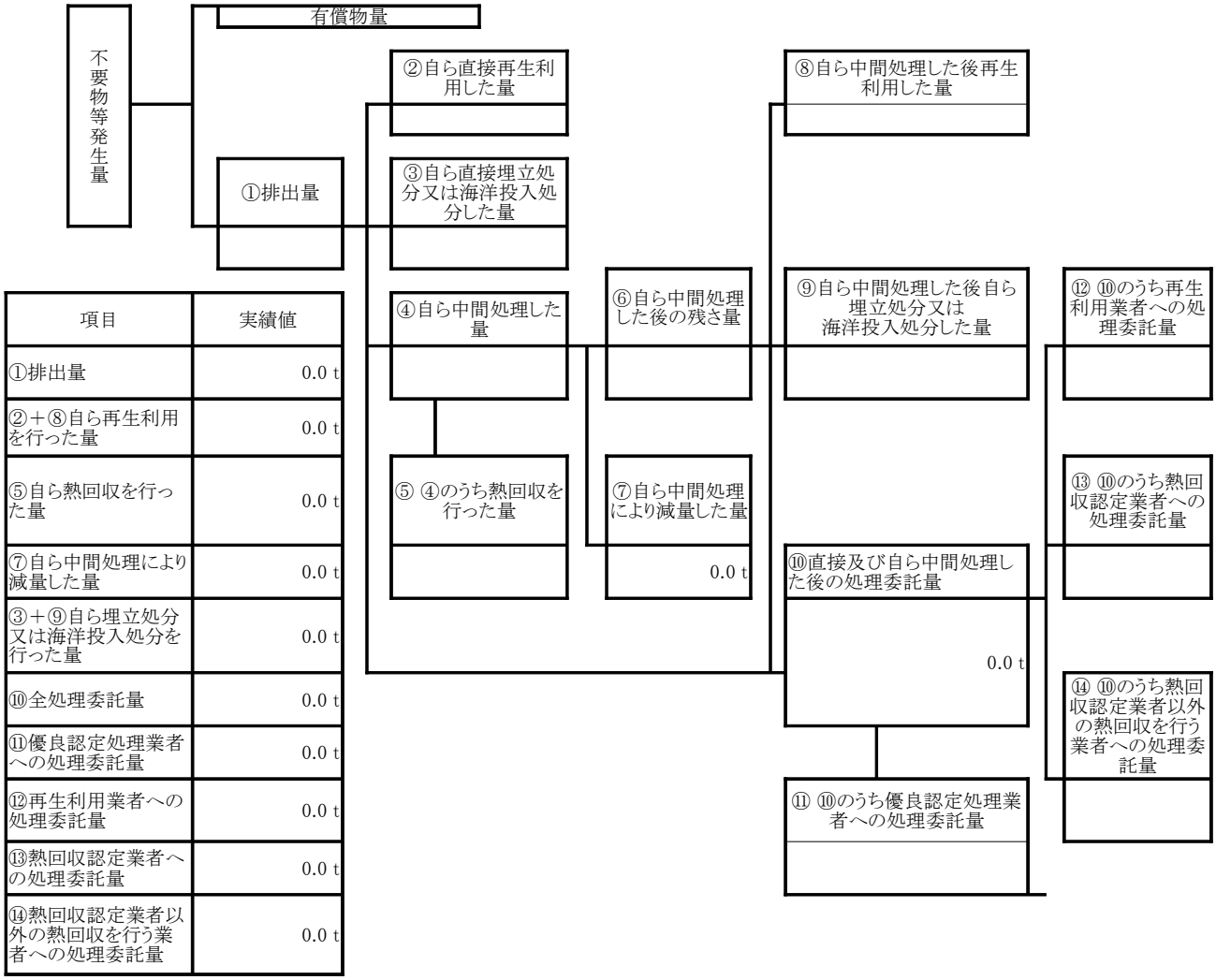


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



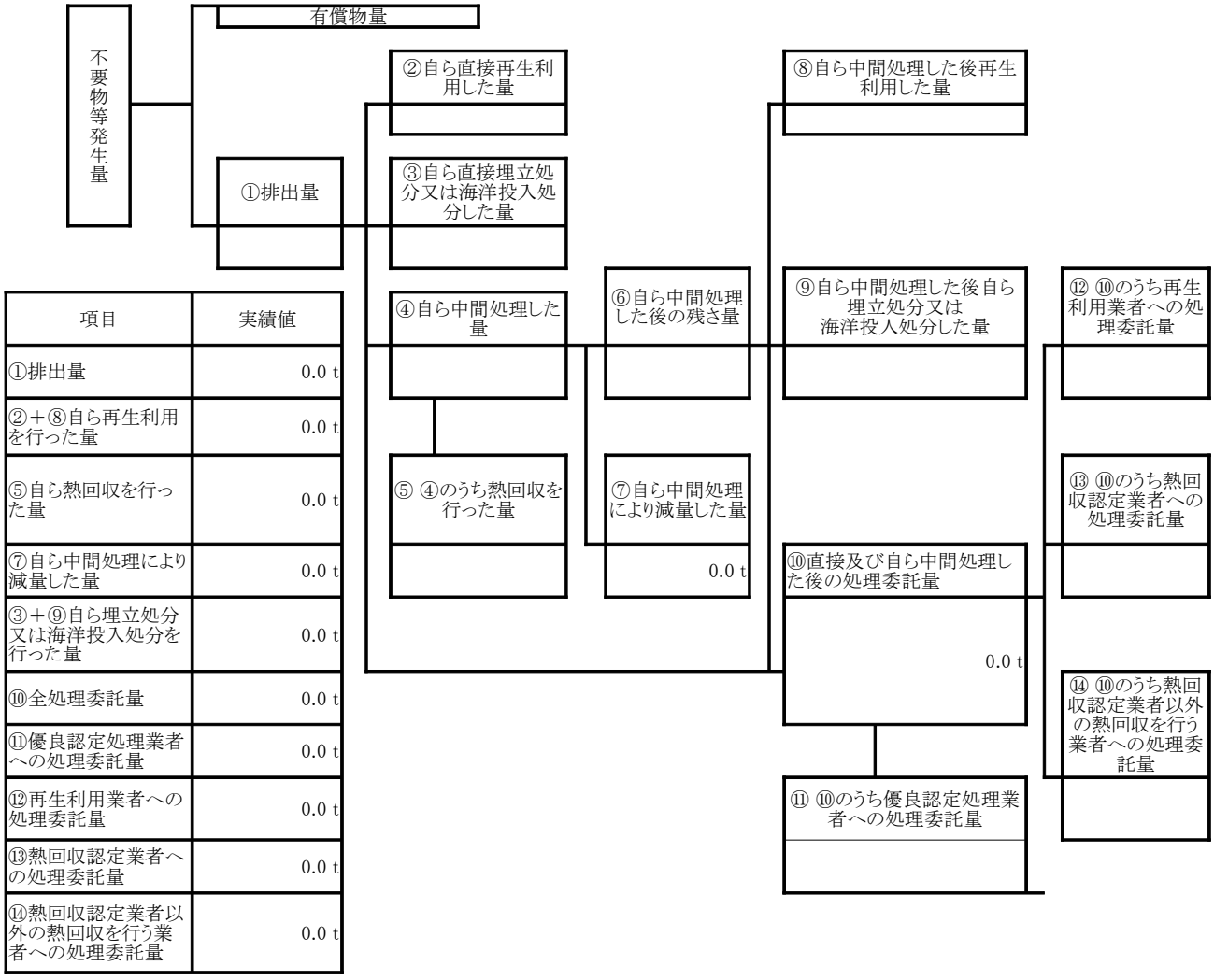
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



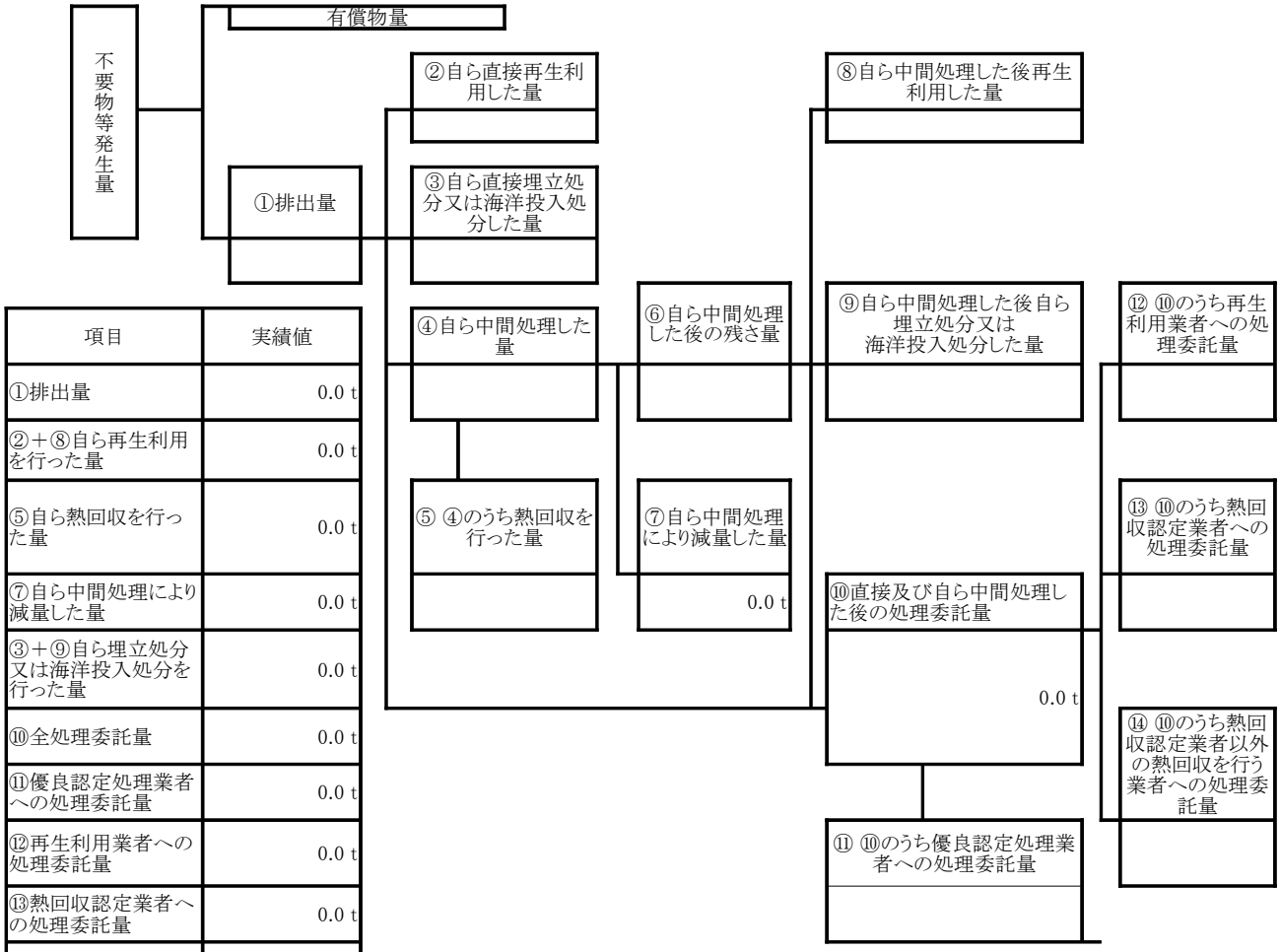
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

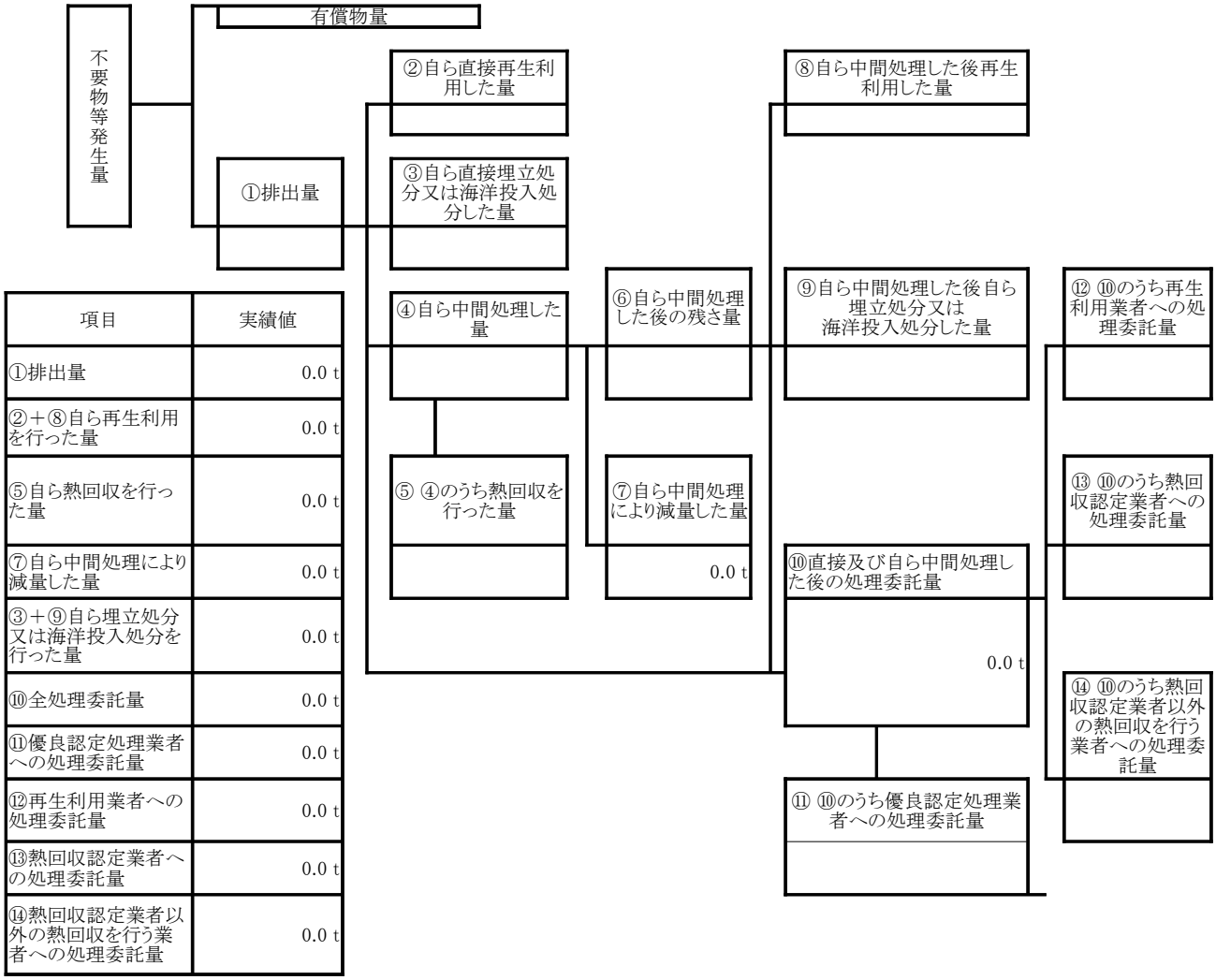


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

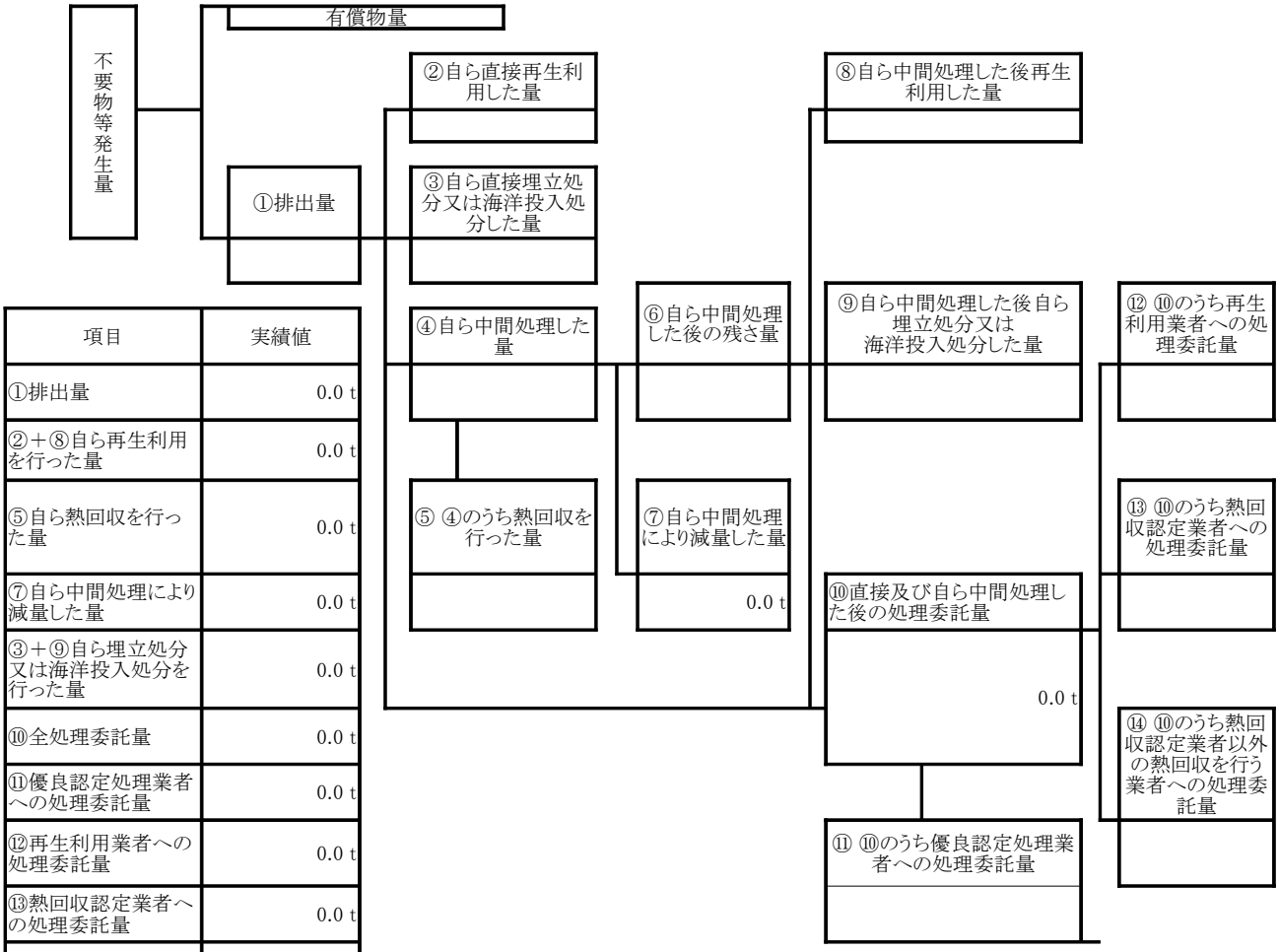


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

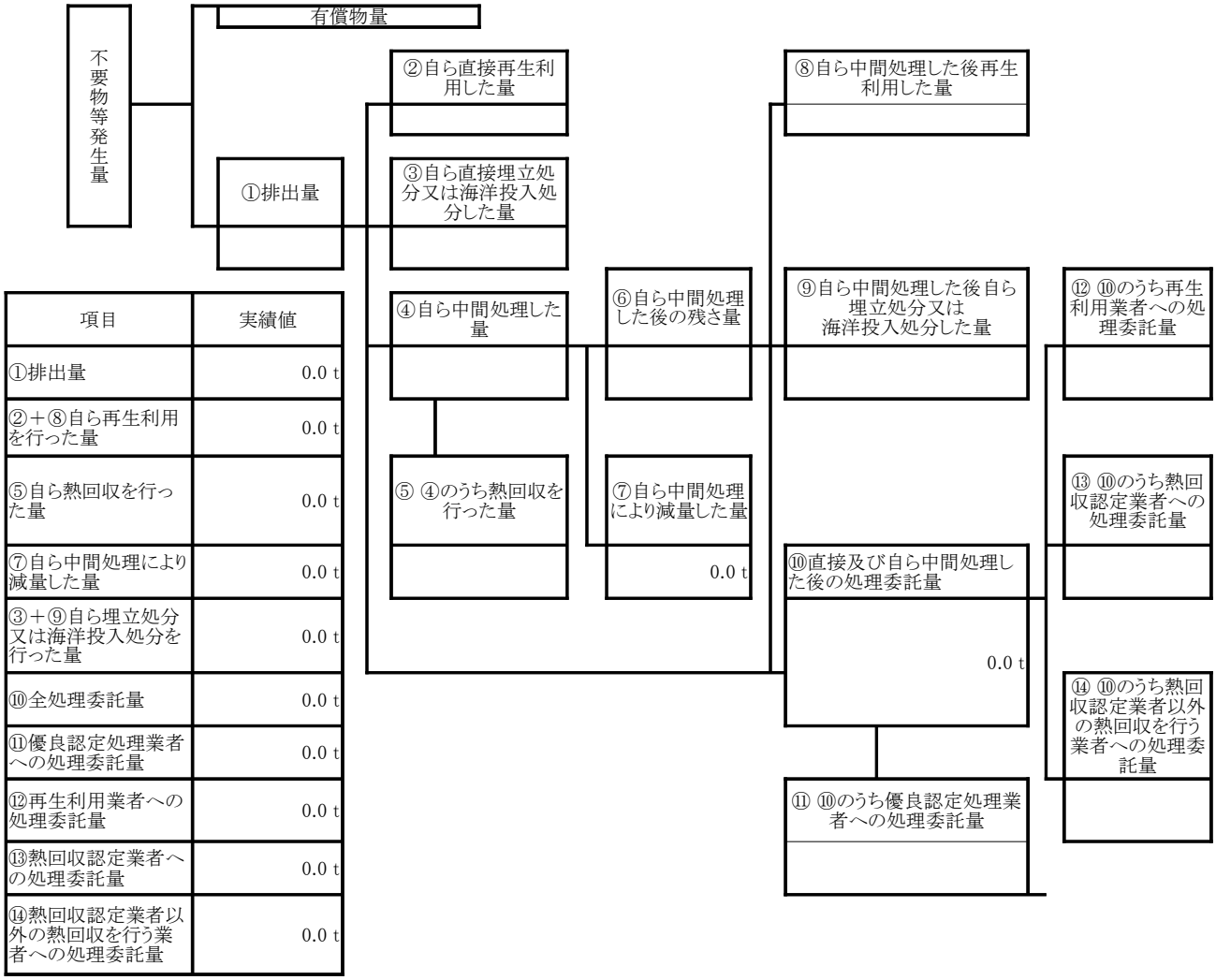


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



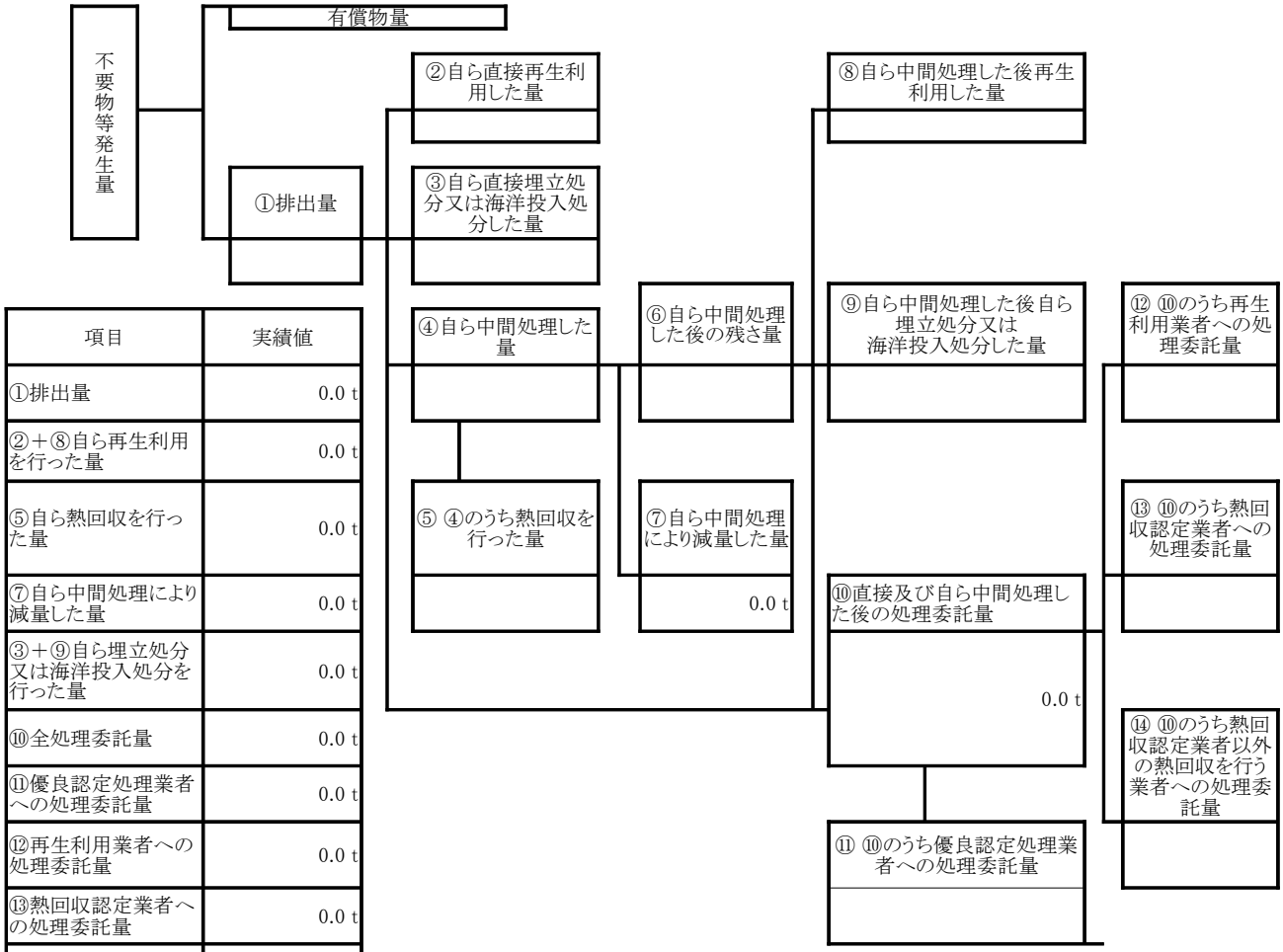
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



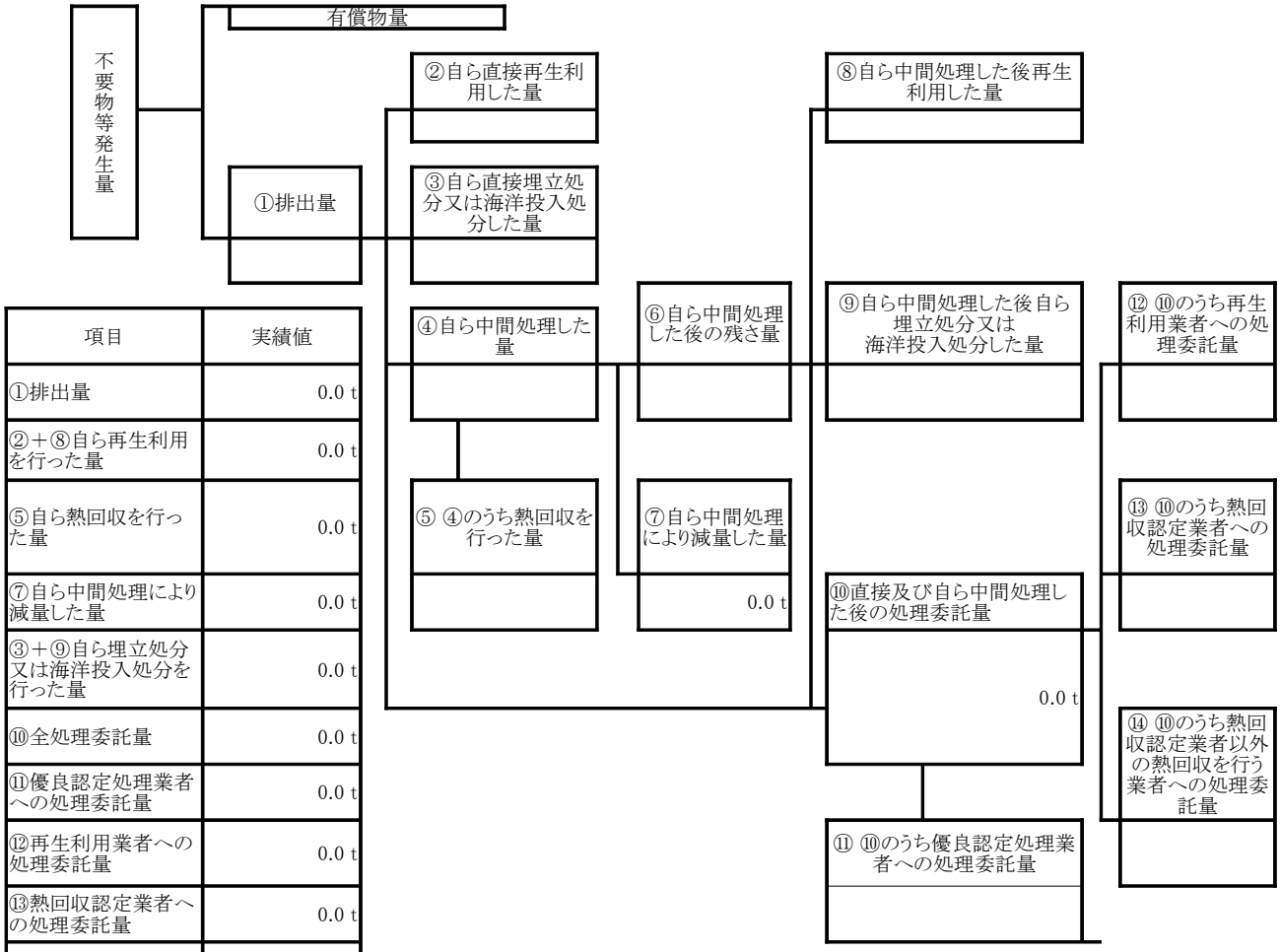
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



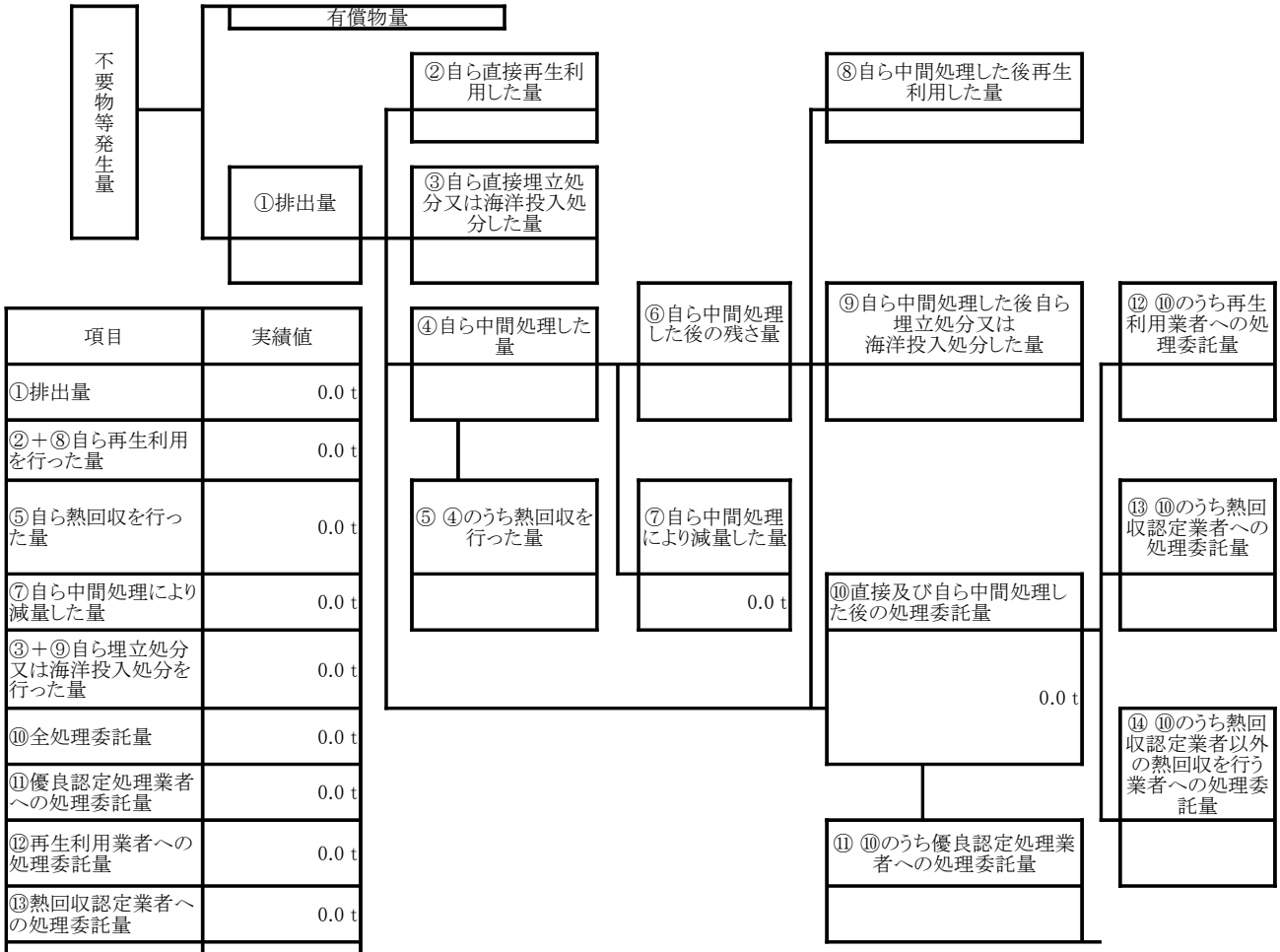
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



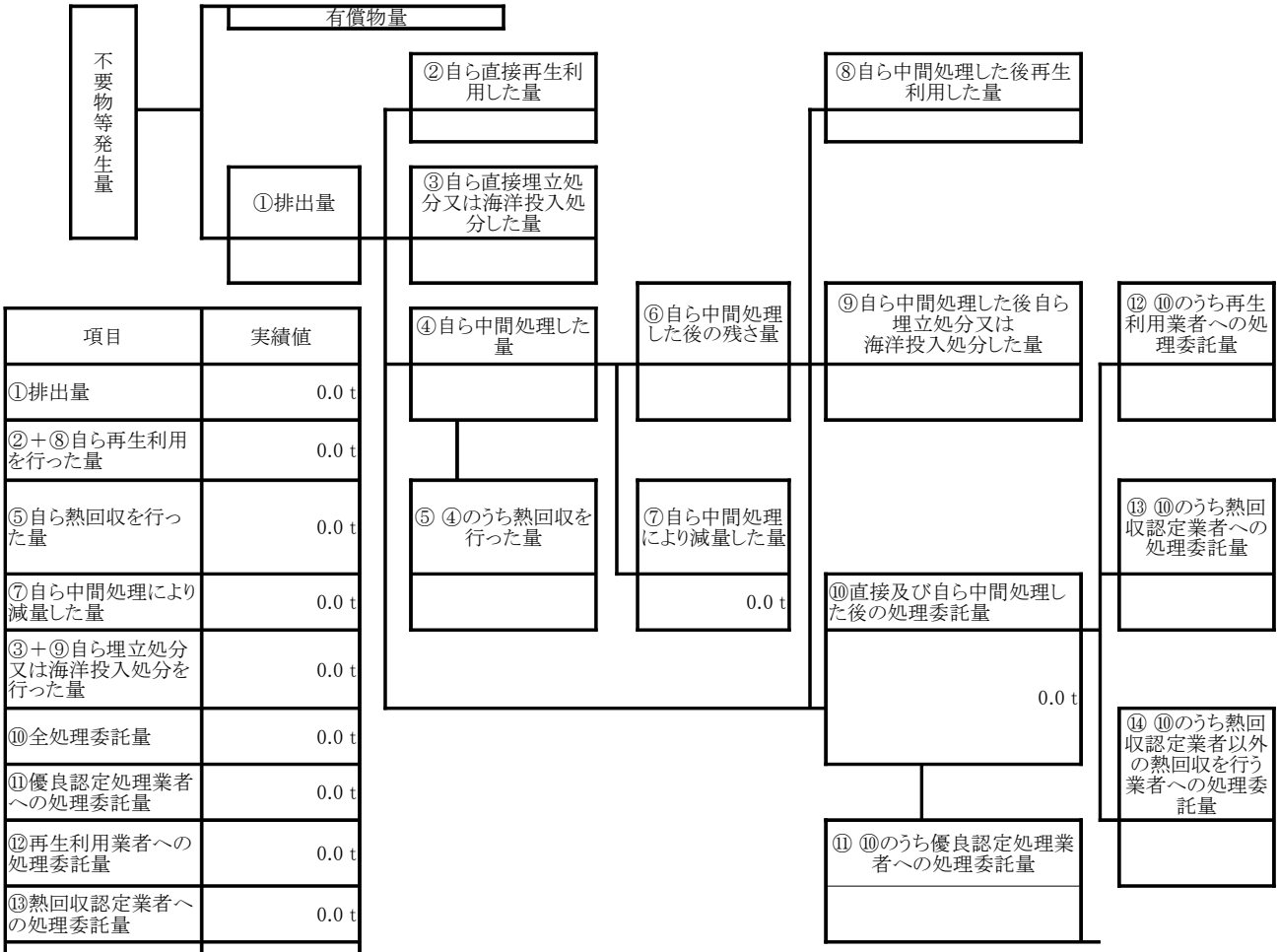
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



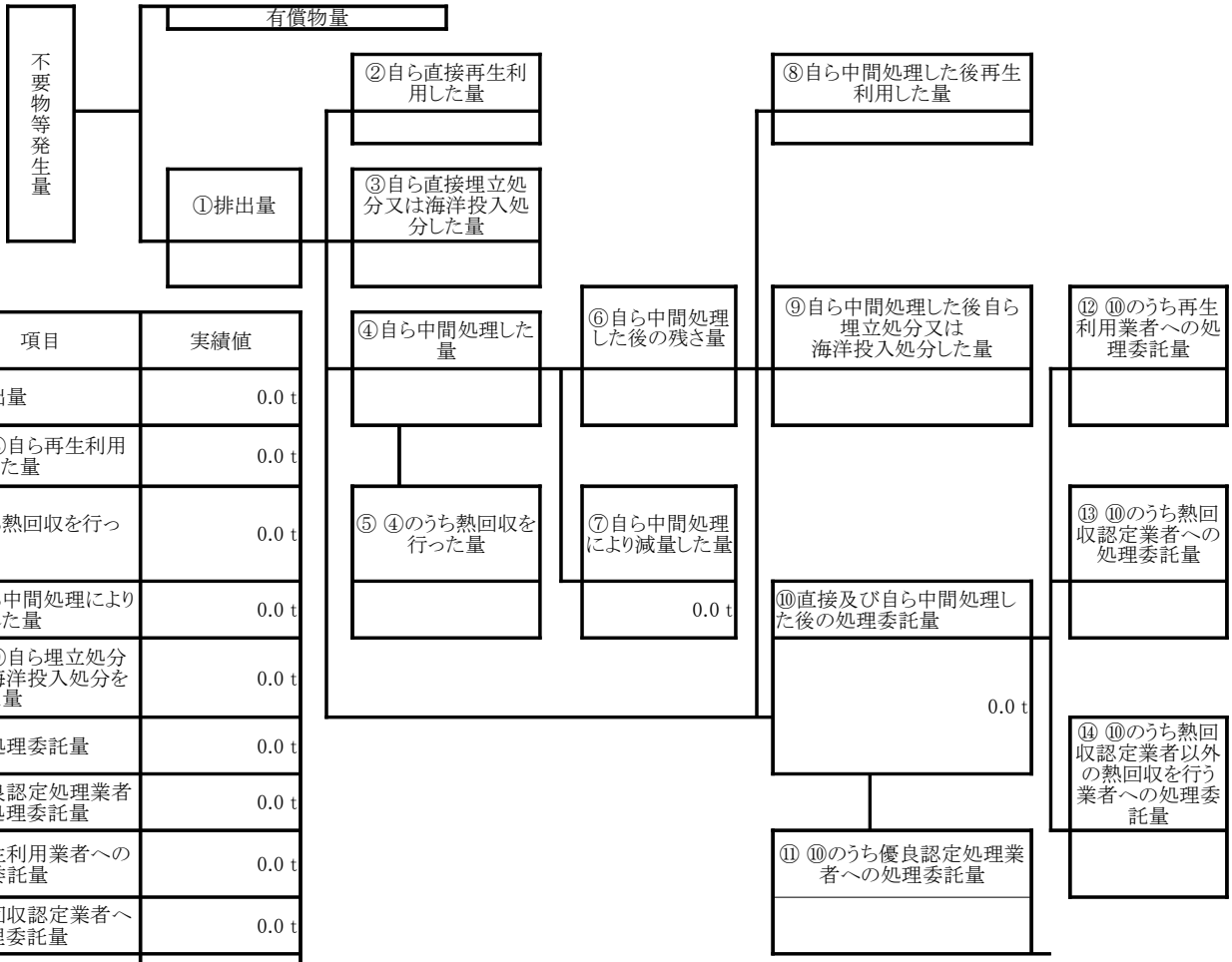
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



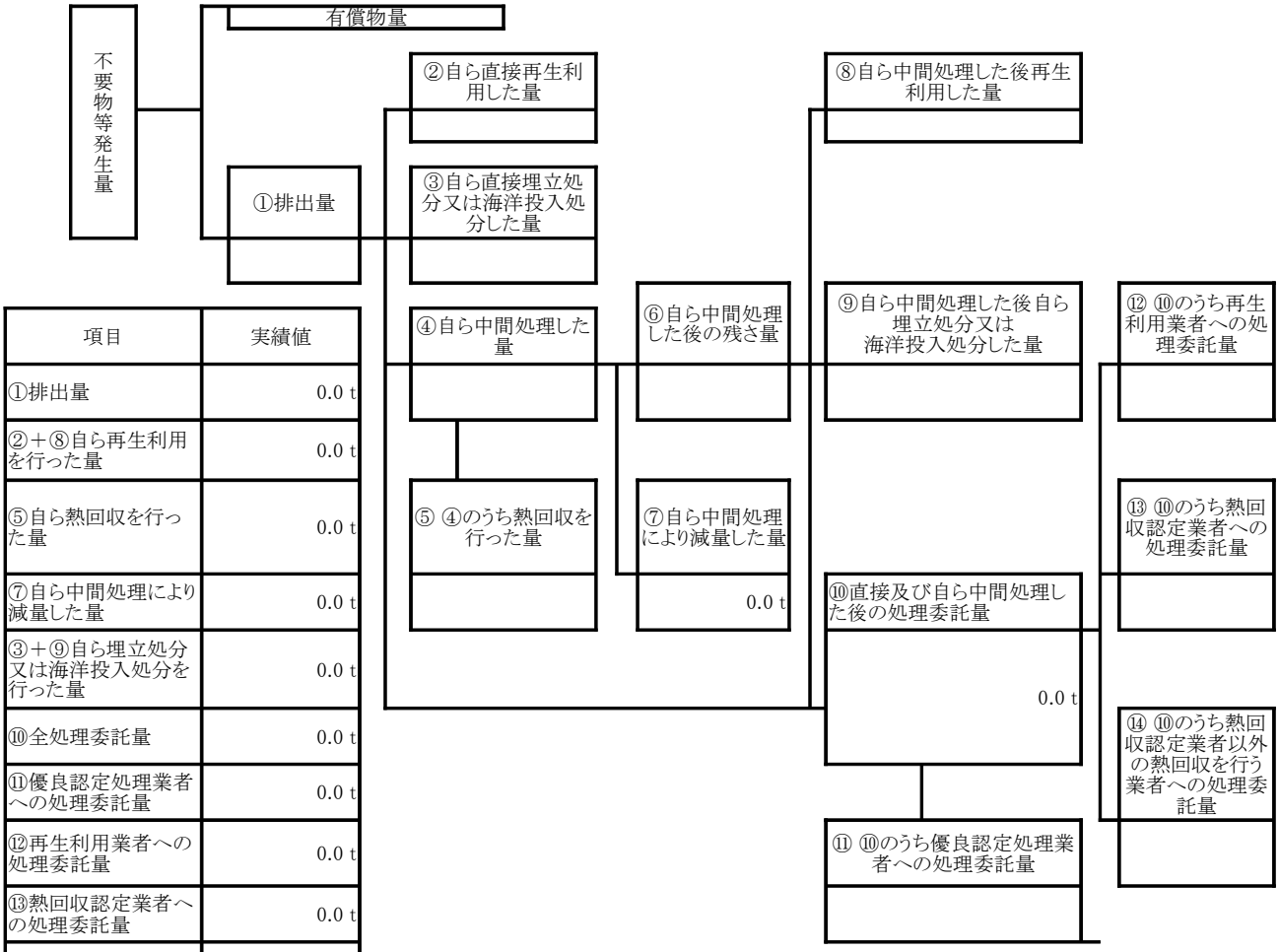
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



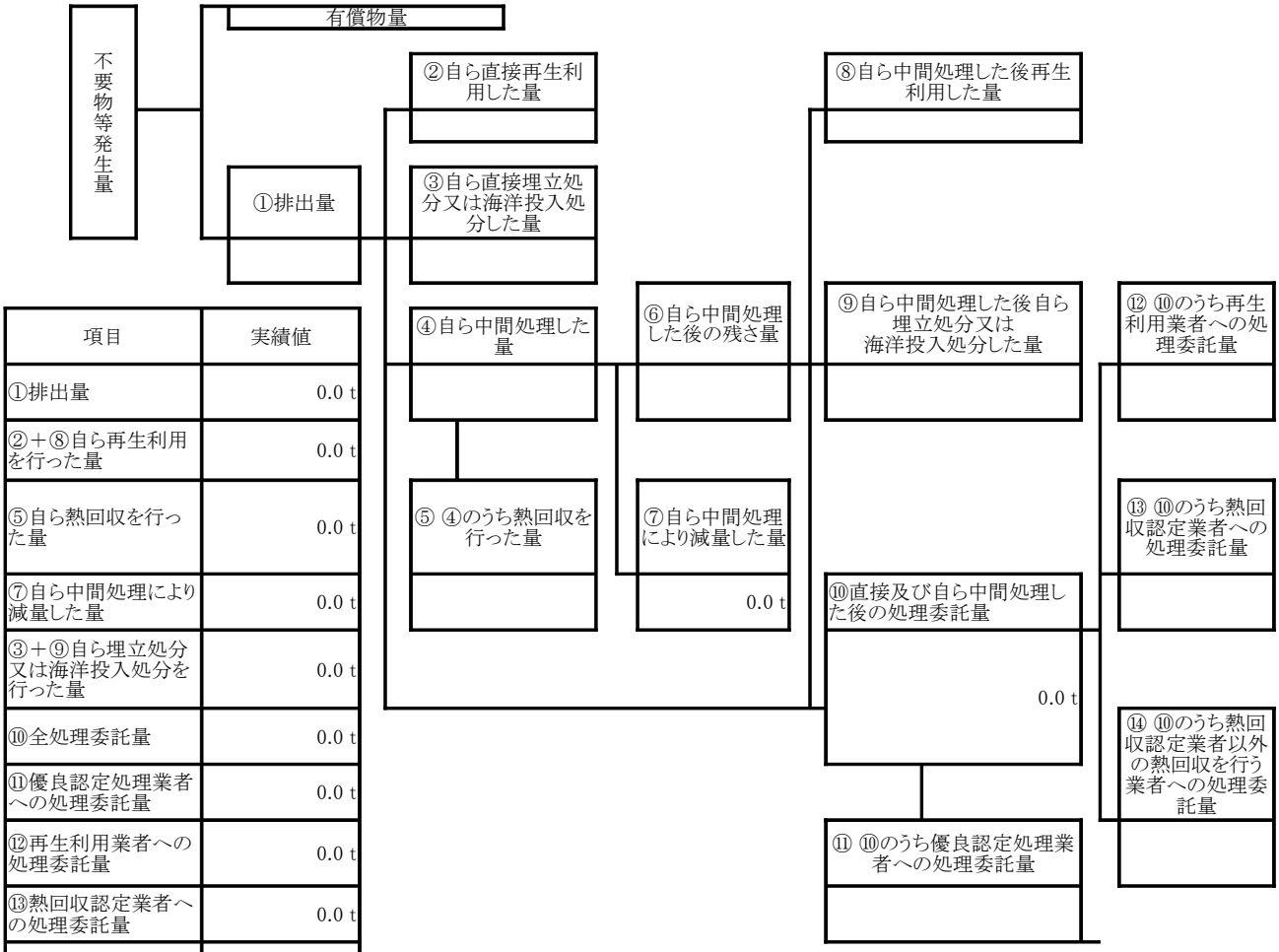
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



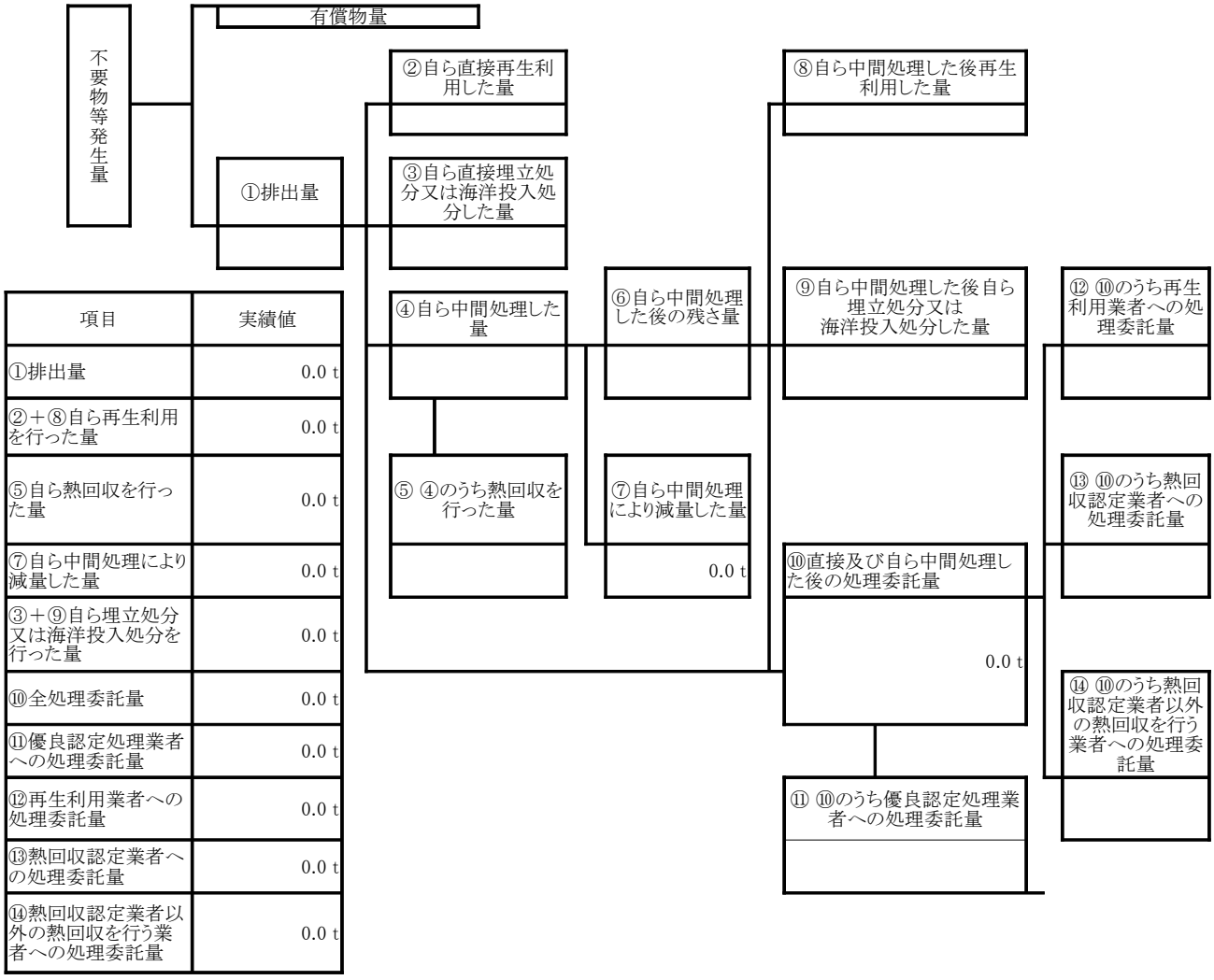
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



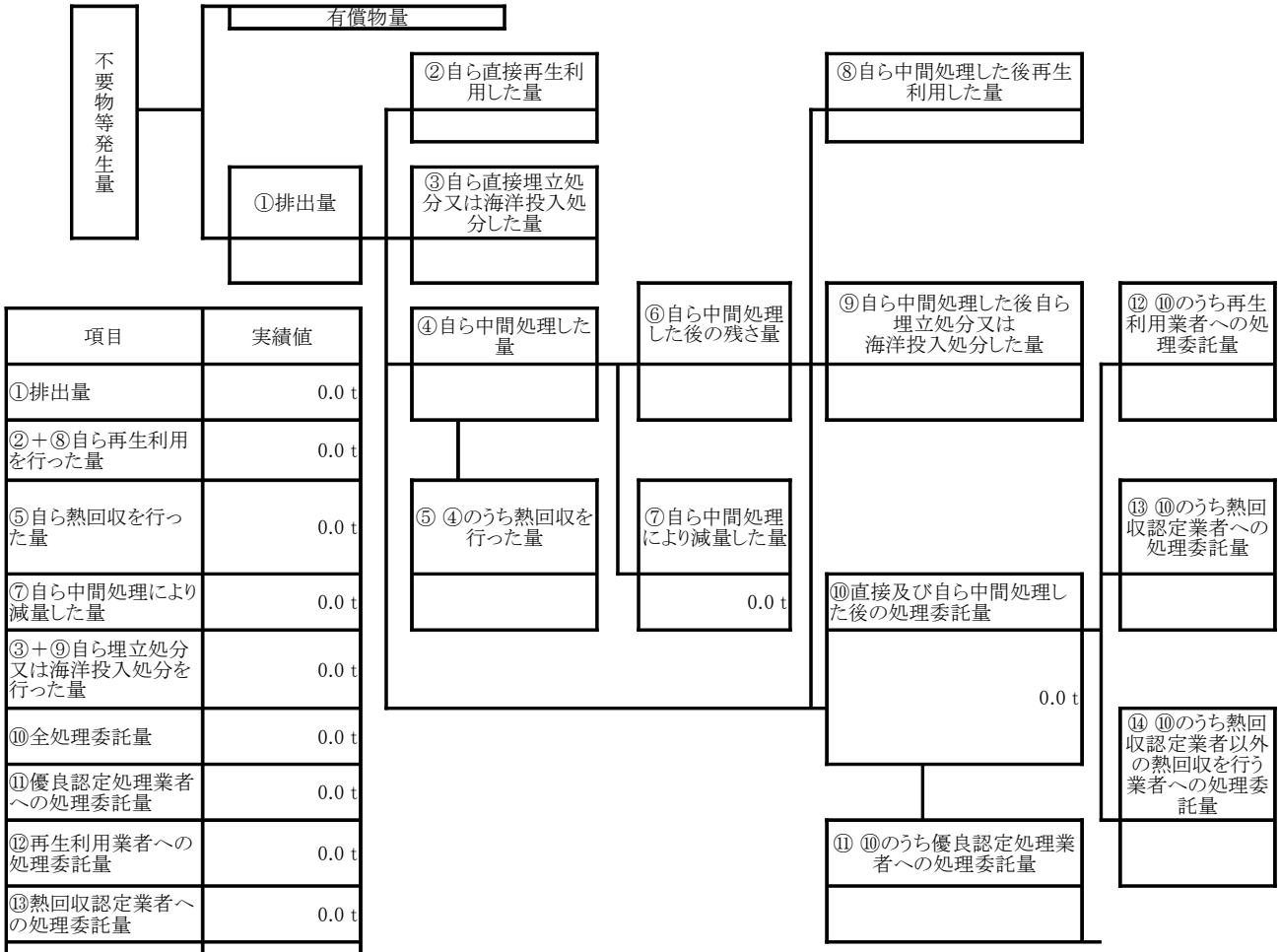
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年６月17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住所　松戸市和名ケ谷５７０番地４
氏名　株式会社 大　富
代表取締役 松 川 朋 子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０４７（３９１）７０００

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社大　富
事業場の所在地	松戸市和名ケ谷570番地4
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

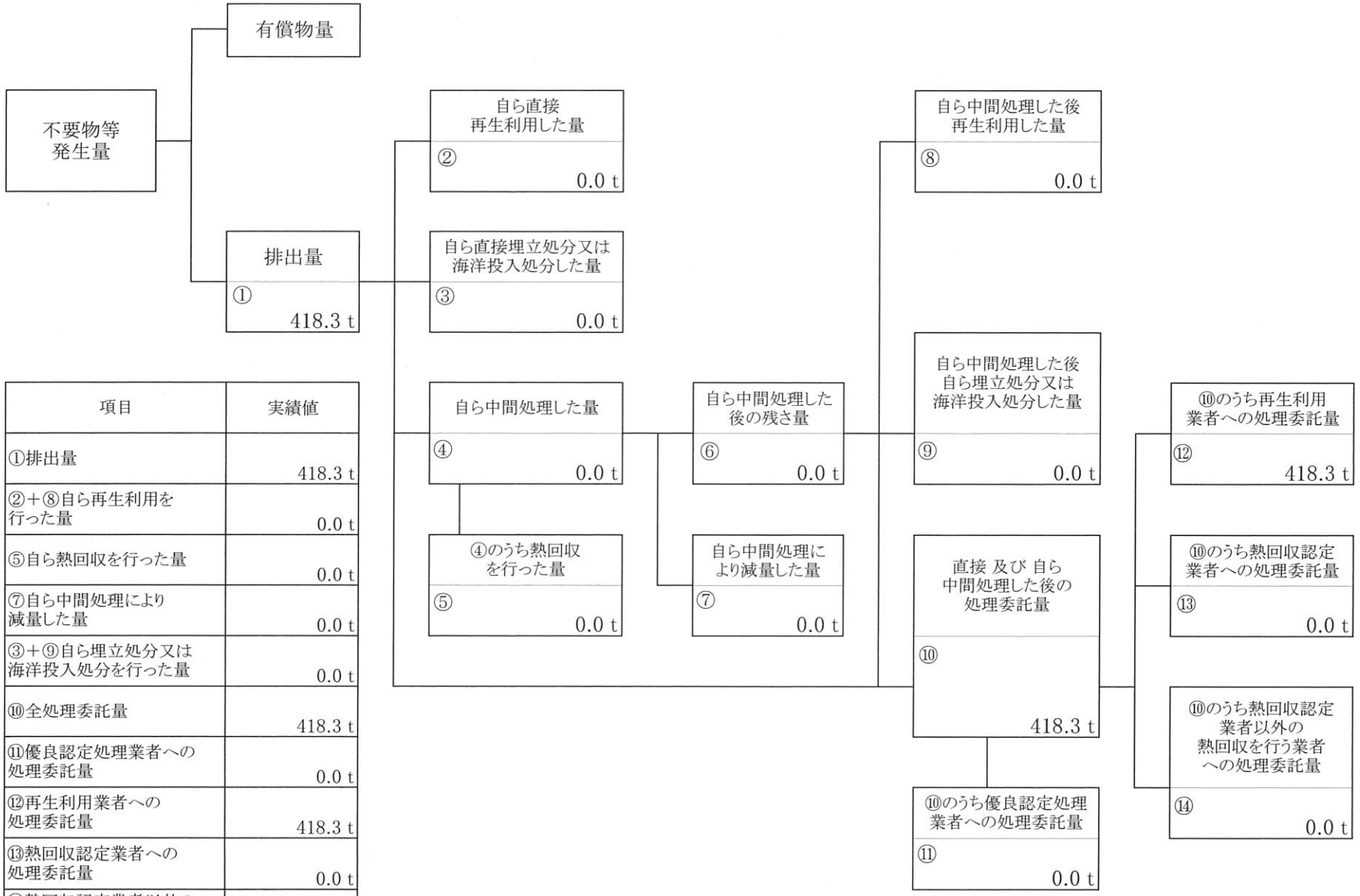
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	963.0ｔ	全処理委託量	963.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	963.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　アスファルト・コンクリートがら　　）

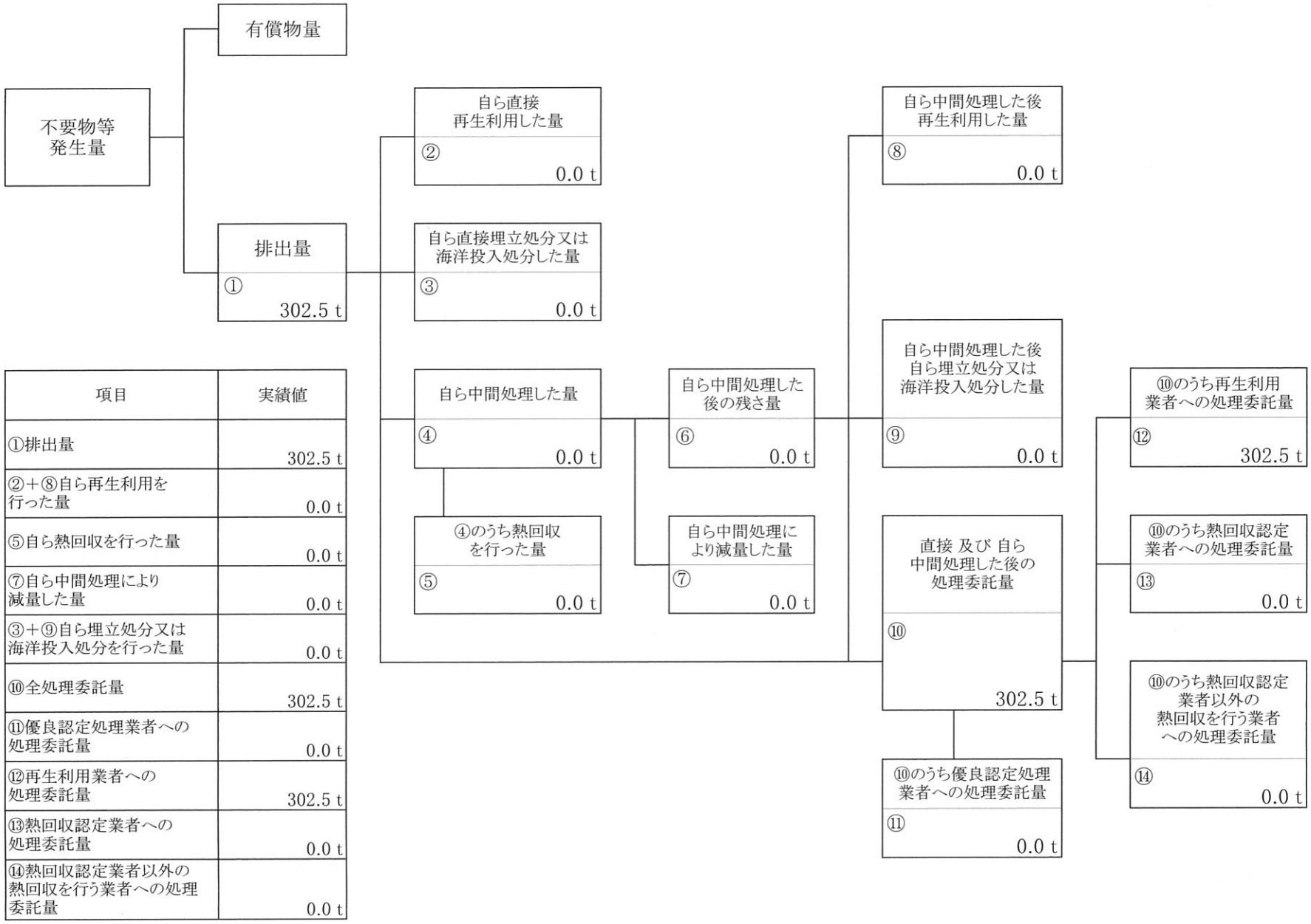


項目	実績値
①排出量	418.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	418.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	418.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　がれき類　）

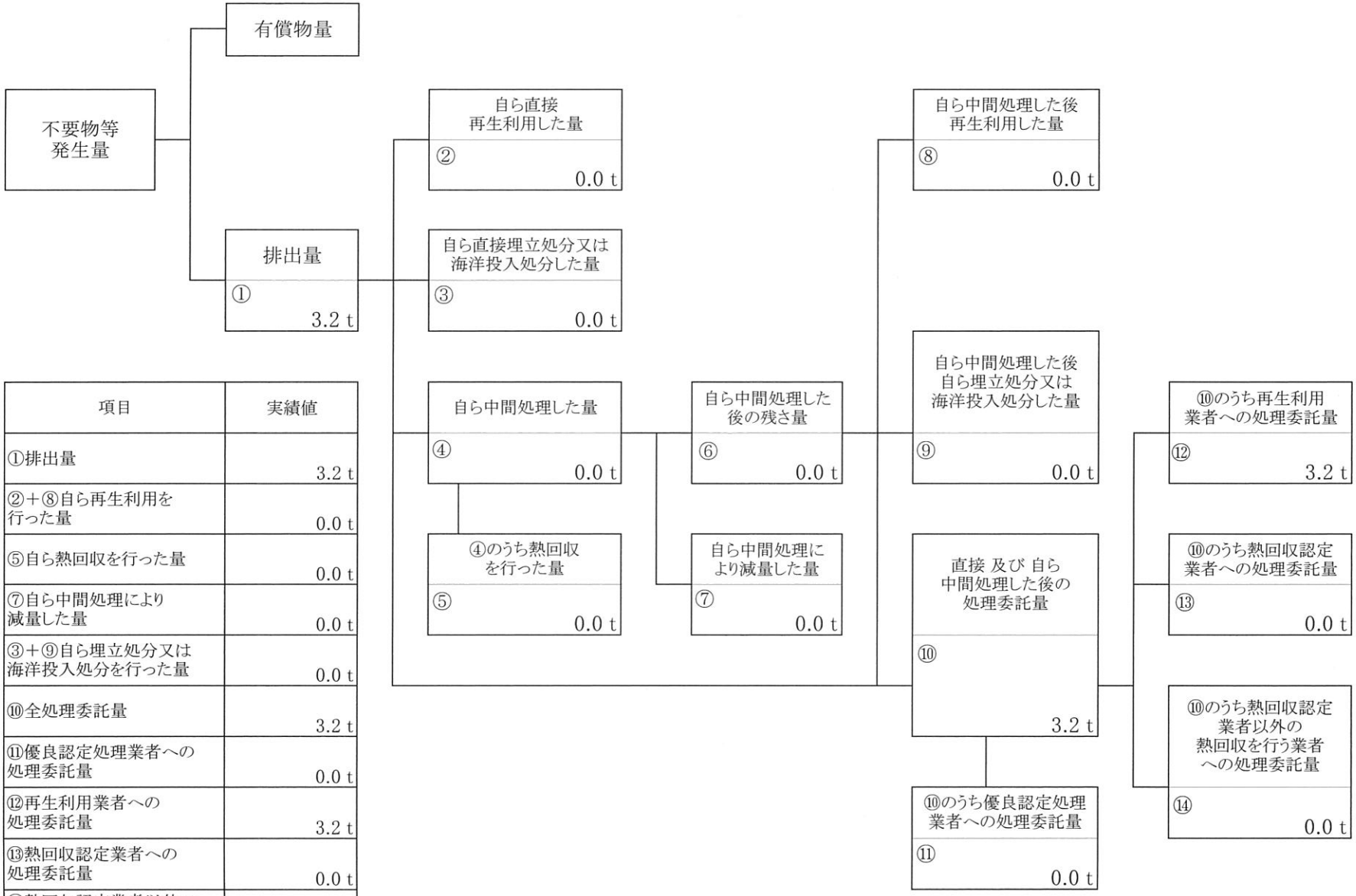


項目	実績値
①排出量	302.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	302.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	302.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

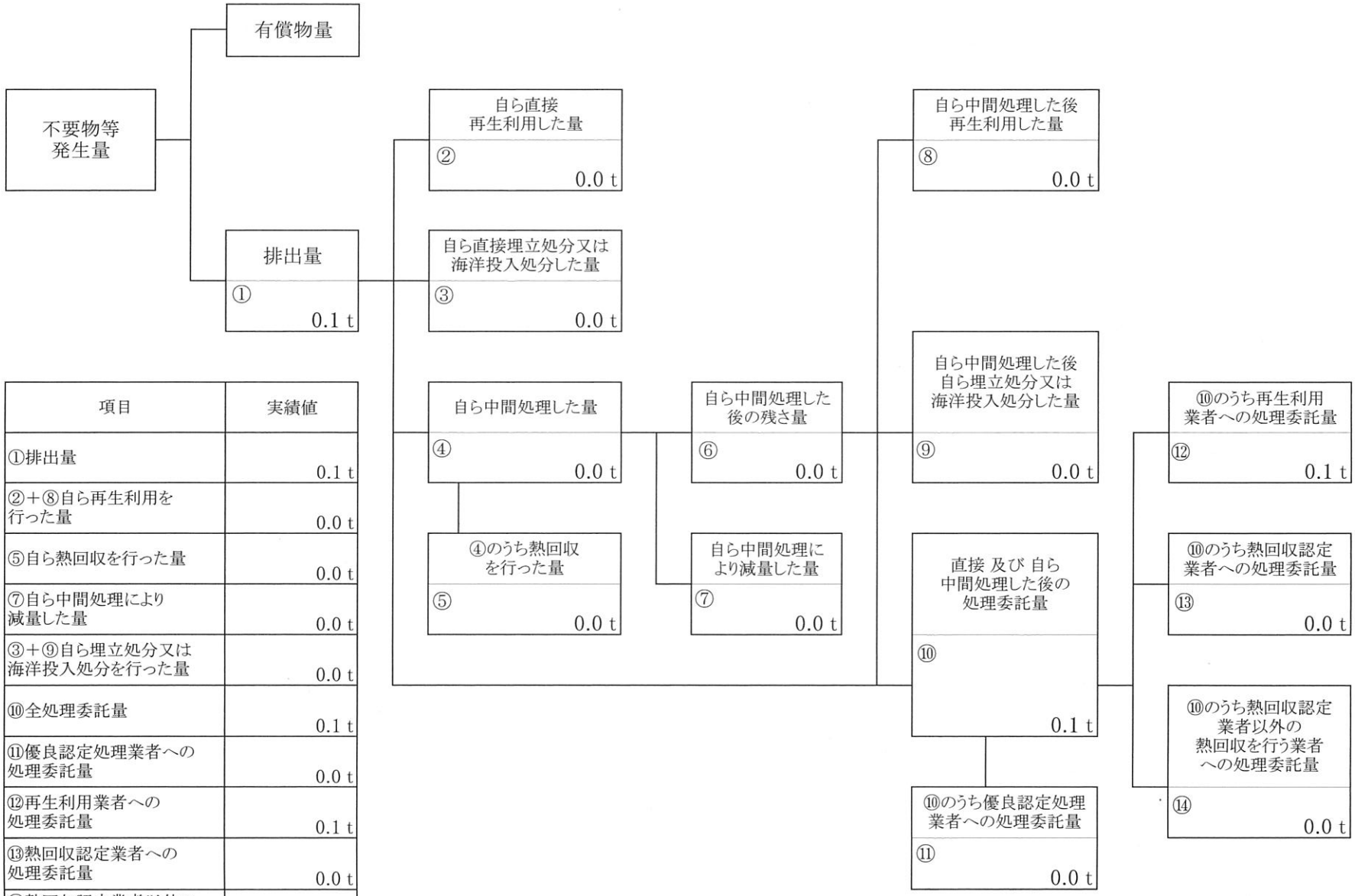


項目	実績値
①排出量	3.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

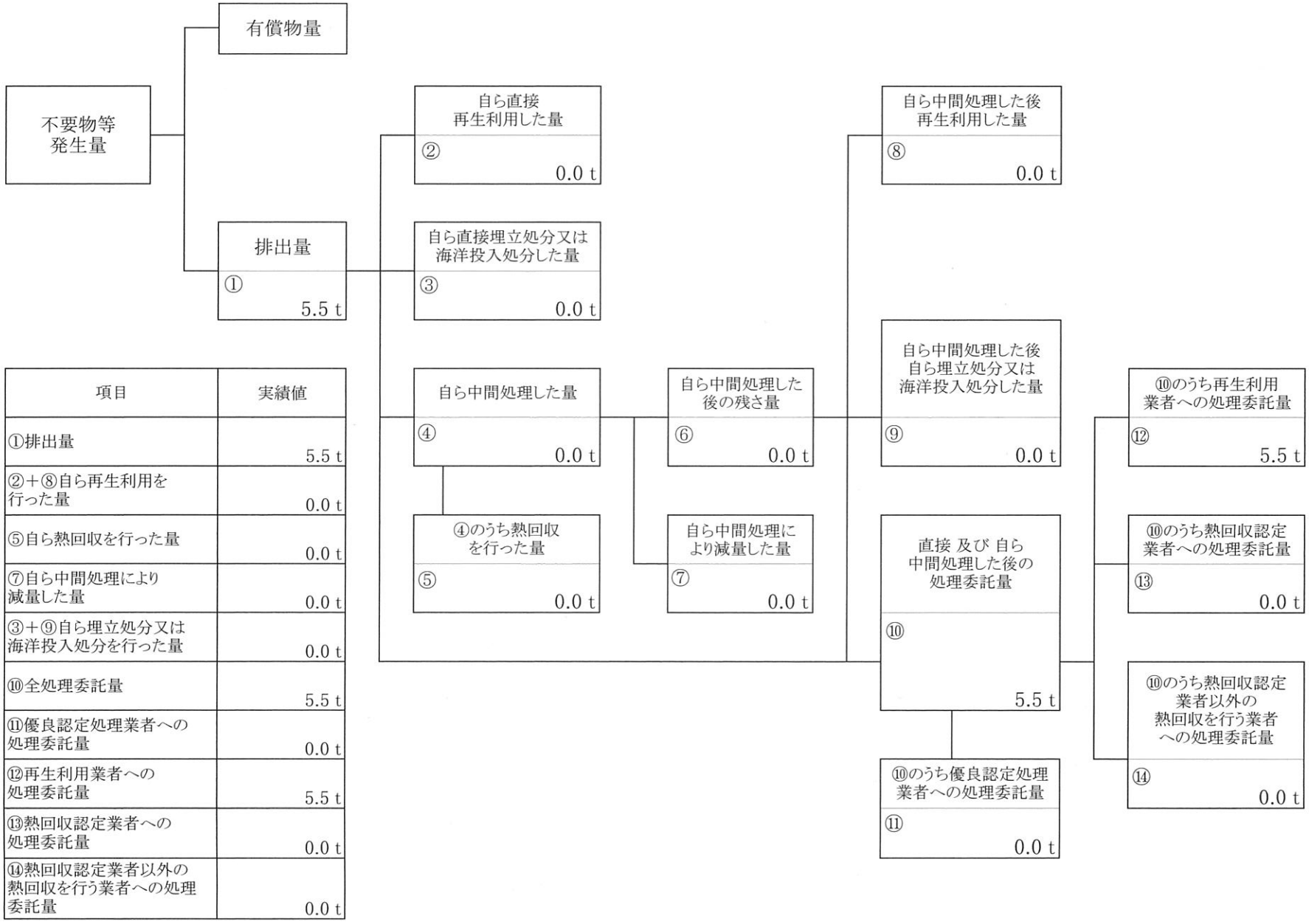


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　２４日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒135-0042

住　所　東京都江東区木場2-17-12　SAビルディング5階

氏　名　代表取締役社長　伊澤　良仁

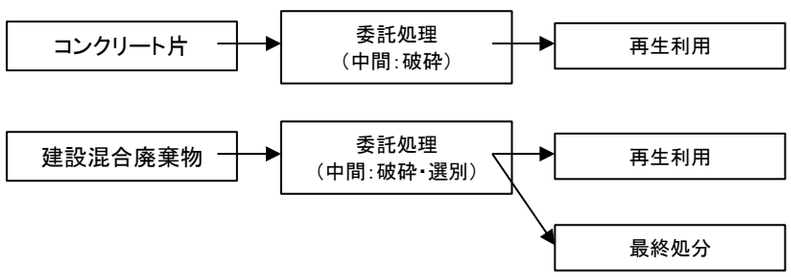
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5639-6070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	太平洋エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都江東区木場2-17-12　SAビルディング5階（現場：市原市）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

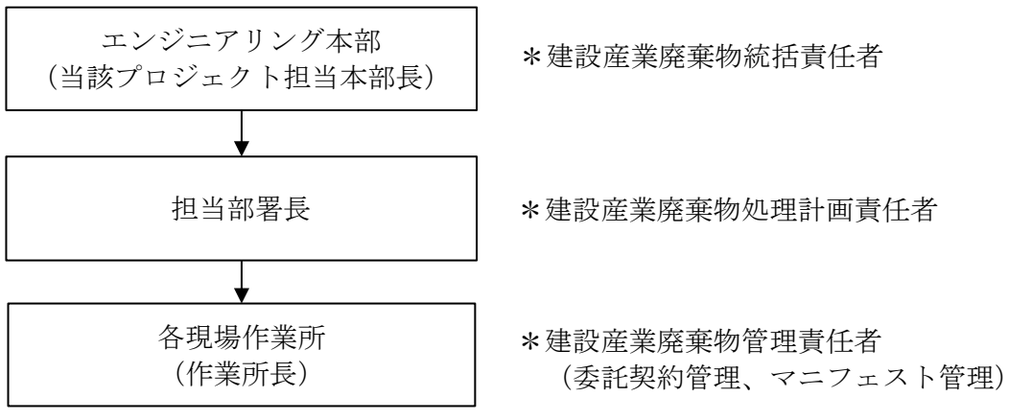
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	前年度完成工事高　8,470百万円
③　従業員数	163名（2024年6月11日　時点）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
排出量	7273.2 t	2.34 t

（これまでに実施した取組）
有価物と産業廃棄物を分別し、産業廃棄物排出の抑制に努めた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
排出量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
県内での工事完工により本年度排出予定なし。
以降排出ある場合は「①現状」の取組を再度実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
コンクリート片がその他の廃棄物と混合しないよう、重機では仕分けできない細かな廃棄物も、作業安全上可能な限り手作業で仕分けを行った。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
県内での工事完工により本年度排出予定なし。
以降排出ある場合は「①現状」の取組を再度実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
全処理委託量	7273.2 t	2.34 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	2.34 t
再生利用業者への処理委託量	7273.2 t	2.34 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

産業廃棄物委託契約を書面で締結し、電子マニフェストを活用して管理した。
優良認定処理業者及び再生利用業者を採用し、再資源化効率の向上に務めた。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	コンクリート片	建設混合廃棄物（管理型）
全処理委託量＿	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
県内での工事完工により本年度排出予定なし。
以降排出ある場合は「①現状」の取組を再度実施する。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒135-0042
住 所　東京都江東区木場2-17-12SAビルディング5階
氏 名　太平洋エンジニアリング株式会社
代表取締役社長 伊澤 良仁
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5639-6070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太平洋エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都江東区木場2-17-12 SAビルディング5階（現場：市原市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

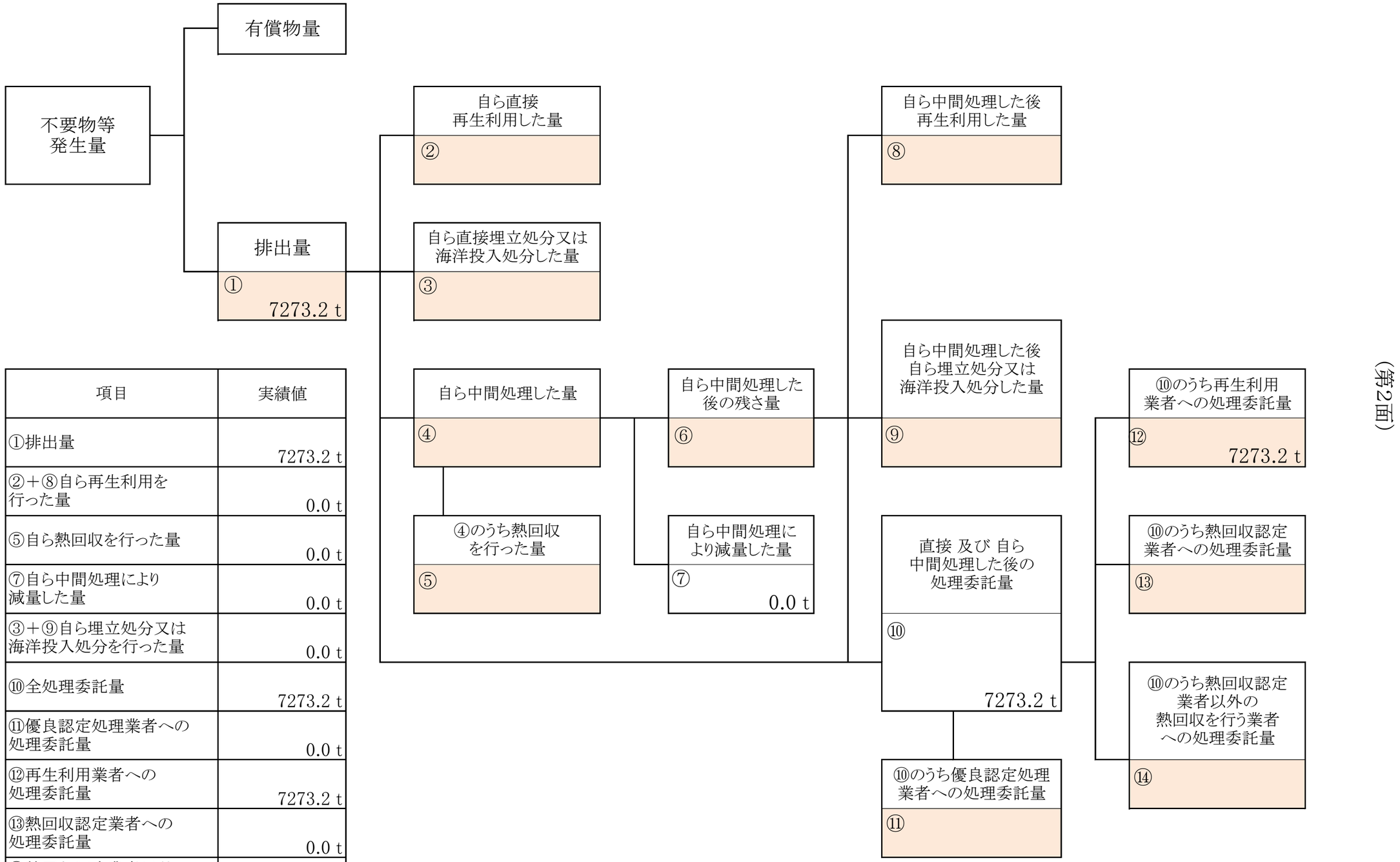
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	500.0 t	全処理委託量	500.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	500.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	500.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート片）

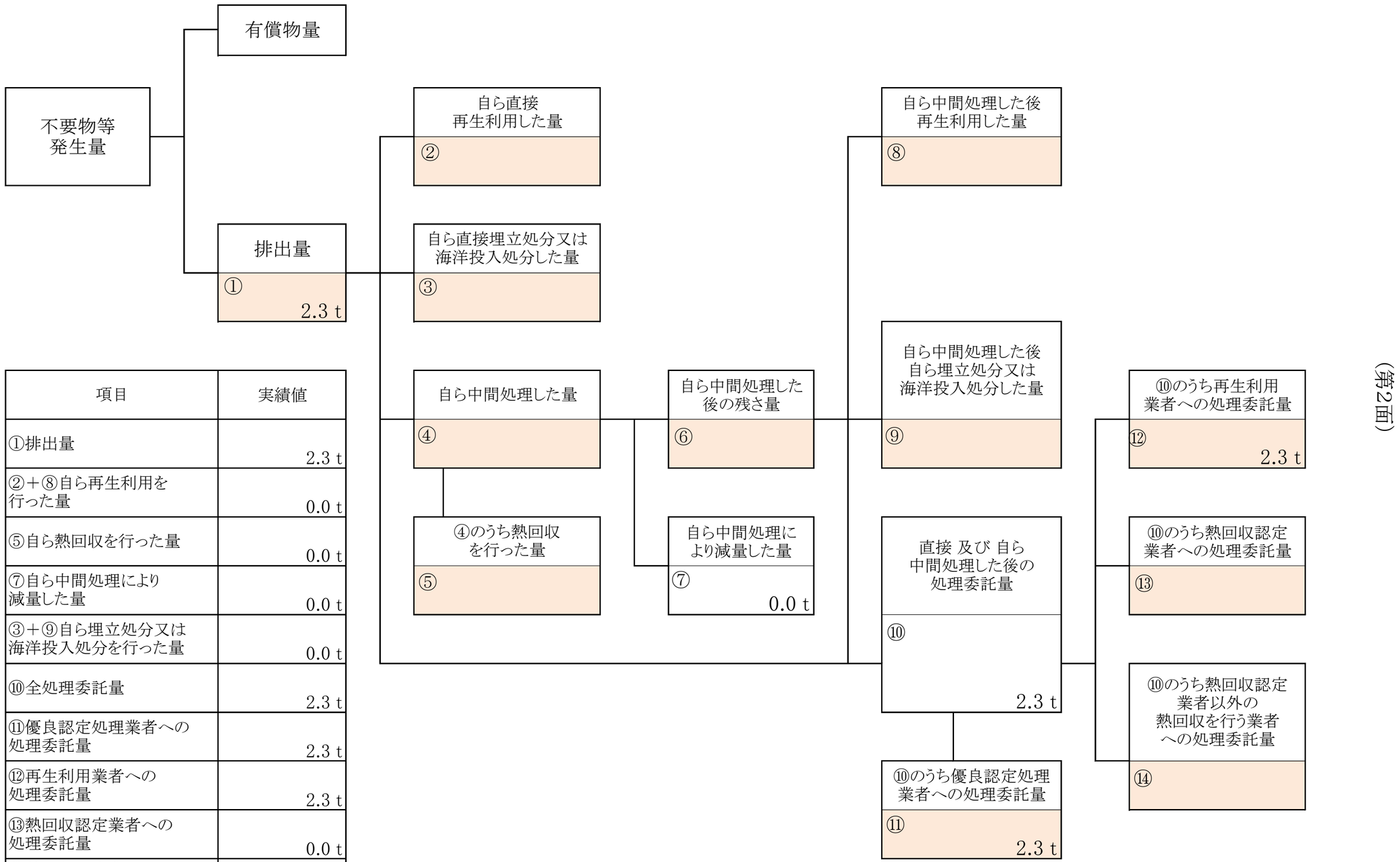


項目	実績値
①排出量	7273.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7273.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7273.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物（管理型）**）



項目	実績値
①排出量	2.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　24日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒135-0042
住　所　東京都江東区木場2-17-12SAビルディング5階
氏　名　太平洋エンジニアリング株式会社
代表取締役社長　伊澤　良仁
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5639-6070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太平洋エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都江東区木場2-17-12　SAビルディング5階（現場：市原市）
事業の種類	D06－総合工事業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.0ｔ	全処理委託量	0.0ｔ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　246.91	t
	前年度　0	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

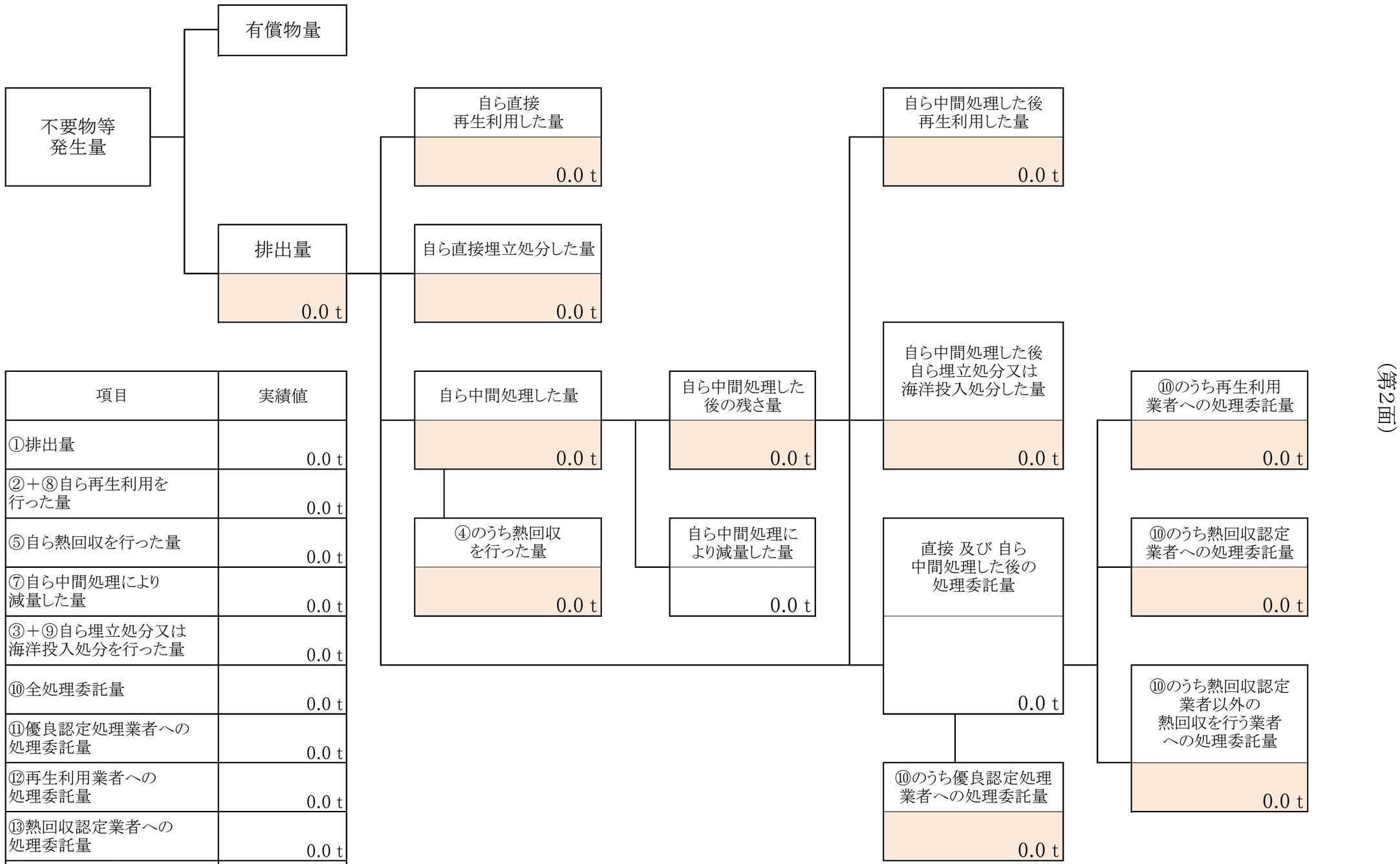
既に電子マニフェストを導入済

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：全て（排出無し））



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　104-0033

住　所　東京都中央区新川1-24-4

法人名　大豊建設株式会社東京土木支店

代表者　執行役員支店長 岩崎　延宏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5541-5035

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大豊建設株式会社　東京土木支店
事業場の所在地	東京都中央区新富２－１４－４
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完成工事高（14,651百万円）
③従業員数	145人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙　（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥　他７件	
排出量	1,572.02 ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

工法の改善や余剰材の引き取りを実施する
協力業者へ分別の指導・教育を実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥　他７件	
排出量	1,414.82 ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も同様に排出抑制を図る

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

がれき類、廃プラ、金属、木くず、現場での分別徹底を図るとともに
他の廃棄物が混入しないように保管する。
現場での作業員への直接指導・産廃BOXに分別用の看板設置

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

今後も同様に分別排出の徹底を心掛ける。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
産業廃棄物は全て委託処理する。
処理方法は出来るだけ再利用できる業者に委託する。
また、優良認定処理業者を優先する。
電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥　他７件</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・現状同様、産業廃棄物は全て委託処理する。
・処理方法は出来るだけ再利用できる業者に委託する。
・可能な限り優良認定処理業者から選定する。
・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

産業廃棄物は全て委託処理する。
処理方法は出来る限り再生利用できる業者に委託する。
また、優良認定処理業者を優先して委託する。

1 建設汚泥
汚泥再生処理業者に委託契約→路盤材、埋め戻し材として再資源化

2 がれき類（コンクリート、アスコン）
がれき類再生処理会社に委託契約→再生砕石、再生砂として再資源化

3 木くず
再生処理業者に委託契約→破砕チップ化、堆肥化として再資源化

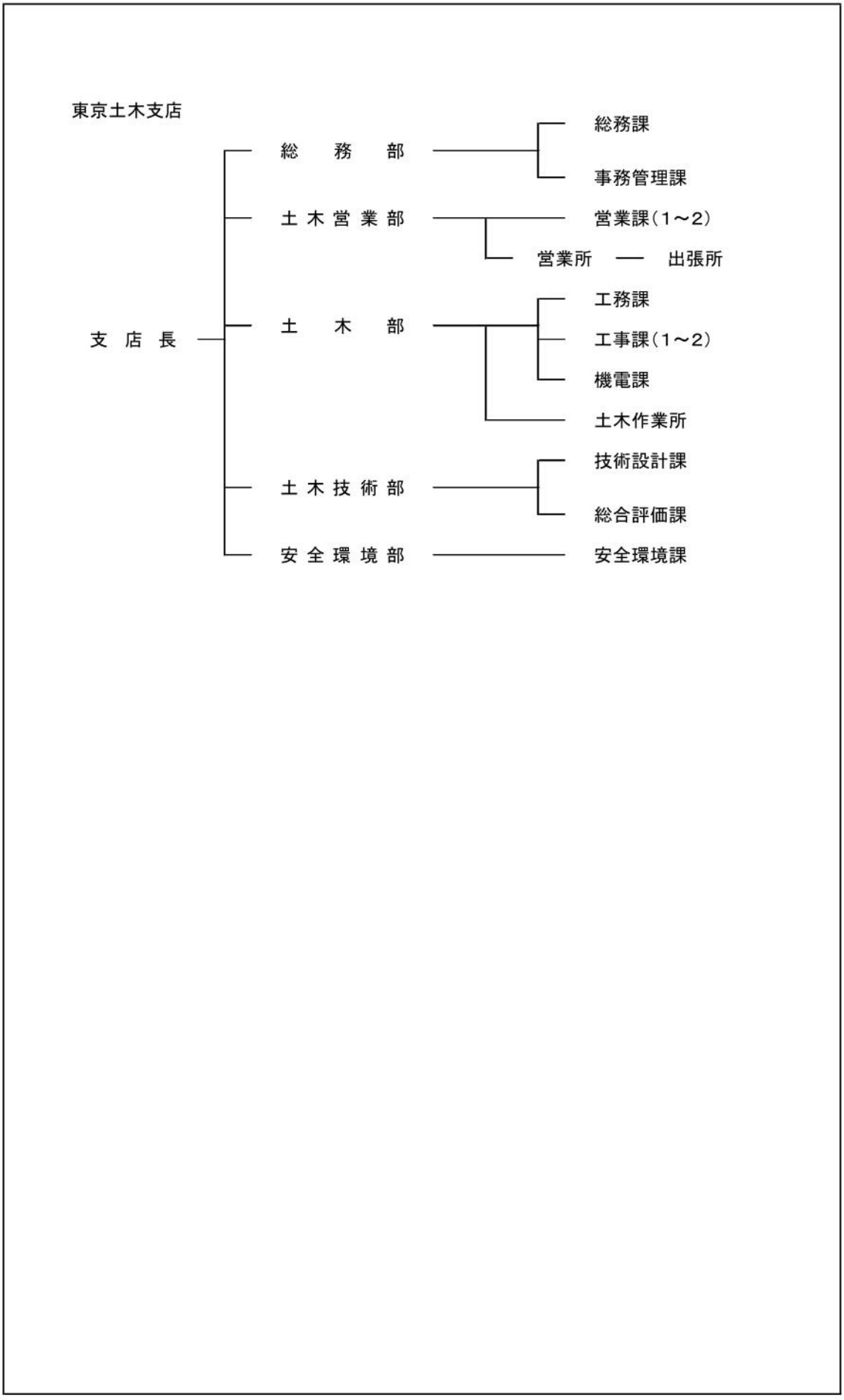
4 金属くず
スクラップ業者に委託契約、売却→再製鉄として再資源化

5 紙くず
再生処理業者に委託委託契約→再生紙等として再資源化

6 廃プラスチック
破砕、選別、焼却業者に委託契約→再生原料、他埋立処分

7 混合廃棄物その他
破砕、選別、焼却業者に委託契約→再生原料、チップ、燃料等に再資源化し、燃えがら等は最終処分

別添２ 管理体制図


東京土木支店
支 店 長
総 務 部
総務課
事務管理課
土 木 営 業 部
営業課（1～2）
営業所 ― 出張所
土 木 部
工務課
工事課（1～2）
機電課
土木作業所
土 木 技 術 部
技術設計課
総合評価課
安 全 環 境 部
安全環境課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
		排　出　量	1314.67　t	1.05　t	2.7　t	2.48　t	14.5　t	119.7　t	112.5　t	4.42　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
		排　出　量	1183.2　t	0.95　t	2.43　t	2.23　t	13.05　t	107.73　t	101.25　t	3.98　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
	全処理委託量	1314.67 t	1.05 t	2.7 t	2.48 t	14.5 t	119.7 t	112.5 t	4.42 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1.05 t	2.7 t	2.48 t	0 t	0 t	0 t	4.42 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	混合廃棄物（管理
	全処理委託量	1183.2 t	0.95 t	2.43 t	2.23 t	13.05 t	107.73 t	101.25 t	3.98 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.95 t	2.43 t	2.23 t	0 t	0 t	0 t	3.98 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　１３日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒104-8289

住　所　東京都中央区新川1-24-4

氏　名　大豊建設株式会社　東京建築支店
執行役員支店長　塩田　雅紀

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5541-5017

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大豊建設株式会社　東京建築支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-24-4（千葉県内所管分　4か所）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	37,234（百万円）
③　従業員数	174人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→破砕→ﾘｻｲｸﾙ 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　破砕→圧縮→梱包→溶融→（RPF若しくはｾﾒﾝﾄ原料） 石綿含有（廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ）→埋立 木くず　破砕→圧縮→梱包→固形燃料PRF原料 金属くず　破砕→再販売 紙くず、ｶﾞﾗｽ陶磁器　破砕→圧縮→梱包→再生資源料 混合廃棄物、破砕→分別後（ﾘｻｲｸﾙ資源or廃棄物は埋立） 蛍光灯　破砕→分別後→再生資化→ﾘｻｲｸﾙ 建設汚泥　造粒固化、天日乾燥→→再生資化→ﾘｻｲｸﾙ

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（別添一1　管理体制図による）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
排出量	1017.1　t	108　t

（これまでに実施した取組）

廃材を減らしﾘｻｲｸﾙ率を増やす

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
排出量	227.4　t	108　t

（今後実施する予定の取組）

再生利用業者の継続利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現場での回収ボックスによる分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

同　　上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） _		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） _		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） _		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） _		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） －		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） －		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
	全処理委託量	1017.1 t	108 t
	優良認定処理業者への処理委託量	601.6 t	53.2 t
	再生利用業者への処理委託量	1017.1 t	77.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用業者の継続利用		

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
		全処理委託量＿		227.4 t	108 t
			優良認定処理業者への処理委託量	227.4 t	108 t
			再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 再生利用業者の継続利用			
※事務処理欄					

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
		排　出　量	72.6 t	126.8 t	13 t	0.1 t	73.3 t	3.0 t	0 t	105 t	7.0 t	2.8 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
		排　出　量	120.8 t	43.5 t	16.7 t	1.0 t	0 t	0 t	0.3 t	78.9 t	160.0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
	全処理委託量	72.6 t	126.8 t	13 t	0.1 t	73.3 t	3 t	0 t	105 t	7 t	2.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	69.2 t	36.9 t	1.1 t	0.1 t	73.3 t	3 t	0 t	88.5 t	1 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	69.6 t	126.8 t	12.7 t	0.1 t	0 t	0 t	0 t	84.1 t	7 t	2.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	蛍光灯	がれき類（石綿含有）	がらす陶磁器等くず（石綿含有）	廃ﾌﾟﾗ（石綿含有）	建設混合廃棄物	がらす陶磁器等くず	建設汚泥
	全処理委託量	120.8 t	43.5 t	16.7 t	1.0 t	0.3 t	0 t	0.3 t	78.9 t	160.0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	120.8 t	43.5 t	16.7 t	1 t	0.3 t	0 t	0.3 t	78.9 t	140.0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

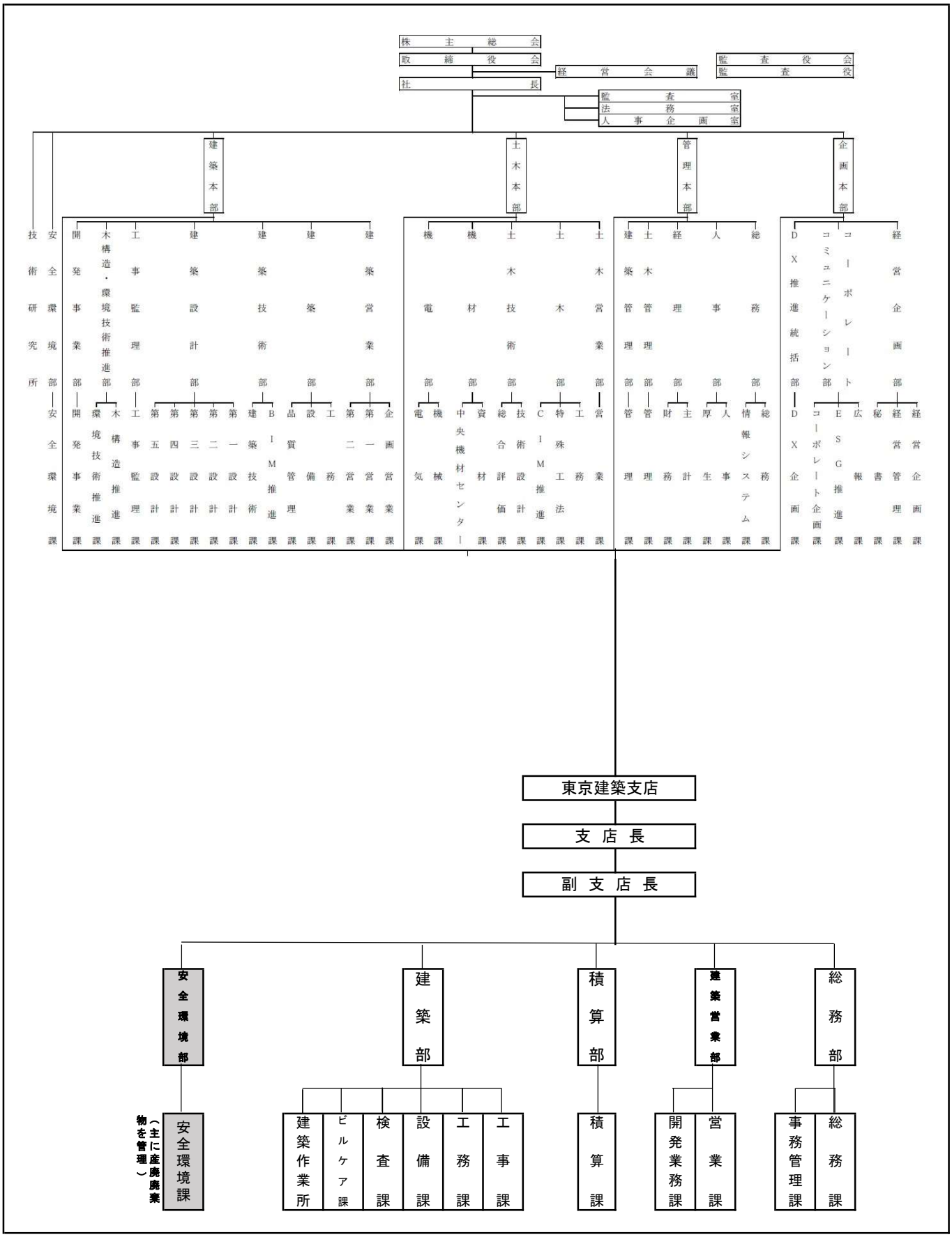
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別添1 管理体制図


株主総会
取締役会
社長
経営会議
監査役会
監査役
監査室
法務室
人事企画室
技術研究所
安全環境部
安全環境課
建築本部
開発事業部
開発事業課
木構造・環境技術推進部
環境技術推進課
木構造推進課
工事監理部
工事監理課
建築設計部
第五設計課
第四設計課
第三設計課
第二設計課
第一設計課
建築技術部
建築技術課
BIM推進課
建築
品質管理課
設備課
工務課
建築
第二営業課
建築
第一営業課
企画営業課
土木本部
機電部
電気課
機械課
機材部
中央機材センター
資材課
土木技術部
総合評価課
技術設計課
土木
CIM推進課
特殊工法課
工務課
土木
土木営業部
営業課
管理本部
建築管理部
管理課
土木管理部
管理課
経理部
財務課
人事部
厚生課
人事課
総務部
情報システム課
総務課
企画本部
DX推進統括部
DX企画課
コミュニケーション部
コーポレート企画課
コーポレート
ESG推進課
広報課
経営企画部
秘書課
経営管理課
経営企画課
東京建築支店
支店長
副支店長
安全環境部
安全環境課
（主に産廃廃棄物を管理）
建築部
建築作業所
ビルケア課
検査課
設備課
工務課
工事課
積算部
積算課
建築営業部
開発業務課
営業課
総務部
事務管理課
総務課

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月13日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒104－8289
住 所　東京都中央区新川1－24－4
氏 名　大豊建設株式会社 東京建築支店
執行役員支店長 塩田 雅紀
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03－5541－5017

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大豊建設株式会社 東京建築支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-24-4（千葉県内所管分 4か所）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

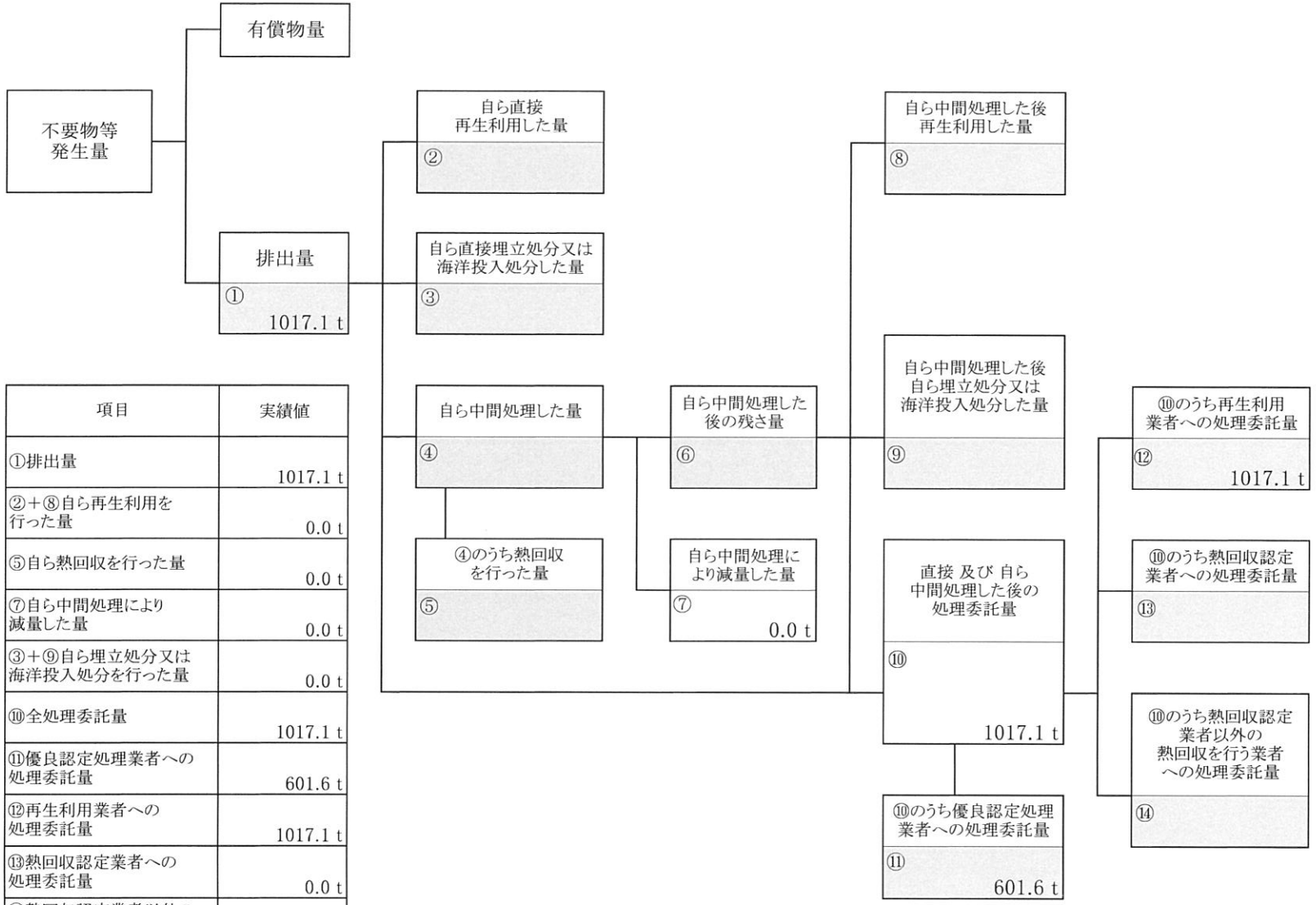
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1723.4 t	全処理委託量	1723.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	221.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1542.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

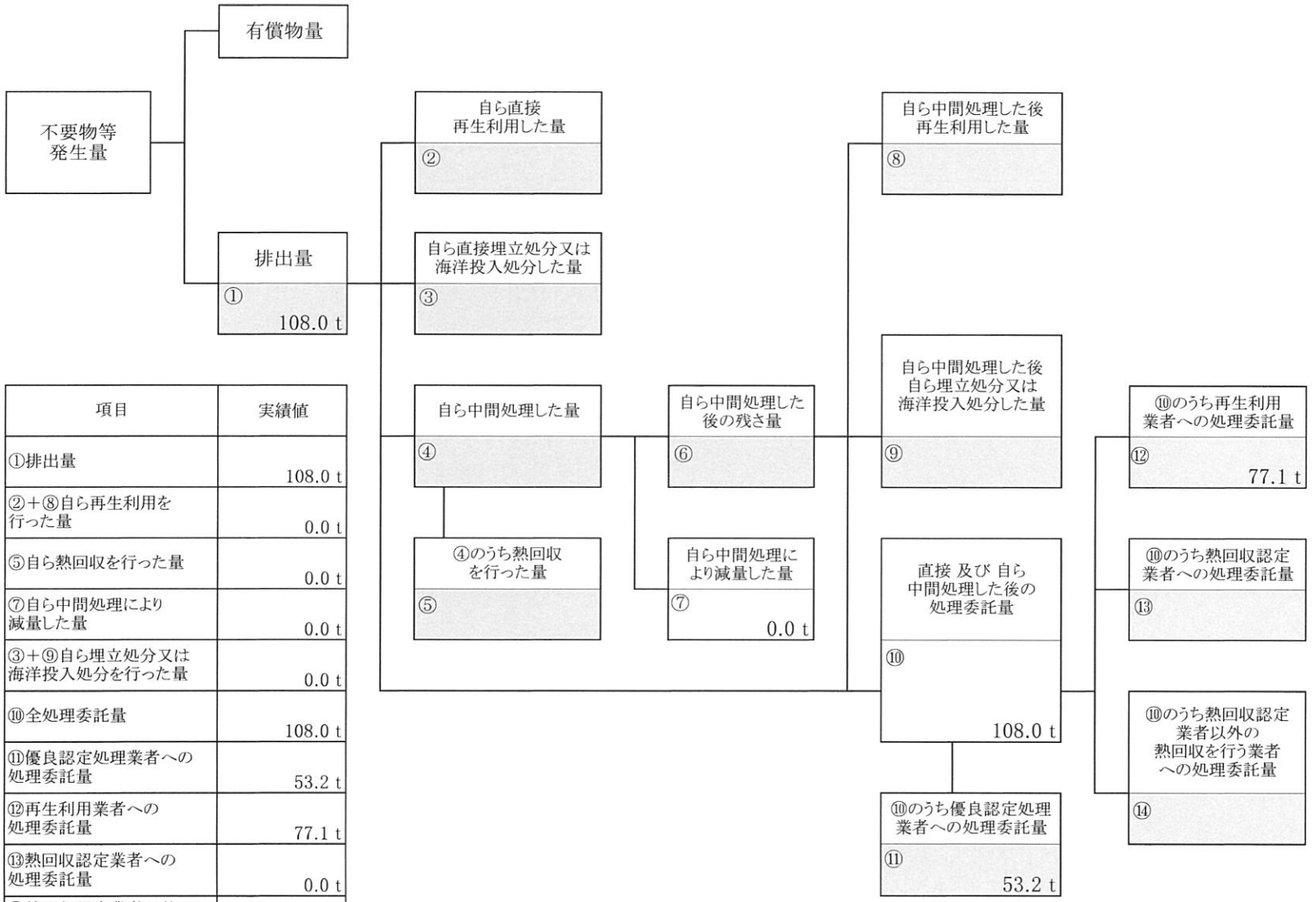


項目	実績値
①排出量	1017.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1017.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	601.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1017.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

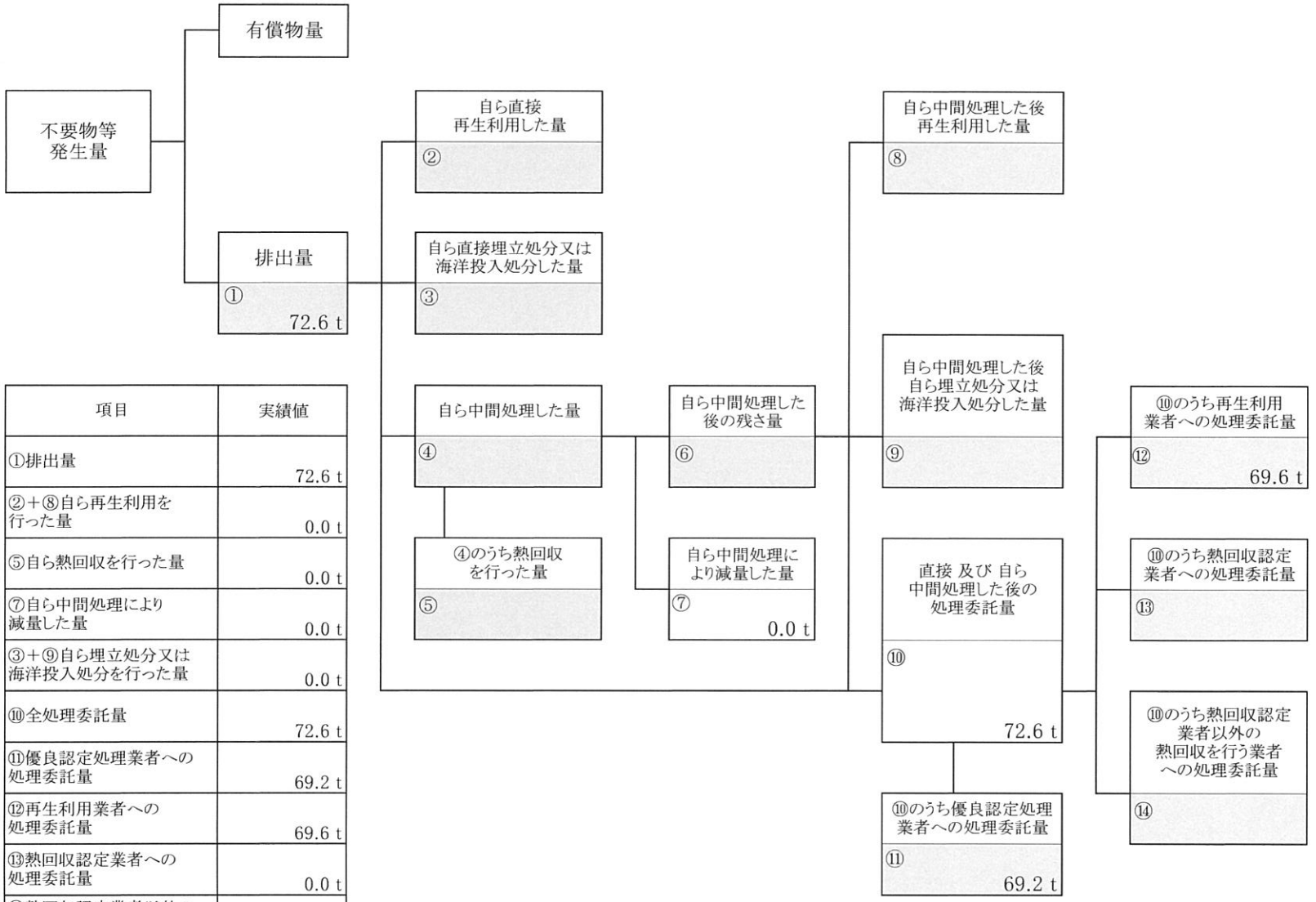


項目	実績値
①排出量	108.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	53.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	77.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

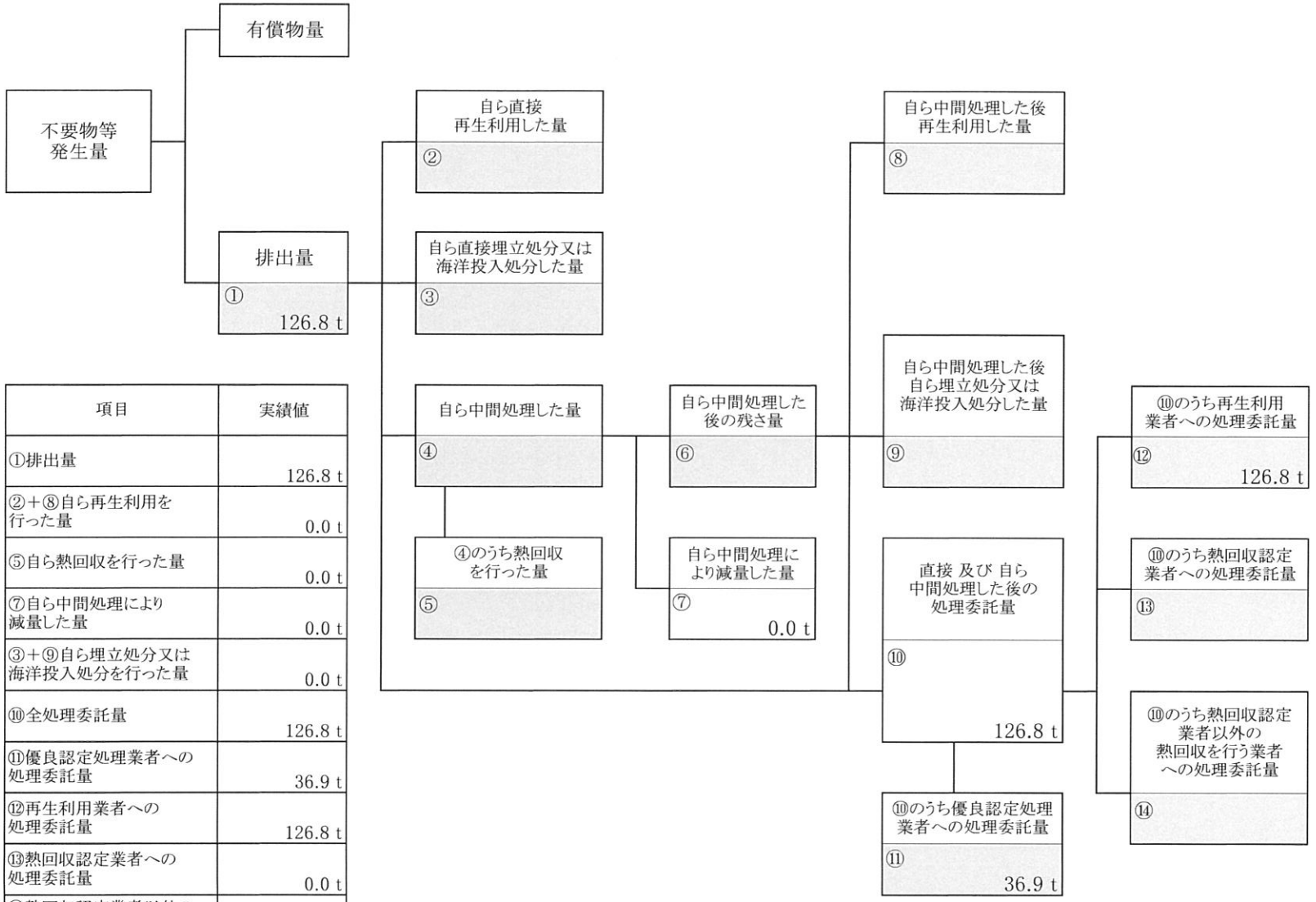


項目	実績値
①排出量	72.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	72.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	69.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	69.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

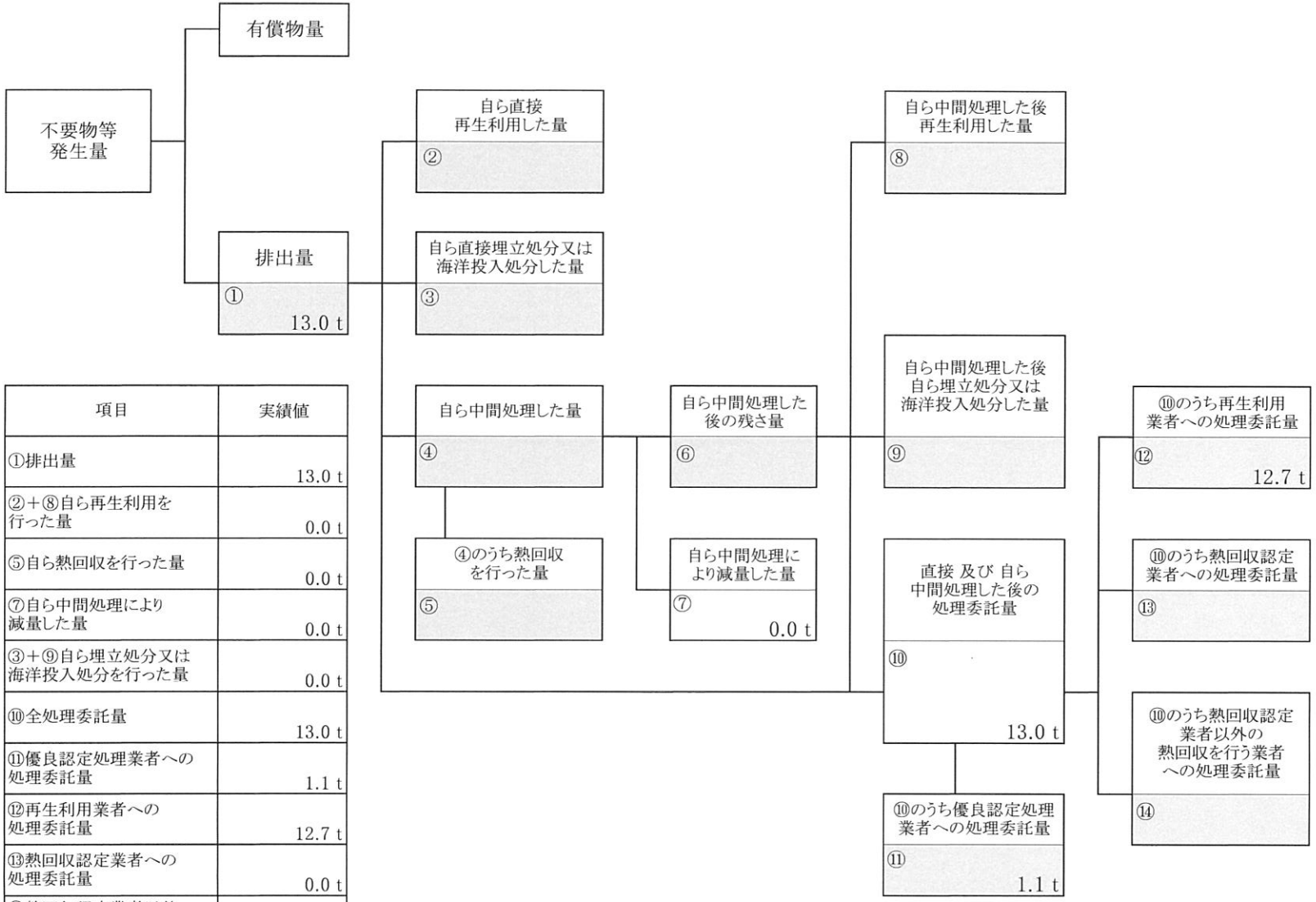


項目	実績値
①排出量	126.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	126.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	126.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

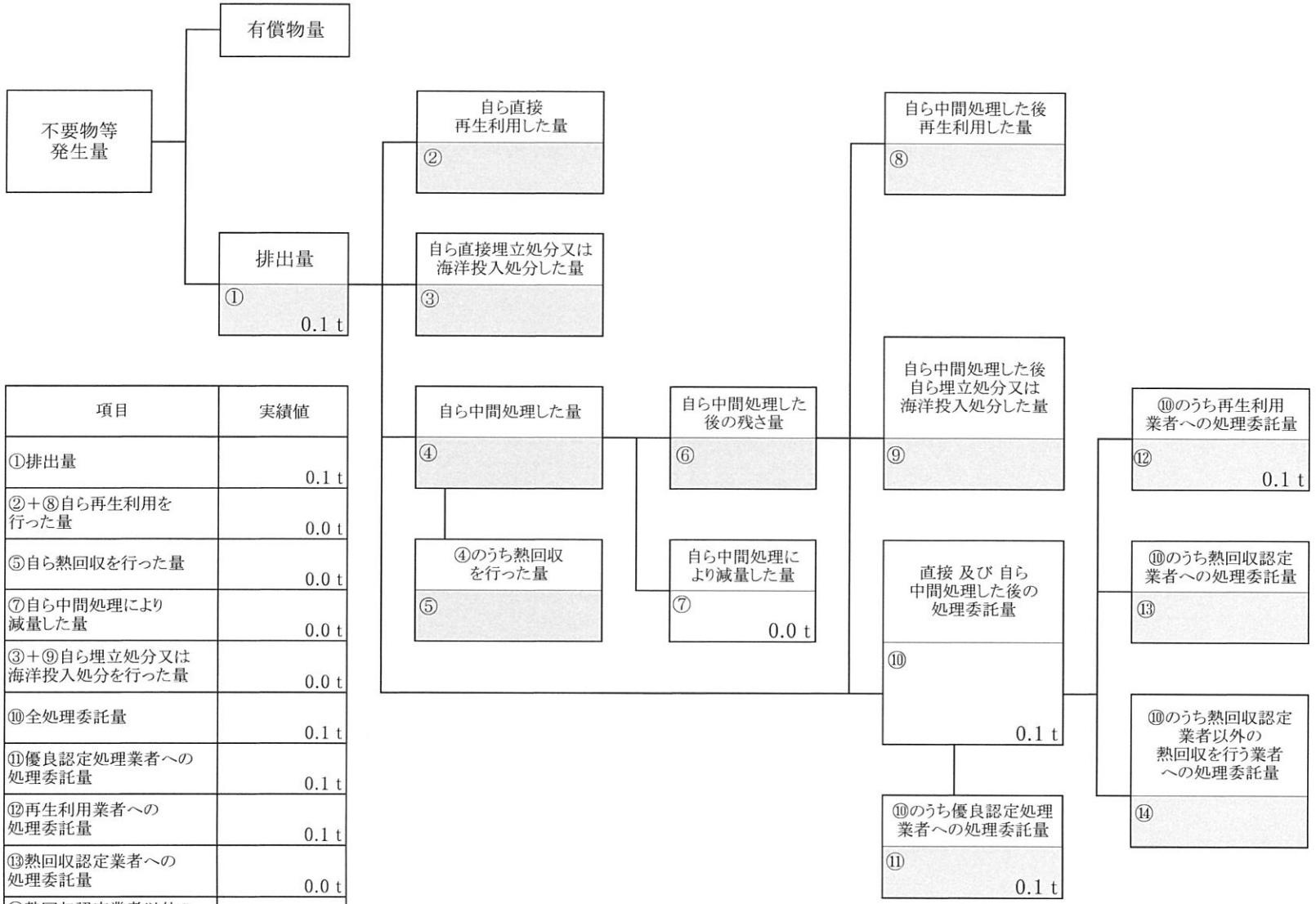


項目	実績値
①排出量	13.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 蛍光灯 ）

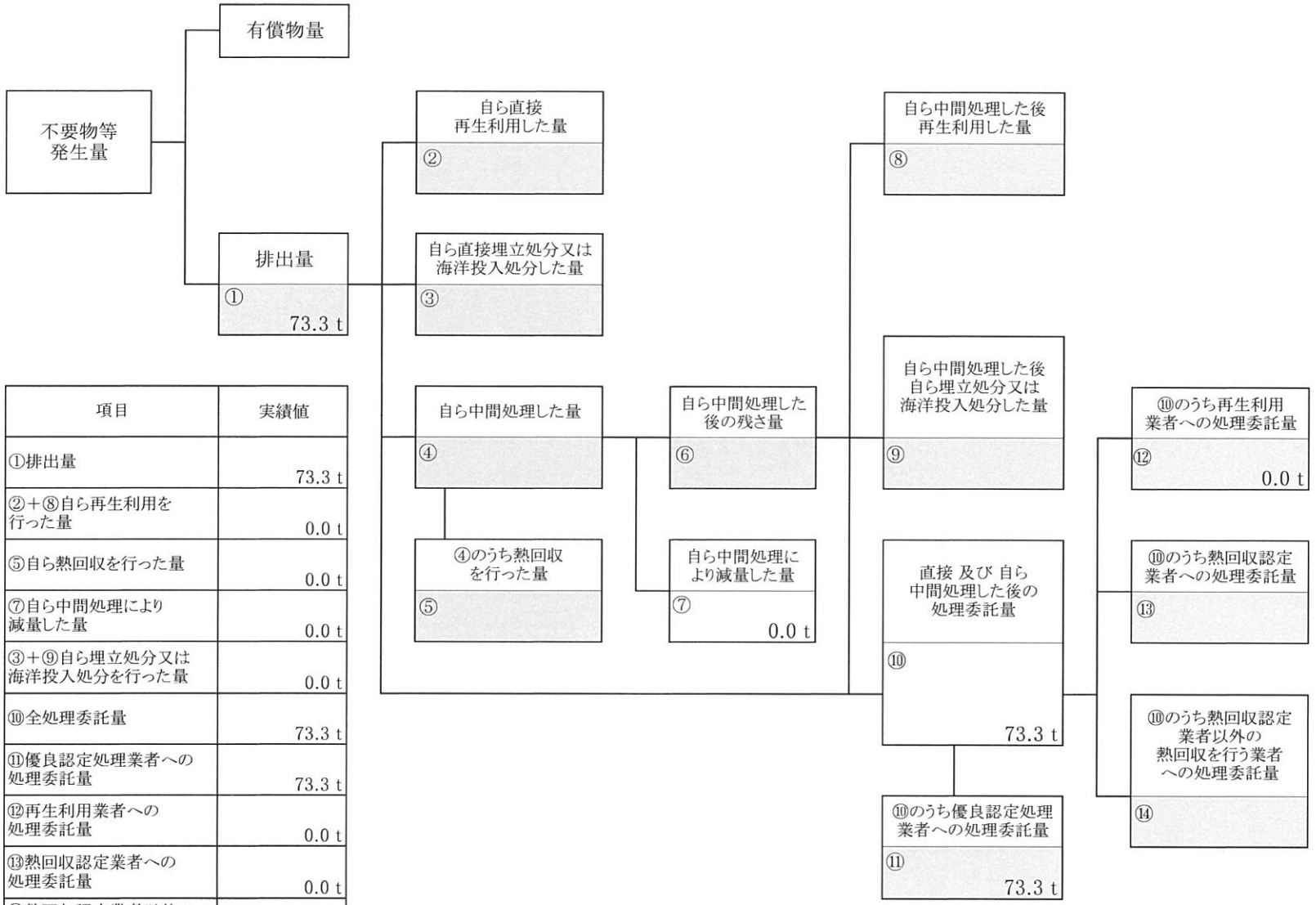


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有）**）

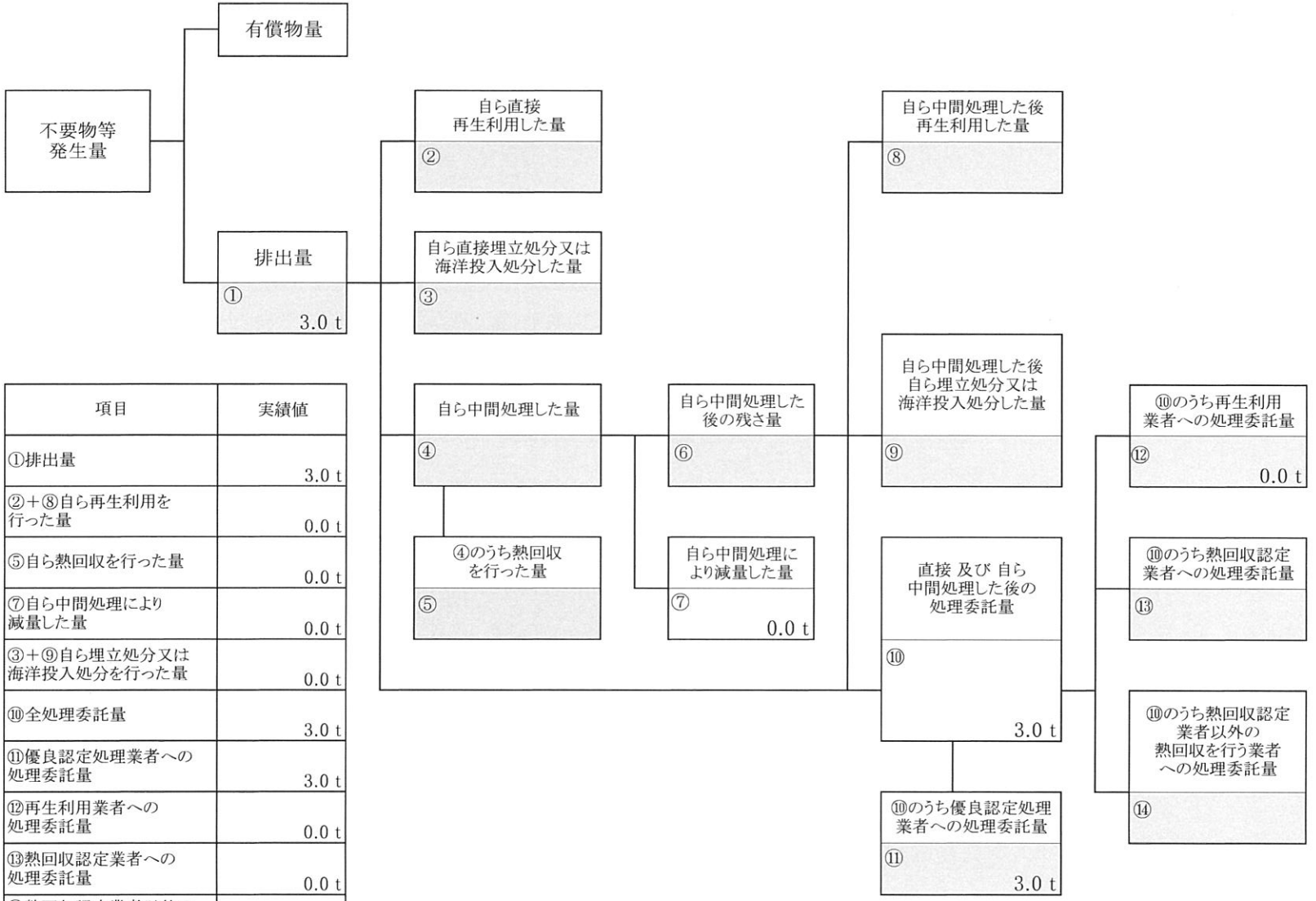


項目	実績値
①排出量	73.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	73.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	73.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がらす・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）**）

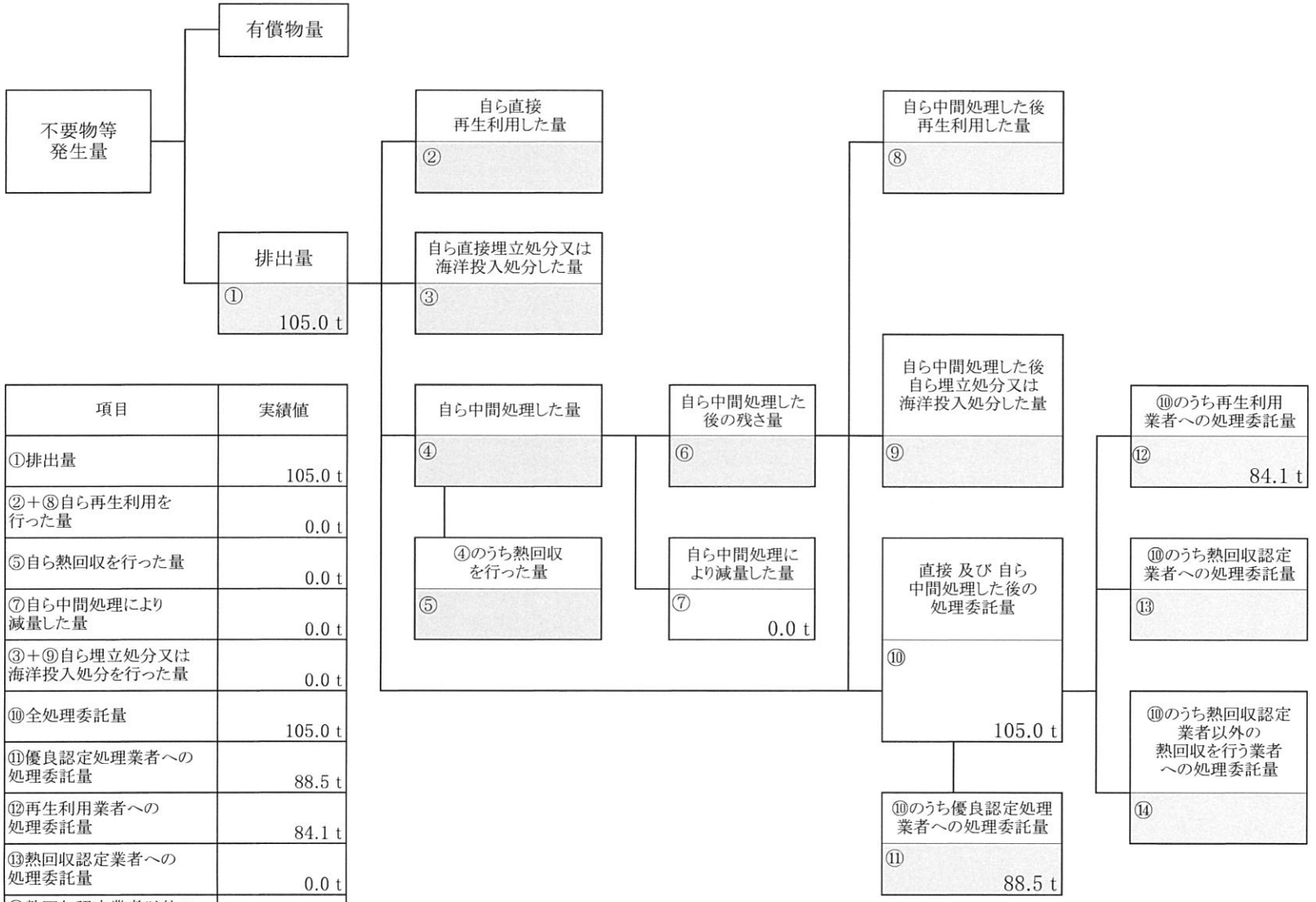


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

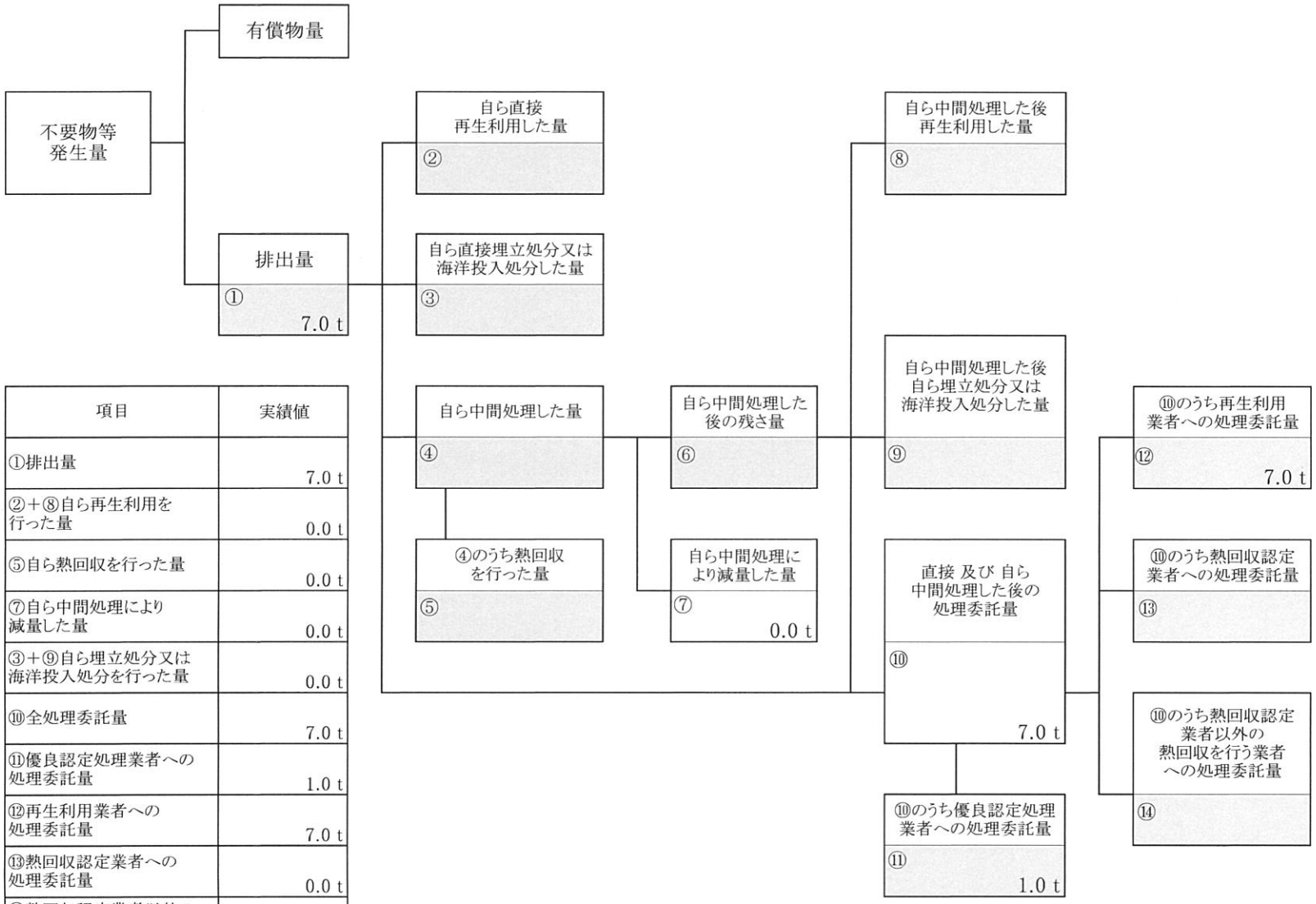


項目	実績値
①排出量	105.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	105.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	88.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	84.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がらす・コンクリート・陶磁器くず**）

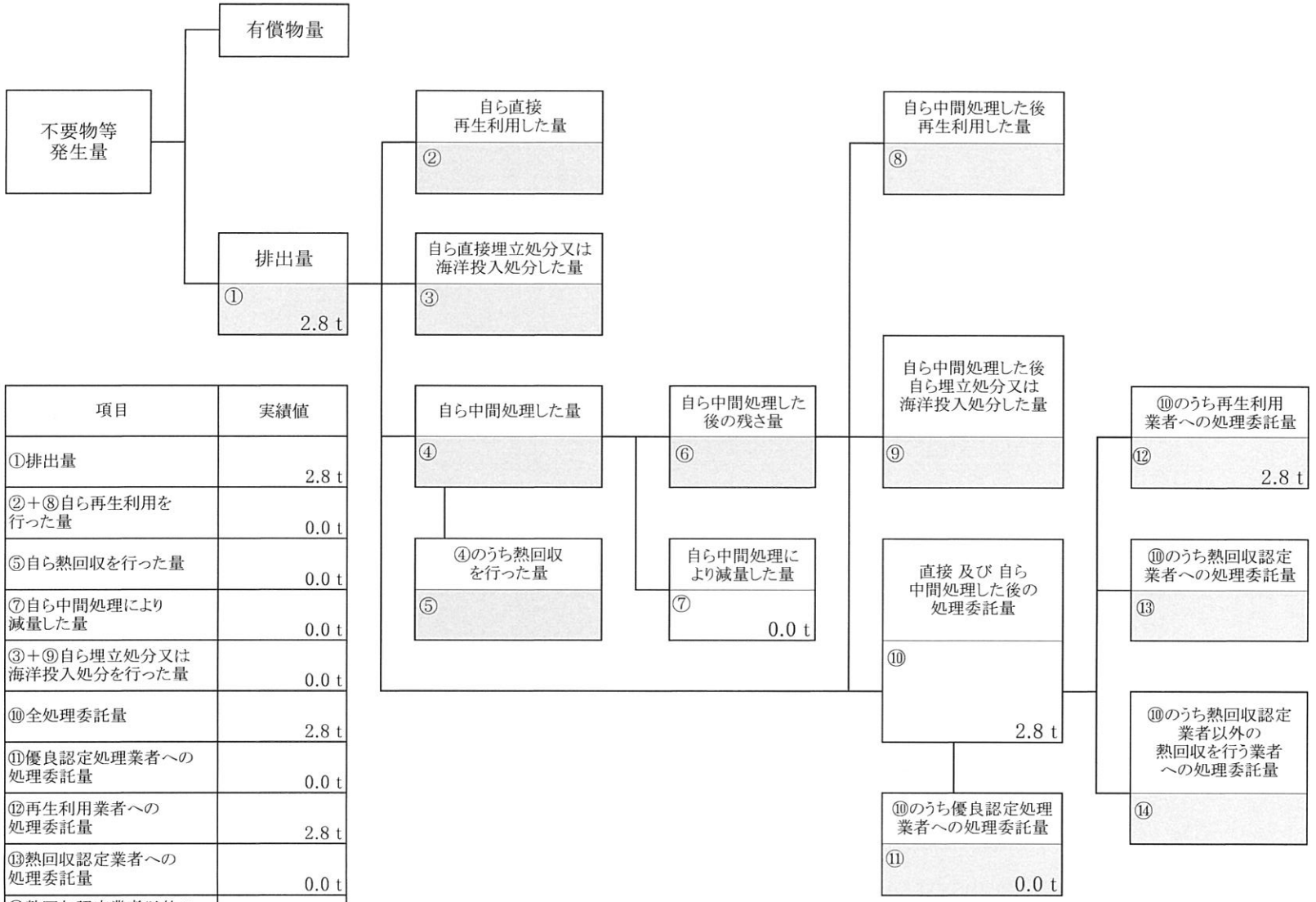


項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設汚泥**）

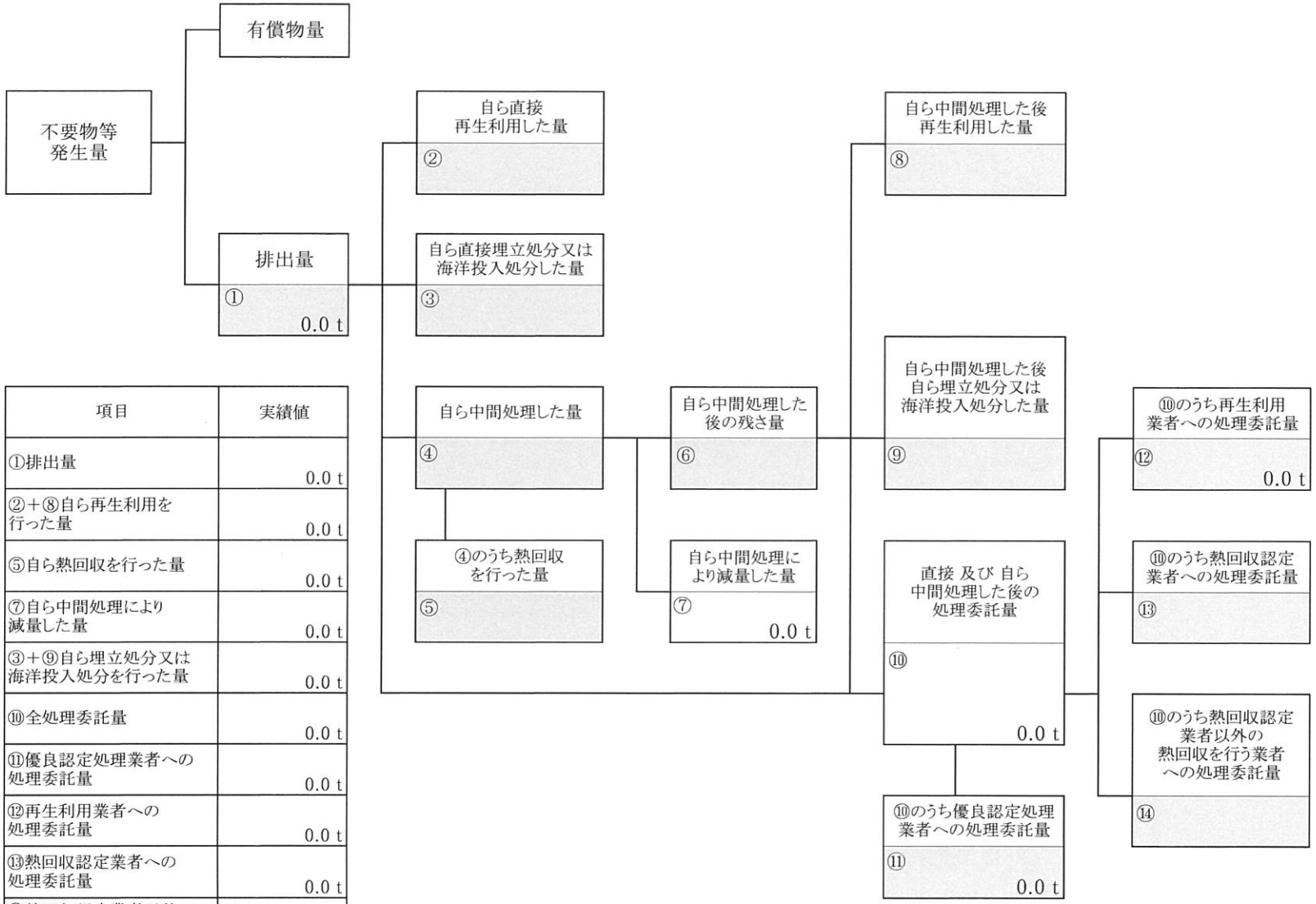


項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃電池類**）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年　5月　 31日

千葉県知事　殿

提出者

住 所　千葉市稲毛区山王町289-3

氏 名　大有建設株式会社　千葉営業所
所長　中村　中

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-422-8551

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

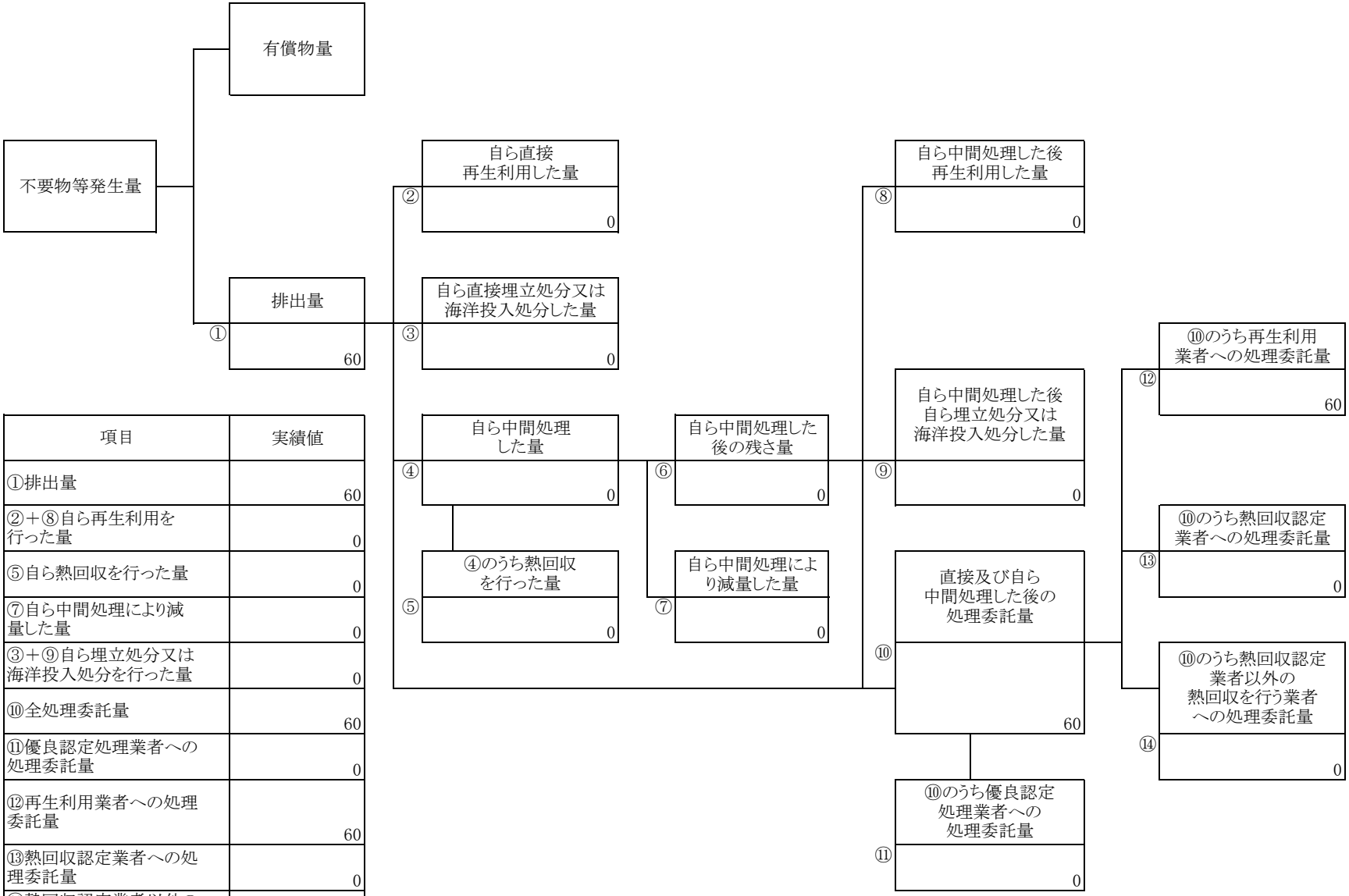
事業場の名称	大有建設株式会社　千葉営業所
事業場の所在地	千葉市稲毛区山王町289-3
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日　から　令和6年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8793 t	全処理委託量	8793 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	8793 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃アスファルト　　）

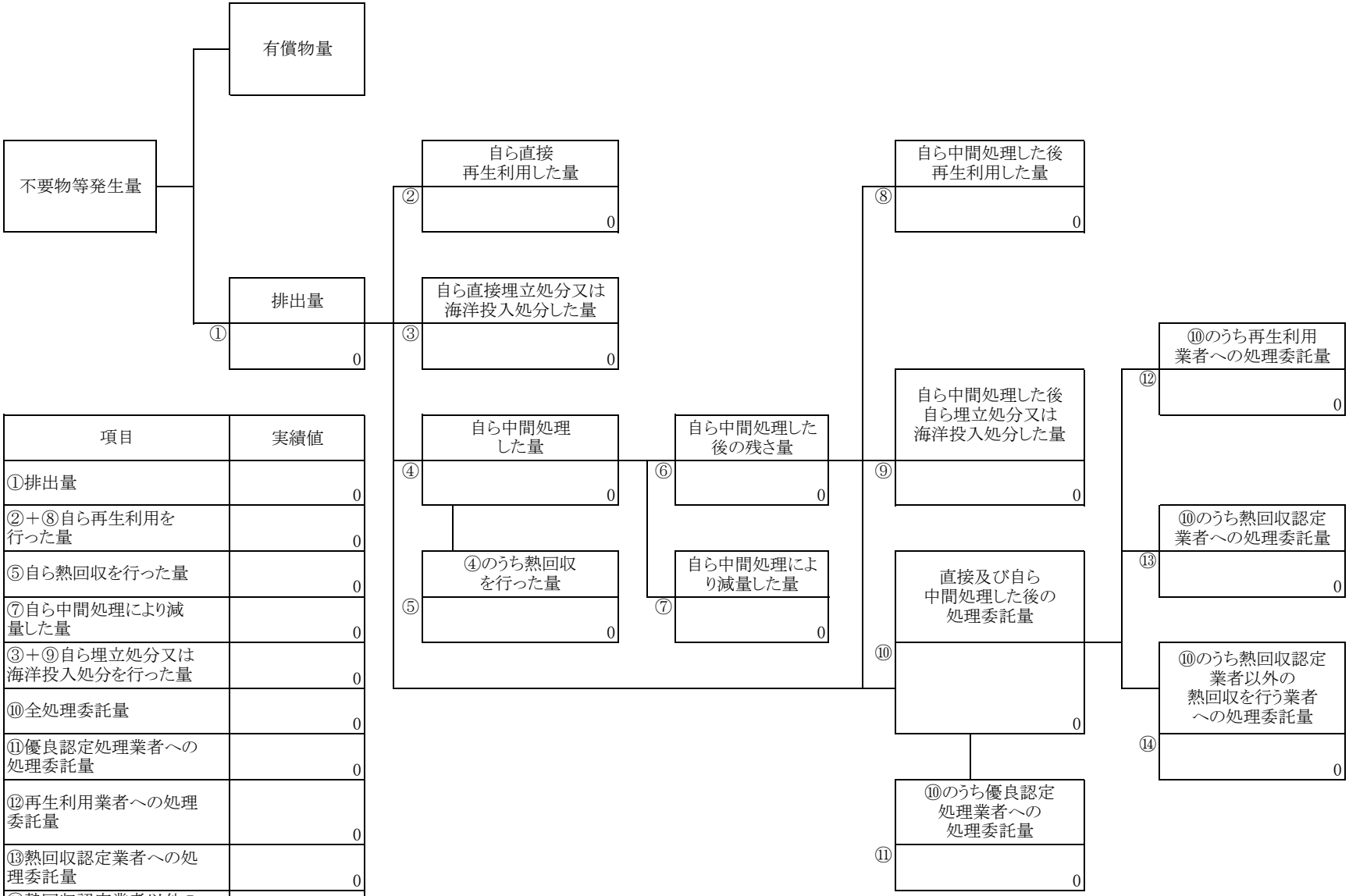


項目	実績値
①排出量	60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

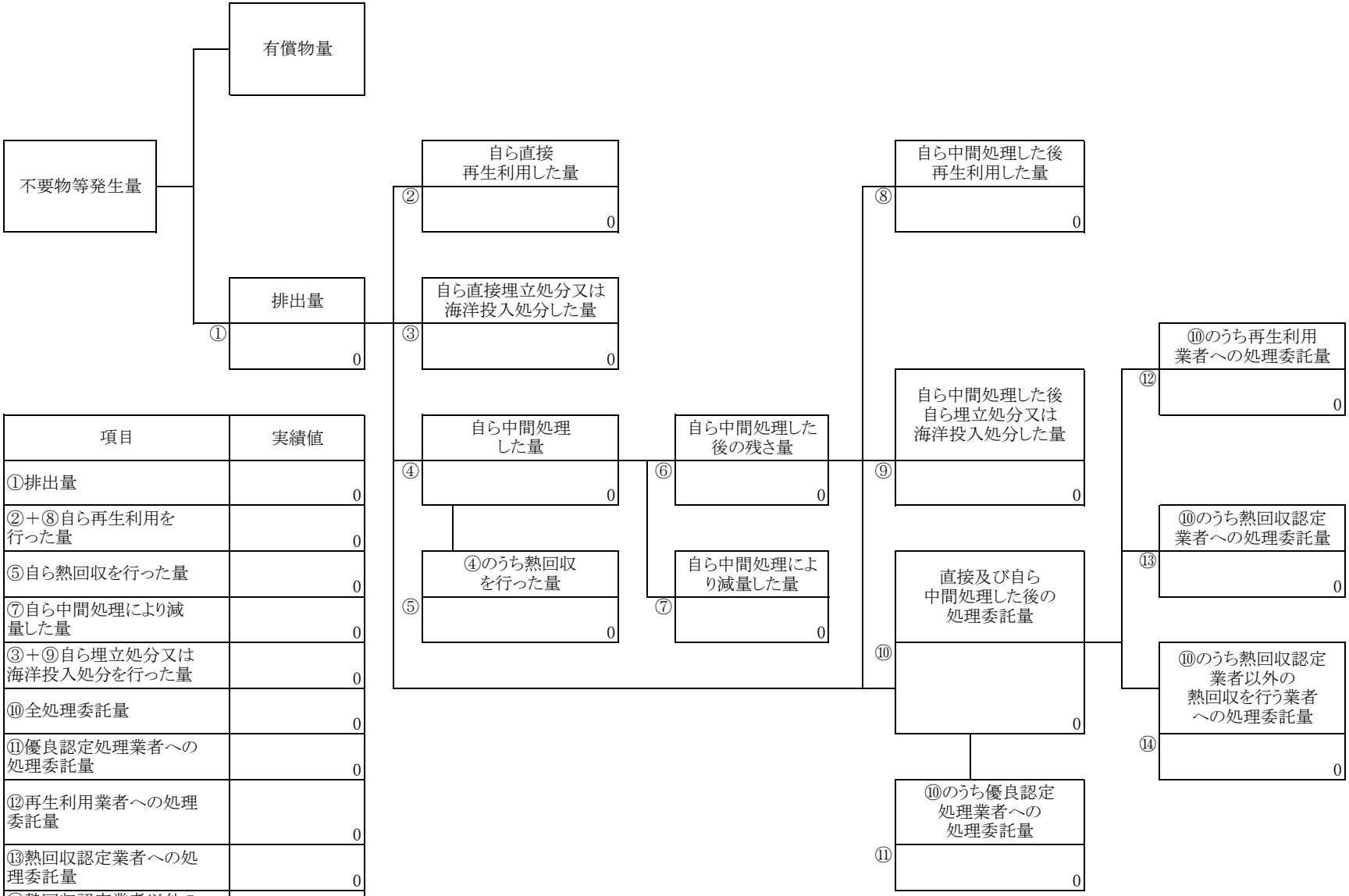
（産業廃棄物の種類：コンクリート片　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

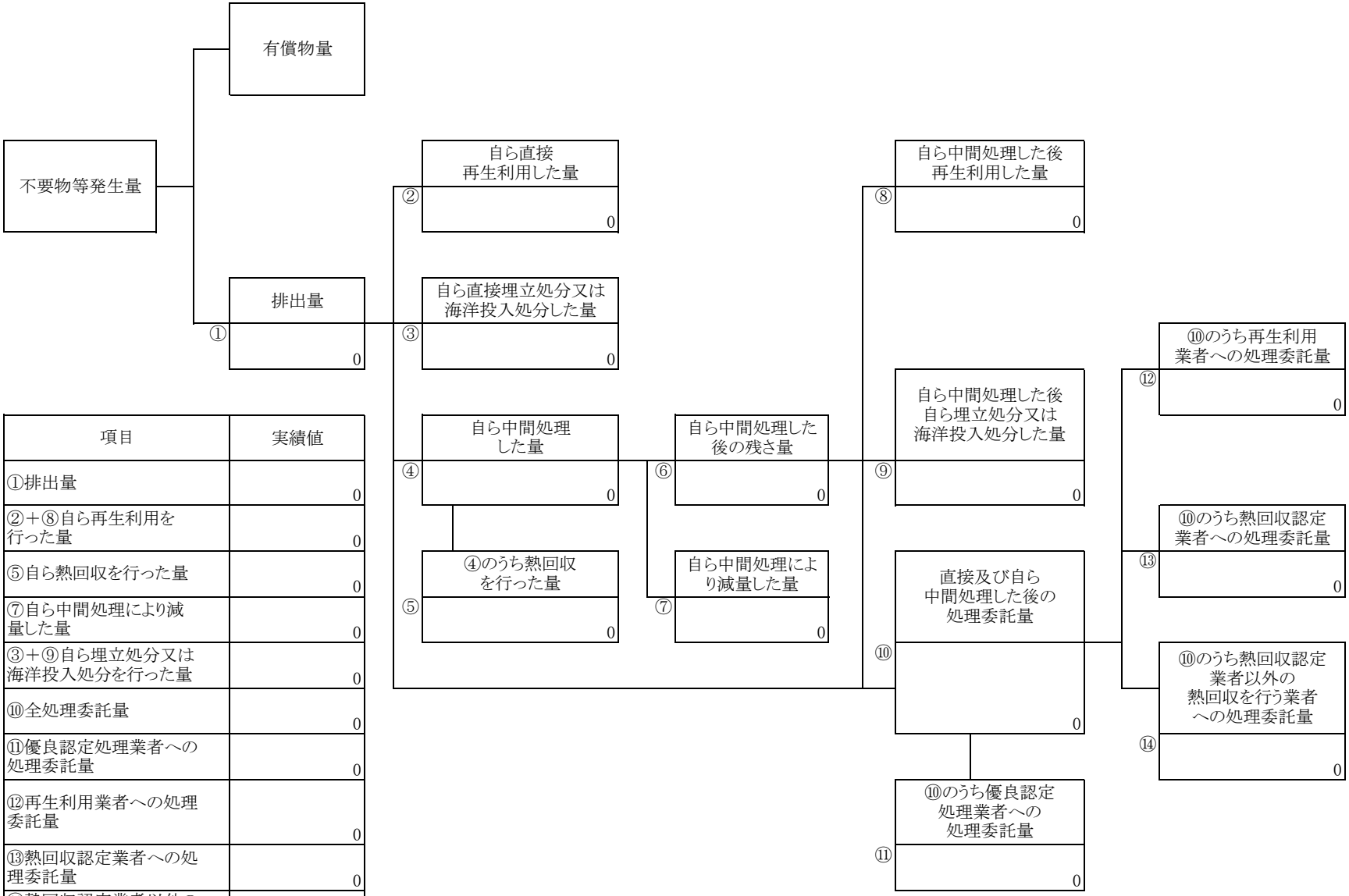
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：その他がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

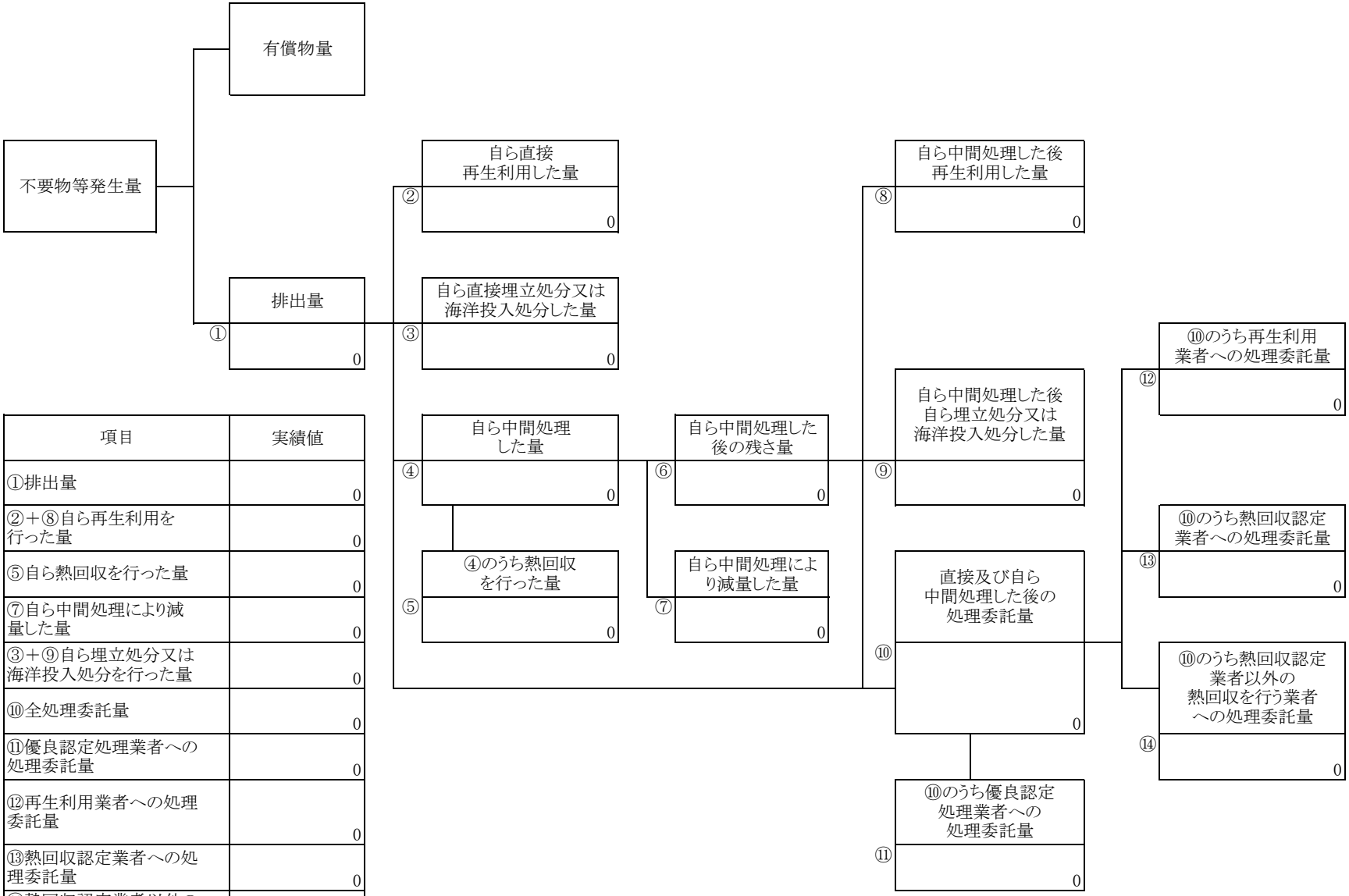
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

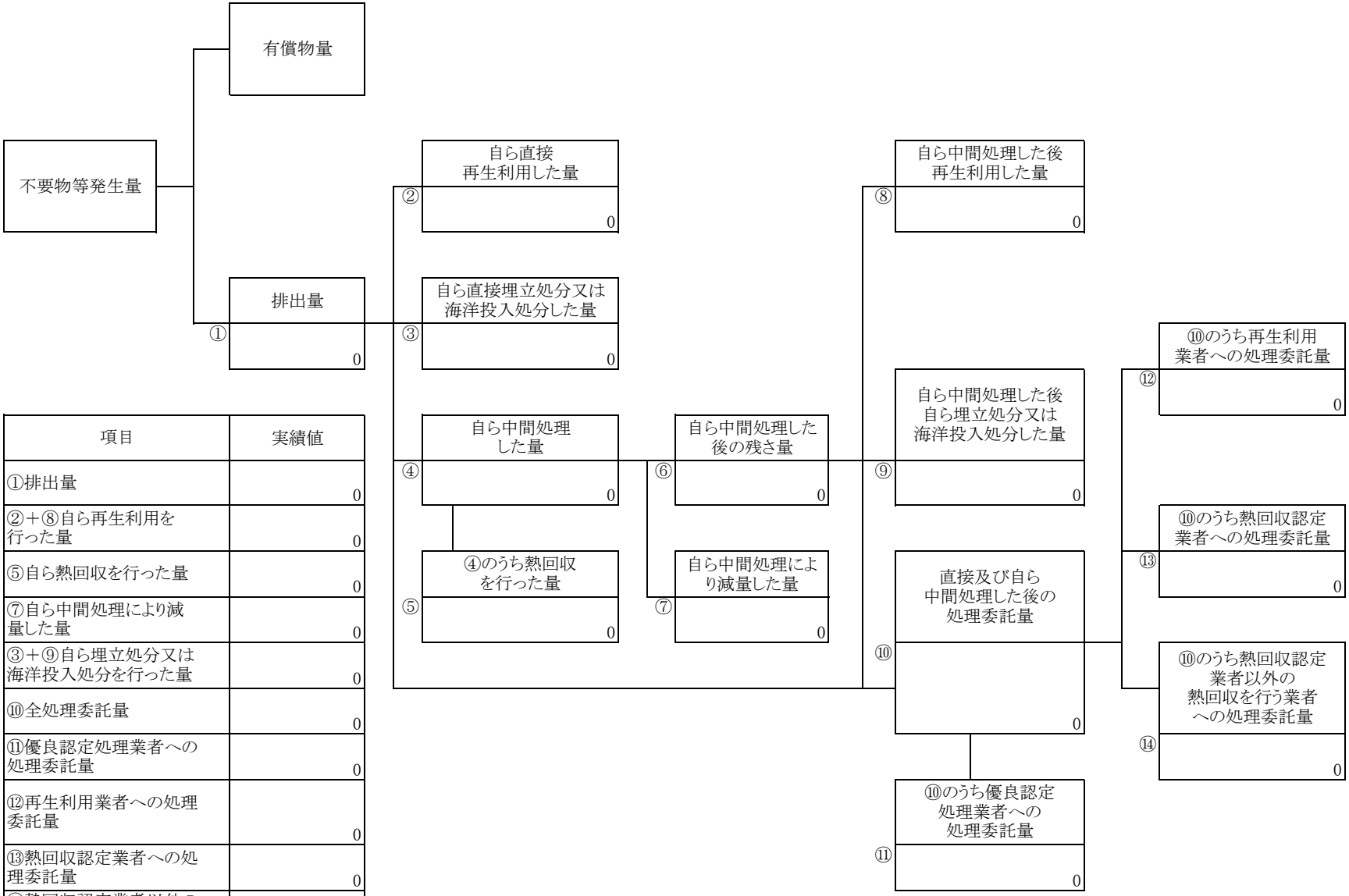
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月12日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　310-0851

住　所　茨城県水戸市千波町1950ウェーブ21ビル3階A

法人名　株式会社大洋

代表者　堀籠　亜利

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　029-305-3321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大洋
事業場の所在地	千葉県内（千葉市、船橋市、柏市を除く）各工事現場
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　2,022,988千円（前年度実績）
③従業員数	30名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	35.94 t	1.71 t

（これまでに実施した取組）
・分別を徹底し、排出量を抑制する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	32.35 t	1.54 t

（今後実施する予定の取組）
同上

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・コンクリートガラと金属をできる限り分別する。
・混合廃棄物をできる限り少なくする。
・木くずが大量に出る物件では、種類別に分別する。
・石綿含有建材の分別の徹底。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃油
全処理委託量		35.94 t	1.71 t
	優良認定処理業者への処理委託量	35.94 t	1.71 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・委託基準に従って、適正な許可業者に委託する。
・マニフェスト伝票の管理を適正に行う。
・電子マニフェストを活用し、データの透明性、事務処理の適正化を図る。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>32.35 t</td><td>1.54 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>32.35 t</td><td>1.54 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・現在取り組んでいる事項の徹底、継続実施。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別紙 処理工程

各解体工事現場より排出
↓
産業廃棄物処理業者に全量委託して処分
・コンクリートがら、アスがら、木くず、ガラス・陶磁器くず
　廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、石膏ボード
　} 破砕、溶融、焼却　⇒　再利用

・建設混合廃棄物　⇒　分別　⇒　破砕、溶融　⇒　再利用

・石綿含有建材　⇒埋立

別紙 管理体制

【工事部】 ⇒ 廃棄物処理方針の策定

⇓

工事本部長(廃棄物管理担当部長)

・廃棄物処理方針の策定

⇓ ・廃棄物処理方針の策定処理業者の選定及び管理

・委託契約の締結

各作業所長

⇓ ・廃棄物の委託、監視

・マニフェスト伝票(紙・電子)の交付・管理

社内にて、マニフェスト伝票(紙・電子)の集計、管理、保管

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
		排出量	35.94 t	1.71 t	7.00 t	189.20 t	1.50 t	1.05 t	11,690.00 t	690.00 t	7.40 t	33.80 t	1.50 t							
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
		排出量	32.35 t	1.54 t	6.30 t	170.28 t	1.35 t	0.95 t	10,521.00 t	621.00 t	6.66 t	30.42 t	1.35 t							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
全処理委託量	35.94 t	1.71 t	7.00 t	189.20 t	1.50 t	1.05 t	11,690.00 t	690.00 t	7.40 t	33.80 t	1.50 t							
優良認定処理業者への処理委託量	35.94 t	1.71 t	7.00 t	1.65 t	1.50 t	1.05 t	2,970.00 t	0.00 t	7.40 t	33.80 t	0.00 t							
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,200.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.50 t							
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品							
全処理委託量	32.35 t	1.54 t	6.30 t	170.28 t	1.35 t	0.95 t	10,521.00 t	621.00 t	6.66 t	30.42 t	1.35 t							
優良認定処理業者への処理委託量	32.35 t	1.54 t	6.30 t	1.49 t	1.35 t	0.95 t	2,673.00 t	0.00 t	6.66 t	30.42 t	0.00 t							
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,080.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.35 t							
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月12日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　310-0851

住所 茨城県水戸市千波町1950ウェーブ21ビル3階A

法人名 株式会社 大洋

代表者 勝山 純至

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 029-305-3321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 大洋
事業場の所在地	千葉県内(千葉市、船橋市、柏市を除く)各工事現場
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

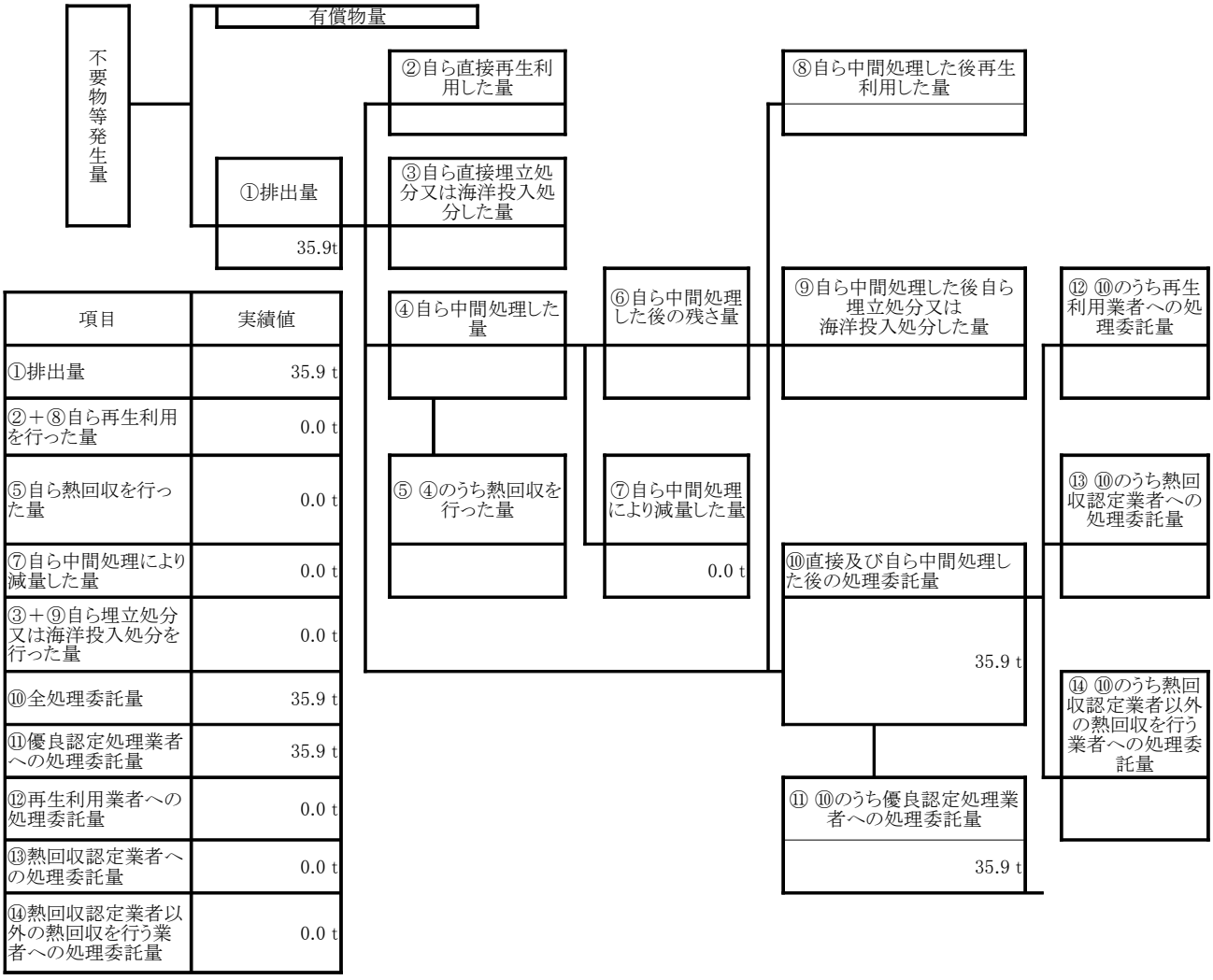
項目	目標値	項目	目標値
排出量	70022.34 t	全処理委託量	70022.34 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	6851.16 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1933.57 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

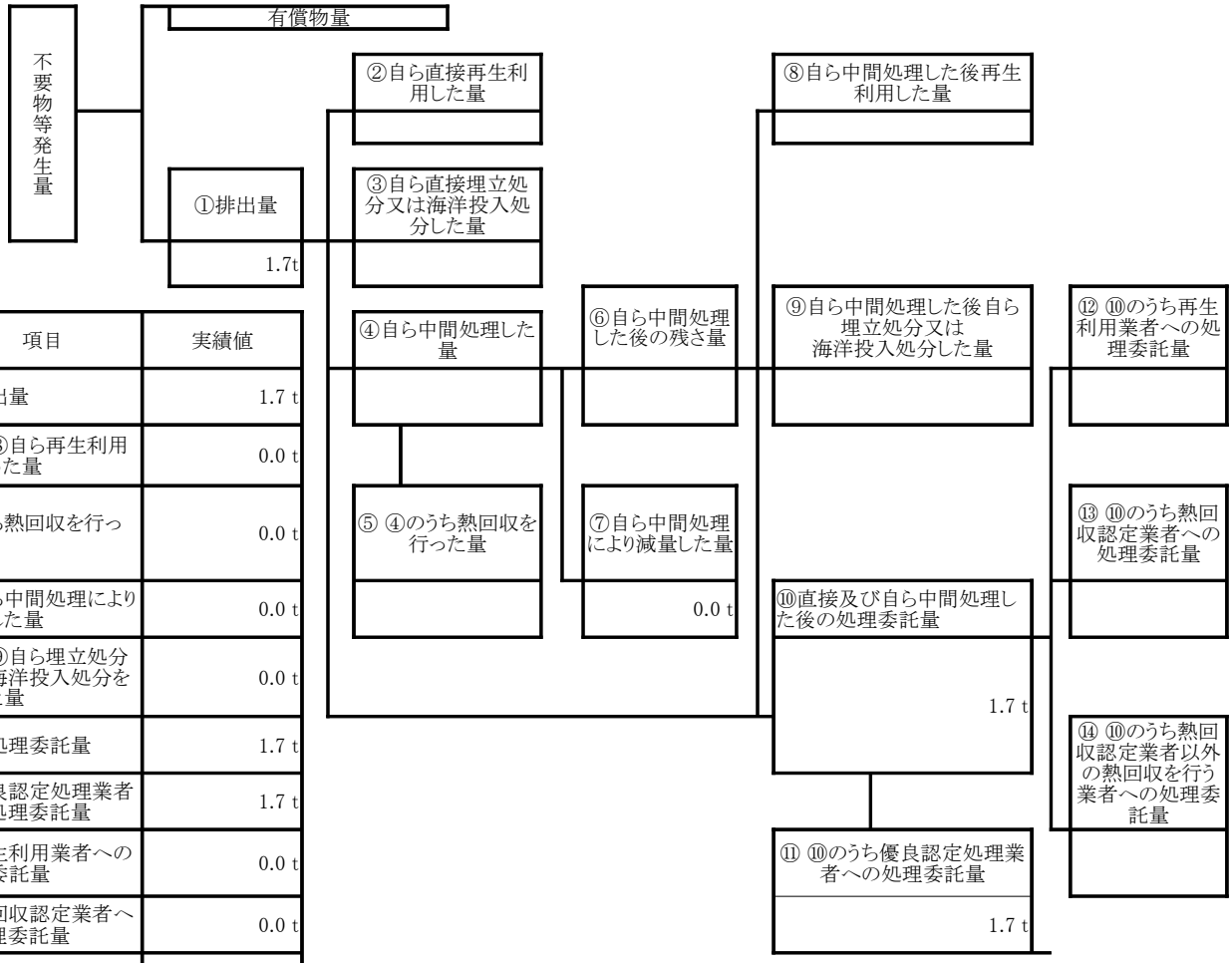


項目	実績値
①排出量	35.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

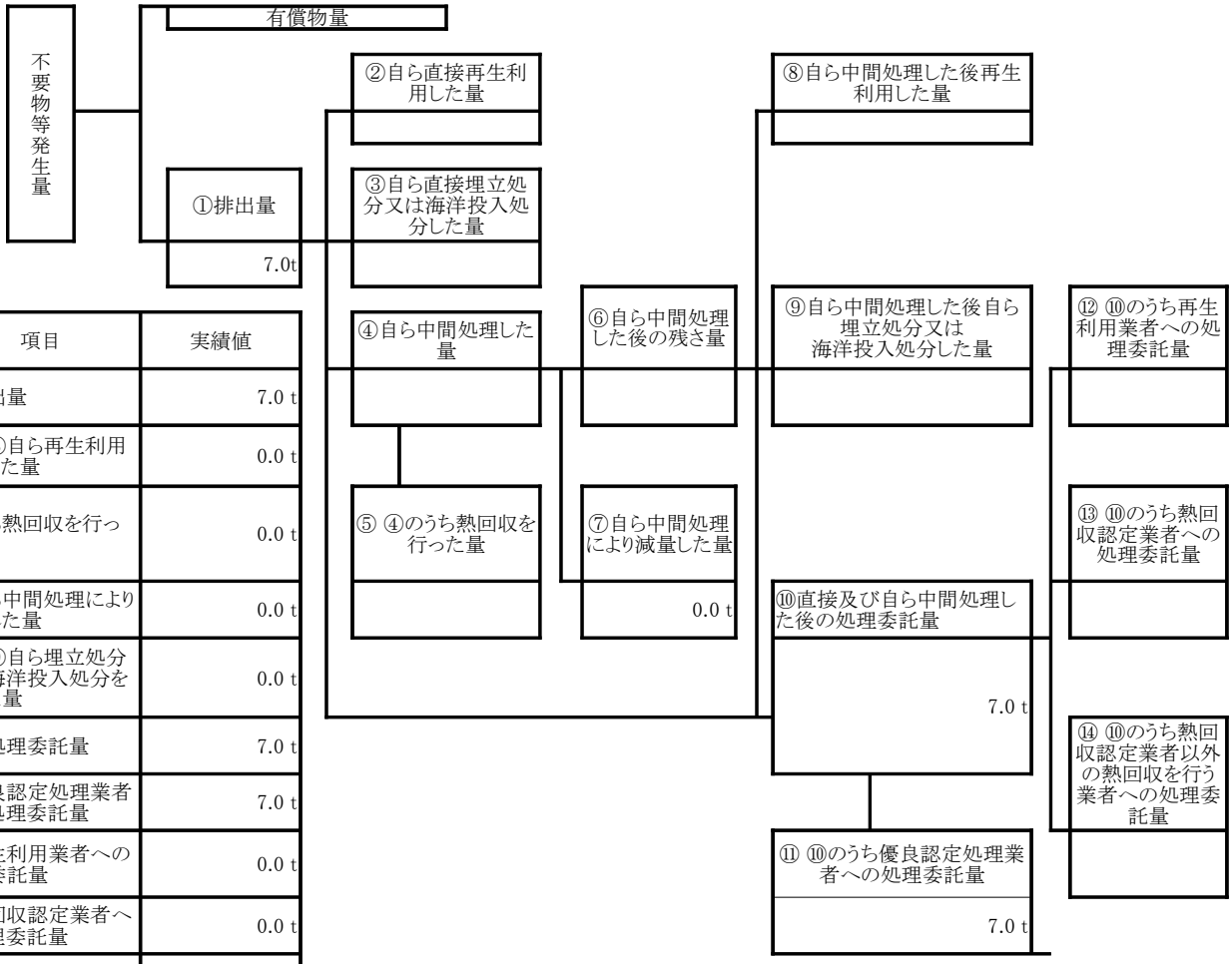


項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



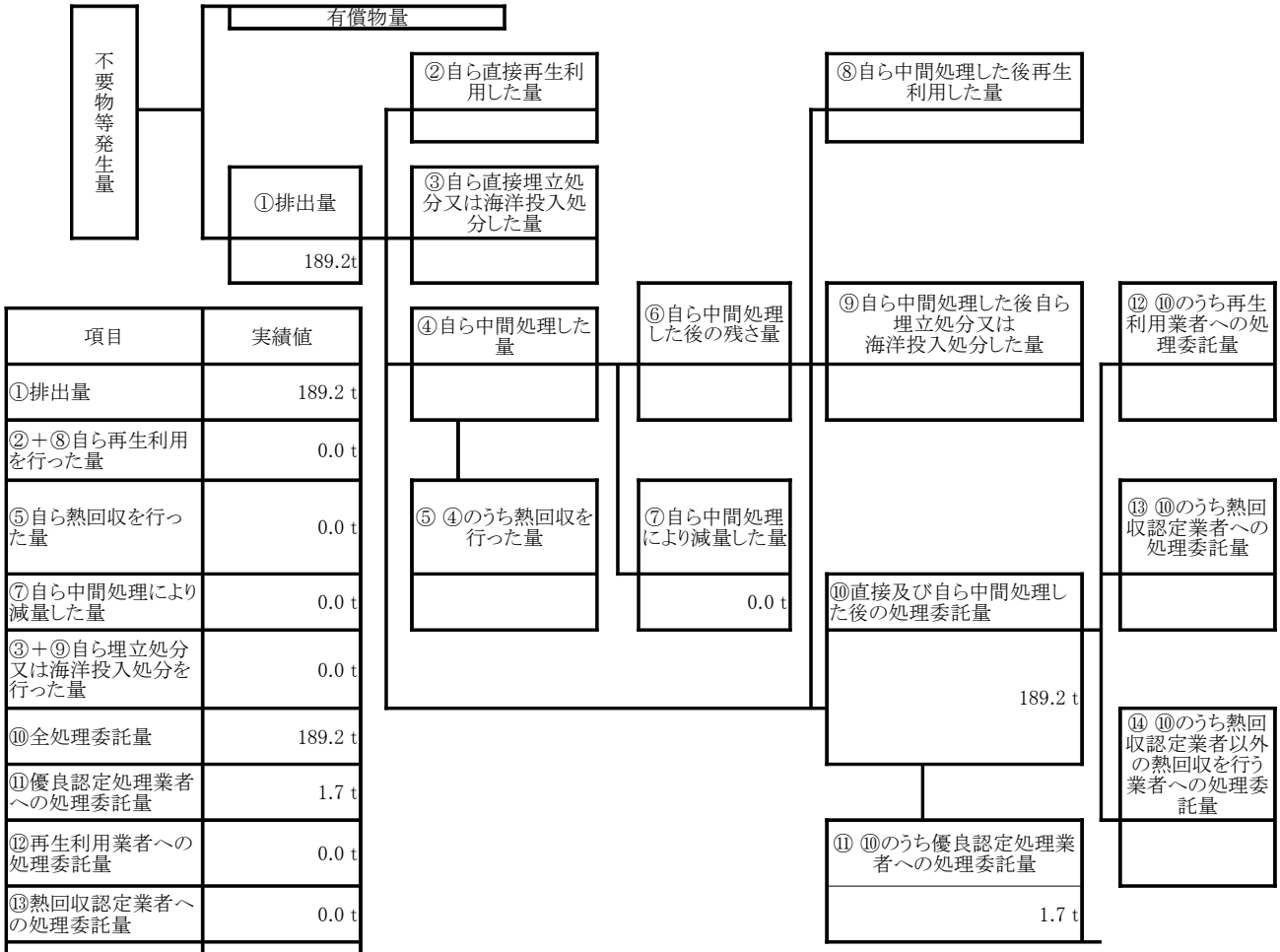
項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

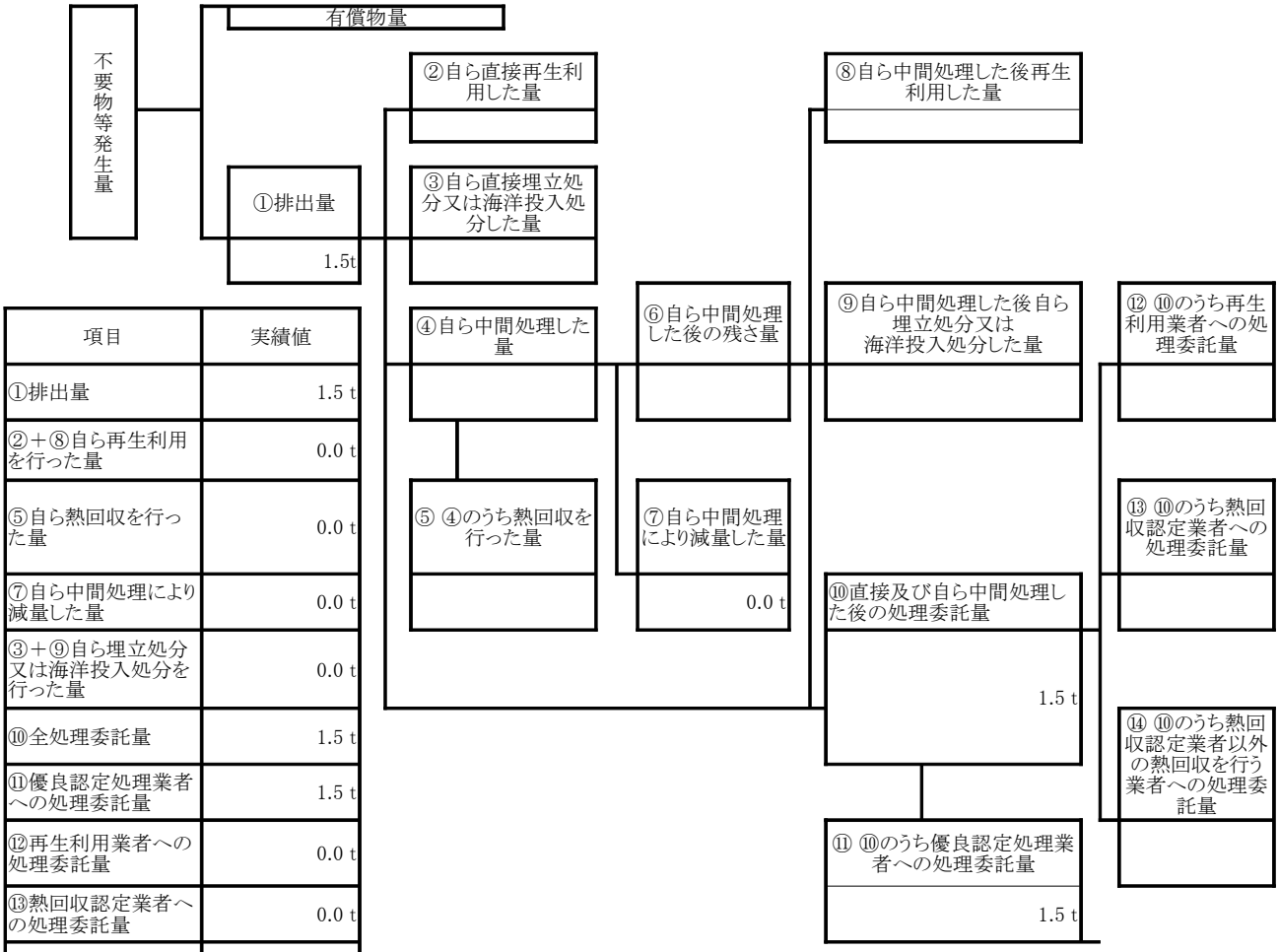


項目	実績値
①排出量	189.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	189.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

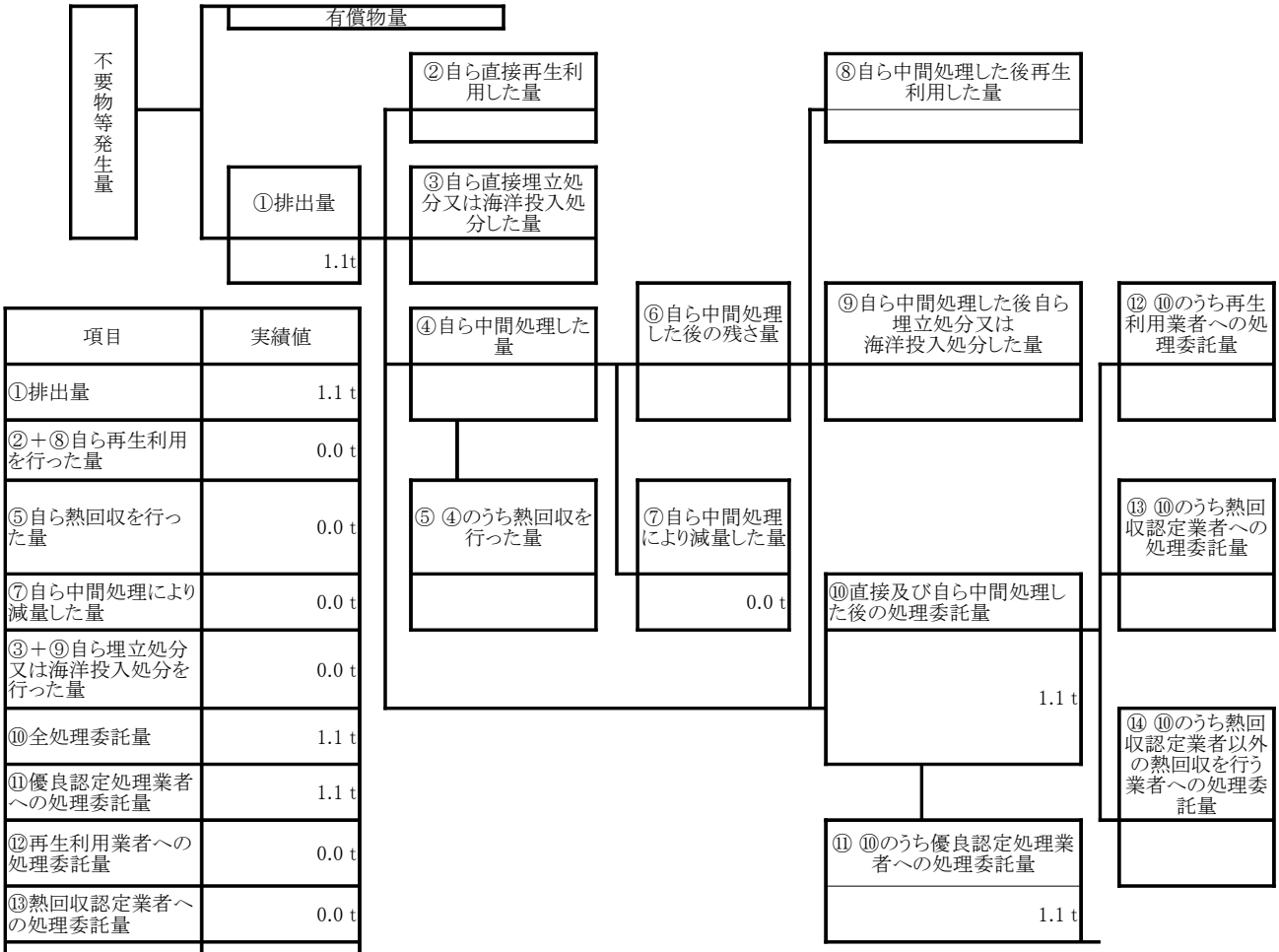


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



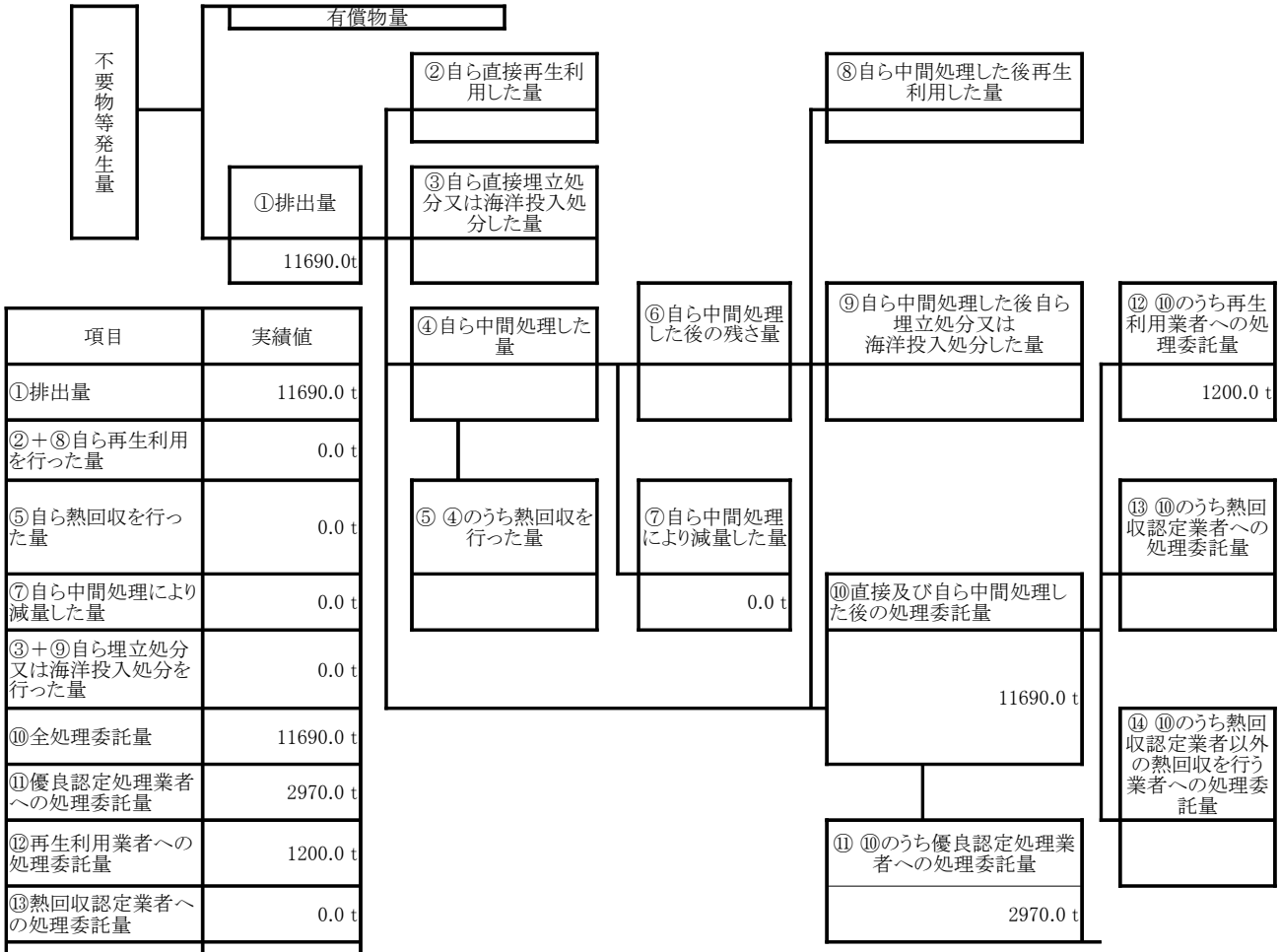
項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



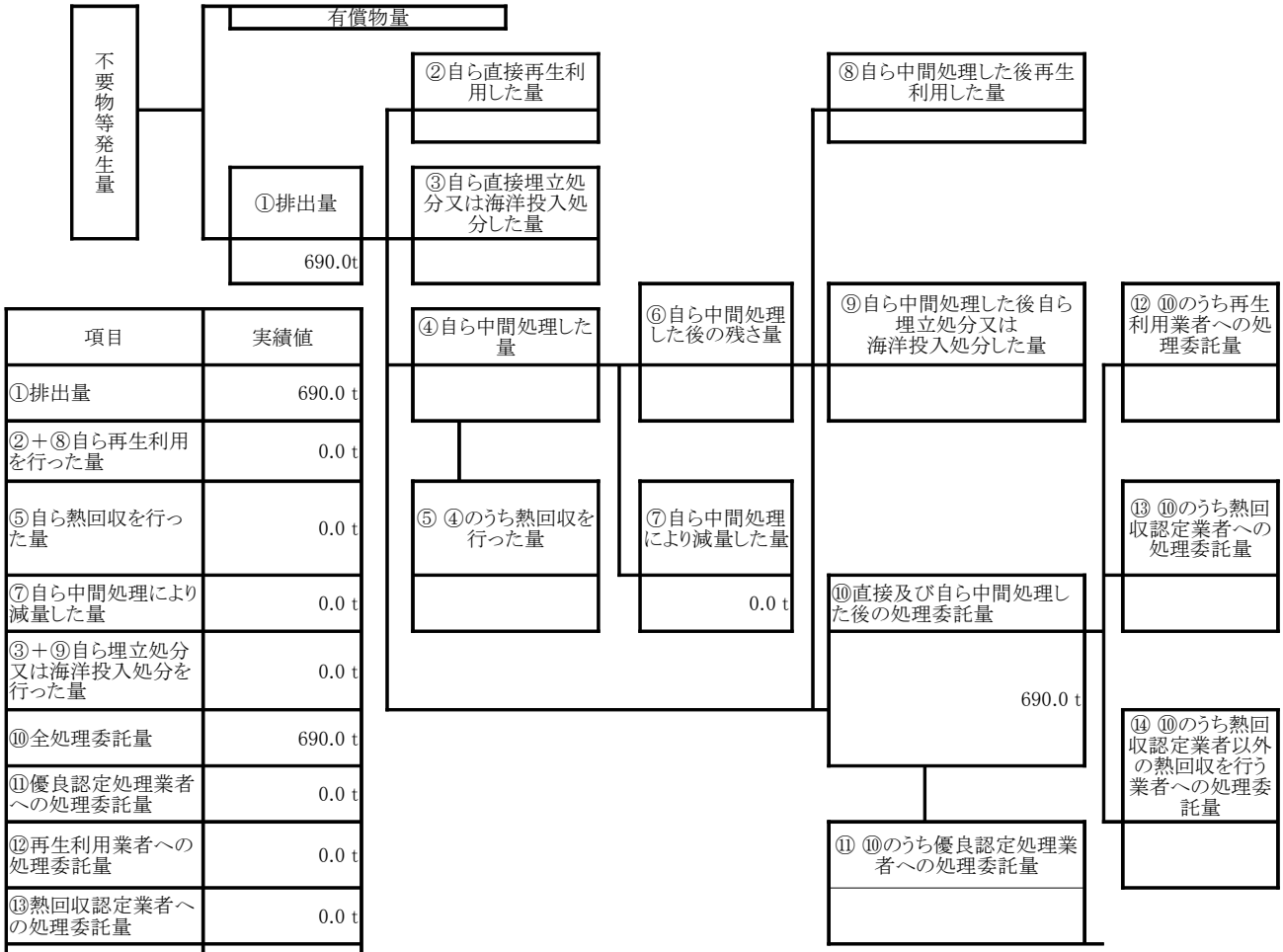
項目	実績値
①排出量	11690.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11690.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2970.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1200.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: アス・コン片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

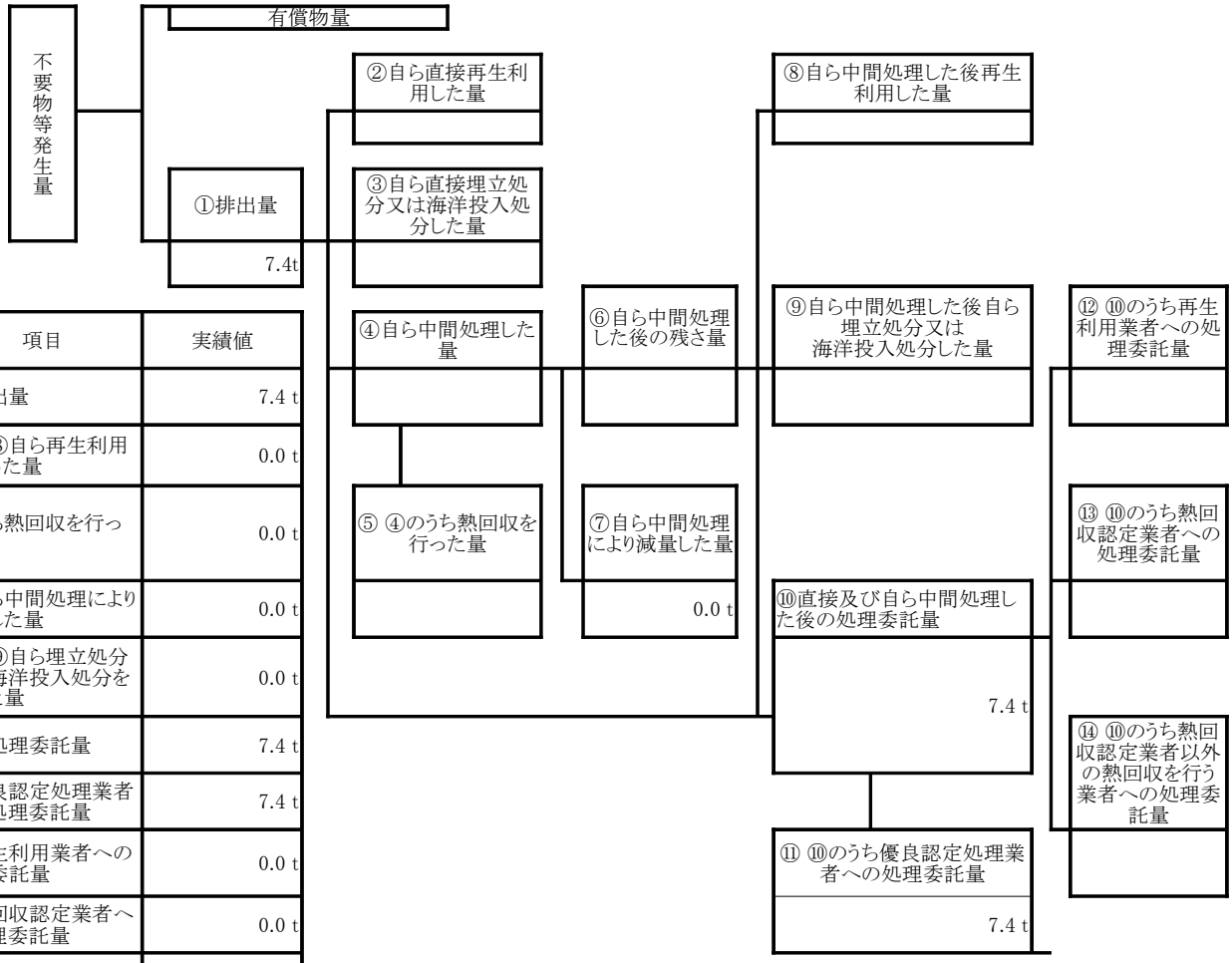


項目	実績値
①排出量	690.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	690.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

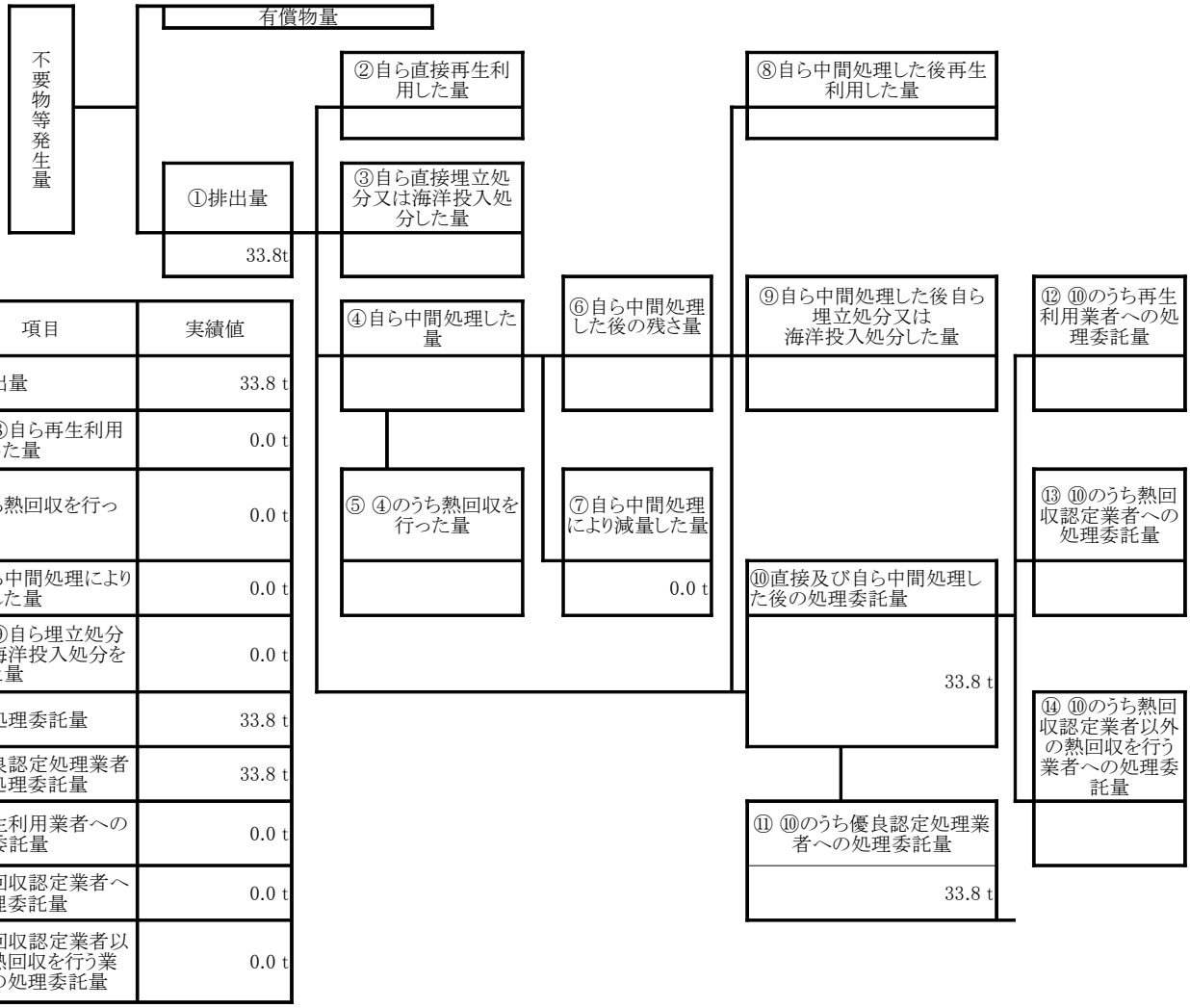


項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

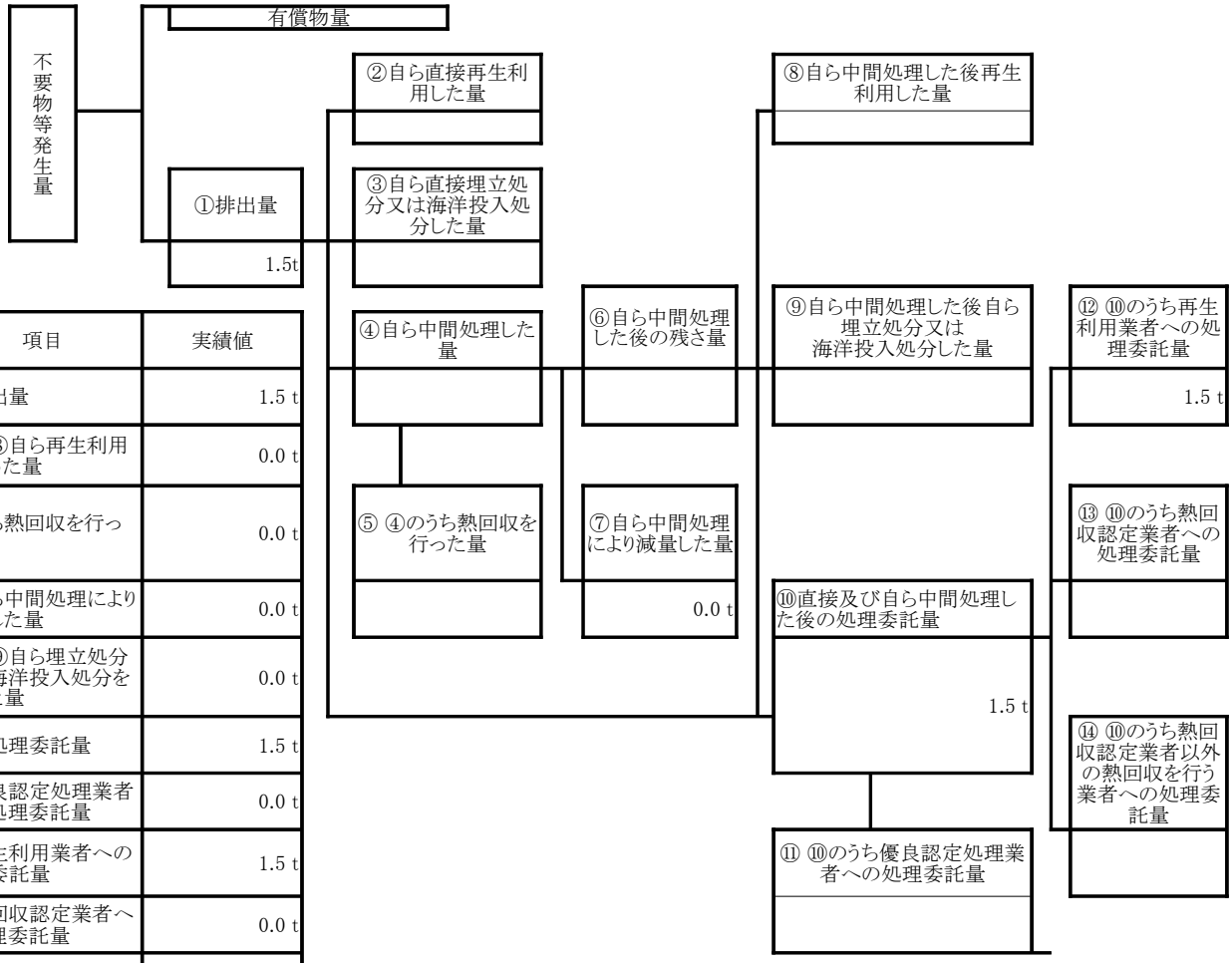


項目	実績値
①排出量	33.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



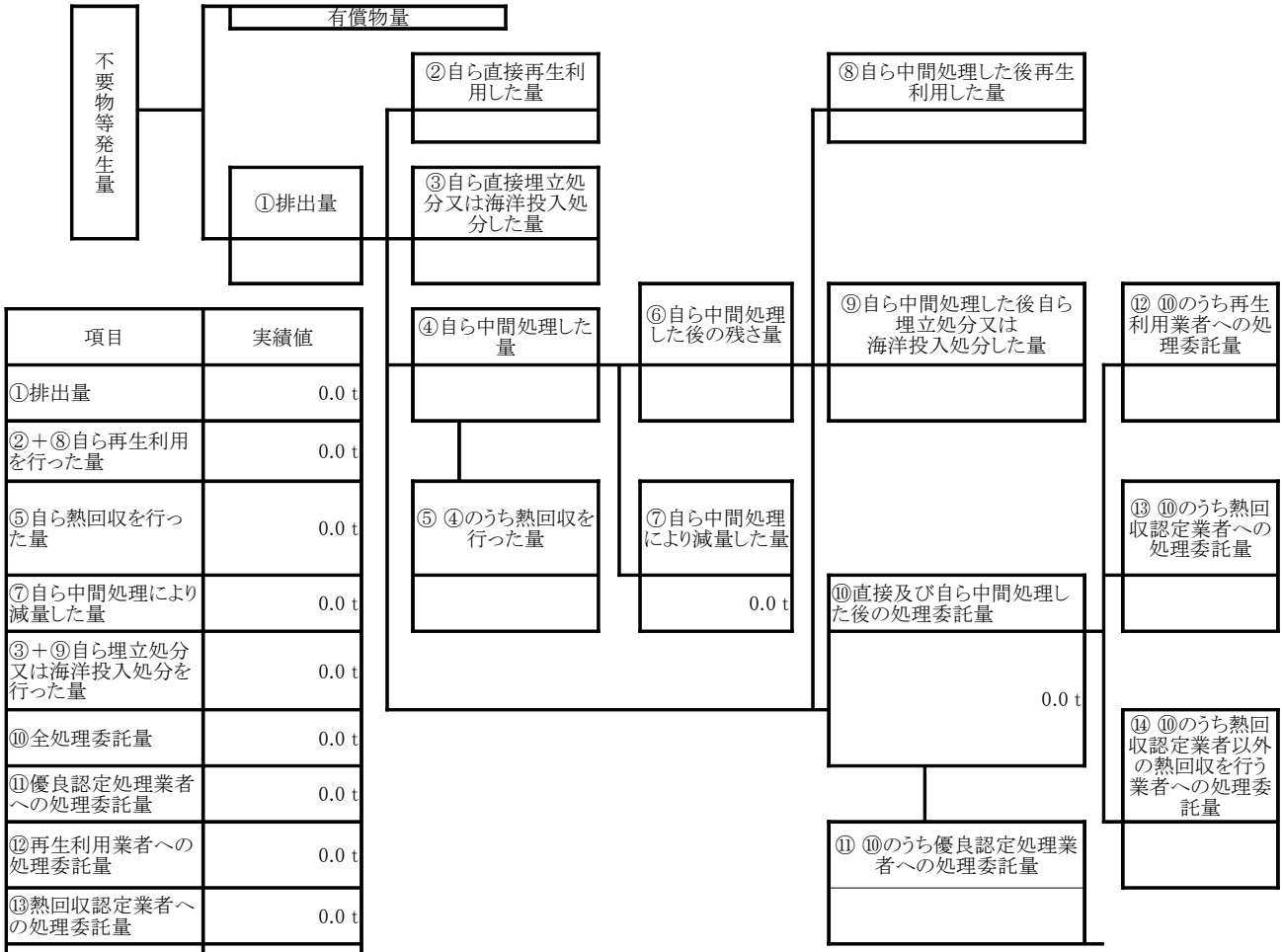
項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



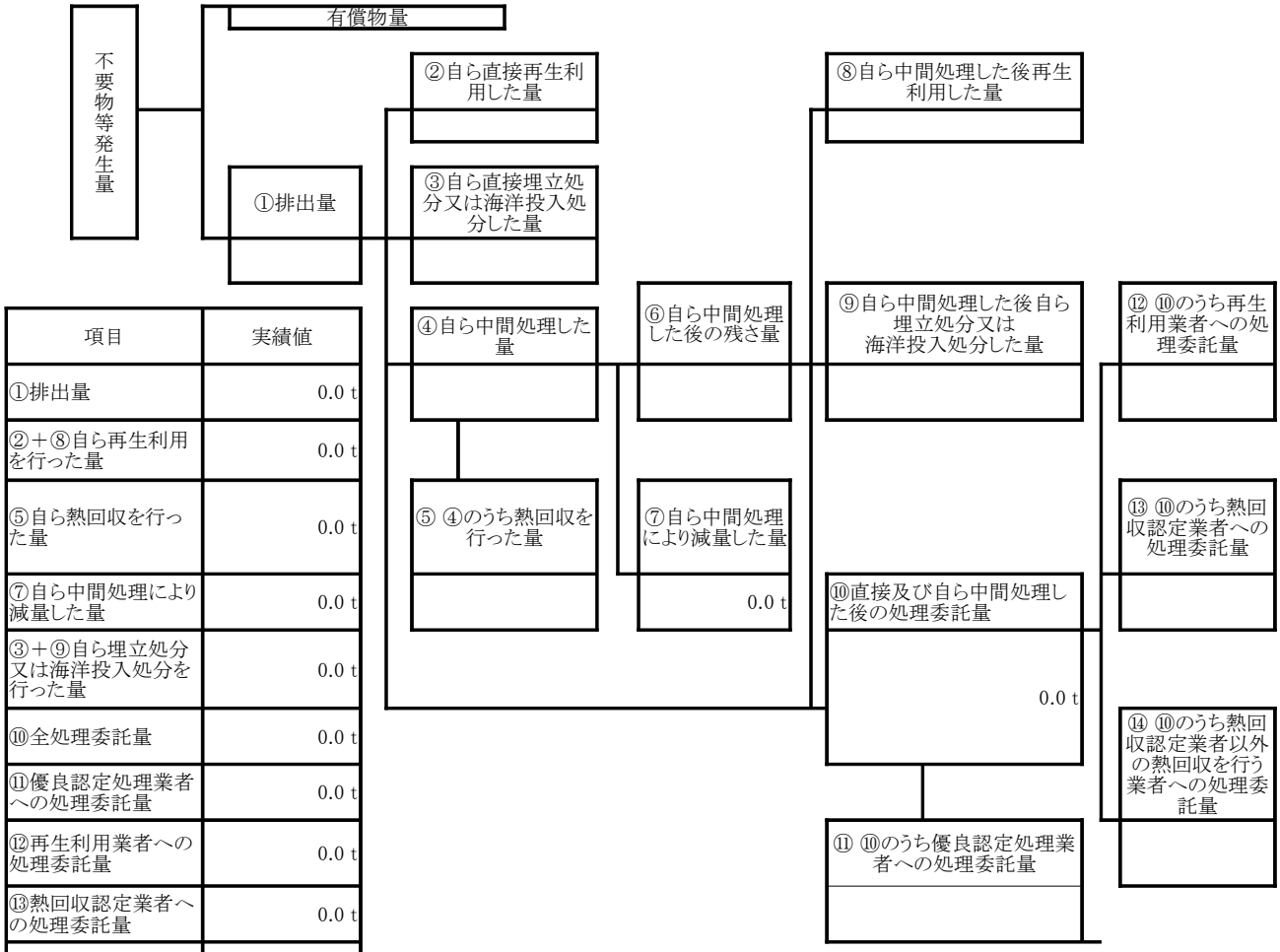
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



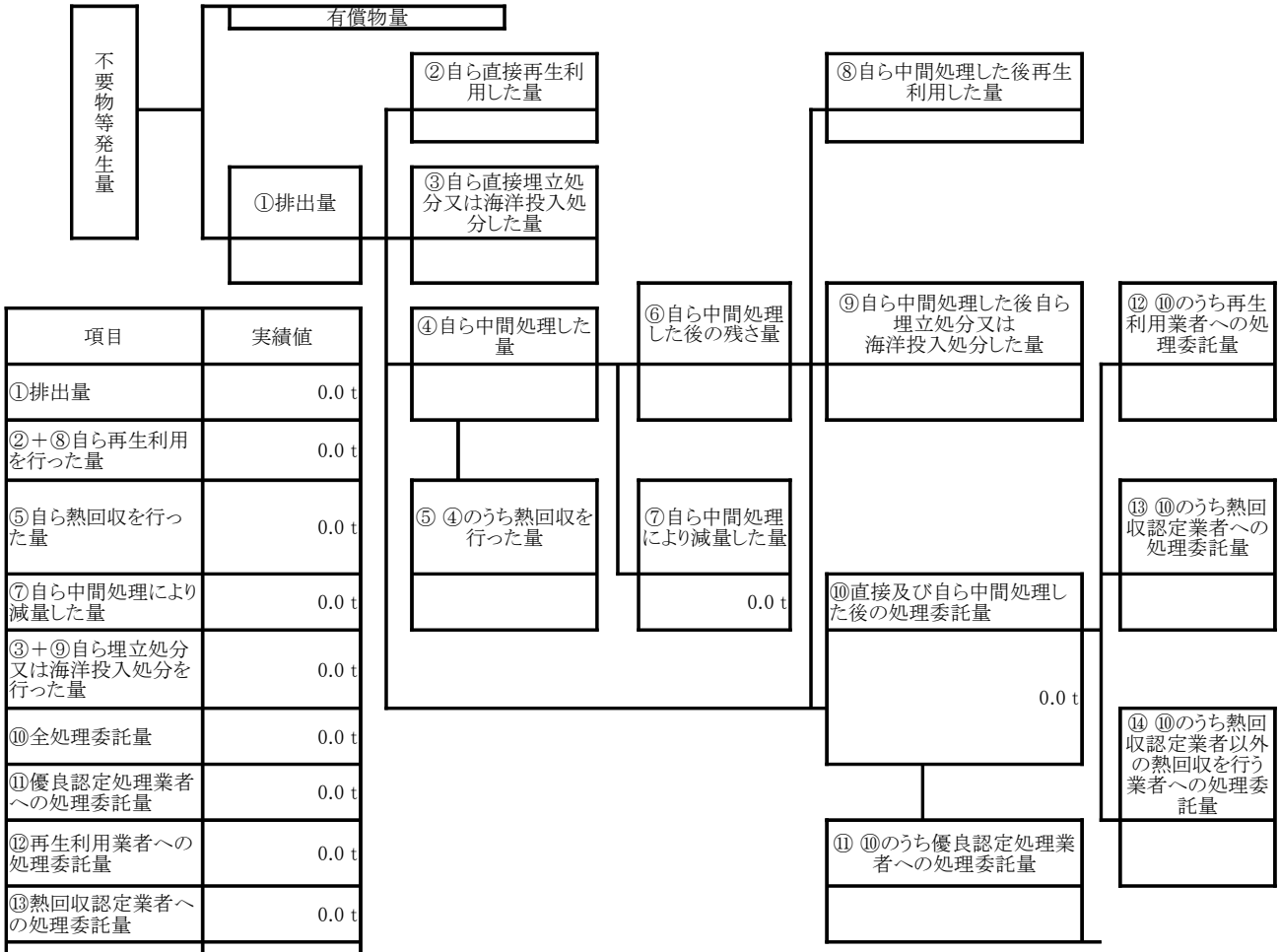
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



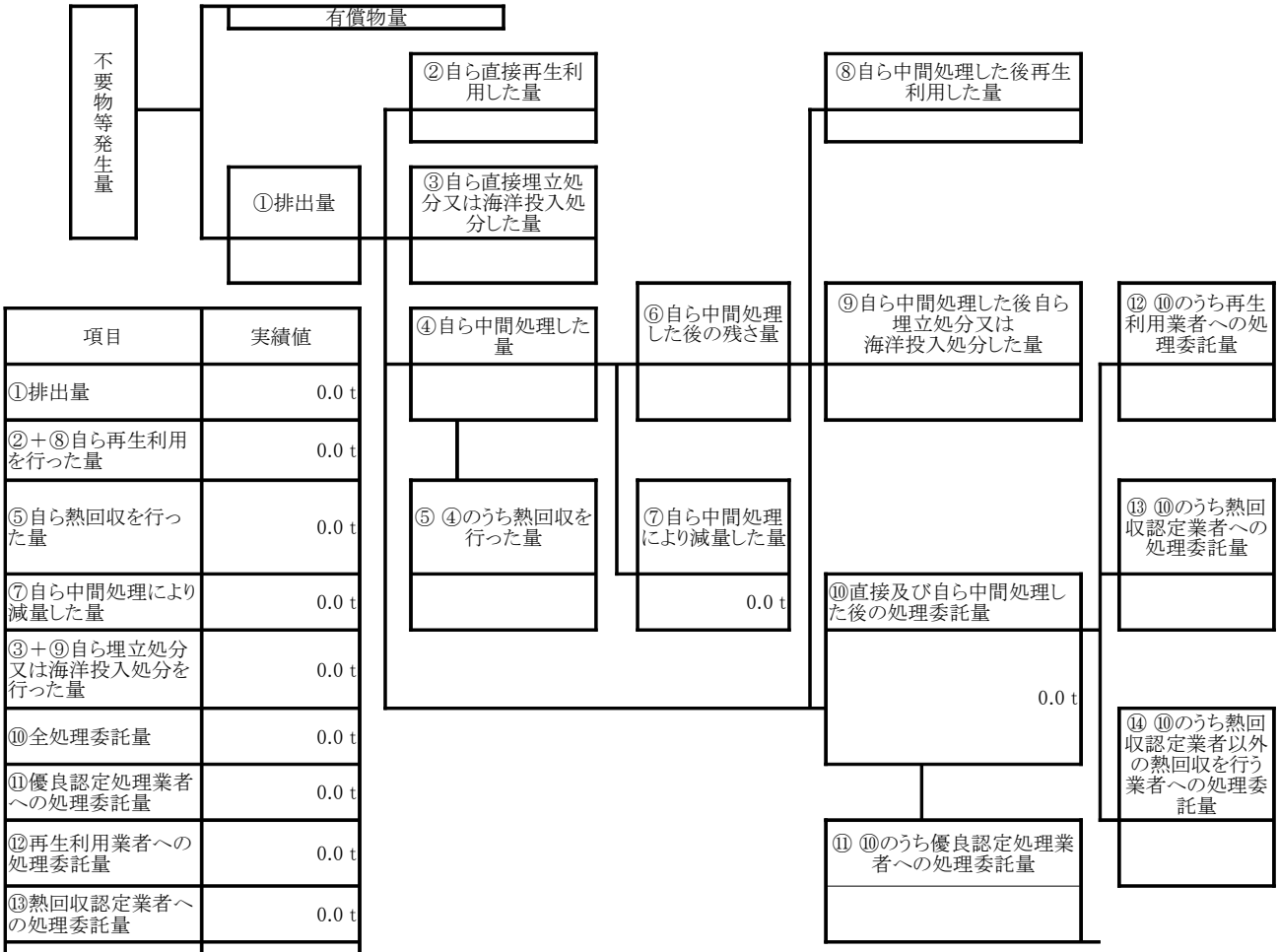
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



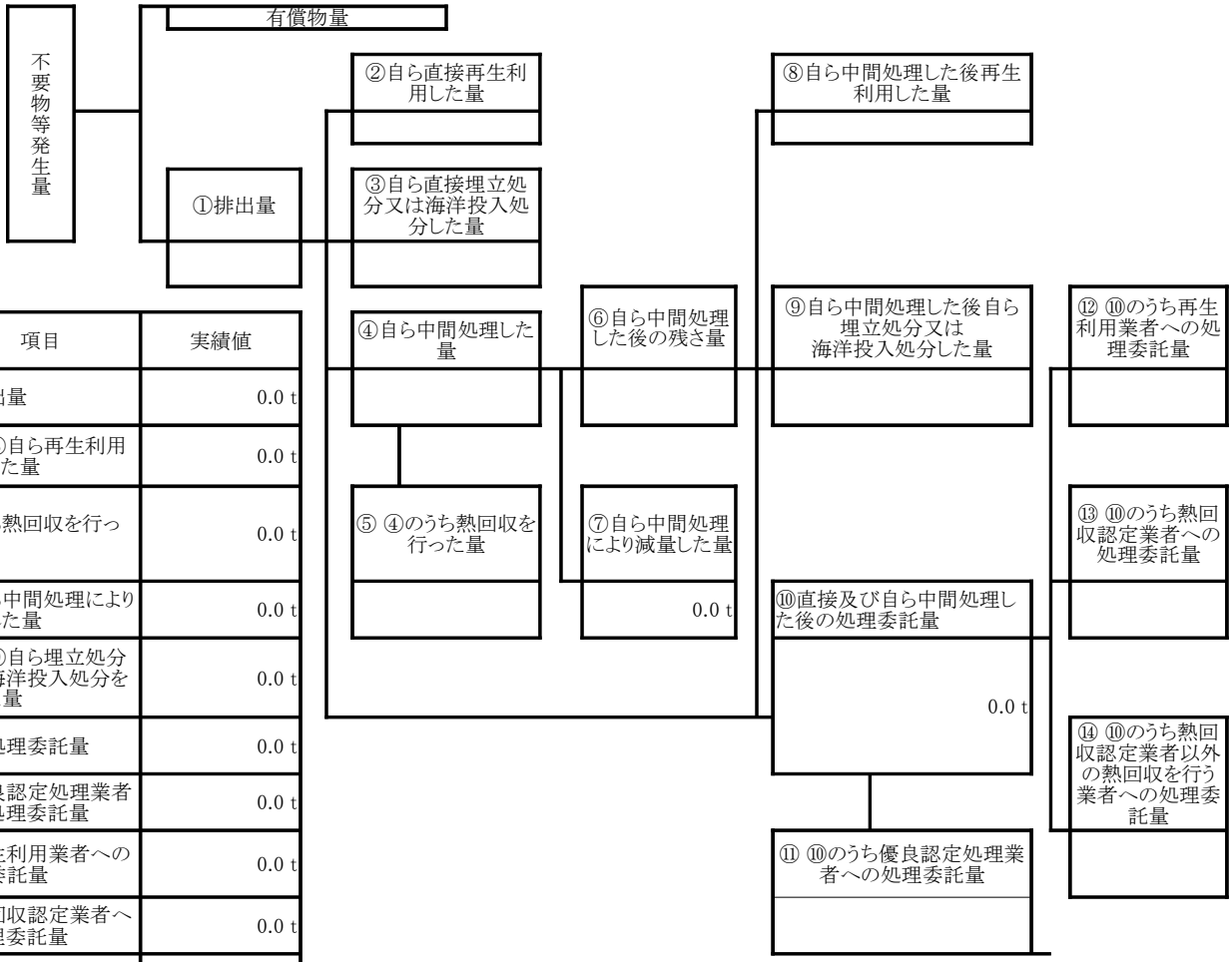
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



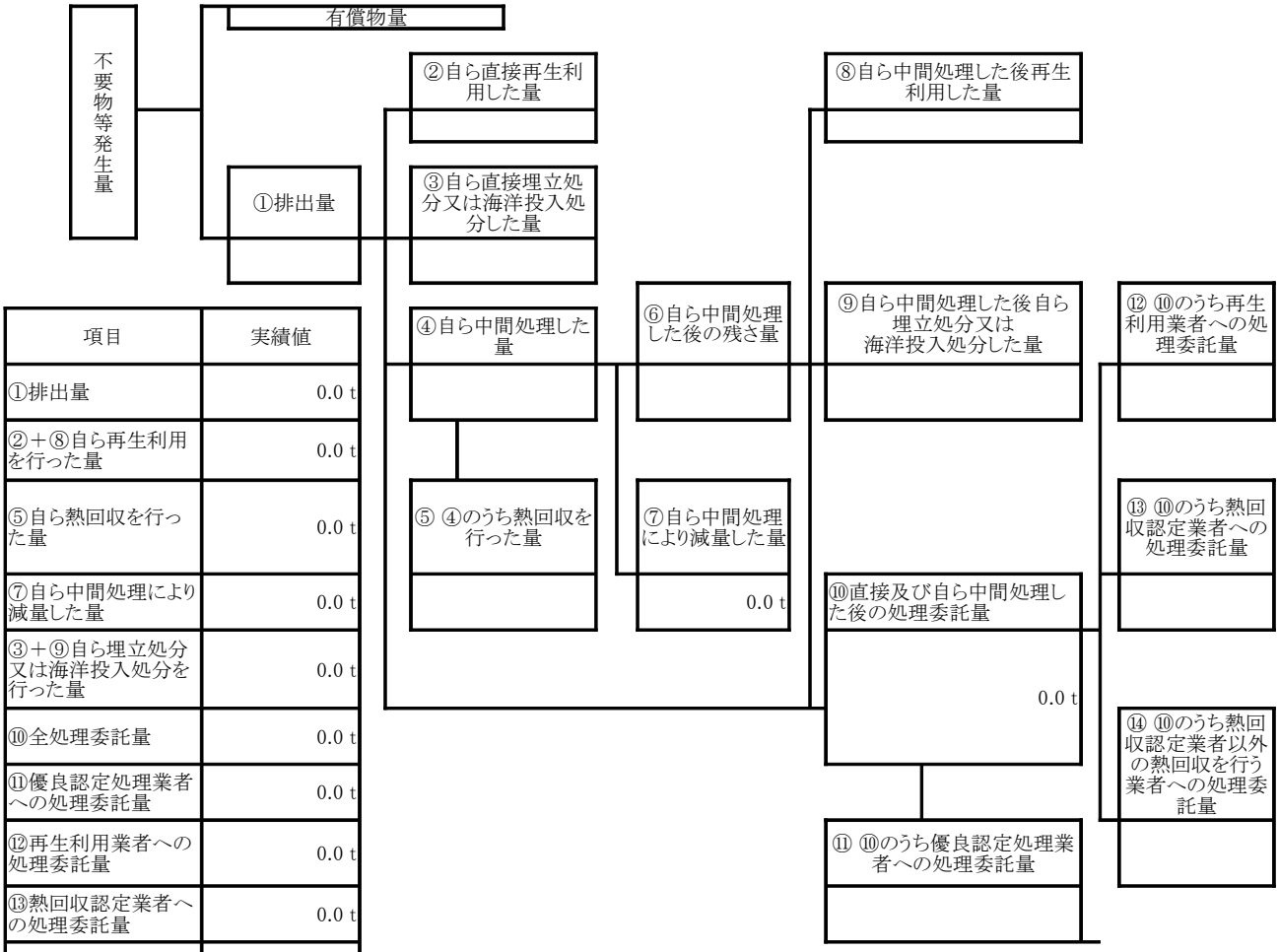
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



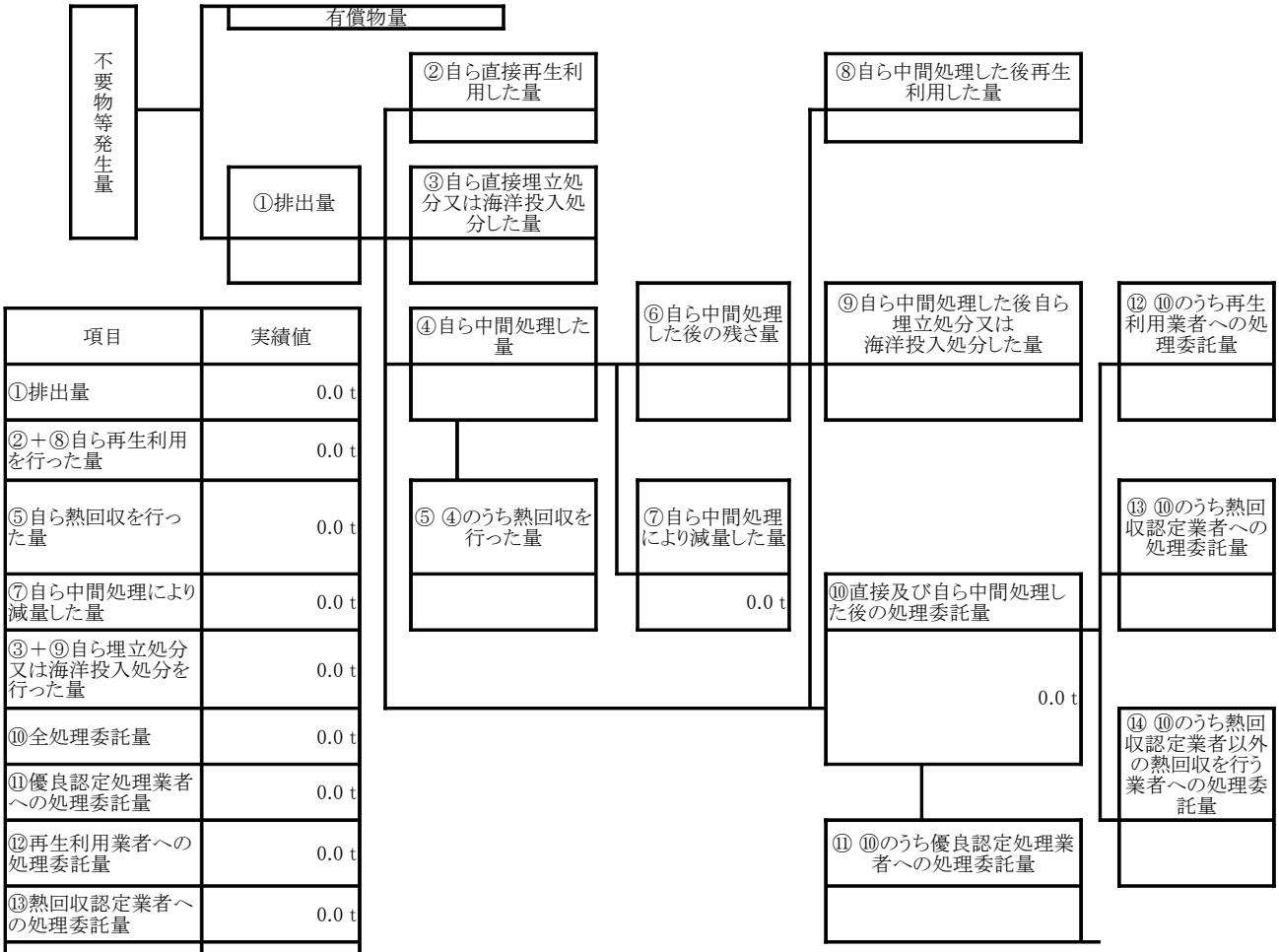
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



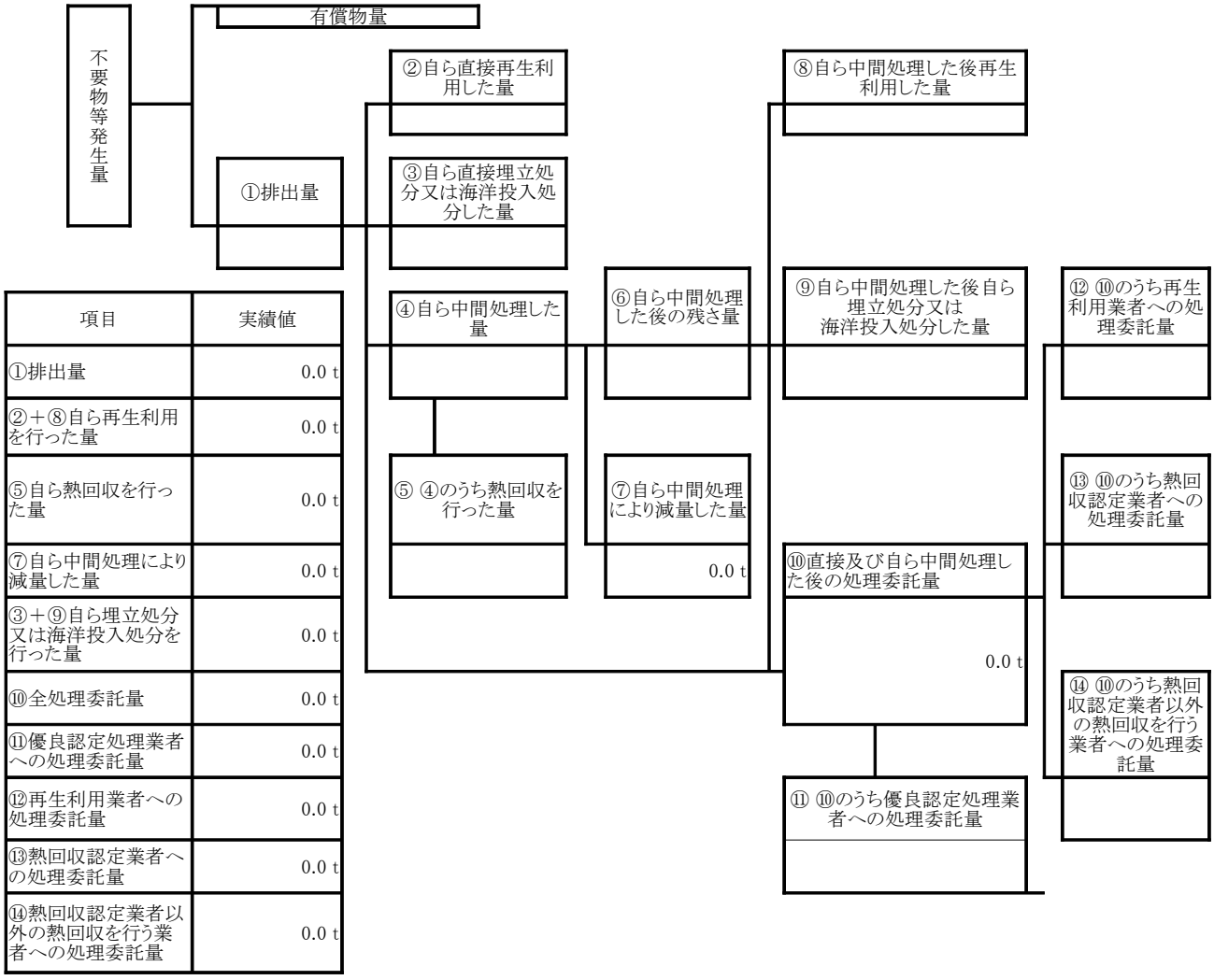
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



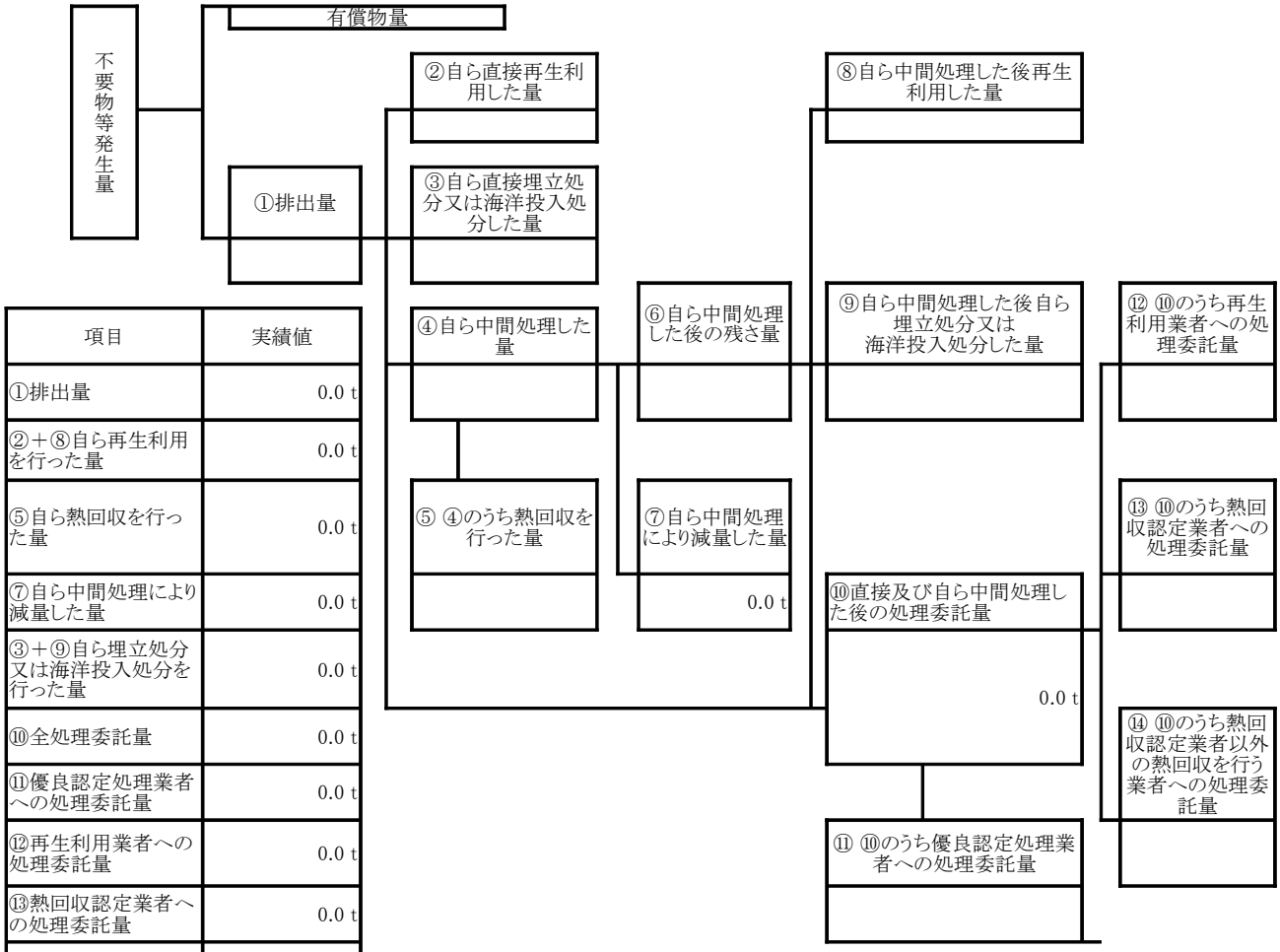
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　5日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒314-0028
住　所　茨城県鹿嶋市大字木滝111番地1
氏　名　株式会社　大洋工事
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0299-83-7818

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	なし
事業場の所在地	なし
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

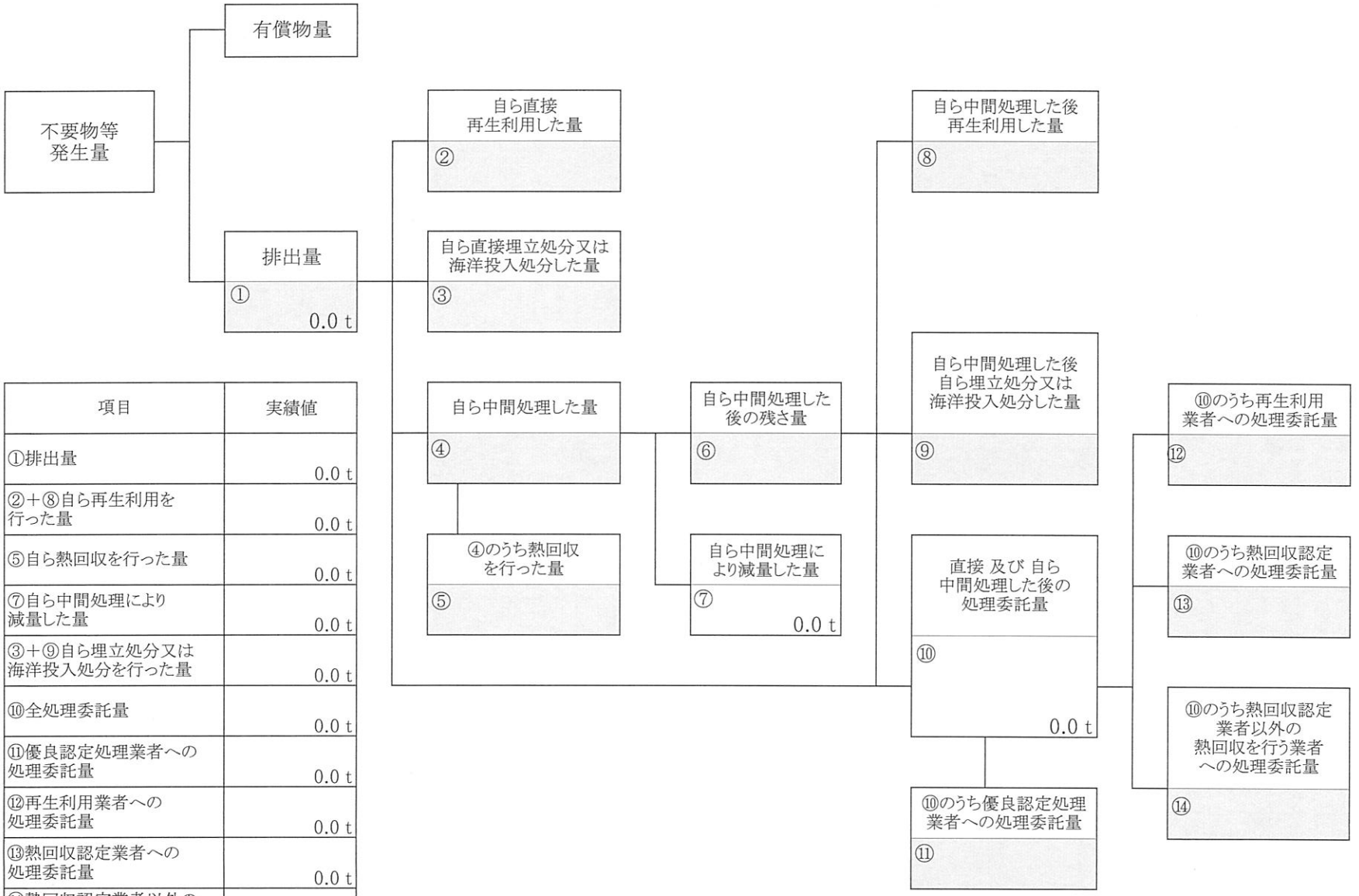
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,146.9	全処理委託量	3,146.9
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3,139.4
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

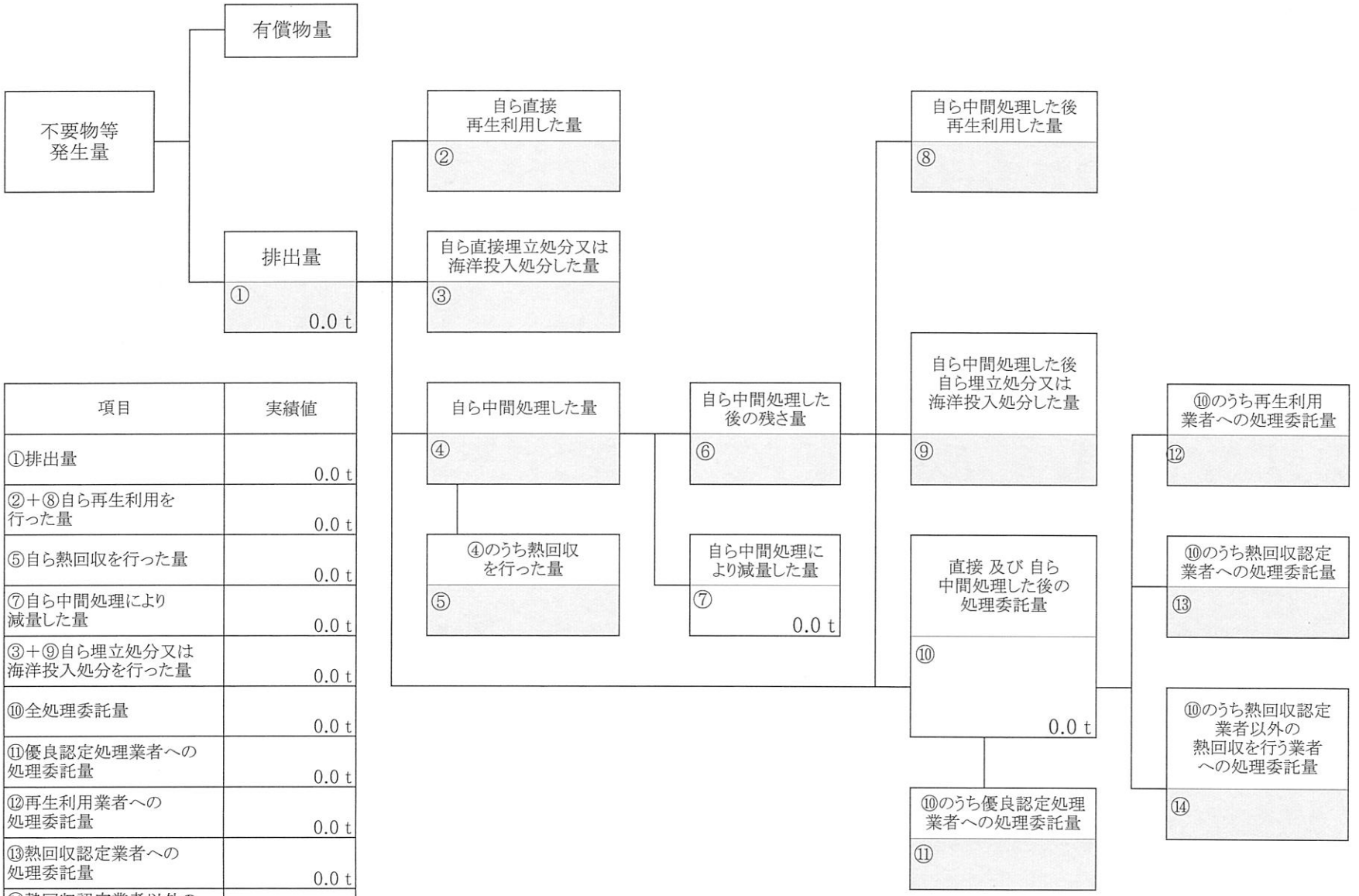


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリートがら　）

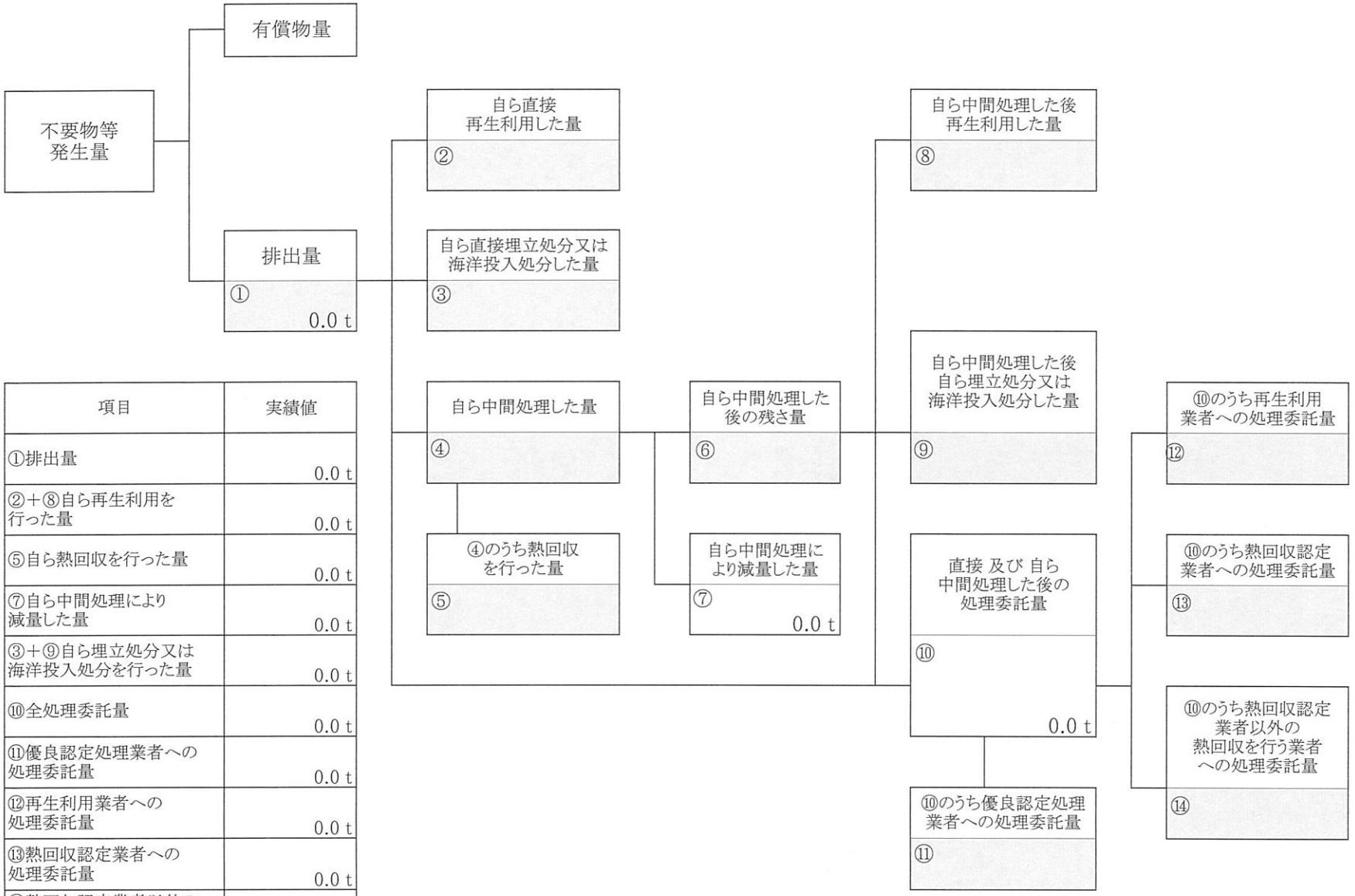


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

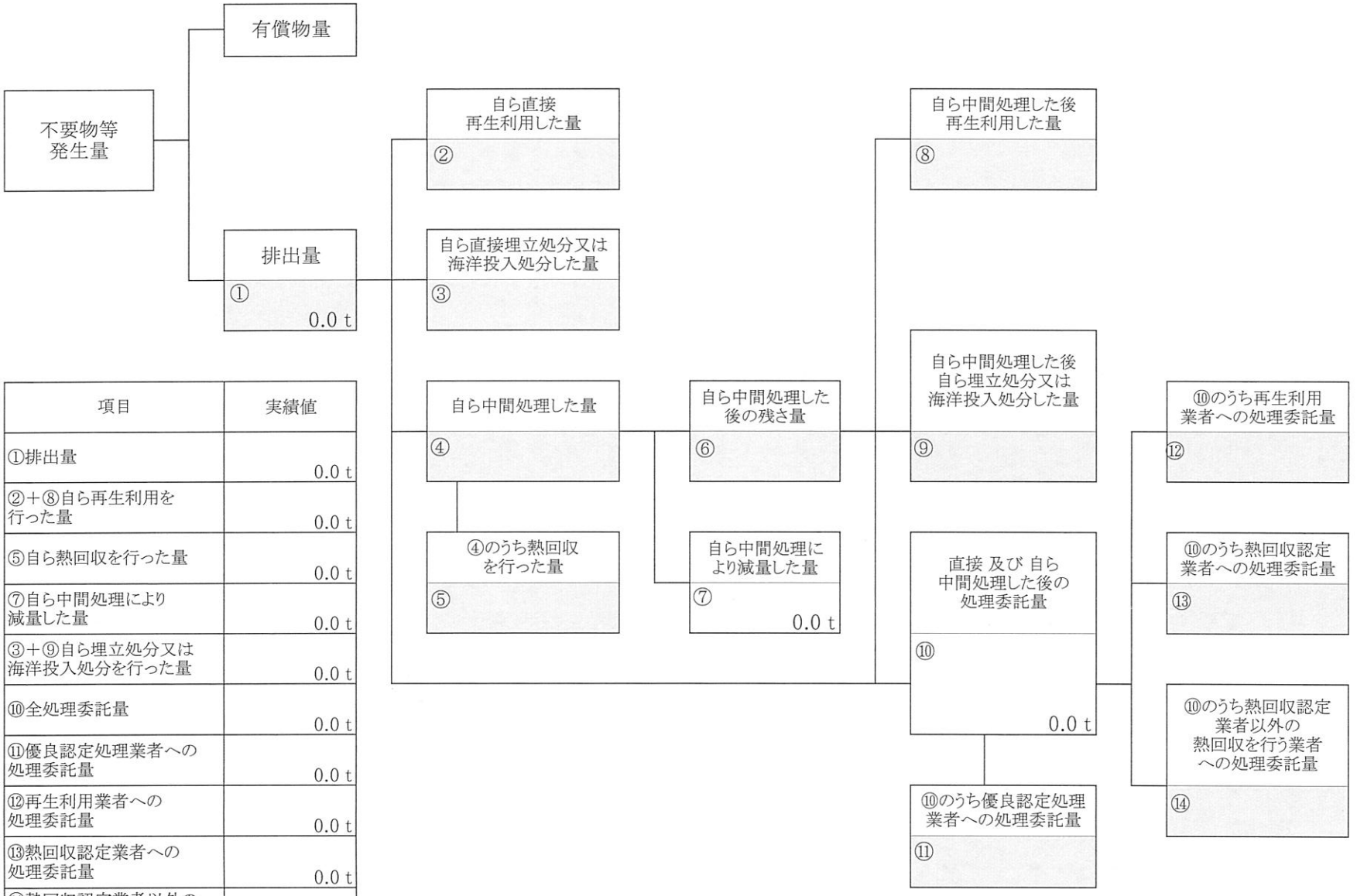


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

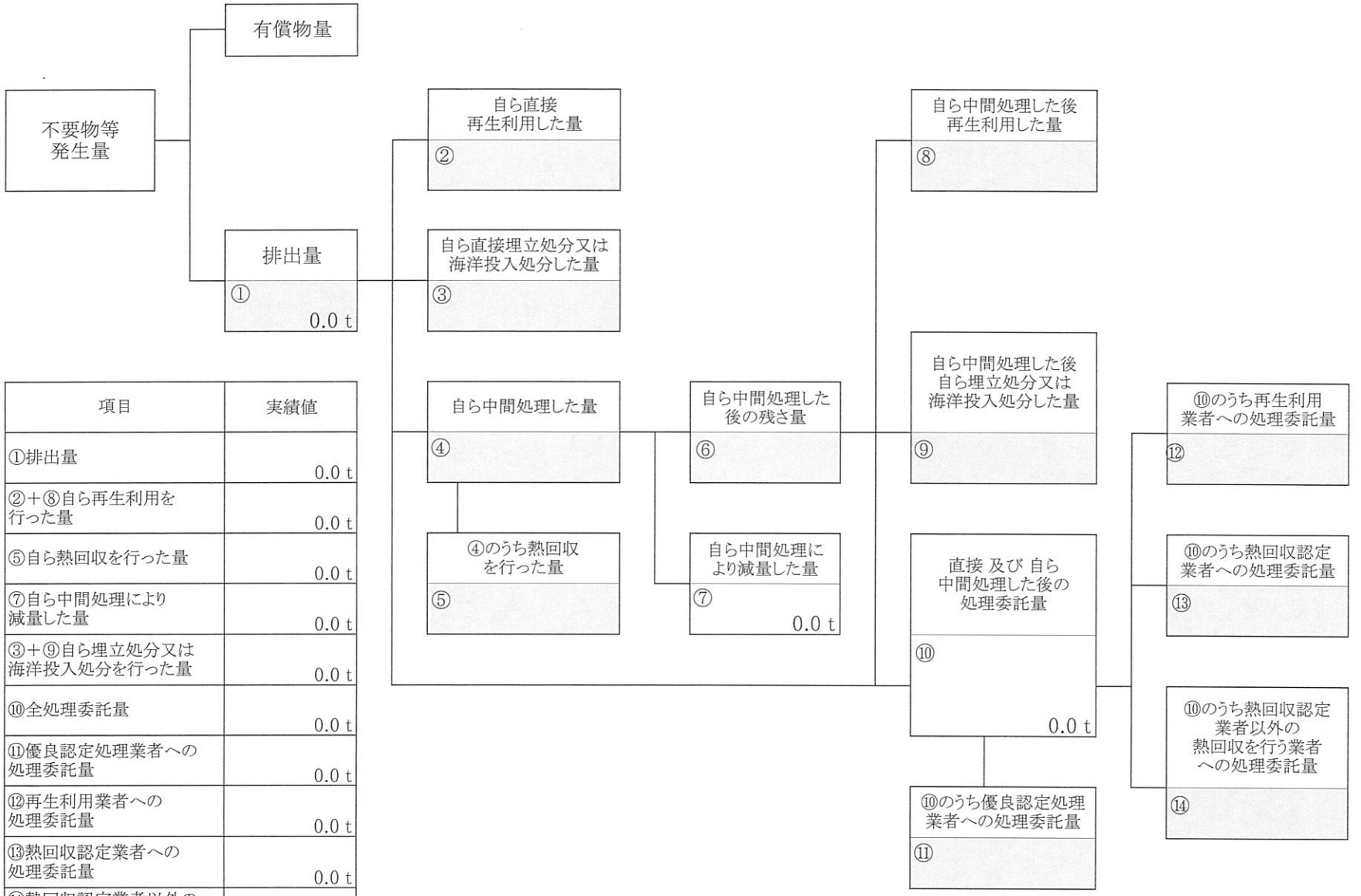


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：安定型混合廃棄物）

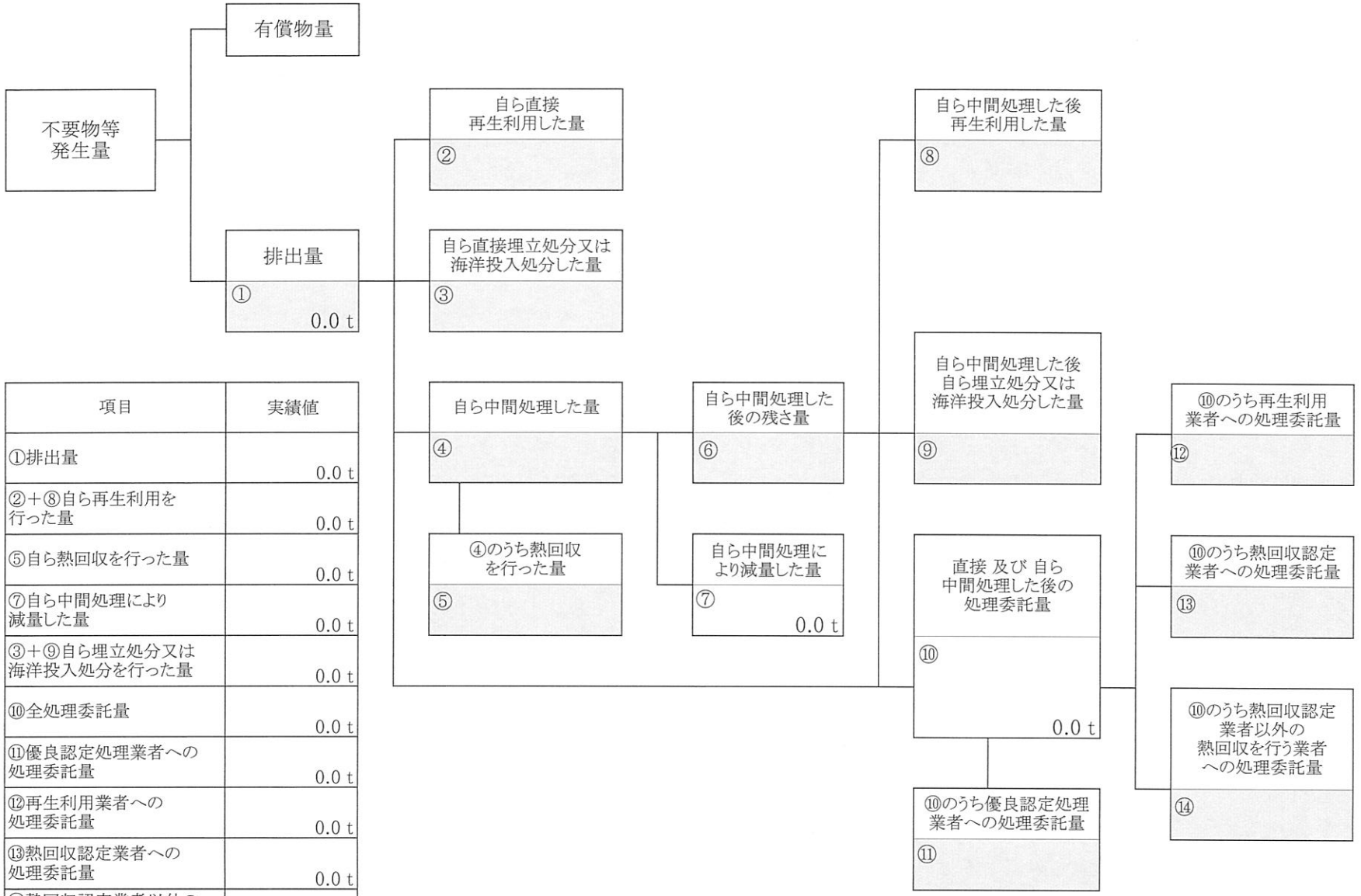


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）

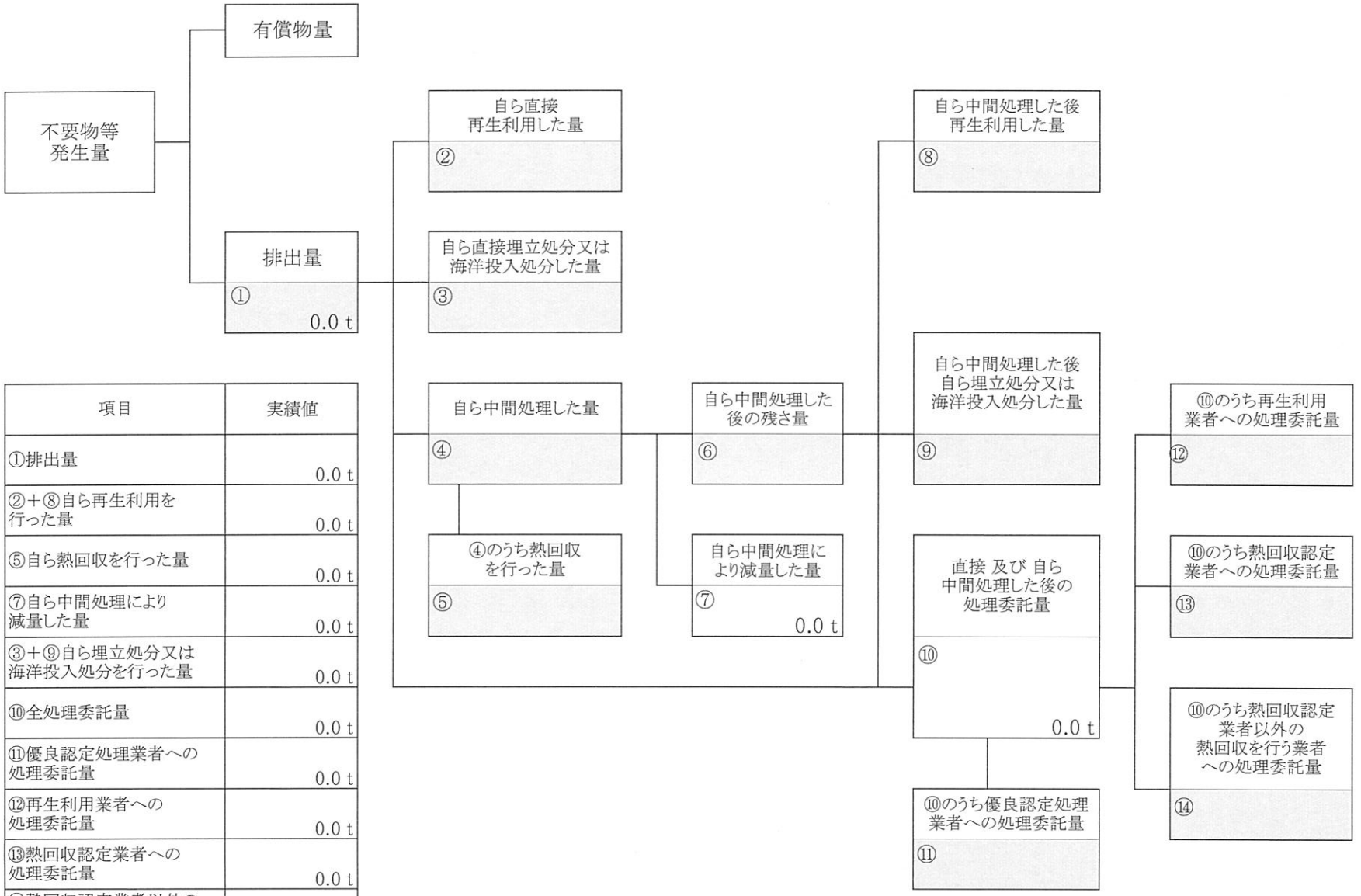


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　）

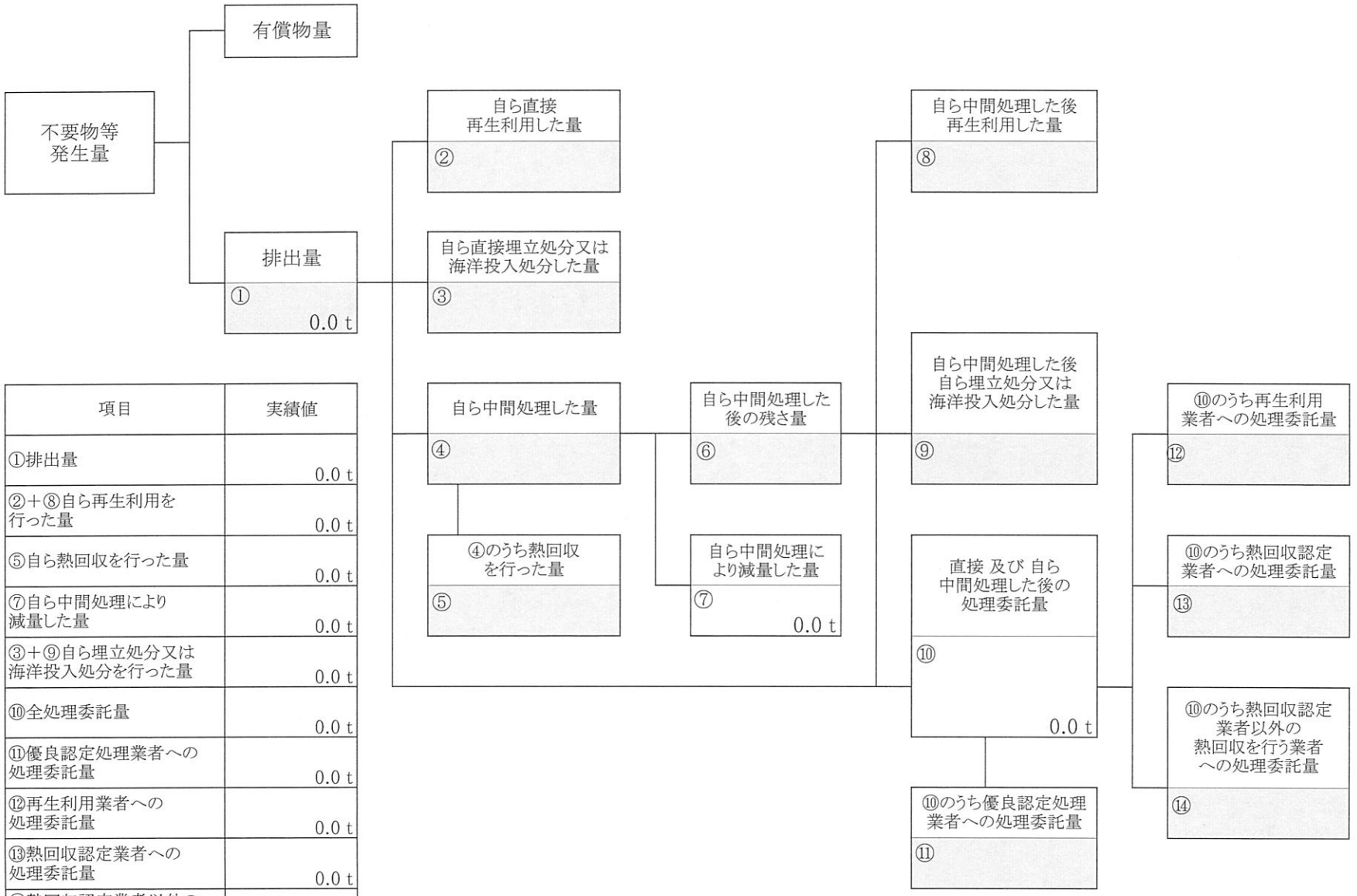


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

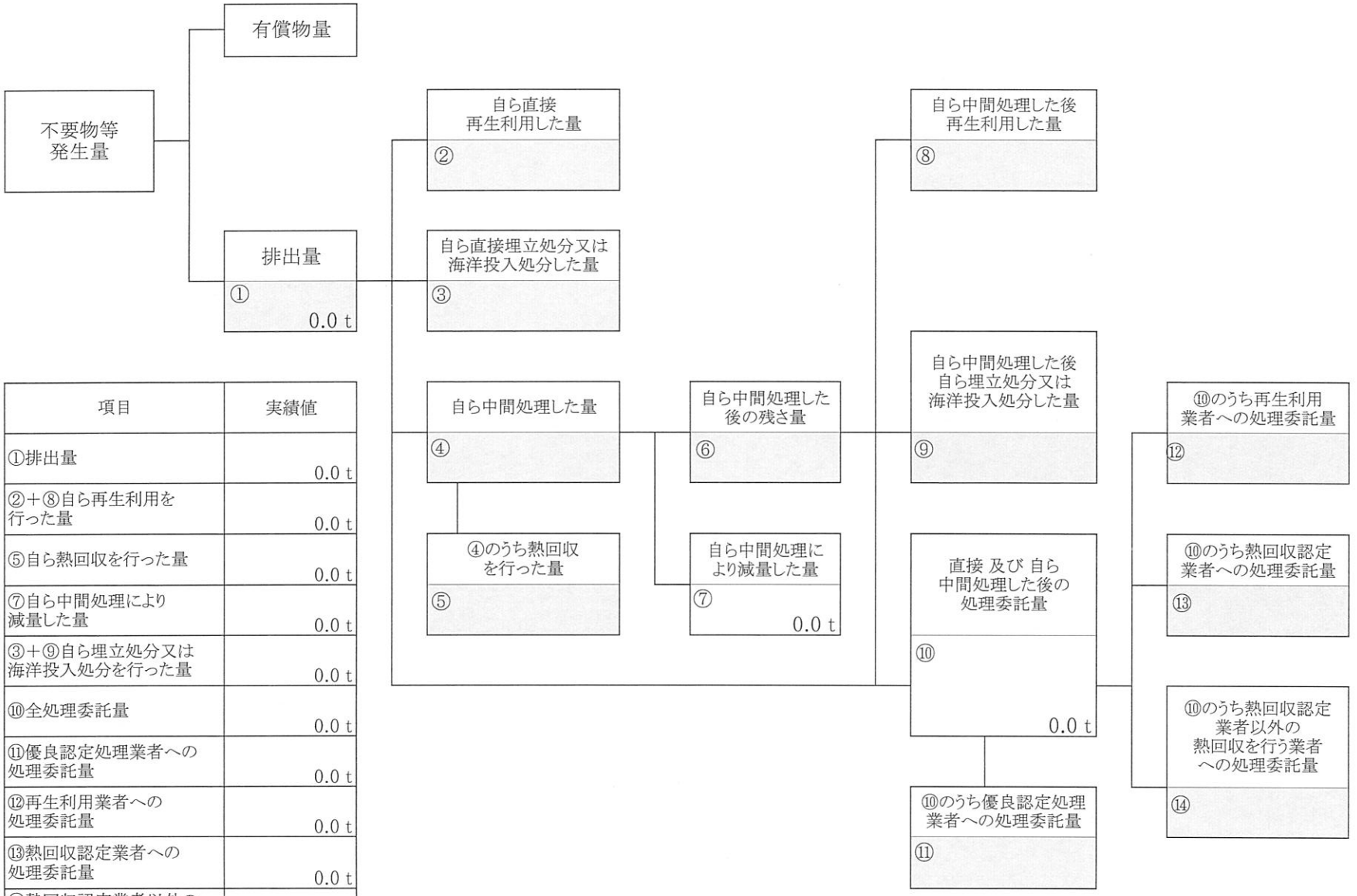


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　繊維くず　）

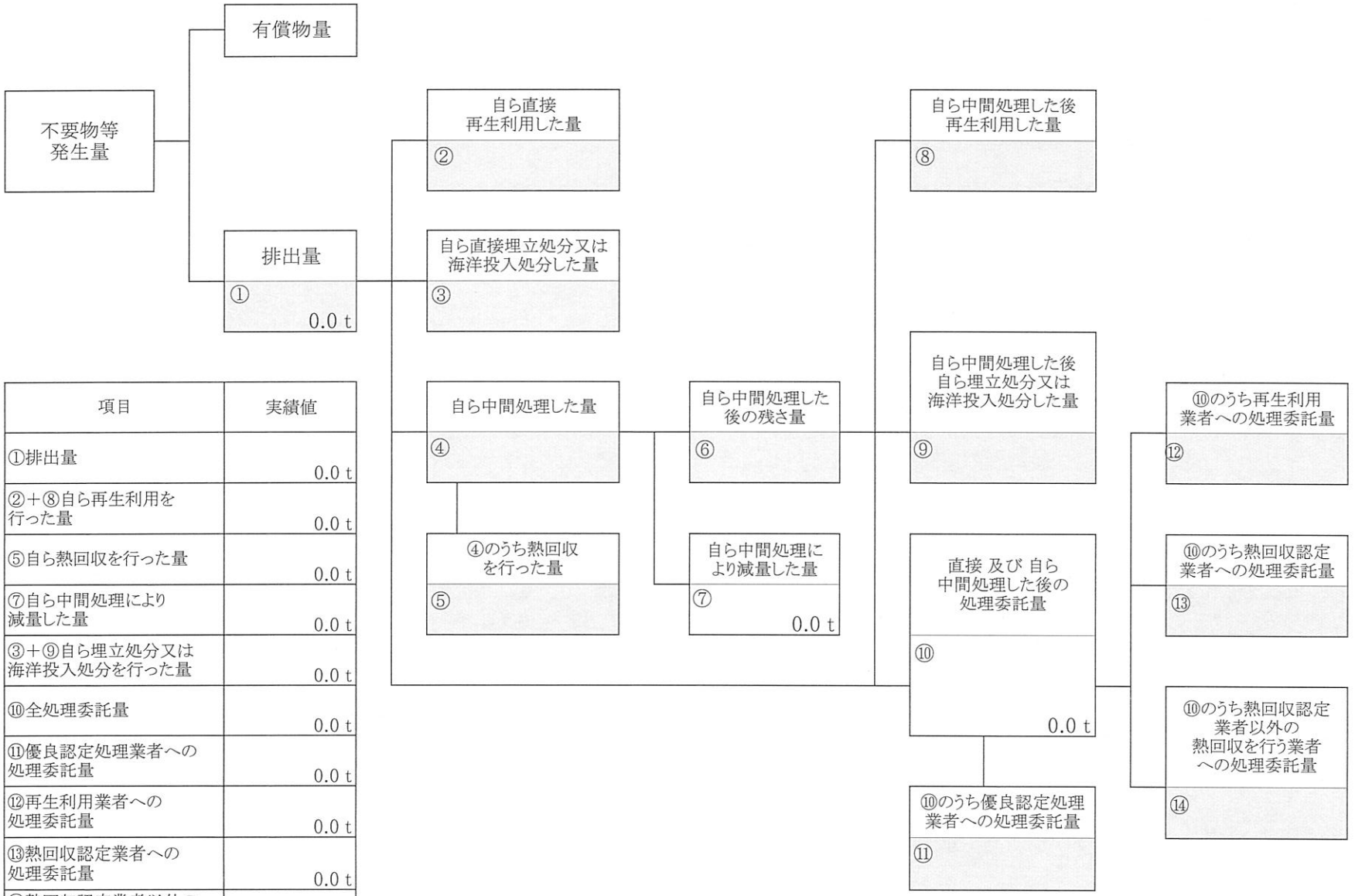


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類（石綿含有産業廃棄物）　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月20日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿



提出者　　〒２７７－０００５
住　所　千葉県柏市柏２６０番４

氏　名　大和ハウス工業株式会社　柏支店

支店長　西川　高信

電話番号　　０４－７１６８－５５１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　柏支店　千葉県管轄内工事
事業場の所在地	千葉県管轄区域内（千葉市・船橋市・柏市を除く）
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	40,507,794,000円
③従業員数	１５５名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　A列４番）

Confidential

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙２の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>7,302.61　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙３の通り</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>6,572.35　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙３の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙４の通り</td></tr>
</table>

Confidential

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず
排　出　量	2,405.40 t	227.43 t	145.01 t	419.23 t

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず
排　出　量	2,164.86 t	204.69 t	130.51 t	377.31 t

Confidential

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	がれき類	がれき類（石綿）	紙くず
排出量	30.00 t	3,176.21 t	19.20 t	71.13 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	がれき類	がれき類（石綿）	紙くず
排出量	27.00 t	2,858.59 t	17.28 t	64.01 t

Confidential

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
排　出　量	690.05　t	0.45　t	118.50　t	

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
排　出　量	621.05　t	0.41　t	106.65　t	

Confidential

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	t
		（今後実施する予定の取組）		

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		
全処理委託量	7,302.61 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	2,761.90 t	t
再生利用業者への処理委託量	6,948.55 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	169.60 t	t

（これまでに実施した取組）

別紙５の通り

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず
全処理委託量	2,405.40 t	227.43 t	145.01 t	419.23 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,225.20 t	90.67 t	45.41 t	214.22 t
再生利用業者への処理委託量	2,405.40 t	145.44 t	145.01 t	406.87 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	81.99 t	－ t	2.16 t

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	がれき類	がれき類（石綿）	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	がれき類	がれき類（石綿）	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	がれき類	がれき類（石綿）	紙くず
全処理委託量	30.00 t	3,176.21 t	19.20 t	71.13 t
優良認定処理業者への処理委託量	30.00 t	733.52 t	19.20 t	29.37 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	3,125.65 t	－ t	67.83 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	3.30 t

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
全処理委託量	690.05 t	0.45 t	118.50 t	
優良認定処理業者への処理委託量	315.16 t	0.15 t	59.00 t	
再生利用業者への処理委託量	607.90 t	0.45 t	44.00 t	
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	82.15 t	－ t	－ t	

Confidential

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	6,572.35 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	2,485.71 t	t
		再生利用業者への処理委託量	6,253.70 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	－ t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	152.64 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙５の通り		
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず
全処理委託量	2,164.86 t	204.69 t	130.51 t	377.31 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,102.68 t	81.60 t	40.87 t	192.80 t
再生利用業者への処理委託量	2,164.86 t	130.90 t	130.51 t	366.19 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	73.79 t	－ t	1.94 t

Confidential

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	がれき類	がれき類（石綿）	紙くず
全処理委託量	27.00 t	2,858.59 t	17.28 t	64.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	27.00 t	660.16 t	17.28 t	26.43 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	2,813.08 t	－ t	61.01 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	2.97 t

Confidential

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
全処理委託量	621.05 t	0.41 t	106.65 t	
優良認定処理業者への処理委託量	283.65 t	0.14 t	53.10 t	
再生利用業者への処理委託量	547.11 t	0.41 t	39.60 t	
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	73.94 t	－ t	－ t	

Confidential

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

Confidential

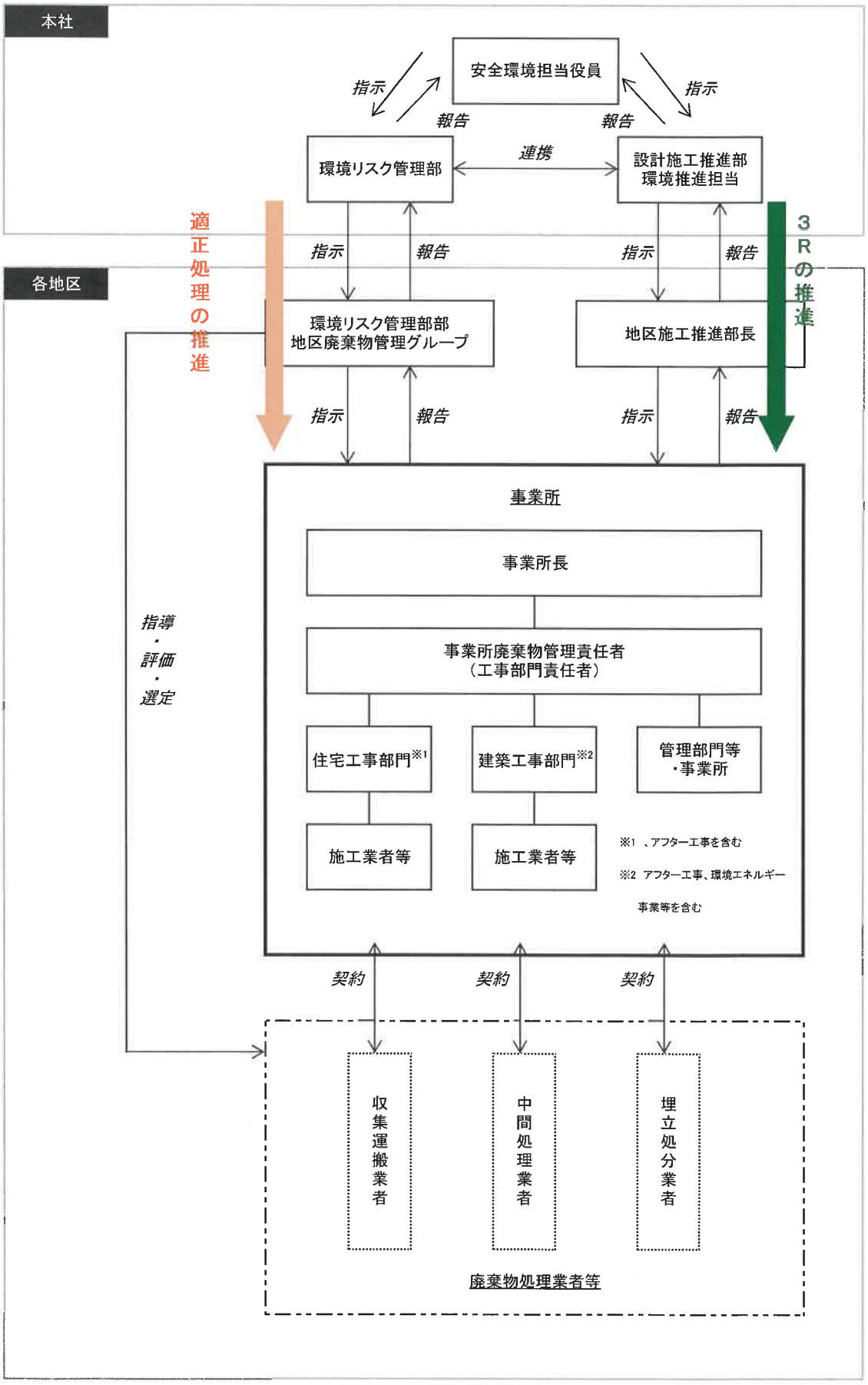
別紙1

廃棄物処理フロー図



Confidential

別紙2



Confidential

別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷 ・給水管のプレ加工	・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める ・梱包レス化の推進で排出抑制を図る ・通い箱等での梱包レス化
金属くず	・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している ・基礎鉄筋のプレ加工 ・電気配線のプレ加工	・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷 ・瓦材のプレ加工	・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる
コンクリート片	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている ・	・専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする
木くず	・当社工場出荷材はプレカットにて出荷 ・現場調達材のプレカットにて出荷 ・梱包材のリターナブル化	・更なるプレカット化の精度を高める ・ロス率見直しによる精度向上を図る
繊維くず		・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

Confidential

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード　雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

Confidential

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全管理部廃棄物グループと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先　処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託（売買）契約を適切に行っているか。 ・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。 ・処理施設の管理状況　（施設・車両の点検状況） ・従業員の教育状況 ・周辺の地域社会との交流の取り込み	・継続していく
金属くず		
ガラス陶磁器等くず		
コンクリート片		
廃アスファルト		
レンガ破片等		
紙くず		
木くず		
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月20日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 〒277－0005
住 所 千葉県柏市柏260番4
氏 名 大和ハウス工業株式会社 柏支店
支店長 西川 高信
電話番号 04－7168－5511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき,令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 柏支店 千葉県内管轄工事
事業場の所在地	千葉県管轄区域内(千葉市・船橋市・柏市を除く)
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

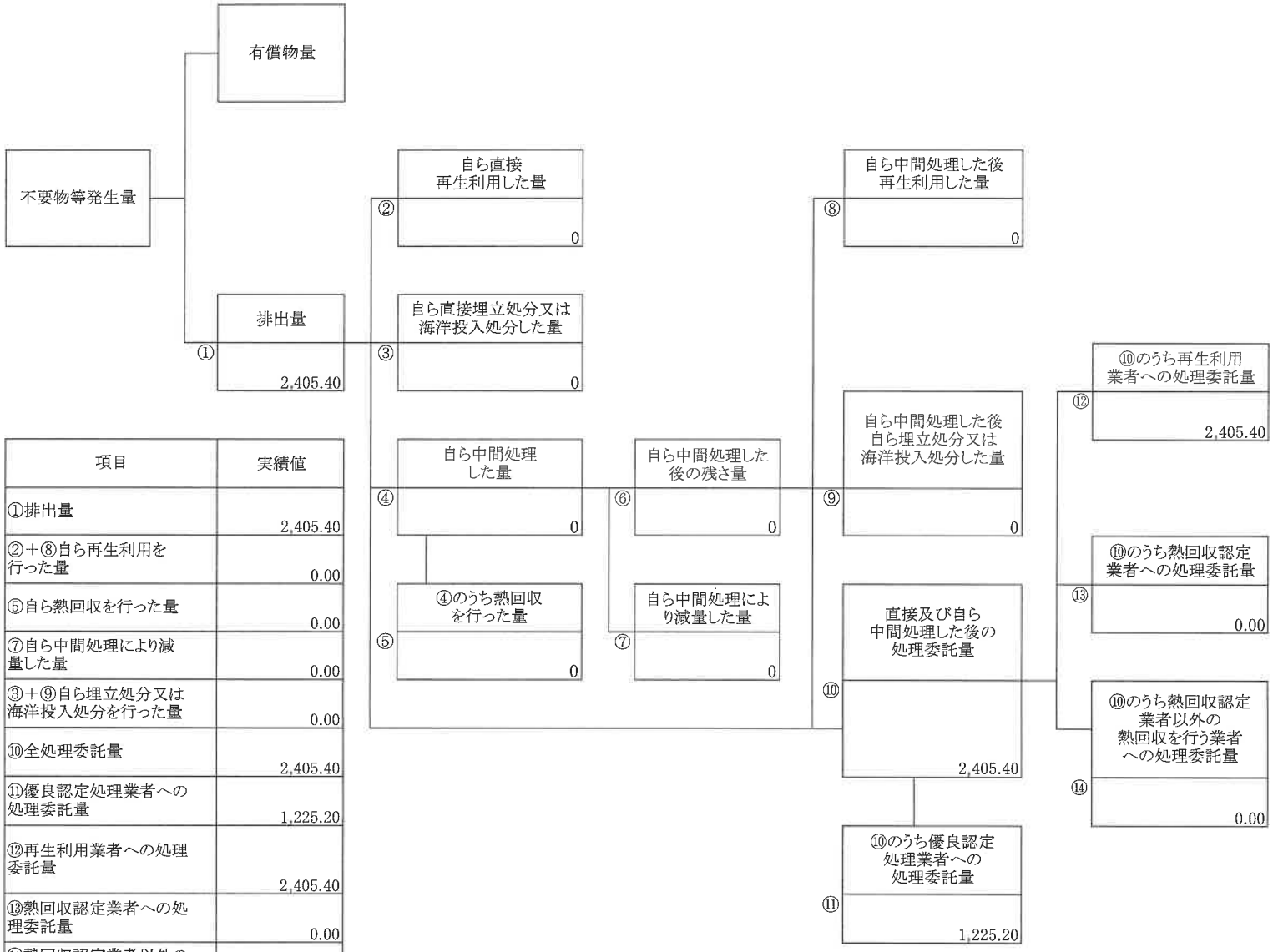
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,007.14 t	全処理委託量	6,007.14 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	2,686.81 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	5,705.63 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	174.70 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



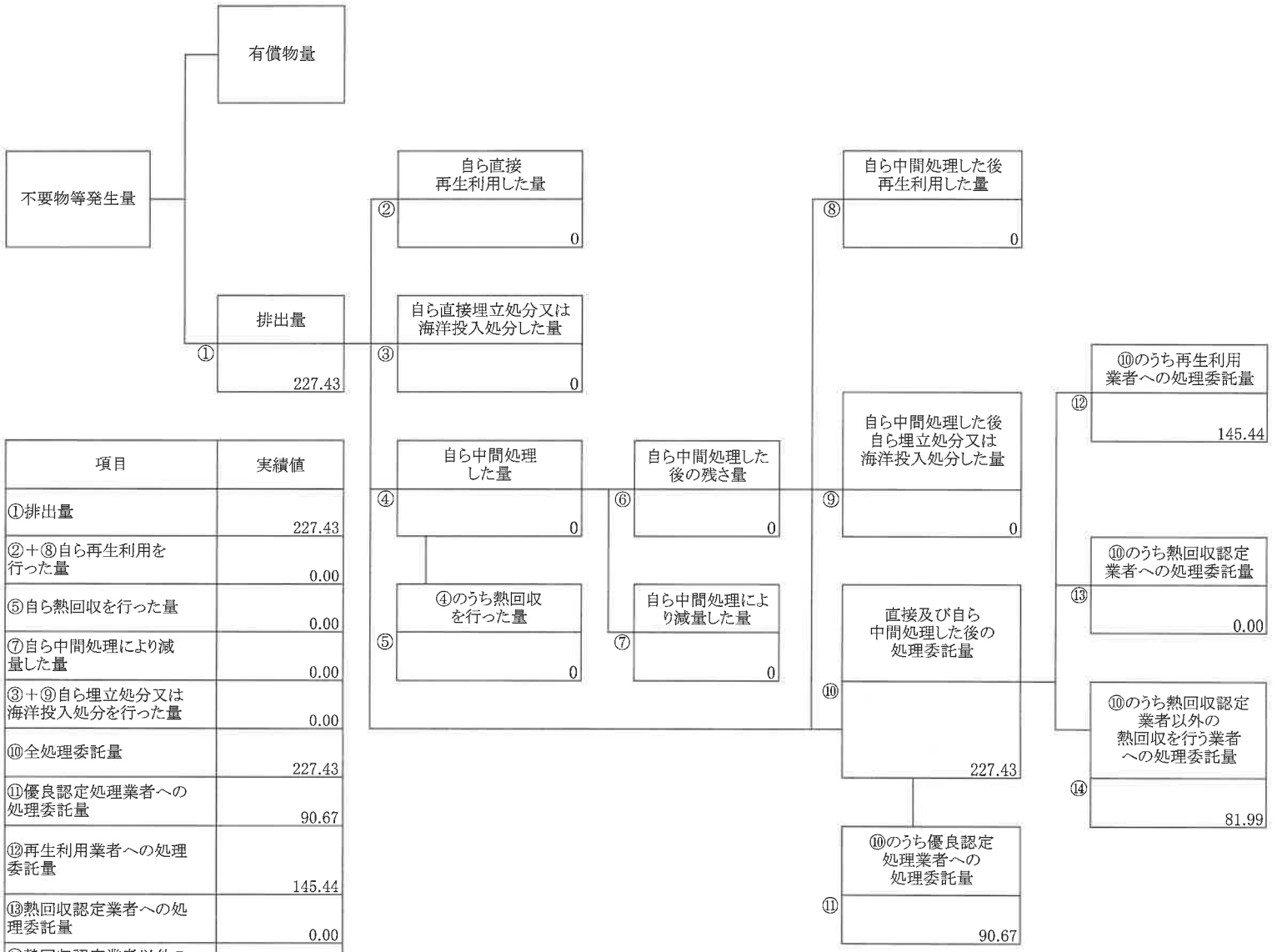
項目	実績値
①排出量	2,405.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,405.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,225.20
⑫再生利用業者への処理委託量	2,405.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスティック類　　）

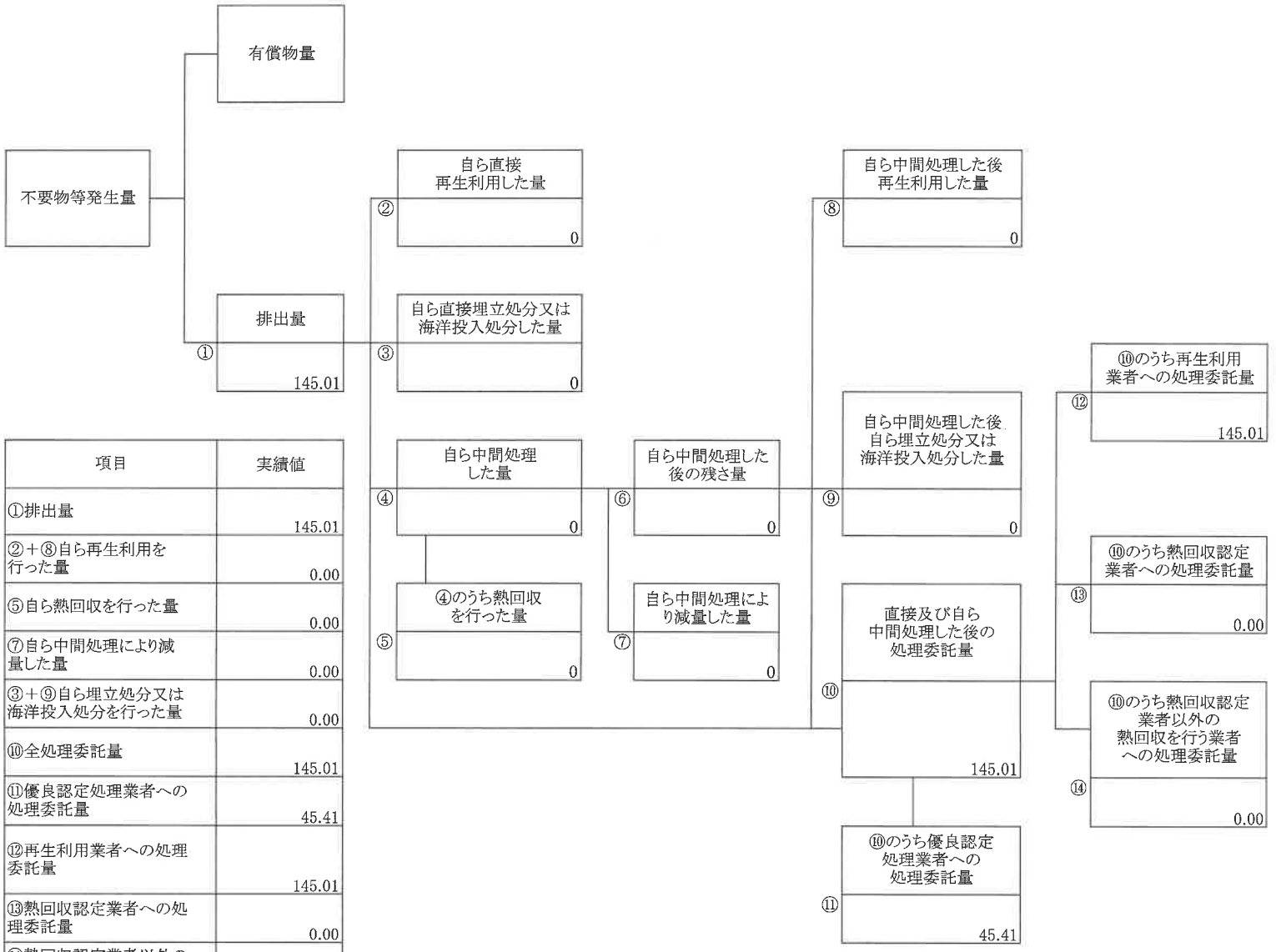


項目	実績値
①排出量	227.43
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	227.43
⑪優良認定処理業者への処理委託量	90.67
⑫再生利用業者への処理委託量	145.44
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	81.99

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：金属くず　）

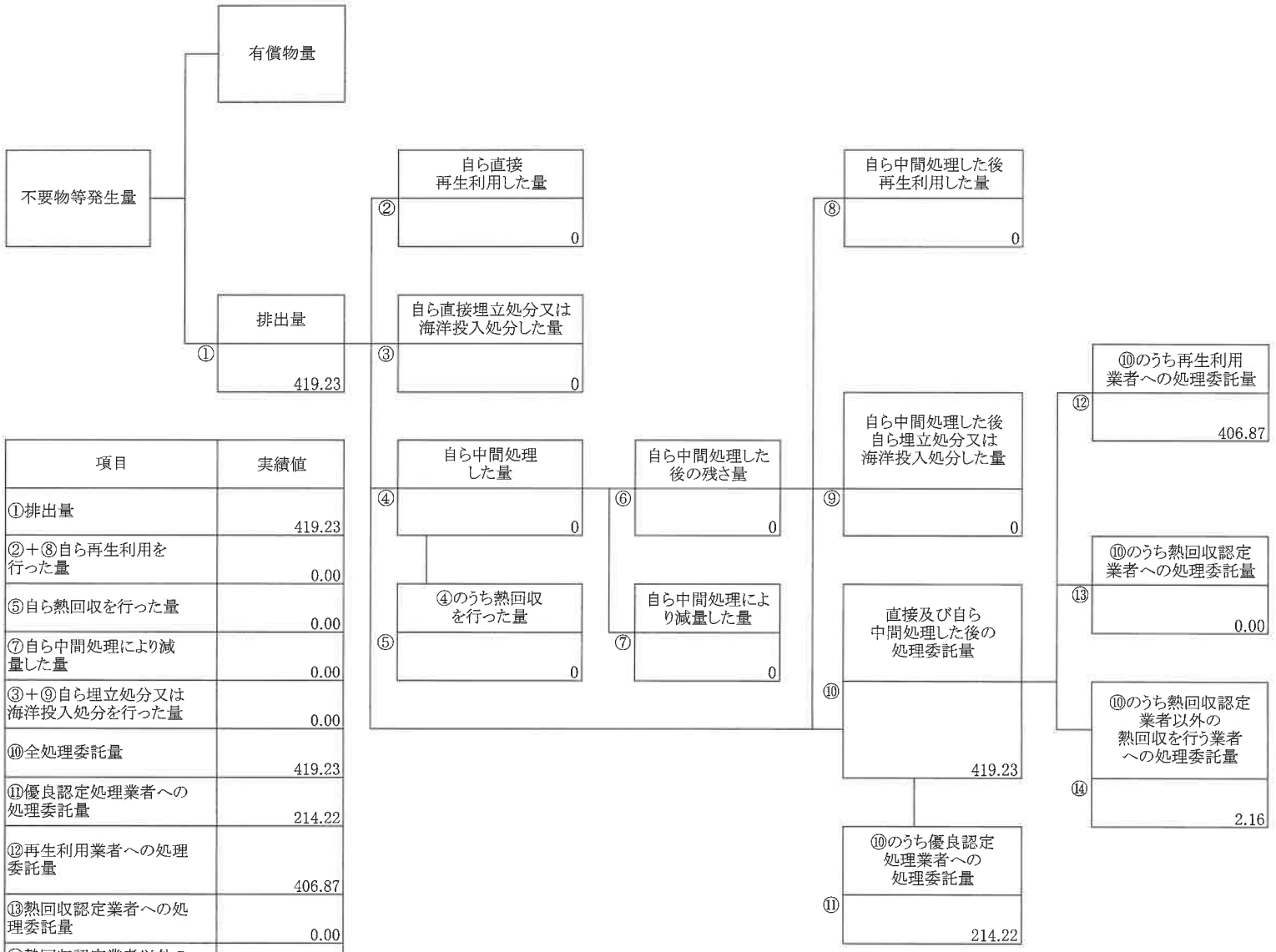


項目	実績値
①排出量	145.01
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	145.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.41
⑫再生利用業者への処理委託量	145.01
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　　）

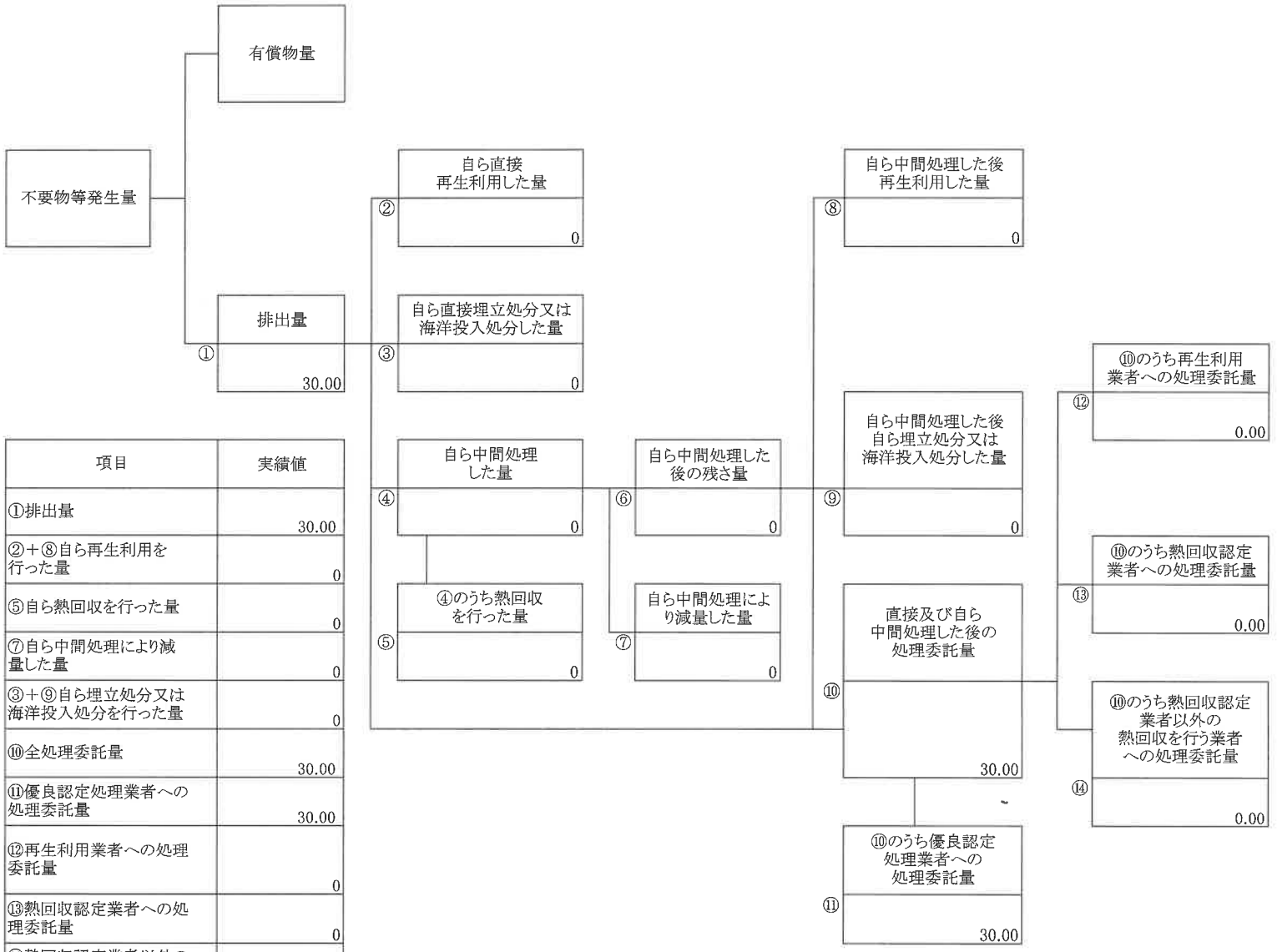


項目	実績値
①排出量	419.23
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	419.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	214.22
⑫再生利用業者への処理委託量	406.87
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.16

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　石綿含有産業廃棄物　　）

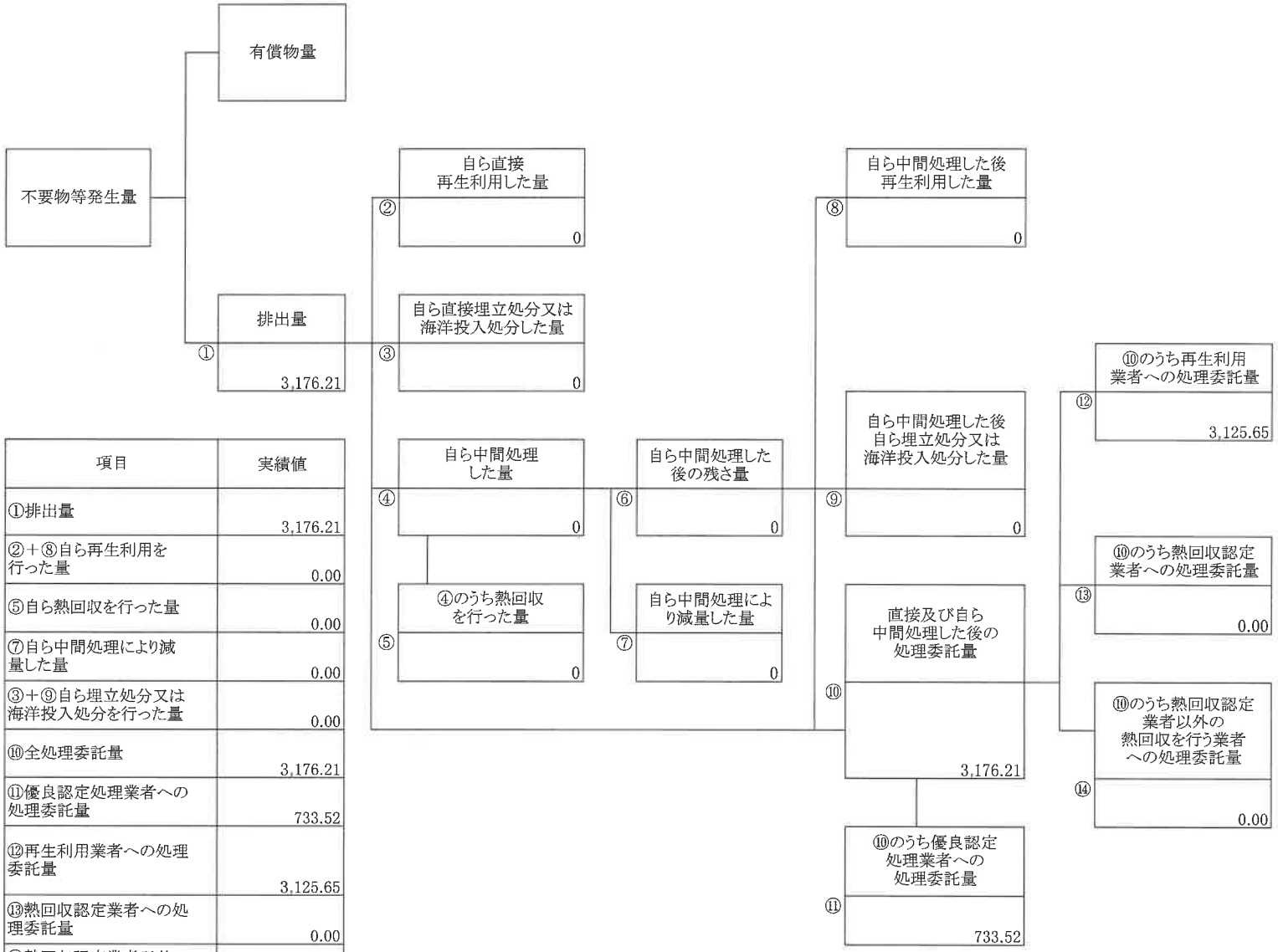


項目	実績値
①排出量	30.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	30.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）

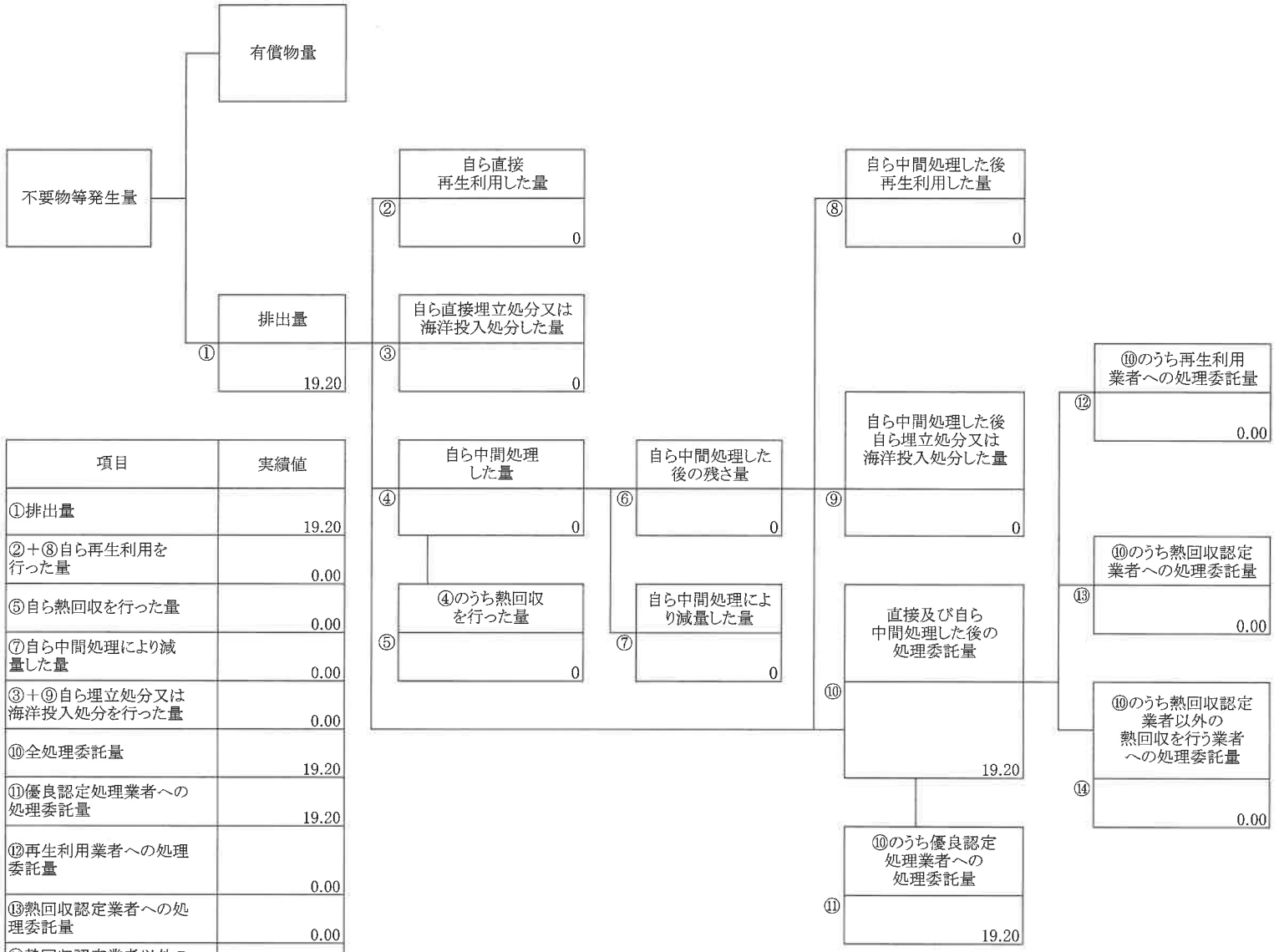


項目	実績値
①排出量	3,176.21
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3,176.21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	733.52
⑫再生利用業者への処理委託量	3,125.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　石綿含有廃棄物　　）

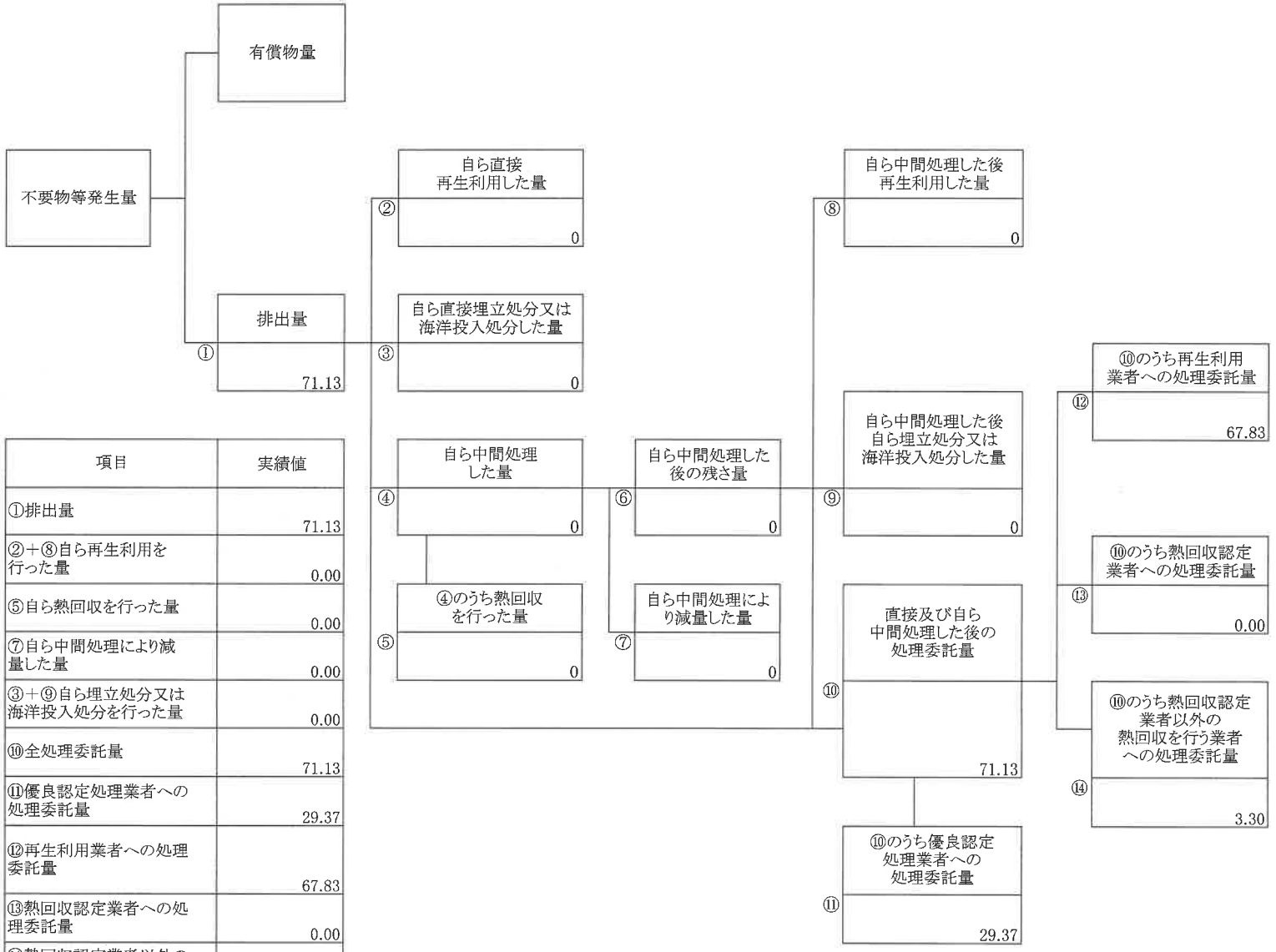


項目	実績値
①排出量	19.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	19.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.20
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

.Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）

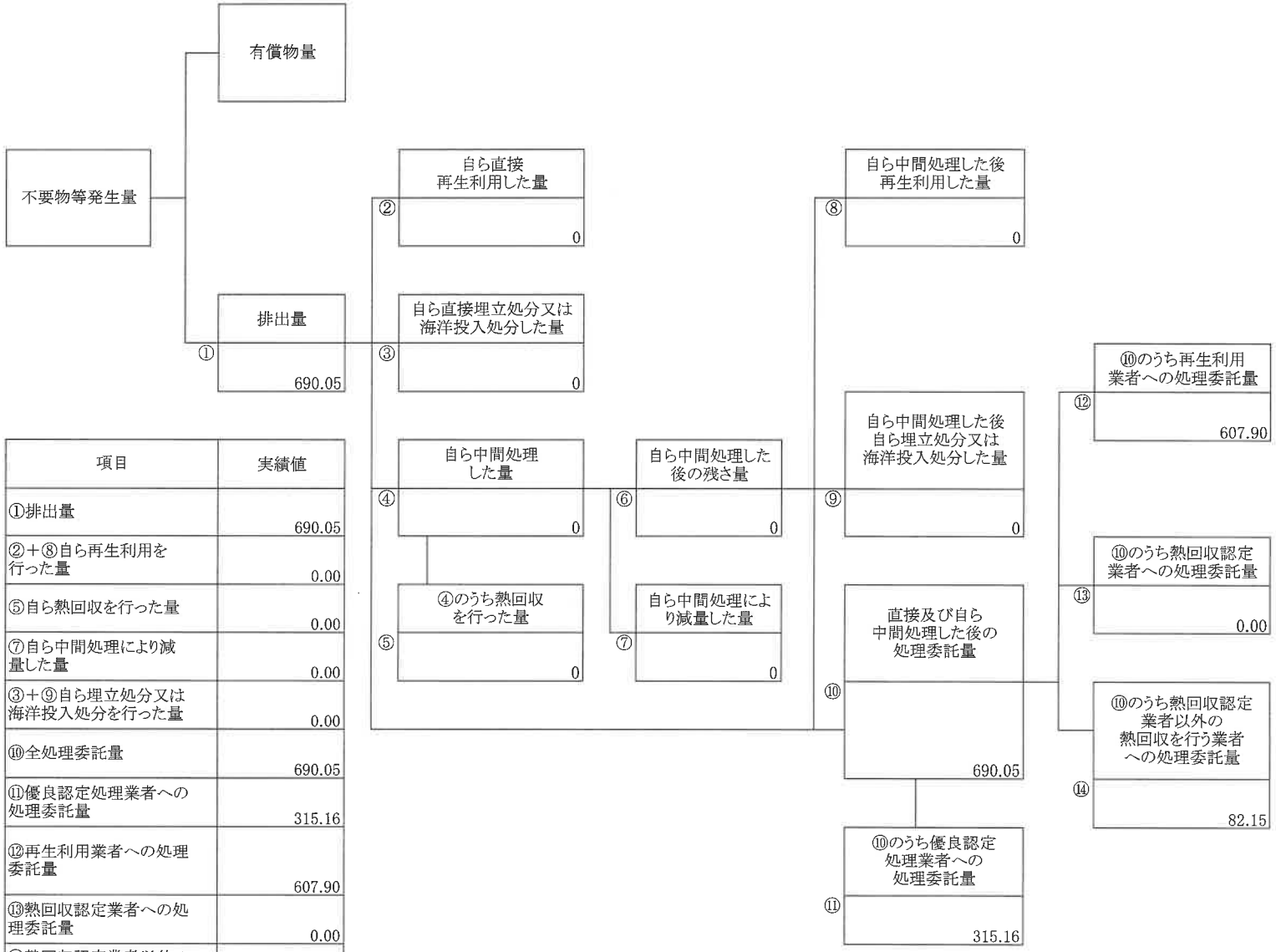


項目	実績値
①排出量	71.13
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	71.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.37
⑫再生利用業者への処理委託量	67.83
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.30

（第2面）

.Confidential

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：木くず　）

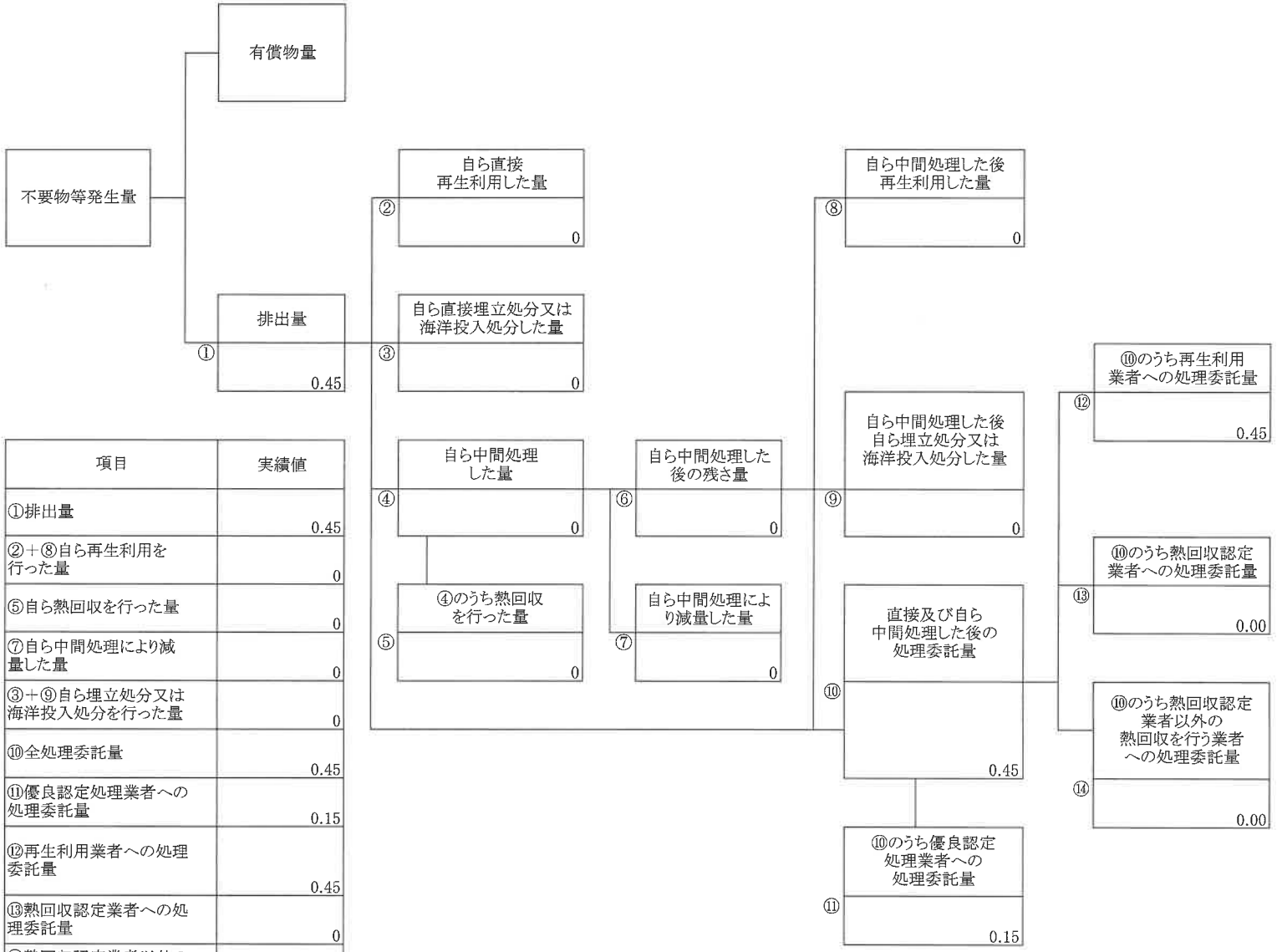


項目	実績値
①排出量	690.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	690.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	315.16
⑫再生利用業者への処理委託量	607.90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	82.15

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）

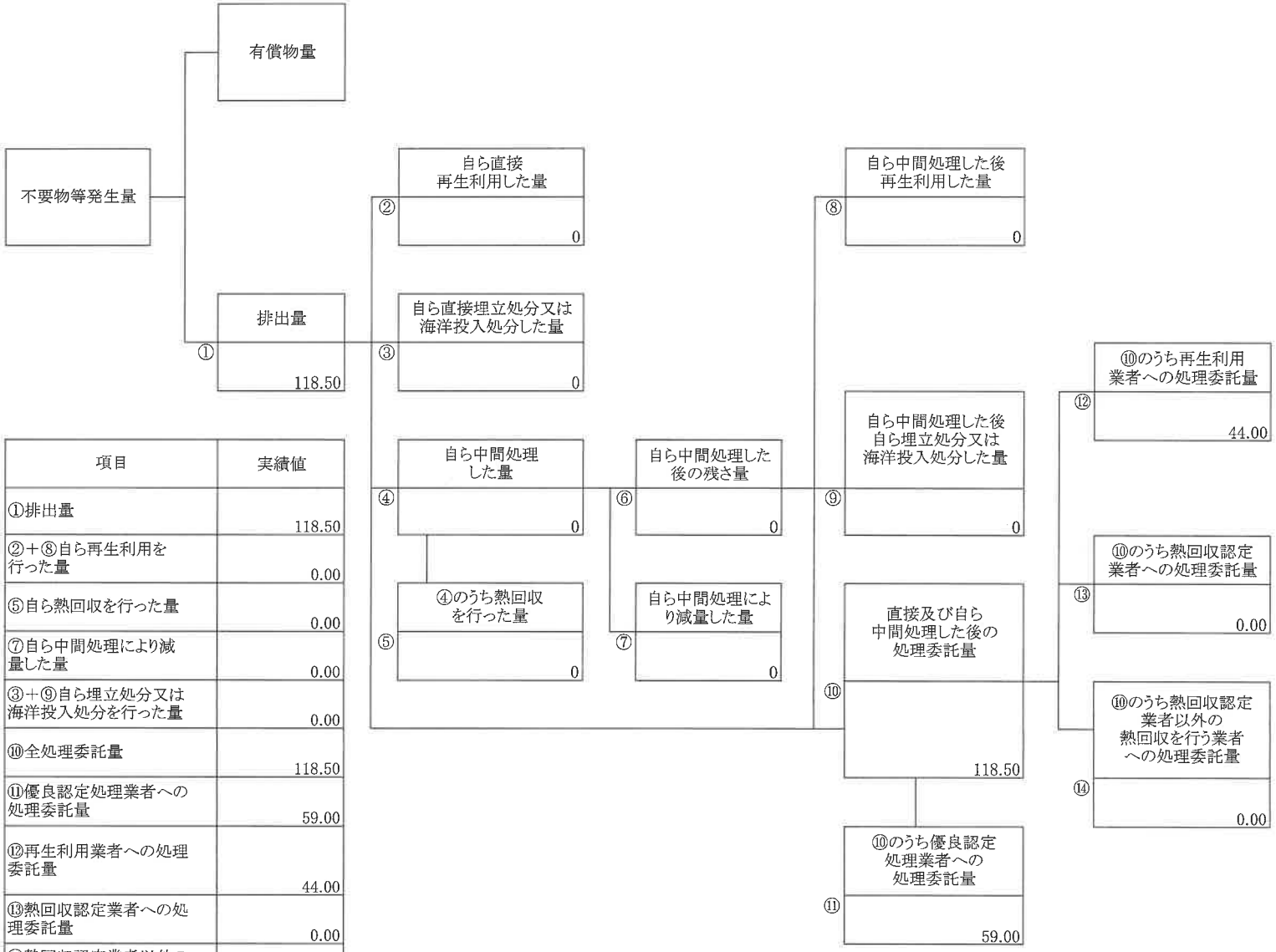


項目	実績値
①排出量	0.45
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.45
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.15
⑫再生利用業者への処理委託量	0.45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

Confidential

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	118.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	118.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	59.00
⑫再生利用業者への処理委託量	44.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

Confidential

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

Confidential

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　千葉県千葉市緑区おゆみ野3-19-4

氏　名　大和ハウス工業株式会社　千葉支店

支店長　中村　隆

電話番号　043-291-9633

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県各現場（千葉市を除く）
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	１５，７２２，５３６千円
③従業員数	１５４名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		
排　　出　　量	4,479.38　t	t

（これまでに実施した取組）

別紙３の通り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
排　　出　　量	4,031.44　t	t

（今後実施する予定の取組）

別紙３の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	－ t	3,338.57 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	－ t	3,004.71 t	－ t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－ t	40.09 t	－ t	20.51 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－ t	36.08 t	－ t	18.46 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排　出　量	36.57　t	－　t	24.64　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排　出　量	32.91　t	－　t	22.18　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排　出　量	－　t	－　t	426.59　t	179.35　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排　出　量	－　t	－　t	383.93　t	161.42　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排　出　量	167.37 t	－ t	3.24 t	63.26 t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排　出　量	150.63 t	－ t	2.91 t	56.93 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	－ t	179.20 t	t	t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	－ t	161.28 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		
全処理委託量	4,479.38 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	715.94 t	t
再生利用業者への処理委託量	4,383.10 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	69.75 t	t

（これまでに実施した取組）

別紙５の通り

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	－ t	3,338.57 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	3,338.57 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	40.09 t	－ t	20.51 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	32.75 t	－ t	2.51 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	26.73 t	－ t	20.51 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	13.36 t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	36.57 t	－ t	24.64 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	23.52 t	－ t	22.64 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	21.08 t	－ t	24.64 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.44 t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	－ t	－ t	426.59 t	179.35 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	290.40 t	7.20 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	426.59 t	179.35 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	167.37 t	－ t	3.24 t	63.26 t
優良認定処理業者への処理委託量	107.59 t	－ t	2.73 t	47.61 t
再生利用業者への処理委託量	154.09 t	－ t	3.09 t	9.45 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	0.15 t	53.80 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	－ t	179.20 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	179.00 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	－ t	179.00 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	4,031.44 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	644.35 t	t
		再生利用業者への処理委託量	3,944.79 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	－ t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	62.78 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙５の通り		
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	3,004.71 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	36.08 t	－ t	18.46 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	29.48 t	－ t	2.26 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	24.06 t	－ t	18.46 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	12.03 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	32.91 t	－ t	22.18 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	21.16 t	－ t	20.38 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	18.97 t	－ t	22.18 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.19 t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	－ t	－ t	383.93 t	161.42 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	261.36 t	6.48 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	383.93 t	161.42 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	150.63 t	－ t	2.91 t	56.93 t
優良認定処理業者への処理委託量	96.83 t	－ t	2.45 t	42.85 t
再生利用業者への処理委託量	138.68 t	－ t	2.78 t	8.51 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	0.14 t	48.42 t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	－ t	161.28 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	161.10 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	－ t	161.10 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

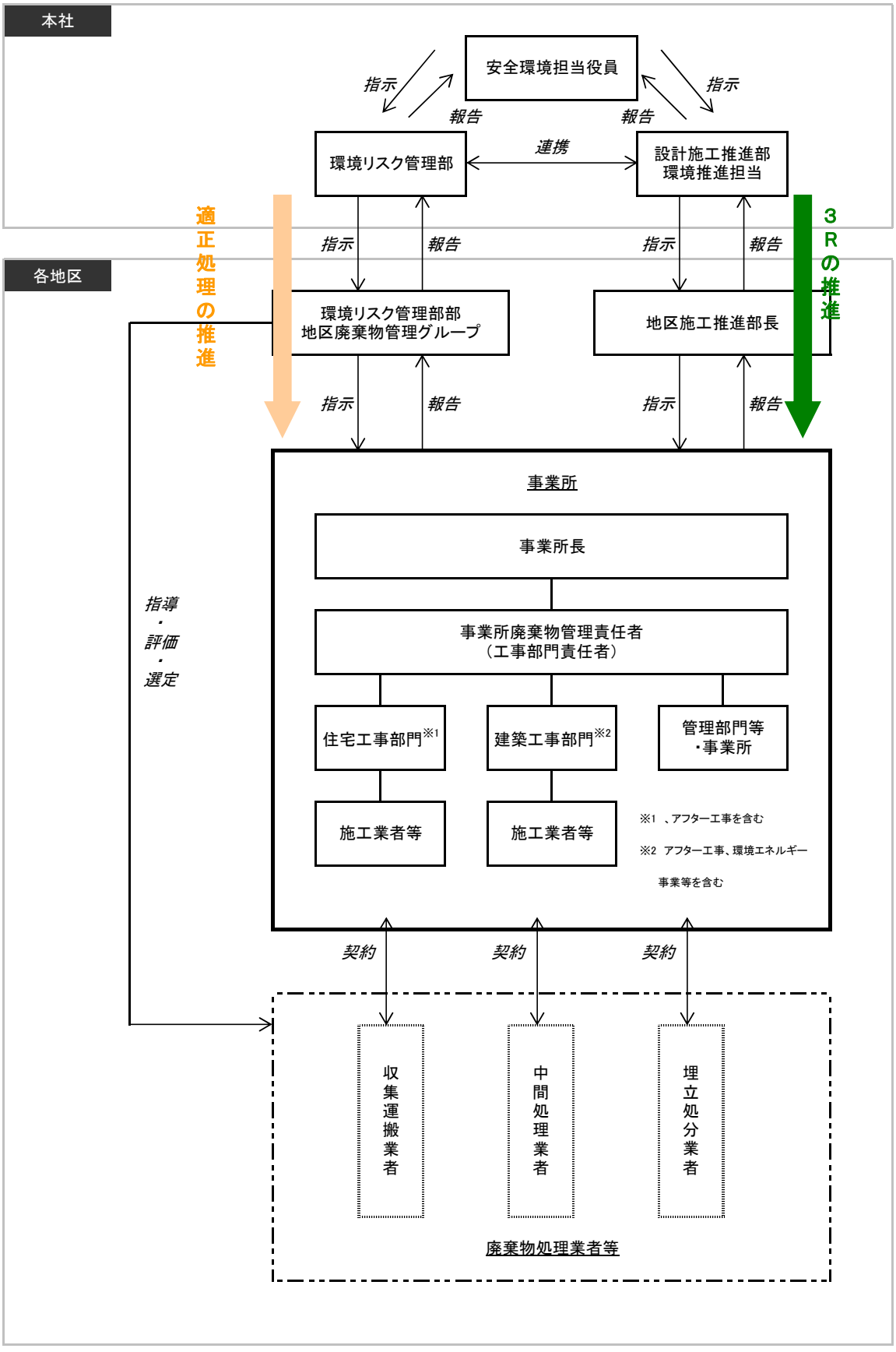
7　※欄は記入しないこと。

別紙1

廃棄物処理フロー図



別紙2


本社
安全環境担当役員
指示
報告
指示
報告
環境リスク管理部
連携
設計施工推進部
環境推進担当
適正処理の推進
3Rの推進
指示
報告
指示
報告
各地区
環境リスク管理部部
地区廃棄物管理グループ
地区施工推進部長
指示
報告
指示
報告
事業所
事業所長
事業所廃棄物管理責任者
（工事部門責任者）
住宅工事部門※1
建築工事部門※2
管理部門等
・事業所
施工業者等
施工業者等
※1 、アフター工事を含む
※2 アフター工事、環境エネルギー
事業等を含む
指導
・
評価
・
選定
契約
契約
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷 ・給水管のプレ加工	・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める ・梱包レス化の推進で排出抑制を図る ・通い箱等での梱包レス化
金属くず	・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している ・基礎鉄筋のプレ加工 ・電気配線のプレ加工	・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷 ・瓦材のプレ加工	・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる
コンクリート片	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている ・	・専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする
木くず	・当社工場出荷材はプレカットにて出荷 ・現場調達材のプレカットにて出荷 ・梱包材のリターナブル化	・更なるプレカット化の精度を高める ・ロス率見直しによる精度向上を図る
繊維くず		・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード　雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全管理部廃棄物グループと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先　処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託（売買）契約を適切に行っているか。 ・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。 ・処理施設の管理状況 （施設・車両の点検状況） ・従業員の教育状況 ・周辺の地域社会との交流の取り込み	・継続していく
金属くず		
ガラス陶磁器等くず		
コンクリート片		
廃アスファルト		
レンガ破片等		
紙くず		
木くず		
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月14日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 千葉県千葉市緑区おゆみ野3-19-4

氏 名 大和ハウス工業株式会社 千葉支店

支店長 中村 隆

電話番号 043-291-9633

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき,令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

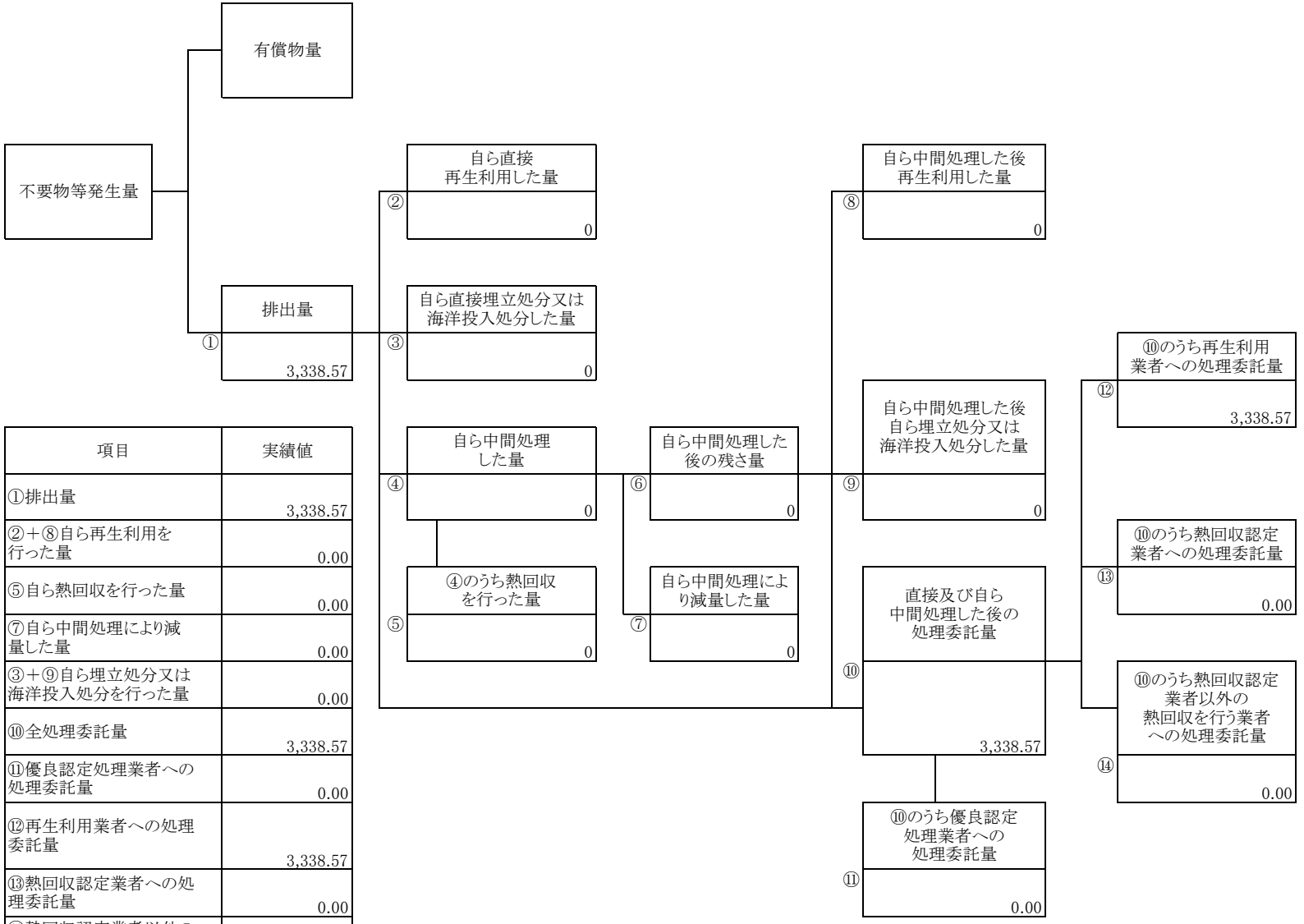
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 千葉支店 千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県内一円(千葉市を除く)
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,318.47t	全処理委託量	1,318.47t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	249.07t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	1,119.76t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	85.30t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

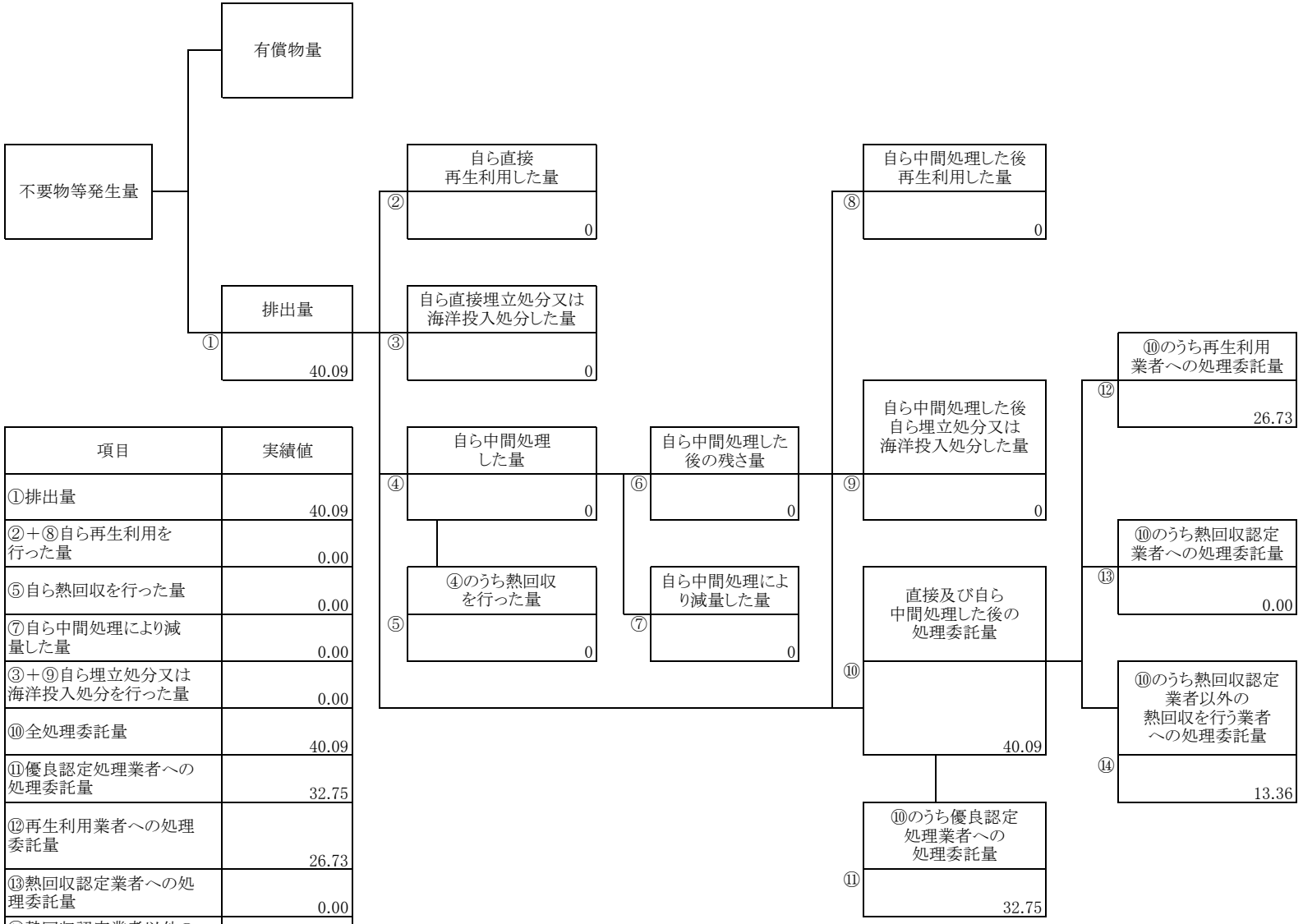
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	3,338.57
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3,338.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	3,338.57
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

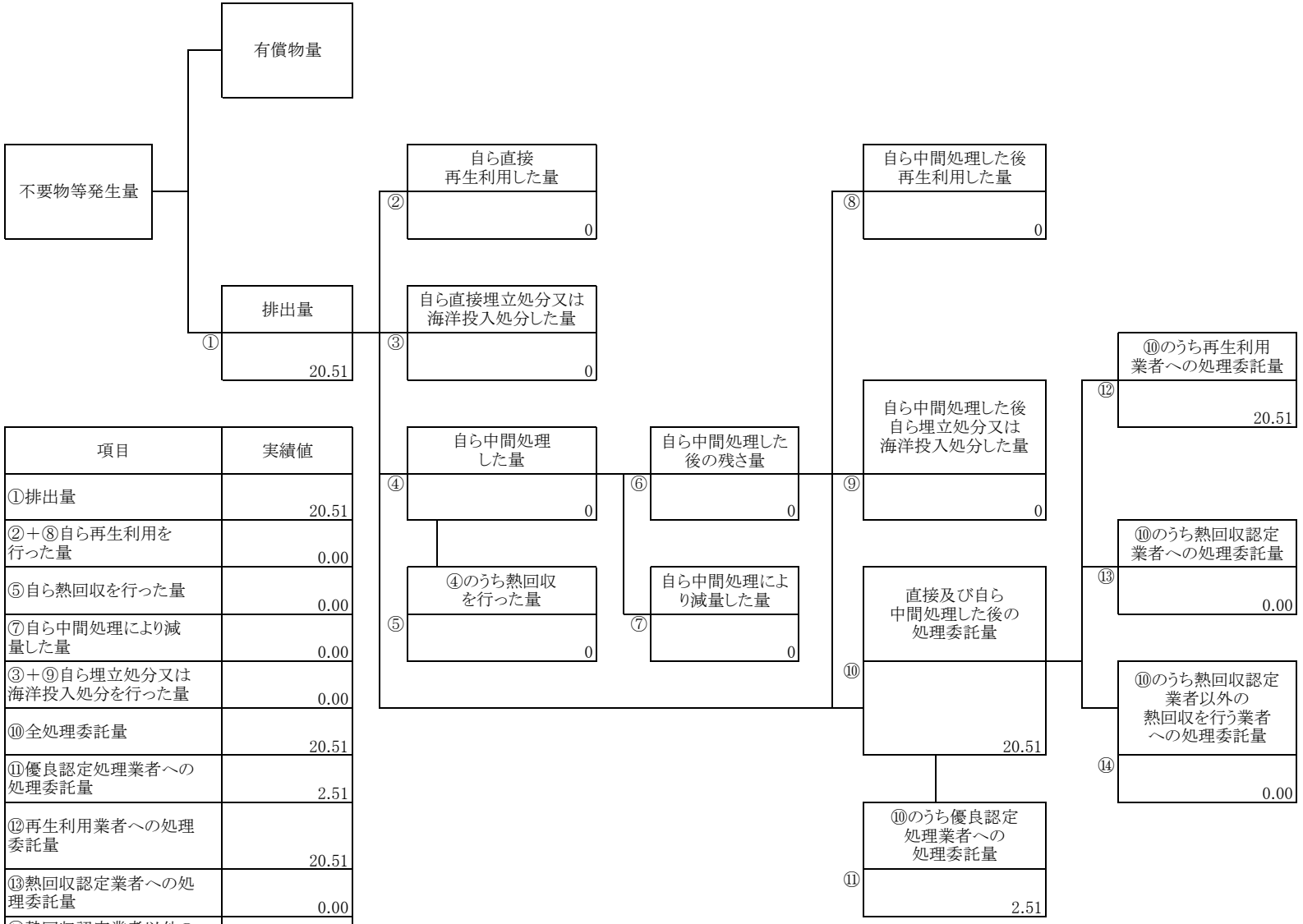
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスティック類　　）



項目	実績値
①排出量	40.09
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	40.09
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32.75
⑫再生利用業者への処理委託量	26.73
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	13.36

（第2面）

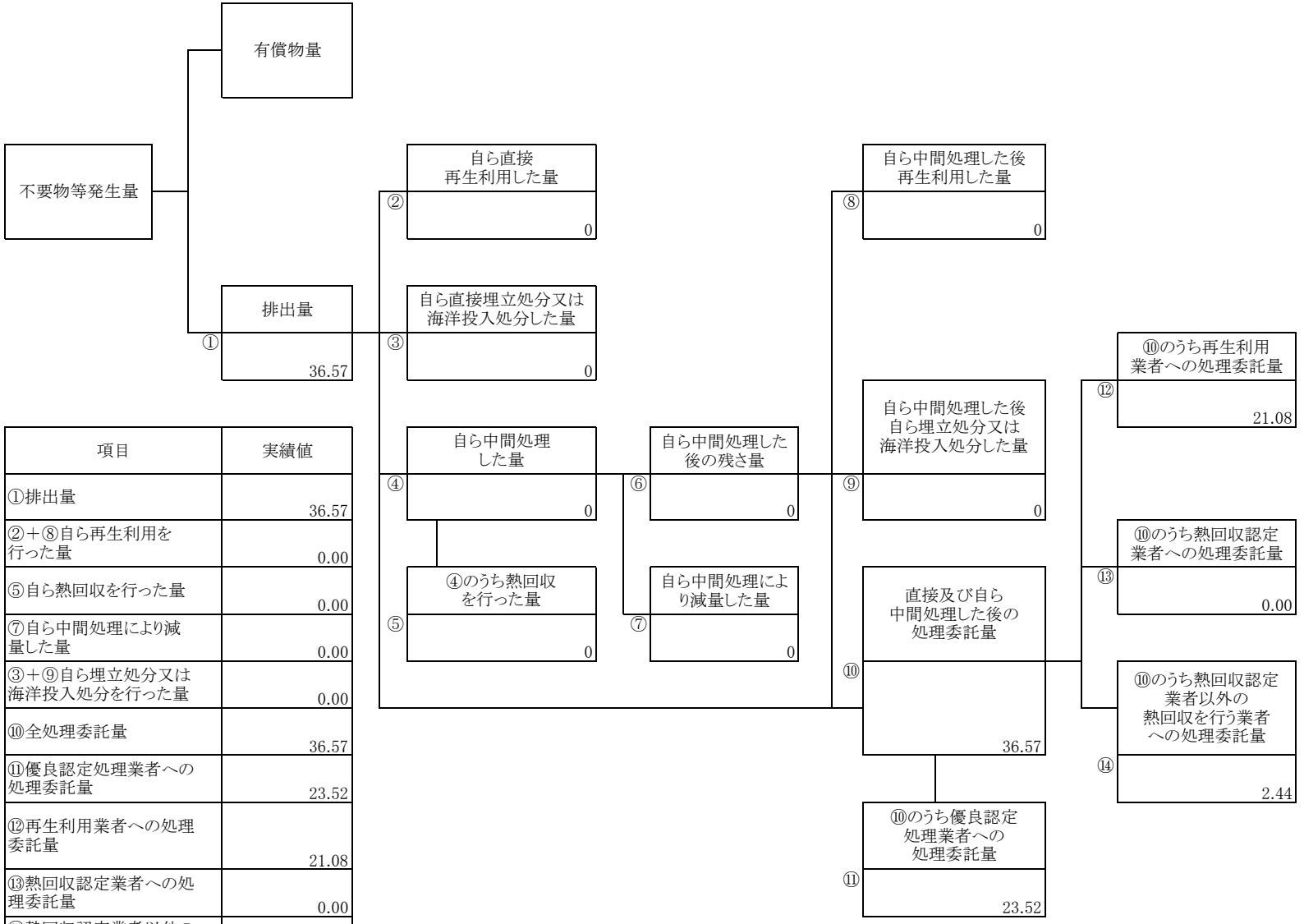
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	20.51
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	20.51
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.51
⑫再生利用業者への処理委託量	20.51
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

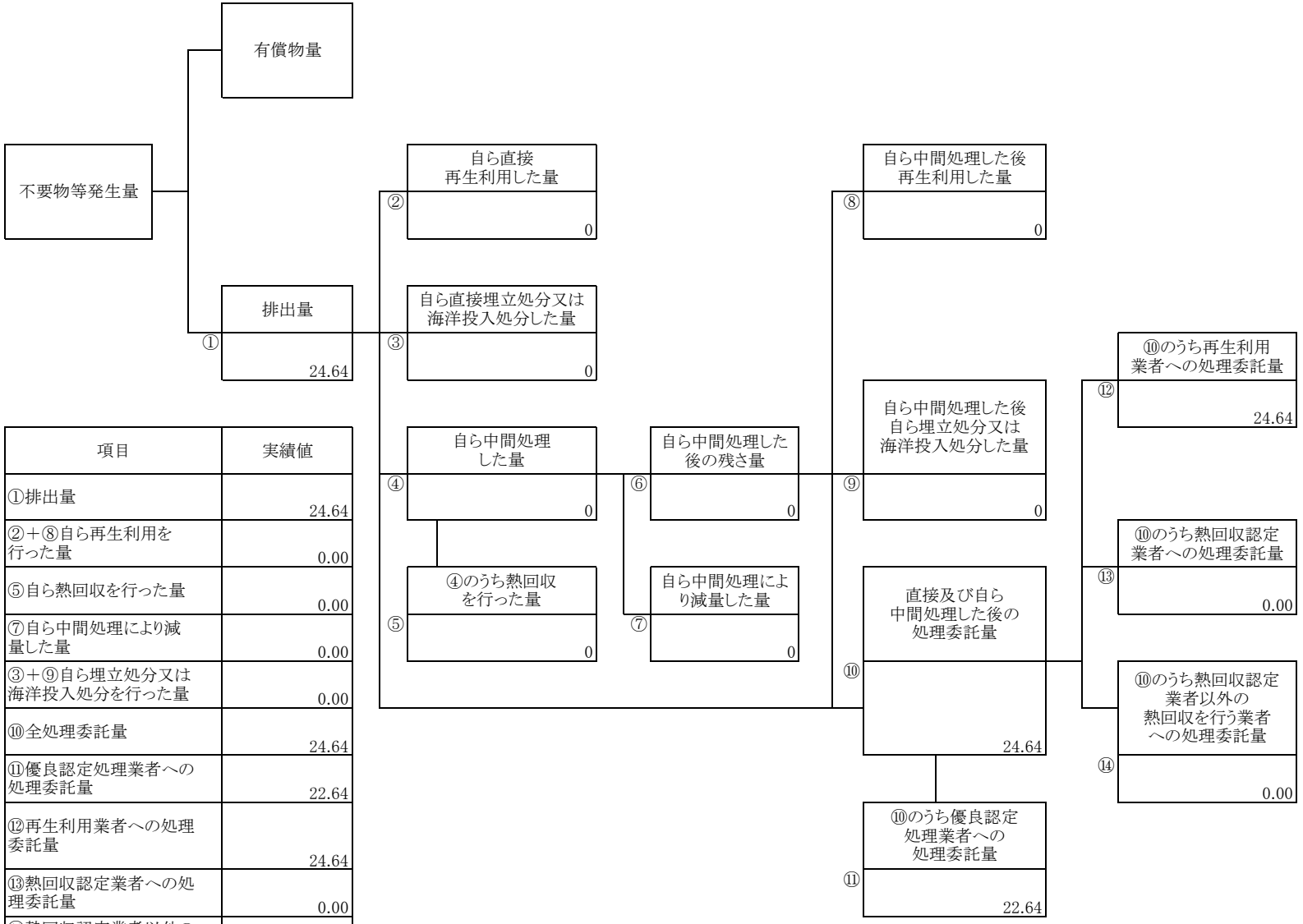
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　　）



項目	実績値
①排出量	36.57
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	36.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.52
⑫再生利用業者への処理委託量	21.08
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.44

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　石膏ボード　　）

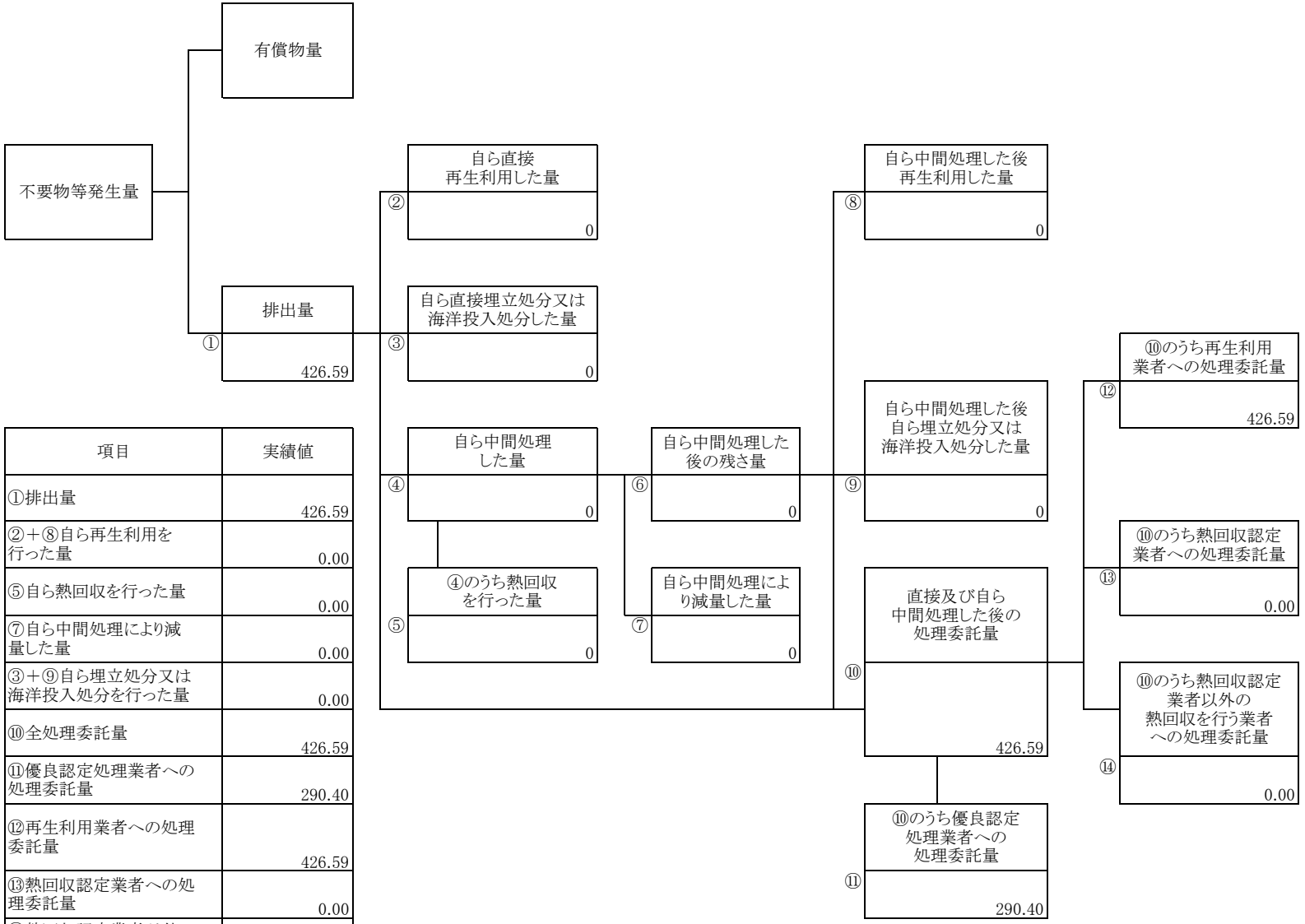


項目	実績値
①排出量	24.64
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	24.64
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.64
⑫再生利用業者への処理委託量	24.64
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

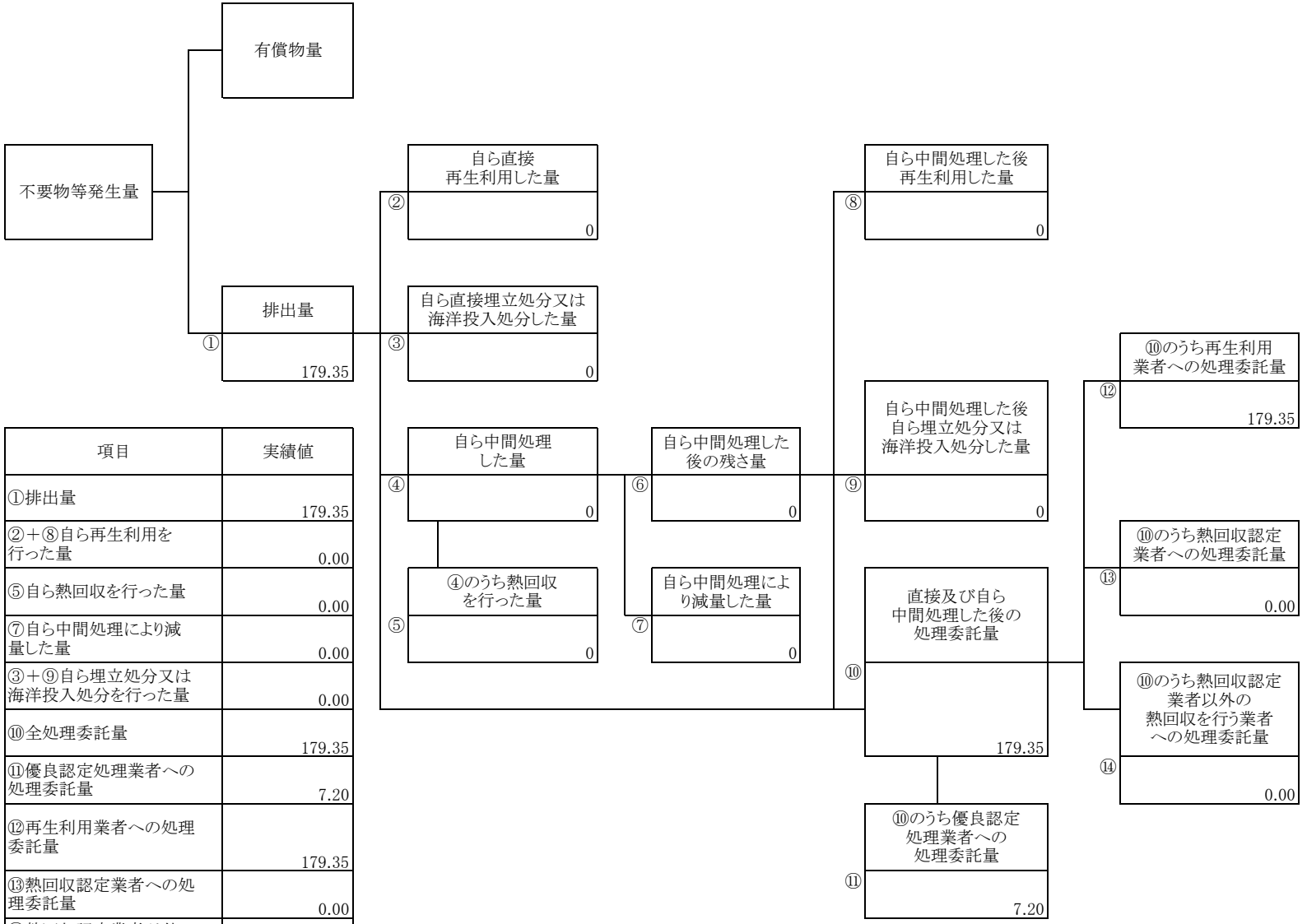
（産業廃棄物の種類：がれき類　コンクリート片　　）



項目	実績値
①排出量	426.59
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	426.59
⑪優良認定処理業者への処理委託量	290.40
⑫再生利用業者への処理委託量	426.59
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

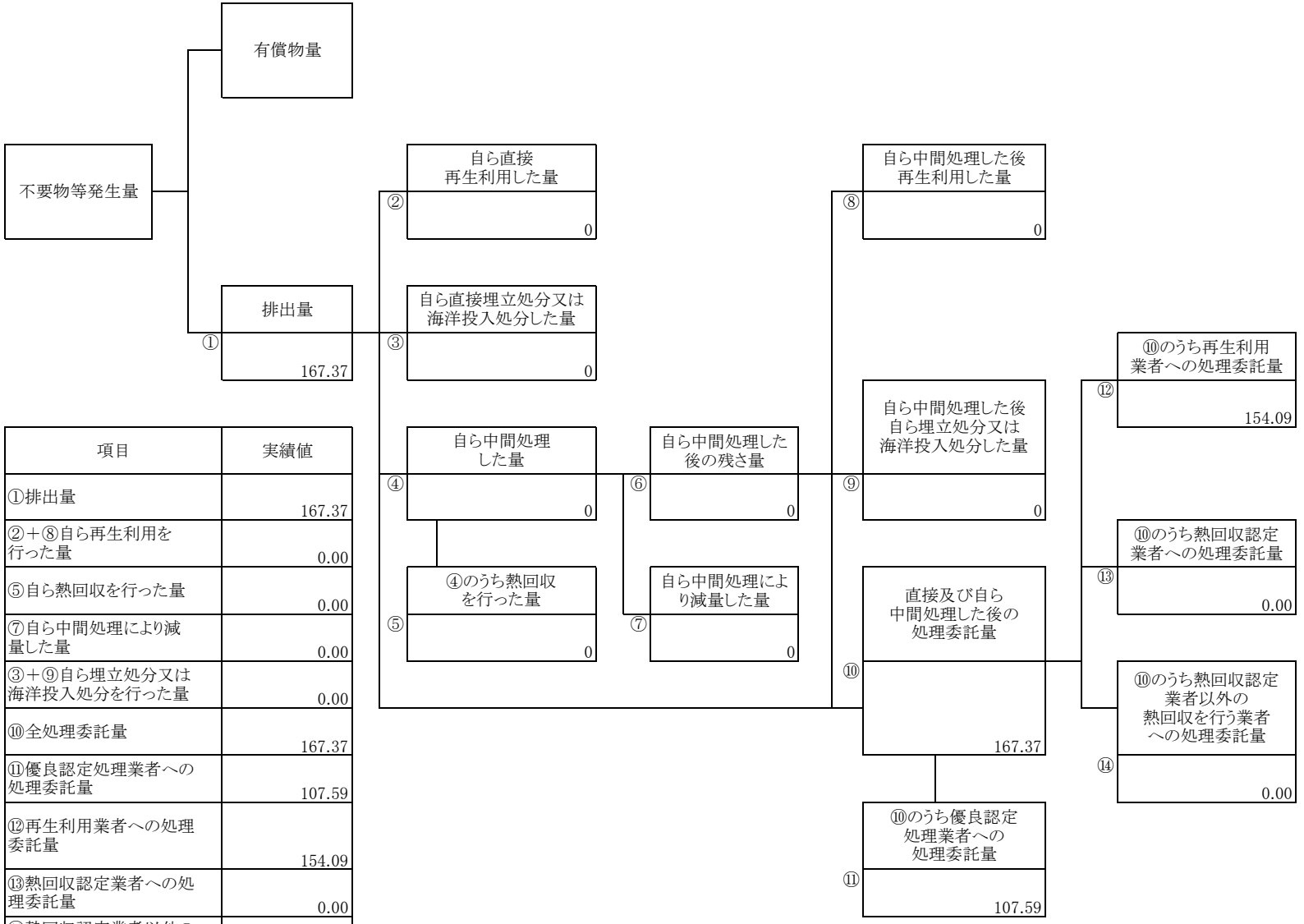
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　廃アスファルト　　）



項目	実績値
①排出量	179.35
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	179.35
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.20
⑫再生利用業者への処理委託量	179.35
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

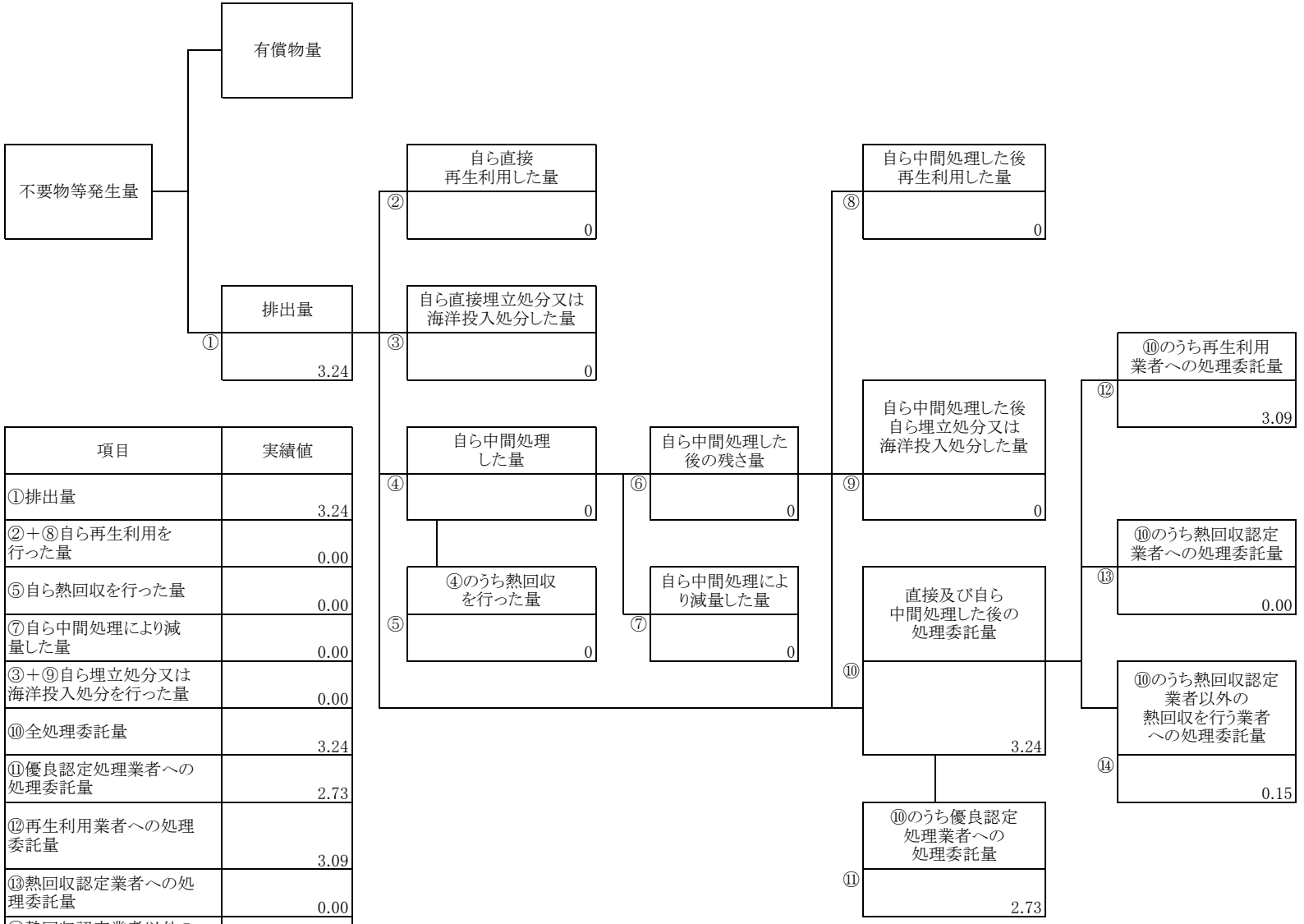
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　レンガ破片など　　）



項目	実績値
①排出量	167.37
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	167.37
⑪優良認定処理業者への処理委託量	107.59
⑫再生利用業者への処理委託量	154.09
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

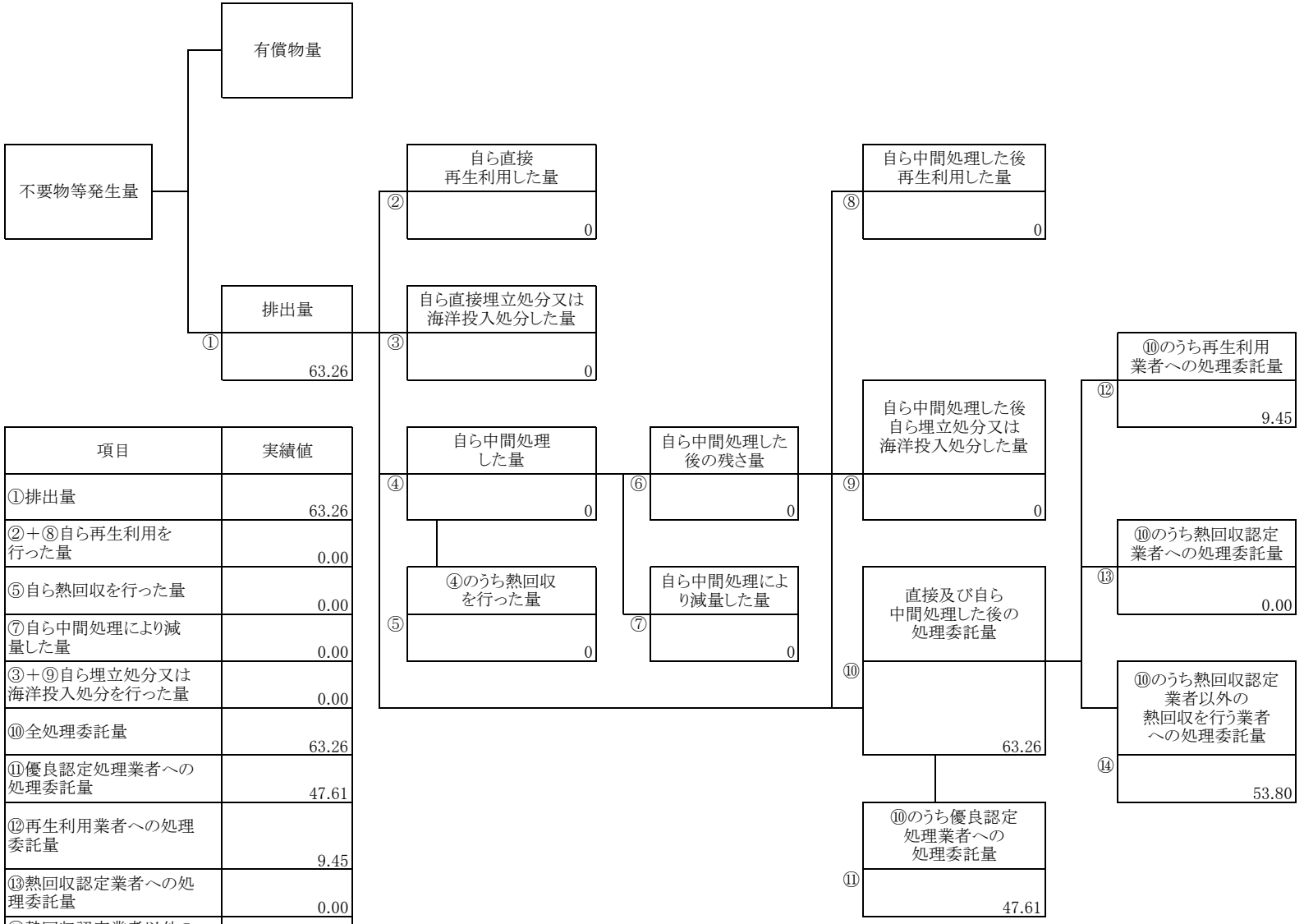
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	3.24
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.73
⑫再生利用業者への処理委託量	3.09
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.15

（第2面）

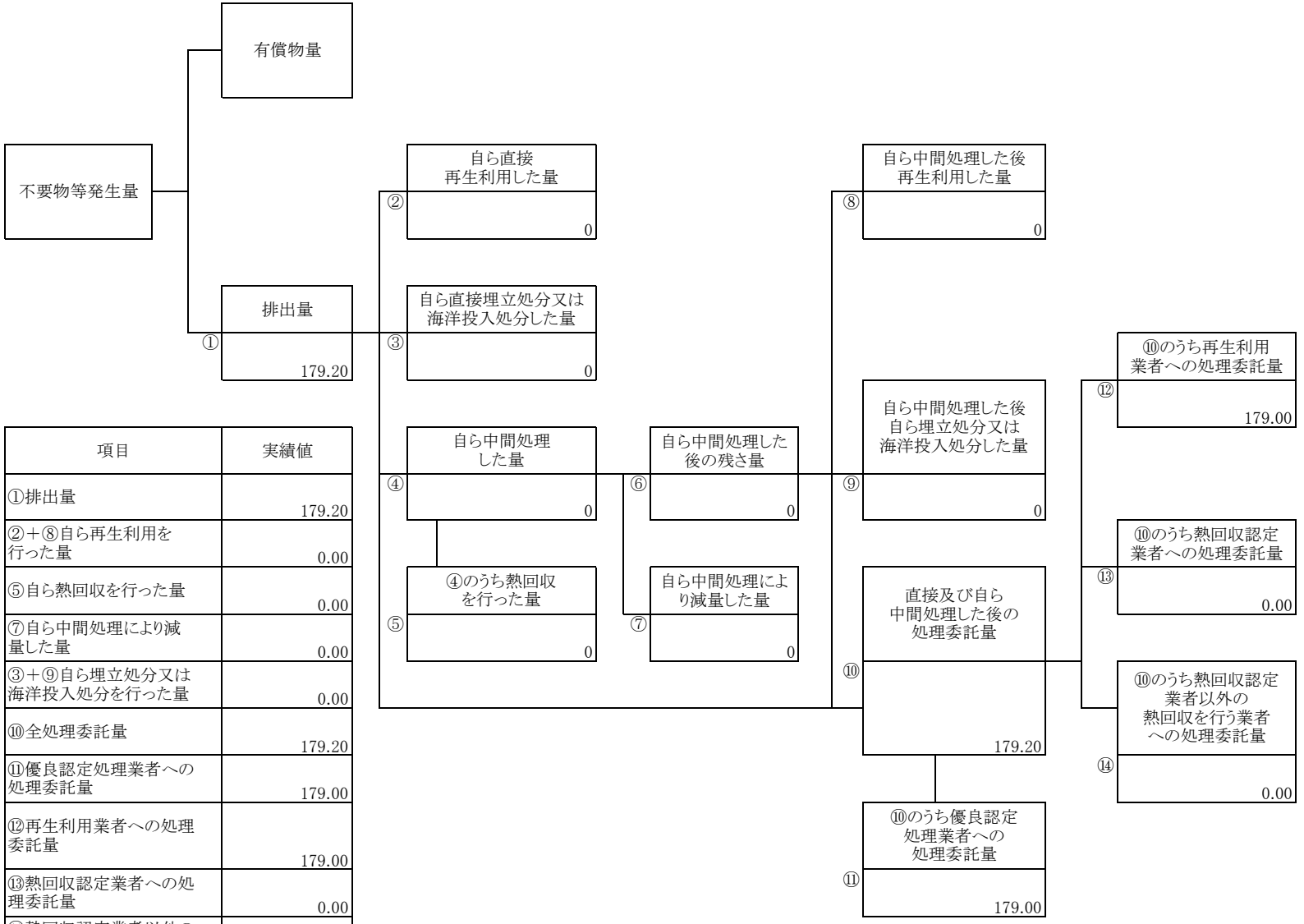
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	63.26
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	63.26
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.61
⑫再生利用業者への処理委託量	9.45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	53.80

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	179.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	179.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	179.00
⑫再生利用業者への処理委託量	179.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月5日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区飯田橋3-13-1

氏 名　大和ハウス工業株式会社　東京本社・本店

本店長　片岡　幸和

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03（5214）2157

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東京本社・本店
事業場の所在地	当該自治体域内の各施工現場
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	売上高　2,149,713百万円（2024年3月期）
③従業員数	16,135人（2024年3月31日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 給排水配管材・屋根材・外壁材・鋼材等のプレ加工現場納入推進。簡易梱包化・リターナブル化による段ボールや廃プラスチックの削減。有価物化の推進。解体工事現場の分別精度の向上。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記の品目の拡大、更なる精度向上。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 単品袋詰め又はコンテナに単品集積（廃プラスチック、金属くず、ガラス陶磁器くず、コンクリート片・木くず・紙くず）。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 発泡スチロールやＰＰバンド等リサイクル可能な品目の再分別。金属くずを鉄と非鉄に再分別。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託。定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全部と同行して実施。委託先や処理系統を定期的に見直し。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
上記の施策の継続。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

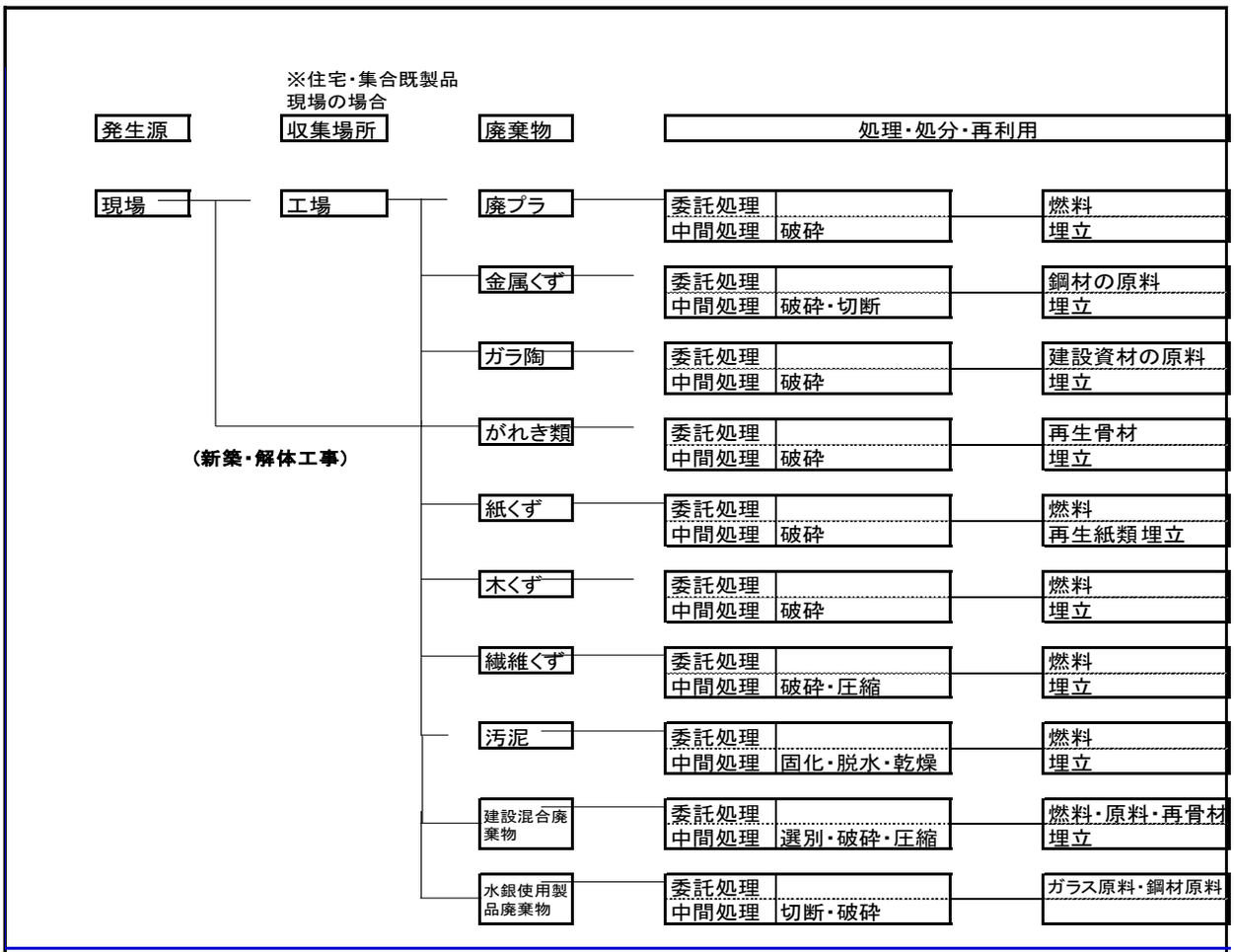
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

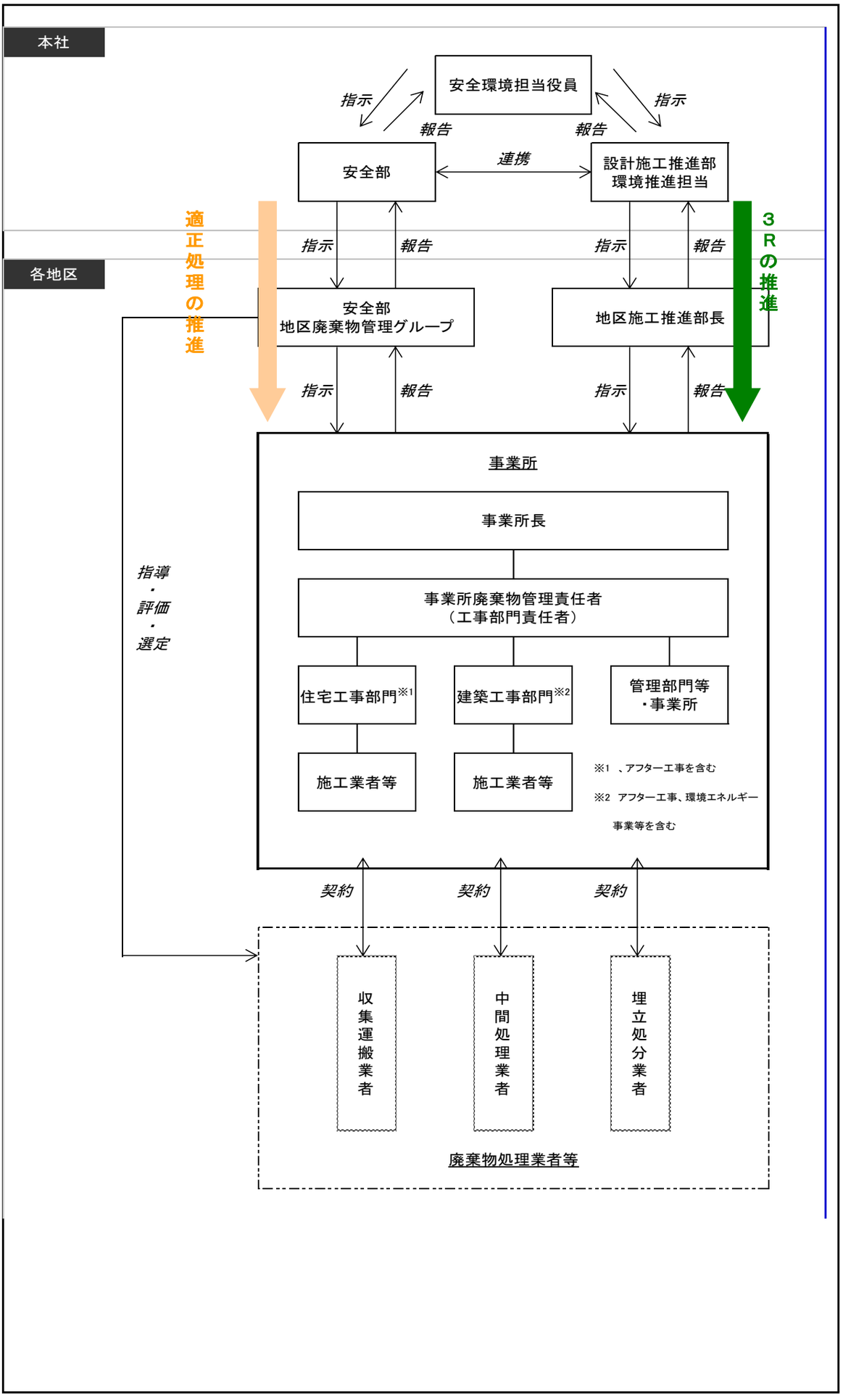
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図


※住宅・集合既製品
現場の場合
発生源
収集場所
廃棄物
処理・処分・再利用
現場
工場
（新築・解体工事）
廃プラ
委託処理
中間処理
破砕
燃料
埋立
金属くず
委託処理
中間処理
破砕・切断
鋼材の原料
埋立
ガラ陶
委託処理
中間処理
破砕
建設資材の原料
埋立
がれき類
委託処理
中間処理
破砕
再生骨材
埋立
紙くず
委託処理
中間処理
破砕
燃料
再生紙類埋立
木くず
委託処理
中間処理
破砕
燃料
埋立
繊維くず
委託処理
中間処理
破砕・圧縮
燃料
埋立
汚泥
委託処理
中間処理
固化・脱水・乾燥
燃料
埋立
建設混合廃棄物
委託処理
中間処理
選別・破砕・圧縮
燃料・原料・再骨材
埋立
水銀使用製品廃棄物
委託処理
中間処理
切断・破砕
ガラス原料・鋼材原料

別添２ 管理体制図


本社
安全環境担当役員
指示
報告
指示
報告
安全部
連携
設計施工推進部
環境推進担当
適正処理の推進
３Ｒの推進
各地区
指示
報告
指示
報告
安全部
地区廃棄物管理グループ
地区施工推進部長
指示
報告
指示
報告
事業所
事業所長
事業所廃棄物管理責任者
（工事部門責任者）
住宅工事部門※1
建築工事部門※2
管理部門等
・事業所
施工業者等
施工業者等
※1 、アフター工事を含む
※2 アフター工事、環境エネルギー
事業等を含む
指導
・
評価
・
選定
契約
契約
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
		排　出　量	16,036.80 t	76.10 t	15.93 t	83.20 t	27.00 t	40.35 t	25.28 t	1,382.72 t	379.20 t	243.68 t	4.50 t	0.14 t						
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
		排　出　量	14,433.12 t	68.49 t	14.34 t	74.88 t	24.30 t	36.32 t	22.75 t	1,244.45 t	341.28 t	219.31 t	4.05 t	0.13 t						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
全処理委託量	16,036.80 t	76.10 t	15.93 t	83.20 t	27.00 t	40.35 t	25.28 t	1,382.72 t	379.20 t	243.68 t	4.50 t	0.14 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	75.10 t	15.63 t	80.45 t	24.00 t	40.35 t	25.28 t	607.52 t	234.40 t	243.68 t	4.50 t	0.14 t						
再生利用業者への処理委託量	16,036.80 t	76.10 t	15.93 t	83.20 t	27.00 t	40.35 t	25.28 t	1,382.72 t	379.20 t	243.68 t	0.00 t	0.14 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
全処理委託量	14,433.12 t	68.49 t	14.34 t	74.88 t	24.30 t	36.32 t	22.75 t	1,244.45 t	341.28 t	219.31 t	4.05 t	0.13 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	67.59 t	14.07 t	72.41 t	21.60 t	36.32 t	22.75 t	546.77 t	210.96 t	219.31 t	4.05 t	0.13 t						
再生利用業者への処理委託量	14,433.12 t	68.49 t	14.34 t	74.88 t	24.30 t	36.32 t	22.75 t	1,244.45 t	341.28 t	219.31 t	0.00 t	0.13 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区飯田橋3-13-1

氏 名　大和ハウス工業株式会社　東京本社・本店

本店長　片岡　幸和

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03（5214）2157

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東京本社・本店
事業場の所在地	当該自治体域内の各施工現場
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

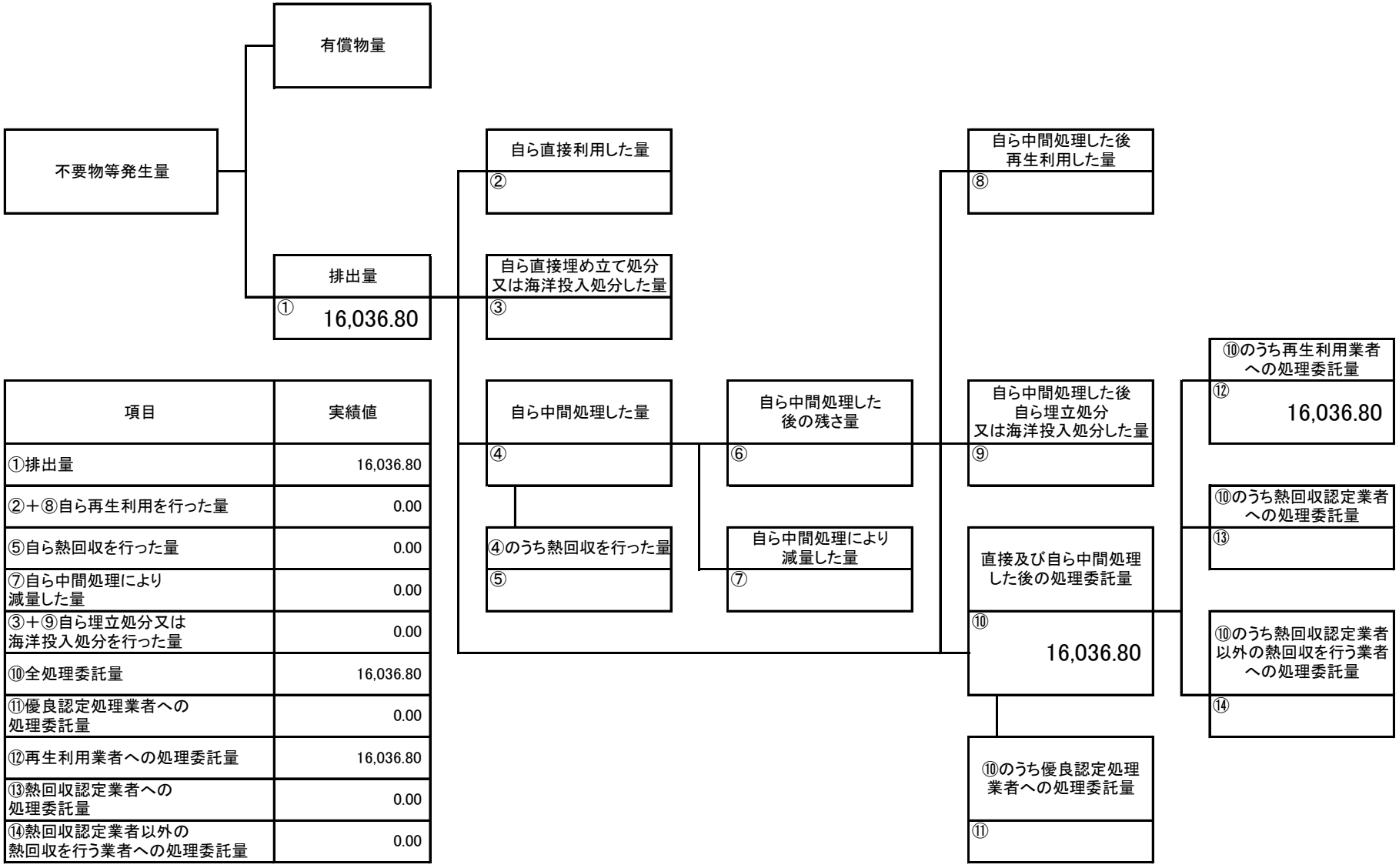
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,093.05 t	全処理委託量	1,093.05 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	237.12 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,093.05 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

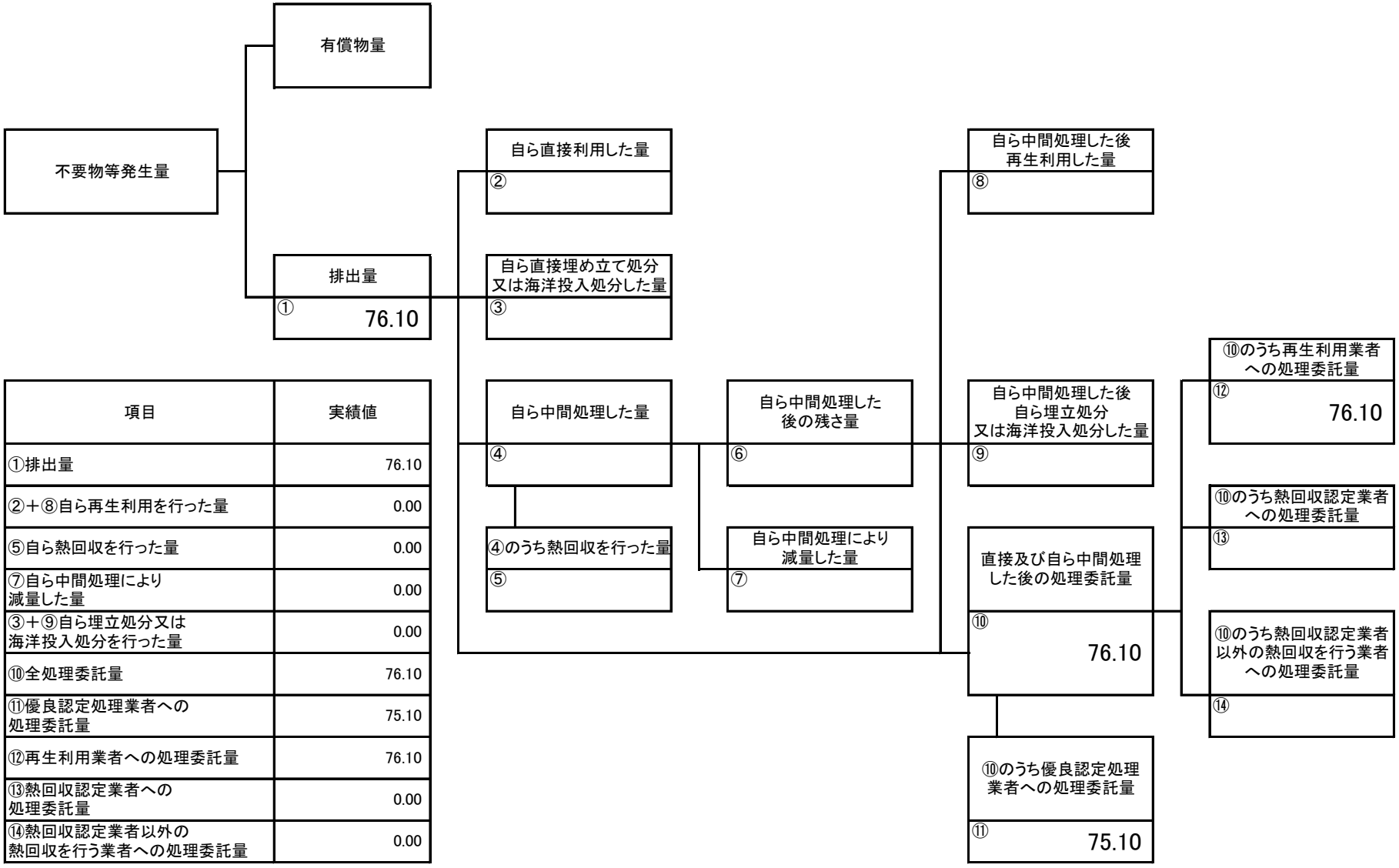


項目	実績値
①排出量	16,036.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16,036.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	16,036.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

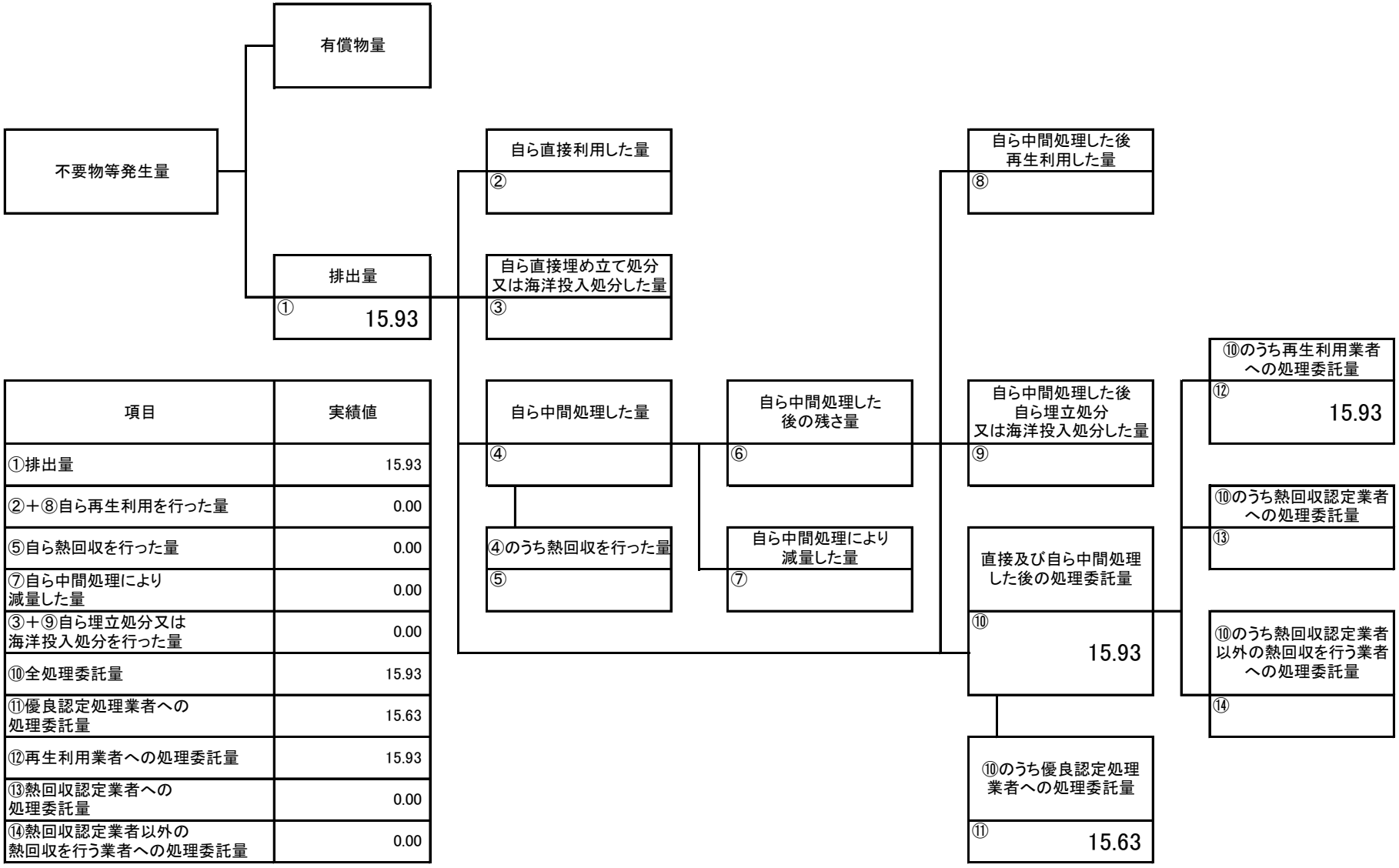


項目	実績値
①排出量	76.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	76.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.10
⑫再生利用業者への処理委託量	76.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず　　）

（単位：トン）

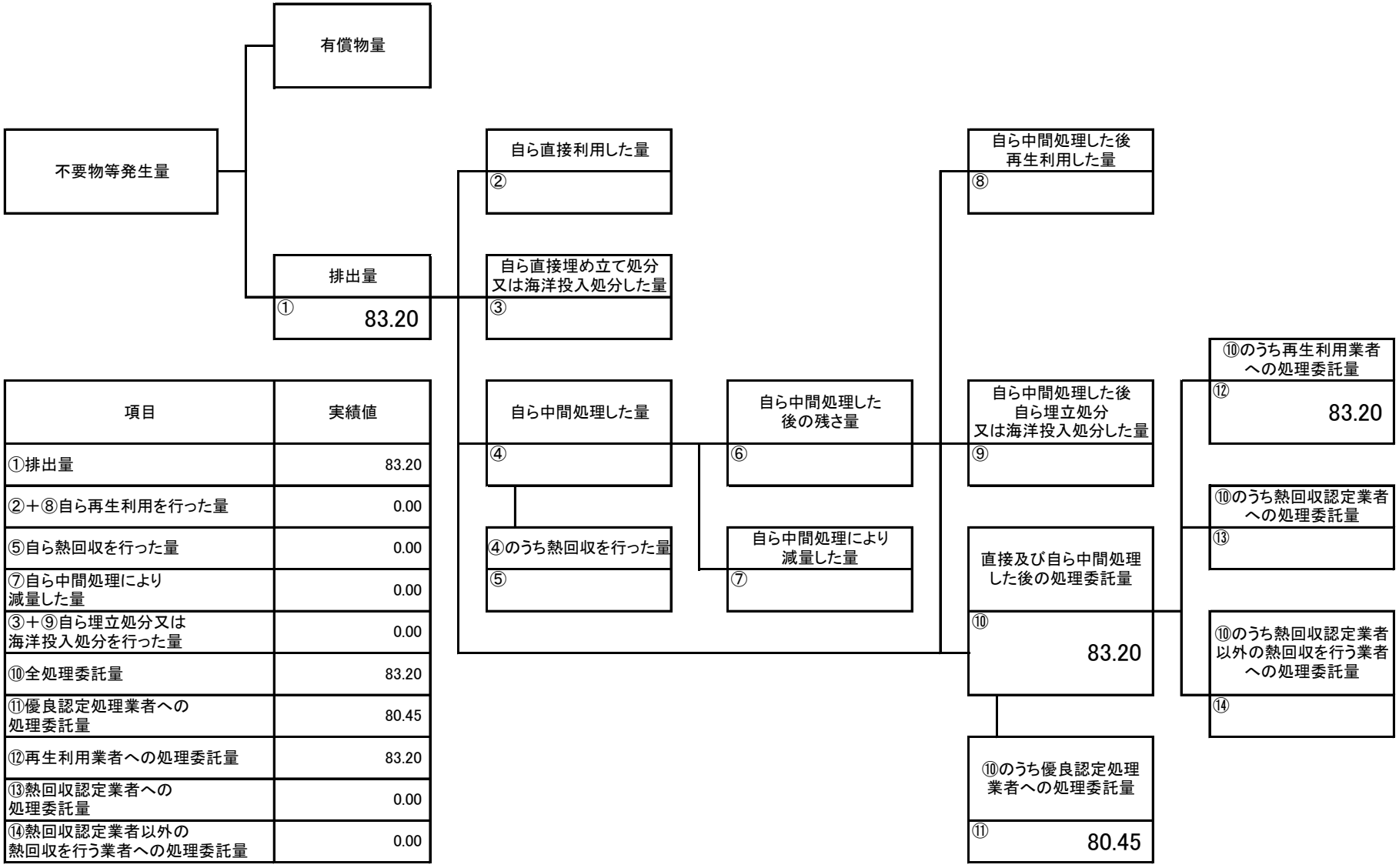


項目	実績値
①排出量	15.93
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	15.93
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.63
⑫再生利用業者への処理委託量	15.93
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

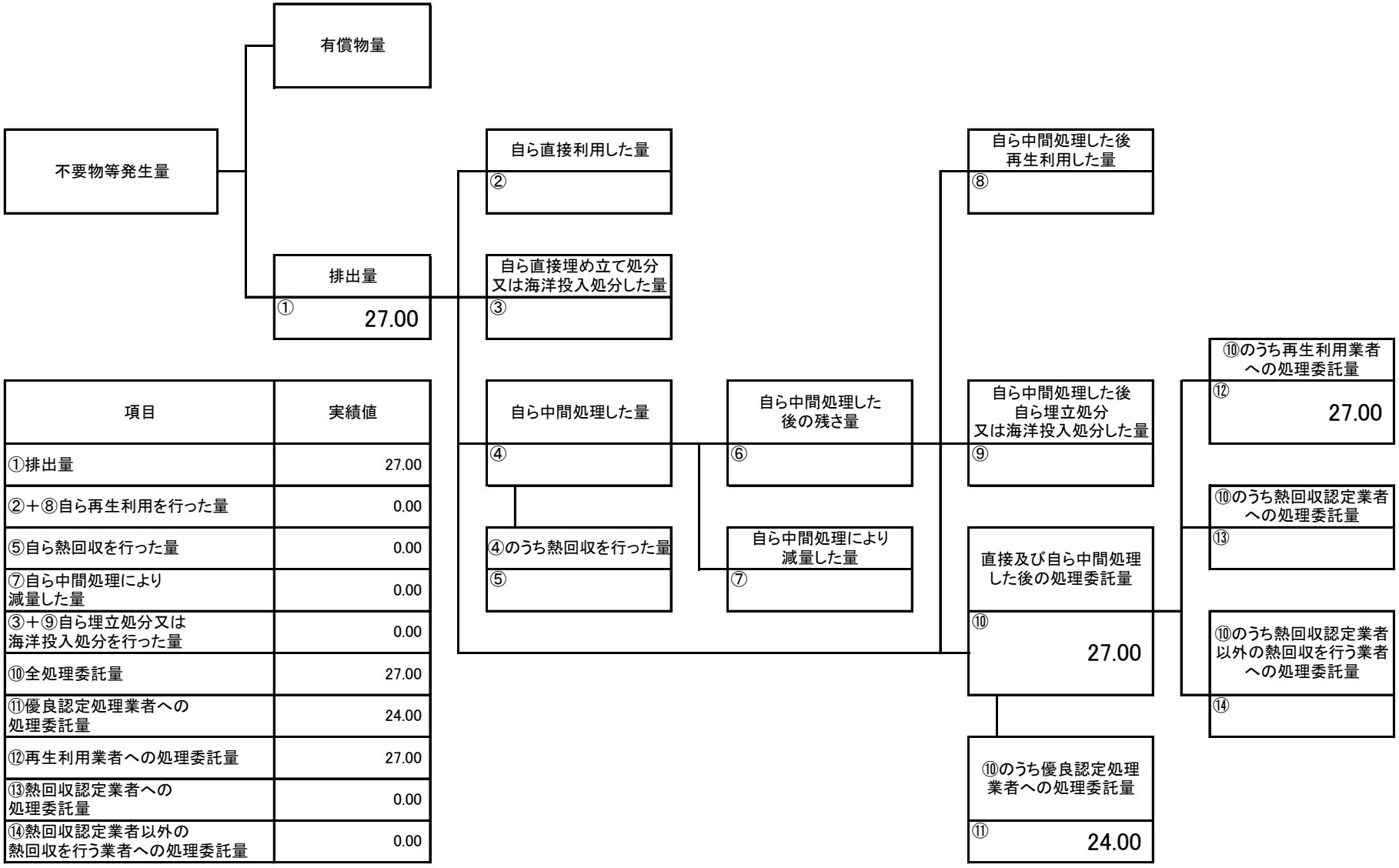


項目	実績値
①排出量	83.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	83.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	80.45
⑫再生利用業者への処理委託量	83.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず　　）

（単位：トン）

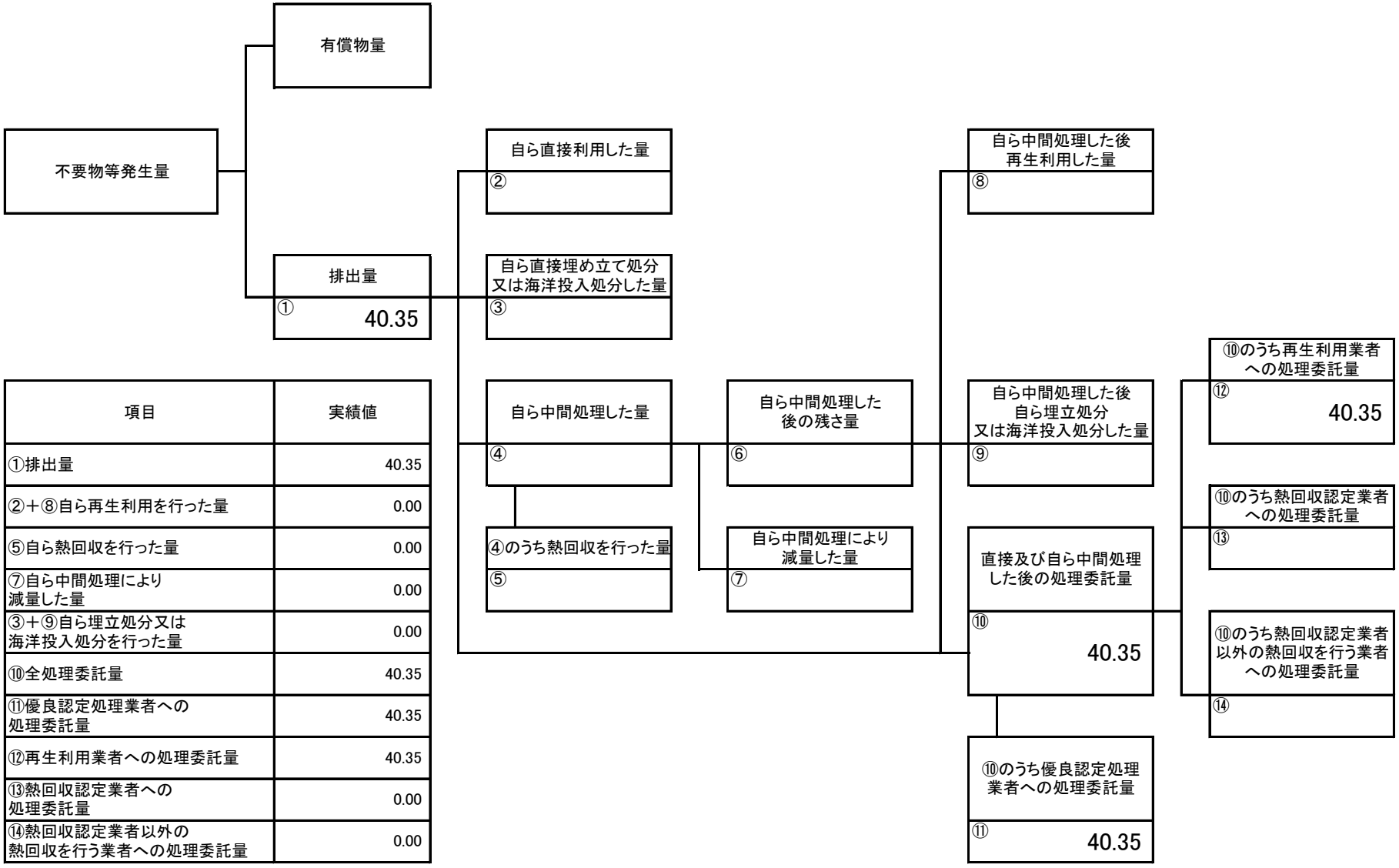


項目	実績値
①排出量	27.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	27.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.00
⑫再生利用業者への処理委託量	27.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

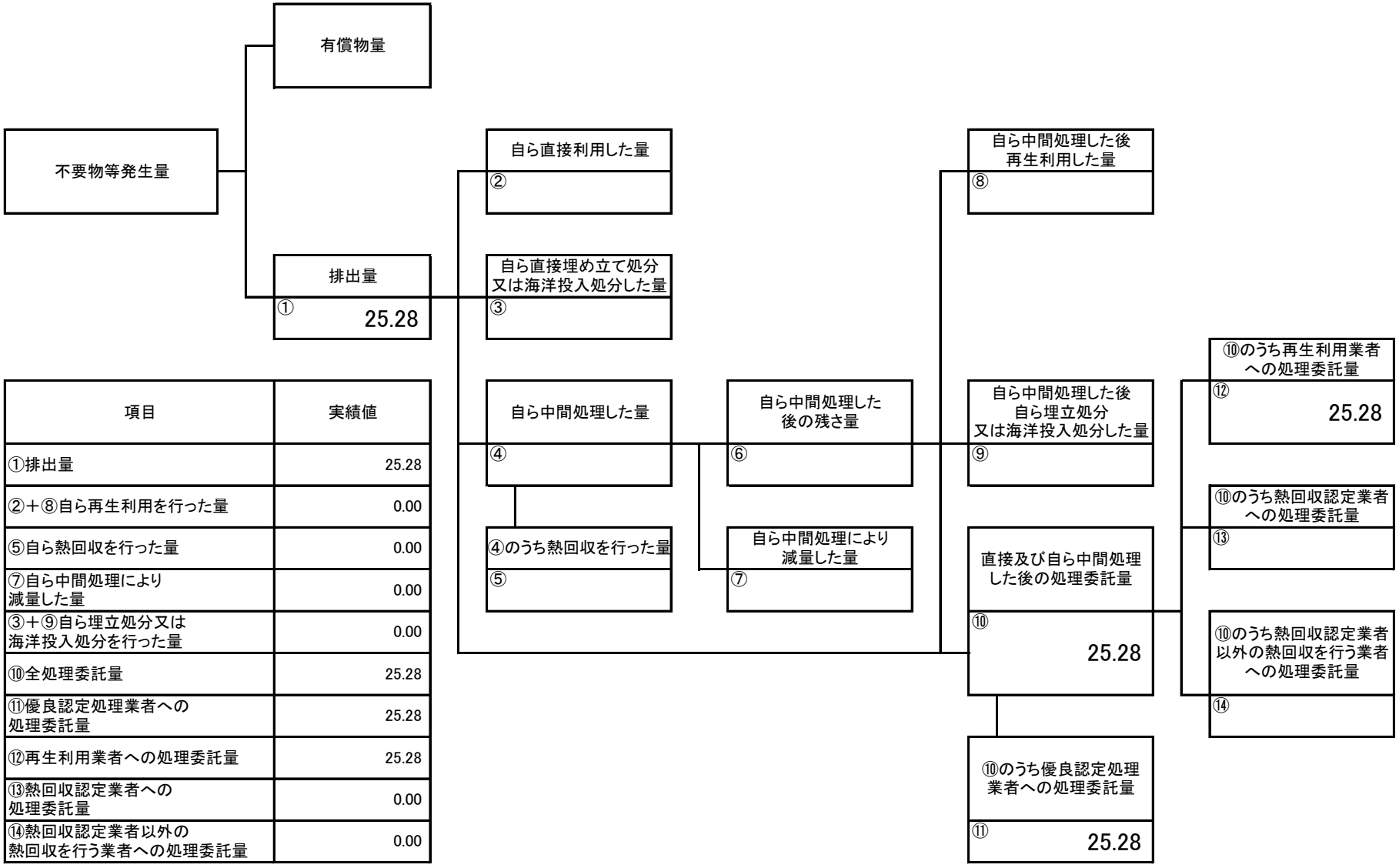


項目	実績値
①排出量	40.35
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	40.35
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.35
⑫再生利用業者への処理委託量	40.35
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

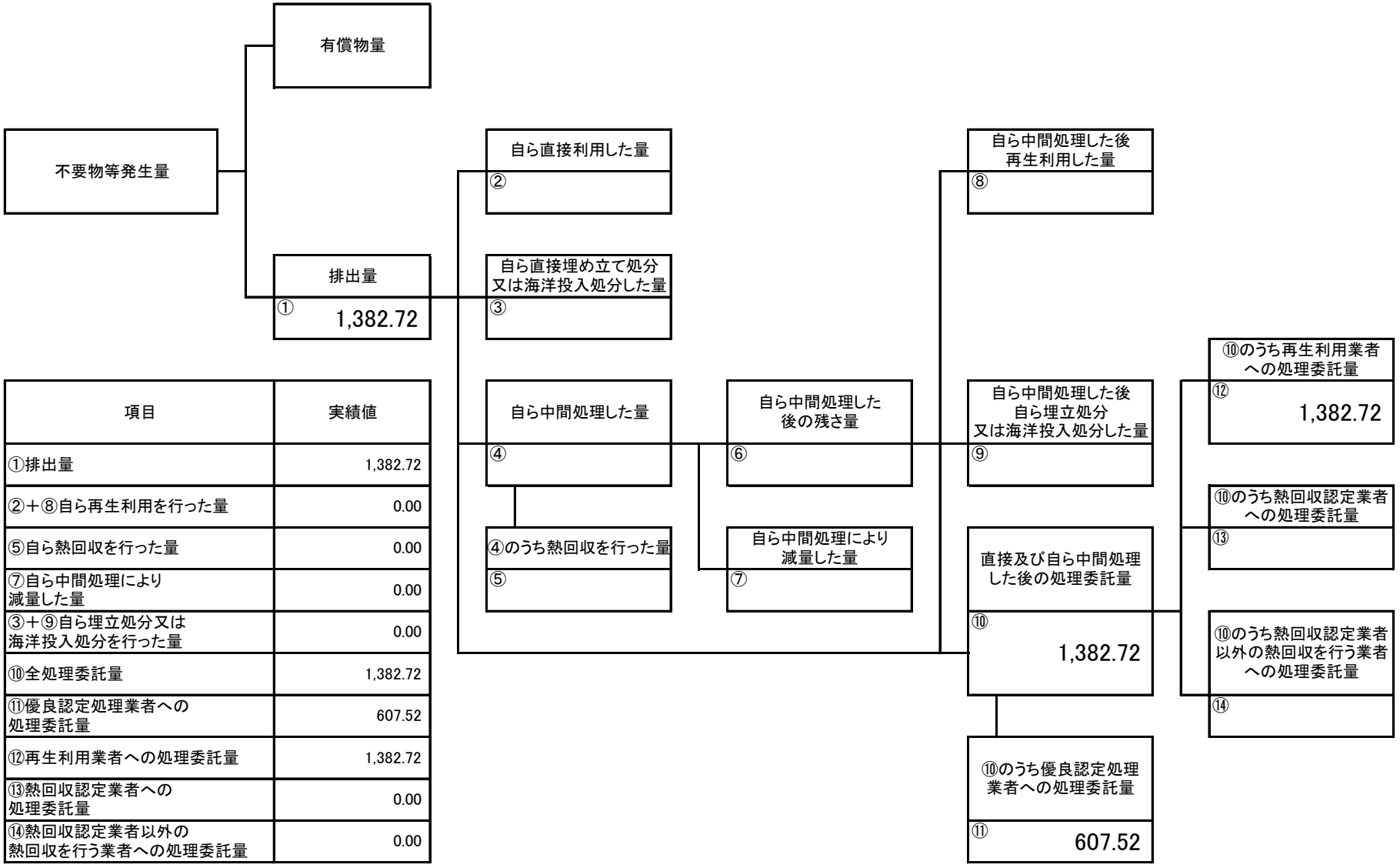


項目	実績値
①排出量	25.28
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	25.28
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.28
⑫再生利用業者への処理委託量	25.28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

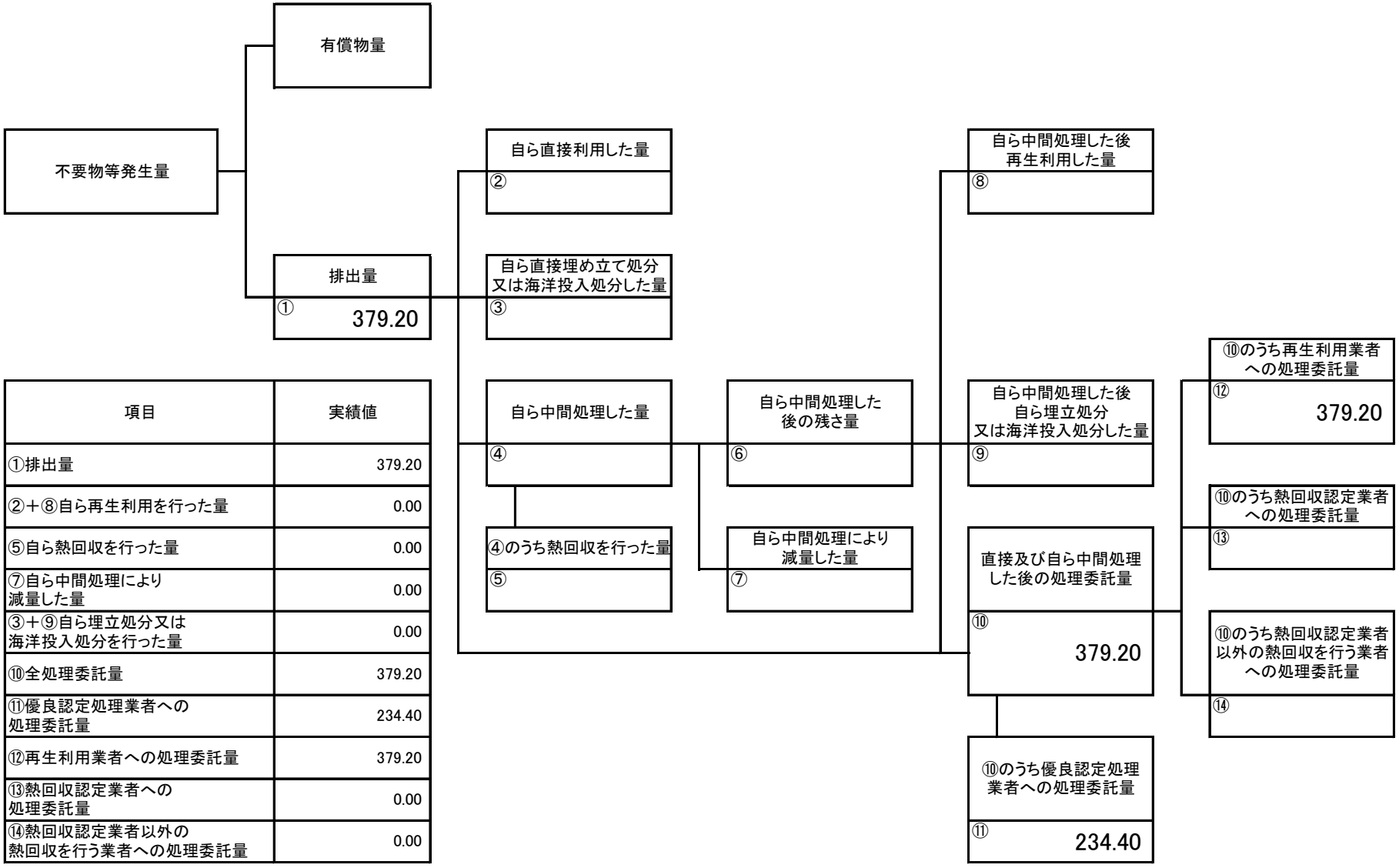


項目	実績値
①排出量	1,382.72
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,382.72
⑪優良認定処理業者への処理委託量	607.52
⑫再生利用業者への処理委託量	1,382.72
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 アス・コン片 ）

（単位：トン）

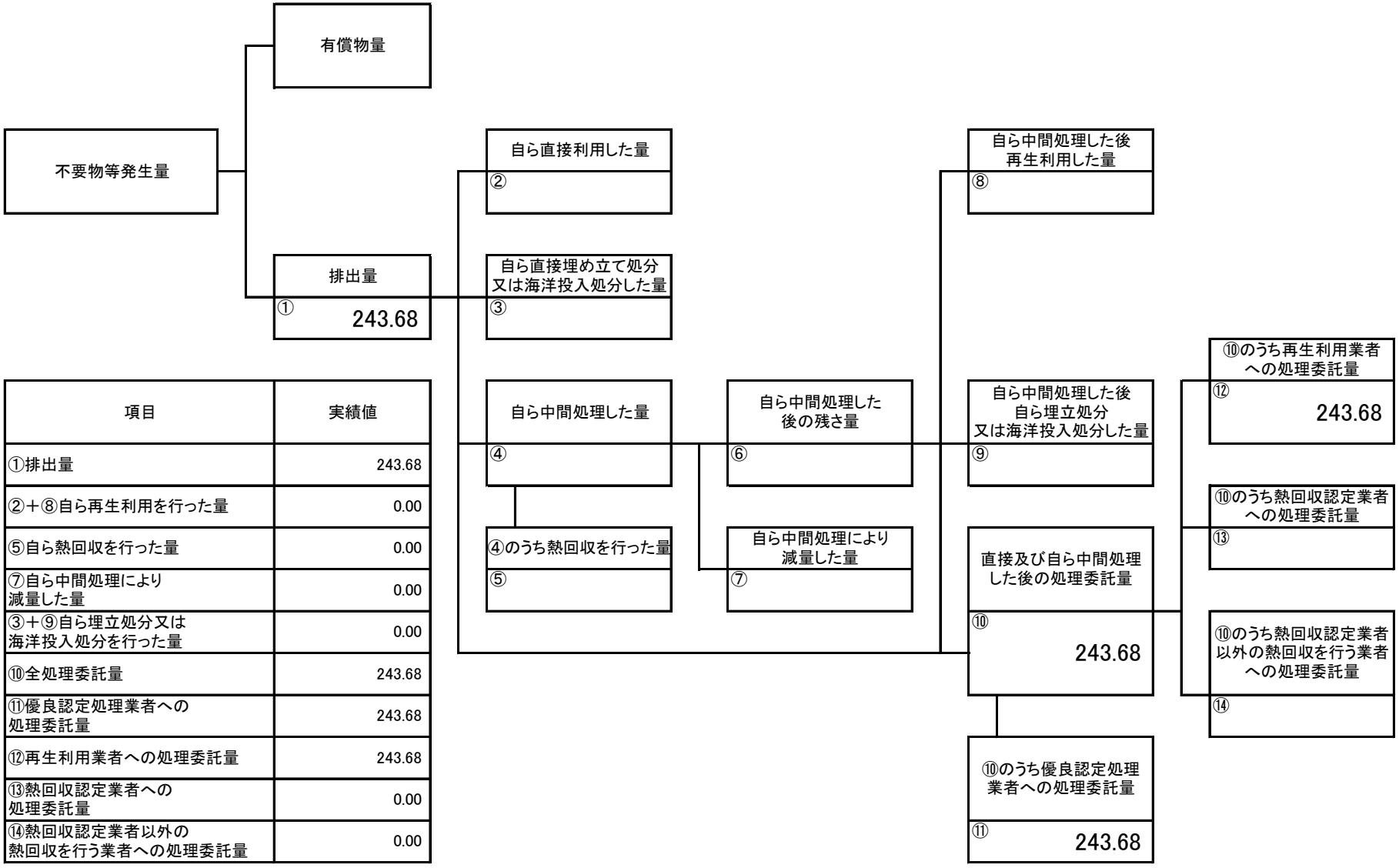


項目	実績値
①排出量	379.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	379.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	234.40
⑫再生利用業者への処理委託量	379.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類　　）

（単位：トン）

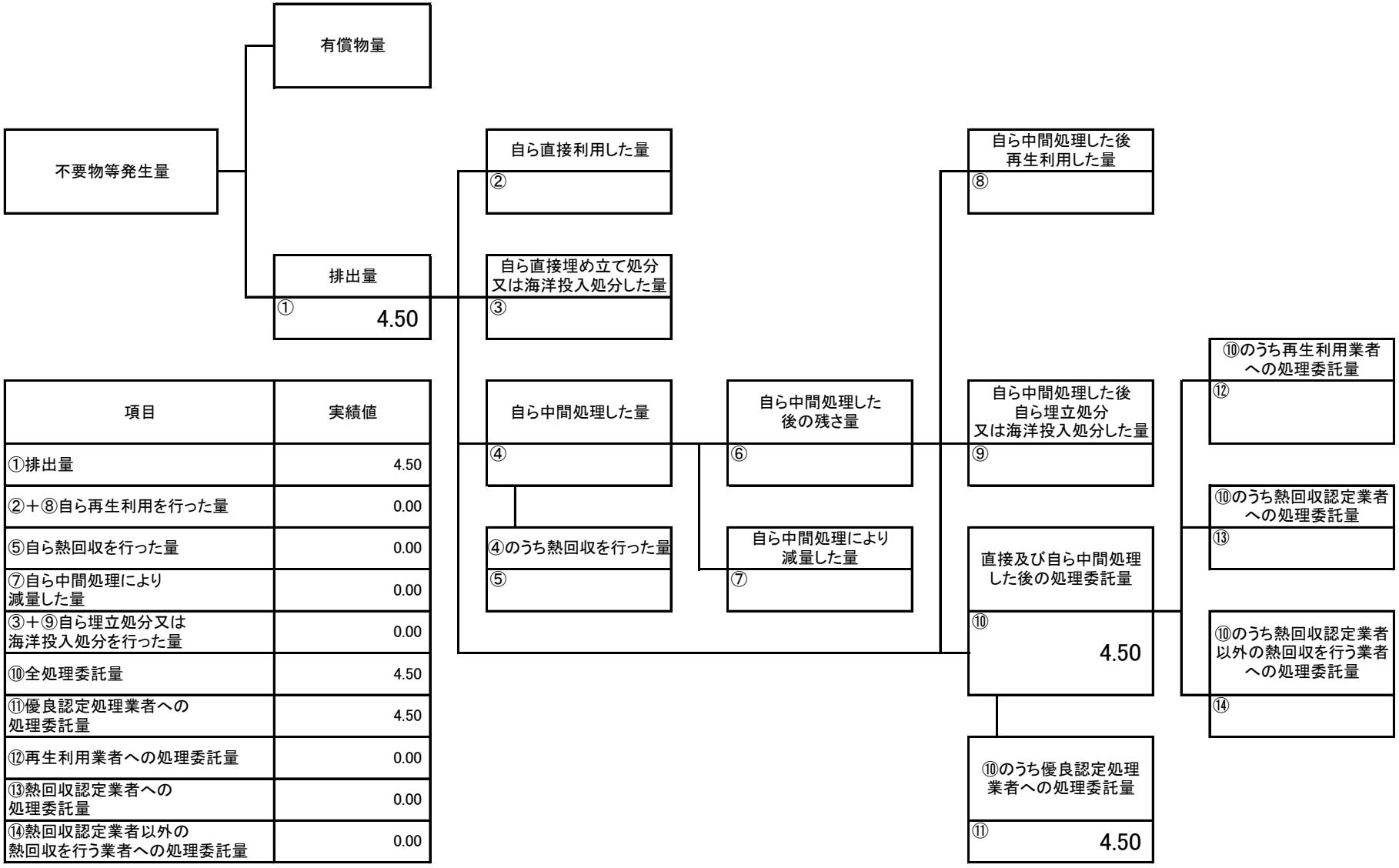


項目	実績値
①排出量	243.68
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	243.68
⑪優良認定処理業者への処理委託量	243.68
⑫再生利用業者への処理委託量	243.68
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）

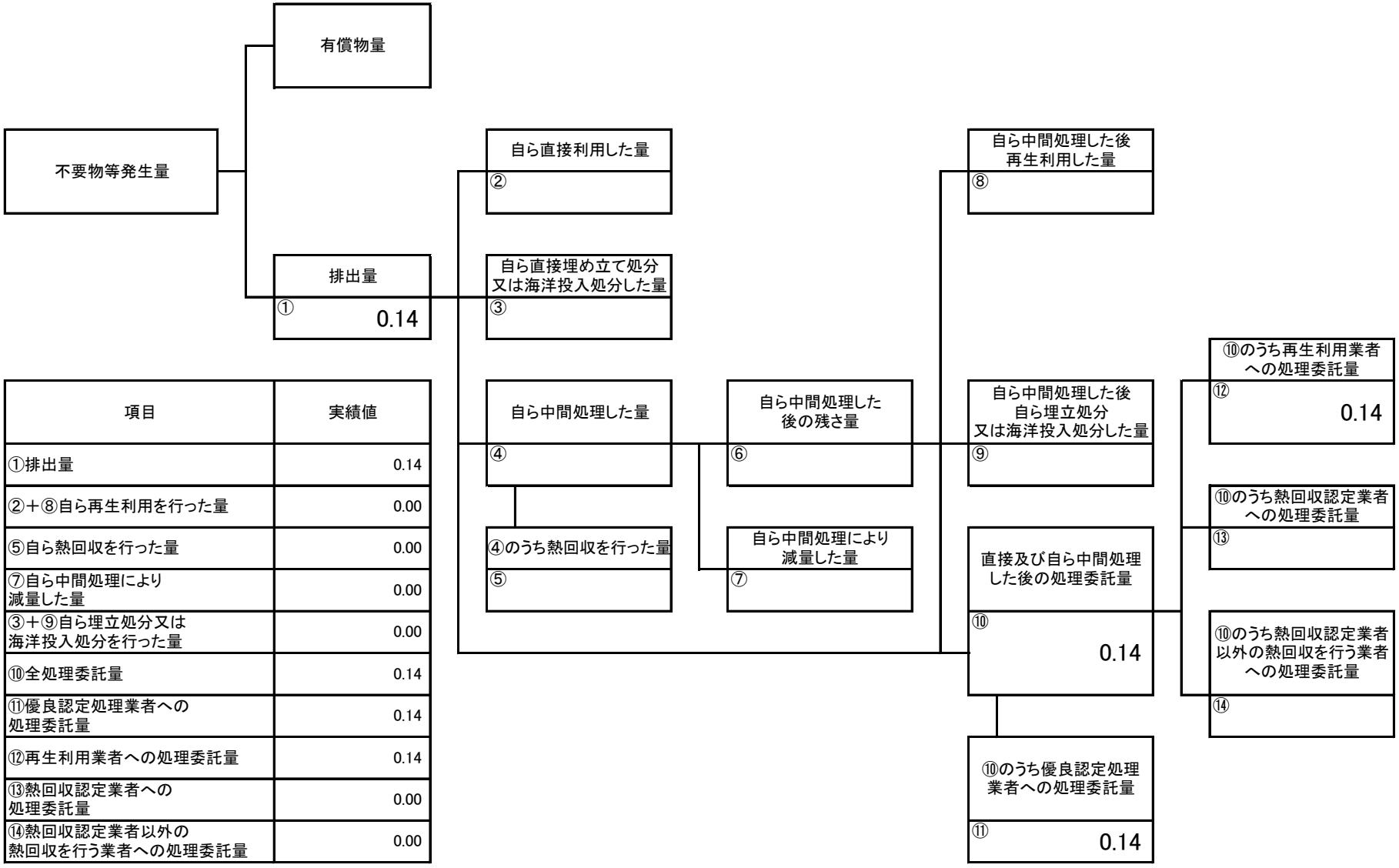


項目	実績値
①排出量	4.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.50
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 水銀使用製品　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.14
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.14
⑫再生利用業者への処理委託量	0.14
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

千　葉　県　知　事　　**令和6年6月7日**

熊　谷　俊　人　　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市本町１丁目２７番１号

氏　名　大和ハウス工業株式会社　東関東支社

執行役員支社長　髙吉　忠弘

電話番号　０４７－４０６－４３２１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東関東支社　千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県管轄内（千葉市・船橋市・柏市を除く）
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	０６総合工事業
②事業の規模	６３，７５８百円
③従業員数	３９０名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		
排　出　量	8,826.77　t	t

（これまでに実施した取組）

別紙３の通り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
排　出　量	7,944.10　t	t

（今後実施する予定の取組）

別紙３の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	－ t	2,181.78 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	－ t	1,963.60 t	－ t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－　t	314.82　t	0.10　t	183.81　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－　t	283.33　t	0.09　t	165.43　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排出量	428.22 t	－ t	491.35 t	0.75 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排出量	385.39 t	－ t	442.21 t	0.68 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排出量	2.25 t	－ t	2,606.10 t	613.30 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排出量	2.03 t	－ t	2,345.49 t	551.97 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排出量	718.14 t	8.00 t	89.95 t	471.13 t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排出量	646.32 t	7.20 t	80.95 t	424.02 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	1.80　t	715.29　t	t	t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	1.62　t	643.76　t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	8,826.77 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,784.23 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7,992.31 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.70 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	739.82 t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙５の通り		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	－ t	2,181.78 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	452.40 t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	2,181.78 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	314.82 t	0.10 t	183.81 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	61.92 t	0.10 t	117.81 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	162.79 t	－ t	183.81 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	0.70 t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	151.32 t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	428.22 t	－ t	491.35 t	0.75 t
優良認定処理業者への処理委託量	46.77 t	－ t	77.75 t	0.75 t
再生利用業者への処理委託量	416.47 t	－ t	491.35 t	0.75 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.75 t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	2.25 t	－ t	2,606.10 t	613.30 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.25 t	－ t	14.40 t	40.00 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	2,606.10 t	613.30 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	718.14 t	8.00 t	89.95 t	471.13 t
優良認定処理業者への処理委託量	189.34 t	8.00 t	21.37 t	223.39 t
再生利用業者への処理委託量	718.14 t	－ t	56.44 t	422.05 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	33.51 t	49.09 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	1.80 t	715.29 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	1.80 t	526.20 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.15 t	139.20 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.65 t	492.50 t	t	t

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	7,944.10 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	1,605.81 t	t
		再生利用業者への処理委託量	7,193.08 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.63 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	665.84 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙５の通り		
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	－ t	407.16 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	407.16 t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	1,963.60 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	283.33 t	0.09 t	165.43 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	55.72 t	0.09 t	106.03 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	146.51 t	－ t	165.43 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	0.63 t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	136.19 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	385.39 t	－ t	442.21 t	0.68 t
優良認定処理業者への処理委託量	42.09 t	－ t	69.97 t	0.68 t
再生利用業者への処理委託量	374.82 t	－ t	442.21 t	0.68 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.58 t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	2.03 t	－ t	2,345.49 t	551.97 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.03 t	－ t	12.96 t	36.00 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	2,345.49 t	551.97 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	646.32 t	7.20 t	80.95 t	424.02 t
優良認定処理業者への処理委託量	170.40 t	7.20 t	19.23 t	201.05 t
再生利用業者への処理委託量	646.32 t	－ t	50.79 t	379.84 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	30.16 t	44.18 t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	1.62 t	643.76 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	1.62 t	473.58 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.14 t	125.28 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.49 t	443.25 t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

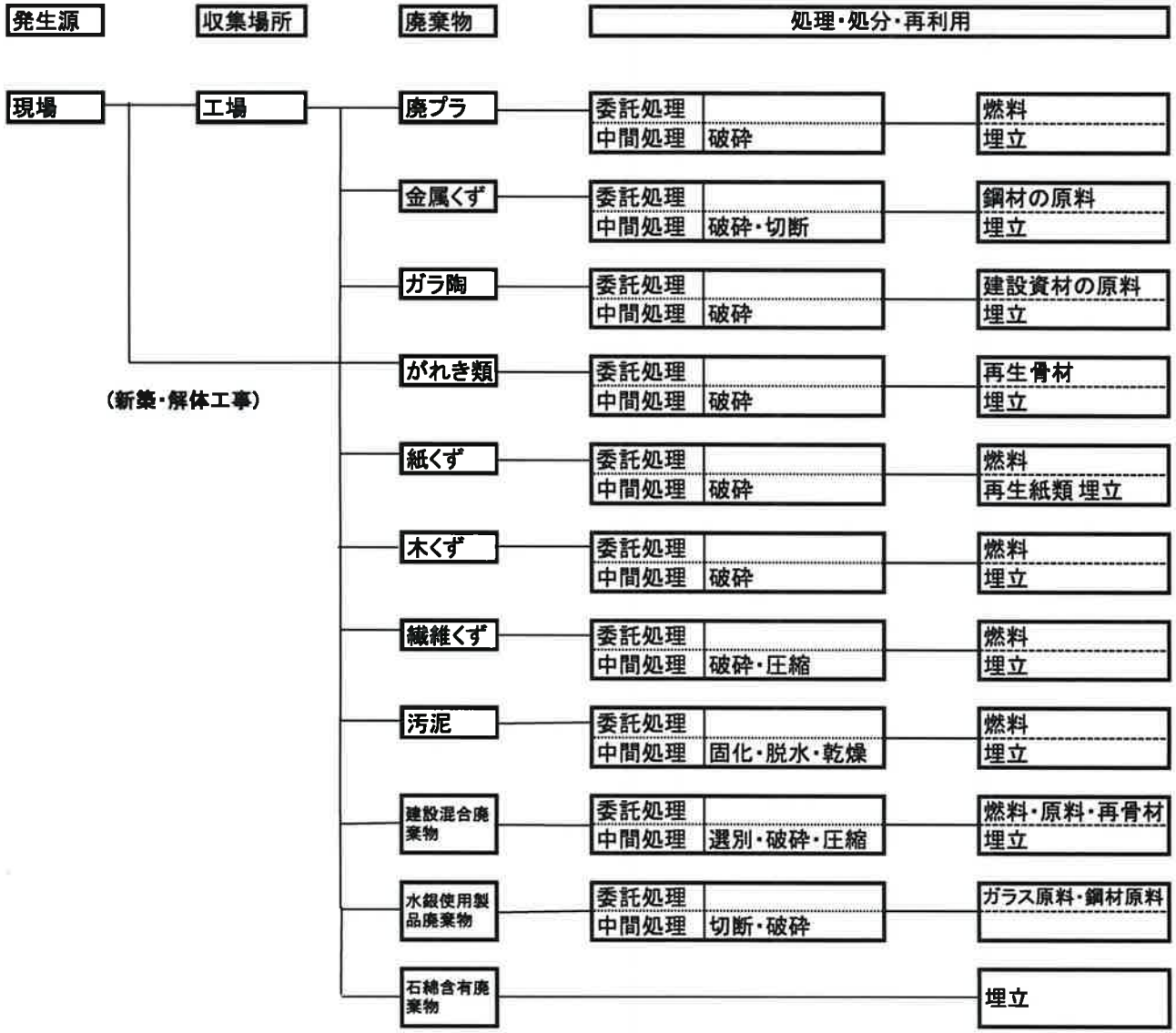
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

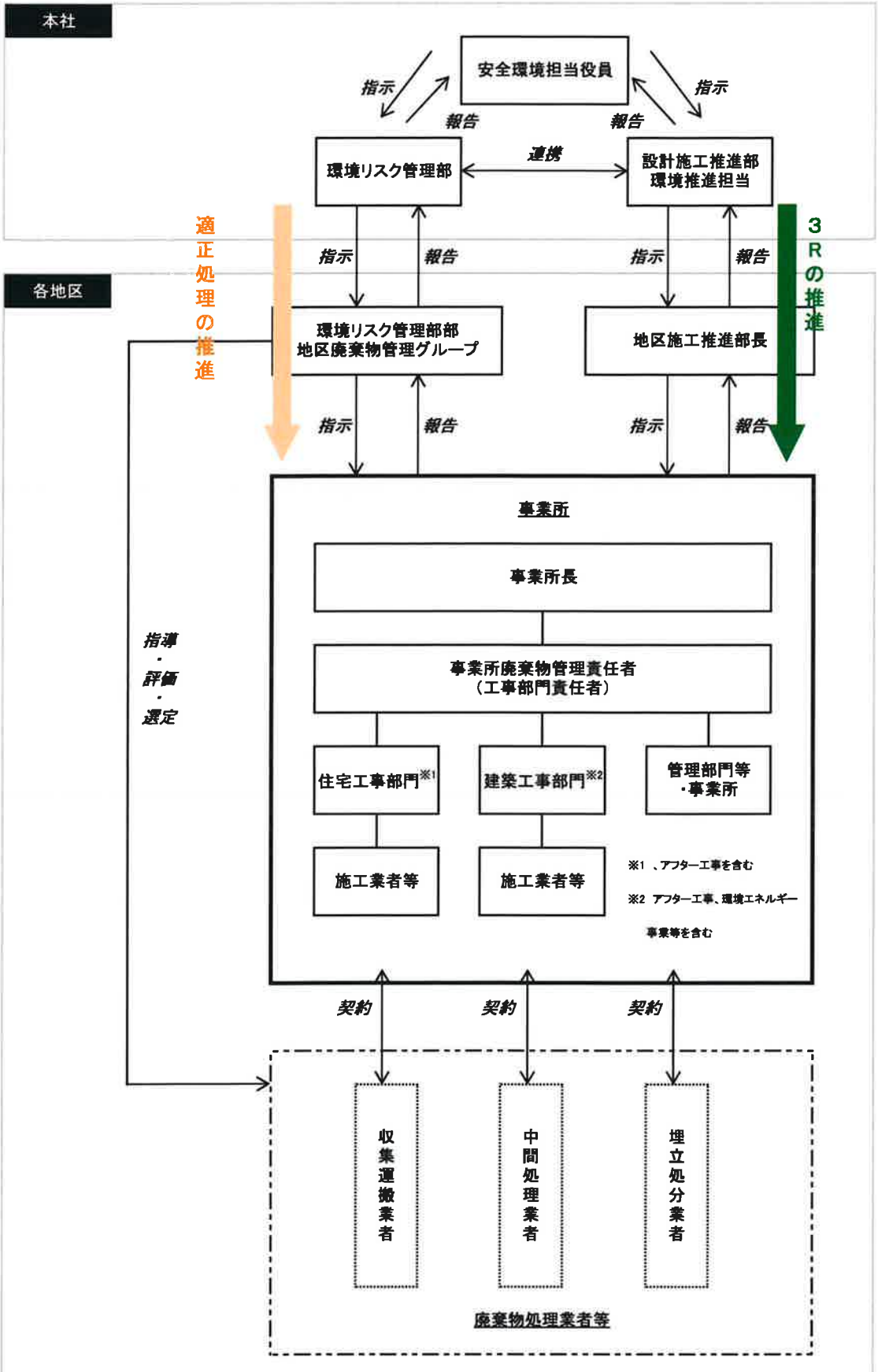
7　※欄は記入しないこと。

別紙1

廃棄物処理フロー図



別紙2


本社
安全環境担当役員
指示
報告
指示
報告
環境リスク管理部
連携
設計施工推進部
環境推進担当
適正処理の推進
3Rの推進
各地区
指示
報告
指示
報告
環境リスク管理部部
地区廃棄物管理グループ
地区施工推進部長
指示
報告
指示
報告
事業所
事業所長
事業所廃棄物管理責任者
（工事部門責任者）
住宅工事部門※1
建築工事部門※2
管理部門等
・事業所
施工業者等
施工業者等
※1 、アフター工事を含む
※2 アフター工事、環境エネルギー
事業等を含む
指導
・
評価
・
選定
契約
契約
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷 ・給水管のプレ加工	・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める ・梱包レス化の推進で排出抑制を図る ・通い箱等での梱包レス化
金属くず	・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している ・基礎鉄筋のプレ加工 ・電気配線のプレ加工	・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷 ・瓦材のプレ加工	・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる
コンクリート片	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている ・	・専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする
木くず	・当社工場出荷材はプレカットにて出荷 ・現場調達材のプレカットにて出荷 ・梱包材のリターナブル化	・更なるプレカット化の精度を高める ・ロス率見直しによる精度向上を図る
繊維くず		・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード　雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全管理部廃棄物グループと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先　処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託（売買）契約を適切に行っているか。 ・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。 ・処理施設の管理状況　（施設・車両の点検状況） ・従業員の教育状況 ・周辺の地域社会との交流の取り込み	・継続していく
金属くず		
ガラス陶磁器等くず		
コンクリート片		
廃アスファルト		
レンガ破片等		
紙くず		
木くず		
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

千葉県知事
熊谷俊人　殿

令和6年6月7日

提出者
住所　千葉県船橋市本町1丁目27番1号
氏名　大和ハウス工業株式会社　東関東支社
執行役員支社長　髙吉　忠弘
電話番号　047－406－4321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき,令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東関東支社　千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県管轄内（千葉市・船橋市・柏市を除く）
事業の種類	06　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

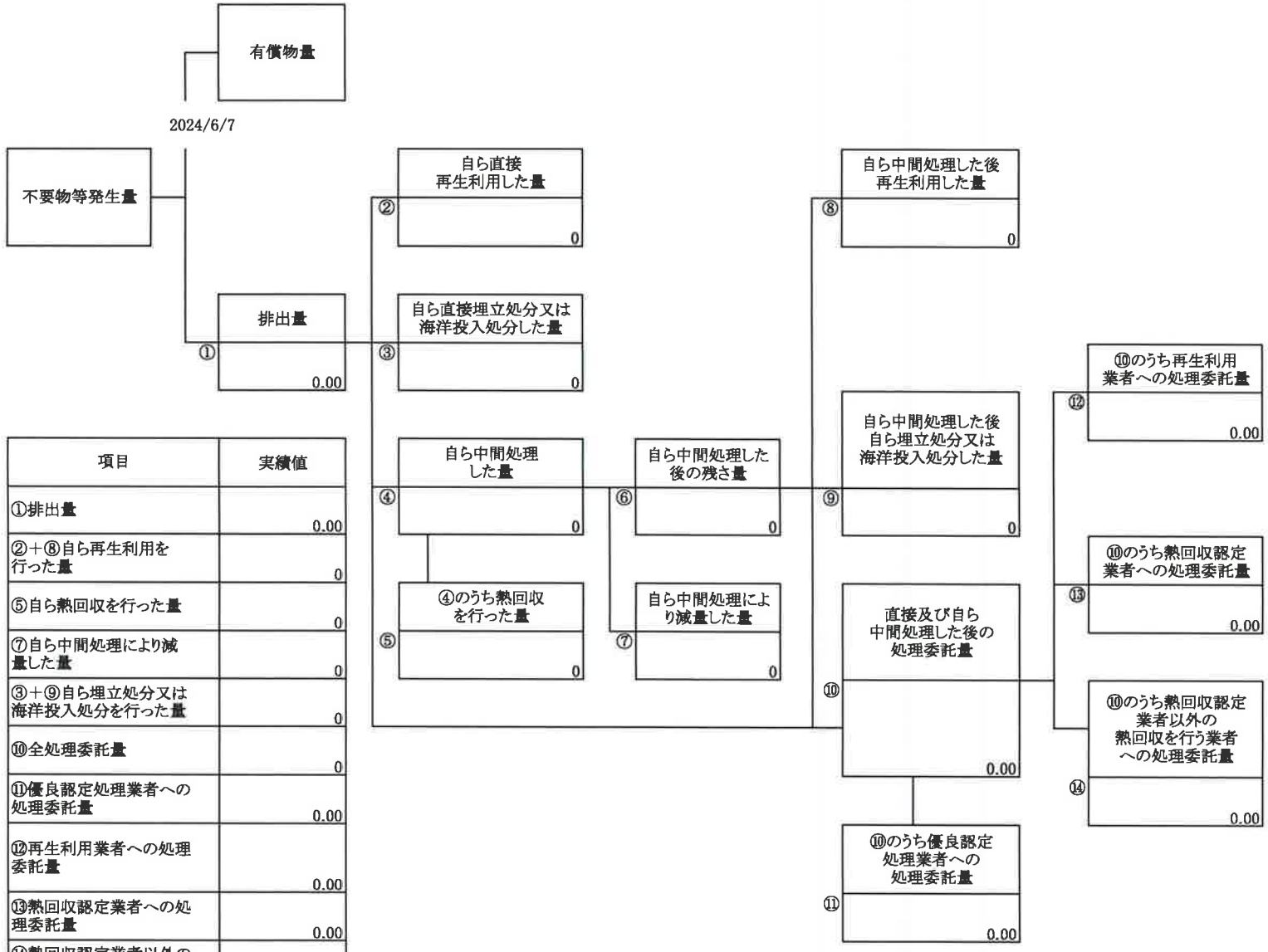
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10,426.90 t	全処理委託量	10,426.90 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	2,652.01 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	9,617.54 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	56.06 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	675.04 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

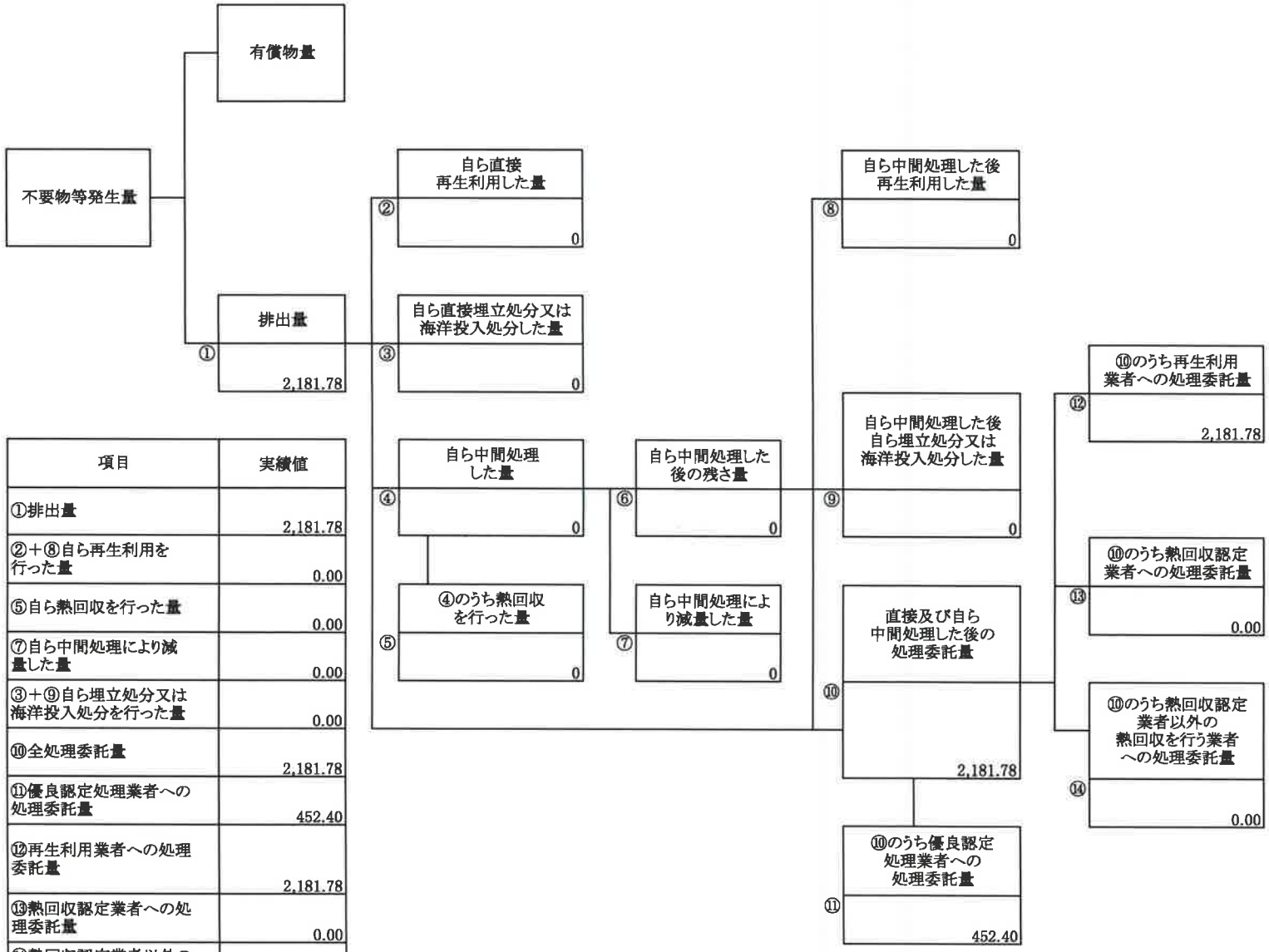
（産業廃棄物の種類: 燃え殻　　）



項目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

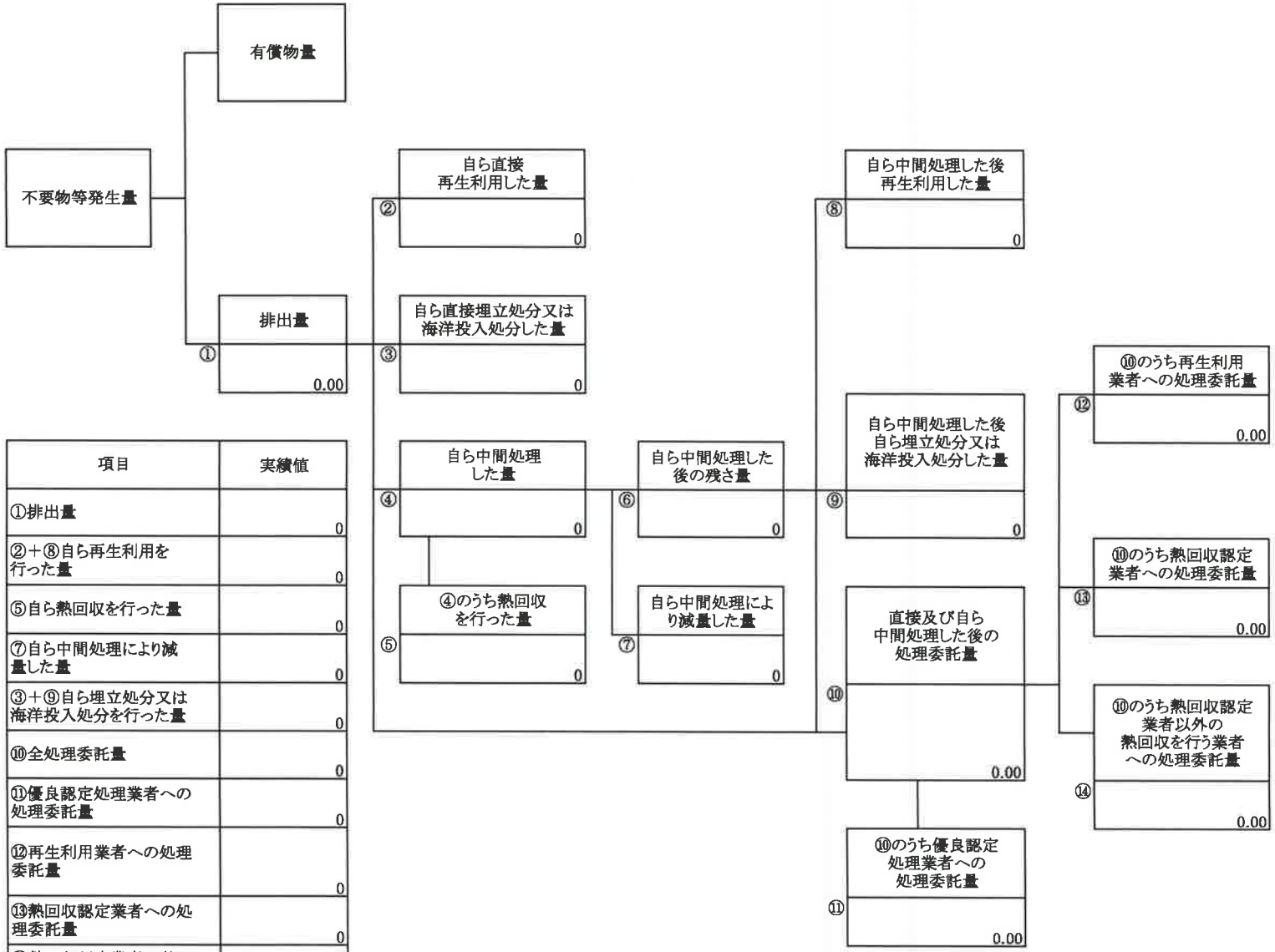
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	2,181.78
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,181.78
⑪優良認定処理業者への処理委託量	452.40
⑫再生利用業者への処理委託量	2,181.78
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

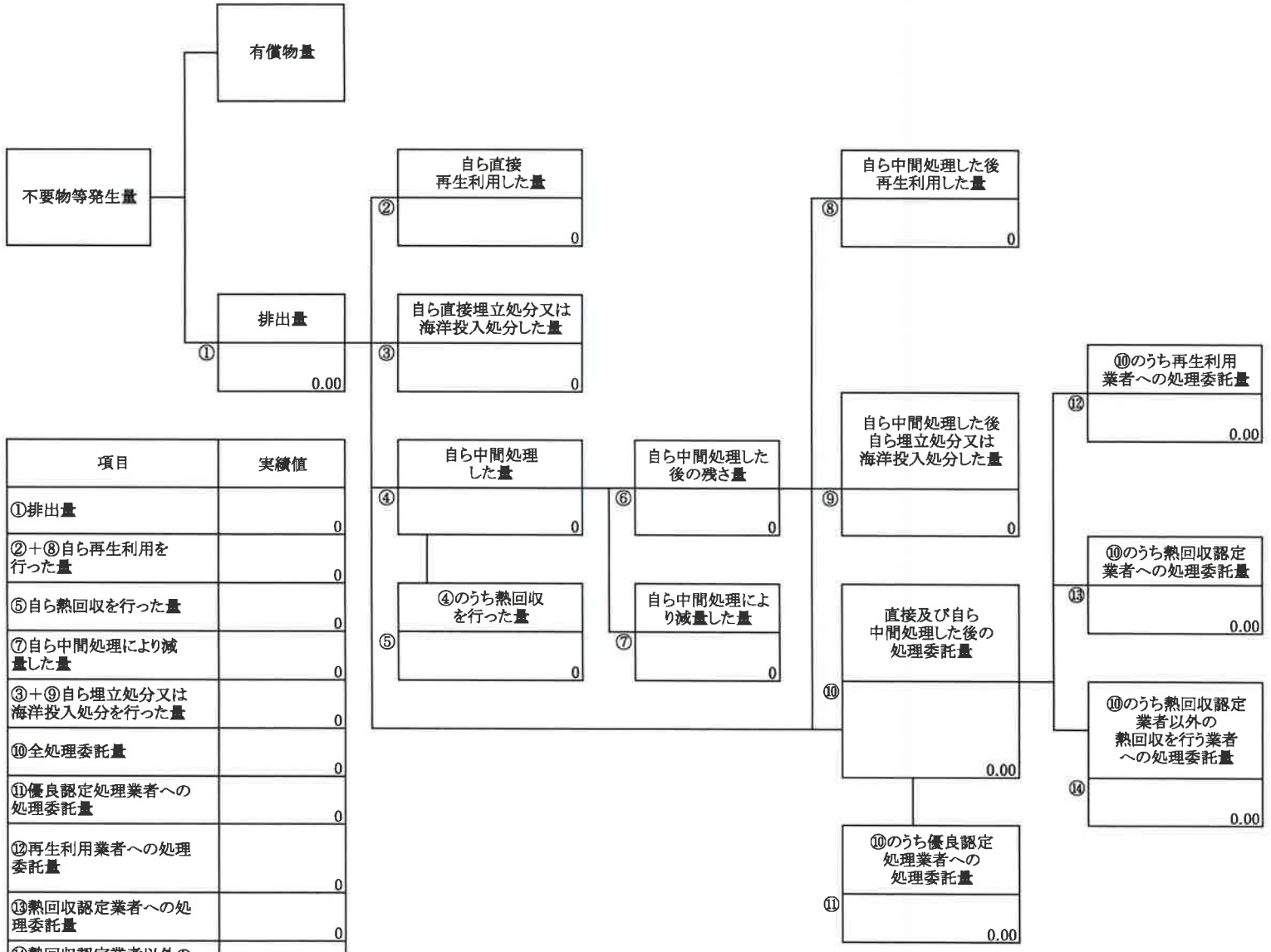
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃油　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃酸　　）

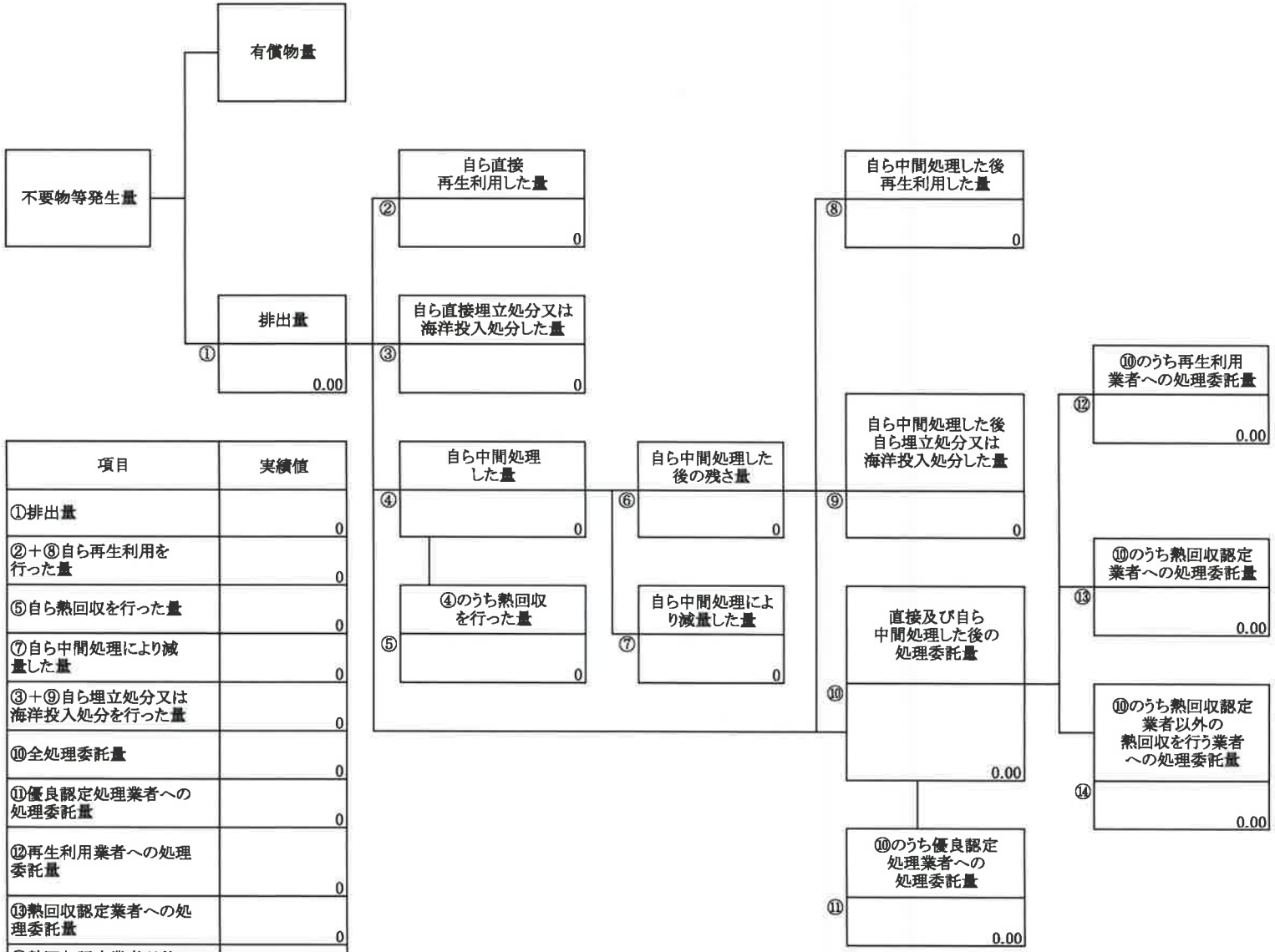


項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃アルカリ　　）

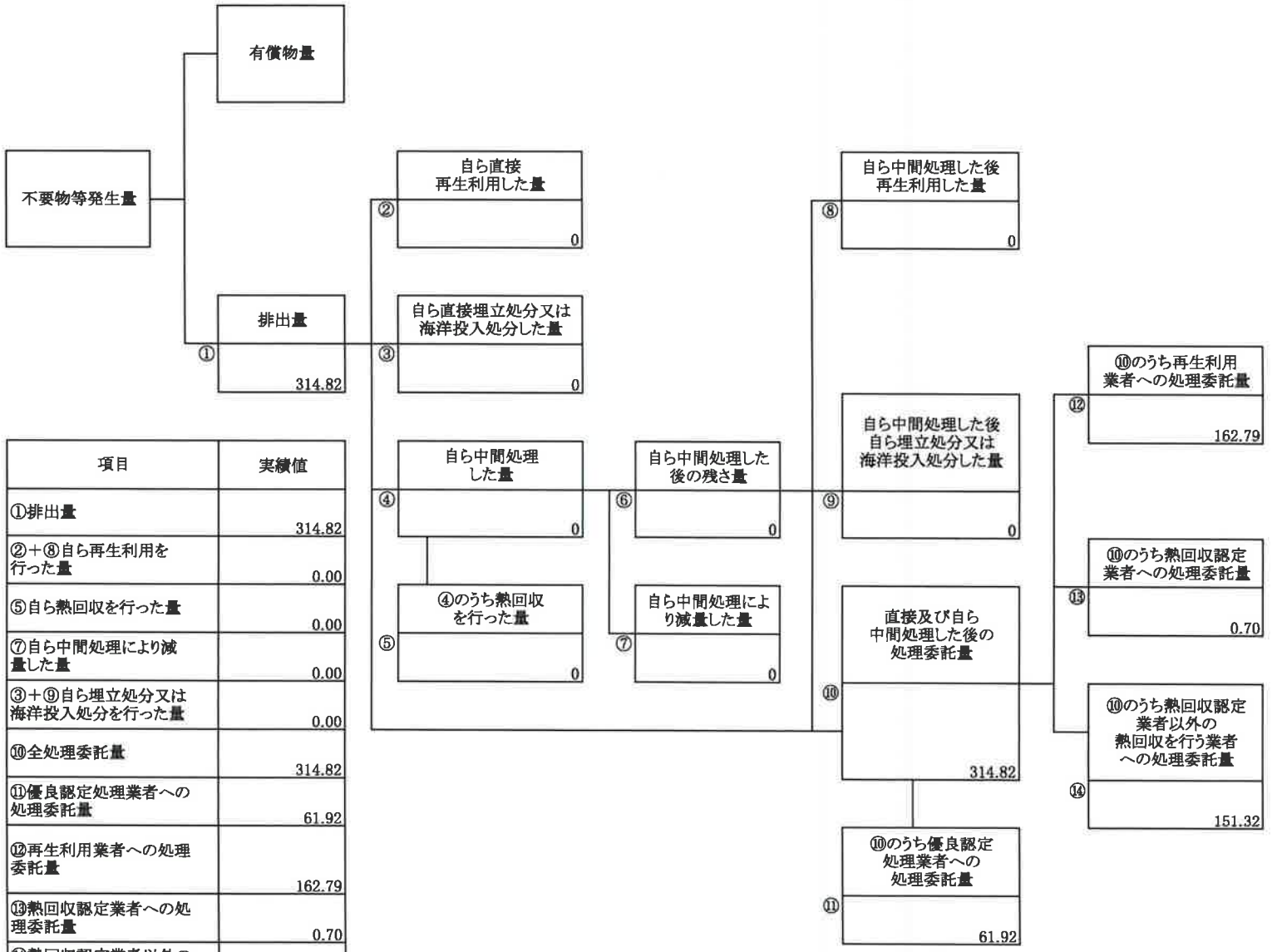


項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

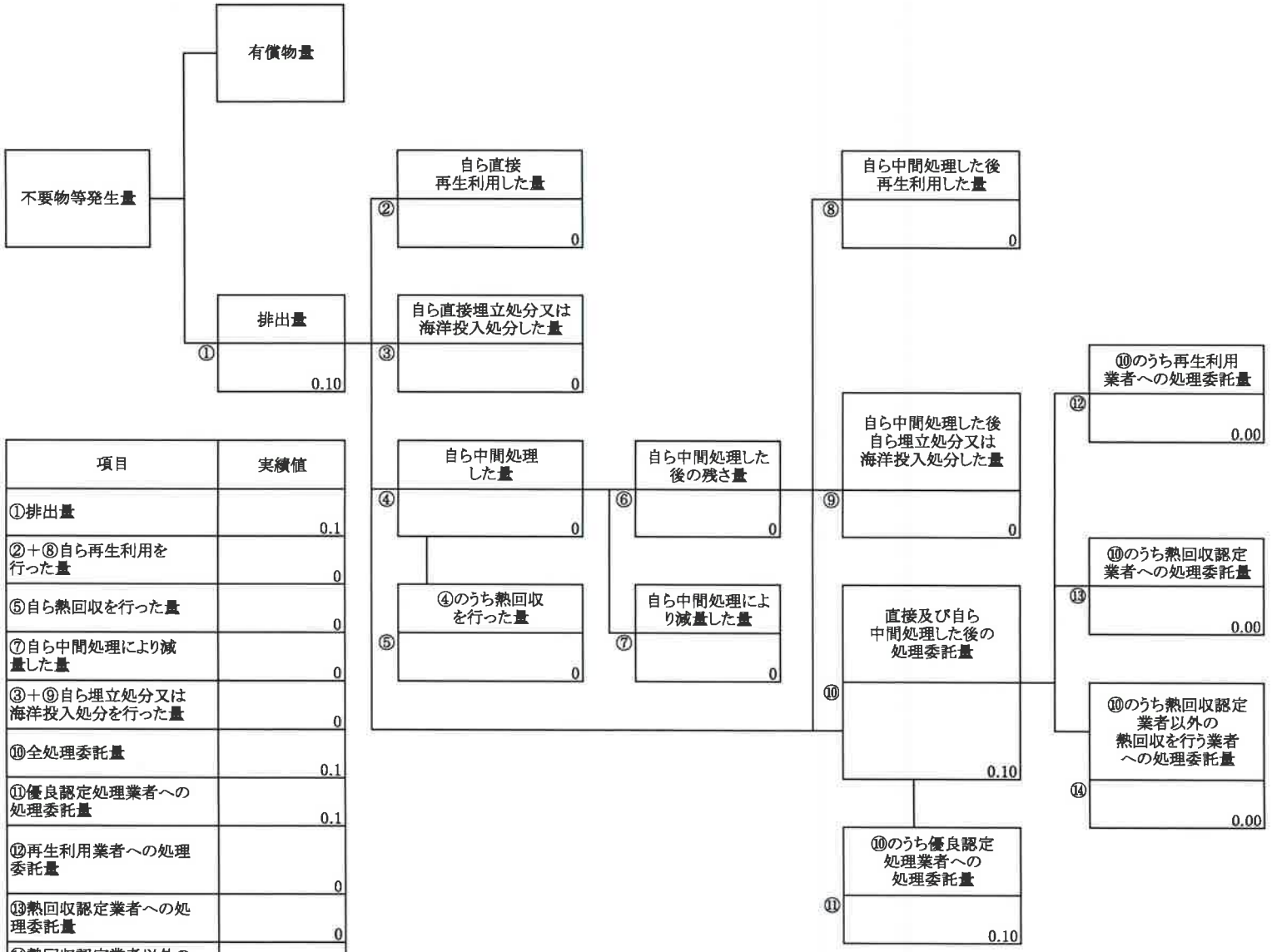
（産業廃棄物の種類：廃プラスティック類　　）



項目	実績値
①排出量	314.82
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	314.82
⑪優良認定処理業者への処理委託量	61.92
⑫再生利用業者への処理委託量	162.79
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.70
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	151.32

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスティック類　石綿含有産業廃棄物　　）

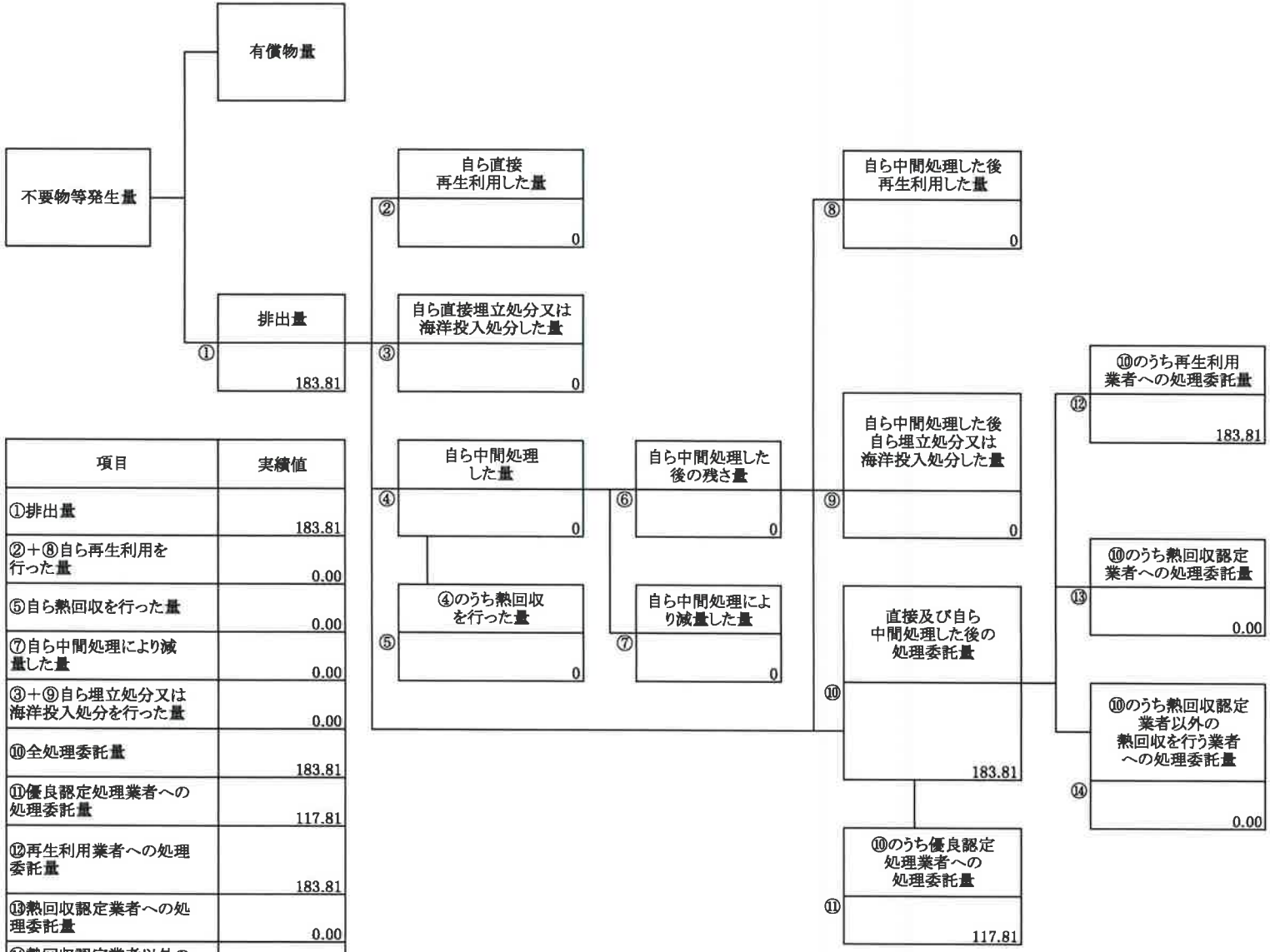


項目	実績値
①排出量	0.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

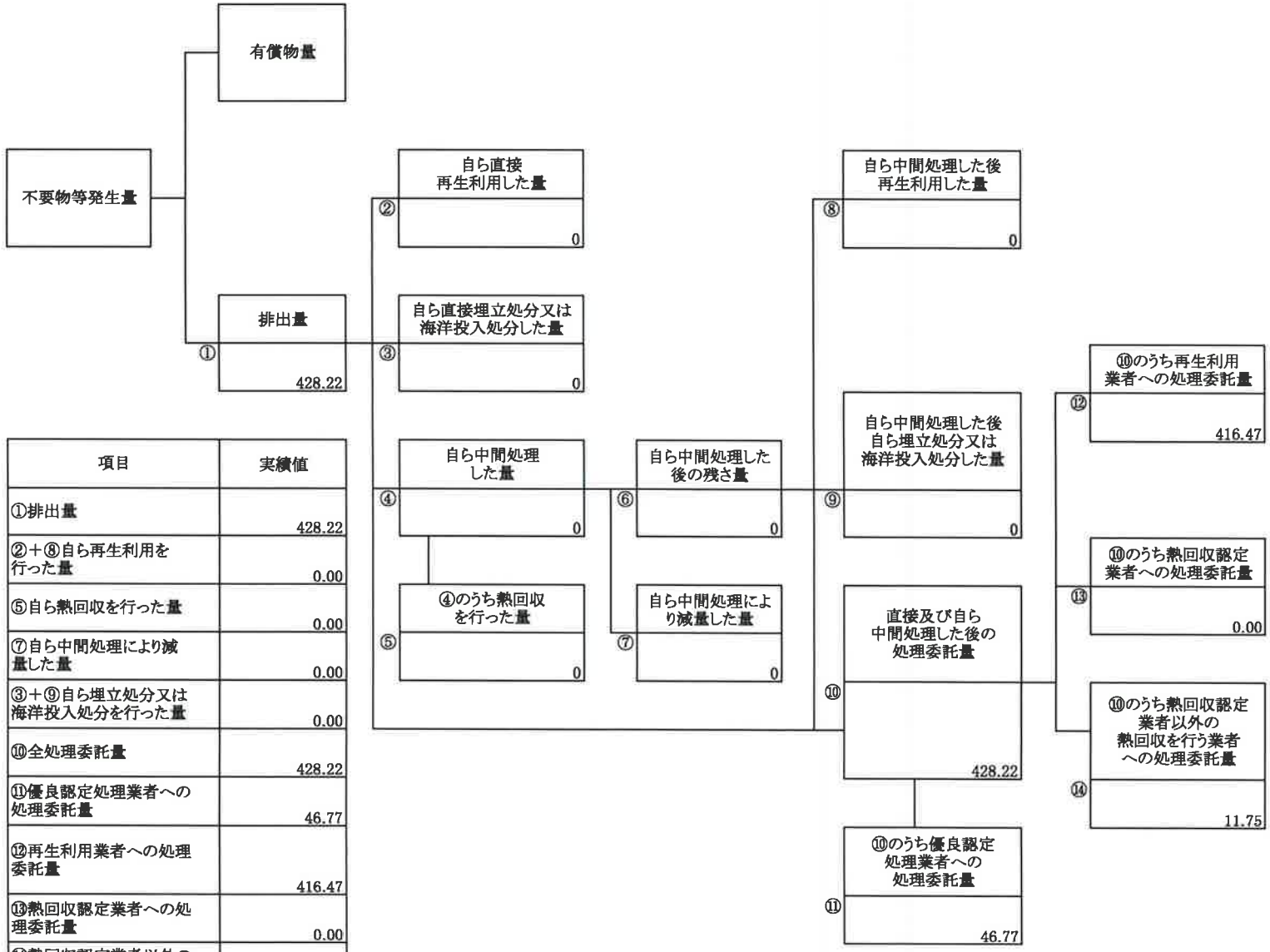
（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	183.81
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	183.81
⑪優良認定処理業者への処理委託量	117.81
⑫再生利用業者への処理委託量	183.81
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　　）

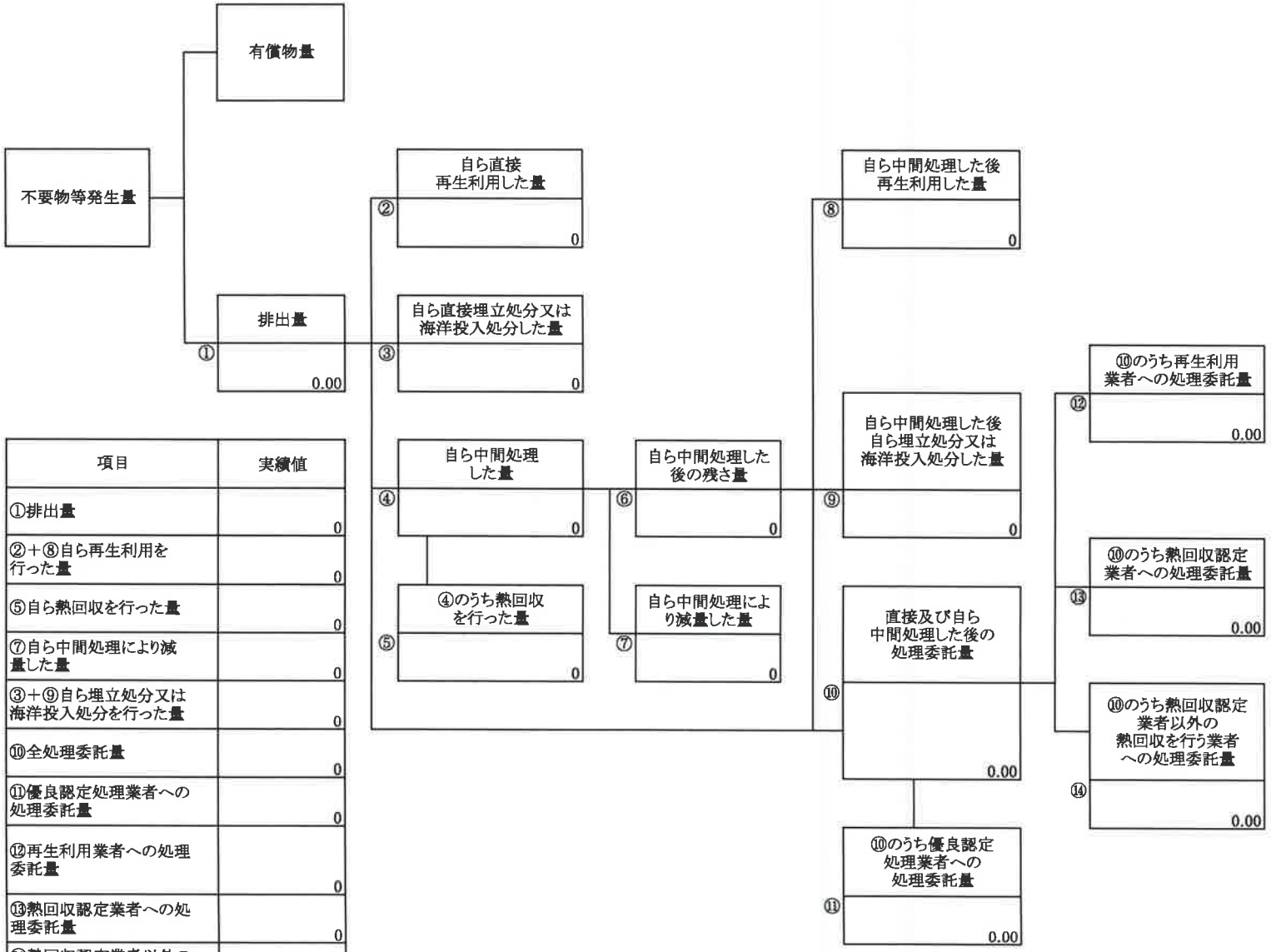


項目	実績値
①排出量	428.22
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	428.22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.77
⑫再生利用業者への処理委託量	416.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.75

（第2面）

計画の実施状況

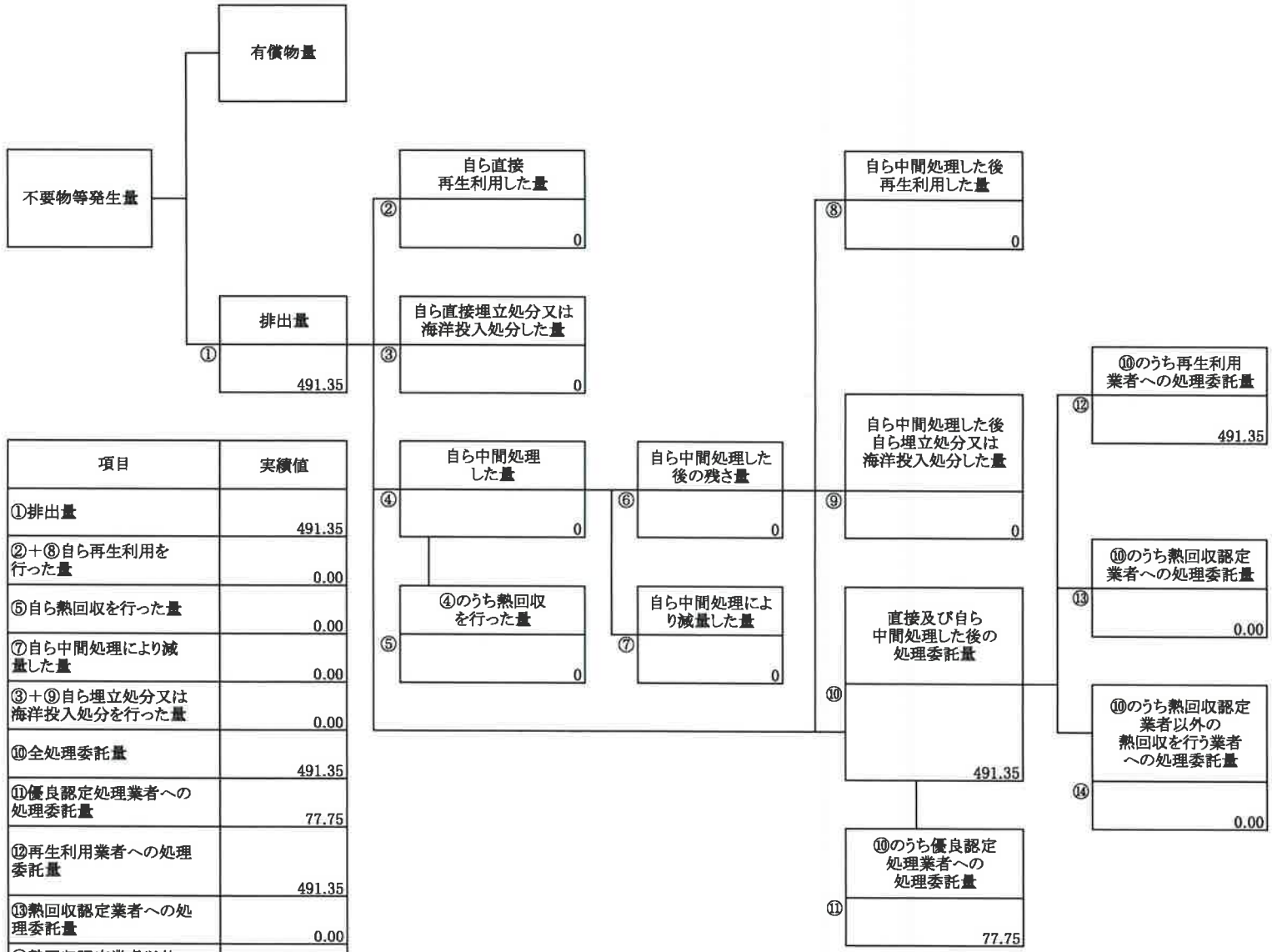
（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　水銀使用製品産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

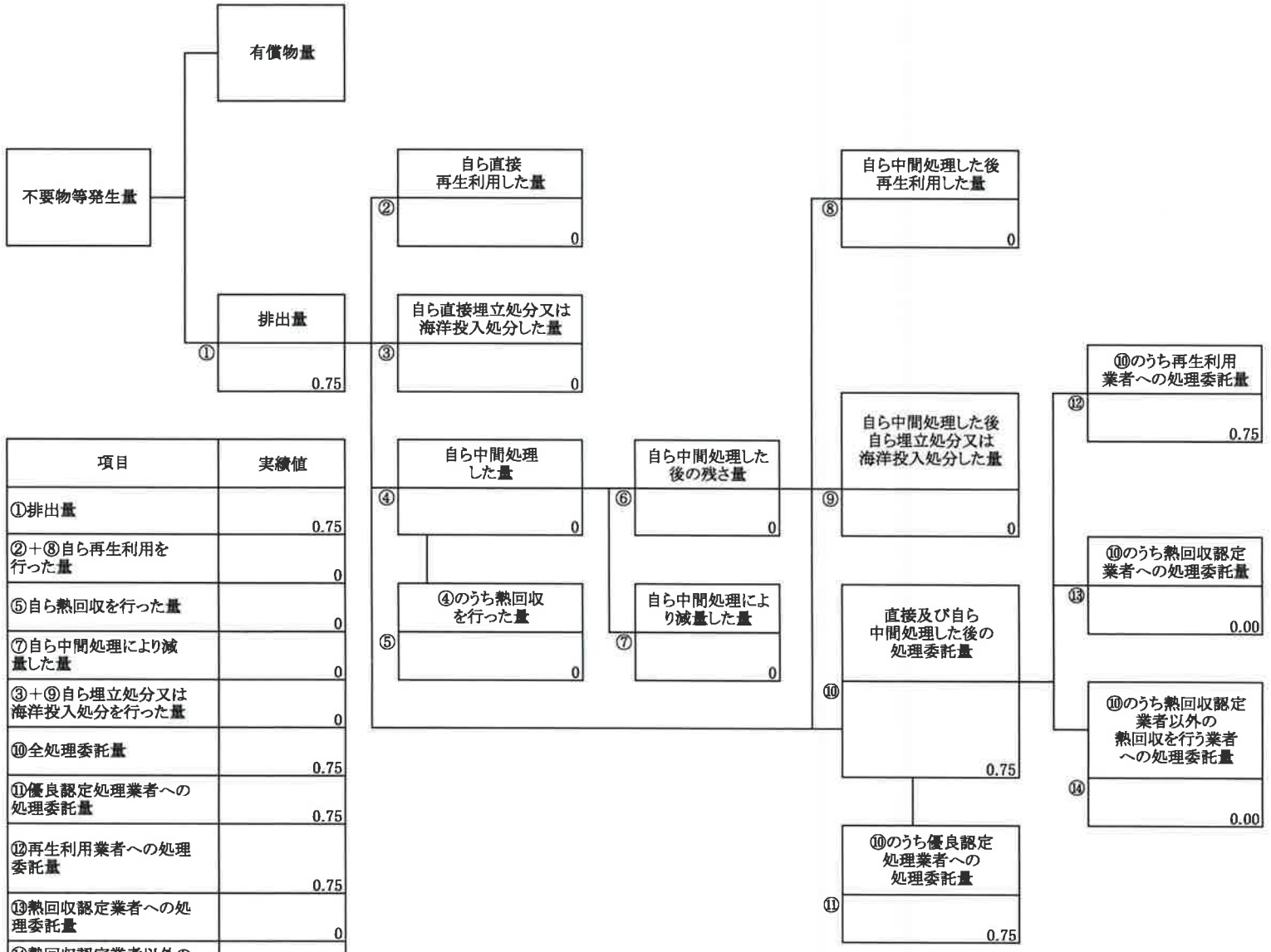
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	491.35
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	491.35
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.75
⑫再生利用業者への処理委託量	491.35
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　廃太陽光パネル　　）

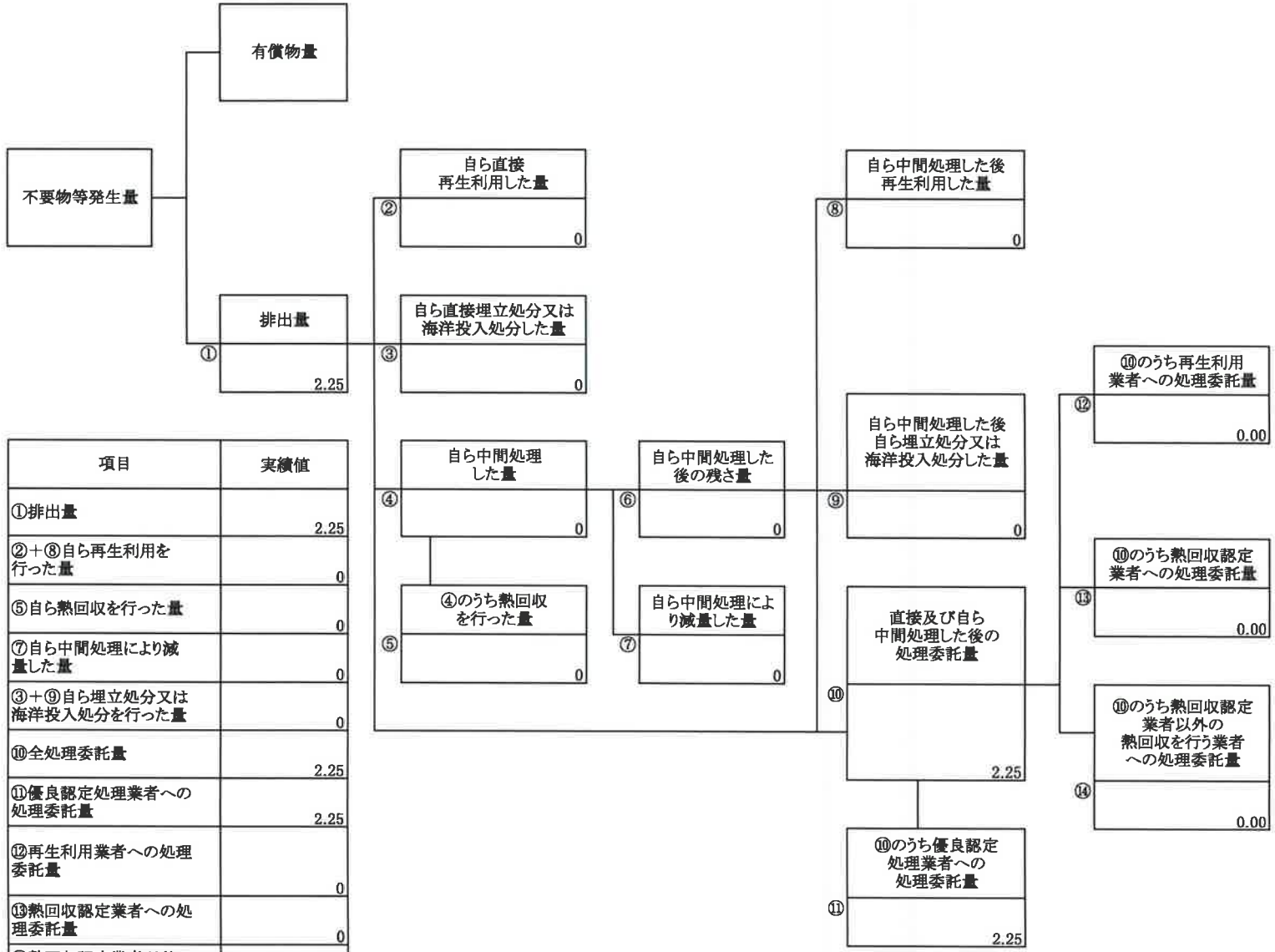


項目	実績値
①排出量	0.75
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.75
⑫再生利用業者への処理委託量	0.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

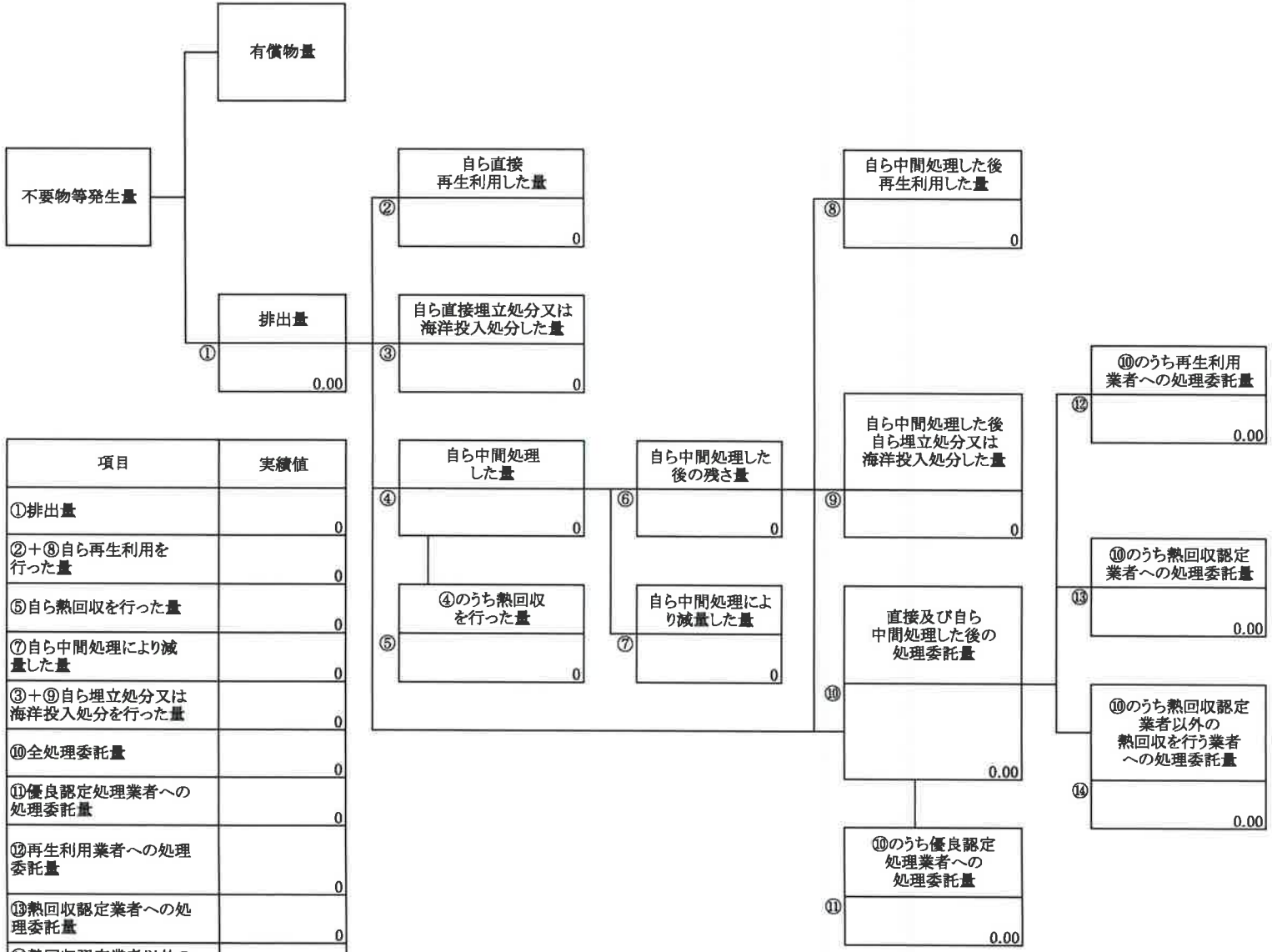
（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　石綿含有産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	2.25
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.25
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.25
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

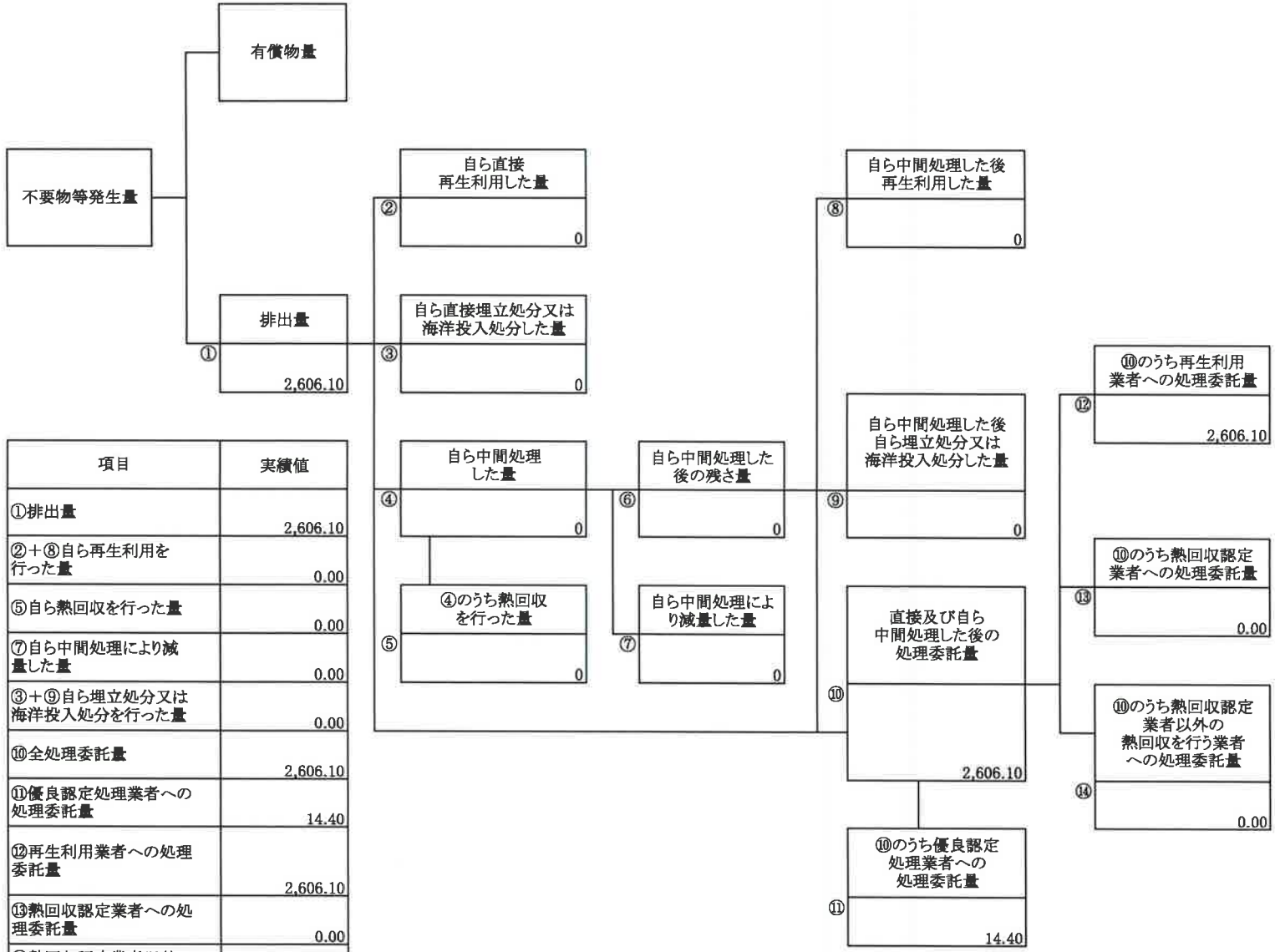
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：鉱さい　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

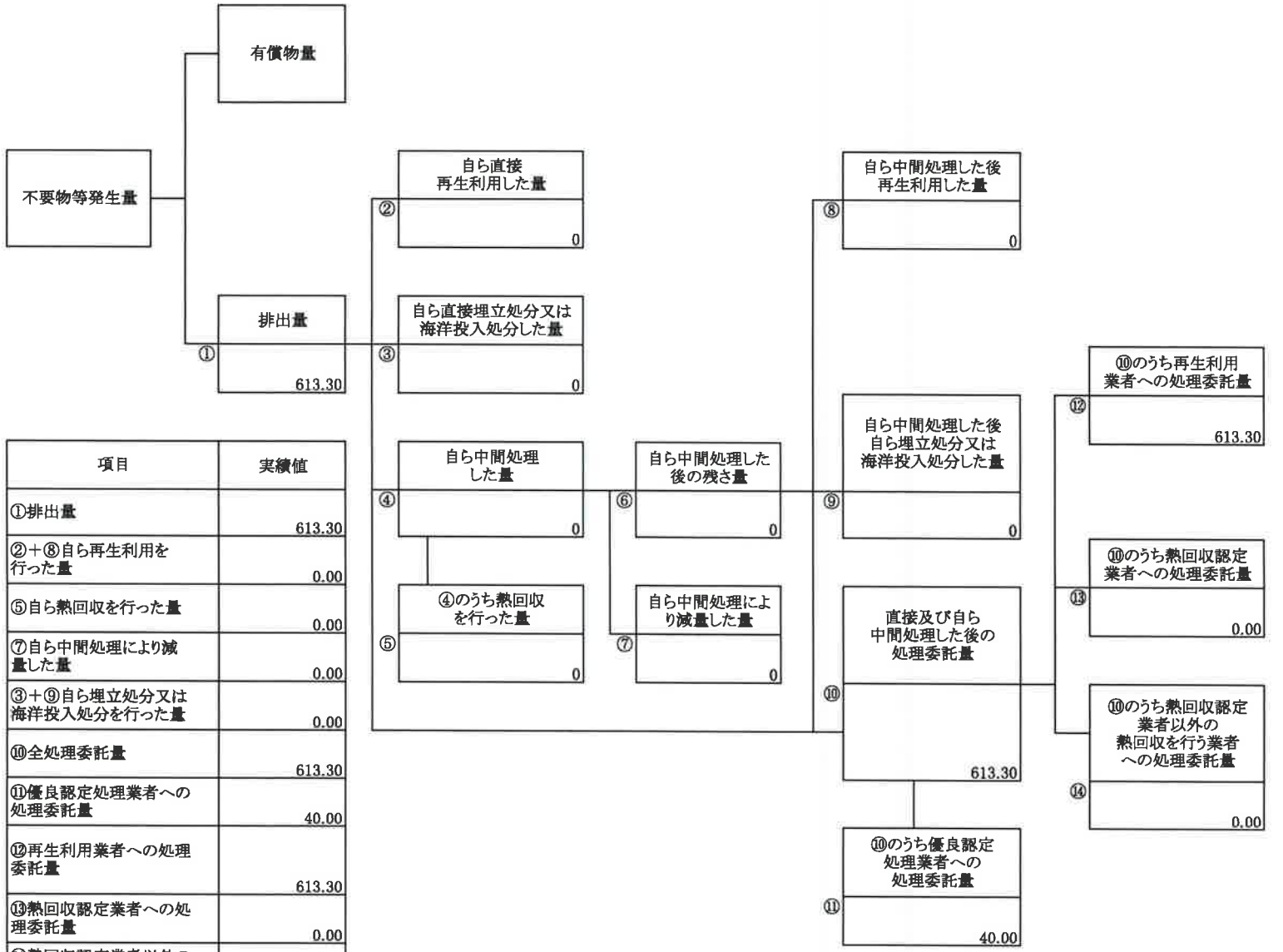
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：がれき類　コンクリート片　）



項目	実績値
①排出量	2,606.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,606.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.40
⑫再生利用業者への処理委託量	2,606.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

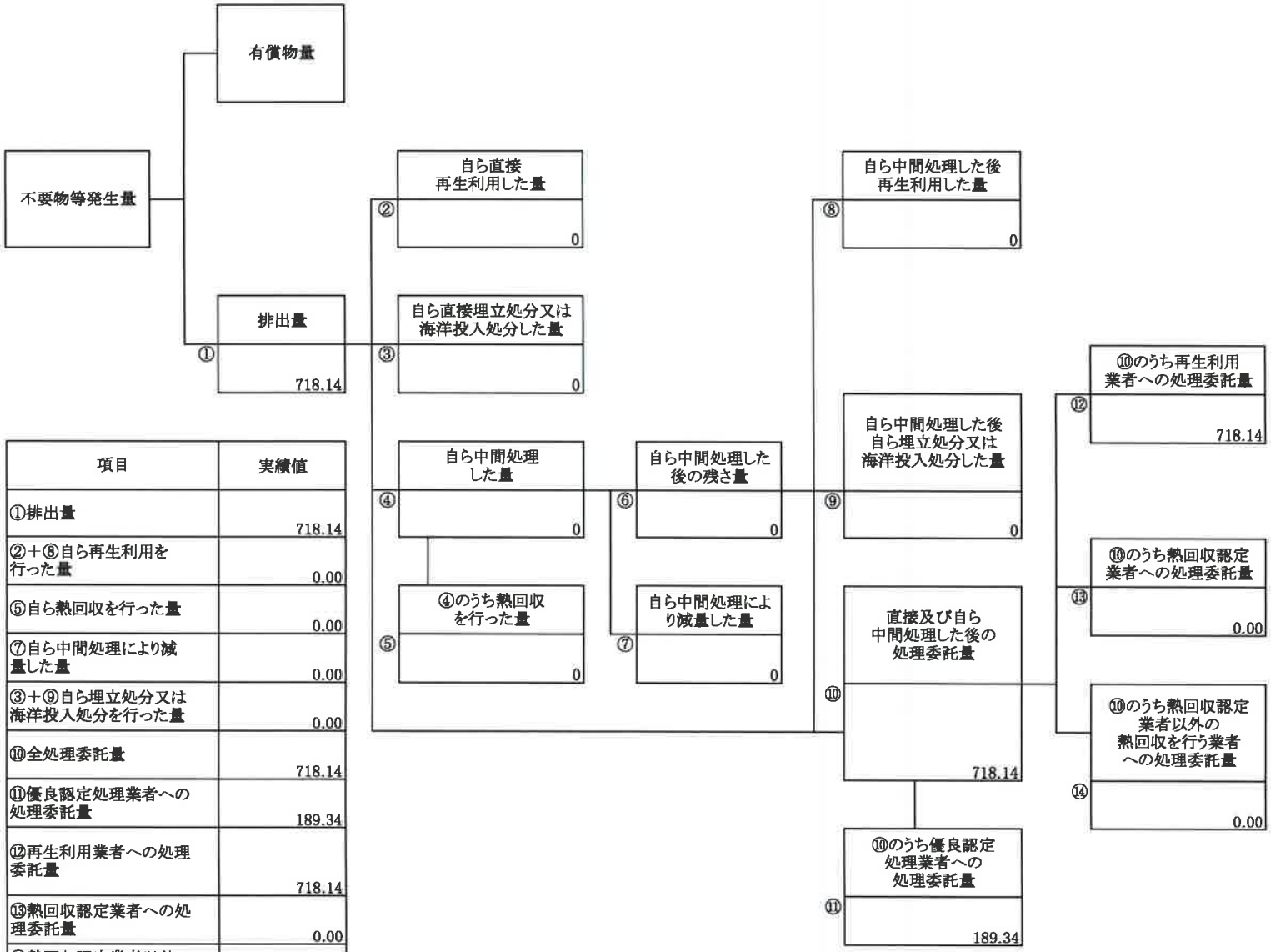
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　廃アスファルト　　）



項目	実績値
①排出量	613.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	613.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.00
⑫再生利用業者への処理委託量	613.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　レンガ破片など　　）

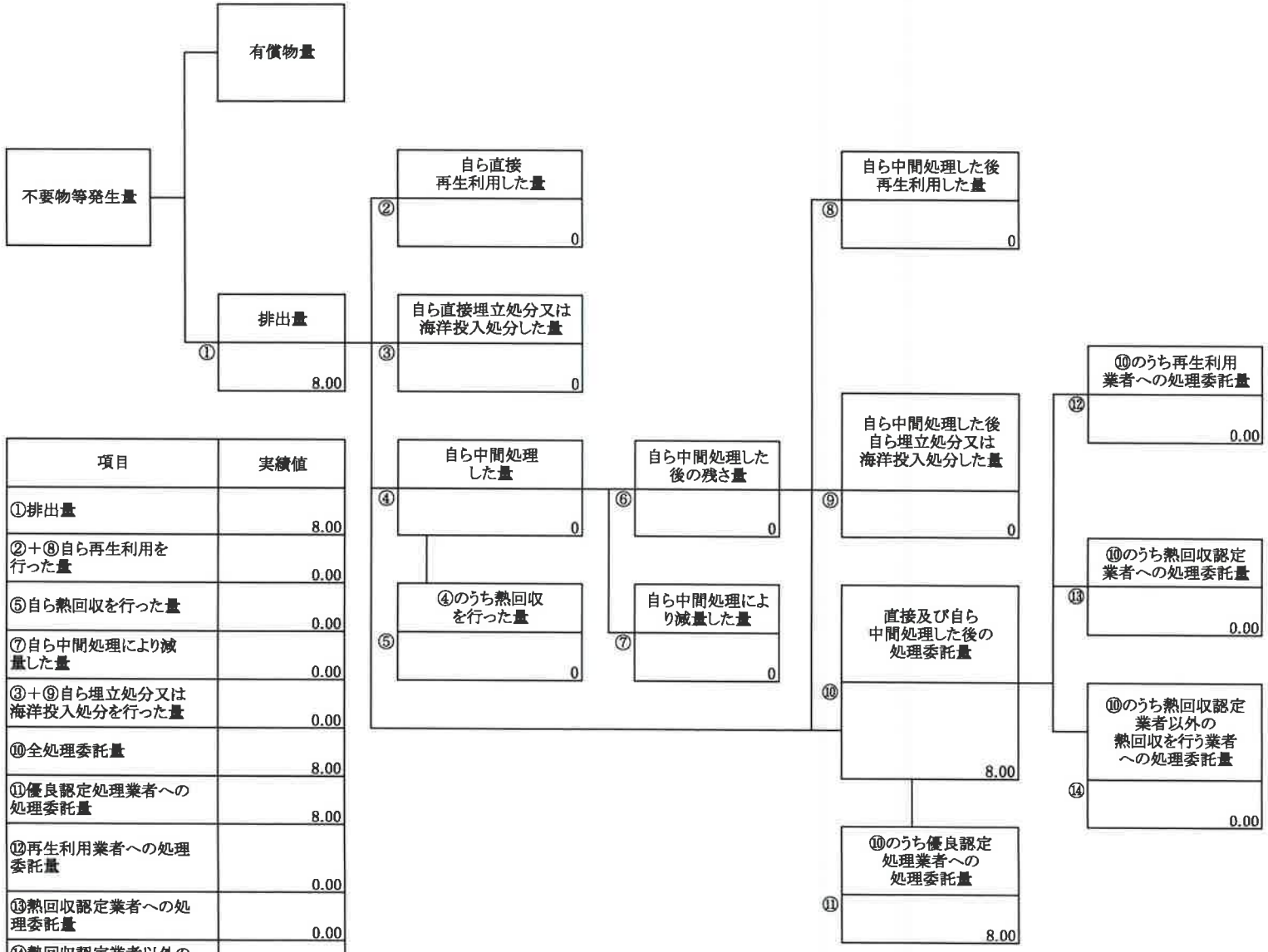


項目	実績値
①排出量	718.14
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	718.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	189.34
⑫再生利用業者への処理委託量	718.14
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類　石綿含有廃棄物　　）

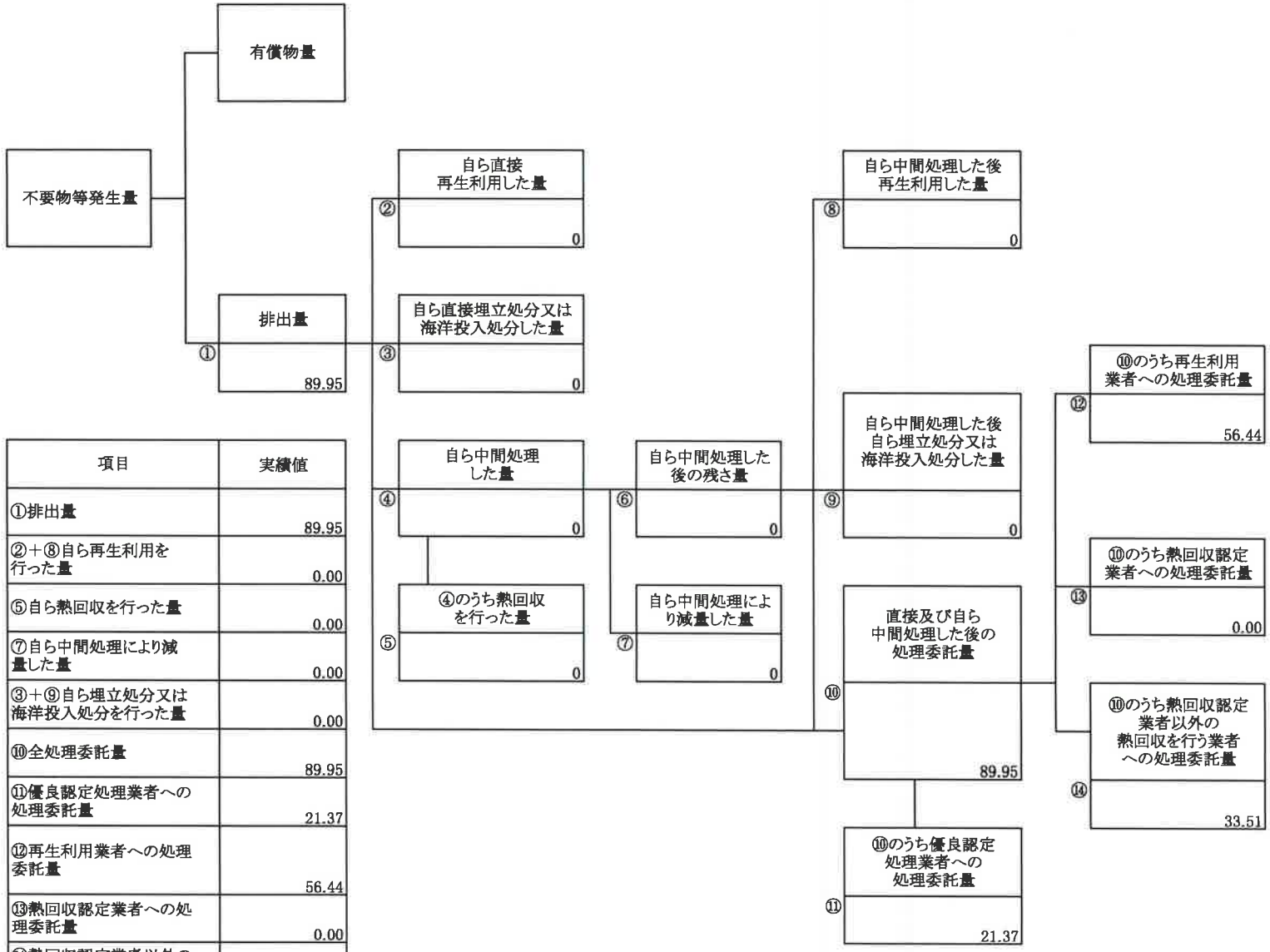


項目	実績値
①排出量	8.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	8.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

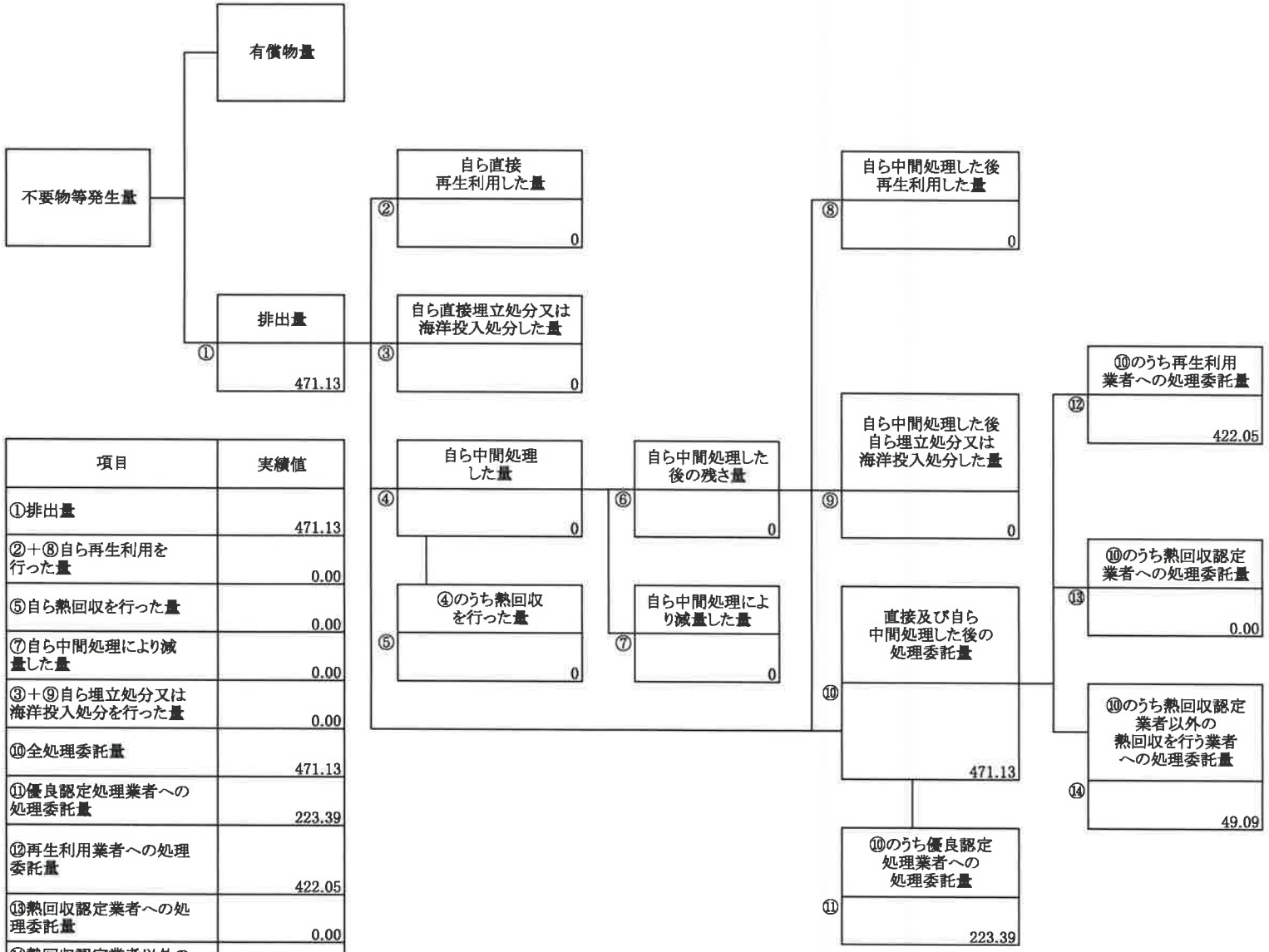
（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	89.95
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	89.95
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.37
⑫再生利用業者への処理委託量	56.44
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	33.51

（第2面）

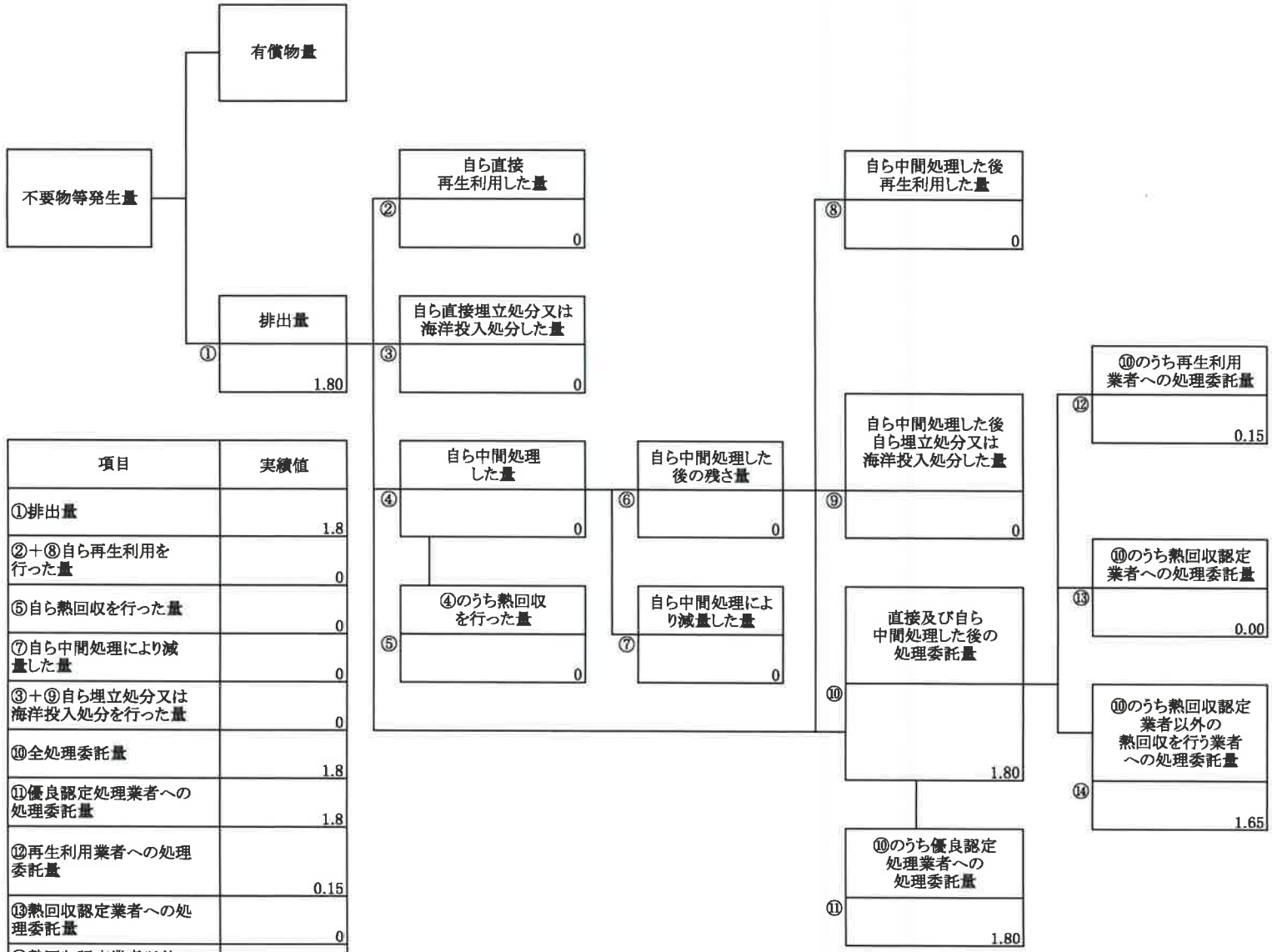
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	471.13
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	471.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	223.39
⑫再生利用業者への処理委託量	422.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	49.09

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）

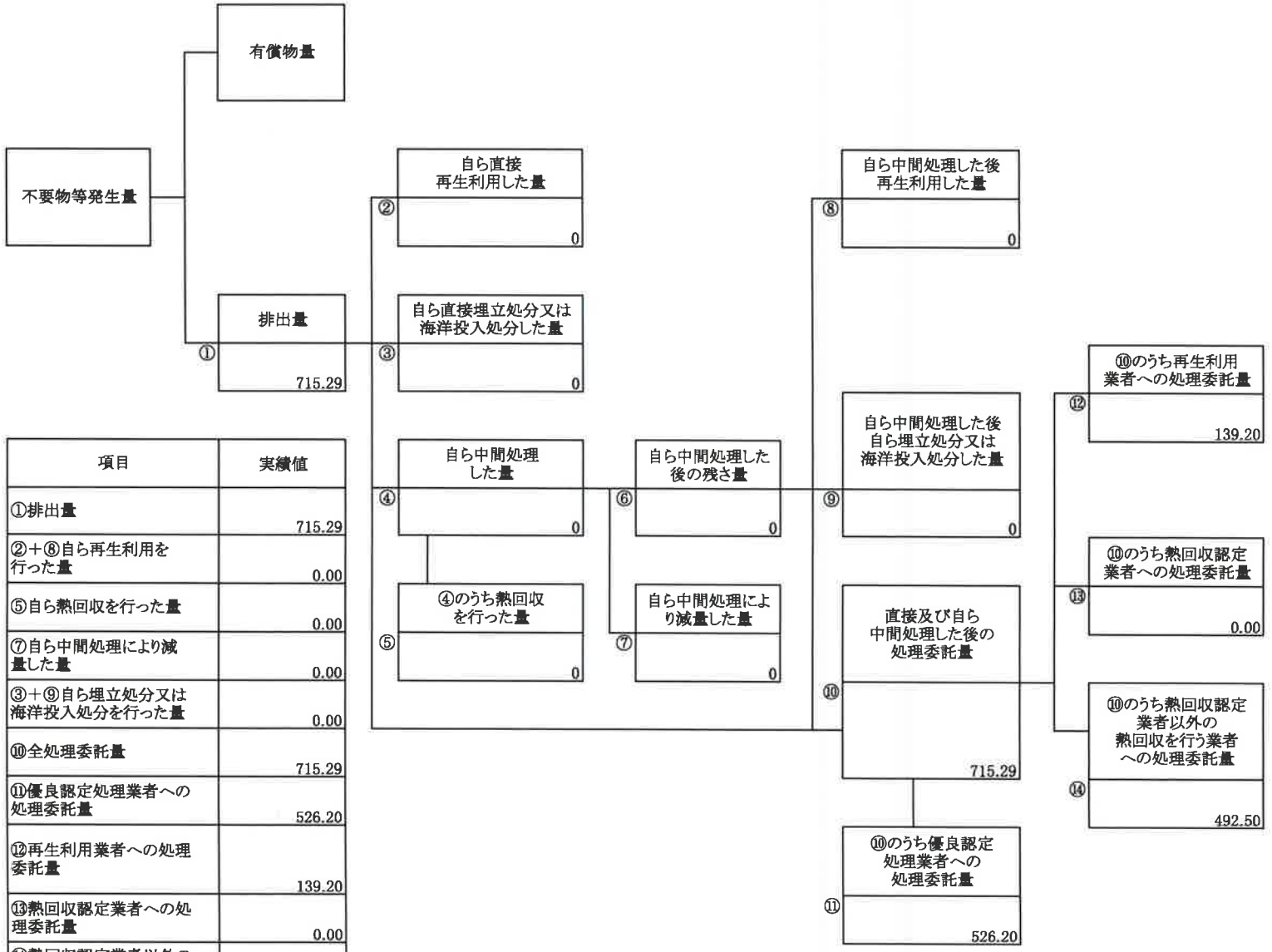


項目	実績値
①排出量	1.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.65

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	715.29
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	715.29
⑪優良認定処理業者への処理委託量	526.20
⑫再生利用業者への処理委託量	139.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	492.50

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入する。########

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-8552

住　所　千葉市中央区弁天1丁目5番1号

氏　名　大和リース株式会社　千葉支店
支店長　宮川　聖

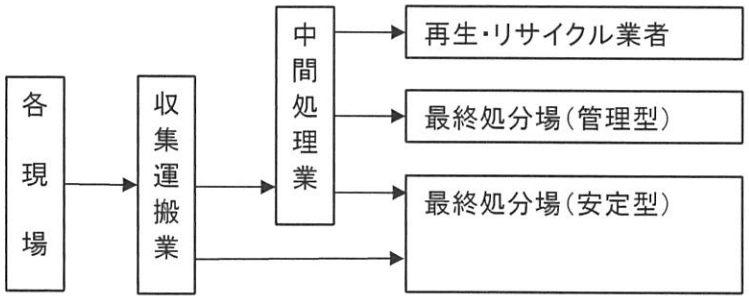
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-331-6180

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和リース株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区弁天1丁目5番1号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

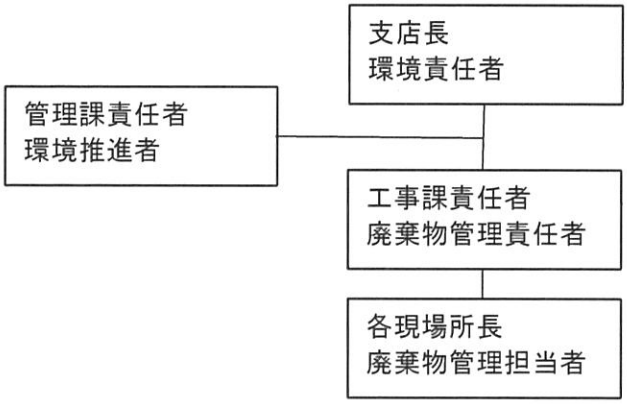
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	前年度の完工高：72億
③ 従業員数	56名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・プレカットの採用 ・窯業系サイディングの広域認定制度の活用 （産業廃棄物の減量、リサイクルサポート） ・基礎をH鋼基礎に変更し、解体時のコンクリートガラを削減した。 ・金属類、ダンボール、紙類を適正に分類保管して、有価物として取扱い産業廃棄物の削減に取り組んだ。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、 ガラスくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、石膏ボード、汚泥、 がれき類、混合廃棄物
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 弊社の仮設建物の基礎に「リュース基礎」（部材名：使用可能な現場にて）を使用して、解体時に回収、補修を行い再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記の通り		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙明細</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙明細</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙明細</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・細かく分別を行い混載量を減らして、再資源化を促進する。
・産廃業者様と連携して、専用の計測器を用い、正確な重さ（体積）を明確にして、適正数量の把握に努めている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙明細</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

上記の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
		排　出　量	0.7 t	74.0 t	42.8 t	110.8 t	0.1 t	31.5 t	94.9 t	140.4 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
		排　出　量	0.5 t	52.0 t	30.0 t	78.0 t	0 t	22.0 t	66.0 t	98.0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	0.7 t	74.0 t	42.8 t	110.8 t	0.1 t	31.5 t	94.9 t	140.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.7 t	74.0 t	42.8 t	110.8 t	0.1 t	31.5 t	94.9 t	140.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラステック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	0.5 t	52.0 t	30.0 t	78.0 t	0.0 t	22.0 t	66.0 t	98.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.5 t	52.0 t	30.0 t	78.0 t	0.0 t	22.0 t	66.0 t	98.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
		排　出　量	1080.6 t	0.3 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
		排　出　量	753.3 t	0.2 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
	全処理委託量	1080.6 t	0.3 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1080.6 t	0.3 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	かれき類	安定型混合廃棄物						
	全処理委託量	753.3 t	0.2 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	753.3 t	0.2 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月31日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-0174

住　所　千葉県流山市下花輪1251

法人名　株式会社高橋工務店

代表者　髙橋 順一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7158-1302

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社高橋工務店
事業場の所在地	千葉県流山市下花輪1251
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高　2億4千万
③従業員数	5人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	解体現場→がれき類→委託処理（再生利用業者で処理） 発生現場→廃アルカリ→委託処理（再生利用業者で処理） 発生現場→委託処理（再生利用業者で処理）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

処理計画統括責任者　　統括マネージャー
↓
技術課
↓
廃棄物担当者・処理計画作成担当　現場代理人

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
排出量	1880 t	3.23 t

（これまでに実施した取組）
請負工事の質と量により変動する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
排出量	2300 t	4 t

（今後実施する予定の取組）
請負工事の質と量により変動する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物はそれぞれの種類別で処分している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
種類別に処分する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

無

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

無

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

無

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

無

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

無

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

無

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	廃アルカリ
全処理委託量		1880 t	3.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1880 t	3.23 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者と適正に契約を締結し、委託処理を行った

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2300 t</td><td>4 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2300 t</td><td>4 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
再生利用業者と適正に契約を締結し、委託処理を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず						
		排　出　量	3 t	242.7 t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず						
		排　出　量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投

①現状①	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	額産業廃棄物の種類産	汚泥	木くず						
	自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量産業廃棄物の量産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
②計画②	【目標】								
	額産業廃棄物の種類産	汚泥	木くず						
	は自ら埋立処分又は自 う海洋投入処分を行う海 量産業廃棄物の量産	0 t	0 t	t	t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関

①現状①	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	額産業廃棄物の種類産	汚泥	木くず						
	託量全処理委託量全処	3 t	242.7 t	t	t	t	t	t	
	の優良認定処理業者への優 理委託量処理委託	3 t	0 t	t	t	t	t	t	
	業者への再生利用業 理委託量処理委託	3 t	242.7 t	t	t	t	t	t	
	収業者への認定熱回収 理委託量処理委託	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	収業者以外の認定熱回収業 行う業者への熱回収を行う 理委託量処理委託	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
②計画②	【目標】【目標】								
	棄物の種類産業廃棄物	汚泥	木くず						
	処理委託量全処理委託	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	処理業者への優良認定処理 理委託量処理委託	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	業者への再生利用業 理委託量処理委託	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	収業者への認定熱回収 処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

t

セルフチェックシートは、自動入力されますので、入力作業は不要です。セルフチェックシートは、排出事業者側の確認用シートです。印刷や提出は不要です。

事 業 場 の 名 称	株式会社　高橋工務店
事 業 場 の 所 在 地	千葉県流山市下花輪1251
計 画 期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
事 業 の 種 類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
事 業 の 規 模	前年度の完成工事高　2億4千万
従 業 員 数	5人

←本年度の計画期間が記載されていることを確認してください
←日本標準産業分類上の「大分類」「中分類」が記載されていることを確認してください
←事業の種類に応じて規模が記載されていることを確認してください
（例：製造業　製造品出荷額、建設業　元請完成工事高など）

1. 現状（前年度の処理量）

項目		がれき類	廃アルカリ	汚泥	木くず						合計
排 出 量	①	1880.0 t	3.2 t	3.0 t	242.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2128.9 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	②	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	③	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	④	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	⑤	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
全 処 理 委 託 量	⑥	1880.0 t	3.2 t	3.0 t	242.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2128.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	⑦	0.0 t	0.0 t	3.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	3.0 t
再生利用業者への処理委託量	⑧	1880.0 t	3.2 t	3.0 t	242.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2128.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	⑨	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑩	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

セルフチェック用

項目	がれき類	廃アルカリ	汚泥	木くず						
①＝②+④+⑤+⑥	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
⑥≧⑧+⑨+⑩	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
⑥≧⑦	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK

2. 計画（本年度の処理量）

項目		がれき類	廃アルカリ	汚泥	木くず						合計
排 出 量	①’	2300.0 t	4.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2304.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	②’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	③’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	④’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑤’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
全 処 理 委 託 量	⑥’	2300.0 t	4.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2304.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	⑦’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	⑧’	2300.0 t	4.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2304.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	⑨’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑩’	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

セルフチェック用

項目	がれき類	廃アルカリ	汚泥	木くず						
①’＝②’+④’+⑤’+⑥’	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
⑥’≧⑧’+⑨’+⑩’	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
⑥’≧⑦’	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月31日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　270-0174

住所 千葉県流山市下花輪1251

法人名 株式会社 高橋工務店

代表者 髙橋 順一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7158-1302

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 高橋工務店
事業場の所在地	千葉県流山市下花輪1251
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2304 t	全処理委託量	2304 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2304 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

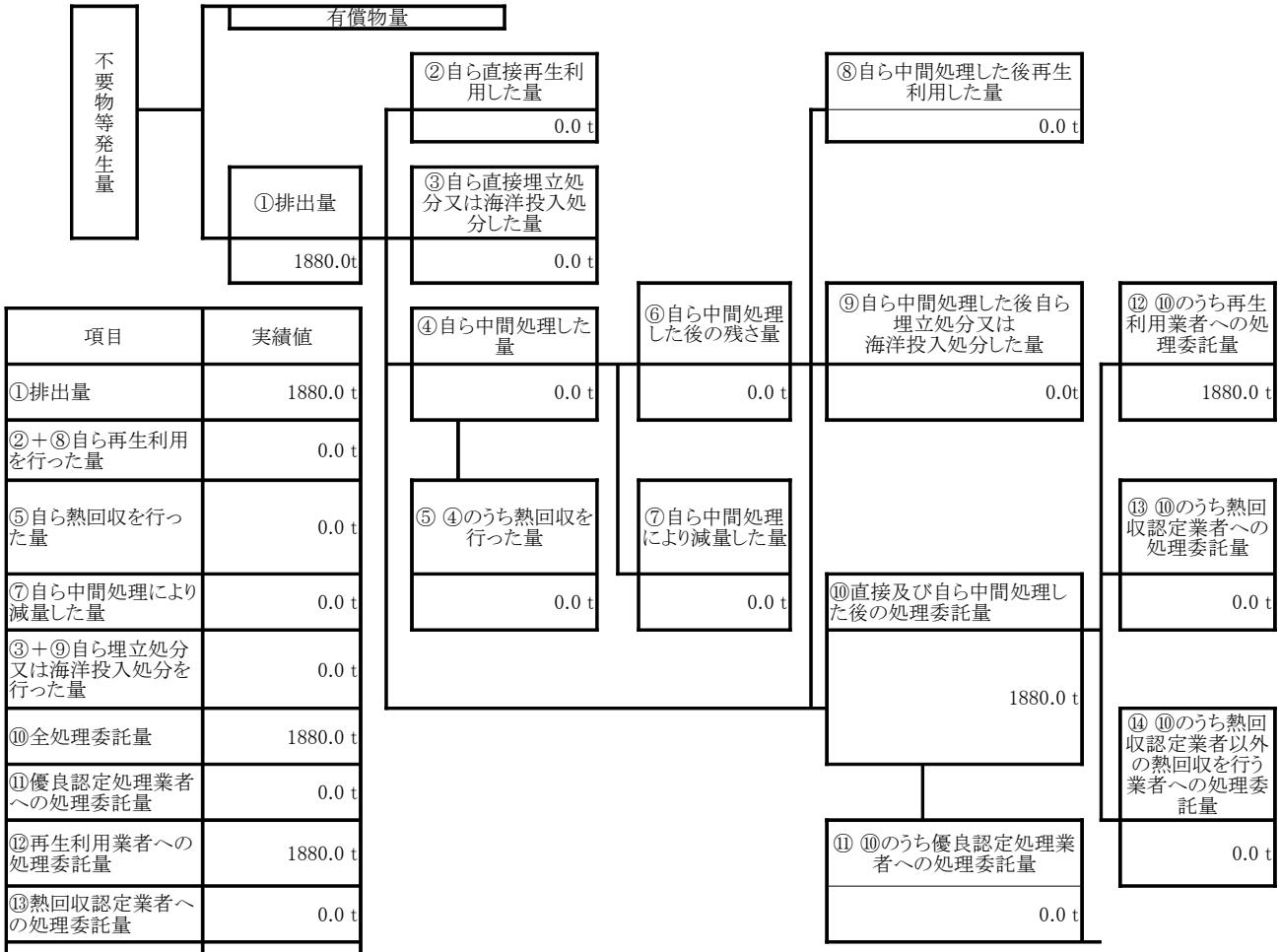
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

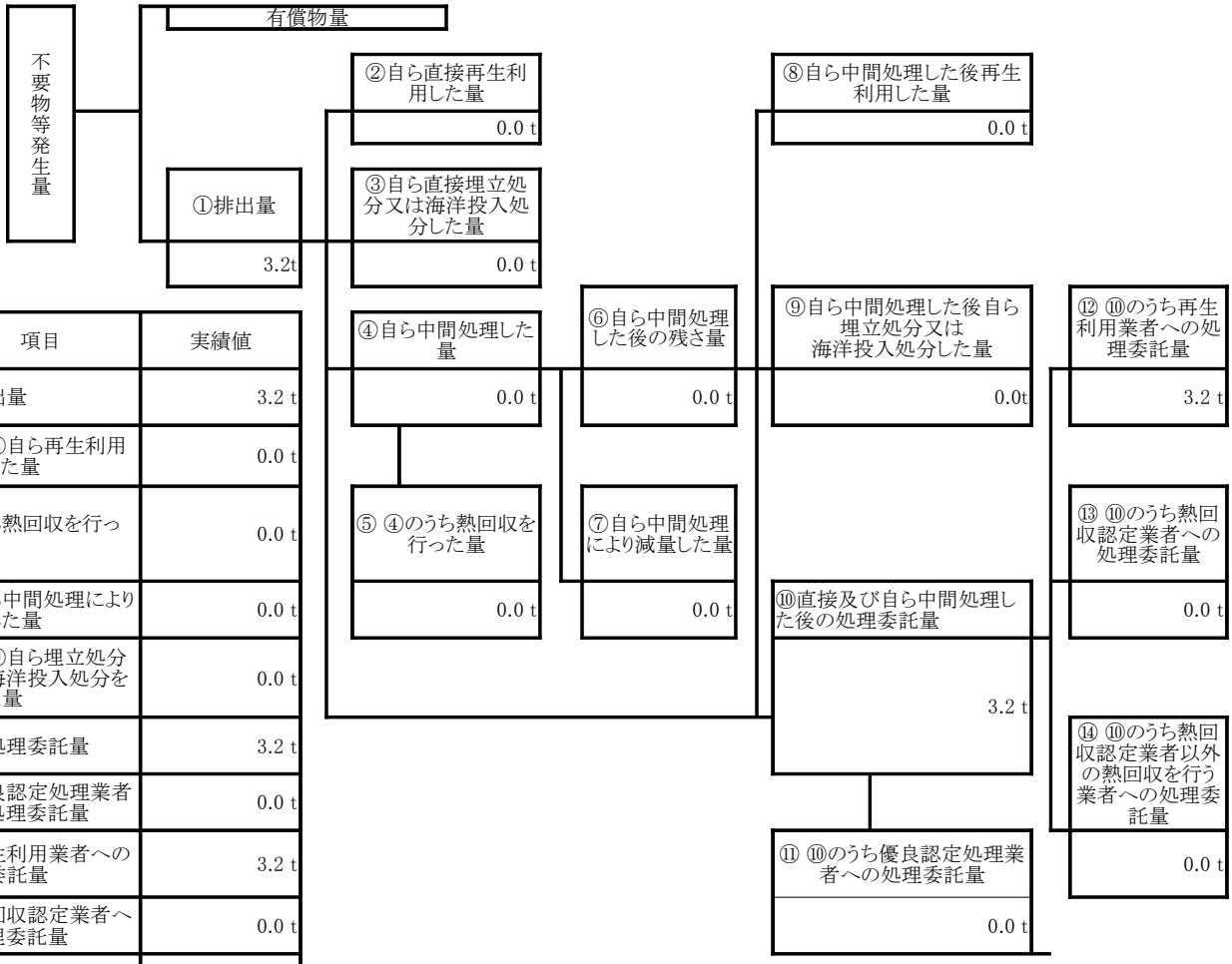


項目	実績値
①排出量	1880.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1880.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1880.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



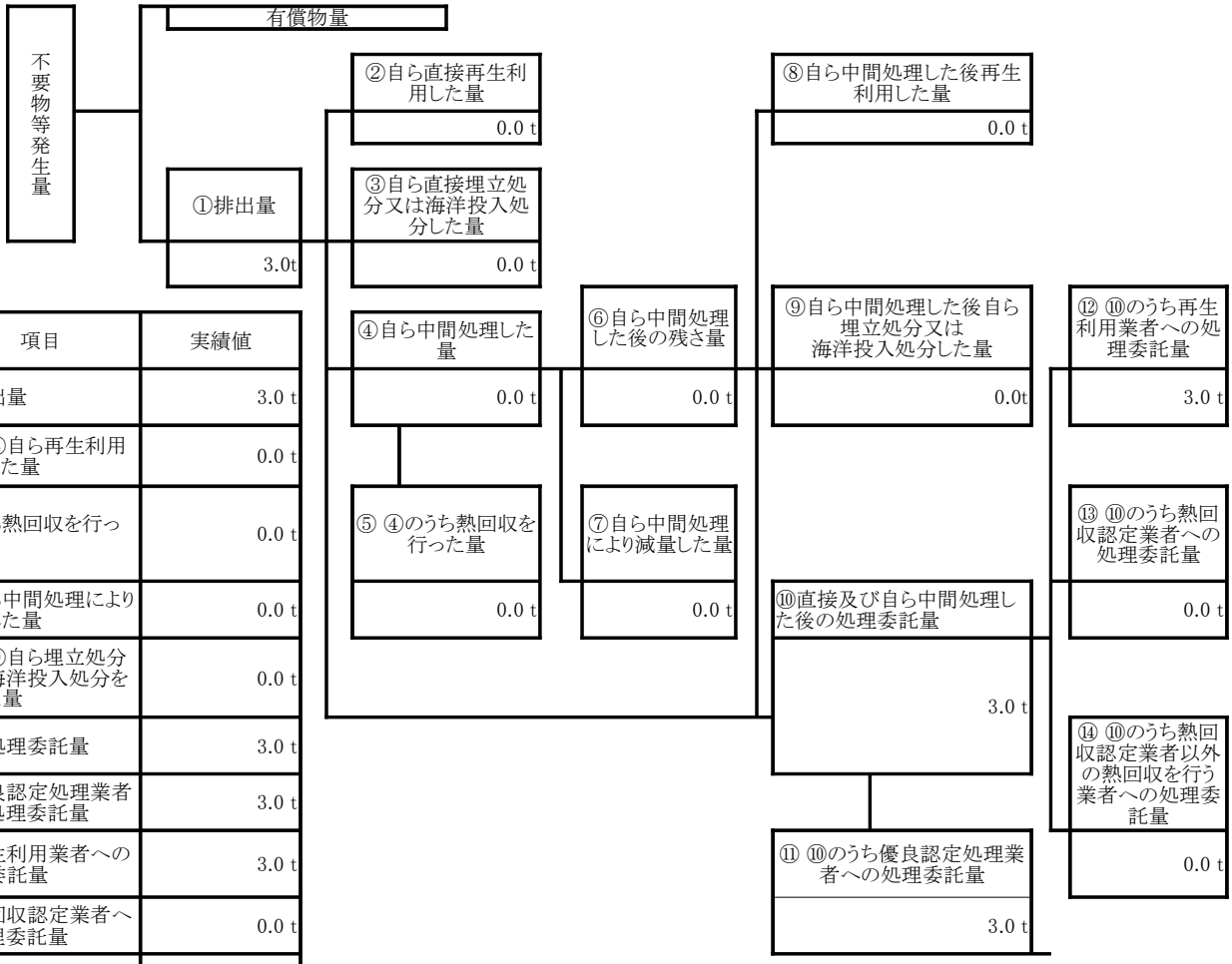
項目	実績値
①排出量	3.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 汚泥 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

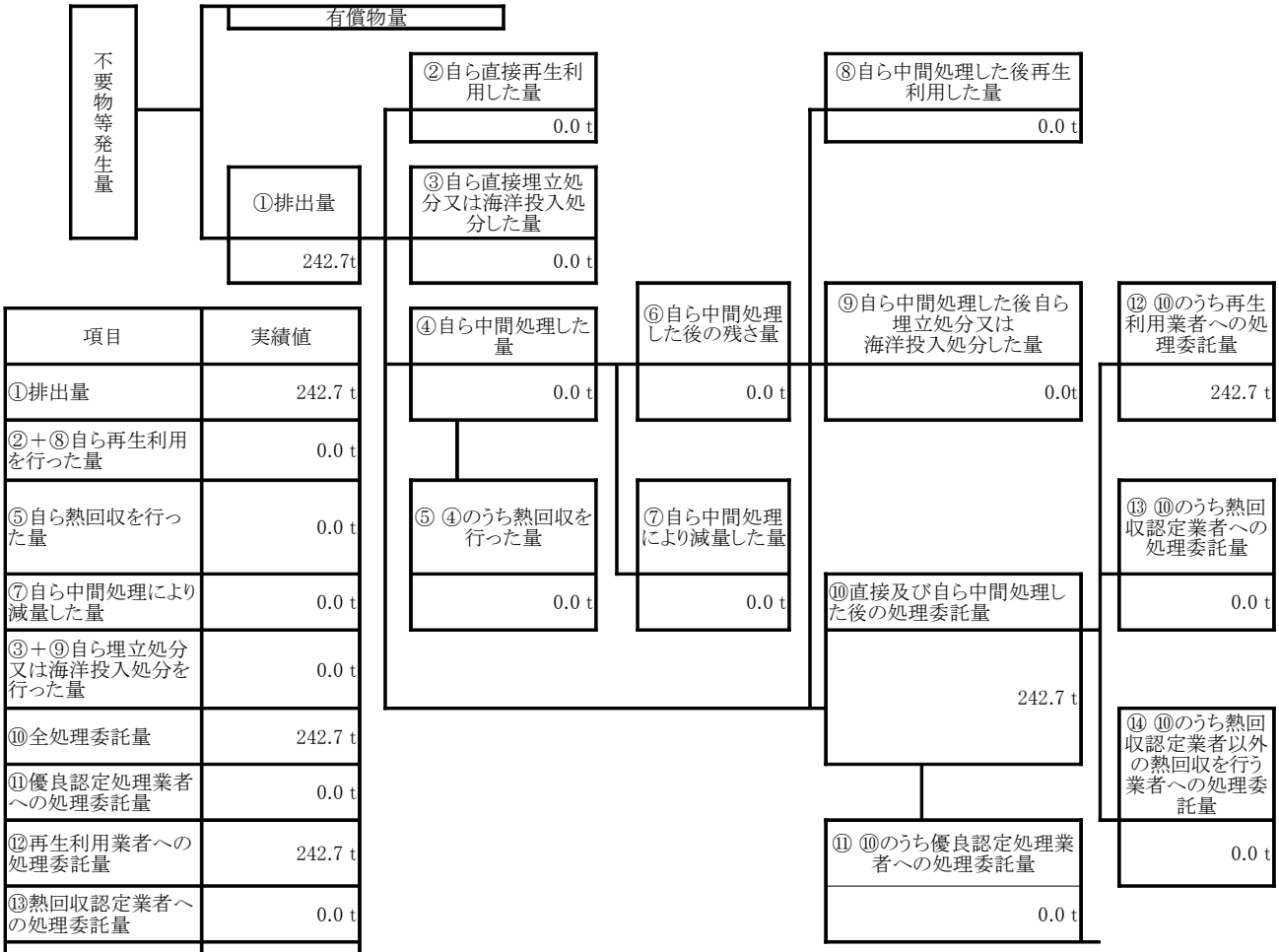


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



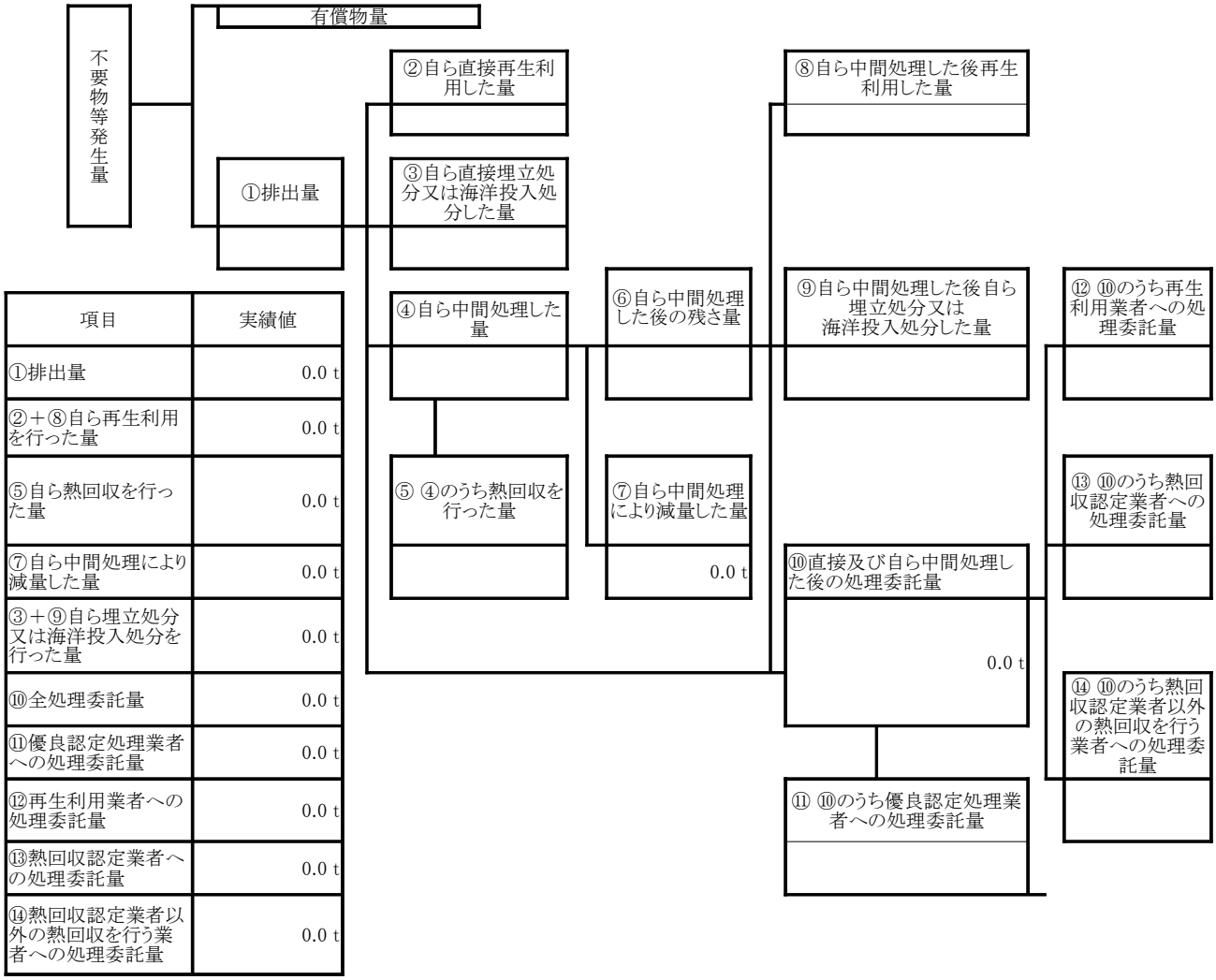
項目	実績値
①排出量	242.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	242.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	242.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

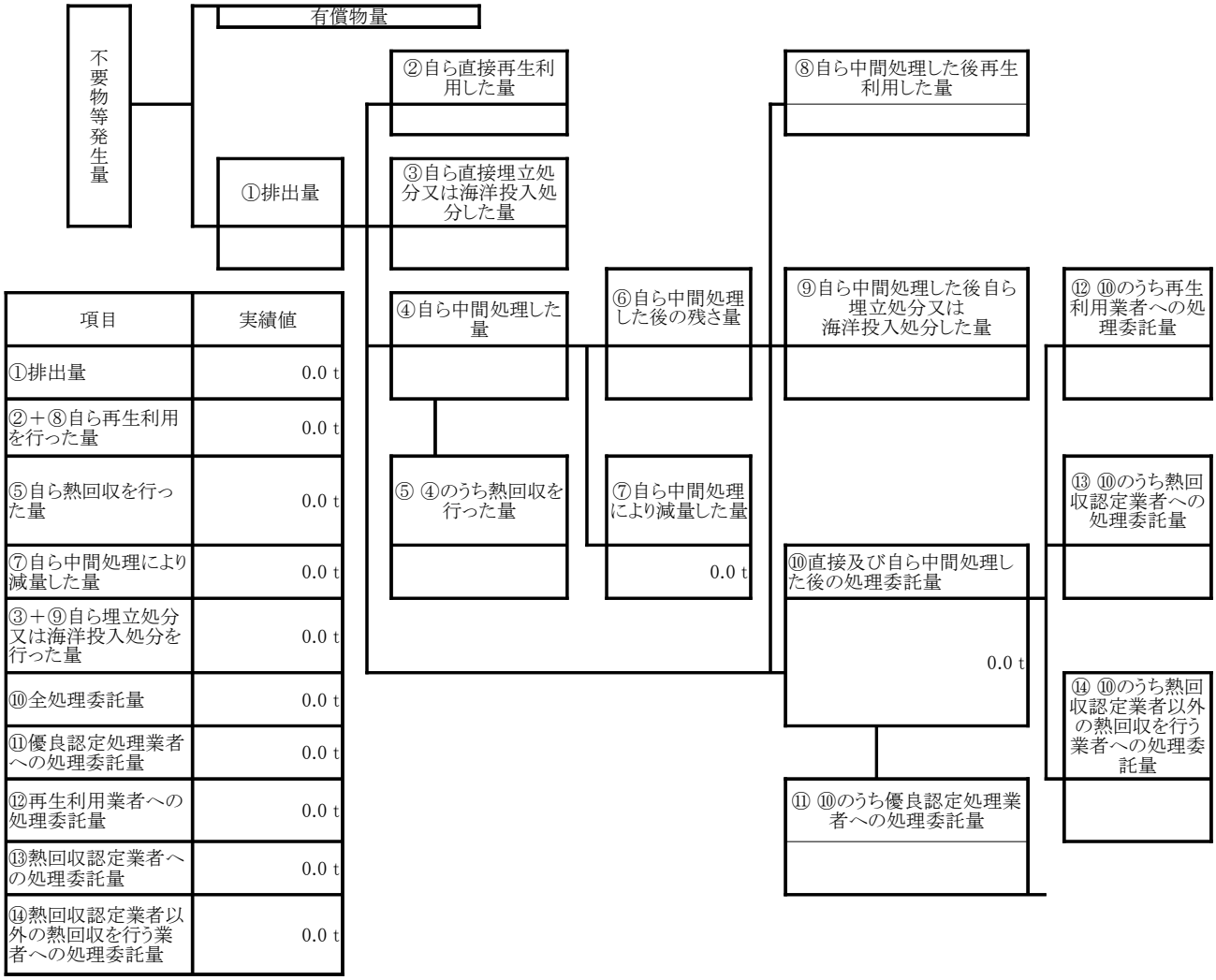


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



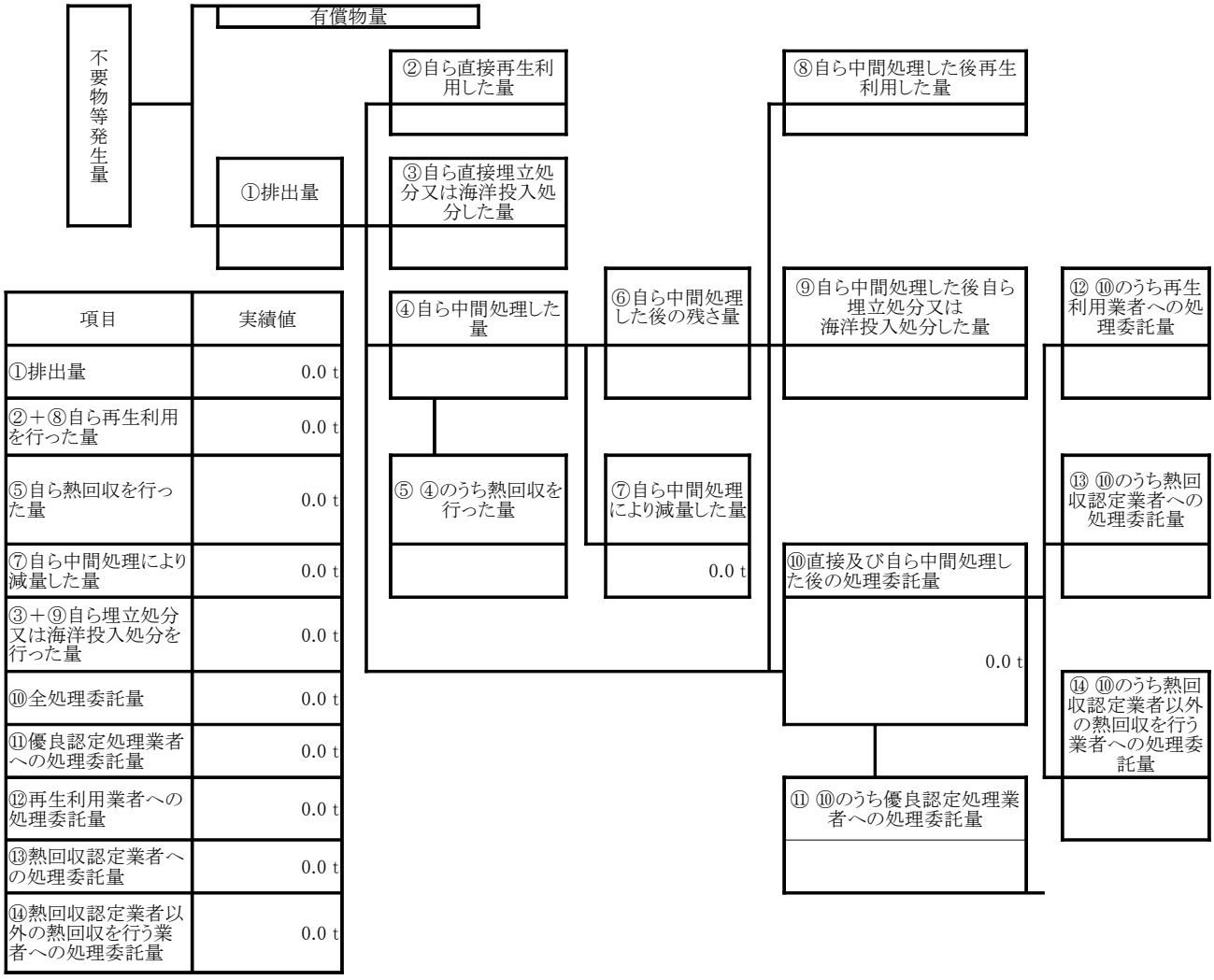
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



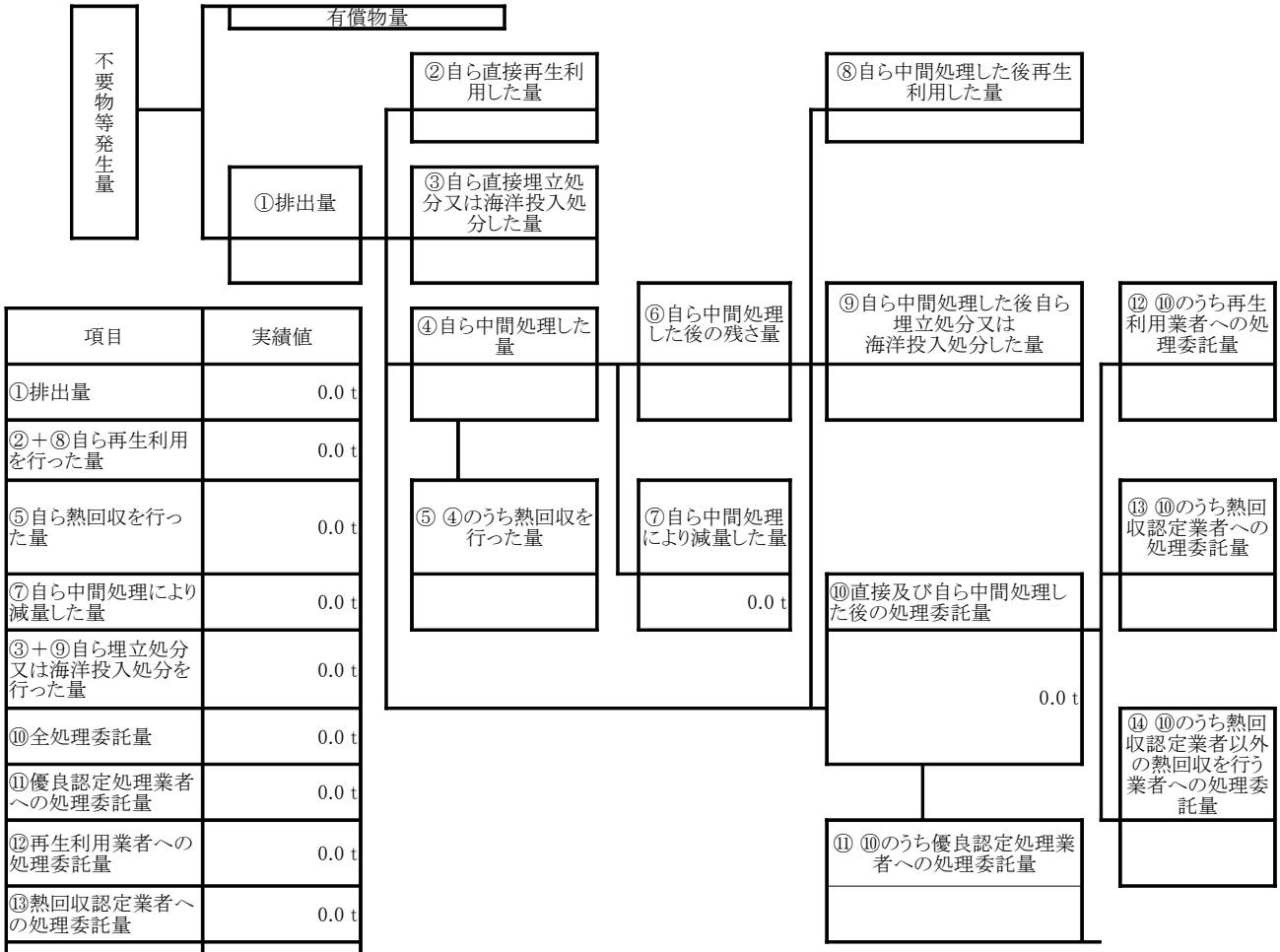
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

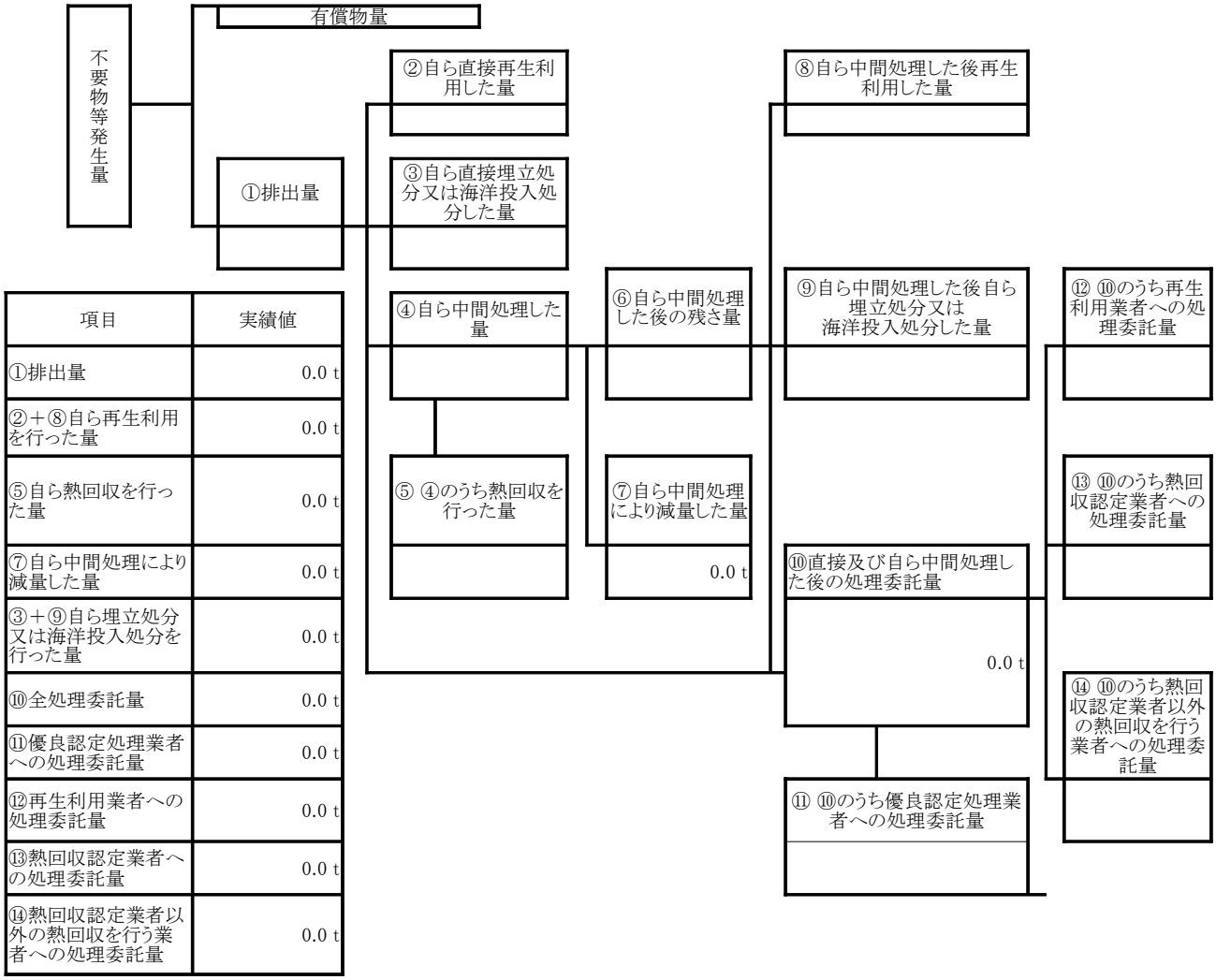


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

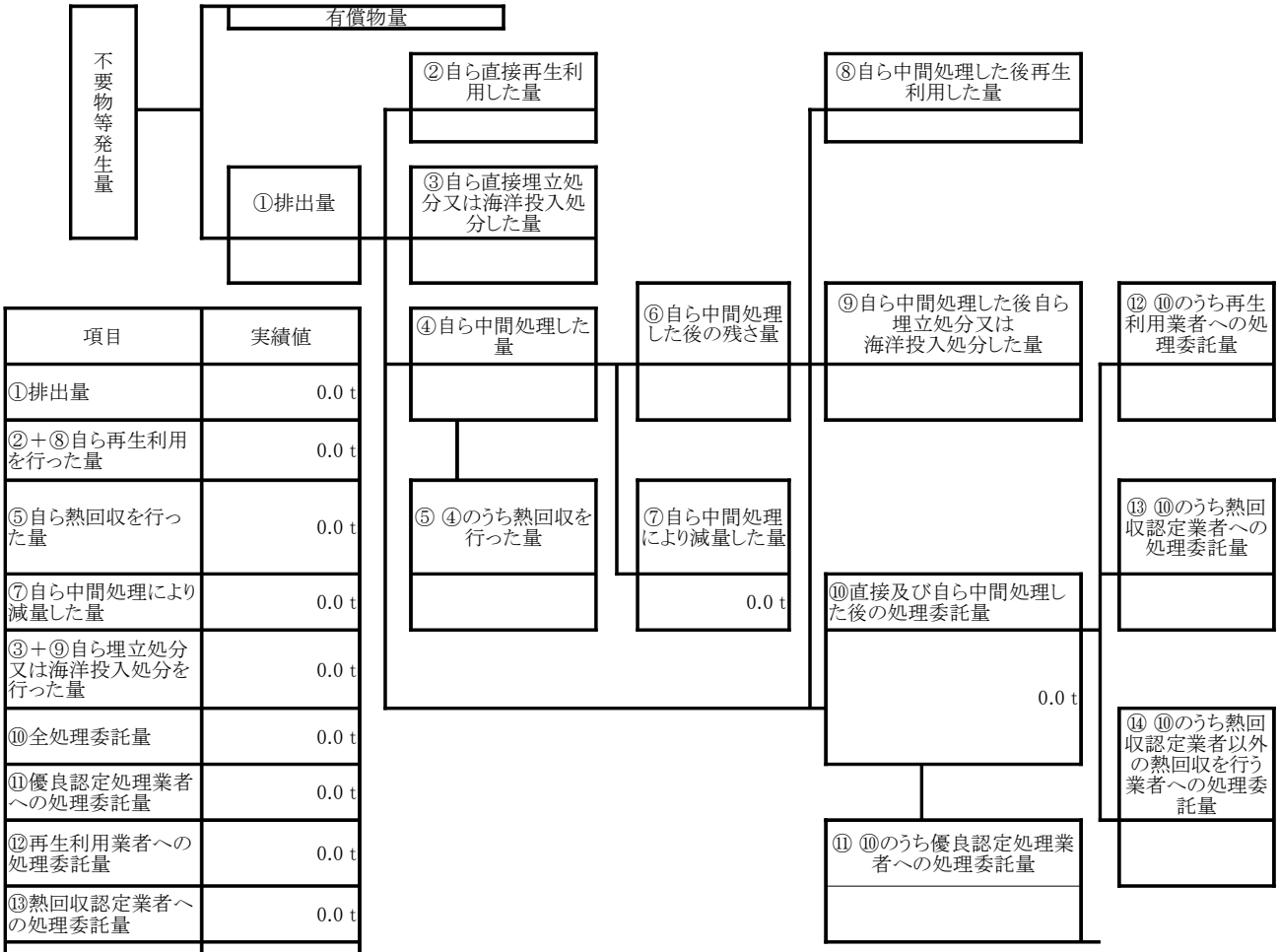


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

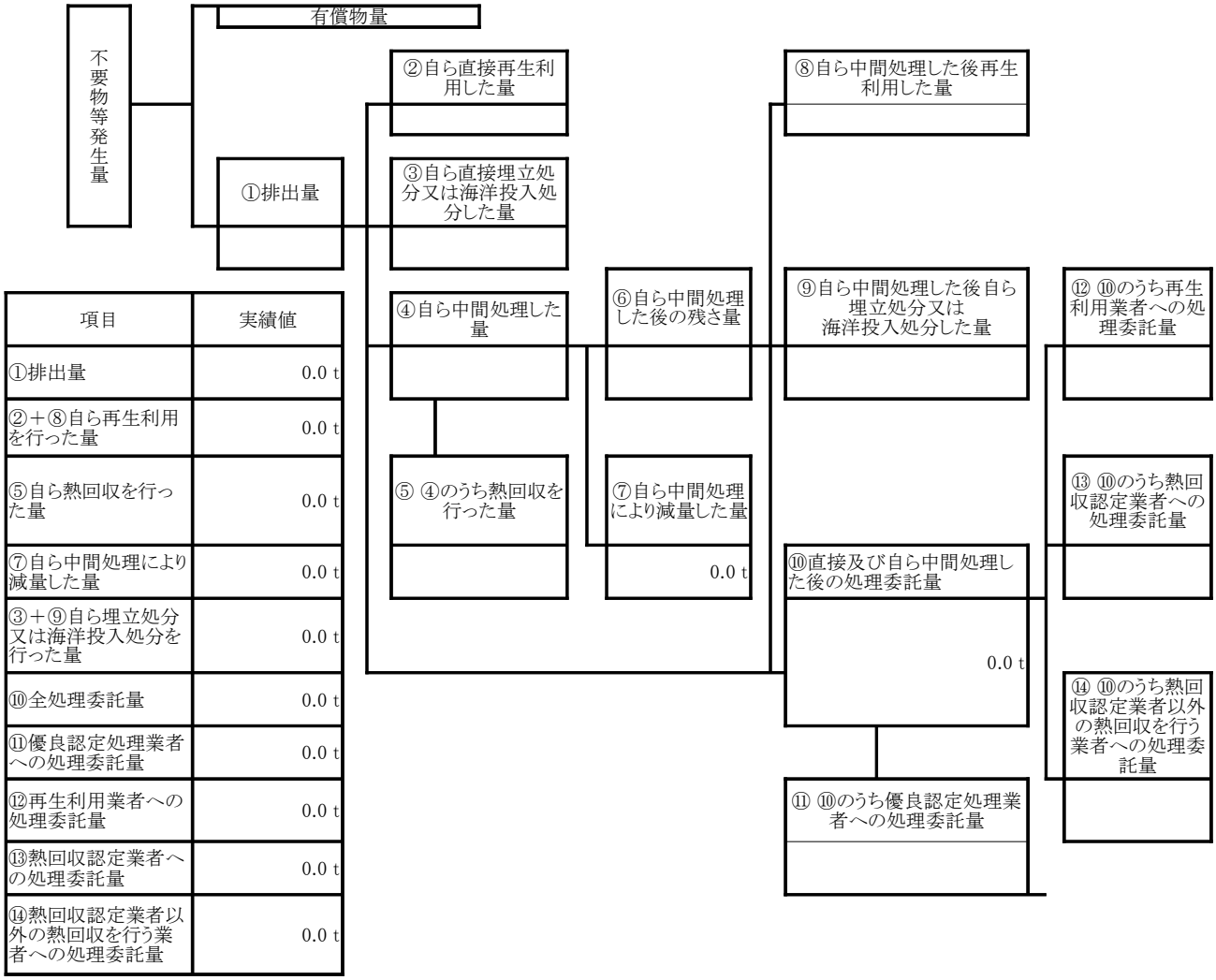


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



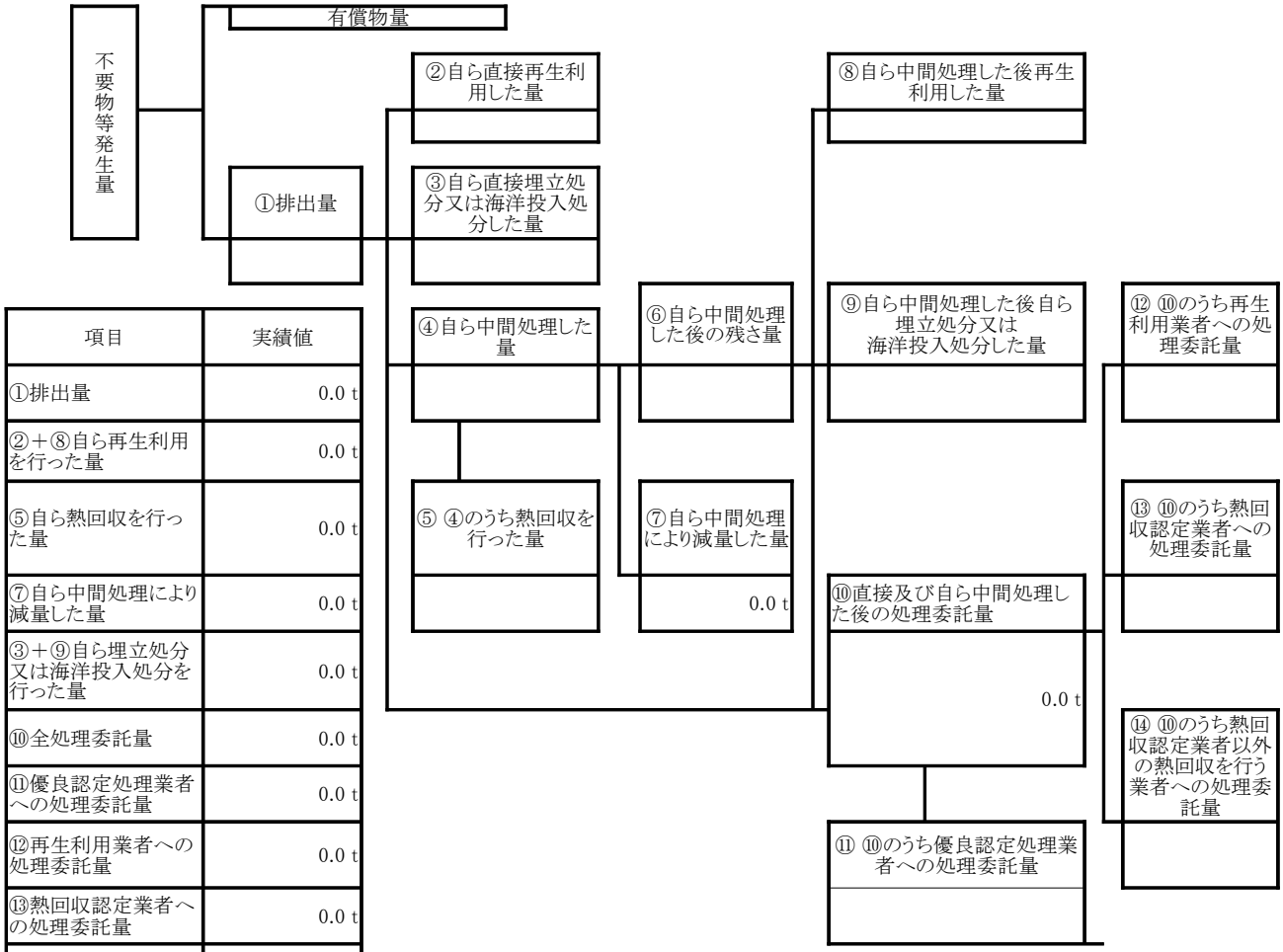
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



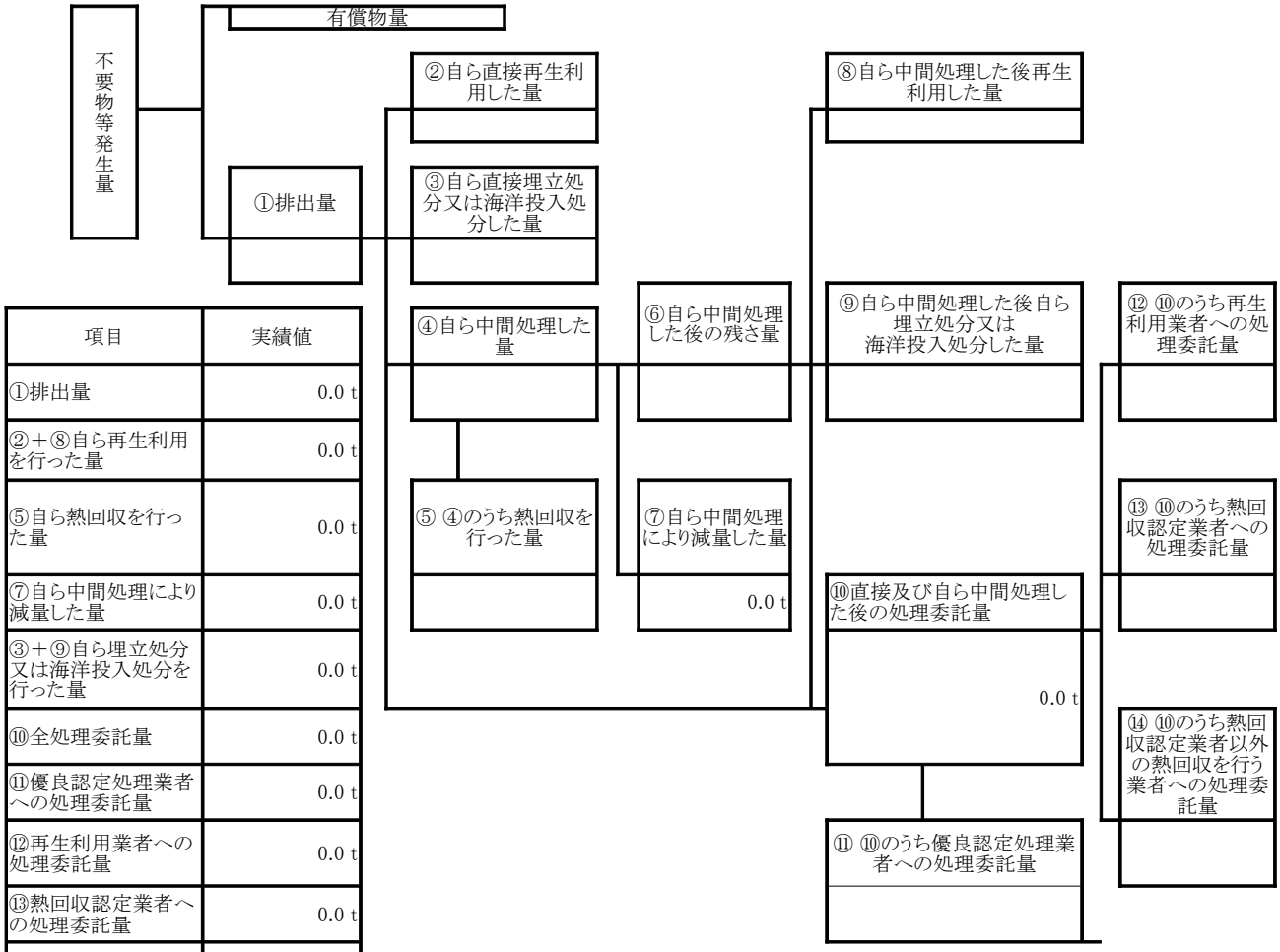
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



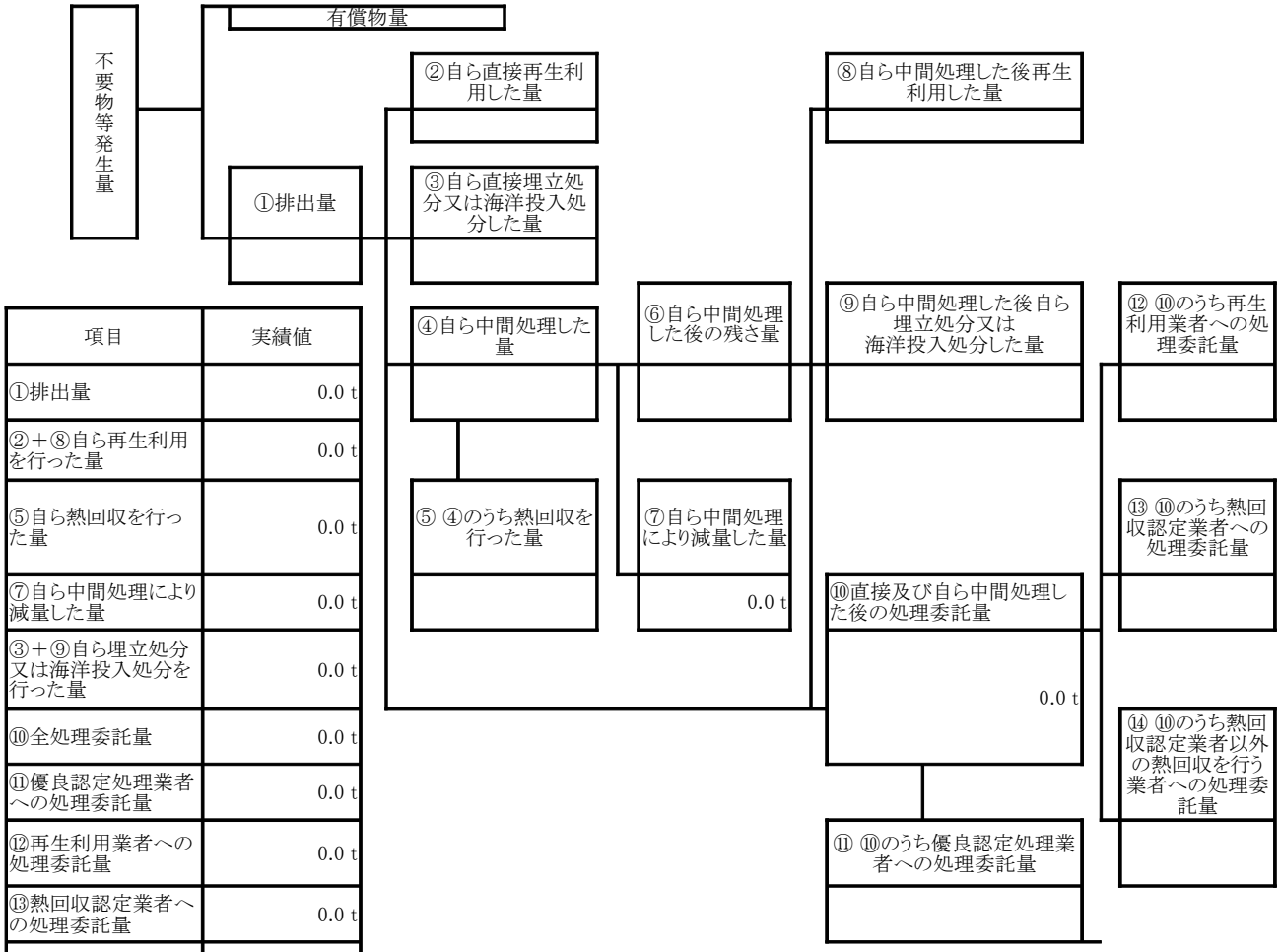
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



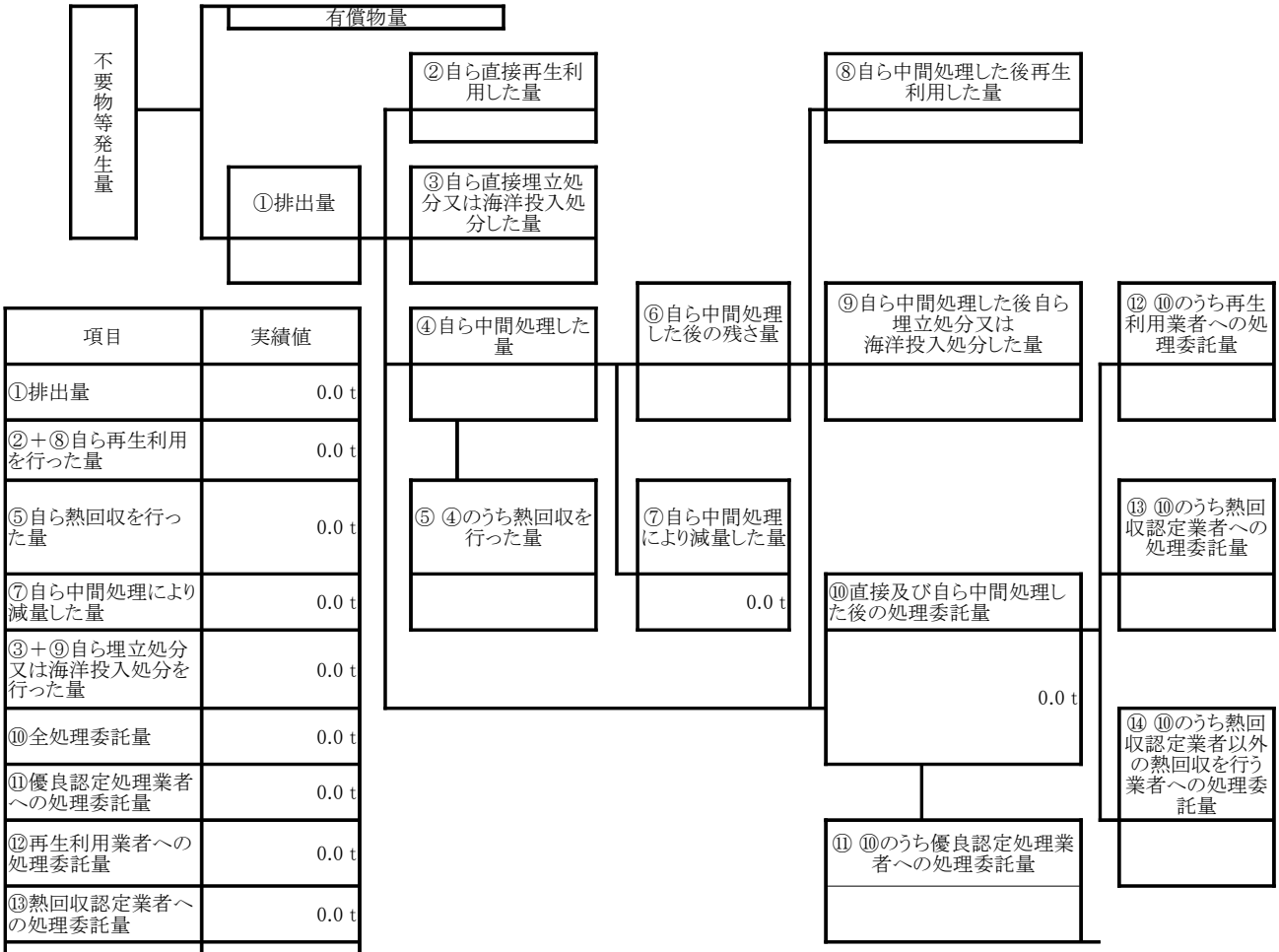
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



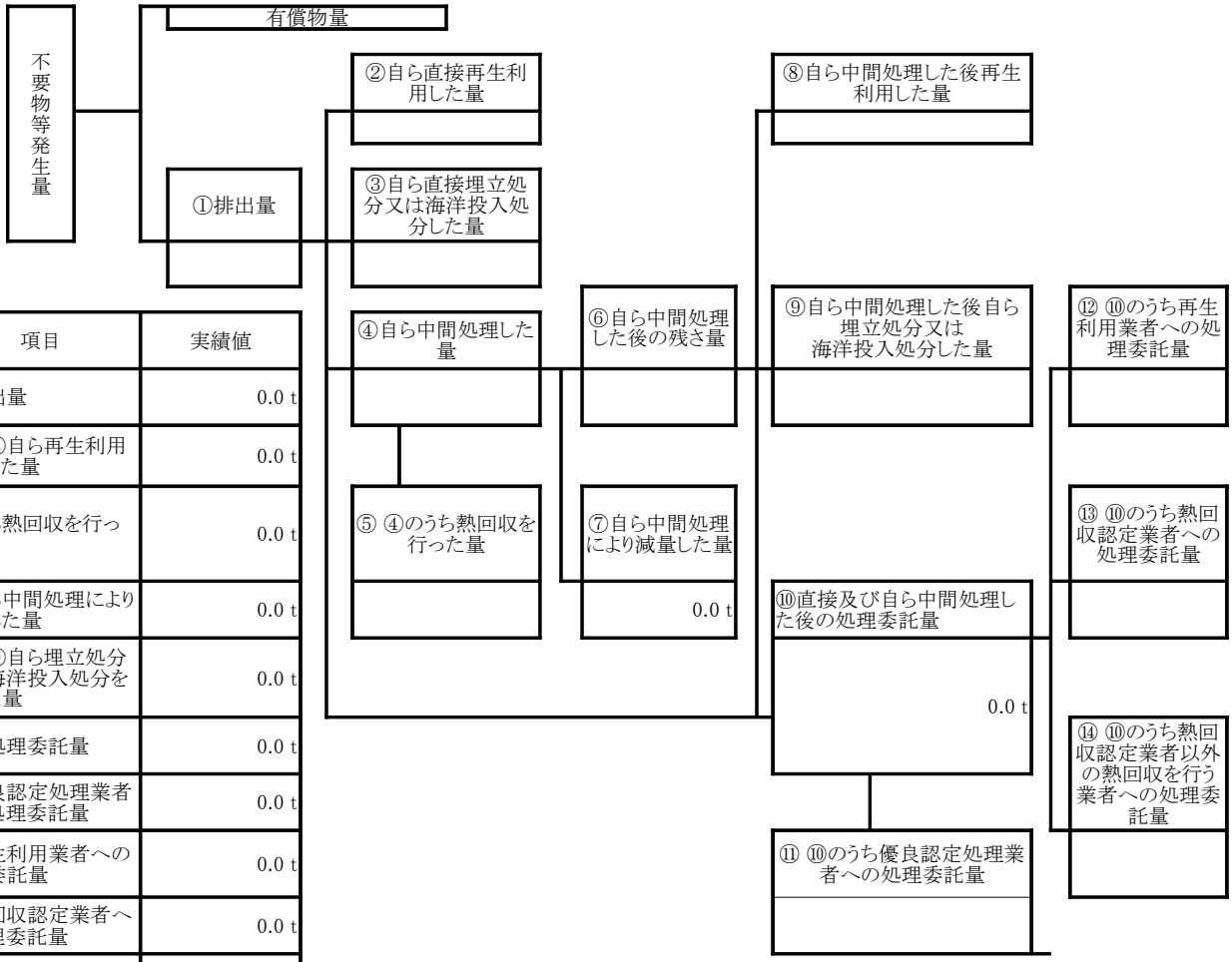
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



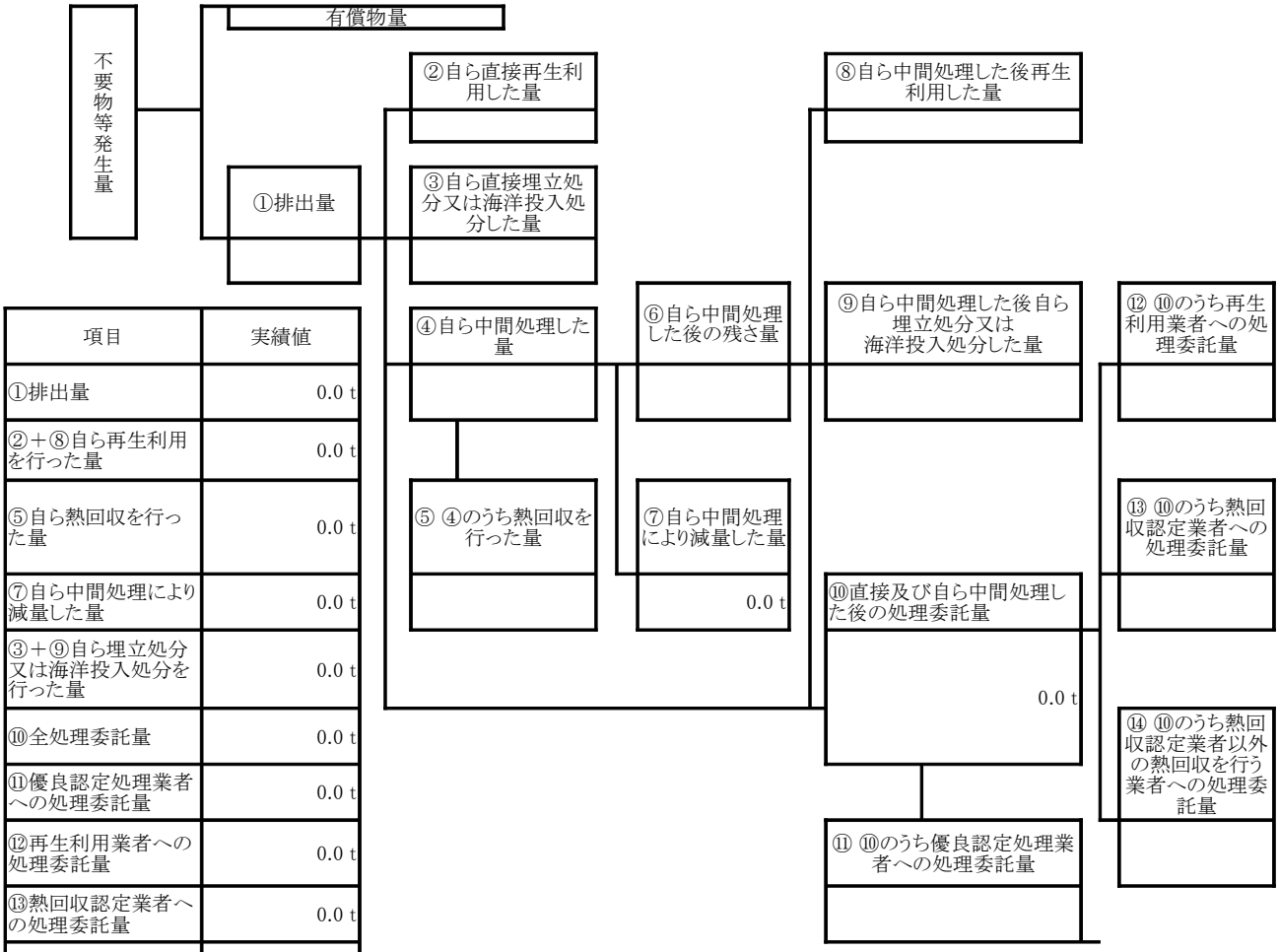
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



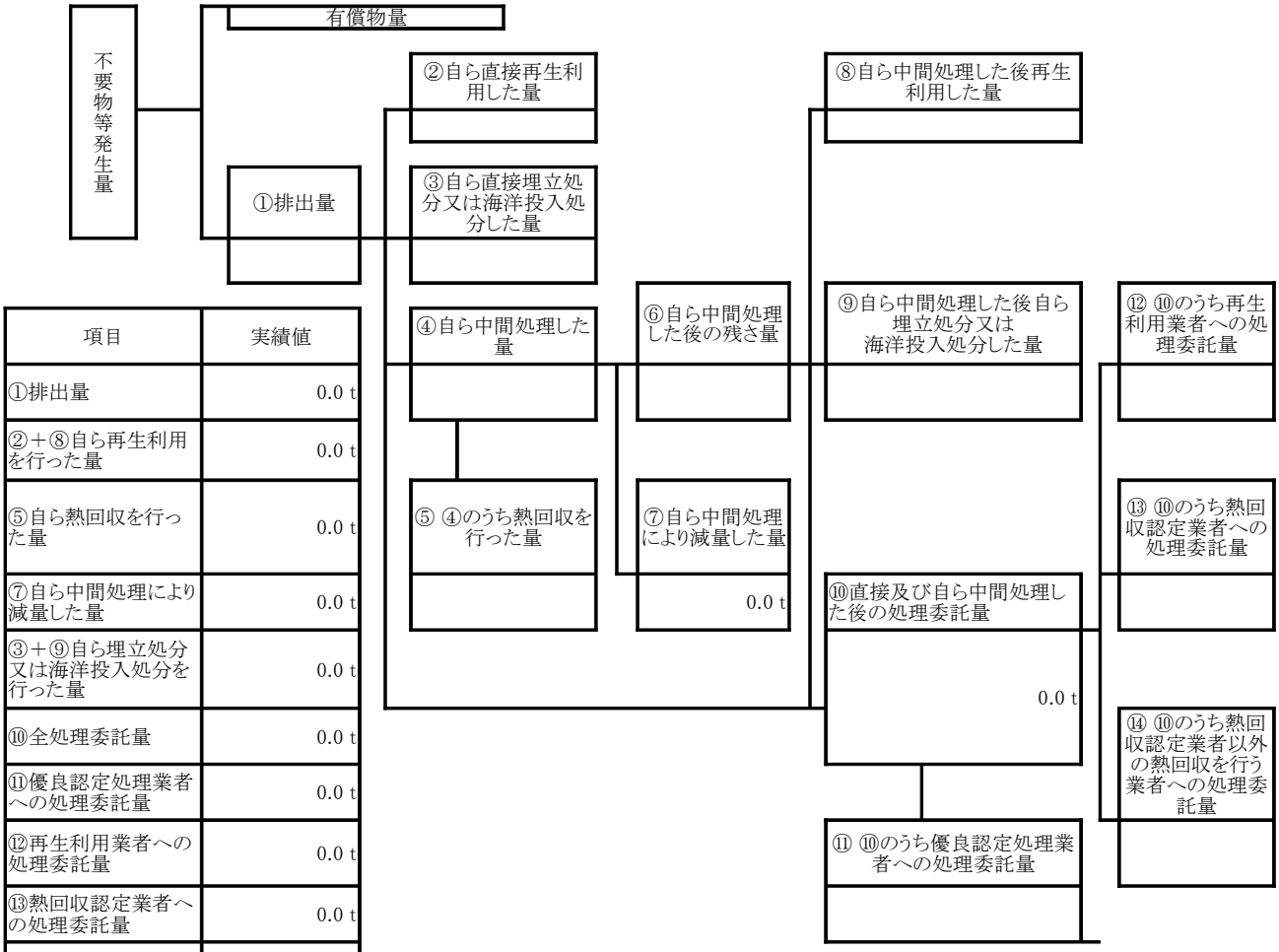
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



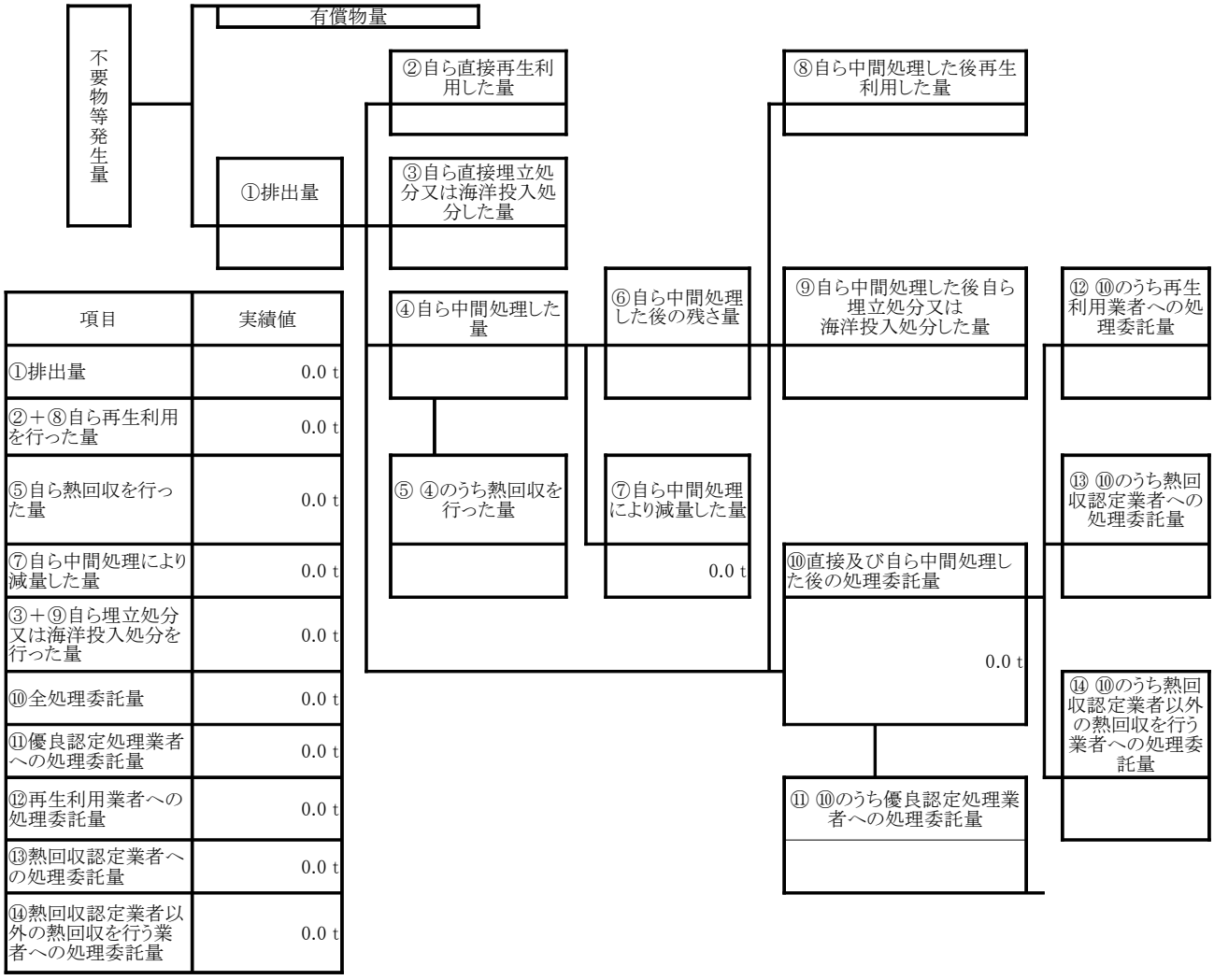
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



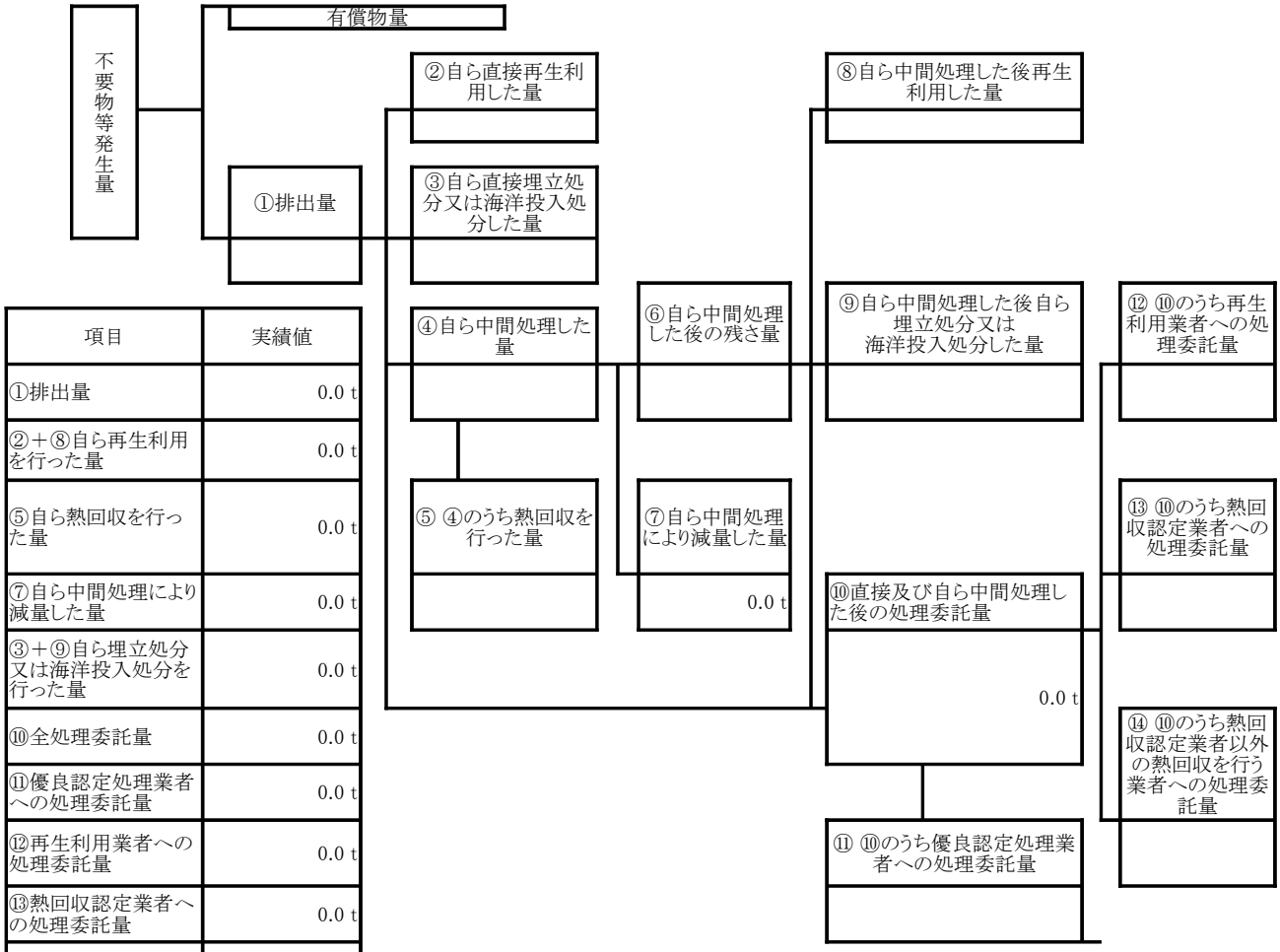
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月18日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都港区芝4-8-2

氏 名　髙松建設株式会社東京本店

取締役専務執行役員本店長 工藤孝宏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　03-3455-8144

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	髙松建設株式会社東京本店管轄内　各事業場
事業場の所在地	東京都港区芝4-8-2 髙松コンストラクショングループ東京本社ビル
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D建設業　（０６　総合工事業）
②事業の規模	令和5年度　完工高　43，705百万円（東京本店実機）
③従業員数	1,058名（東京本店：令和6年5月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
作業所における建設副産物の発生抑制への施策実施
（場外加工の徹底、梱包の簡易化他）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
作業所における建設副産物の発生抑制への施策実施
（場外加工の徹底、梱包の簡易化他）
※継続実施し、より効率化を行い、副産物の減量化を促進する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
金属くず・ダンボール・石膏ボード・木くず・コンクリート破片・
アスコン破片他、作業所の状況に合わせ分別実施</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
金属くず・ダンボール・石膏ボード・木くず・コンクリート破片・
アスコン破片他、作業所の状況に合わせ分別実施
※継続実施</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	－	－	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	t	
	（これまでに実施した取組） 特になし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	－	－	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	t	
	（今後実施する予定の取組） 特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	－	－	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	t	
	（これまでに実施した取組） 特になし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	－	－	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	
	（今後実施する予定の取組） 特になし			

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
特になし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
産業廃棄物情報ネット等の情報を参考に、委託基準を厳守できる産業廃棄物処理業者を選定している。また、定期的に処理状況の現地確認も行っている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
産業廃棄物情報ネット等の情報を参考に、委託基準を厳守できる産業廃棄物処理業者を選定している。また、定期的に処理状況の現地確認も行う。
※継続実施を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

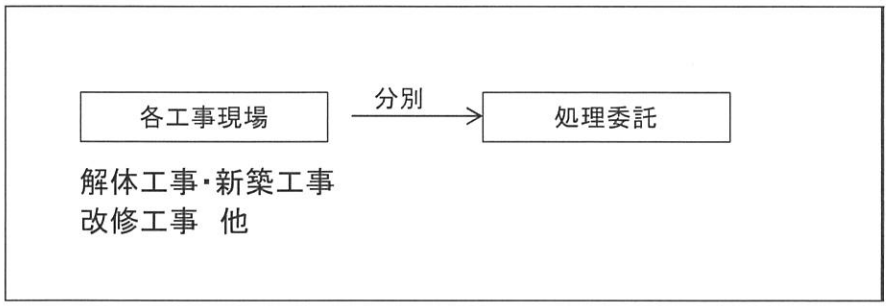
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

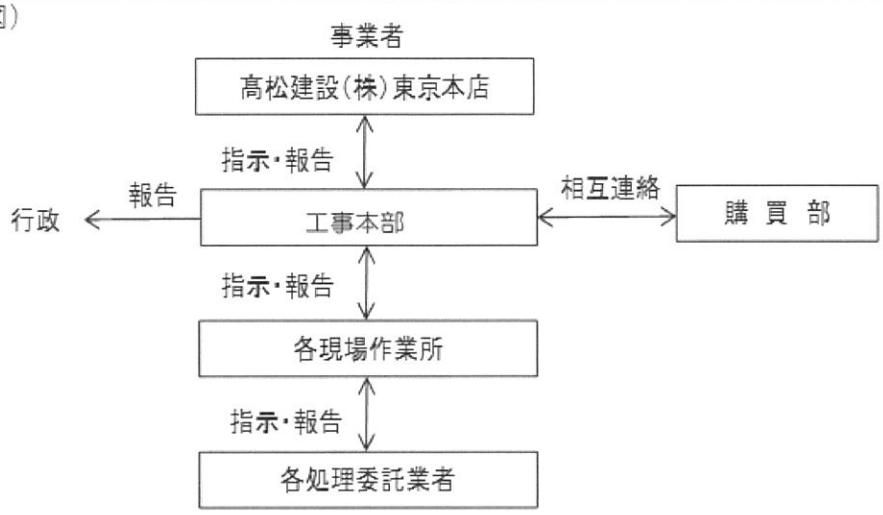
7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図



別添２ 管理体制図

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		排　出　量	3,729.75 t	13.83 t	7.95 t	82.21 t	7.91 t	10.00 t	1,909.59 t	1,660.32 t	40.00 t	42.55 t	30.00 t	52.39 t	3.00 t					
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		排　出　量	3,543.26 t	13.14 t	7.55 t	78.10 t	7.51 t	9.50 t	1,814.11 t	1,577.30 t	38.00 t	40.42 t	28.50 t	49.77 t	2.85 t					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	3,729.75 t	13.83 t	7.95 t	82.21 t	7.91 t	10.00 t	1,909.59 t	1,660.32 t	40.00 t	42.55 t	30.00 t	52.39 t	3.00 t					
優良認定処理業者への処理委託量	2,223.00 t	13.83 t	7.95 t	82.21 t	7.91 t	0.00 t	1,909.59 t	216.55 t	0.00 t	31.52 t	0.00 t	51.87 t	3.00 t					
再生利用業者への処理委託量	129.75 t	12.43 t	2.55 t	76.98 t	2.26 t	0.00 t	1,901.79 t	334.25 t	40.00 t	2.22 t	0.00 t	0.52 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	3,543.26 t	13.14 t	7.55 t	78.10 t	7.51 t	9.50 t	1,814.11 t	1,577.30 t	38.00 t	40.42 t	28.50 t	49.77 t	2.85 t					
優良認定処理業者への処理委託量	2,111.85 t	13.14 t	7.55 t	78.10 t	7.51 t	0.00 t	1,814.11 t	205.72 t	0.00 t	29.94 t	0.00 t	49.28 t	2.85 t					
再生利用業者への処理委託量	123.26 t	11.81 t	2.42 t	73.13 t	2.15 t	0.00 t	1,806.70 t	317.54 t	38.00 t	2.11 t	0.00 t	0.49 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都港区芝4-8-2

氏 名　高松建設株式会社東京本店

取締役専務執行役員本店長 工藤孝宏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3455-8144

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	高松建設株式会社東京本店管轄内　各事業場
事業場の所在地	東京都港区芝4-8-2 高松コンストラクショングループ東京本社ビル
事業の種類	D建設業　（０６　総合工事業）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

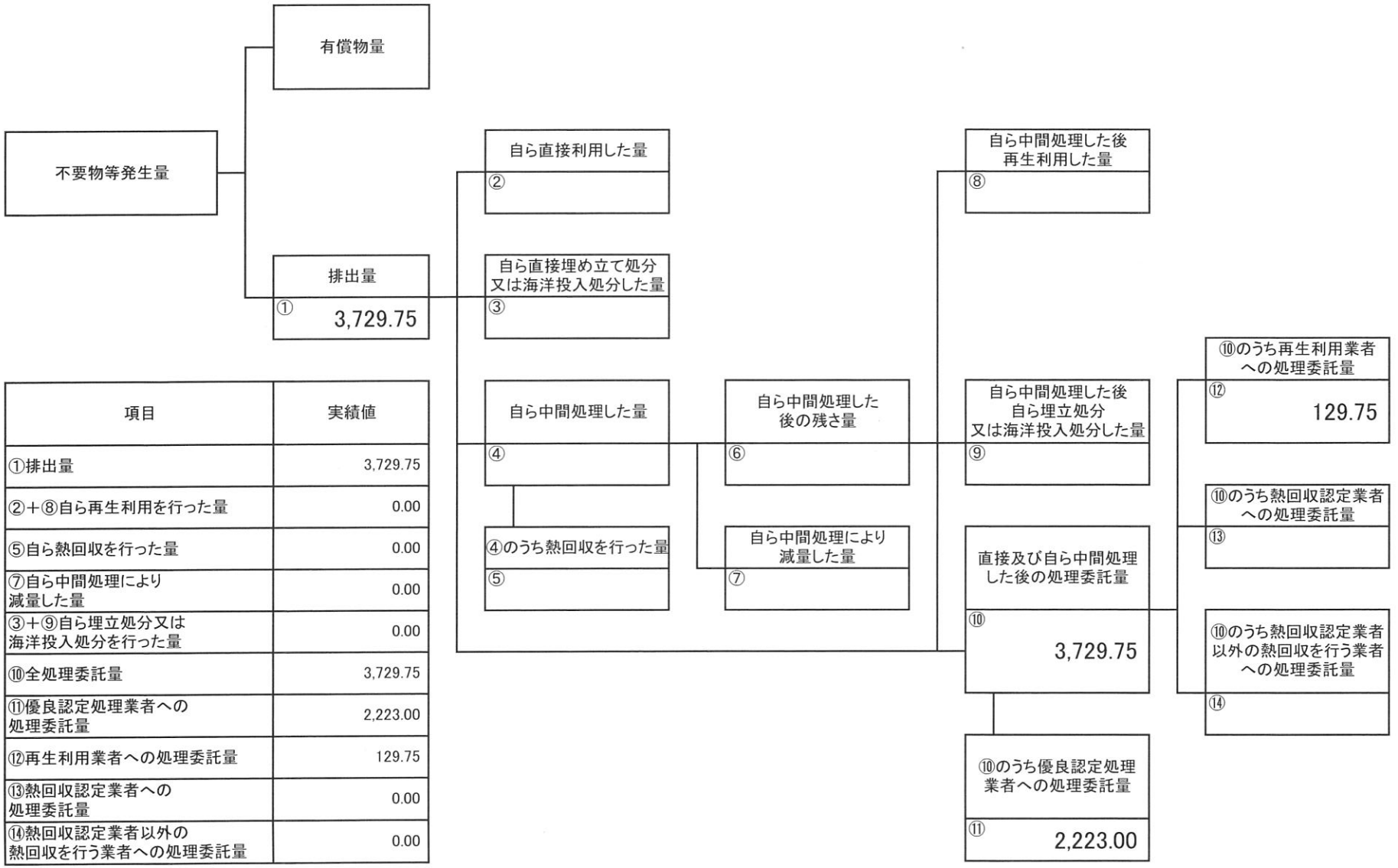
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,526.62 t	全処理委託量	2,526.62 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	390.02 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	242.26 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

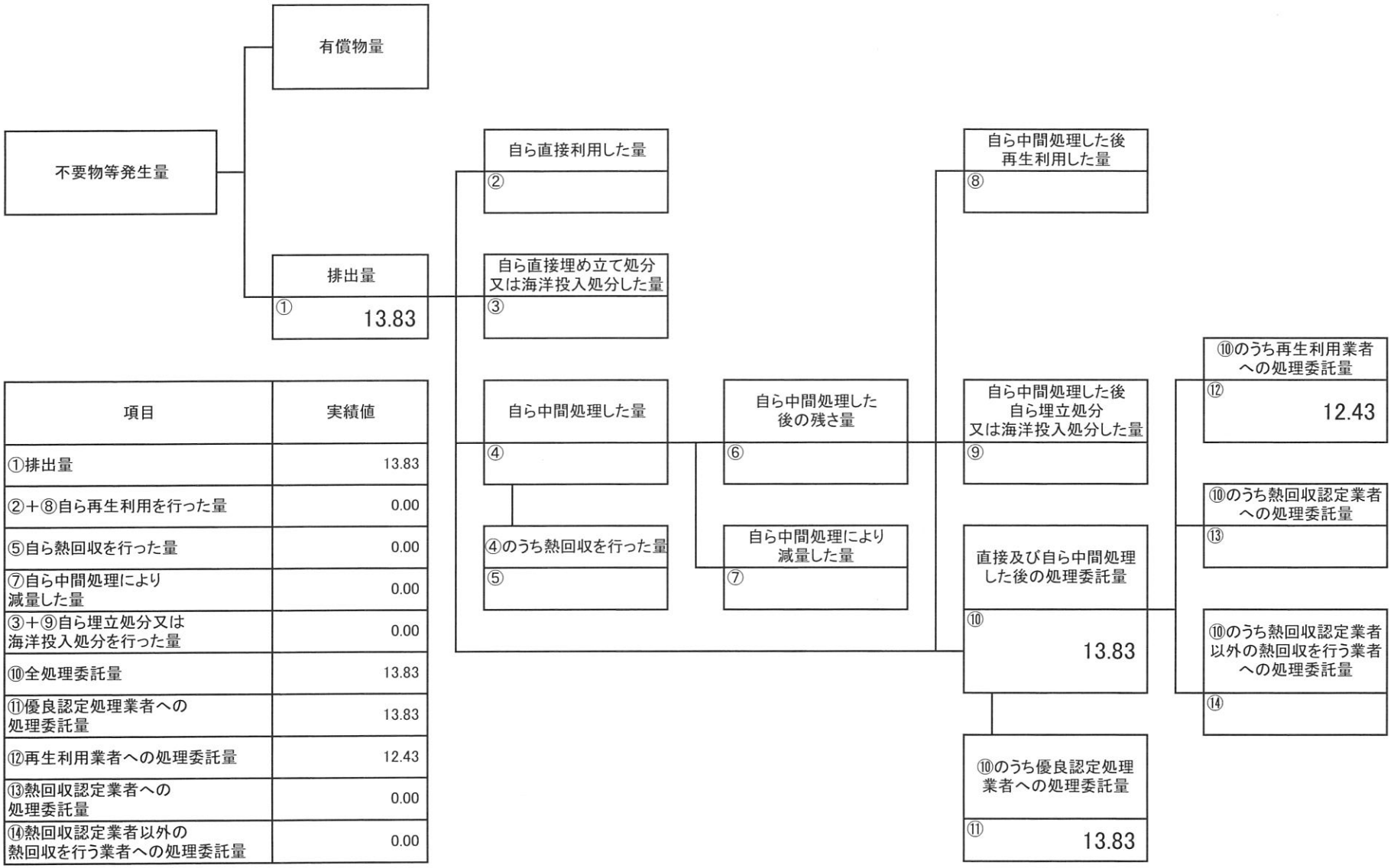


項目	実績値
①排出量	3,729.75
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3,729.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,223.00
⑫再生利用業者への処理委託量	129.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

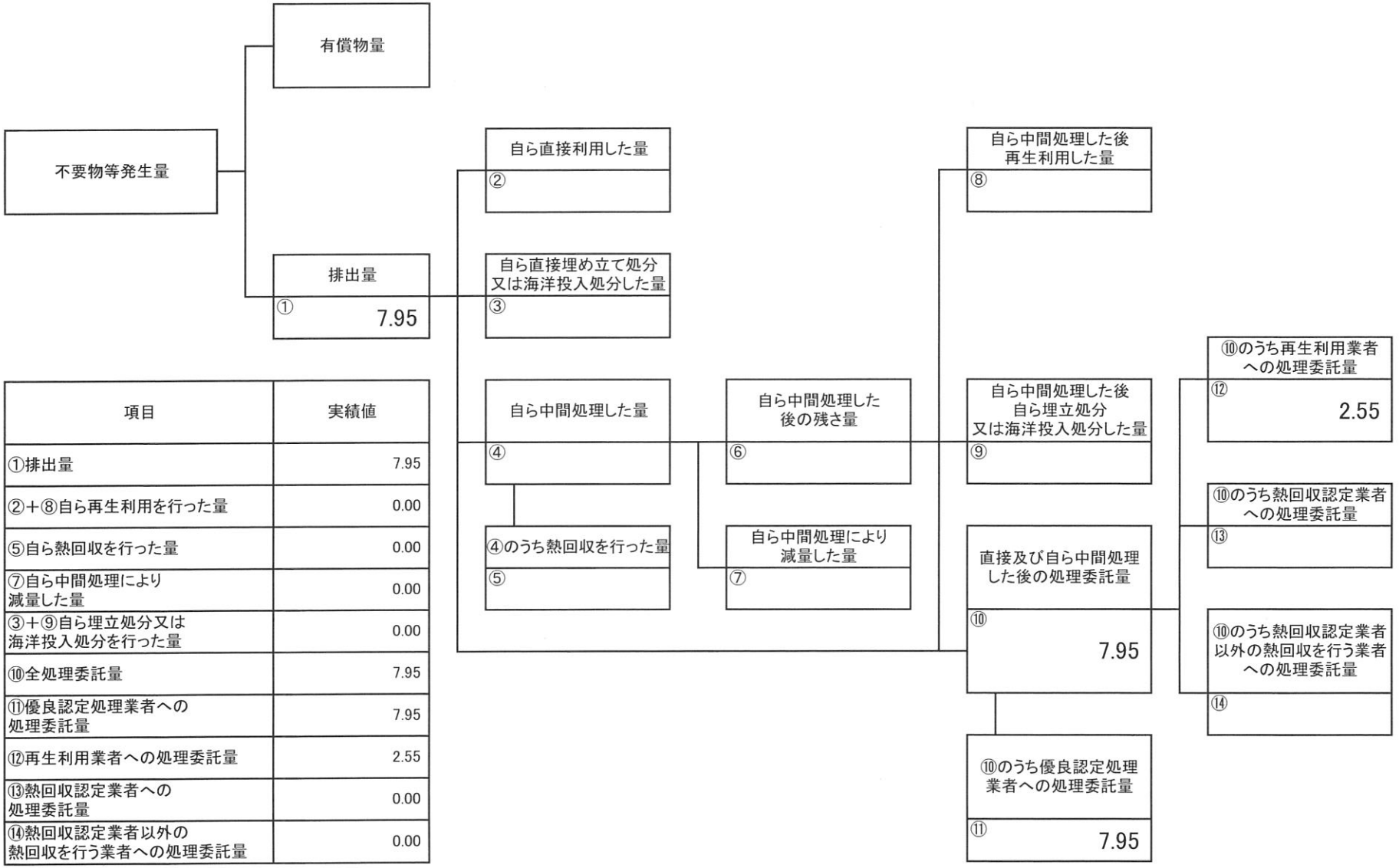


項目	実績値
①排出量	13.83
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	13.83
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.83
⑫再生利用業者への処理委託量	12.43
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

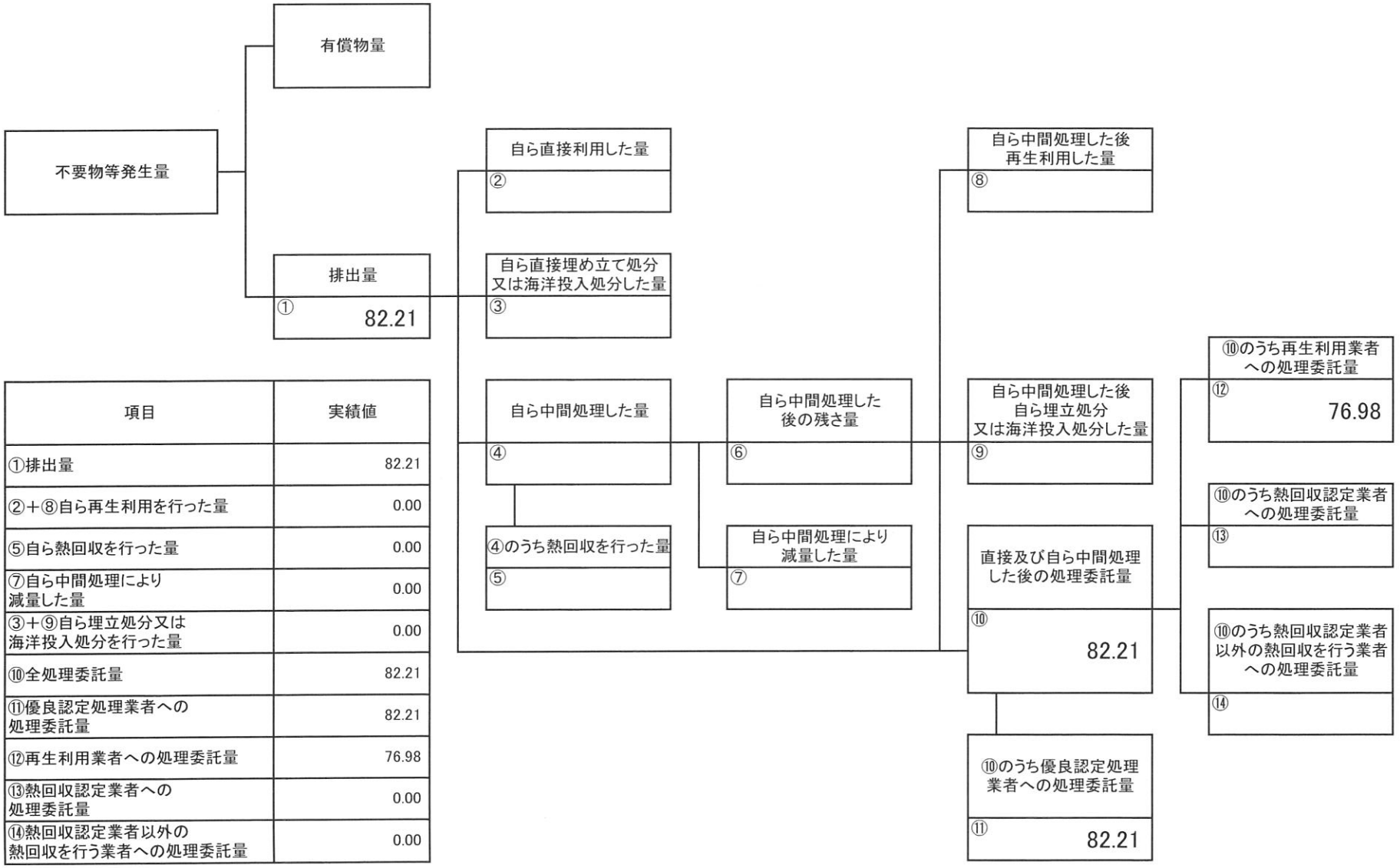


項目	実績値
①排出量	7.95
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	7.95
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.95
⑫再生利用業者への処理委託量	2.55
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

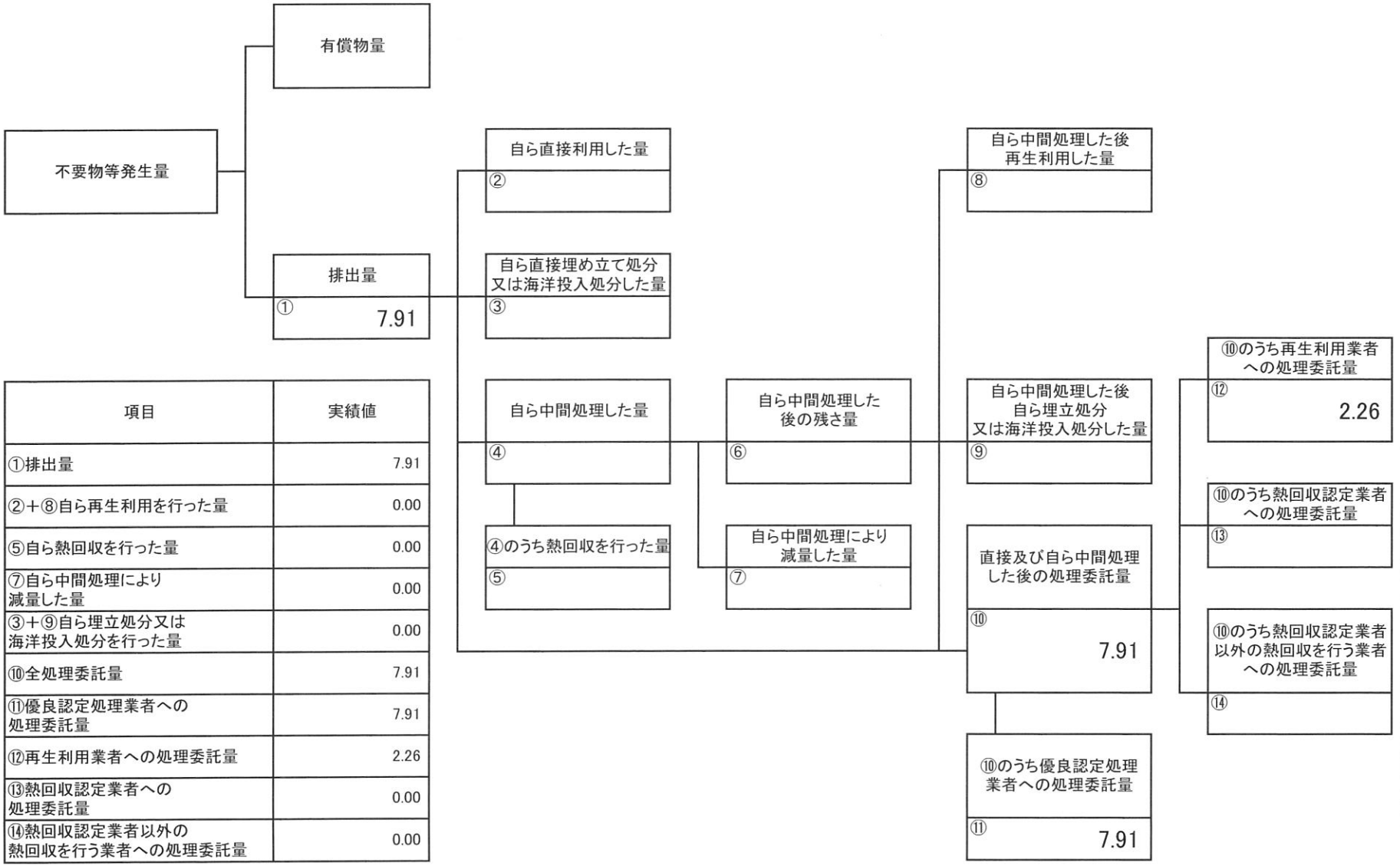


項目	実績値
①排出量	82.21
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	82.21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	82.21
⑫再生利用業者への処理委託量	76.98
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず　　）

（単位：トン）

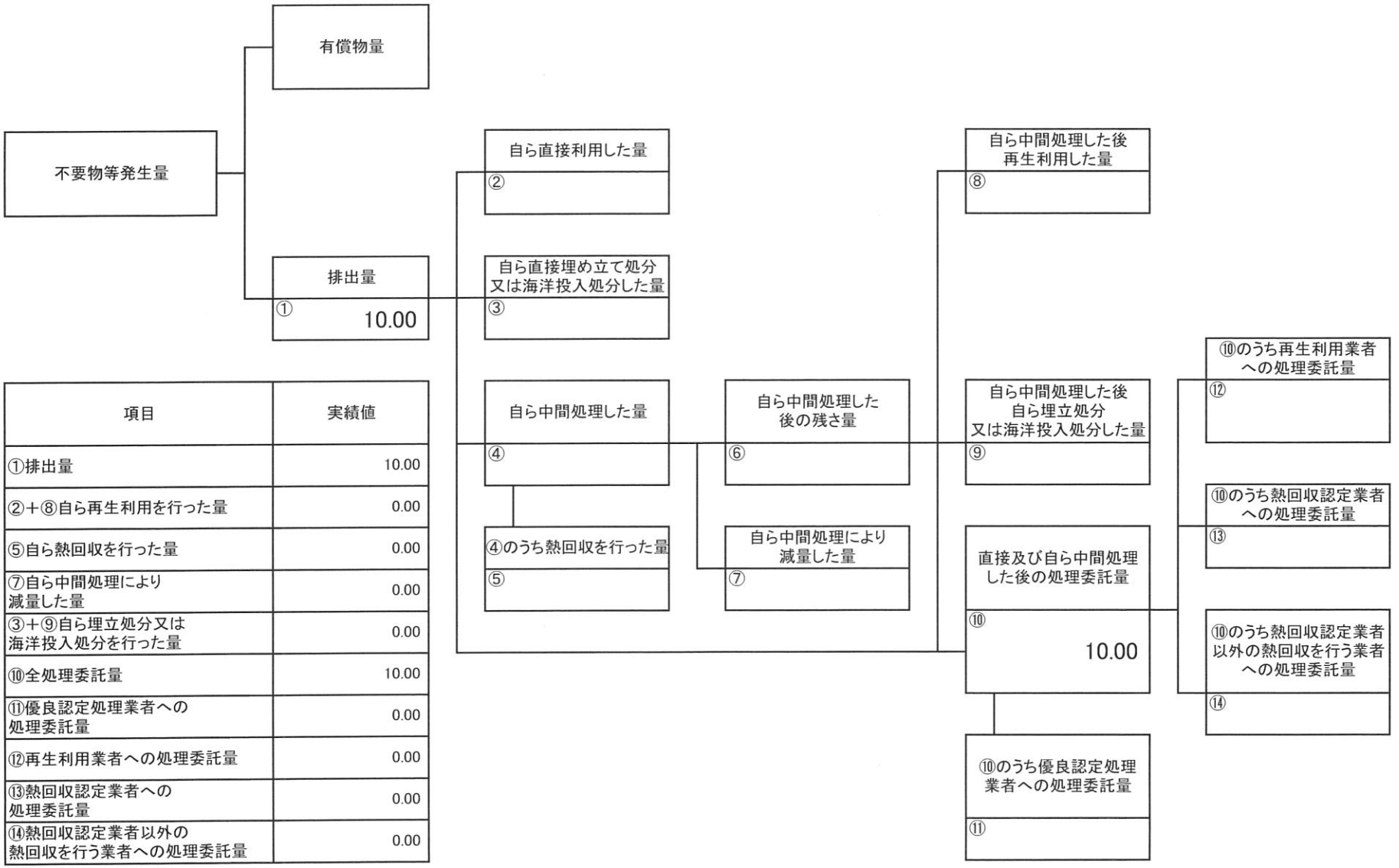


項目	実績値
①排出量	7.91
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	7.91
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.91
⑫再生利用業者への処理委託量	2.26
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

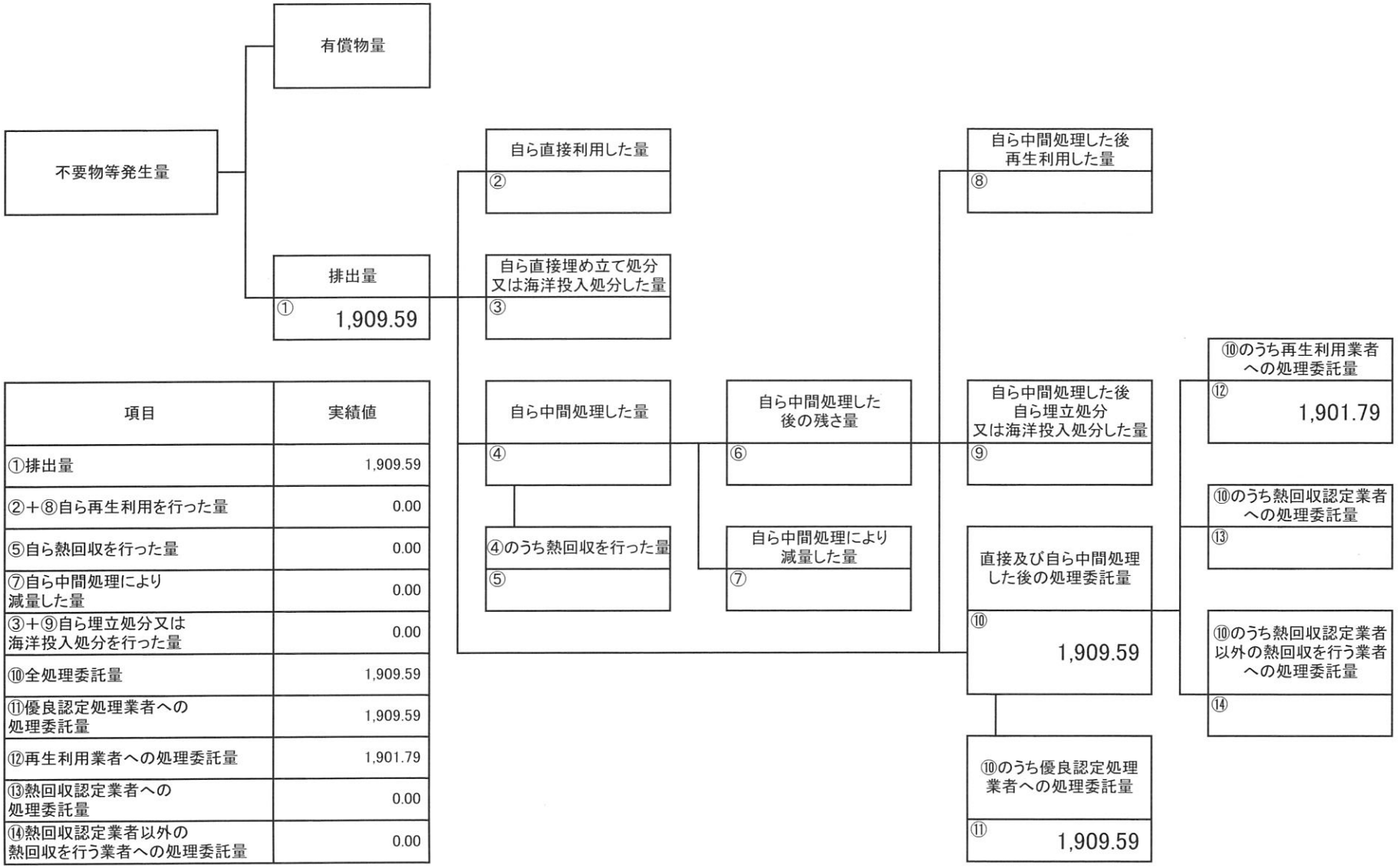


項目	実績値
①排出量	10.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	10.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

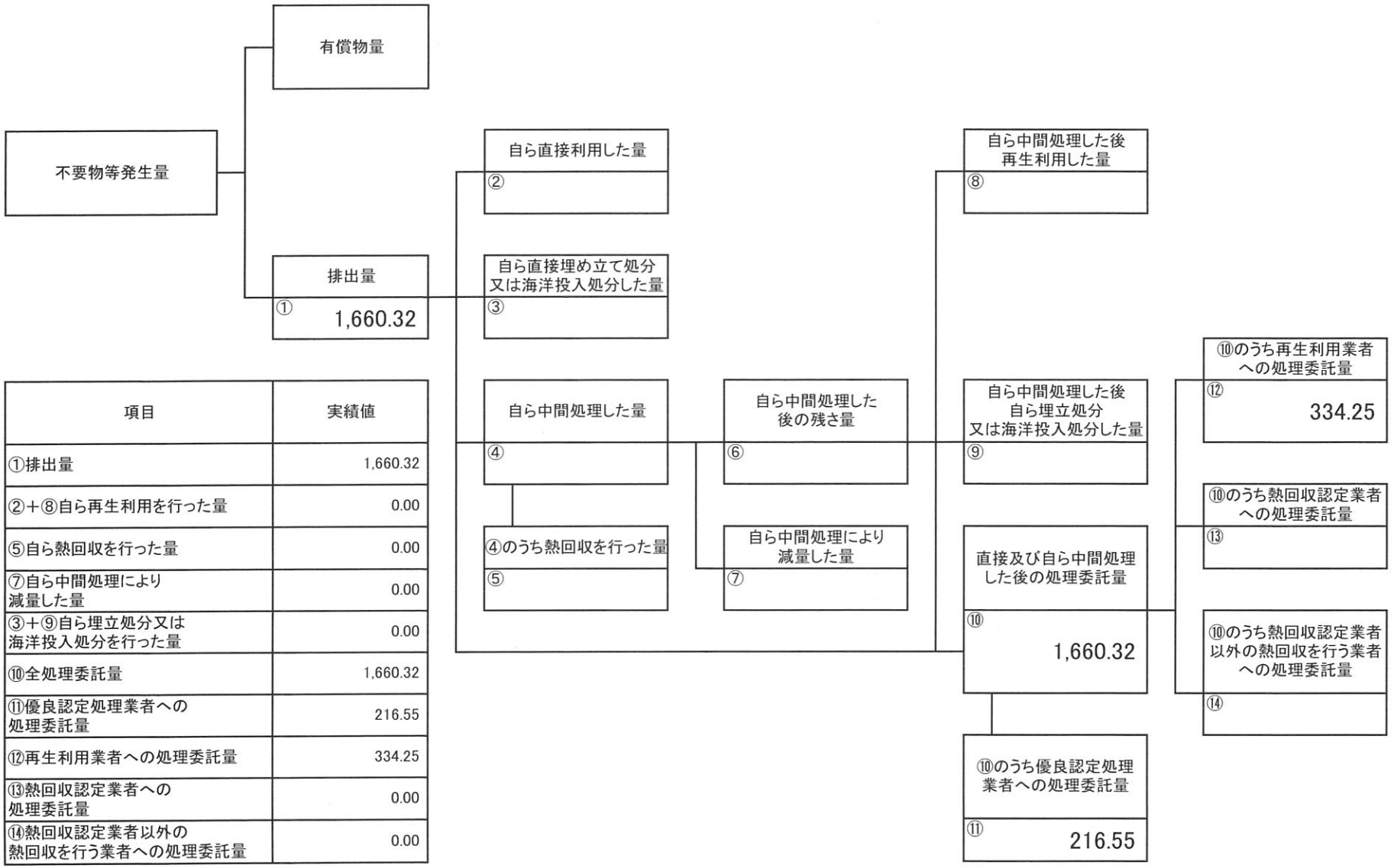


項目	実績値
①排出量	1,909.59
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,909.59
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,909.59
⑫再生利用業者への処理委託量	1,901.79
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）



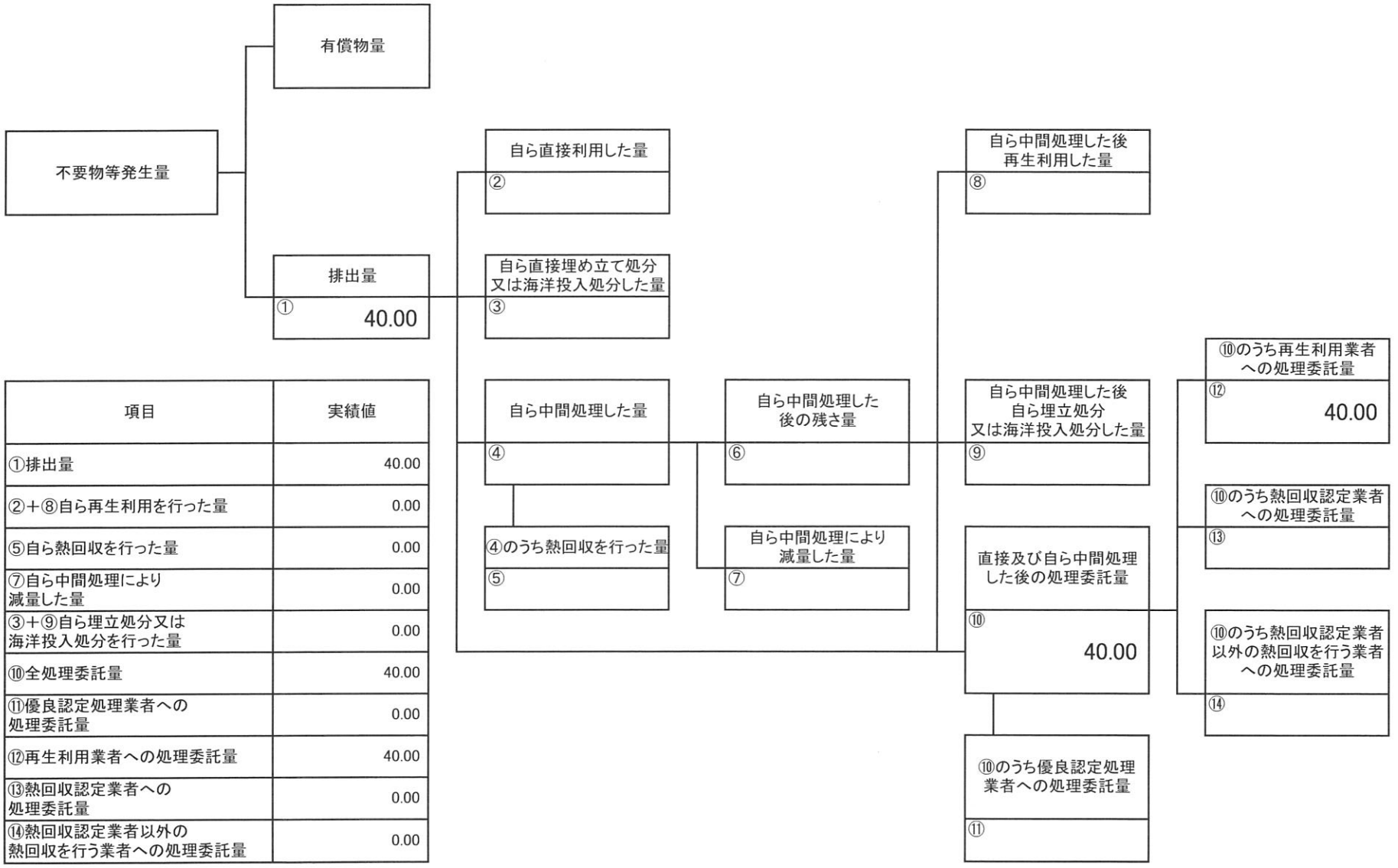
項目	実績値
①排出量	1,660.32
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,660.32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	216.55
⑫再生利用業者への処理委託量	334.25
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 アス・コン片 ）

（単位：トン）



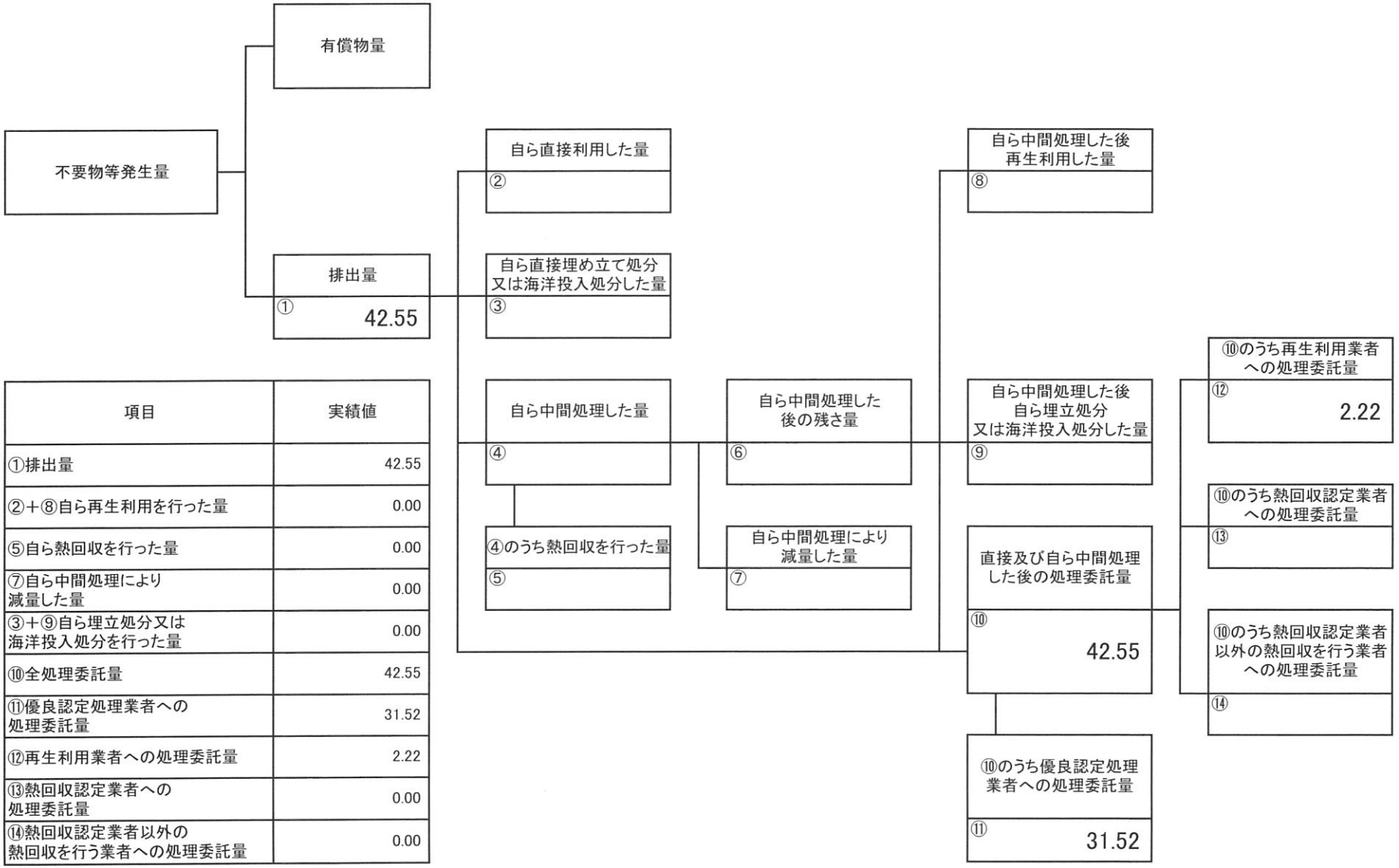
項目	実績値
①排出量	40.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	40.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	40.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類 ）

（単位：トン）



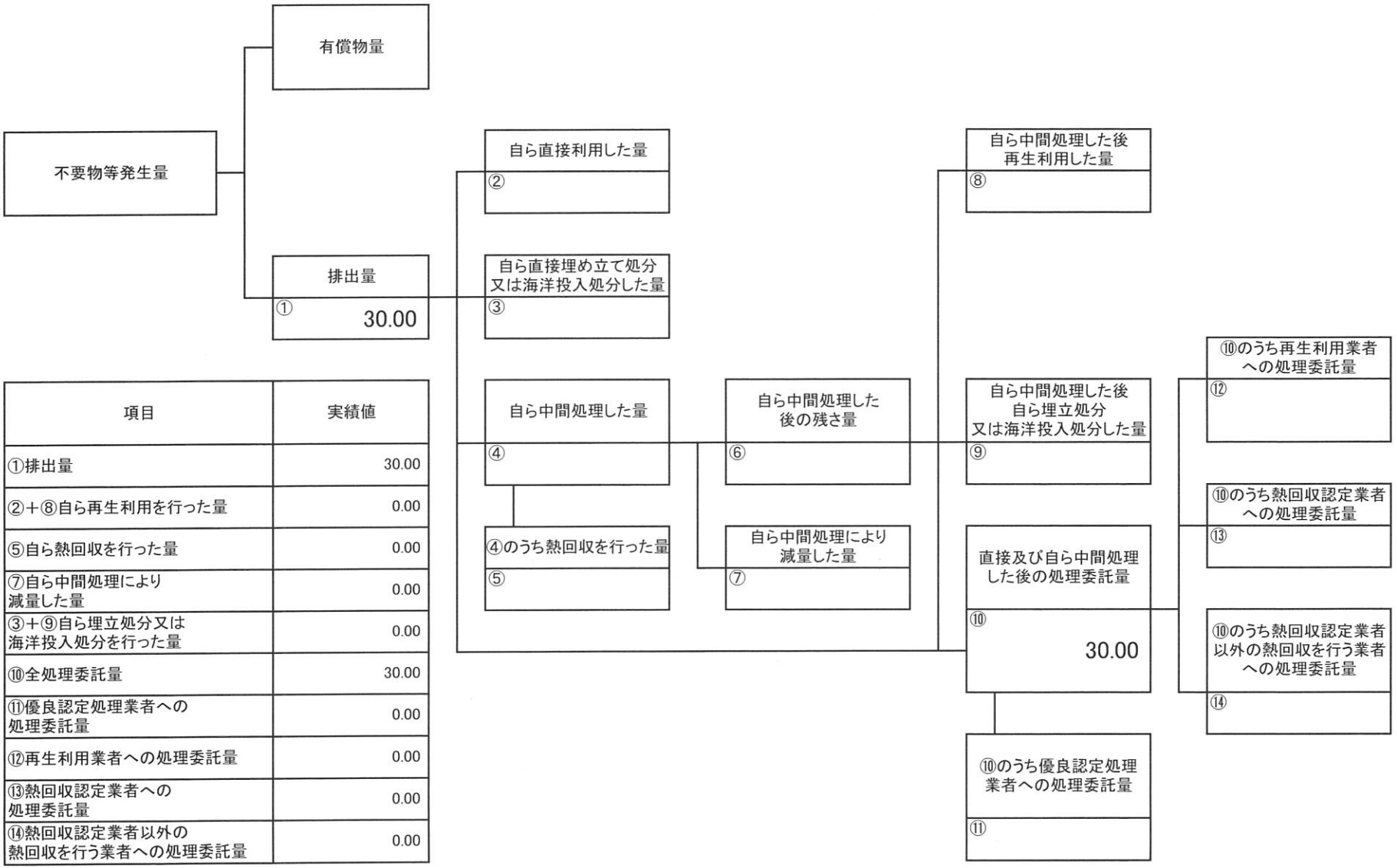
項目	実績値
①排出量	42.55
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	42.55
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.52
⑫再生利用業者への処理委託量	2.22
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）



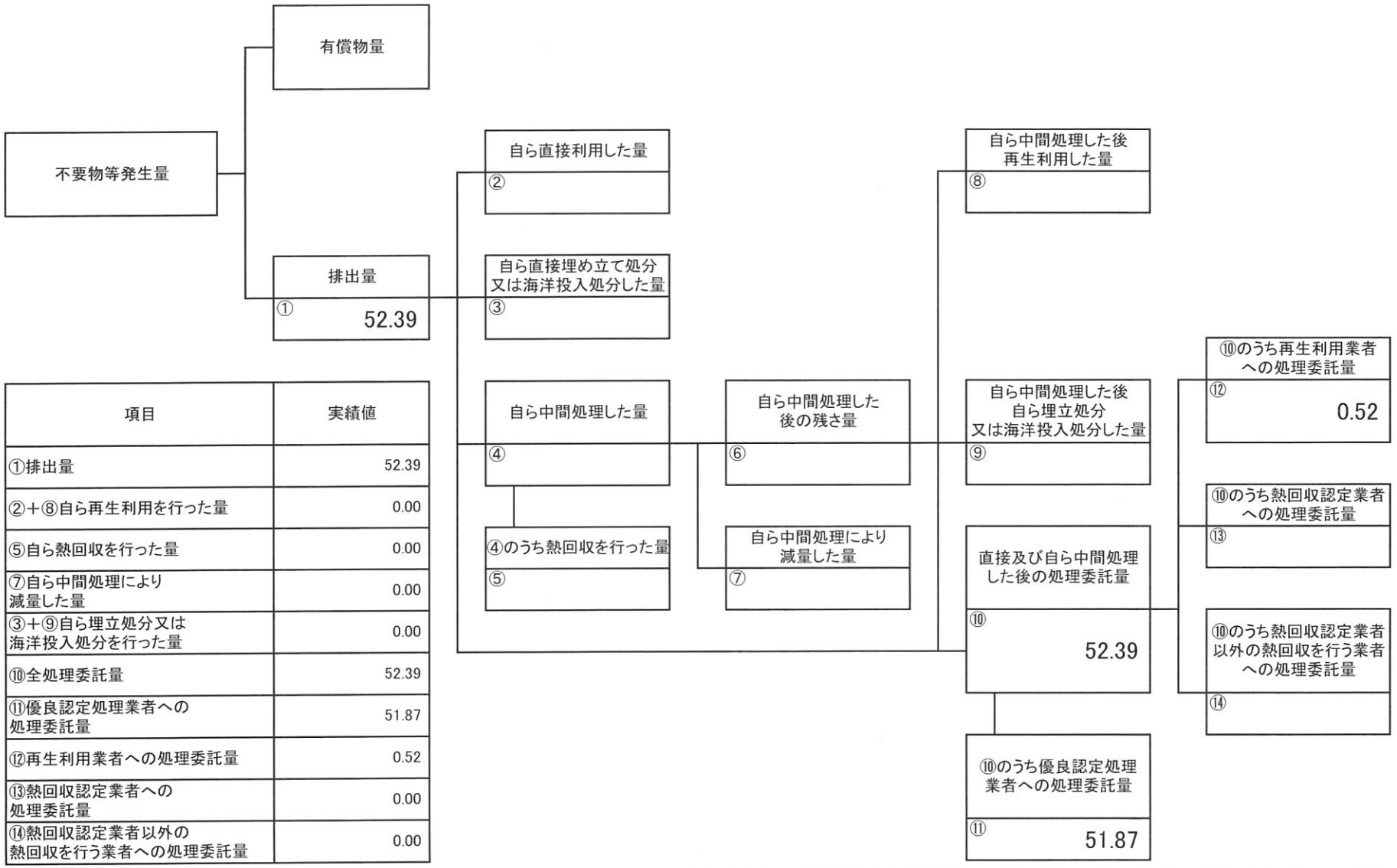
項目	実績値
①排出量	30.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	30.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）



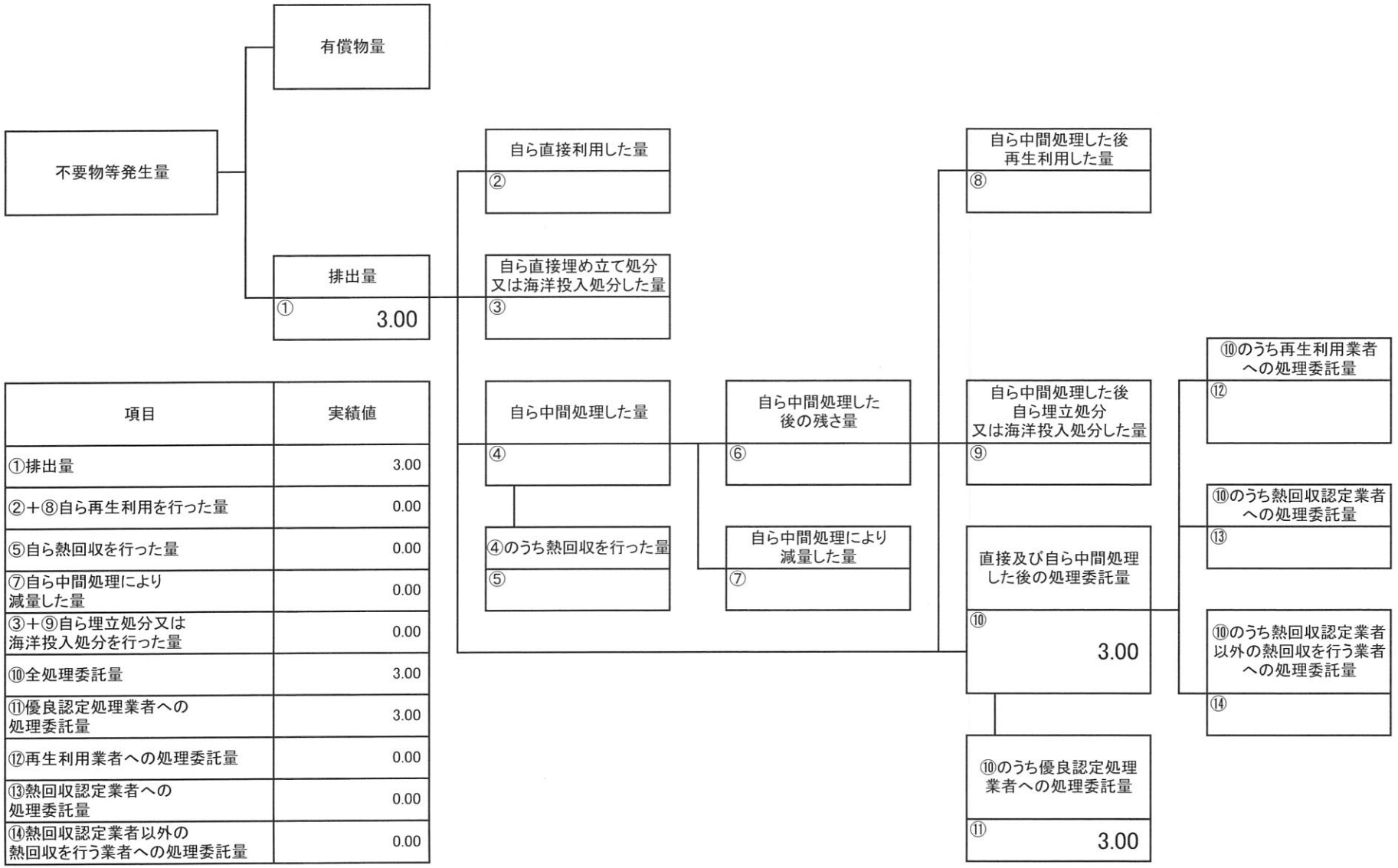
項目	実績値
①排出量	52.39
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	52.39
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.87
⑫再生利用業者への処理委託量	0.52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	3.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　272-0111

住　所　千葉県市川市妙典3-23-11

法人名　株式会社　瀧澤興業

代表者　瀧澤 峰人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-701-0770

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　瀧澤興業
事業場の所在地	千葉県市川市妙典3-23-11
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　３．３億円
③従業員数	４人（正社員）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

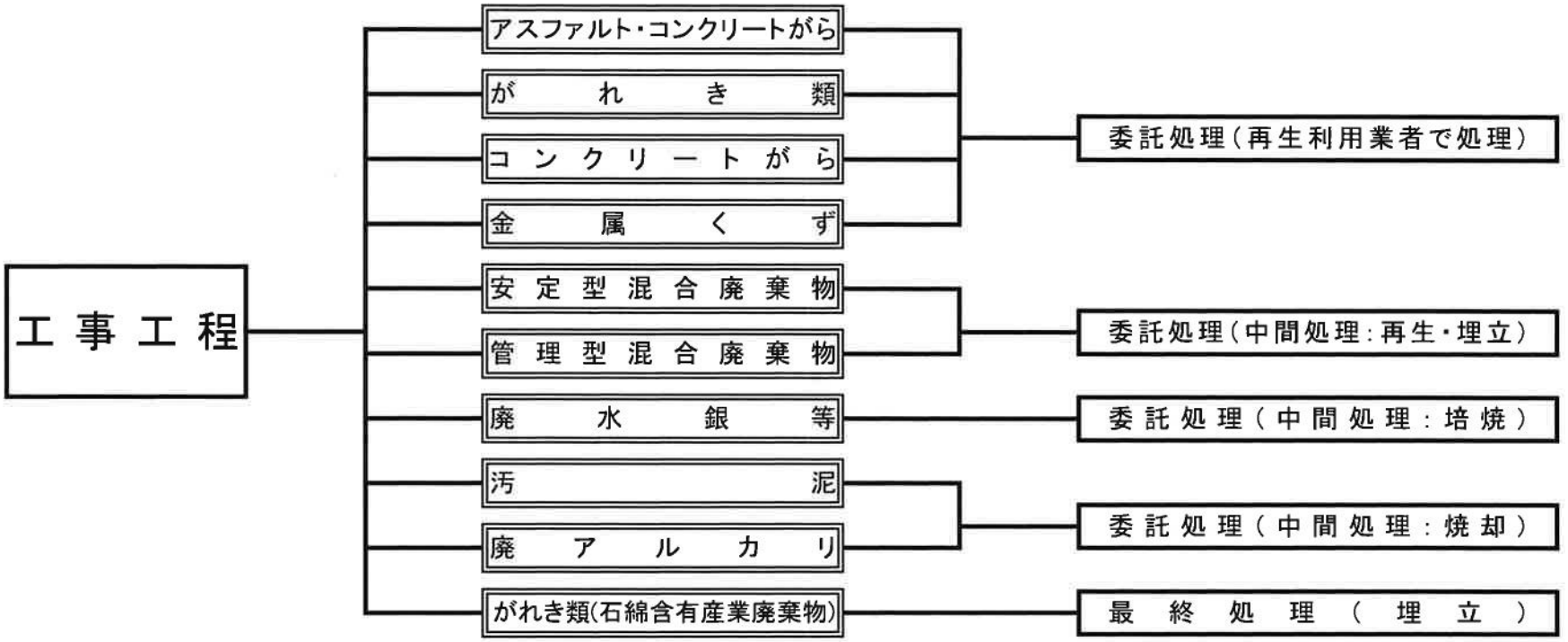
<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙（管理体制）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
工事工程で生じる産業廃棄物は、可能な限り種類毎に分別した。
建設混合廃棄物の一部は、優良認定処理業者へ処理を委託した。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
原材料として再生利用できる産業廃棄物は、種類毎に分別する。
建設混合廃棄物の全てを優良認定処理業者へ処理を委託する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
</table>

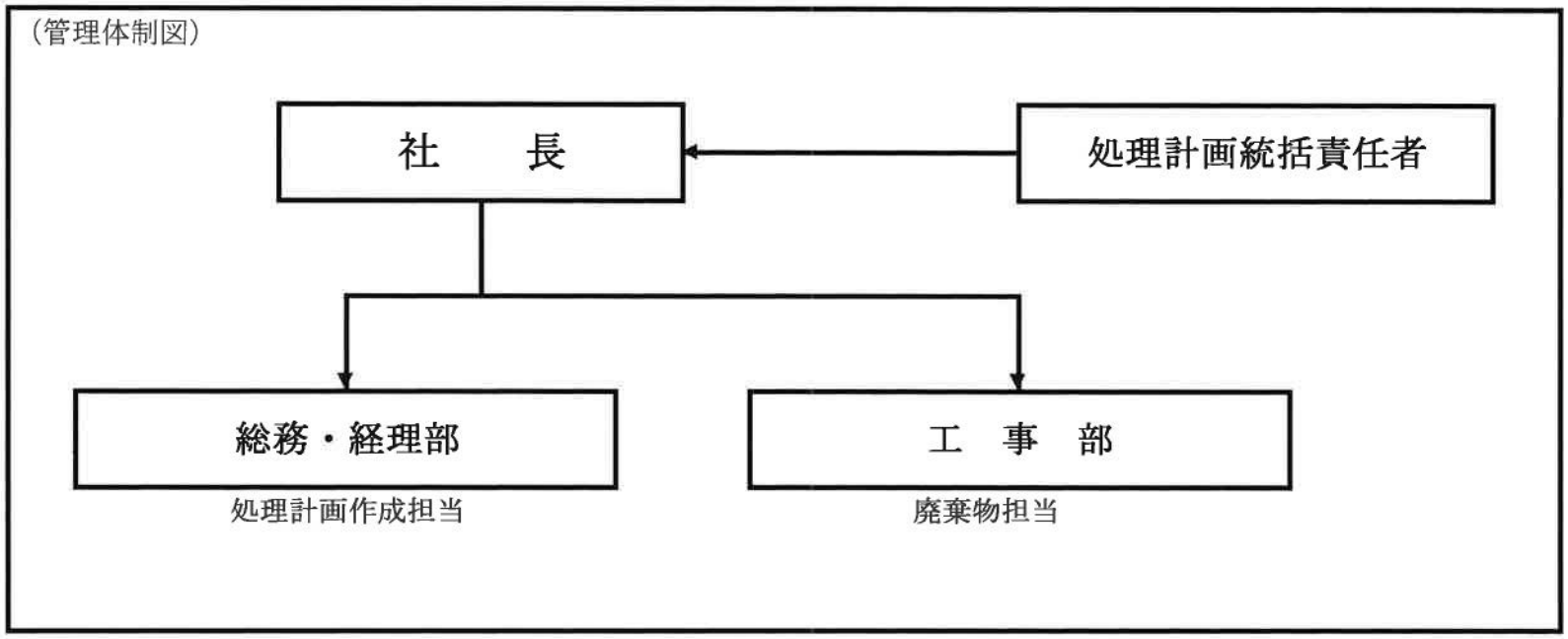
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


工事工程
アスファルト・コンクリートがら
がれき類
コンクリートがら
金属くず
安定型混合廃棄物
管理型混合廃棄物
廃水銀等
汚泥
廃アルカリ
がれき類(石綿含有産業廃棄物)
委託処理(再生利用業者で処理)
委託処理(中間処理:再生・埋立)
委託処理(中間処理:培焼)
委託処理(中間処理:焼却)
最終処理(埋立)

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
排　出　量	984　t	781.3　t	4.3　t	9.9　t	8.1　t	1.9　t	1.3　t	0.4　t	1　t	0.2　t

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
排　出　量	900　t	700　t	3　t	8　t	8　t	1.5　t	1　t	0.3　t	1　t	0　t

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進を計る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
全処理委託量	984 t	781.3 t	4.3 t	9.9 t	8.1 t	1.9 t	1.3 t	0.4 t	1 t	0.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1.9 t	1 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	984 t	781.3 t	4.3 t	9.9 t	8.1 t	0 t	0.3 t	0.4 t	1 t	0.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

分別可能な産業廃棄物は、リサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。
建設混合廃棄物の一部は、優良認定処理業者へ処理を委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃水銀等	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃アルカリ
全処理委託量	900 t	700 t	3 t	8 t	8 t	1.5 t	1 t	0.3 t	1 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1.5 t	1 t	0.3 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	900 t	700 t	3 t	8 t	8 t	0 t	0 t	0 t	1 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

分別可能な産業廃棄物は、リサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託する。
建設混合廃棄物の全てを優良認定処理業者へ処理を委託する。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　272-0111

住所 千葉県市川市妙典3-23-11

法人名 株式会社 瀧澤興業

代表者 瀧澤 峰人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-701-0770

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 瀧澤興業
事業場の所在地	千葉県市川市妙典3-23-11
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

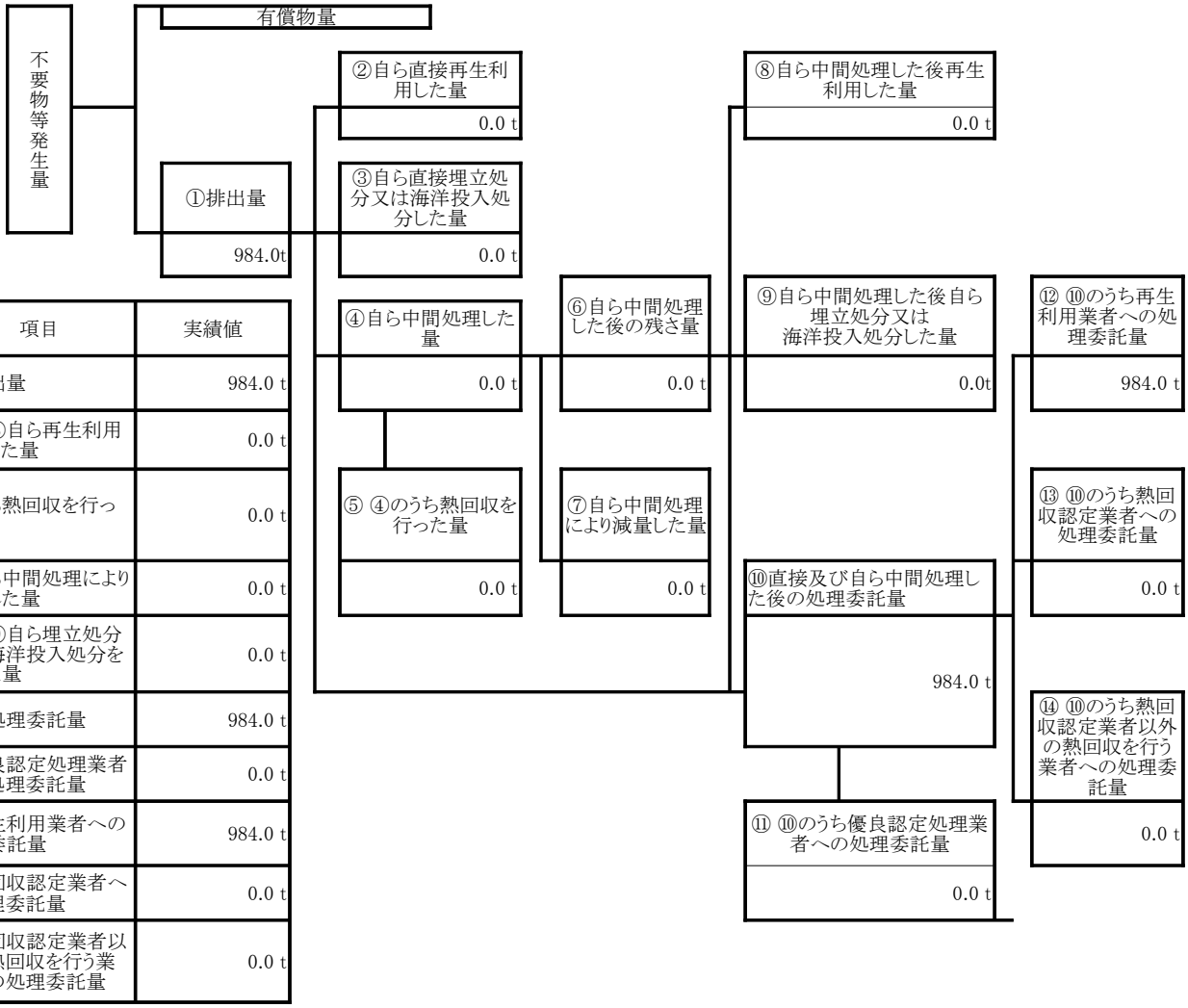
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1015.8 t	全処理委託量	1015.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1015.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

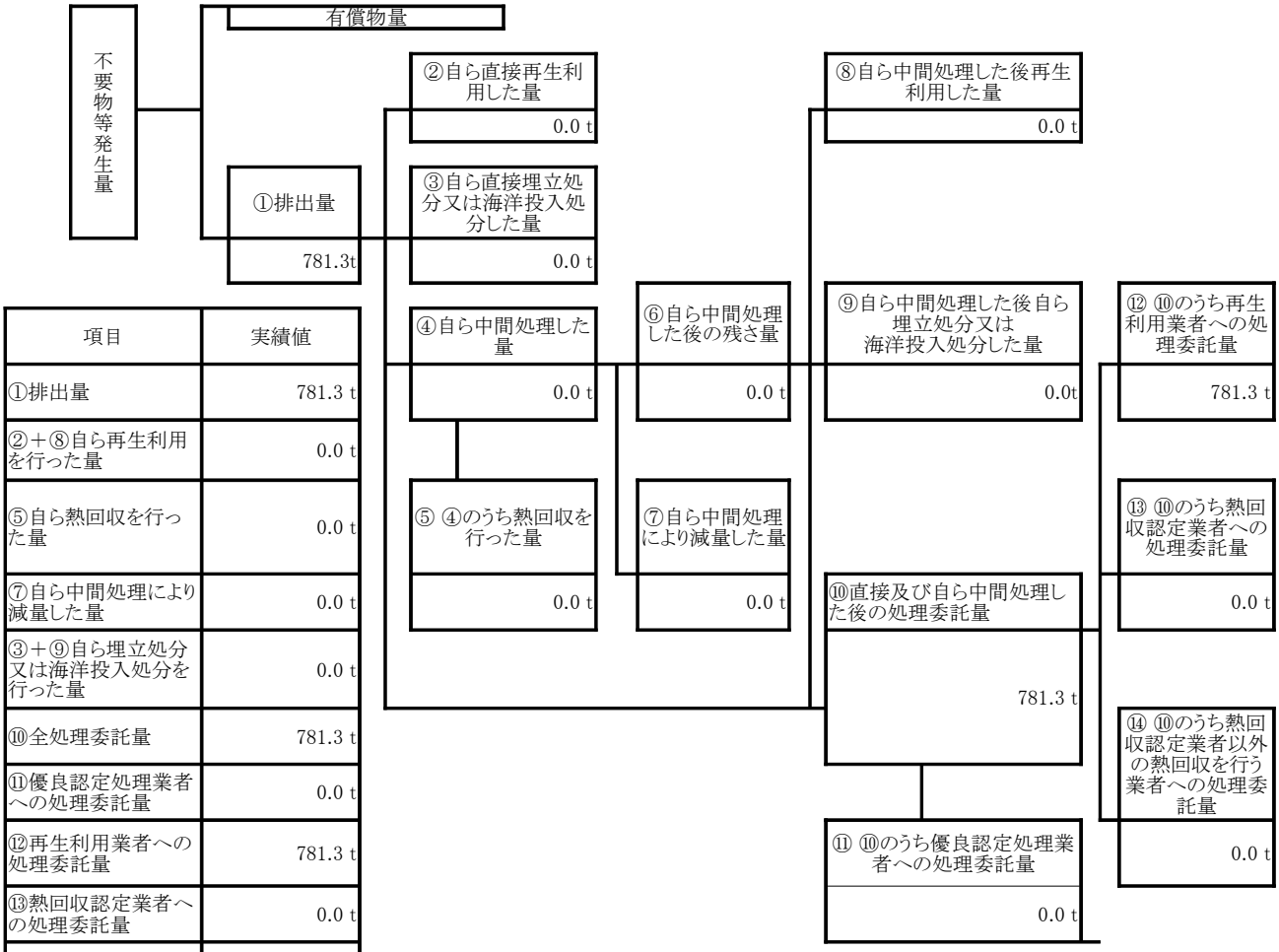


項目	実績値
①排出量	984.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	984.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	984.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

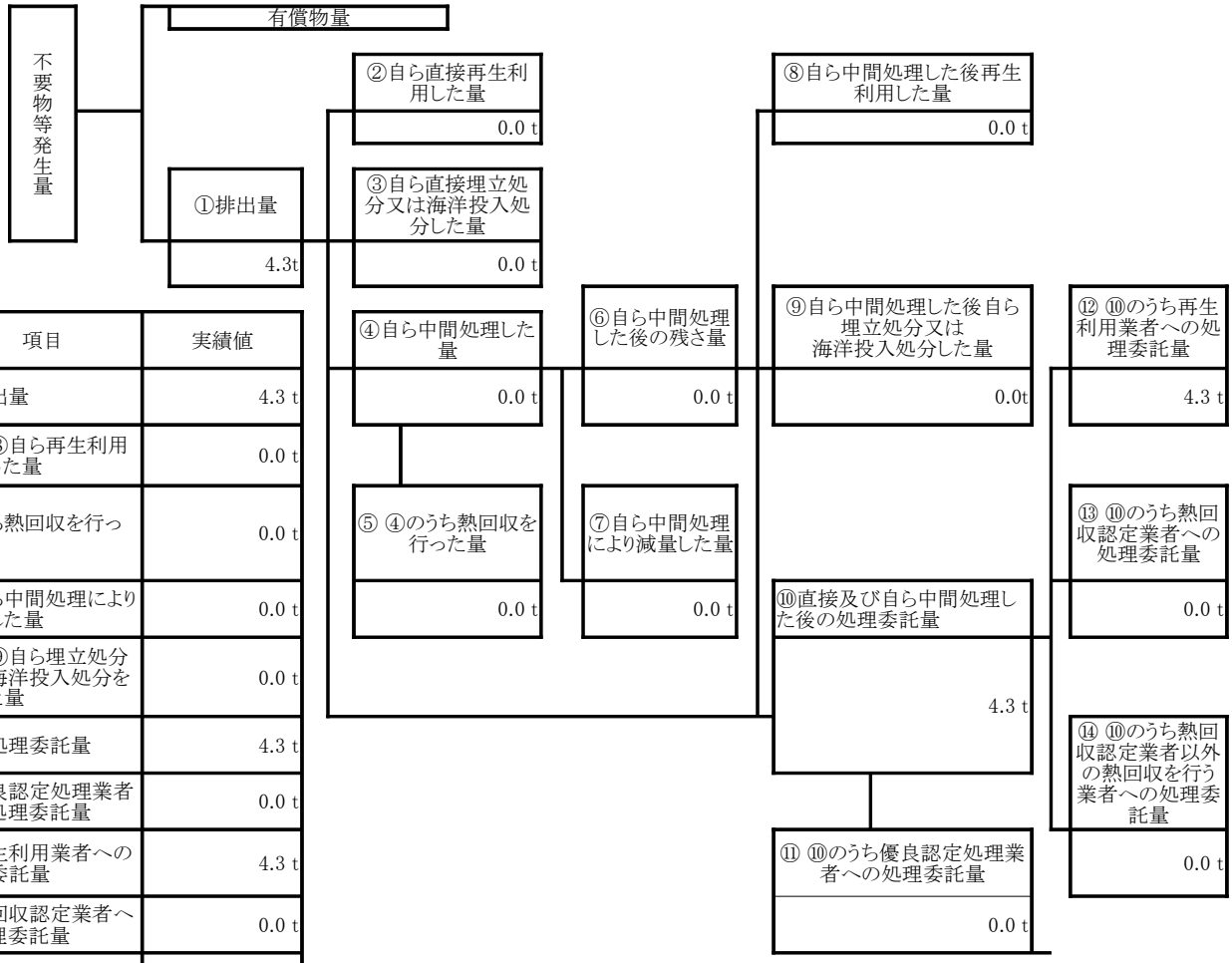


項目	実績値
①排出量	781.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	781.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	781.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

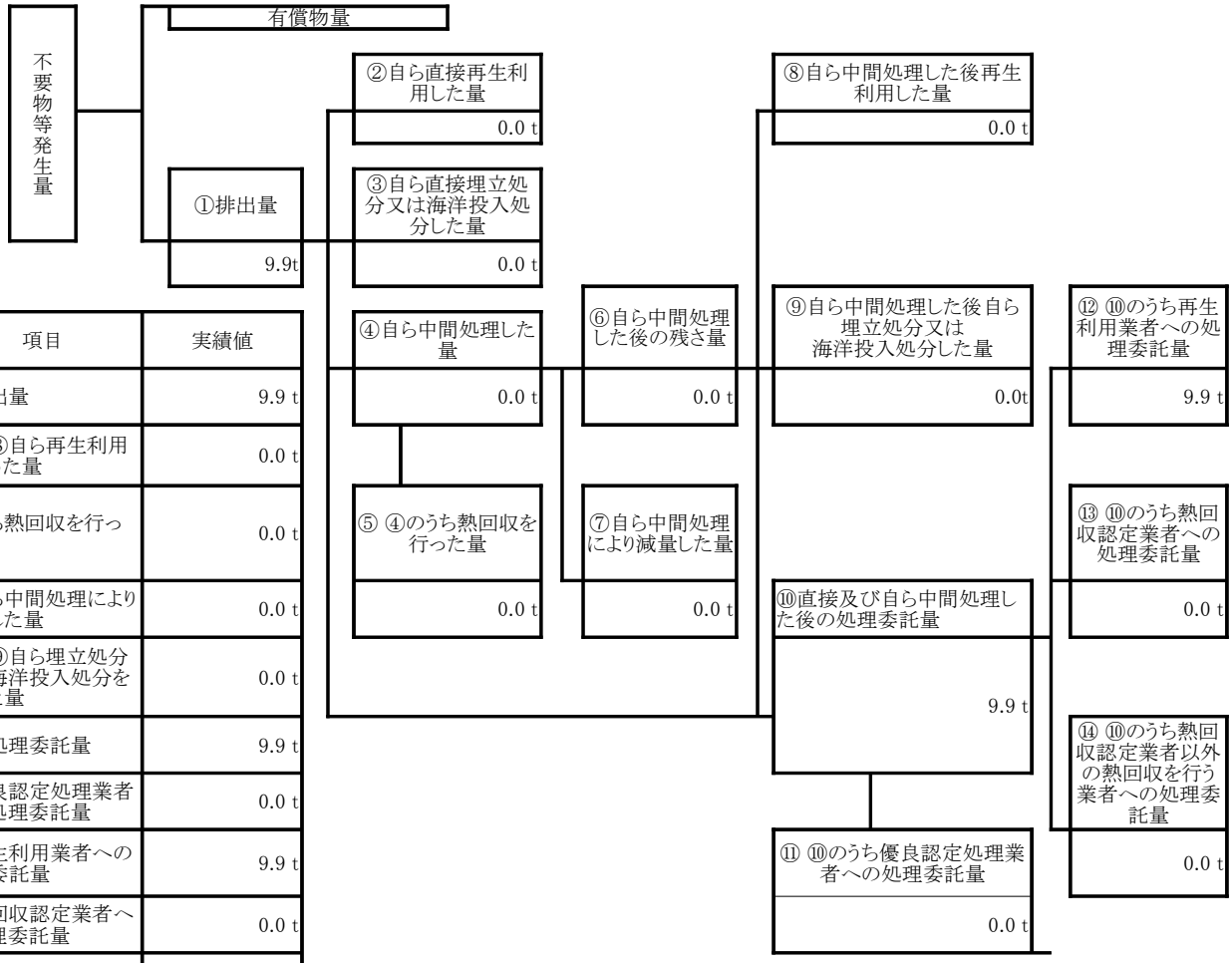


項目	実績値
①排出量	4.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

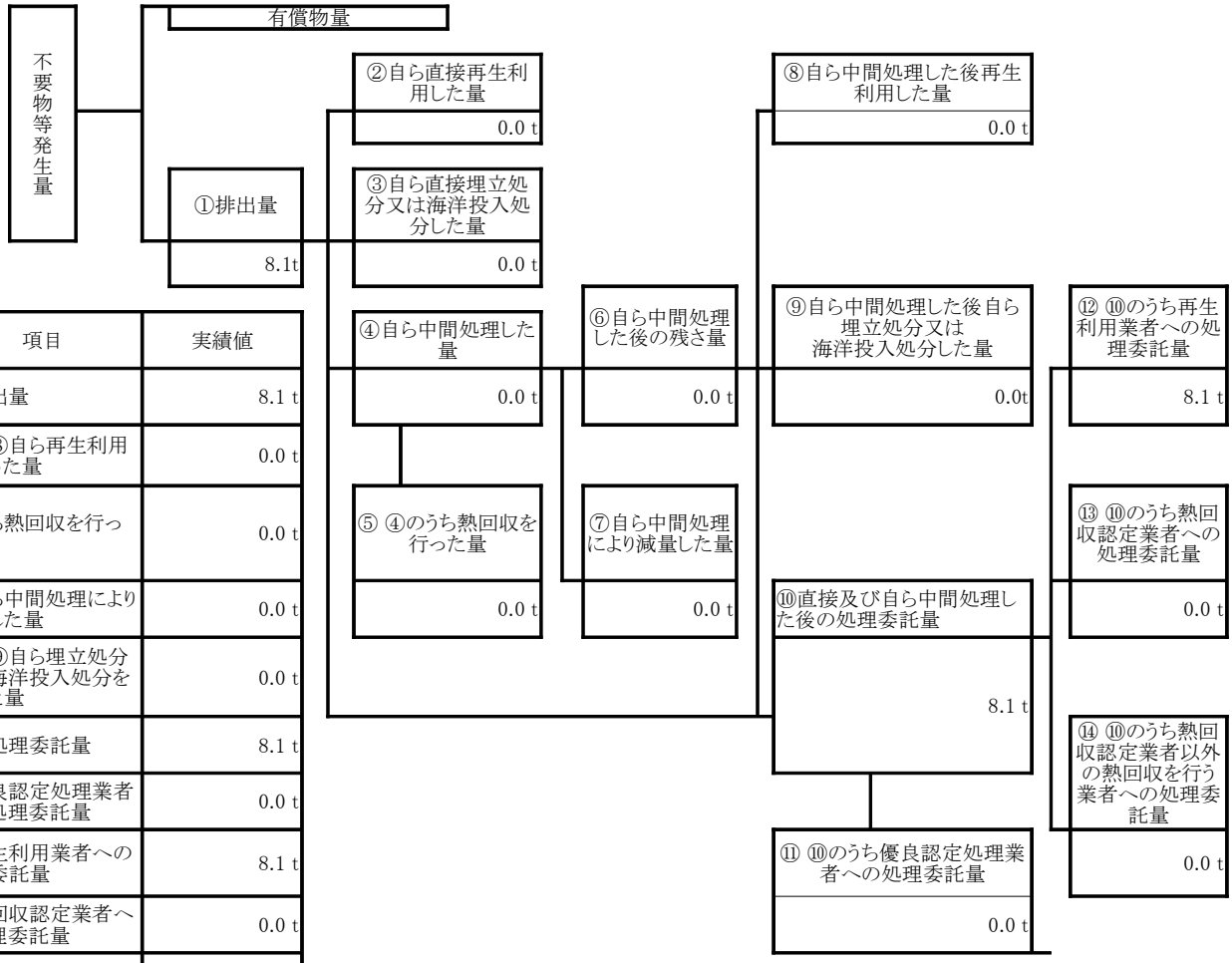


項目	実績値
①排出量	9.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



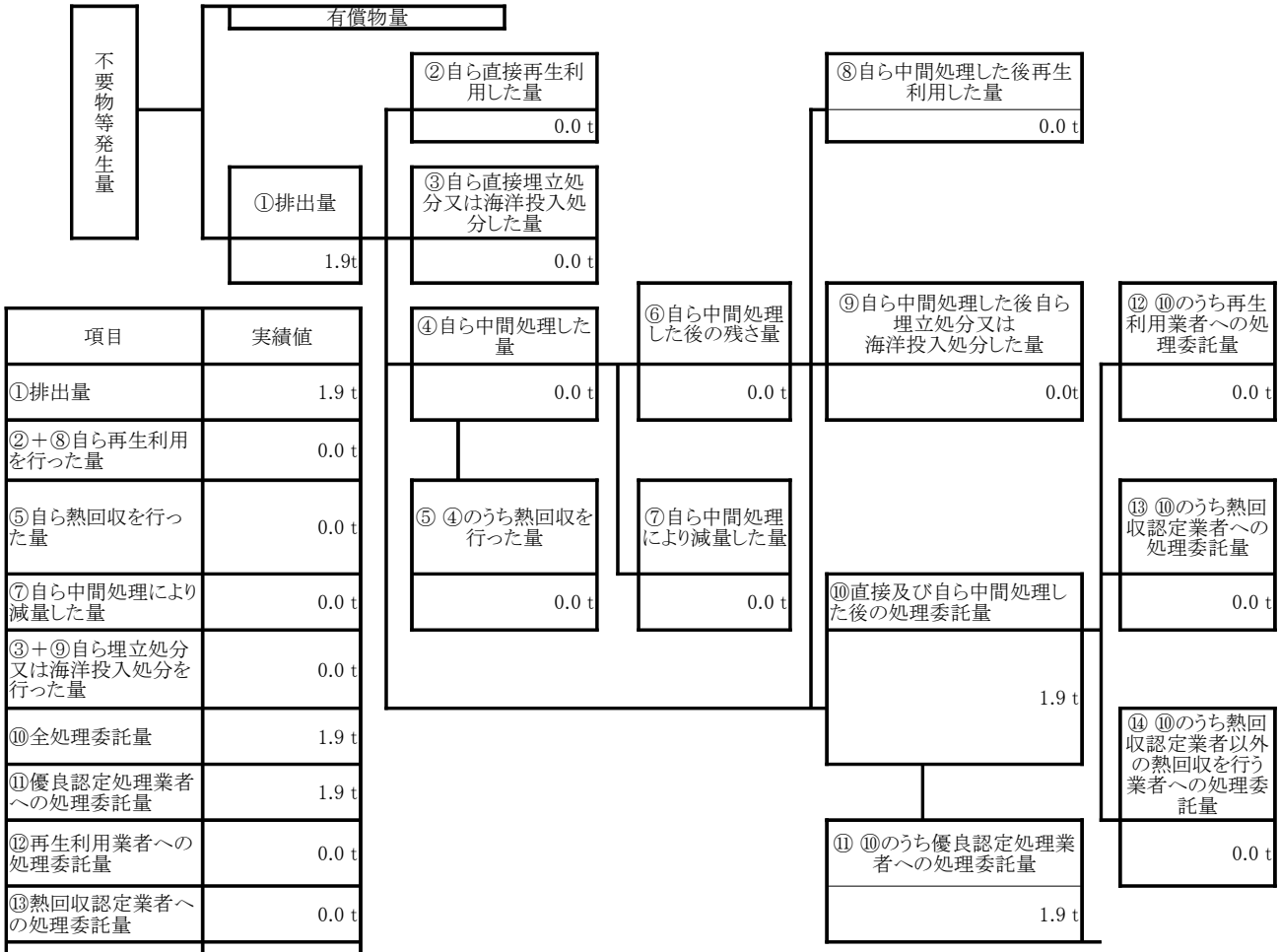
項目	実績値
①排出量	8.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

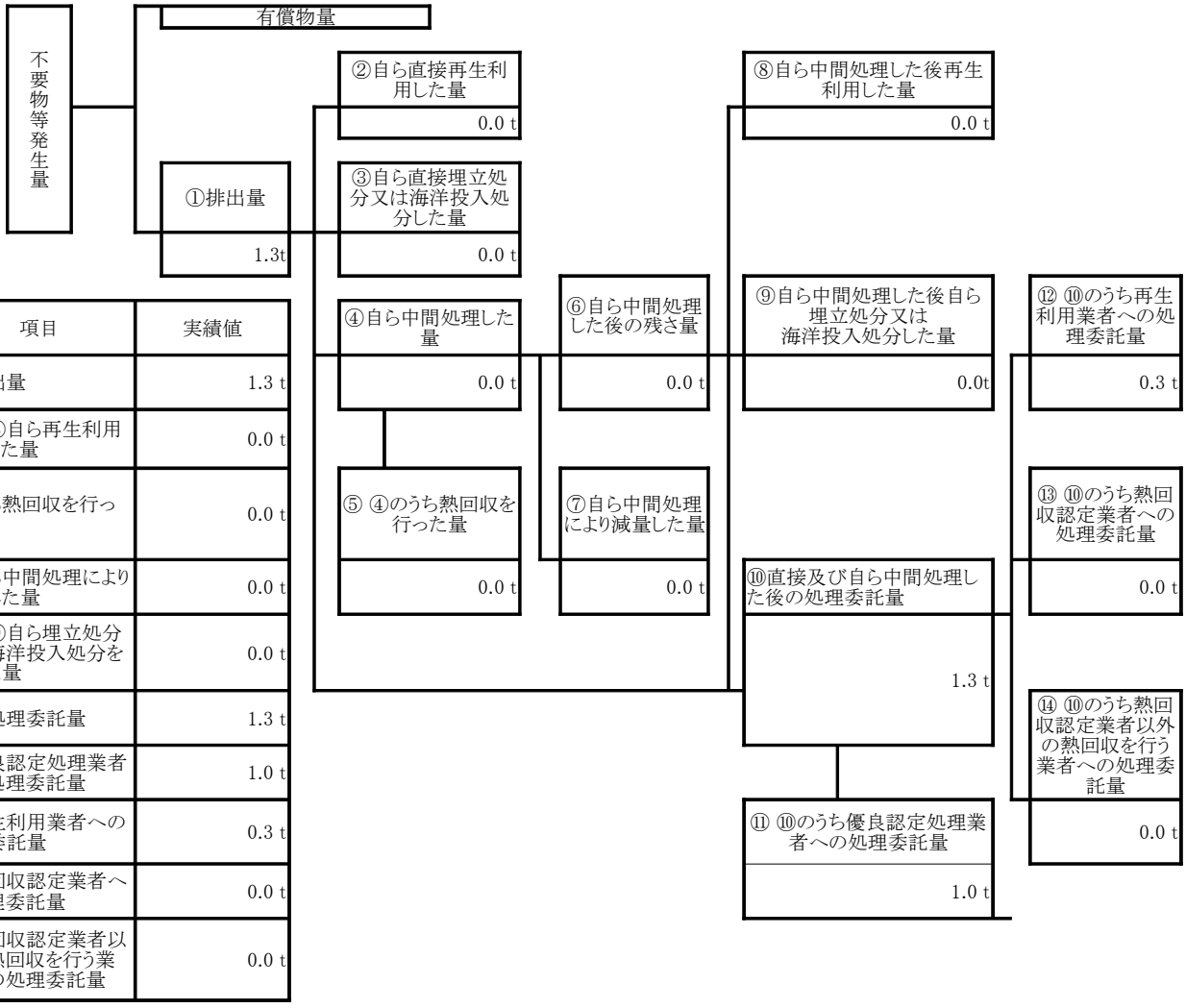


項目	実績値
①排出量	1.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**管理型混合廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

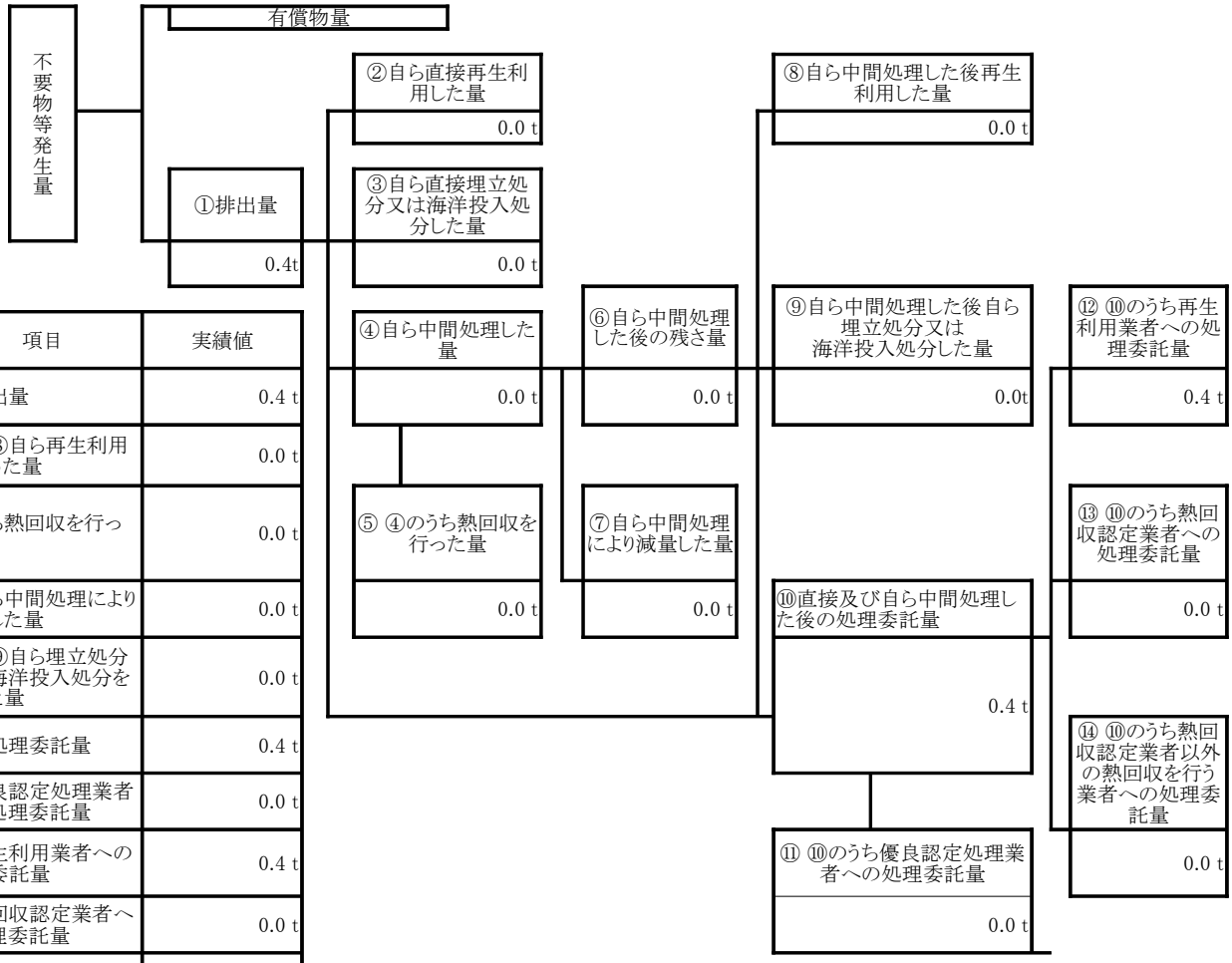


項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃水銀等　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



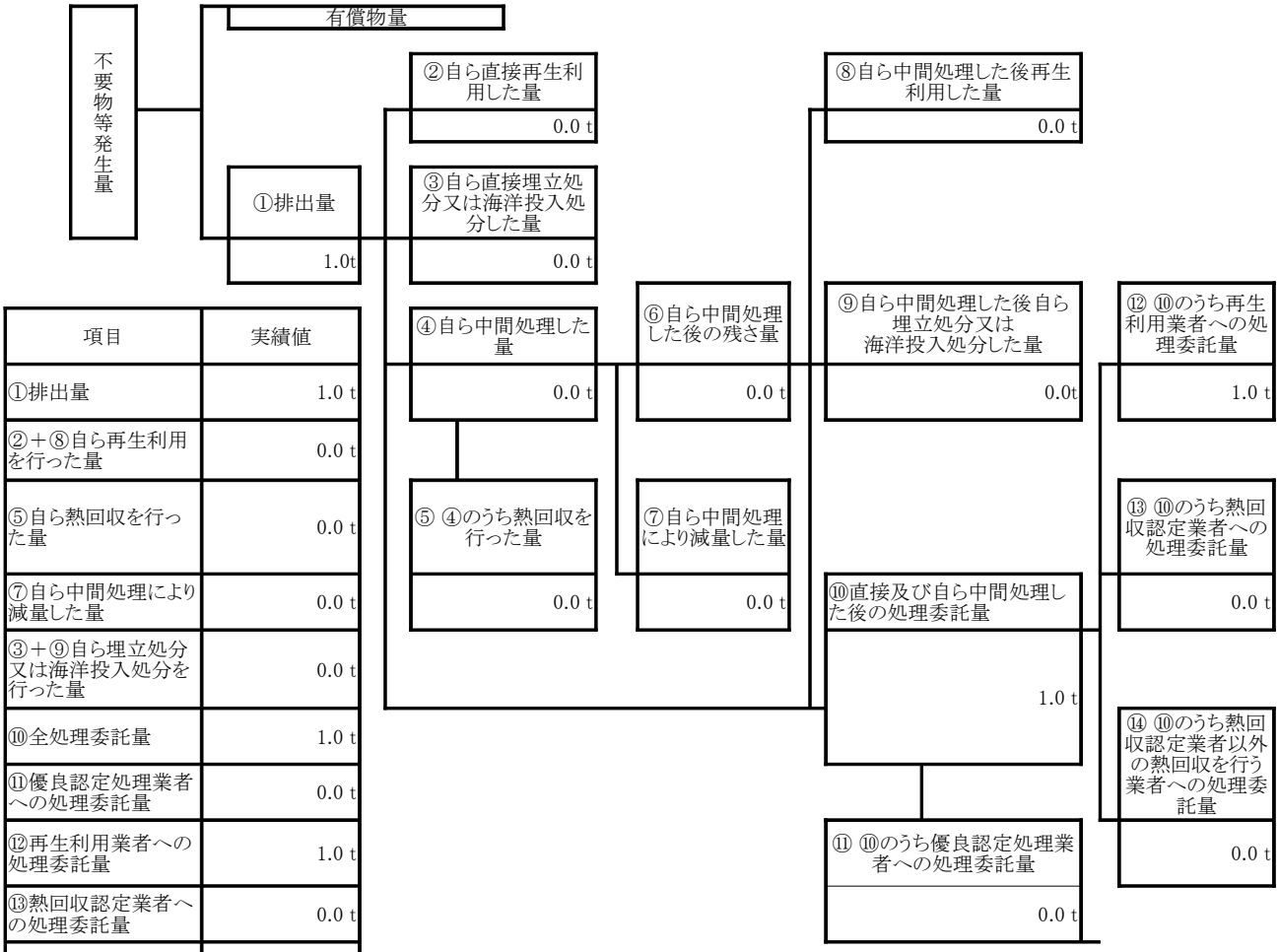
項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類(石綿含有産業廃棄物)**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

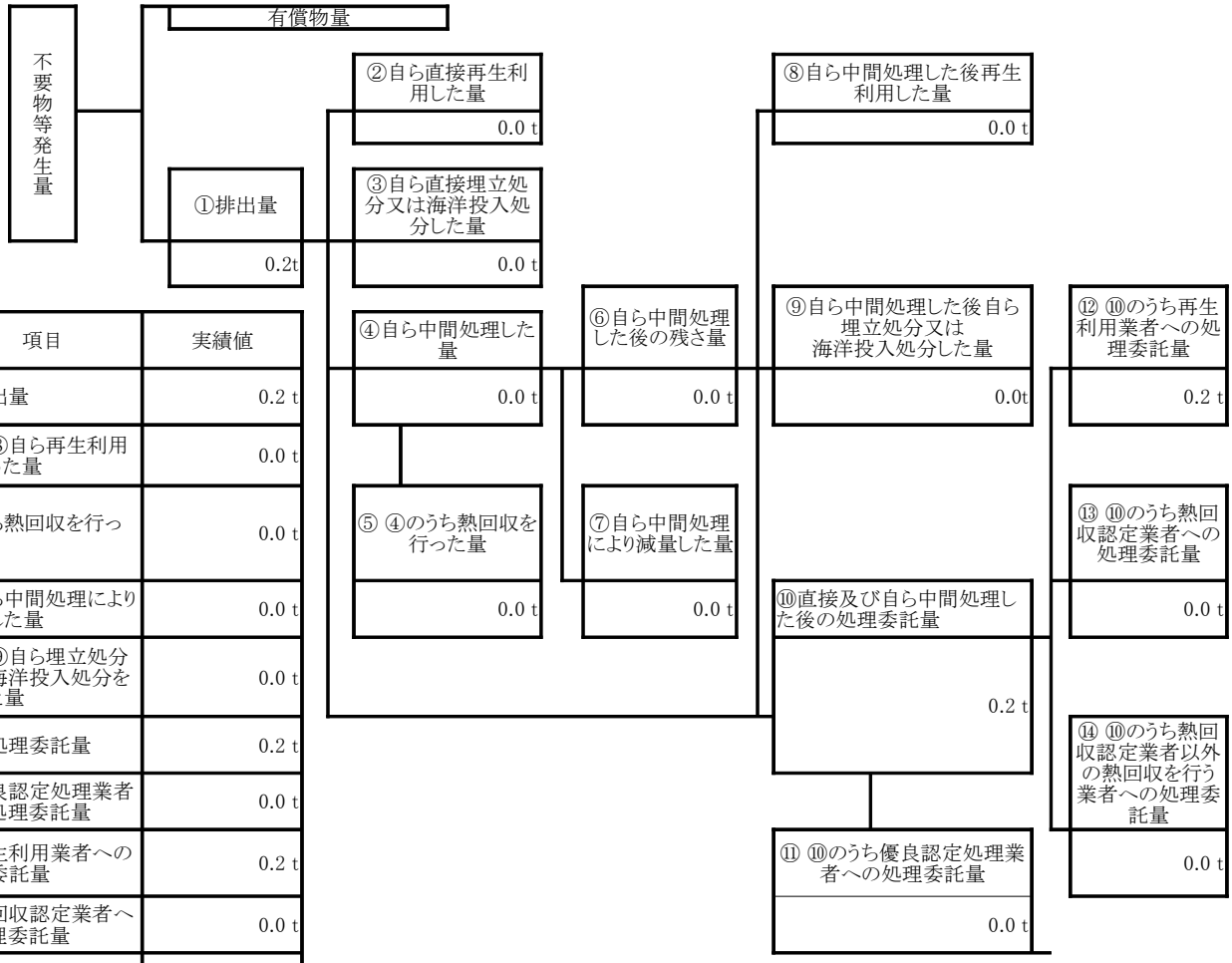


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

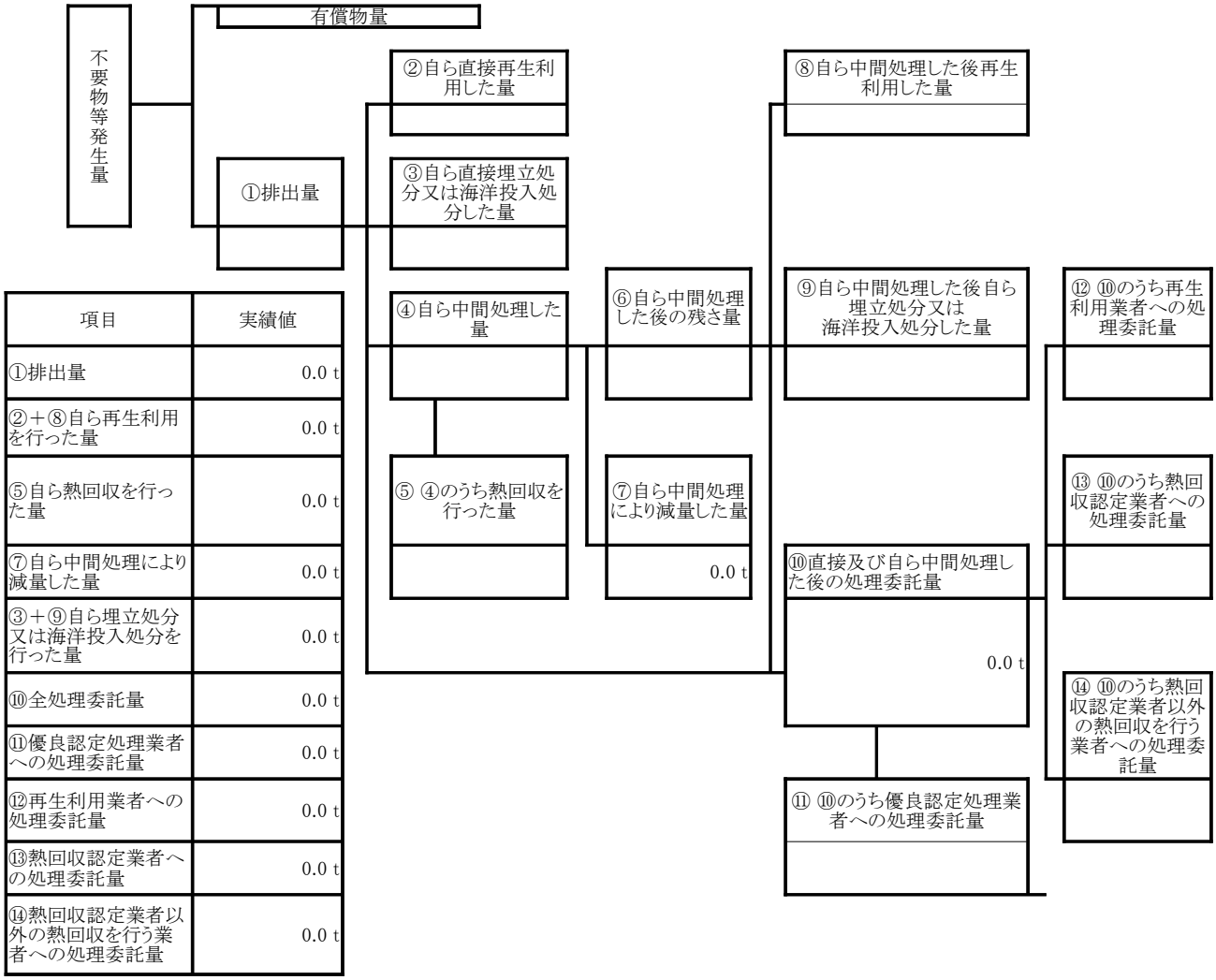


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



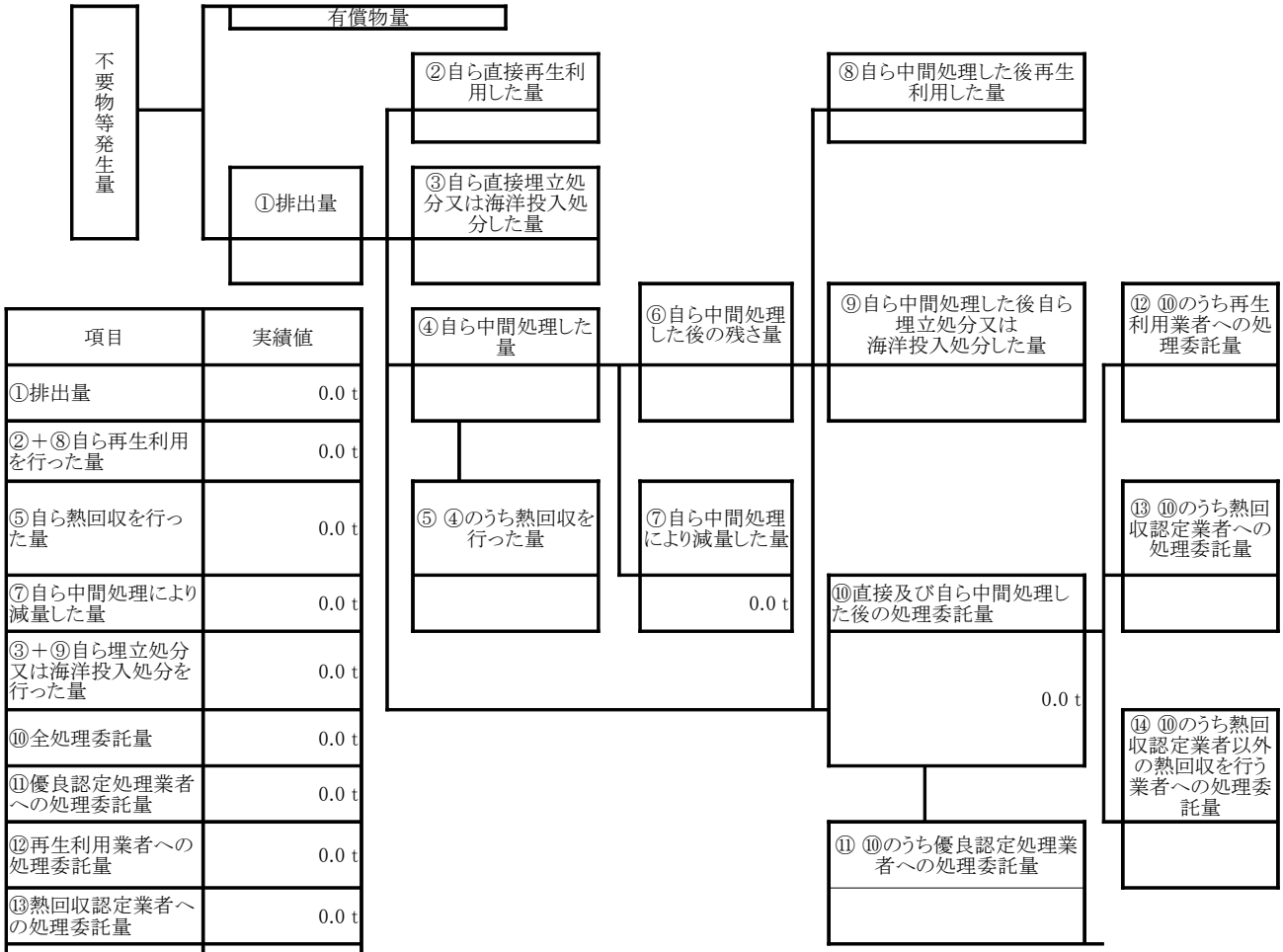
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



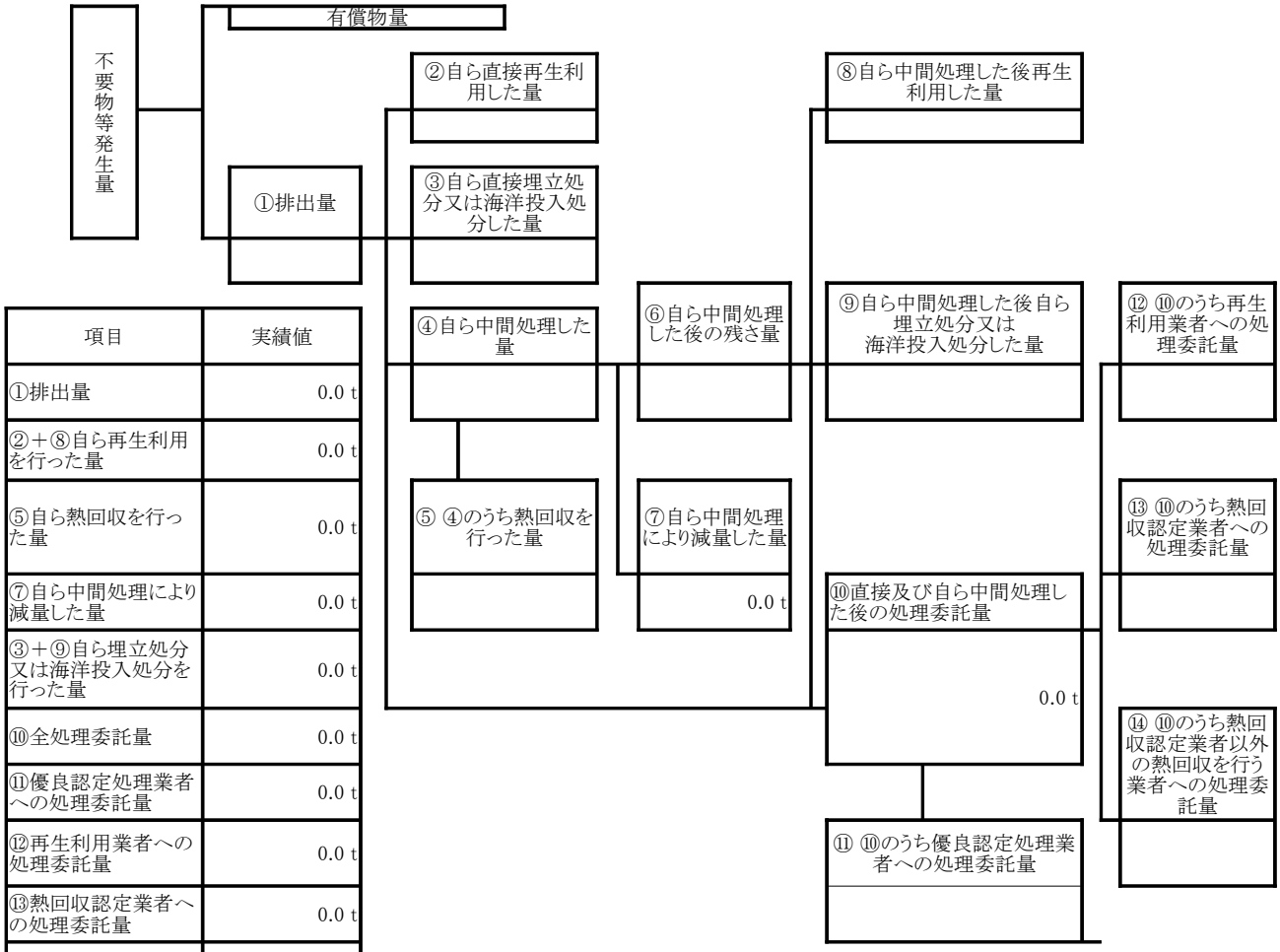
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



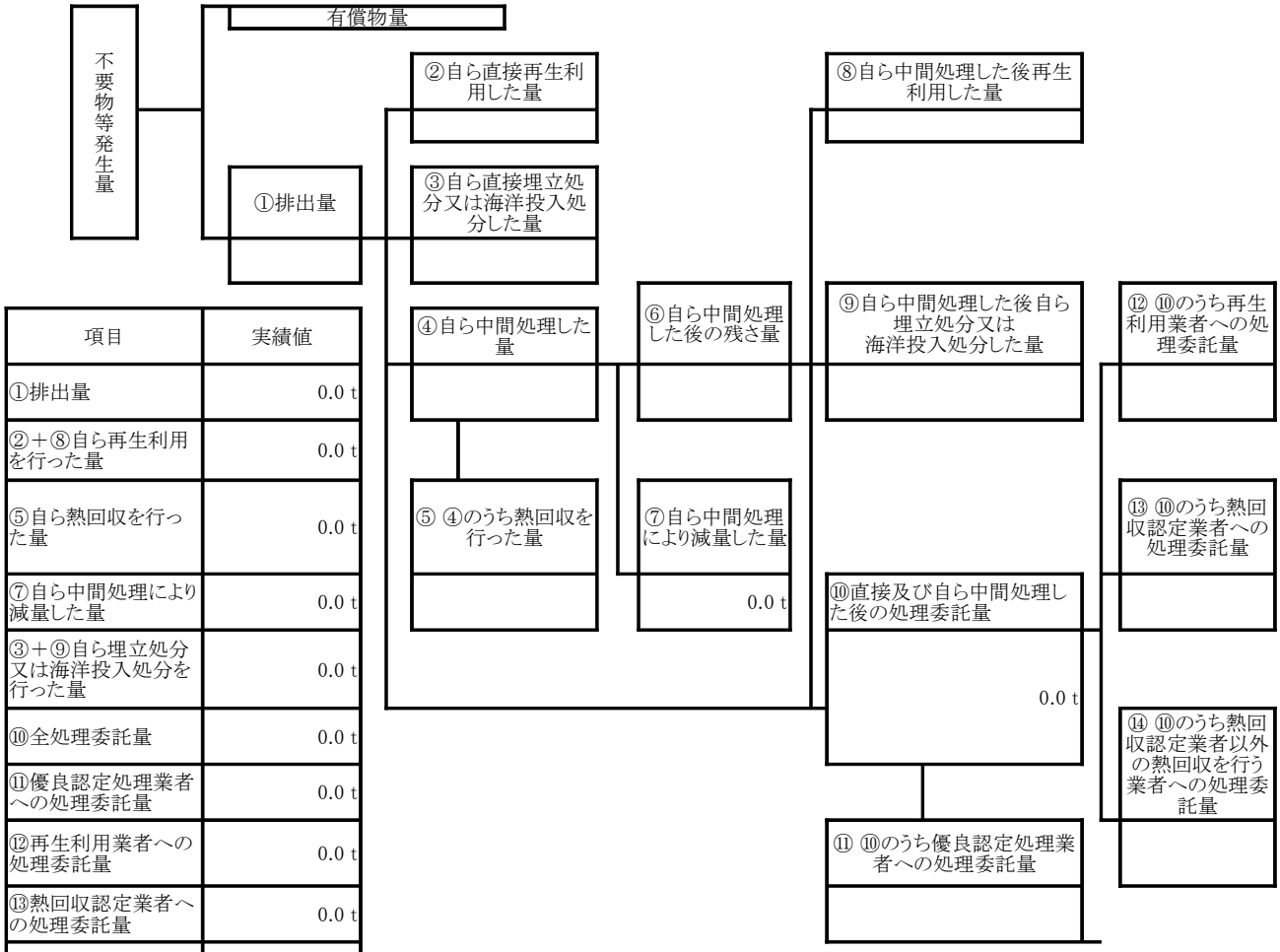
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



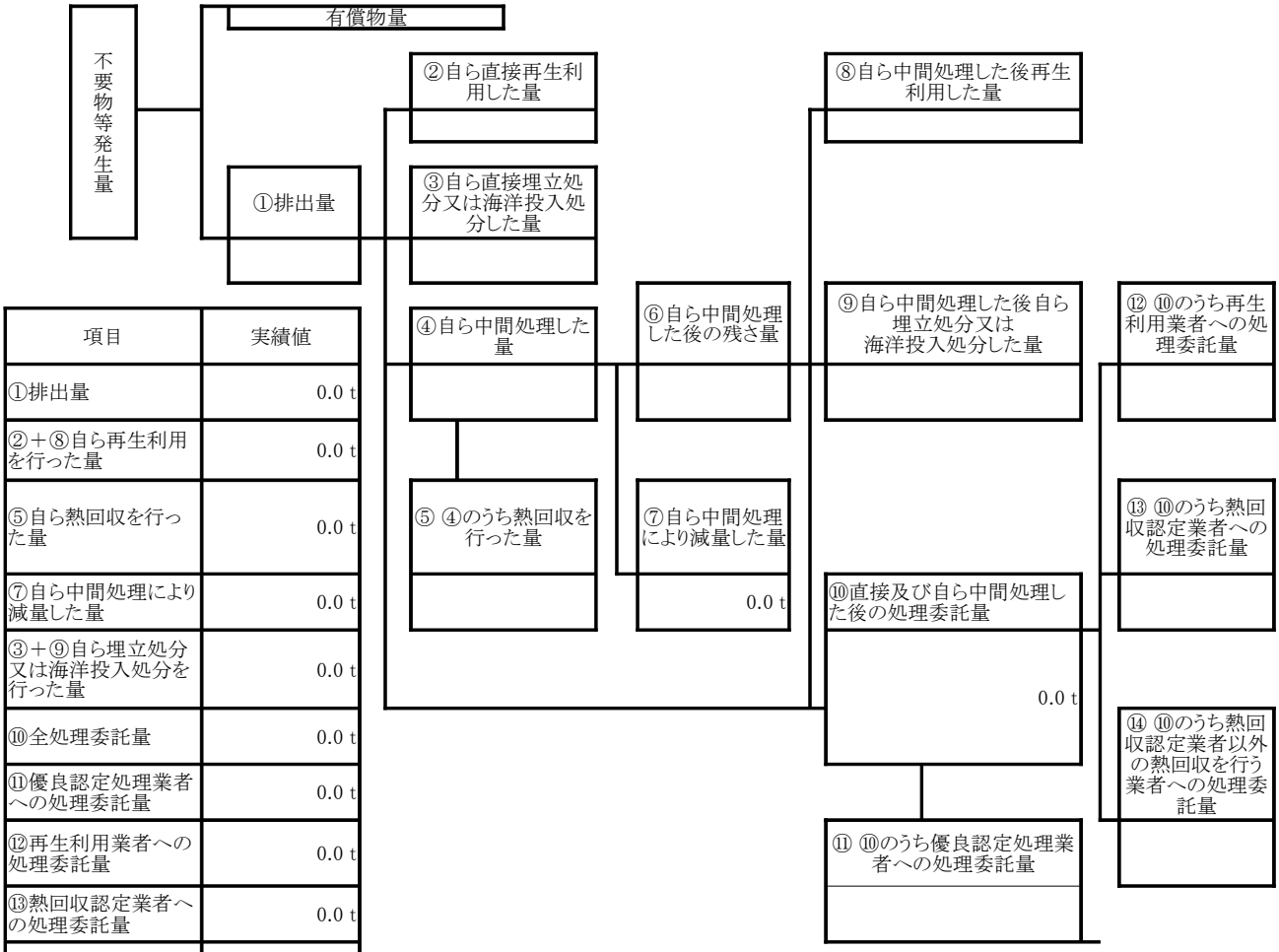
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



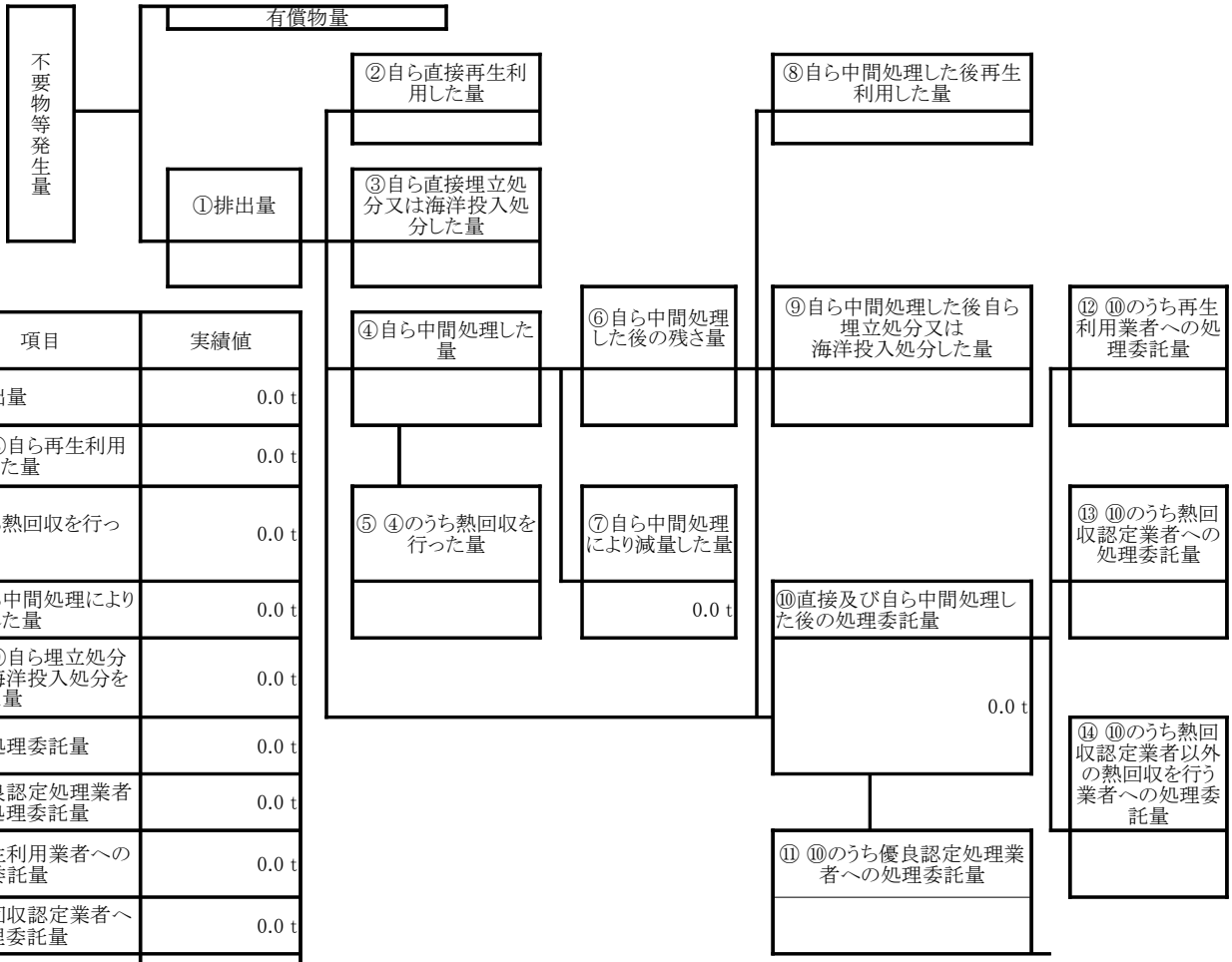
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



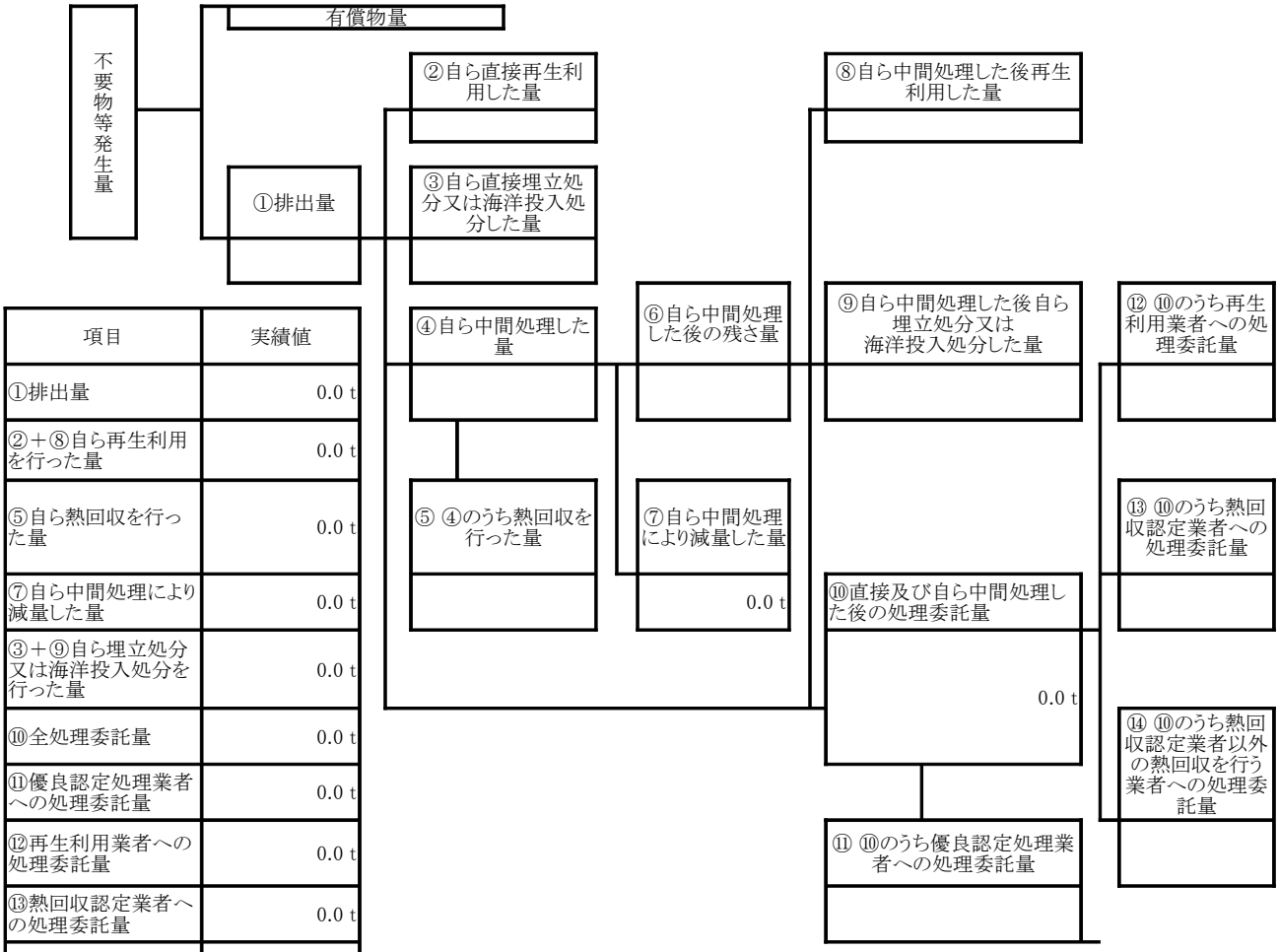
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



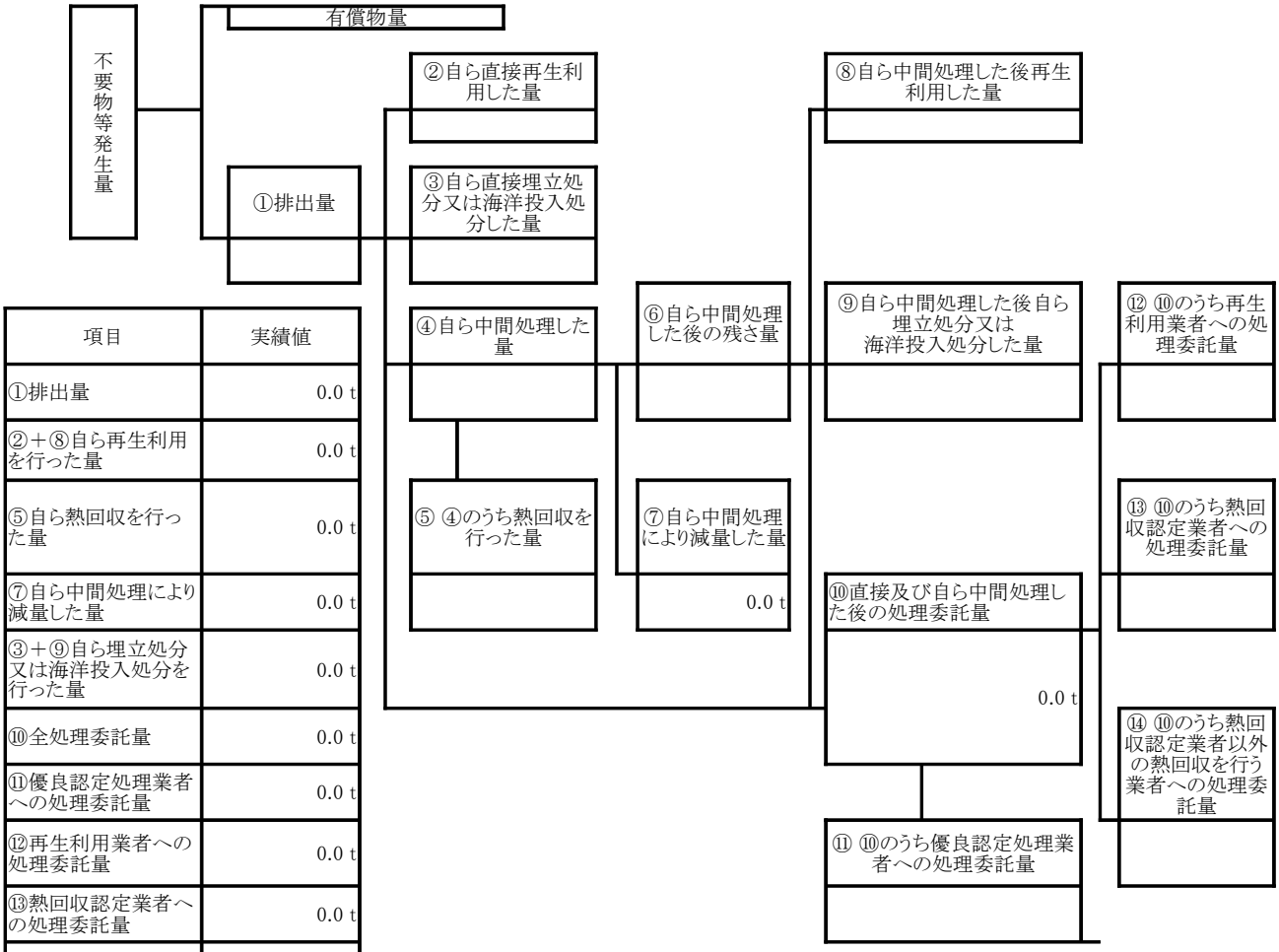
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



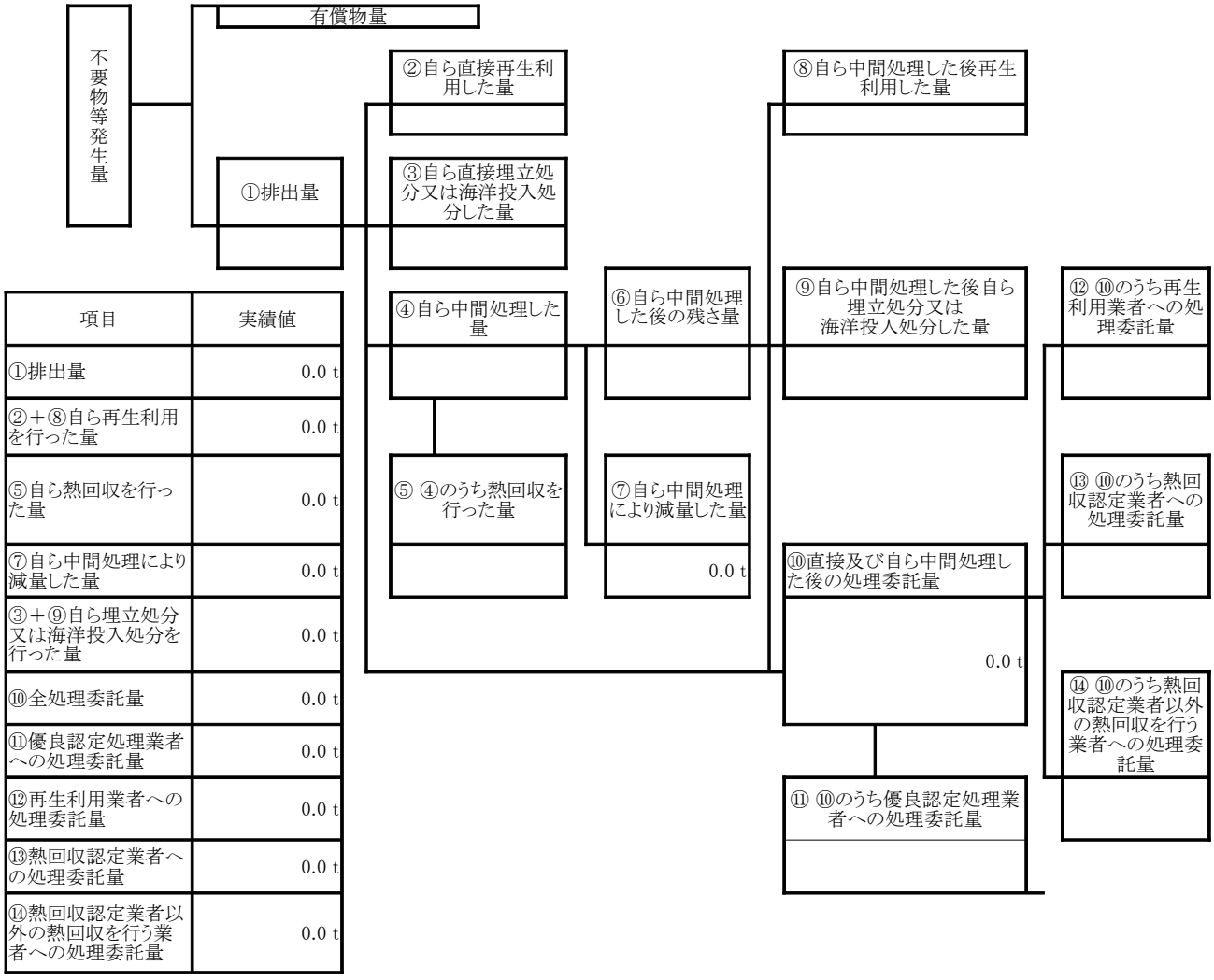
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



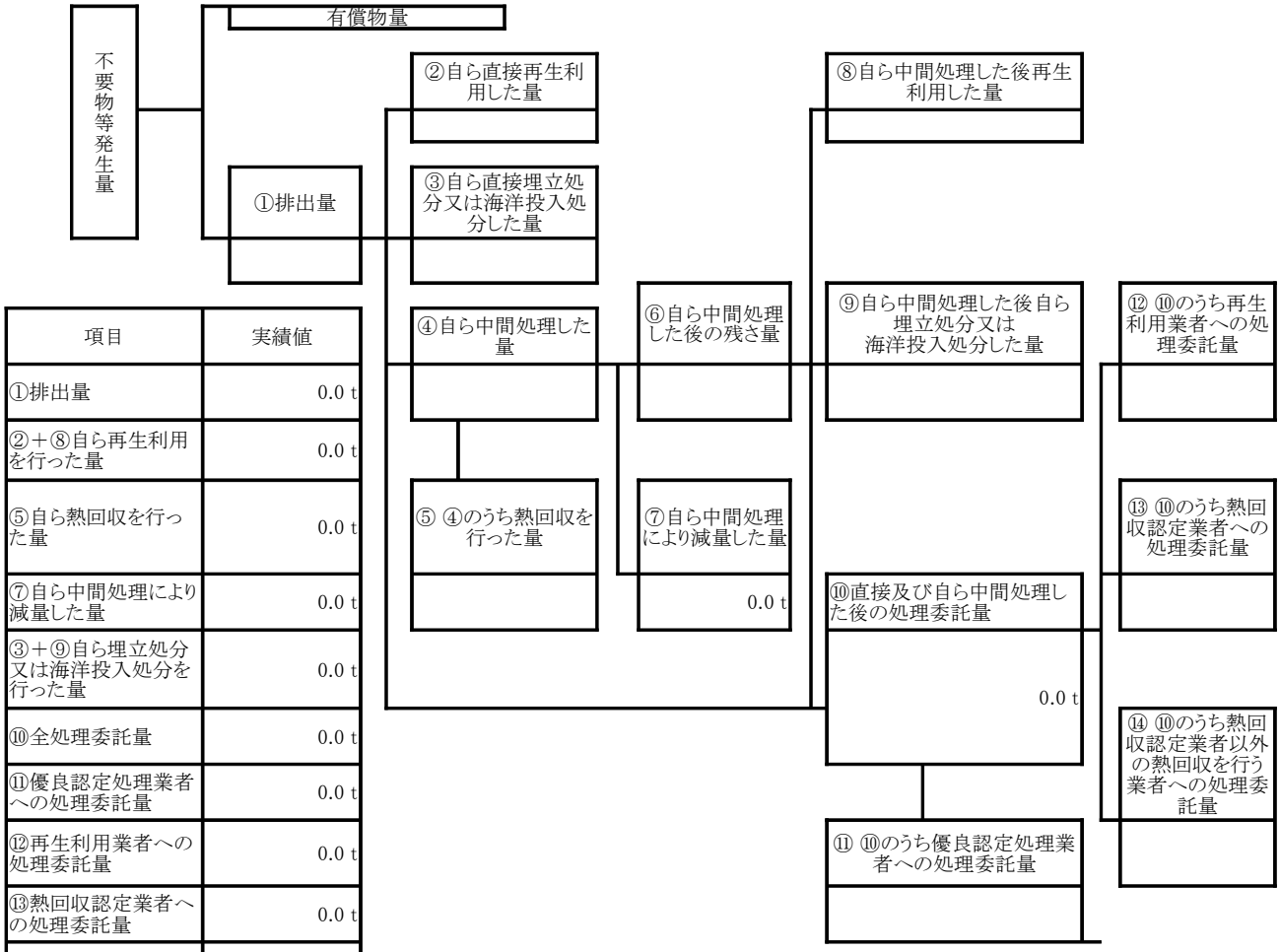
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月2日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　288-0043

住　所　千葉県銚子市東芝町7番地の4

法人名　田杭建設株式会社

代表者　田杭 義規

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-22-1792

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	田杭建設株式会社
事業場の所在地	千葉県銚子市東芝町７番地の４
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　5億
③従業員数	12
④産業廃棄物の一連の処理の工程	作業所 → 委託処理（中間処理） → 再資源化 作業所 → 委託処理（最終処分）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

経営責任者　←　処理計画総括責任者
　｜――――――　総務部（処理計画作成担当）
工務部
　｜
作業所（廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
排出量	164.6 t	1296.9 t

（これまでに実施した取組）

公共工事が主である為、各発注機関の仕様書等に従い適切に産業廃棄物の排出を行っている。
産業廃棄物の分別・削減に努める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
排出量	150 t	1000 t

（今後実施する予定の取組）

現状実施している取組を継続。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

建設廃棄物委託契約書種類ごとに分別を行い、適切に処理をおこなっている。
再生可能品目については、可能な限り分別し混合廃棄物の削減に努める。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状実施している取組を継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
全処理委託量		164.6 t	1296.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	164.6 t	1296.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>150 t</td><td>1000 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>150 t</td><td>1000 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
現状実施している取組を継続。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	
		排　出　量	4 t	12.3 t	1039.3 t	139.7 t	6.4 t	32.6 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	
		排　出　量	3 t	10 t	1000 t	100 t	t	t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う										
	①現状①	【前年度（令和5年度）実績】								
		棄物の種類産業廃棄物	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	型混合廃棄物安定型混合廃	
		自ら熱回収を行った自ら熱回収を行った自ら熱回収を行った自ら熱回収を行った廃棄物の量産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した自ら中間処理により減量した自ら中間処理により減量した自ら中間処理により減量した廃棄物の量産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画②計	【目標】【目標】【目標】【目標】								
		棄物の種類産業廃棄物	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	型混合廃棄物安定型混合廃	
		回収を行う自ら熱回収棄物の種類産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量する自ら中間処理により減量する自ら中間処理により減量する自ら中間処理により減量する廃棄物の量産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は

①現状①

【前年度（令和5年度）実績】

額産業廃棄物の種類産	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	棄物安定型混合廃棄物安定	
自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量産業廃棄物の量産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画②

【目標】

額産業廃棄物の種類産	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	棄物安定型混合廃棄物安定	
は自ら埋立処分又は自 う海洋投入処分を行う海 量産業廃棄物の量産	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委

①現状①

【前年度（令和5年度）実績】

額産業廃棄物の種類産	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	棄物安定型混合廃棄物安定	
託量全処理委託量全処	4 t	12.3 t	1039.3 t	139.7 t	6.4 t	32.6 t	0 t	t
の優良認定処理業者への優 託量処理委託量処理	t	t	t	t	6.4 t	t	t	t
の再生利用業者への再 理委託量処理委託	4 t	12.3 t	1039.3 t	139.7 t	t	t	t	t
収業者への認定熱回収 理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t	t	t
収業者以外の認定熱回収業 行う業者への熱回収を行う 理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画②

【目標】【目標】

棄物の種類産業廃棄物	木くず	廃プラスチック	がれき	汚泥	がれき（石綿含有料産業廃棄物）	管理型混合廃棄物	型混合廃棄物安定型混合廃	
処理委託量全処理委託	3 t	10 t	1000 t	100 t	3 t	20 t	0 t	t
処理業者への優良認定処理 理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t	t	t
業者への再生利用業 理委託量処理委託	3 t	10 t	1000 t	100 t	t	t	t	t
収業者への認定熱回収 理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t	t	t
収業者以外の認定熱回収業 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　288-0043

住所 千葉県銚子市東芝町7番地の4

法人名 田杭建設株式会社

代表者 田杭 義規

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-22-1792

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	田杭建設株式会社
事業場の所在地	千葉県銚子市東芝町7番地の4
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

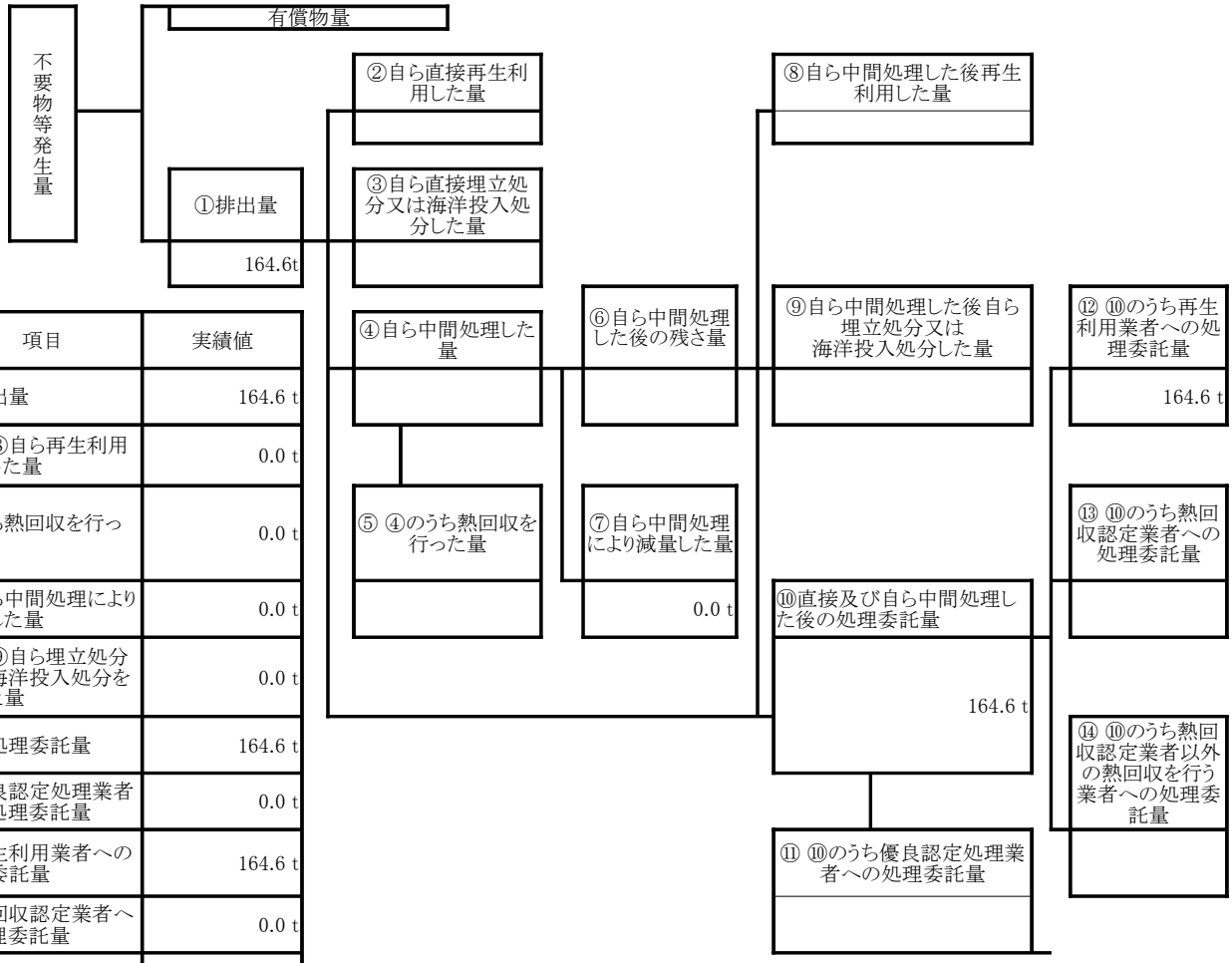
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1650 t	全処理委託量	1650 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1609 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



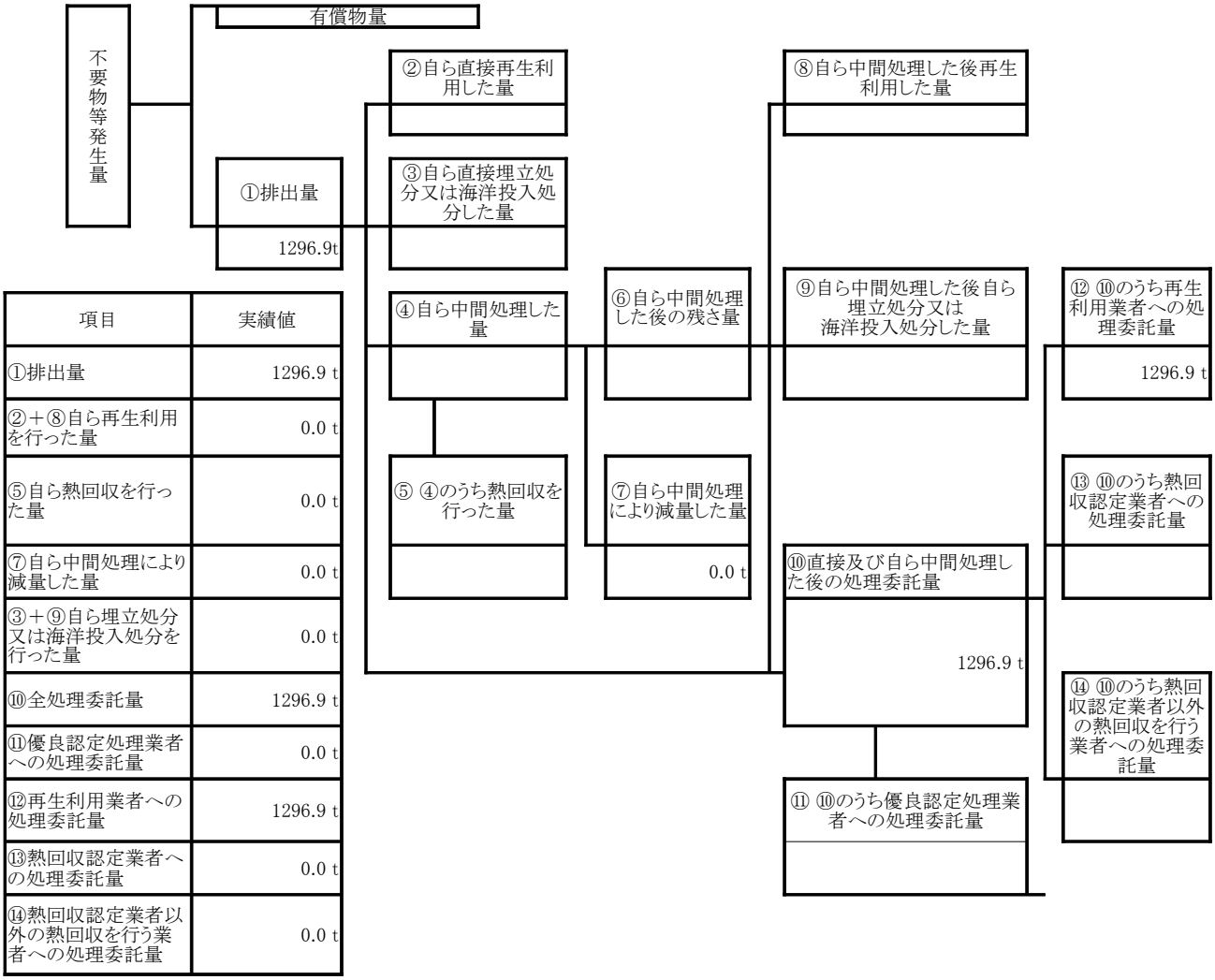
項目	実績値
①排出量	164.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	164.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	164.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



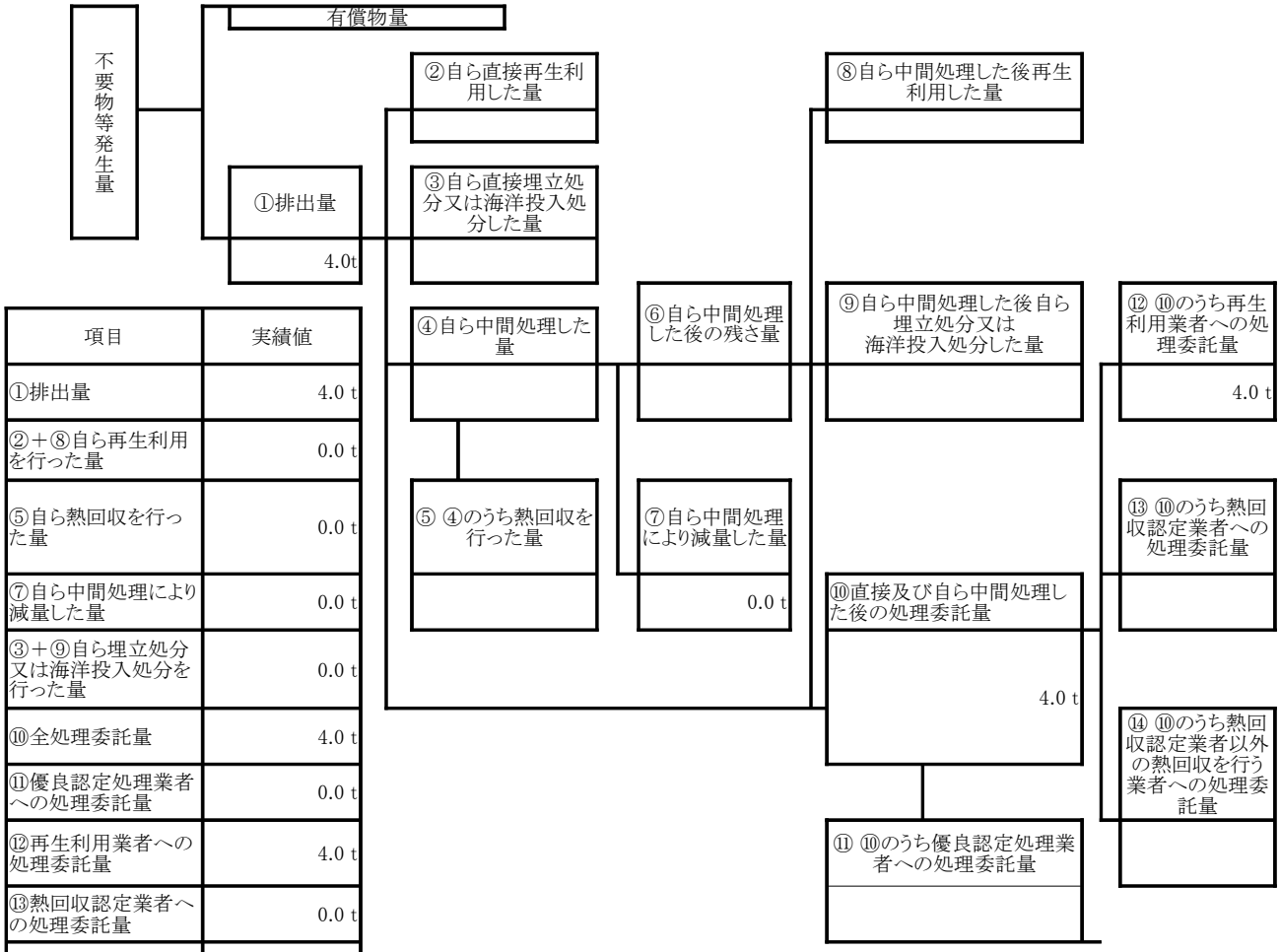
項目	実績値
①排出量	1296.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1296.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1296.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

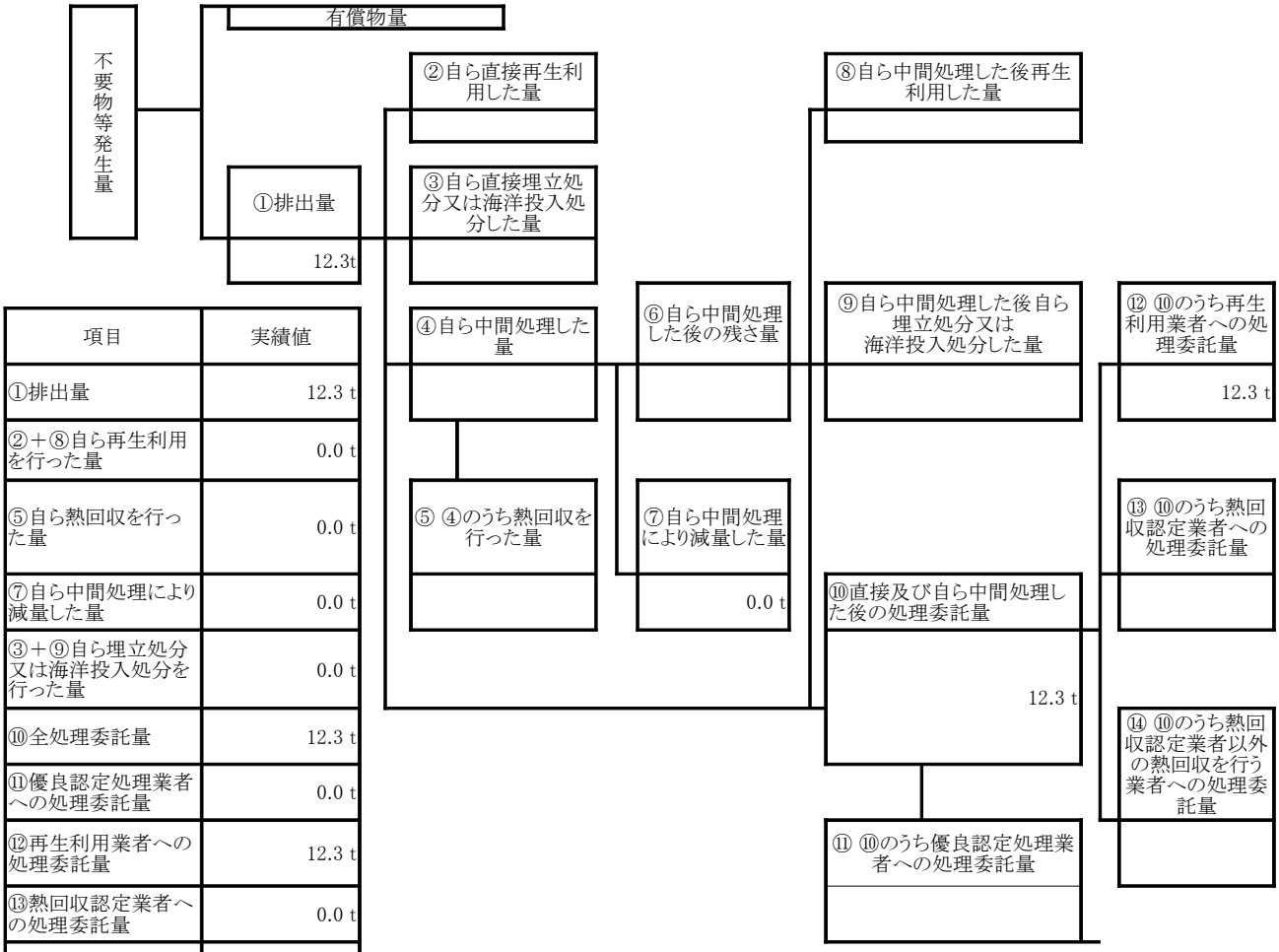


項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



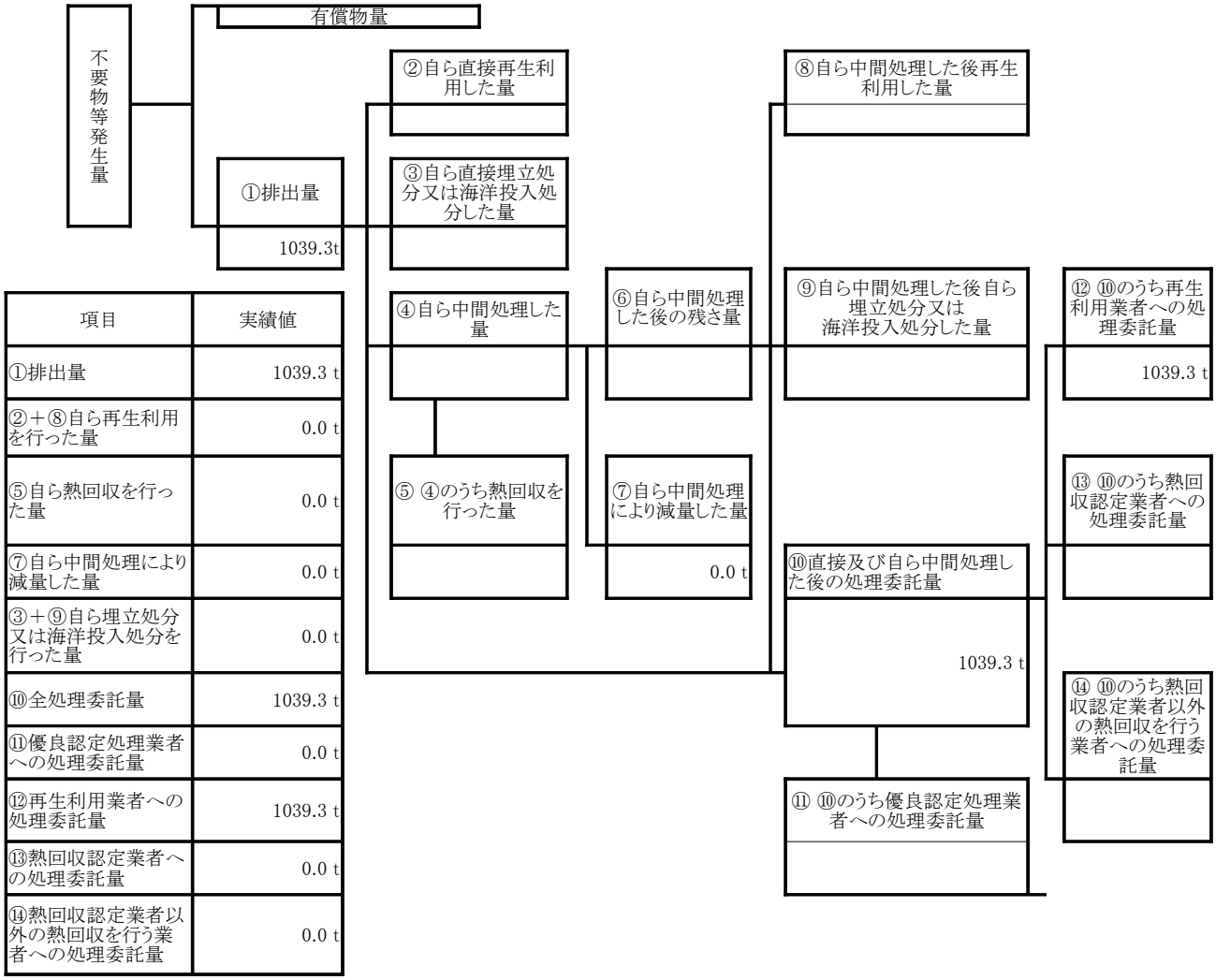
項目	実績値
①排出量	12.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

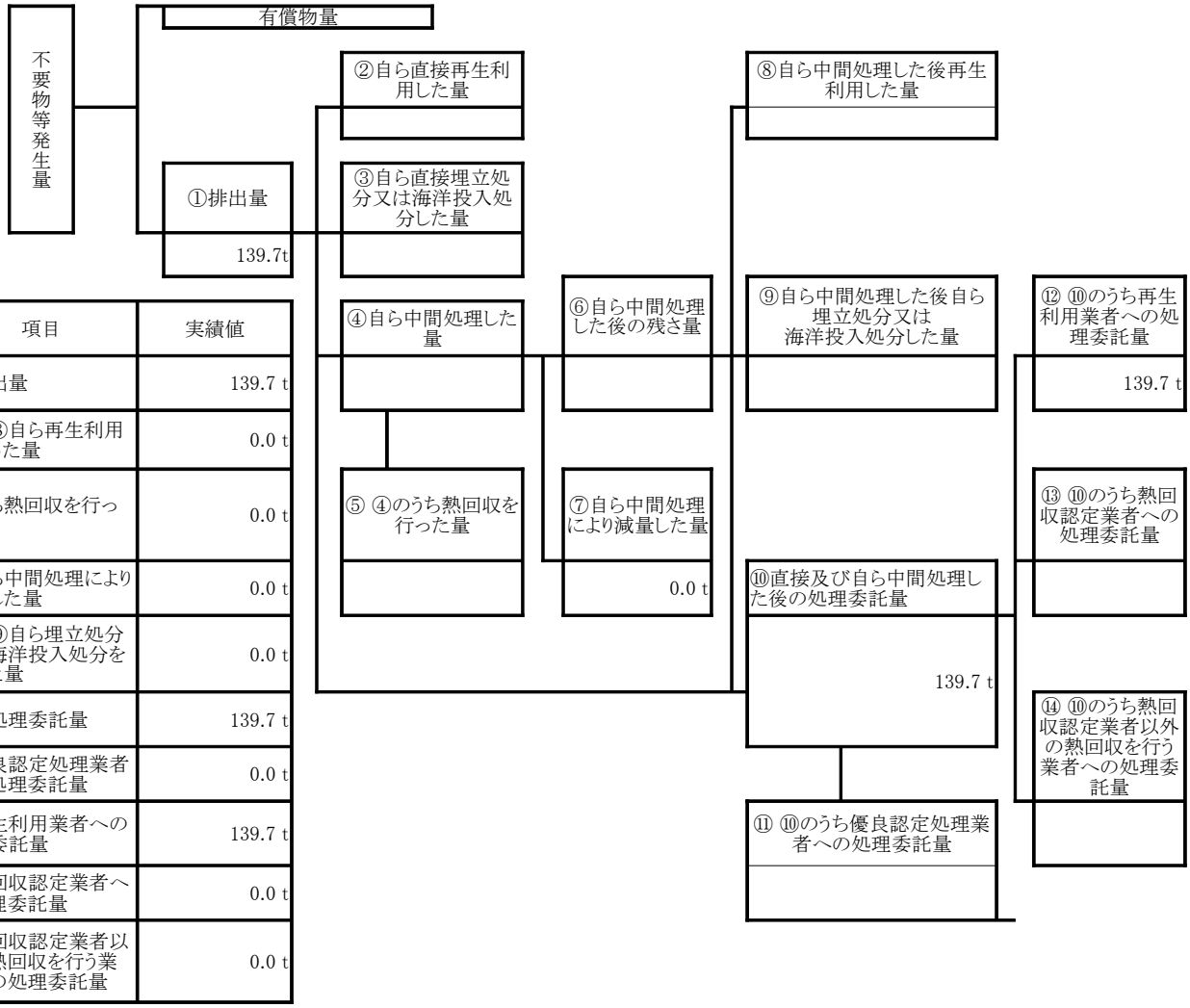


項目	実績値
①排出量	1039.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1039.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1039.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

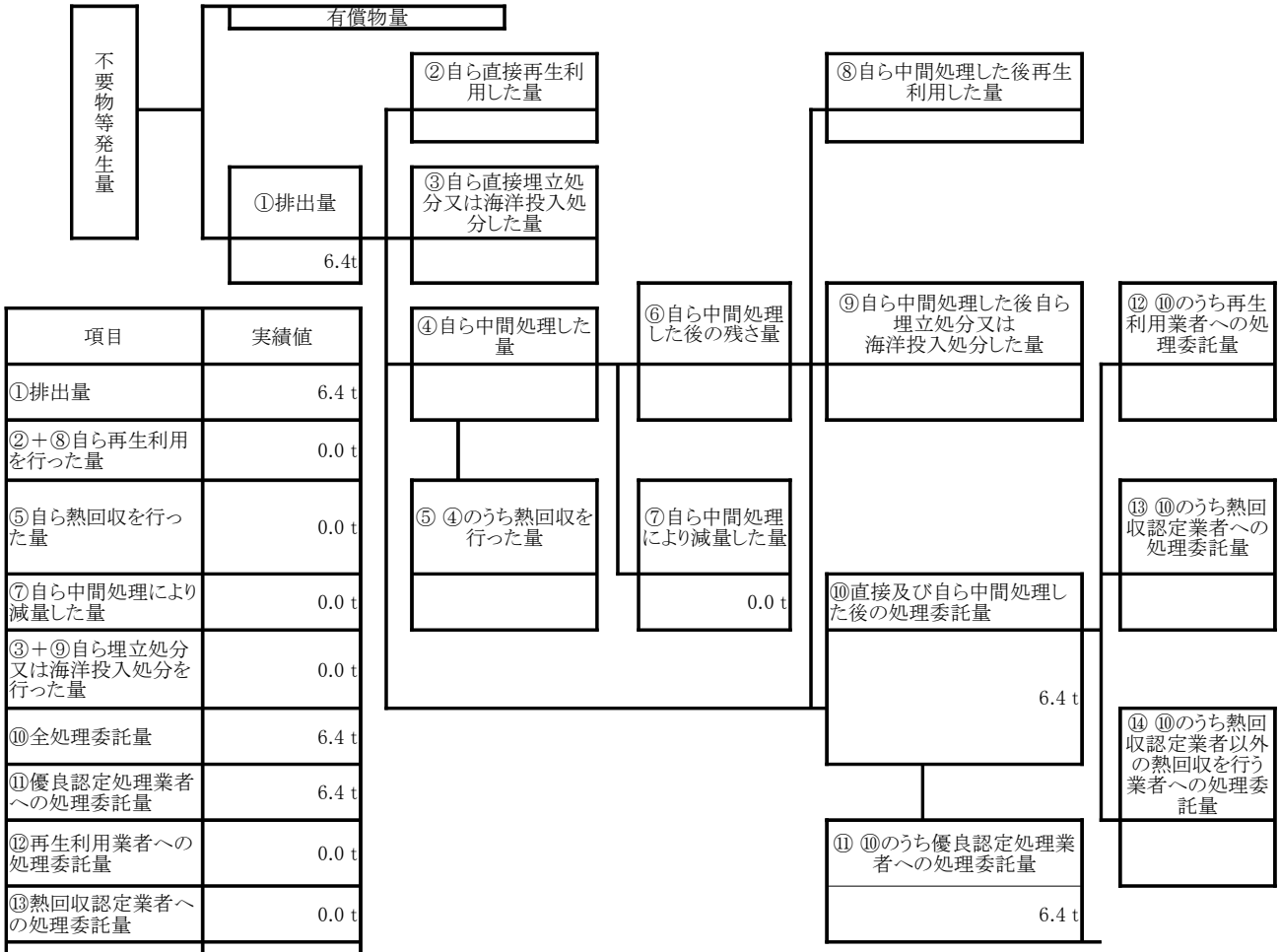


項目	実績値
①排出量	139.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	139.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	139.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類（石綿含有）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

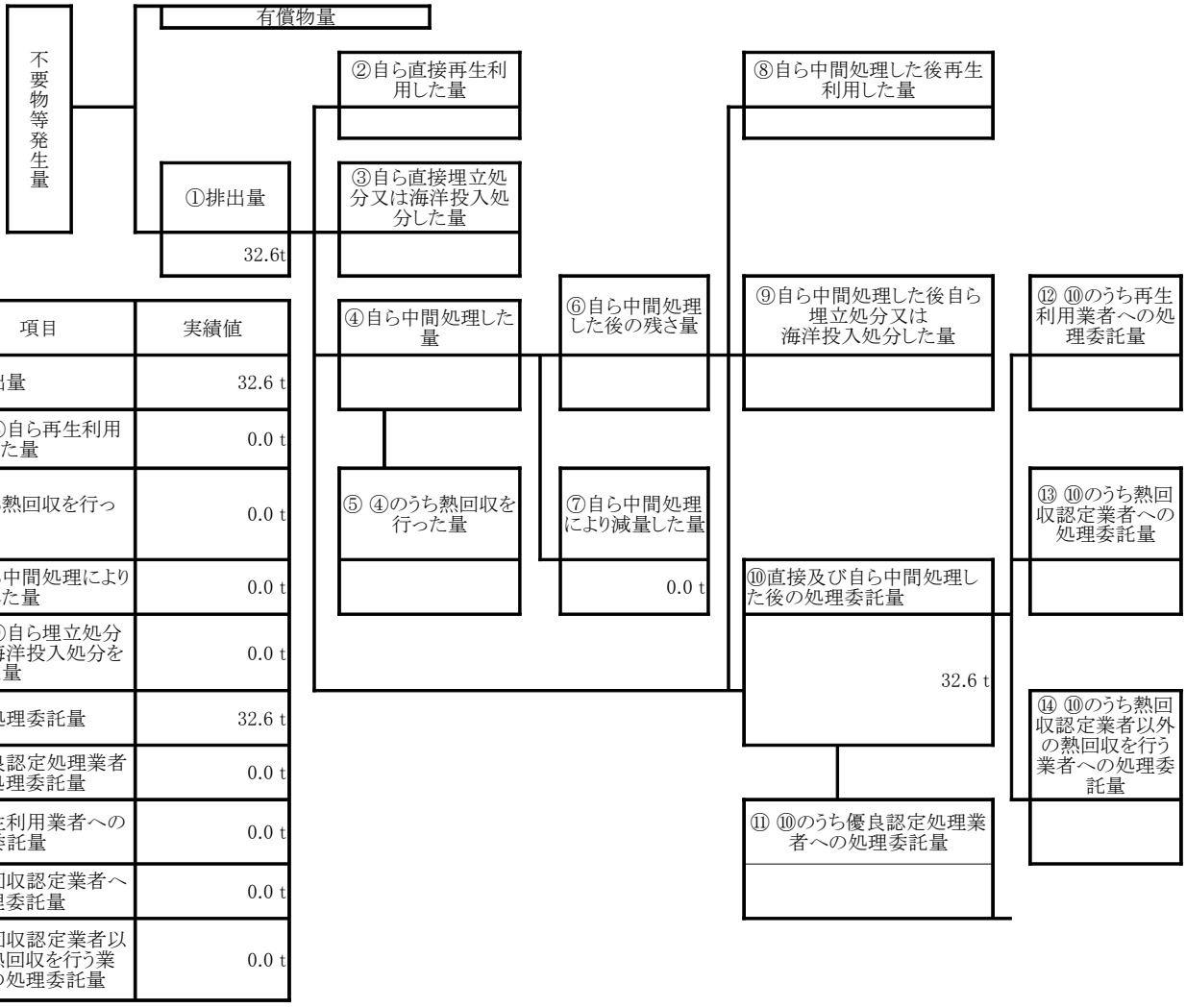


項目	実績値
①排出量	6.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

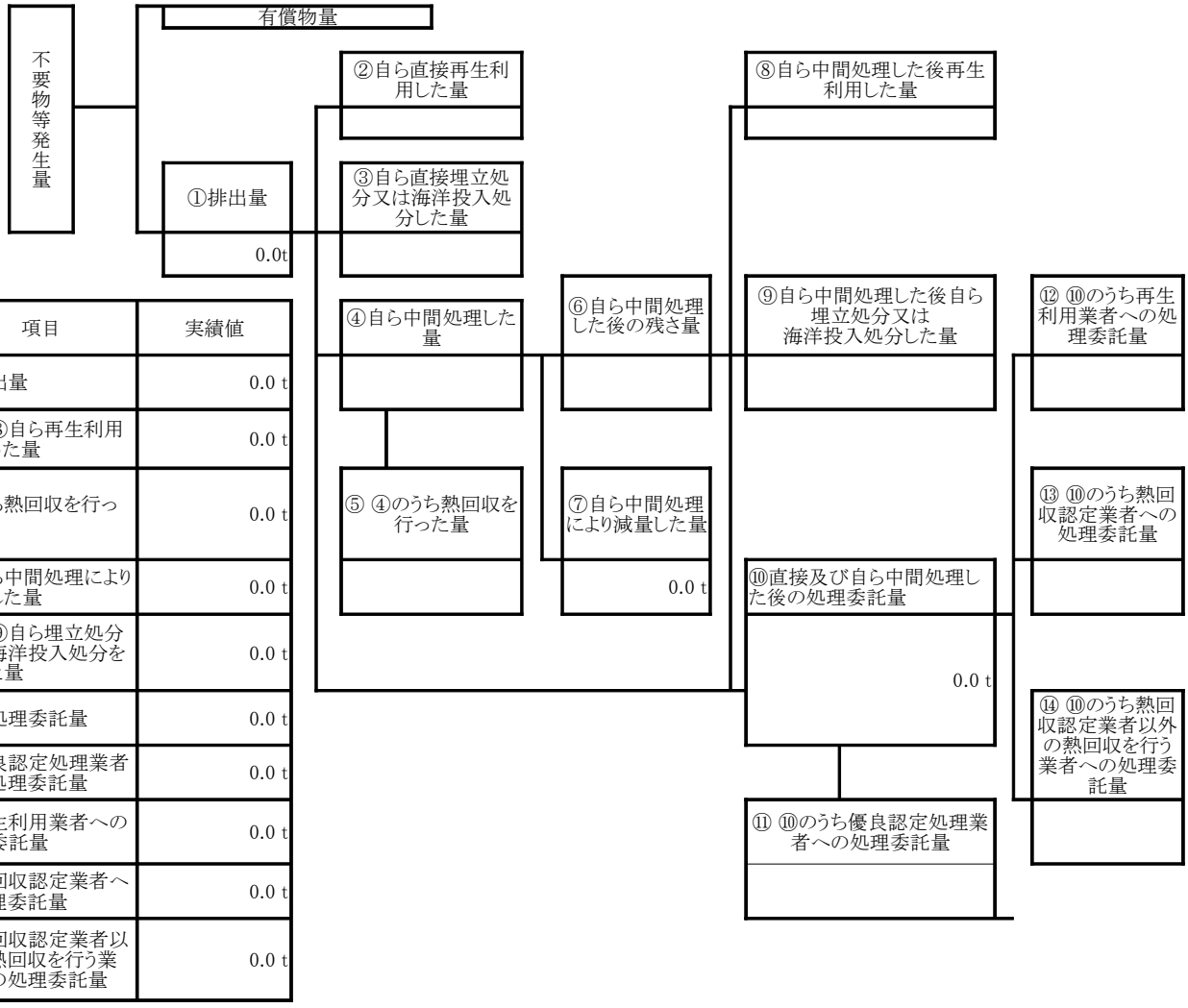


項目	実績値
①排出量	32.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

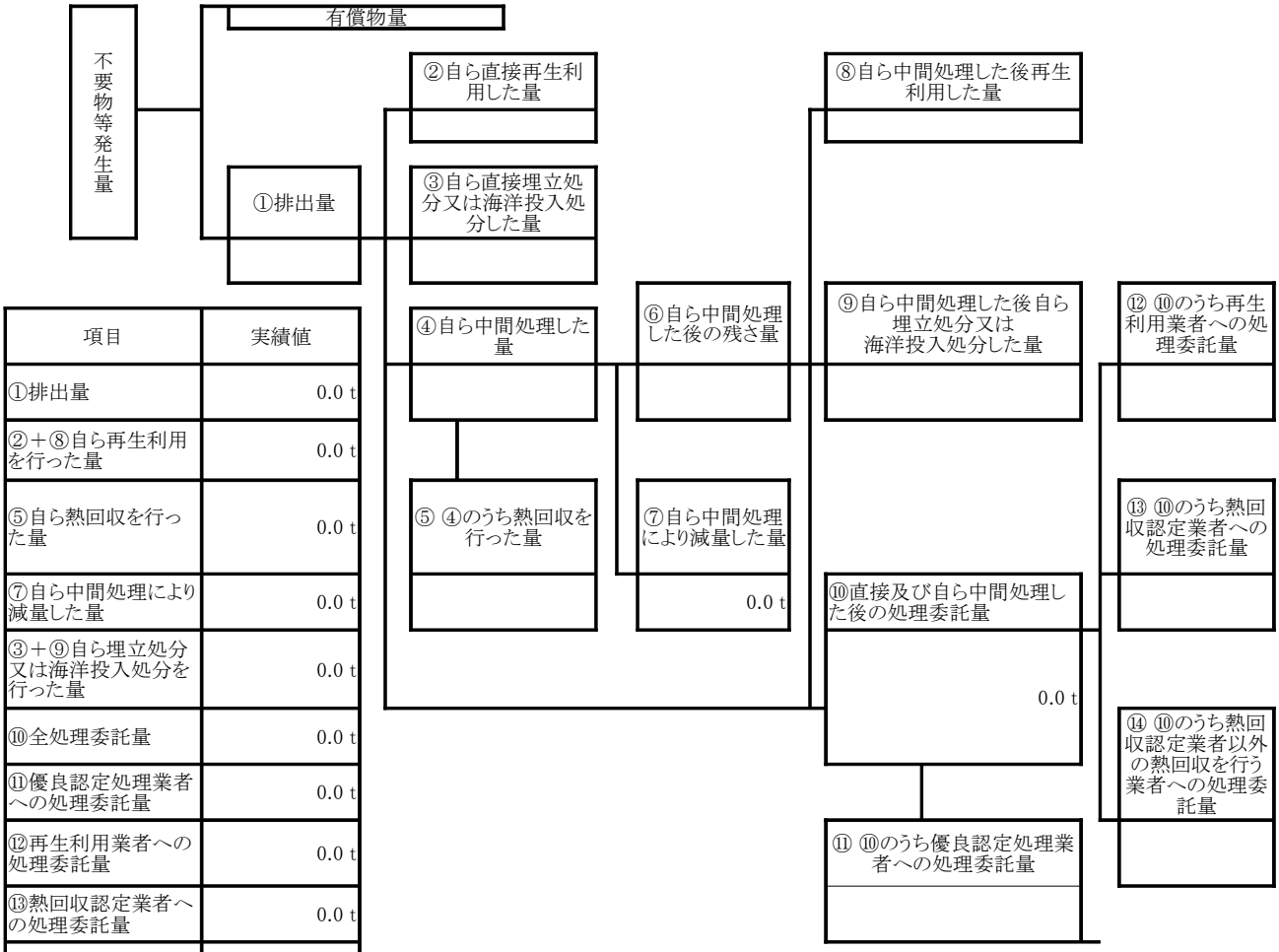


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

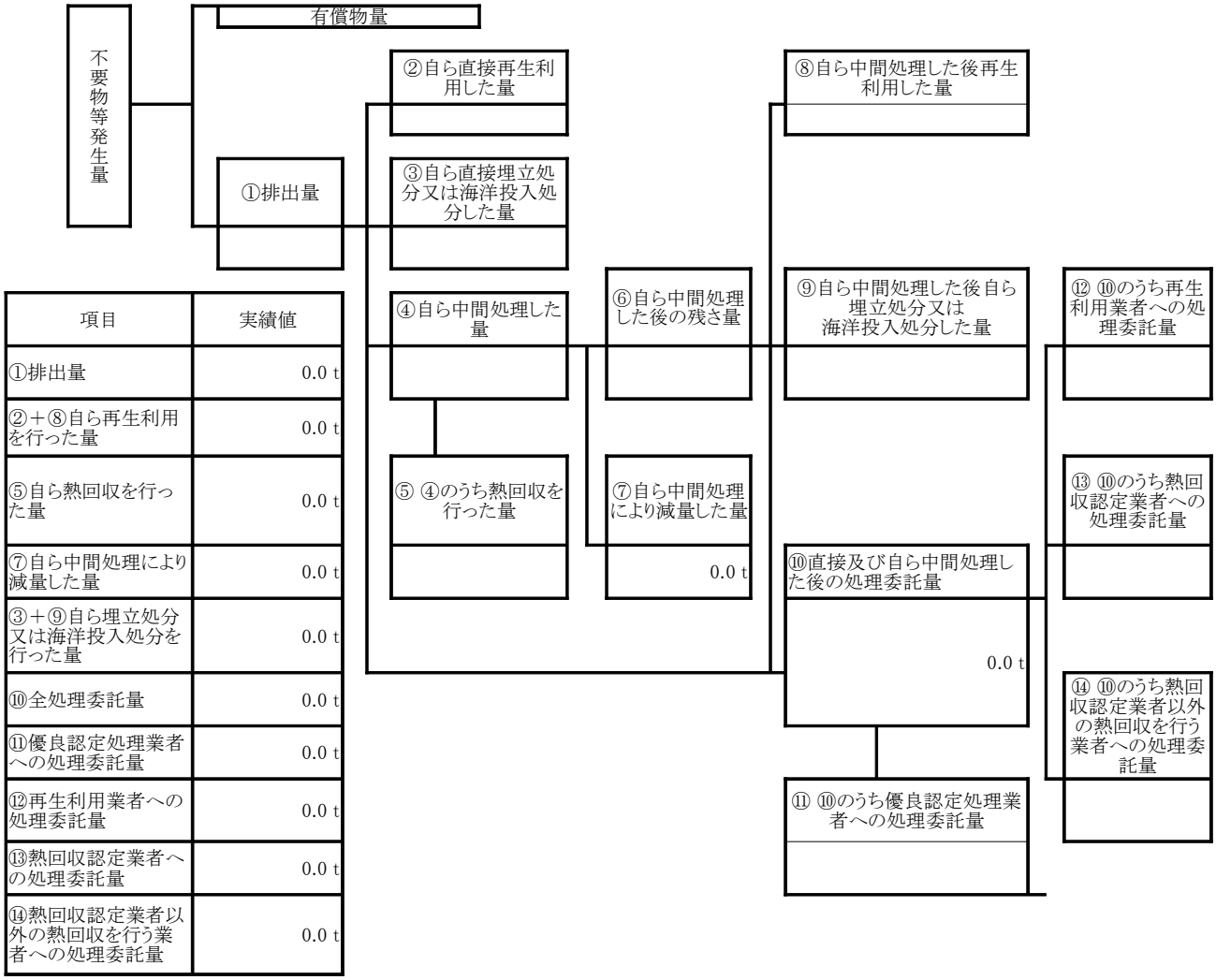


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



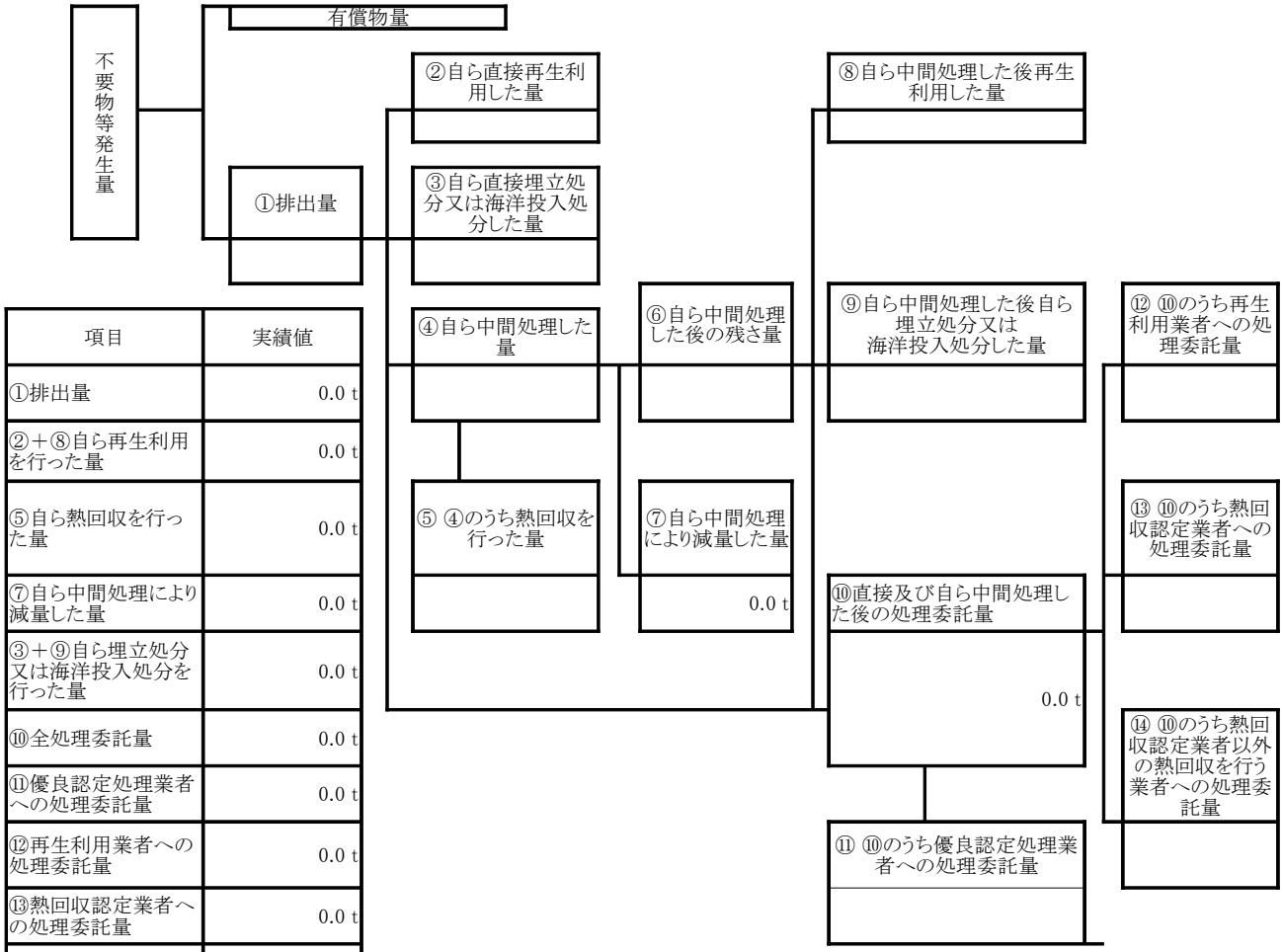
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



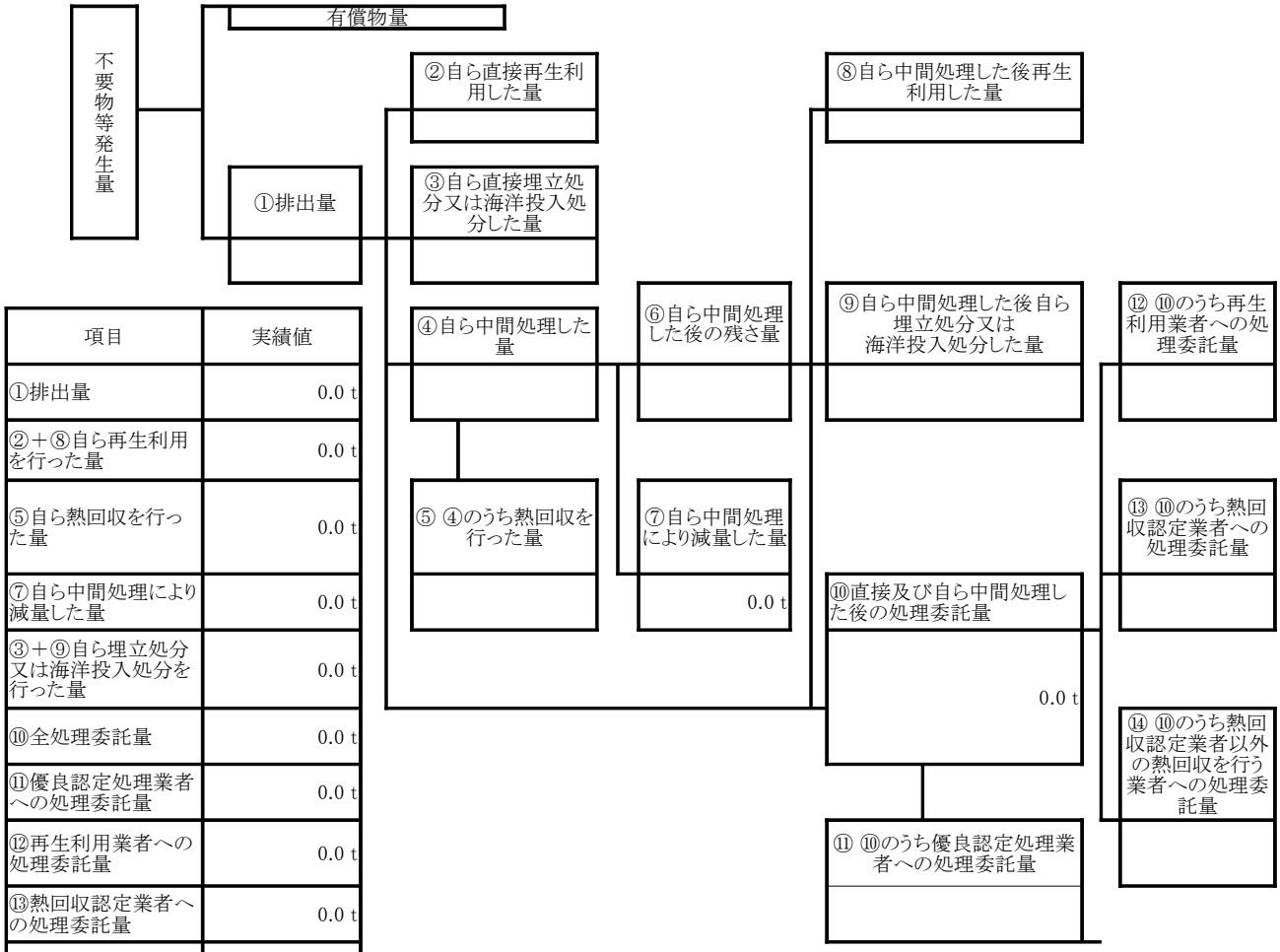
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



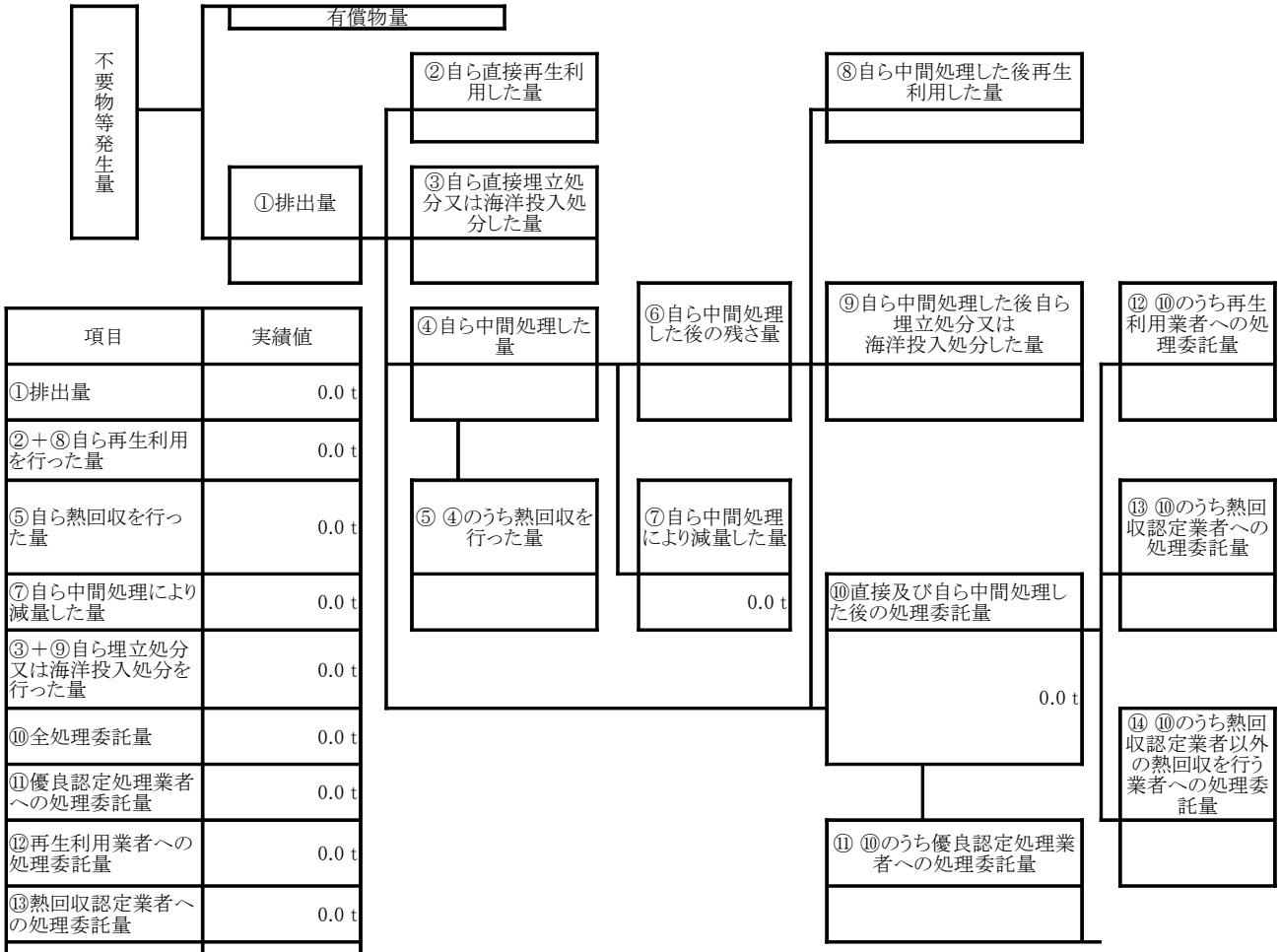
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



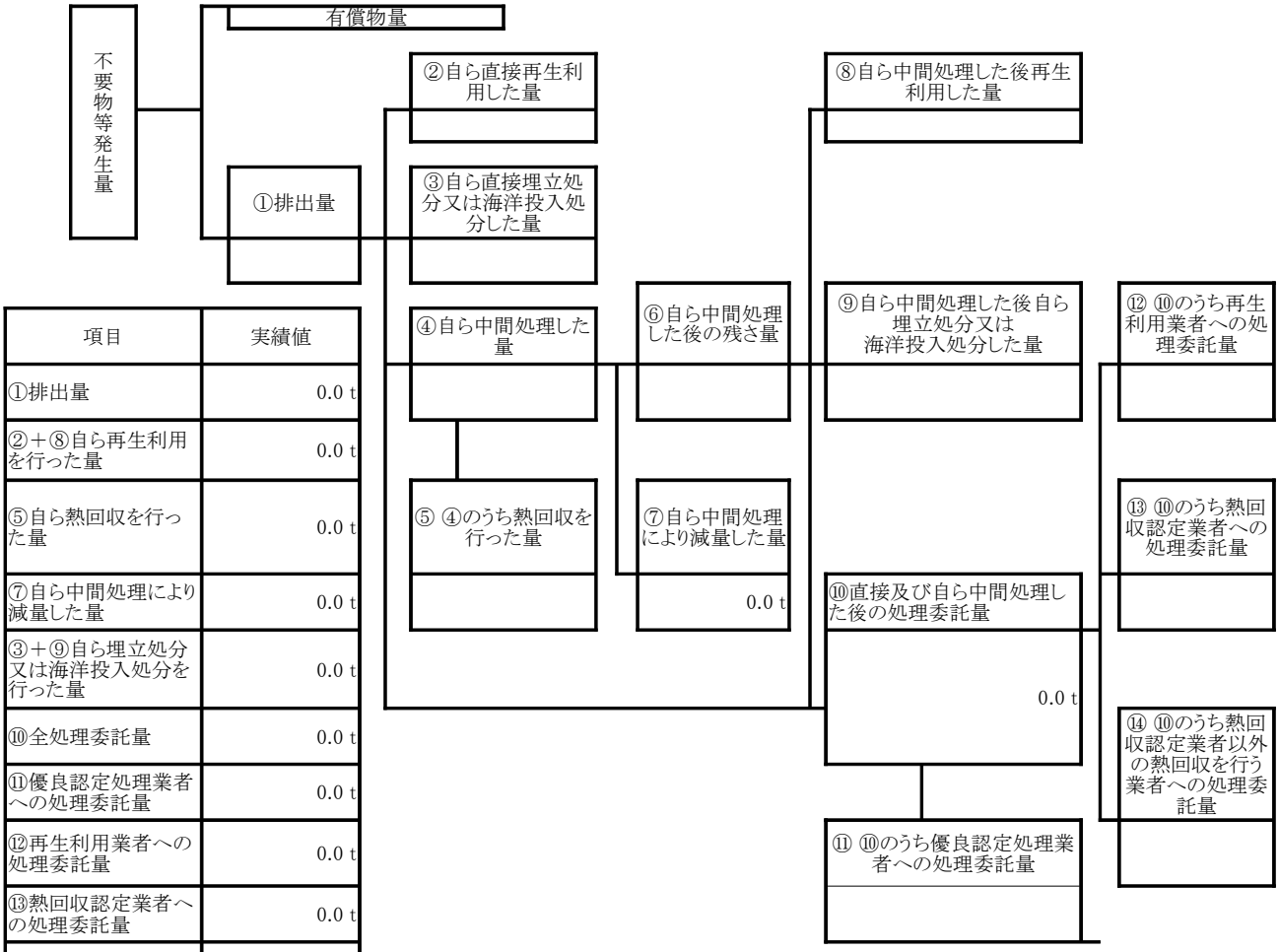
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



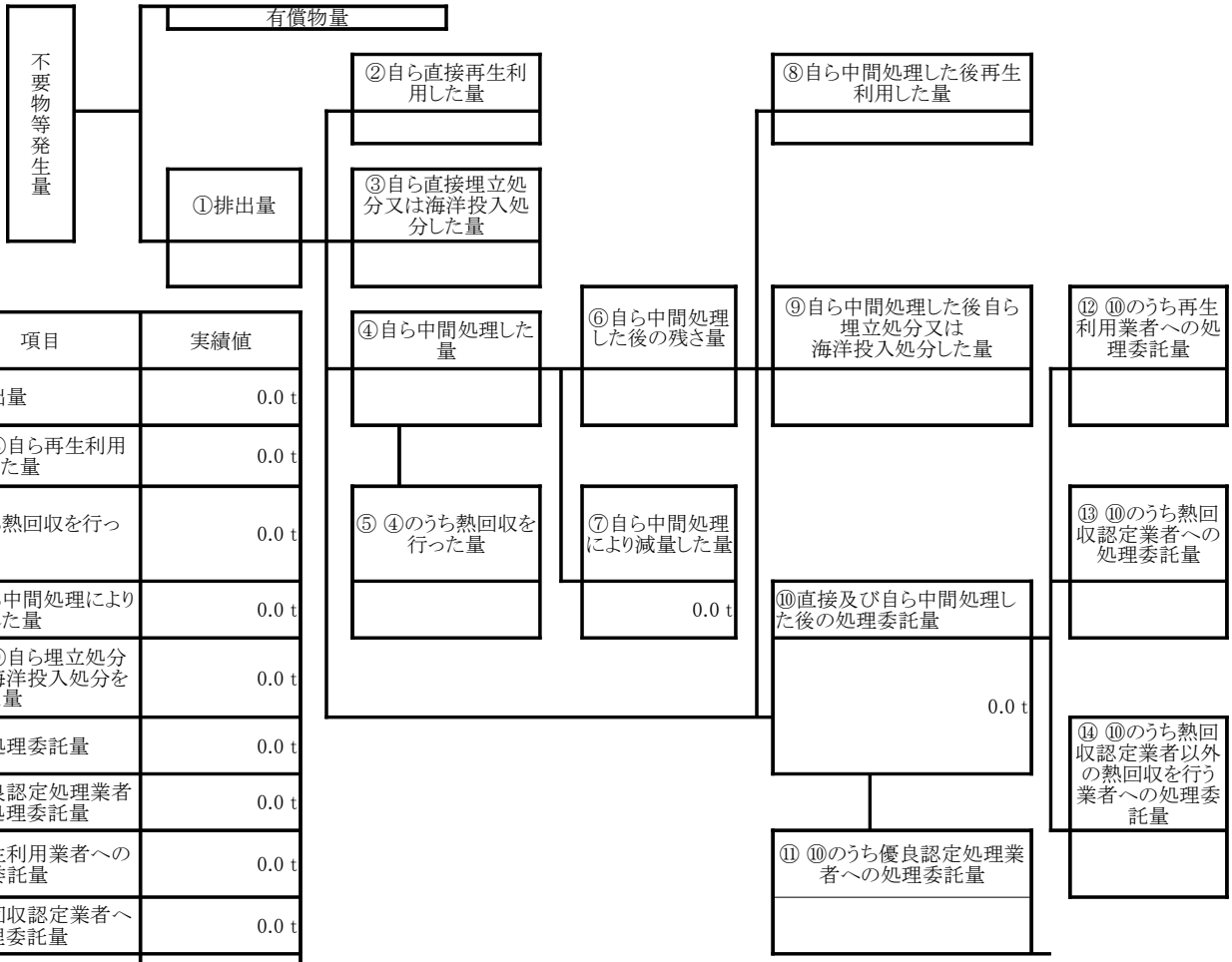
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



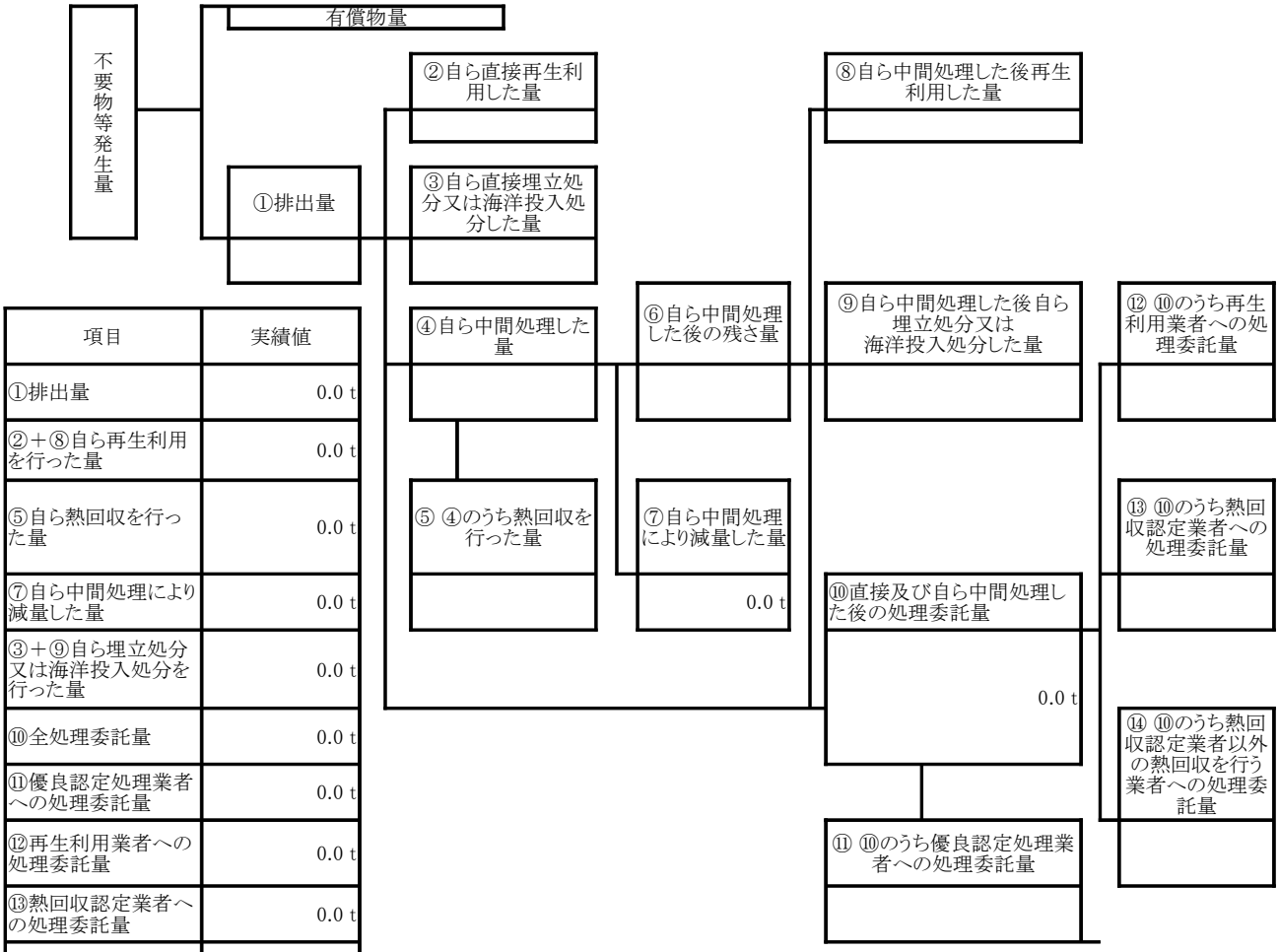
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



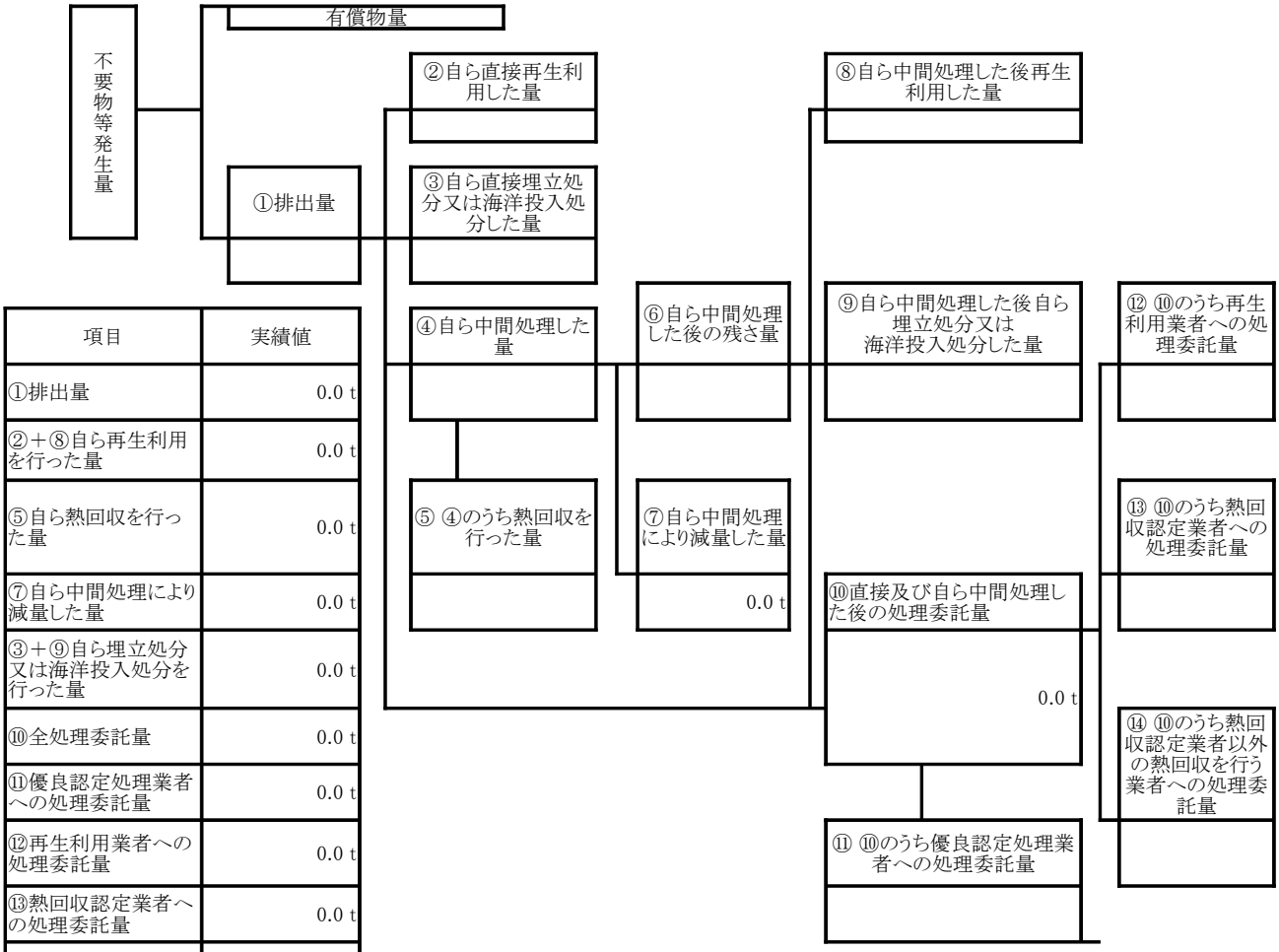
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



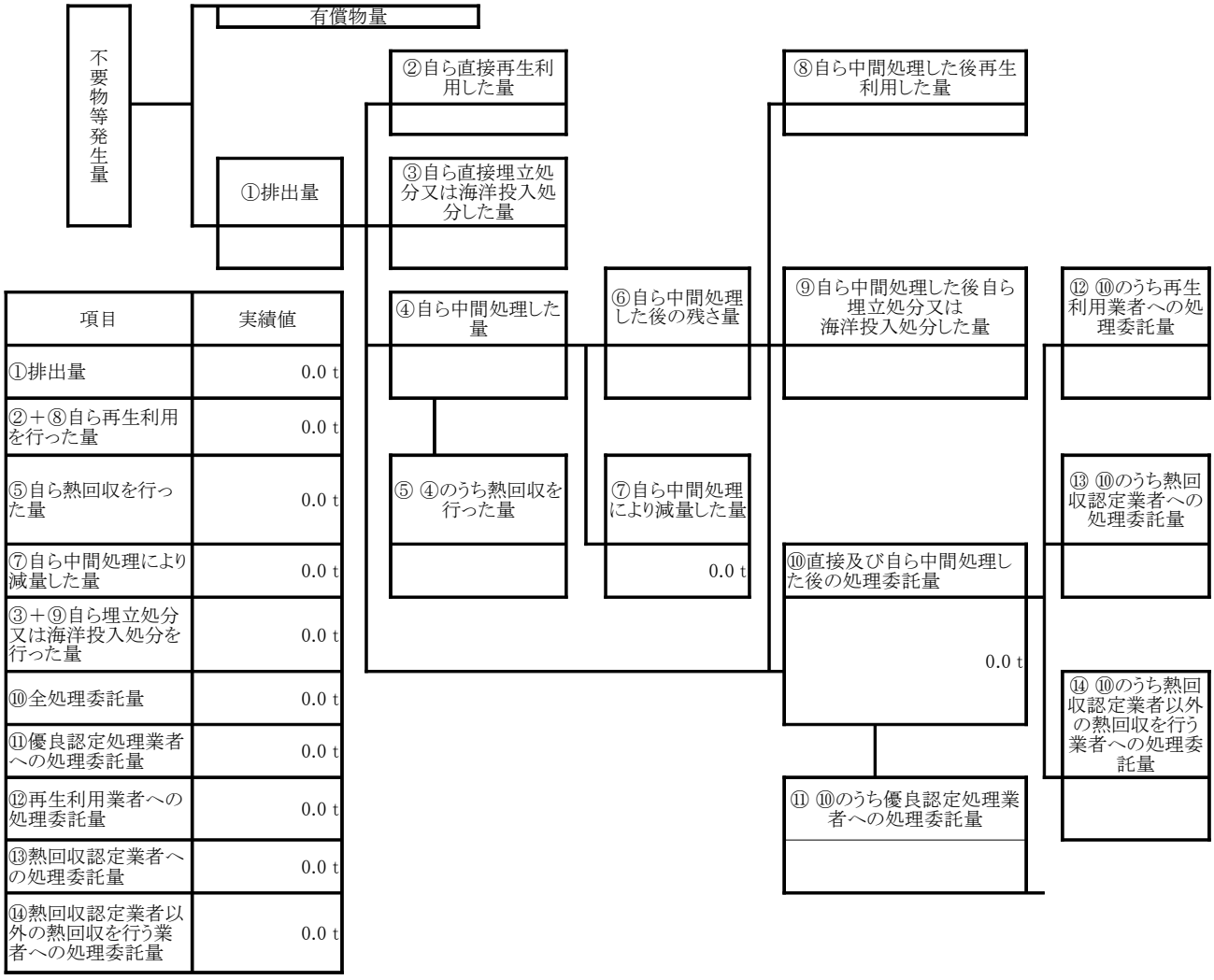
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



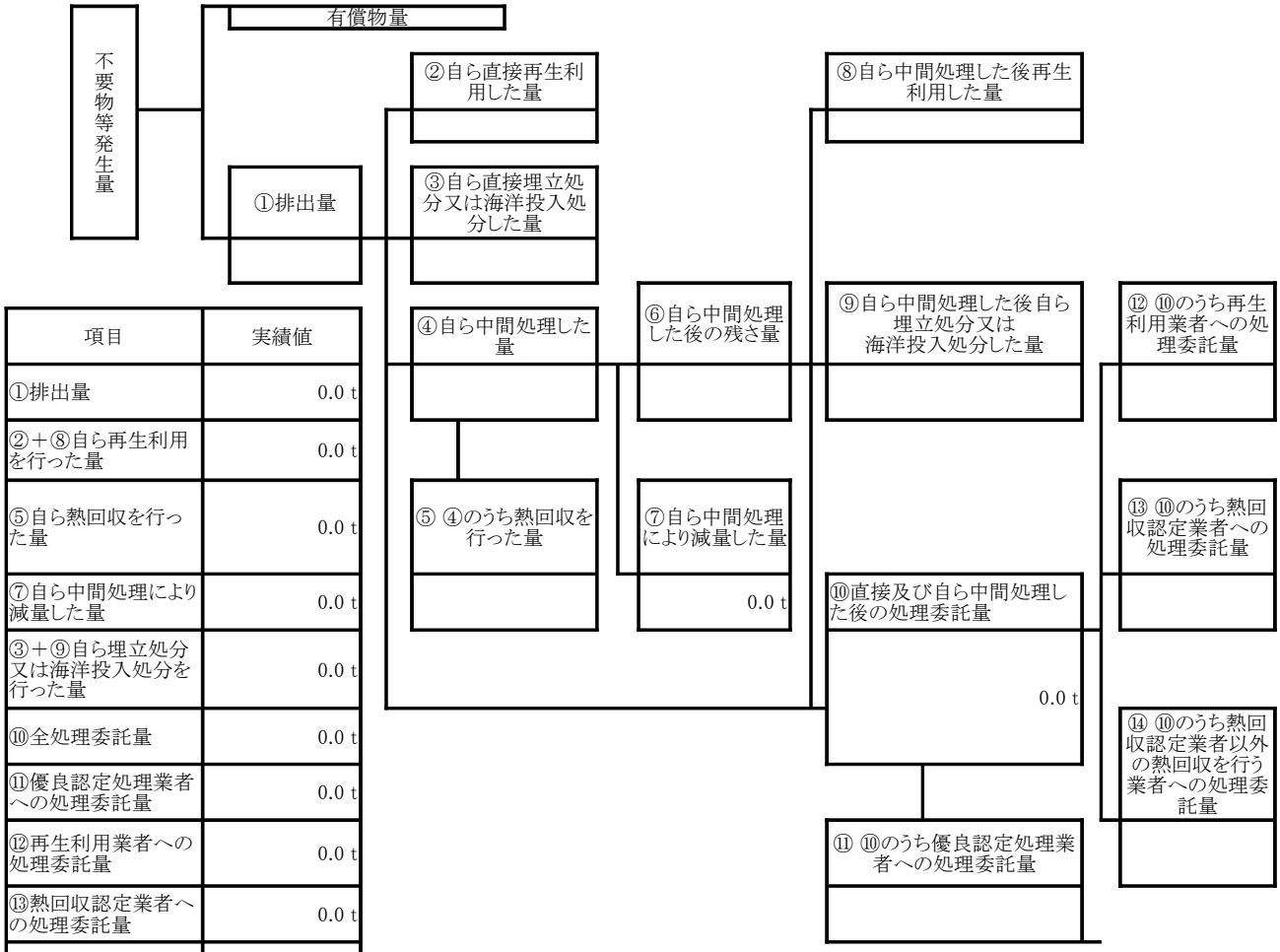
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　　6月　　17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒202-0021

住　所　東京都西東京市東伏見３－６－１９

氏　名　タクトホーム株式会社　代表取締役　小寺一裕

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　042-464-8788

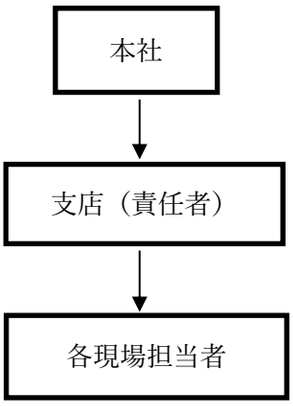
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タクトホーム株式会社　千葉県木更津市長須賀字上越戸　他　新築工事
事業場の所在地	千葉県木更津市長須賀字上越戸
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	資本金　1,429,020,000円
③　従業員数	1,137名（2023年3月31日現在）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物は現場ごとに分別、収集を行い、搬出する。 また、産業廃棄物の運搬・収集・処分について法令に従い 適切な業者を選定し、書面契約を行い処理を行う。

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



・電子・紙マニフェスト管理
・全支店の廃棄物処理に関する検討

・適切な産廃業者の選定
・現場担当者、各業者へ産業廃棄物の分別徹底指導

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
排出量	275.9 t	722.7 t

（これまでに実施した取組）

廃プラスチック類：梱包材を最小限にする
木くず：フルプレカットの導入
金属くず：プレカット加工による軽量鉄骨天井下地導入

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
排出量	183.9 t	481.8 t

（今後実施する予定の取組）

・廃プラスチック類：梱包材を最小限にする
・木くず：フルプレカットの精度向上
・ガラス陶磁器くず（石膏ボード）：数量精算時の精度向上
・金属くず：軽量鉄骨天井下地のプレカット時の精度向上

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラ	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラ	木くず
全処理委託量＿	275.9 t	722.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	64.8 t	203.3 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>廃プラ</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>183.9 t</td><td>481.8 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>92.0 t</td><td>240.9 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。廃プラスチック類の再生利用ができる処理業者への委託を目指す。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		排　出　量	255.3 t	23.6 t	259.7 t	0.7 t	461.0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		排　出　量	170.2 t	15.7 t	173.1 t	0.5 t	307.4 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	255.3 t	23.6 t	259.7 t	0.7 t	461.0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	73.7 t	3.5 t	29.2 t	0.0 t	303.1 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	170.2 t	15.7 t	173.1 t	0.5 t	307.4 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	85.1 t	7.9 t	86.6 t	0.3 t	153.7 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒202-0021
住 所　東京都西東京市東伏見3－6－19
氏 名　タクトホーム株式会社 代表取締役 小寺一裕
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 042-464-8788

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タクトホーム株式会社　千葉県木更津市長須賀字上越戸　他　新築工事
事業場の所在地	千葉県木更津市長須賀字上越戸
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

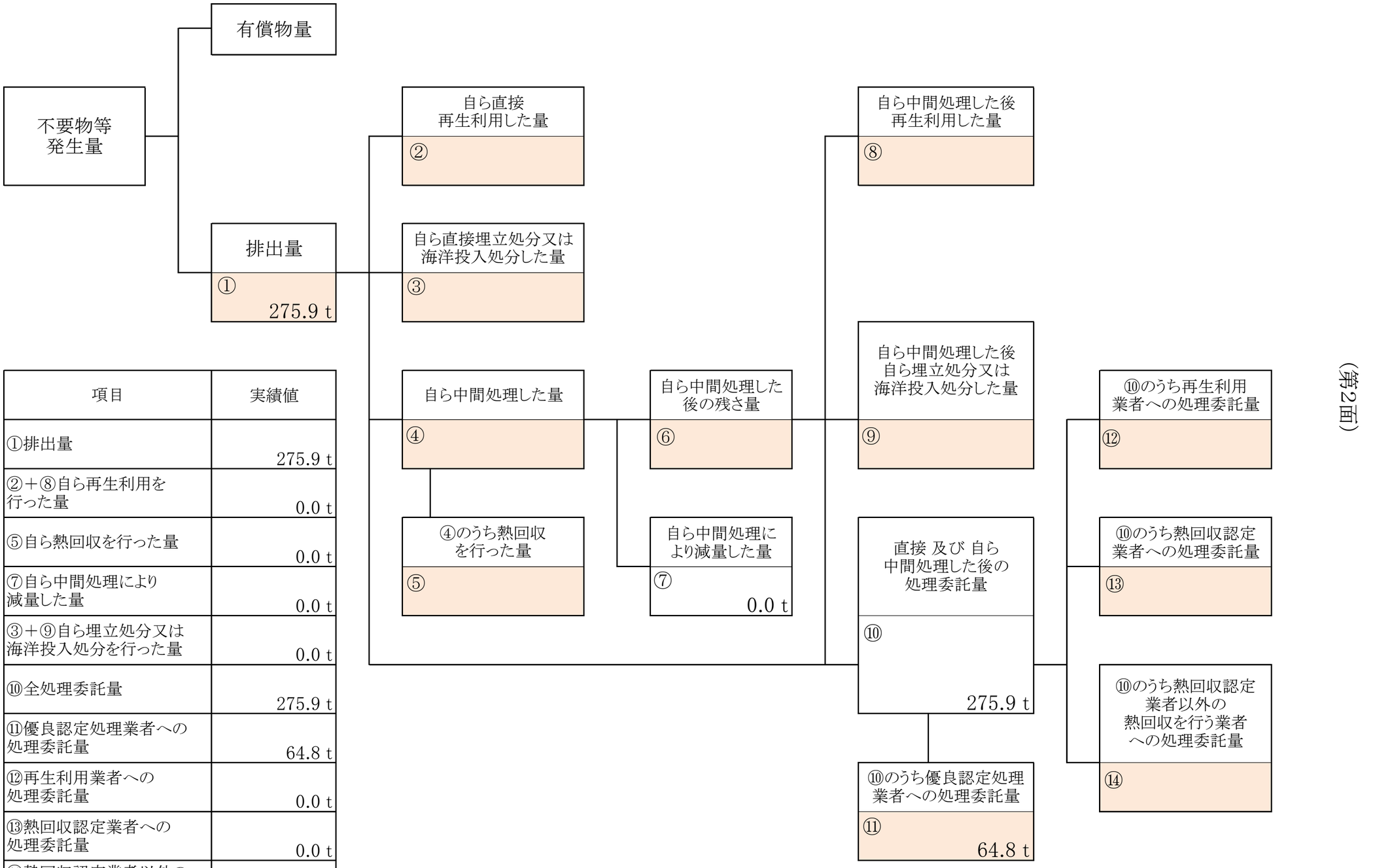
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1520.8ｔ	全処理委託量	1520.8ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	760.4ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

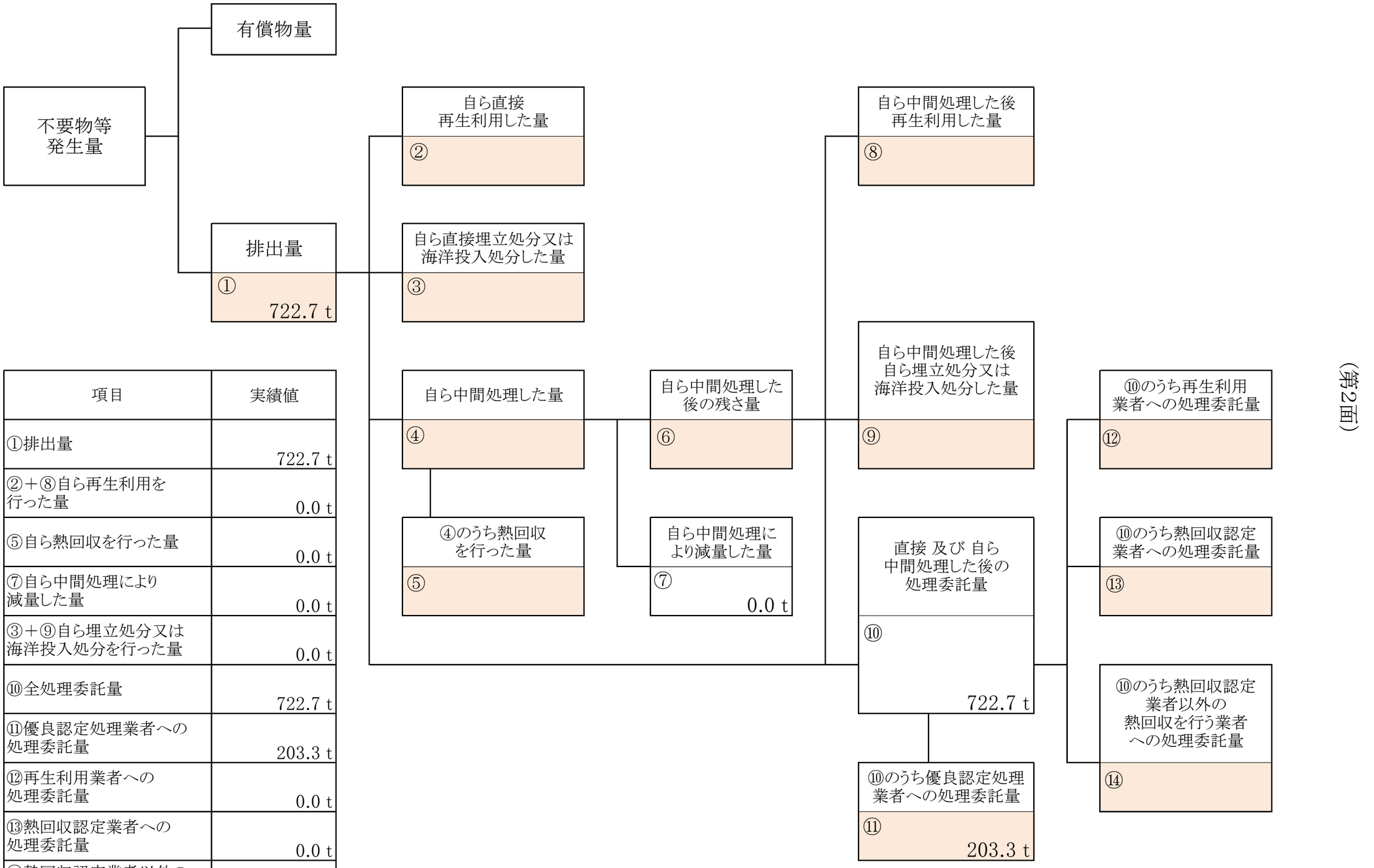


項目	実績値
①排出量	275.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	275.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	64.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

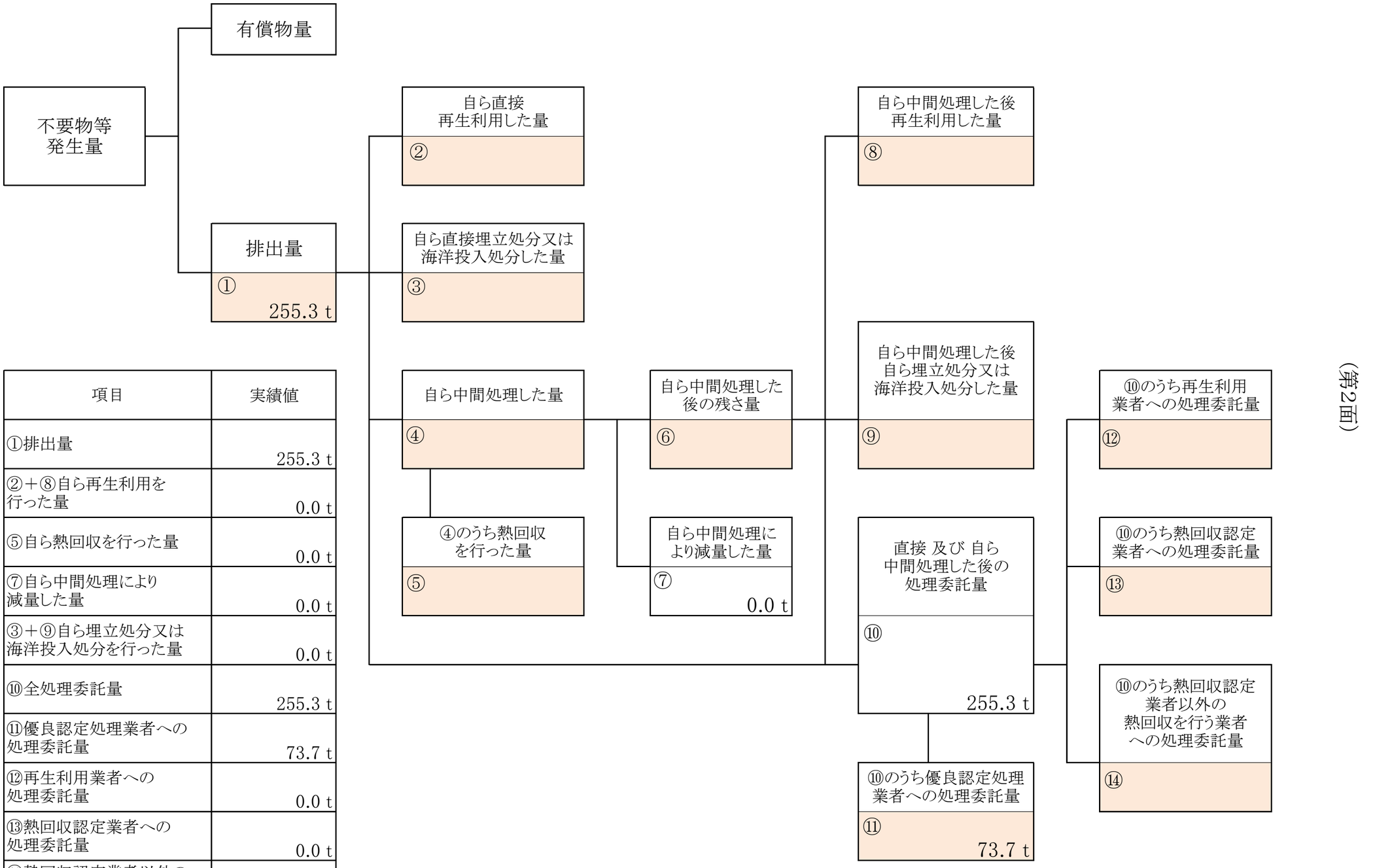


項目	実績値
①排出量	722.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	722.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	203.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

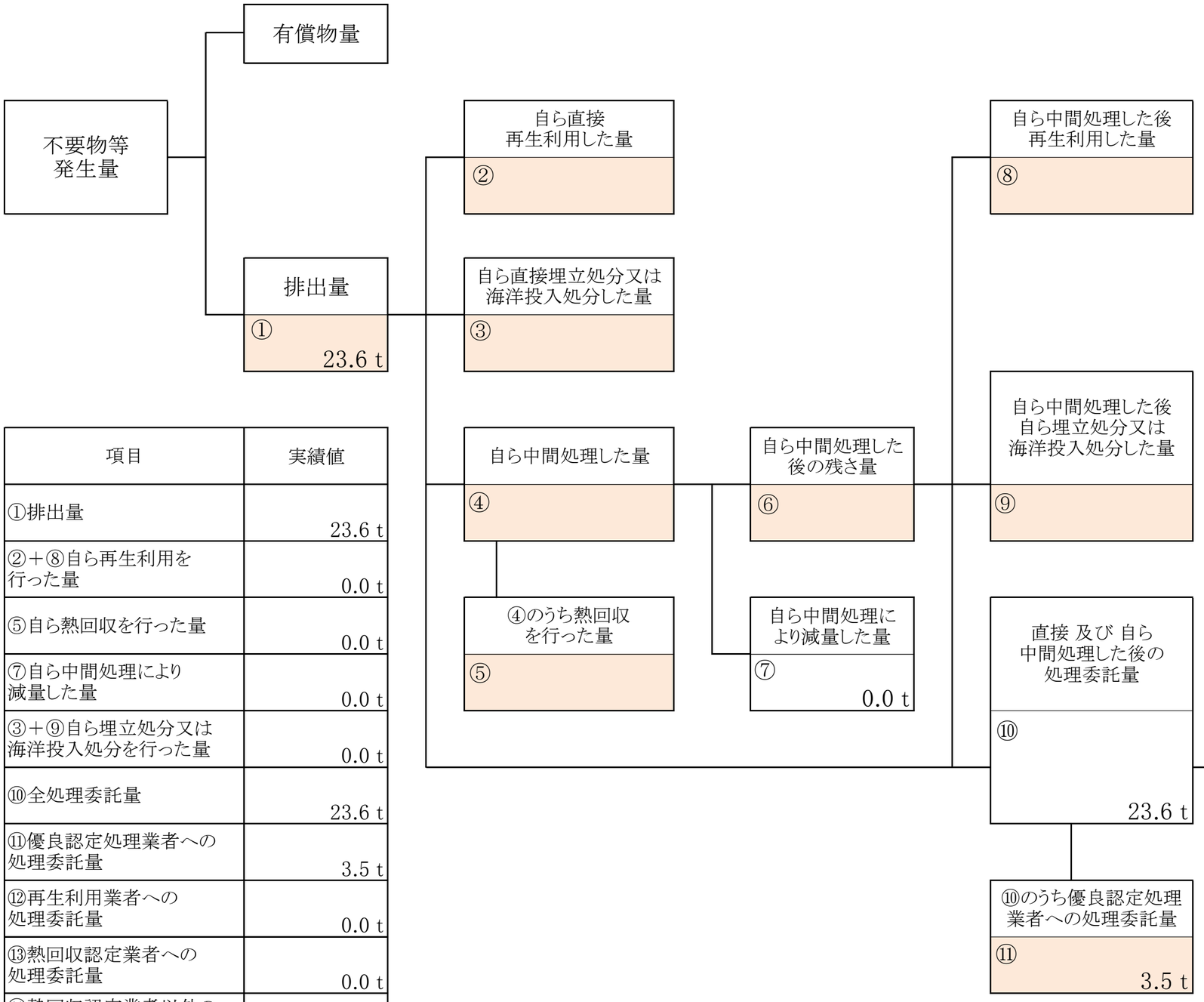


項目	実績値
①排出量	255.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	255.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	73.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

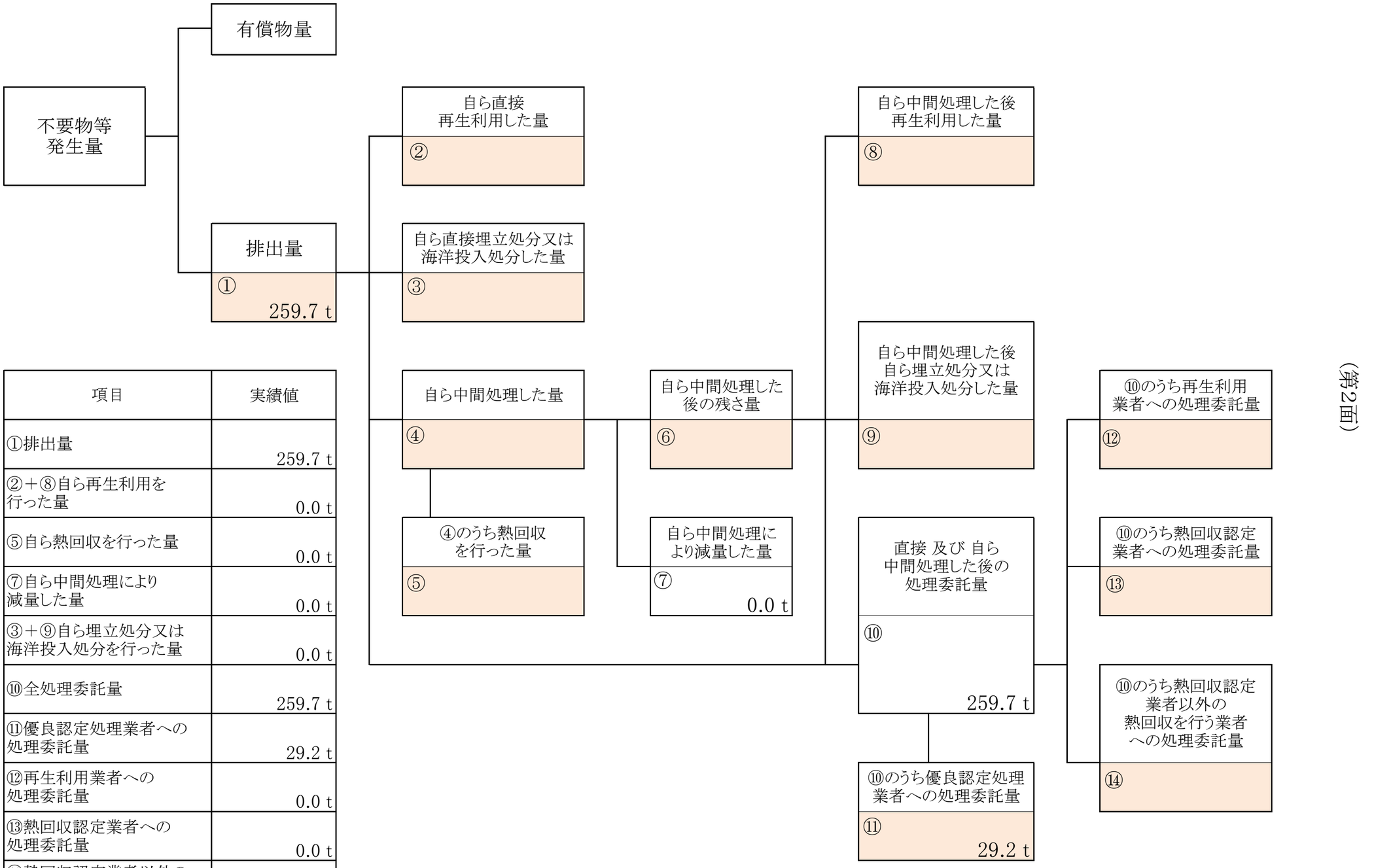


項目	実績値
①排出量	23.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず ）

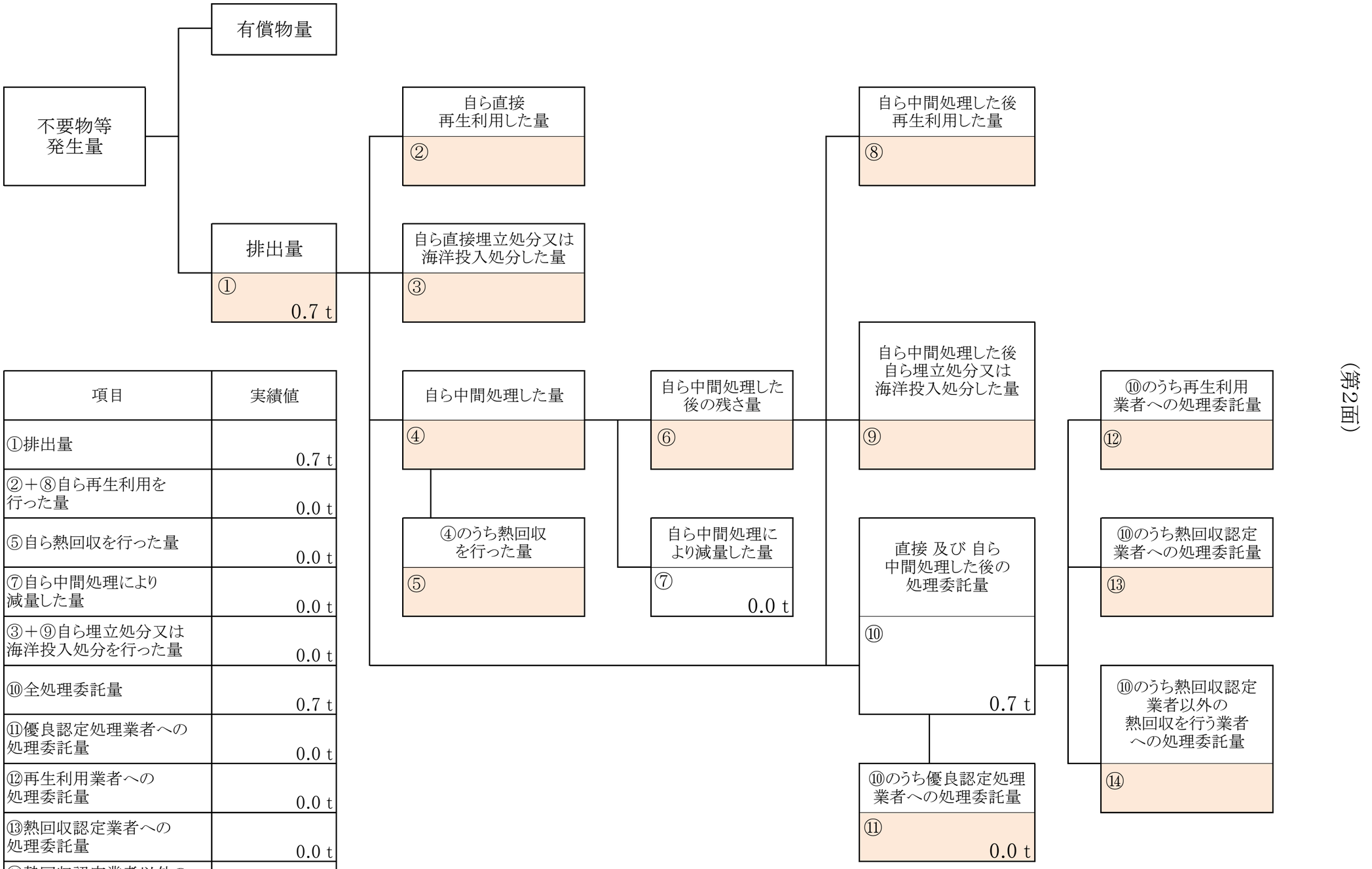


項目	実績値
①排出量	259.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	259.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

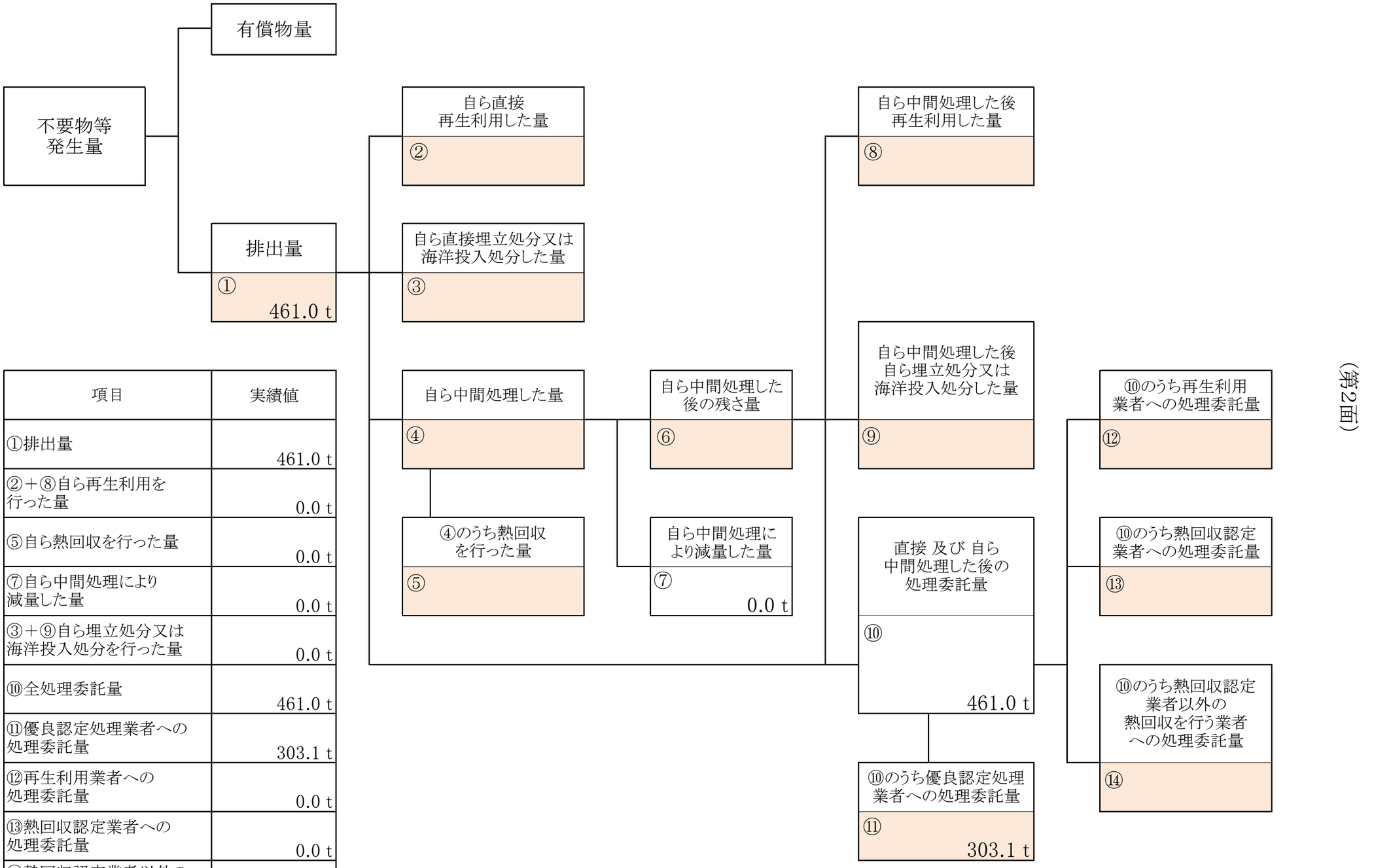


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	461.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	461.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	303.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 5月 10日

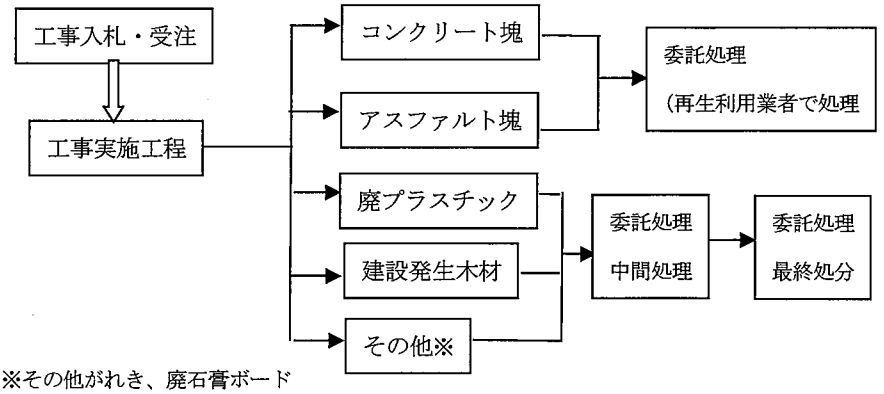
千葉県知事
熊 谷　俊 人 殿

提出者
住　所　千葉県印西市原1-1-5
氏　名　竹内建設株式会社
代表取締役　竹内　義政
電話番号　0476-40-0033

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹内建設株式会社
事業場の所在地	千葉県印西市原1-1-5
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

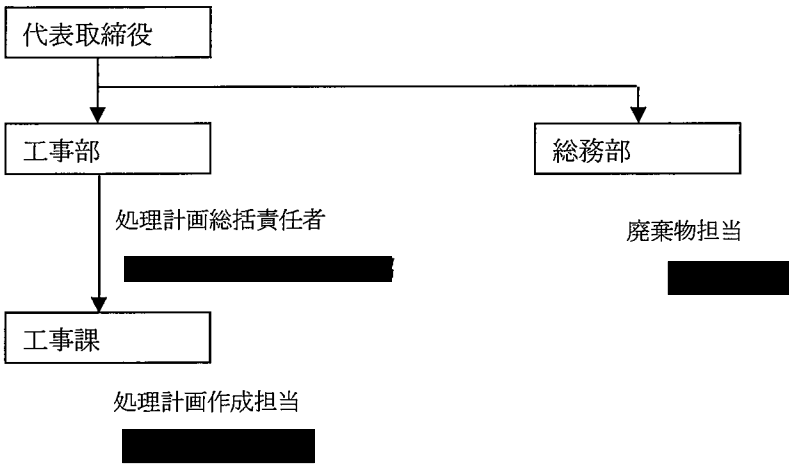
①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　22.5億円
③従業員数	45人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	 ※その他がれき、廃石膏ボード 紙くず、汚泥など

印旛地域振興事務所
6.5.10
収受

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】　「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】　「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】「別紙のとおり」		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙-産業廃棄物処理計画書(令和6年度)

産業廃棄物の種類			コンクリート塊	木くず	アスファルト塊	その他がれき	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木 屑	特別管理型 石綿	石綿含有廃棄物	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	混合廃棄物(管理型)	安定型混合廃棄物	合 計
産業廃棄物の搬出抑制に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		搬出量	1000.86t	496.235t	463.66t	1084.32t	4029.73t	0.02t	35.135t	6.7t	1.25t	1.7t	0.0052t	3.3t	35.15t	209.82t	7t	64.672t	7,439.5572
		(これまでに実施した取組)																	
	計画	【目標】																	
		搬出量	700.0t	300.0t	300.0t	600.0t	1000.0t	0.0t	20.0t	3.0t	0.50t	0.5t	0.002t	0t	5.0t	100.0t	0.0t	40.0t	3,069.012
		(今後実施する予定の取組)		使用回数を増やし、搬出量を減ら														少量でも分別を進める	
産業廃棄物の分別に関する事項	現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	集合処理	
	計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	できるだけ分別回収	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(これまでに実施した取組)		これまで再生利用したことはない。			これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	
	計画	【目標】																	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(今後実施する予定の取組)		今後も再生利用する予定はない。			今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(これまでに実施した取組)	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	
	計画	【目標】																	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(今後実施する予定の取組)	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(これまでに実施した取組)	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	
	計画	【目標】																	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(今後実施する予定の取組)	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		全処理委託量 全処理委託量	1000.86t	496.24t	463.66t	1084.32t	4029.73t	0.020t	35.135t	6.70t	1.25t	1.70t	0.0052t	3.30t	35.15t	209.82t	7.00t	64.7t	
		全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 再生利用業者への処理委託量	1000.86t	496.2t	463.66t	1084.32t	4029.73t	0.020t	35.135t	6.70t	1.25t	1.70t	0.0052t	3.30t	35.15t	209.82t	7.00t	64.7t	
		全処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(これまでに実施した取組)	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	
	計画	【目標】																	
		全処理委託量 全処理委託量	700.0t	300.0t	300.0t	600.0t	1000.0t	0.0t	20.0t	3.0t	0.50t	0.50t	0.002t	0t	5.0t	100.0t	0.0t	40.0t	
		全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 再生利用業者への処理委託量	700.0t	300.0t	300.0t	600.0t	1000.0t	0.0t	20.0t	3.0t	0.50t	0.50t	0.002t	0t	5.00t	100.00t	0.00t	40.00t	
		全処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(今後実施する予定の取組)	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	分別を徹底し、総量を減量する	分別を徹底し、総量を減量する	

会社方針 ： 引き続き、受注する工事の種別により廃棄物の種類と量が大幅に増減する局面は拭えないが、今後も前年度同様に減量・再生利用を図っていく所存です。

竹内建設株式会社

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 5 月 10 日

千葉県知事
熊 谷 俊 人 殿

提出者
住 所 千葉県印西市原1-1-5
氏 名 竹内建設株式会社
代表取締役 竹内 義政
電話番号 0476-40-0033

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	竹内建設株式会社
事業場の所在地	千葉県印西市原1-1-5
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月～ 令和６年３月

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,753.0ｔ	全処理委託量	1,753.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	1,753.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

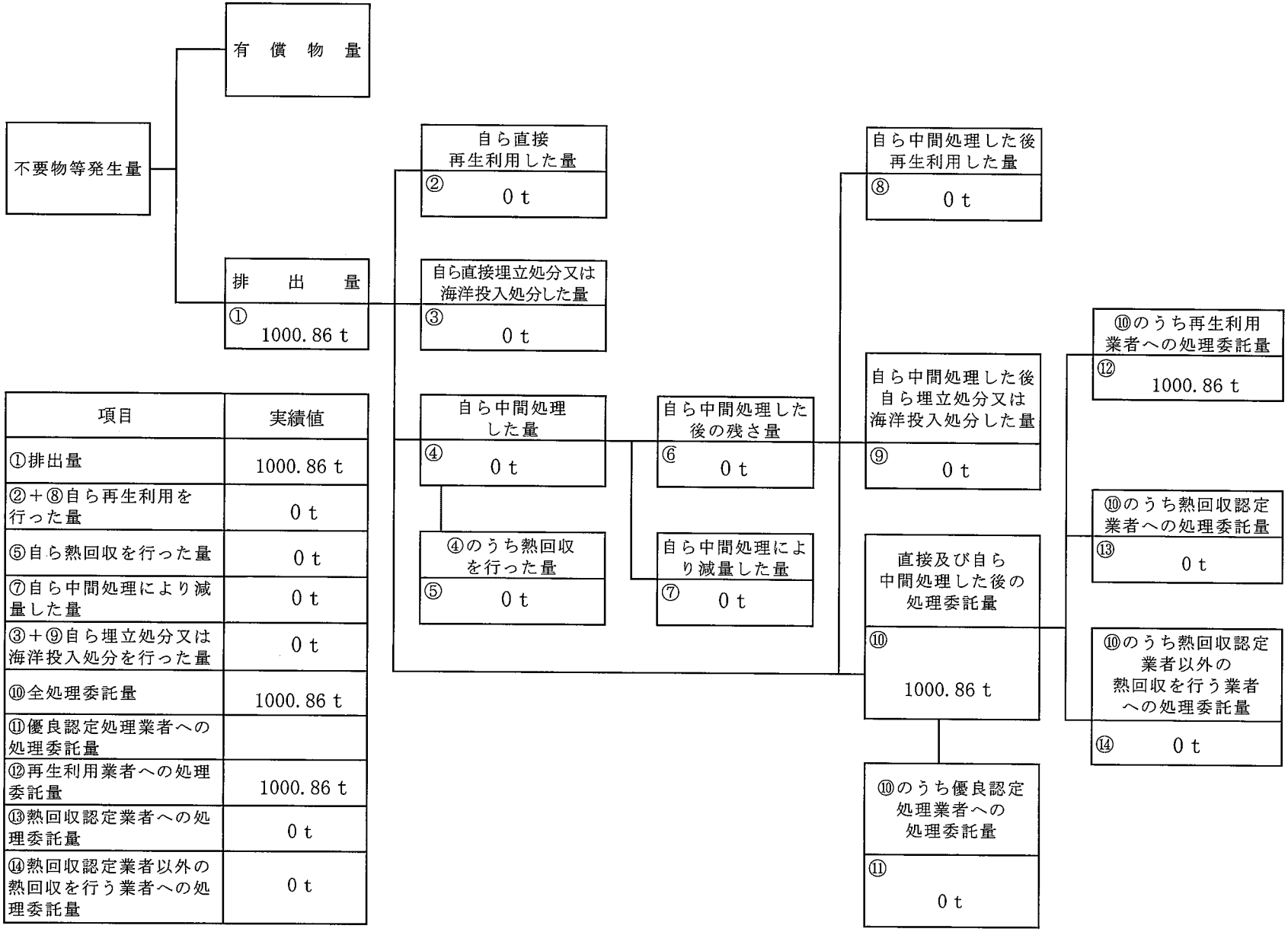
※事務処理欄

印藩 地域振興事務所 6.5.10 収受

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

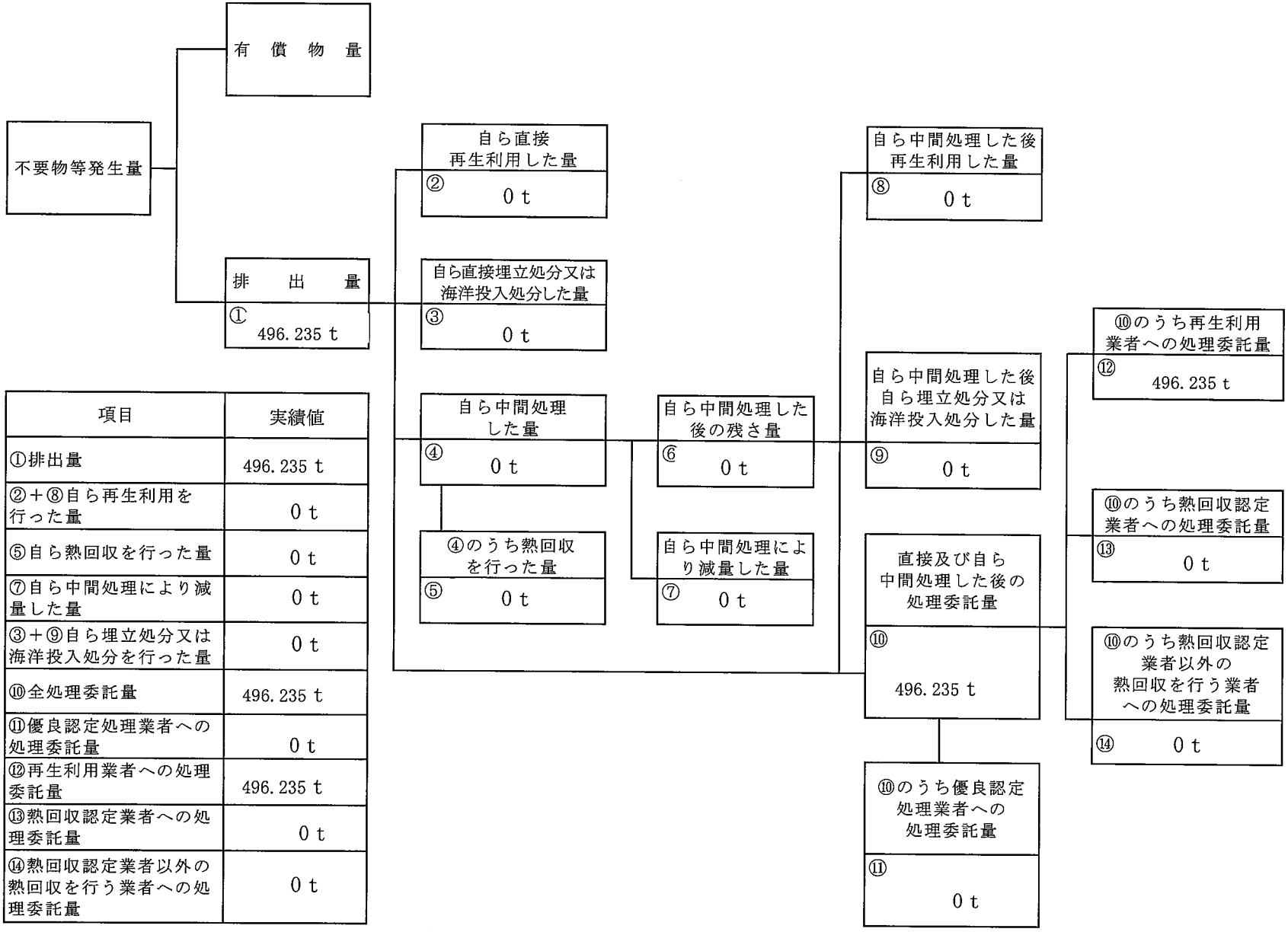
（産業廃棄物の種類：　コンクリート塊　　）



項目	実績値
①排出量	1000.86ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	1000.86ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1000.86ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

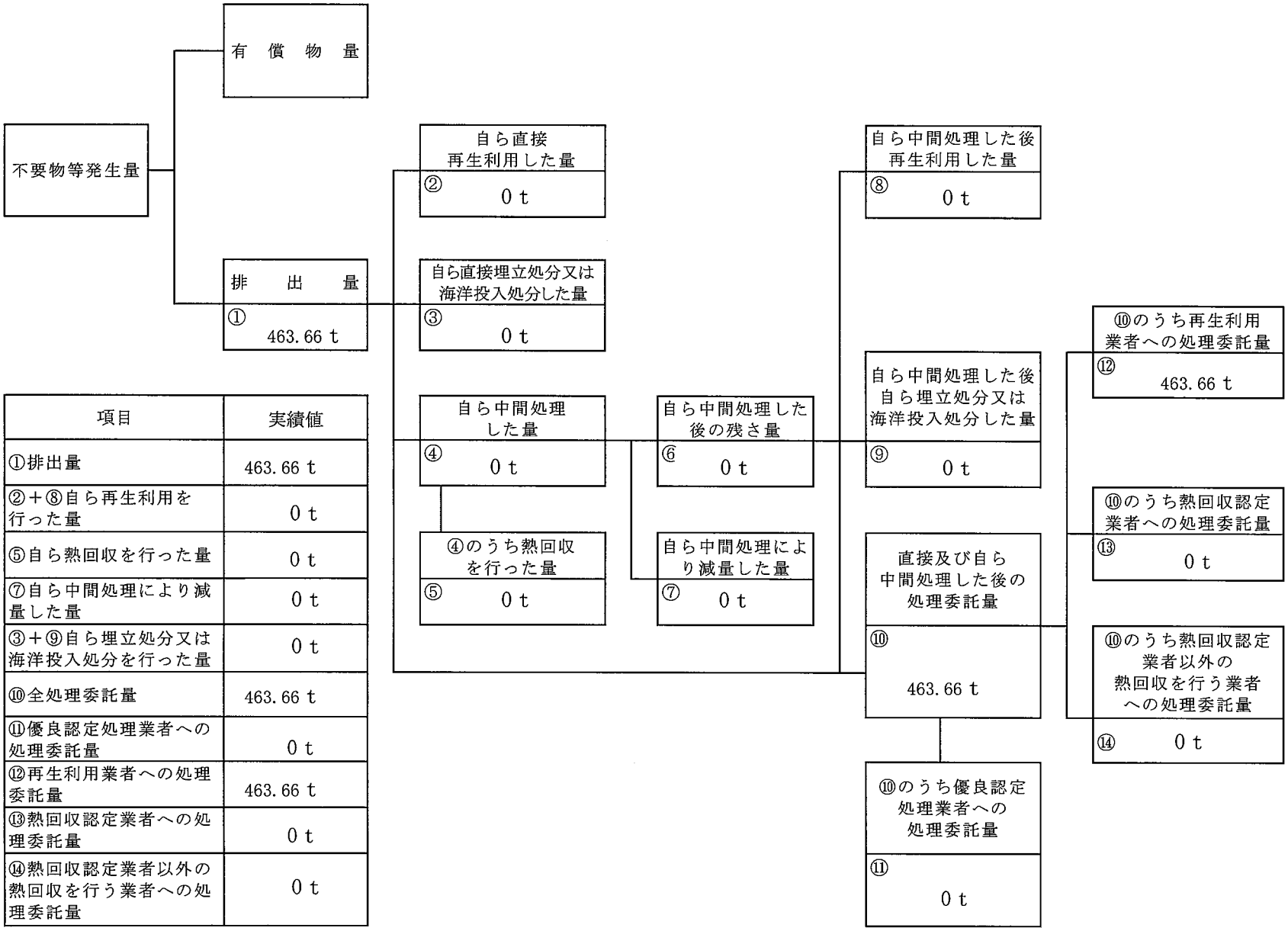
計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	496.235ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	496.235ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	496.235ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

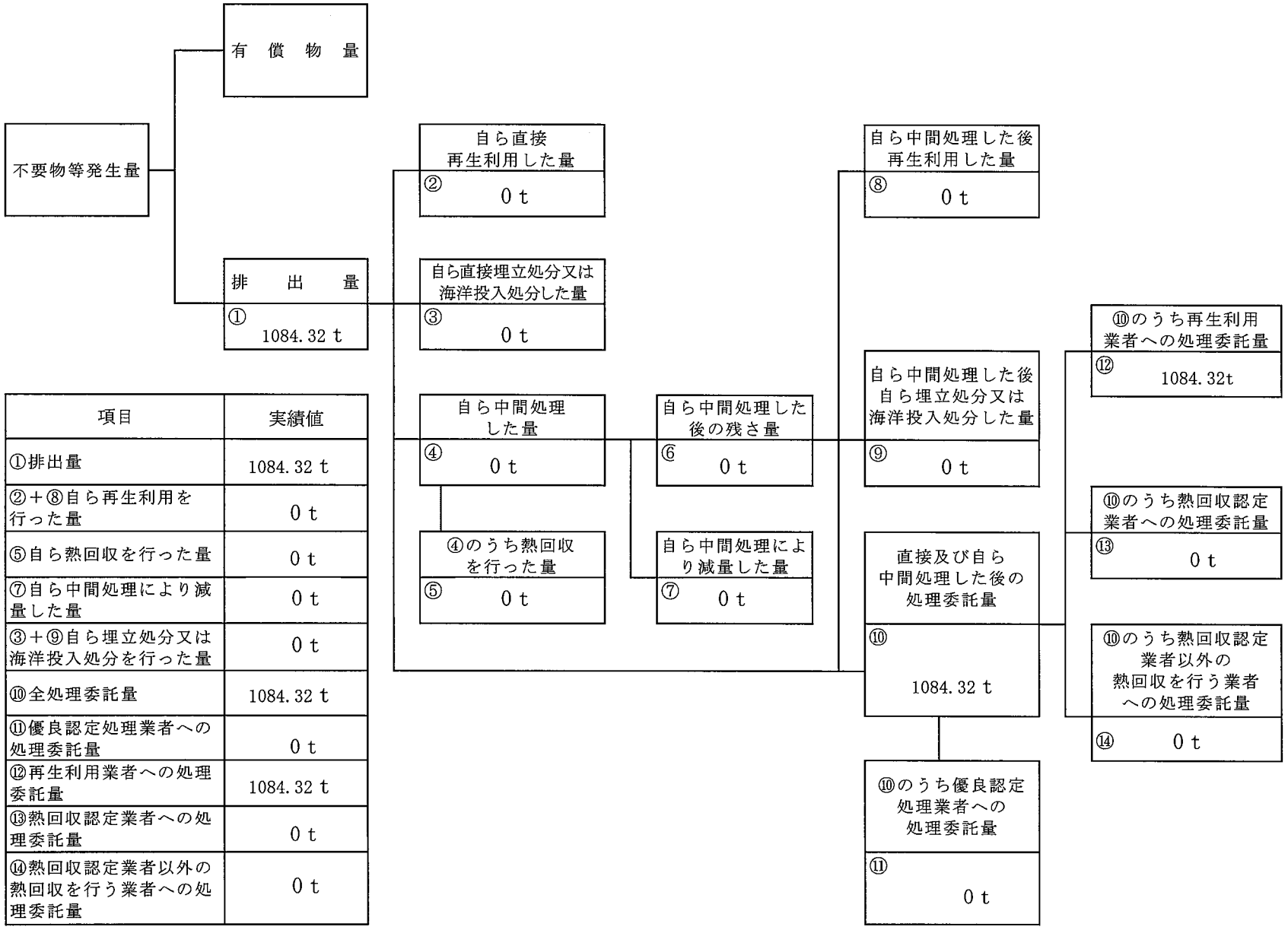
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　アスファルト塊　　）



項目	実績値
①排出量	463.66ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	463.66ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	463.66ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

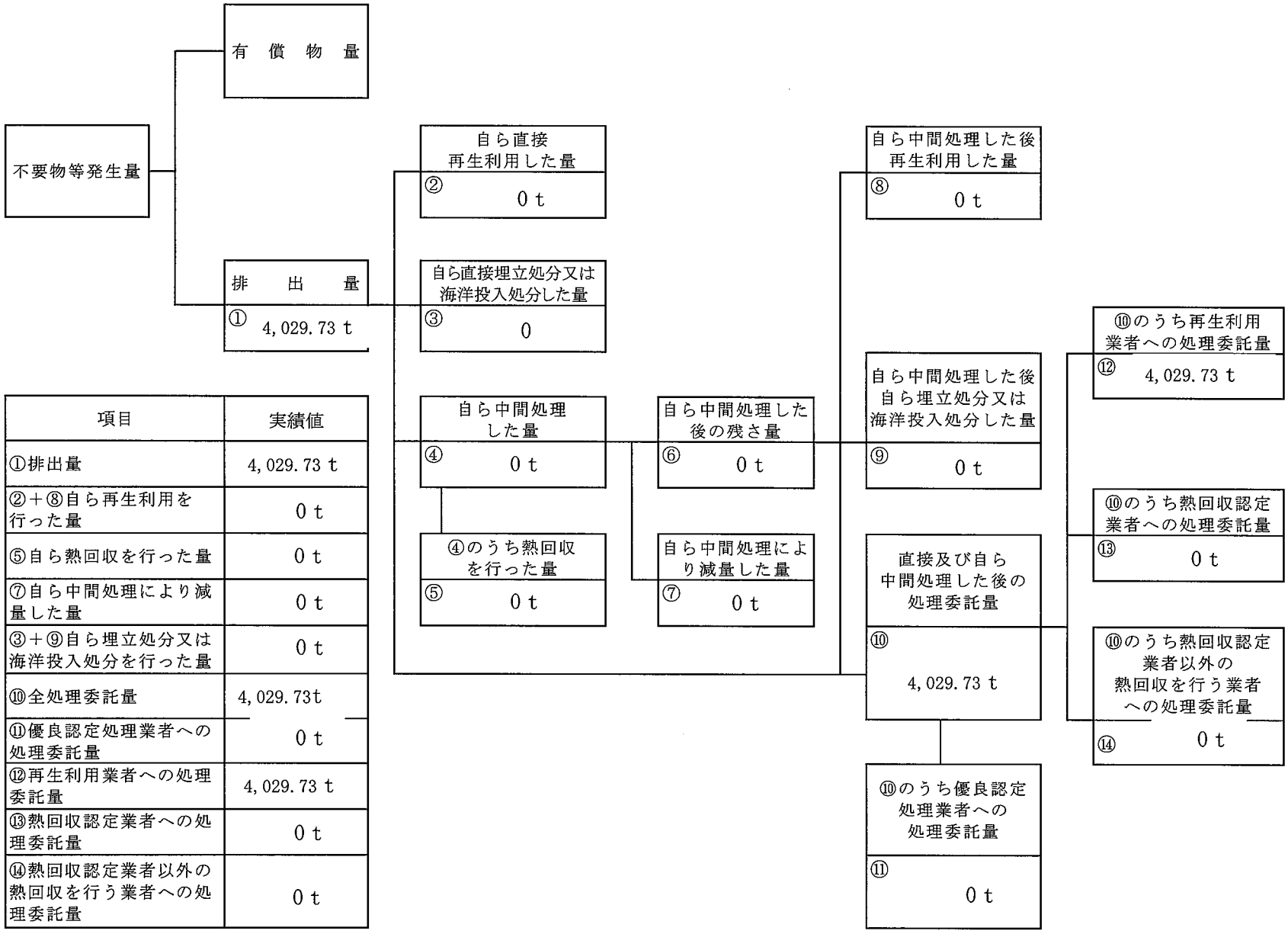
計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　その他がれき　　）



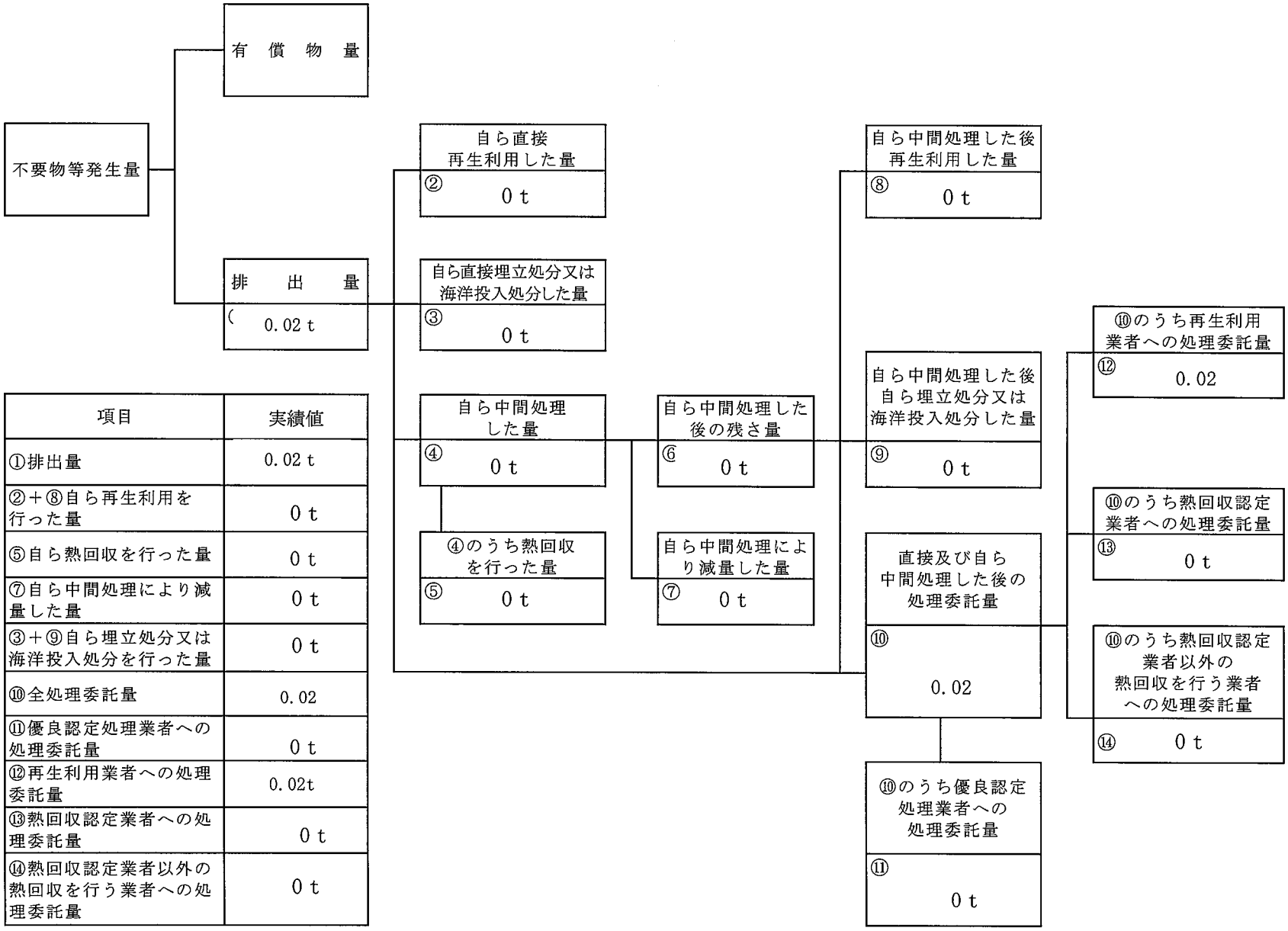
項目	実績値
①排出量	1084.32ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	1084.32ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	1084.32ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	4,029.73 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	4,029.73t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4,029.73 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

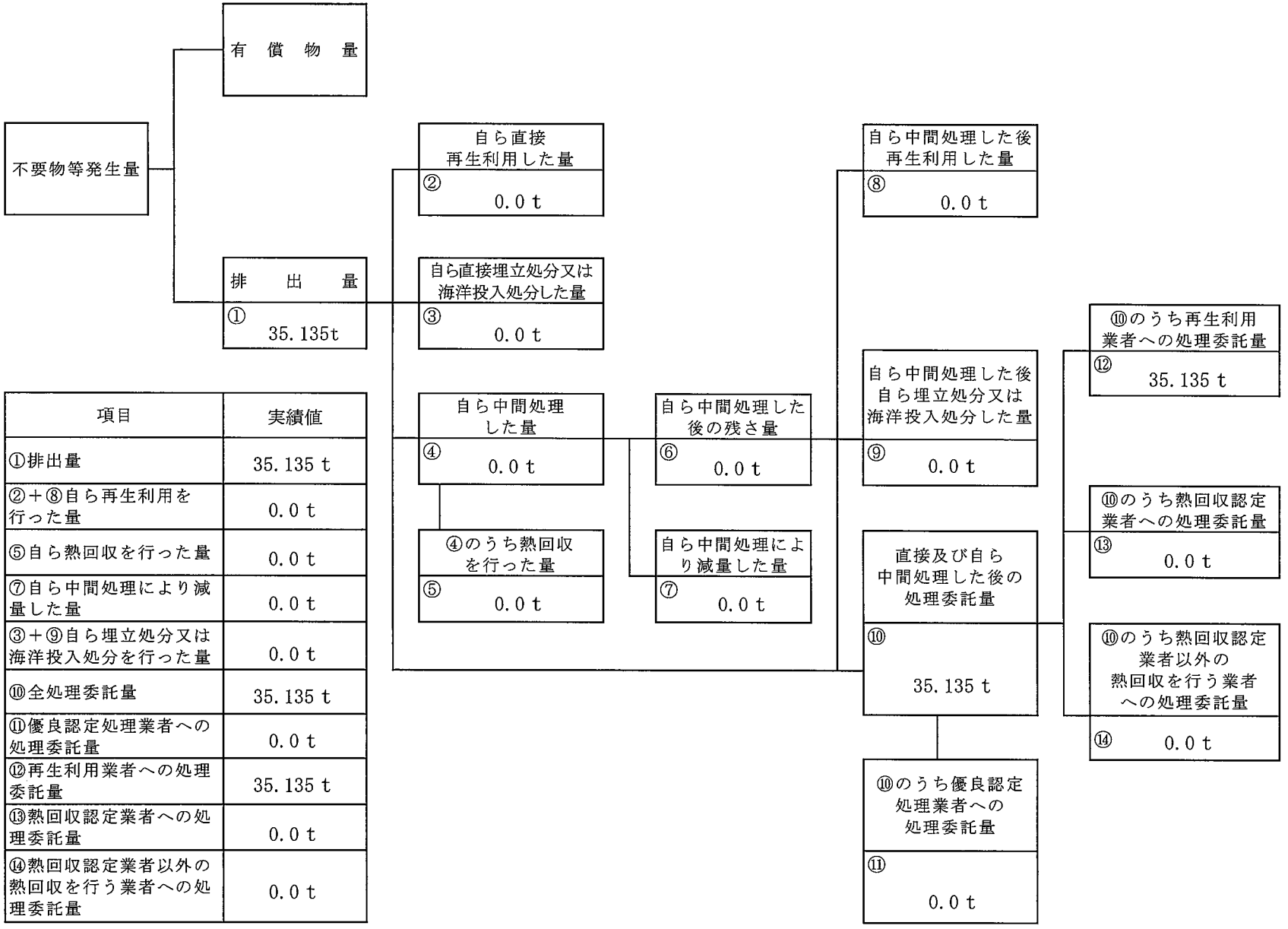
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　　）



項目	実績値
①排出量	0.02 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

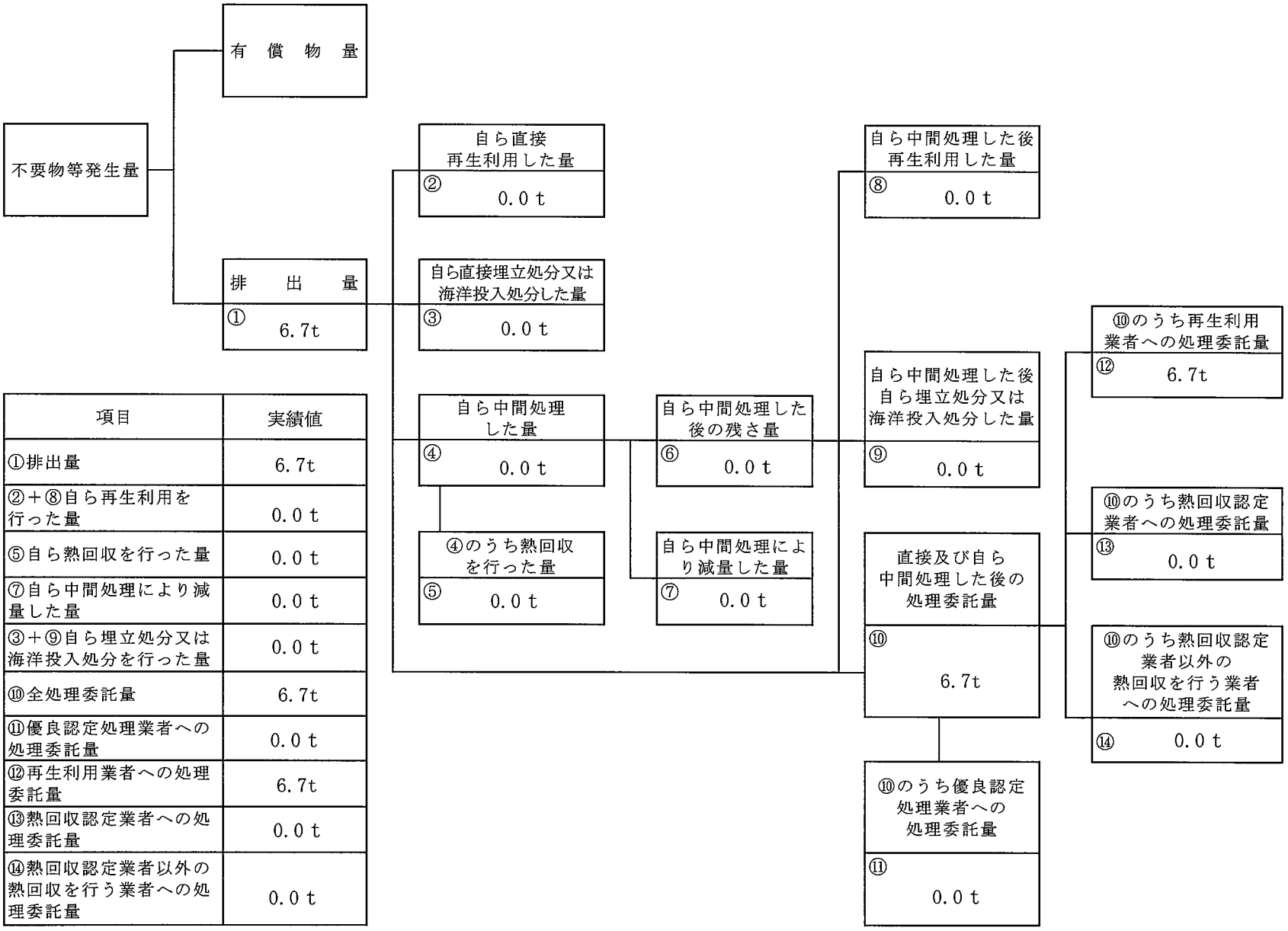
（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	35.135ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0.0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0ｔ
⑩全処理委託量	35.135ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	35.135ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ

計画の実施状況

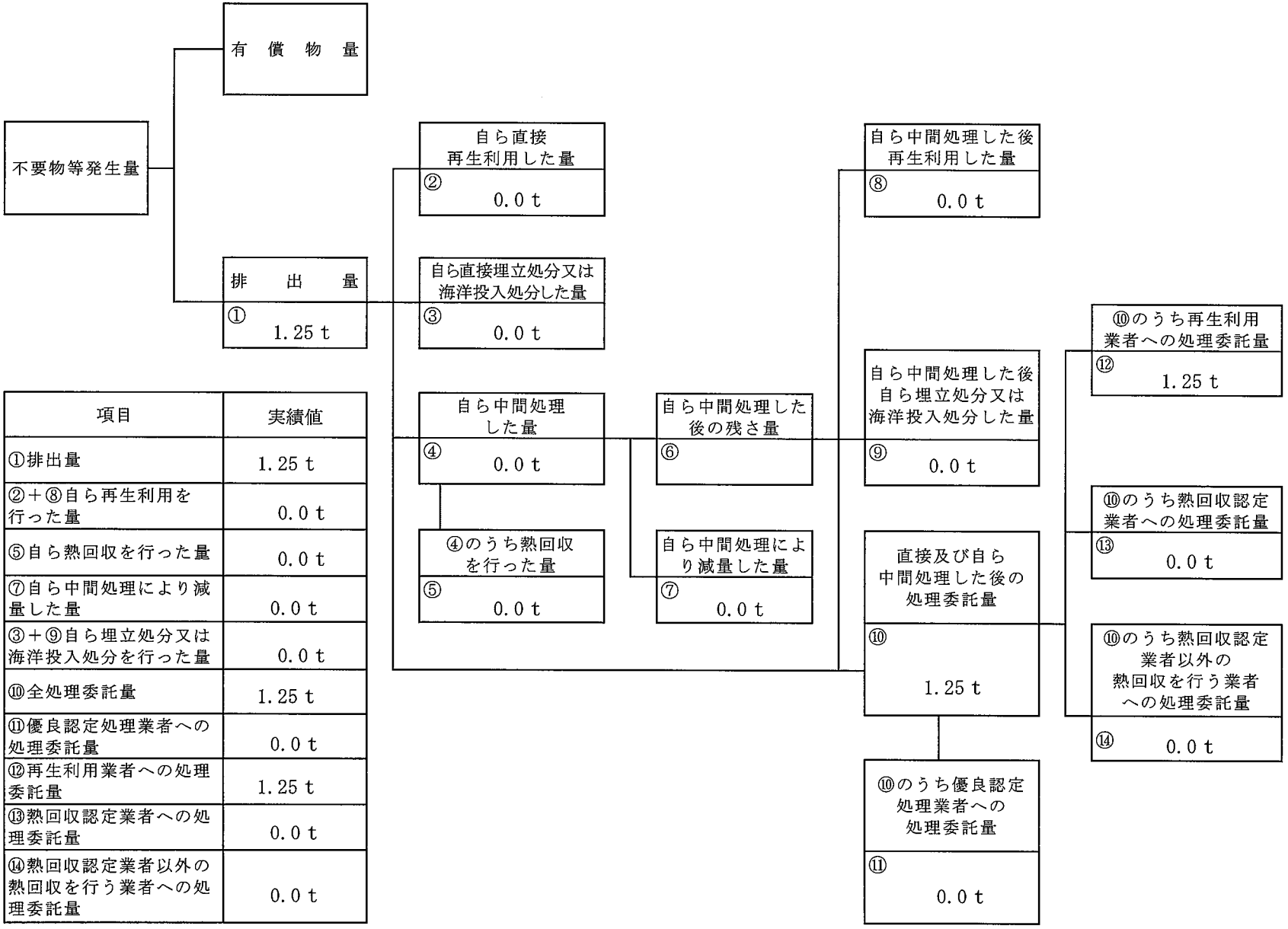
（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	6.7t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0t
⑩全処理委託量	6.7t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.7t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

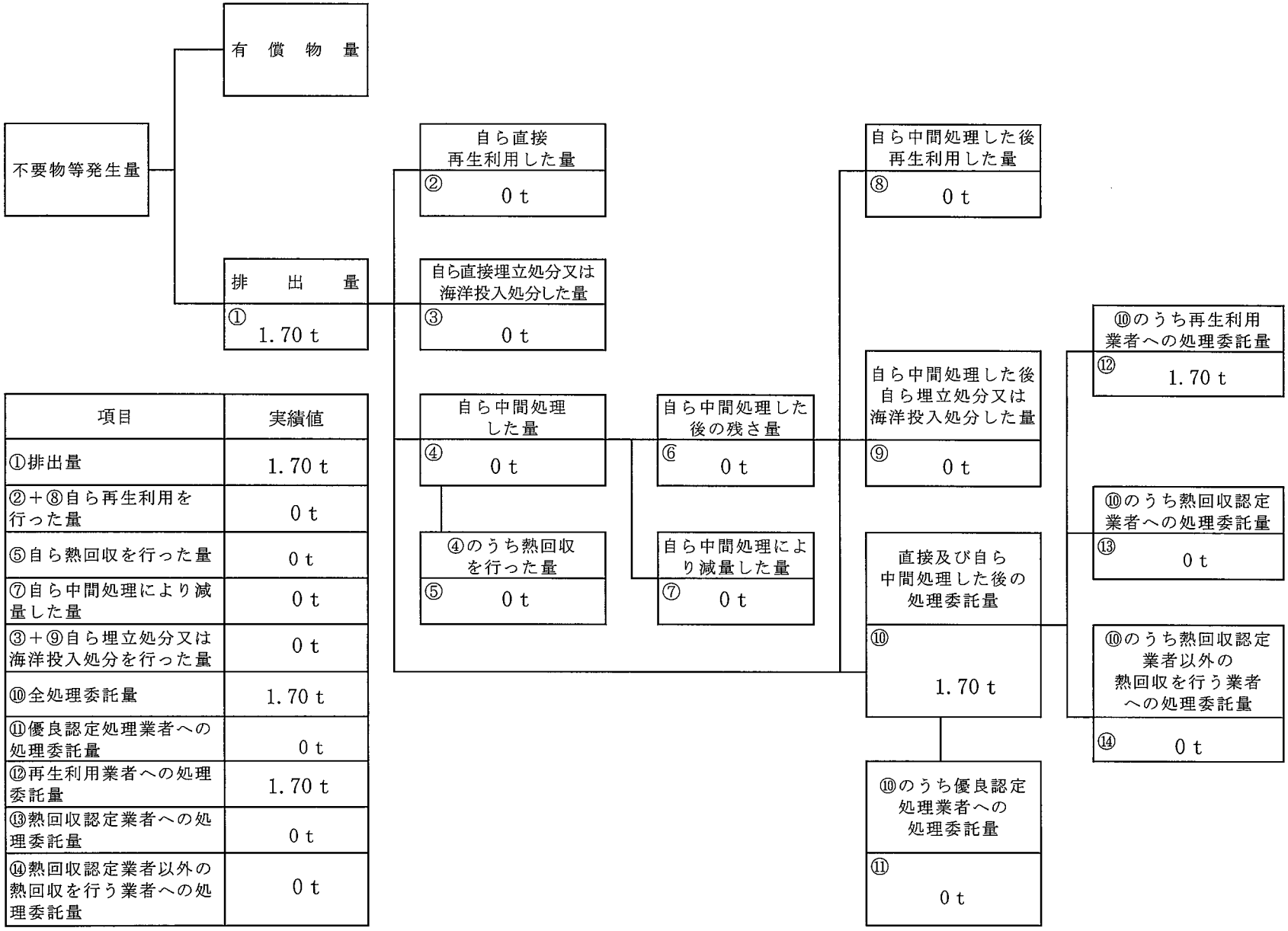
計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	1.25ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0.0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0ｔ
⑩全処理委託量	1.25ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	1.25ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ

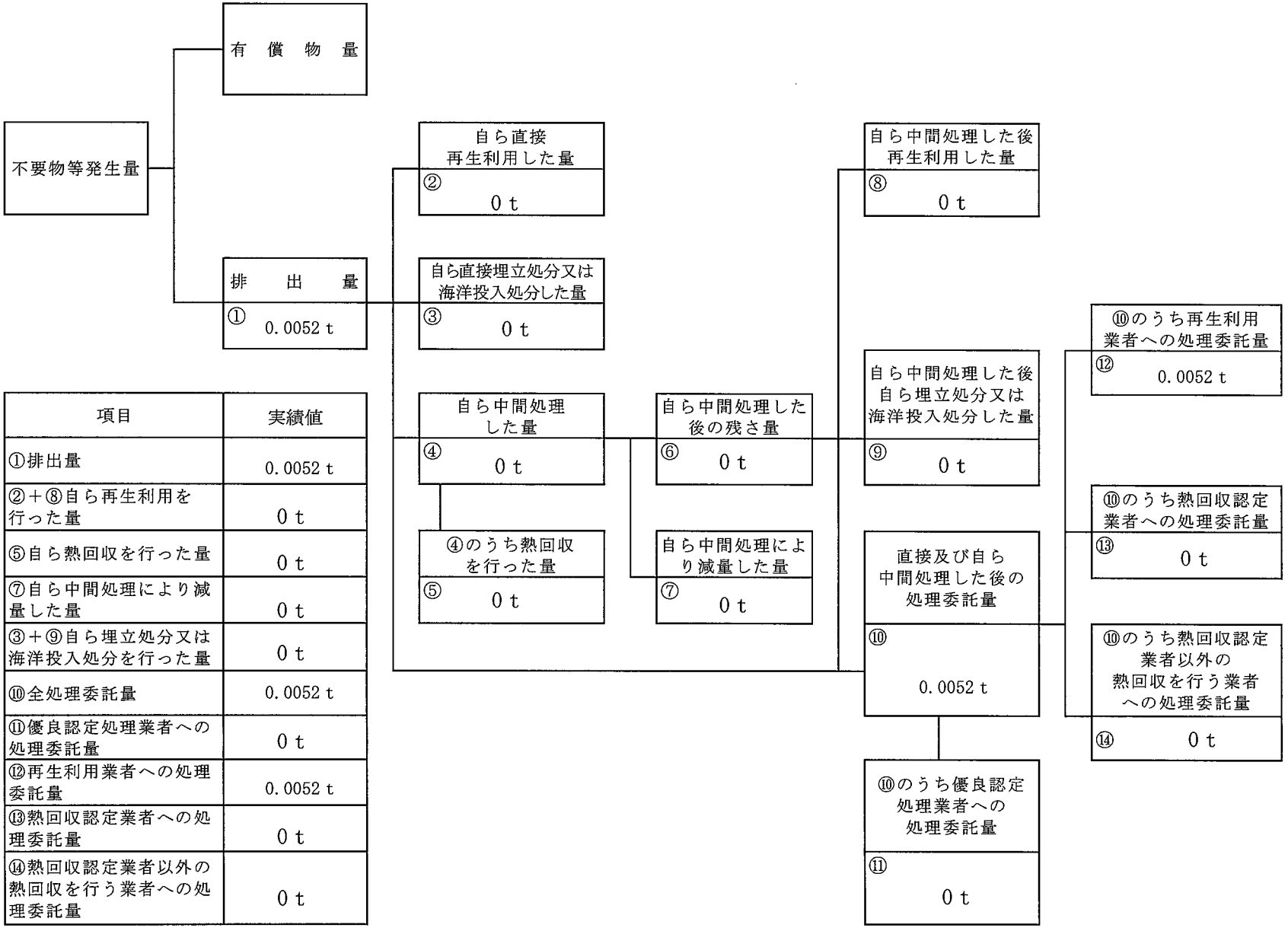
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　ガラス陶器　　）



項目	実績値
①排出量	1.70 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1.70 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.70 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

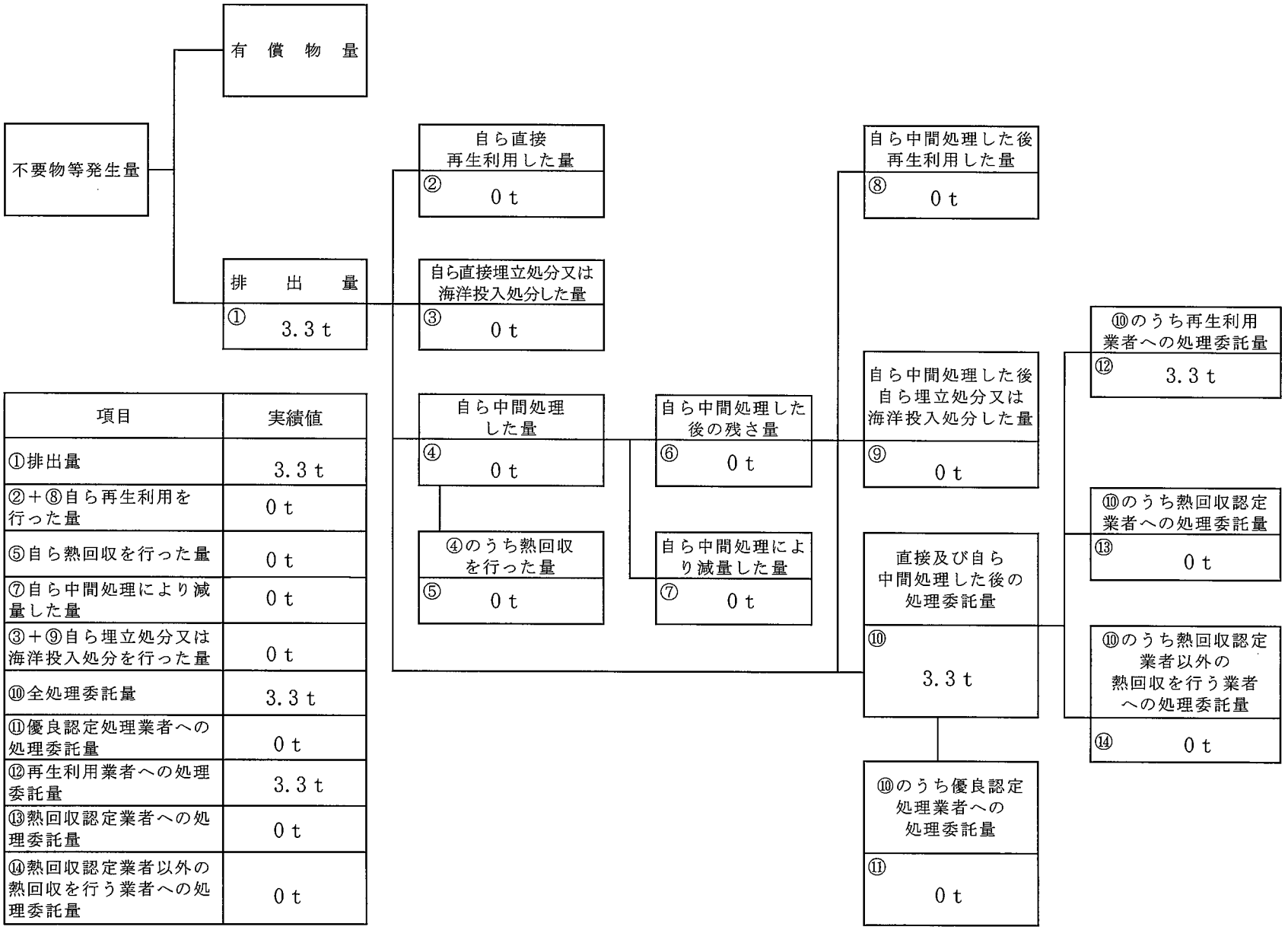
（産業廃棄物の種類：　水銀　）



項目	実績値
①排出量	0.0052 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	0.0052 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0052 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

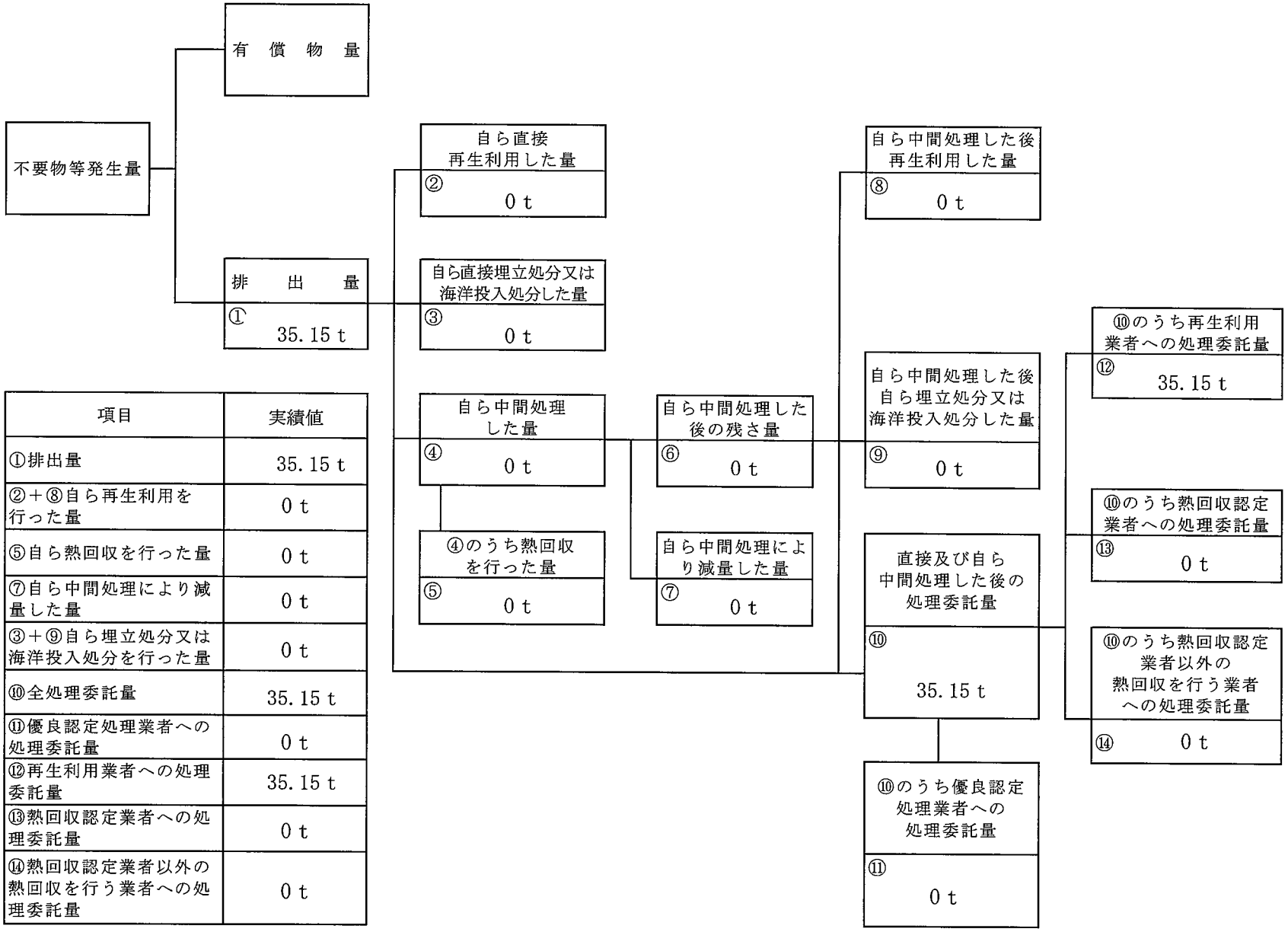
（産業廃棄物の種類：　特別管理型　石綿　　）



項目	実績値
①排出量	3.3ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	3.3ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	3.3ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

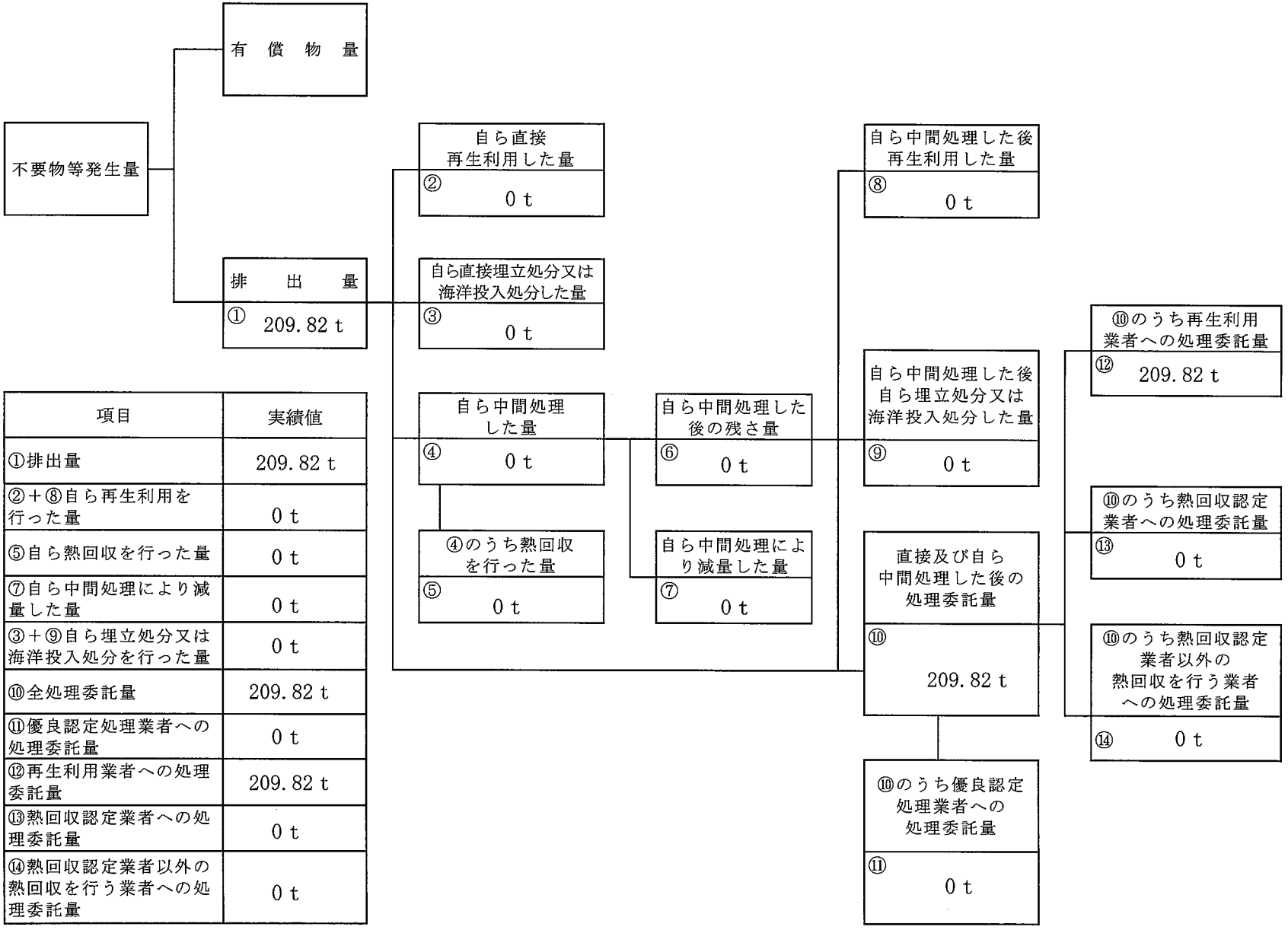
（産業廃棄物の種類：　石綿含有廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	35.15ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	35.15ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	35.15ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

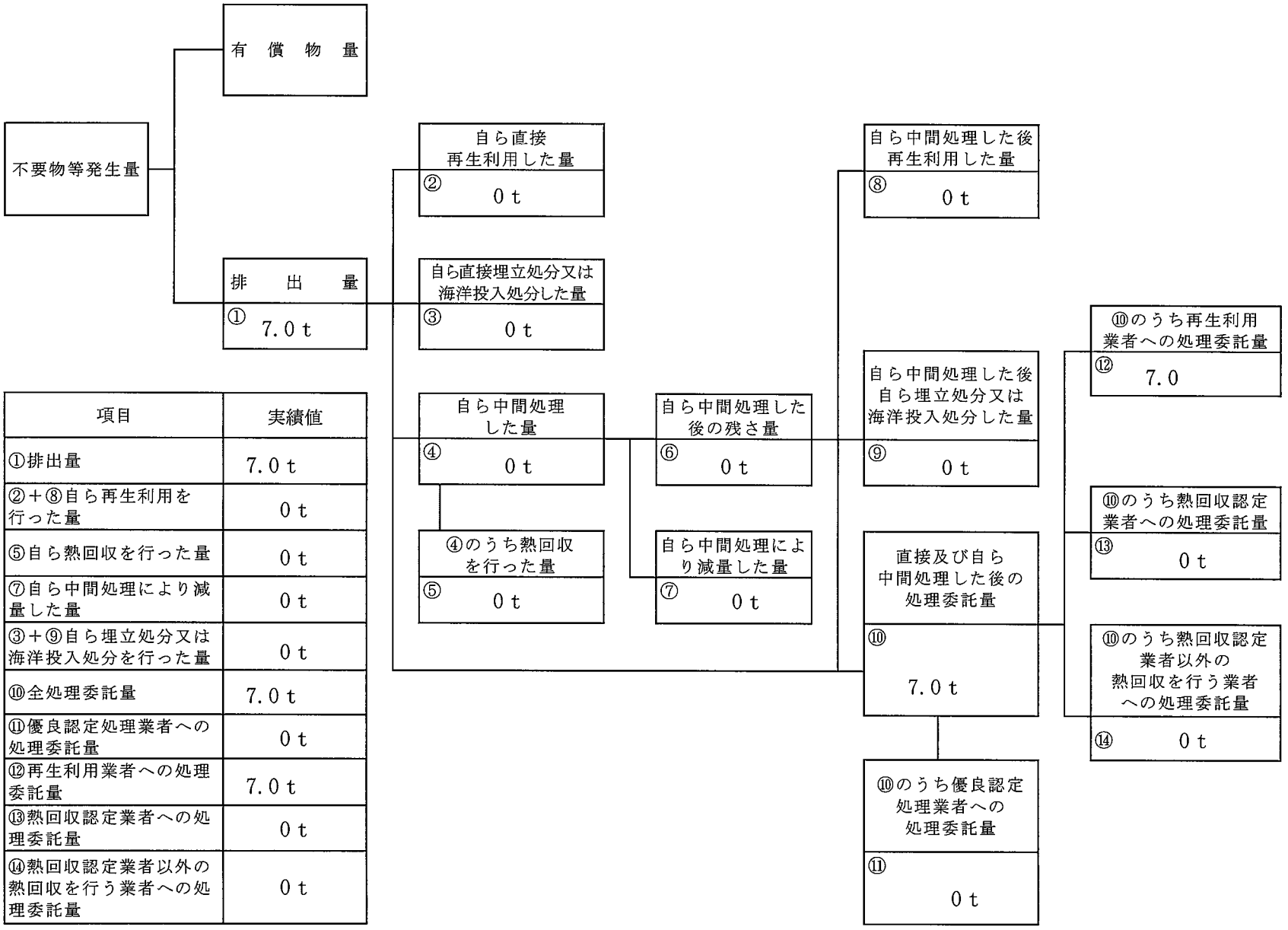
（産業廃棄物の種類：　がれき類（石綿含有）　　）



項目	実績値
①排出量	209.82 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	209.82 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	209.82 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

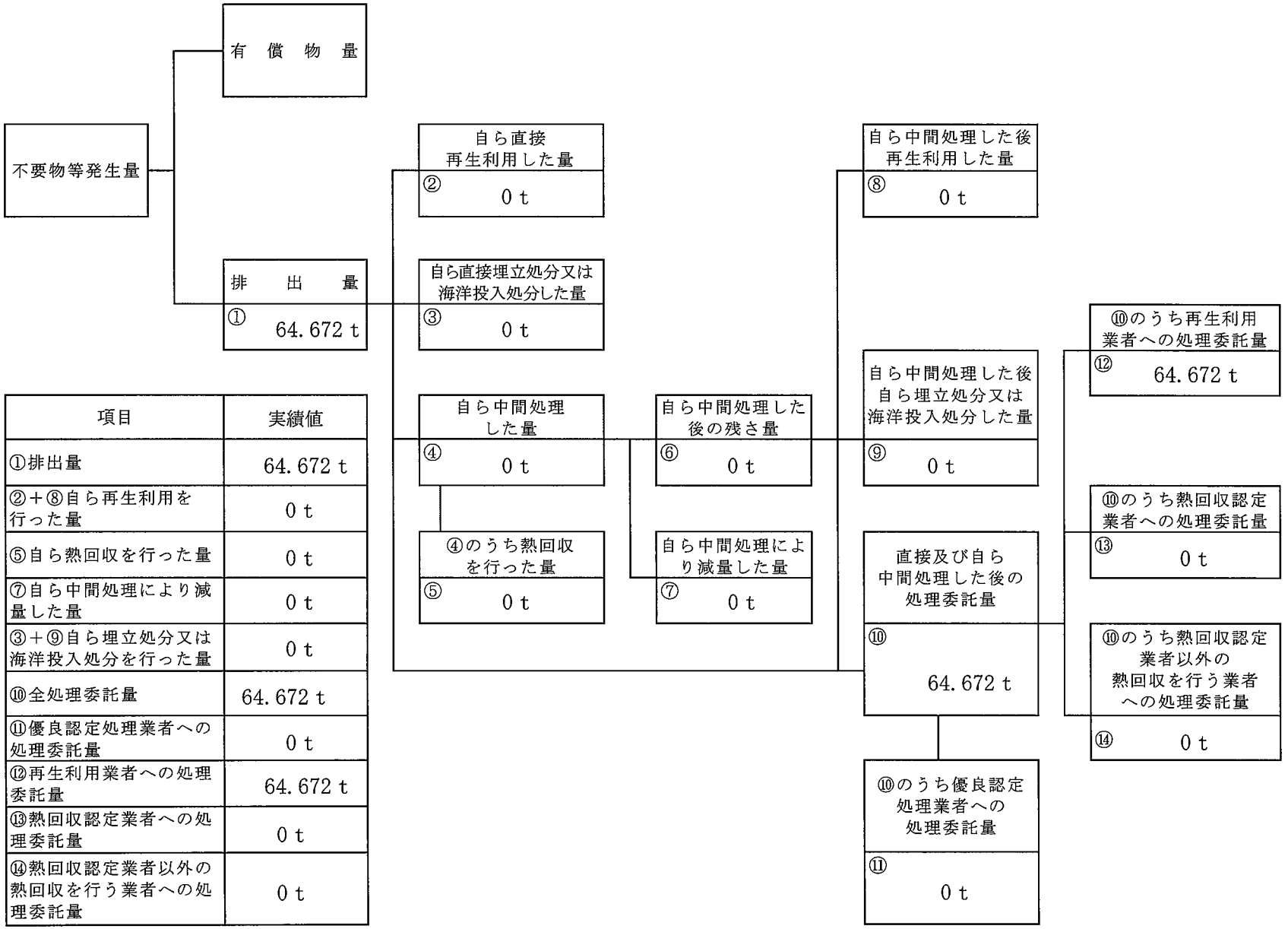
（産業廃棄物の種類： 混合廃棄物(管理型) ）



項目	実績値
①排出量	7.0t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	7.0t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 混合廃棄物(安定型)　　）



項目	実績値
①排出量	64.672 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	64.672 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	64.672 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律

第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月３０日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　　千葉県市川市曽谷２丁目１番５号

住　所　　株式会社　竹内水道工務店

氏　名　　代表取締役　　竹内　吉行

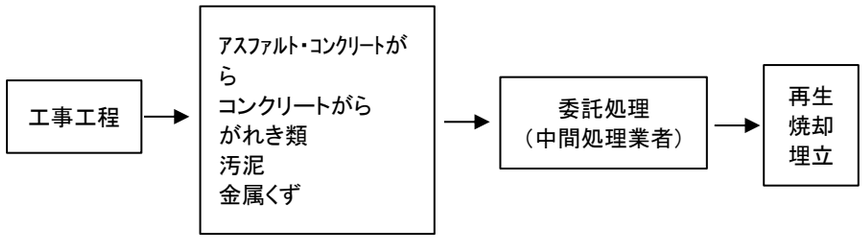
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４７－３７２－１９０１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　竹内水道工務店
事業場の所在地	〒272-0832 市川市曽谷２丁目１番５号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②　事業の規模	前年度の元請完成工事高　　２．４　億円
③　従業員数	8人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

取締役　　（処理計画統括責任者）
　|
工事部長　　（処理計画作成担当）
　|
工事担当者　　（廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
排出量	1073.9　t	911.4　t

（これまでに実施した取組）
再資源化の促進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
排出量	1070　t	910　t

（今後実施する予定の取組）
再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｺﾝｸﾘｰﾄがら、がれき類：
工事工程で生じるがら、がれき類は種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｺﾝｸﾘｰﾄがら、がれき類：
原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
全処理委託量	1073.9 t	911.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	1073.9 t	911.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に
処理を委託している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	アスファルト・コンクリートがら		がれき類	
		全処理委託量＿	1070	t	910	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0	t	0	t
		再生利用業者への処理委託量	1070	t	910	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t
		（今後実施する予定の取組） 分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
		排　出　量	7　t	7.9　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
		排　出　量	7　t	7　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
	全処理委託量	7 t	7.9 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	7 t	7.9 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	汚泥						
	全処理委託量	7 t	7 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	7 t	7 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　　千葉県市川市曽谷2丁目1番5号
住 所　　株式会社 竹内水道工務店
氏 名　　代表取締役　　竹内 吉行
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　047－372－1901

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 竹内水道工務店
事業場の所在地	千葉県市川市曽谷2丁目1番5号
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

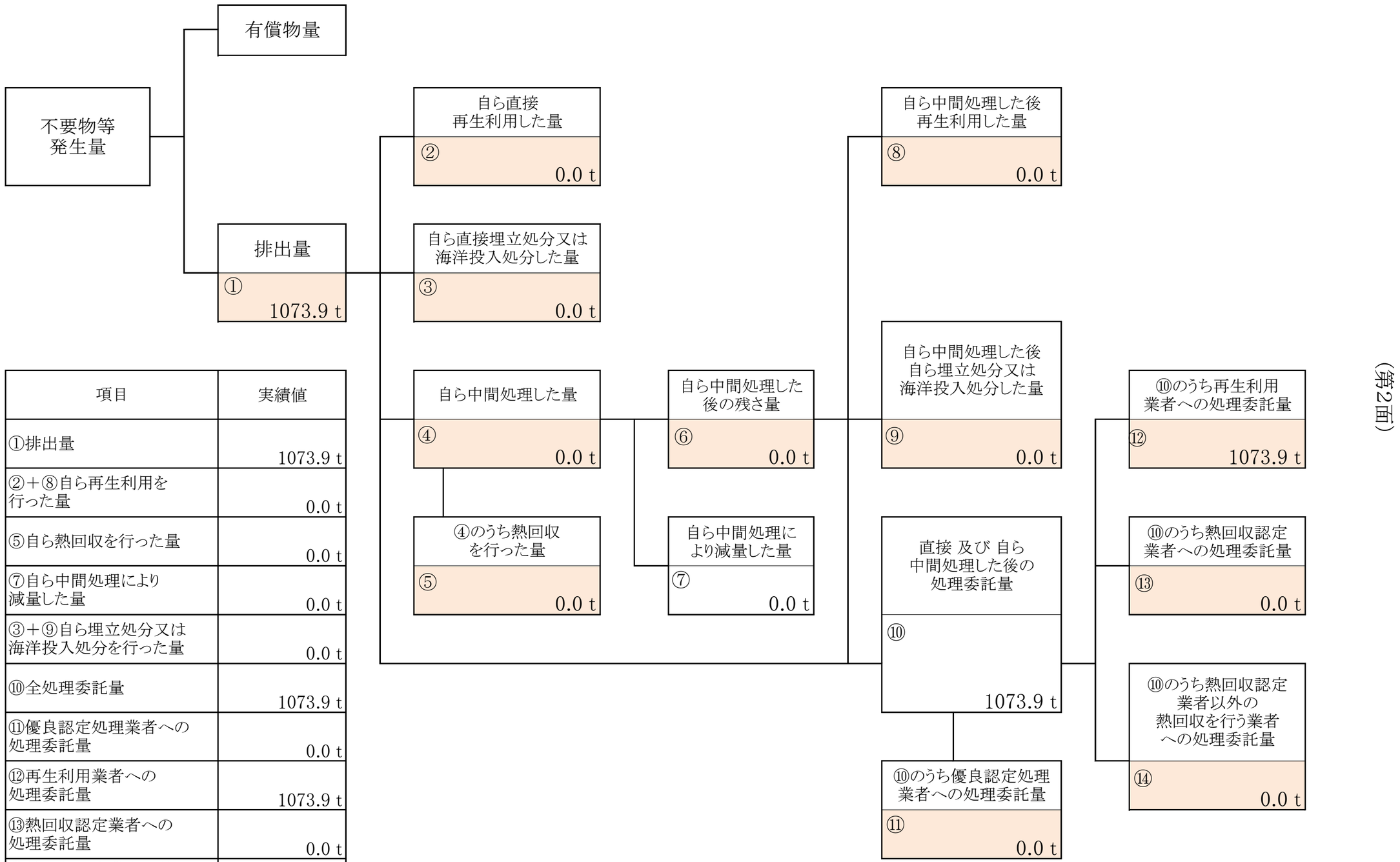
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2000.0 t	全処理委託量	2000.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2000.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

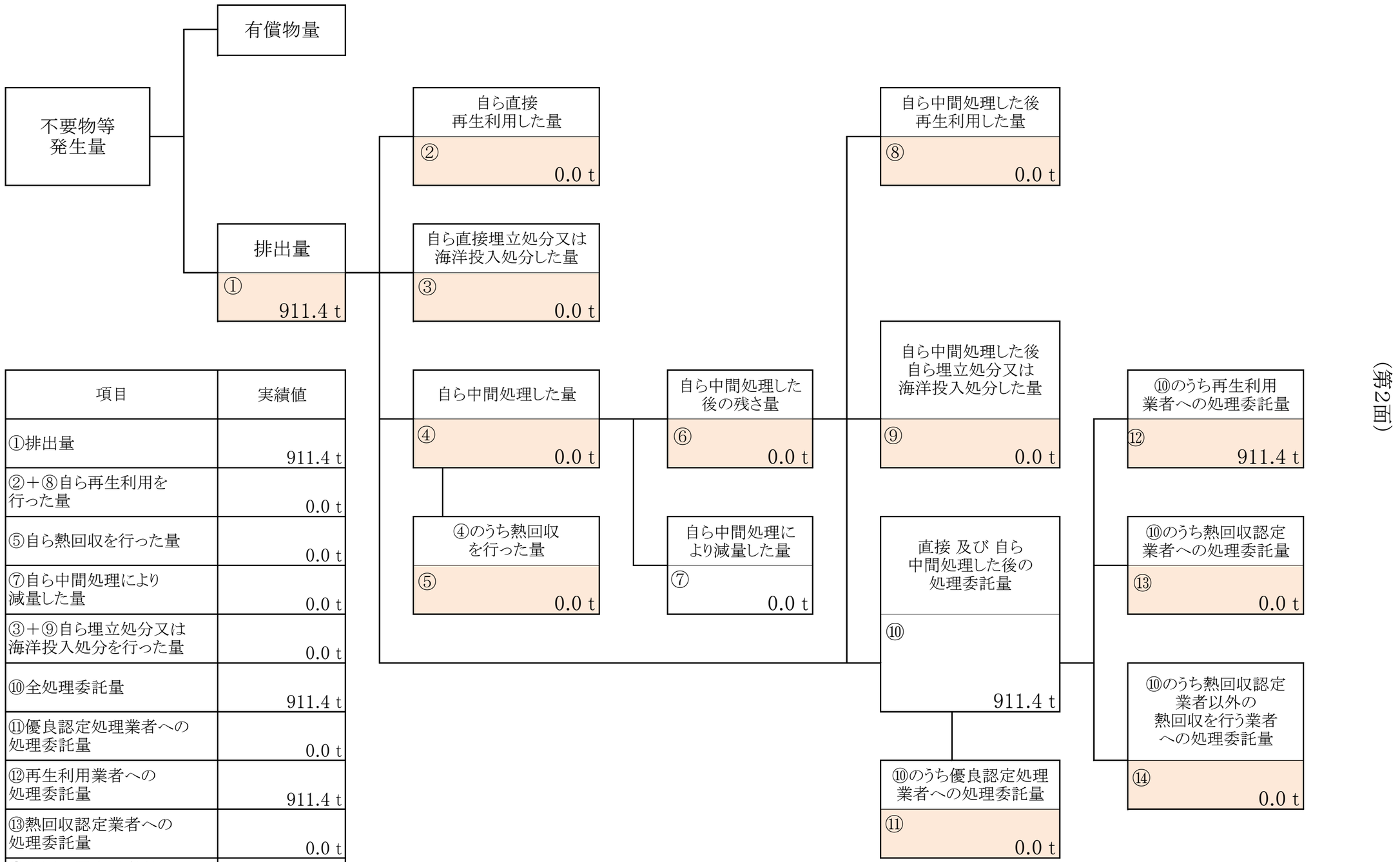


項目	実績値
①排出量	1073.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1073.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1073.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

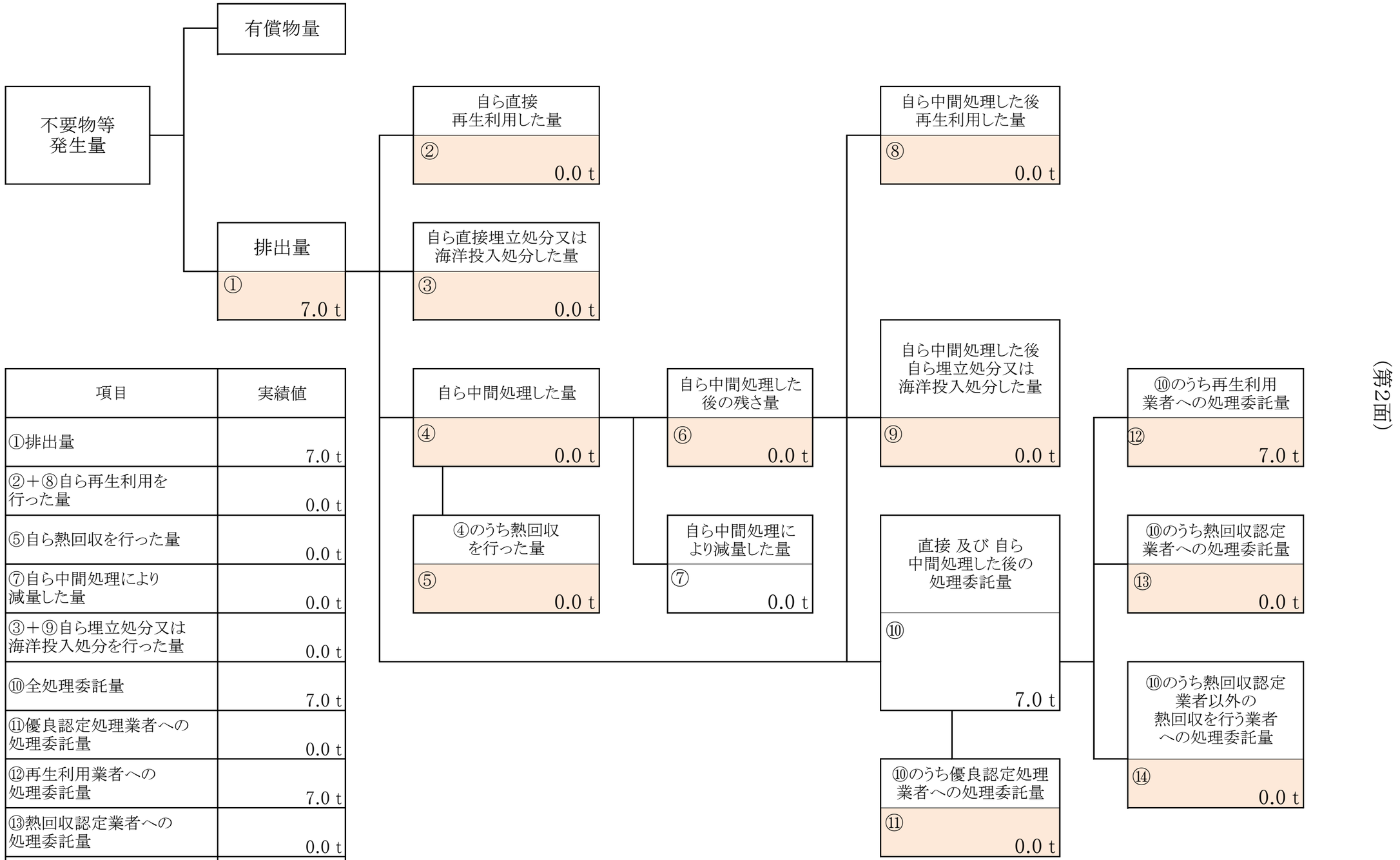


項目	実績値
①排出量	911.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	911.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	911.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

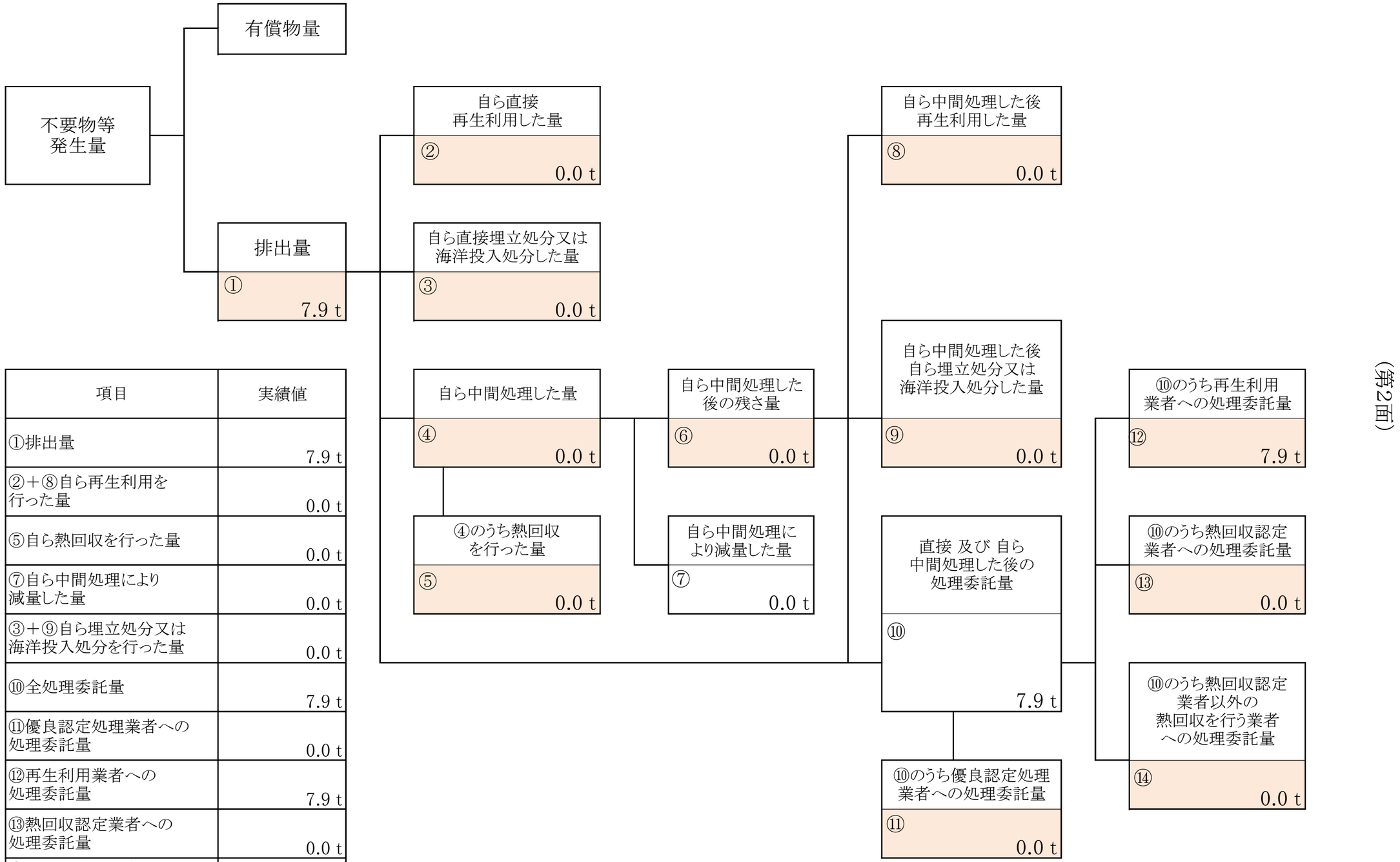


項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）



項目	実績値
①排出量	7.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6　年　6　月　20日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者
住　所　東京都江東区新砂1-1-1
氏　名　　株式会社竹中工務店　東京本店
　　安全環境部長　松岡　香世子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　03-6810-5114

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社竹中工務店　東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂1-1-1
計画期間	令和6年 4月 1日　～　令和7年 3月31日

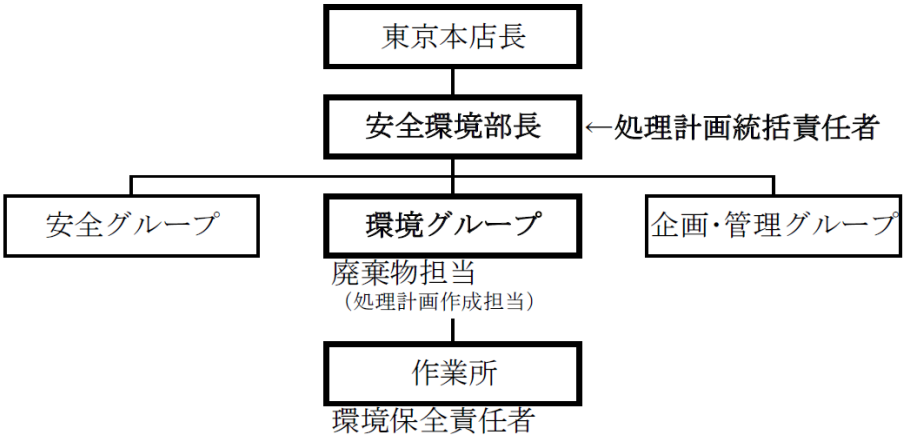
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業、中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の完成工事高：3,963億円
③ 従業員数	2,497人（令和　6年 5月 1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１のとおり

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】：別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 以下の項目について作業所にて活動を実施した。 ・持込む資材等が過剰にならないよう計画をたてる。 ・ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、代替型枠の採用等の工法改善を推進する。 ・工場加工・製作、プレカットを推進する。 ・ﾊﾟﾚｯﾄ利用、ﾗｯｸ式・ｺﾝﾃﾅ式の採用等省梱包・無梱包を工夫する。		
② 計画	【目標】：別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き以下の項目について作業所にて活動を実施する。 ・持込む資材等が過剰にならないよう計画をたてる。 ・ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、代替型枠の採用等の工法改善を推進する。 ・工場加工・製作、プレカットを推進する。 ・ﾊﾟﾚｯﾄ利用、ﾗｯｸ式・ｺﾝﾃﾅ式の採用等省梱包・無梱包を工夫する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1.0m3の専用容器（ﾌﾚｺﾝﾊﾞｯｸ）を設置し、分別を徹底した。 実施品目：ｺﾝｸﾘｰﾄ破片、ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ破片､廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、紙くず、木くず、ｶﾞﾗｽ陶磁器くず、可燃物、不燃物
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 本年度の取組みを引き続き実施する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="6">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】：別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
地域別全品目分別回収システムを全作業所にて完全実施したことにより、新築工事におけるリサイクル率93%（2021年度実績）を達成できた。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
本年度より、新築工事におけるリサイクル率94%を目標値として設定した。リサイクル施設へ直送、また精度の高い優良中間処理施設への搬入を一層促進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

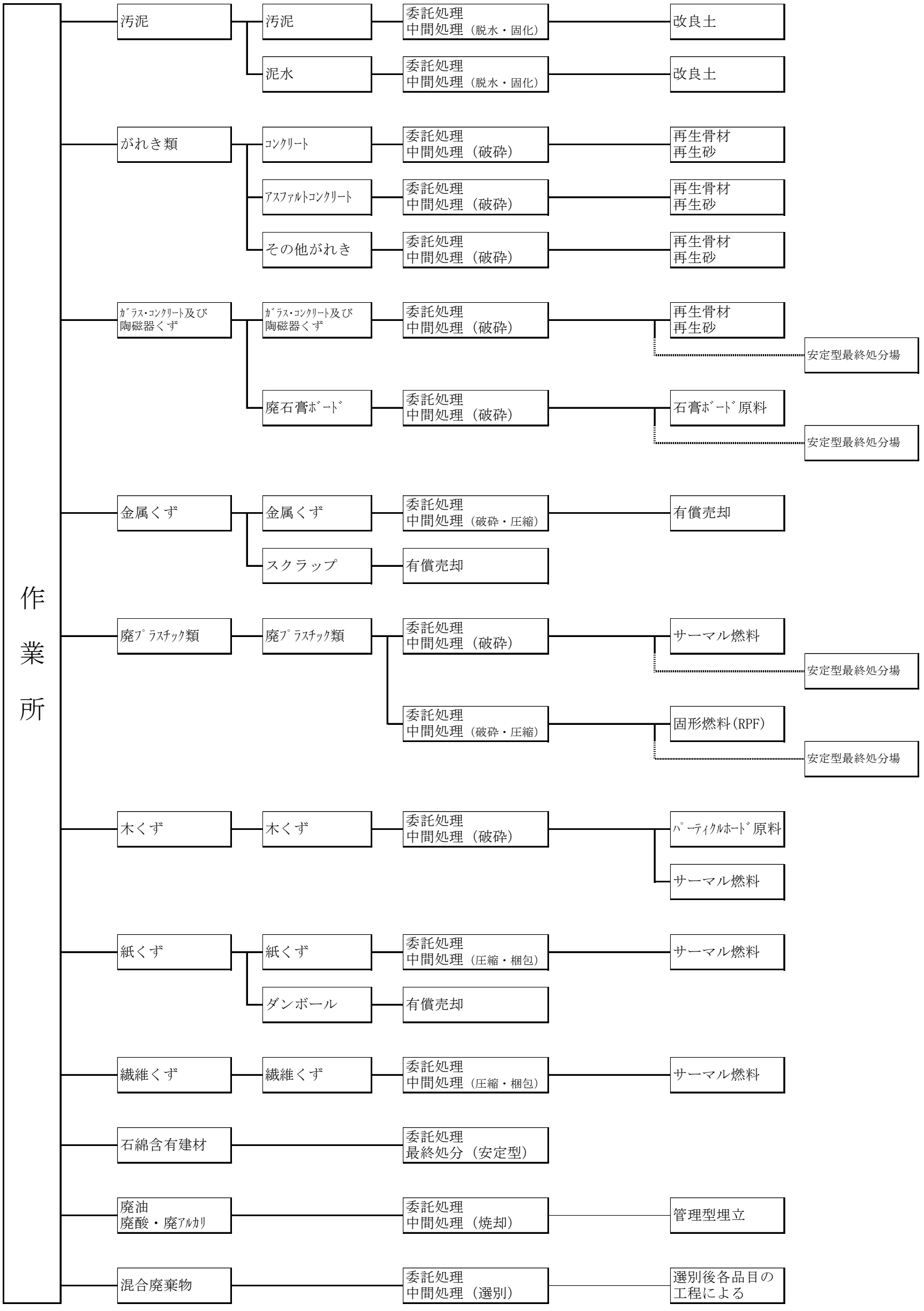
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

◎産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1



別紙２

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　合計：　43,614.2 t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
排　出　量（t）	22,148.0	2.4	0.10	1.8	884.4	19.0	677.0	0.0	23.4	248.0	5,781.0
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
排　出　量（t）	12,302.0	775	323.0	358.0	35.7	0.4	35.0				

②計画

【目標】　合計：　41,424.2 t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
排　出　量（t）	21,040.6	2.3	0.10	1.7	840.2	18.0	634.0	0.0	22.0	236.0	5,492.0
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
排　出　量（t）	11,687.0	736.0	307.0	340.0	34.0	0.4	33.0				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　合計：　43,614.2 t　優良：　21,391.50 t　再生：　42,996.48

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
全処理委託量(t)	22,148.0	2.4	0.10	1.8	884.4	19.0	677.0	0.0	23.4	248.0	5,781.0
優良認定処理業者への処理委託量(t)			0.10	0.0	884.4	19.0	677.0		23.4	248.0	5,781.0
再生利用業者への処理委託量(t)	22,148.0	2.4	0.10	1.8	884.4	19.0	677.0		23.4	248.0	5,781.0
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
全処理委託量(t)	12,302.0	775.0	323.0	358.0	35.7	0.4	35.0				
優良認定処理業者への処理委託量(t)	12,302.0	775.0	323.0	358.0	0.2	0.4	0.0				
再生利用業者への処理委託量(t)	12,302.0	775.0	133.8	0.0	0.2	0.4	0.0				
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											

②計画

【目標】　合計：　41,424.2 t　優良：　19,980.40　再生：　40,493.30

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
全処理委託量(t)	21,040.6	2.3	0.1	1.7	840.2	18.0	634.0	0.0	22.0	236.0	5,492.0
優良認定処理業者への処理委託量(t)					840.2	18.0	258.0		22.2	235.6	5,492.0
再生利用業者への処理委託量(t)	21,040.6	2.3	0.1		840.2	18.0	258.0		22.2	235.6	5,492.0
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
全処理委託量(t)	11,687.0	736.0	307.0	340.0	34.0	0.4	33.0				
優良認定処理業者への処理委託量(t)	11,687.0	736.0	307.0	340.0	34.0	0.4					
再生利用業者への処理委託量(t)	11,687.0	736.0	127.0		34.0	0.4					
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月　30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒136-0075
住 所　東京都江東区新砂1-1-1
氏 名　株式会社竹中工務店 東京本店
安全環境部長 松岡 香世子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6810-5114

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社竹中工務店 東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂1-1-1
事業の種類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　～　**令和6年3月31日**

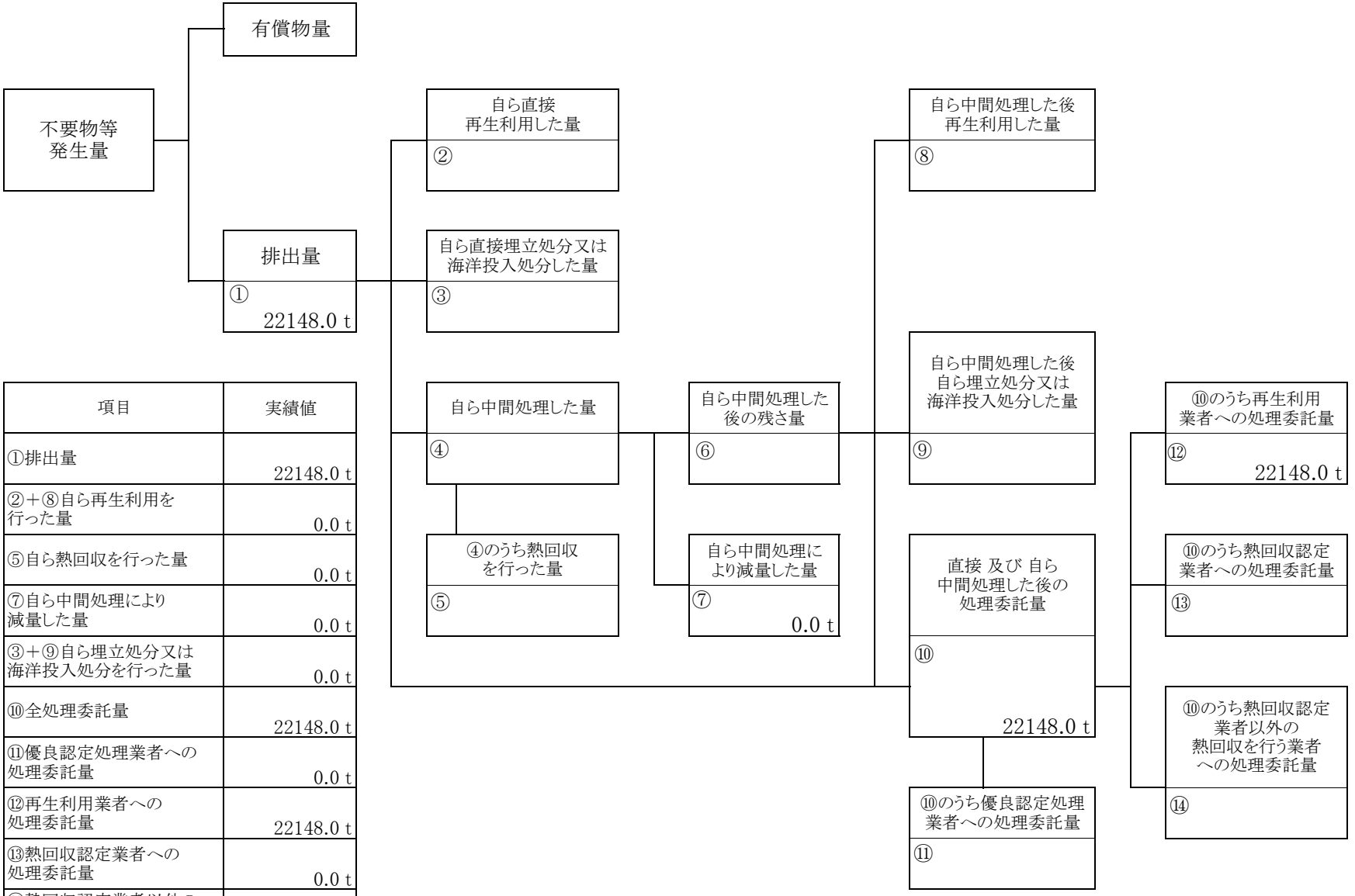
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11,276.2t	全処理委託量	11,276.2t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2,984.85t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	11,139.81t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**汚泥**　）

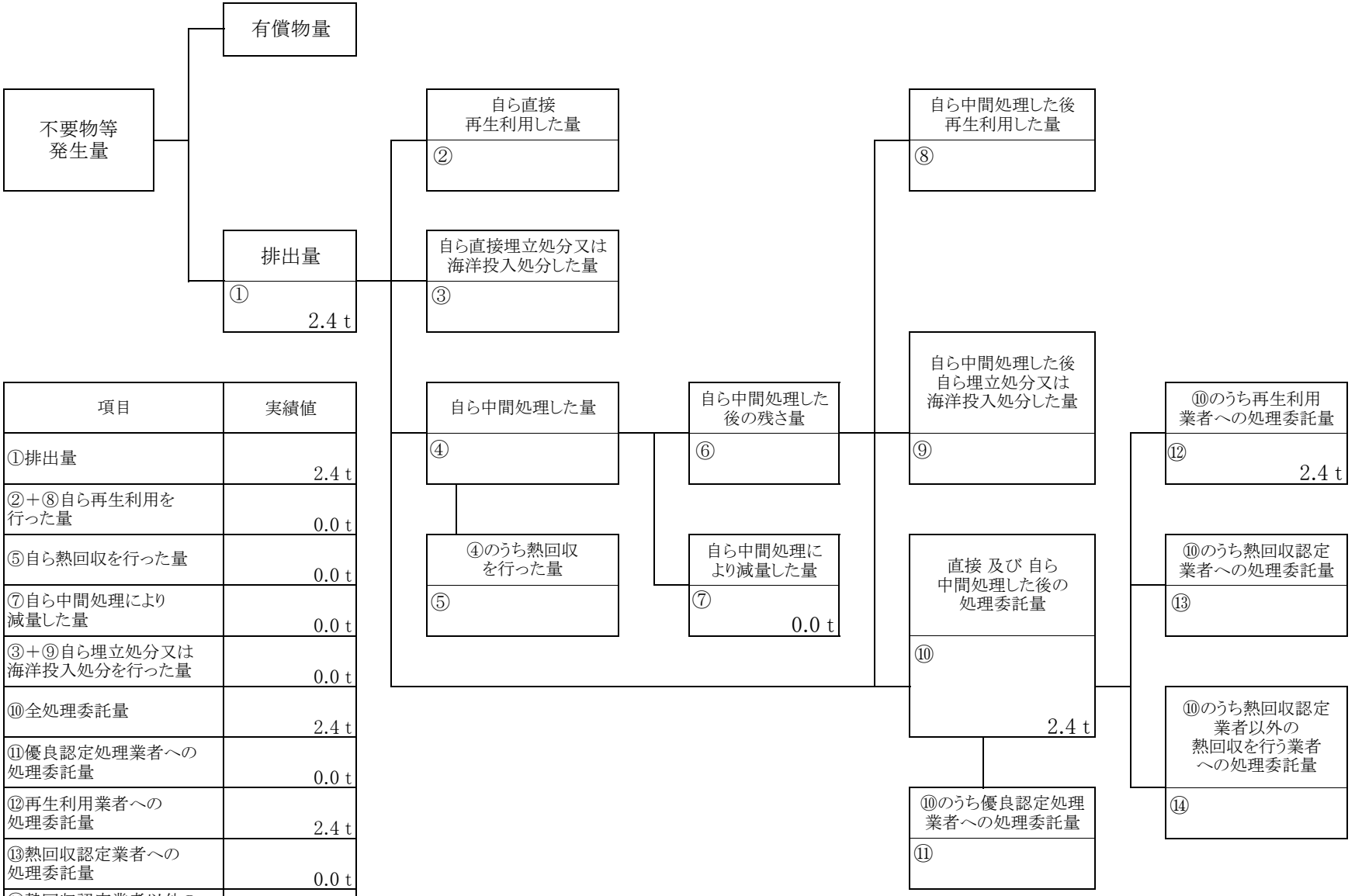


項目	実績値
①排出量	22148.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22148.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22148.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

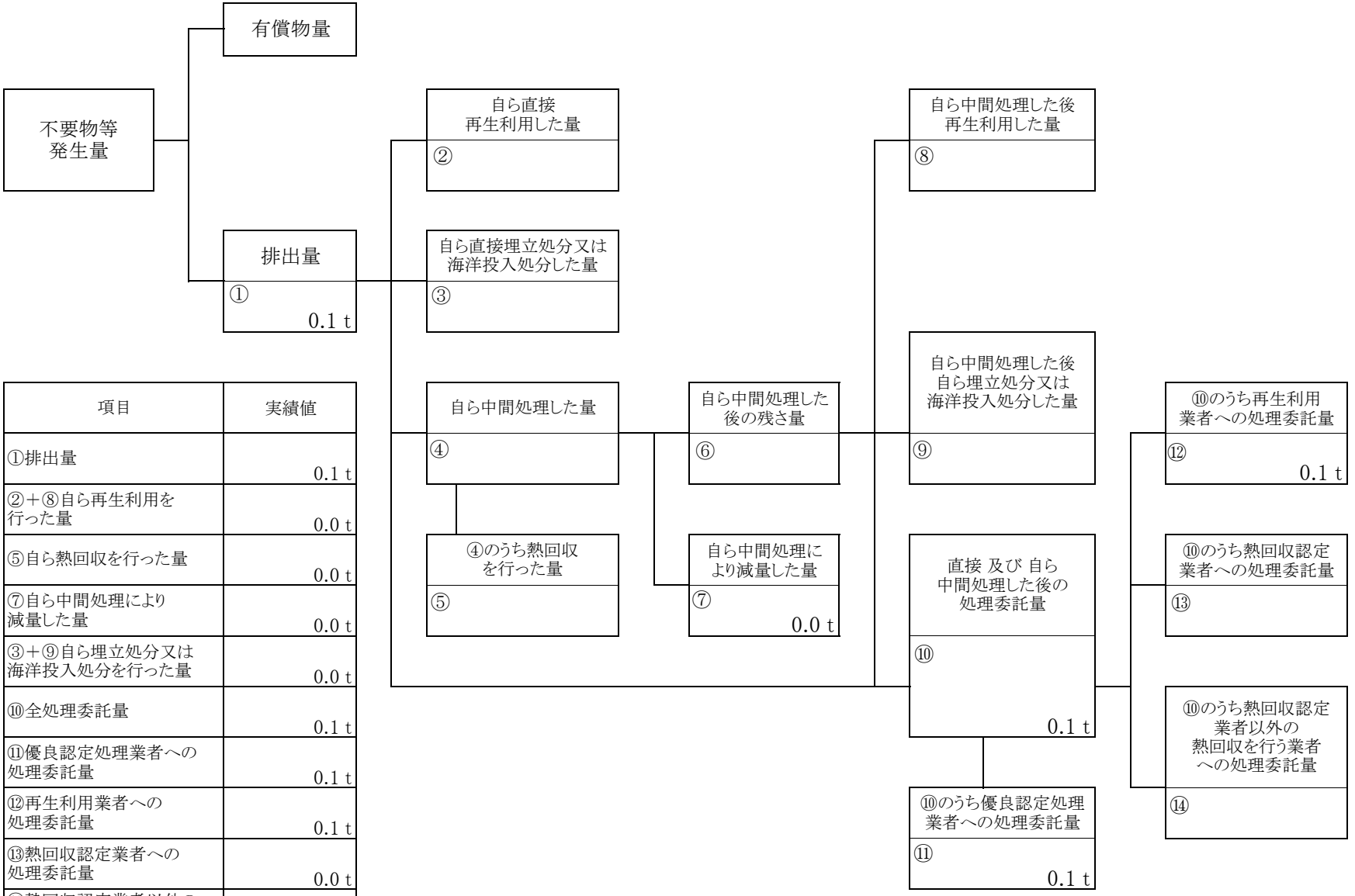


項目	実績値
①排出量	2.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃酸**　）

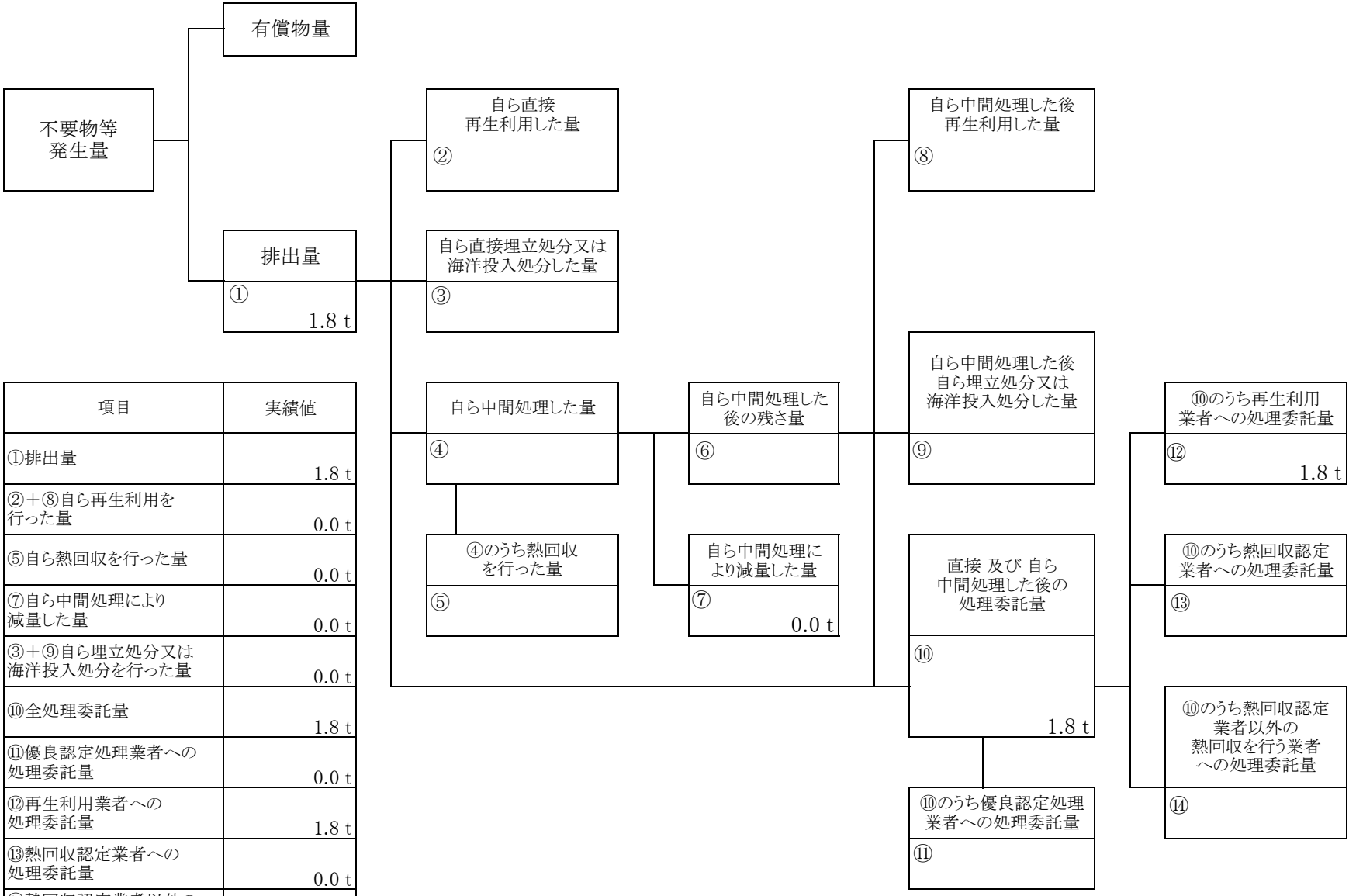


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

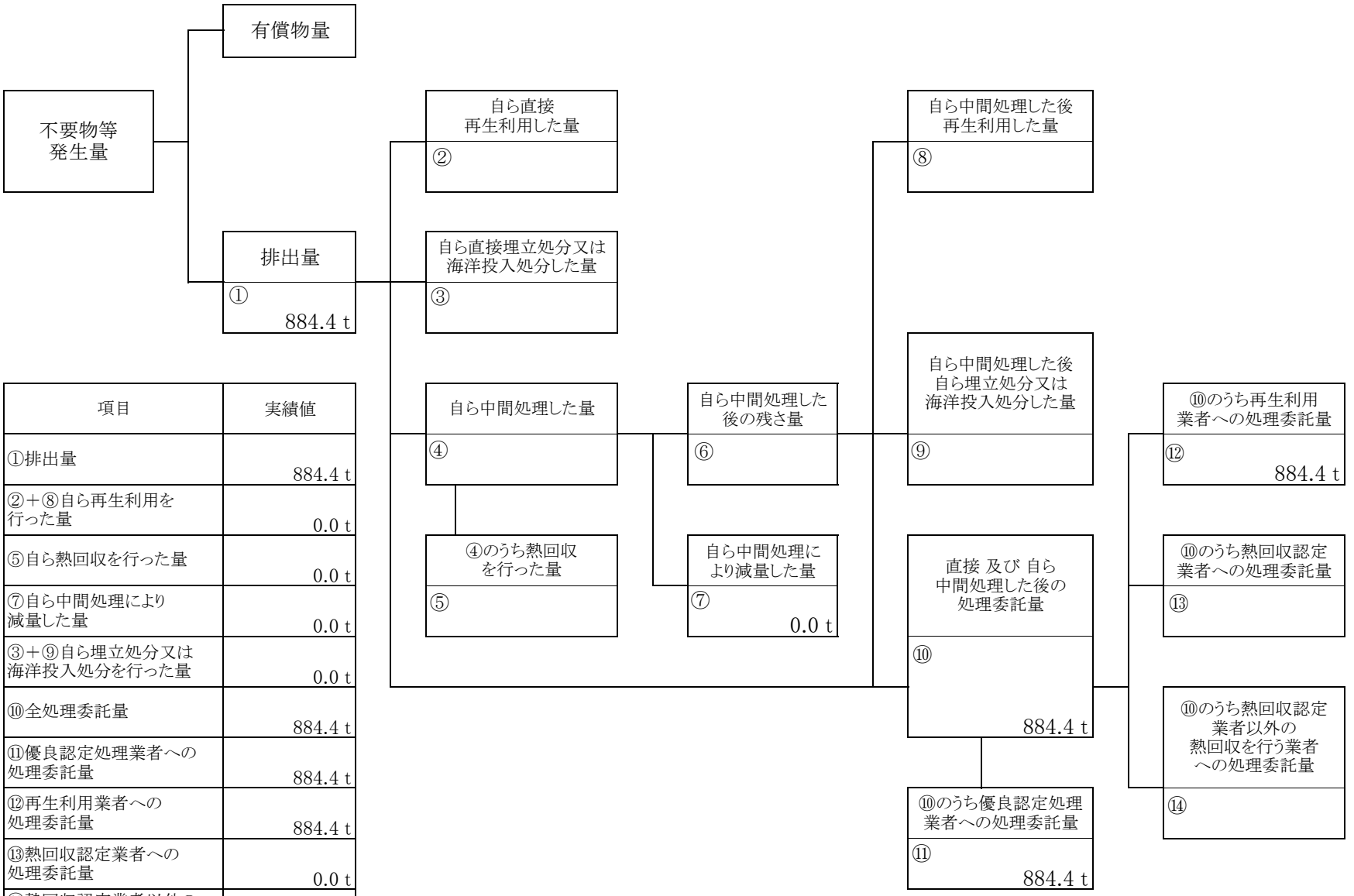


項目	実績値
①排出量	1.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃プラスチック類**　）

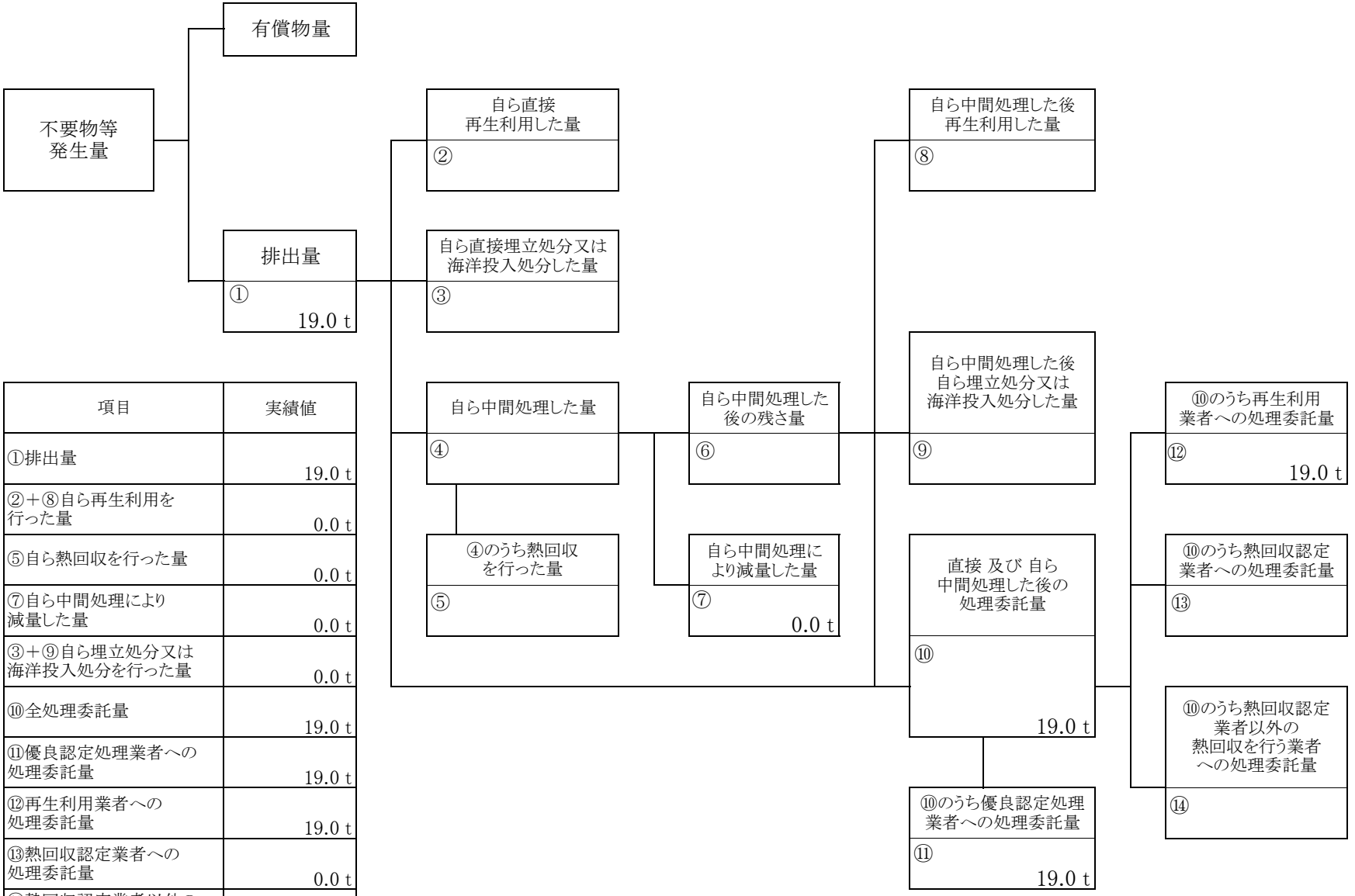


項目	実績値
①排出量	884.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	884.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	884.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	884.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

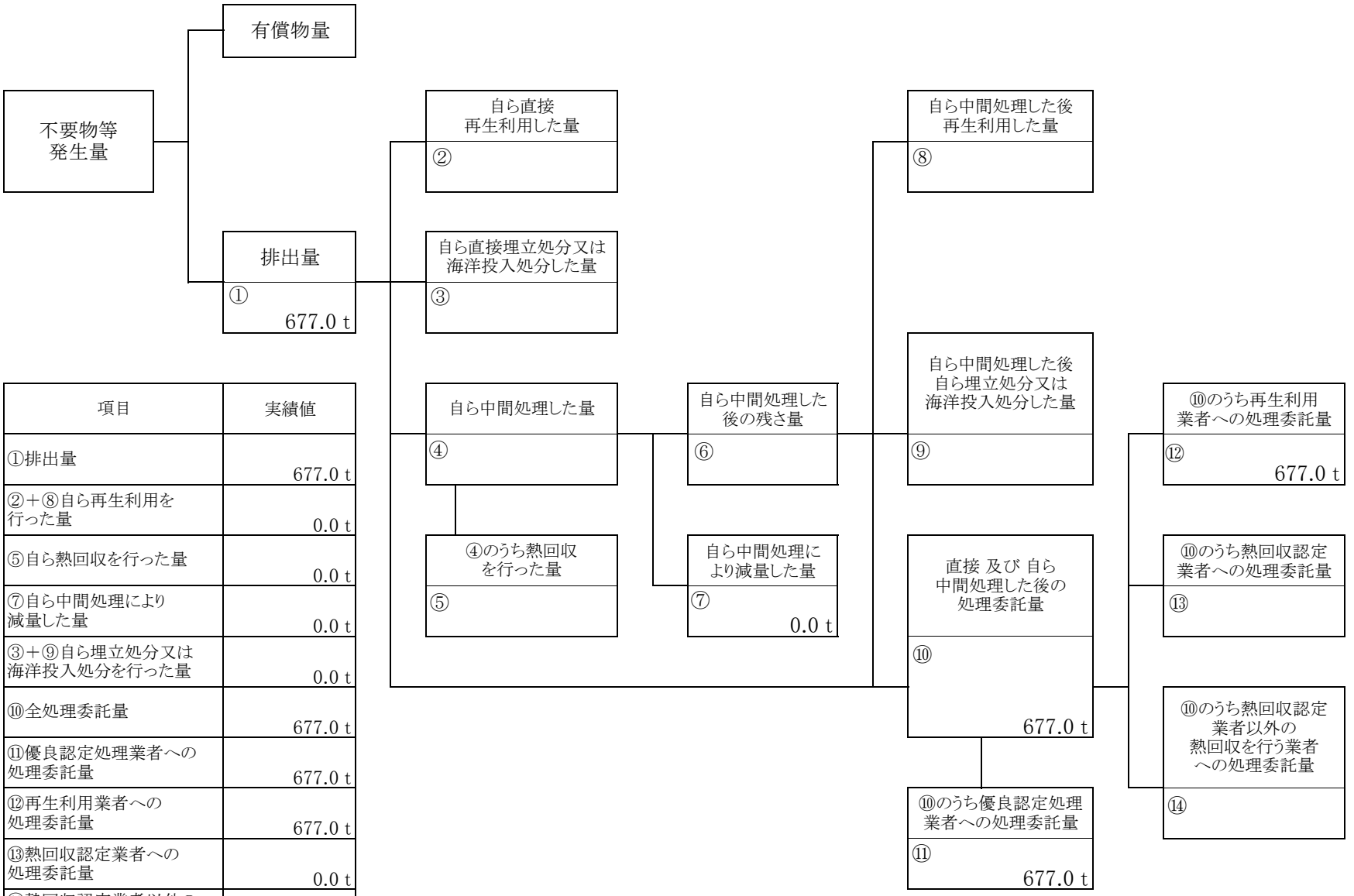


項目	実績値
①排出量	19.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

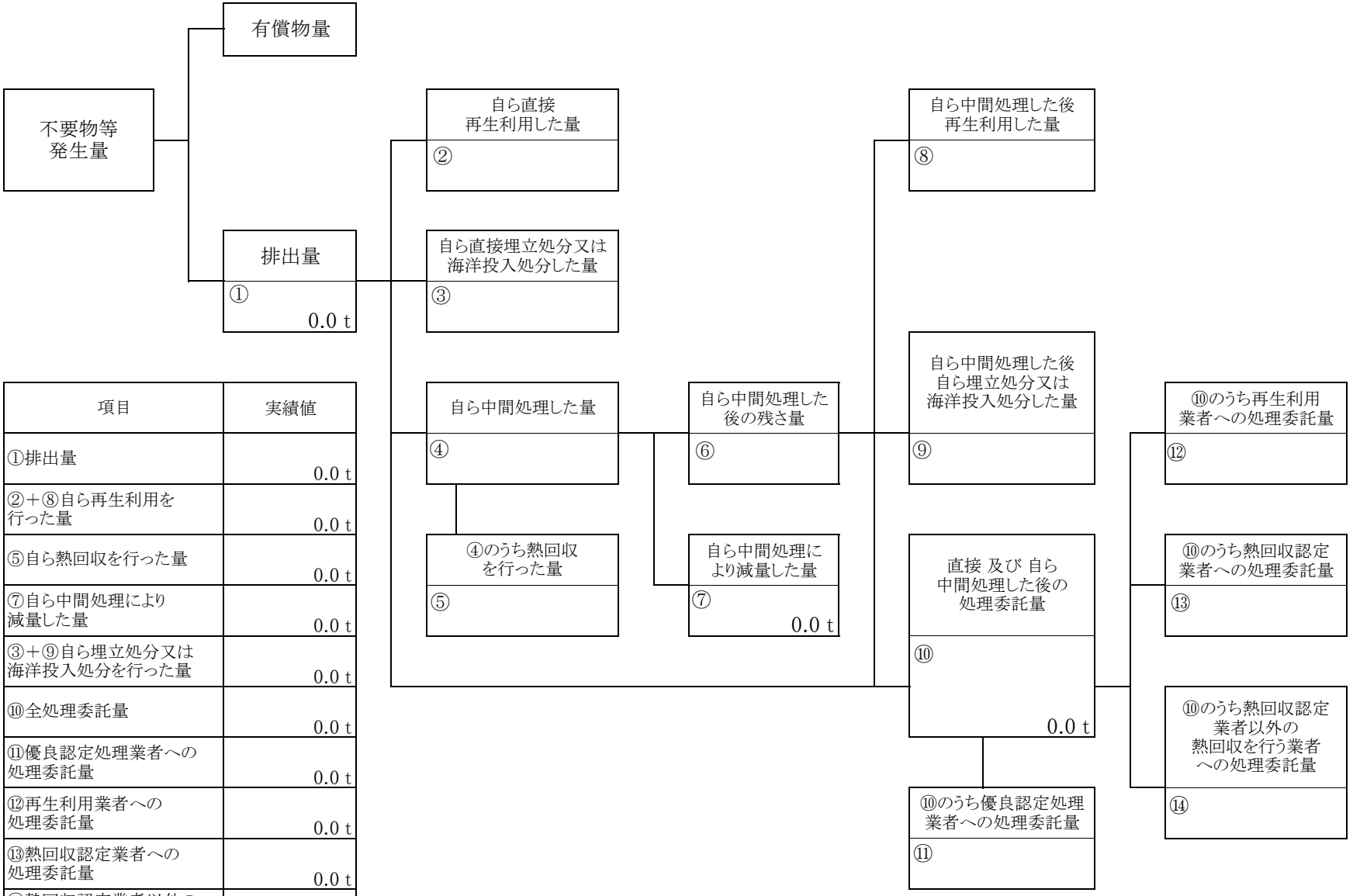


項目	実績値
①排出量	677.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	677.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	677.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	677.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

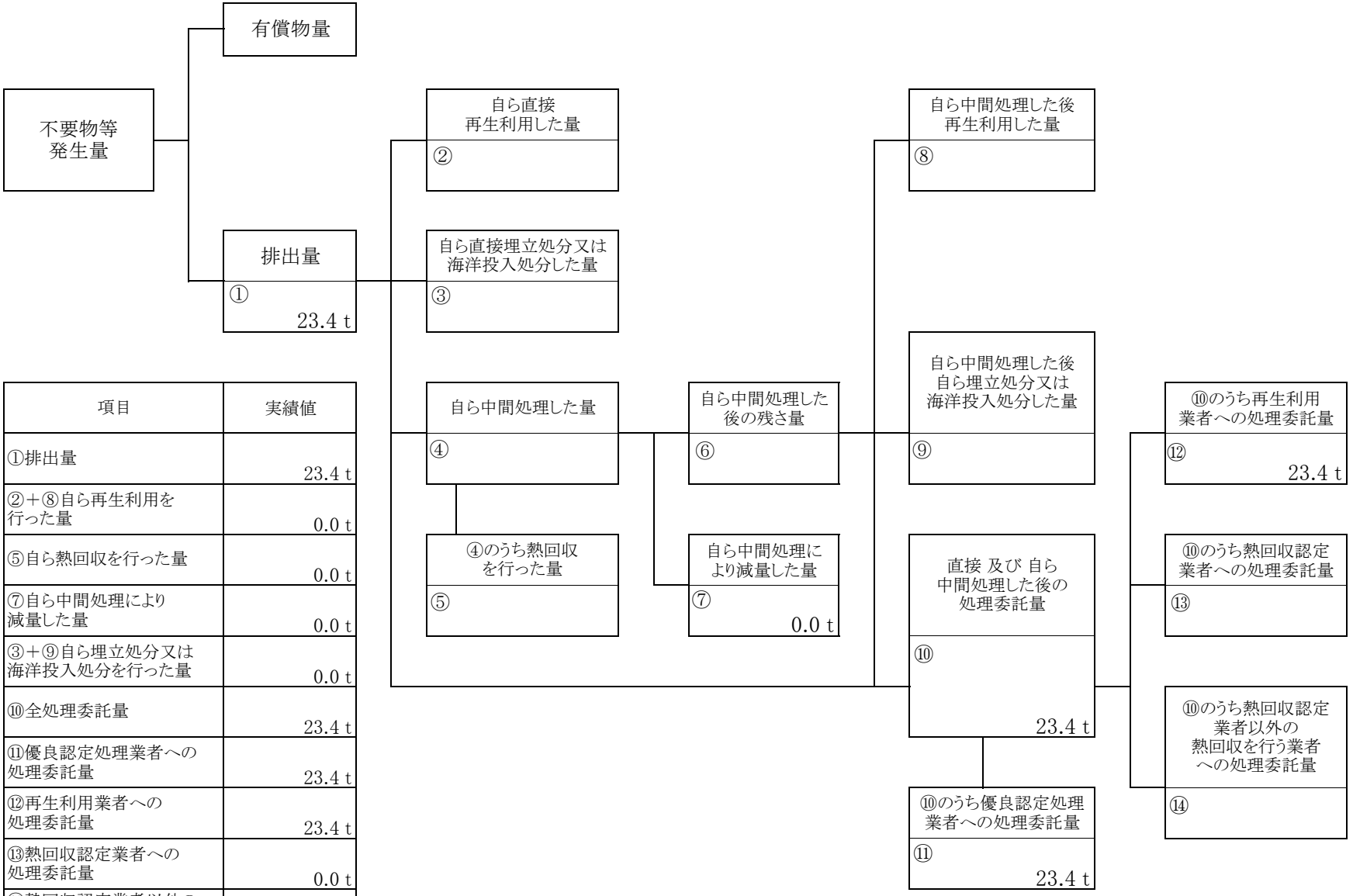


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

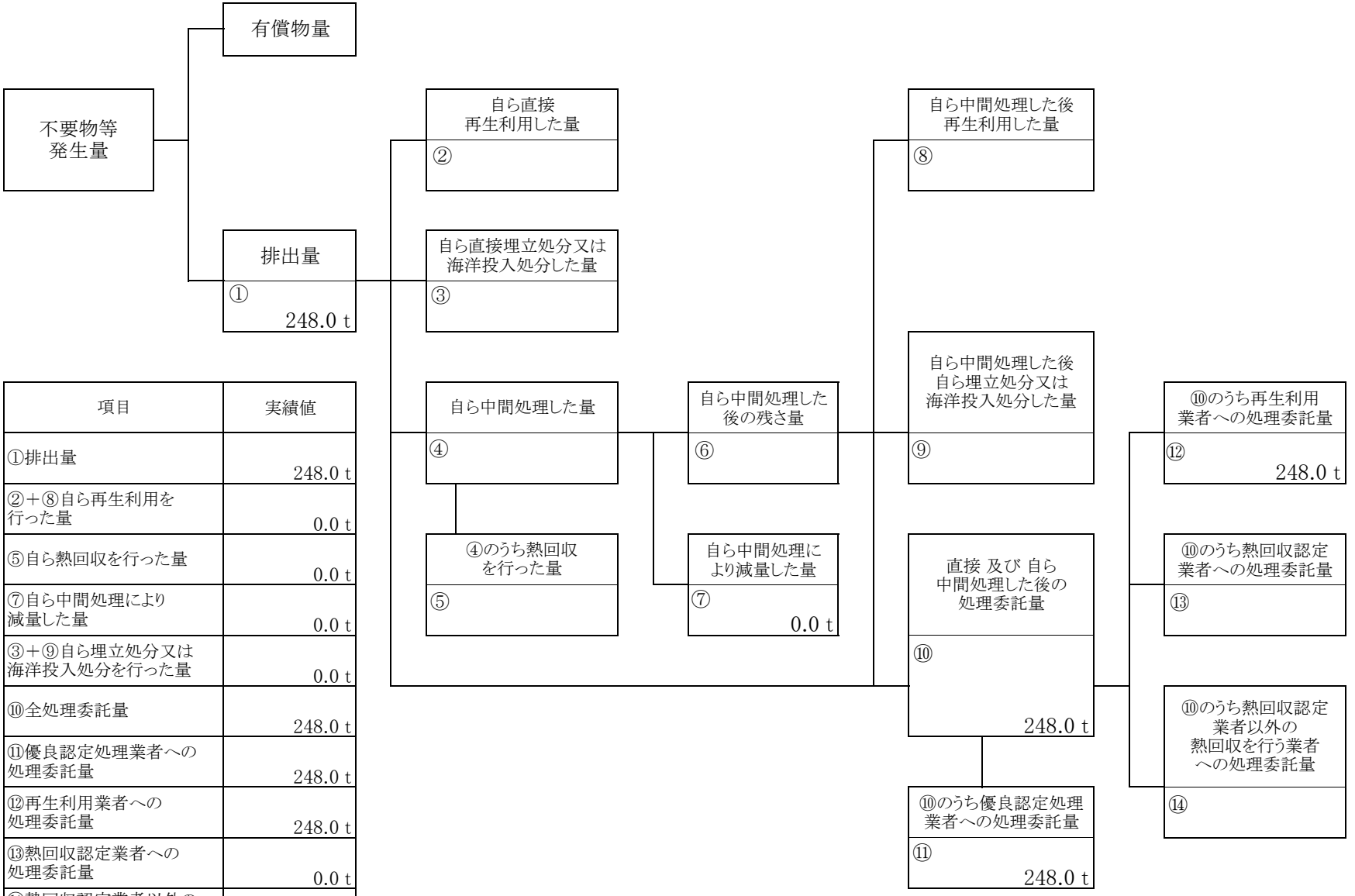


項目	実績値
①排出量	23.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	23.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

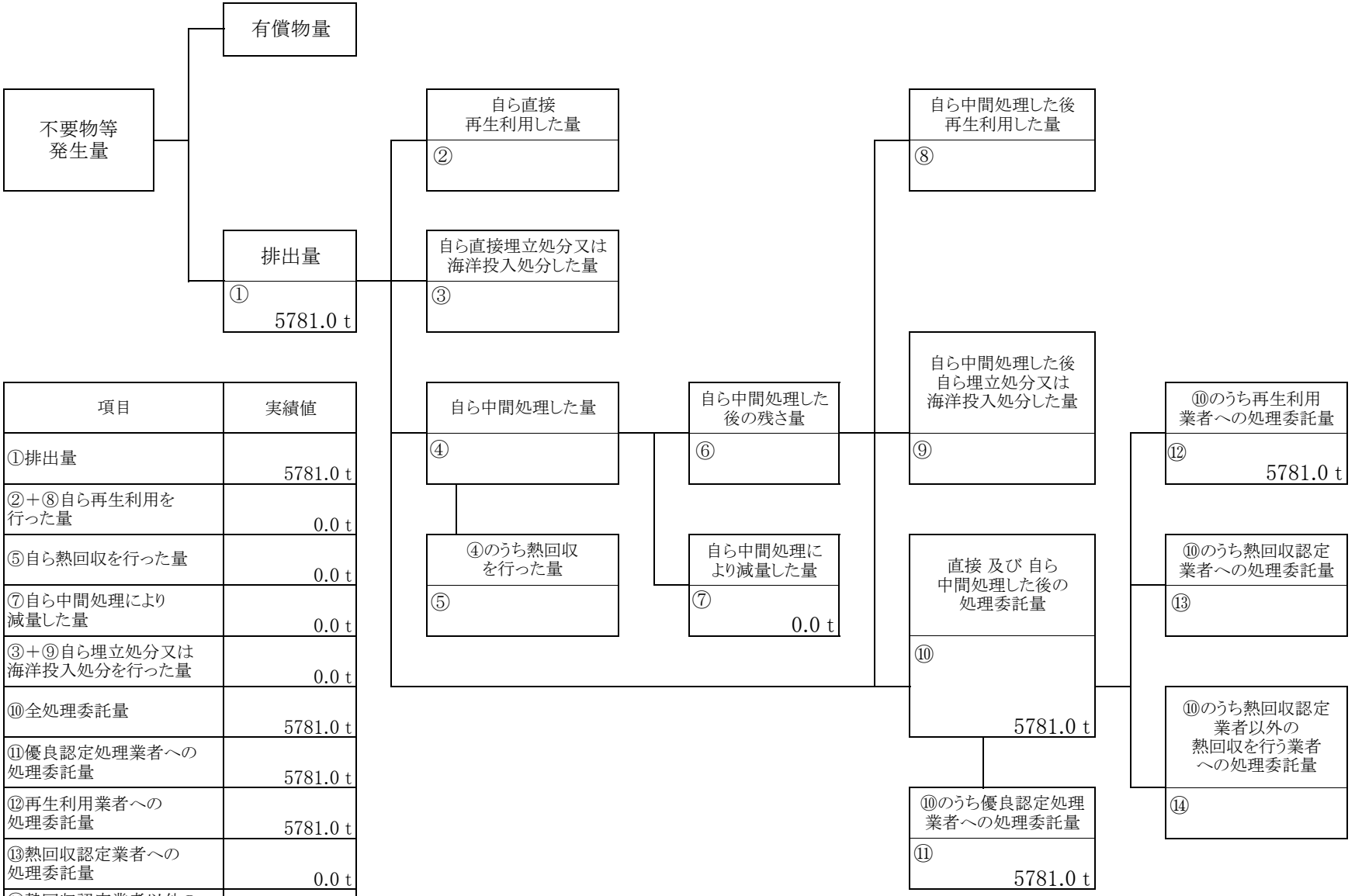


項目	実績値
①排出量	248.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	248.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	248.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	248.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

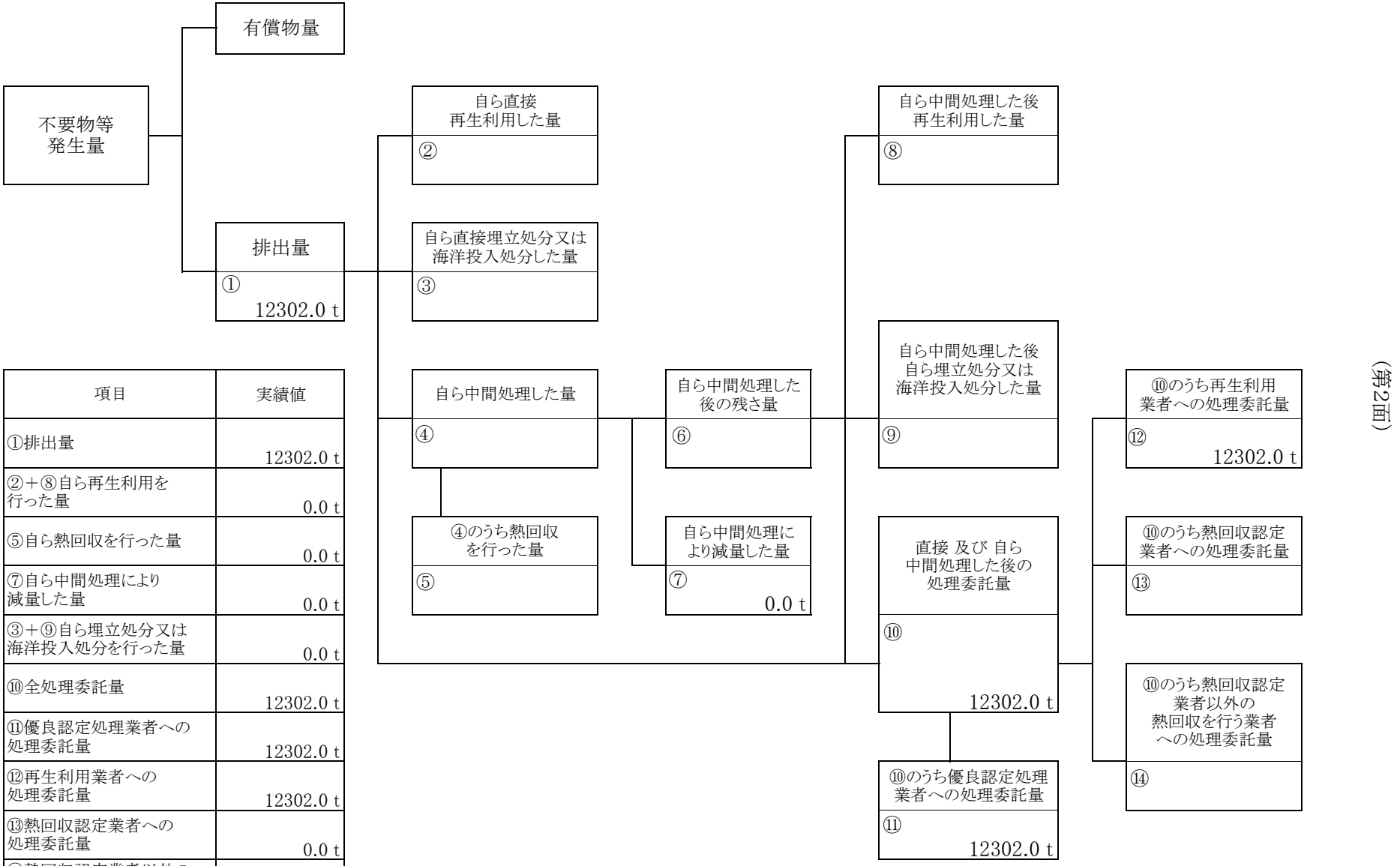


項目	実績値
①排出量	5781.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5781.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5781.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5781.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

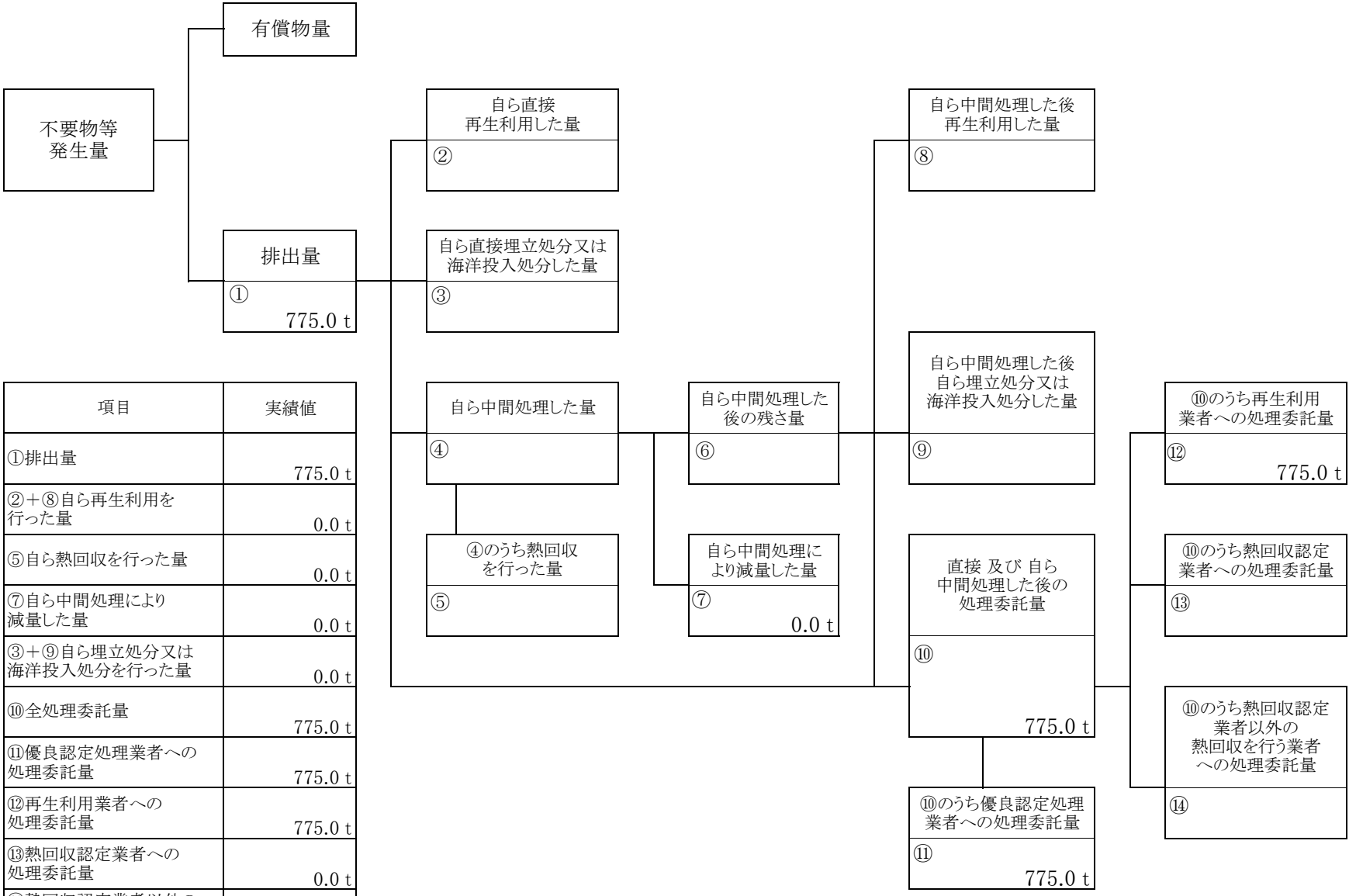


項目	実績値
①排出量	12302.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12302.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12302.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12302.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

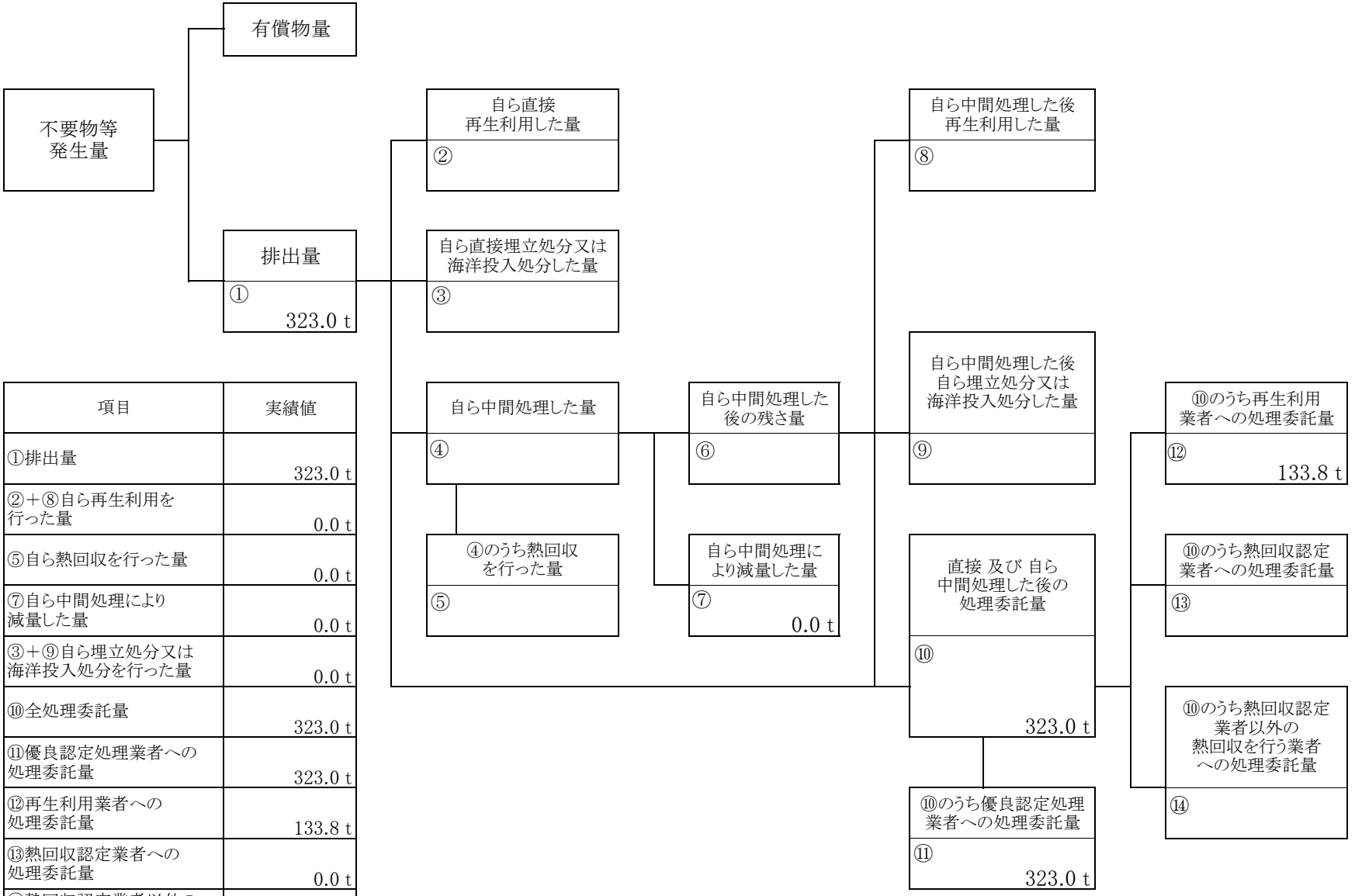


項目	実績値
①排出量	775.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	775.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	775.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	775.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

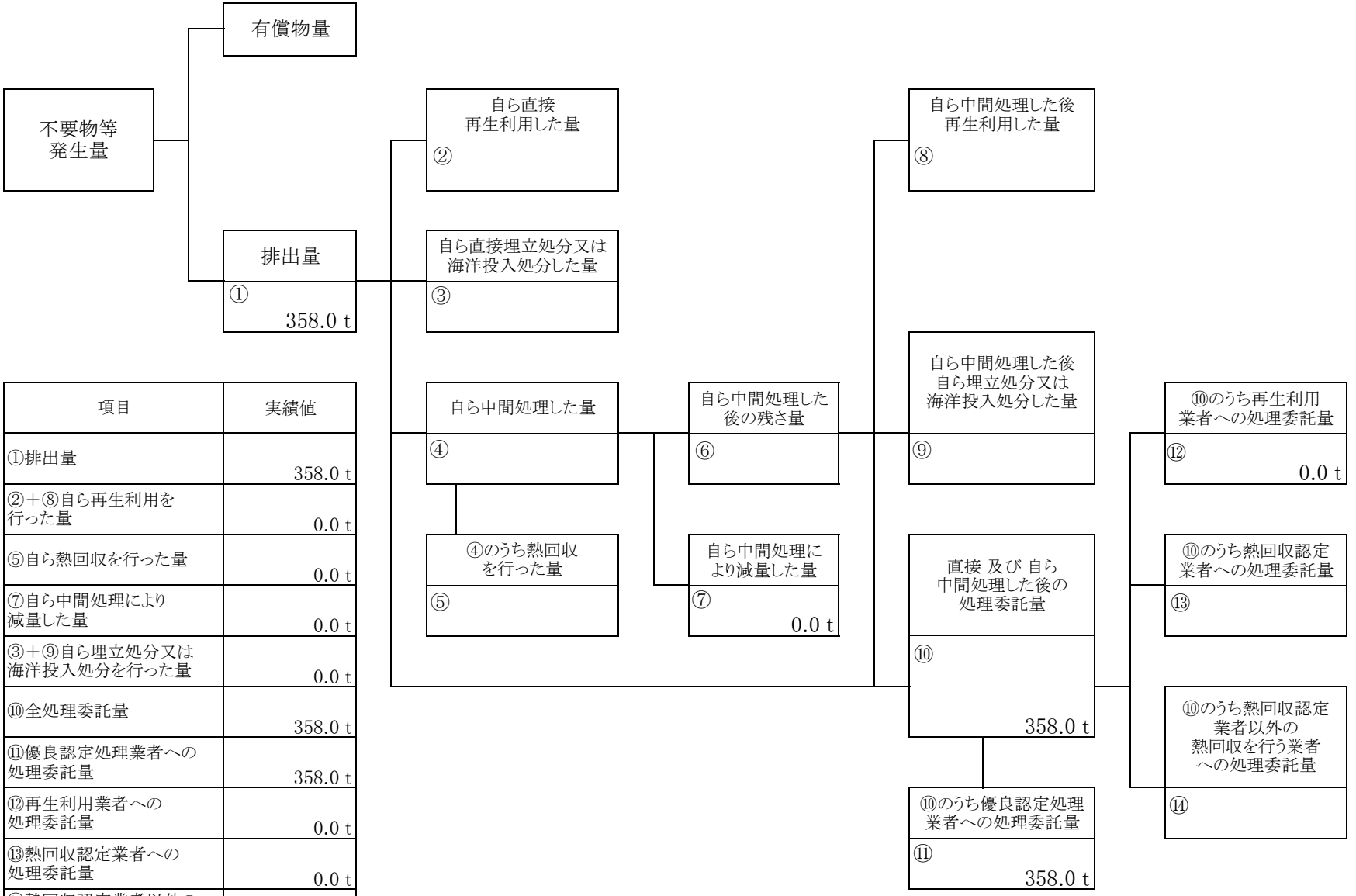


項目	実績値
①排出量	323.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	323.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	323.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	133.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**石綿含有建材**　）

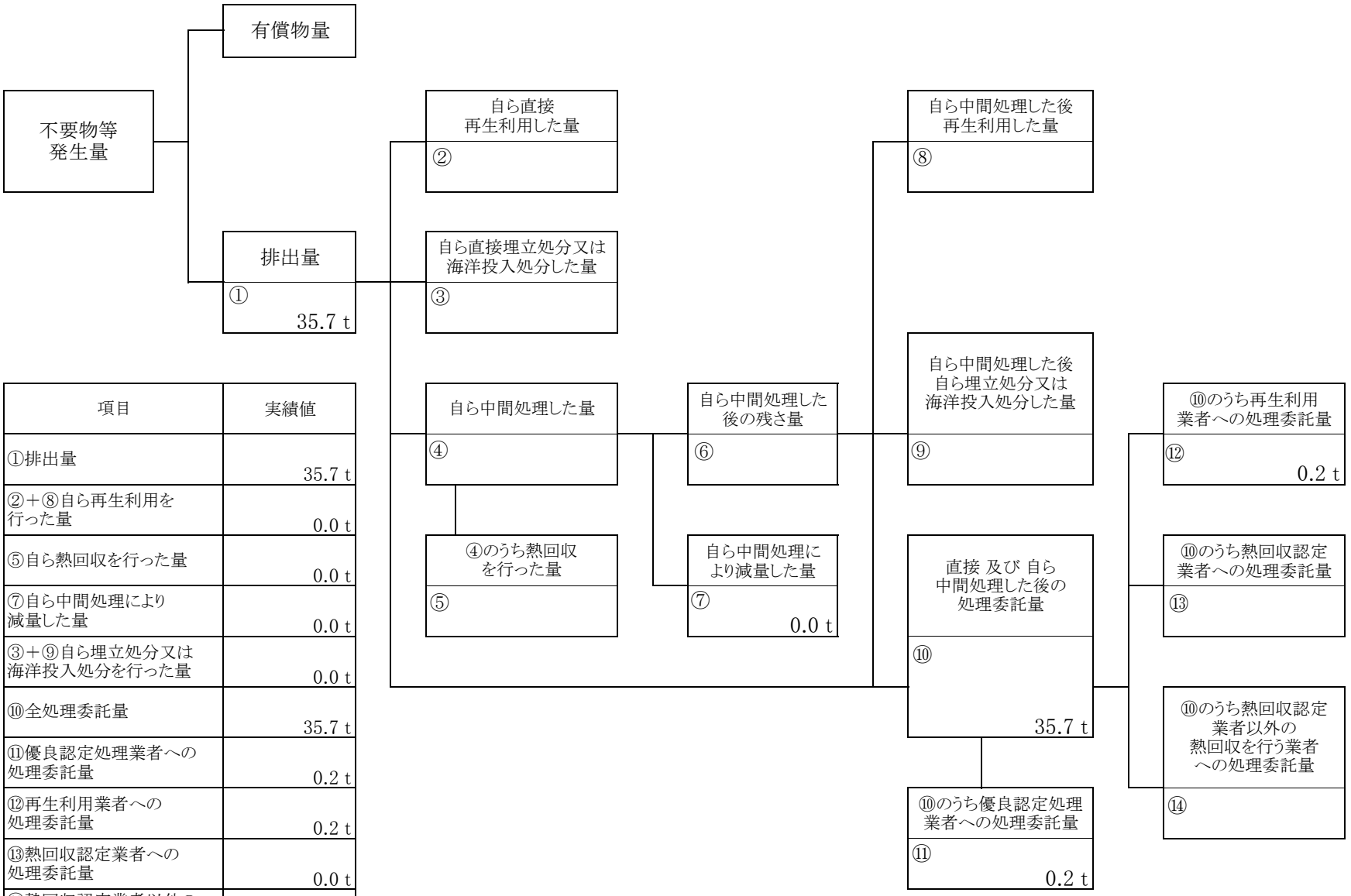


項目	実績値
①排出量	358.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	358.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	358.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃水銀灯**　）

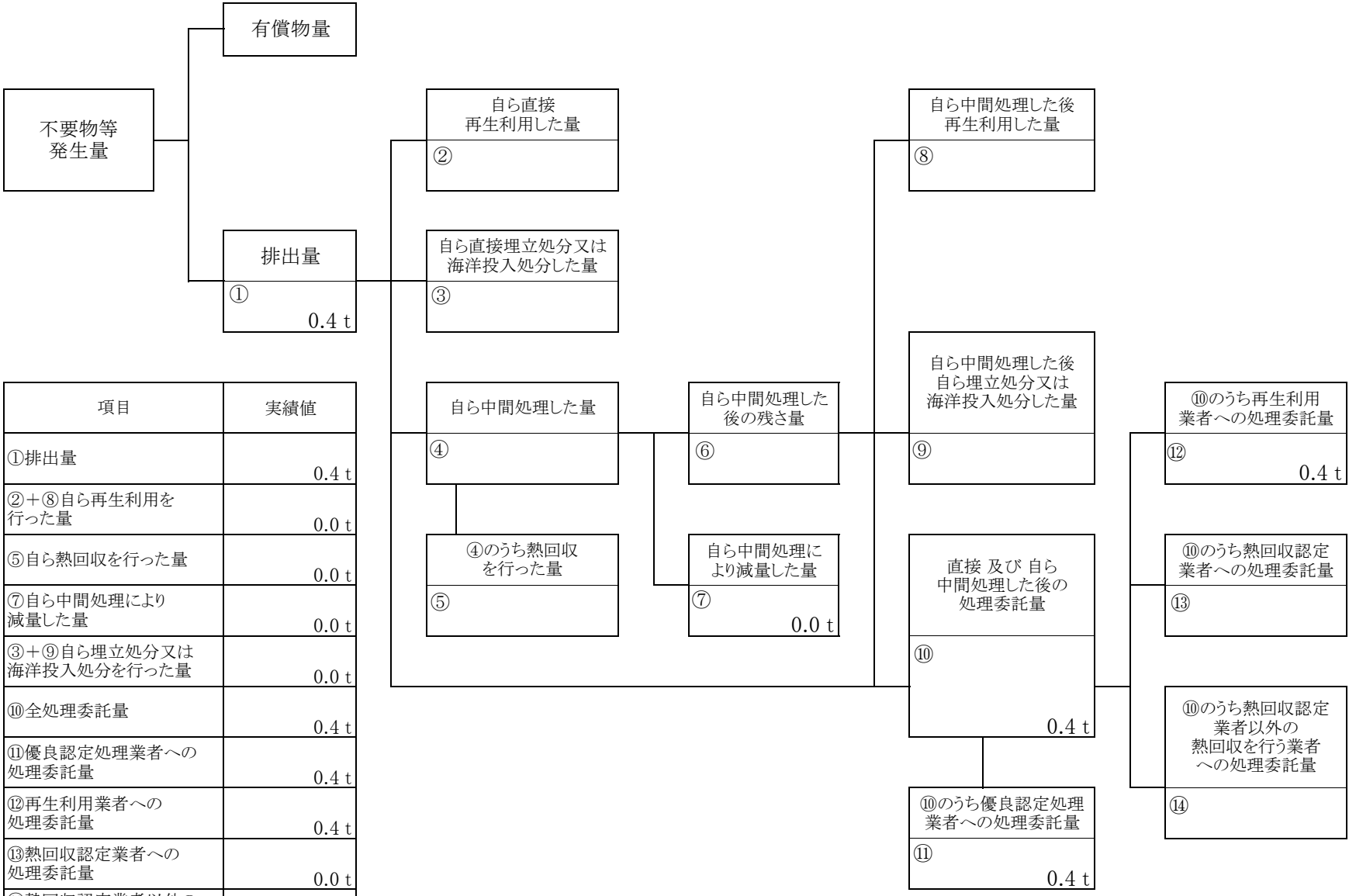


項目	実績値
①排出量	35.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃蛍光灯**　）

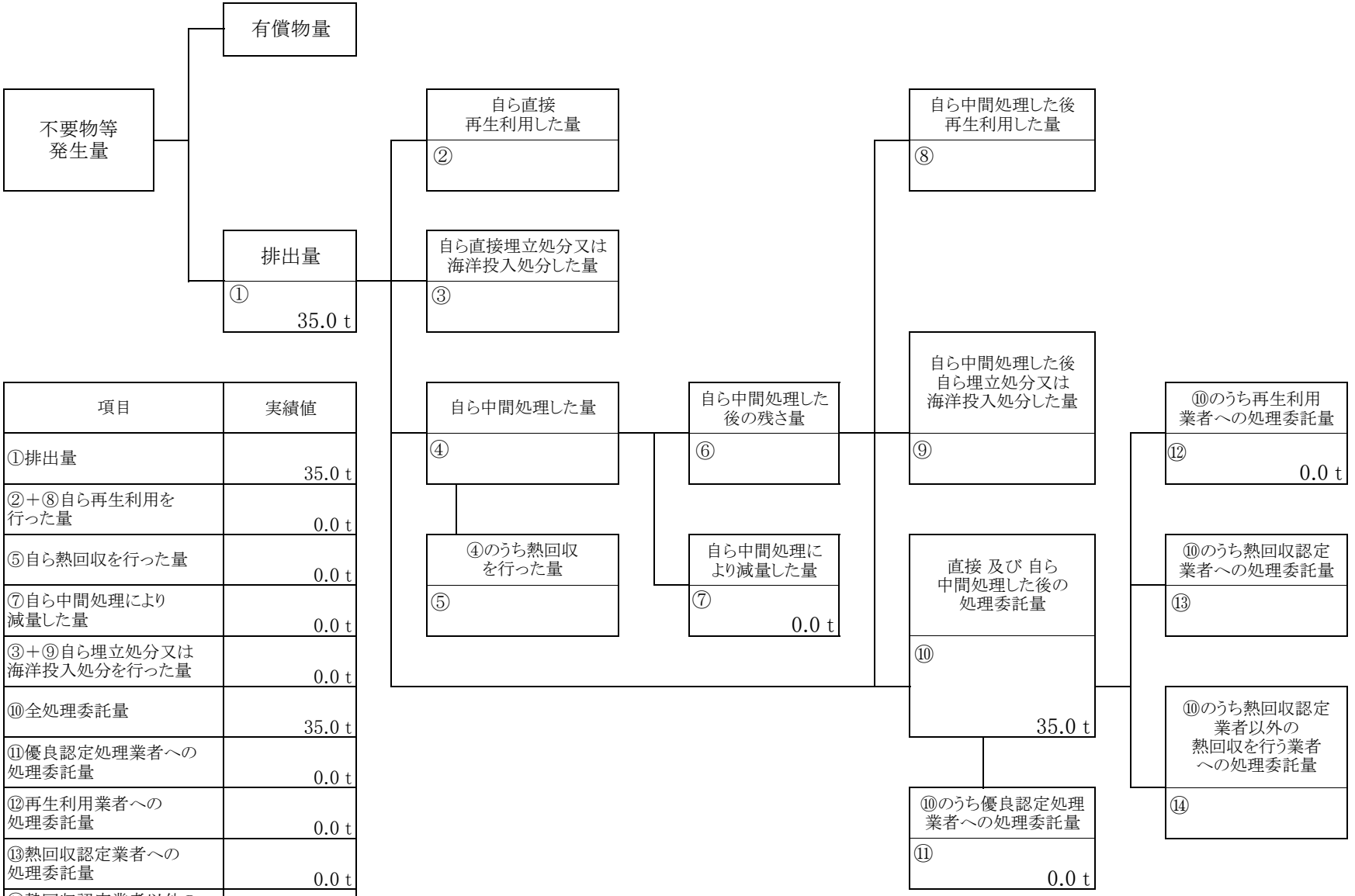


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃電池**　）



項目	実績値
①排出量	35.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　５月　３１日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒136-0075

住　所　東京都江東区新砂一丁目３番３号

氏　名　株式会社竹中土木　東京本店
常務執行役員本店長　山田敏昭

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6810-6221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社竹中土木　東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂一丁目３番３号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	完成工事高　３５５億円（令和５年度：東京本店）
③　従業員数	３２０名（令和６年３月末現在：東京本店）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	がれき類
排出量	185.4 t	935.6 t

（これまでに実施した取組）

工事着手前の社内工事基本方針検討会にて廃棄物排出量の抑制の観点から施工方法・使用機材等について検討している。
新規入場者教育及び作業所集合教育にて廃棄物の分別保管の徹底、一般廃棄物との区分の徹底について指導・教育を実施している。
店社安全巡回にて作業所の産廃物保管状況等を確認し、排出量抑制等についてヒアリング及び助言を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	汚泥	がれき類
排出量	150 t	800 t

（今後実施する予定の取組）

上記の取り組みを継続して実施し、排出量抑制、分別徹底を実施する。
また、施工方法変更・新工法等の開発による排出量抑制を実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別については、分別を徹底して混合廃棄物自体の発生抑制に取り組んでいる。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後も混合廃棄物の発生抑制に取り組んでいく。
また、廃プラスチック類についてもその種類により分別の徹底を実施していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	がれき類
全処理委託量＿	185.4 t	935.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	185.4 t	935.6 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

作業所に近い処理施設を事前に調査し、信頼性・処理実績・施設規模を現地確認の上、条件を満たす業者と委託契約書を用いて契約している。
品目によっては、店社にて業者現地ヒアリングを実施している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	がれき類
全処理委託量＿	150 t	800 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	150 t	800 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）
上記①現状の取り組みに加え、優良業者との委託契約締結を優先する。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

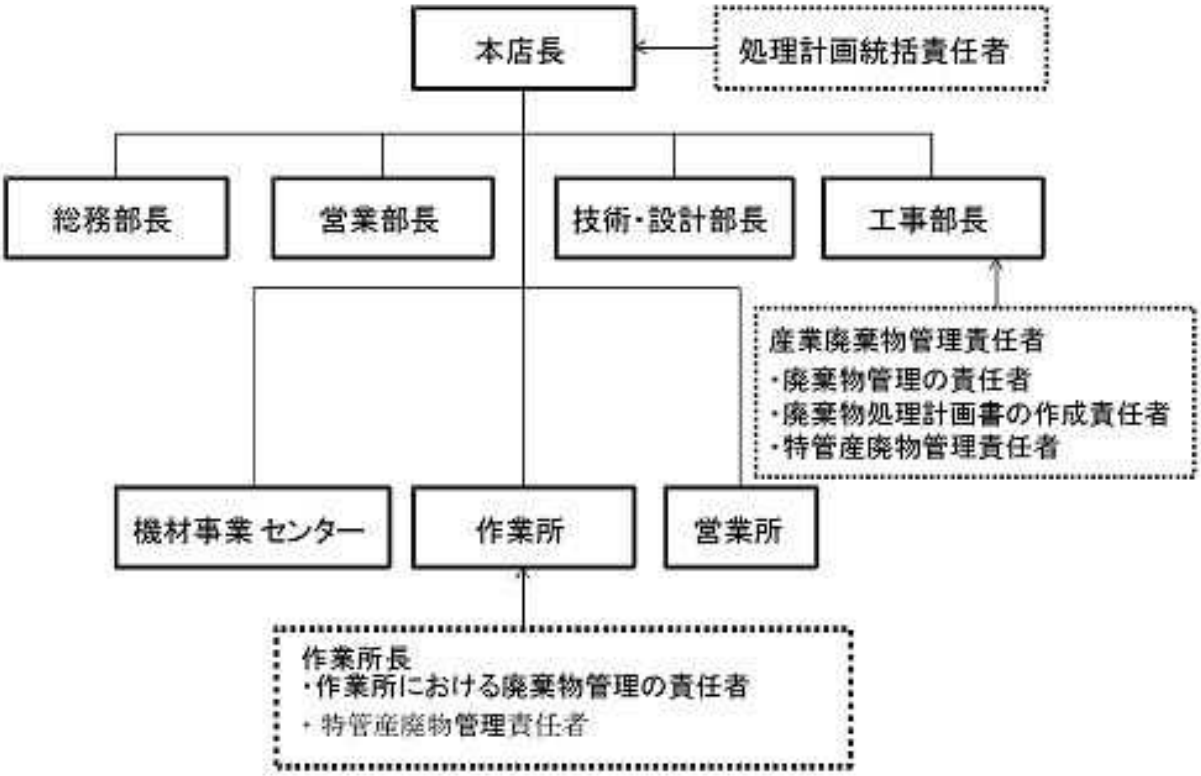
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
		排　　出　　量	73.3　t	89.7　t	47.1　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
		排　　出　　量	50　t	60　t	30　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
	全処理委託量	73.3 t	89.7 t	47.1 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	47.1 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	73.3 t	89.7 t	47.1 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスッチック類	混合廃棄物	木くず					
	全処理委託量	50 t	60 t	30 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	30 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	60 t	30 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

別紙１「一連の処理の工程」



別紙２「管理体制図」


本店長
処理計画統括責任者
総務部長
営業部長
技術・設計部長
工事部長
産業廃棄物管理責任者
・廃棄物管理の責任者
・廃棄物処理計画書の作成責任者
・特管産廃物管理責任者
機材事業 センター
作業所
営業所
作業所長
・作業所における廃棄物管理の責任者
・特管産廃物管理責任者

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 5月 31日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒136-0075
住 所　東京都江東区新砂一丁目3番3号
氏 名　株式会社竹中土木 東京本店
常務執行役員本店長 山田敏昭
電話番号 03-6810-6221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社竹中土木 東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂一丁目3番3号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

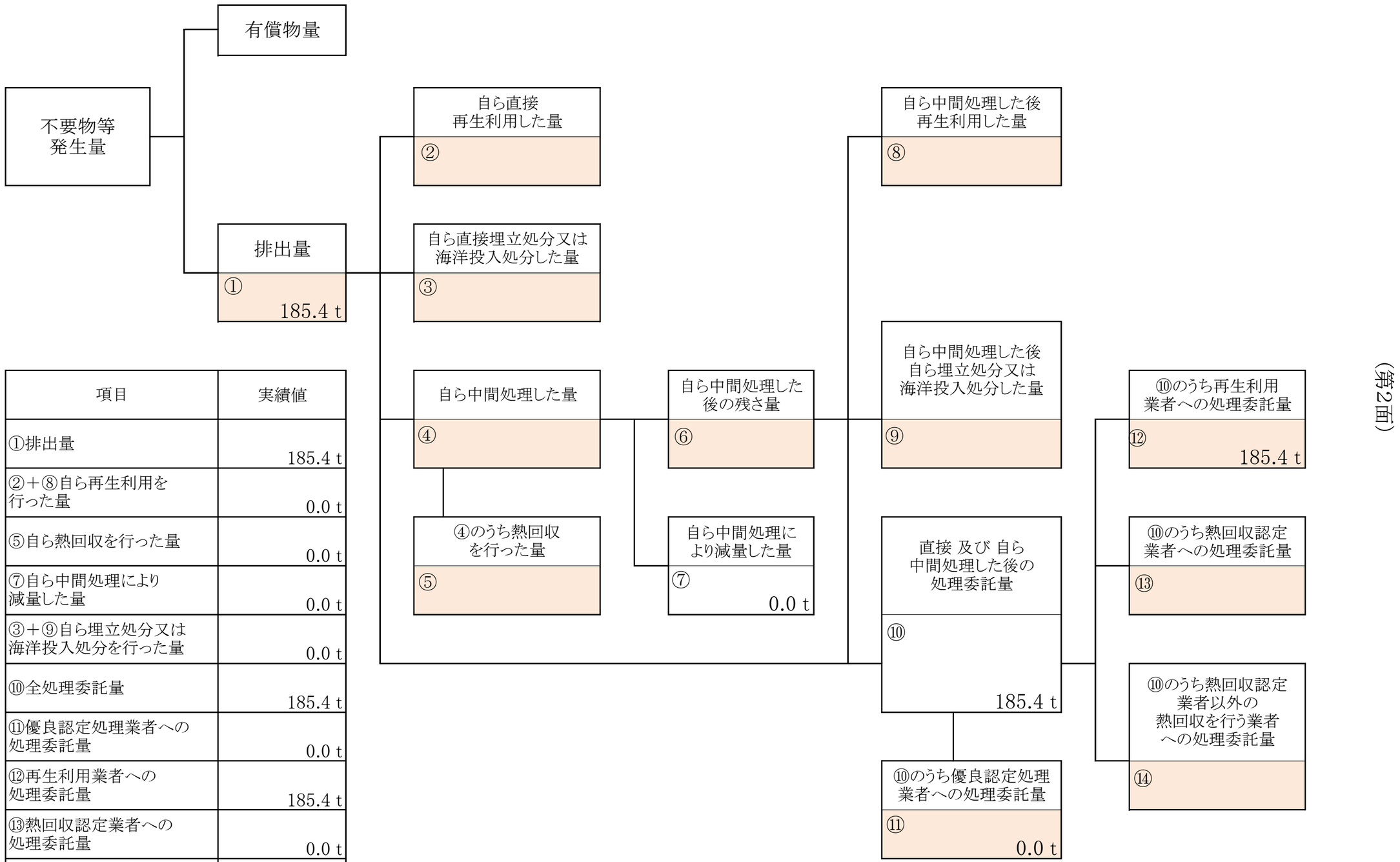
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1331.0 t	全処理委託量	1331.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	150.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1331.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

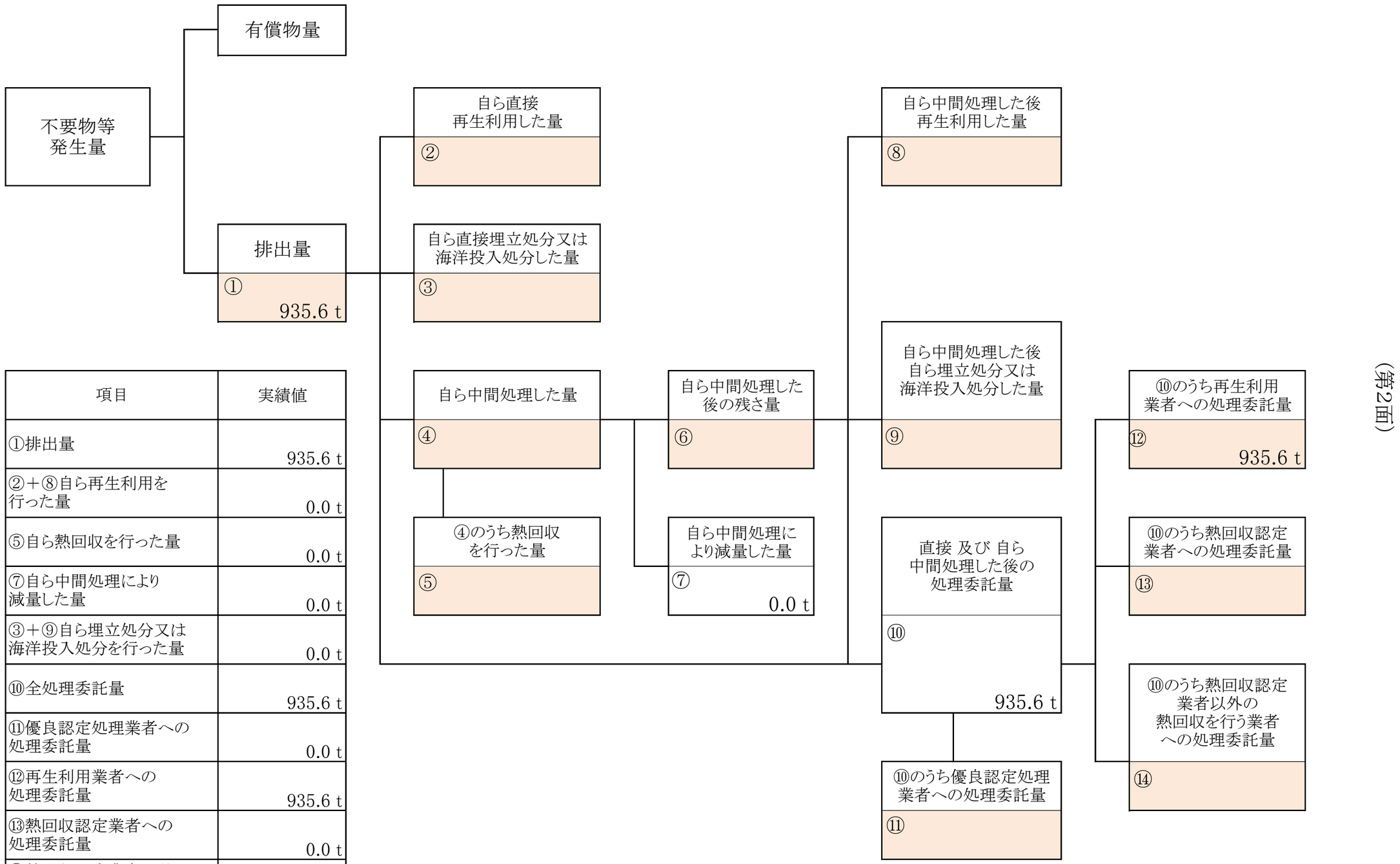


項目	実績値
①排出量	185.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	185.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	185.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

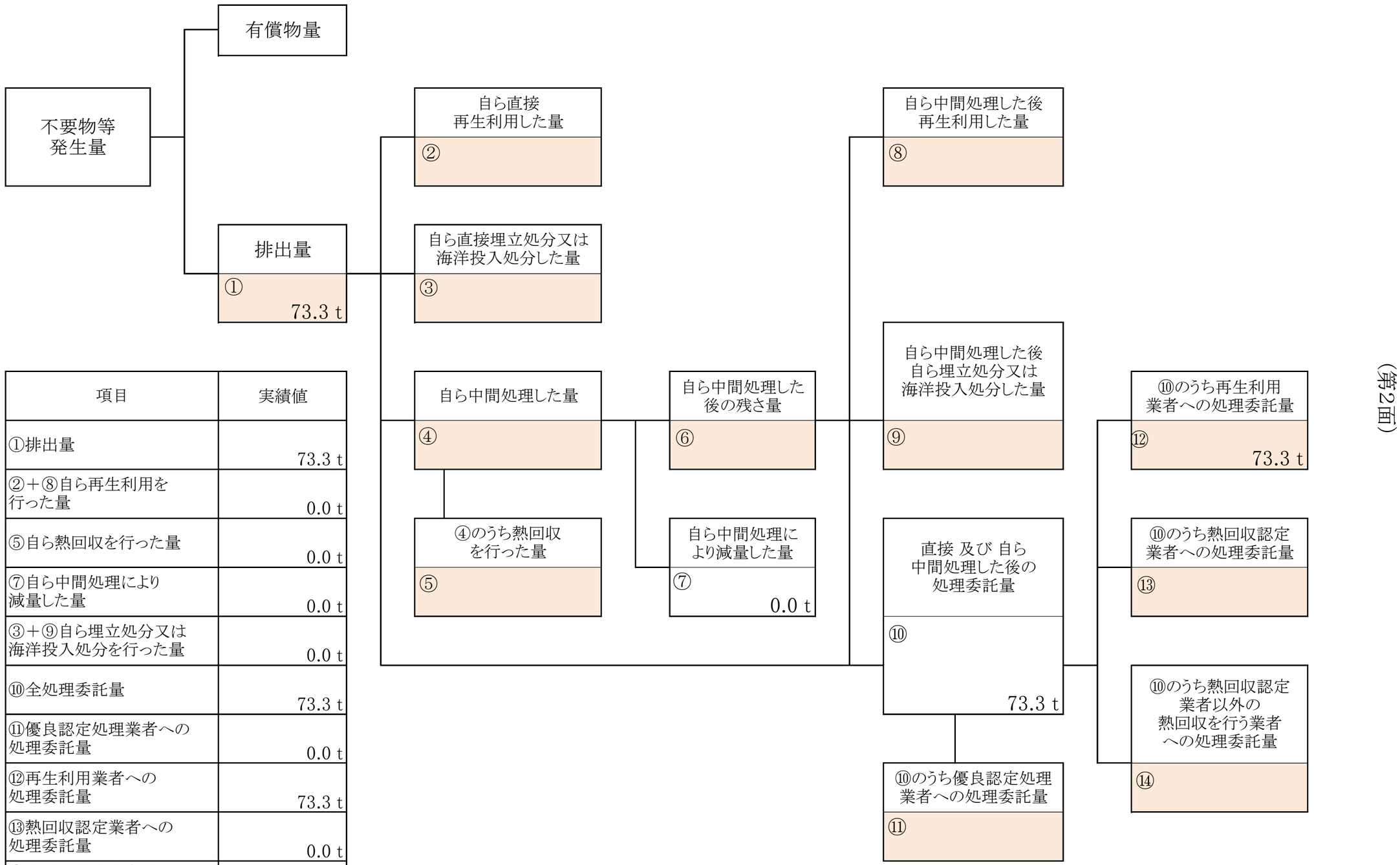


項目	実績値
①排出量	935.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	935.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	935.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

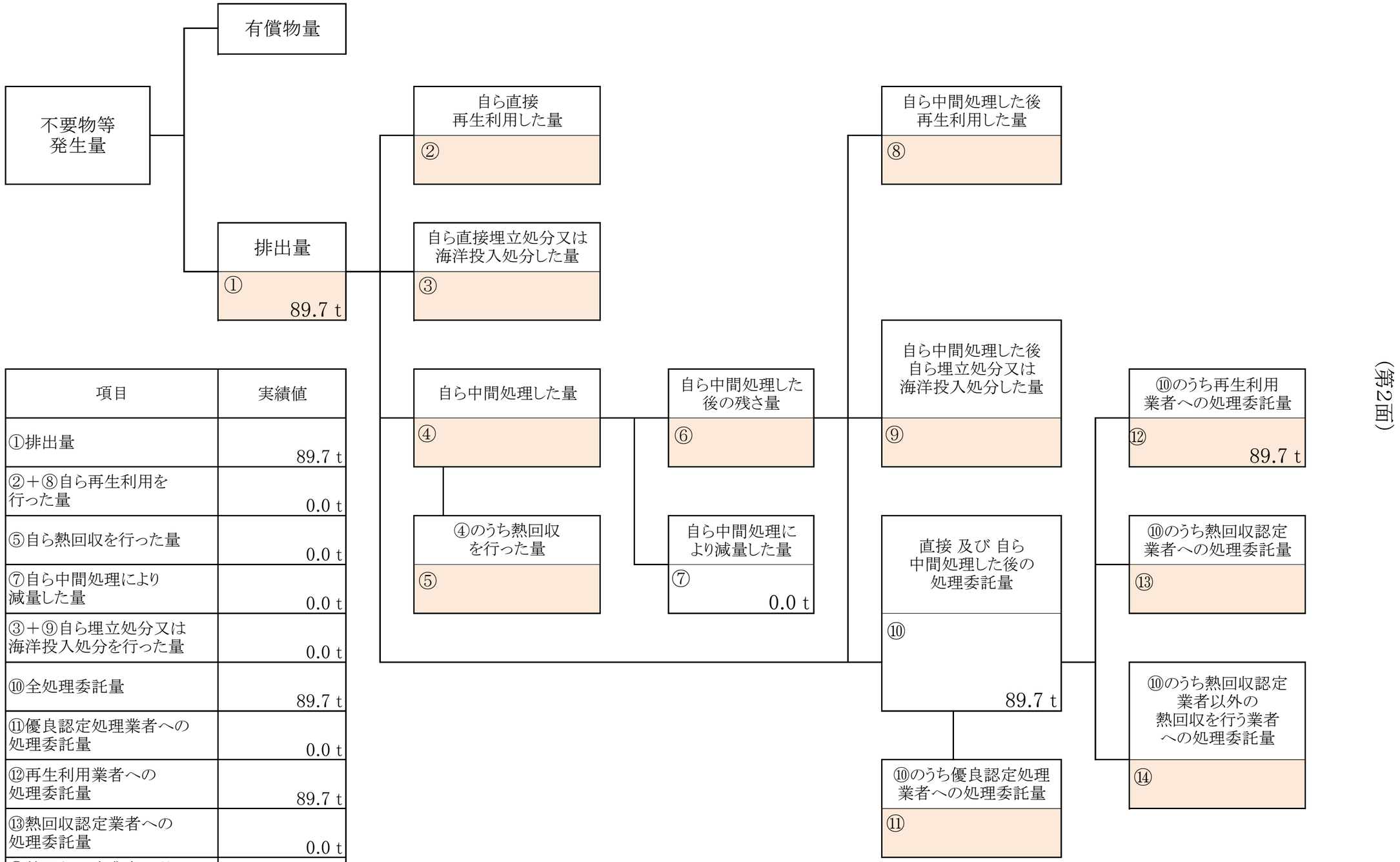


項目	実績値
①排出量	73.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	73.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	73.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

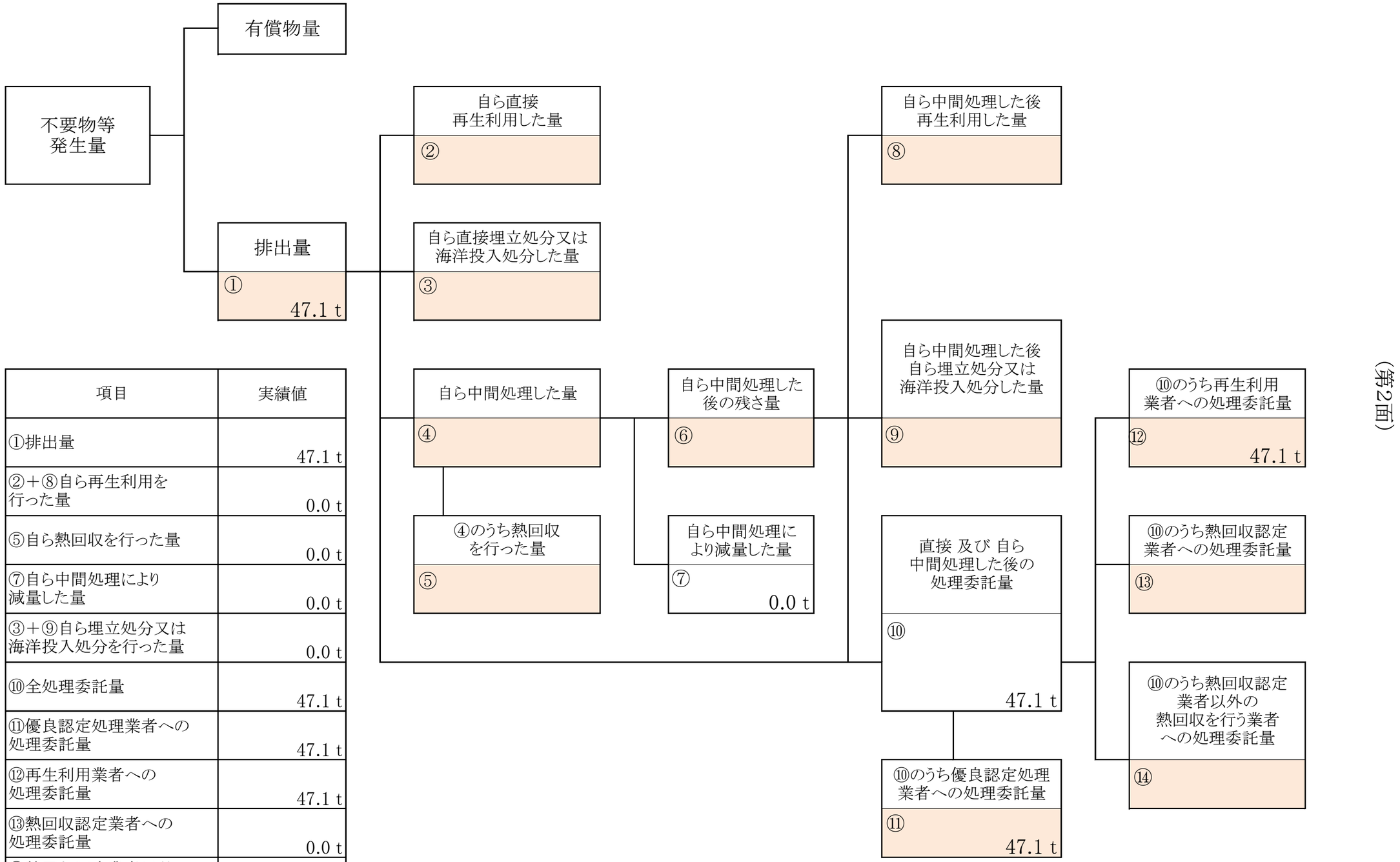


項目	実績値
①排出量	89.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	89.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	89.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



項目	実績値
①排出量	47.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	47.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	47.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区東新橋1-9-1　東京汐留ビルディング9階

氏 名 田中建設工業株式会社

安全環境管理部長　間下芳明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6264-5087

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	田中建設工業株式会社
事業場の所在地	東京都港区新橋1-9-1　東京汐留ビルディング9階（現場 市川.浦安）
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	資本金　297,156千円
③従業員数	105名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・現場での分別強化、混合廃棄物の発生抑制、リサイクル率向上等の取り組みを通して、排出抑制に努める

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・現状の取組を継続し、排出量の削減に努める

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・コンクリート、アスコン、木くず、石膏ボード、廃プラ、ガラスくず、ALC、金属くず等、がれき、建設系混合廃棄物は分別・保管している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・現状の取組を継続し、排出量の削減に努める
・建設系混合廃棄物を管理型、安定型に分別する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	2024/6/25
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t

（これまでに実施した取組）
・実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t

（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t

（これまでに実施した取組）
・実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	2024/6/25
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	t

（これまでに実施した取組）
・実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	t

（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
・できる限り電子マニフェスト登録されている業者を採用した
・電子契約の取組の開始

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>45,468.0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
・現状の取組を継続し、排出量の削減に努める
・電子契約の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。

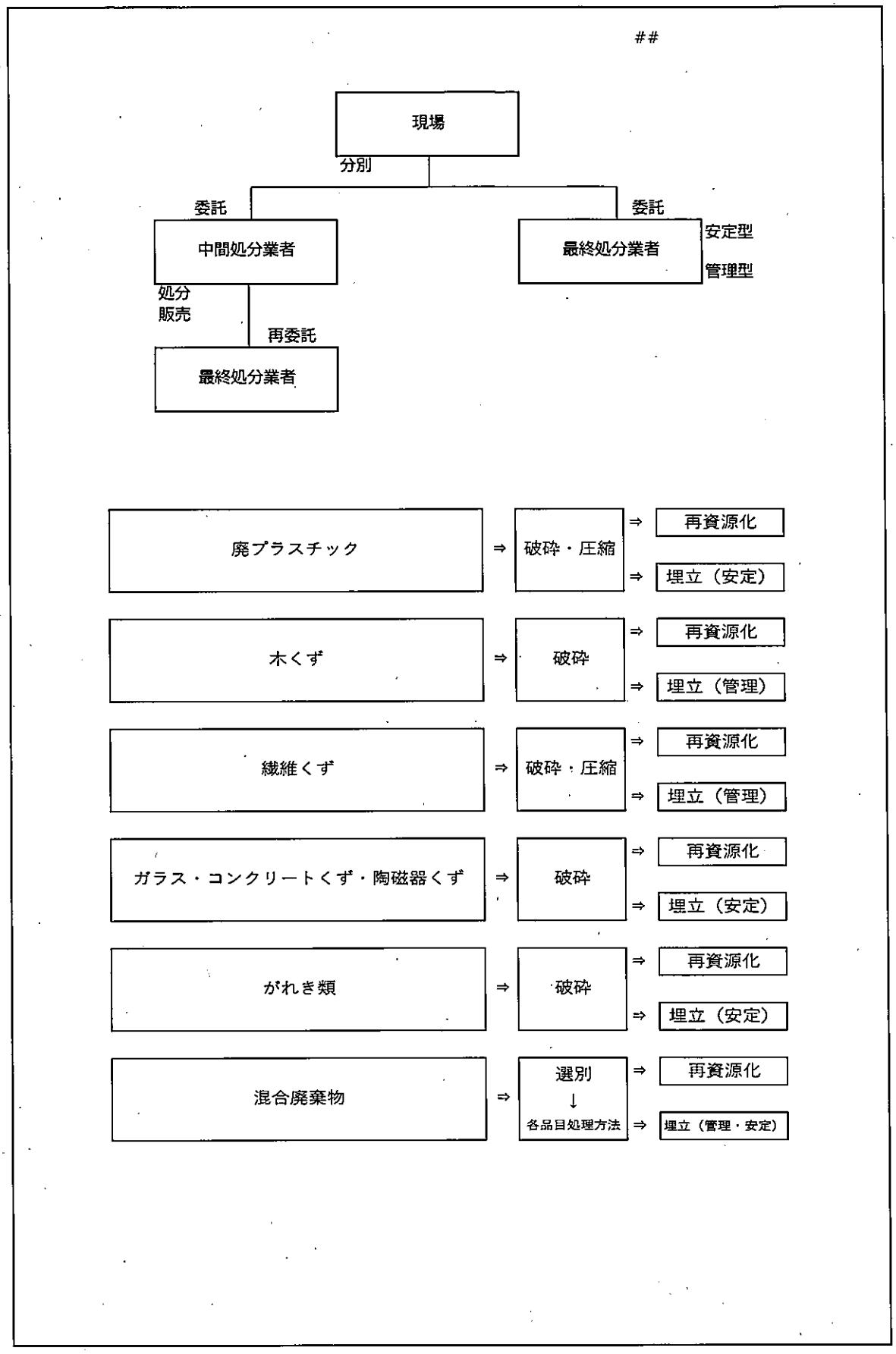
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

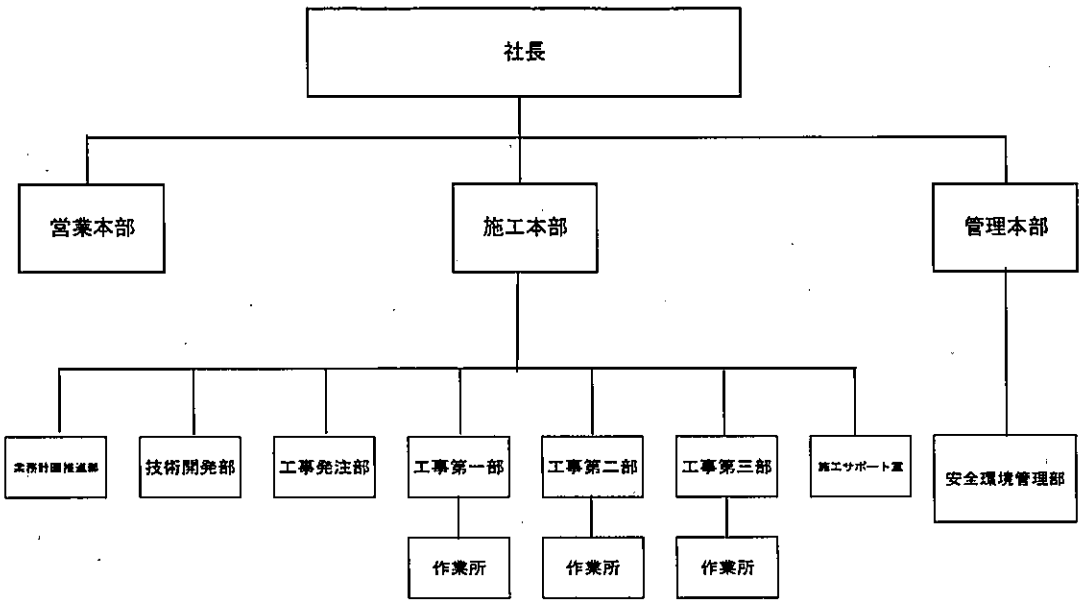
7.　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図


##
現場
分別
委託
委託
中間処分業者
最終処分業者
安定型
管理型
処分
販売
再委託
最終処分業者
廃プラスチック
⇒
破砕・圧縮
⇒
再資源化
⇒
埋立（安定）
木くず
⇒
破砕
⇒
再資源化
⇒
埋立（管理）
繊維くず
⇒
破砕・圧縮
⇒
再資源化
⇒
埋立（管理）
ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず
⇒
破砕
⇒
再資源化
⇒
埋立（安定）
がれき類
⇒
破砕
⇒
再資源化
⇒
埋立（安定）
混合廃棄物
⇒
選別
↓
各品目処理方法
⇒
再資源化
⇒
埋立（管理・安定）

別添２ 管理体制図

###



各部の主な役割

安全環境管理部	教育・指導、委託契約、マニフェスト管理、報告書作成、処分場視察
施工本部	教育・指導
作業所	廃棄物保管、委託契約、マニフェスト管理、処分場視察

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】																						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			2024/6/25						
	排出量	2.43 t	8.93 t	207.63 t	0.18 t	196.00 t	32.10 t	2,427.94 t	164.28 t	125.80 t	37.44 t	582.09 t	0.47 t									
②計画	【目標】																						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品										
	排出量	2.19 t	8.04 t	186.87 t	0.16 t	176.40 t	28.89 t	2,185.15 t	147.85 t	113.22 t	33.70 t	523.88 t	0.78 t										

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】																						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
②計画	【目標】																						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品										
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】																						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
②計画	【目標】																						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品										
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
全処理委託量	2.43 t	8.93 t	207.63 t	0.18 t	196.00 t	32.10 t	2,427.94 t	164.28 t	125.80 t	37.44 t	582.09 t	0.87 t						
都道府県知事許可産業廃棄物処理業者への処理委託量	2.43 t	8.93 t	131.18 t	0.18 t	196.00 t	32.10 t	1,732.34 t	149.48 t	99.16 t	37.44 t	582.09 t	0.00 t						
再生利用業者への処理委託量	2.43 t	8.93 t	207.63 t	0.18 t	196.00 t	32.10 t	2,427.94 t	164.28 t	125.80 t	0.00 t	0.00 t	0.87 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
全処理委託量	2.19 t	8.04 t	186.87 t	0.16 t	176.40 t	28.89 t	2,185.15 t	147.85 t	113.22 t	33.70 t	523.88 t	0.78 t						
都道府県知事許可産業廃棄物処理業者への処理委託量	2.19 t	8.04 t	118.06 t	0.16 t	176.40 t	28.89 t	1,559.11 t	134.53 t	89.24 t	33.70 t	523.88 t	0.00 t						
再生利用業者への処理委託量	2.19 t	8.04 t	186.87 t	0.16 t	176.40 t	28.89 t	2,185.15 t	147.85 t	113.22 t	0.00 t	0.00 t	0.78 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月25日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

氏 名 田中建設工業株式会社

安全環境管理部長 間下芳明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6264-5087

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	田中建設工業株式会社
事業場の所在地	東京都港区新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階（現場 市川市 浦安市）
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	16,676.86 t	全処理委託量	16,676.86 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	710.59 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	16,317.58 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

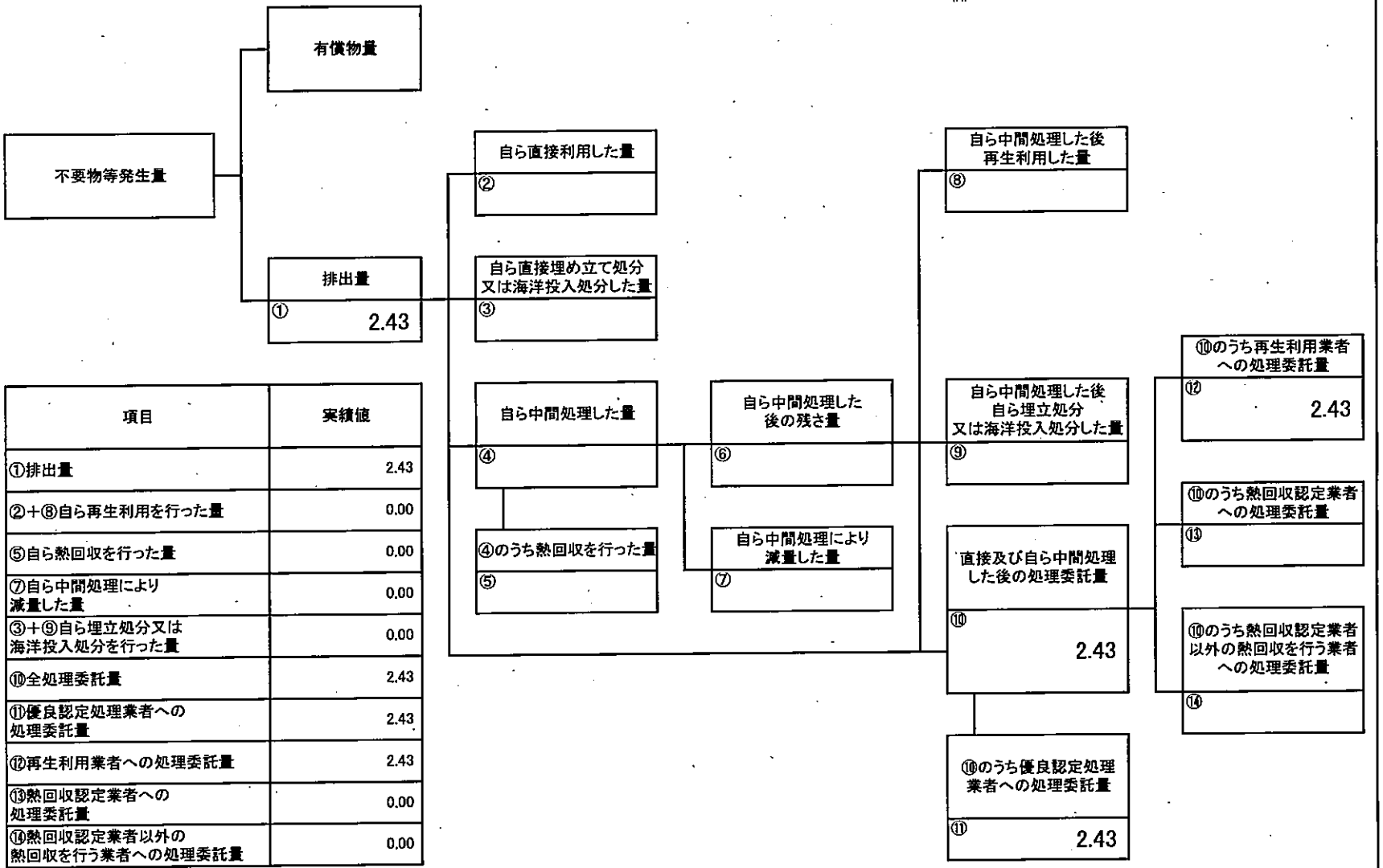
（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃油 ）

（単位：トン）

##



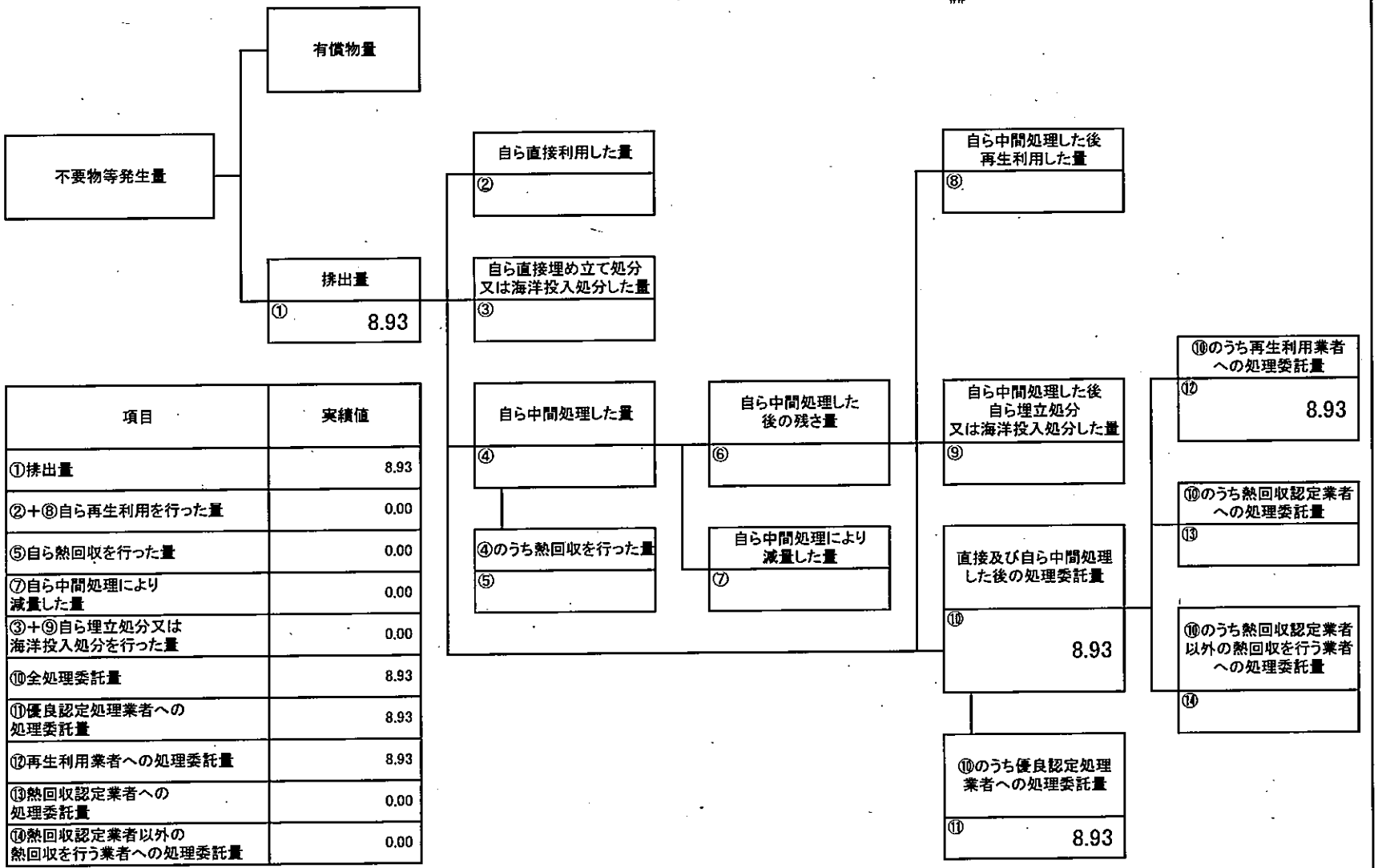
項目	実績値
①排出量	2.43
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.43
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.43
⑫再生利用業者への処理委託量	2.43
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

##



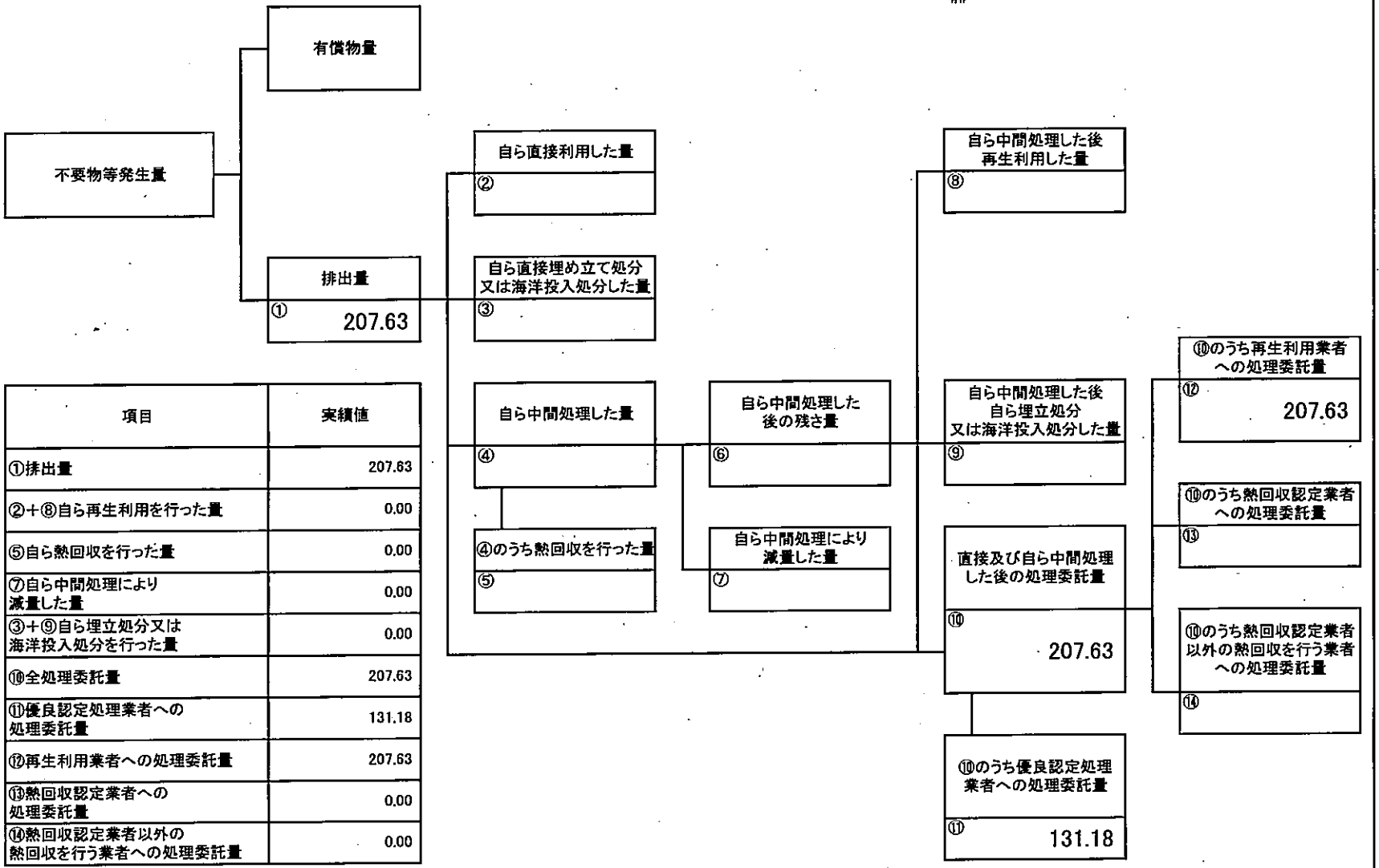
項目	実績値
①排出量	8.93
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	8.93
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.93
⑫再生利用業者への処理委託量	8.93
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず ）

（単位：トン）

##



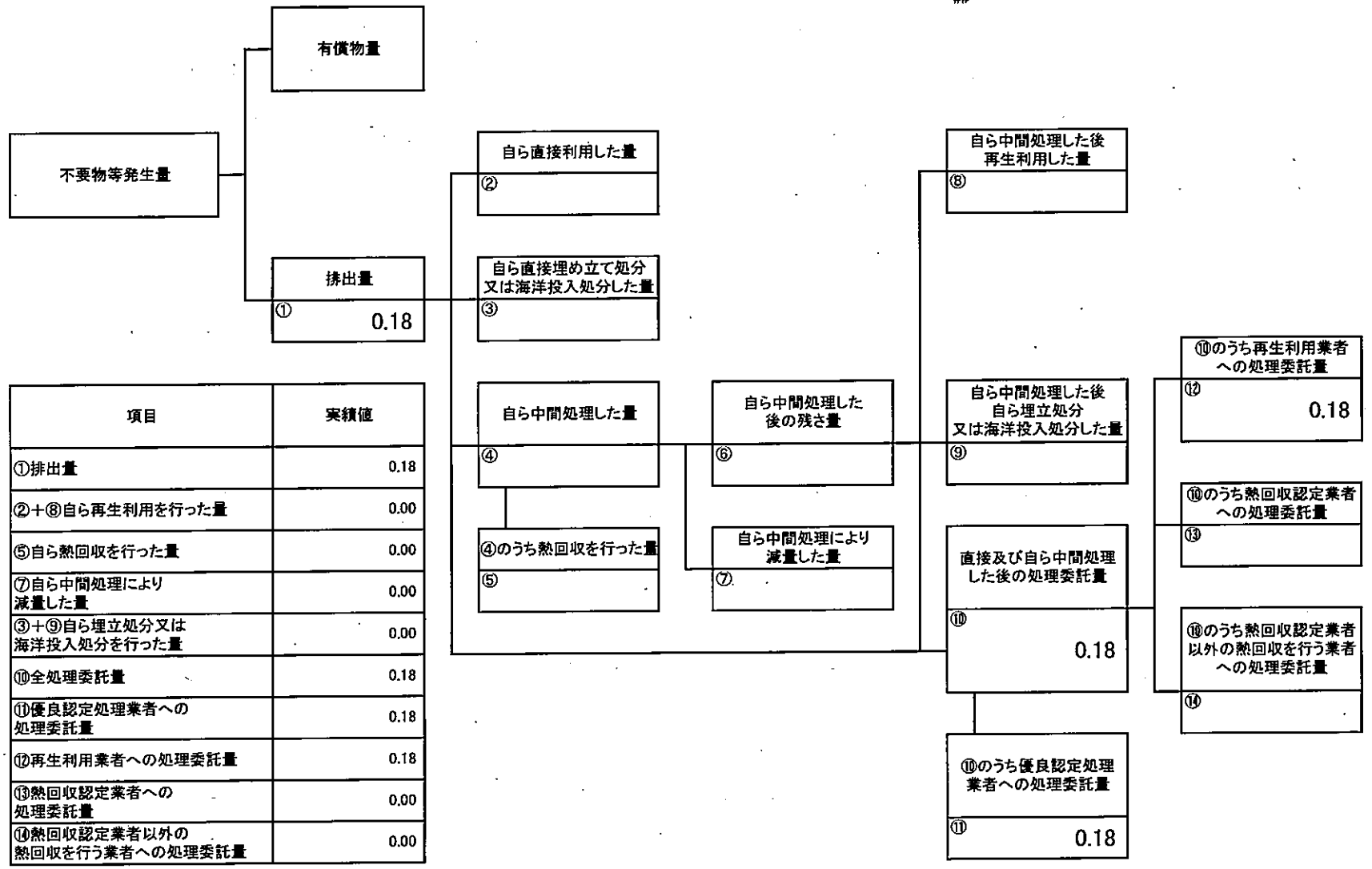
項目	実績値
①排出量	207.63
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	207.63
⑪優良認定処理業者への処理委託量	131.18
⑫再生利用業者への処理委託量	207.63
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類繊維くず　　）

（単位：トン）

##



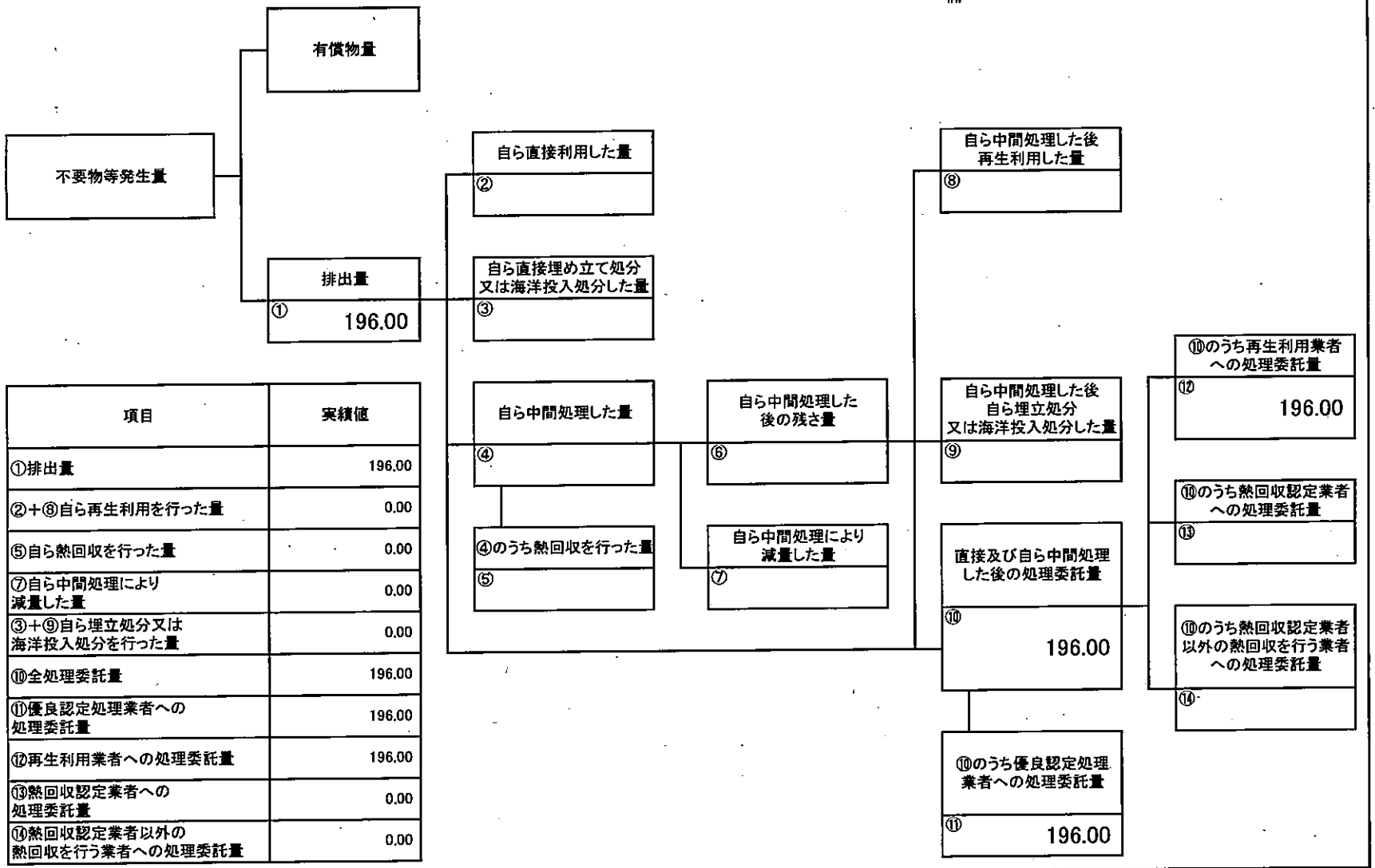
項目	実績値
①排出量	0.18
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.18
⑫再生利用業者への処理委託量	0.18
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

##



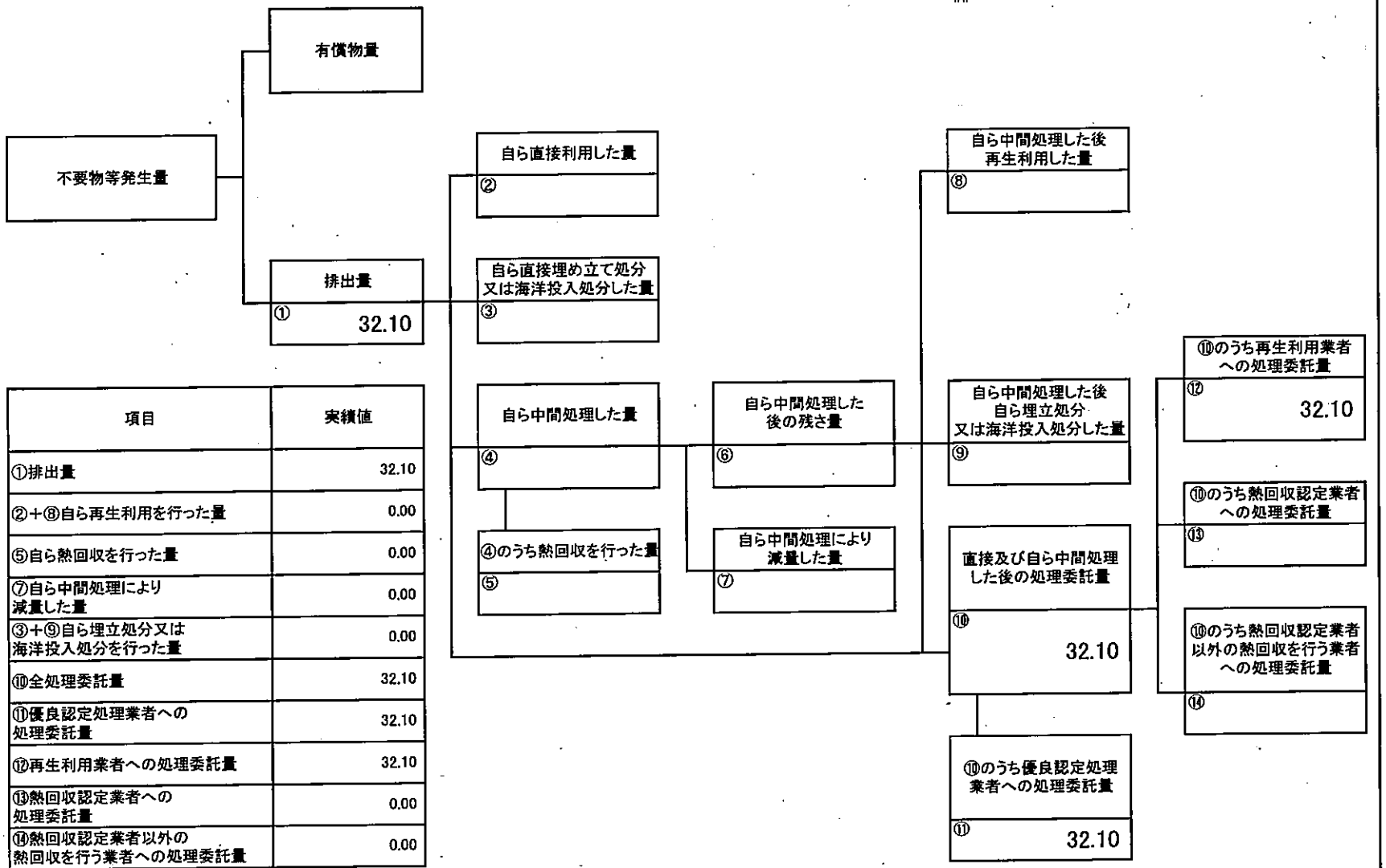
項目	実績値
①排出量	196.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	196.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	196.00
⑫再生利用業者への処理委託量	196.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

##



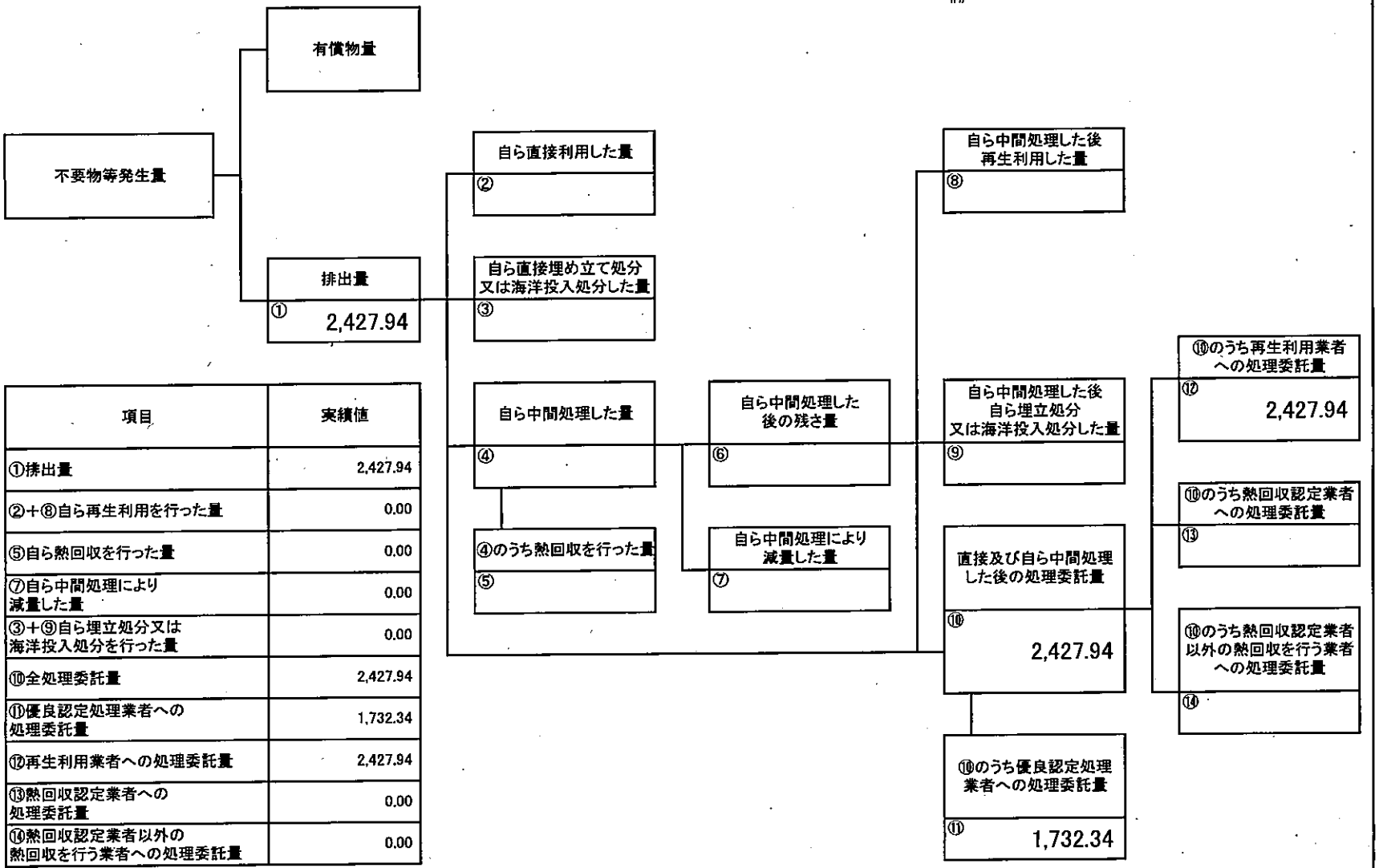
項目	実績値
①排出量	32.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	32.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32.10
⑫再生利用業者への処理委託量	32.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

##



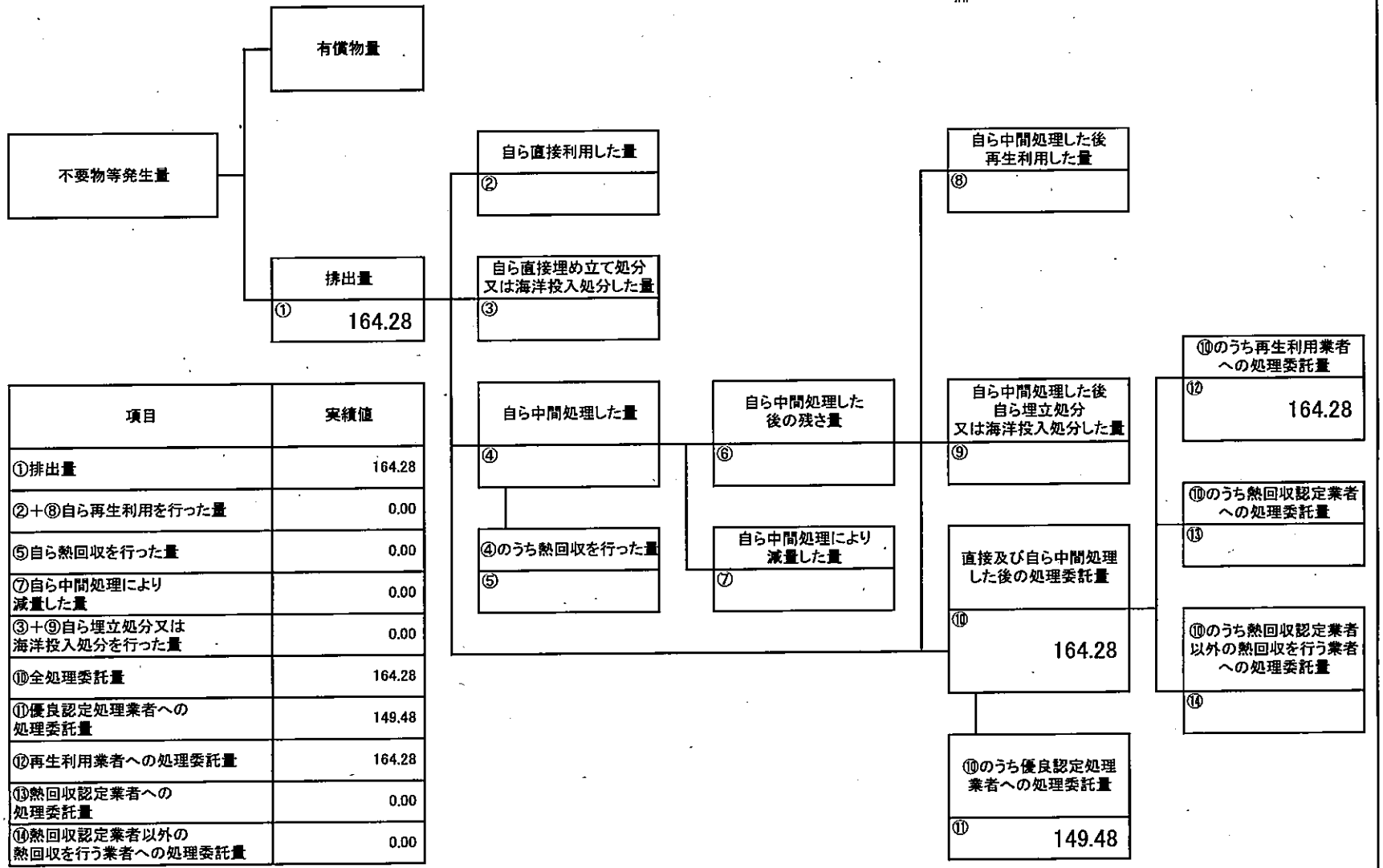
項目	実績値
①排出量	2,427.94
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,427.94
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,732.34
⑫再生利用業者への処理委託量	2,427.94
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

##



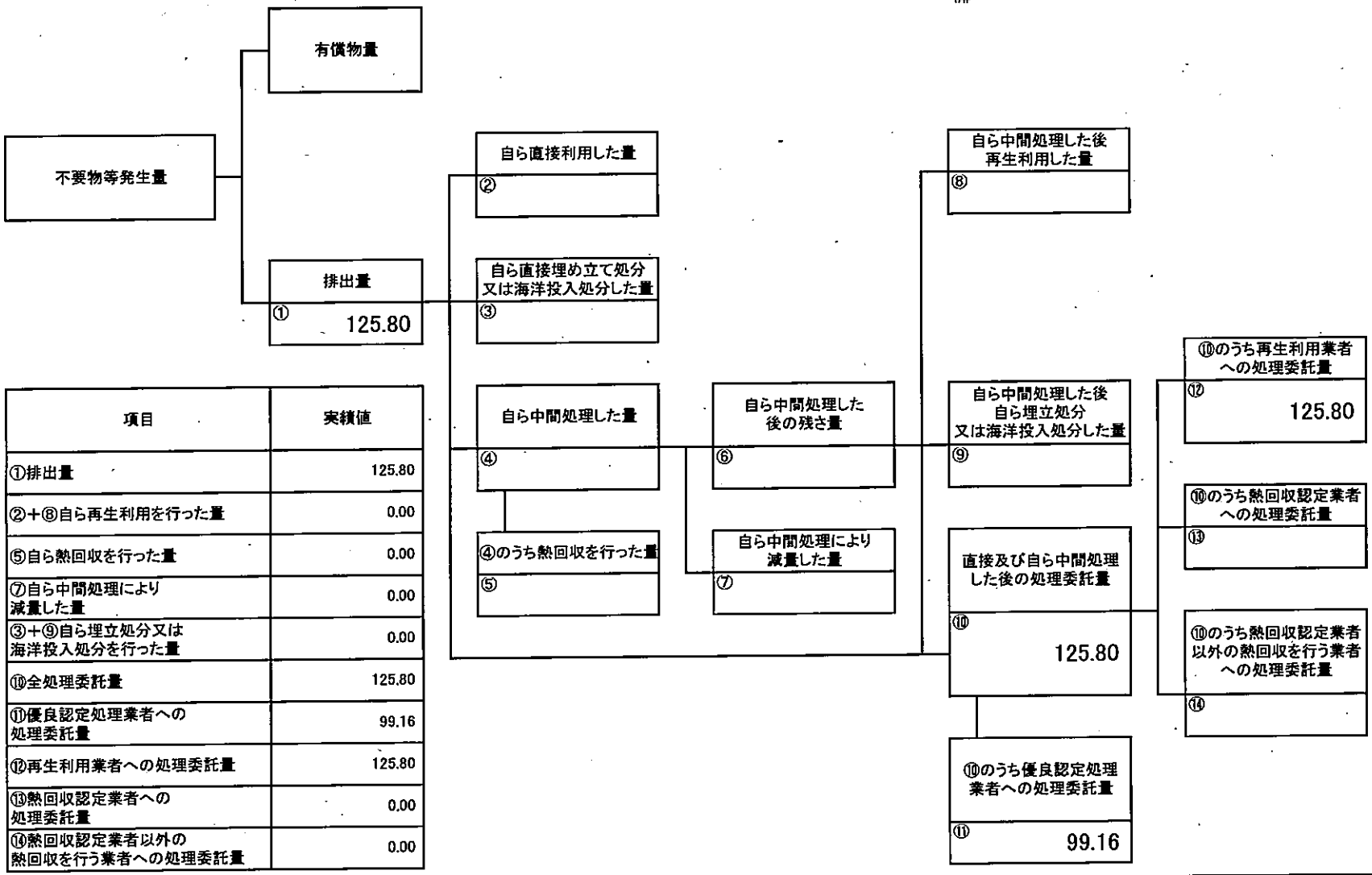
項目	実績値
①排出量	164.28
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	164.28
⑪優良認定処理業者への処理委託量	149.48
⑫再生利用業者への処理委託量	164.28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

##



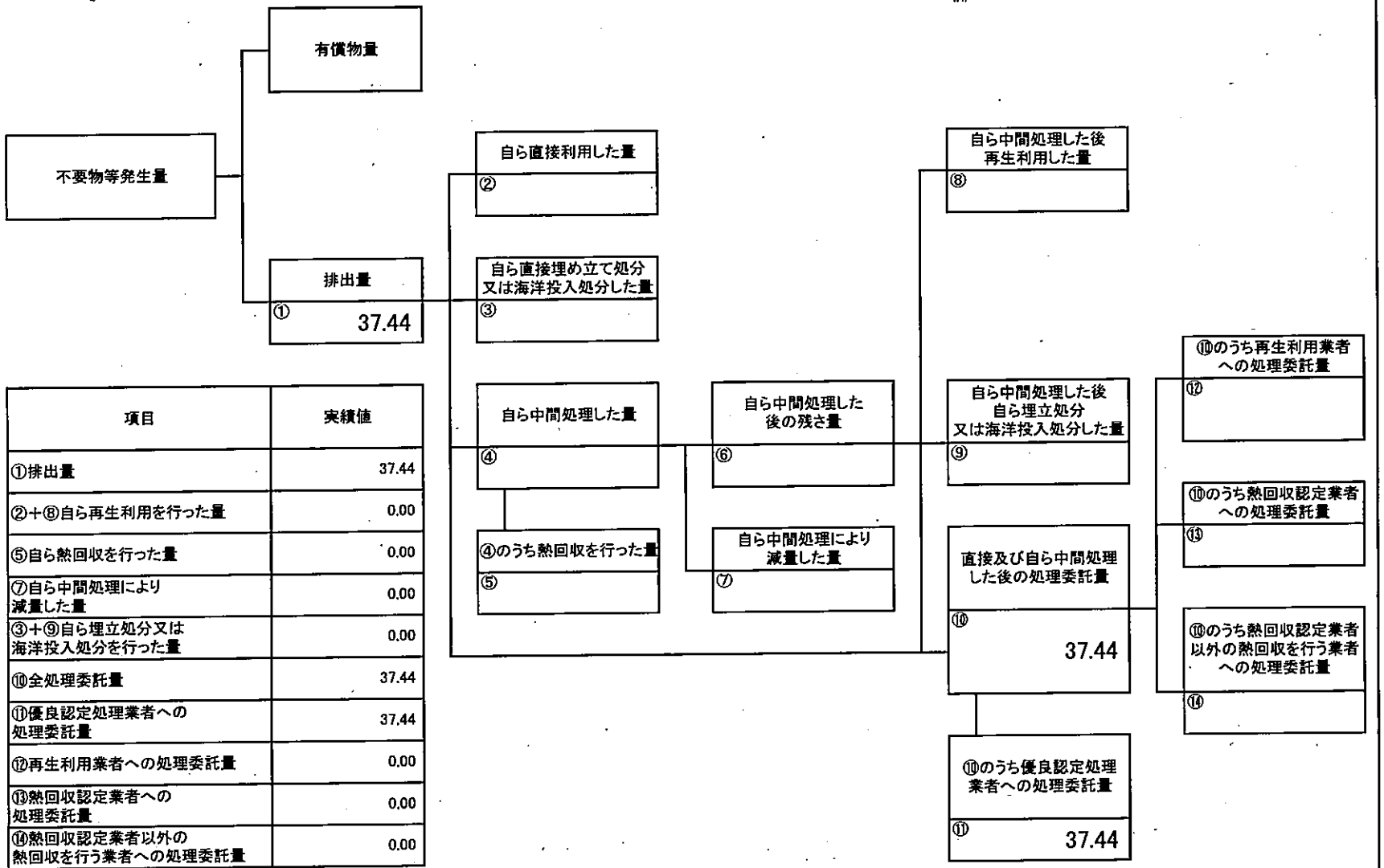
項目	実績値
①排出量	125.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	125.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	99.16
⑫再生利用業者への処理委託量	125.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

##



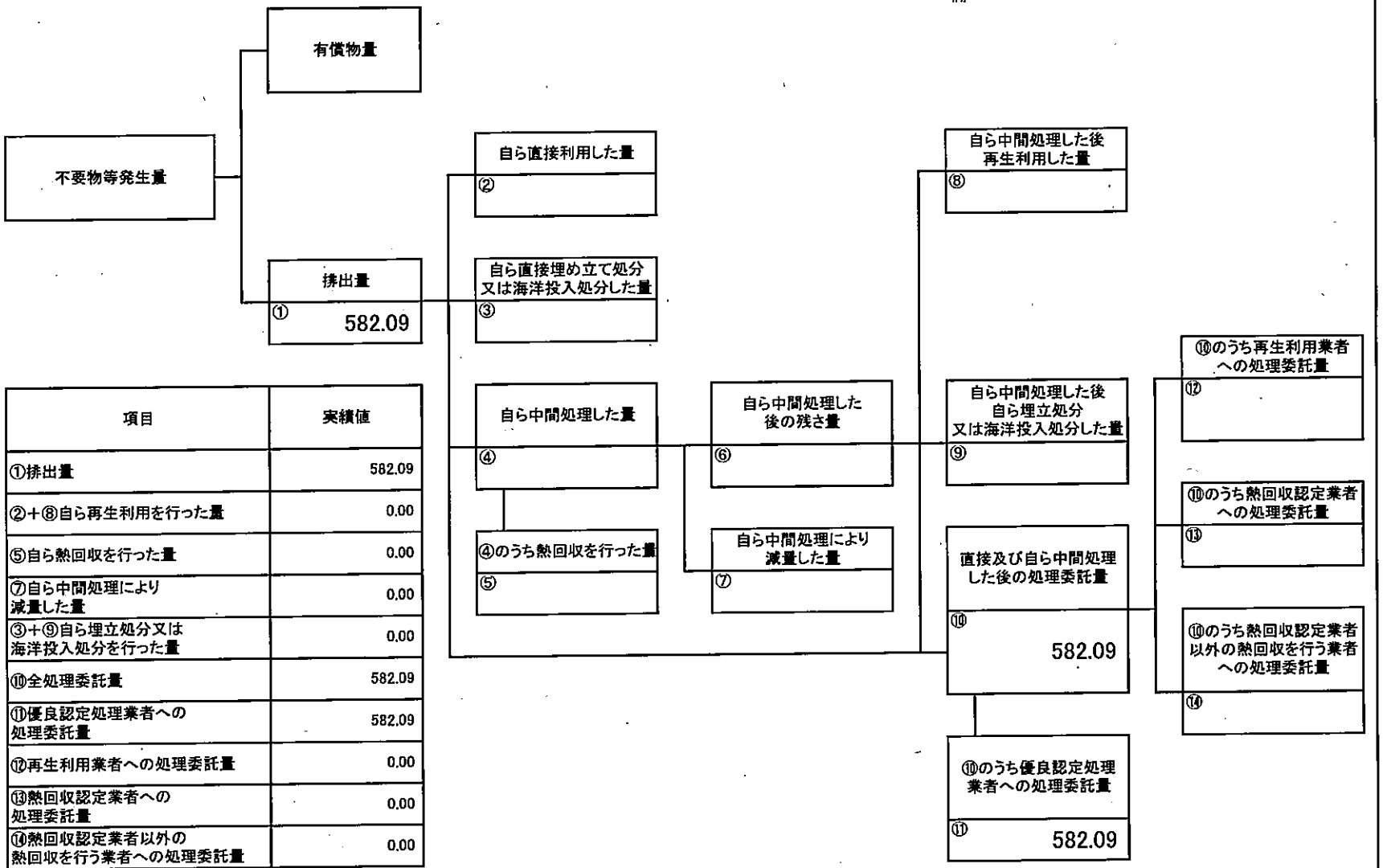
項目	実績値
①排出量	37.44
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	37.44
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.44
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 ）

（単位：トン）

##



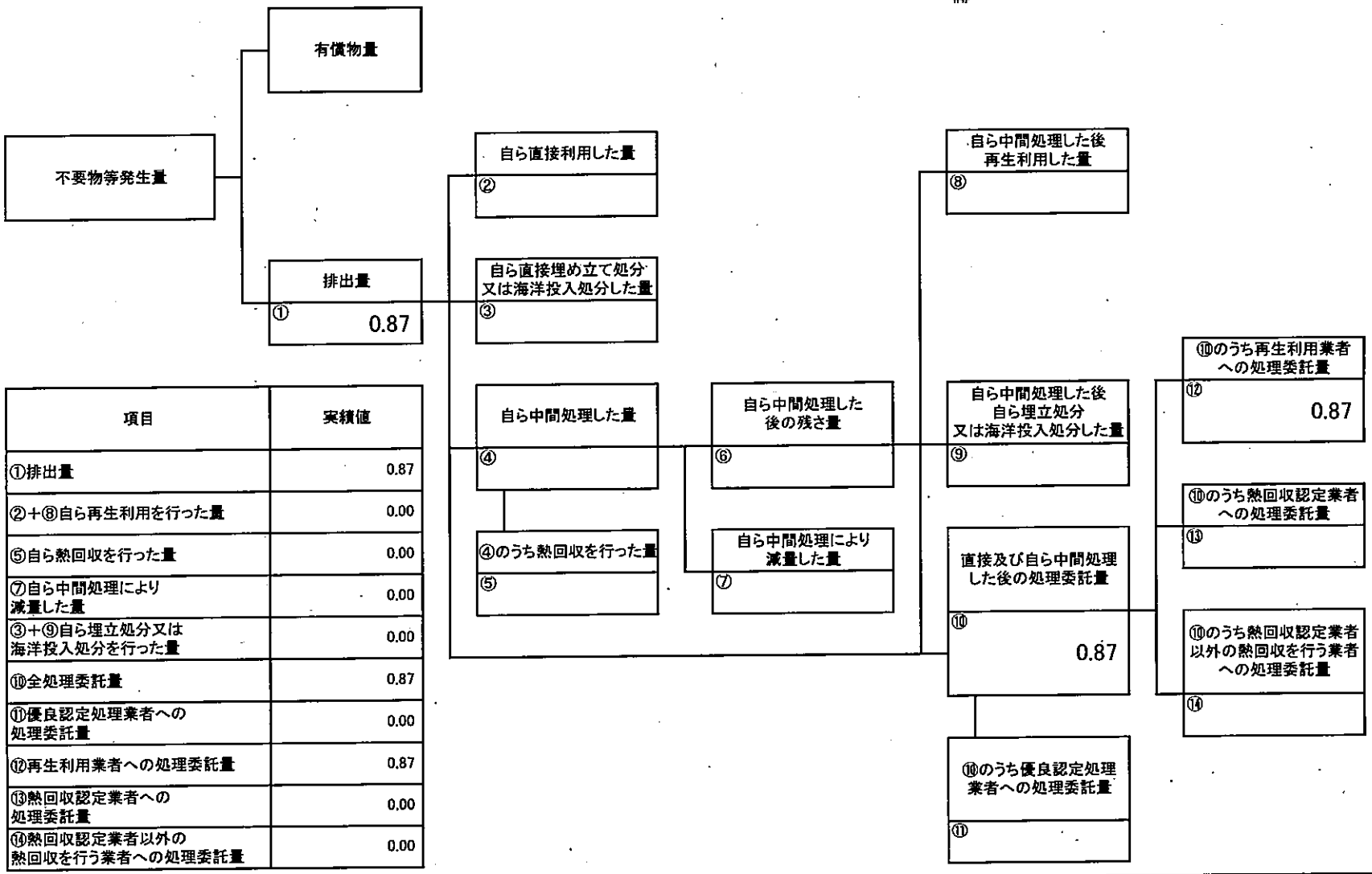
項目	実績値
①排出量	582.09
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	582.09
⑪優良認定処理業者への処理委託量	582.09
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類水銀使用製品　　）

（単位：トン）

##



項目	実績値
①排出量	0.87
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.87
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.87
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　　6月　　10日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-0825

住　所　千葉県千葉市中央区村田町893-945

氏　名　タマホーム株式会社　千葉支店
支店長　黒嶋　広樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-305-0328

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タマホーム株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区村田町893-945
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	379,552万円
③　従業員数	64人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→乾燥→焼却→埋立 廃プラスチック類→破砕→原燃料 紙くず→破砕→破砕→　原燃料 木くず→破砕→燃料チップ・ボード、原燃料 金属くず→破砕・切断→再生原料 ガラス・陶器くず→破砕→再生砕石→埋立 がれき類→破砕（焼却）→再生路盤材（原燃料） 石膏ボード→破砕→石膏・製紙原料

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	排出量	344.6 t	256.6 t
	（これまでに実施した取組） ・梱包材や養生材を削減 ・木材のプレカット化 ・配管類のユニット化 ・発生抑制に関する情報収集		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	排出量	334.3 t	248.9 t
	（今後実施する予定の取組） 上記に加え、下記の取組みを実施予定 ・発生抑制のための調達方法の工夫 ・工法の改善検討 ・梱包材の簡素化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・がれき類（コンクリート塊）、木材を分別 ・石膏ボードを分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記に加え、管理型処分産業廃棄物と安定型処分産業廃棄物に分別を実施予定 ・分別に関する情報収集

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
全処理委託量	344.6 t	256.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	25.4 t	31.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>ガラス・陶磁器くず</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>334.3 t</td><td>248.9 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>16.7 t</td><td>12.4 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>58.1 t</td><td>55.4 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
・可能な限り優良認定処理業者から選定する
・再生処理を中心にした産業廃棄物処理業者の選定を促進する
・委託処分事業者の現地確認を実施する
・委託業者任せにせず、性情等を把握する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	排　出　量	50.9 t	128.2 t	356.3 t	66.2 t	5.6 t	2.7 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	排　出　量	49.3 t	124.3 t	345.6 t	64.2 t	5.5 t	2.6 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	全処理委託量	50.9 t	128.2 t	356.3 t	66.2 t	5.6 t	2.7 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	50.9 t	128.2 t	354.1 t	4 t	0.6 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類		
	全処理委託量	49.3 t	124.3 t	345.6 t	64.2 t	5.5 t	2.6 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.5 t	6.2 t	17.3 t	3.2 t	0.3 t	0.1 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	49.3 t	124.3 t	345.6 t	10.3 t	1.1 t	0.3 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

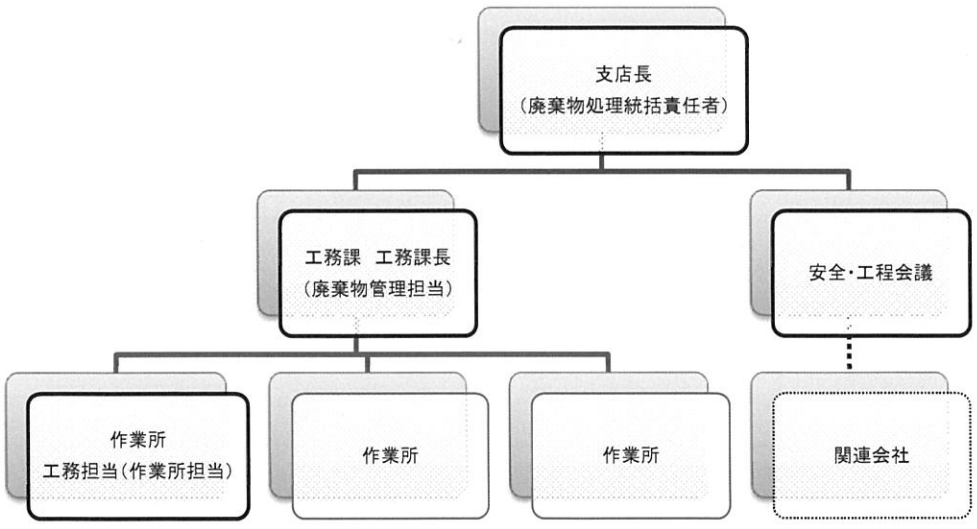
7　※欄は記入しないこと。

廃棄物処理に関する管理体制

別紙

	統括責任者	所　属：千葉支店　　職・氏名　：　支店長　黒嶋　広樹
	廃棄物担当	組織名：千葉支店工務課　　組織人数：64人
役割	支店長 （廃棄物処理統括責任者）	○廃棄物処理方針 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定 ○廃棄物処理に関する各種事項の承認 ○廃棄物処理計画の管理 ○委託契約の締結管理
	工程安全委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。
	工務責任者 （廃棄物管理担当）	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項
	作業所 工務担当 （作業所担当）	○廃棄物管理状況の把握 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織図



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　10日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-0825
住　所　千葉県千葉市中央区村田町893-945
氏　名　タマホーム株式会社　千葉支店
支店長　黒嶋　広樹
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-305-0328

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タマホーム株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区村田町893-945
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

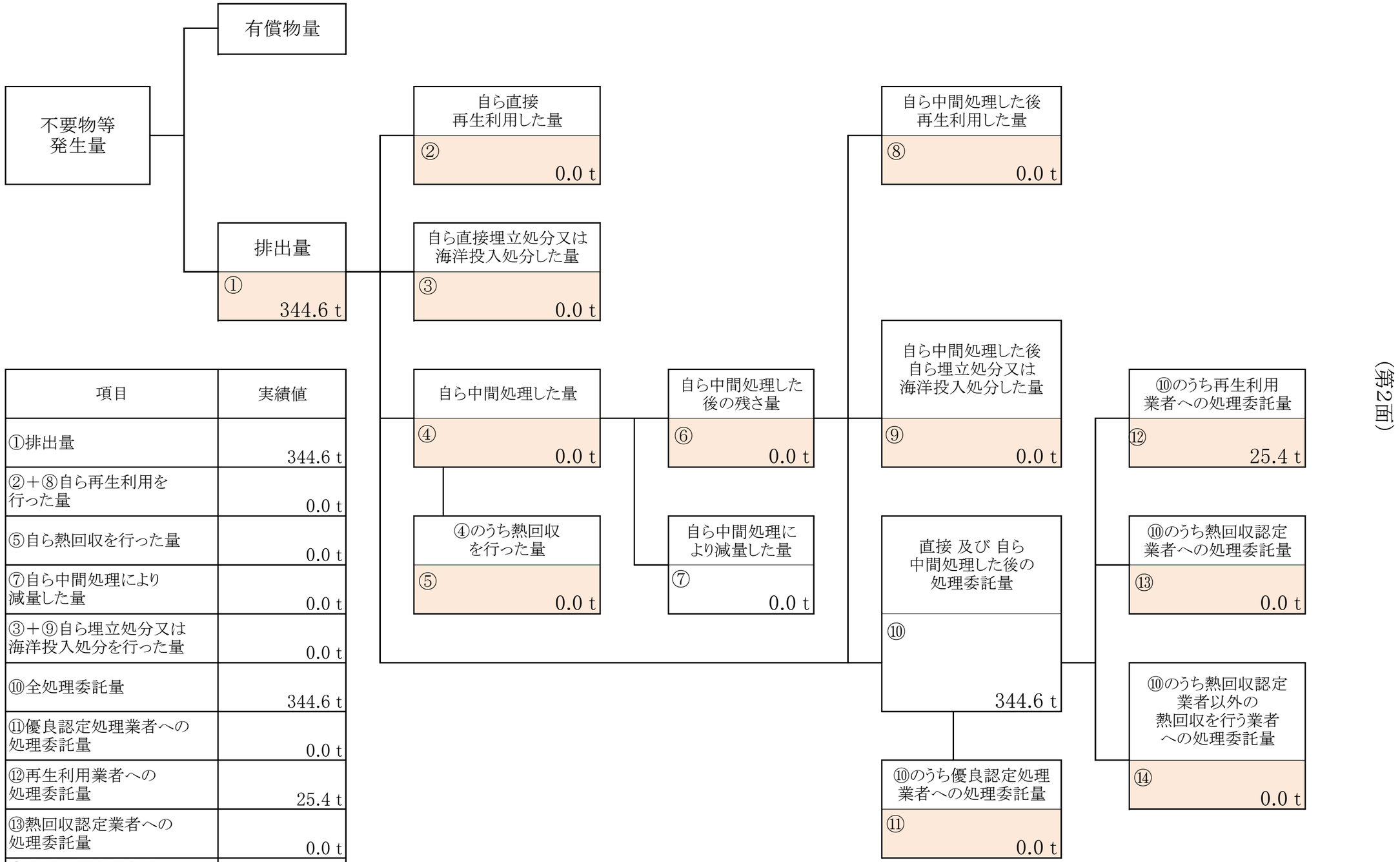
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1434.6ｔ	全処理委託量	1434.6ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	71.8ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	1337.4ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・陶磁器くず**）

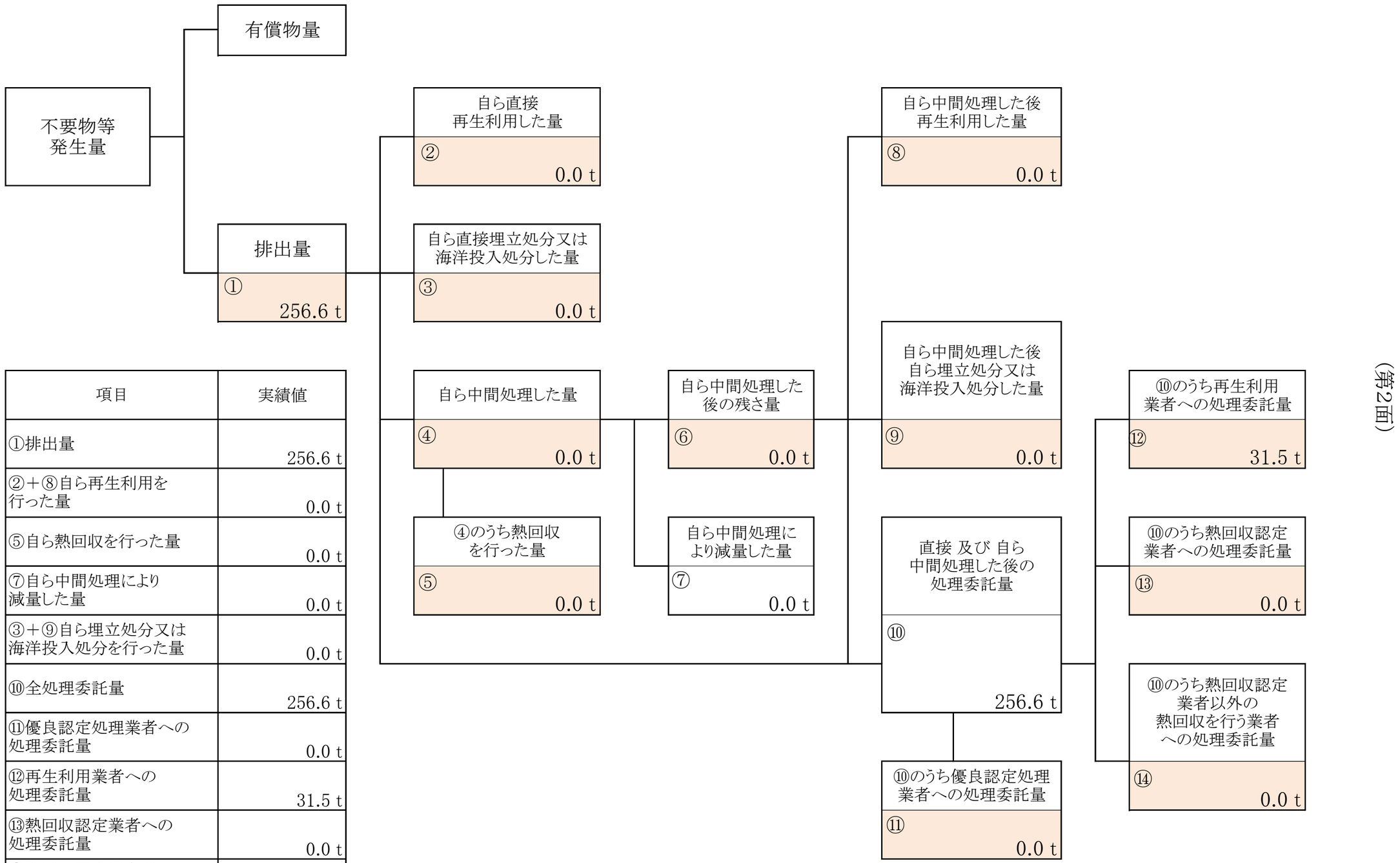


項目	実績値
①排出量	344.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	344.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	25.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

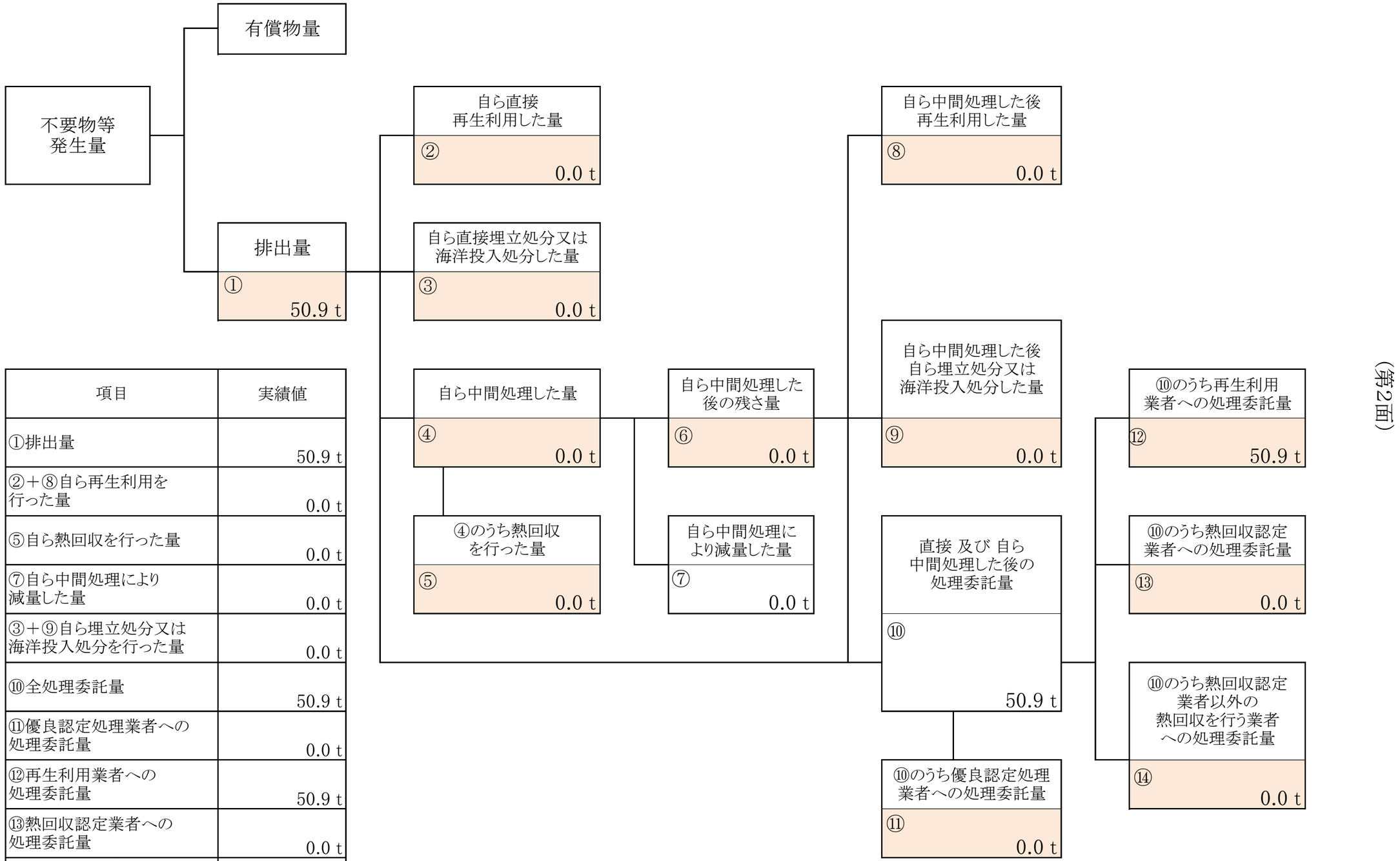


項目	実績値
①排出量	256.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	256.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

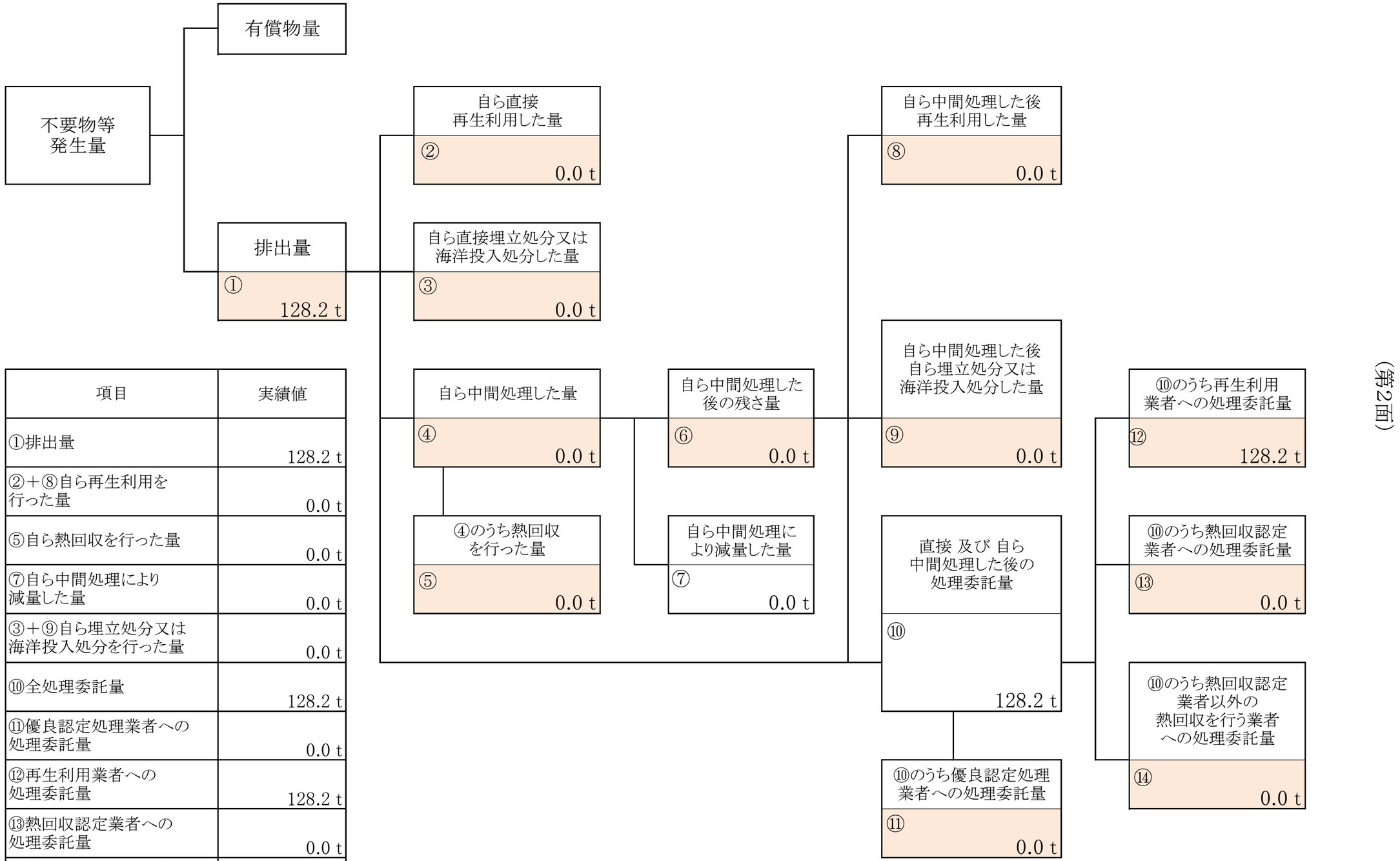


項目	実績値
①排出量	50.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	50.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

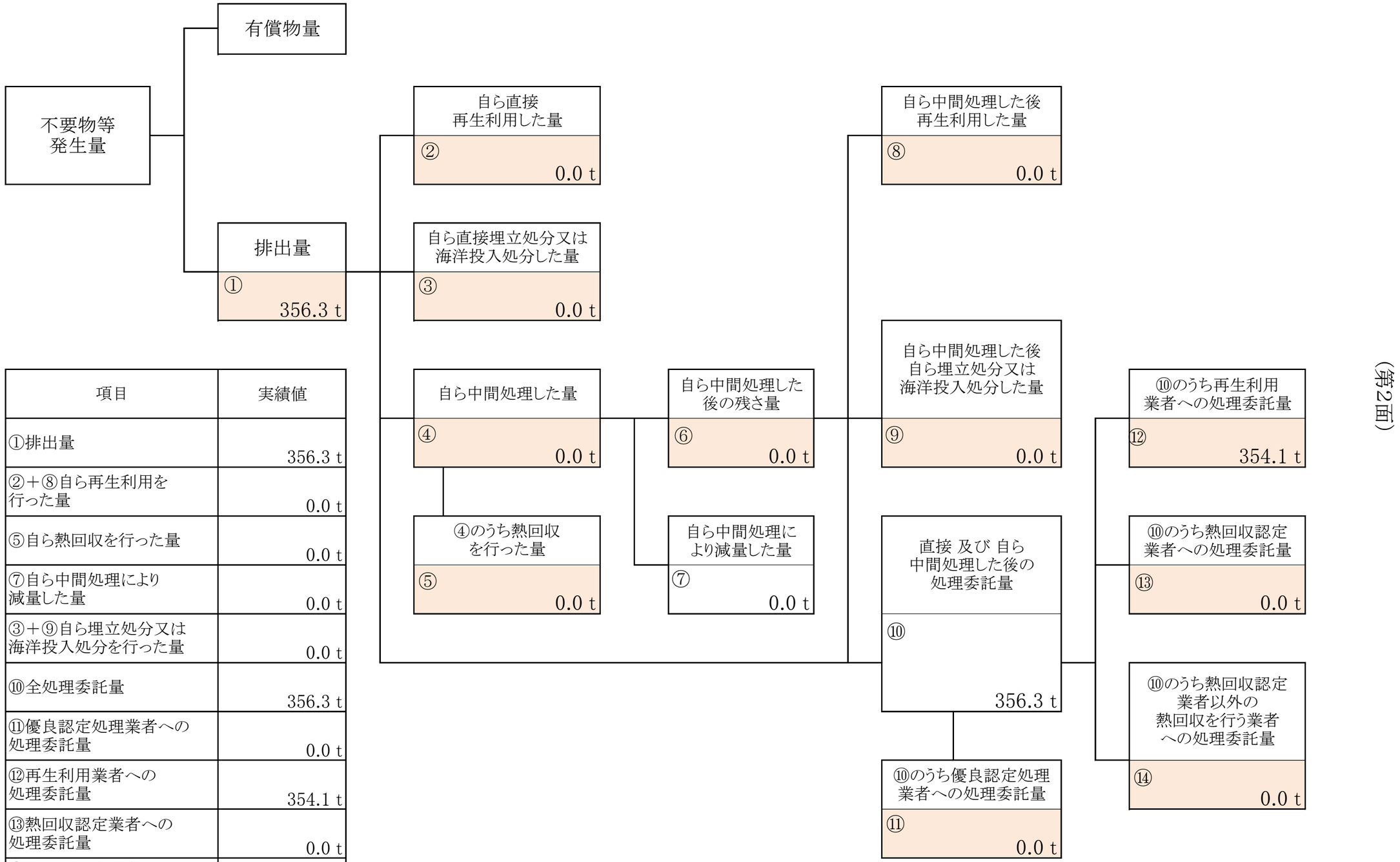


項目	実績値
①排出量	128.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	128.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	128.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

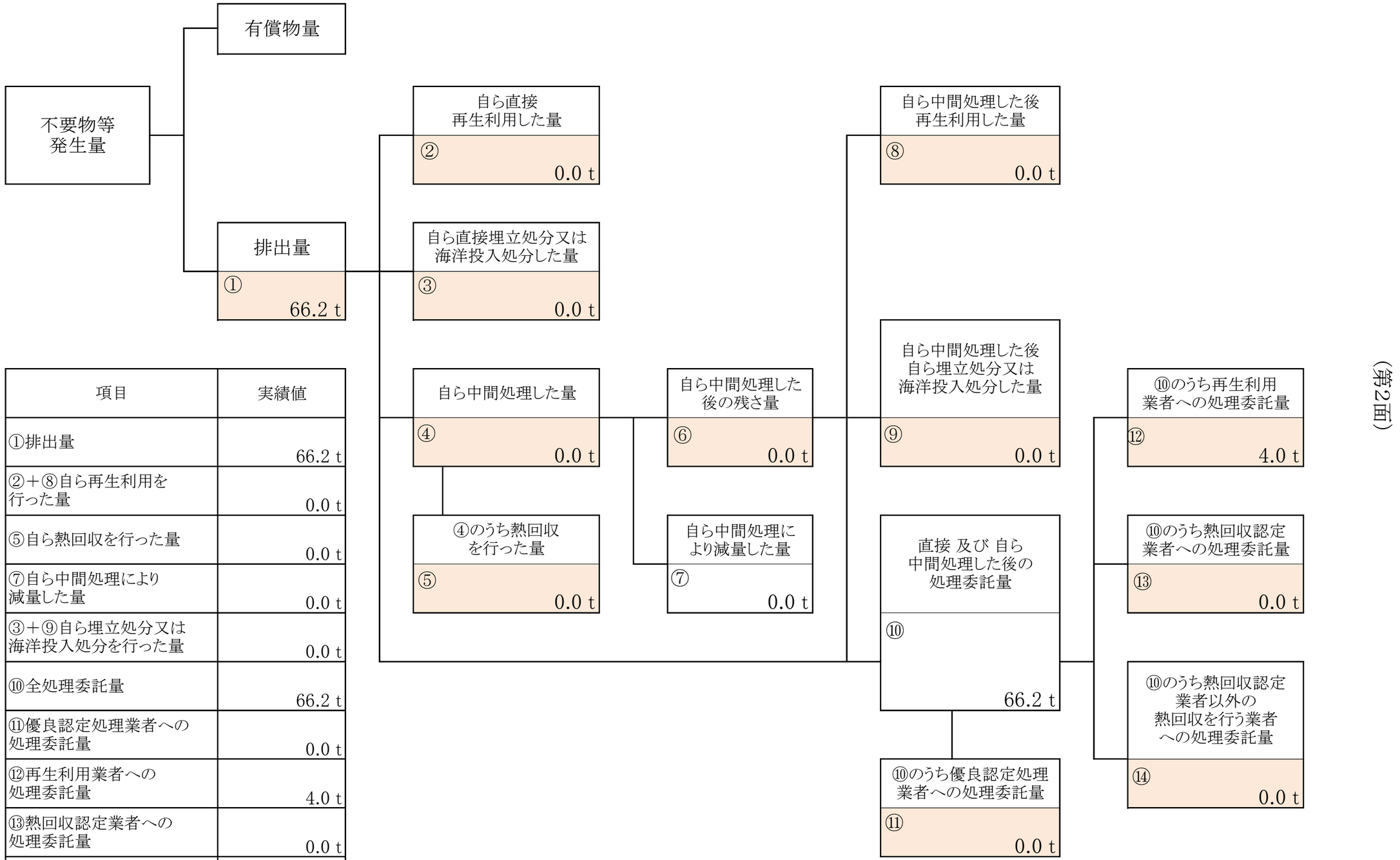


項目	実績値
①排出量	356.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	356.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	354.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石膏ボード）

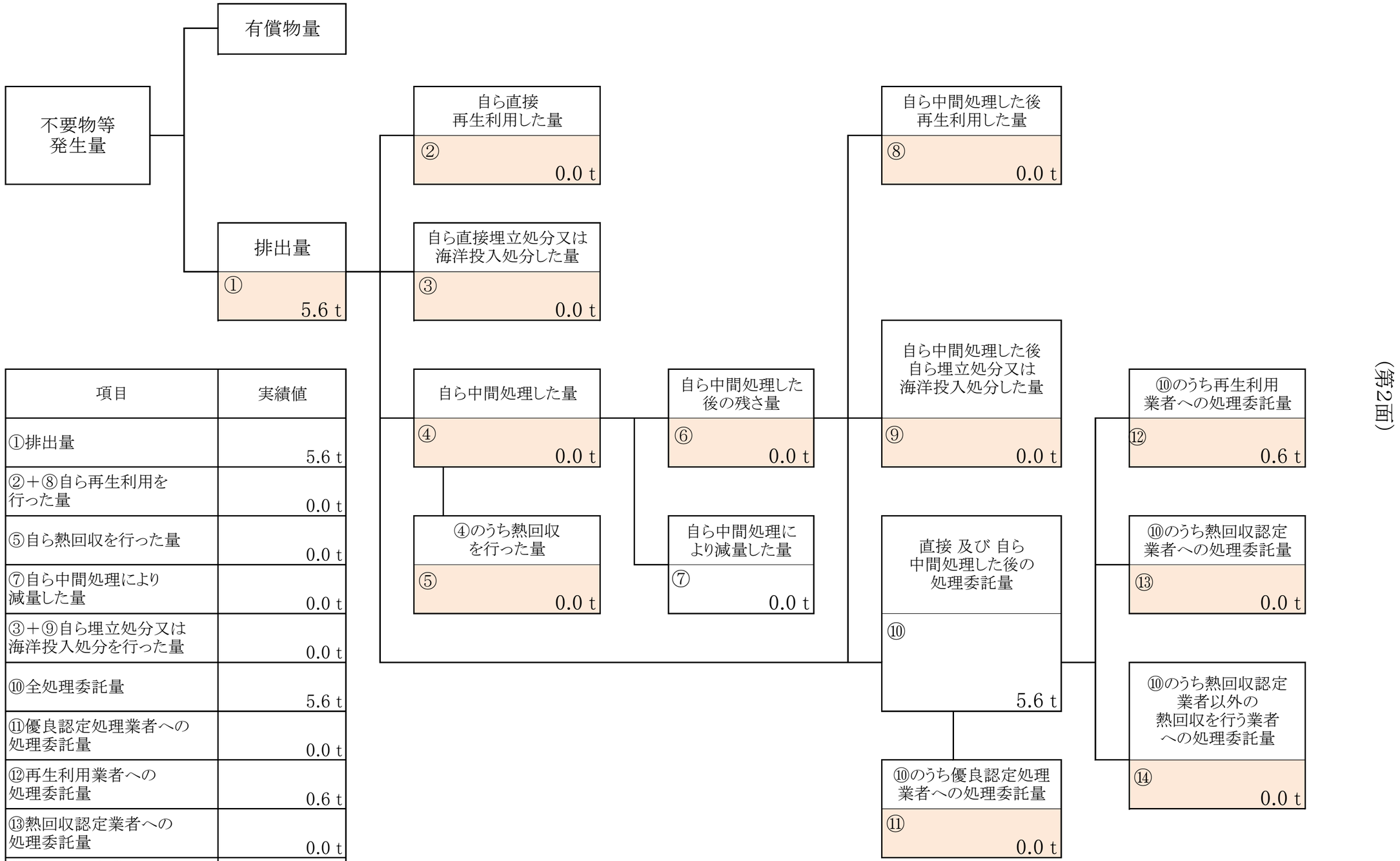


項目	実績値
①排出量	66.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	66.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混廃**）

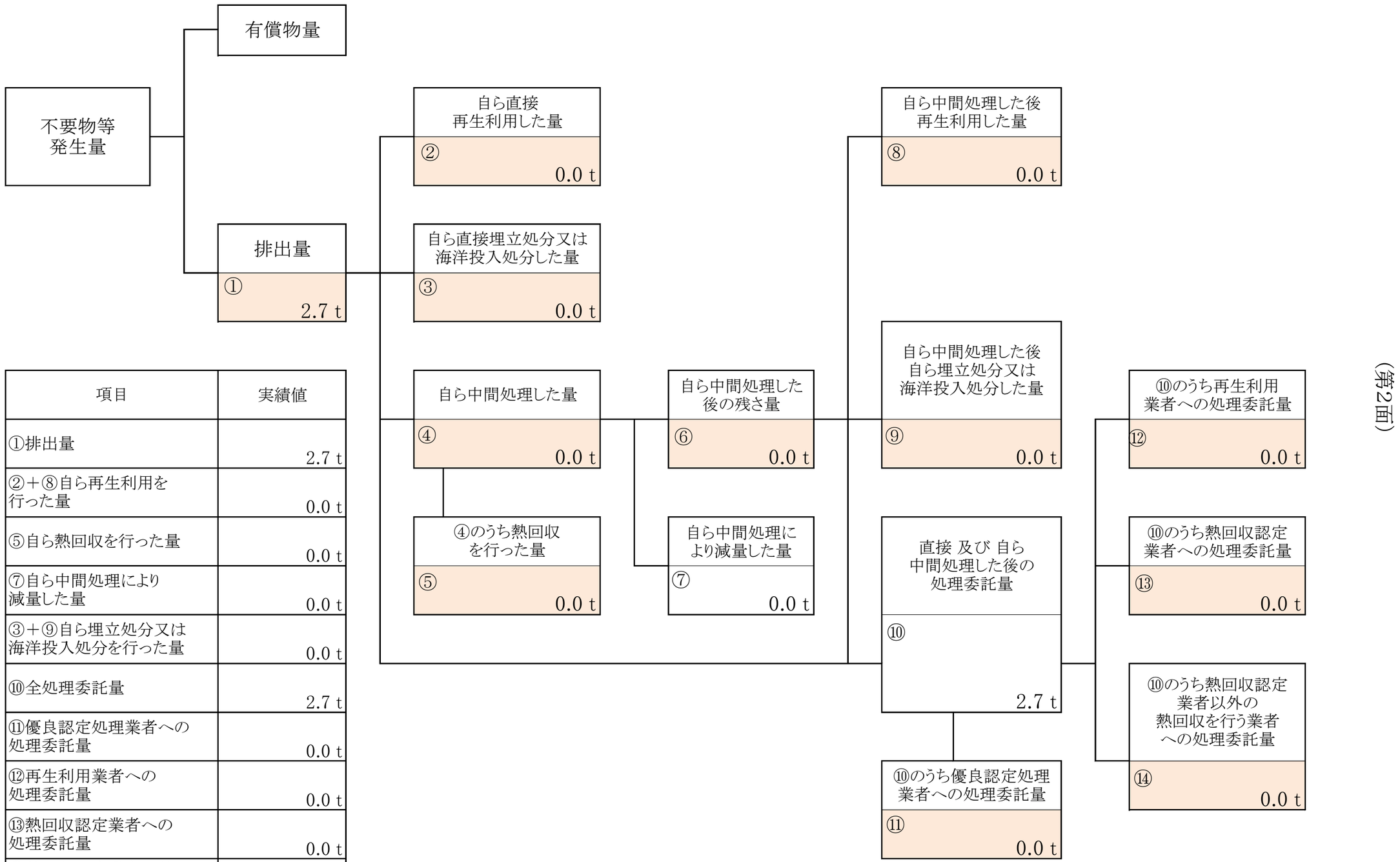


項目	実績値
①排出量	5.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）



項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月22日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-1334

住　所　千葉県印西市西の原5丁目2番

氏　名　タマホーム株式会社　千葉ニュータウン支店

支店長　石川　諄坪

電話番号　0476-48-5681

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タマホーム株式会社　千葉ニュータウン支店
事業場の所在地	千葉県印西市西の原5丁目2番
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	301,412万円
③　従業員数	50人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→乾燥→焼却→埋立 廃プラスチック類→破砕→原燃料 紙くず→破砕→破砕→　原燃料 木くず→破砕→燃料チップ・ボード、原燃料 金属くず→破砕・切断→再生原料 ガラス・陶器くず→破砕→再生砕石→埋立 がれき類→破砕（焼却）→再生路盤材（原燃料） 石膏ボード→破砕→石膏・製紙原料

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
排出量	473.8 t	253.64 t

（これまでに実施した取組）
・梱包材や養生材を削減
・木材のプレカット化
・配管類のユニット化
・発生抑制に関する情報収集

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
排出量	459.7 t	246.1 t

（今後実施する予定の取組）
上記に加え、下記取り組みを実施予定
・発生抑制のための調達方向の工夫
・梱包材の簡素化

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・がれき類（コンクリート塊）、木材を分別
・石膏ボードを分別

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・上記に加え、管理型処分産業廃棄物と安定型処分産業廃棄物とに分別を実施予定
・分別に関する情報収集

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
全処理委託量＿	473.8 t	253.64 t
優良認定処理業者への処理委託量	451.2 t	199.08 t
再生利用業者への処理委託量	434.28 t	191.12 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、
書面による契約を実施

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
		全処理委託量＿		459.70 t	246.10 t
			優良認定処理業者への処理委託量	23.00 t	12.30 t
			再生利用業者への処理委託量	459.70 t	209.00 t
			認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者から選定する ・再生処理を中心にした産業廃棄物処理業者の選定を促進する ・委託処分事業者の現地確認を実施する ・委託業者任せにせず、性情等を把握する			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
		排　出　量	23.05 t	132.69 t	525.53 t	116.22 t	183.3 t	89.84 t	0.14 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
		排　出　量	22.4 t	128.6 t	509.9 t	112.7 t	177.8 t	87.2 t	0.1 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

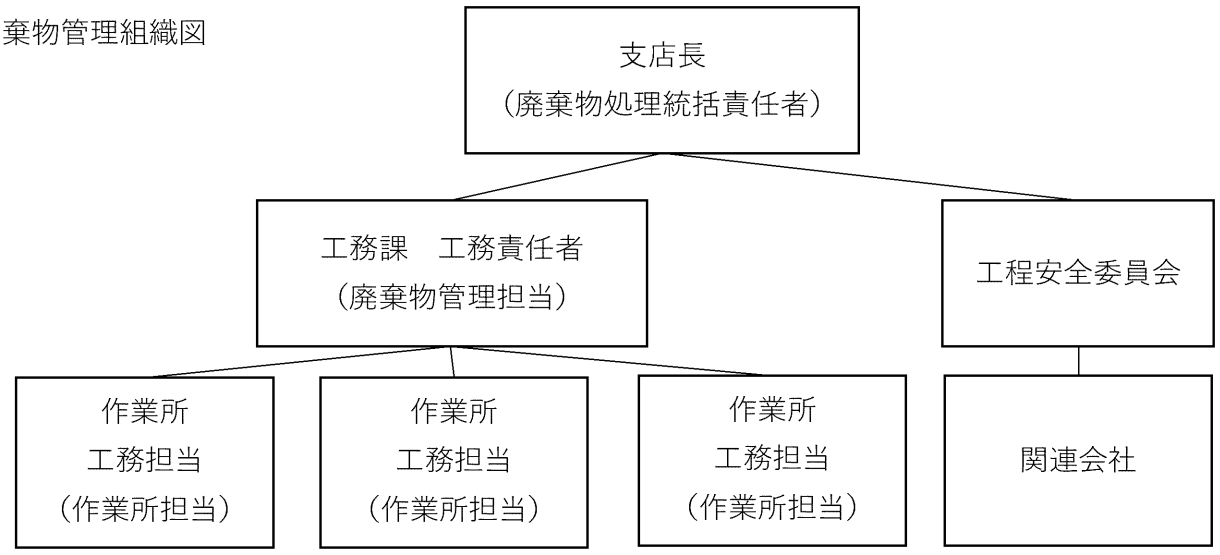
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
	全処理委託量	23.05 t	132.69 t	525.53 t	116.22 t	183.3 t	89.84 t	0.14 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.01 t	90.42 t	419.93 t	97.89 t	87.07 t	22.5 t	0.14 t	t
	再生利用業者への処理委託量	20.76 t	119.46 t	522.04 t	101.72 t	84.46 t	59.12 t	0.14 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	石膏ボード	管理型混廃	がれき類	繊維くず	
	全処理委託量	22.4 t	128.6 t	509.9 t	112.7 t	177.8 t	87.2 t	0.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t	6.5 t	25.5 t	5.7 t	8.9 t	4.4 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	22.2 t	126.7 t	509.9 t	108.5 t	98.2 t	66.1 t	0.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

廃棄物処理に関する管理体制

別紙

統括責任者		所属：千葉ニュータウン支店　　職・氏名：支店長　石川　諄坪
廃棄物担当者		組織名：千葉ニュータウン支店工務課　組織人数：9名
役割	支店長 （廃棄物処理統括責任者）	○ 産廃物処理方針 ○ 産廃物処理に関する各種事項の決定 ○ 産廃物処理に関する各種事項の承認 ○ 産廃物処理計画の管理 ○ 委託契約の締結管理
	工程安全委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、 計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。
	工務責任者 （廃棄物管理担当）	○ 産廃物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定および管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育、啓発 ○ その他関係する事項
	作業所 工務担当 （作業所担当）	○ 廃棄物管理状況の把握 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織図



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6 月22 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒270-1334
住 所　千葉県印西市西の原5丁目2番
氏 名　タマホーム株式会社 千葉ニュータウン支店
支店長 石川 諄坪
電話番号 0476-48-5681

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タマホーム株式会社 千葉ニュータウン支店
事業場の所在地	千葉県印西市西の原5丁目2番
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

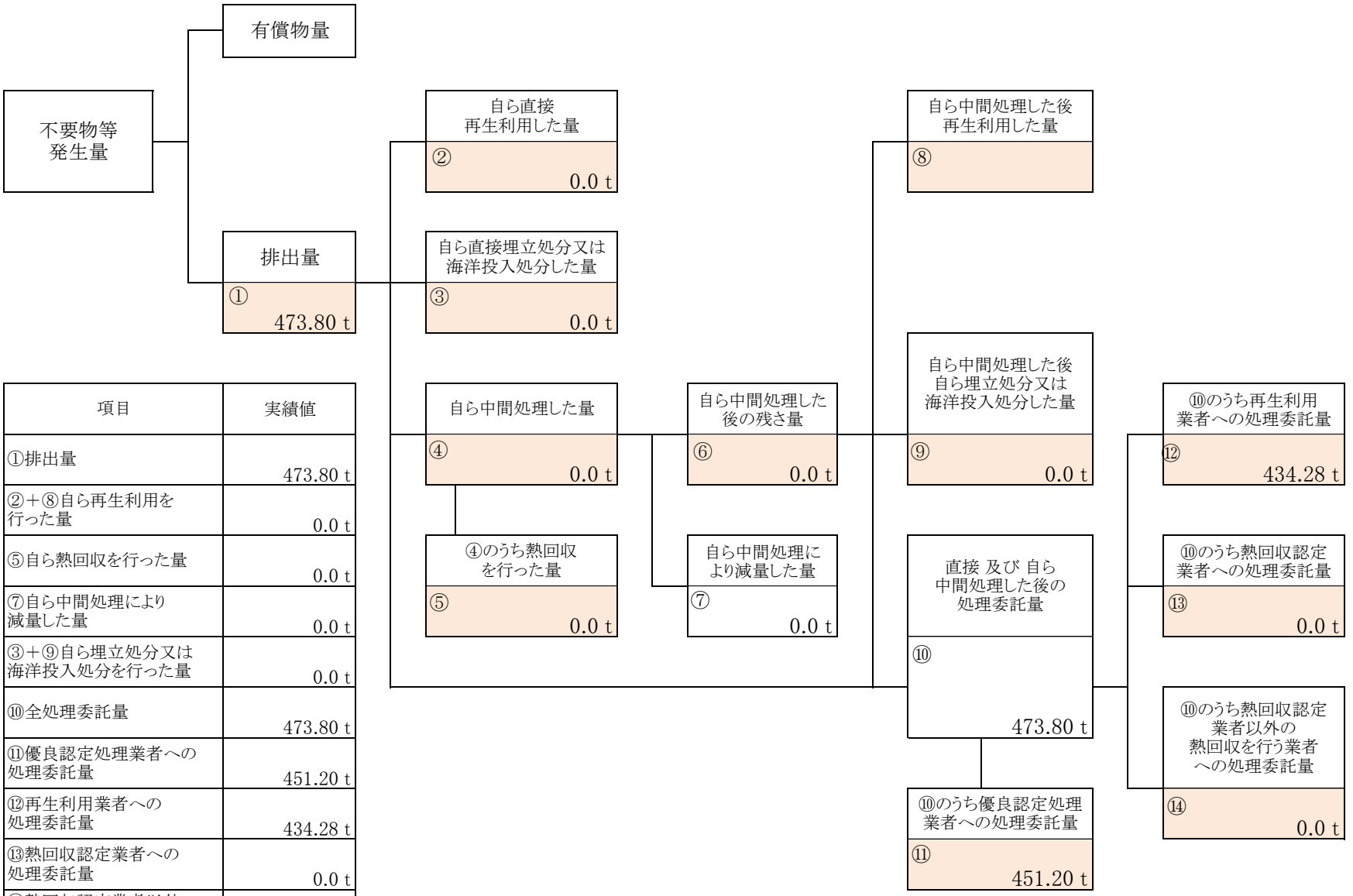
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1270.7 t	全処理委託量	1270.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	63.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1138.9 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・陶磁器くず**）

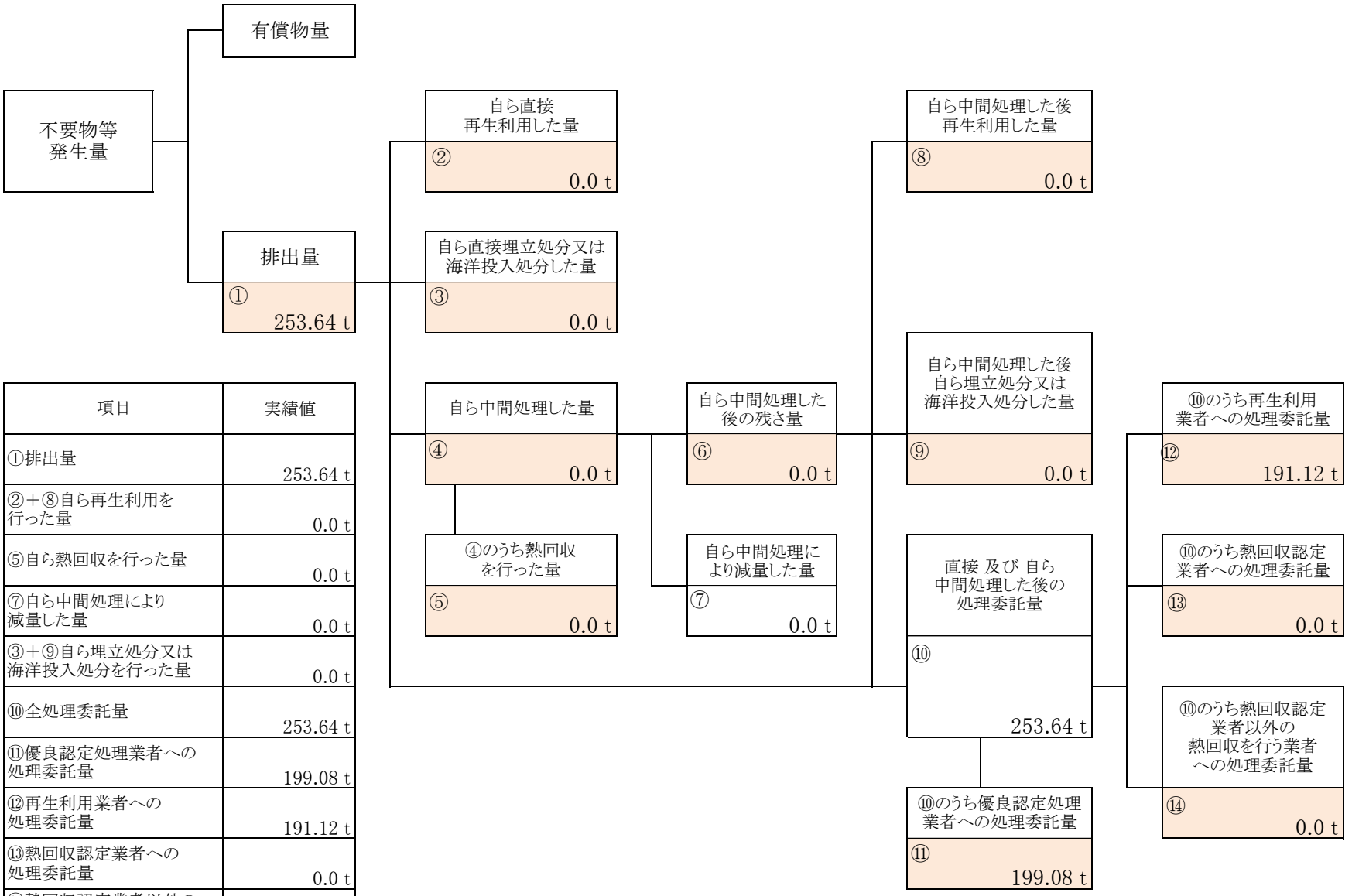


項目	実績値
①排出量	473.80 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	473.80 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	451.20 t
⑫再生利用業者への処理委託量	434.28 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃プラスチック** ）

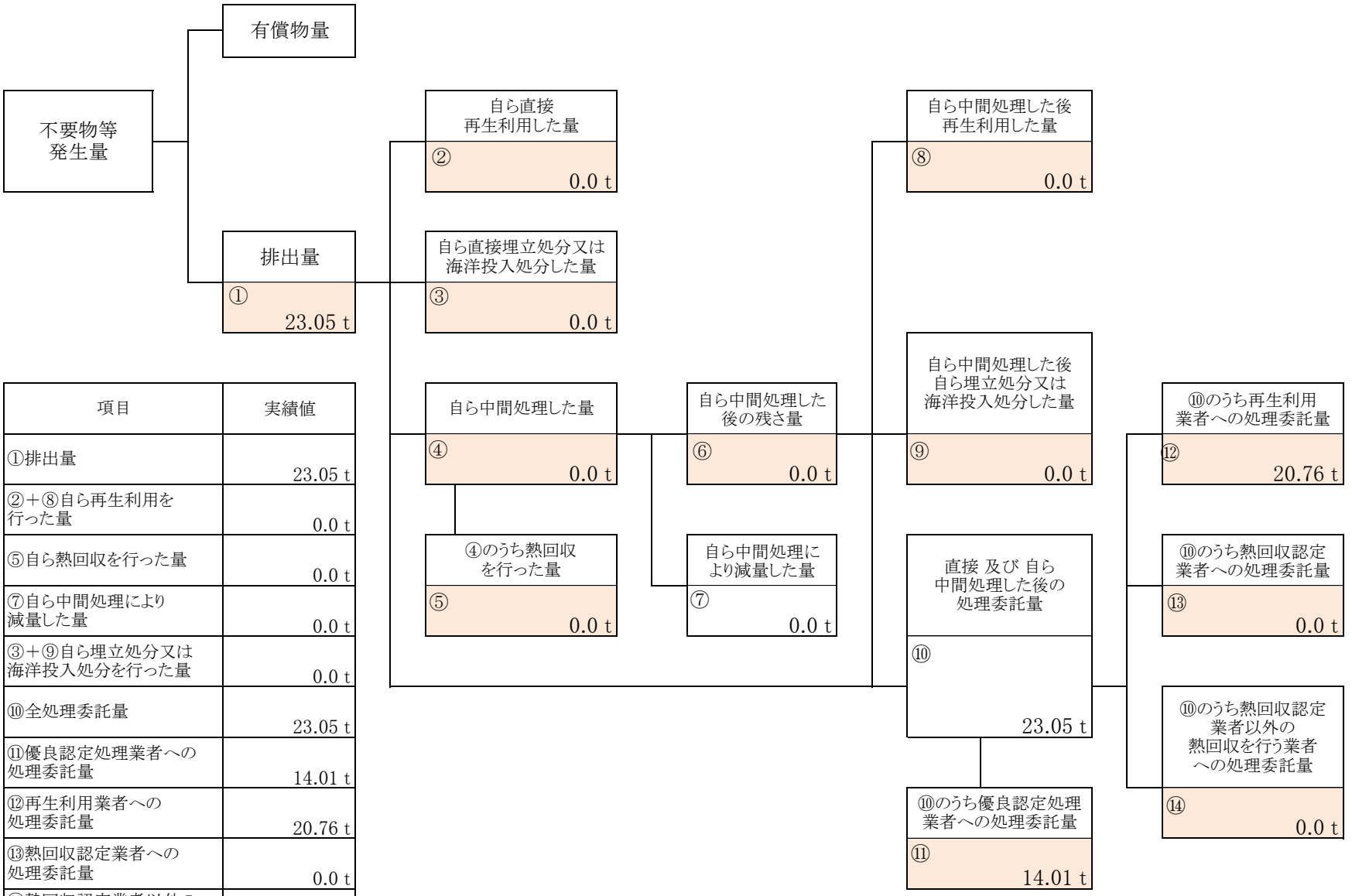


項目	実績値
①排出量	253.64 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	253.64 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	199.08 t
⑫再生利用業者への処理委託量	191.12 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

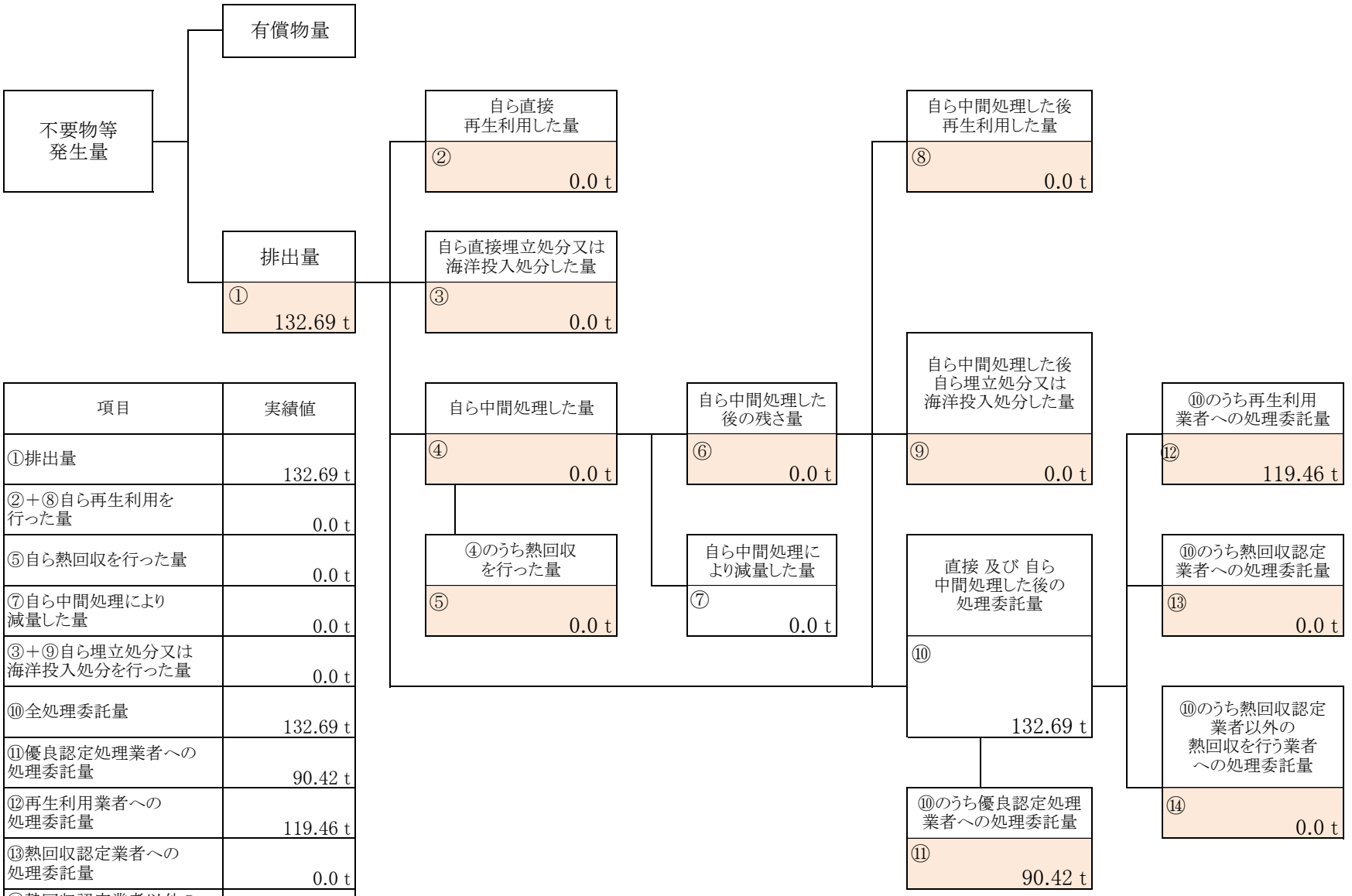


項目	実績値
①排出量	23.05 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.05 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.01 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.76 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

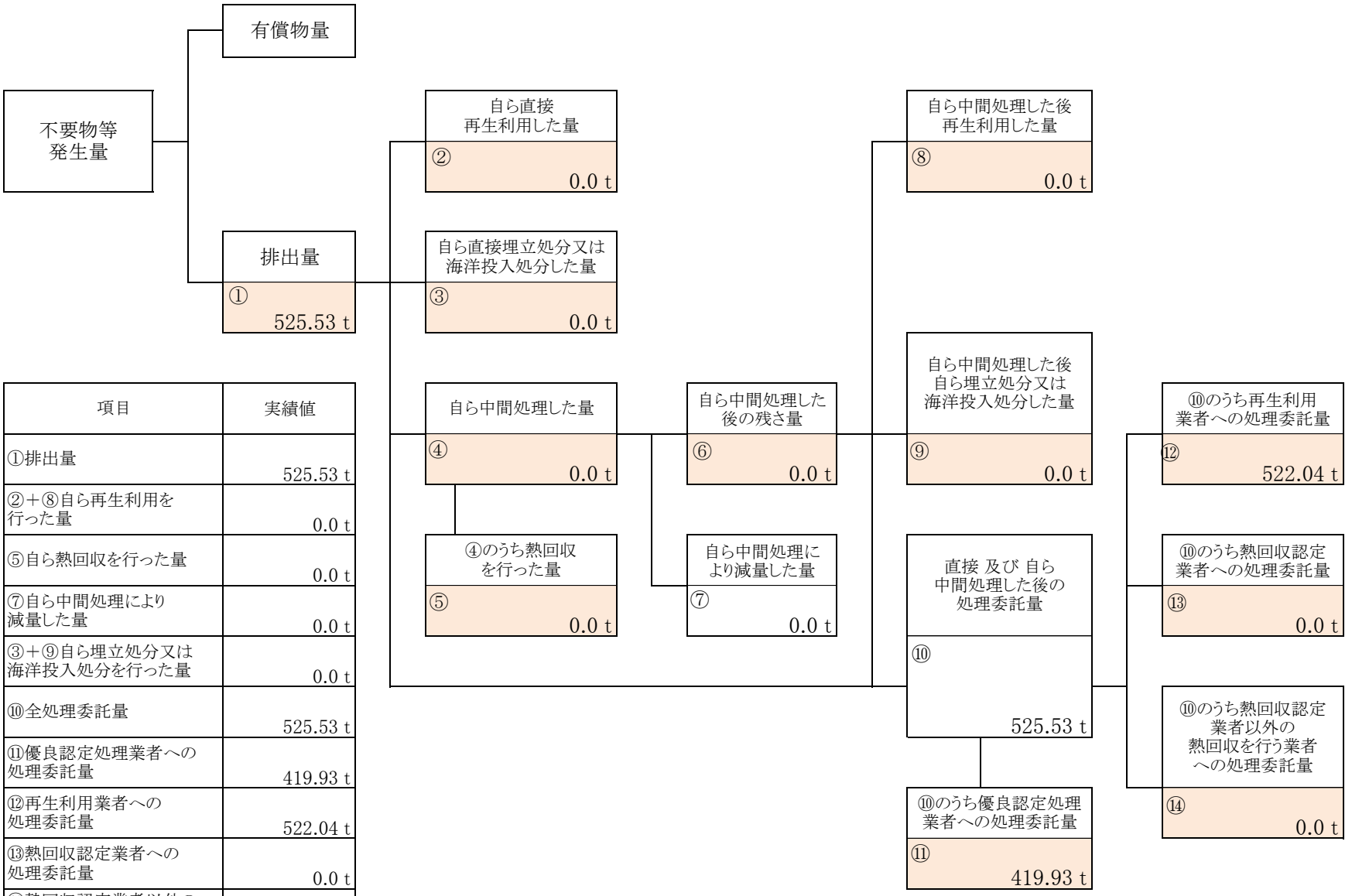


項目	実績値
①排出量	132.69 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	132.69 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	90.42 t
⑫再生利用業者への処理委託量	119.46 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

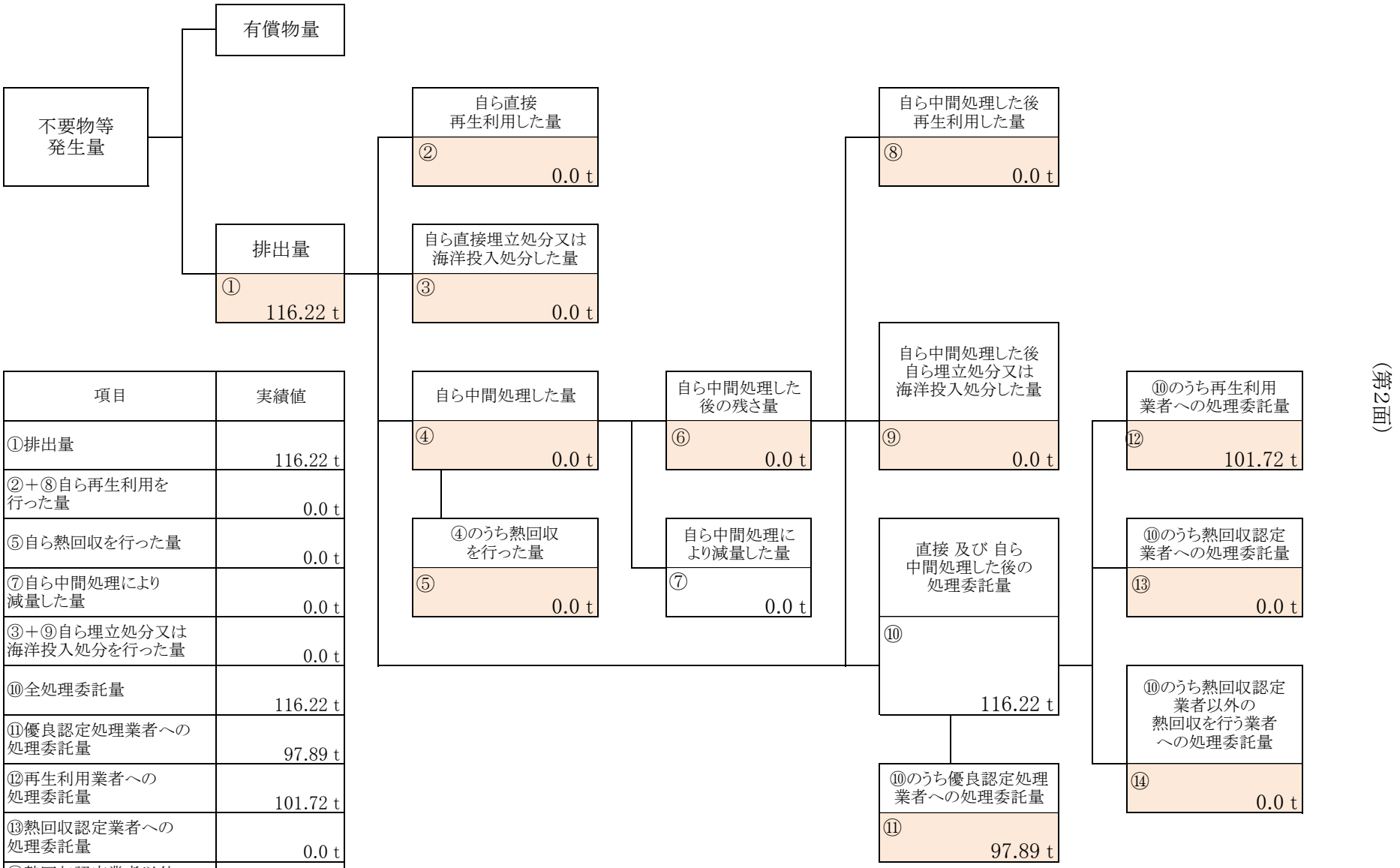


項目	実績値
①排出量	525.53 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	525.53 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	419.93 t
⑫再生利用業者への処理委託量	522.04 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石膏ボード）

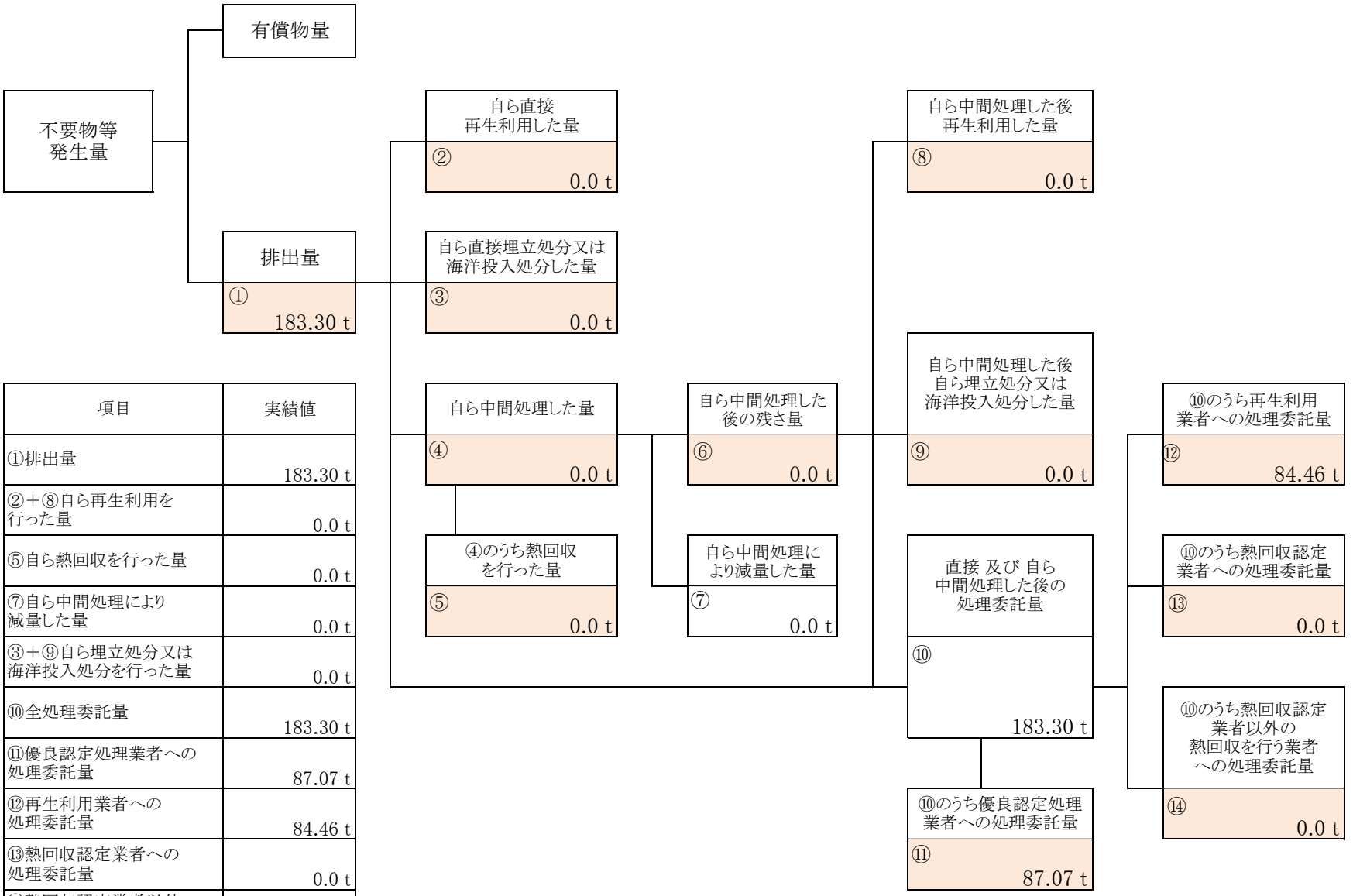


項目	実績値
①排出量	116.22 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	116.22 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	97.89 t
⑫再生利用業者への処理委託量	101.72 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **管理型混廃** ）

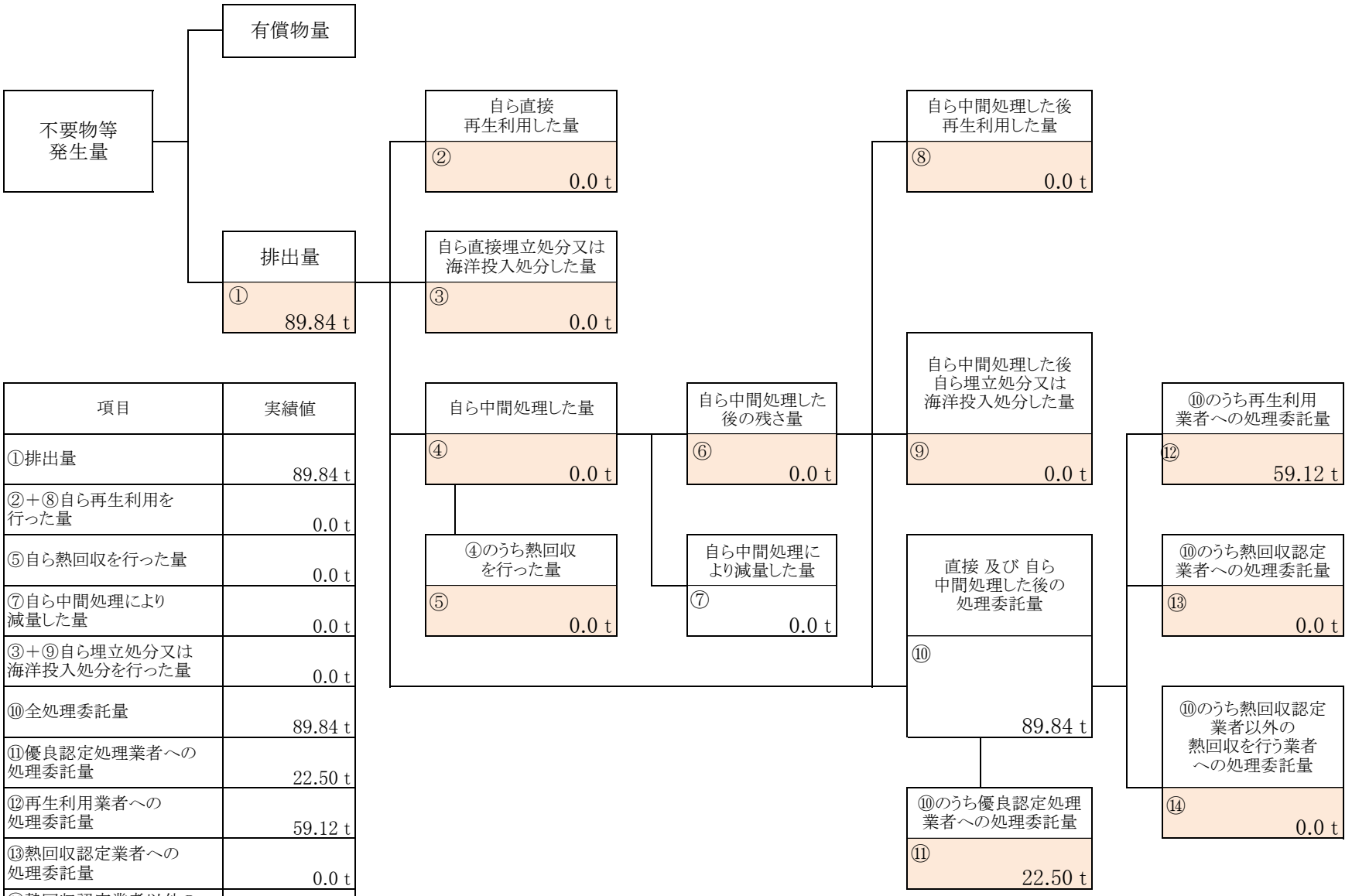


項目	実績値
①排出量	183.30 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	183.30 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	87.07 t
⑫再生利用業者への処理委託量	84.46 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

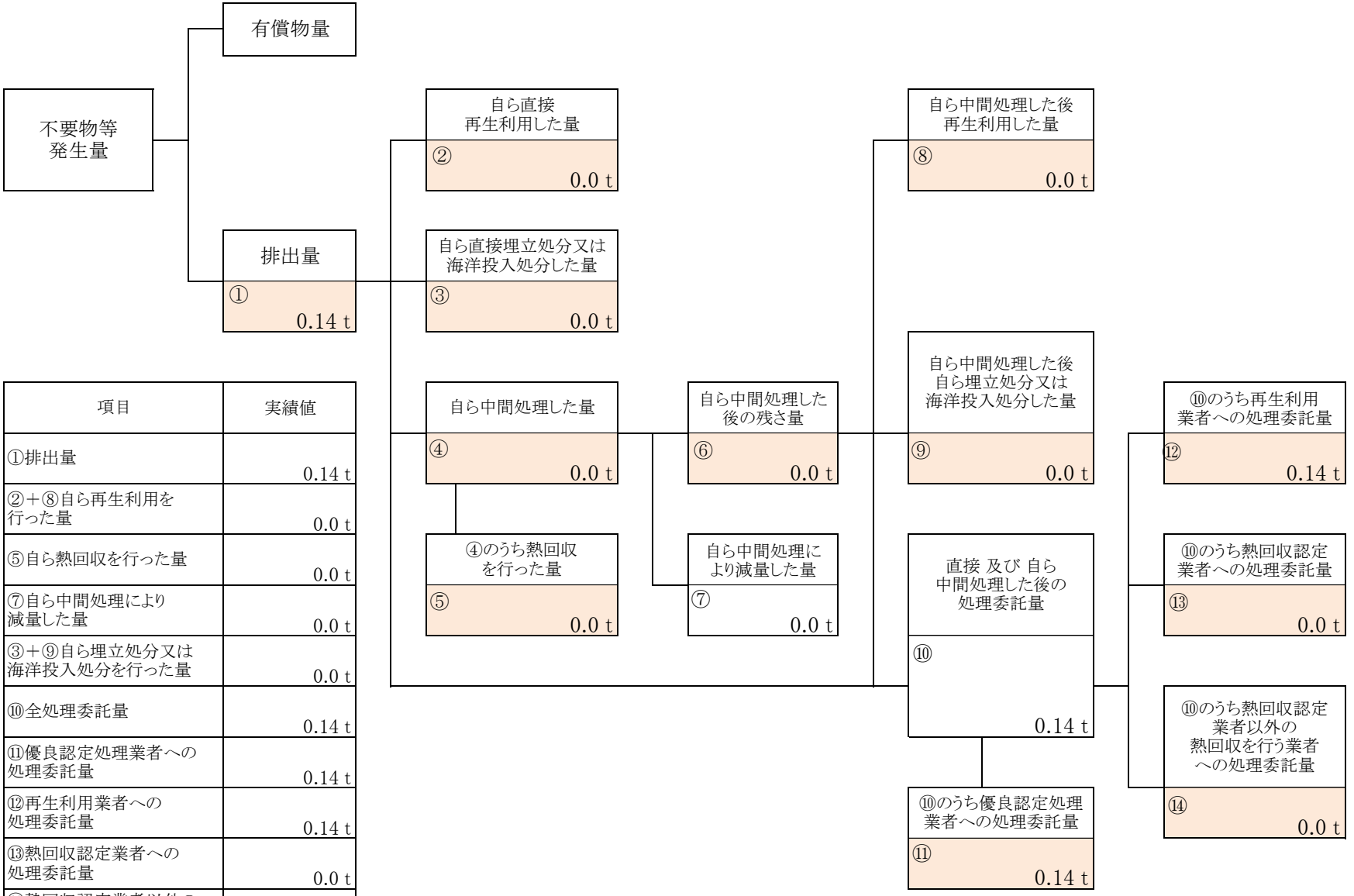


項目	実績値
①排出量	89.84 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	89.84 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.50 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.12 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **繊維くず** ）



項目	実績値
①排出量	0.14 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.14 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.14 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.14 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月13日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒１７１－００３３

住　所　東京都豊島区高田２－１７－２２
目白中野ビル５F

氏　名　株式会社タワーライン・ソリューション
代表取締役　大石　祐司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０３－６３７１－８９００

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社タワーライン・ソリューション　千葉県内の有期事業場
事業場の所在地	東京都豊島区高田２－１７－２２　目白中野ビル５F
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

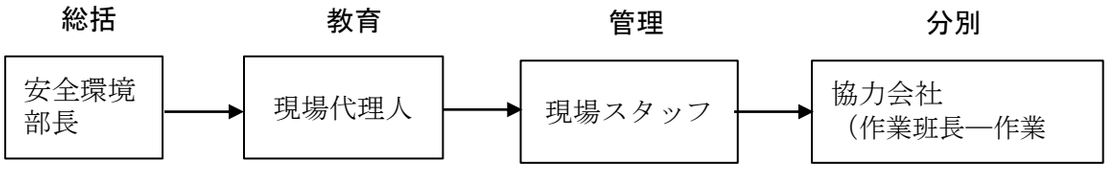
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D08－設備工事業
②　事業の規模	完成工事高　４，０９５百万円　（令和５度実績　千葉県分）
③　従業員数	５０名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥→脱水(委託)→再生土材として再利用 ・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→破砕,圧縮(委託)→再生ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料，固形燃料として再生利用 ・紙くず→破砕，圧縮(委託)→段ﾎﾞｰﾙ，紙原料として再生利用 ・木くず→破砕(委託)→製紙･ﾎﾞｰﾄﾞ原料，固形燃料として再生利用 ・金属くず→圧縮(委託)→鋼材原料として再生利用 ・ガラス・陶磁器くず→選別・破砕(委託) →再生路盤材、ガラス原料として再生利用 ・がれき類，ｶﾞﾗｽ･陶磁器くず→破砕(委託)→再生路盤材，埋戻材として再生利用 ・建設混合廃棄物→選別・破砕(委託) →鋼材原料・再生路盤材として再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	2992 t	61.82 t

（これまでに実施した取組）
・廃棄物の分別による混合廃棄物の削減
・分別置き場の設置
・下請会社作業員への廃棄物削減、分別の教育実施
・個人ごみの持ち帰りの推進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	0 t	36 t

（今後実施する予定の取組）
・現状の取組みを継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
　発生廃棄物の分別保管・分別処理を基本行動として、やむを得ない物を除き分別不良による混合廃棄物発生させないよう取り組んでいる。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
　現状の取組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自らの再生利用実績なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
自らの再生利用予定なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自らの熱回収・中間処理実績なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
自らの熱回収・中間処理予定なし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自らの埋立処分又は海洋投入処分実績なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
自らの埋立処分又は海洋投入処分予定なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	2992 t	61.82 t
優良認定処理業者への処理委託量	5 t	55.13 t
再生利用業者への処理委託量	2992 t	61.82 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
・再生利用可能なものは再生利用業者へ委託している。
・処理委託契約にあたっては、業者に対し実地確認を確実に行い、処理状況、処理能力を確認している。
・極力優良認定業者と契約するよう努めている。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量＿	0 t	36 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	27 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	36 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
・現状の取組みを継続する。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
		排　出　量	29.7　t	293.15　t	9.75　t	4　t	339.84　t	220.06　t	590.92　t	28.76　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
		排　出　量	19　t	61　t	21　t	13　t	548　t	300　t	0　t	32　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	29.7 t	293.15 t	9.75 t	4 t	339.84 t	220.06 t	590.92 t	28.76 t
	優良認定処理業者への処理委託量	27.45 t	280.23 t	9.61 t	4 t	11.84 t	28.46 t	5.92 t	26.39 t
	再生利用業者への処理委託量	29.7 t	293.15 t	9.75 t	4 t	339.84 t	220.06 t	590.92 t	28.76 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	19 t	61 t	21 t	13 t	548 t	300 t	0 t	32 t
	優良認定処理業者への処理委託量	18 t	55 t	20 t	10 t	0 t	0 t	0 t	30 t
	再生利用業者への処理委託量	19 t	61 t	21 t	13 t	548 t	300 t	0 t	32 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6 月13 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒171－0033
住 所　東京都豊島区高田2－17－22 目白中野ビル5F
氏 名　株式会社タワーライン・ソリューション
代表取締役 大石 祐司
電話番号 03－6371－8900

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社タワーライン・ソリューション 千葉県内の有期事業場
事業場の所在地	東京都豊島区高田2－17－22 目白中野ビル5F
事業の種類	D08－設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

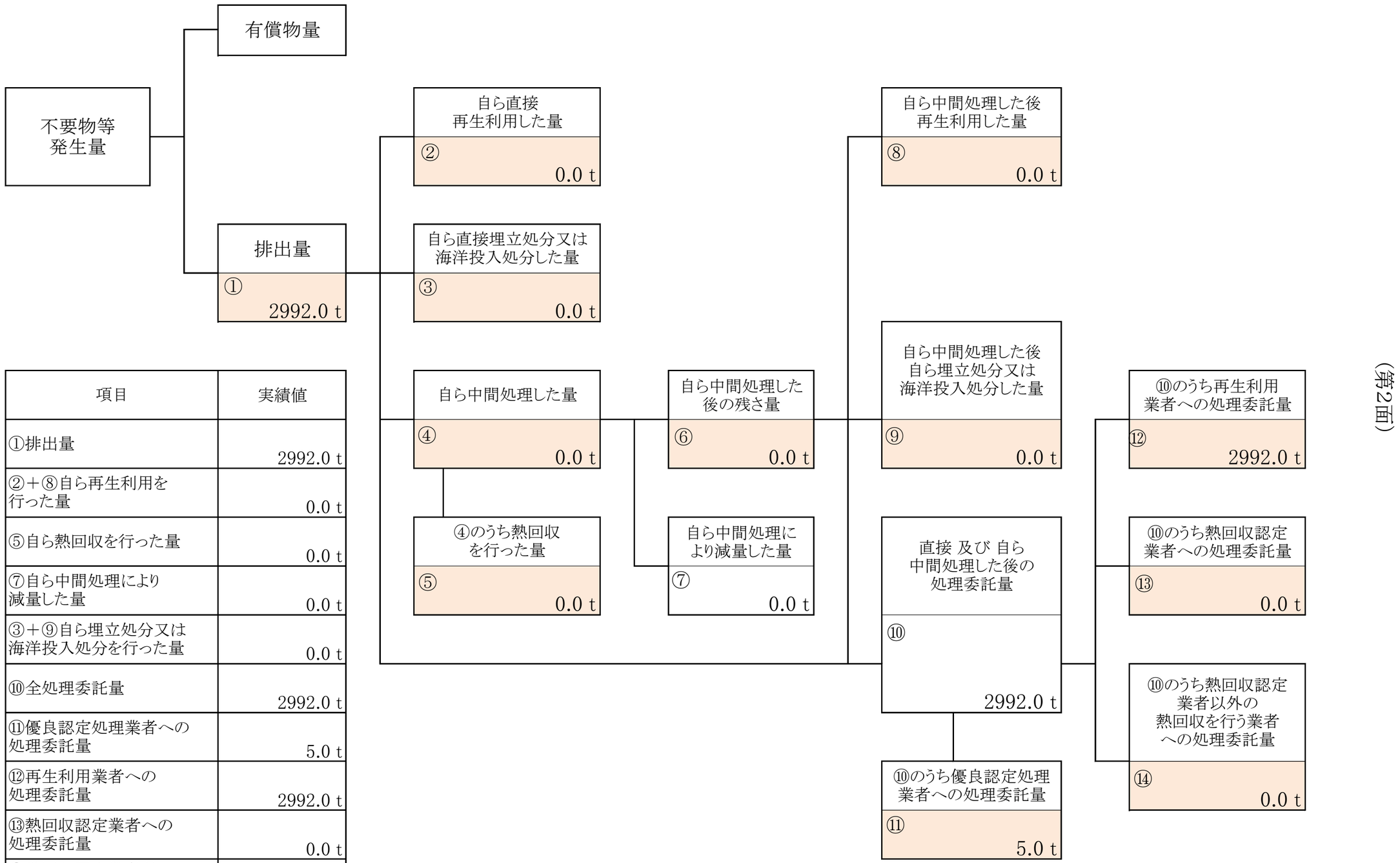
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4852.0 t	全処理委託量	4852.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	230.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	4852.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

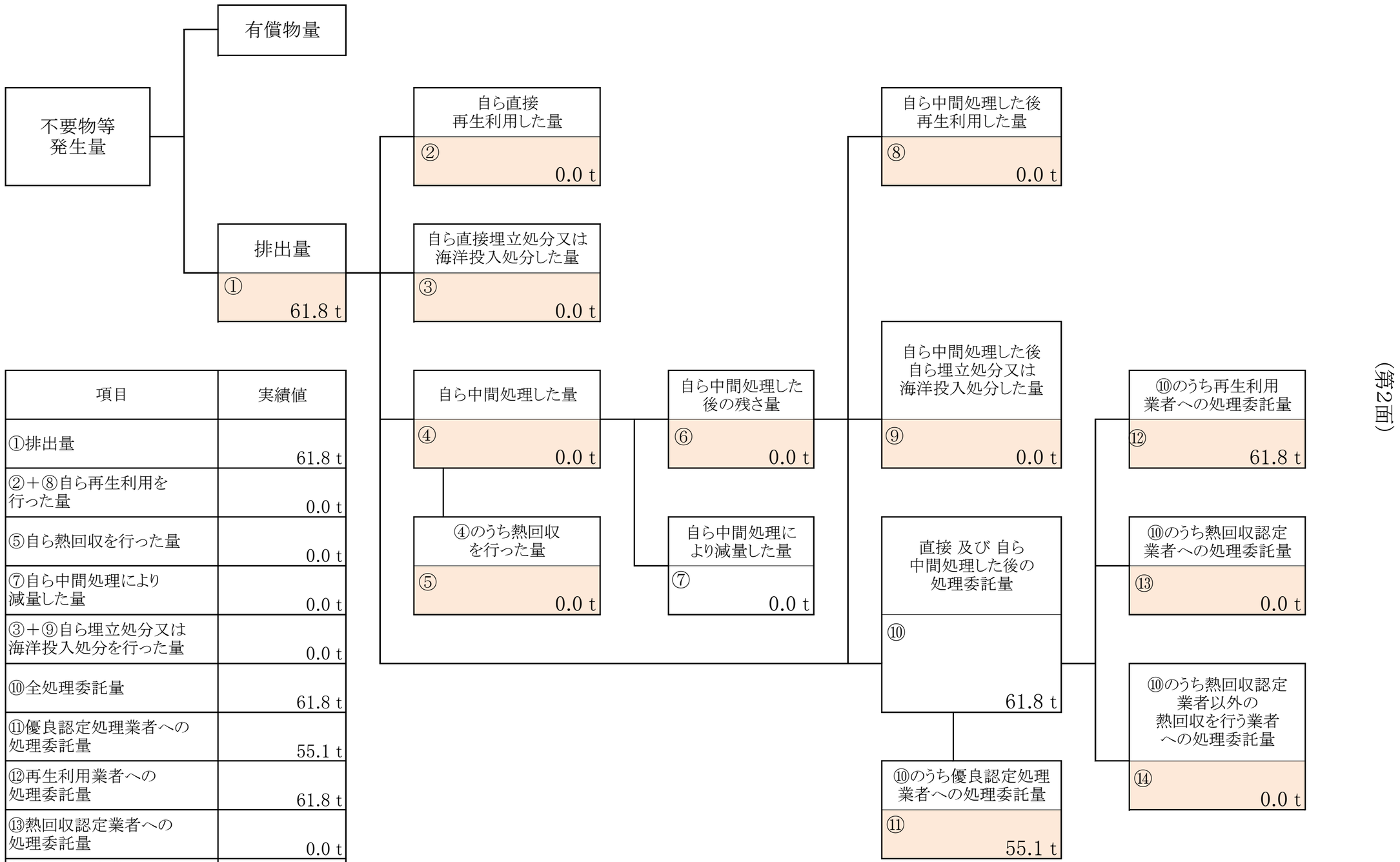


項目	実績値
①排出量	2992.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2992.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2992.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

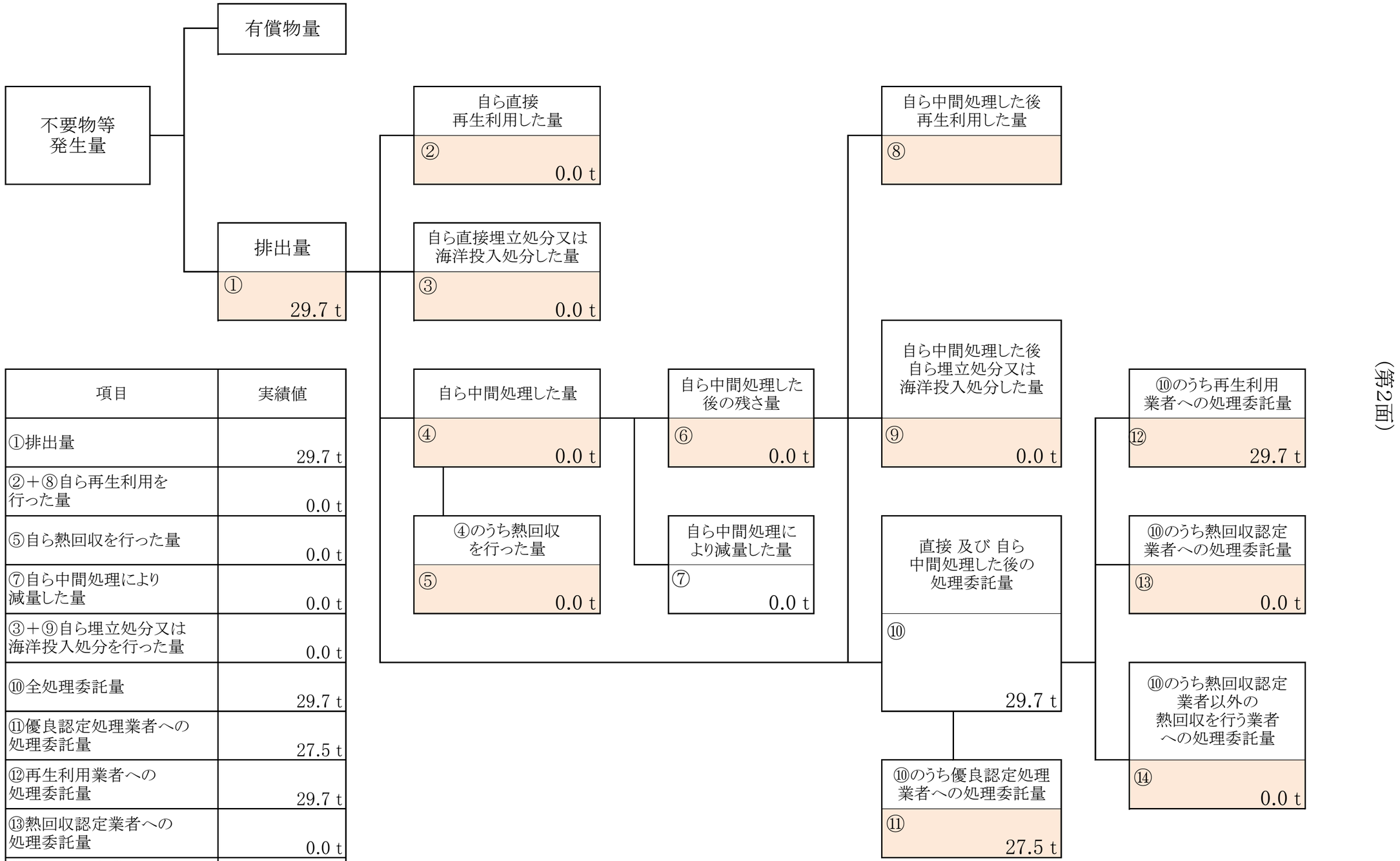


項目	実績値
①排出量	61.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

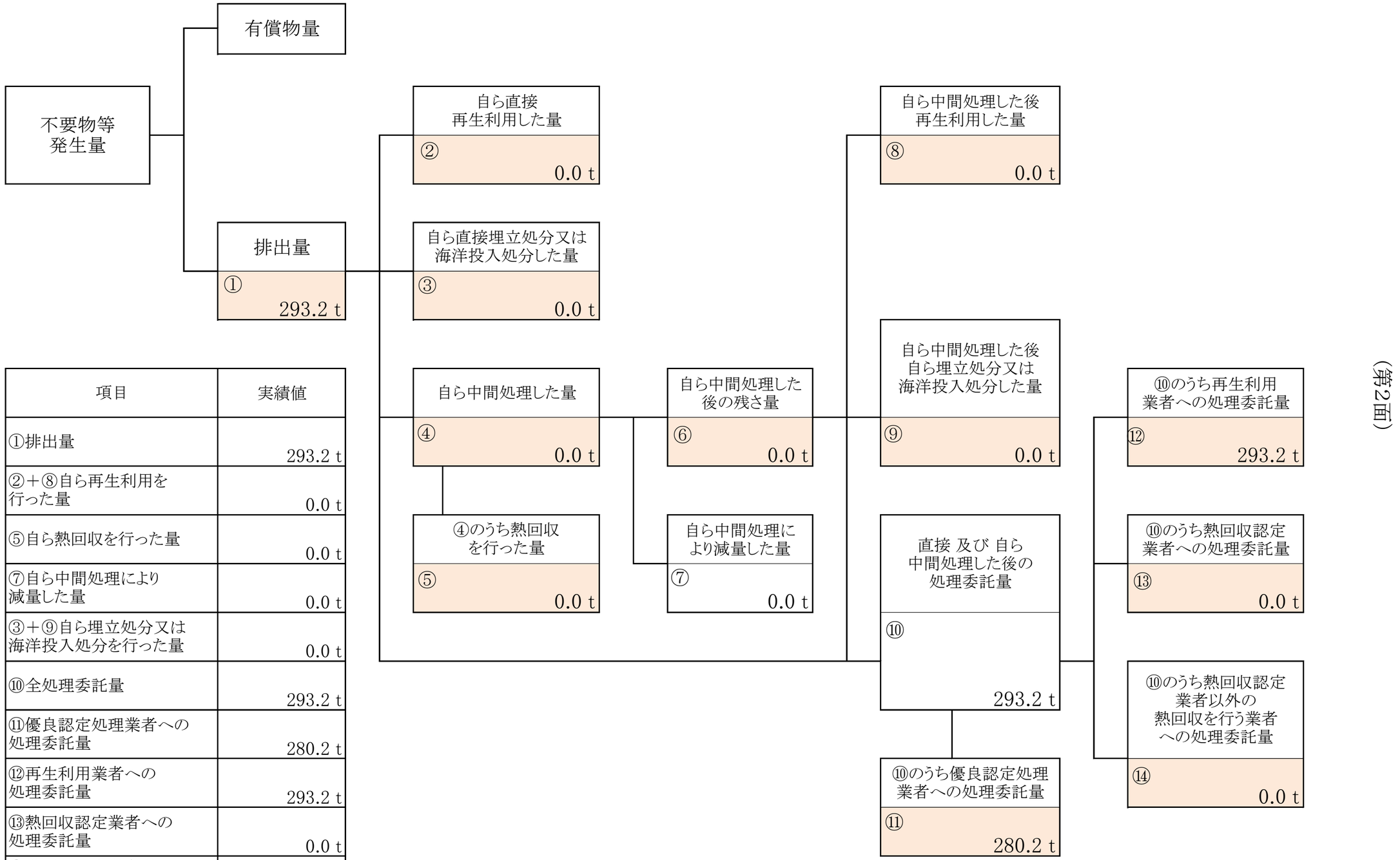


項目	実績値
①排出量	29.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

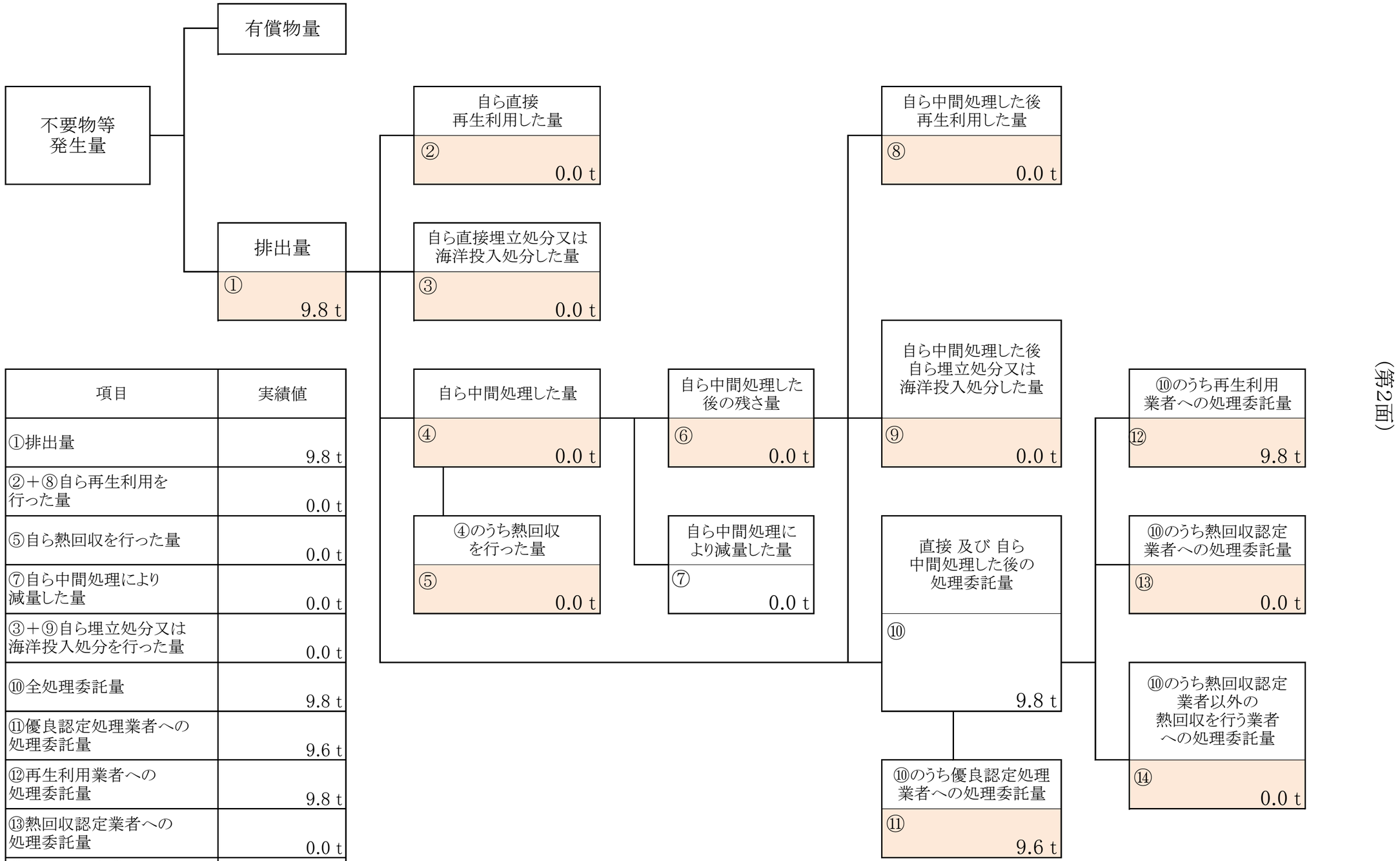


項目	実績値
①排出量	293.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	293.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	280.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	293.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

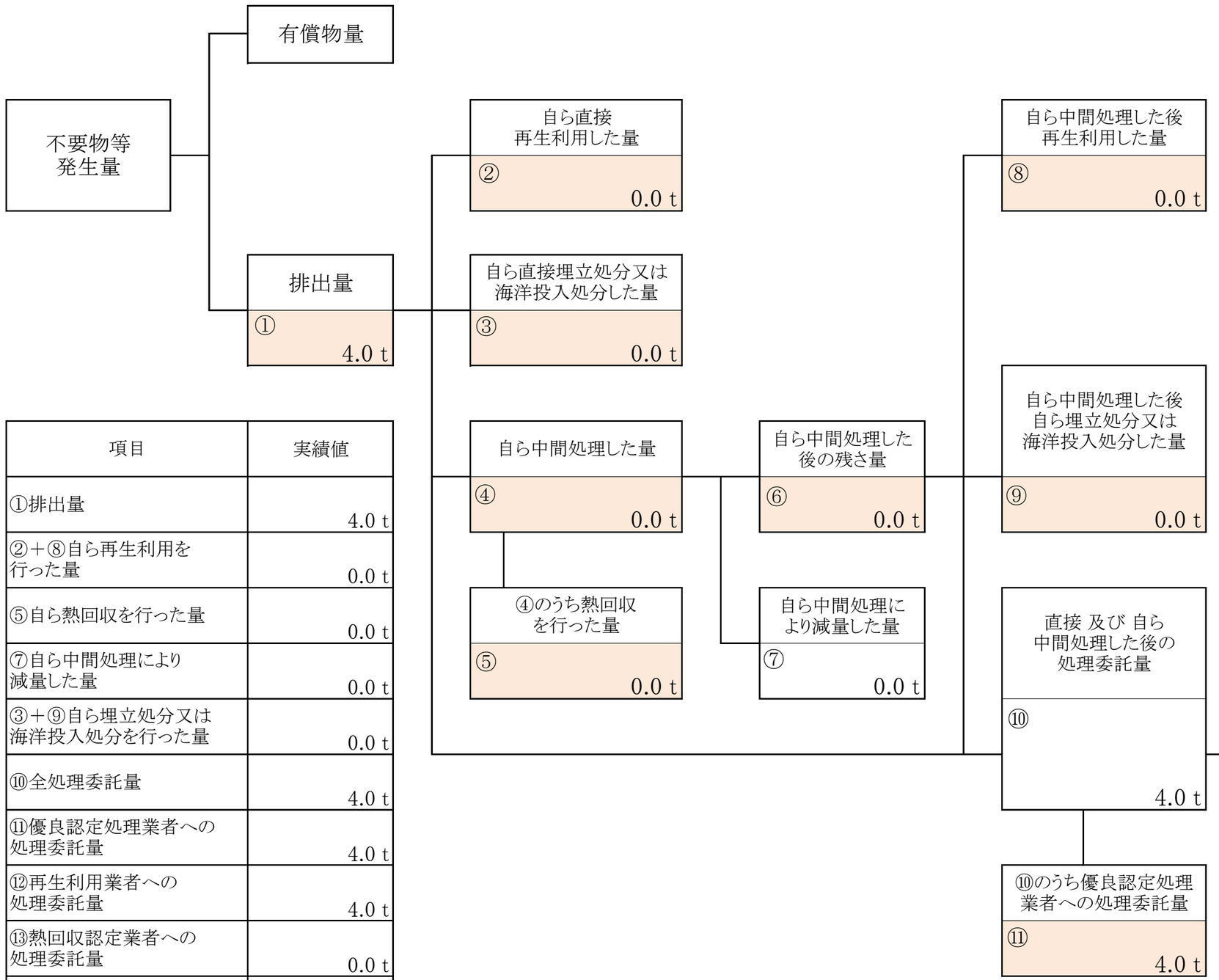


項目	実績値
①排出量	9.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

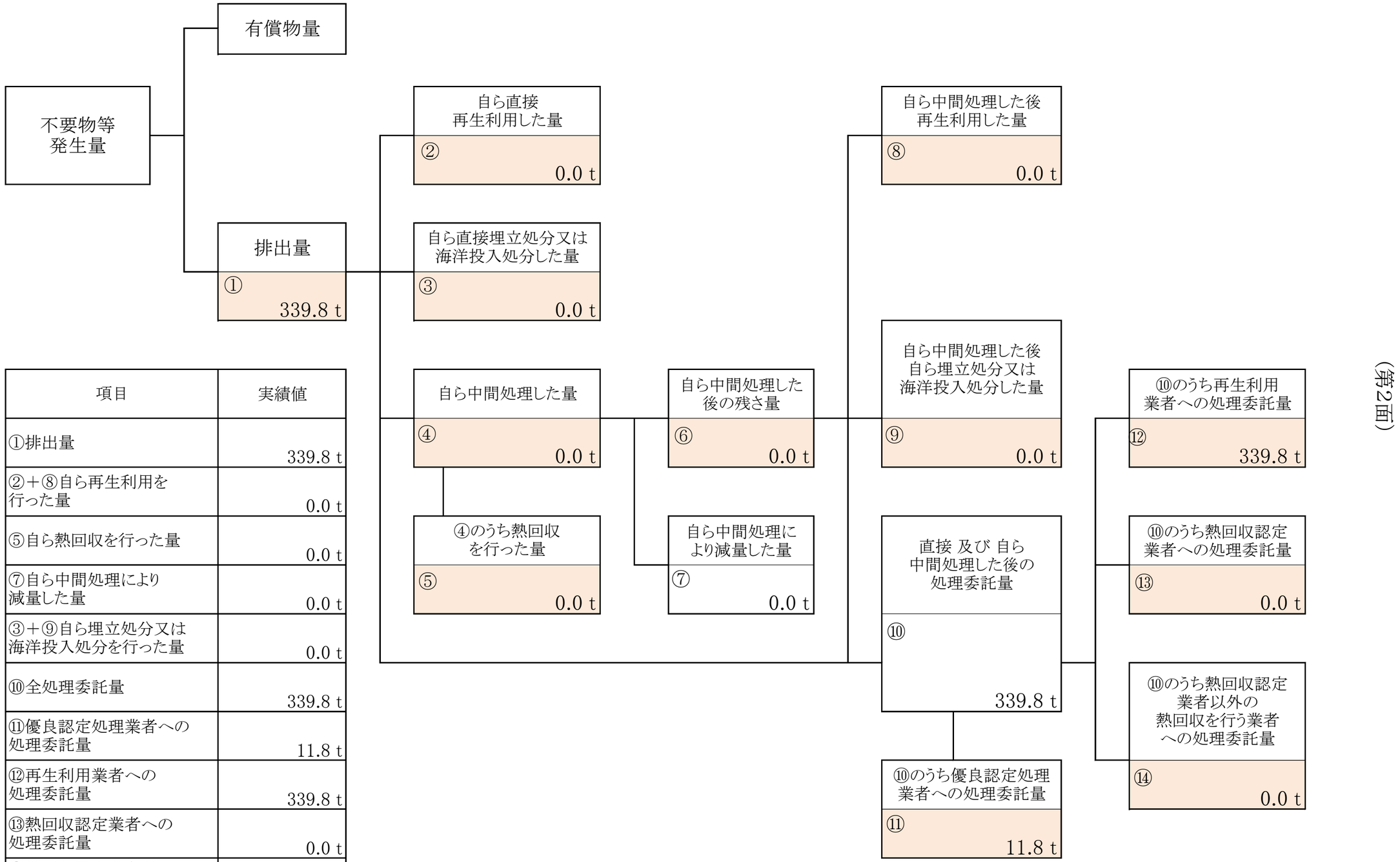


項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

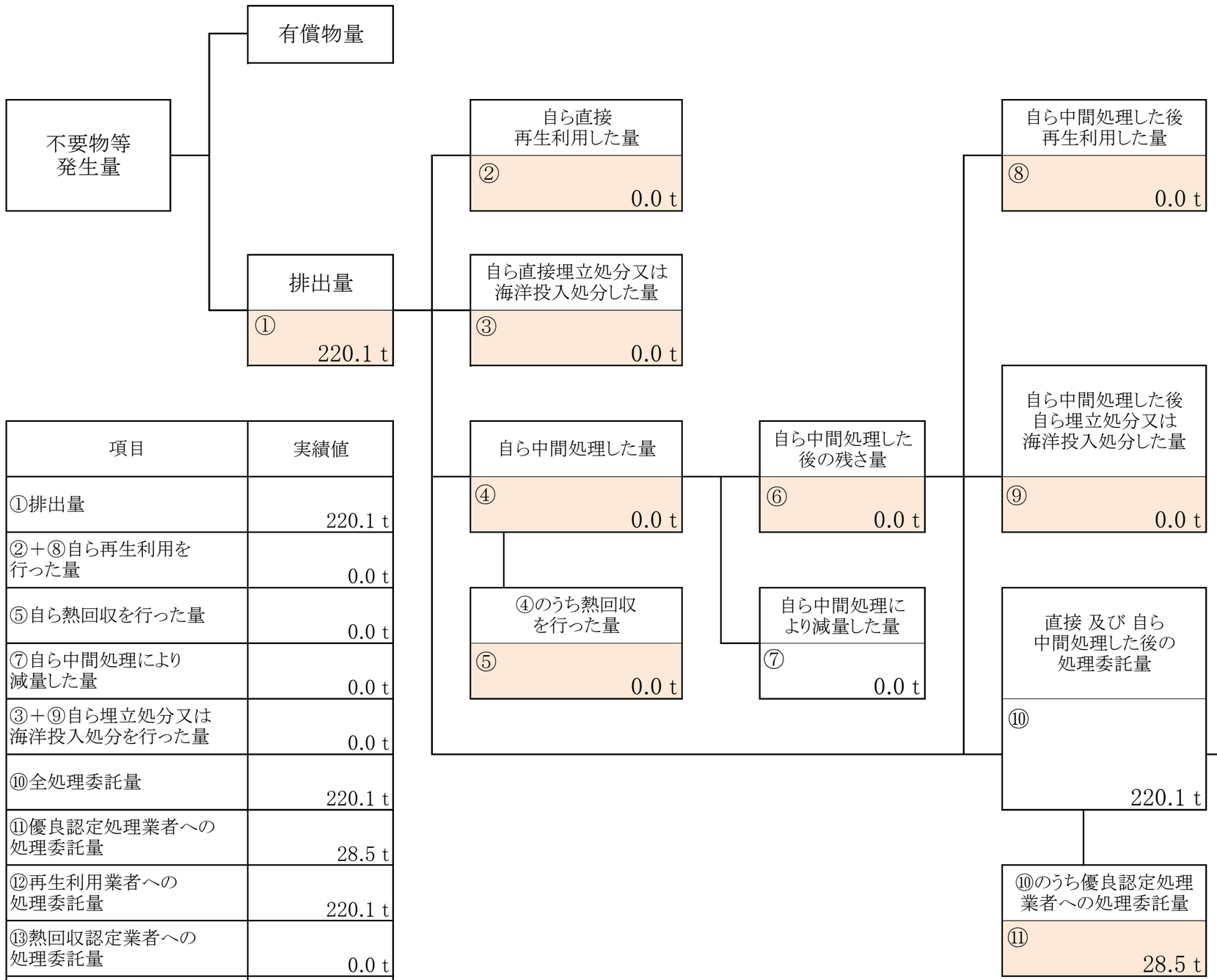


項目	実績値
①排出量	339.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	339.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	339.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

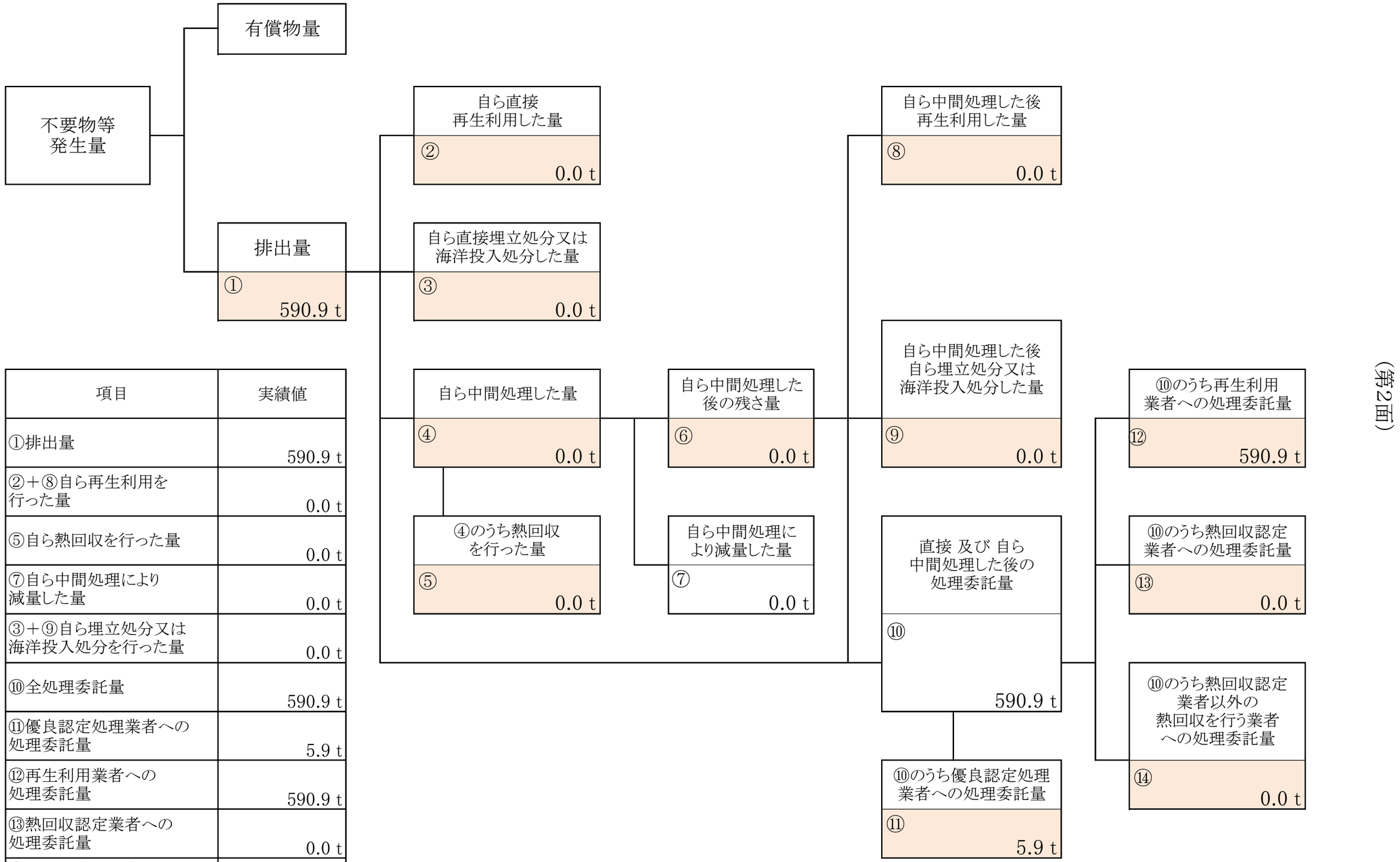


項目	実績値
①排出量	220.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	220.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	220.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他がれき類**）

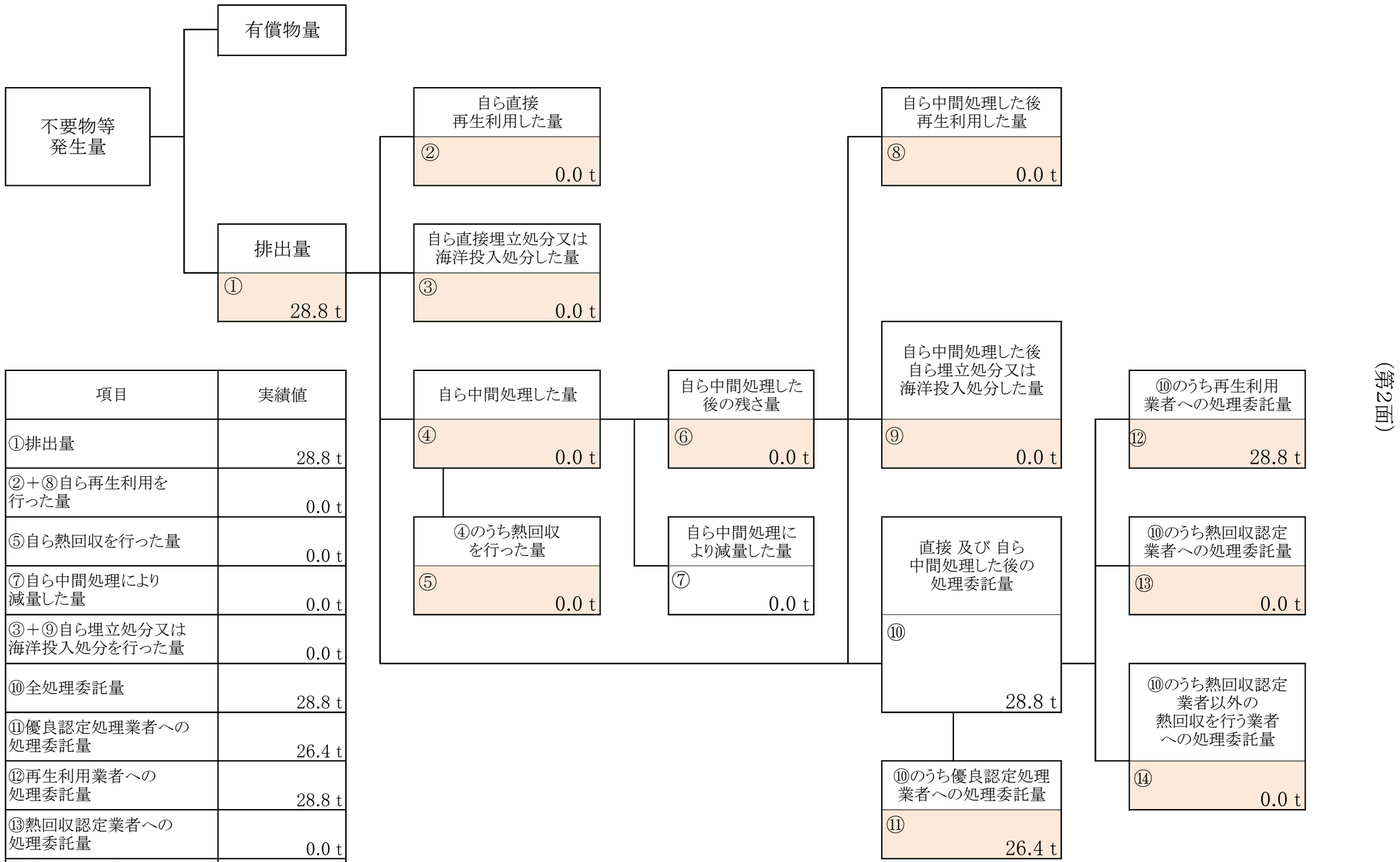


項目	実績値
①排出量	590.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	590.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	590.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	28.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	28.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	28.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6 年　 6 月　 30 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

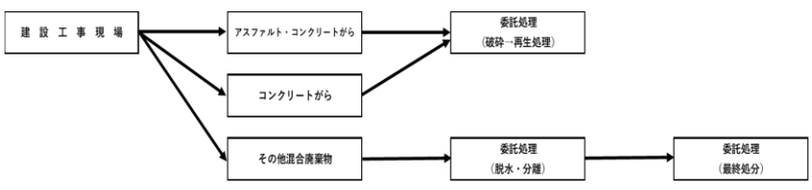
提出者

住　所　　千葉県千葉市中央区村田町888-4

氏　名　　千葉ニチレキ株式会社
代表取締役　安井　由喜夫

電話番号　　043-309-6974

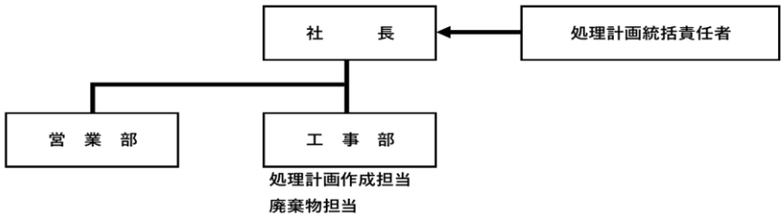
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉ニチレキ株式会社
事業場の所在地	千葉市中央区村田町888－4
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業　小分類：舗装工事業
②　事業の規模	前年度の元請完成工事高　　1億円
③　従業員数	8人　（社員　6人、常勤関係職員　2人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_	―	―
	排　　出　　量_	―	―
	（これまでに実施した取組） 建設工事の仕様書で規定されている、廃棄物量以上排出しないように施工管理を徹底する。		
②計画	【目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_	―	―
	排　　出　　量_	―	―
	（今後実施する予定の取組） 発注者に対して、再生工法を提案していき、廃棄物の排出を抑制していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら 廃棄物が混在しないよう、排出時に目視での確認を行う。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら 廃棄物が混在しないよう、排出時に目視での確認を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で再生利用を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き自社で再生利用を行う予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き自社で中間処理を行う予定はない。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（　　5 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	―	―
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―
		（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋め立て処分又は海洋処分を行ったことはない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―	―
		（今後実施する予定の取組） 引き続き自社で埋め立て処分又は海洋処分を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和５　年度）実績】　別紙のとおり		
		産業廃棄物の種類_	―	―
		全処理委託量_	―	―
		優良認定処理業者への処理委託量	―	―
		再生利用業者への処理委託量	―	―
		認定熱回収業者への処理委託量	―	―
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	―	―
		（これまでに実施した取組） 再生利用ができる委託業者に処理を委託する。		

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類_</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量_</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き再生利用ができる委託業者に処理を委託していく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		排　　出　　量	1078.5　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		排　　出　　量	990.0　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		全処理委託量	1078.5 t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	1078.5 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら							
		全処理委託量	990.0 t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	990.0 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月10日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　465-0092

住　所　愛知県名古屋市名東区社台三丁目１２５番地

法人名　中部土木株式会社

代表者　難波 陽一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　052-777-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	R4国道16号市原地区(その9)電線共同溝工事
事業場の所在地	290-0056　千葉県市原市五井南海岸地内
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	5億9000万円
③従業員数	10人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→中間処理：破砕(委託)→再生利用 混合廃棄物(管理型)→中間処理：破砕(委託)→再生利用・焼却 建設汚泥→中間処理：脱水(委託)→再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

東京支店----------関東工事事務所所長---現場代理人-------監理技術者
（廃棄物処理統括責任者）　　（廃棄物担当者）　　（処理計画書作成担当者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	がれき類
排出量	1382 t	1126 t

（これまでに実施した取組）

施工計画段階において、設計・工法の検討を行い、発注者との事前調整を行う事で、発生量の抑制に取り組んだ。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	がれき類
排出量	830 t	670 t

（今後実施する予定の取組）

施工計画段階において、設計・工法の検討を行い、発注者との事前調整を行う事で、発生量の抑制に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

がら類、混合物等の分別解体の徹底

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

がら類、混合物等の分別解体の徹底

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスファルトコンクリートがら	がれき類
全処理委託量		1382 t	1126 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1382 t	1126 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・委託契約前にプラントの性能等の検討及び最終処分先までの確認を行い契約した。
・施設状況の事前確認した。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>830 t</td><td>670 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>830 t</td><td>670 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・委託契約前にプラントの性能等の検討及び最終処分先までの確認を行い契約する。
・施設状況の事前確認する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
		排　出　量	1677　t	13　t	4.8　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
		排　出　量	1000　t	8　t	3　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
	全処理委託量	1677 t	13 t	4.8 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	4.8 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1677 t	13 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥	混合					
	全処理委託量	1000 t	8 t	3 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	3 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	8 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年 6月 25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒220-8765

住　所　神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号 みなとみらいグランドセントラルタワー

氏　名　千代田化工建設株式会社
取締役 社長　太田 光治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　045-225-7253（担当）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千代田化工建設株式会社　SBP中袖出張所 ほか
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市中袖5-6 ほか
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	前年度の元請完成工事高　33.8 億円
③　従業員数	57 名（令和6年4月時点）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-2のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙-3のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　　残りは、別紙-1（任意様式）の通り

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	木くず
	排出量	196.7 t	355.1 t
	（これまでに実施した取組） 循環型社会の実現から、リデュース、リユース、リサイクルの３Ｒに向けて、分別の徹底により産廃減量に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	木くず
	排出量	400 t	100 t
	（今後実施する予定の取組） 前年度と同じ取組み		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） なるべく混合廃棄物となるのを少なくするように、それぞれの廃棄物に分別し、保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 前年度と同じ取組み

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項　　残りは、別紙-1（任意様式）の通り

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿		がれき類	木くず
全処理委託量＿		196.7 t	355.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	196.7 t	25.3 t
	再生利用業者への処理委託量	196.7 t	355.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

法令違反の無いこと、インターネットでの情報公開、ISO14001等認証取得を満たす業者、かつ電子マニフェストを運用している業者又は、優良認定処理業者を選定するように努めている。また、施設（中間処理施設または、最終処分場）の現地確認をするように努めている。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	木くず
全処理委託量＿	400 t	100 t
優良認定処理業者への処理委託量	10 t	30 t
再生利用業者への処理委託量	400 t	100 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）
前年度と同じ取組み

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
		排　出　量	102.8 t	369.9 t	2.5 t	0.1 t	0.5 t	0.4 t	0.1 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
		排　出　量	100 t	200 t	10 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

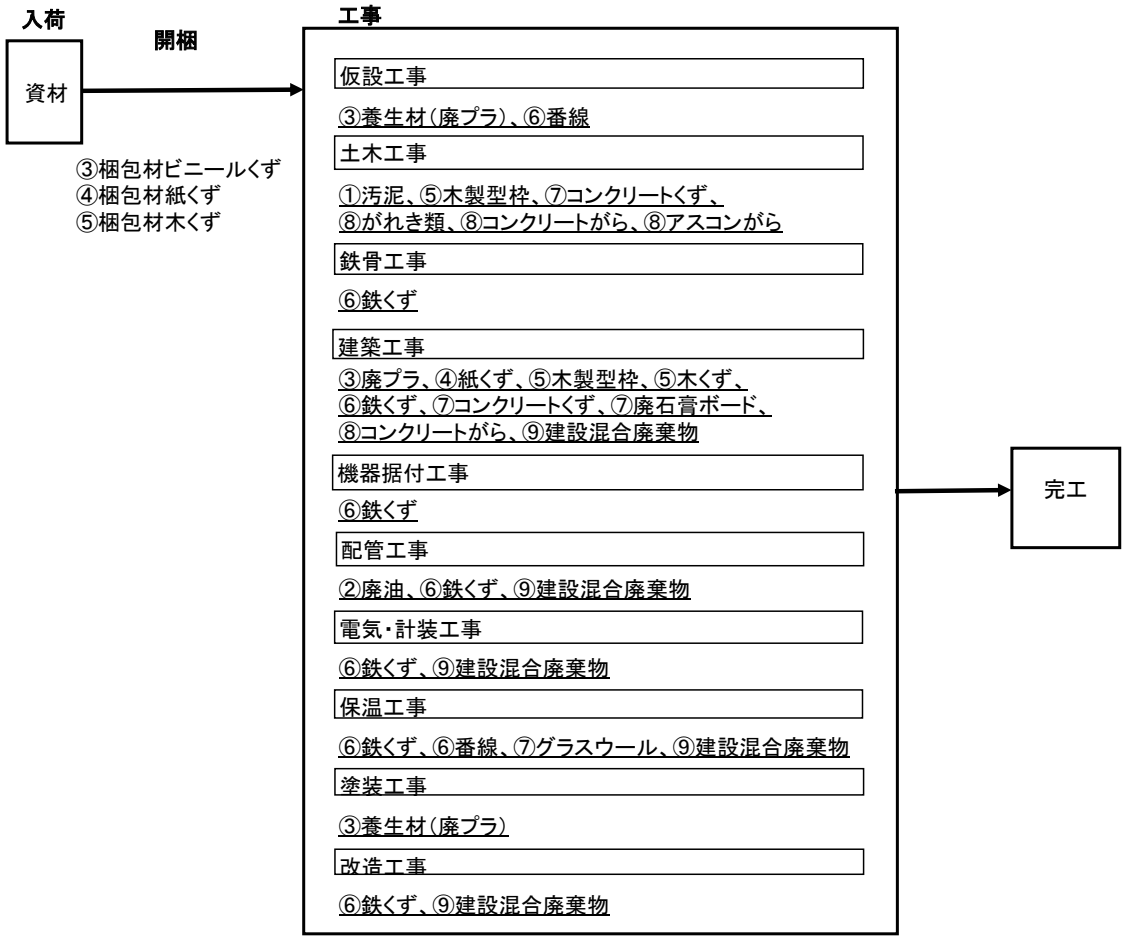
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
	全処理委託量	102.8 t	369.9 t	2.5 t	0.1 t	0.5 t	0.4 t	0.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	57.7 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	68.6 t	369.9 t	2.5 t	0 t	0.5 t	0.4 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃蛍光灯	
	全処理委託量	100 t	200 t	10 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	20 t	140 t	10 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	180 t	10 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の一連の処理の工程

1. 事業工程図



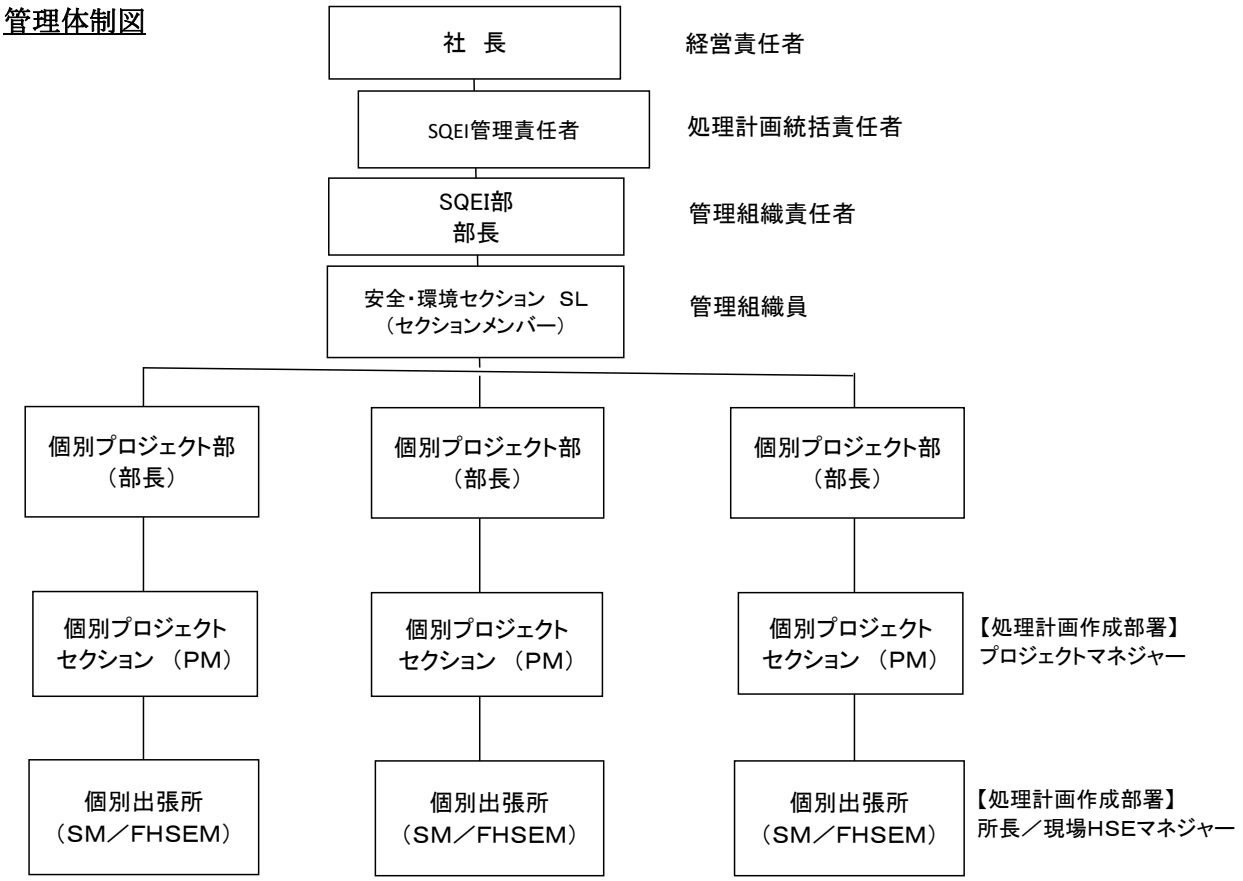
2. 産業廃棄物の処理の工程

○: 該当する処理

委託物番号	産業廃棄物			委託処理			中間処理後の処理		
	廃棄物の呼び名		廃棄物の種類		中間処理（処理方法）		再生資源化	熱回収	埋立
①	汚泥	→	汚泥	⇒	脱水、乾燥、焼却	⇒	○	－	－
②	廃油	→	廃油	⇒	焼却	⇒	－	－	○
③	梱包材ビニールくず、養生材(廃プラ)、廃プラ	→	廃プラスチック類	⇒	破砕、焼却	⇒	○	－	○
④	梱包材紙くず、紙くず	→	紙くず	⇒	破砕、焼却	⇒	○	－	○
⑤	梱包材木くず,木製型枠、木くず	→	木くず	⇒	破砕、焼却	⇒	○	－	－
⑥	鉄くず,番線	→	金属くず	⇒	破砕、圧縮	⇒	○	－	－
⑦	コンクリートくず、グラスウール、廃石膏ボード	→	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	⇒	破砕	⇒	○	－	○
⑧	がれき類、コンクリートがら、アスコンがら	→	がれき類	⇒	破砕	⇒	○	－	○
⑨	建設混合廃棄物	→	建設混合廃棄物	⇒	破砕、圧縮、焼却	⇒	○	－	○

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図



役職		役割
SQEI管理責任者	処理計画統括責任者	・産業廃棄物処理計画統括責任者
ＳＱＥＩ部 部長	管理組織責任者	・管理組織の運営と管理
安全・環境セクション ＳＬ セクションメンバー	管理組織員	・関連法令の順守、廃棄物の発生抑制及び適正処理の教育と指導 ・個別プロジェクトの廃棄物処理計画の確認 ・電子及び紙マニフェストシステムの運用管理及び指導 ・廃棄物処理委託契約書と紙マニフェストの保管管理 ・月例報告書、パトロール、内部監査での廃棄物の適正処理の確認 ・官庁への各種報告、等
プロジェクト部 部長	－	・廃棄物処理委託契約の締結
プロジェクトマネジャー （ＰＭ）	－	・プロジェクトにおける統括管理 ・廃棄物処理計画作成 ・廃棄物処理業者の選定 ・廃棄物処理委託契約の作成 ・官庁への各種報告、等
所長（ＳＭ） 又は、 現場ＨＳＥマネジャー （ＦＨＳＥＭ）	建設現場廃棄物管理責任者	・出張所（現場）における統括管理 ・廃棄物処理計画の作成、処理業者の選定、処理委託契約の作成 ・所員及び作業員の廃棄物の適正処理に関する教育と指導 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の交付と管理、等

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　104-0061

住　所　東京都中央区銀座2-9-17

法人名　坪井工業株式会社

代表者　坪井 晴雅

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3563-4202

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	坪井工業株式会社
事業場の所在地	東京都中央区銀座2-9-17
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	40,957,209,615円（2023年度完成工事）
③従業員数	300人（2023年3月31日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥→脱水・造粒固化→再資源化 ・廃プラ類→破砕・圧縮→再資源化 ・紙くず、木くず→破砕・圧縮→再資源化 ・繊維くず、がら陶→破砕・圧縮梱包→再資源化 ・廃石膏ボード→破砕・圧縮梱包→再資源化 ・コンガラ→破砕→再資源化 ・アスコンガラ→破砕→再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
品質安全管理室
↓
廃棄物担当：建築施工部、神奈川工事部　事務担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 委託契約書に基づいて分類。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
排出量	2,283.84 t	106.75 t	6.57 t	124.47 t	0.12 t	16.72 t	103.35 t	106.56 t	370.20 t	270.48 t	60.90 t	0.52 t	220.61 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
排出量	2,055.46 t	96.08 t	5.91 t	112.02 t	0.11 t	15.05 t	93.02 t	95.90 t	333.18 t	243.43 t	54.81 t	0.47 t	198.55 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
全処理委託量	2,283.84 t	106.75 t	6.57 t	124.47 t	0.12 t	16.72 t	103.35 t	106.56 t	370.20 t	270.48 t	60.90 t	0.52 t	220.61 t					
環境省認定処理業者への処理委託量	0.00 t	105.70 t	6.57 t	124.47 t	0.00 t	16.72 t	103.35 t	14.80 t	210.40 t	6.66 t	14.70 t	0.52 t	216.53 t					
再生利用業者への処理委託量	2,283.84 t	106.75 t	6.57 t	124.47 t	0.12 t	16.72 t	103.35 t	106.56 t	370.20 t	270.48 t	60.90 t	0.52 t	220.61 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）					
全処理委託量	2,055.46 t	96.08 t	5.91 t	112.02 t	0.11 t	15.05 t	93.02 t	95.90 t	333.18 t	243.43 t	54.81 t	0.47 t	198.55 t					
環境省認定処理業者への処理委託量	0.00 t	95.13 t	5.91 t	112.02 t	0.00 t	15.05 t	93.02 t	13.32 t	189.36 t	5.99 t	13.23 t	0.47 t	196.68 t					
再生利用業者への処理委託量	2,055.46 t	96.08 t	5.91 t	112.02 t	0.11 t	15.05 t	93.02 t	95.90 t	333.18 t	243.43 t	54.81 t	0.47 t	198.55 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月5日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-5504

住　所　千葉県鴨川市浜荻430番地1

氏　名　有限会社　妻本商店

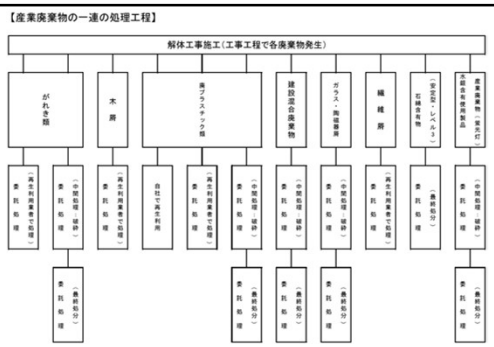
代表取締役　妻本竜志

電話番号　04-7094-2610

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社　妻本商店
事業場の所在地	千葉県鴨川市浜荻430番地1　現場：鴨川市
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

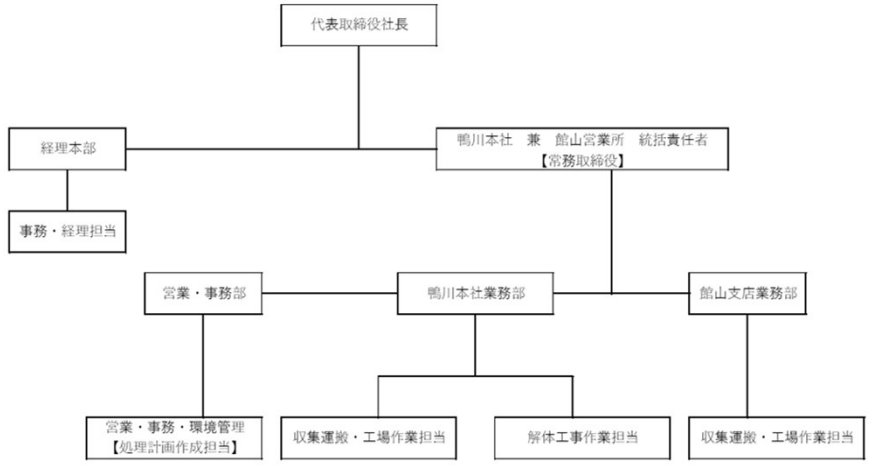
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②　事業の規模	前年度売上　9億円
③　従業員数	30名（役員5名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出量	1273.75　t	247.31　t

（これまでに実施した取組）
解体工事施工段階での分別。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出量	1200　t	200　t

（今後実施する予定の取組）
解体工事施工の際、再生利用できるもの（廃プラスチック類等）を更に選別しやすくする（混合廃棄物に混入しない事含む）為に、工事の進め方を更に改善する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
再利用しやすい品目（廃プラスチック類など）を中心に分別・選別する、他の廃棄物と混合しない様に工夫をする。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
継続して再利用しやすい品目の分別・選別・他の廃棄物と混載にならない用、集積する場所の工夫（分別スペースの設定など）を強化する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
自社処分場での品質の向上と再生利用先開拓、再生利用先との連携強化。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	40 t

（今後実施する予定の取組）
継続して品質向上を行い、再生利用先との連携を強化する事で、発生の段階から円滑な選別を行える様な処理環境を更に構築する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
処理後の委託先との連携の強化。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	10 t

（今後実施する予定の取組）
継続して委託先とは連携を強化する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

－

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

－

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
全処理委託量＿	1273.75 t	247.31 t
優良認定処理業者への処理委託量	1129.88 t	115.12 t
再生利用業者への処理委託量	1129.88 t	97.65 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	125.68 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

法令遵守・適正処理を念頭に、優良認定及び熱回収含む再生利用事業者へ処理を委託している

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
全処理委託量＿	1200 t	150 t
優良認定処理業者への処理委託量	1200 t	80 t
再生利用業者への処理委託量	1200 t	20 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	50 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

発生段階からの品質向上に努め、法令遵守・適正処理を念頭に、優良認定及び熱回収含む再生利用事業者へ処理を委託し、連携の強化・協力を継続する。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
		排　出　量	124.2 t	71.03 t	58.41 t	22.95 t	3.49 t	8 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
		排　出　量	120 t	60 t	50 t	20 t	3 t	7 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
全処理委託量	124.2 t	71.03 t	58.41 t	22.95 t	3.49 t	8 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	22.95 t	3.09 t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	124.2 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	22.95 t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木屑	建設混合廃棄物	ガラス陶磁器屑	繊維屑	がれき類（石綿含有）	水銀使用製品		
全処理委託量	120 t	60 t	50 t	20 t	3 t	7 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	20 t	10 t	10 t	20 t	3 t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	100 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	20 t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-5504
住 所　千葉県鴨川市浜荻430番地1
氏 名　有限会社 妻本商店
代表取締役 妻本竜志
電話番号 04-7094-2610

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 妻本商店
事業場の所在地	千葉県鴨川市浜荻430番地1 現場:鴨川市
事業の種類	D07－職別工事業(設備工事業を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

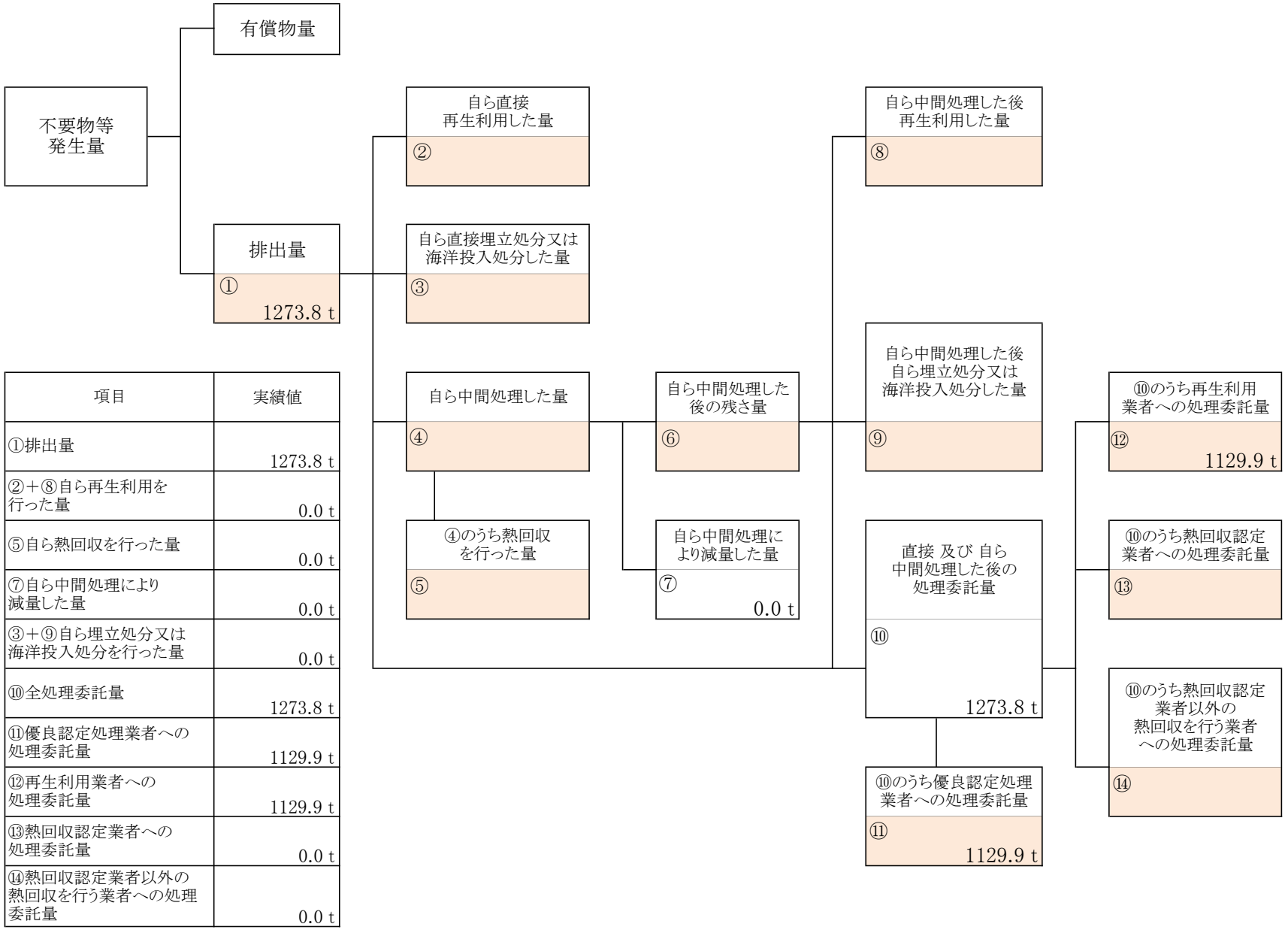
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1240.1 t	全処理委託量	1200.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	40.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	721.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	895.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	128.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格　A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

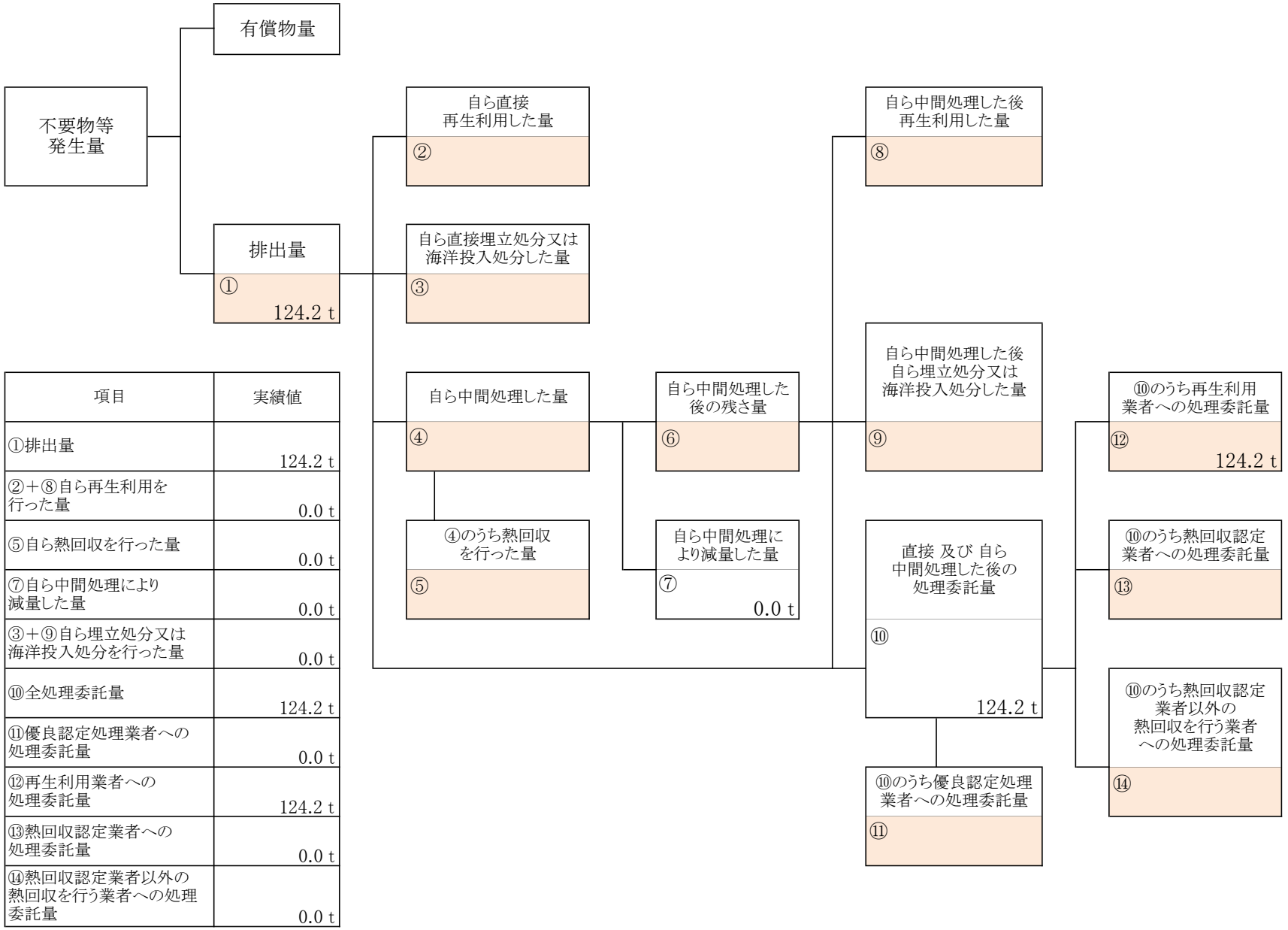


項目	実績値
①排出量	1273.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1273.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1129.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1129.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

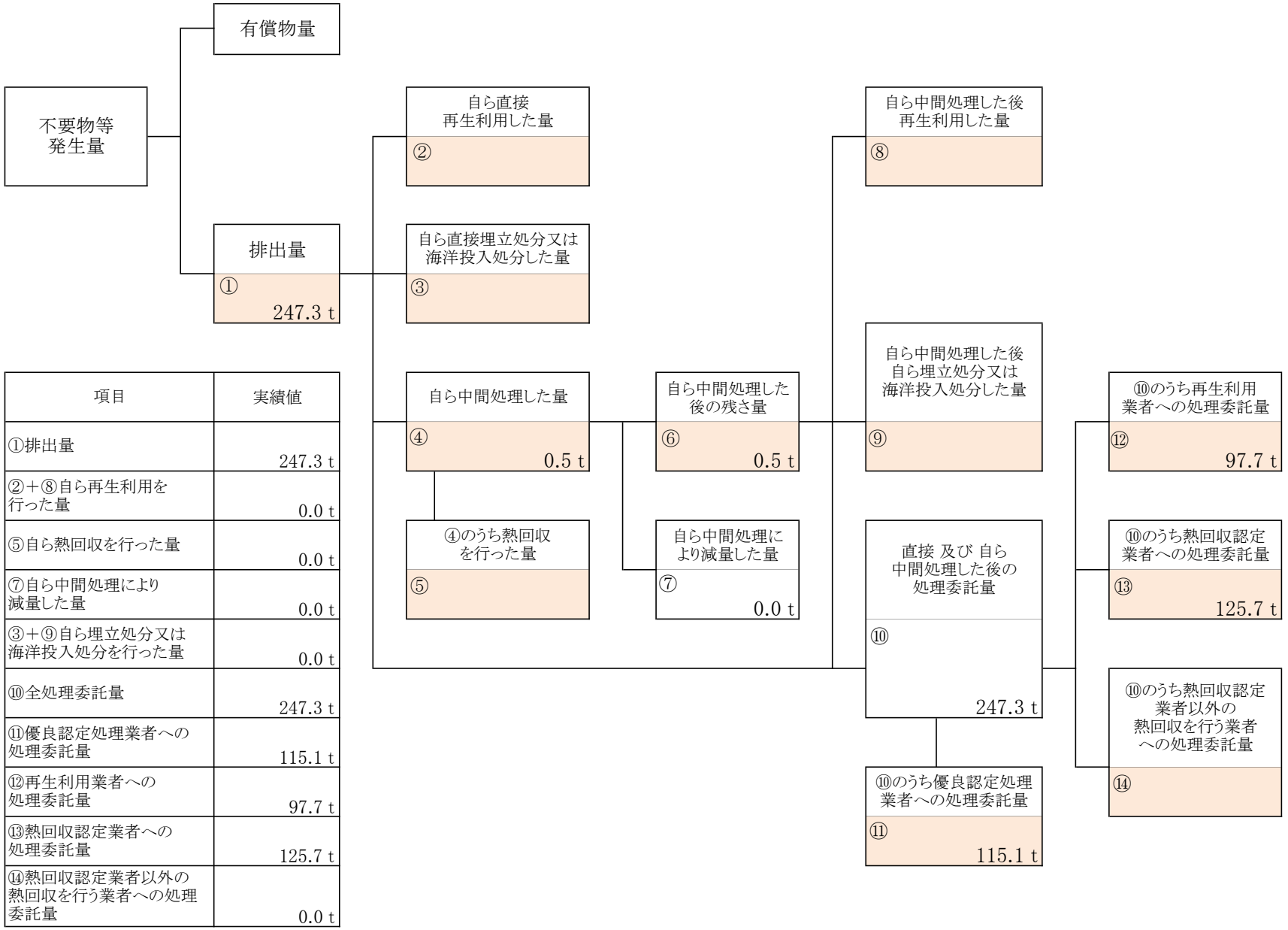


項目	実績値
①排出量	124.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	124.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	124.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

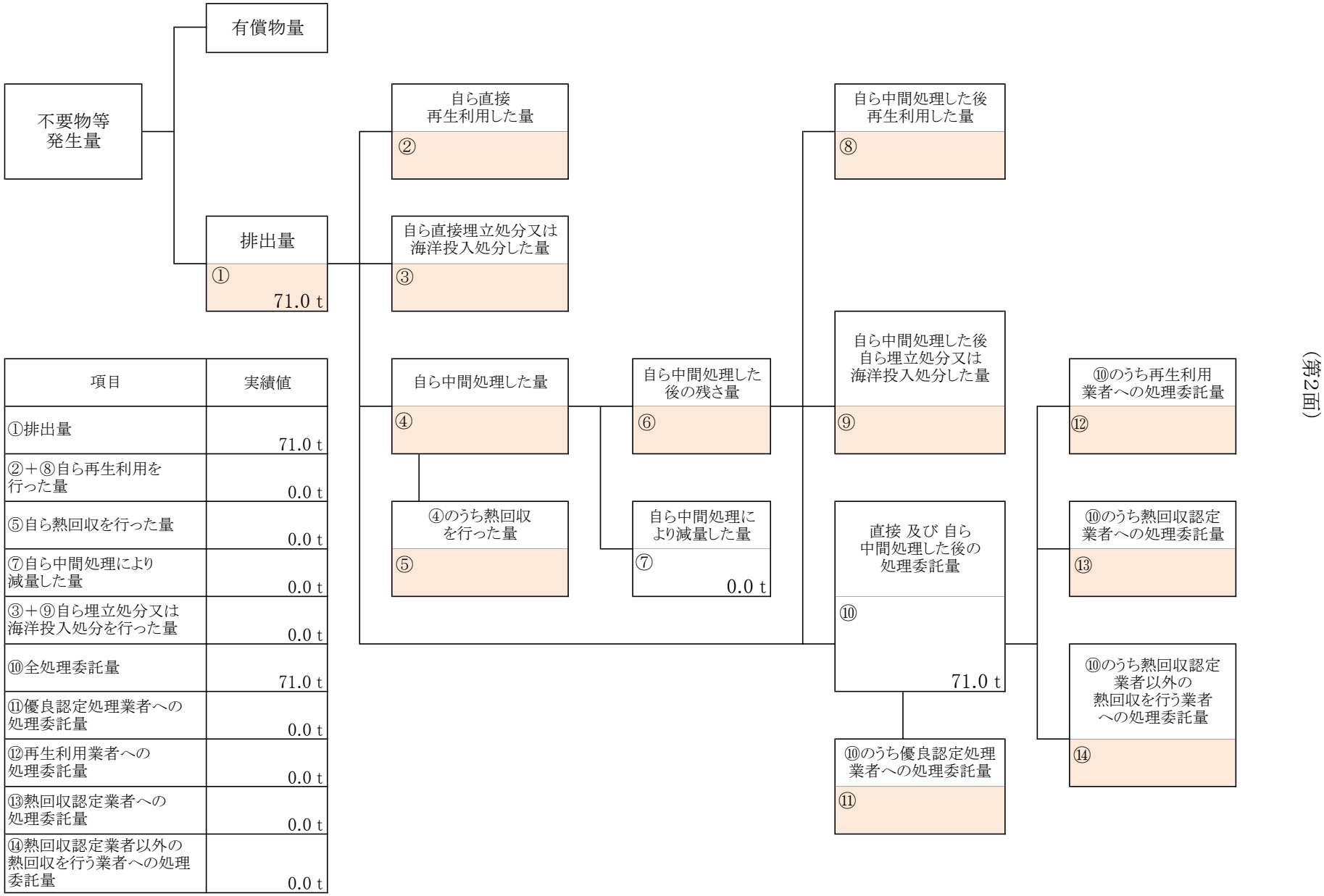


項目	実績値
①排出量	247.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	247.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	115.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	97.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	125.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

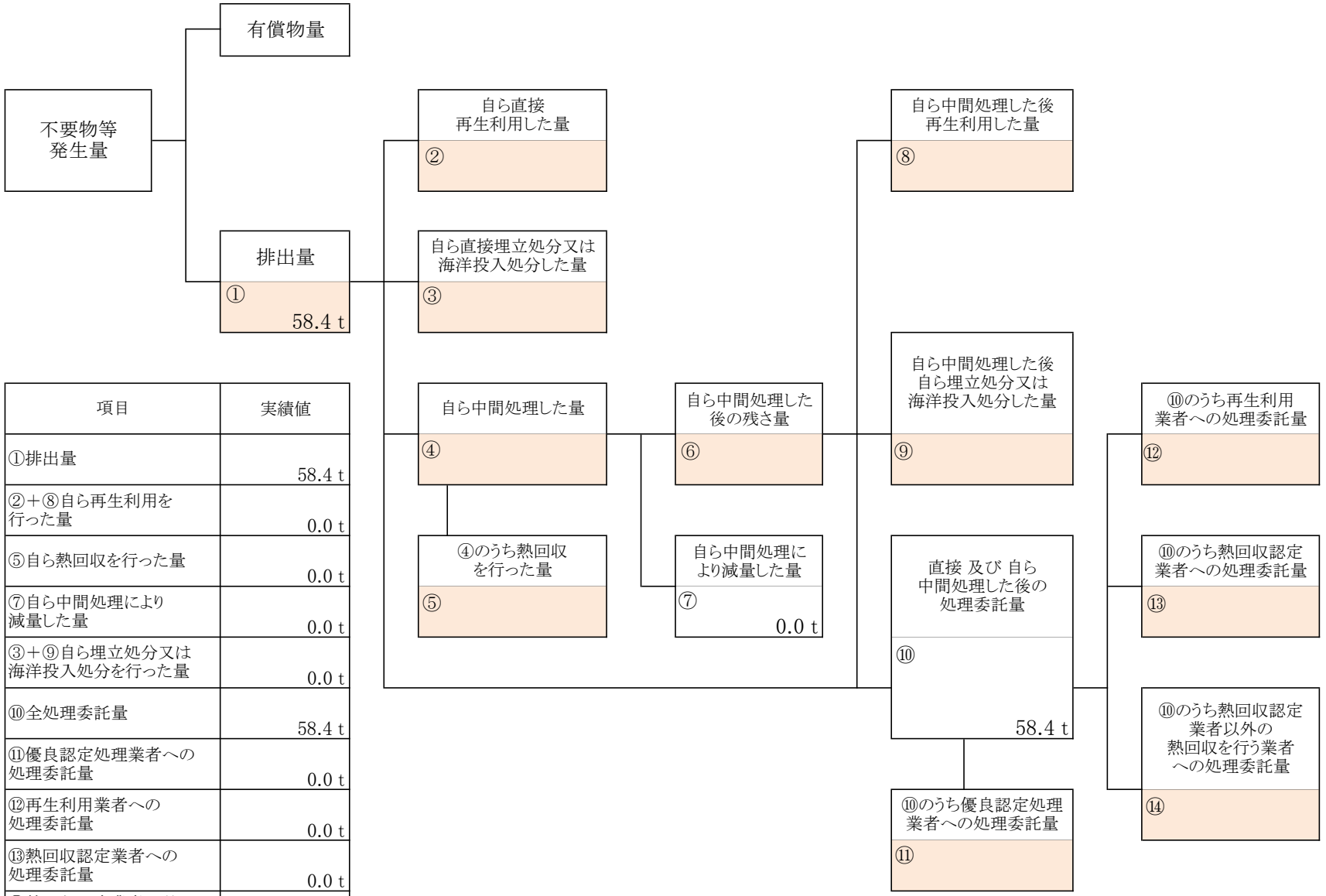


項目	実績値
①排出量	71.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	71.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス陶磁器屑**　）

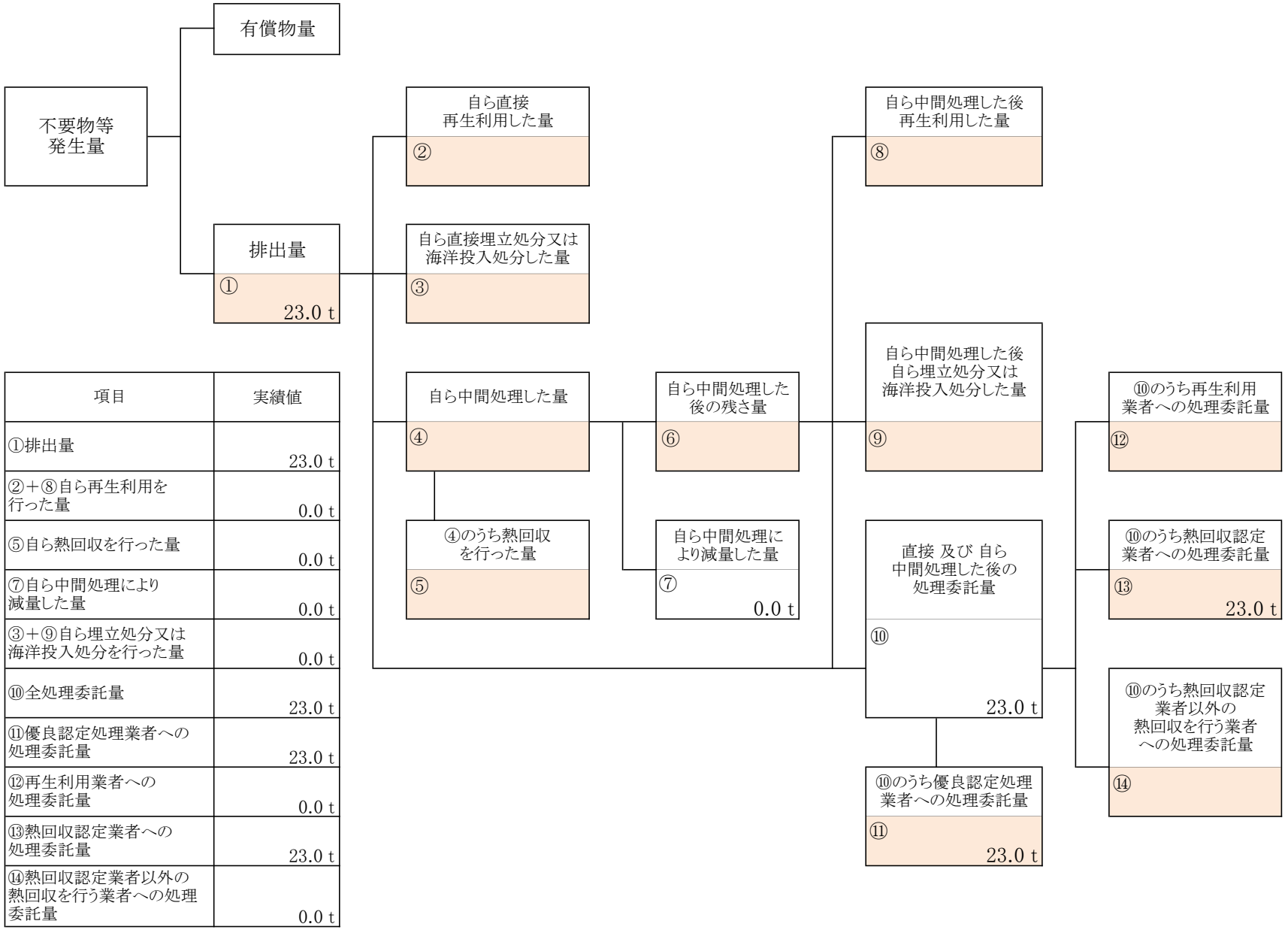


項目	実績値
①排出量	58.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**繊維屑**　）

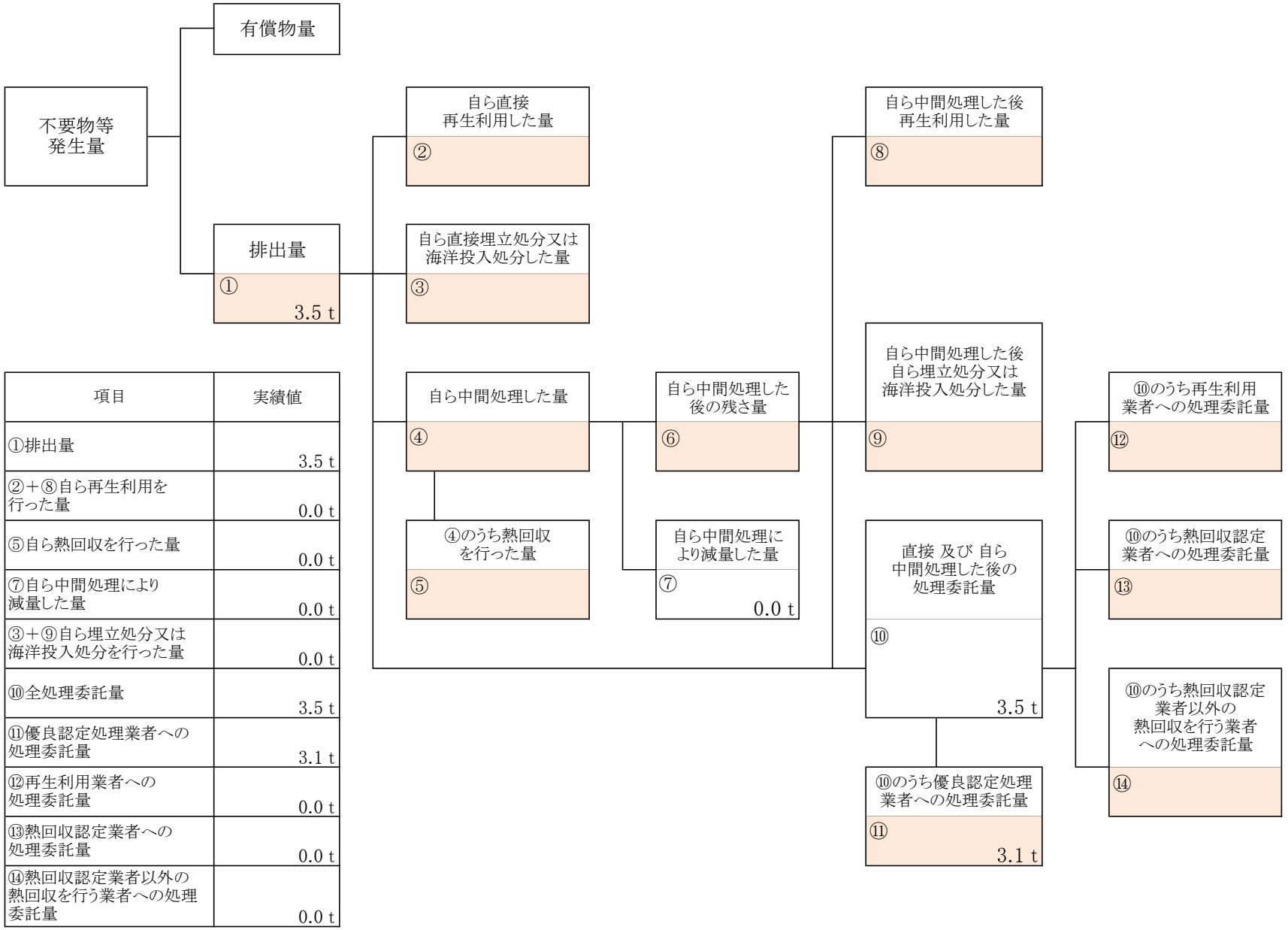


項目	実績値
①排出量	23.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	23.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類（石綿含有）**　）

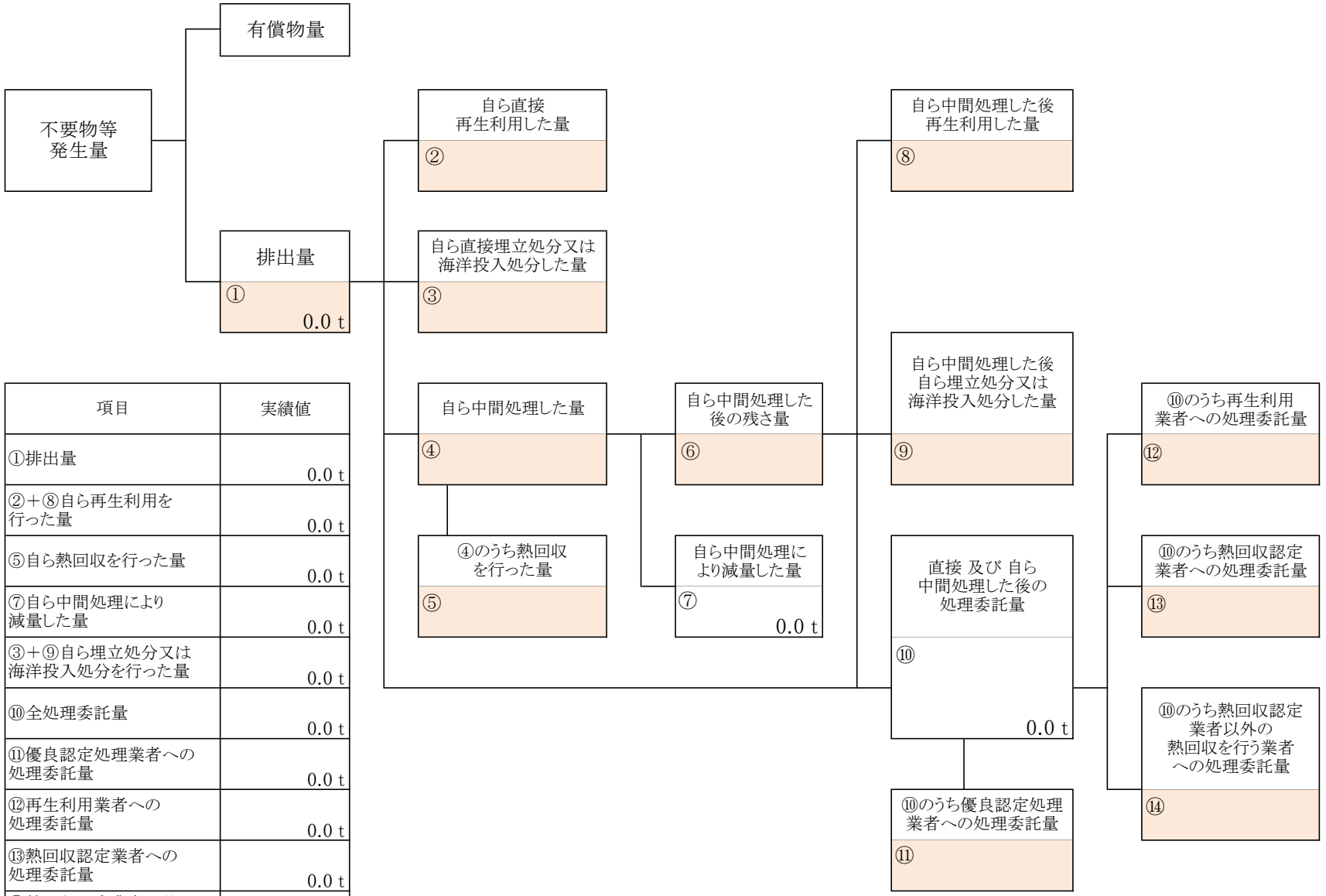


項目	実績値
①排出量	3.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃油**　）

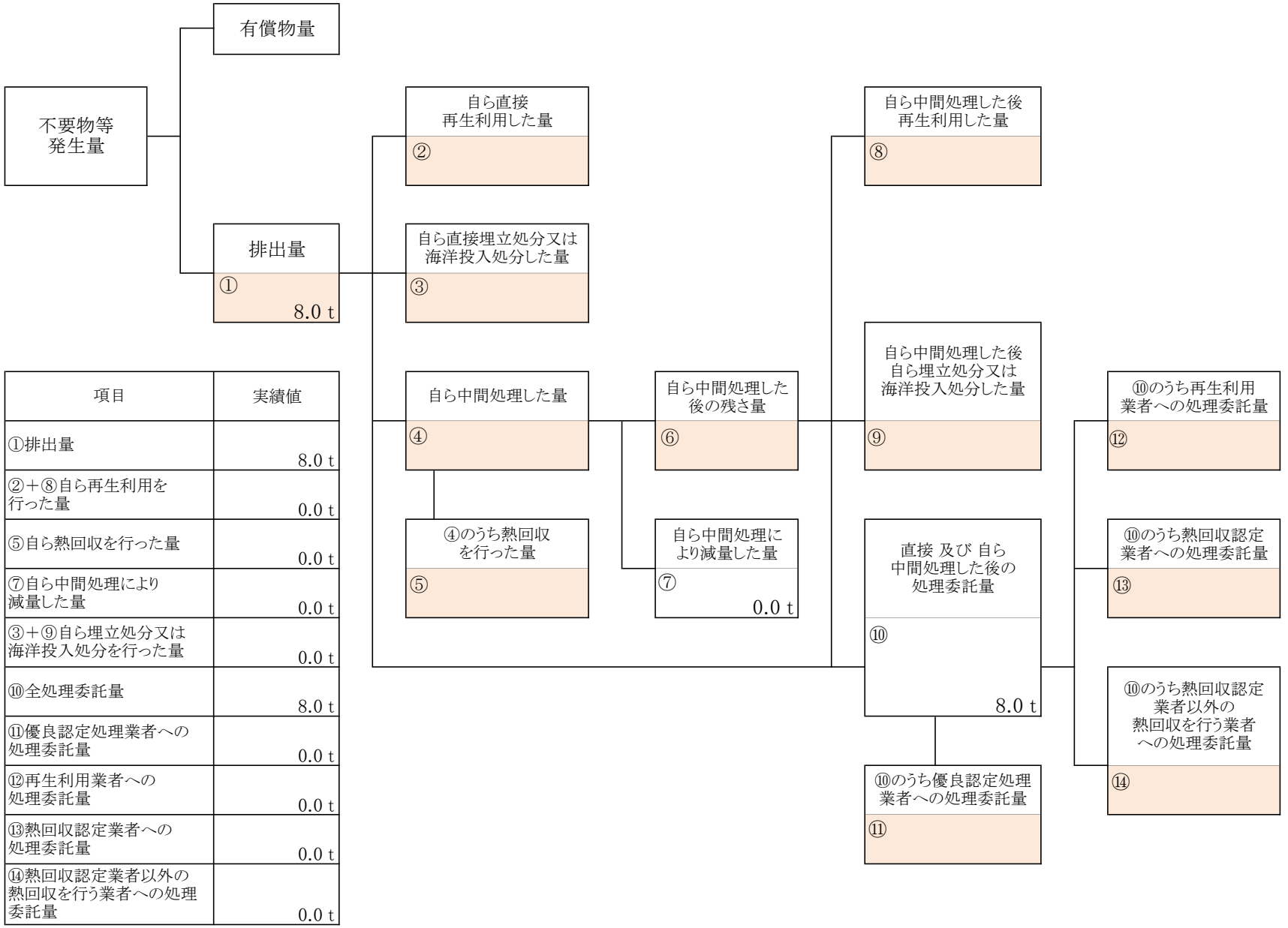


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**水銀使用製品産業廃棄物**　）



項目	実績値
①排出量	8.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月30日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区神田三崎町二丁目5番3号

氏 名　鉄建建設株式会社　東京鉄道支店

常務執行役員支店長　三宅　信次

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3221-2250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	鉄建建設株式会社　東京鉄道支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田三崎町二丁目5番3号
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

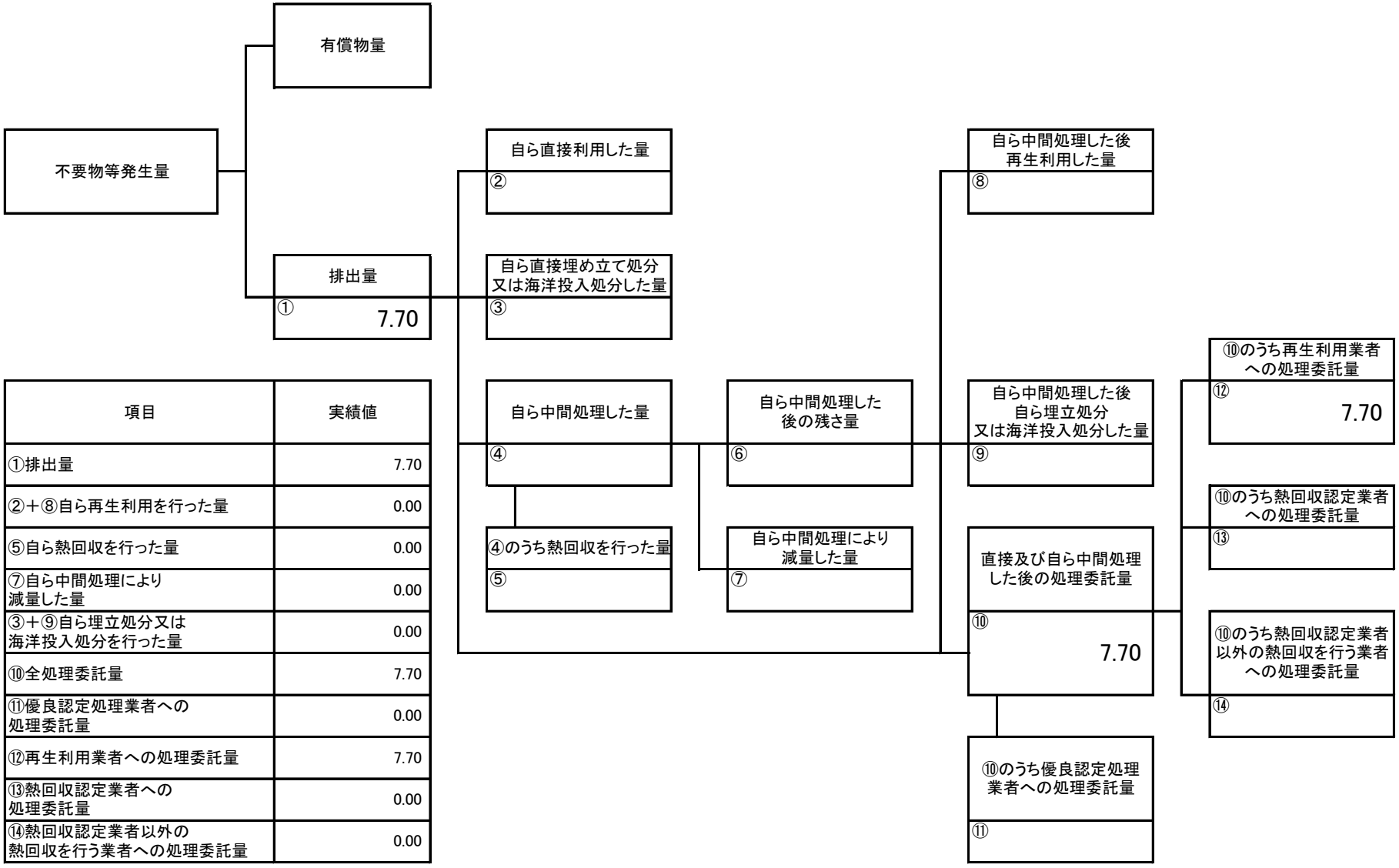
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,639.36 t	全処理委託量	3,639.36 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	559.79 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,337.85 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

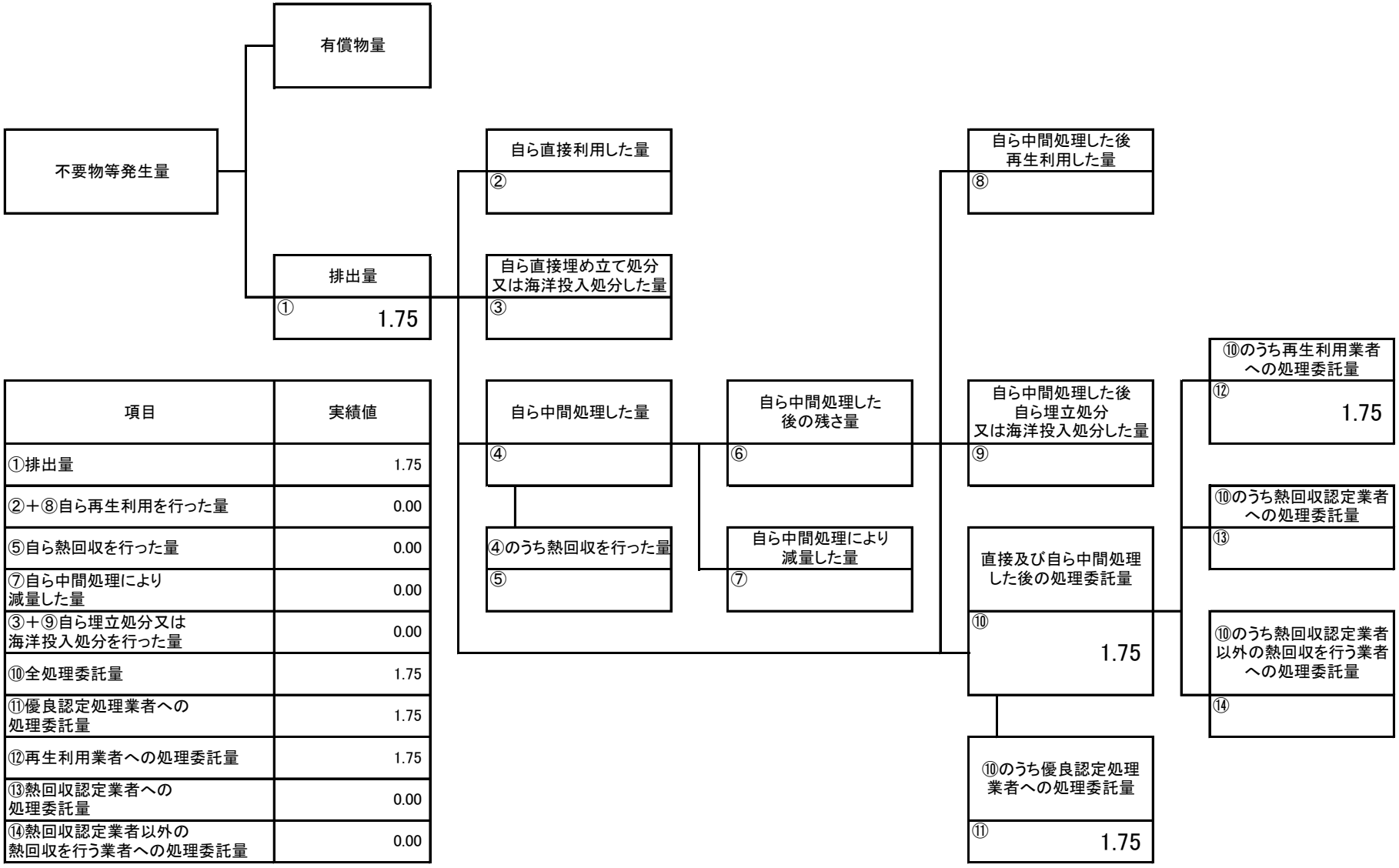


項目	実績値
①排出量	7.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	7.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	7.70
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

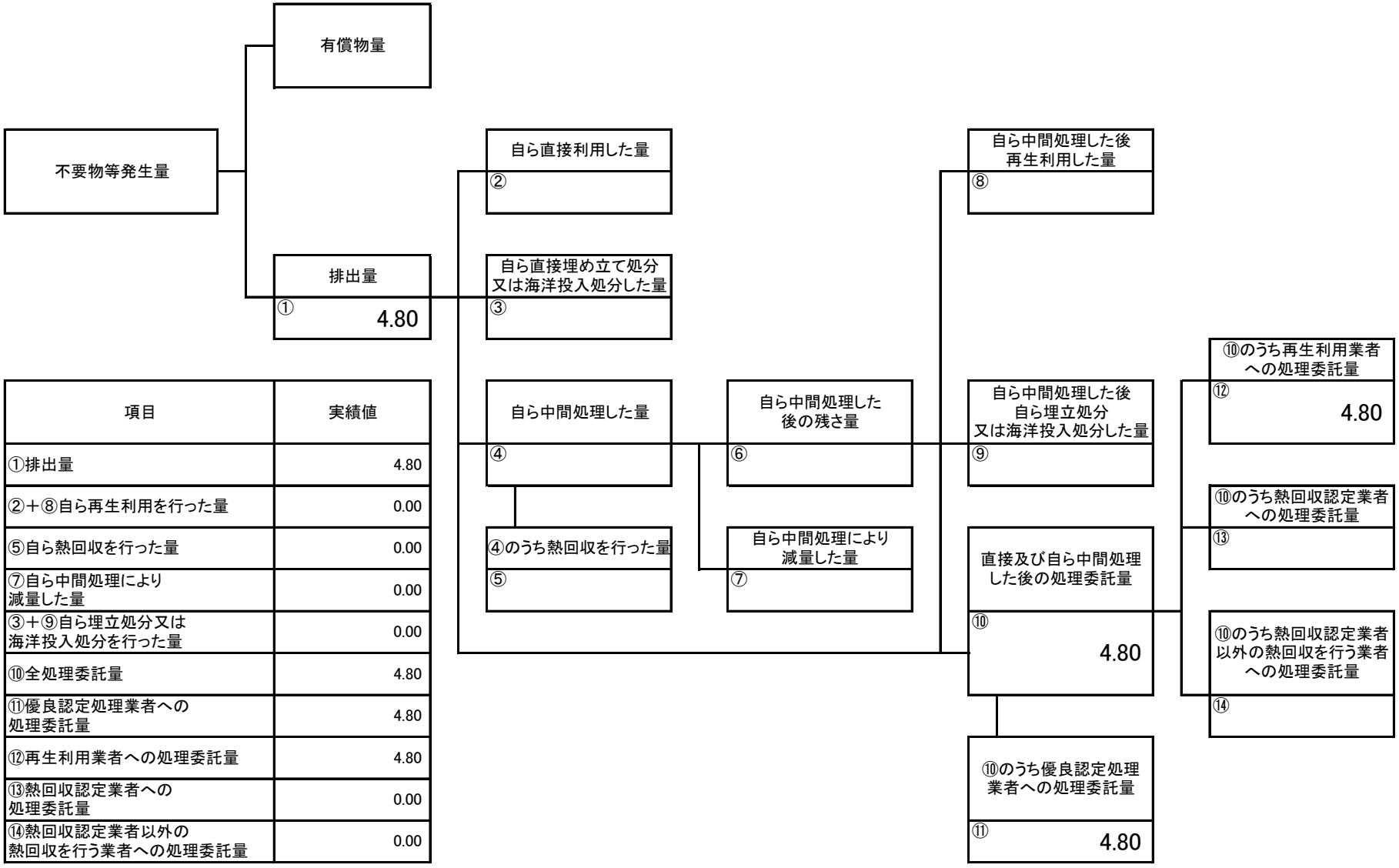


項目	実績値
①排出量	1.75
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.75
⑫再生利用業者への処理委託量	1.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず　　）

（単位：トン）

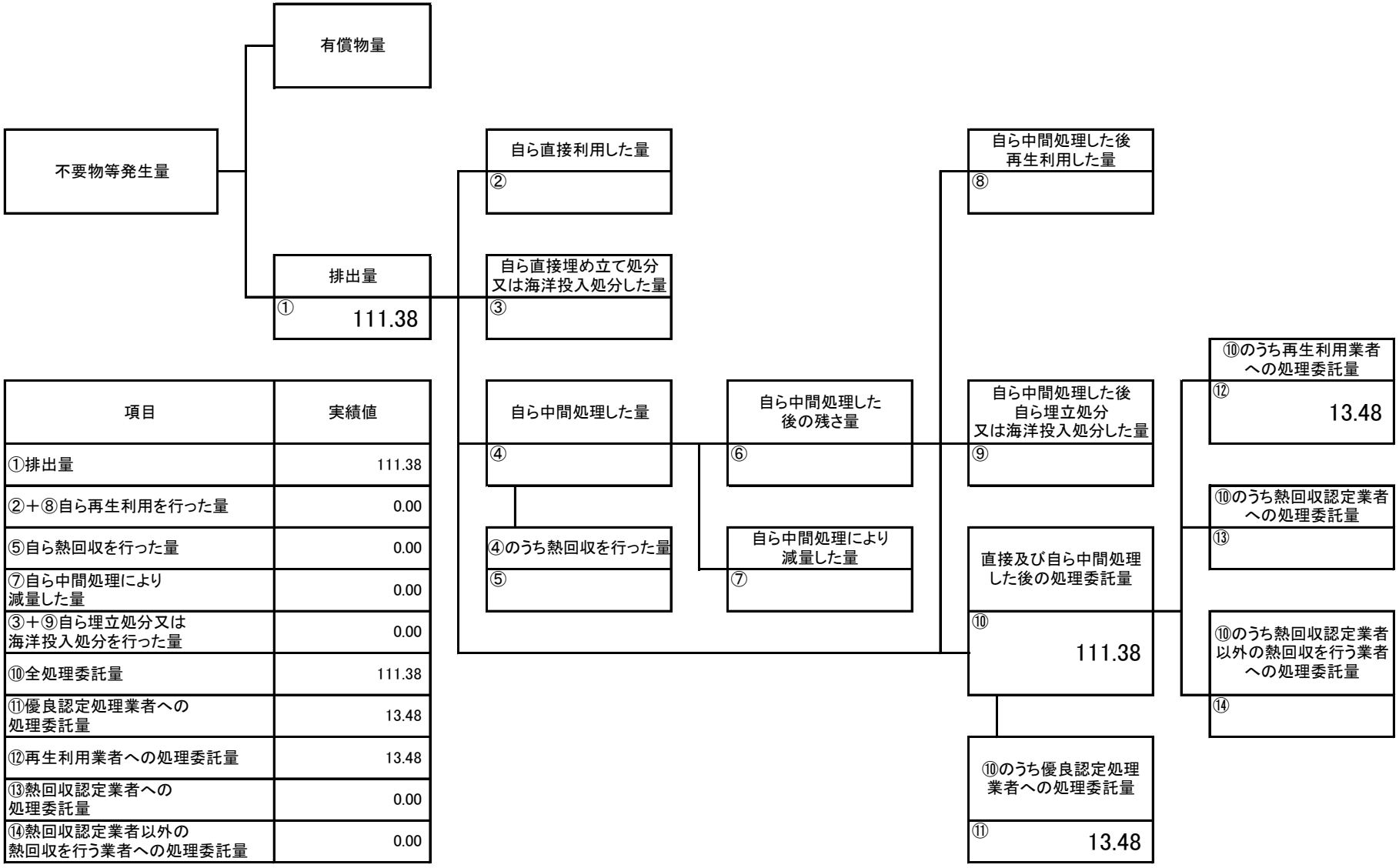


項目	実績値
①排出量	4.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.80
⑫再生利用業者への処理委託量	4.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

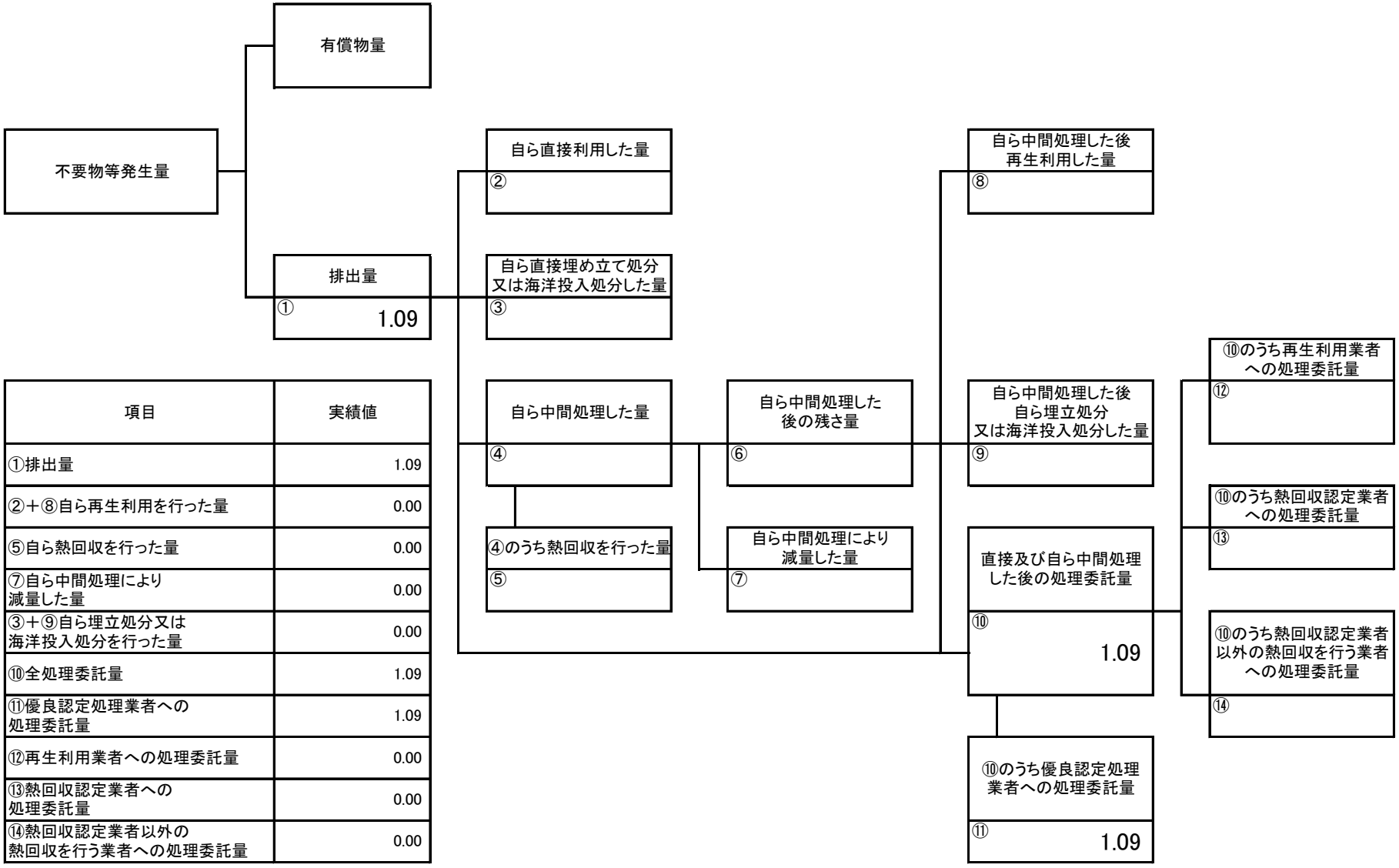


項目	実績値
①排出量	111.38
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	111.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.48
⑫再生利用業者への処理委託量	13.48
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

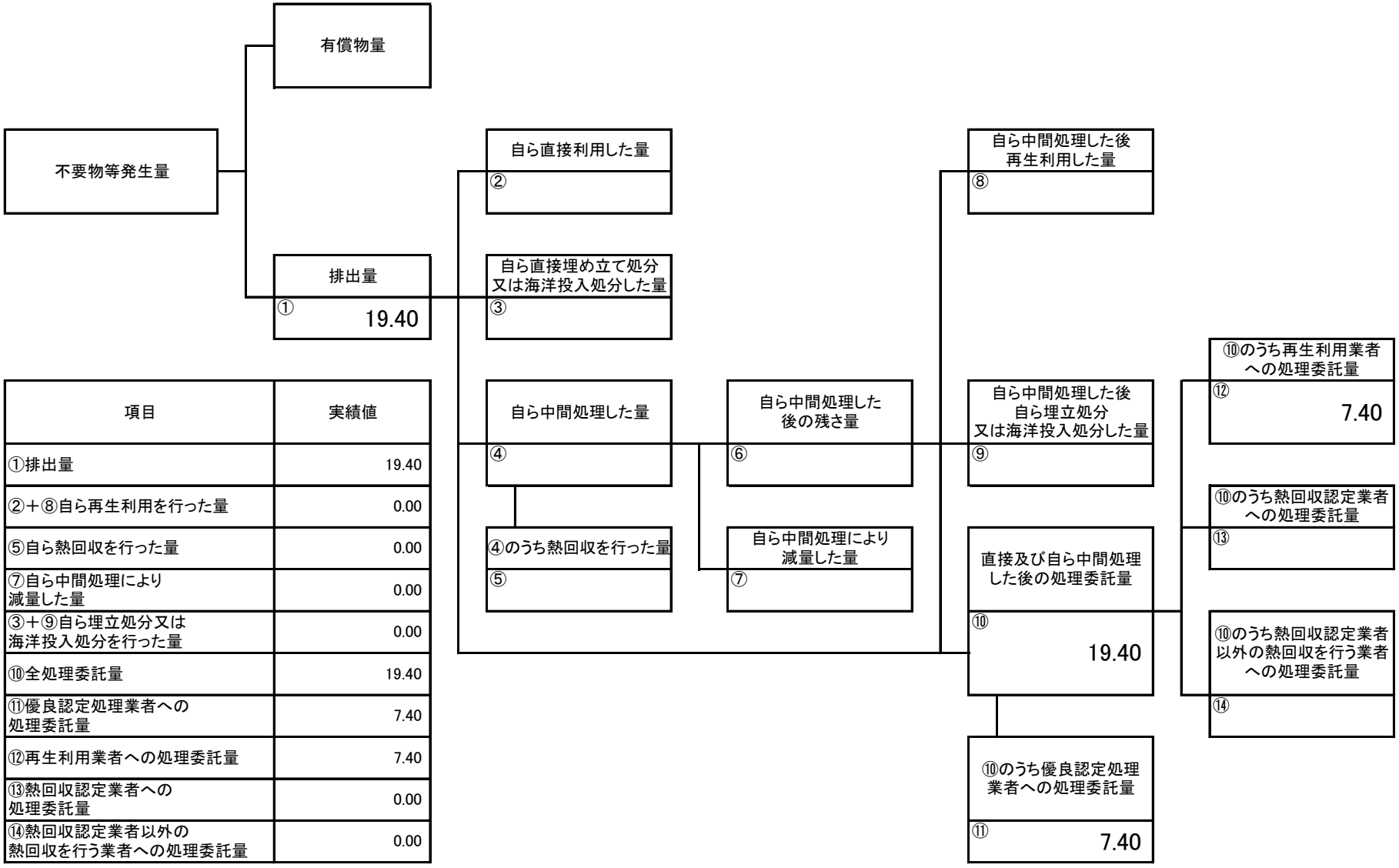


項目	実績値
①排出量	1.09
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.09
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.09
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

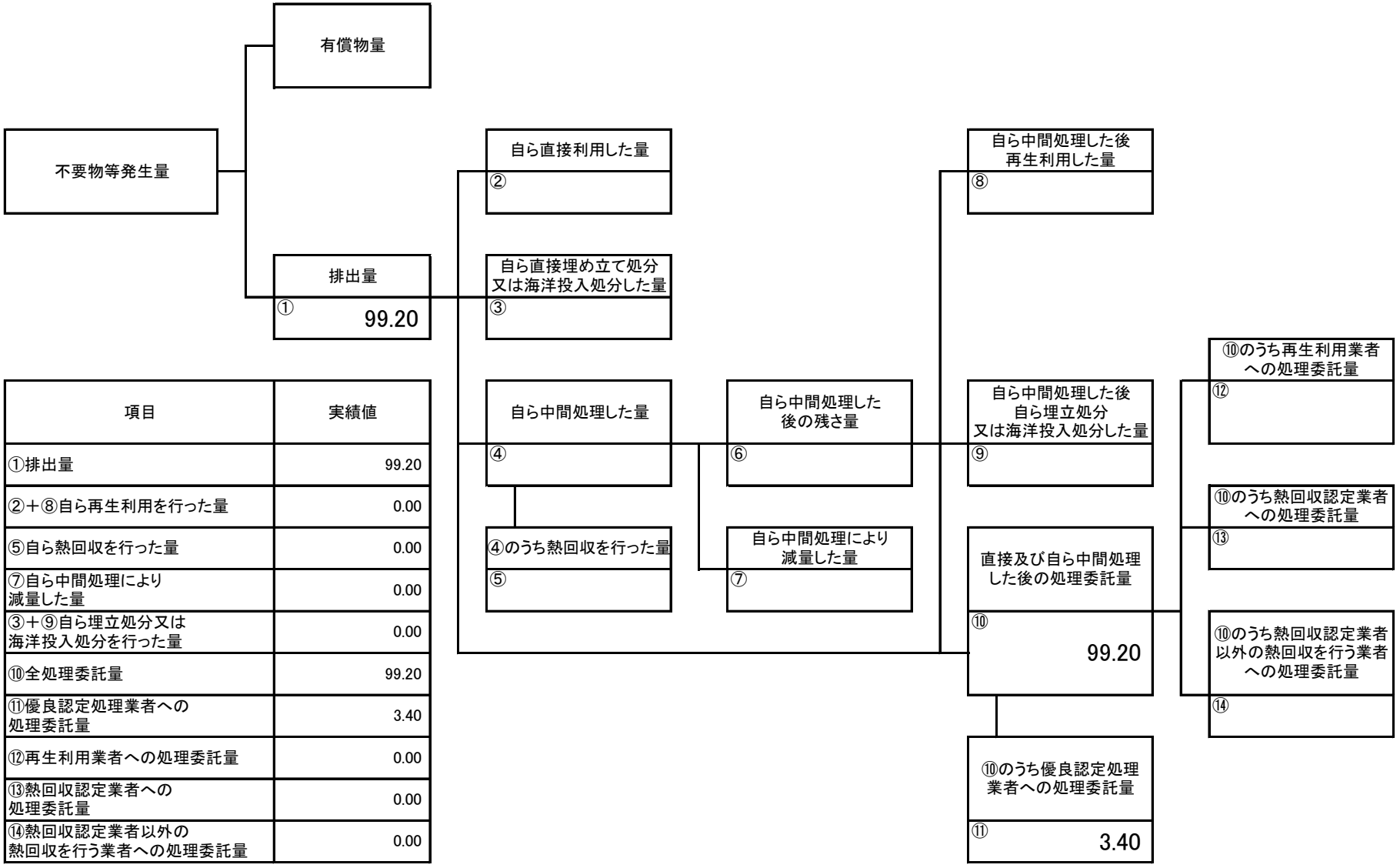


項目	実績値
①排出量	19.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	19.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.40
⑫再生利用業者への処理委託量	7.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 アス・コン片 ）

（単位：トン）

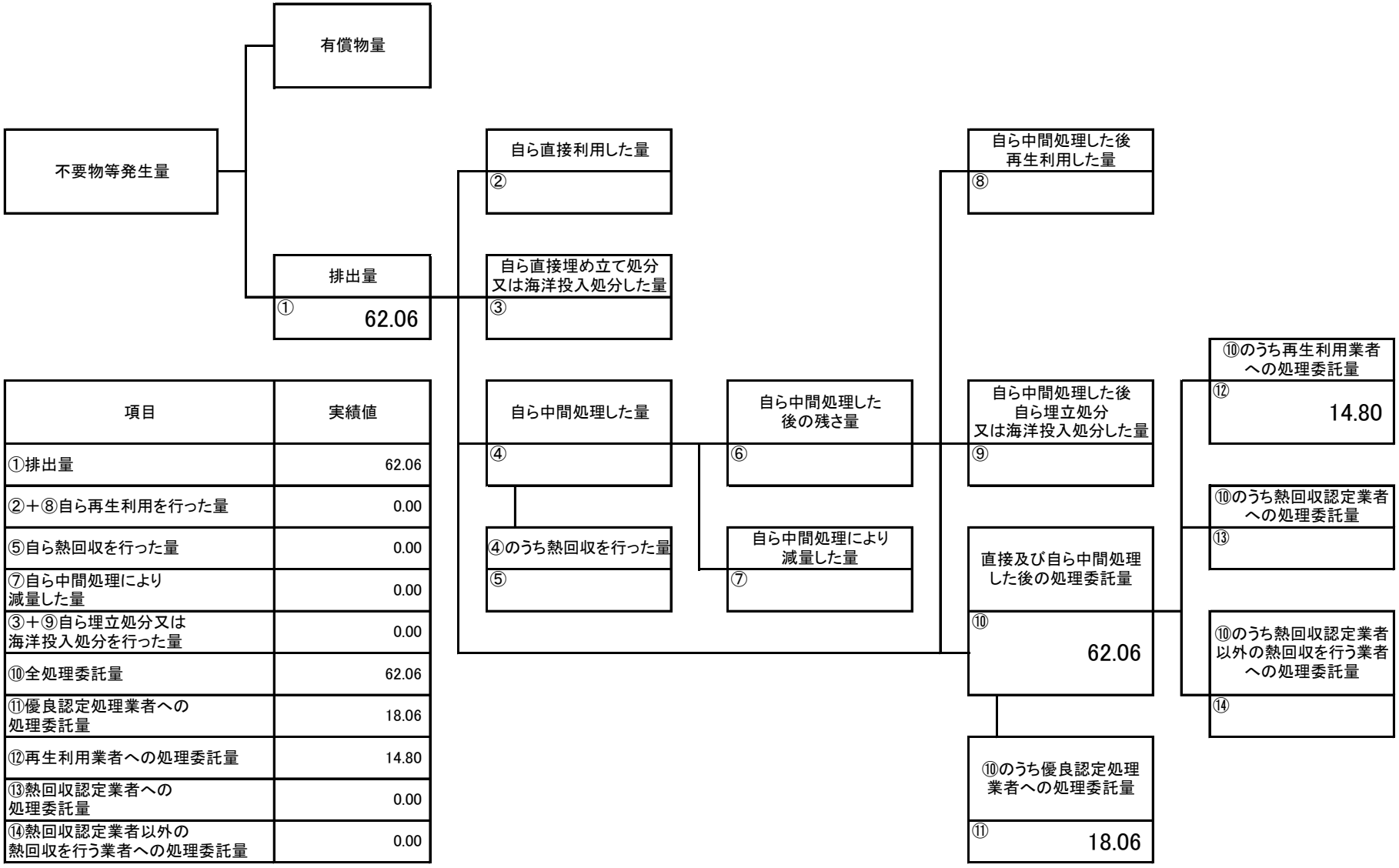


項目	実績値
①排出量	99.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	99.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.40
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類　　）

（単位：トン）

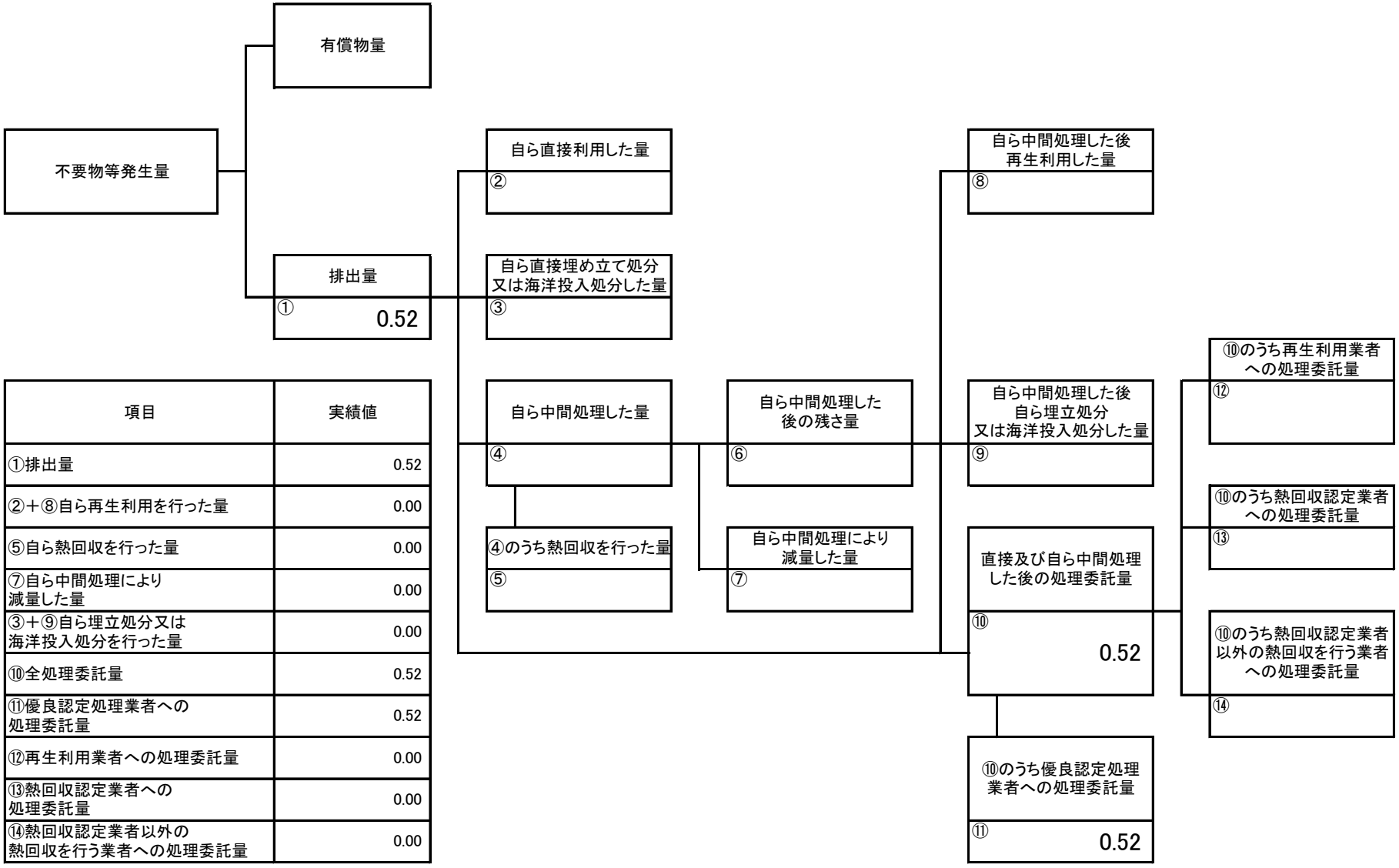


項目	実績値
①排出量	62.06
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	62.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.06
⑫再生利用業者への処理委託量	14.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

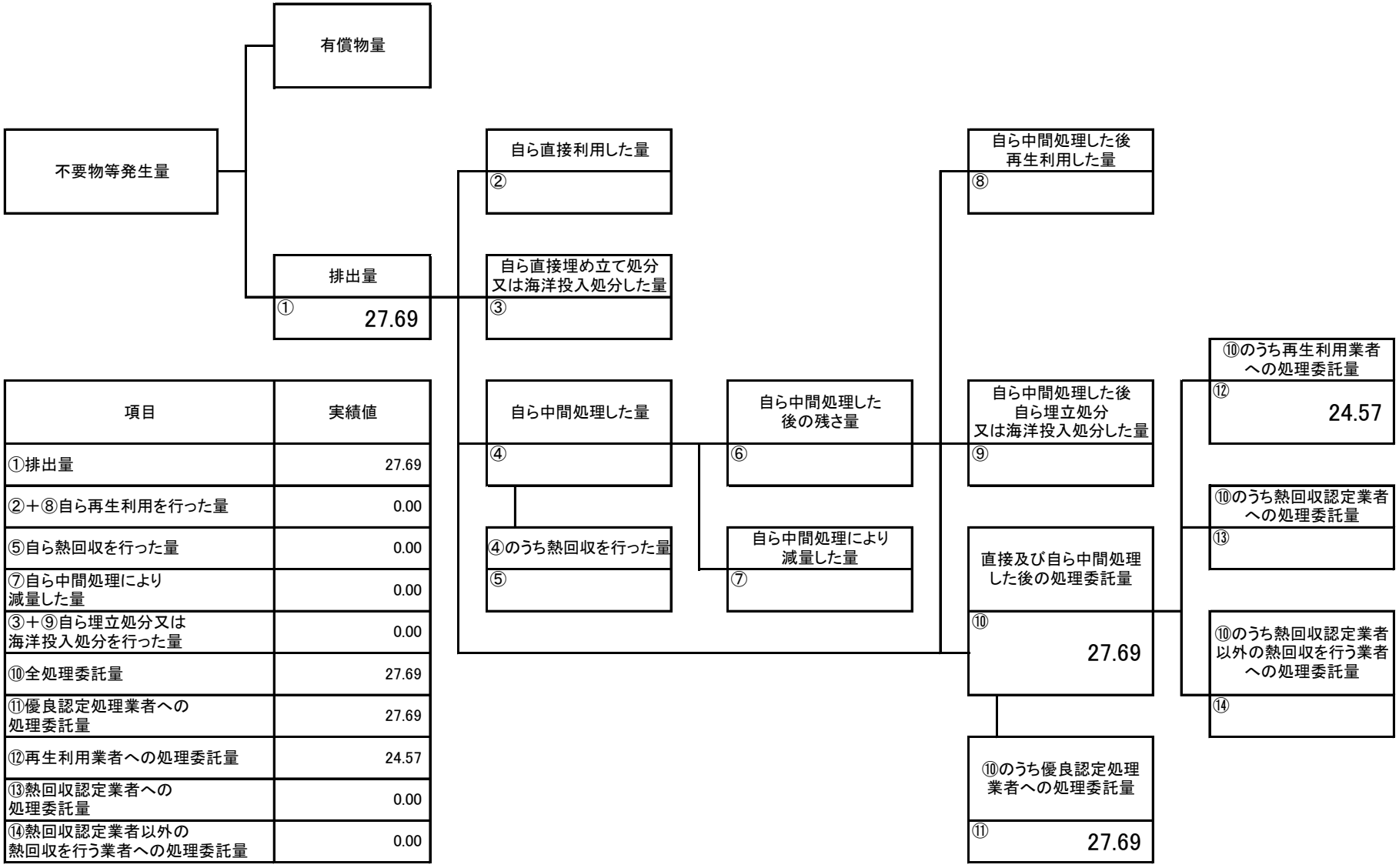


項目	実績値
①排出量	0.52
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.52
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.52
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

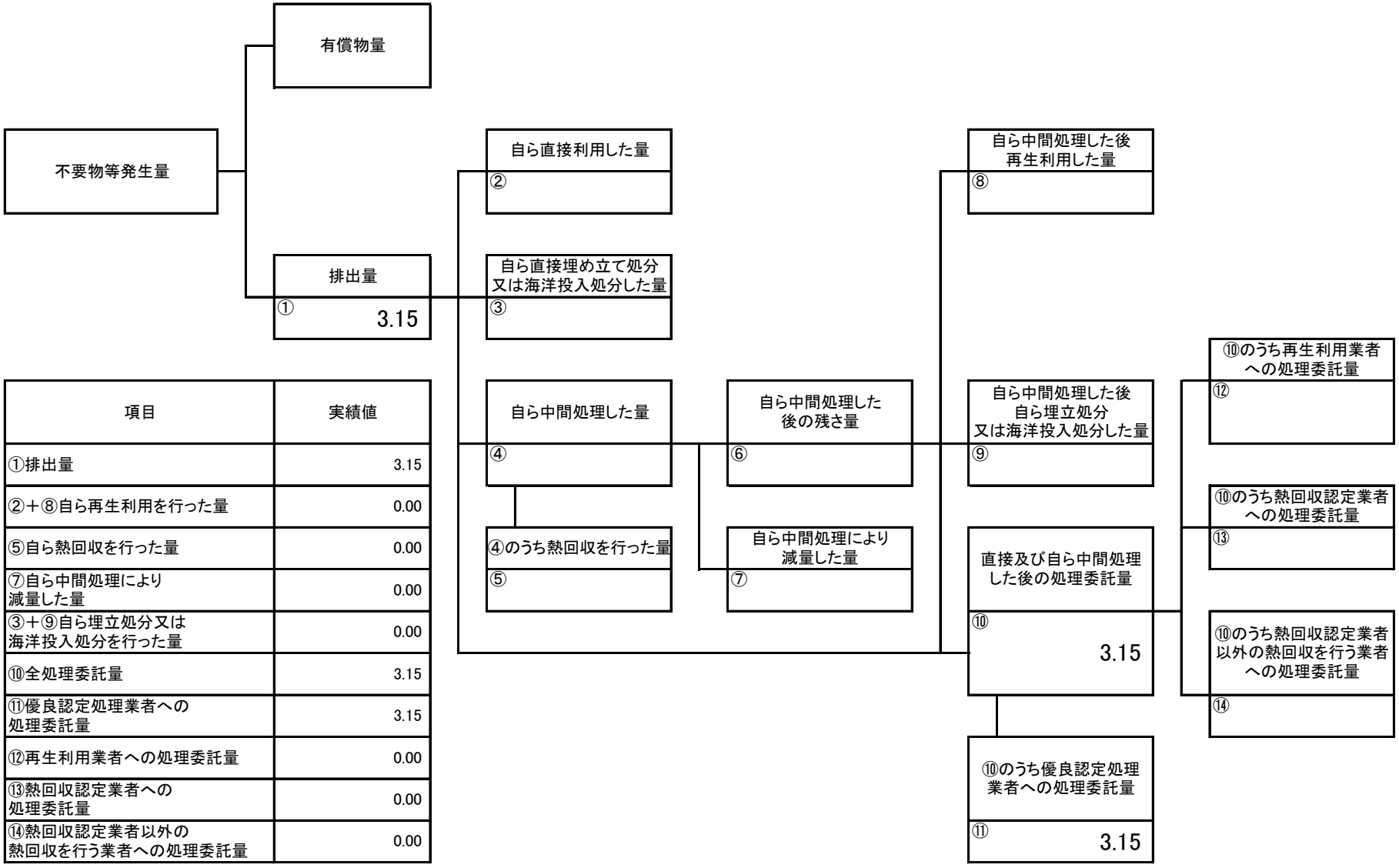


項目	実績値
①排出量	27.69
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	27.69
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.69
⑫再生利用業者への処理委託量	24.57
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	3.15
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.15
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月7日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0024

住　所　千葉県千葉市中央区中央港

法人名　東亜建設工業株式会社千葉支店

代表者　川島 仁

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-242-2623

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	（対象区域前年度完成工事高）4,902
③従業員数	91人（正社員68人、常勤関係職員23人）
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙３のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
添付資料のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
排出量	6212.9 t	t

（これまでに実施した取組）

■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守
(1)現場での分別強化・発生量の抑制・再利用・再資源化の促進に向けた、支店内及び現場ない環境教育や環境清掃活動を通じて指導を実施した。
(2)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立会監視を実施した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
排出量	4911 t	t

（今後実施する予定の取組）

■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守（継続）
(1)現場での分別強化・発生量の抑制・再利用・再資源化の促進に向けた、支店内及び現場ない環境教育や環境清掃活動を通じて指導を実施する。
(2)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立会監視を実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
小規模工事が多く、施工高当たりの混合廃棄物の割合が高くなっている。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
工事の内容に合わせ可能な限り分別の強化とリサイクル率強化を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 工事の仕様により可能な場合は、こんくりーとがら、アスファルト・コンクリートがらを現場内で破砕し再利用を行うことがあるが前年度は実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 引続き可能な場合は、こんくりーとがら、アスファルト・コンクリートがらを現場内で破砕し再利用を行うことがあるが現時点では予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 処理施設を保有していない為、自社では中間処理を行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 処理施設を保有していない為、自社では中間処理を行わない。		

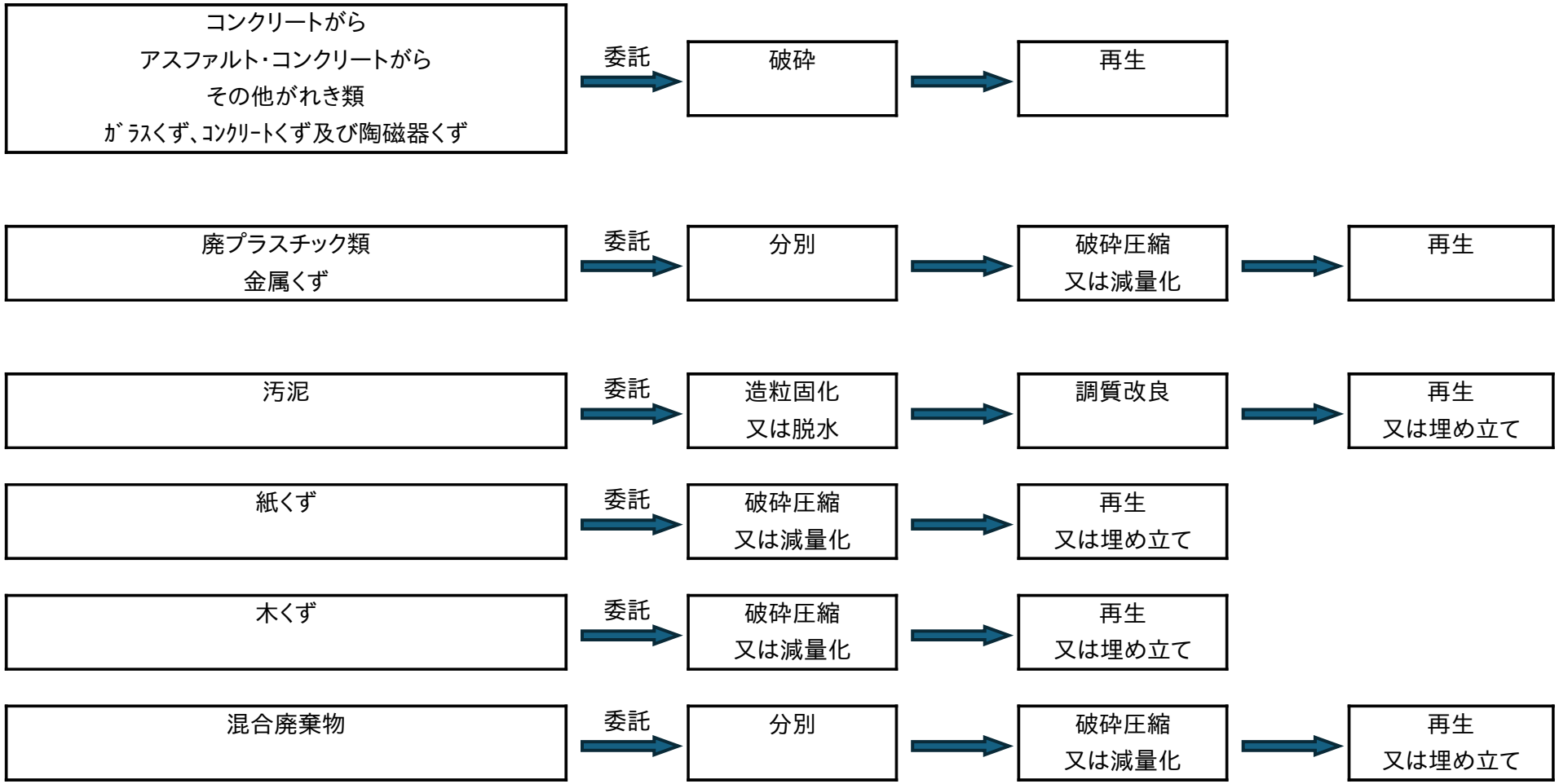
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙1のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙1のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙1のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>6212.9 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>182.9 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>6030 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守
(1)現場での分別強化・発生量の抑制・再利用・再資源化の促進に向けた、支店内及び現場ない環境教育や環境清掃活動を通じて指導を実施した。
(2)現場内でのBOX仕分け、分別処理、ごみくずの減量化を実施した。
(3)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立</td></tr>
</table>

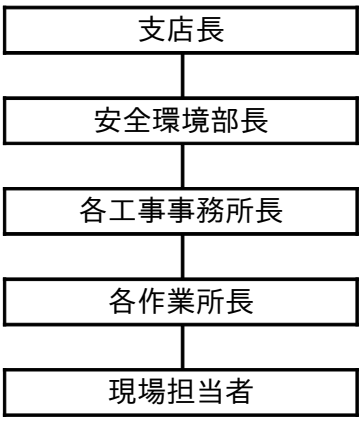
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙1のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>4911 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>81 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>4830 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守（継続）
(1)発生量の抑制、再利用、再資源化等を促進する。具体的には現場内での分別強化、支店内および現場内の環境教育や環境清掃活動等を通じ、分別解体、３R、工事管理利用等再資源化・縮減対策等の指導を強化し、更なる減量化とリサイクル率向上を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程

別紙3




支店長
安全環境部長
各工事事務所長
各作業所長
現場担当者

別紙１

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（ 令和５年度）実績】

	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類（レンガ、瓦等）	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙 く ず	木くず	繊維くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃電気機械器具	鉱さい				計
① 現状 産業廃棄物の種類																	
排 出 量	433.2t	253.4t	61.1t	35.8t	5.8t	5,315.3t	2.8t	74.6t	0.2t	2.6t	20.2t	0.5t	7.4t				6,212.9t

【目標】

	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類（レンガ、瓦等）	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙 く ず	木くず	繊維くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃電気機械器具	鉱さい				計
②計画 産業廃棄物の種類																	
排 出 量	400.0t	250.0t	100.0t	40.0t	5.0t	4,000.0t	3.0t	80.0t	1.0t	2.0t	20.0t	0.0t	10.0t				4,911.0t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 令和５年度）実績】

① 現状 産業廃棄物の種類																	計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t																0.0t

【目標】

②計画 産業廃棄物の種類																	計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t																0.0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 令和５年度）実績】

① 現状 産業廃棄物の種類																	計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t																0.0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t																0.0t

【目標】

②計画 産業廃棄物の種類																	計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t																0.0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t																0.0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類																	計
① 現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t																0.0t

【目標】

産業廃棄物の種類																	計
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t																0.0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 令和５年度）実績】

	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類（レンガ、瓦等）	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙 く ず	木くず	繊維くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃電気機械器具	鉱さい				計
① 現状 産業廃棄物の種類																	
全 処 理 委 託 量	433.2t	253.4t	61.1t	35.8t	5.8t	5,315.3t	2.8t	74.6t	0.2t	2.6t	20.2t	0.5t	7.4t				6,212.9t
優良認定処理業者への処 理 委 託 量	118.5t	0.0t	5.2t	19.4t	1.2t	0.0t	2.8t	20.6t	0.2t	0.1t	14.9t	0.0t	0.0t				182.9t
再生利用業者への処 理 委 託 量	314.7t	253.4t	55.9t	16.4t	4.6t	5,315.3t	0.0t	54.0t	0.0t	2.5t	5.3t	0.5t	7.4t				6,030.0t
認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0.0t																0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0.0t																0.0t

【目標】

	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類（レンガ、瓦等）	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙 く ず	木くず	繊維くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃電気機械器具	鉱さい				計
②計画 産業廃棄物の種類																	
全 処 理 委 託 量	400.0t	250.0t	100.0t	40.0t	5.0t	4,000.0t	3.0t	80.0t	1.0t	2.0t	20.0t	0.0t	10.0t				4,911.0t
優良認定処理業者への処 理 委 託 量	20.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	10.0t	1.0t	50.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t				81.0t
再生利用業者への処 理 委 託 量	380.0t	250.0t	100.0t	40.0t	5.0t	3,990.0t	2.0t	30.0t	1.0t	2.0t	20.0t	0.0t	10.0t				4,830.0t
認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0.0t																0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0.0t																0.0t

別紙１

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守

(1)現場での分別強化・発生量の抑制・再利用・再資源化の促進に向けた、支店内及び現場ない環境教育や環境清掃活動を通じて指導を実施した。

(2)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立会監視を実施した。

■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守（継続）

(1)現場での分別強化・発生量の抑制・再利用・再資源化の促進に向けた、支店内及び現場ない環境教育や環境清掃活動を通じて指導を実施する。

(2)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立会監視を実施する。

(3)３R推進の垂れ幕を掲示して、ごみの分別に一層注力する。

小規模工事が多く、施工高当たりの混合廃棄物の割合が高くなっている。

工事の内容に合わせ可能な限り分別の強化とリサイクル率強化を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

工事の仕様により可能な場合は、こんくりーとがら、アスファルト・コンクリートがらを現場内で破砕し再利用を行うことがあるが前年度は実績なし。

引続き可能な場合は、こんくりーとがら、アスファルト・コンクリートがらを現場内で破砕し再利用を行うことがあるが現時点では予定なし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

処理施設を保有していない為、自社では中間処理を行わない。

処理施設を保有していない為、自社では中間処理を行わない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

引続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守

(1)現場での分別強化・発生量の抑制・再利用・再資源化の促進に向けた、支店内及び現場ない環境教育や環境清掃活動を通じて指導を実施した。

(2)現場内でのBOX仕分け、分別処理、ごみくずの減量化を実施した。

(3)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立会監視を実施した。

■産業廃棄物の３Rの水深と法令順守（継続）

(1)発生量の抑制、再利用、再資源化等を促進する。具体的には現場内での分別強化、支店内および現場内の環境教育や環境清掃活動等を通じ、分別解体、３R、工事管理利用等再資源化・縮減対策等の指導を強化し、更なる減量化とリサイクル率向上を目指す。

(2)法令順守に向け、中間処理及び最終処分場の着工前、施工中、処理後の立会監視を実施する。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月6日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0024

住所 千葉県千葉市中央区中央港1-12-3

法人名 東亜建設工業株式会社千葉支店

代表者 川島 仁

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-242-2623

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

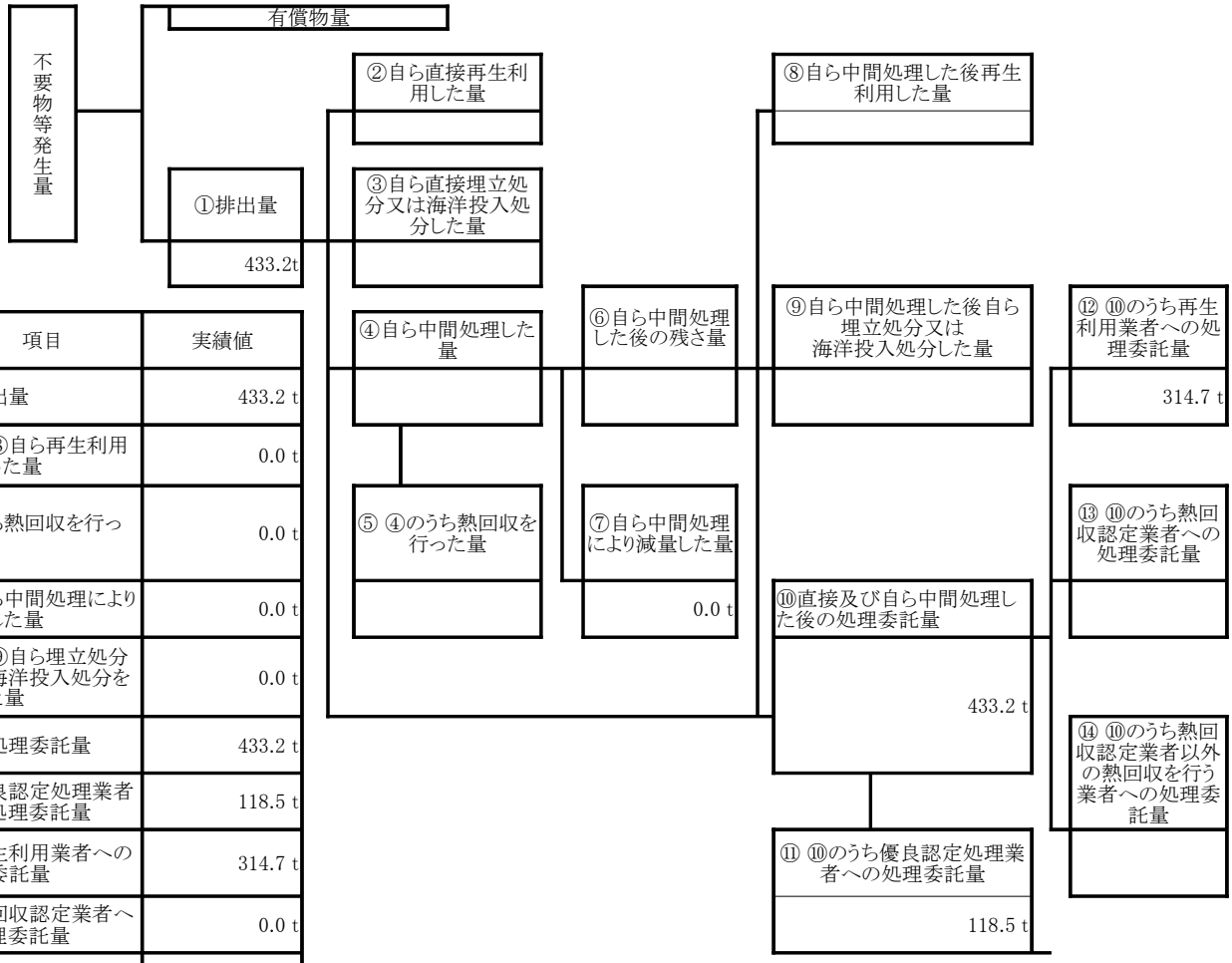
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2817 t	全処理委託量	2817 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	574.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2817 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

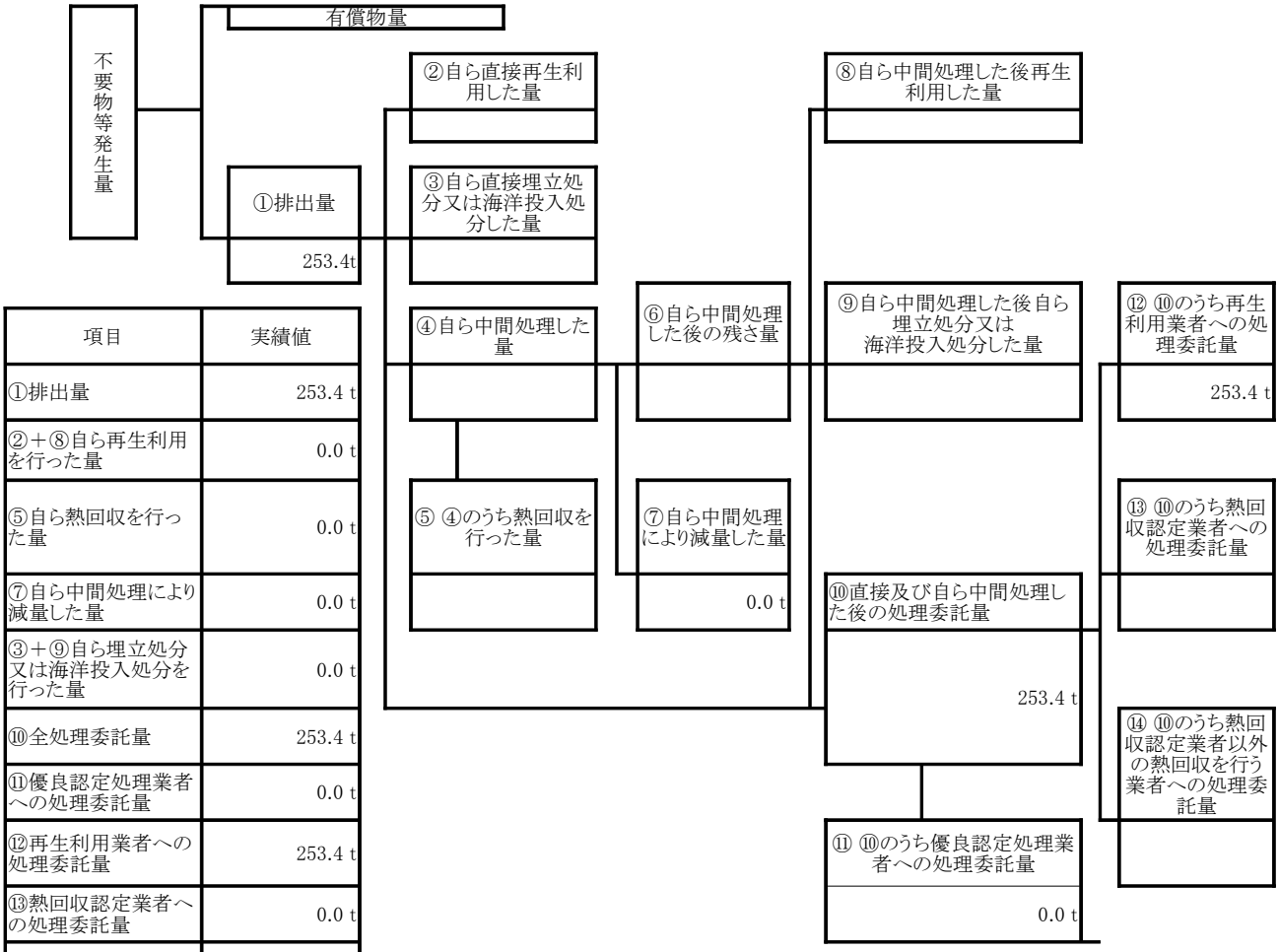


項目	実績値
①排出量	433.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	433.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	118.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	314.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスコンがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

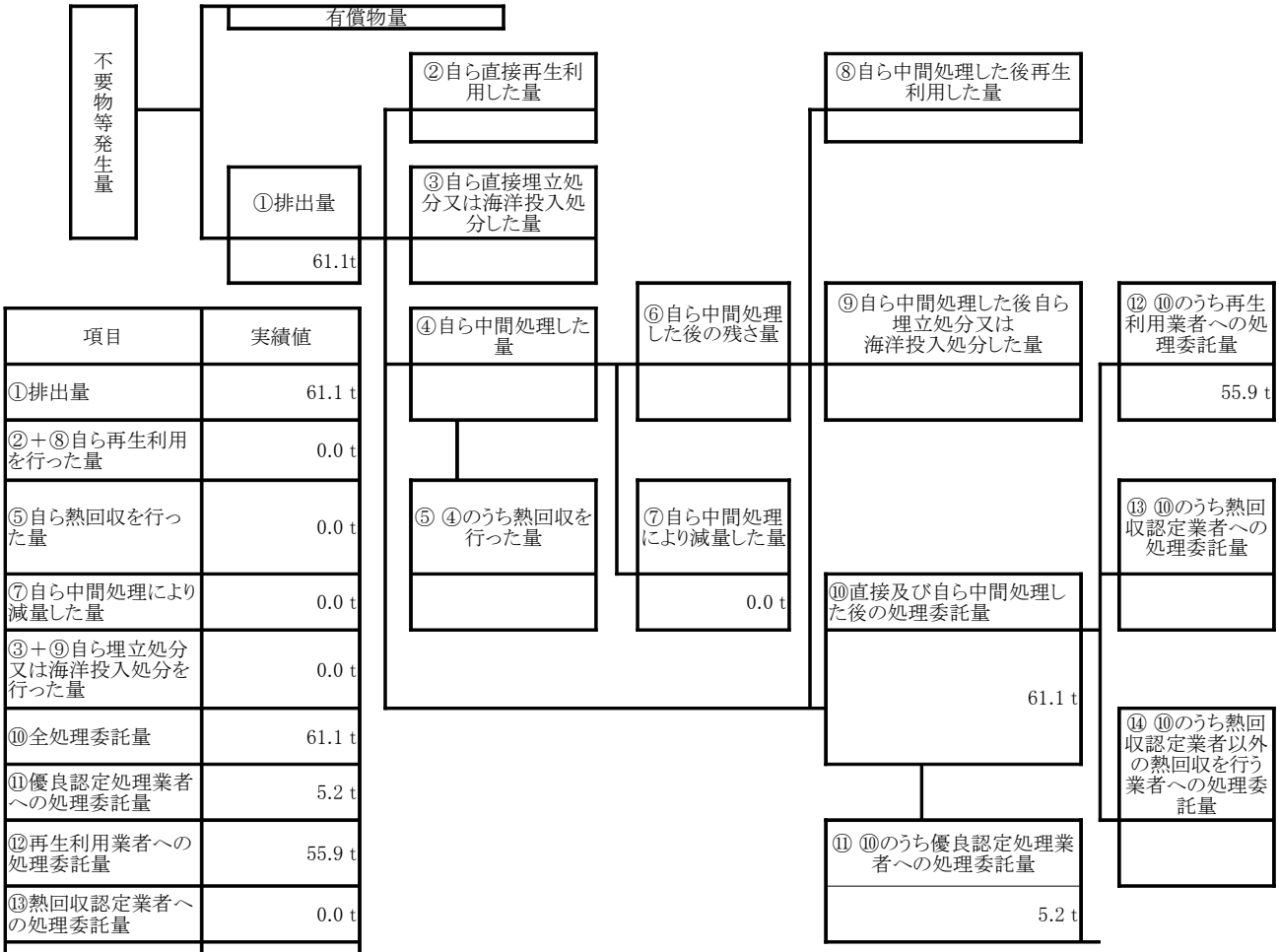


項目	実績値
①排出量	253.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	253.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	253.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

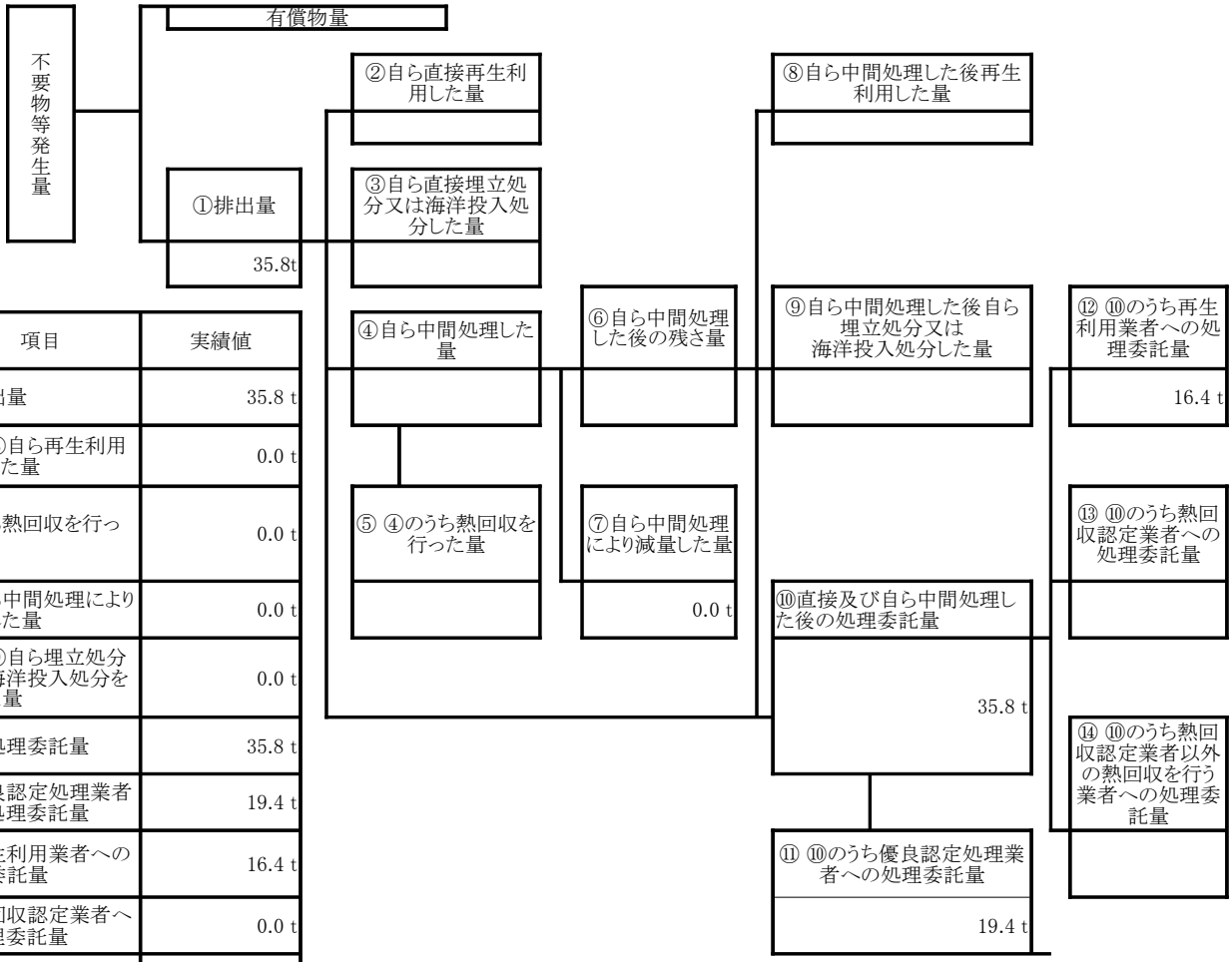


項目	実績値
①排出量	61.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	55.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



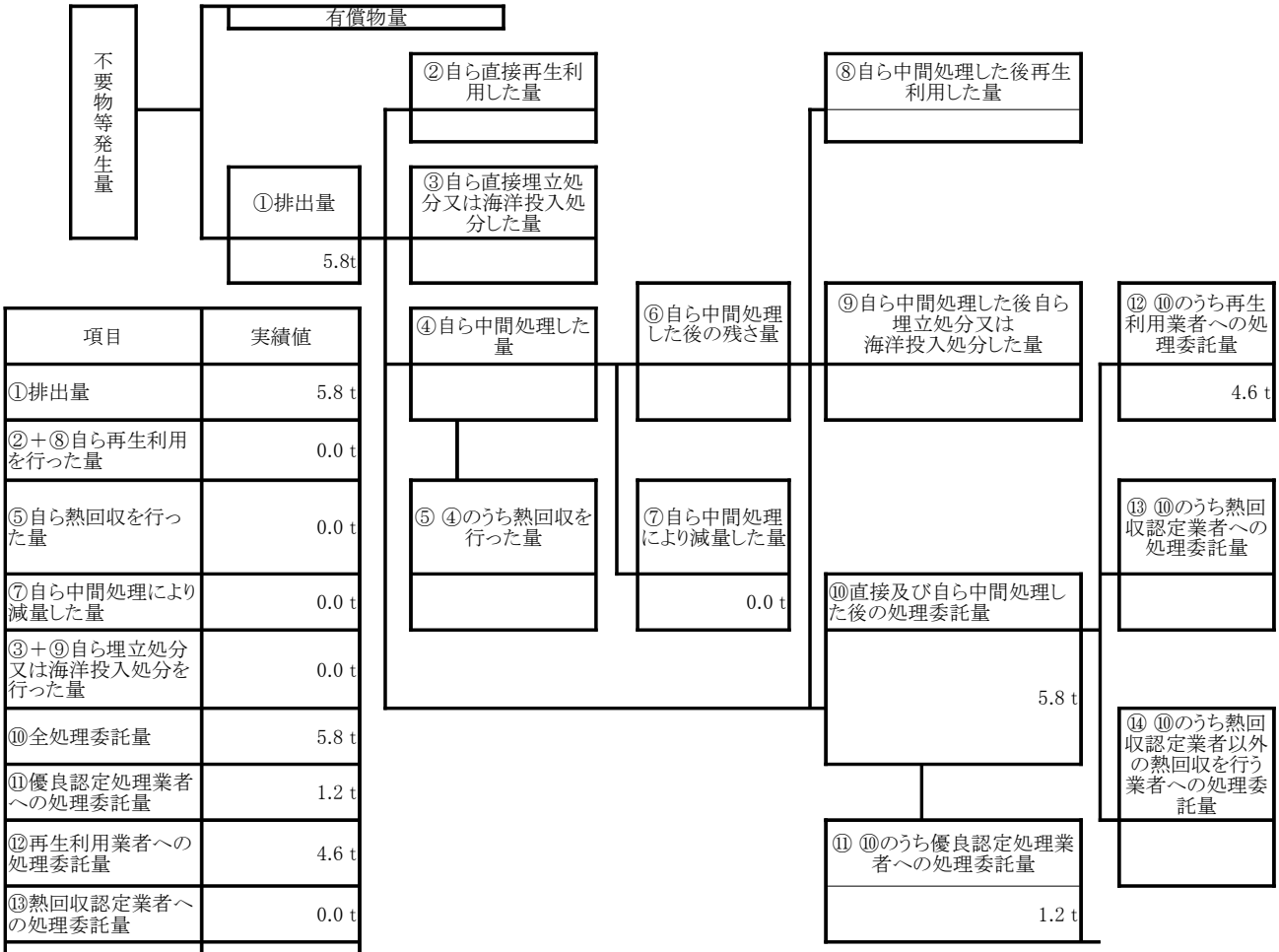
項目	実績値
①排出量	35.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

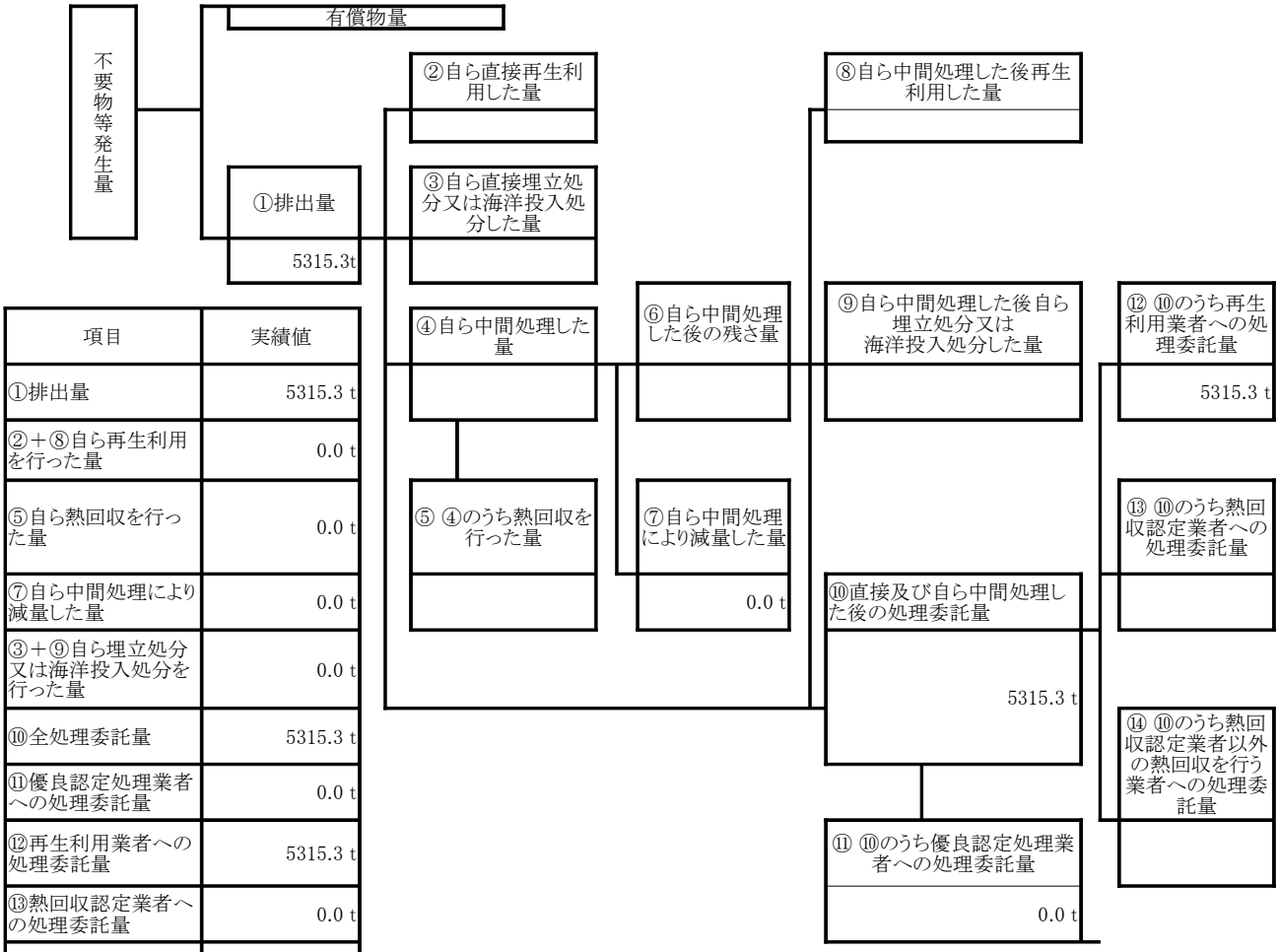


項目	実績値
①排出量	5.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設汚泥**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



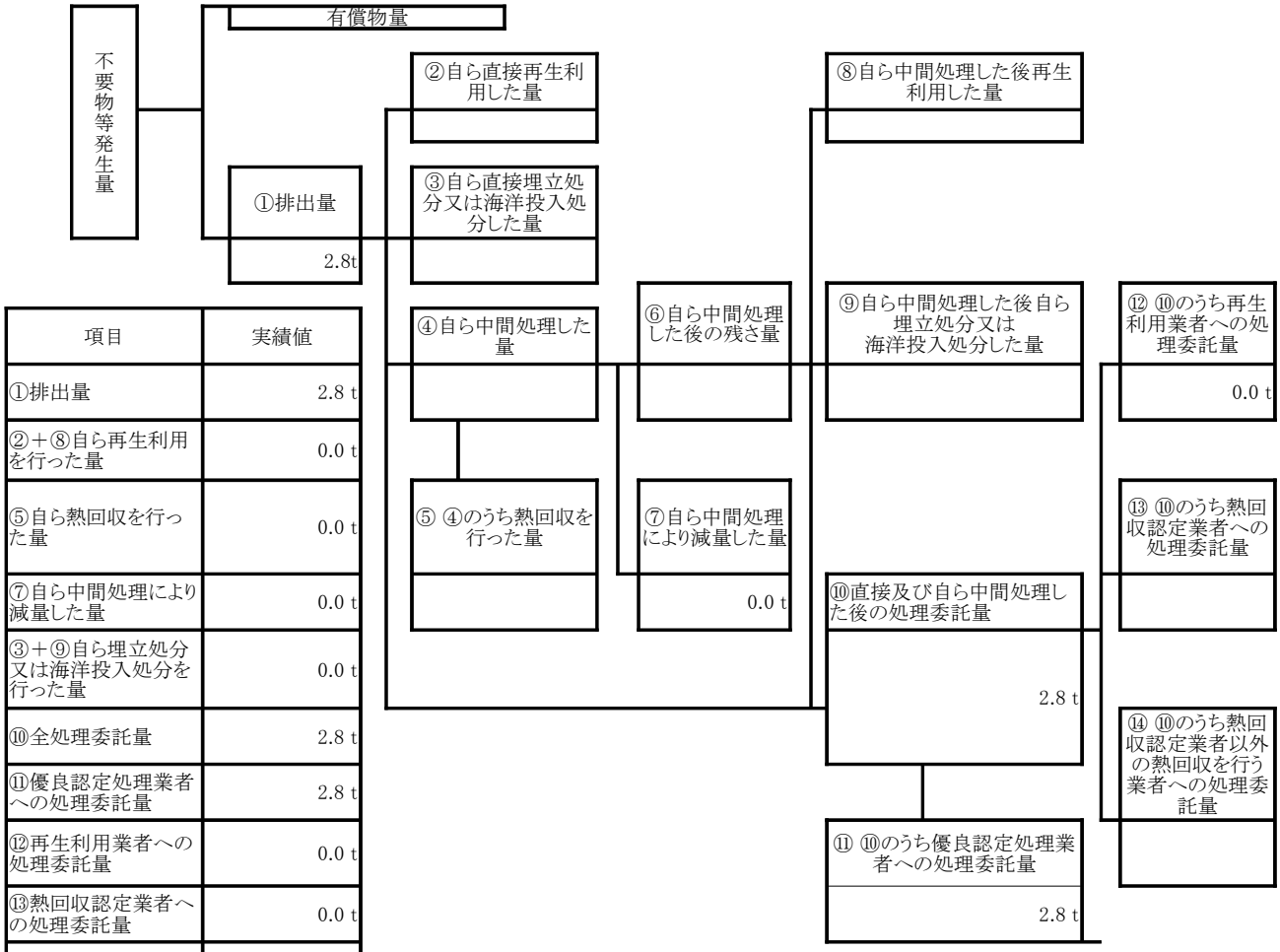
項目	実績値
①排出量	5315.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5315.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5315.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



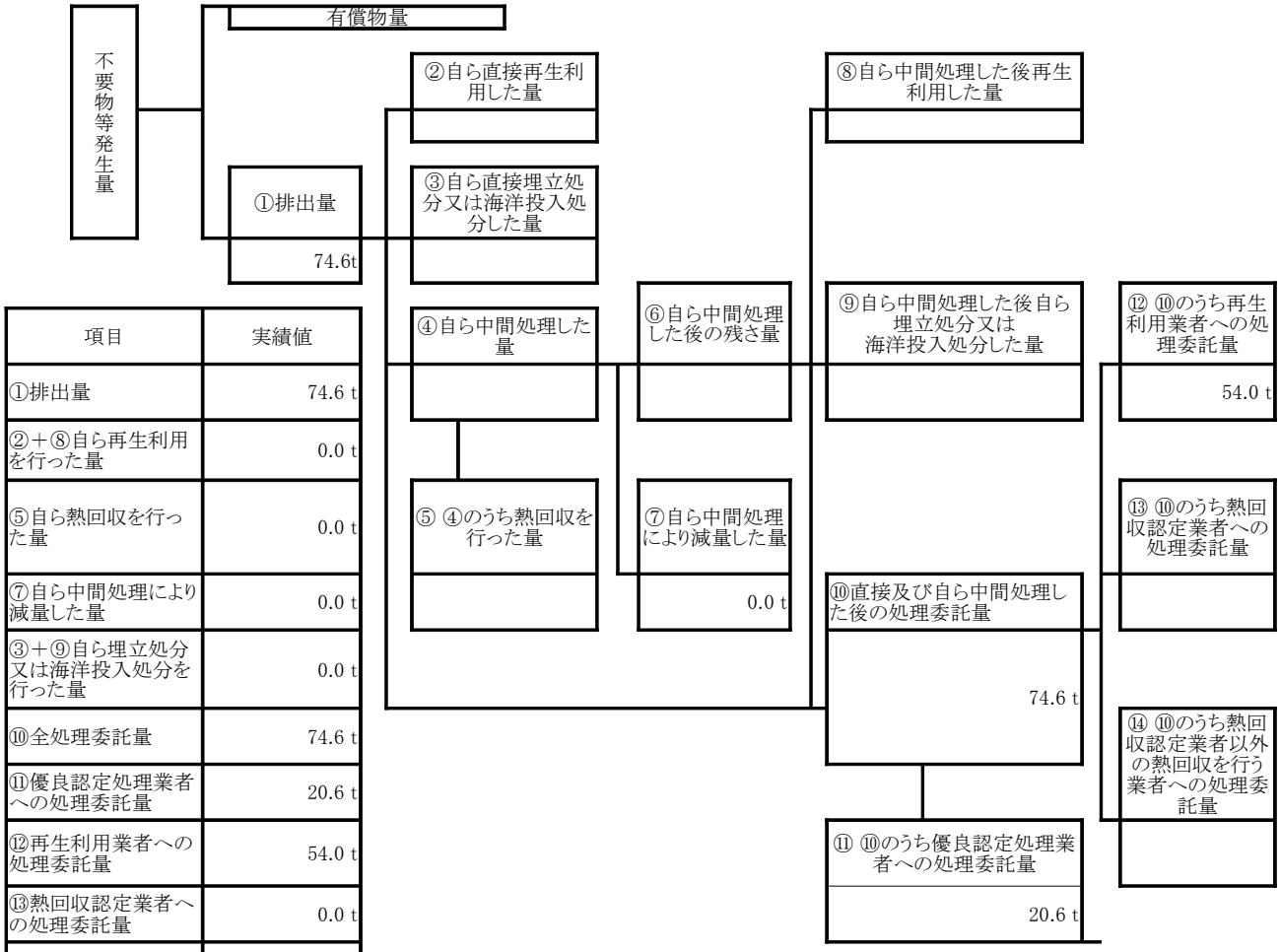
項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

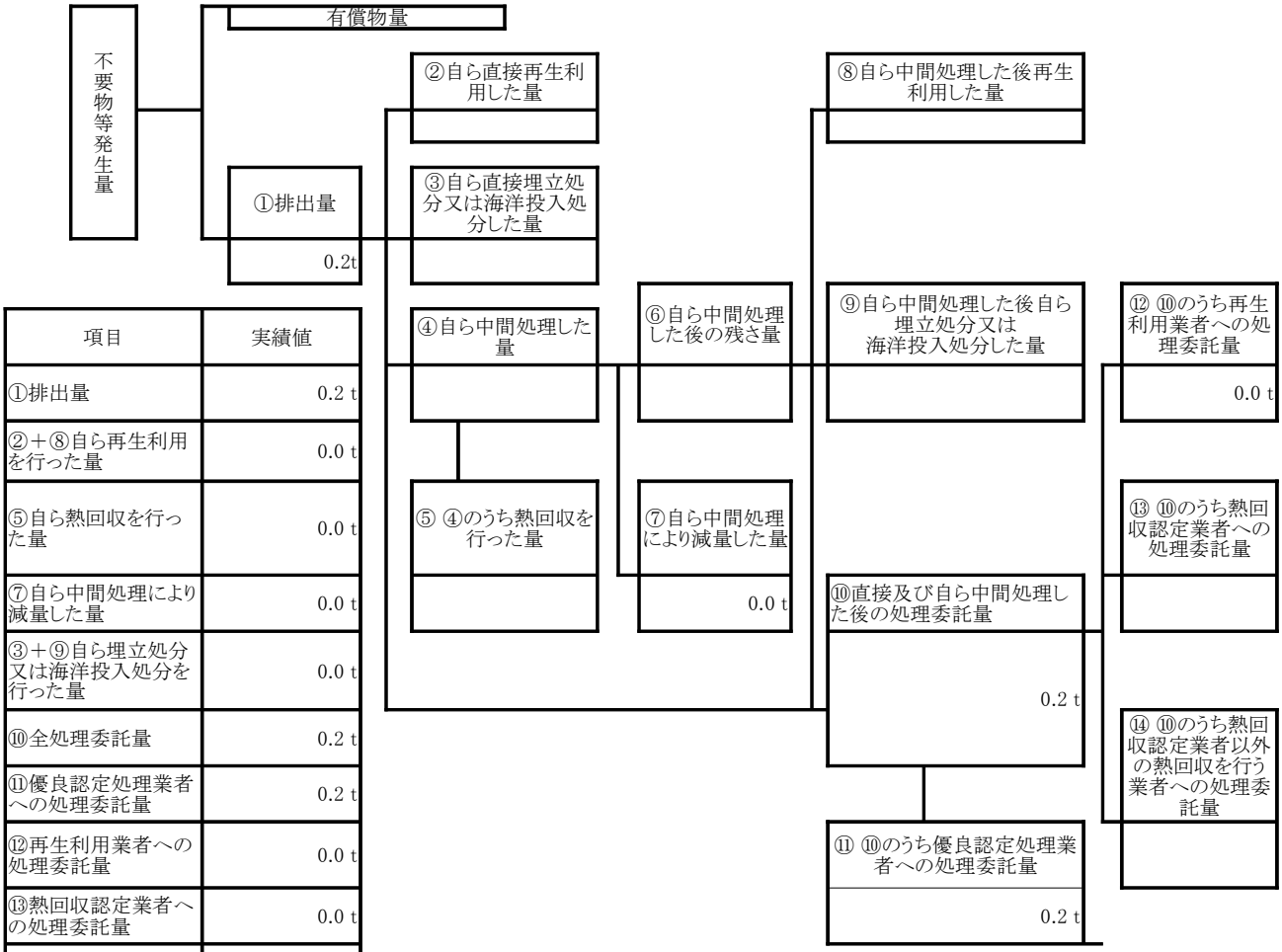


項目	実績値
①排出量	74.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	74.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

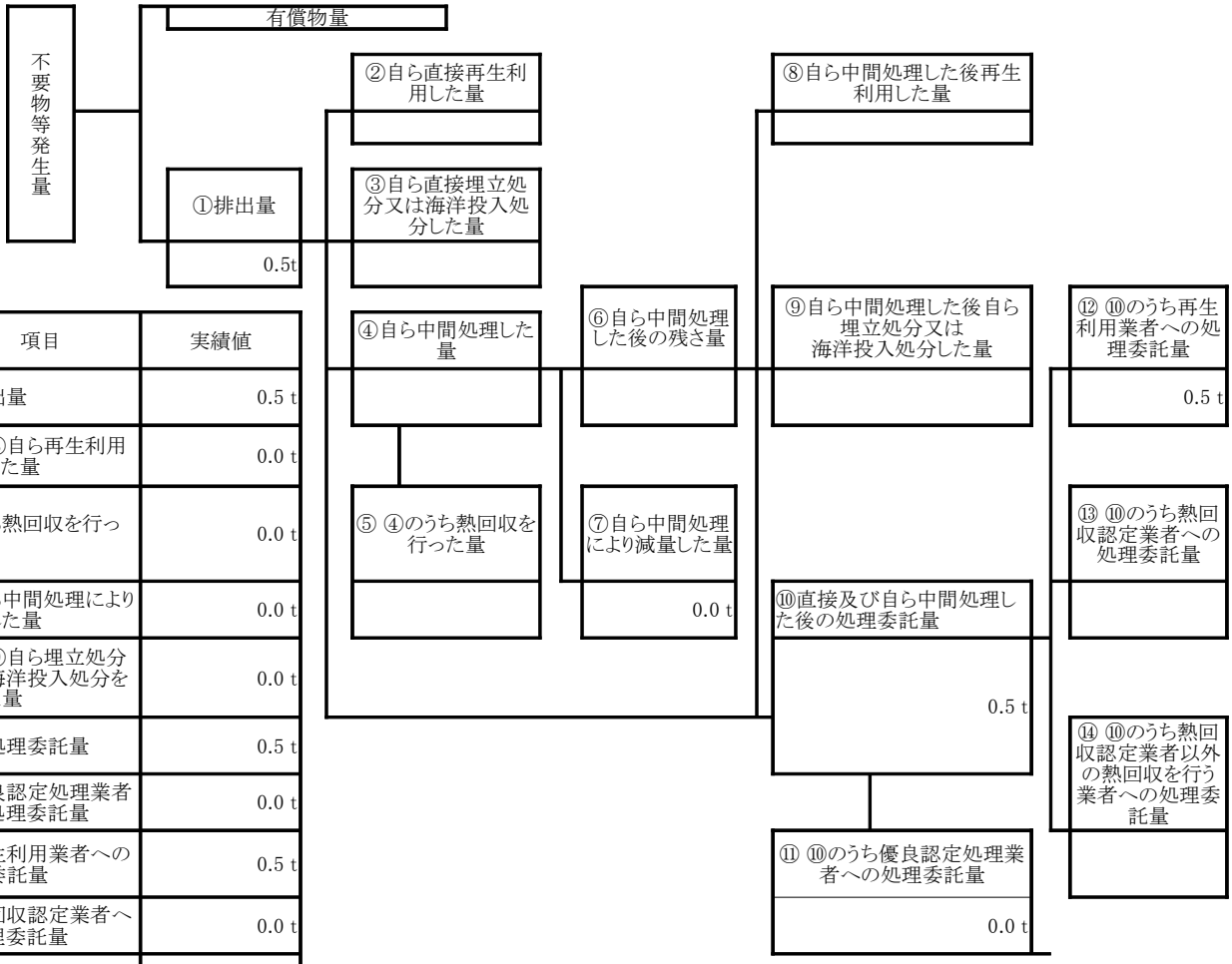


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**廃電気機械器具**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

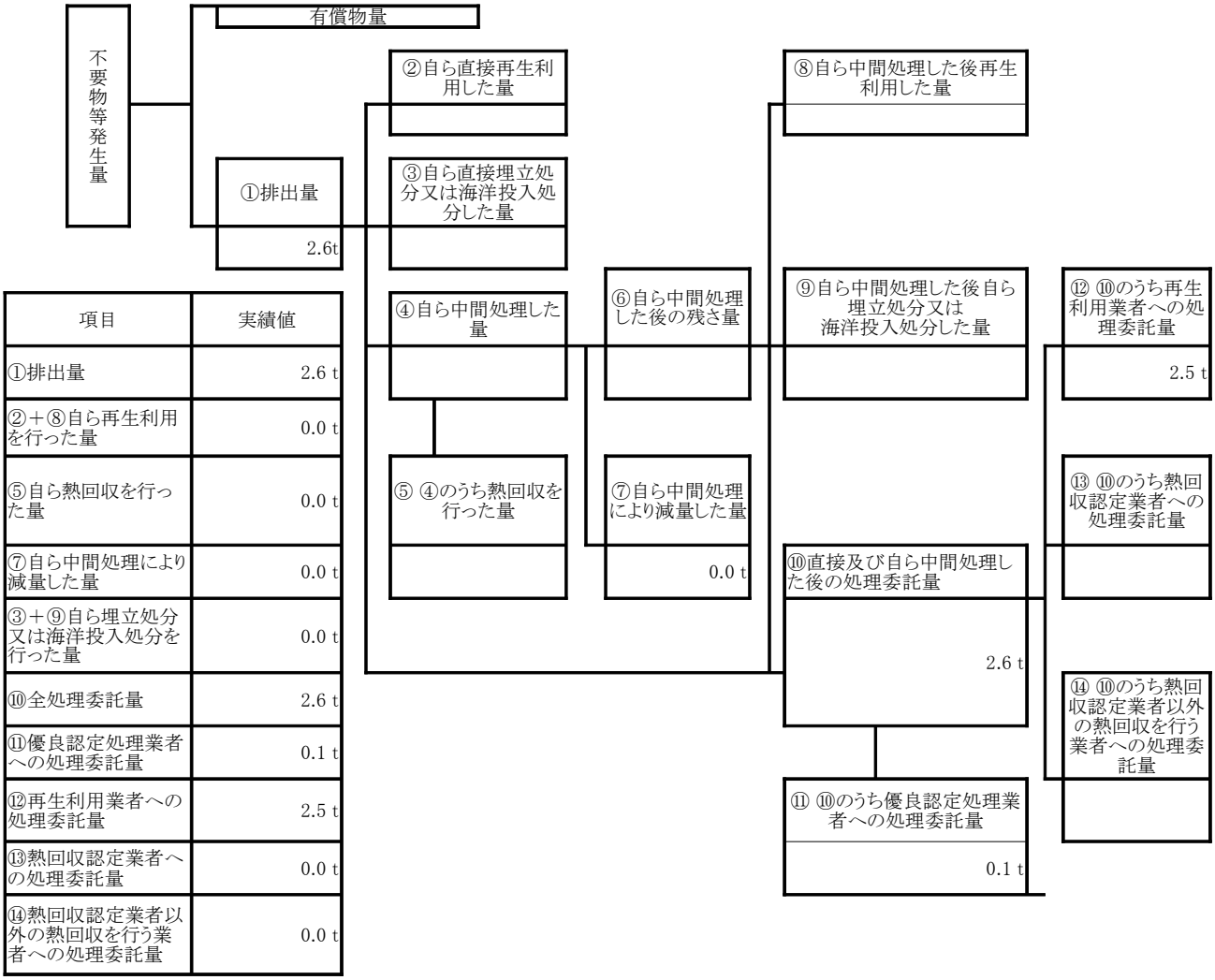


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**混合廃棄物(安定型)**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

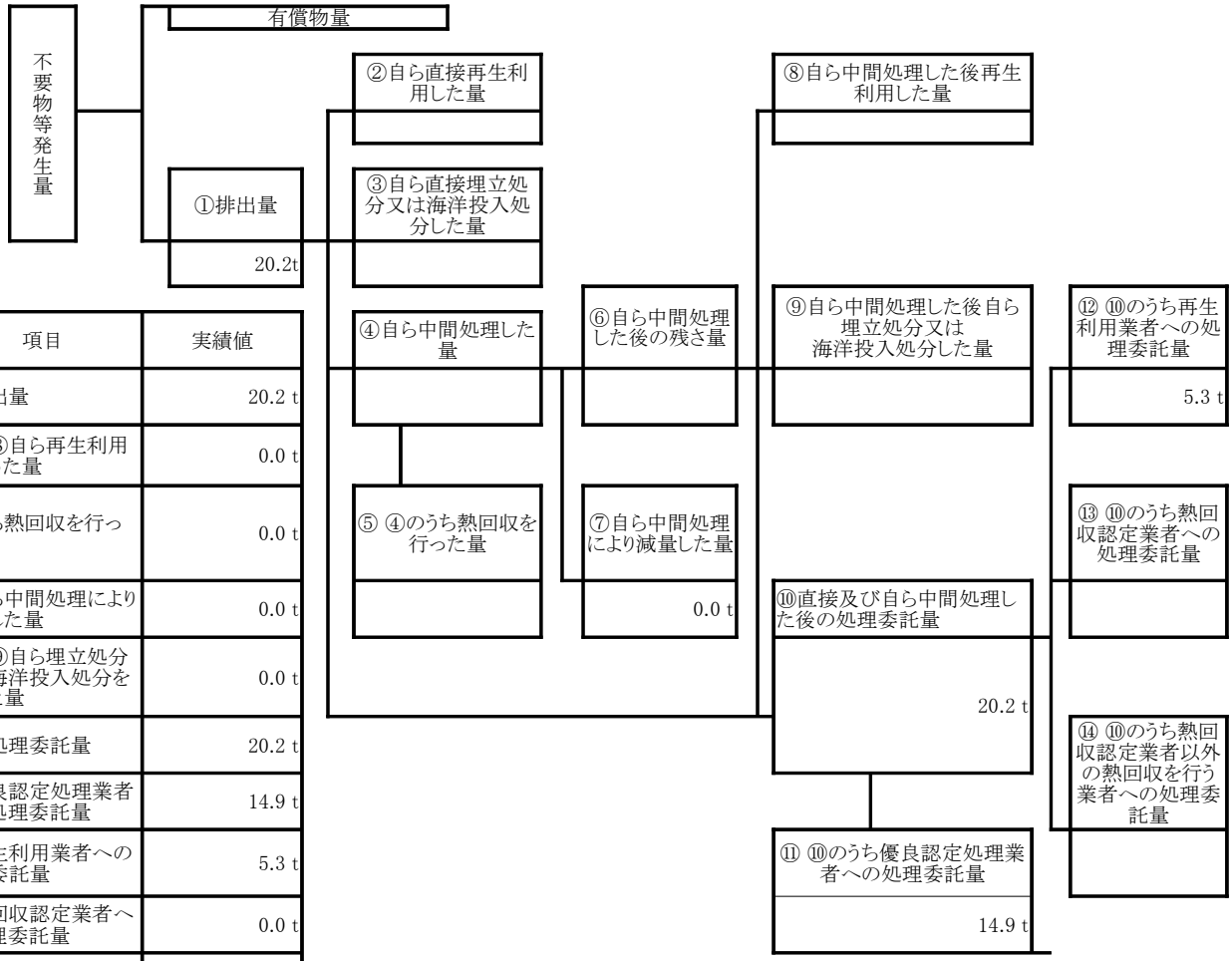


項目	実績値
①排出量	2.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物(管理型)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



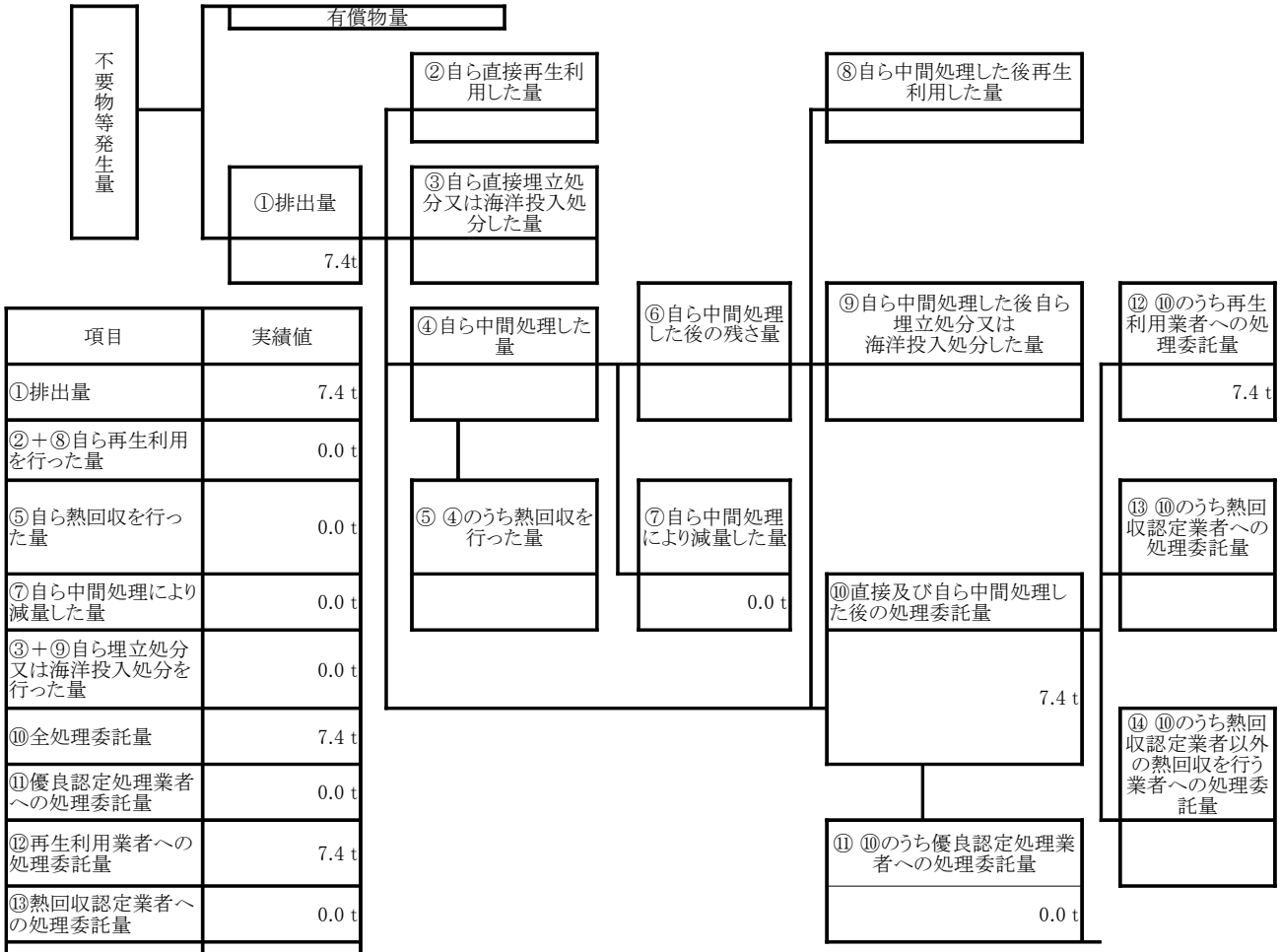
項目	実績値
①排出量	20.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 鉱さい ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



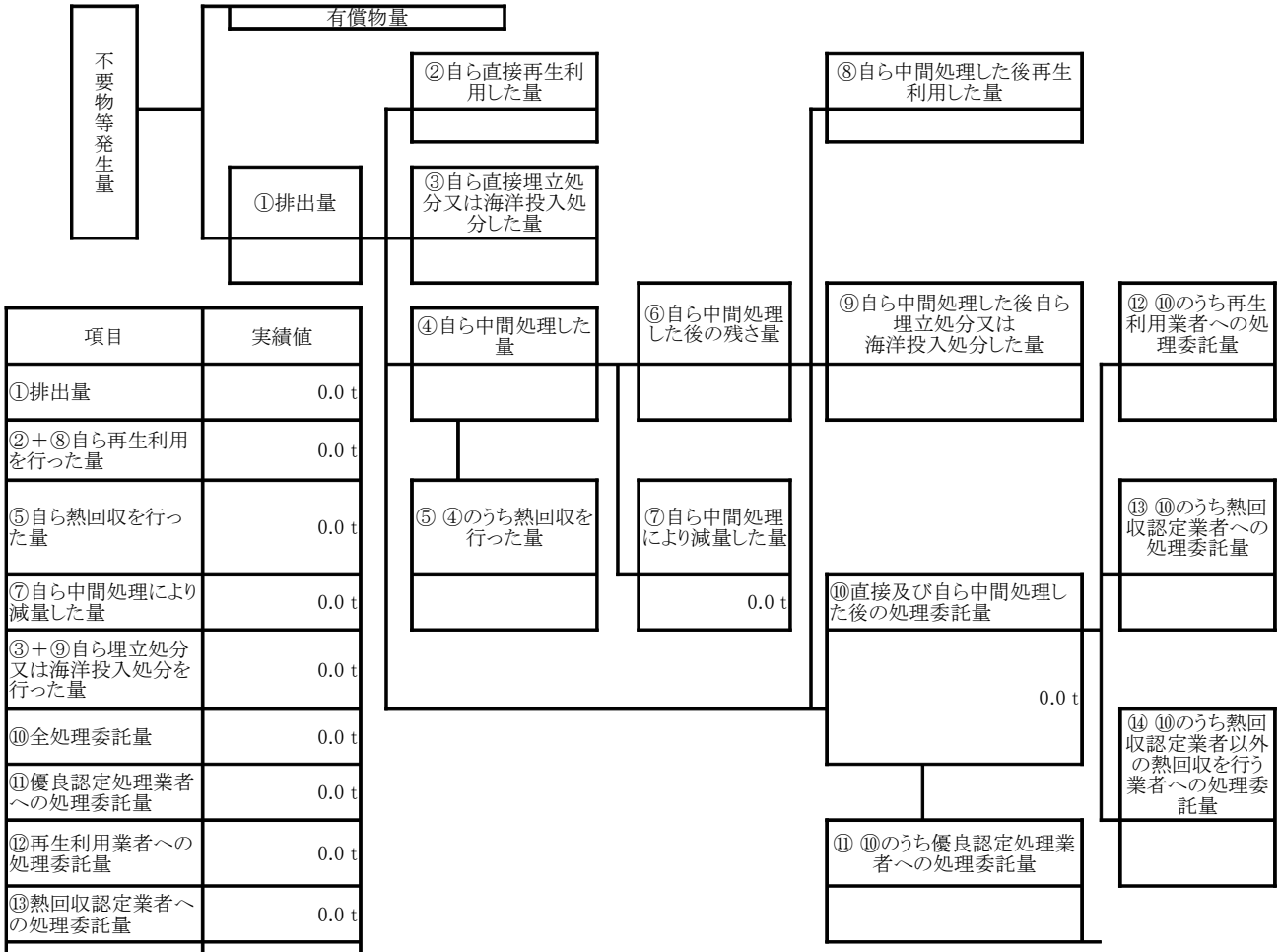
項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



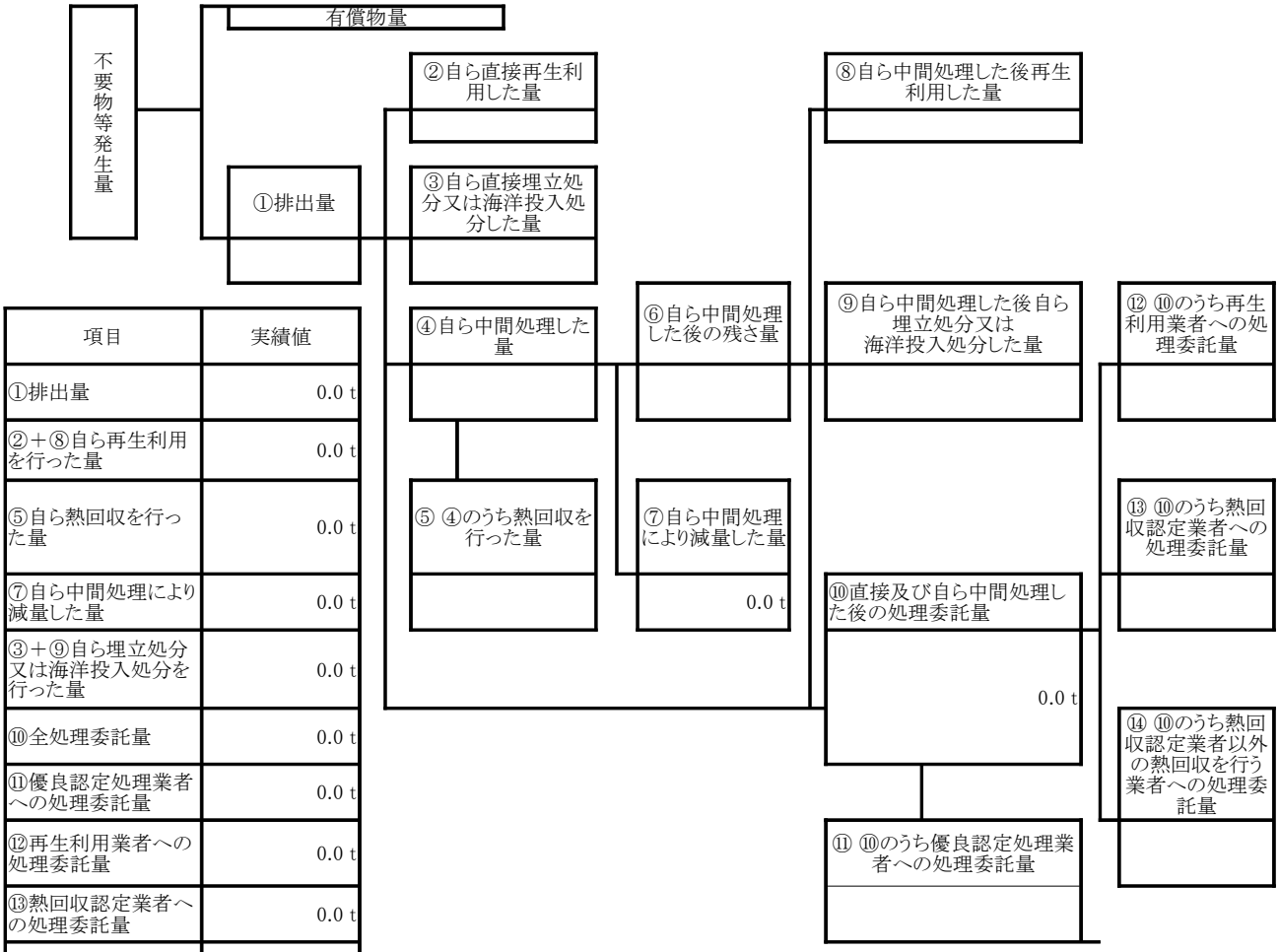
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



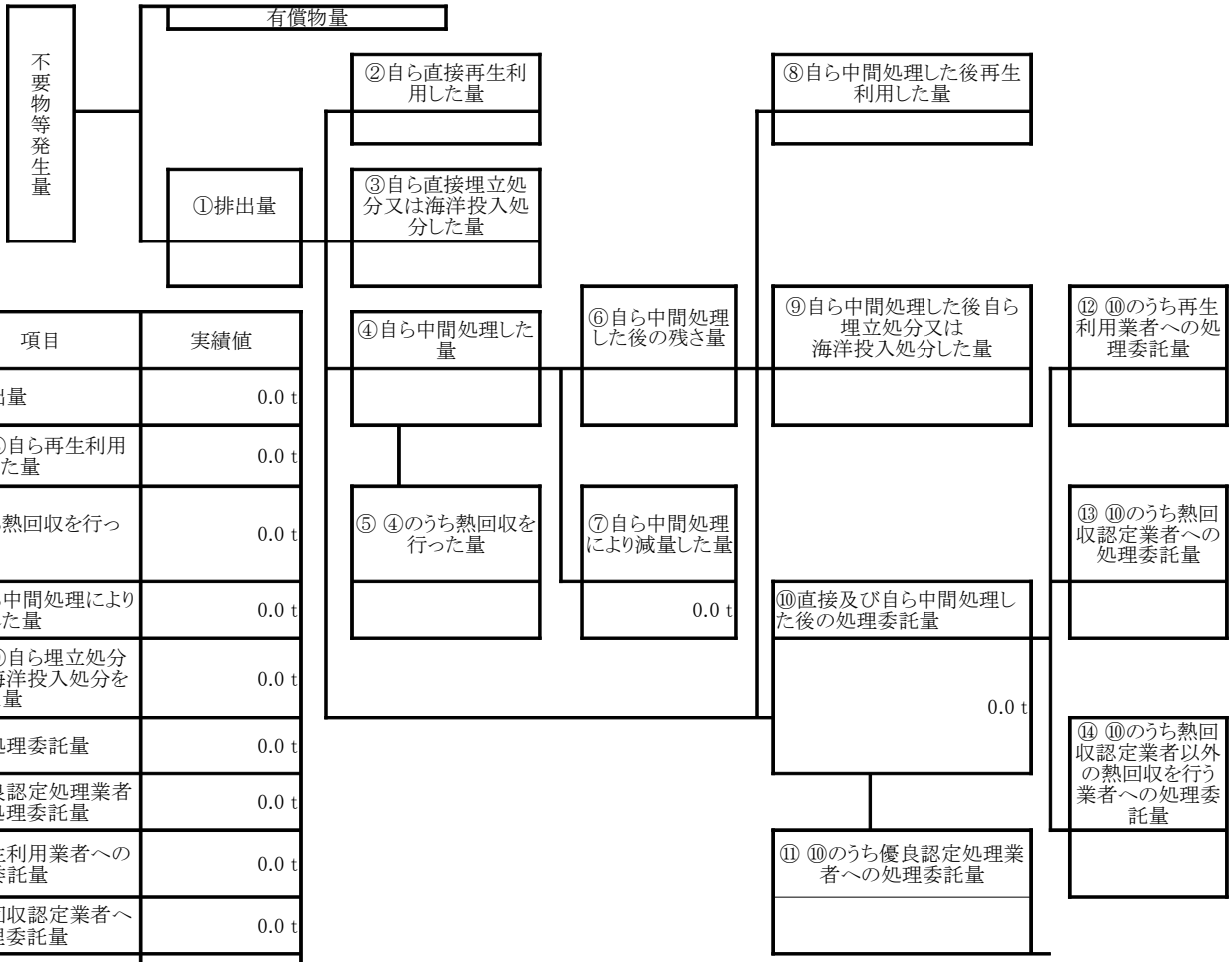
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



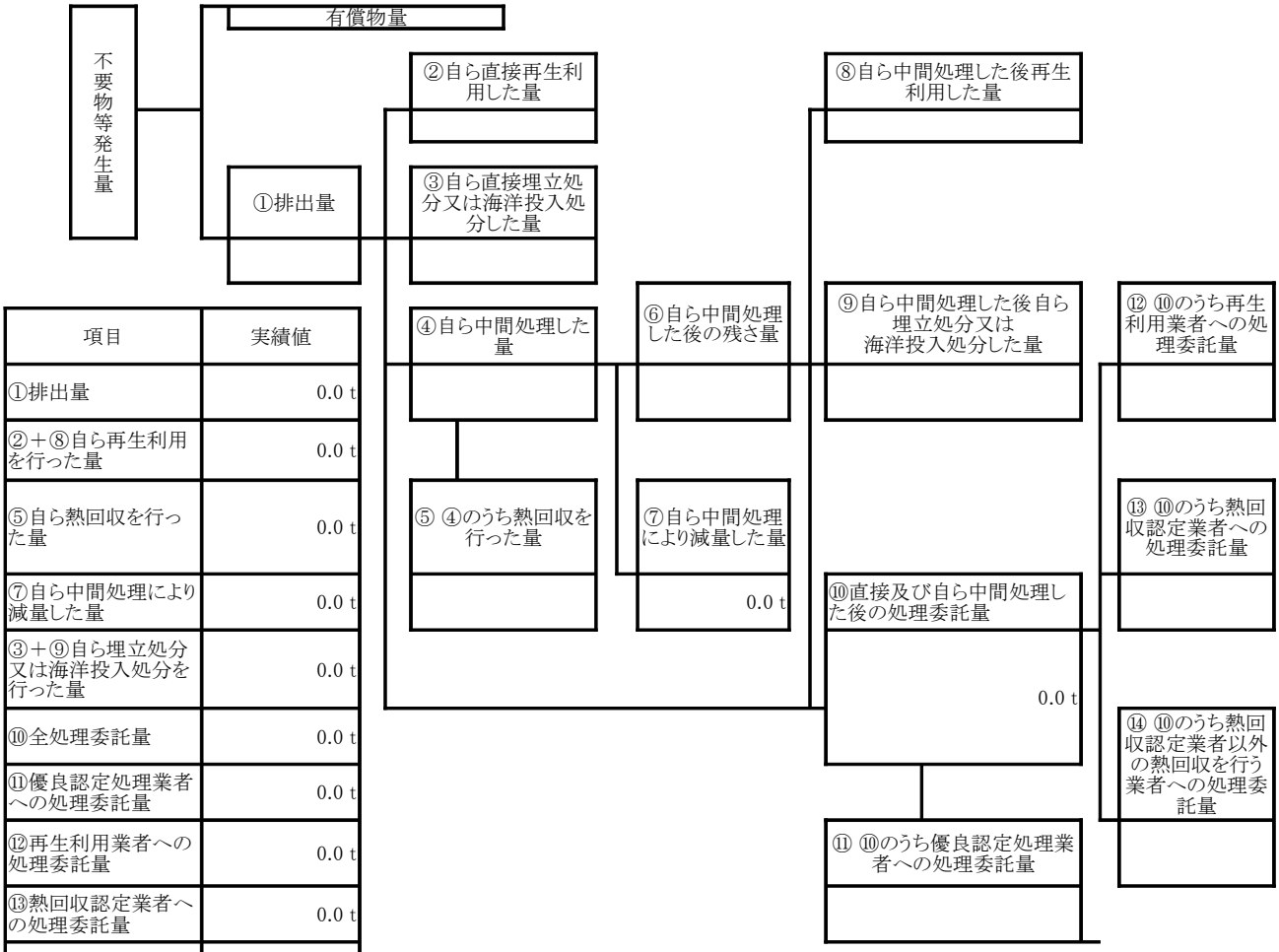
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



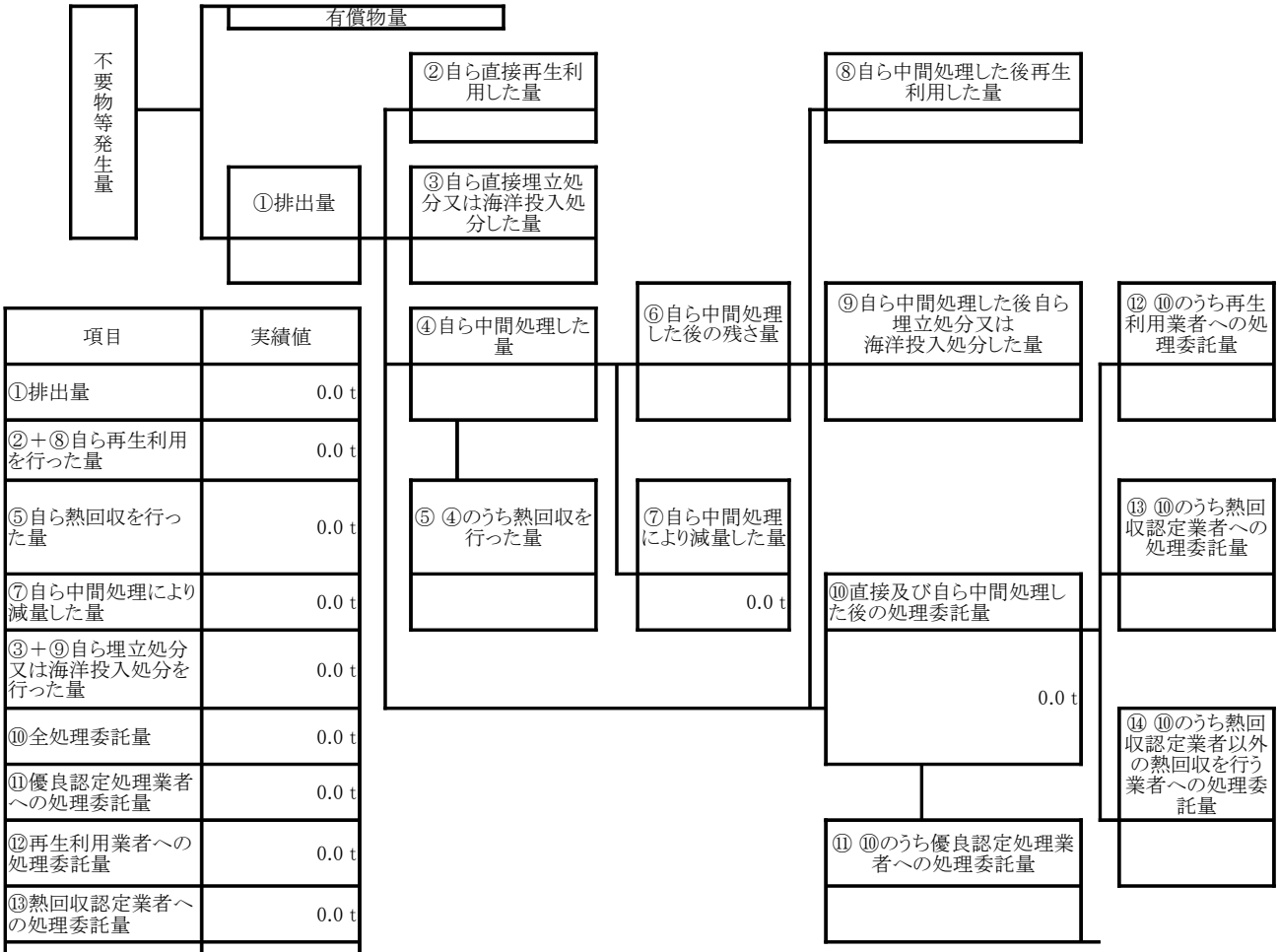
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



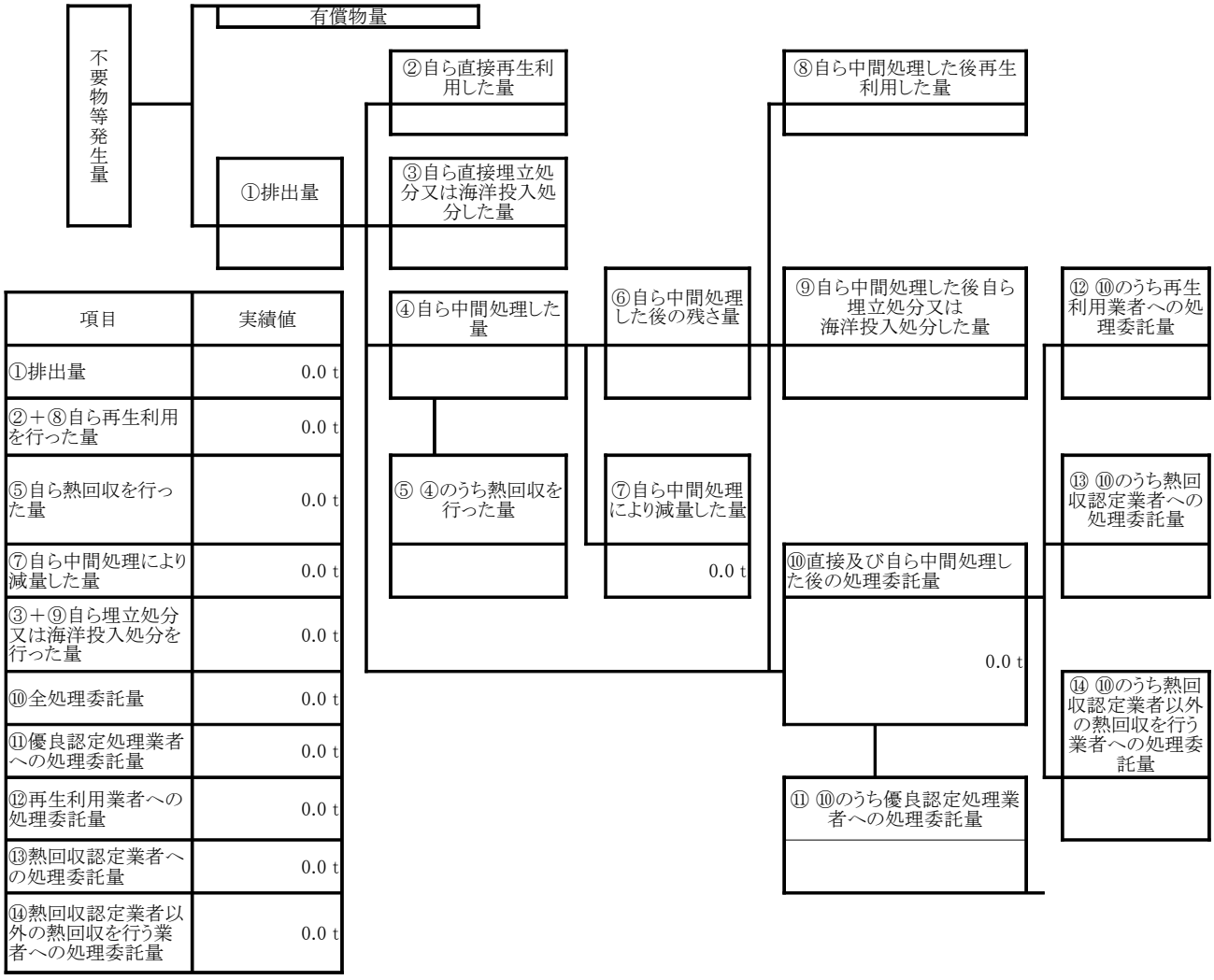
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



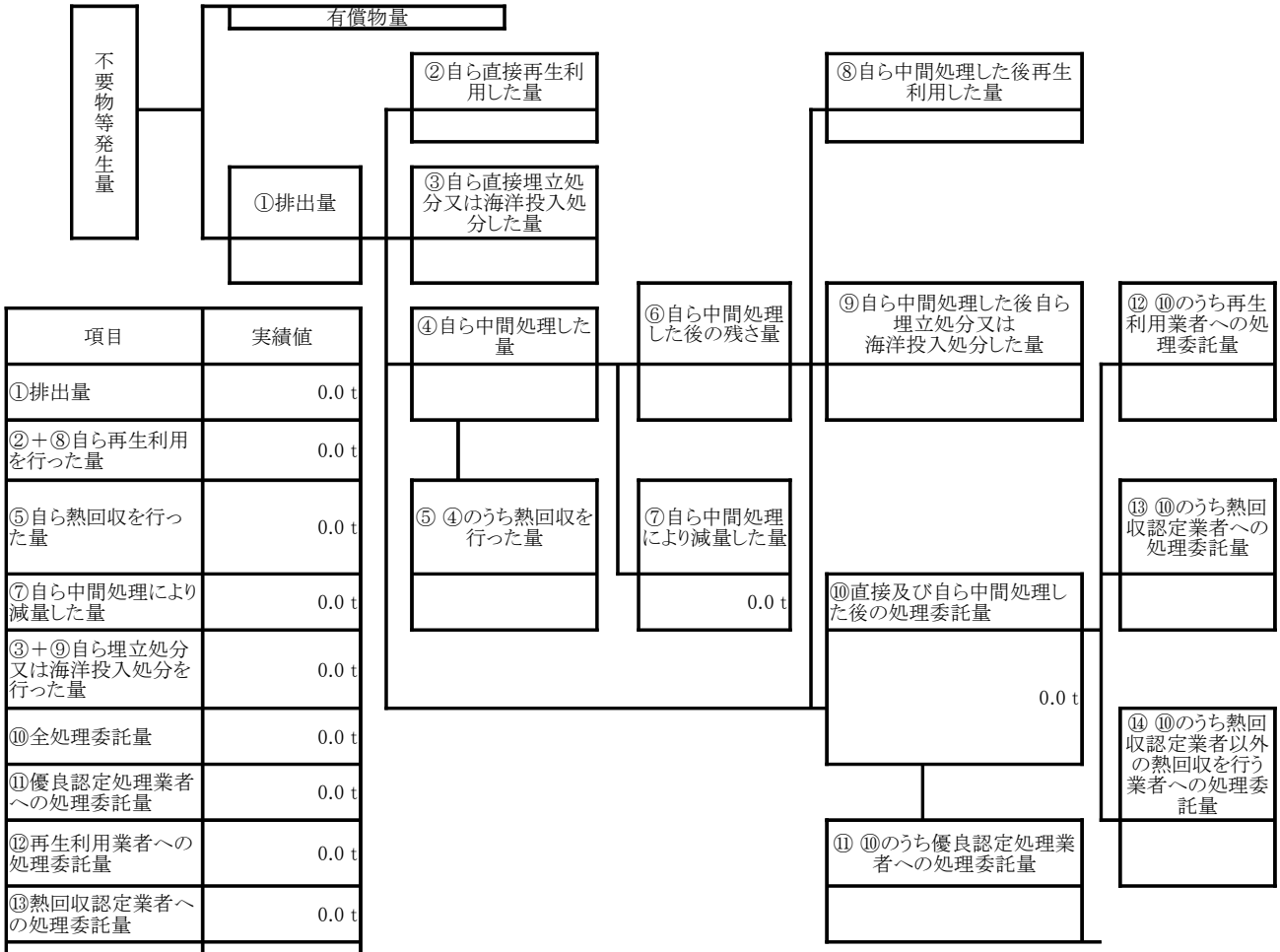
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　5月　20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒163-1031

住　所　東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー31階

氏　名　東亜建設工業㈱
東日本建築支店

執行役員支店長　　北林　勇武

電話番号　　03-6758-2606

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社　東日本建築支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿３－７－１　新宿パークタワー３１階
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	東日本建築支店の昨年度売上高：　715億円
③　従業員数	東日本建築支店：　244名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→焼却→埋立 廃油→油水分離→助燃剤 廃プラスチック類→破砕・圧縮→再資源化 紙くず→破砕・圧縮→再資源化 木くず→破砕→再資源化 金属くず→破砕→再資源化 ガラス・コンクリート・陶磁器くず→破砕→再資源化 がれき類→破砕→再資源化 混合廃棄物→破砕。・分離→埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
社長
↓
本社　安全環境部（廃棄物管理担当部長）
↓
支店長（廃棄物処理統括責任者）
↓
安全環境部（部長、廃棄物管理担当）
↓
各作業所（作業所長：環境管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	任意書式記載	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別を徹底し、再資源化率の高い処分業者に処理委託した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	任意書式記載	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、分別を徹底し、再資源化率の高い処分業者に処理委託する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥、廃プラスチック、紙くず、木くず、金属くず、ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず、その他ガレキ、コンガラ、アスコンガラ、混廃。分別収集の徹底。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	任意書式記載	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	任意書式記載	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	任意書式記載	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	任意書式記載	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	任意書式記載	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	任意書式記載	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	任意書式記載	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 分別を徹底し、再資源化率の高い処分業者に処理委託した。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>任意書式記載</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、分別を徹底し、再資源化率の高い処分業者に処理委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
		排　出　量	18.545 t	0.15 t	682.825 t	0.58 t	682.2 t	5.98 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
		排　出　量	20 t	20 t	100 t	20 t	100 t	20 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
	全処理委託量	18.545 t	0.15 t	682.825 t	0.58 t	682.2 t	5.98 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	18.545 t	0.15 t	682.825 t	0.58 t	682.2 t	5.98 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス・陶器くず	がれき類	混合廃棄物		
	全処理委託量	20 t	20 t	100 t	20 t	100 t	20 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20 t	20 t	100 t	20 t	100 t	20 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　5月　20日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒163-1031
住　所　東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー31階
氏　名　東亜建設工業㈱　東日本建築支店
執行役員支店長　北林　勇武
電話番号　03-6758-2606

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社　東日本建築支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿３－７－１　新宿パークタワー31階
事業の種類	建設業　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

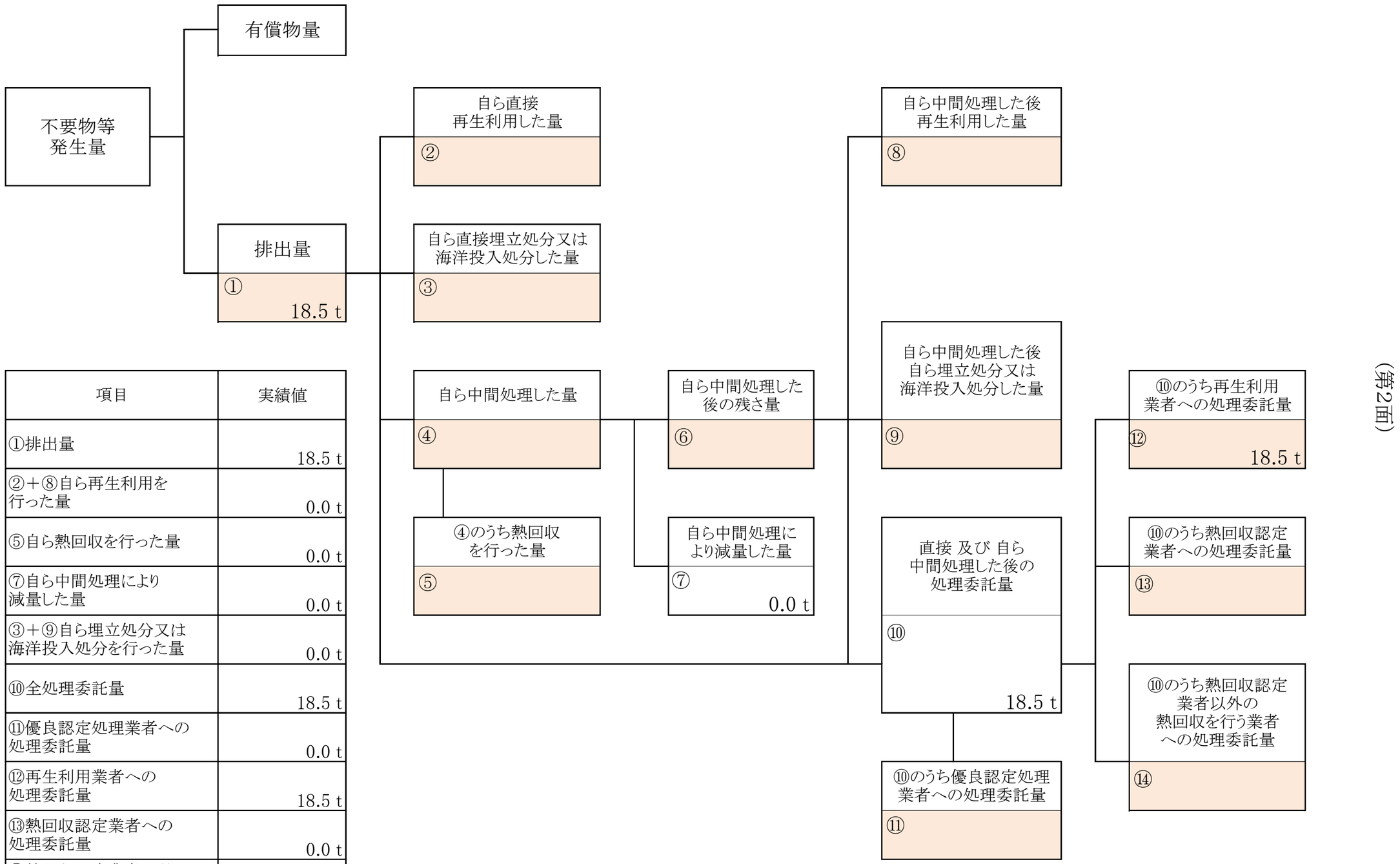
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,190	全処理委託量	2,190
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2,190
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

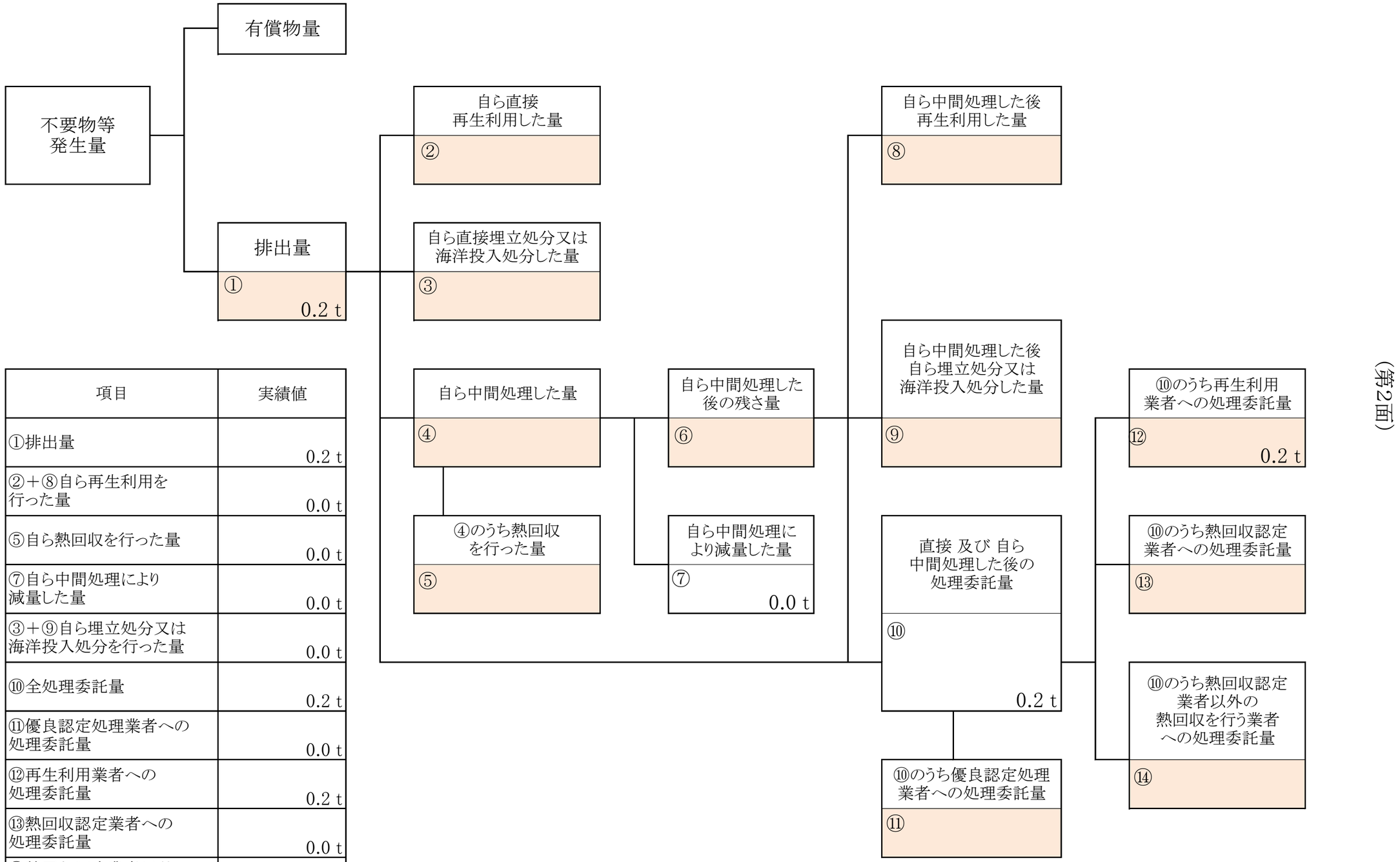


項目	実績値
①排出量	18.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

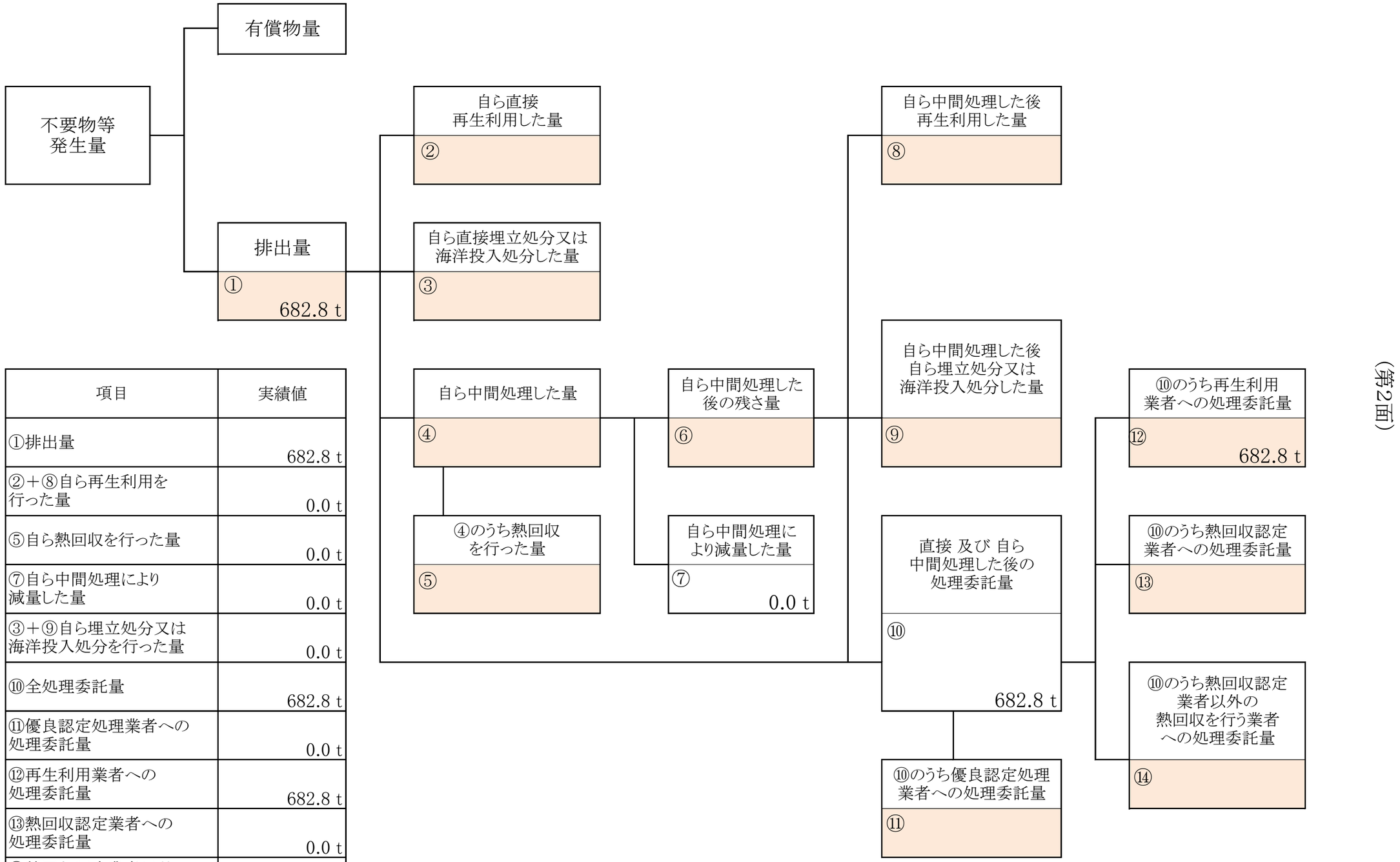


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

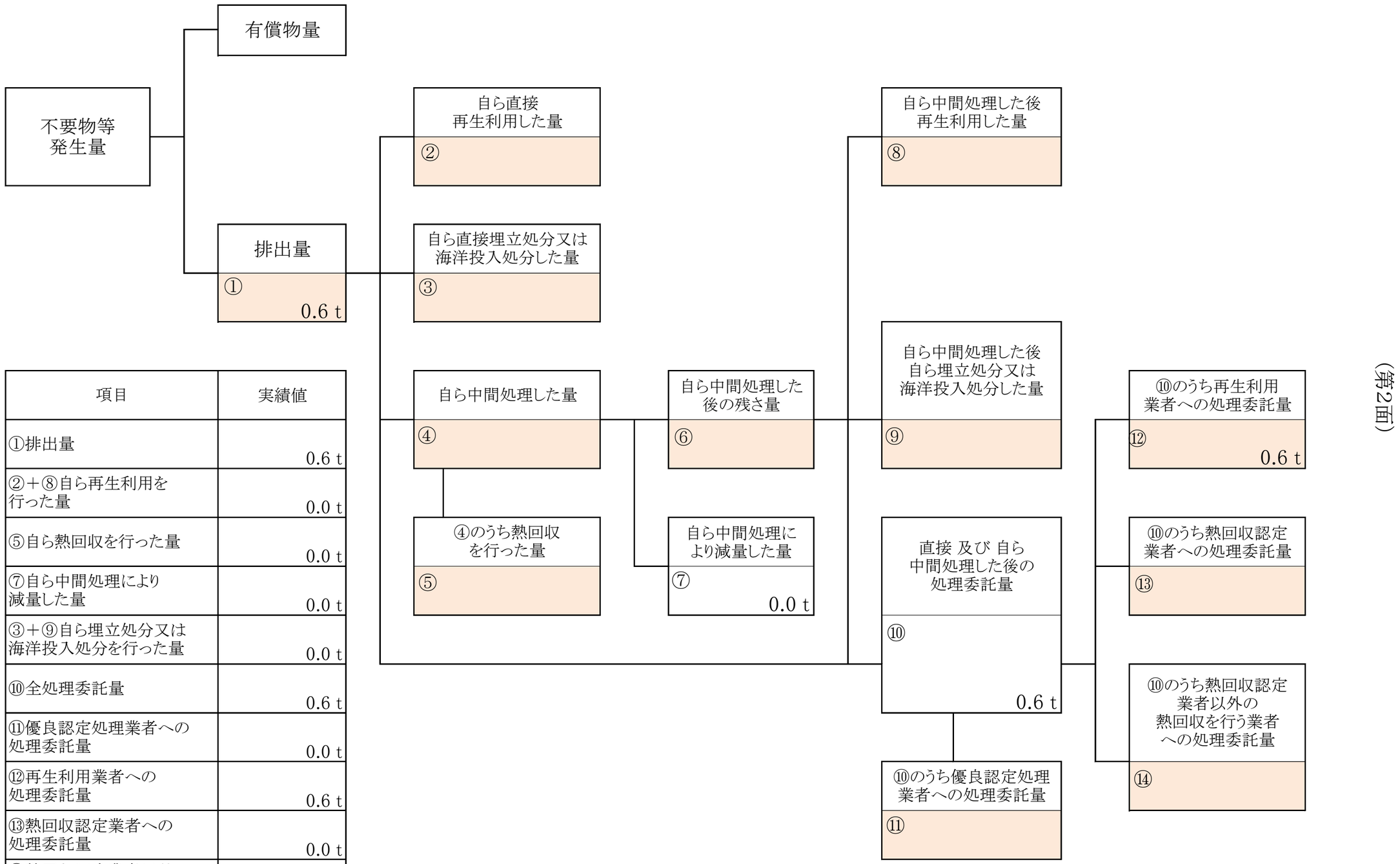


項目	実績値
①排出量	682.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	682.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	682.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・陶器くず**）

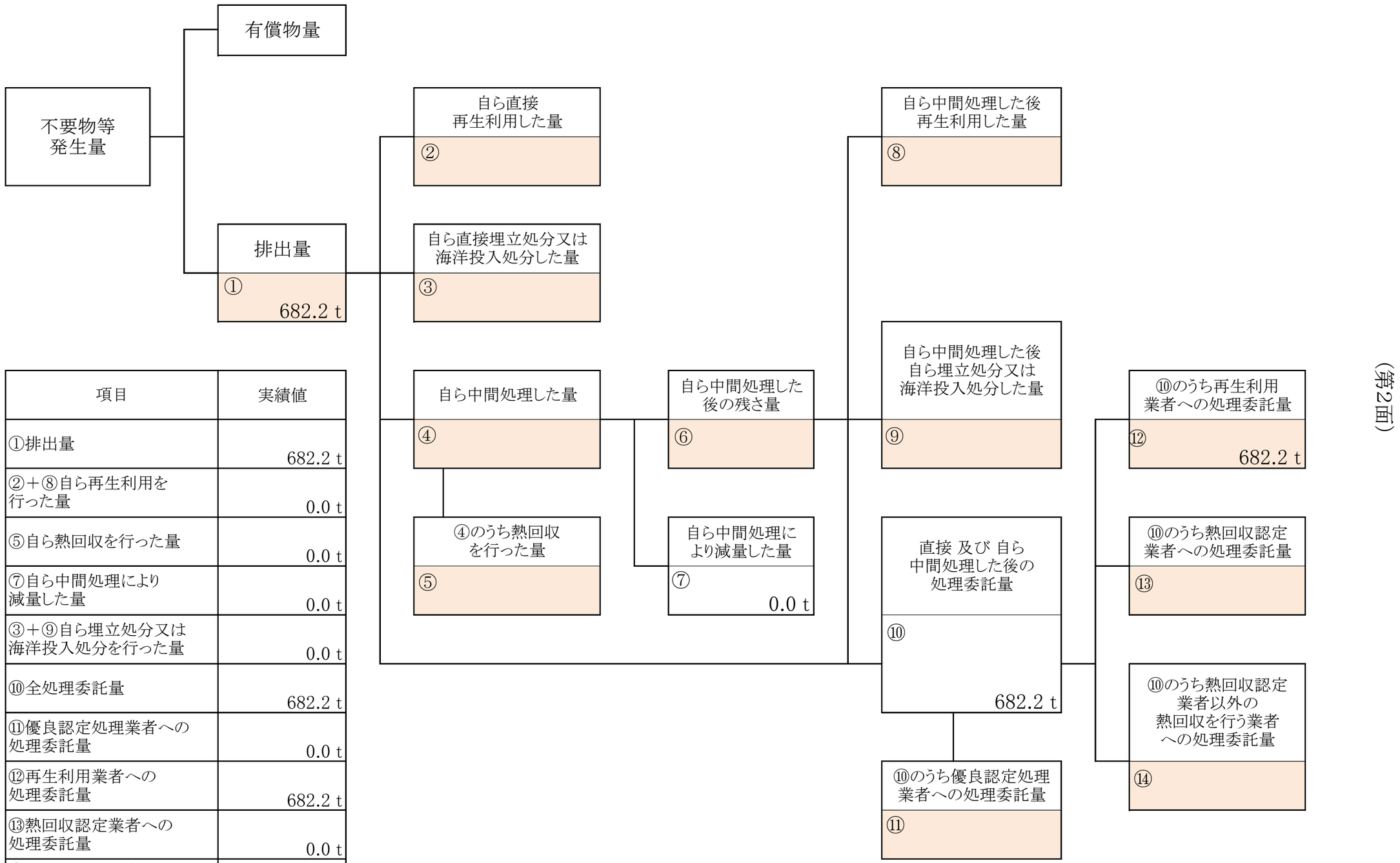


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

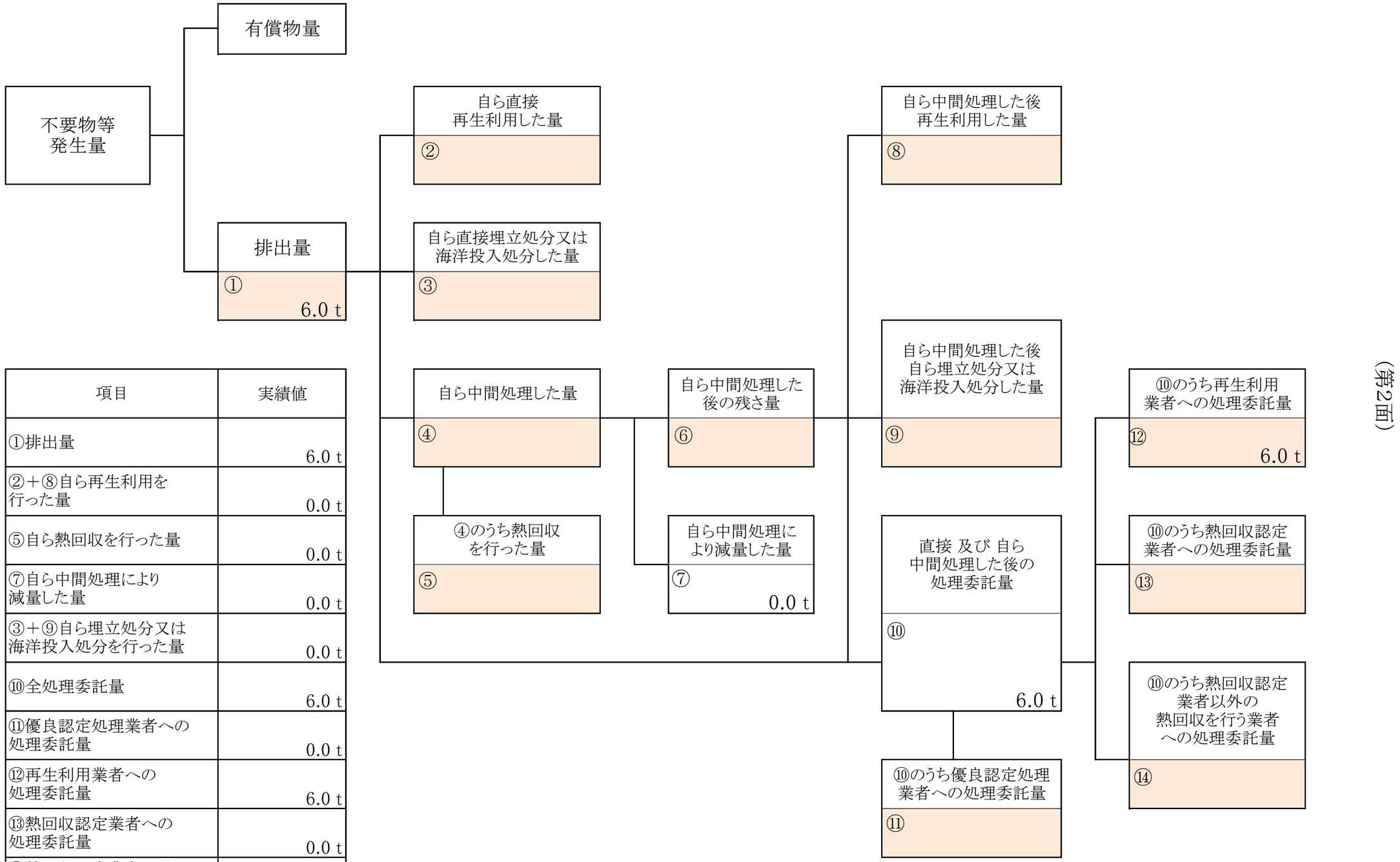


項目	実績値
①排出量	682.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	682.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	682.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	6.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　277-0941

住所 千葉県柏市高柳485-2

法人名 東亜道路工業株式会社 千葉支店

代表者 山田 直志

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7190-1600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜道路工業株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県柏市高柳485-2
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1866 t	全処理委託量	1866 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1866 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

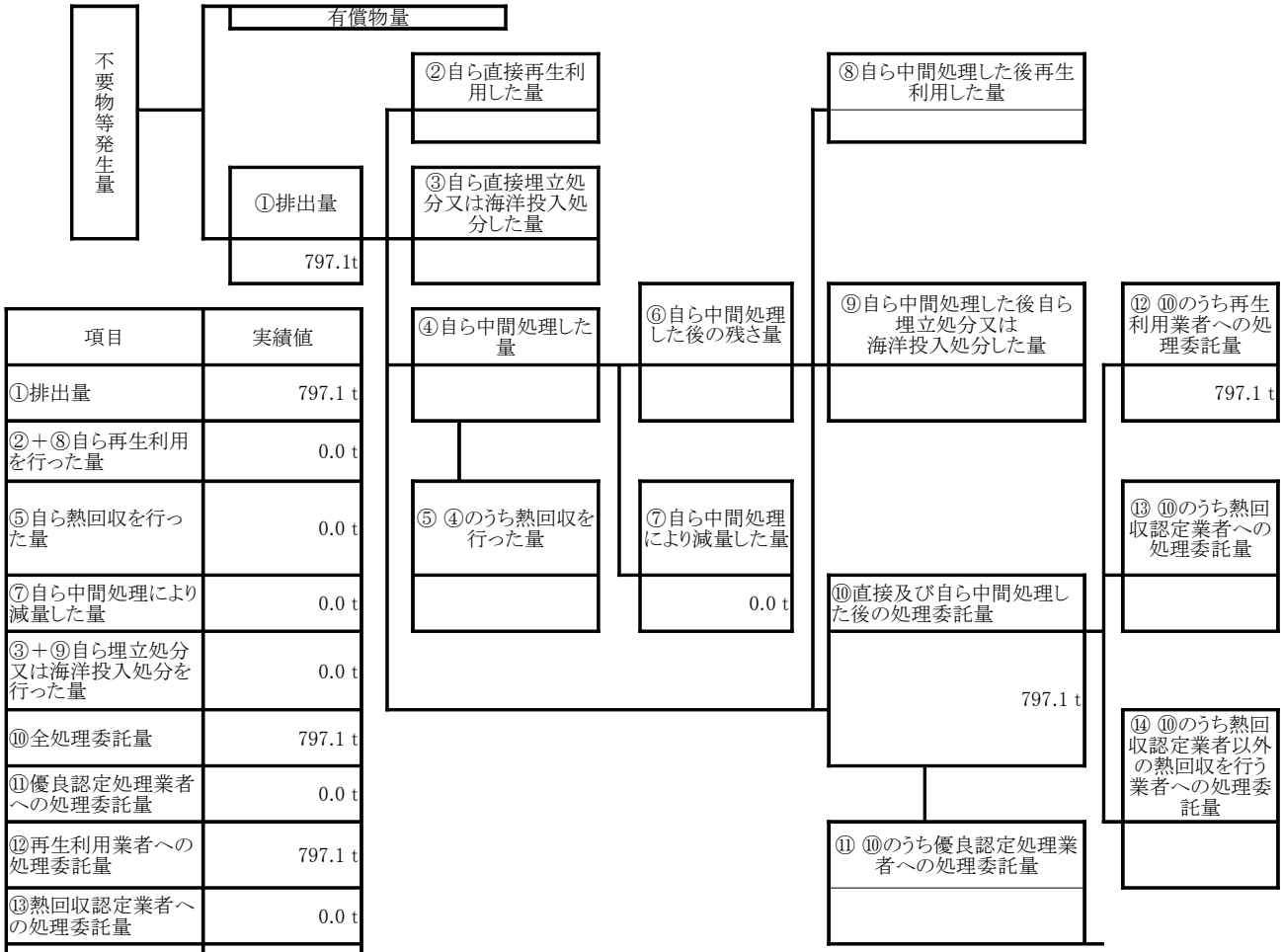
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルトがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

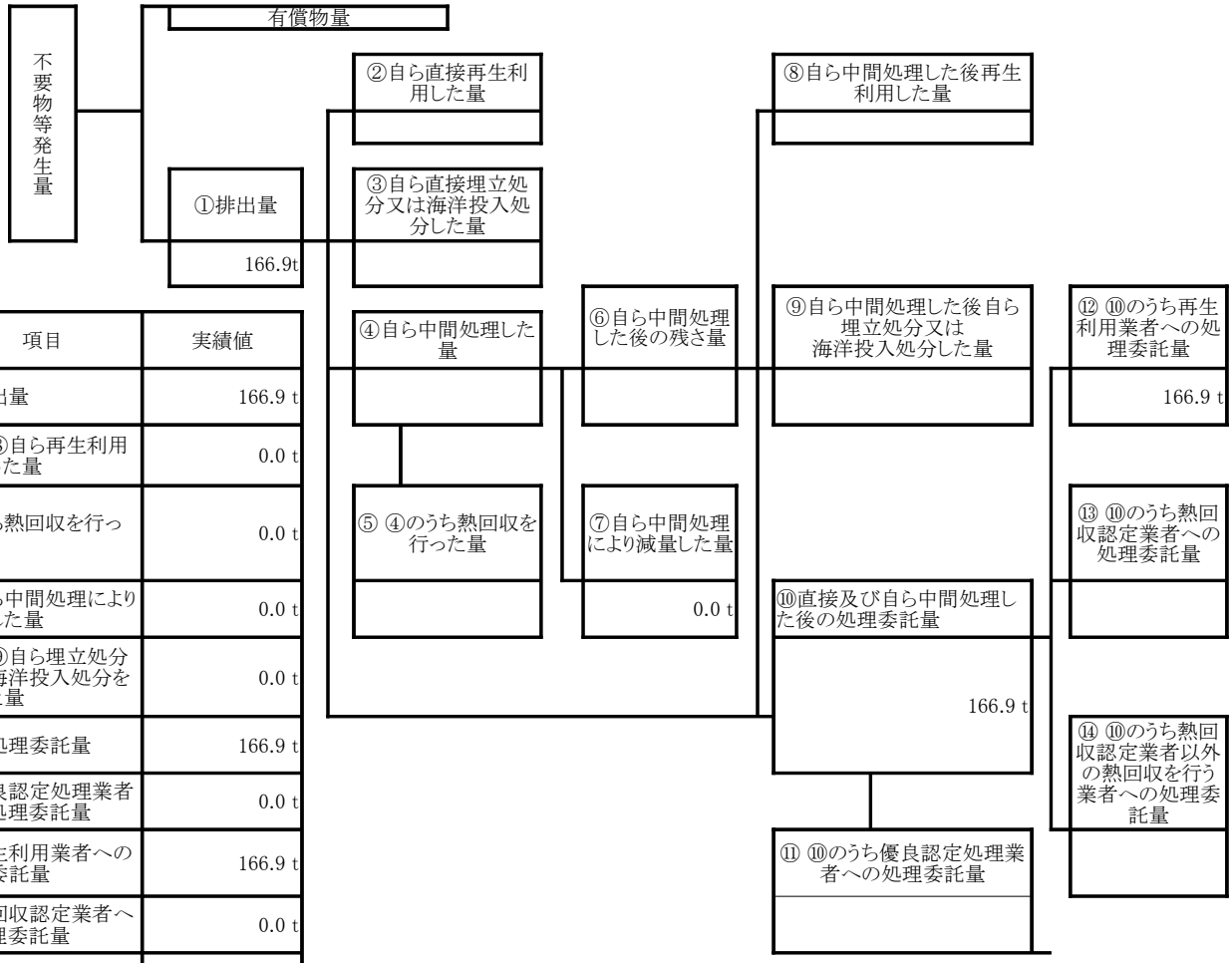


項目	実績値
①排出量	797.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	797.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	797.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリートがら ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

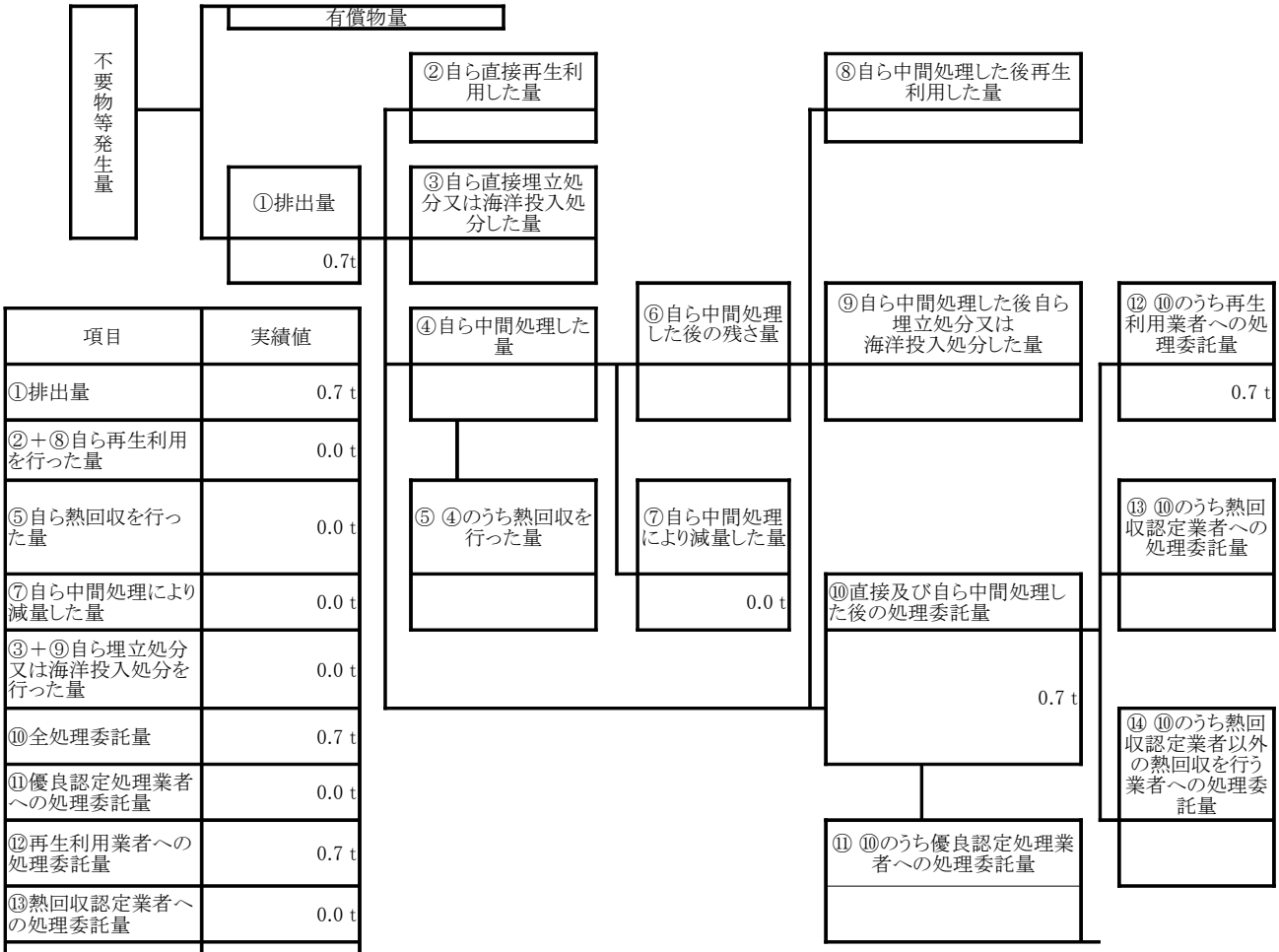


項目	実績値
①排出量	166.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	166.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	166.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

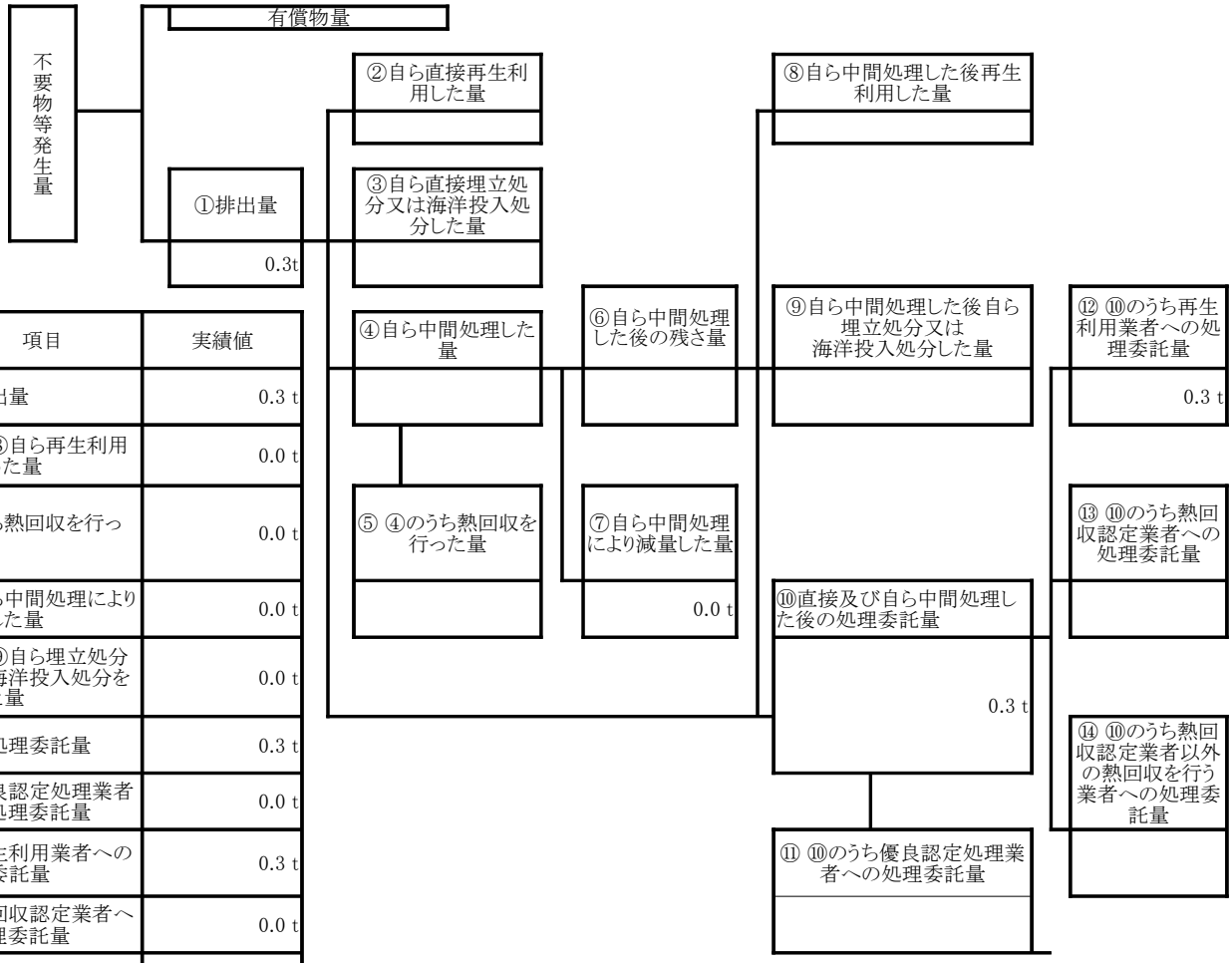


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



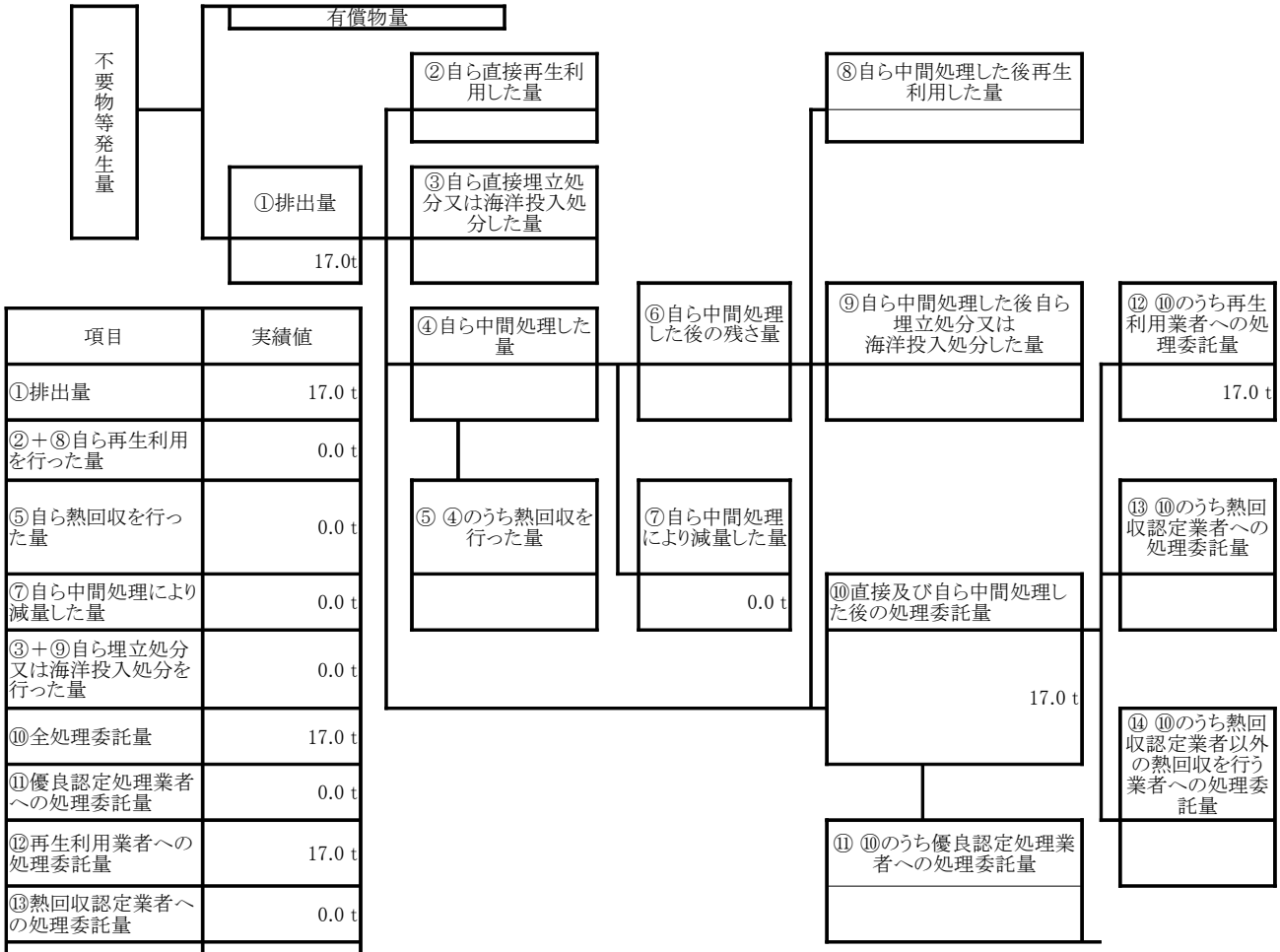
項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

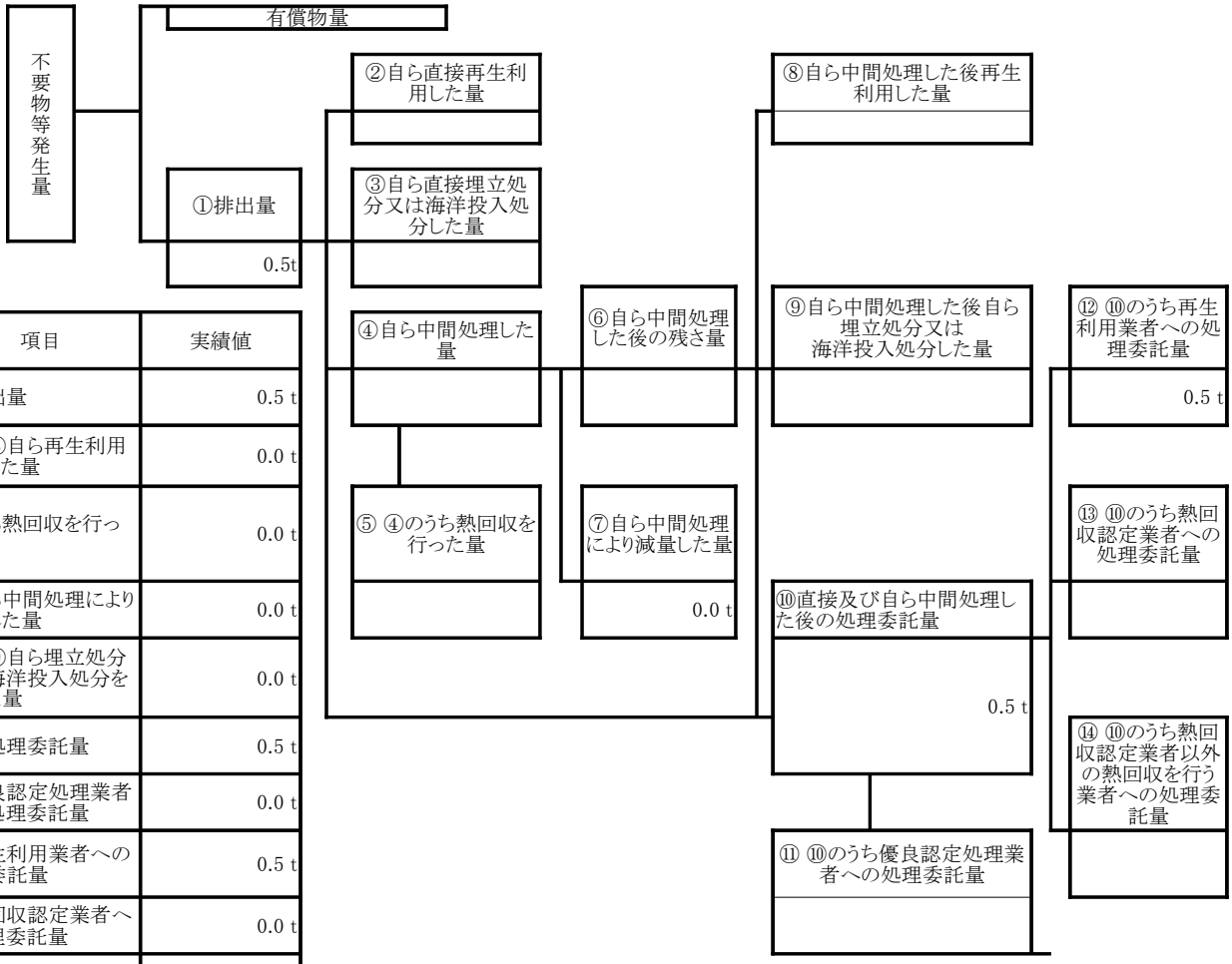


項目	実績値
①排出量	17.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



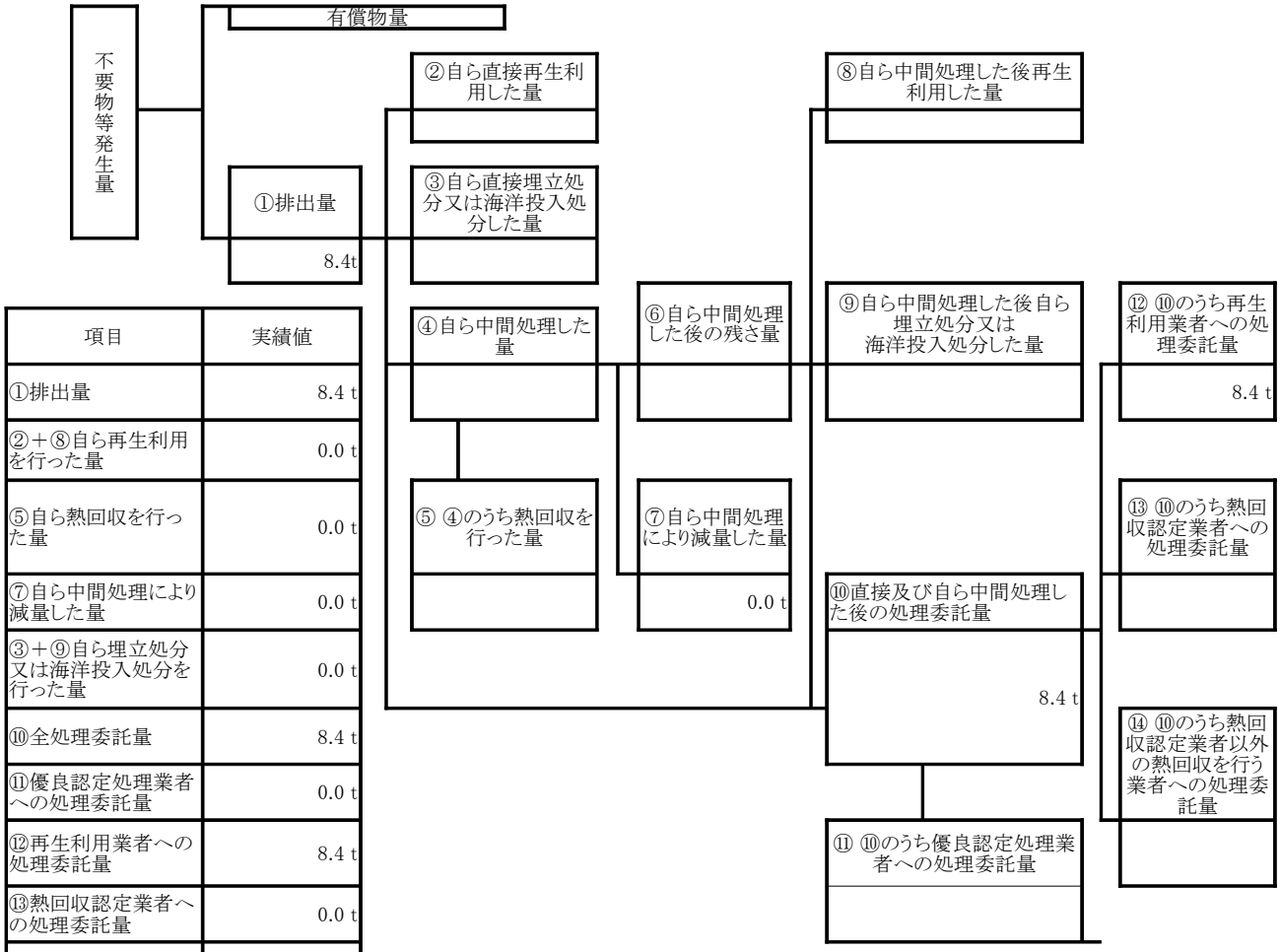
項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



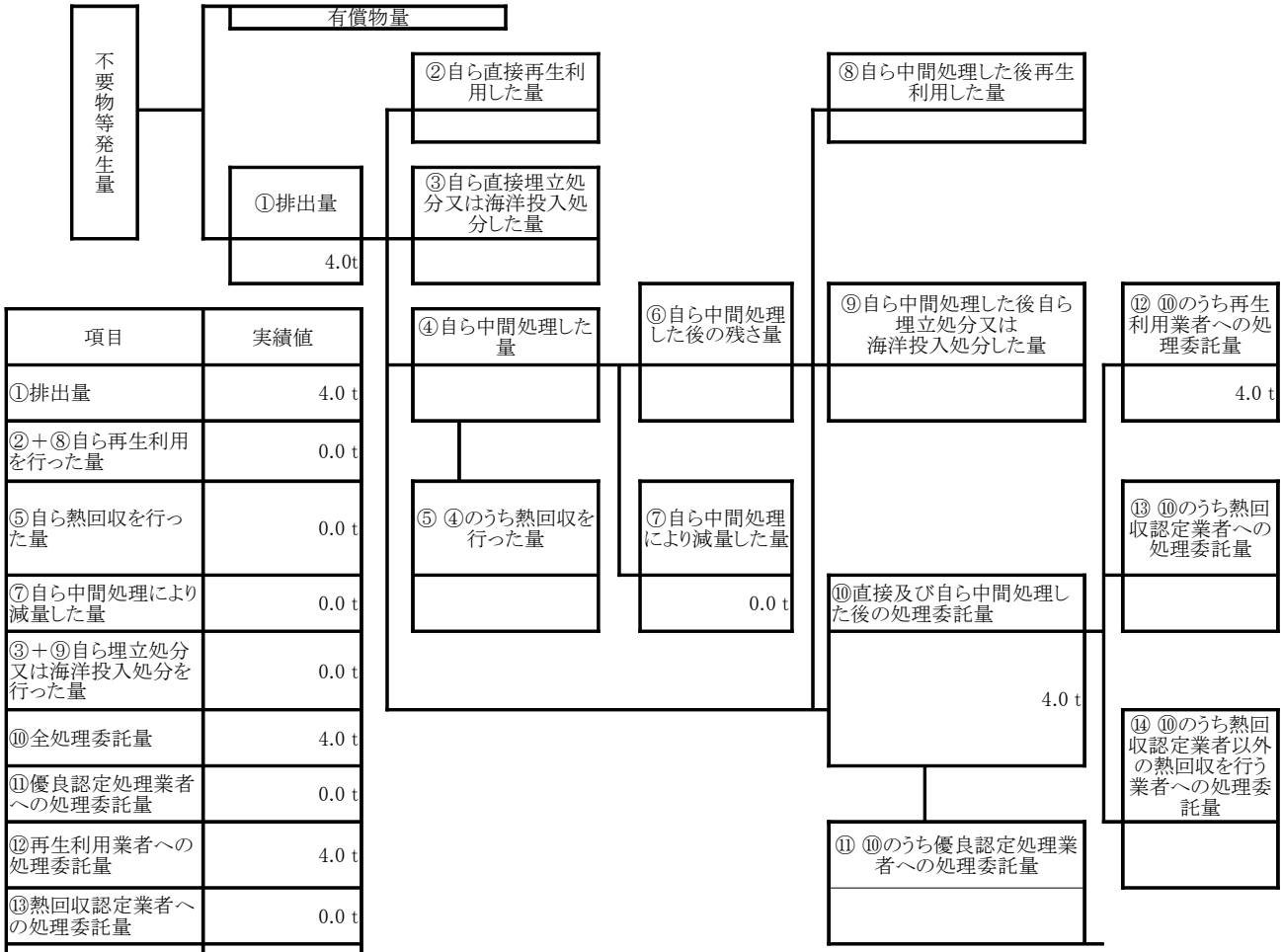
項目	実績値
①排出量	8.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**路盤**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

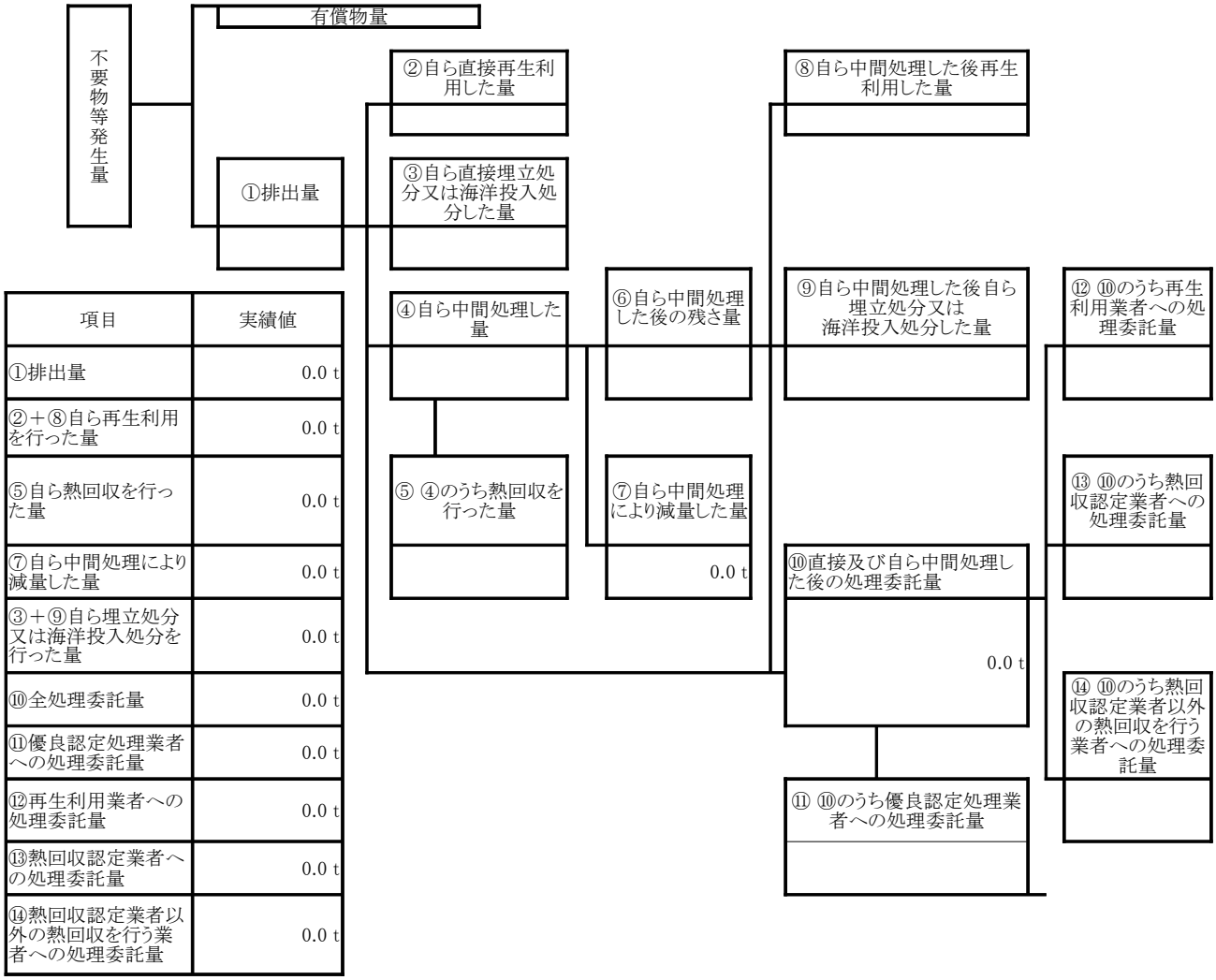


項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

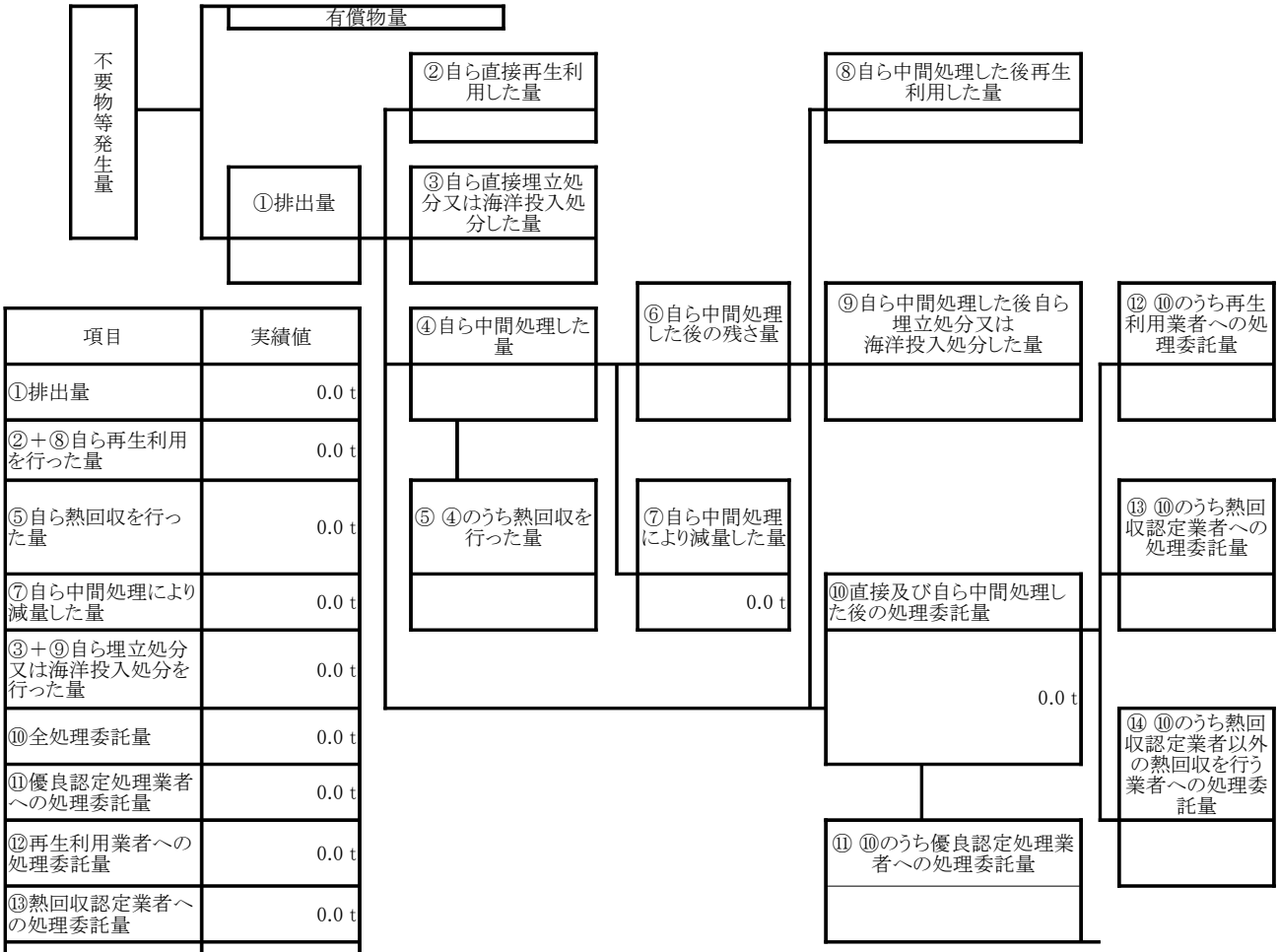


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

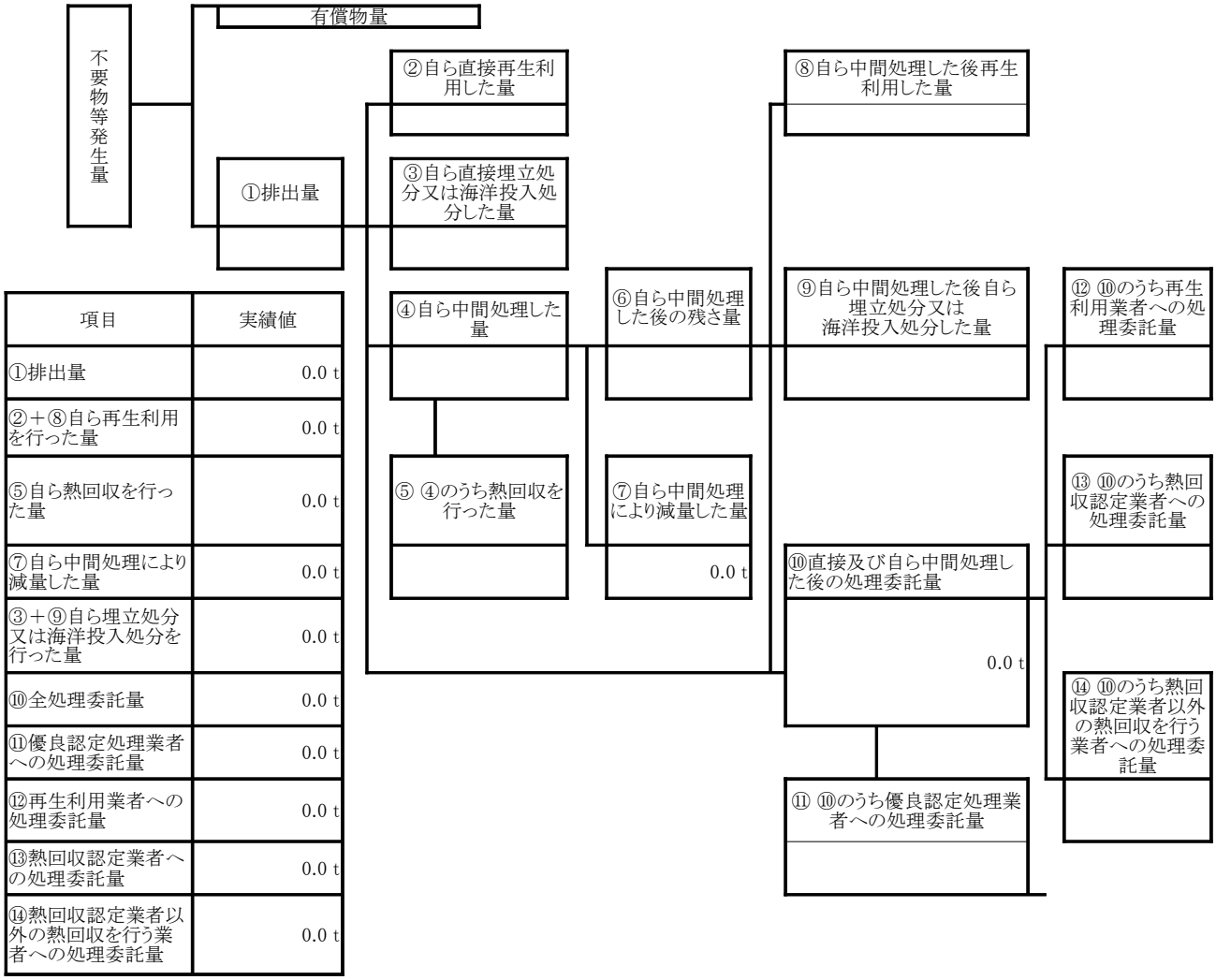


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



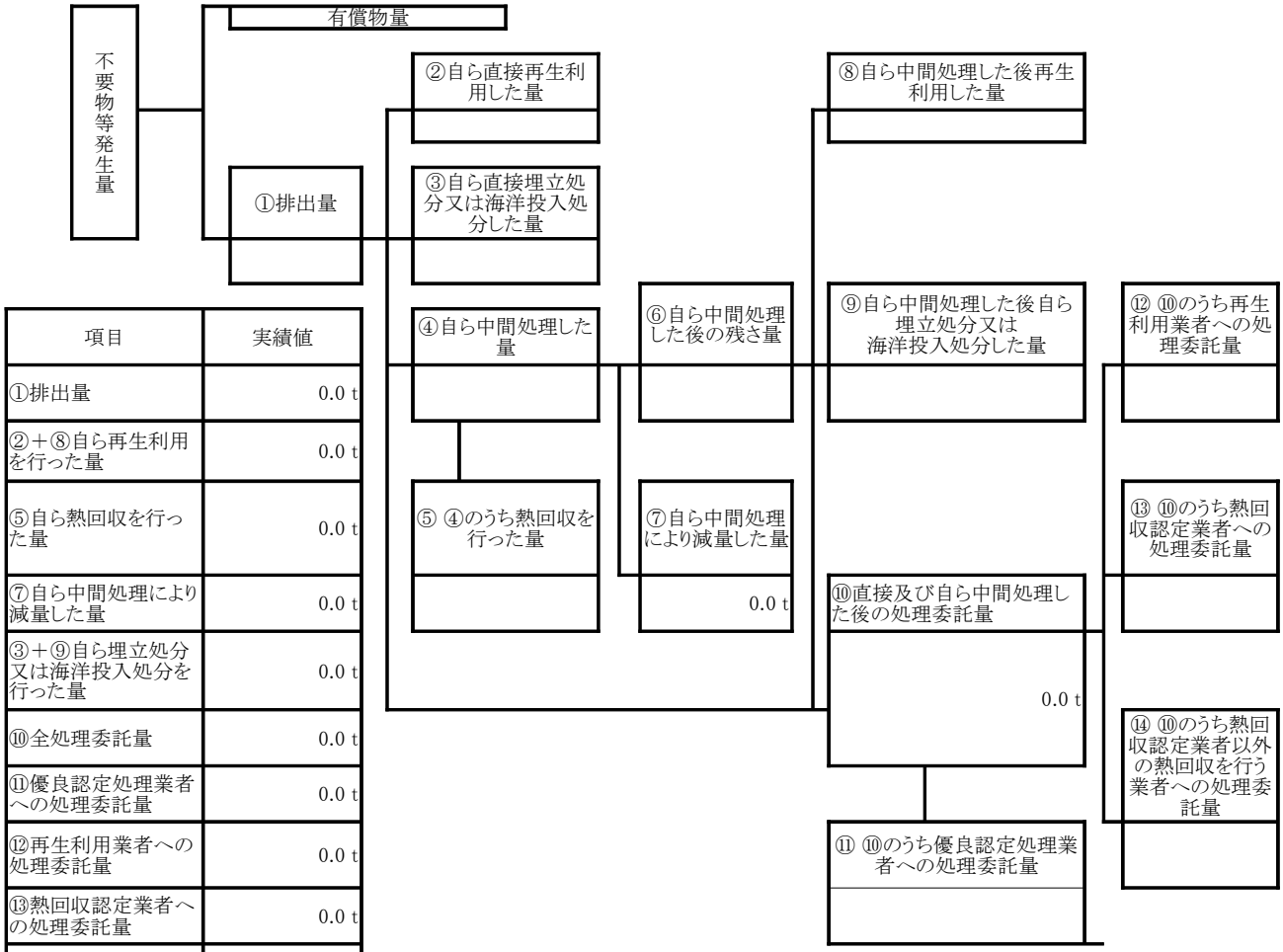
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



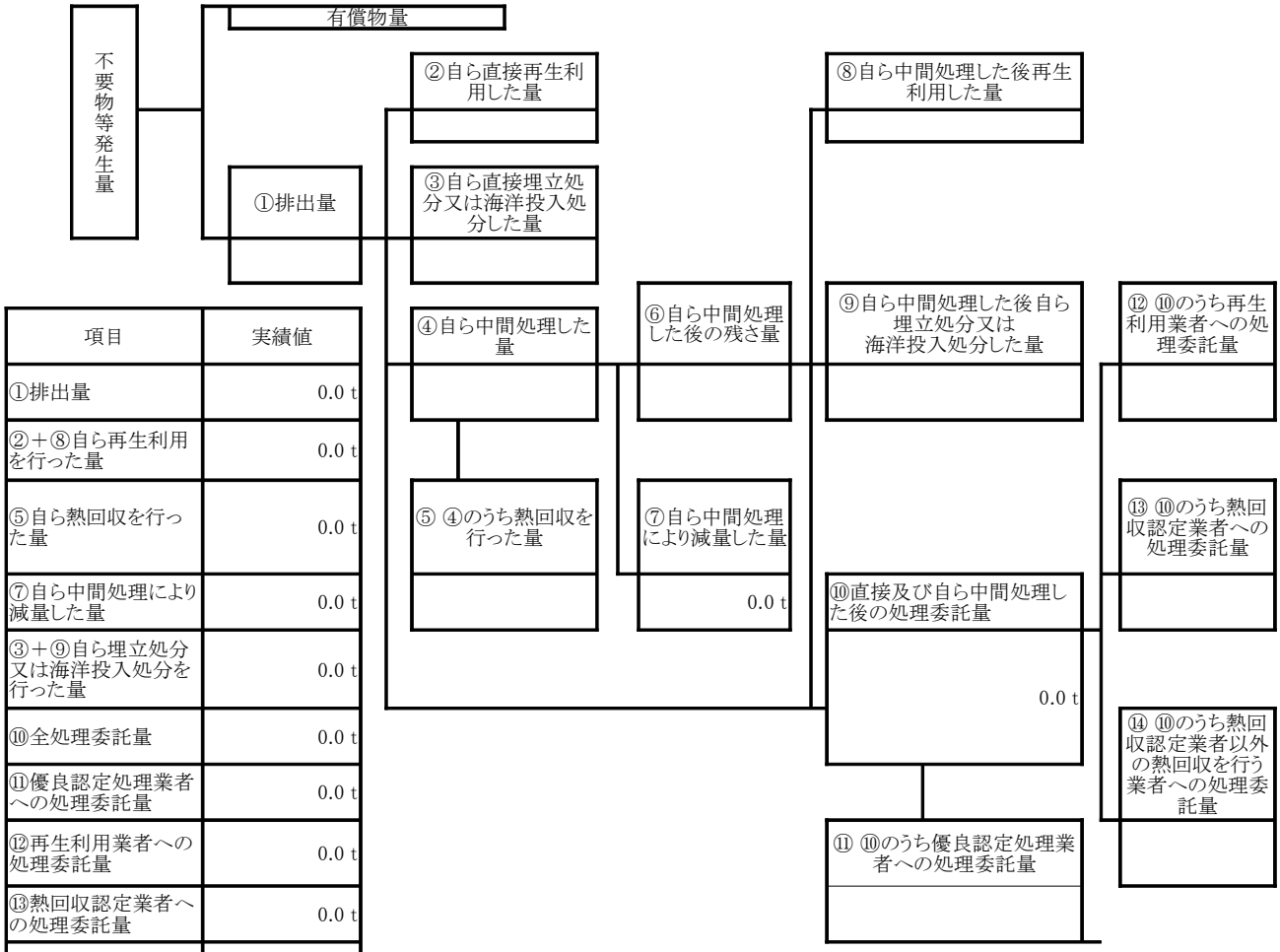
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



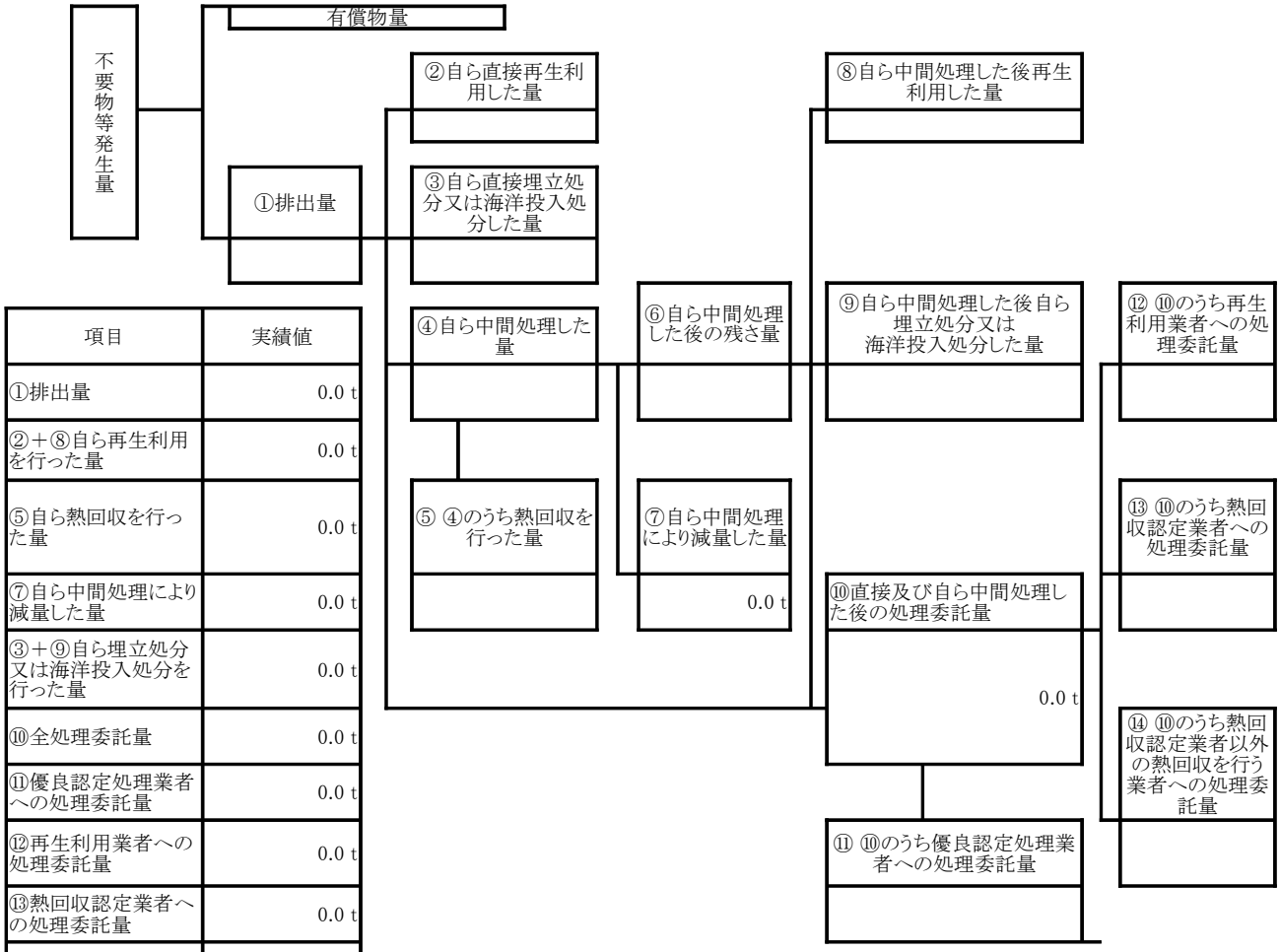
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



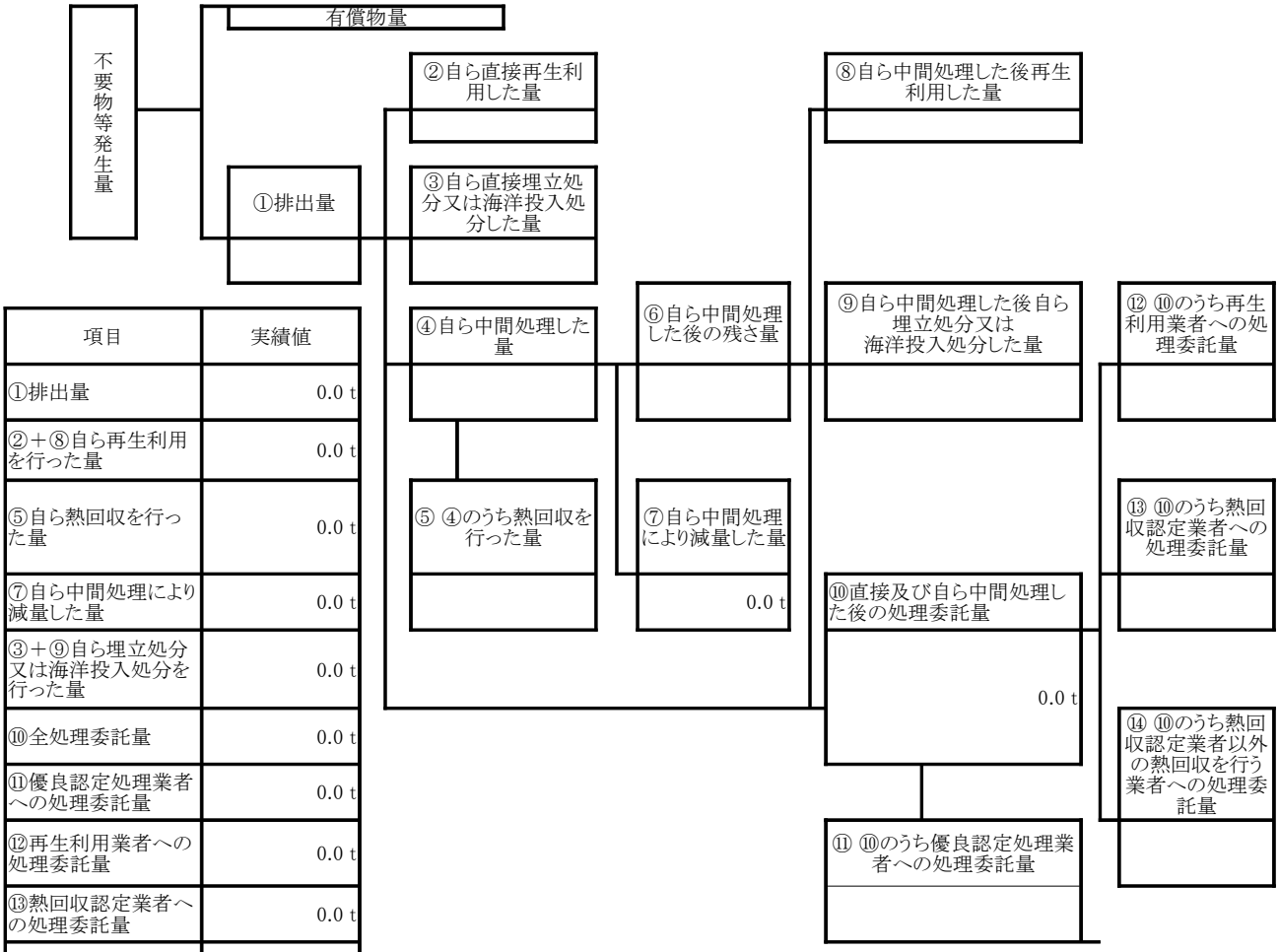
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



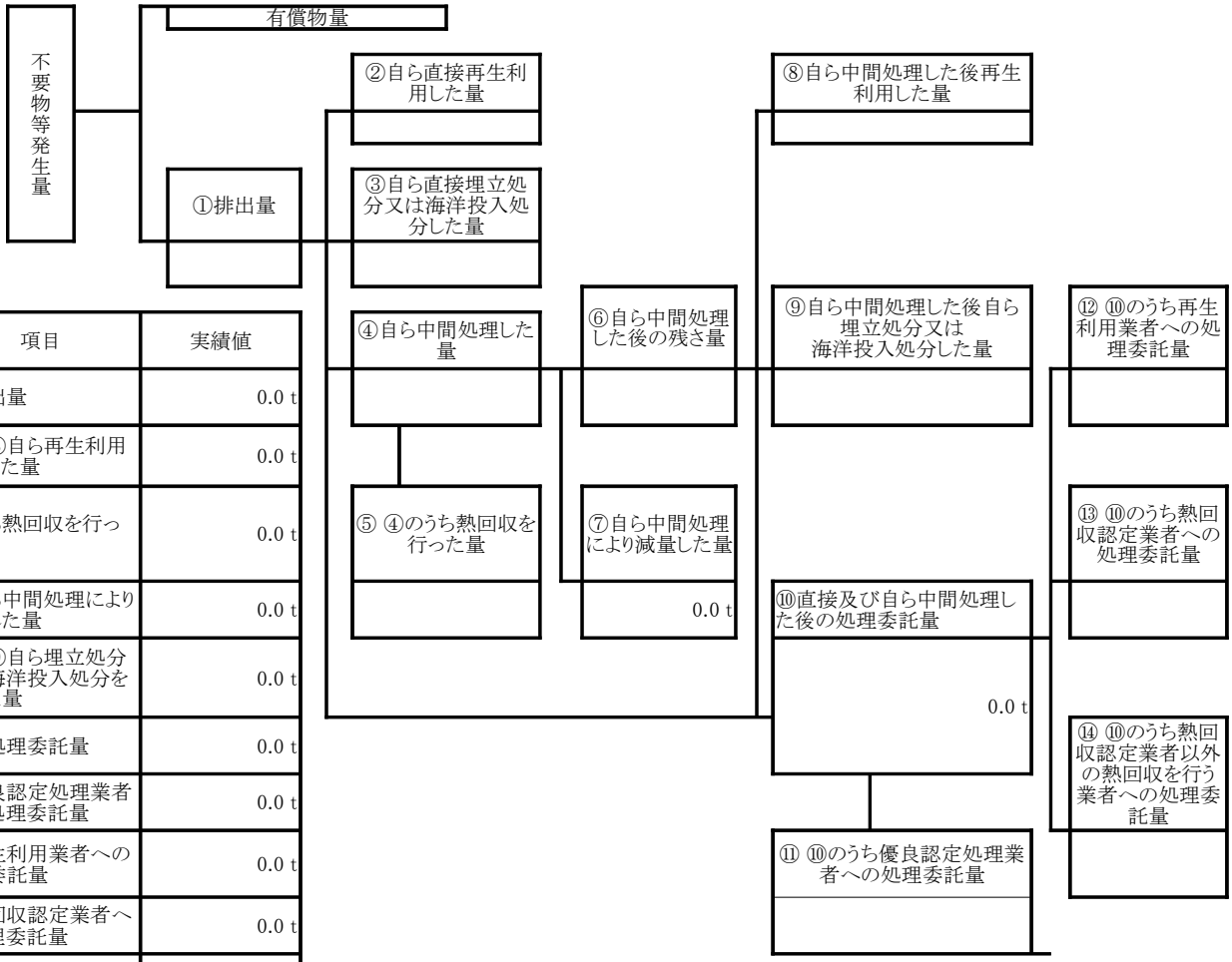
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



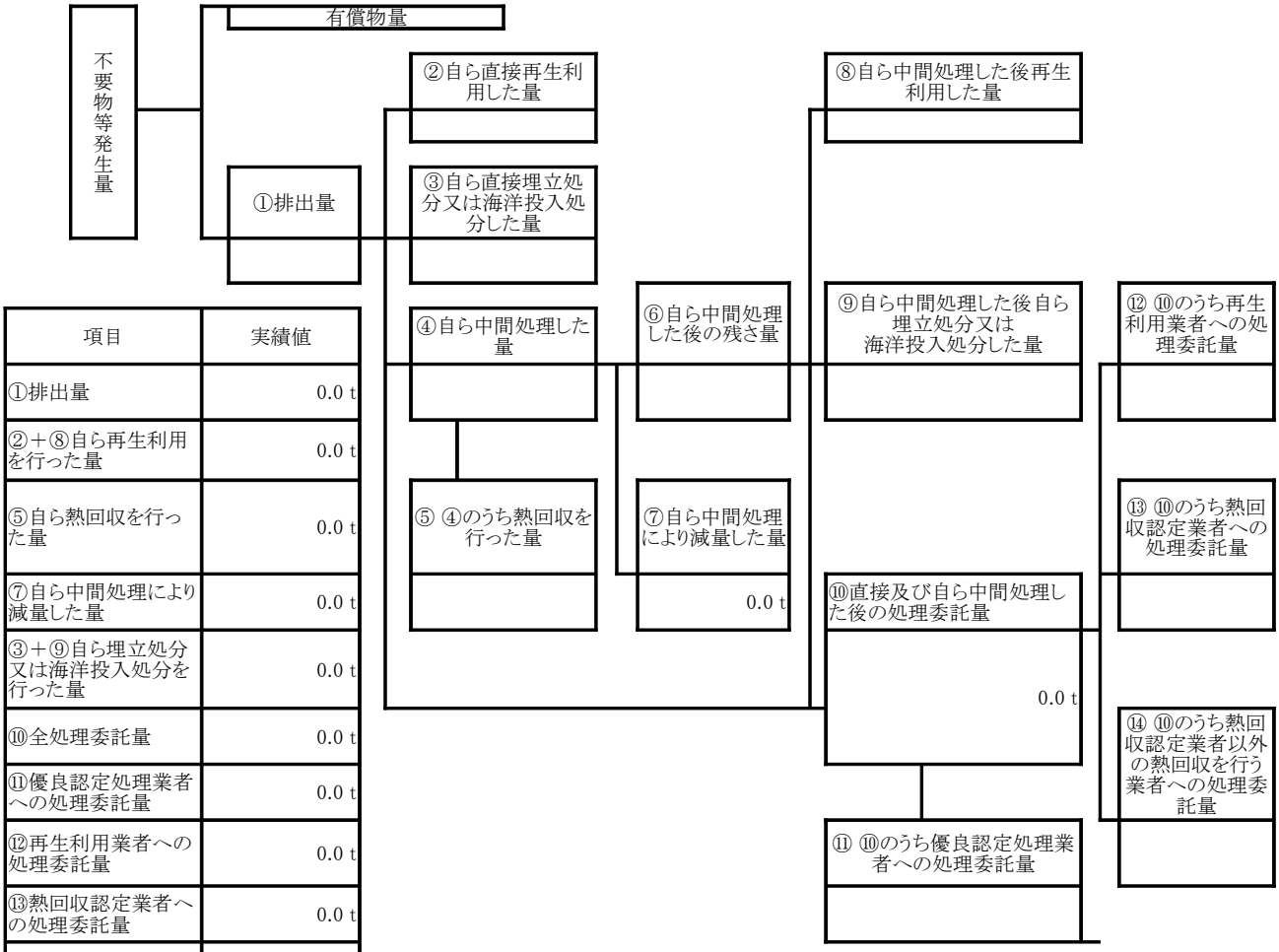
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



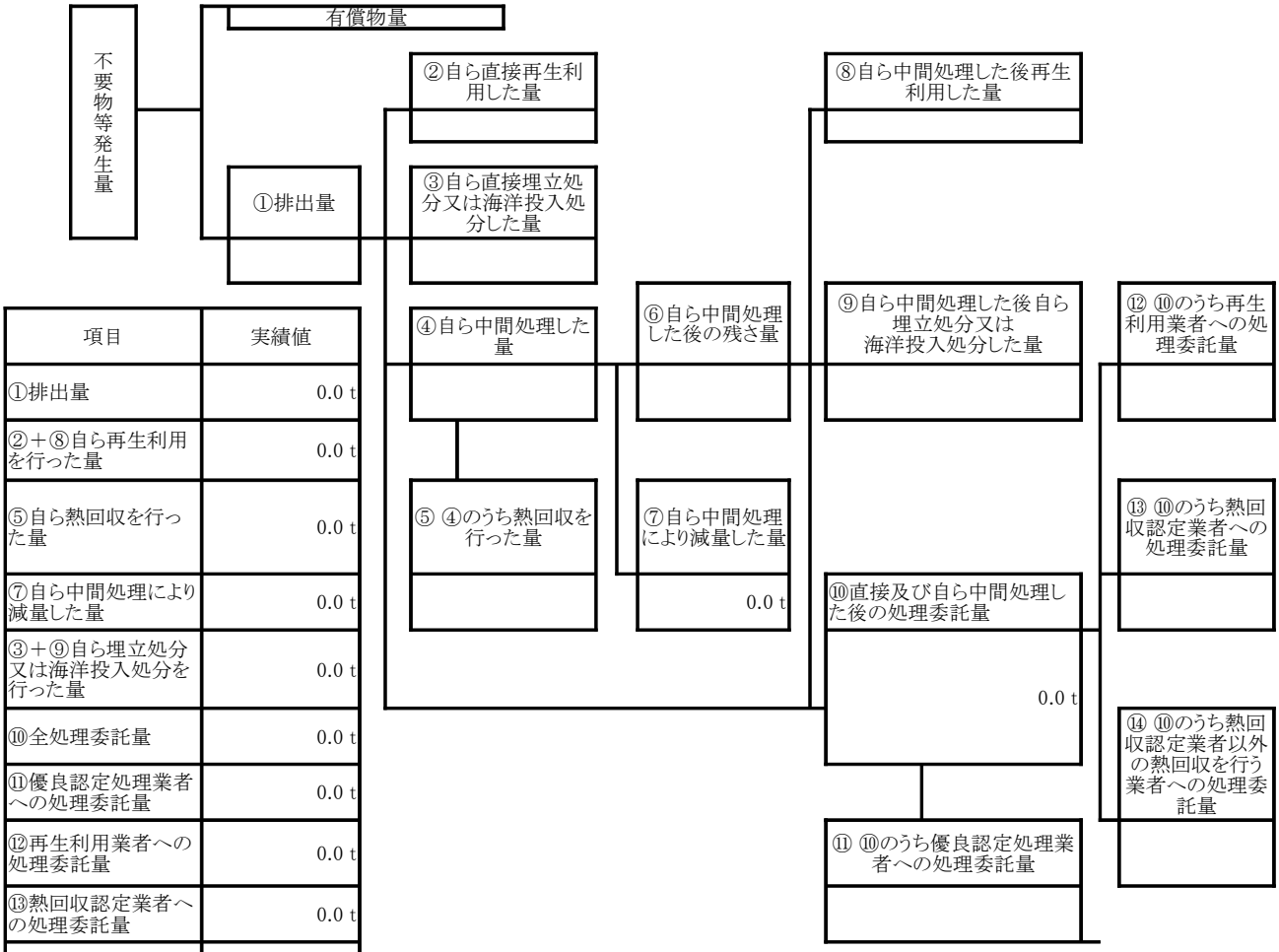
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



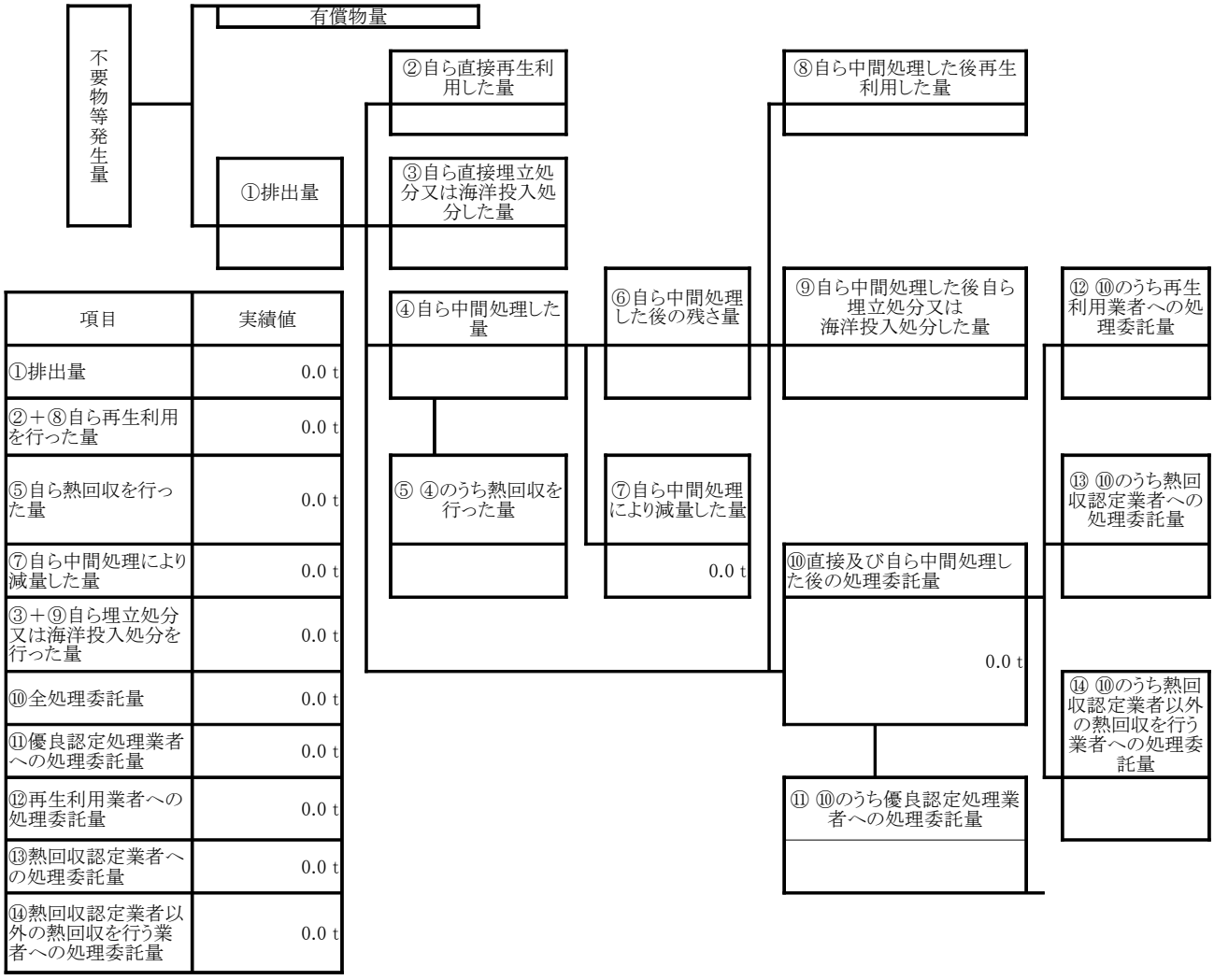
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



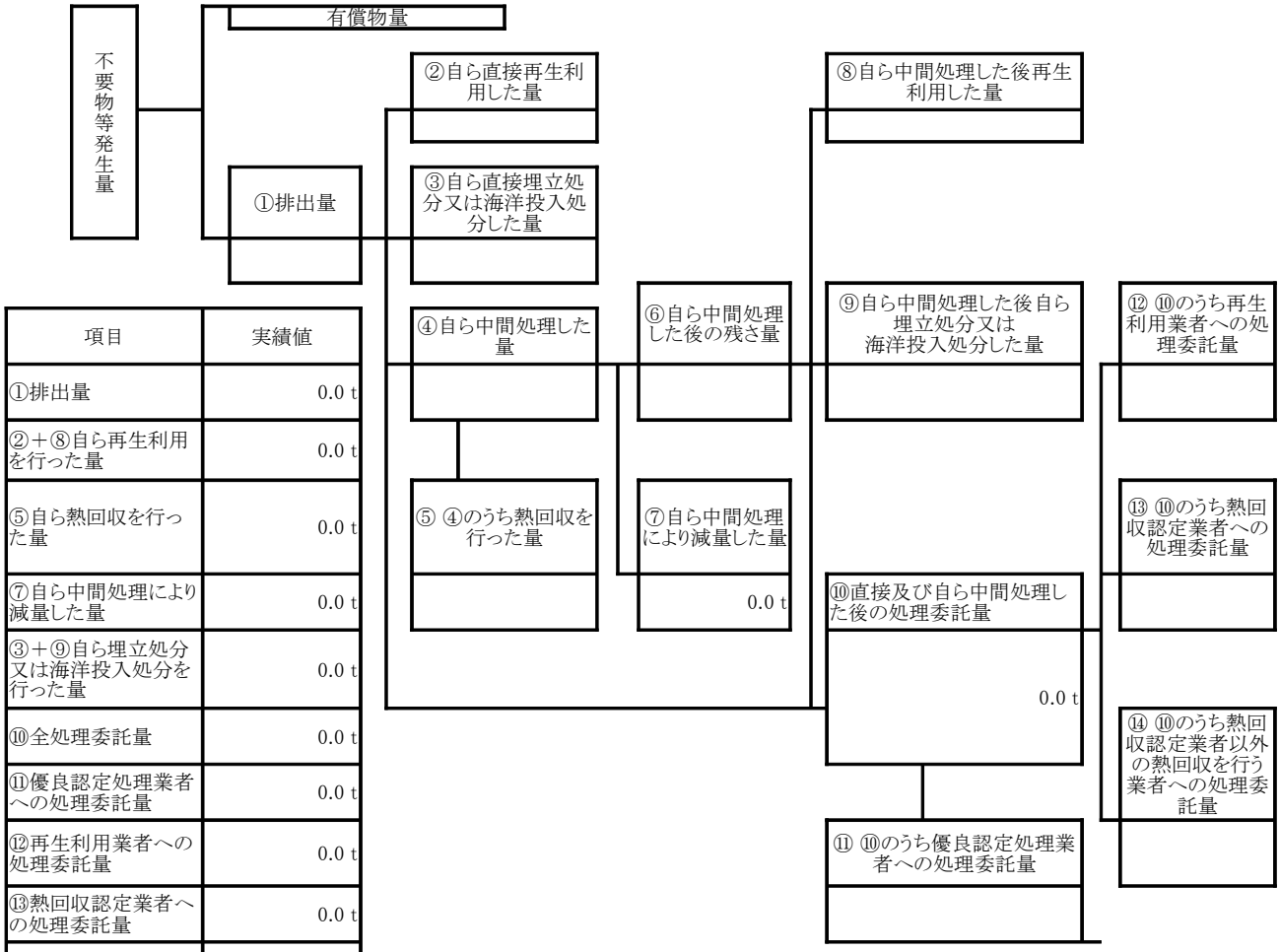
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　6月　18日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒

住　所　東京都西東京市芝久保町4-26-3

氏　名　株式会社東栄住宅
代表取締役　佐藤　千尋

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　042-463-2231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社東栄住宅
事業場の所在地	東京都西東京市芝久保町4-26-3
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高177,637百万円（前年度実績）
③　従業員数	789人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず⇒破砕・焼却⇒破砕後に再生利用、焼却は溶融固化して埋立 紙くず⇒圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立 金属くず⇒破砕・切断⇒再生利用 廃プラスチック類⇒破砕圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立 石膏ボード⇒破砕・切断⇒再生利用 その他のガラス陶磁器くず⇒破砕⇒埋立 がれき類⇒再生利用

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙1-1・1-2・1-3参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
排出量	212.702 t	151.656 t

（これまでに実施した取組）
・産業廃棄物の発生抑制と現場分別の徹底を図ること及び委託業者の選定・指導・教育を中心に進めることにより、排出量の削減及び再資源化率の向上を図っている。

・工程別に余剰材の管理を行い建設廃棄物の発生量の削減を図っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
排出量	210 t	155 t

（今後実施する予定の取組）
・引き続き、産業廃棄物の発生抑制と現場分別の徹底を図ること及び委託業者の選定・指導・教育を中心に進めることにより、排出量の削減及び再資源化率の向上を図る。

・引き続き、工程別に余剰材の管理を行い建設廃棄物の発生量の削減を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・大工・下請業者の指導・教育を中心に進め、工程別に発生した建設廃棄物を再資源化可能な品目毎に分別して保管することに努めている。
・別紙2分別ルール参照

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・引き続き、大工・下請業者の指導・教育を中心に進め、工程別に発生した建設廃棄物を再資源化可能な品目毎に分別して保管することに努める。
・別紙2分別ルール参照

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
全処理委託量	212.702 t	151.656 t
優良認定処理業者への処理委託量	137.785 t	98.241 t
再生利用業者への処理委託量	212.529 t	132.094 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.162 t	19.562 t

（これまでに実施した取組）

・東京都の優良業者認定制度の認定業者（産廃エキスパート・産廃プロフェッショナル）に委託している。
・処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認（経営状況、経営者の人柄、処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認を行っている。
・電子マニフェストの管理を本社で一元管理している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="6"></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>木くず</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>210 t</td><td>155 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>135 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>210 t</td><td>135 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>20 t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・引き続き、東京都の優良業者認定制度の認定業者（産廃エキスパート・産廃プロフェッショナル）に委託する。
・引き続き、処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認（経営状況、経営者の人柄、処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認をする。
・引き続き、電子マニフェストの管理を本社で一元管理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類	混合廃棄物			
		排　出　量	578.612 t	45.71 t	236.396 t	68.672 t	0.026 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類	混合廃棄物			
		排　出　量	575 t	46 t	230 t	66 t	0 t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類	混合廃棄物			
		全処理委託量	578.612 t	45.71 t	236.396 t	68.672 t	0.026 t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	374.815 t	29.61 t	153.133 t	44.485 t	0.017 t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	410.893 t	32.389 t	236.396 t	26.138 t	0.022 t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.439 t	8.678 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類	混合廃棄物			
		全処理委託量	575 t	46 t	230 t	66 t	0 t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	375 t	30 t	150 t	42 t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	410 t	32 t	230 t	24 t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	9 t	t	t	t	t	t	t

1.　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1)責任者及び管理組織図

別添組織図及び別添組織表参照

(2)管理体制の強化

①　管理体制(組織)

生産本部(本社)が中心となり、全社的に廃棄物処理に対応するための横断的な組織運営を行う。

②　管理方法

現場分別及び分別収集のより一層の定着を図る。

(3)教育・研修

発生する廃棄物の種類、発生状況、収集方法、収集に関する留意事項を整理し、従業員などに定期的に教育・研修などを行う。

○ 管理職環境管理研修

施工管理部長・課長を対象として、現場で発生する産業廃棄物の管理、収集などに係る法制度について、大幅な改正が行われる毎に行う研修制度

○ 廃棄物処理基礎研修

全ての生産本部所属社員及び関係業者を対象として、廃棄物関係法令、関係官庁の指導方針を周知、徹底するための教育・研修制度

○ 廃棄物処理委託業者実務研修

全ての廃棄物処理委託業者を対象として、会社の方針、廃棄物関係法令、関係官庁の指導方針を周知、徹底するための教育・研修制度

○ 廃棄物担当者実務研修

生産本部の本社所属メンバーは、上記3つの研修に先立って専門知識を習得するための研修会等に積極的に参加する。

別添組織表(構成と役割)

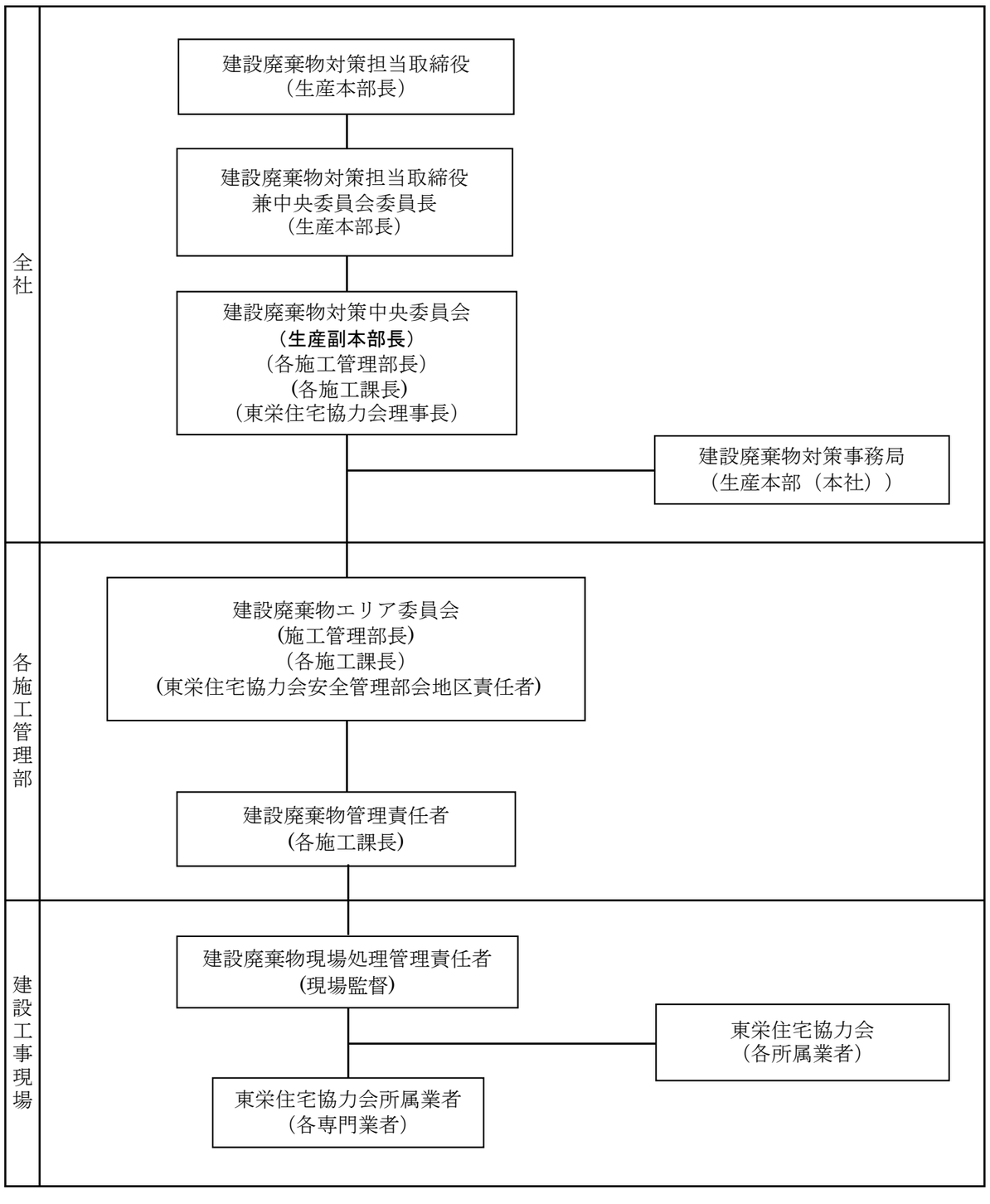
令和6年6月10日改定
別紙1-2

組織	構成	役割
建設廃棄物対策 担当執行役員	取締役　生産本部長	・建設廃棄物対策に関する経営判断 ・建設廃棄物対策に関する管理/指導 ・建設廃棄物管理組織の整備/監視 ・建設廃棄物管理規定の策定/改廃承認 ・建設廃棄物処理マニュアルの策定/改廃承認 ・建設廃棄物対策決定事項の承認
(本部設置) 建設廃棄物対策 中央委員会	委員長　：　取締役　生産本部長 委員　：　執行役員　生産副本部長 各施工管理部長 各施工課長 協力会理事長 委員長の指名による者	・建設廃棄物に関する事項を審議し、建設廃棄物の発生抑制/ 再使用/再資源化/適正処理及び再生資源の利用促進等、 計画的な建設廃棄物の管理運営の推進 ・建設廃棄物対策に関する基本方針/計画の策定 ・建設廃棄物処理委託業者指定の審議/選定 ・建設廃棄物管理規定の策定/改廃 ・建設廃棄物処理マニュアルの策定/改廃 ・建設廃棄物対策決定事項の策定 ・エリア委員会からのパトロール報告に対する検証、及び指導/助言
(本部設置) 建設廃棄物対策 事務局	事務局長　：　生産本部担当部長 局員　　：　生産本部本社社員	・建設廃棄物委託(基本)契約の締結/更新 ・多量排出事業者としての産業廃棄物処理計画の作成 ・再生利用計画/再生資源利用計画/再生資源利用促進計画の作成 ・各監督官庁への定期含む各種報告書作成/提出 ・電子マニフェストによる工事現場ごとの実績把握/一元管理保管 ・関係法令/ガイドライン改正及び監督官庁行政指導内容の周知 ・中央委員会の承認事項に対する「決定事項」の発行 ・社員/協力業者に対する教育/啓発活動実施 ・各部署に対する情報提供/業務処理支援 ・その他建設廃棄物対策に関して必要な事項
(施工管理部に設置) 建設廃棄物対策 エリア委員会	委員長　：　施工管理部長 委員　：　各施工課長 協力会安全部会責任者 委員長の指名による者	・中央委員会/事務局からの指示事項の各現場での徹底管理 ・建設廃棄物に関する現場情報についての審議 ・再生利用計画/再生資源利用計画/再生資源利用促進計画の管理運営 ・委託処理業者及びその処理経路の産廃施設・リサイクル施設に対する 定期的な視察・改善指導 ・建設工事現場へのパトロール及び指導/助言

令和2年4月1日改定

別添組織図

建設廃棄物処理管理組織



別添組織図

建設廃棄物処理管理組織

1 建設廃棄物対策担当取締役は社長による委嘱を受ける
2 建設廃棄物対策担当取締役は建設廃棄物に関連する経営判断を行う

3 建設廃棄物対策担当取締役は建設廃棄物に関連する業務の執行を行う
4 建設廃棄物対策担当取締役は中央委員会委員長を兼任する

5 中央委員会は建設廃棄物管理に関しての企画立案を行う
6 中央委員会は生産副本部長・各施工管理部長・施工課長、協力会理事長などにより構成される
7 中央委員会は事務局の計画提案事項などを審議する

8 建設廃棄物対策事務局は中央委員会委員長による選任を受ける
9 事務局は中央委員会の指導の下で実務を担当する
10 建設廃棄物対策事務局は審議の結果に対し決定事項の発行を行う

11 エリア委員会は施工管理部の部長・施工課長、協力会安全部会地区責任者などにより構成される
12 エリア委員会は中央委員会からの伝達や各エリアの意見の集約と審議を行う

13 各施工課長はエリア委員会と現場との意思疎通を図る

14 現場監督は各現場において各施工課長からの指示に従い、指示監督を行う
15 現場監督は各現場において自己見解や業者からの意見を集約して課長へ提案を行う

建設廃棄物　分別・保管ルール　（2023.12改定版）

飯田グループホールディングス
株式会社東栄住宅

別紙2

1. 下記9品目での分別を徹底して下さい。 全ての品目が水濡れ厳禁です。
2. 半透明ガラ袋に袋詰めまたはPPバンドで結束し、指定場所に保管して下さい。
3. 袋詰め及び結束した際の重量は、20ｋｇ（目安）までとして下さい。
4. 木材や石膏ボードなどの長物は、必ず1m以内にカットして下さい。
5. 返品（再利用）可能な資材は室内等に保管して下さい。
6. 保管スペースに空きがない場合や、ガラ袋が不足している場合は担当監督へ連絡して下さい。
7. フレコン・コンテナを採用している現場についても、同様の対応をお願いします。
8. 分別・保管ルールの徹底及び現場美化にご協力ください。

1. 木くず

※おがくず・かんなくずは必ず袋詰めし、口を縛る
※釘・ビスは外して金属類に分別



2. 紙くず（ダンボール）

※付着しているテープ類は剥がして混合廃棄物に分別
※テープでの結束は不可



3. 紙くず（ダンボール以外）

※付着しているテープ類は剥がして混合廃棄物に分別



4. 石膏ボード

※切削粉は必ず袋詰めし、口を縛る
※釘・ビスは外して金属類に分別



5. ガラス・陶磁器類

・タイル
・グラスウール
・ケイカル板　など



6. 廃プラスチック類

・ＰＰバンド　　・プラスチック、ビニール類
・ビスベルト　　・発泡スチロール
・ロール釘空容器　・塩ビパイプ
・透湿防水シート　　など




7. 金属類

・釘、ビス
・板金、鋼製部材
・シーリング材の金属容器
など




8. がれき類

・コンクリートブロック破片　など



9. その他（混合廃棄物）

・複合資材など、分別が困難なもの
・テープ類及びテープ類と分別が出来ない状態にある資材
・糊やパテ、セメントなどが付着した資材
・著しく汚れている資材　　など

■サイディング材・屋根材関係に関する注意事項

【共通】
・切削粉は必ず袋詰めし、口を縛る
・パレットはメーカー回収とする

シングルセメント、プライマー・補修用塗料・シーリング材等の
使い切っていない商品に関しては再利用を目的に持ち帰りとする
使い切った商品の容器及び完全に硬化した物についての廃棄は可
（上記溶剤についての収集・処分は出来ませんのでご注意ください）

【産廃業者回収物件（エリア）】
・廃棄物は商品（メーカー）ごとに分別する
・回収作業に配慮した荷姿・重量で保管する

■必ず持ち帰って下さい！！

【一般廃棄物　他】
・空缶・ペットボトル
・弁当容器
・新聞、雑誌
・生ゴミ
・作業着、工具類
など



④産業廃棄物の一連の処理の工程

木くず⇒破砕・焼却⇒破砕後に再生利用、焼却は溶融固化して埋立
紙くず⇒圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立
金属くず⇒破砕・切断⇒再生利用
廃プラスチック類⇒破砕圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立
石膏ボード⇒破砕・切断⇒再生利用
その他のガラス陶磁器くず⇒破砕⇒埋立
がれき類⇒再生利用
混合廃棄物⇒選別・破砕・焼却⇒選別・破砕後に各品目に振り分け、焼却は溶融固化して埋立
繊維くず⇒圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒
住 所　　東京都西東京市芝久保町4-26-3
氏 名　　株式会社 東栄住宅
代表取締役　佐藤 千尋
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　042-463-2231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社東栄住宅
事業場の所在地	東京都西東京市芝久保町4-26-3
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

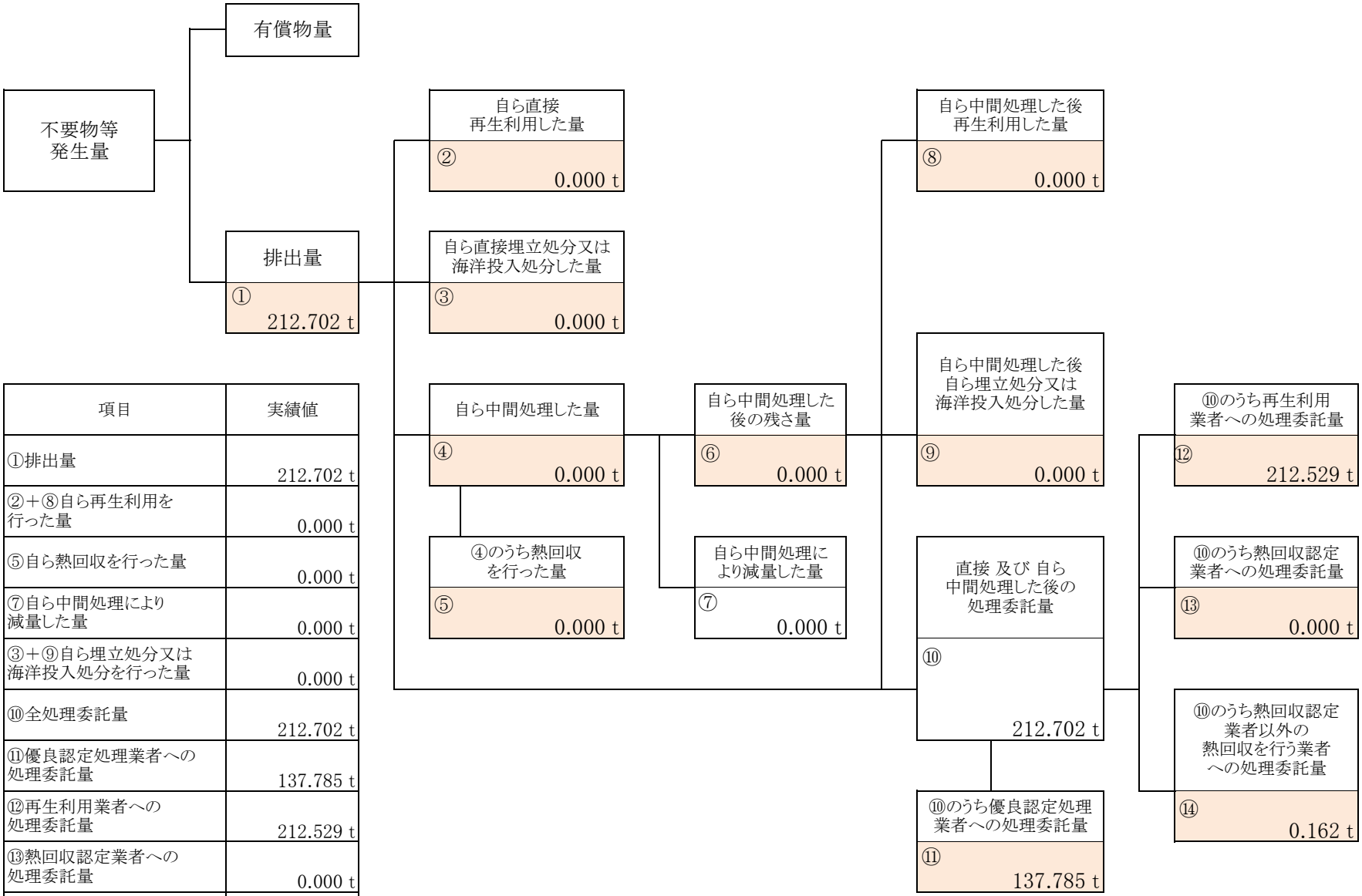
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1557.0 t	全処理委託量	1557.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	253.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1351.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	8.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

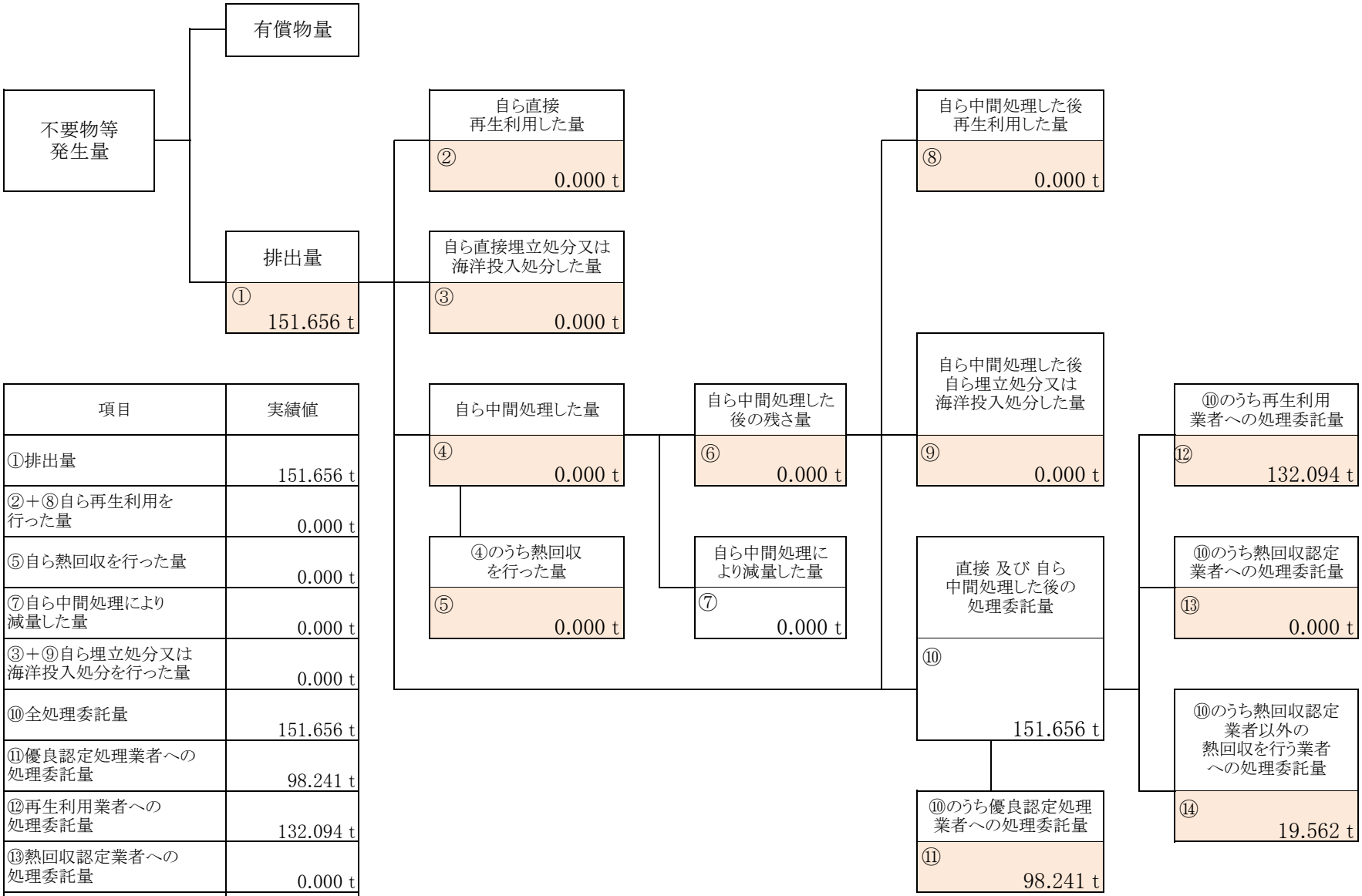


項目	実績値
①排出量	212.702 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	212.702 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	137.785 t
⑫再生利用業者への処理委託量	212.529 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.162 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

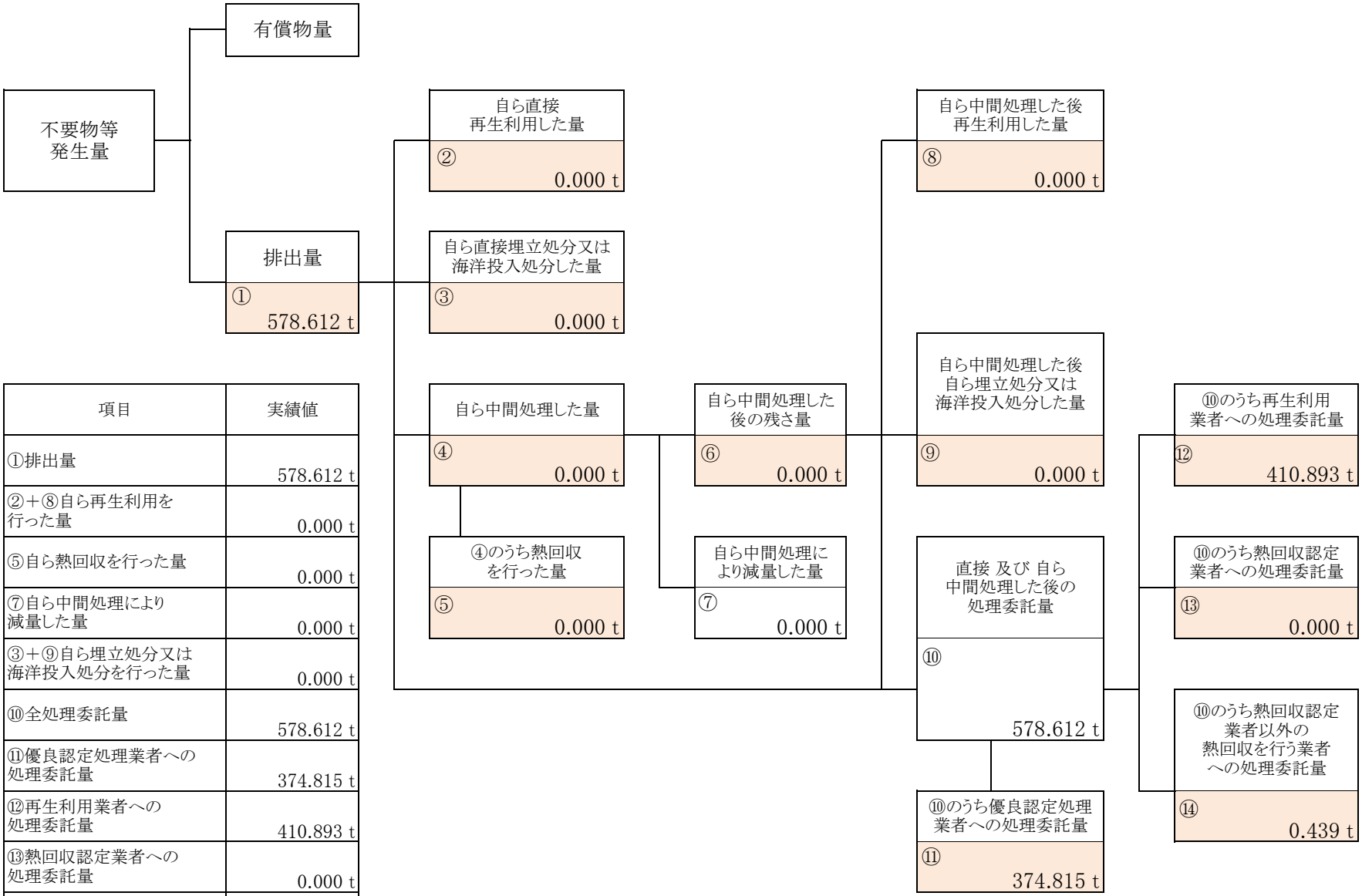


項目	実績値
①排出量	151.656 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	151.656 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	98.241 t
⑫再生利用業者への処理委託量	132.094 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	19.562 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **ガラ陶** ）

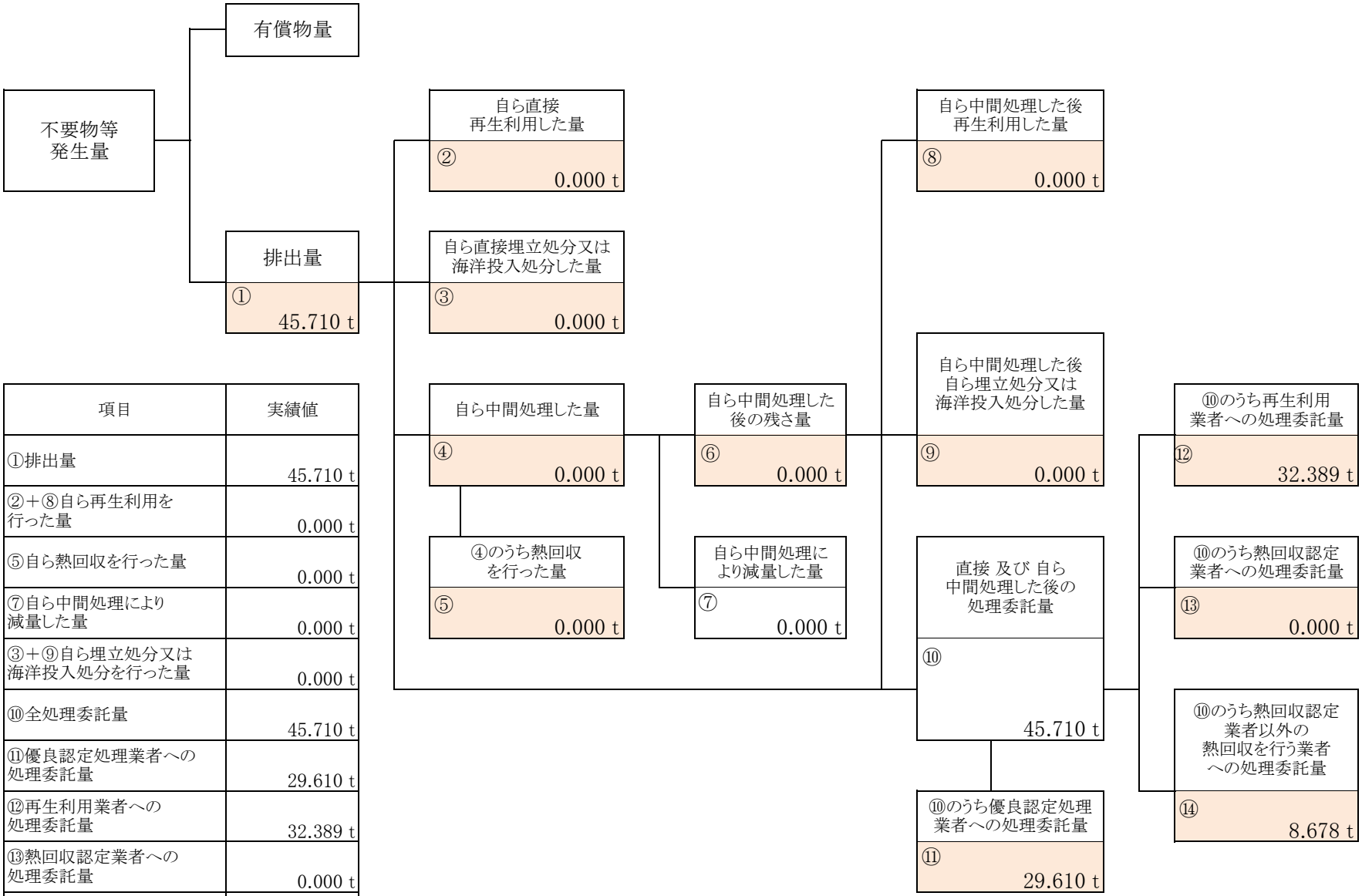


項目	実績値
①排出量	578.612 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	578.612 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	374.815 t
⑫再生利用業者への処理委託量	410.893 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.439 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 廃プラ ）

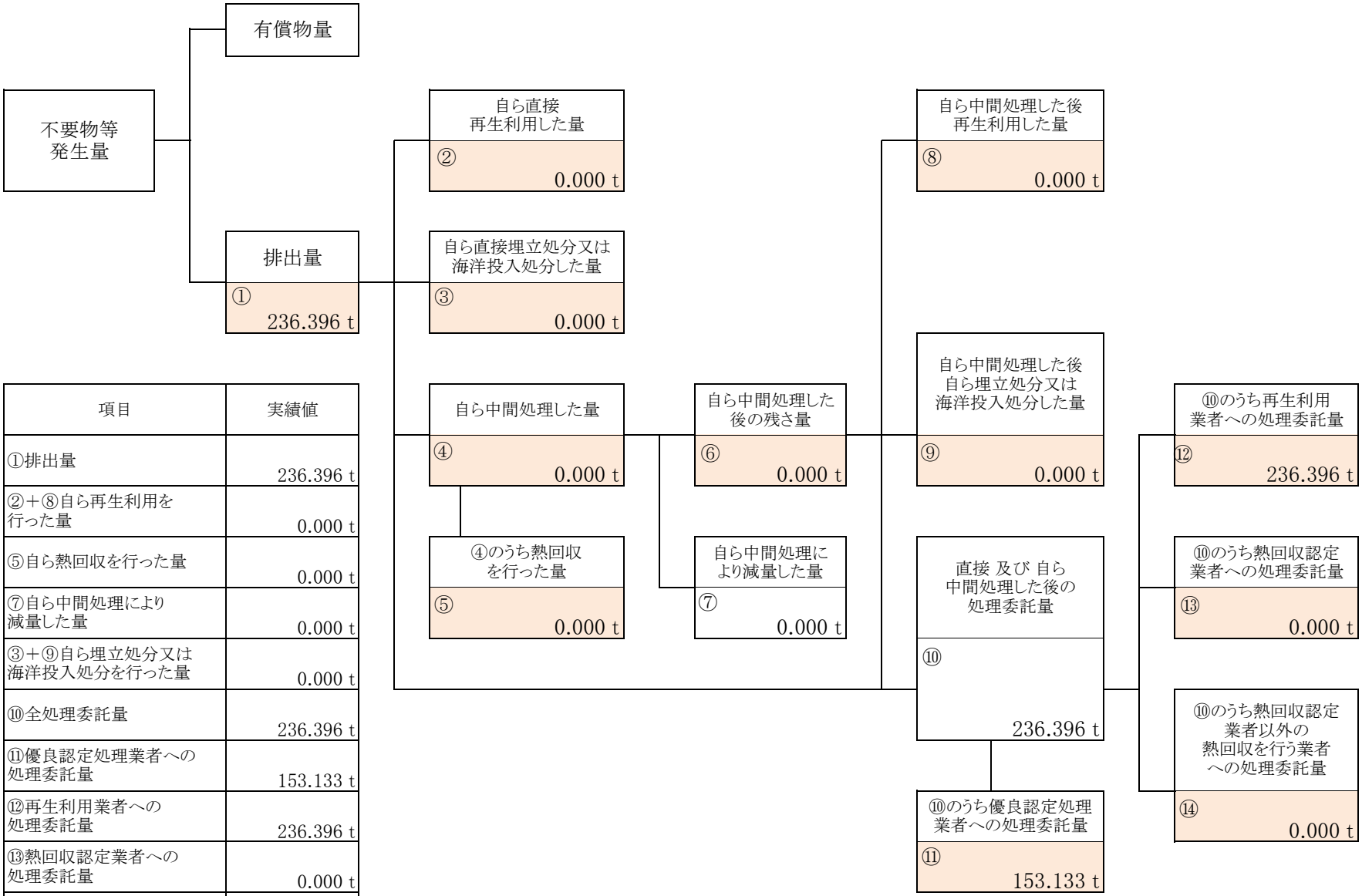


項目	実績値
①排出量	45.710 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	45.710 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.610 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.389 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	8.678 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

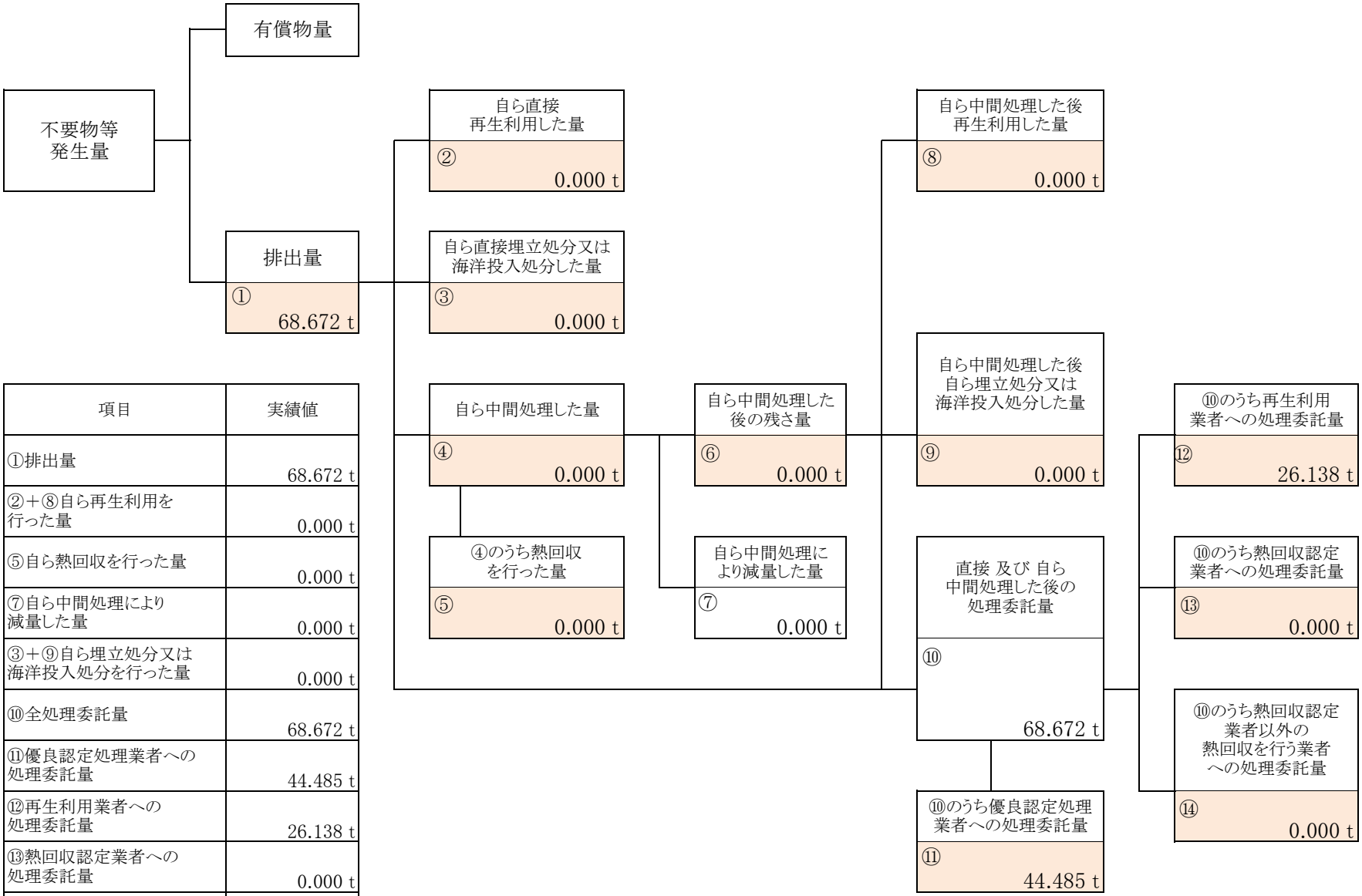


項目	実績値
①排出量	236.396 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	236.396 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	153.133 t
⑫再生利用業者への処理委託量	236.396 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

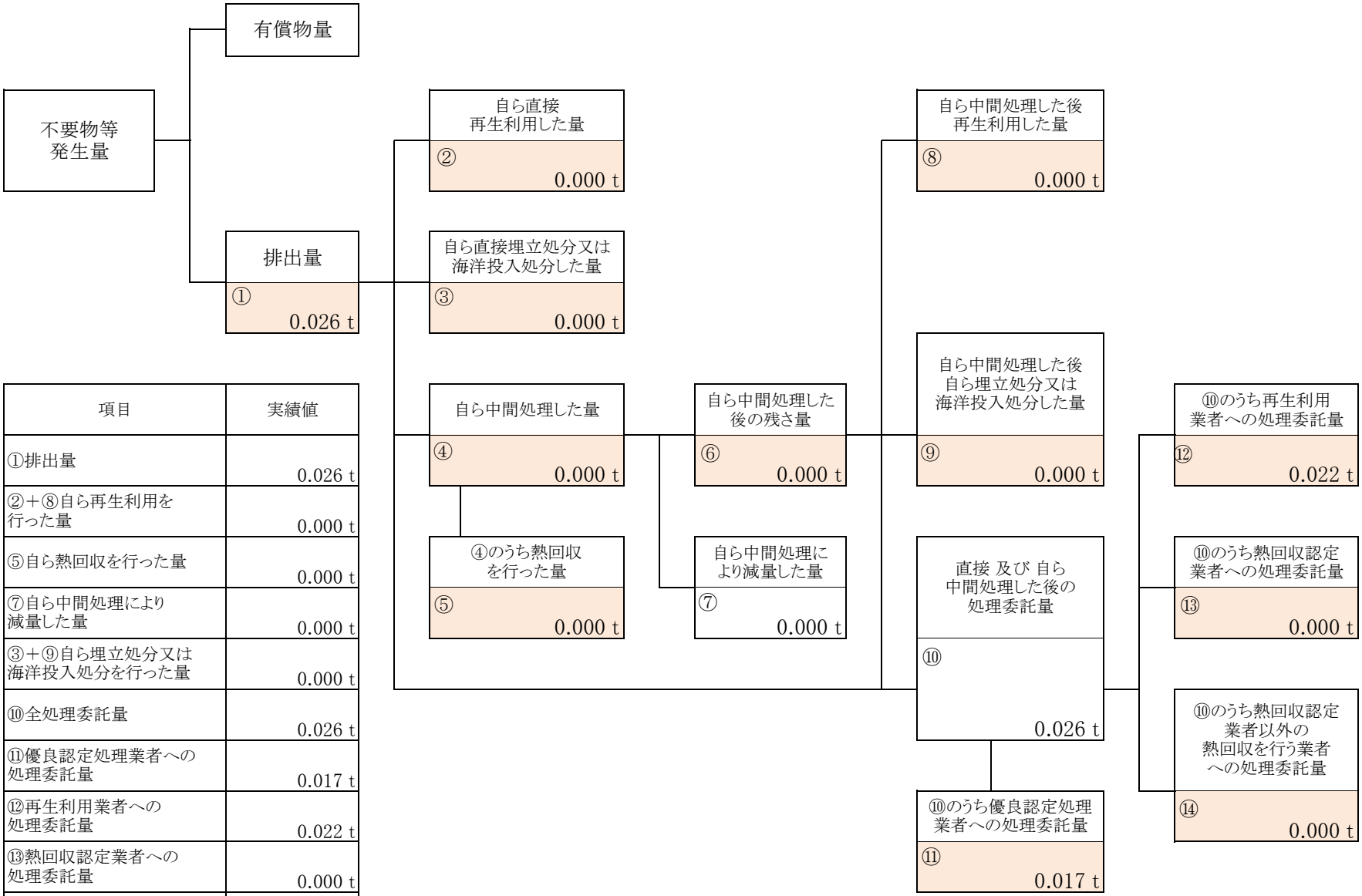


項目	実績値
①排出量	68.672 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	68.672 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.485 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.138 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	0.026 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.026 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.017 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.022 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 4日

千葉県知事　熊 谷 俊 人 殿

提出者

住 所　千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202

東 海 建 設 株 式 会 社

氏 名　代表取締役　平 田 剛 久

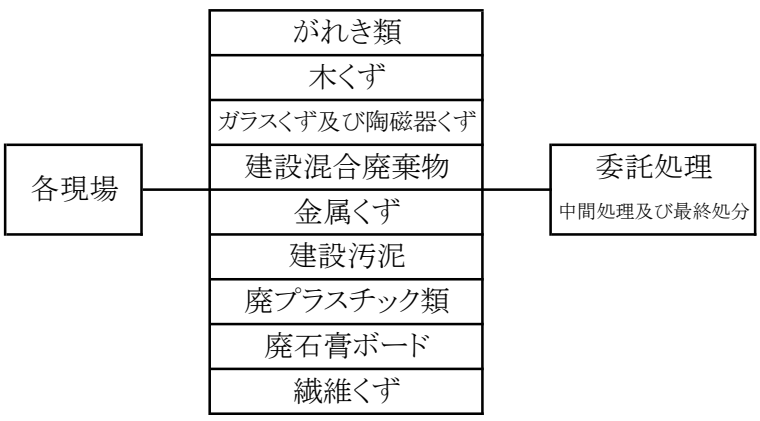
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0470－57－4050

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

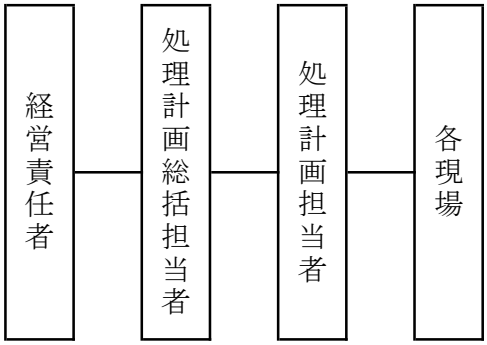
事 業 場 の 名 称	東海建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202　現場:南房総市
計　画　期　間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
② 事業の規模	30億円
③ 従業員数	47人（正社員40人、常勤関係職員7人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 （ 5年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排　出　量	457.27 t	320.94 t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排　出　量	2,100.00 t	330.00 t
	（今後実施する予定の取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。		

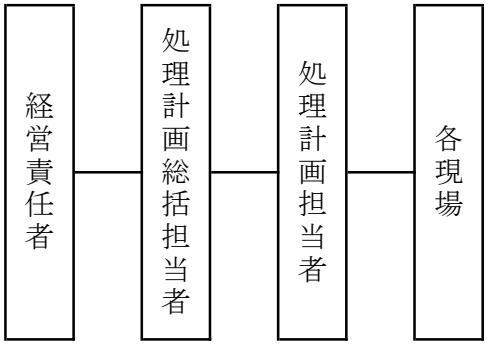
産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙1）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 5年度） 実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設混合廃棄物
排　出　量	6.06 t	175.23 t

（これまでに実施した取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設混合廃棄物
排　出　量	30.00 t	80.00 t

（今後実施する予定の取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

② 計画

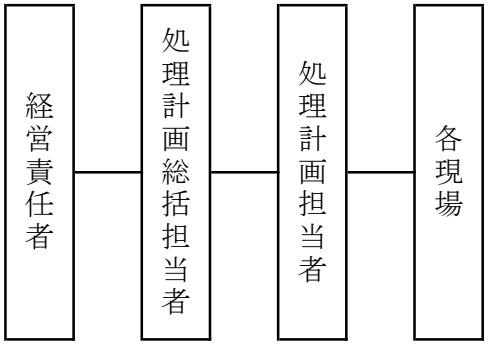
（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙2）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 5年度） 実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
排　　出　　量	0.00　t	0.01　t

（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
排　　出　　量	5.00　t	3.00　t

（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

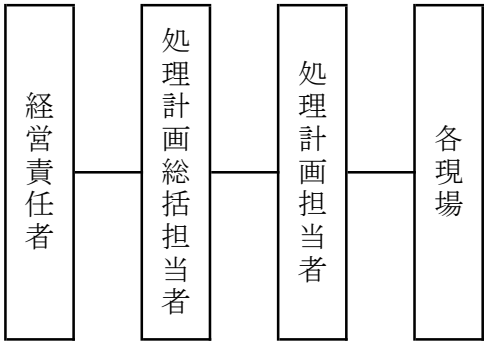
② 計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙3）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 5年度） 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃石膏ボード
排　　出　　量	18.73　t	26.81　t

（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃石膏ボード
排　　出　　量	16.00　t	18.00　t

（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

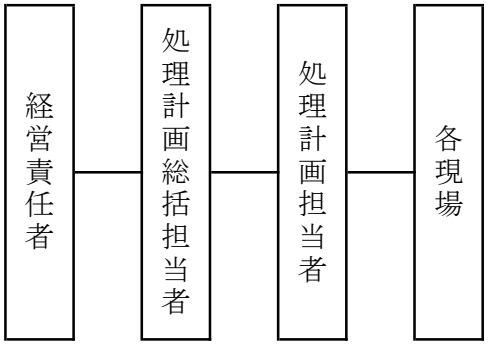
産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙4）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 5年度） 実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類(石綿含有)
排　　出　　量	0.00　t	16.20　t

（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類(石綿含有)
排　　出　　量	1.00　t	10.00　t

（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度 （ 5年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度 （ 5年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	457.27 t	320.94 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。		

（別紙1）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず及び陶磁器くず</td><td>建設混合廃棄物</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>6.06 t</td><td>175.23 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

（別紙2）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.01 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

（別紙3）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>廃石膏ボード</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>18.73 t</td><td>26.81 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

（別紙4）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 5年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>繊維くず</td><td>がれき類(石綿含有)</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>16.2 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">② 計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>2,100.00 t</td><td>330.00 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

（別紙1）

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず及び陶磁器くず</td><td>建設混合廃棄物</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量</td><td>30.00 t</td><td>80.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

（別紙2）

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>5.00 t</td><td>3.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

（別紙3）

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>廃石膏ボード</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>16.00 t</td><td>18.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

（別紙4）

<table>
<tr><td></td><td>① 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>繊維くず</td><td>がれき類(石綿含有)</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1.00 t</td><td>10.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1，000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 4日

千葉県知事　熊 谷 俊 人 殿

提出者

住 所　千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202

東 海 建 設 株 式 会 社

氏 名　代表取締役　平 田 剛 久

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0470－57－4050

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

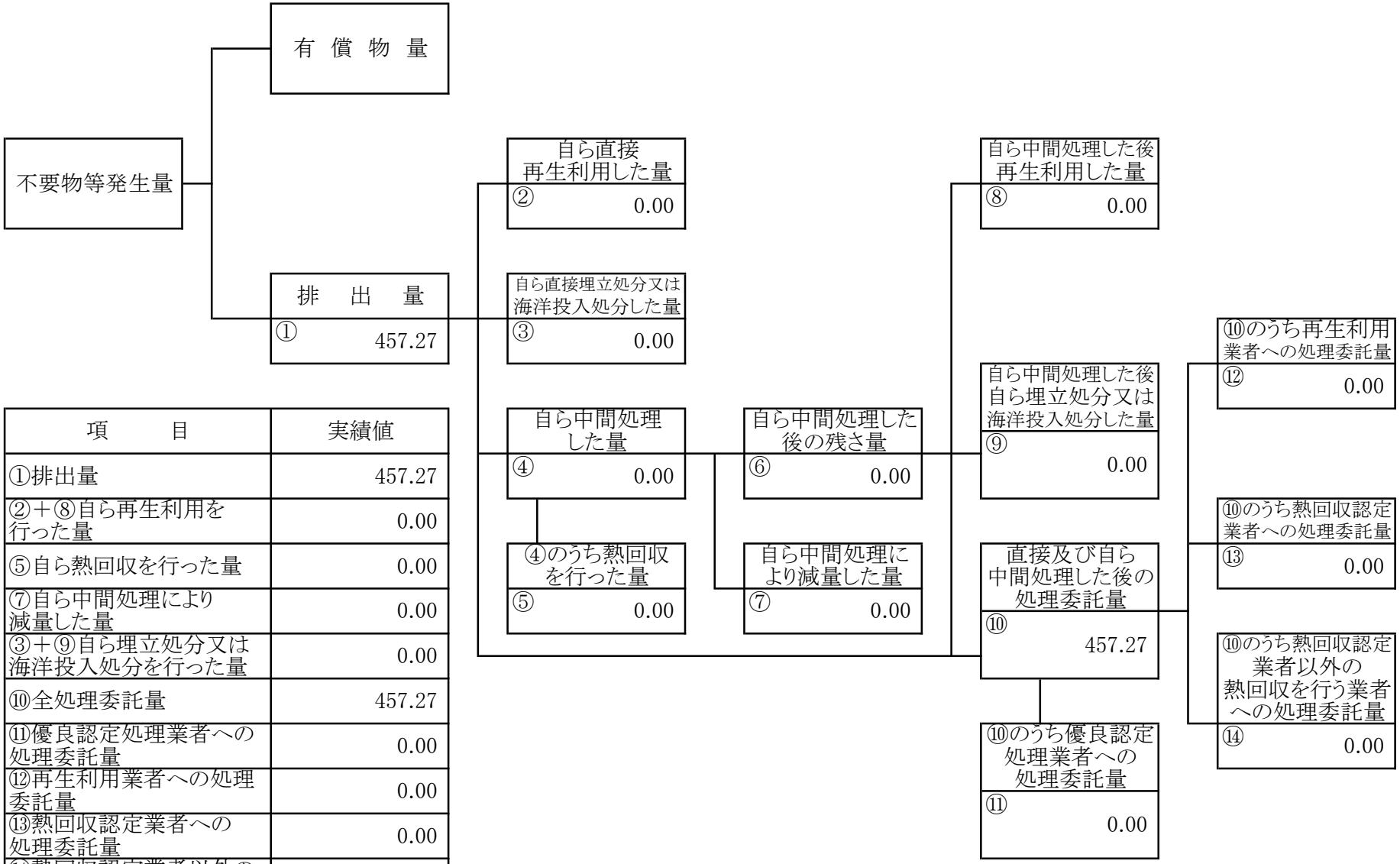
事 業 場 の 名 称	東海建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202　現場:南房総市
事 業 の 種 類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計 画 期 間	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項 目	目 標 値	項 目	目 標 値
排 出 量	2,593.00 t	全処理委託量	2,593.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t

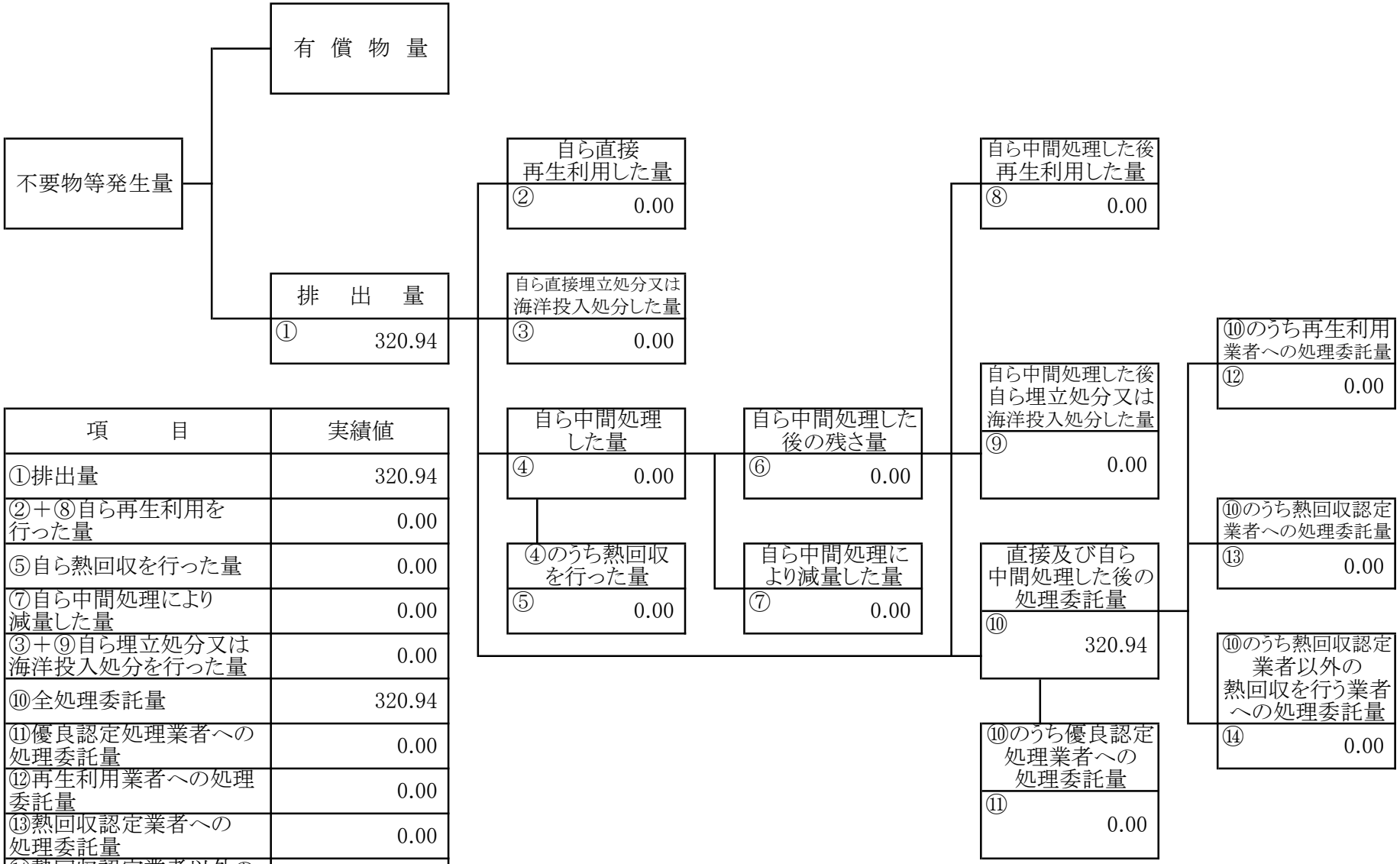
※ 事務処理欄	

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



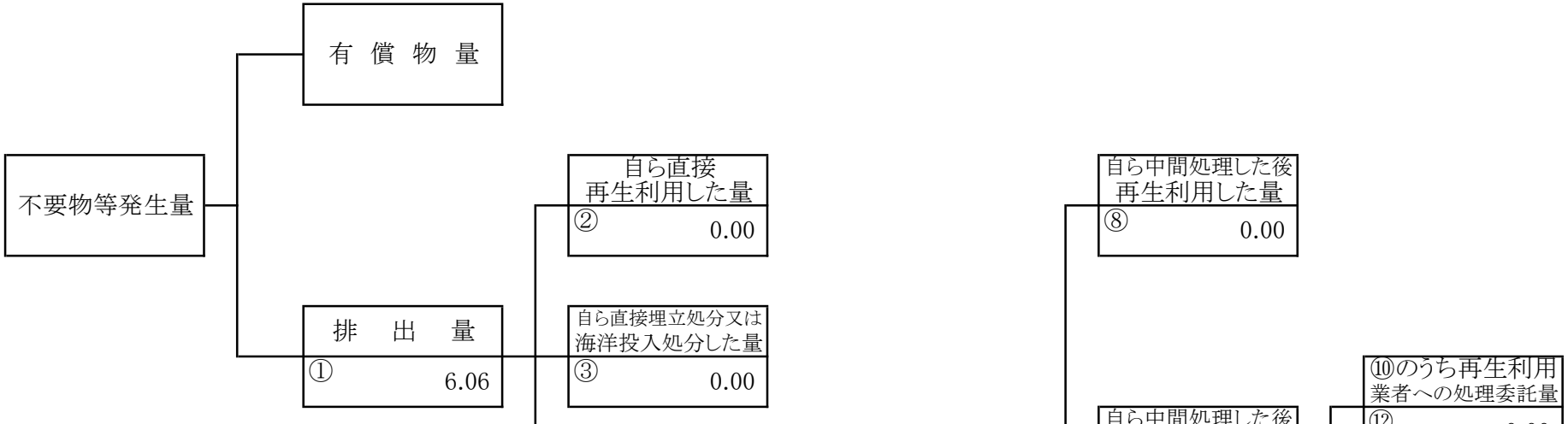
項　　目	実績値
①排出量	457.27
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	457.27
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



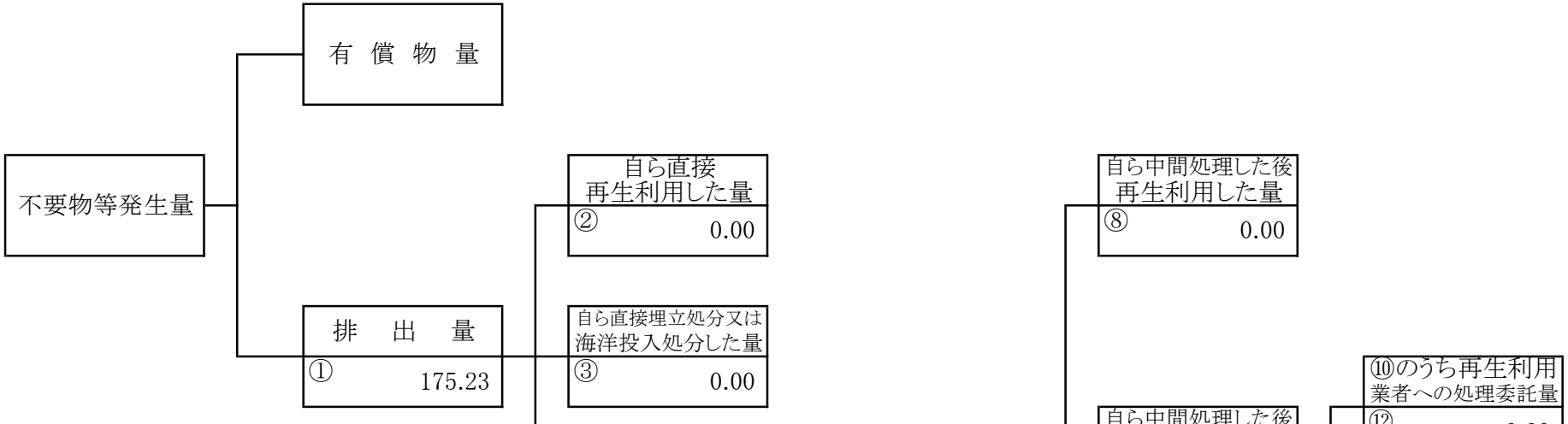
項　　目	実績値
①排出量	320.94
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	320.94
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類 ： ガラスくず及び陶磁器くず　　）



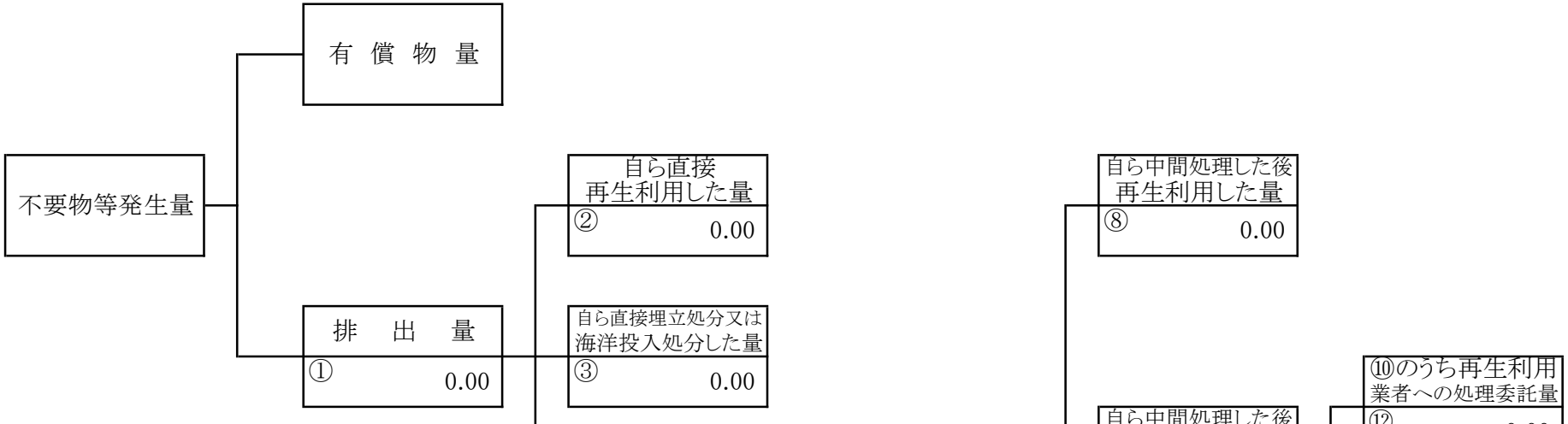
項　　目	実績値
①排出量	6.06
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）



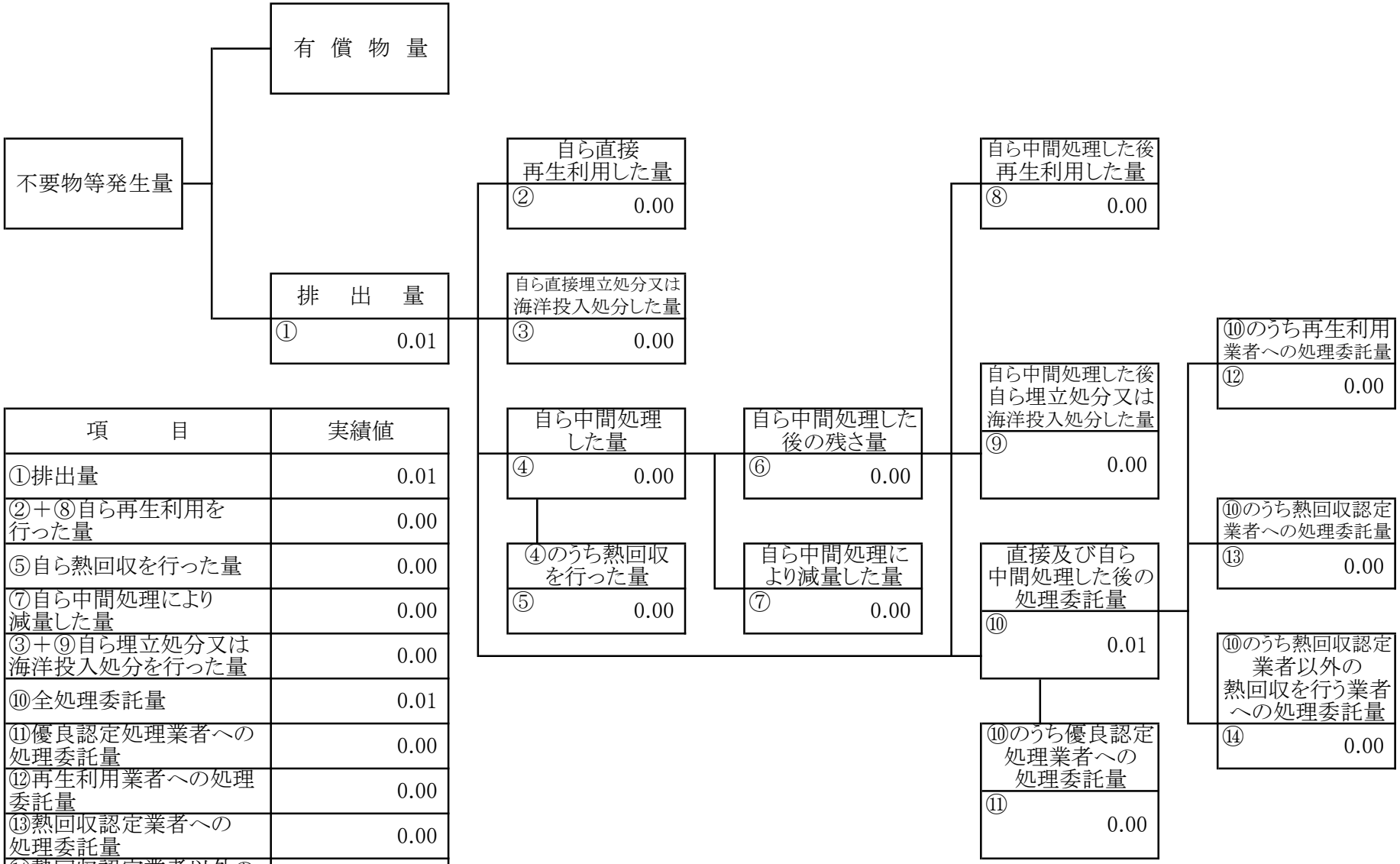
項　　目	実績値
①排出量	175.23
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	175.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



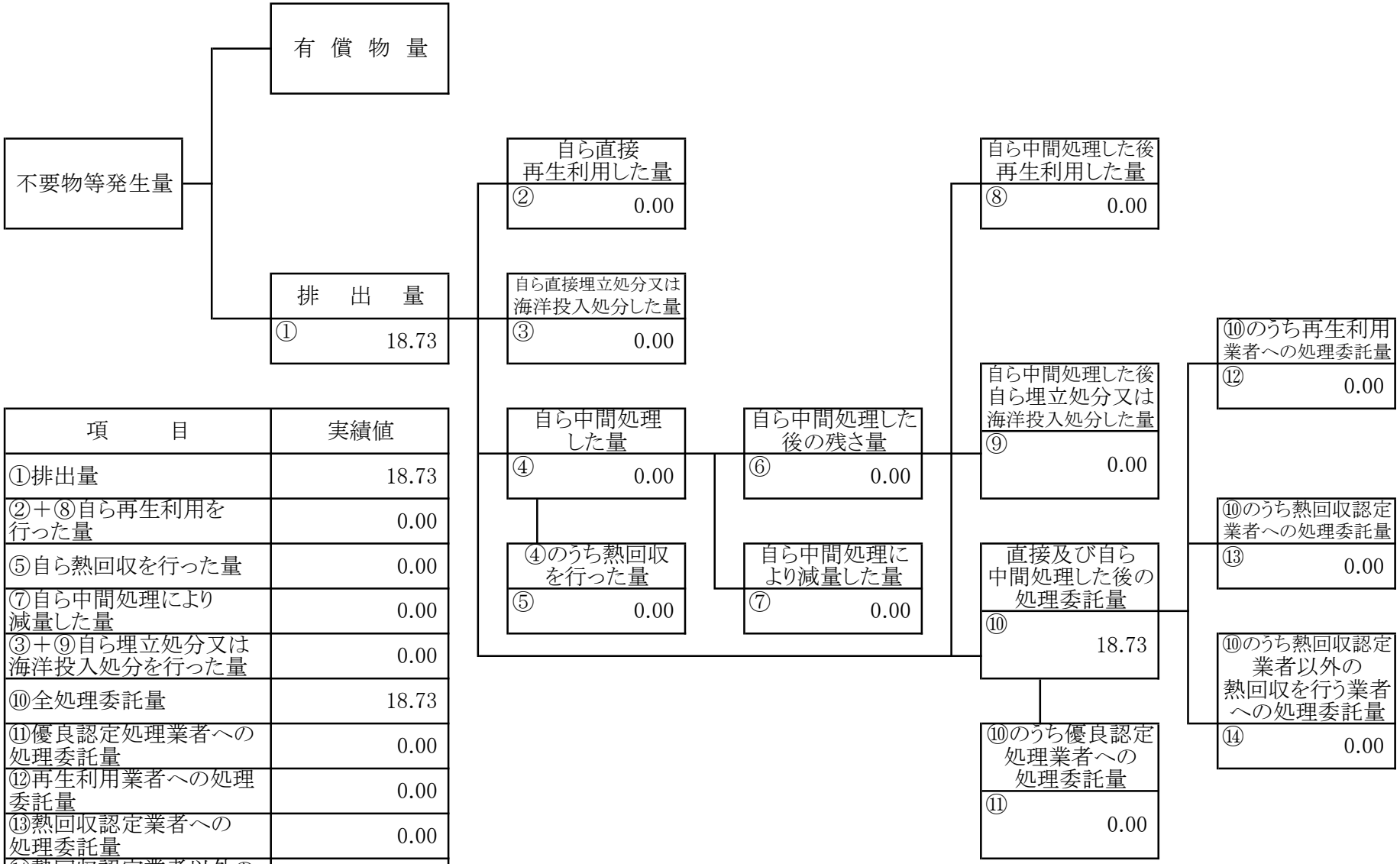
項　　目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）



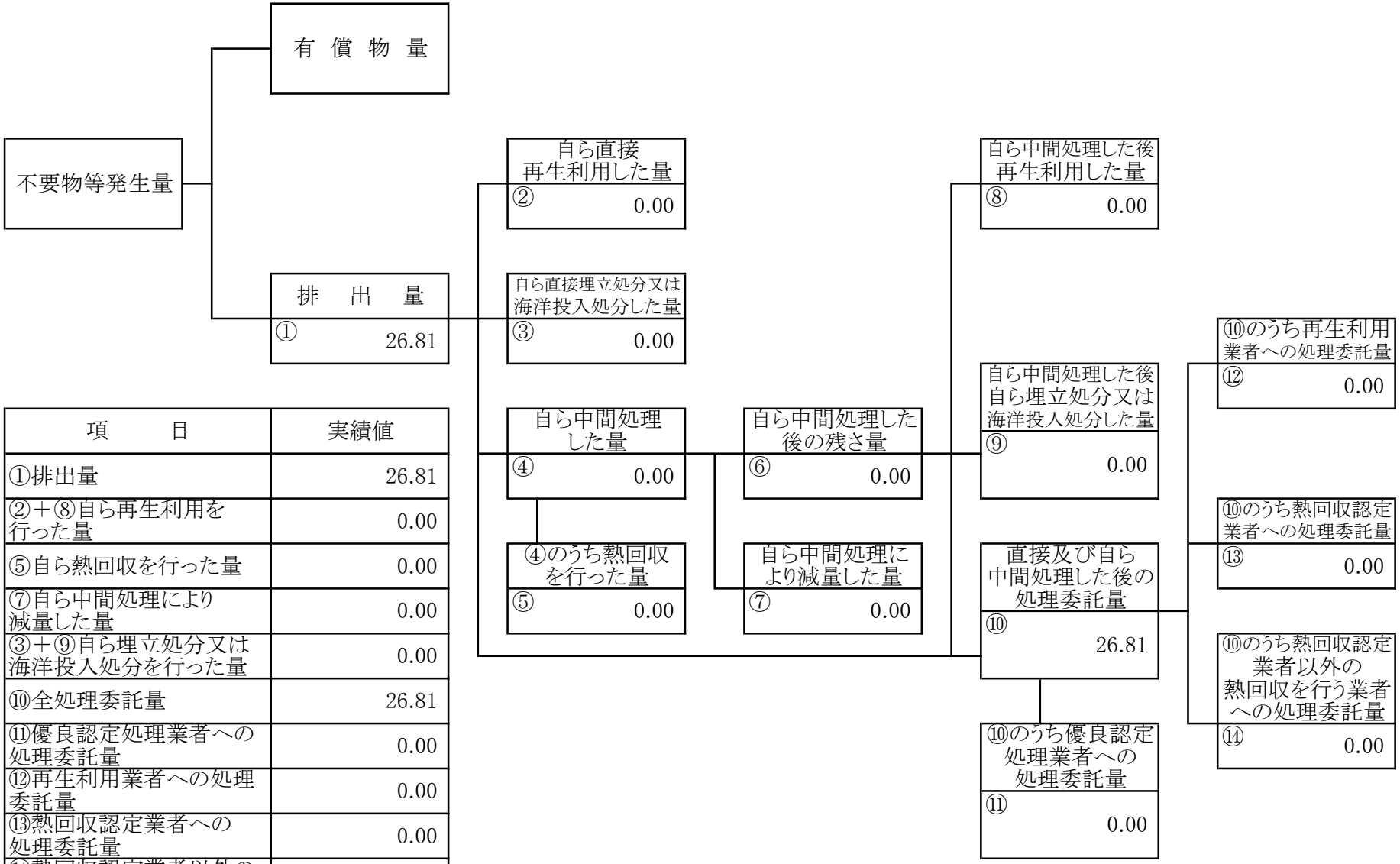
項　　目	実績値
①排出量	0.01
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）



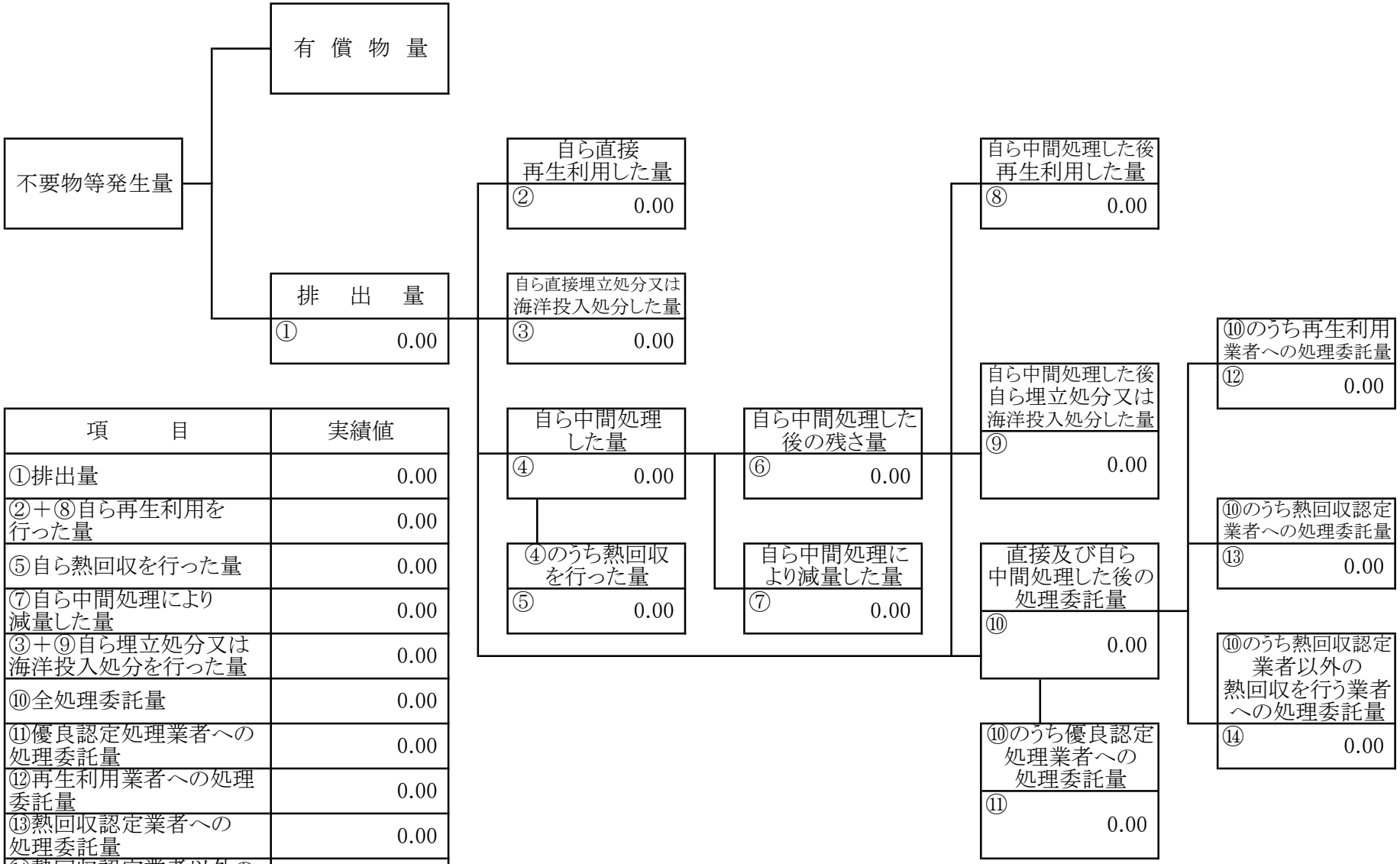
項　　目	実績値
①排出量	18.73
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	18.73
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃石膏ボード　　）



項　　目	実績値
①排出量	26.81
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	26.81
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

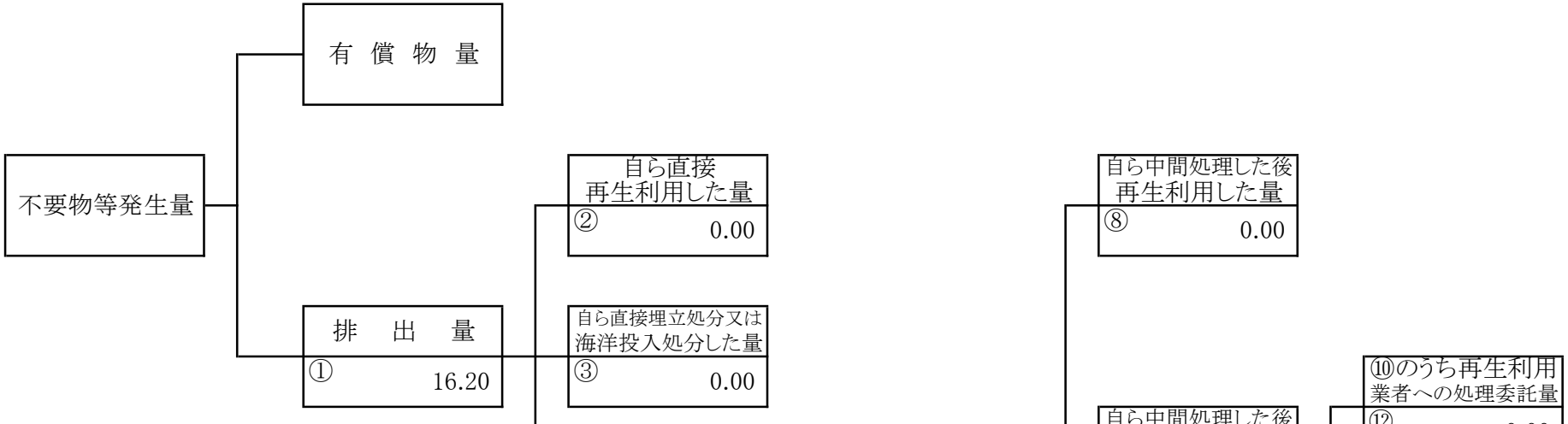
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）



項　　目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 ： がれき類(石綿含有) ）



項　　目	実績値
①排出量	16.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに⑴から⑭に掲げる量を記入すること。

⑴　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

⑵　②欄　⑴の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

⑶　③欄　⑴の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑷　④欄　⑴の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

⑸　⑤欄　⑷の量のうち、熱回収を行った量

⑹　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

⑺　⑦欄　⑷の量から⑹の量を差し引いた量

⑻　⑧欄　⑹の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

⑼　⑨欄　⑹の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

⑽　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

⑾　⑪欄　⑽の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

⑿　⑫欄　⑽の量のうち、処理業者への再生利用委託量

⒀　⑬欄　⑽の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

⒁　⑭欄　⑽の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年4月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　150-8340

住　所　東京都渋谷区渋谷1-16-14　渋谷地下鉄ビル

法人名　東急建設株式会社　東日本土木支店

代表者　山本 博司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5466-5023

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東急建設株式会社　東日本土木支店（習志野鷺沼放流幹線建設工事他）
事業場の所在地	千葉県習志野市鷺沼台４丁目地内他
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　2,107（百万円）
③従業員数	186人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・産業廃棄物発生フロー　（別表－1）参照 ・処理等工程図　（別表－2）参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

・建設副産物対策管理組織図　（別表－３）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別表４のとおり	
排出量	4115 t	t

（これまでに実施した取組）

・支店にて廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目を実施
(ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、ﾊﾟﾈﾙ化、ﾌﾟﾚｶｯﾄ化等の推進)
(鋼製型枠・樹脂型枠、ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ等の使用)
(分別の徹底による有価物の売却等)
(広域認定、再生利用指定制度の積極活用)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別表４のとおり	
排出量	3000 t	t

（今後実施する予定の取組）

・ﾒｰｶｰﾘｻｲｸﾙである広域認定制度の利用促進・建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組み推進
(納入時の荷姿、梱包材の簡略化)
・発生削減重点品目を「廃プラ類」「混合廃棄物」の２品目とし、年度毎の廃棄物削減目　標数量を定め管理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・重点品目の分別徹底(廃プラ類の多品目分別)を設定して管理している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・作業所状況に応じた分別品目を設定し、可能な限り分別に努める。

・廃棄物に関する教育を実施し、分別意識の向上を図る。

・廃棄物に関する好取組事例等を作業所に水平展開する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表４のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
･設計、施工条件等が合えば、がれき類･建設汚泥等の再生利用を行うよう努めている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表４のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
･積極的に再生利用行うよう努めていきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表４のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
･これまでに、自社で熱回収・中間処理を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表４のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・今後も、自社で熱回収・中間処理を行う予定はない。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別表４のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別表４のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

・今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		別表４のとおり	
全処理委託量		4115 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1067 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3048 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

・定期的に処理施設の視察を実施し、その情報を関係者で共有している。

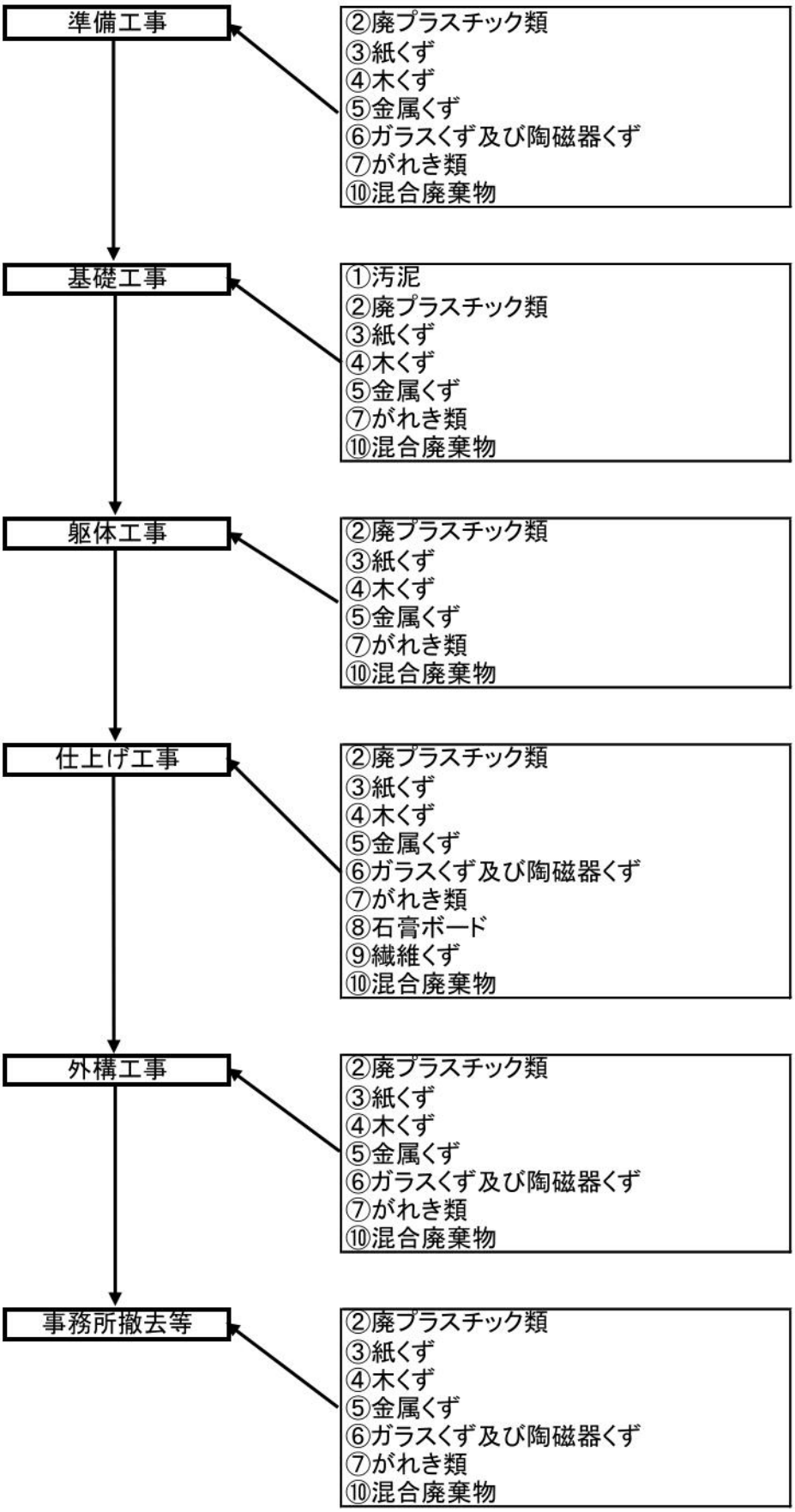
・複数の業者の処理料金を比較している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別表４のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>3000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>310 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2690 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物発生フロー　　（別表－1）

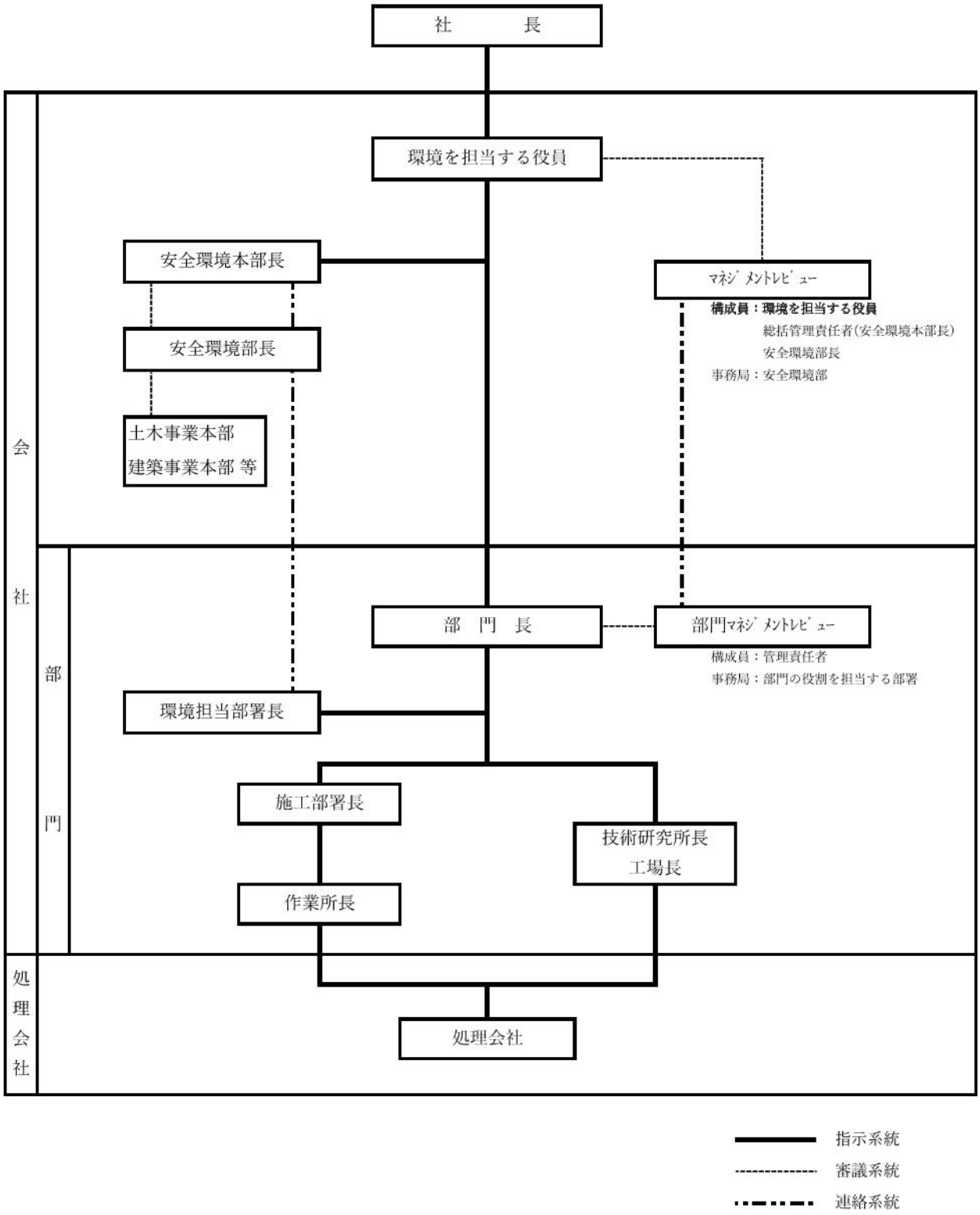
建設工事　　（一般的な建設工事での産業廃棄物発生フローを示す）



処理等工程図　　（別表-2）

	廃棄物の種類	処理等工程	備考
①	汚泥	収集運搬→委託処理【中間処理(脱水・凝集固化、天日乾燥)】→再生(建設資材)	
②	廃プラスチック類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料・燃料)→最終処分(安定型埋立)	
③	紙くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)	
④	木くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)	
⑤	金属くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)	
⑥	ガラスくず及び陶磁器くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料・建設資材)→最終処分(安定型埋立)	
⑦	がれき類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(建設資材)→最終処分(安定型埋立)	
⑧	石膏ボード	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)	
⑨	繊維くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料・燃料)	
⑩	混合廃棄物	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料・燃料)→最終処分(管理型埋立)	

別表－3　建設副産物対策管理組織



別表－4

令和5年度実績及び令和6年度目標

廃棄物の種類及び 実績、目標の / 排出・処理の区別	汚泥		廃プラスチック類		紙くず		木くず		がれき類		混合廃棄物		繊維くず		金属くず		ガラス・陶磁器くず		廃油		計	
	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度	実績(t) R5年度	目標(t) R6年度
排出量	1173.0	1000.0	51.0	40.0	13.0	10.0	179.0	150.0	2688.0	1790.0	5.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0	4115.0	3000.0
自己再生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己熱回収量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己中間処理減量化量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委託量	1173.0	1000.0	51.0	40.0	13.0	10.0	179.0	150.0	2688.0	1790.0	5.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0	4115.0	3000.0
優良認定処理業者への処理委託量	6.0	0.0	51.0	40.0	13.0	10.0	179.0	150.0	807.0	100.0	5.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1067.0	310.0
再生処理業者への処理委託量	1167.0	1000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1881.0	1690.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3048.0	2690.0
認定熱回収処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年4月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　150-8340

住所 東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル

法人名 東急建設株式会社 東日本土木支店

代表者 山本 博司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5466-5023

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東急建設株式会社 東日本土木支店(習志野鷺沼放流幹線建設工事他)
事業場の所在地	千葉県習志野市鷺沼台4丁目地内他
事業の種類	大分類　建設業　中分類 06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

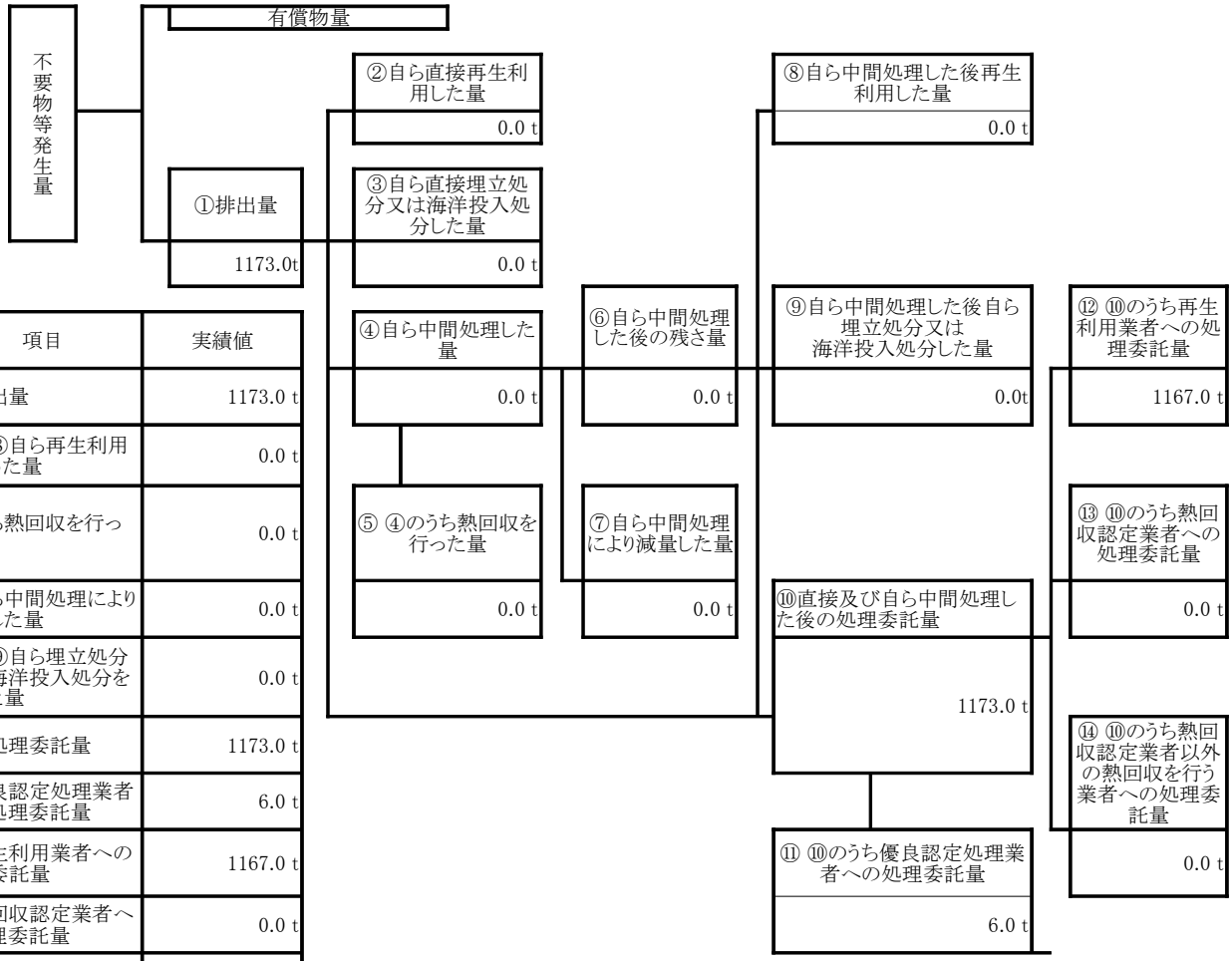
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10000 t	全処理委託量	10000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	135 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	9865 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



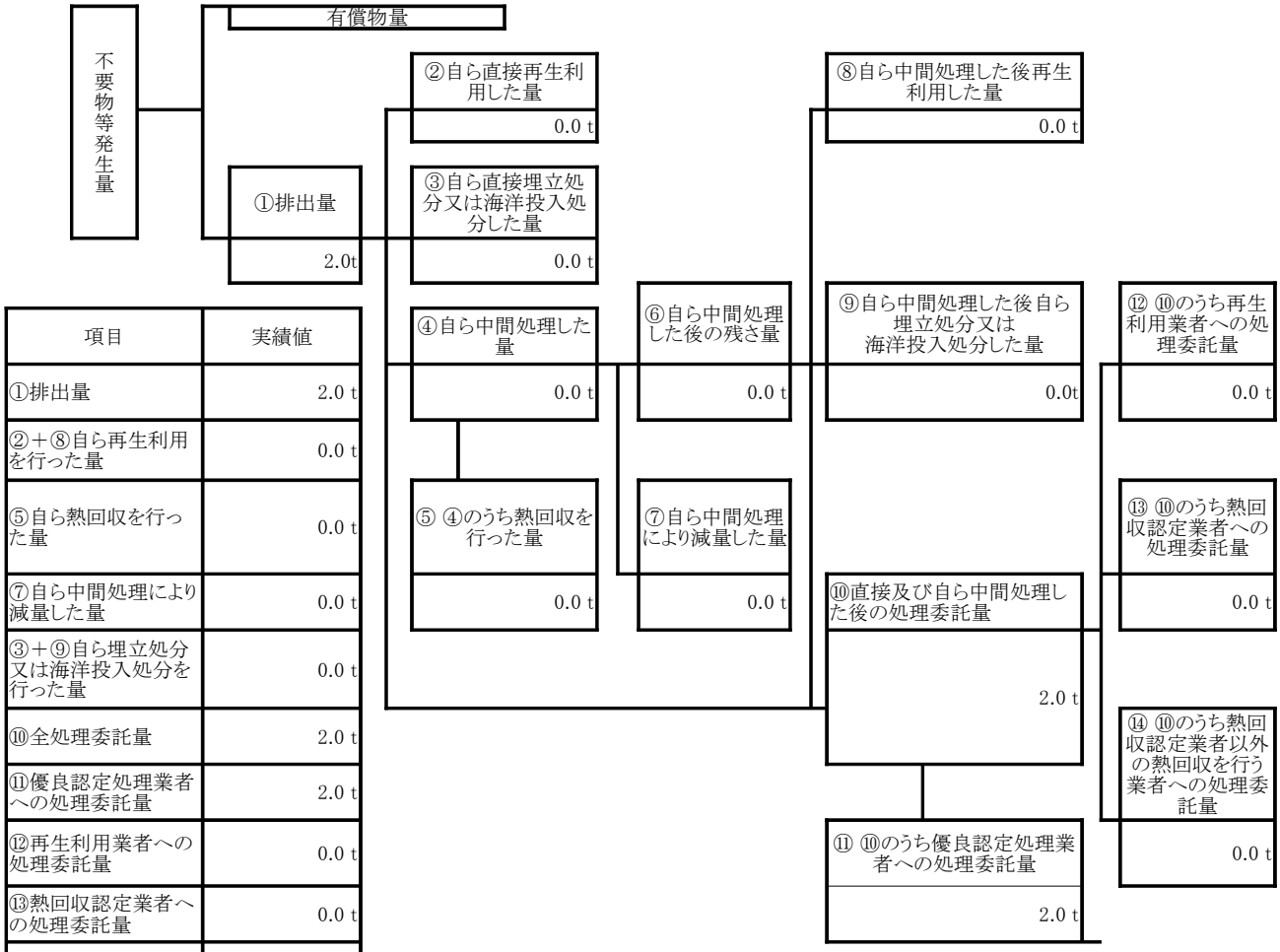
項目	実績値
①排出量	1173.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1173.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1167.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

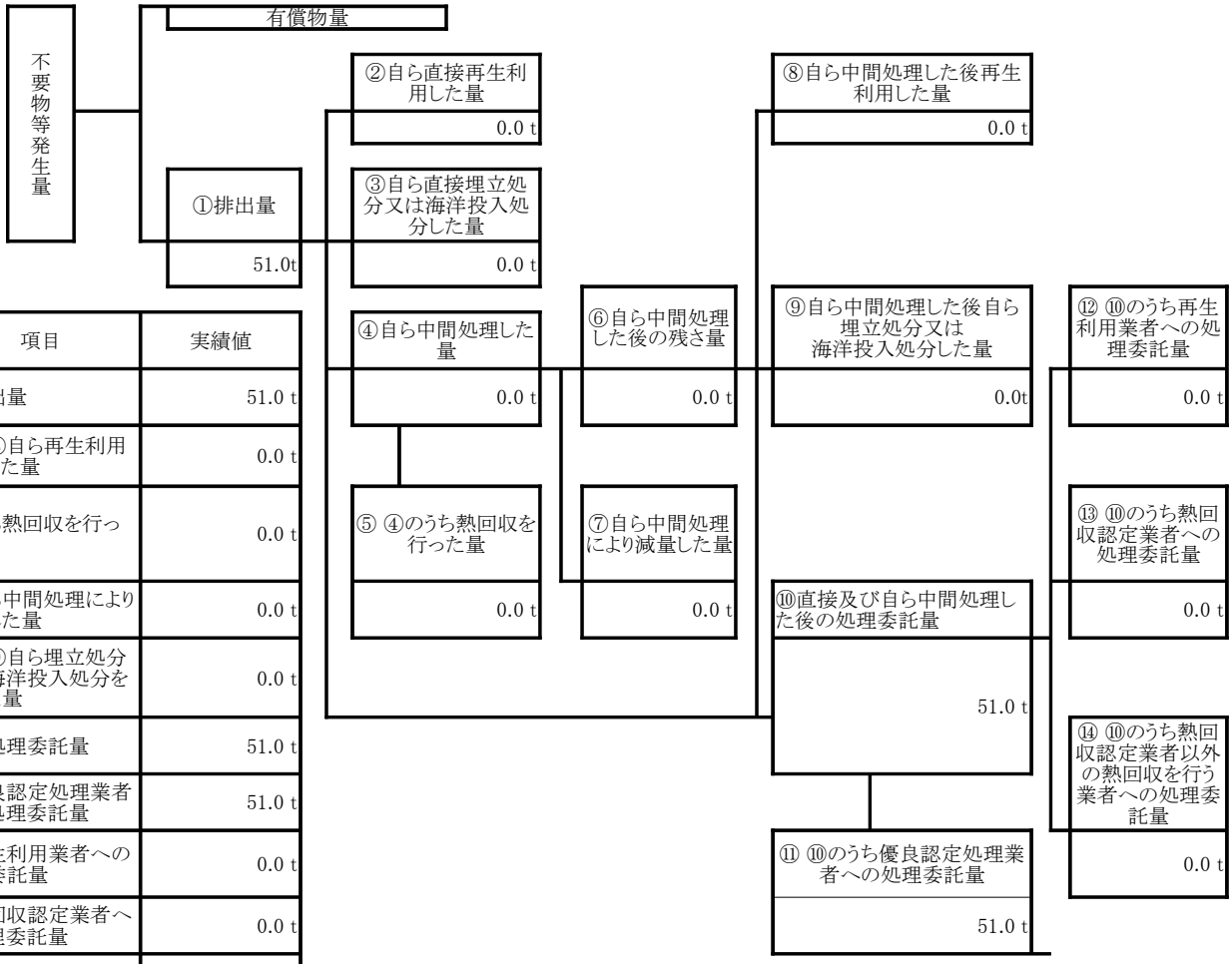


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

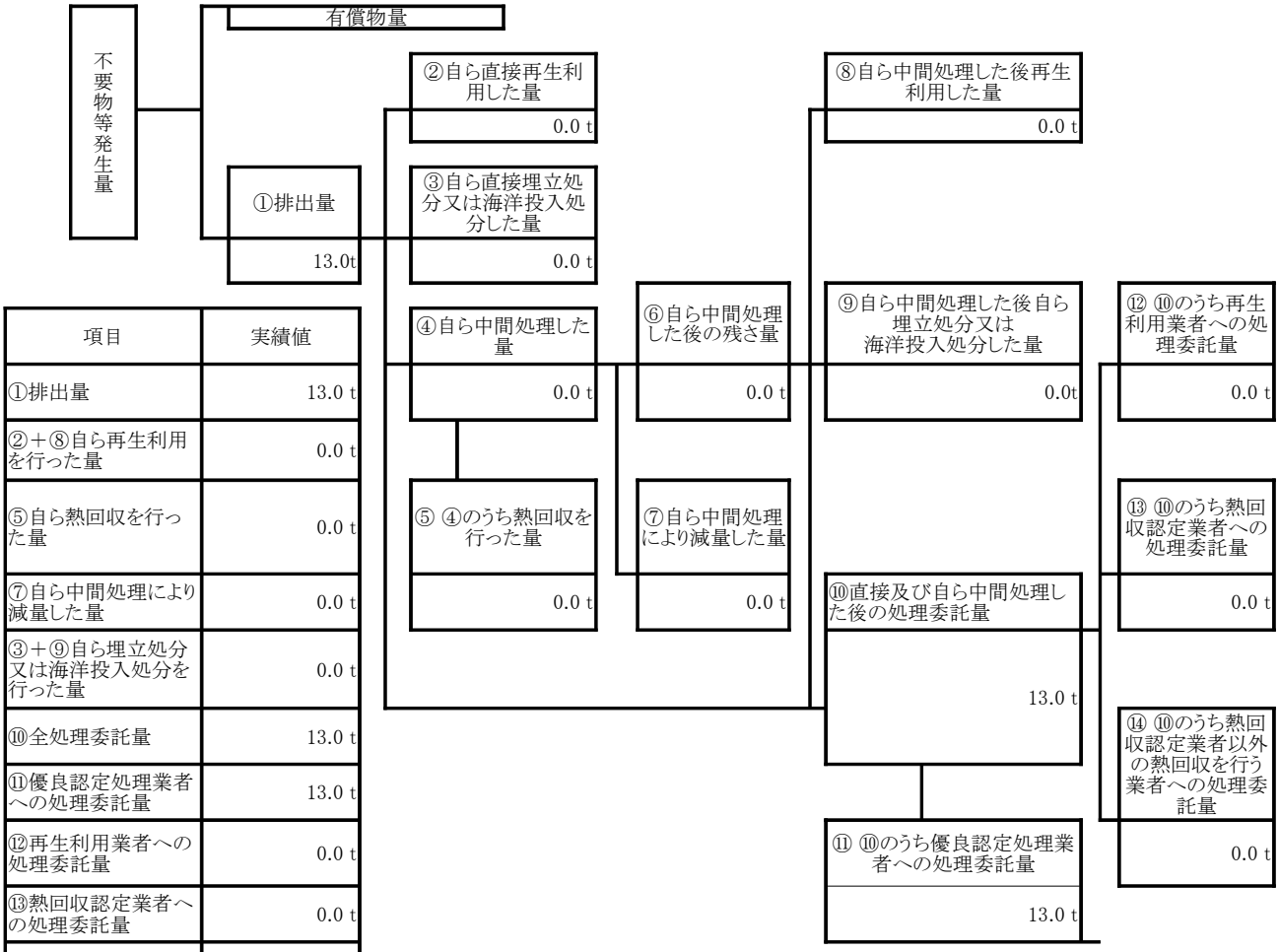


項目	実績値
①排出量	51.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



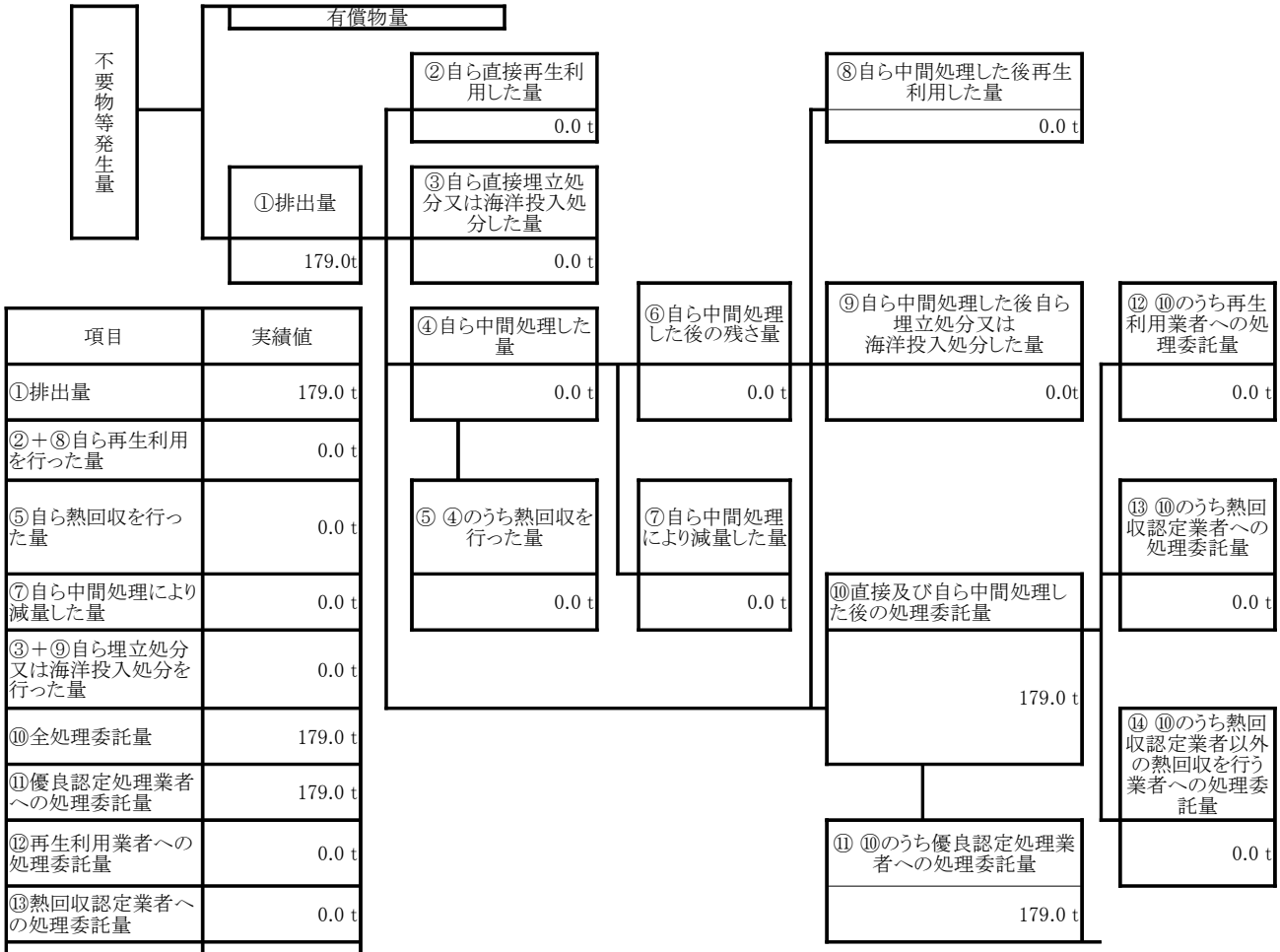
項目	実績値
①排出量	13.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



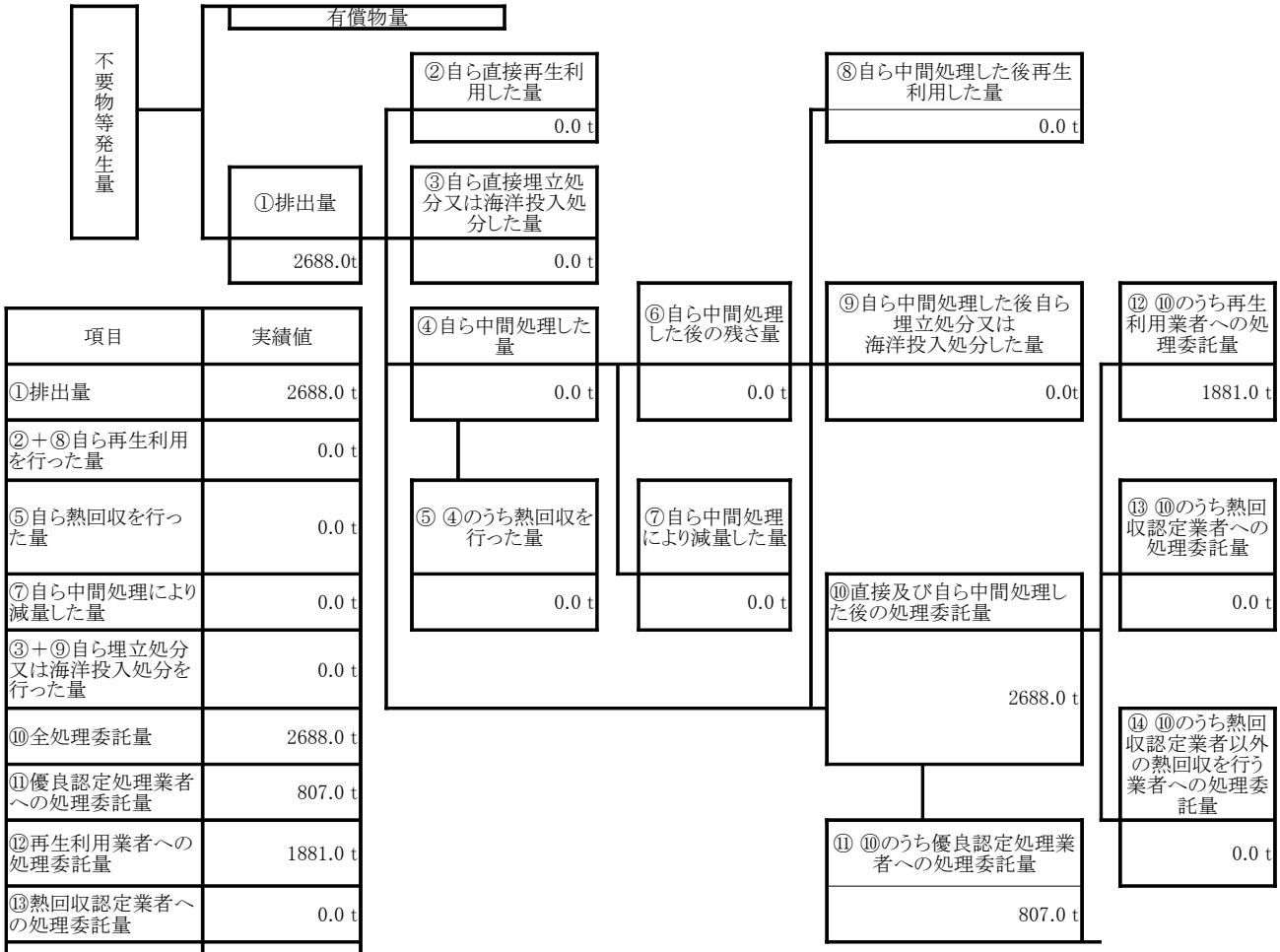
項目	実績値
①排出量	179.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	179.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	179.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　がれき類　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

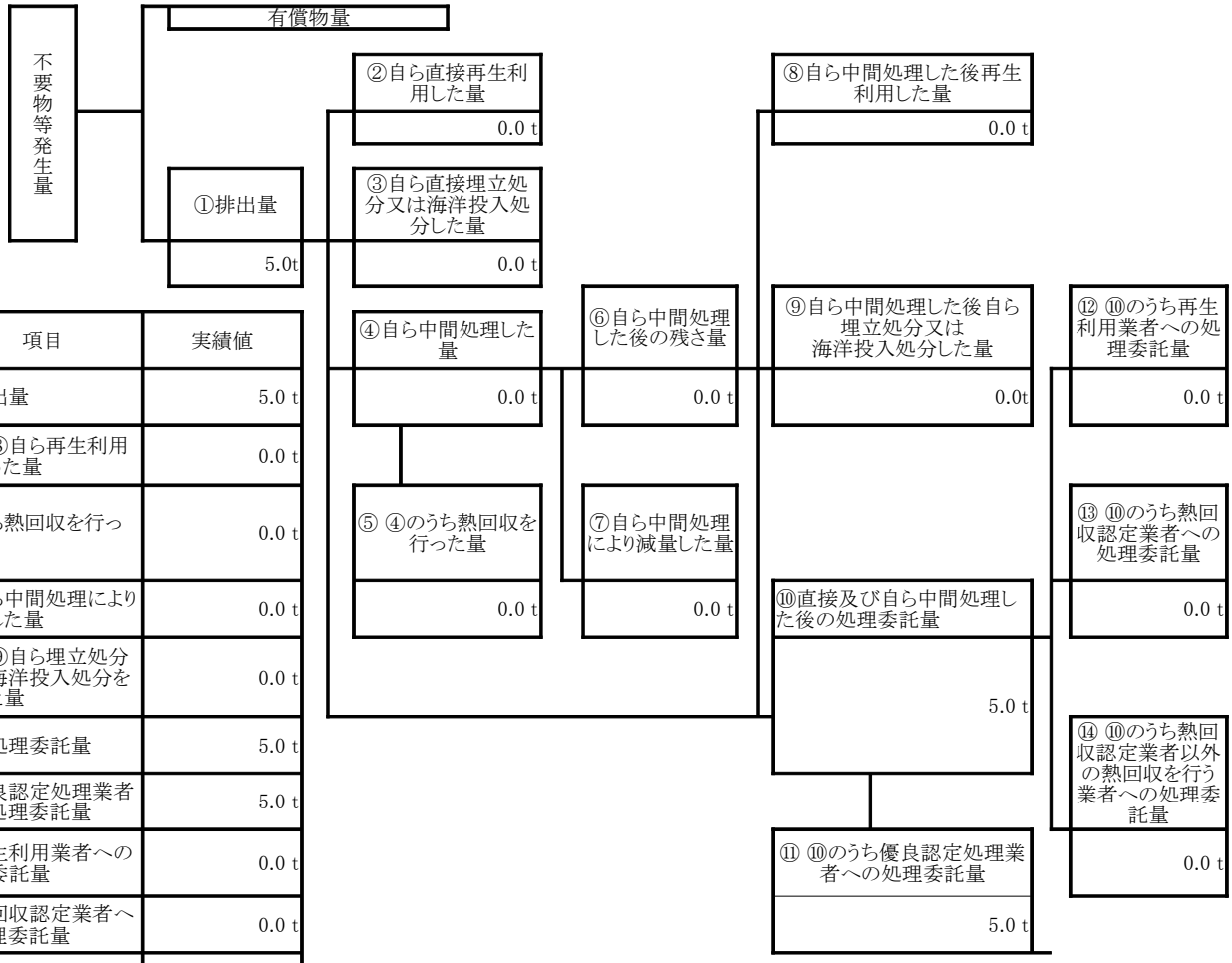


項目	実績値
①排出量	2688.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2688.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	807.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1881.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



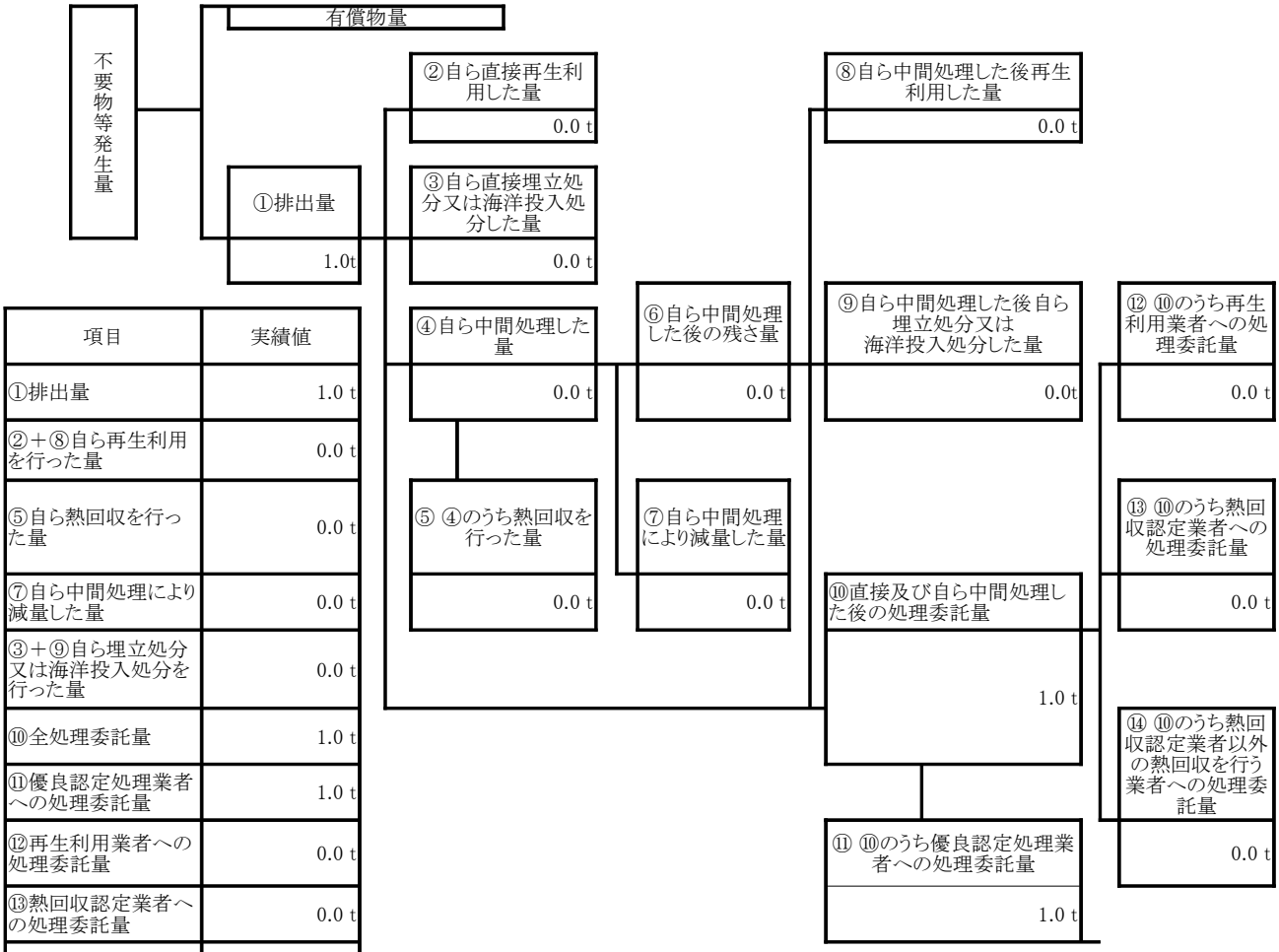
項目	実績値
①排出量	5.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

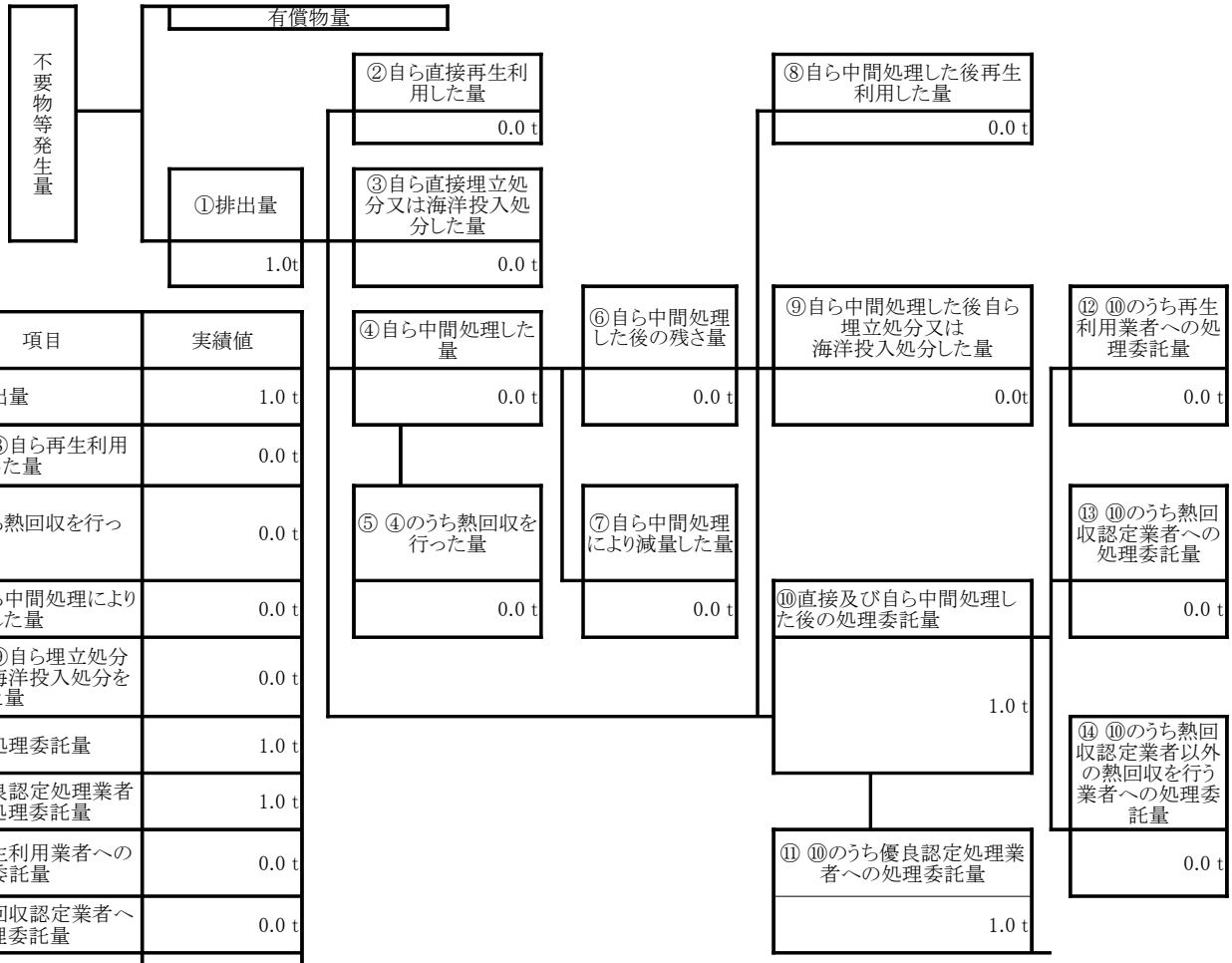


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

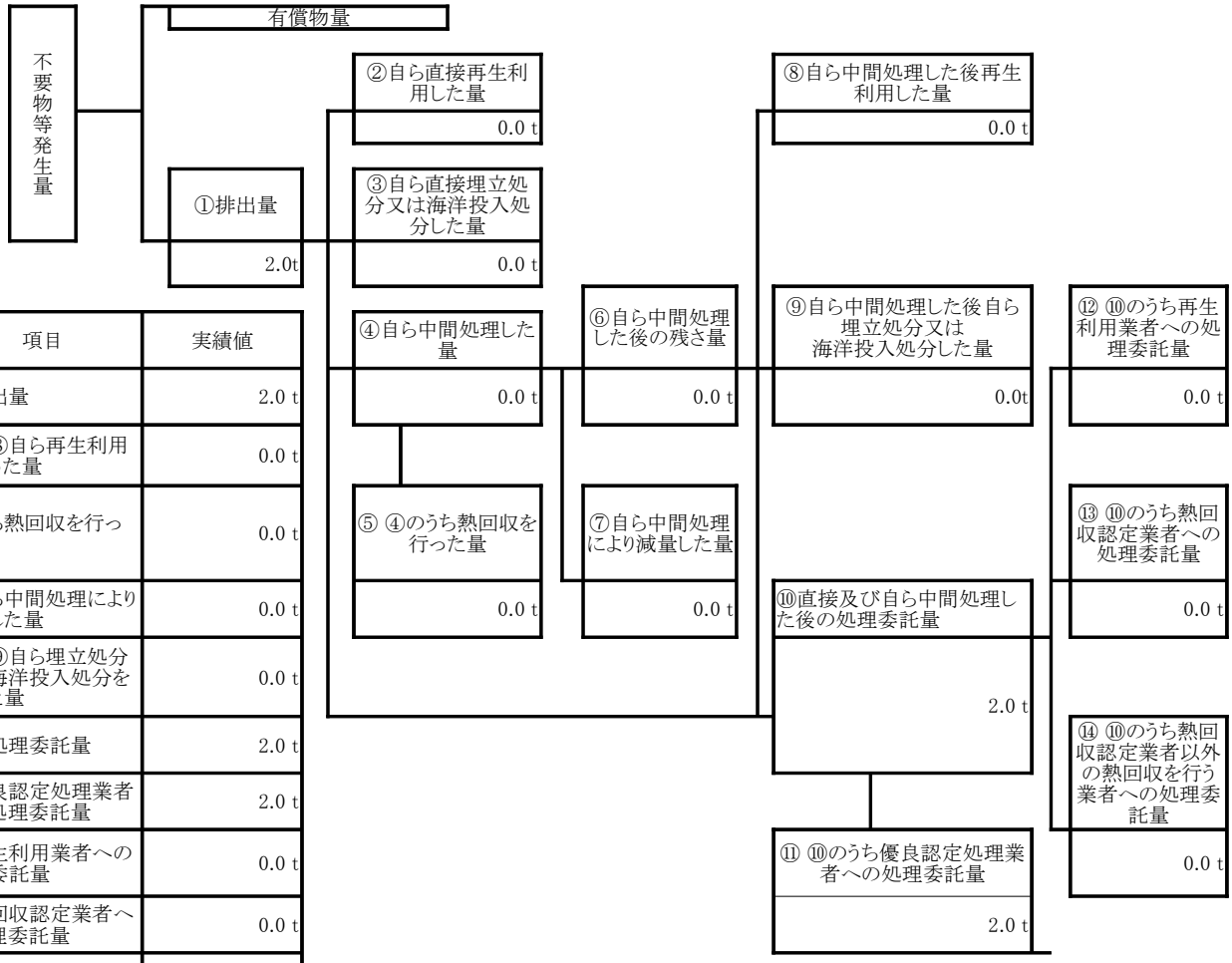


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス・陶磁器くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

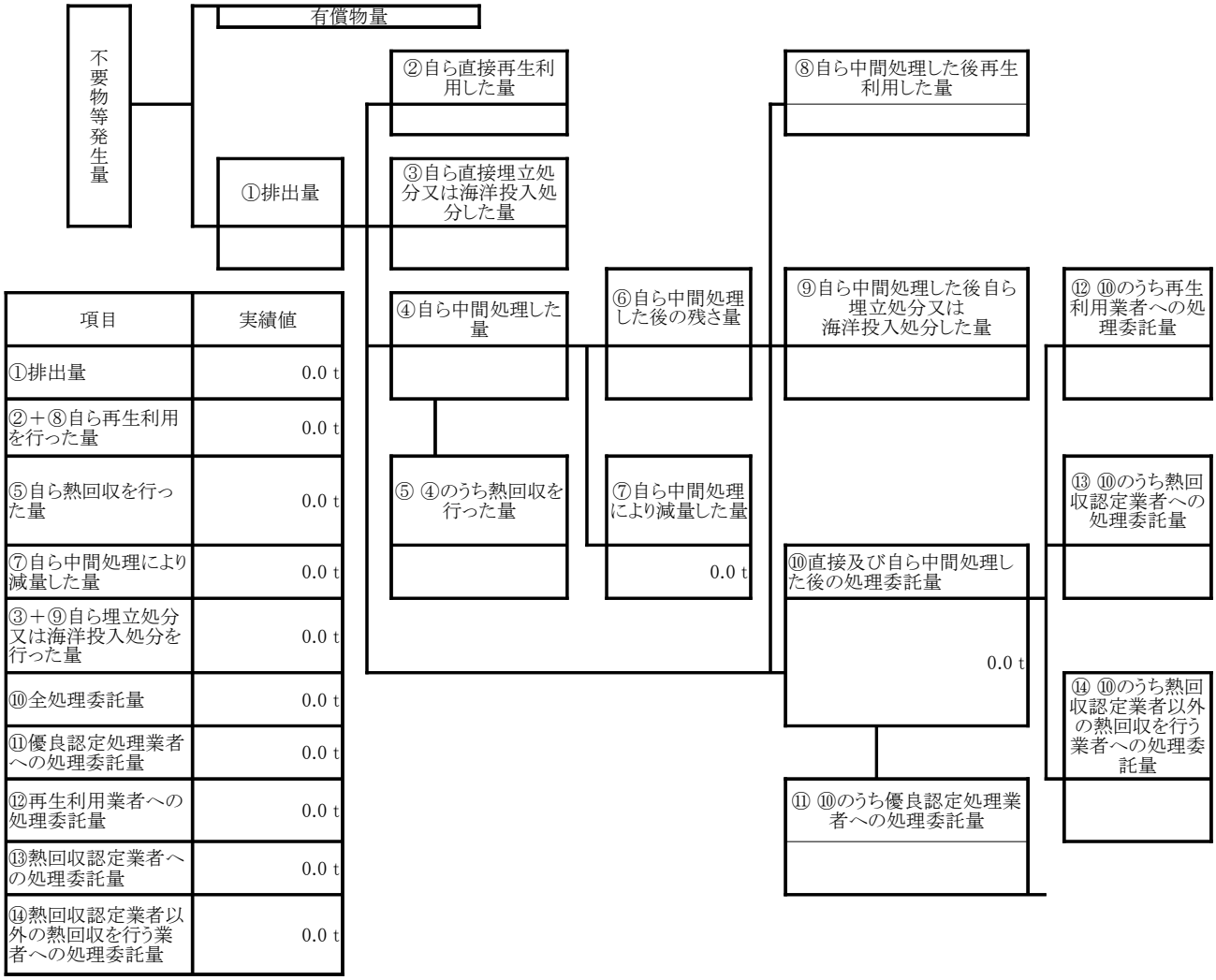


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



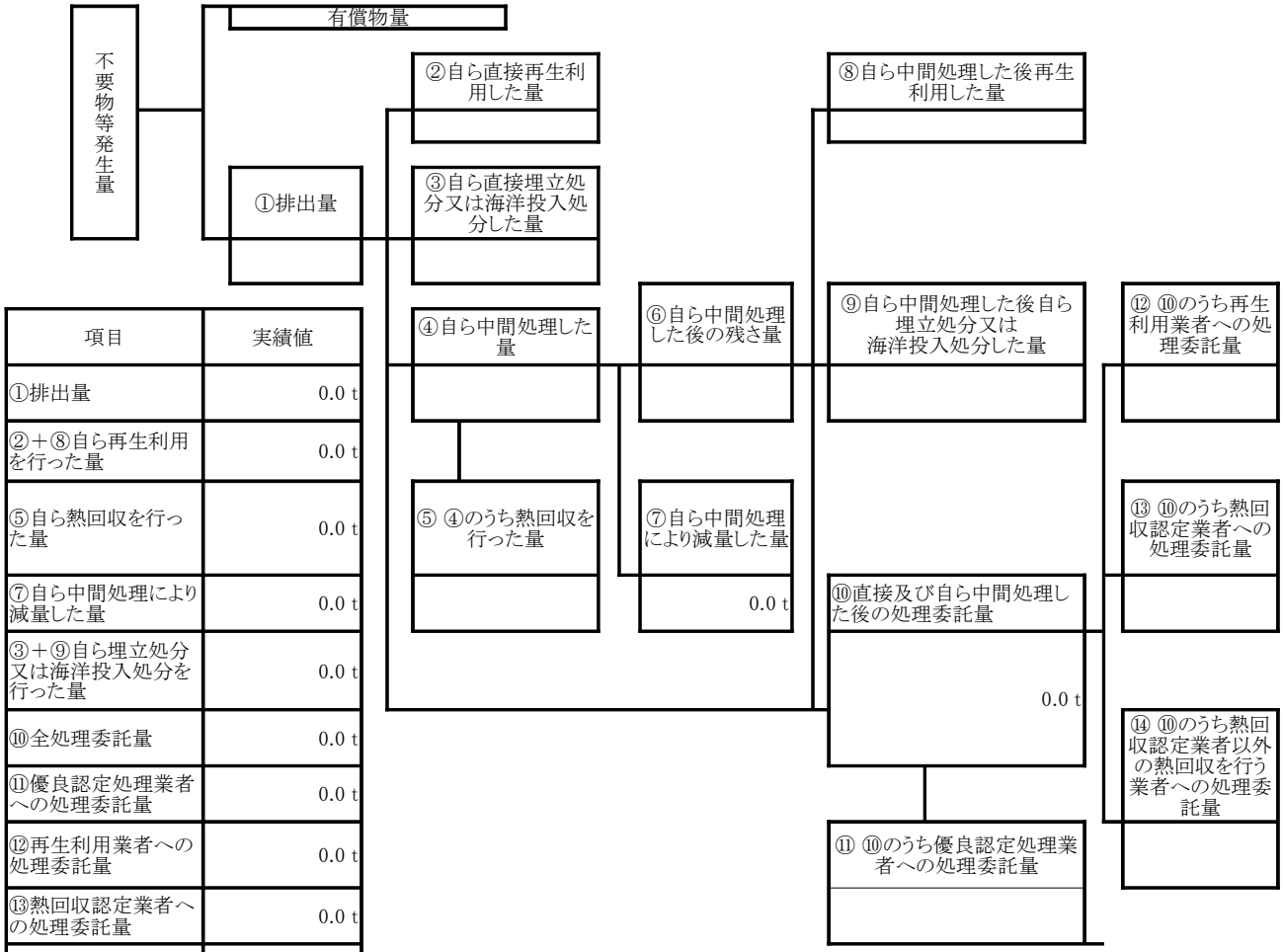
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



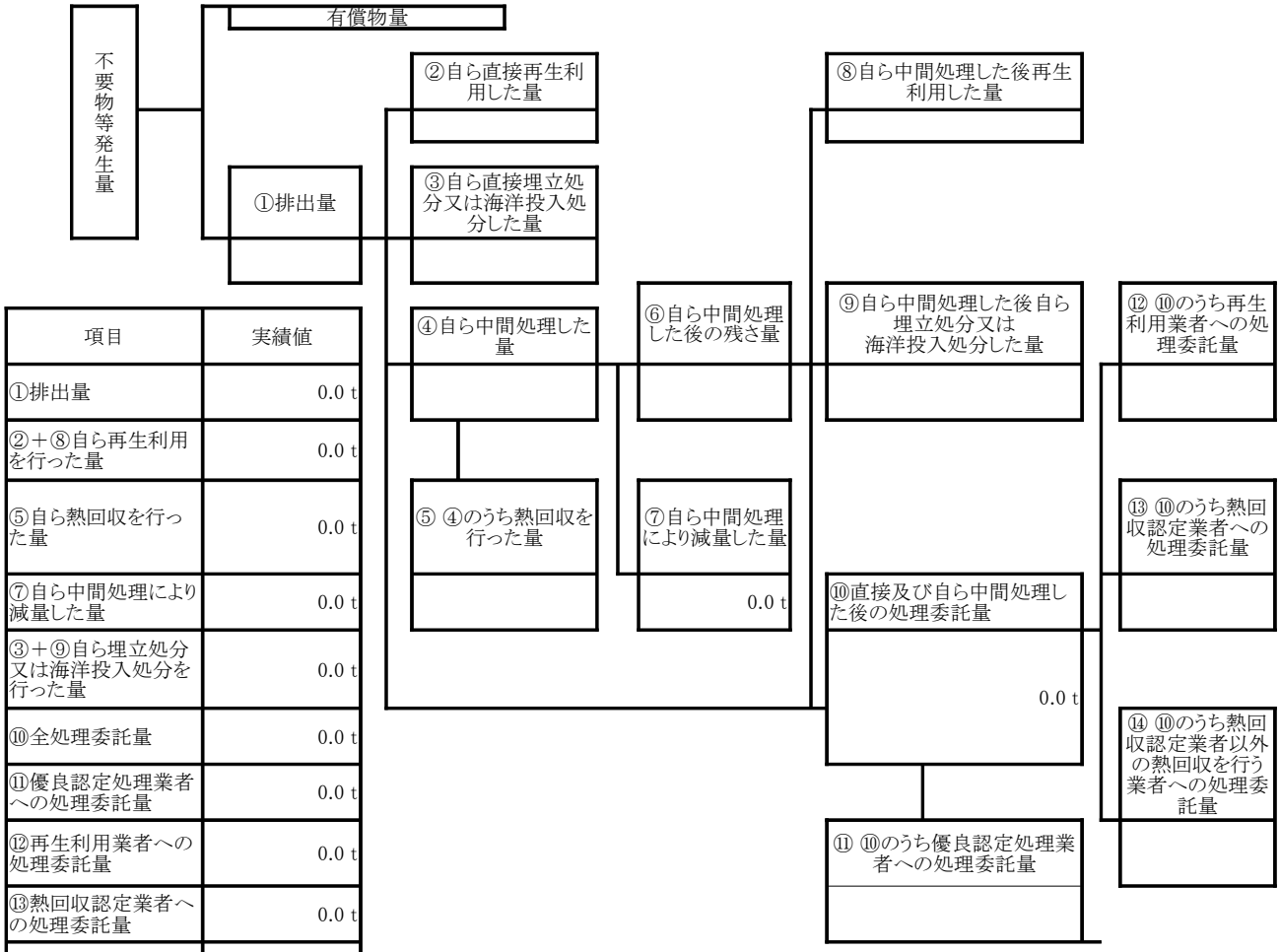
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



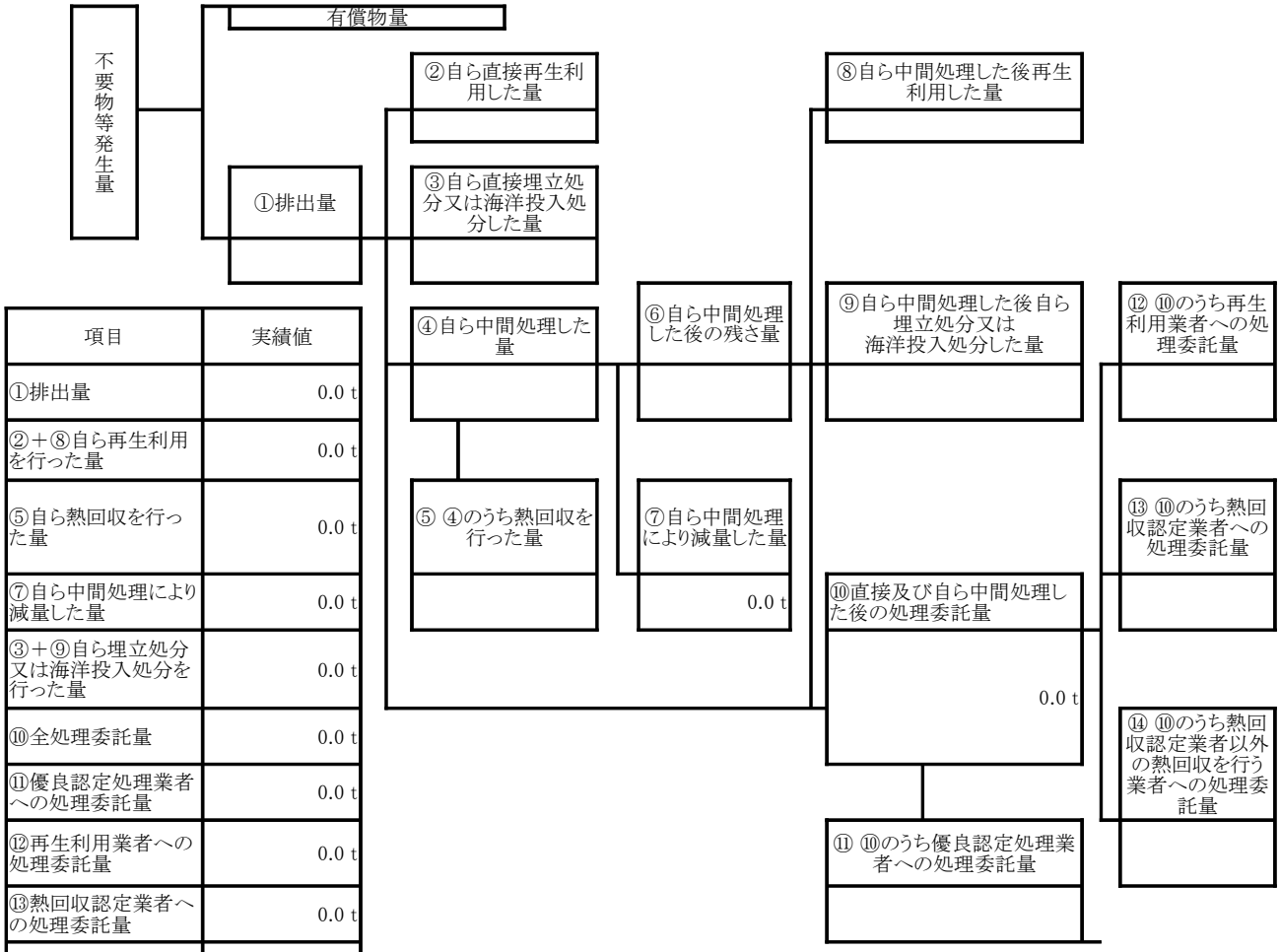
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



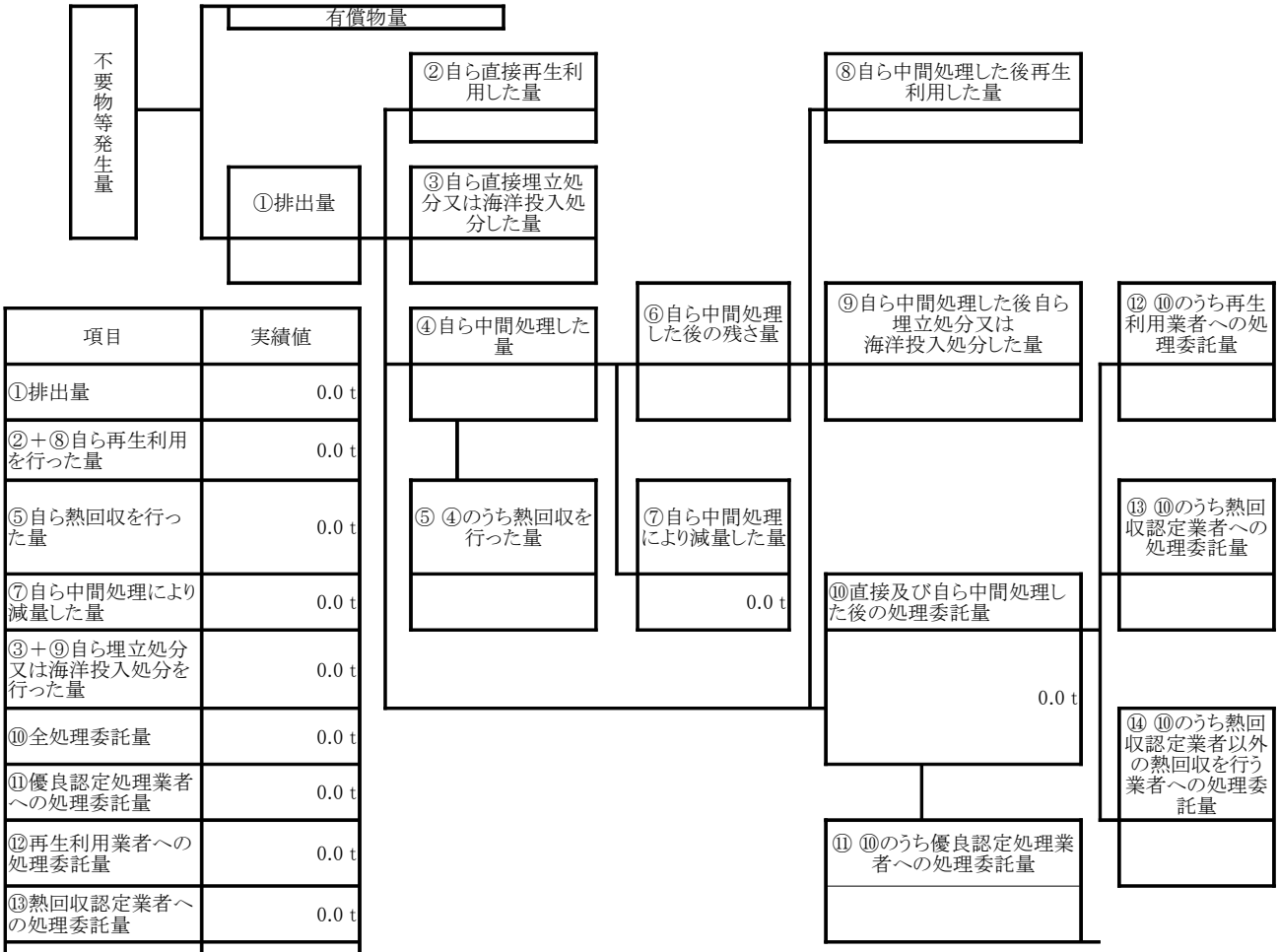
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



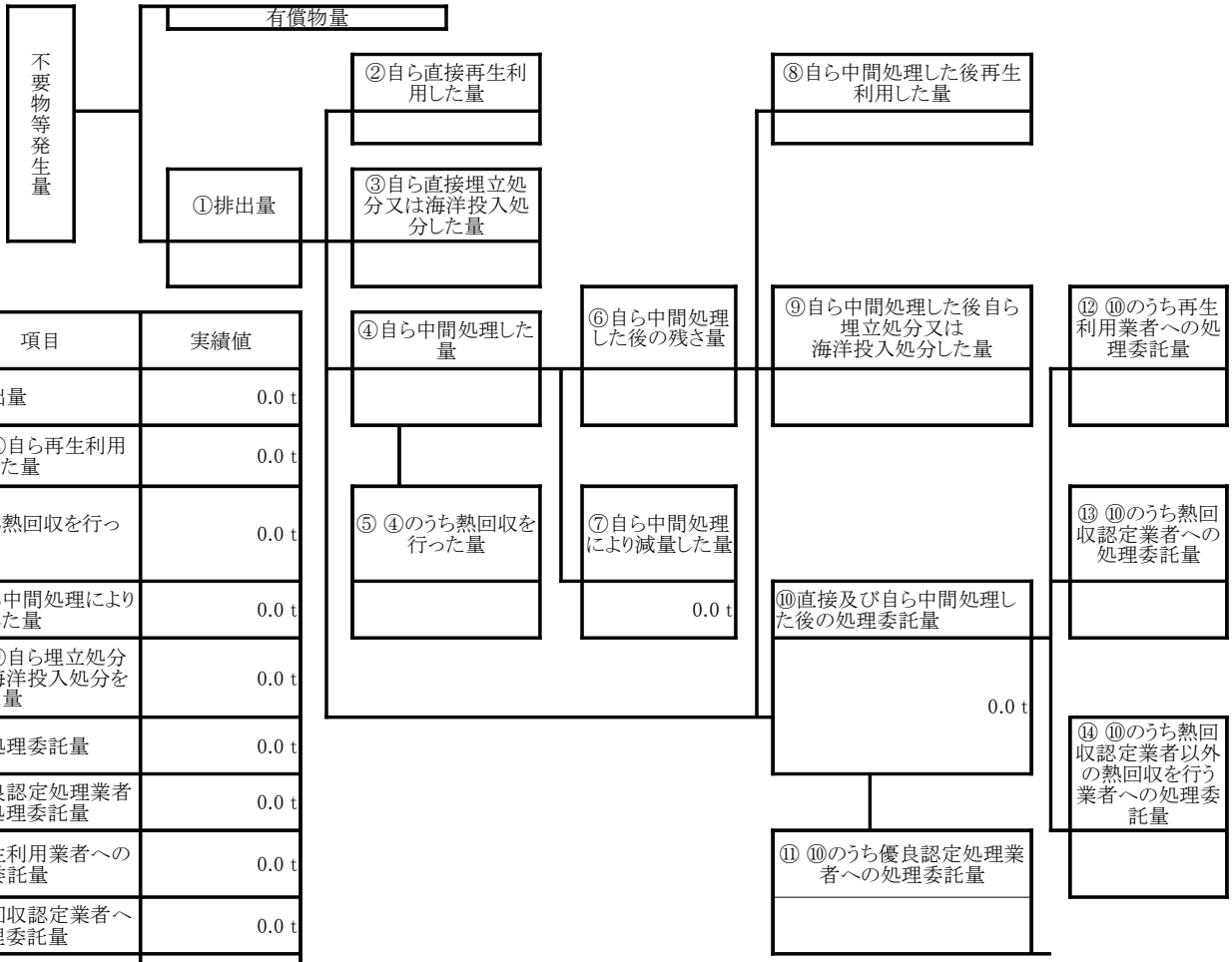
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



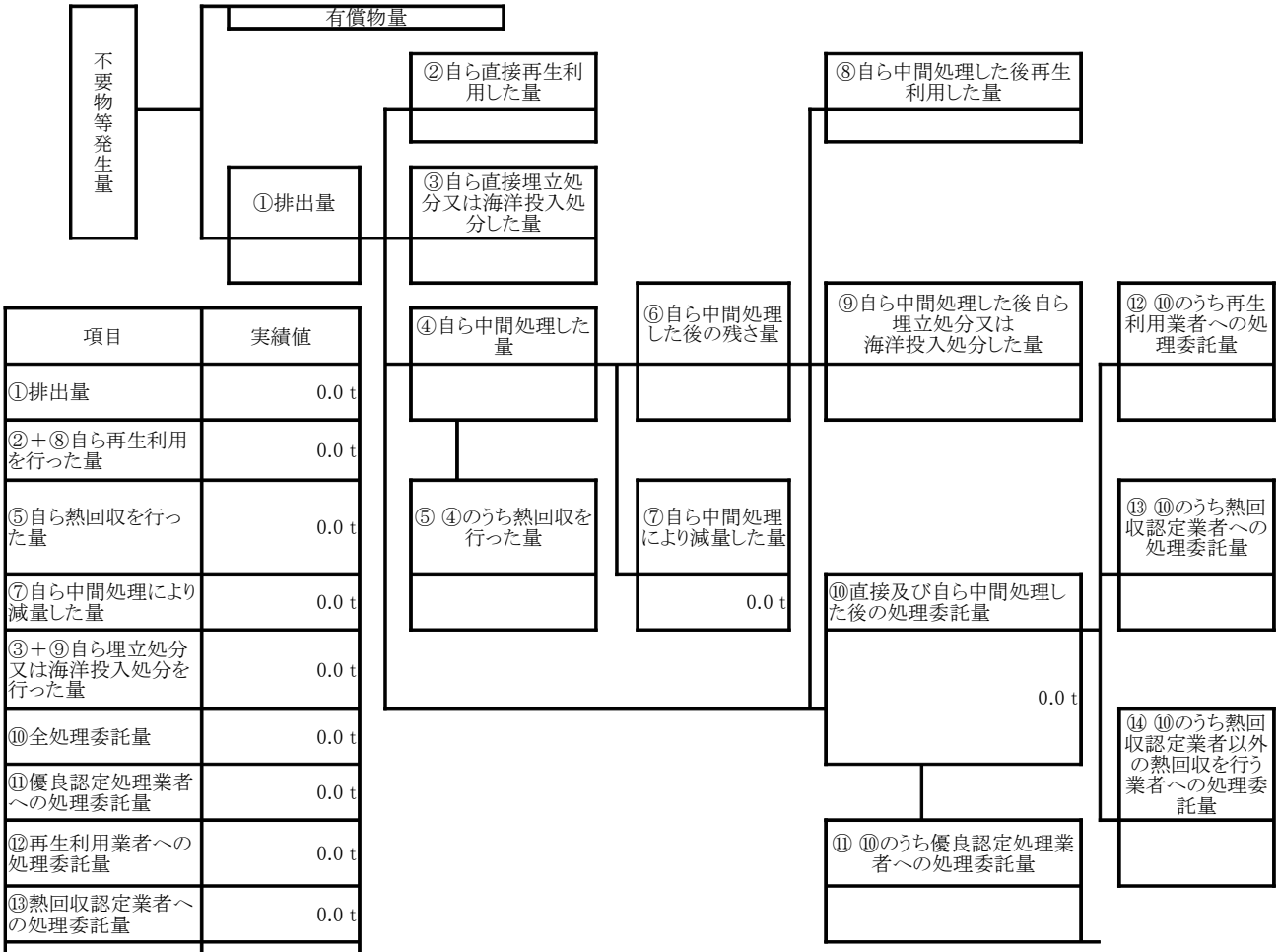
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



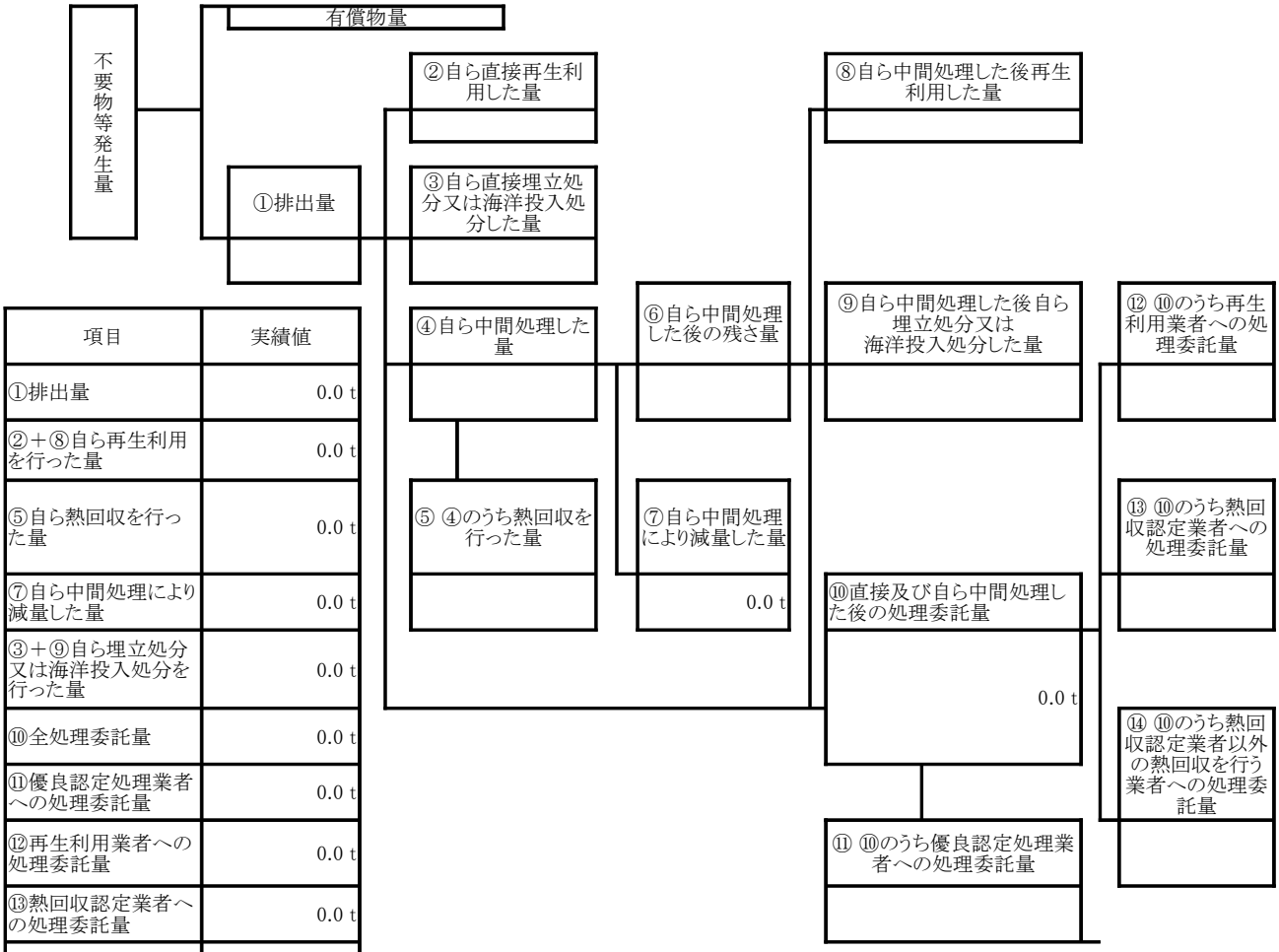
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



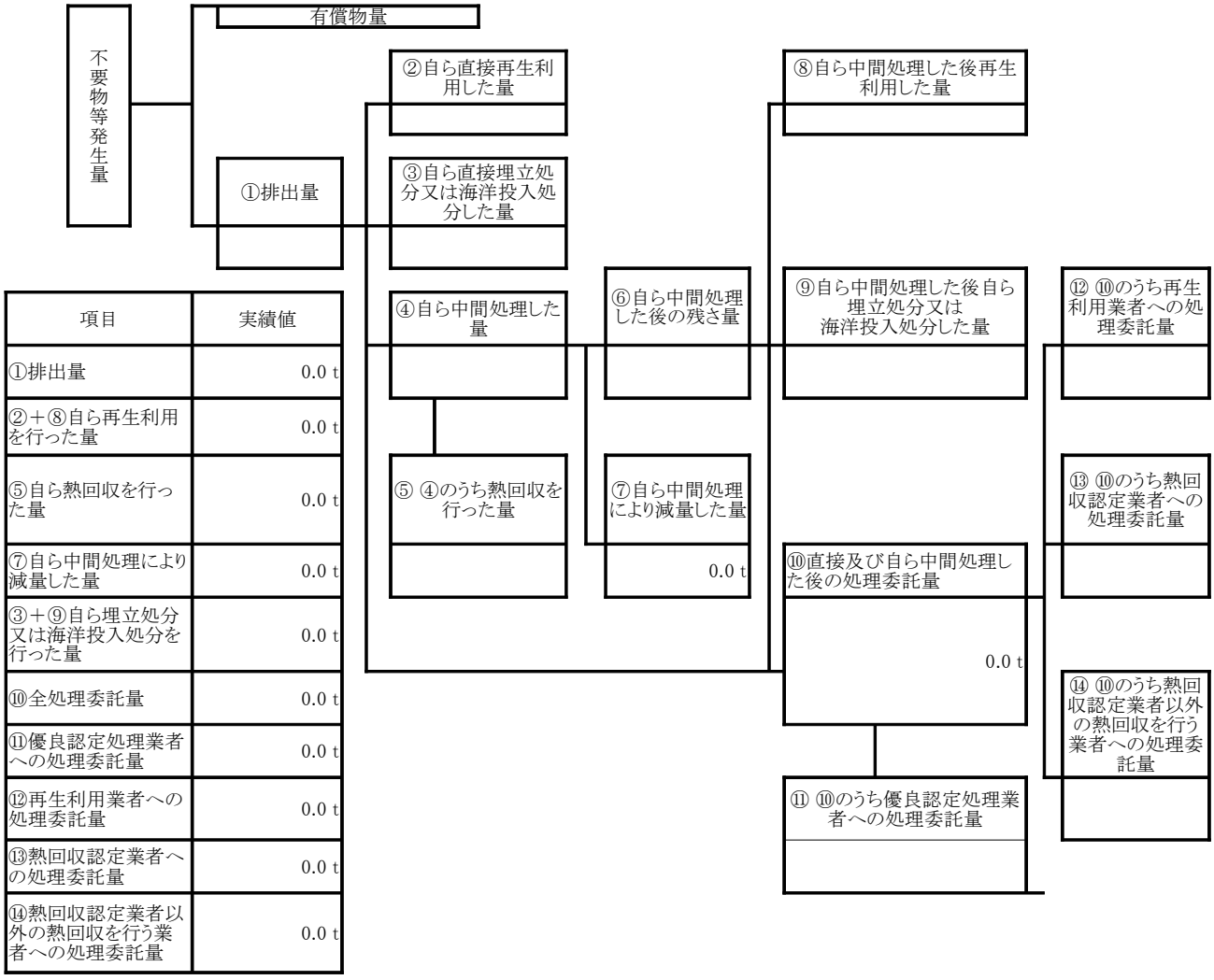
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



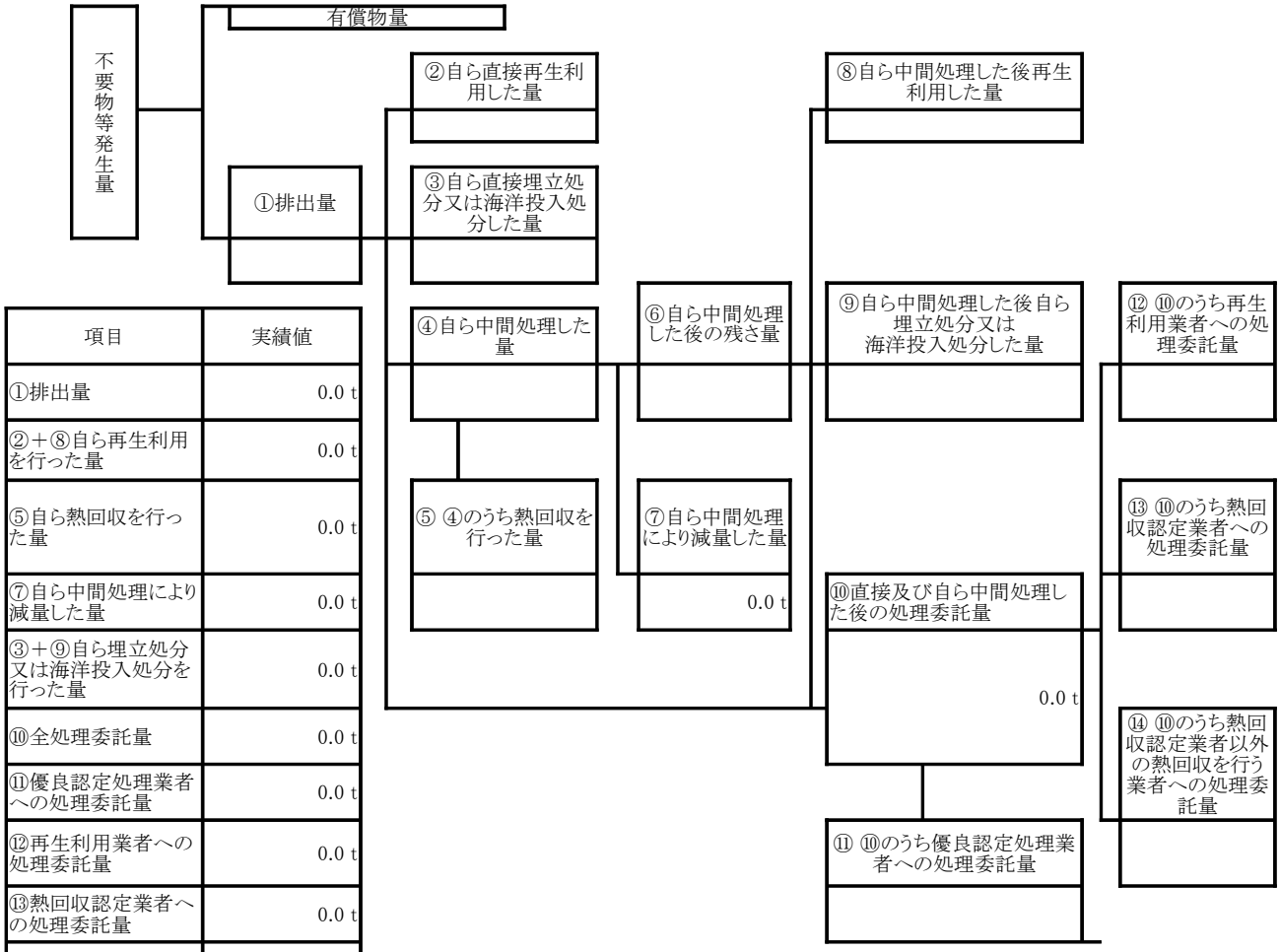
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 10日

千葉県知事　　殿

提出者
住　所　東京都渋谷区渋谷1-16-14

氏　名　東急建設株式会社東日本建築支店
執行役員支店長　安藝　実

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5466-5943

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東急建設株式会社　東日本建築支店
事業場の所在地	東京都渋谷区渋谷1-16-14 （千葉県内の作業所(千葉市,船橋市,柏市を除く)より排出の廃棄物が対象）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D：建設業　06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　6508（百万円）
③従業員数	232人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・産業廃棄物発生フロー　（別表－１）参照 ・産廃処理フロー　（別表－２）参照 ・管理組織図　（別表－３）参照

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
・建設副産物対策管理組織図　（別表－３）参照
・作業所は、廃棄物責任者（作業所長又は常駐する上位の社員とする）を定め、
建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理に関する業務を行う。
・現業部門社員を対象とし、昇格に伴う年次研修にて「建設副産物の減量及び適正処理に関する教育」を実施している。
（研修内容）
・経営上の方針、計画・目標について
・適正な分別・保管の徹底について
・ルール及び社員の役割について
・関係法令の概要について

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排　出　量	400.60　t	－　t

（これまでに実施した取組）
・各支店・事業部にて廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目等を実施
（ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、ﾊﾟﾈﾙ化、ﾌﾟﾚｶｯﾄ化等の推進）（鋼製型枠・樹脂型枠、ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ等の使用）（分別の徹底による有価物の売却等）
（広域認定、再生利用指定制度の積極活用）（新規ﾙｰﾄの開拓）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排　出　量	1,200.00　t	－　t

（今後実施する予定の取組）
・ﾒｰｶｰﾘｻｲｸﾙである広域認定制度の利用促進
・建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組推進
（納入時の荷姿、梱包材の簡略化）（可能な限り工場加工をし、作業所での端材の発生抑制）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・重点分別品目の設定（金属、木、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、廃ﾌﾟﾗ、紙、ｺﾝがら、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ塩ﾋﾞ、その他がれき、ｶﾞﾗｽ陶磁器）等を設定して分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物分別ﾔｰﾄﾞを出来る限り拡大し、品目を増やし分別に努める。
・廃棄物に関する教育（混合廃棄物の再分別ﾃﾞﾓ）を実施し、分別意識の向上を図る。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
排　出　量	64.20　t	12.10　t	118.00　t	16.40　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
排　出　量	190.00　t	40.00　t	350.00　t	50.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
排　出　量	123.60　t	176.90　t	12.50　t	0.20　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
排　出　量	370.00　t	530.00　t	40.00　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
排　出　量	274.00 t	0.10 t	116.80 t	26.50 t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
排　出　量	820.00 t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
設計・施工条件が合えば、がれき汚泥等の再生利用を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
引続き、積極的に再生利用に努めていきたい。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
自社で中間処理を行う予定はない。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	400.60 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	0.20 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	400.60 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
・業者選定をする際に過去の取引実績を確認している。
・複数の業者の処理料金を比較している。
・委託する品目の処分方法や処分実績を確認している。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
全処理委託量	64.20 t	12.10 t	118.00 t	16.40 t
優良認定処理業者への処理委託量	64.20 t	12.10 t	30.60 t	16.40 t
再生利用業者への処理委託量	64.20 t	12.10 t	118.00 t	16.40 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
全処理委託量	123.60 t	176.90 t	12.50 t	0.20 t
優良認定処理業者への処理委託量	87.60 t	164.90 t	10.20 t	0.20 t
再生利用業者への処理委託量	123.60 t	176.90 t	12.50 t	0.20 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
全処理委託量	274.00 t	0.10 t	116.80 t	26.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	18.10 t	－ t	60.00 t	26.50 t
再生利用業者への処理委託量	274.00 t	0.10 t	116.80 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類：汚泥／廃油 全処理委託量：1,200.00 t／－ t 優良認定処理業者への処理委託量：－ t／－ t 再生利用業者への処理委託量：1,200.00 t／－ t 認定熱回収業者への処理委託量：－ t／－ t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量：－ t／－ t （今後実施する予定の取組） ・優良認定処理業者の積極活用 ・認定熱回収業者の積極活用 ・メーカーリサイクルである広域認定制度の利用促進 ・最終処分場の現地確認を極力実施する。
※事務処理欄		

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
全処理委託量	190.00 t	40.00 t	350.00 t	50.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	190.00 t	40.00 t	350.00 t	50.00 t
再生利用業者への処理委託量	190.00 t	40.00 t	350.00 t	50.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
全処理委託量	370.00 t	530.00 t	40.00 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	370.00 t	－ t	40.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	370.00 t	530.00 t	40.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
全処理委託量	820.00 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	820.00 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	820.00 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

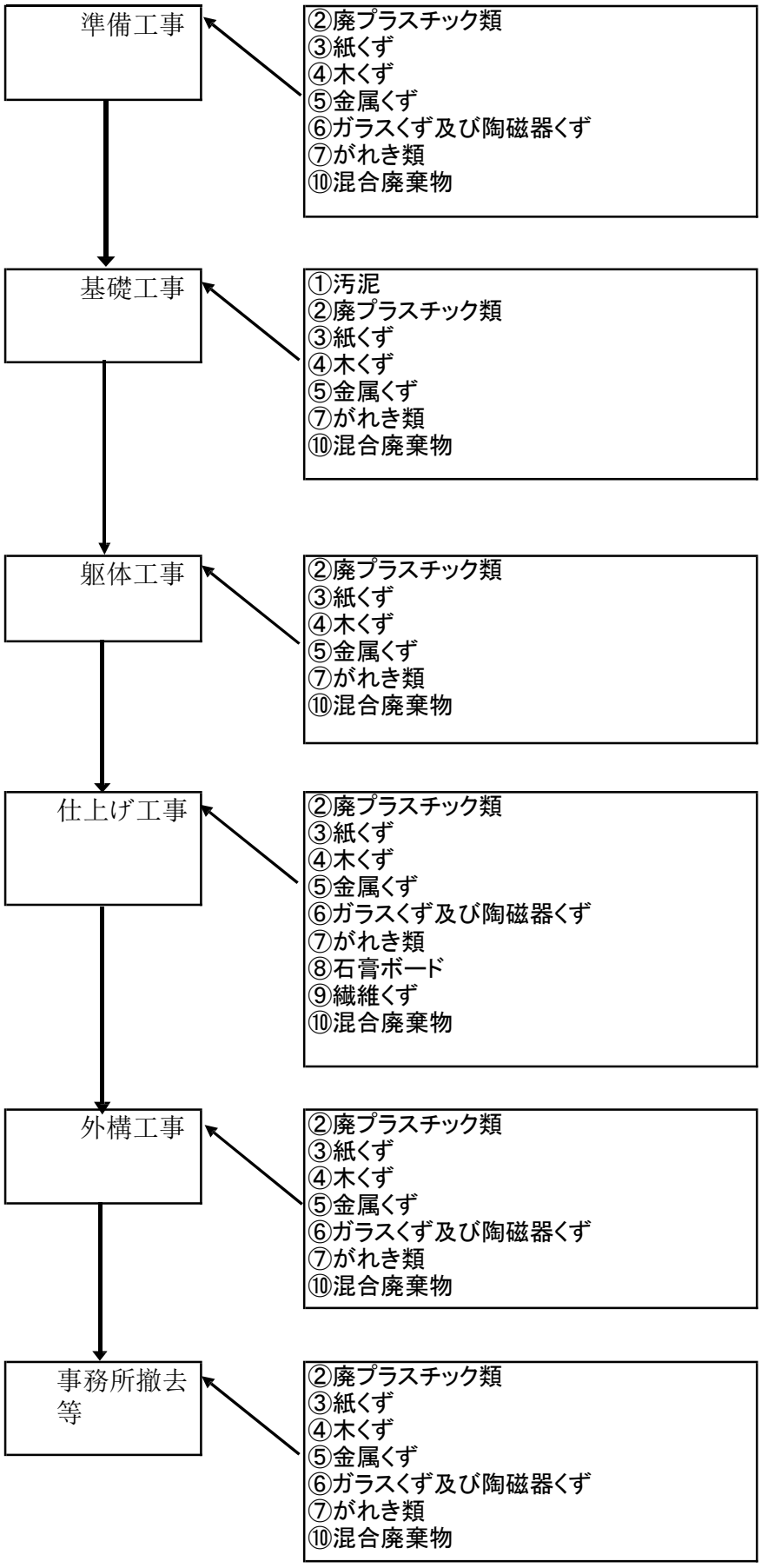
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別表－1

産業廃棄物発生フロー

建物新築工事（一般的な建築作業所での産業廃棄物発生フローを示す）



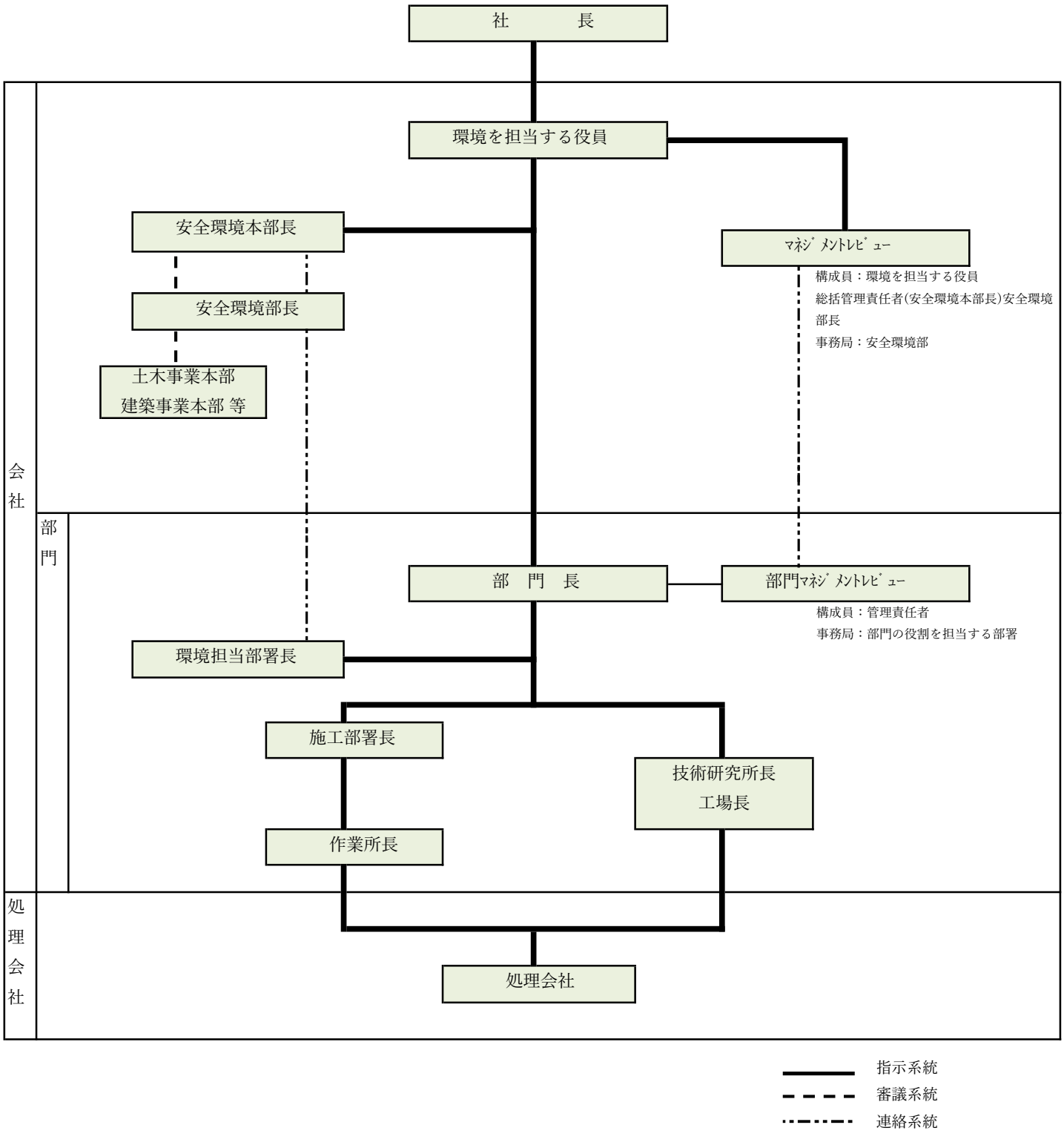
別表－2

処理等工程図

廃棄物種類	処理工程
① 汚泥	収集運搬→委託処理【中間処理(脱水・凝集固化、天日乾燥)】 →再生(建設資材)
② 廃プラスチック類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】 →再生(原料・燃料)→最終処分(安定型埋立)
③ 紙くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)
④ 木くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)
⑤ 金属くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)
⑥ガラスくず及び陶磁器くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】 →再生(原料・建設資材)→最終処分(安定型埋立)
⑦ がれき類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(建設資材)
⑧ 石膏ボード	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)
⑨ 繊維くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料・燃料)
⑩ 混合廃棄物	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】 →再生(原料・燃料)→最終処分(管理型埋立)

別表－3

建設副産物対策管理組織



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　１４日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒103-0025

住　所　東京都中央区日本橋茅場町1-3-1

氏　名　株式会社東京エネシス
代表取締役　眞島 俊昭

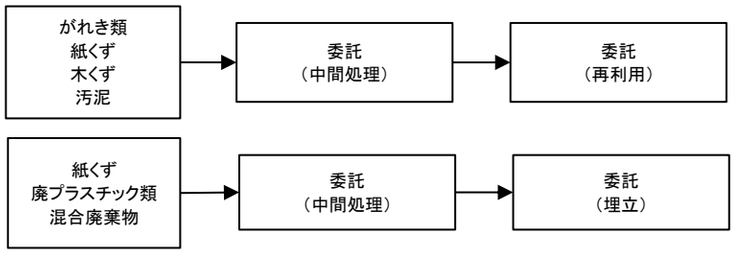
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6371-5354

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社東京エネシス　水力・変電部　房総工事事務所
事業場の所在地	千葉県市原市萩作71
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

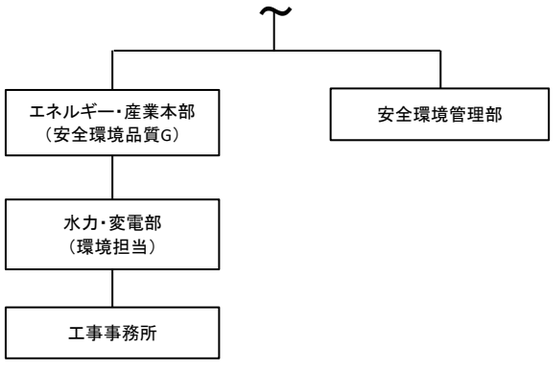
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D08－設備工事業
②　事業の規模	¥1,090,000,000
③　従業員数	７人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出量	1079.17 t	10.85 t

（これまでに実施した取組）
廃棄物は分別収集を行い、可能な限り資源化・再利用の中間処理施設を有する業者を選定する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出量	500.0 t	8.0 t

（今後実施する予定の取組）
上記に加え、さらに分別を徹底する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラ類、コンクリートくず、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶器くず、汚泥、廃油、がれき類。産業廃棄物の保管は施設内又は周囲に囲いを設け、飛散・流失及び地下浸透しないように整理整頓を行い、衛生的に保管する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記に加え、定期的に保管状況の確認をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿		がれき類	廃プラスチック類
全処理委託量＿		1079.17 t	10.85 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t	10.85 t
	再生利用業者への処理委託量	1071.77 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。
マニフェストにより最終処分の確認を徹底している。
廃棄物は分別収集を行い、可能な限り資源化・再利用の中間処理施設を有する業者を選定している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>がれき類</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>500.0 t</td><td>8.0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>500.0 t</td><td>8.0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>500.0 t</td><td>8.0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
可能な限り優良認定処理業者から選定する。
委託先の処理業者には定期的に現地確認を実施する。
リサイクル化を高めるために廃棄物は分別収集を行い、可能な限り資源化・再利用の中間処理施設を有する業者を選定する。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
		排　出　量	3.3 t	15.675 t	0.39 t	0.275 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
		排　出　量	3.0 t	15.0 t	0.5 t	0.5 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
	全処理委託量	3.3 t	15.675 t	0.39 t	0.275 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	t	0.39 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.7 t	15.675 t	t	0.275 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物	汚泥				
	全処理委託量	3.0 t	15.0 t	0.5 t	0.5 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t	15.0 t	0.5 t	0.5 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.0 t	15.0 t	0.5 t	0.5 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　１４日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿



提出者　〒103-0025

住　所　東京都中央区日本橋茅場町1-3-1

氏　名　株式会社東京エネシス
代表取締役　眞島 俊昭

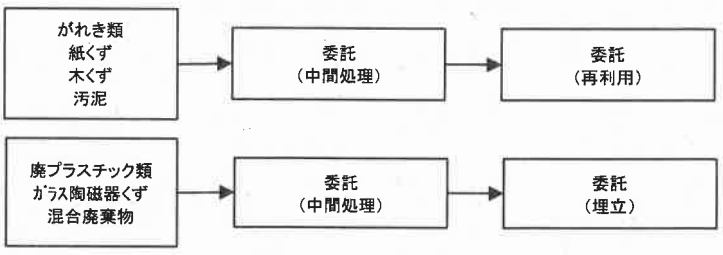
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6371-5354

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社東京エネシス　水力・変電部　新野田工事事務所
事業場の所在地	千葉県野田市西三ヶ尾281
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

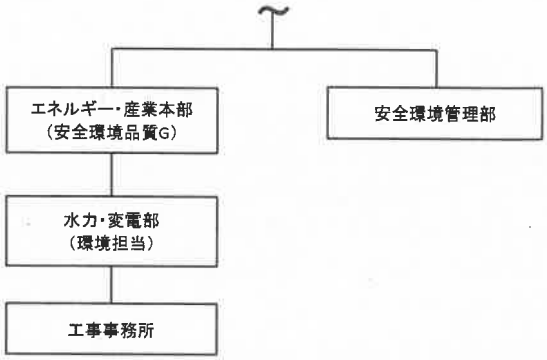
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D08－設備工事業
② 事業の規模	¥455,000,000
③ 従業員数	４名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出量	240.92 t	1.75 t

（これまでに実施した取組）

廃棄物は分別収集を行い、可能な限り資源化・再利用の中間処理施設を有する業者を選定する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出量	80 t	5 t

（今後実施する予定の取組）

上記に加え、さらに分別を徹底する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃プラ類、コンクリートくず、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶器くず、汚泥、廃油、がれき類。産業廃棄物の保管は施設内又は周囲に囲いを設け、飛散・流失及び地下浸透しないように整理整頓を行い、衛生的に保管する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

上記に加え、定期的に保管状況の確認をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
全処理委託量	240.92 t	1.75 t
優良認定処理業者への処理委託量	240.92 t	1.75 t
再生利用業者への処理委託量	240.92 t	1.75 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。
マニフェストにより最終処分の確認を徹底している。
廃棄物は分別収集を行い、可能な限り資源化・再利用の中間処理施設を有する業者を選定している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
全処理委託量	80 t	5 t
優良認定処理業者への処理委託量	80 t	5 t
再生利用業者への処理委託量	80 t	5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

可能な限り優良認定処理業者から選定する。
委託先の処理業者には定期的に現地確認を実施する。
リサイクル化を高めるために廃棄物は分別収集を行い、可能な限り資源化・再利用の中間処理施設を有する業者を選定する。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	排　出　量	2.1 t	8.8 t	0.48 t	8.34 t	972.4 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	排　出　量	1 t	1 t	0 t	3 t	12 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	全処理委託量	2.1 t	8.8 t	0.48 t	8.34 t	972.4 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t	8.8 t	0.48 t	8.34 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.1 t	8.8 t	t	t	972.4 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合廃棄物	汚泥			
	全処理委託量	1 t	1 t	0 t	3 t	12 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	1 t	0 t	3 t	12 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	1 t	0 t	3 t	12 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月２０日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒105-0022

住　所　東京都港区海岸１－２－３
汐留芝離宮ビルディング

氏　名　東京ガスエンジニアリング
ソリューションズ株式会社
代表取締役社長　小西　康弘

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０３－６４５２－８４００

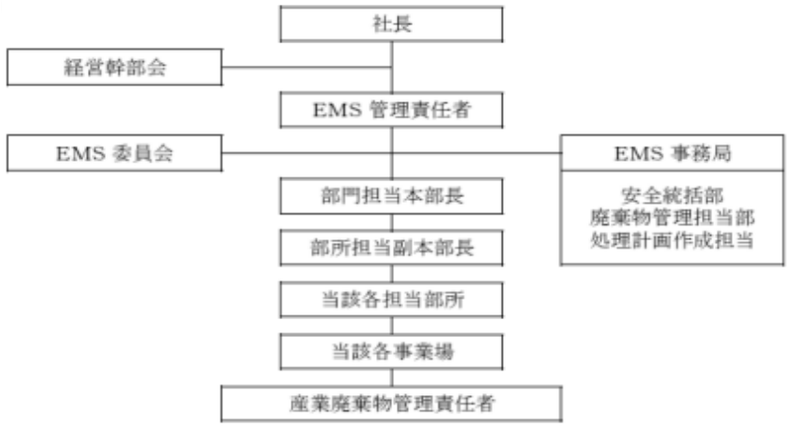
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県管轄建設工事事業場
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　２１，８３０百万円　（弊社全体の金額）
③　従業員数	１，９１０名　（弊社全体の従業員数）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	○産業廃棄物処理許可業者へ処理を全量委託（以下処理工程の一例） ・汚泥⇒脱水⇒ｾﾒﾝﾄ原料 ・廃ｱﾙｶﾘ⇒焼却⇒焼却灰ﾘｻｲｸﾙ ・廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ類⇒破砕⇒燃料 ・紙くず⇒選別⇒素材原料 ・木くず⇒破砕⇒燃料 ・金属くず⇒破砕⇒金属原料 ・ｶﾞﾗ陶くず⇒破砕⇒燃料 ・がれき類⇒破砕⇒再生骨材 ・建設混合廃棄物⇒破砕⇒燃料 ・石綿混合廃棄物⇒燃焼⇒熱利用 ・廃蛍光ﾗﾝﾌﾟ類⇒分解⇒素材原料

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
排出量	925.696　t	0.000　t

（これまでに実施した取組）

・資機材搬出入時の梱包材や養生材を必要最小限とすることを推進している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
排出量	40.000　t	1.500　t

（今後実施する予定の取組）

・種類ごとに分別することについて、集積場所へ具体的な例示を掲出することにより、混合廃棄物の発生を抑制して、結果的に再生資源化率の向上を図ることを推進する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・産業廃棄物の分別によるコスト削減効果を周知することにより作業従事者の再資源化への意識改革を図っている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・産業廃棄物の再生処理工程を考慮した効果的な分別を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t

（これまでに実施した取組）

・自ら産業廃棄物の再生利用は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t

（今後実施する予定の取組）

・今後も自ら産業廃棄物の再生利用を行う計画はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t

（これまでに実施した取組）

・自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t

（今後実施する予定の取組）

・今後も自ら産業廃棄物の中間処理を行う計画はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）

・自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）

・今後も自ら産業廃棄物の埋立処分または海洋投入処分を行う計画はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
全処理委託量	925.696 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	925.696 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	923.923 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）

・複数の優良認定処理業者より公開された情報を、十分に比較、吟味した上で、産業廃棄物の処理委託先を選定している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
全処理委託量	40.000 t	1.500 t
優良認定処理業者への処理委託量	40.000 t	1.500 t
再生利用業者への処理委託量	40.000 t	1.455 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）

・産業廃棄物の処理委託業者の選定にあたっては、再生処理や熱回収を行っていること等、ゼロエミッションに積極的に取り組んでいる処理業者を優先することを推進する。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
①現状	排出量	0.000 t	14.980 t	10.505 t	1.050 t	16.670 t	29.525 t	2.960 t	1,209.378 t	22.360 t	2.480 t	0.170 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
②計画	排出量	0.500 t	28.000 t	9.000 t	0.000 t	5.500 t	34.500 t	3.000 t	374.000 t	57.000 t	2.000 t	0.100 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
①現状	全処理委託量	0.000 t	14.980 t	10.505 t	1.050 t	16.670 t	29.525 t	2.960 t	1,209.378 t	22.360 t	2.480 t	0.170 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	14.980 t	10.505 t	1.050 t	14.890 t	7.345 t	2.960 t	75.820 t	20.800 t	0.000 t	0.170 t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.530 t	4.213 t	1.050 t	3.764 t	29.525 t	0.000 t	1,060.022 t	1.893 t	0.000 t	0.170 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
②計画	全処理委託量	0.500 t	28.000 t	9.000 t	0.000 t	5.500 t	34.500 t	3.000 t	374.000 t	57.000 t	2.000 t	0.100 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.500 t	22.000 t	9.000 t	0.000 t	3.500 t	9.500 t	3.000 t	364.000 t	57.000 t	1.000 t	0.100 t
	再生利用業者への処理委託量	0.485 t	12.850 t	6.800 t	0.000 t	3.148 t	34.500 t	0.000 t	322.367 t	2.760 t	0.000 t	0.100 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	1.000 t	0.000 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒105-0022
住 所　東京都港区海岸1－2－3
汐留芝離宮ビルディング
東京ガスエンジニアリング
氏 名　ソリューションズ株式会社
代表取締役社長　小西　康弘
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03－6452－8400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県管轄建設工事事業場
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

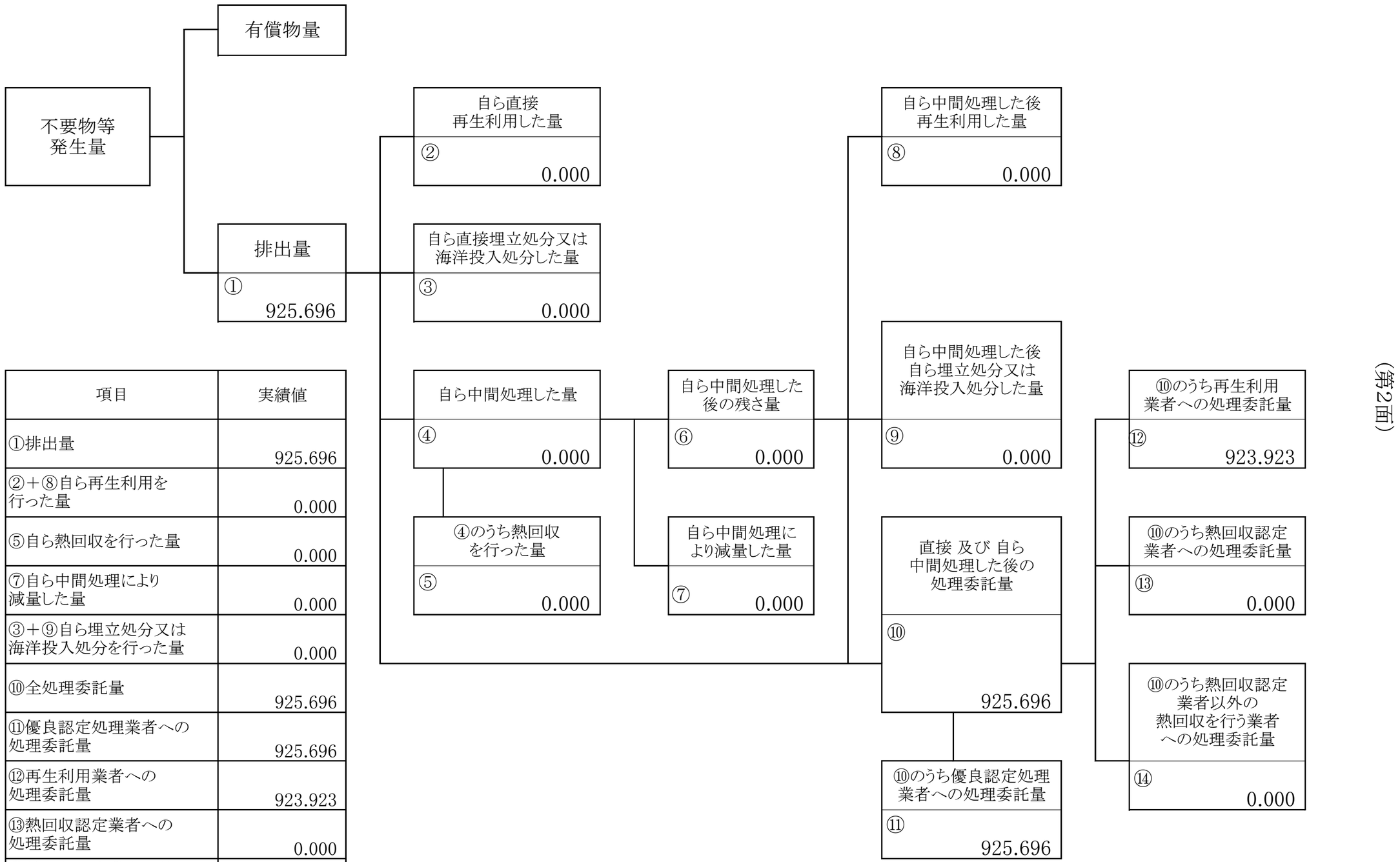
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,888.700t	全処理委託量	1,888.700t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000t	優良認定処理業者への処理委託量	1,115.700t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000t	再生利用業者への処理委託量	1,634.740t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設汚泥**　）

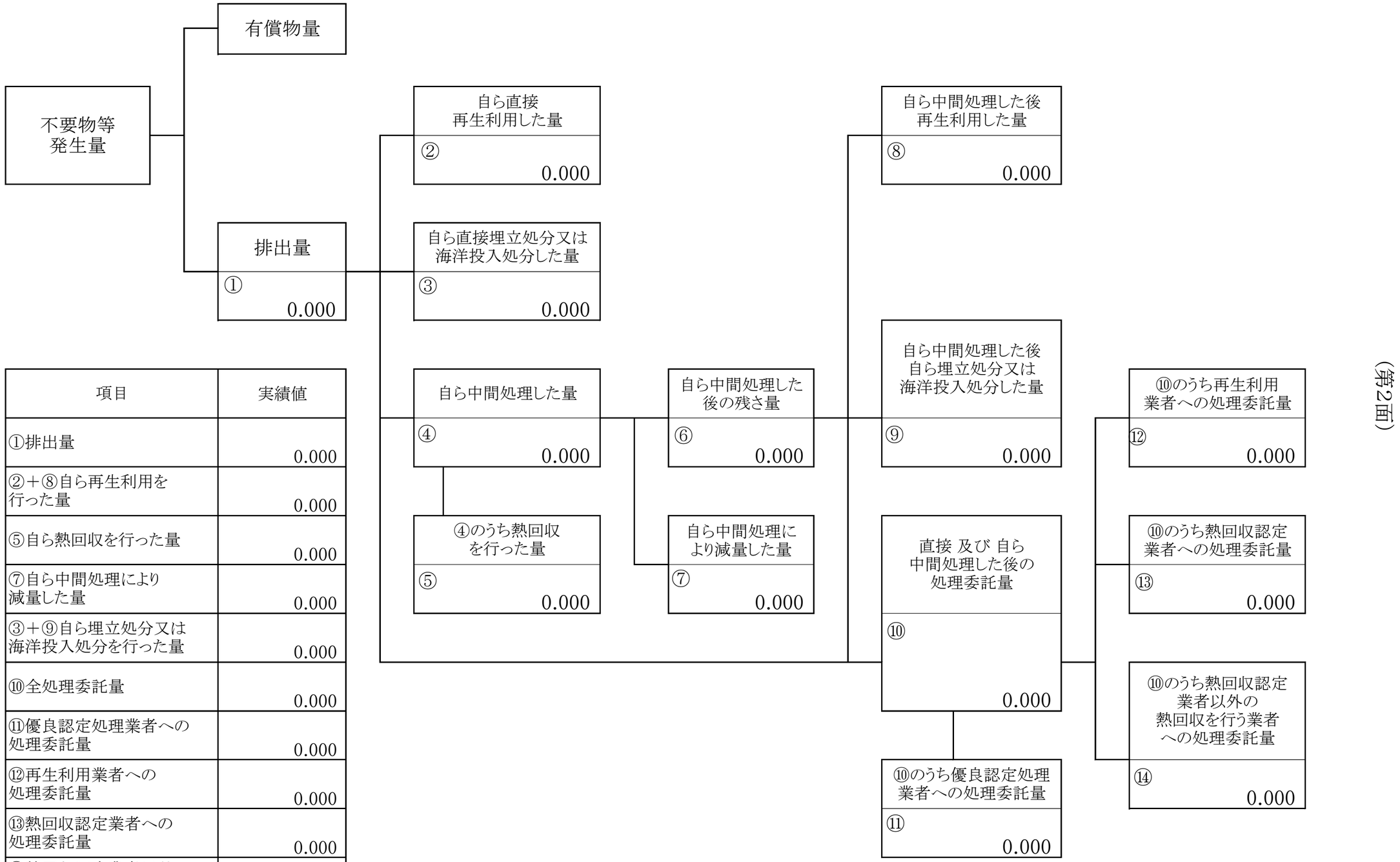


項目	実績値
①排出量	925.696
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	925.696
⑪優良認定処理業者への処理委託量	925.696
⑫再生利用業者への処理委託量	923.923
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃油**　）

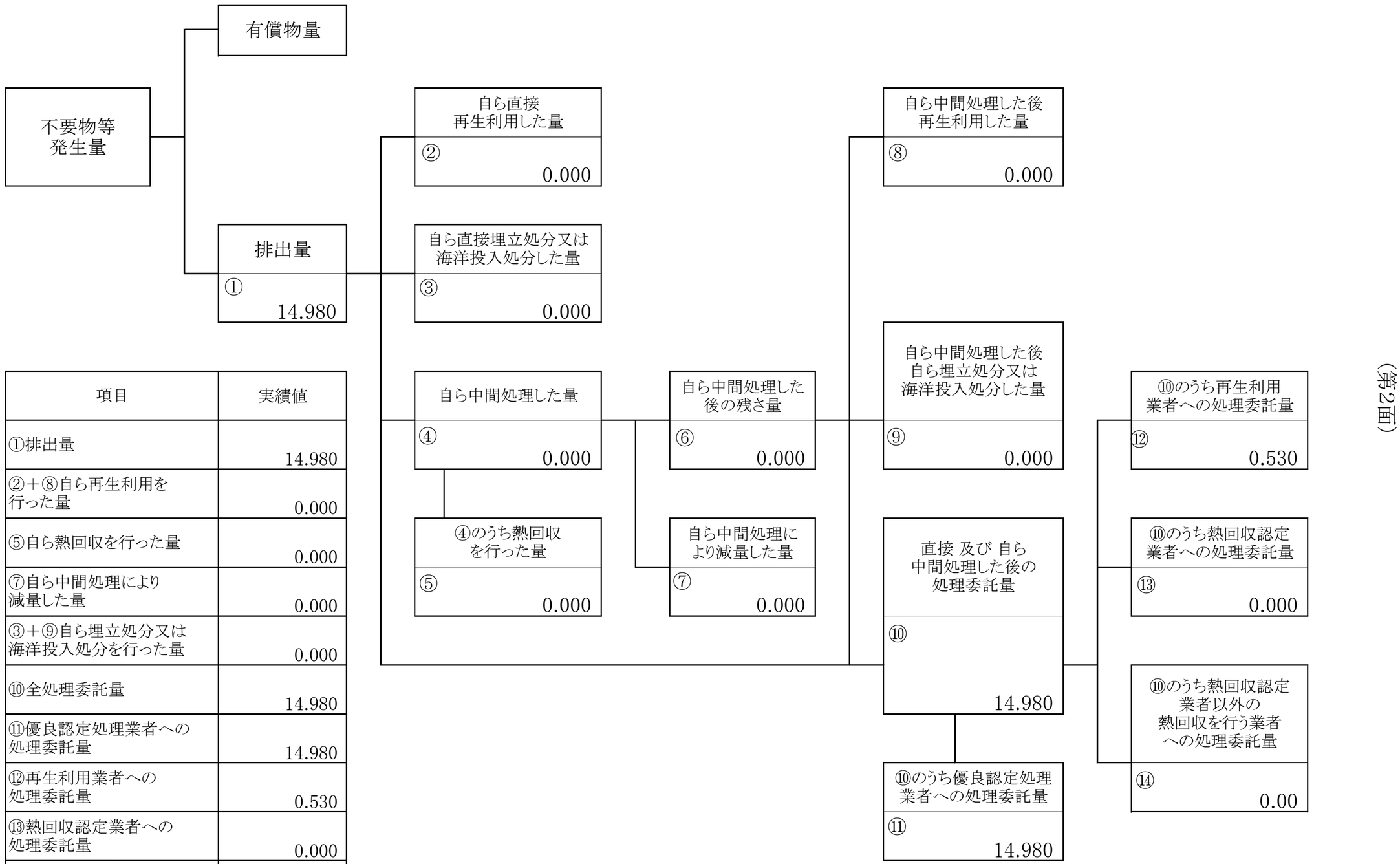


項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ**　）

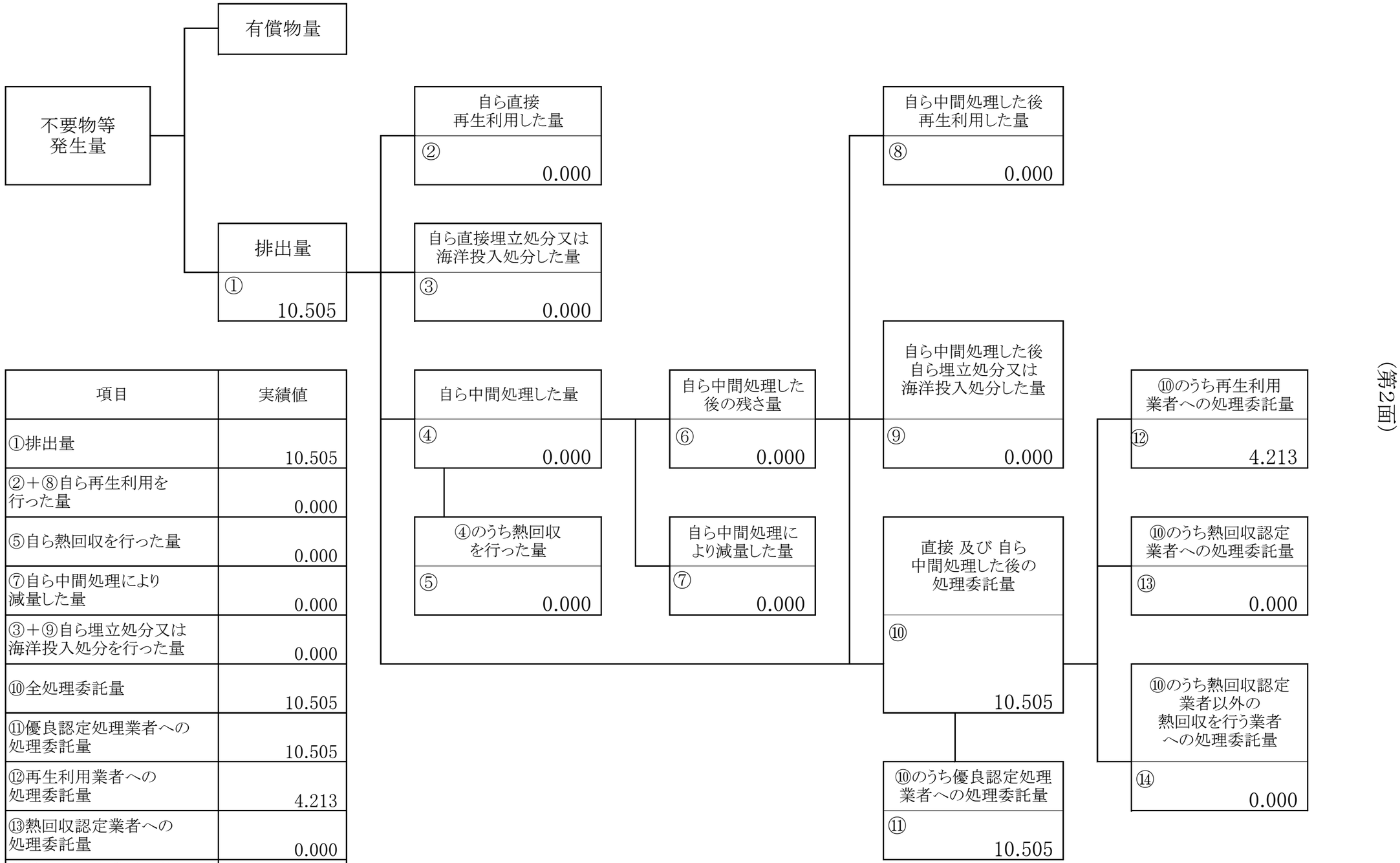


項目	実績値
①排出量	14.980
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	14.980
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.980
⑫再生利用業者への処理委託量	0.530
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスティック類**　）

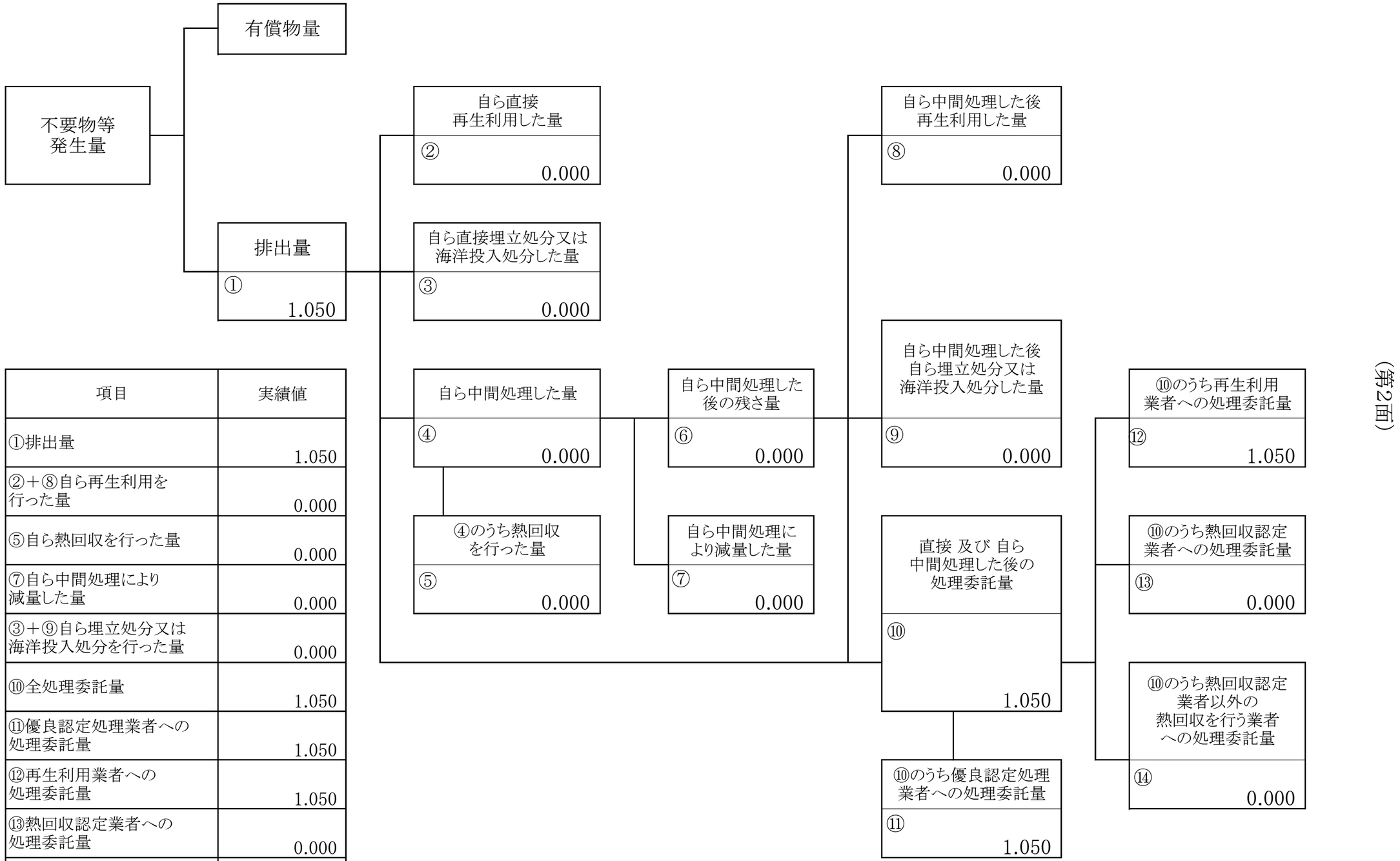


項目	実績値
①排出量	10.505
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	10.505
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.505
⑫再生利用業者への処理委託量	4.213
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

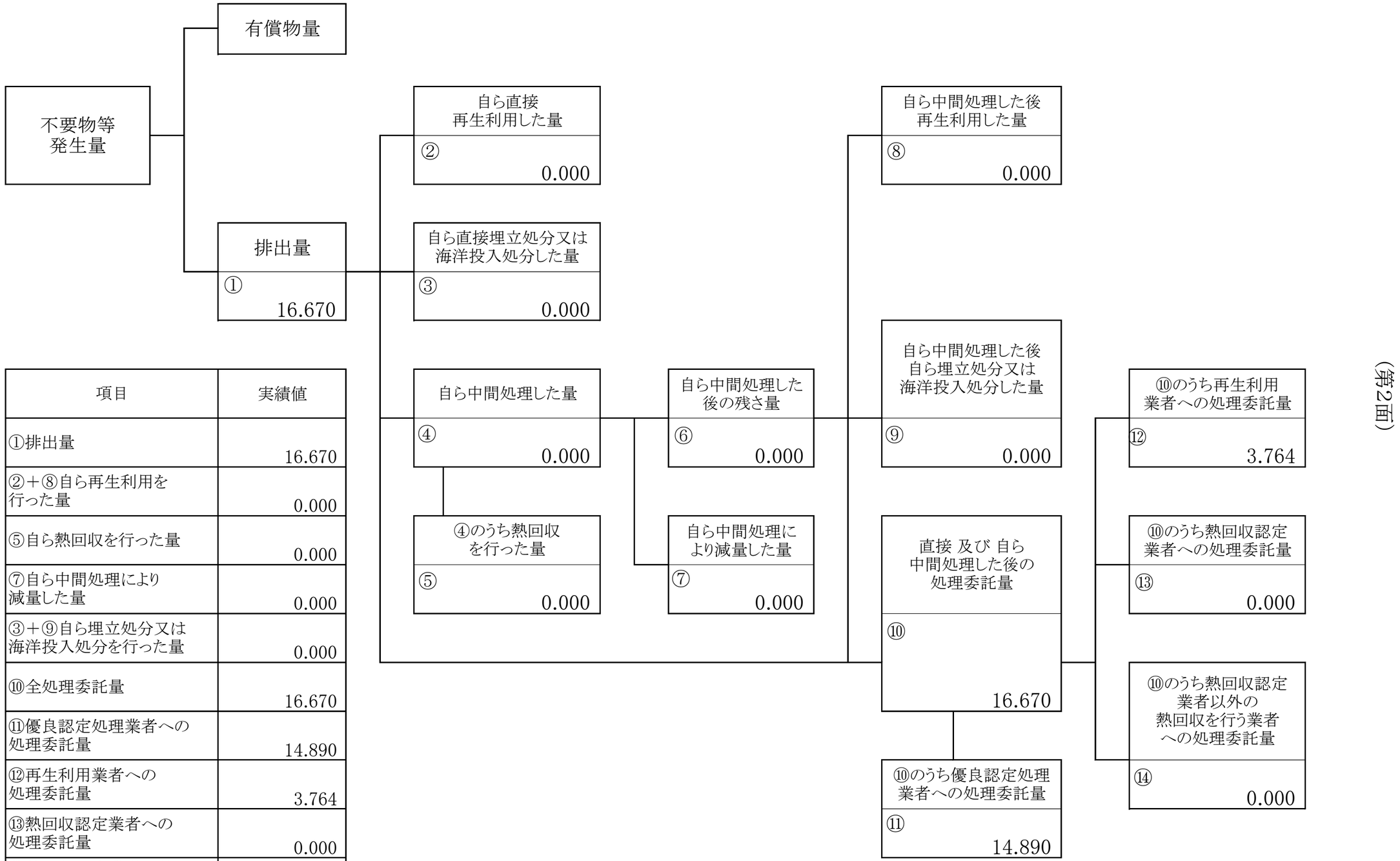


項目	実績値
①排出量	1.050
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1.050
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.050
⑫再生利用業者への処理委託量	1.050
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

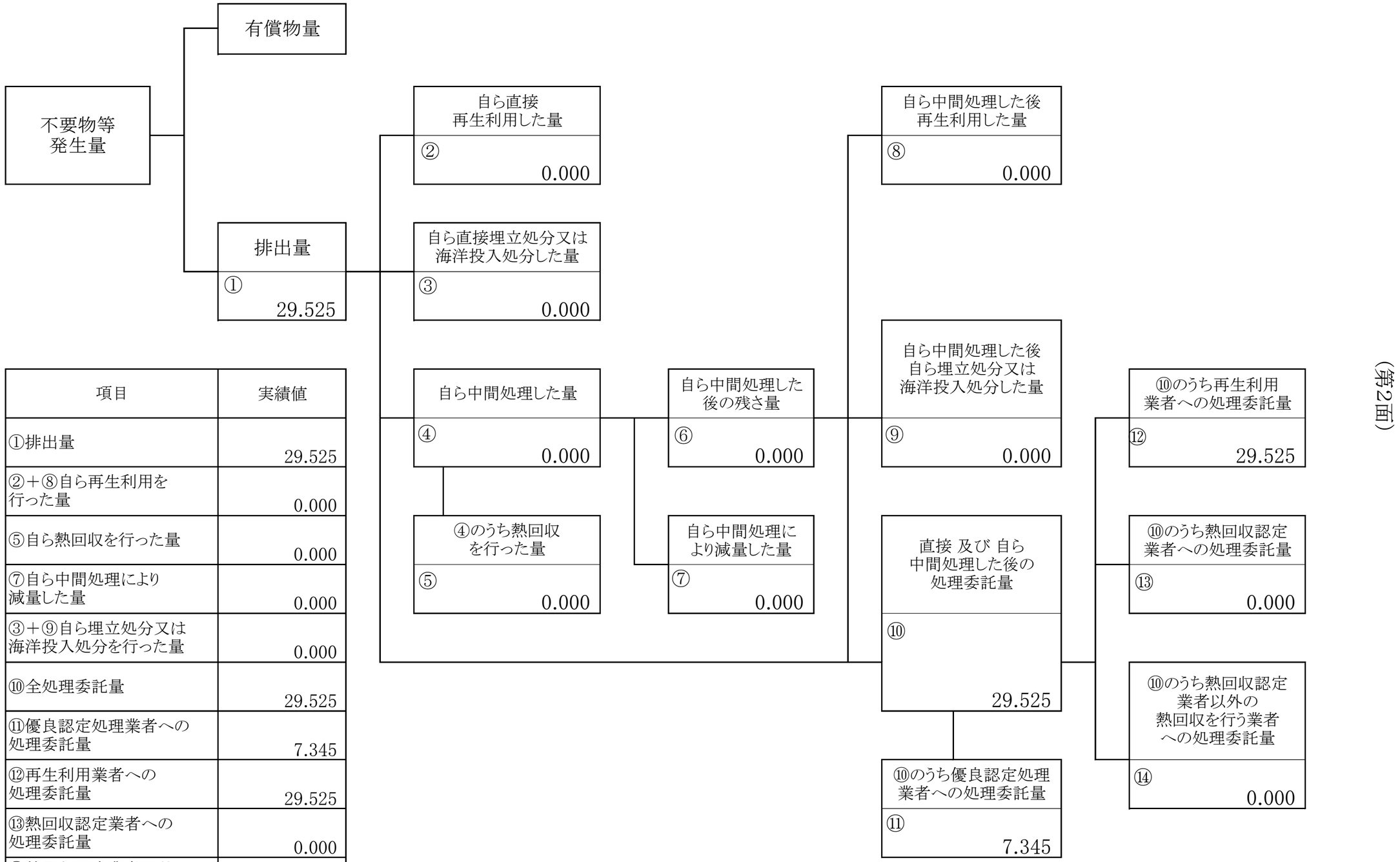


項目	実績値
①排出量	16.670
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	16.670
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.890
⑫再生利用業者への処理委託量	3.764
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**金属くず**　）

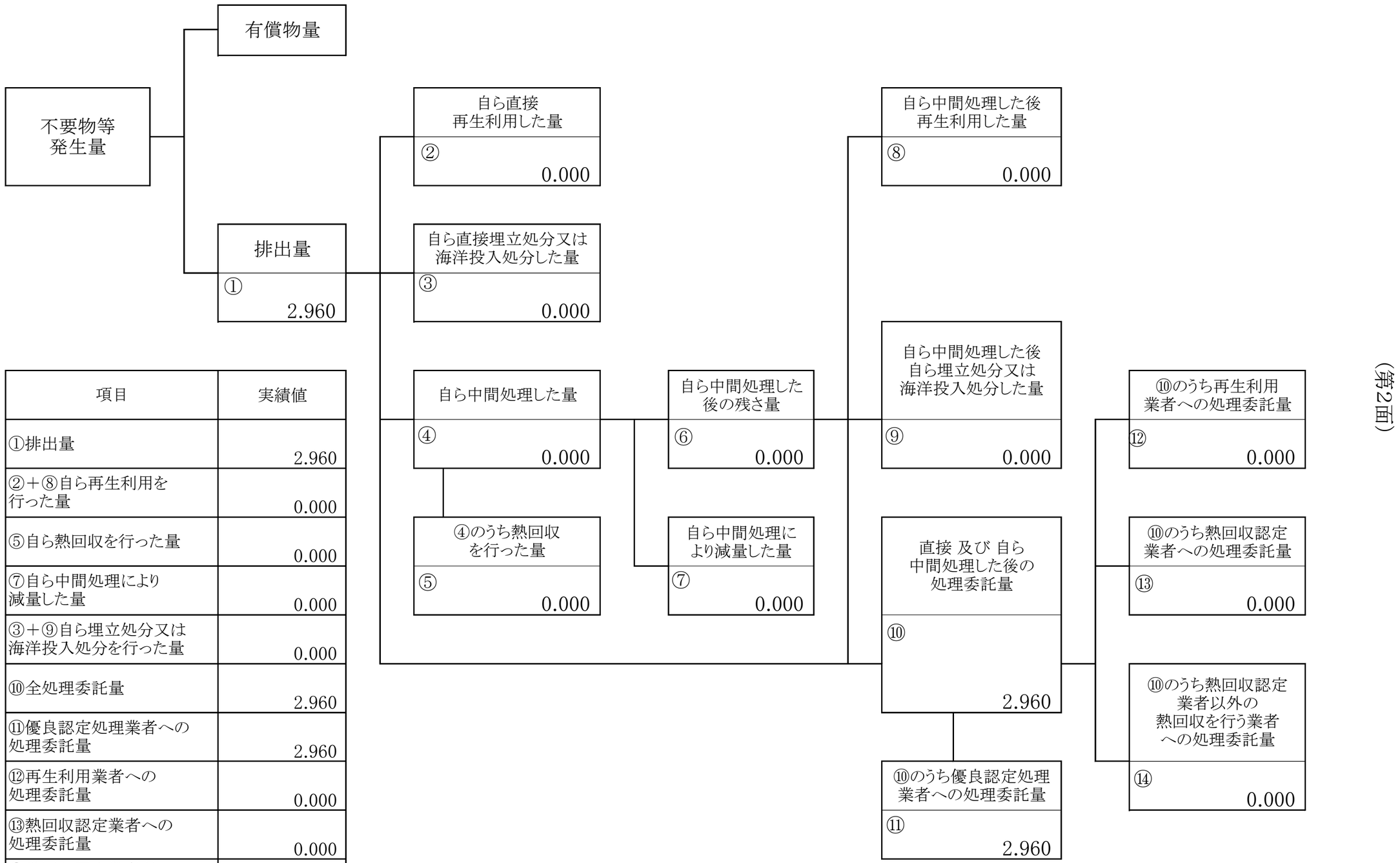


項目	実績値
①排出量	29.525
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	29.525
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.345
⑫再生利用業者への処理委託量	29.525
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス陶磁器等くず**　）

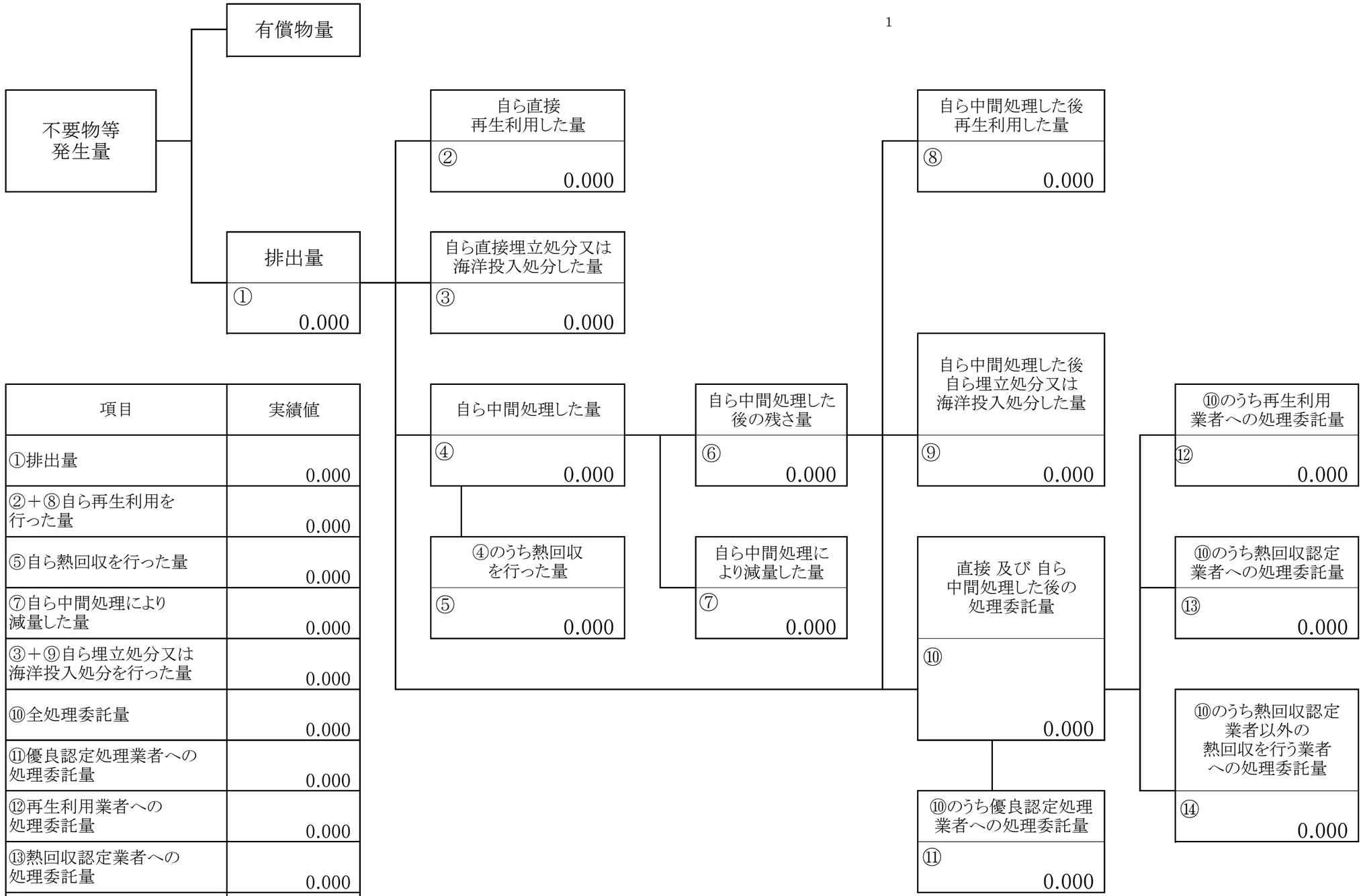


項目	実績値
①排出量	2.960
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2.960
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.960
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　**鉱さい**　　）

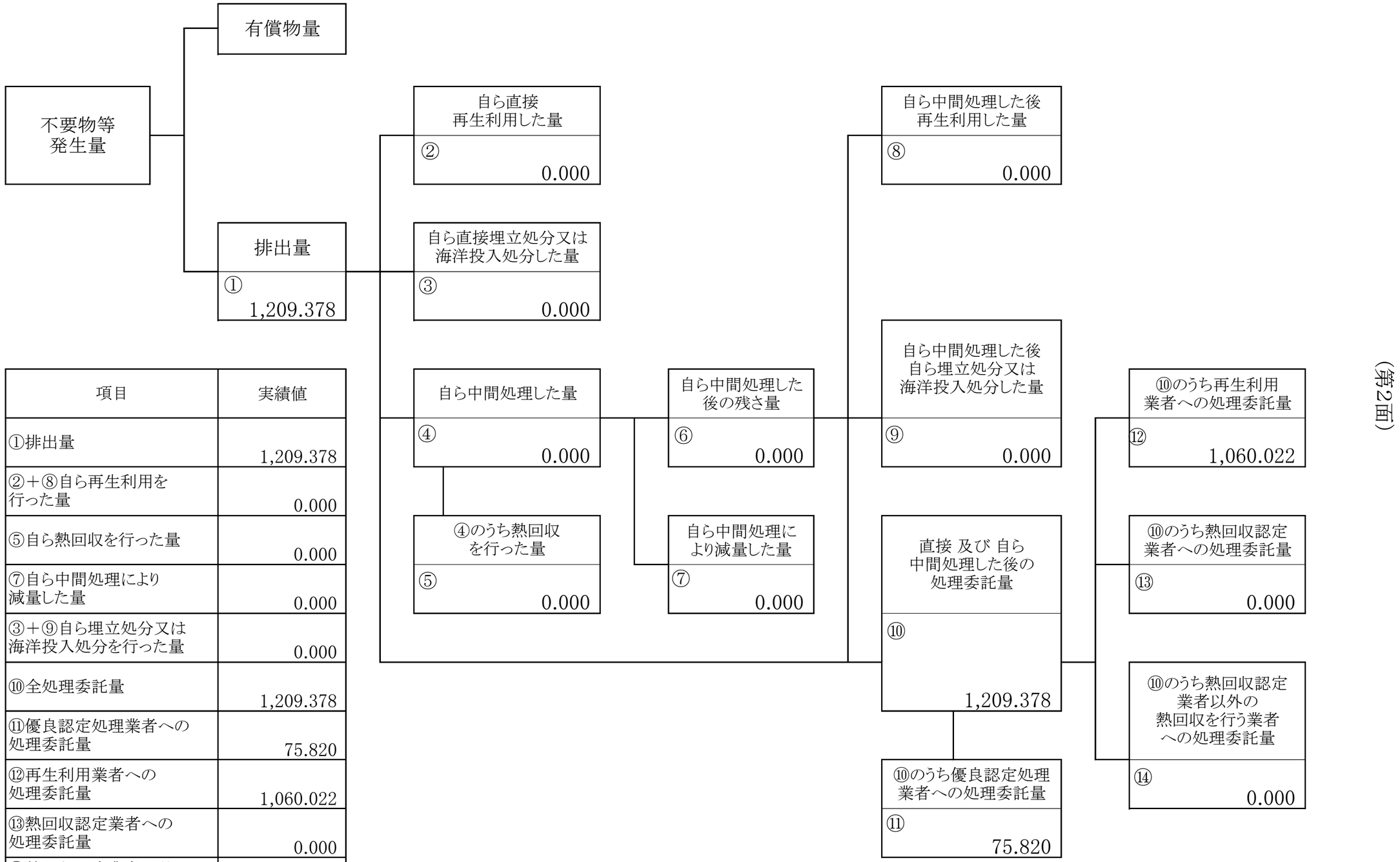


項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

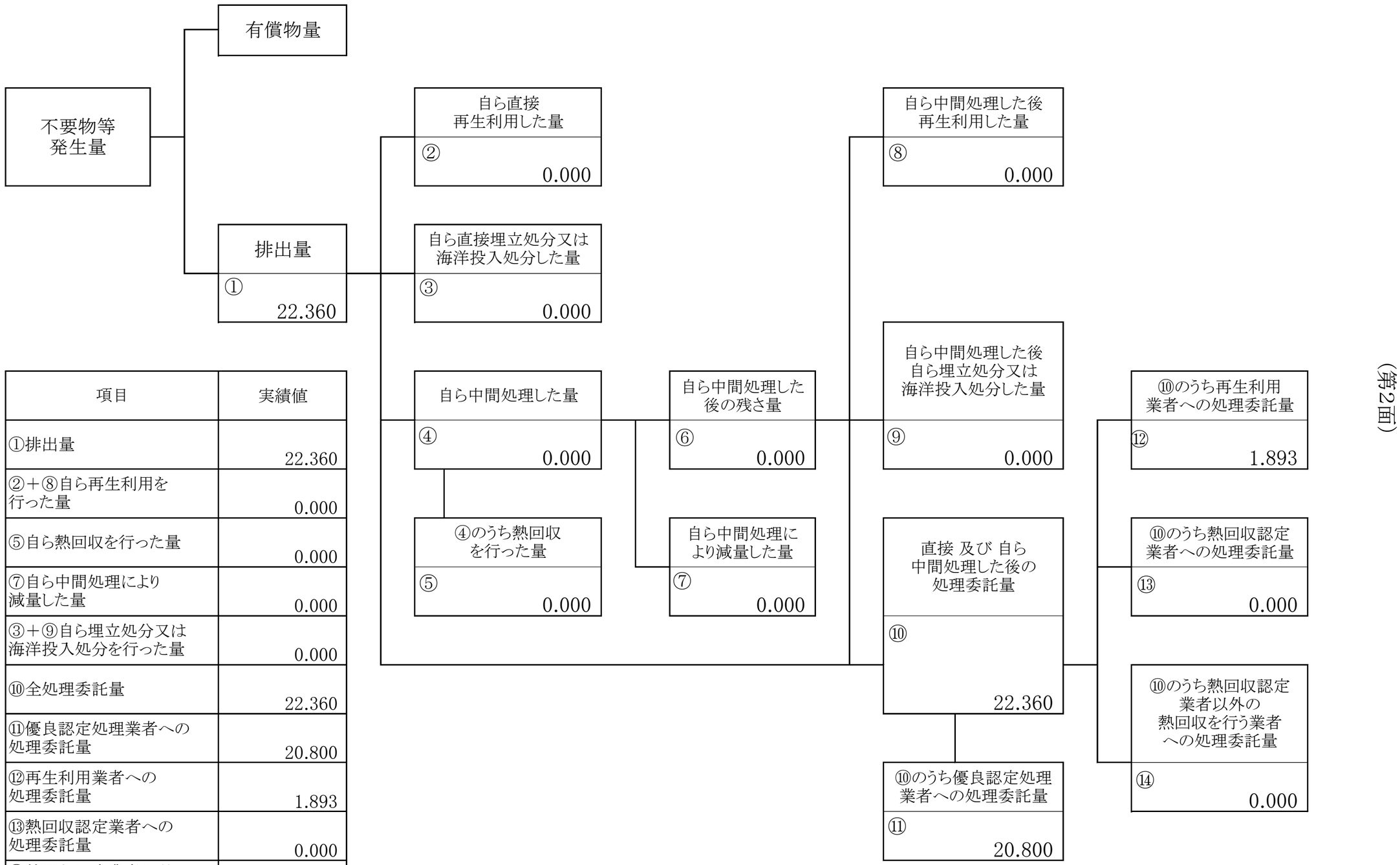


項目	実績値
①排出量	1,209.378
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,209.378
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.820
⑫再生利用業者への処理委託量	1,060.022
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

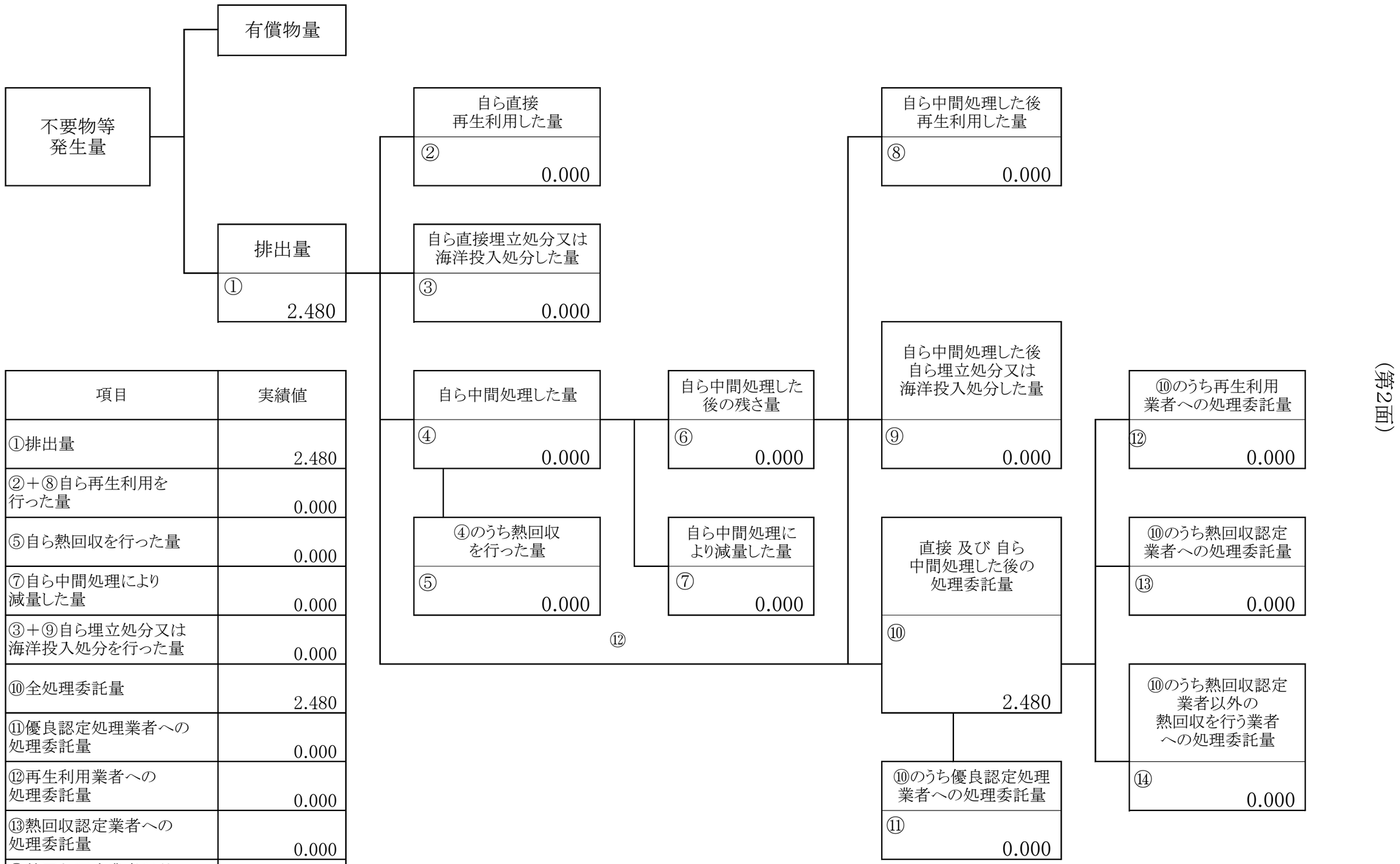


項目	実績値
①排出量	22.360
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	22.360
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.800
⑫再生利用業者への処理委託量	1.893
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**石綿含有産業廃棄物**　）

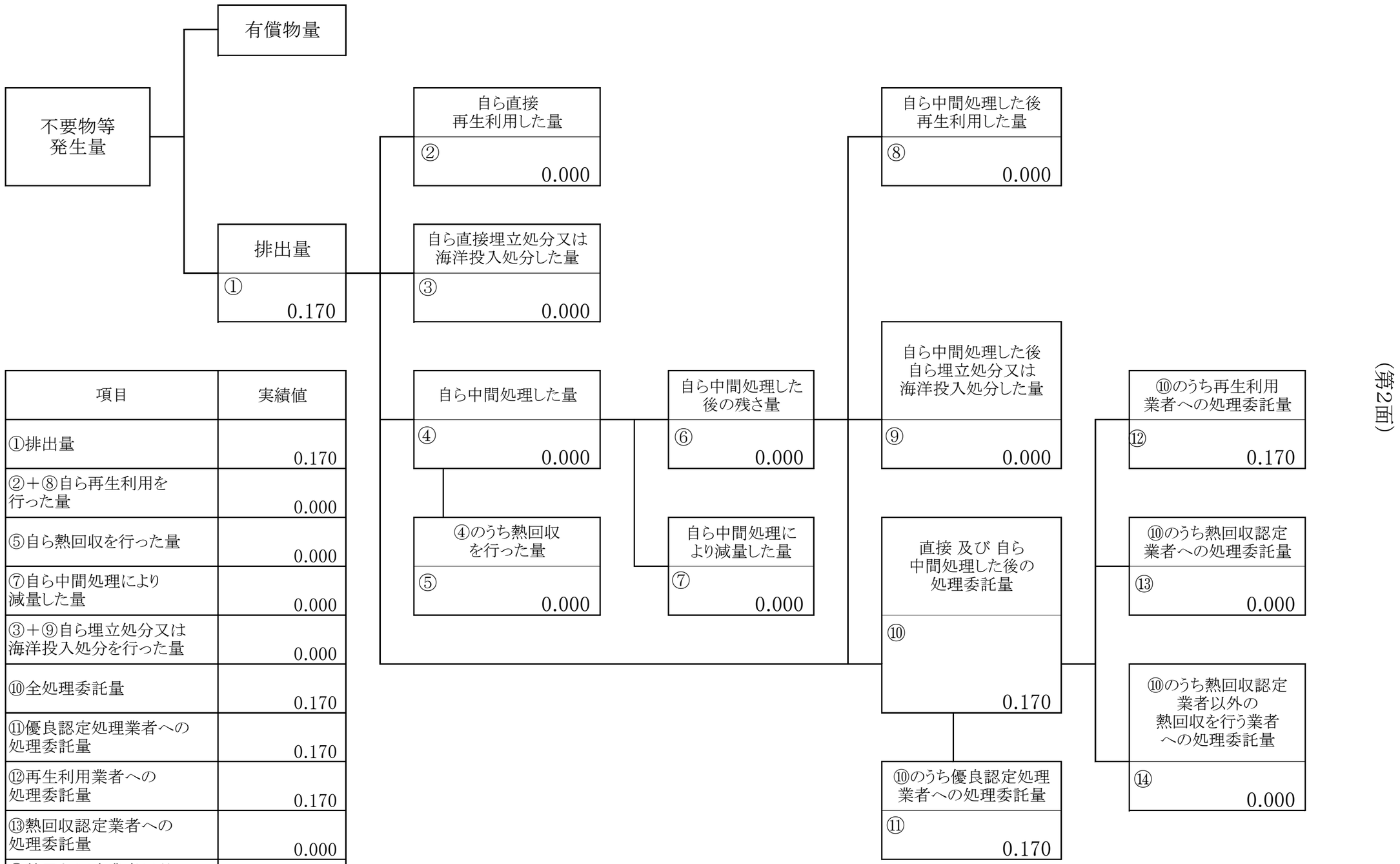


項目	実績値
①排出量	2.480
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2.480
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃蛍光ランプ類**　）



項目	実績値
①排出量	0.170
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.170
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.170
⑫再生利用業者への処理委託量	0.170
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月10日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階

氏 名　東京セキスイハイム㈱　千葉支店

支店長　平林　重宗

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-212-8127

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京セキスイハイム株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業　小分類：建設工事業
②事業の規模	前年度売上高　173億円
③従業員数	216人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	－
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
■解体工事から発生する廃棄物の再資源化率の向上
解体時の混合廃棄物率を削減する（手分別により、細かく選別させる）
■新築施工現場廃棄物の発生抑制
余剰部材の削減（積込部材の石膏ボードや合板の積込数量の見直し）
梱包材の削減（工場へ梱包を極力減らすよう提案）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	－
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
■解体工事から発生する廃棄物の再資源化率の向上の継続
混合廃棄物量が多い解体業者への指導と解体パトロールを強化する
■新築施工現場廃棄物の発生抑制の継続
余剰部材の削減（積込部材の石膏ボードや合板の積込数量の見直し）
梱包材の削減（工場へ梱包を極力減らすよう提案）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
■現状７品目分別に対しての分別解体教育
■解体廃棄物分別基準の策定
■適正処理状況の確認
月1回の解体現場パトロールによる監視と指導
中間処理場の視察による監視と指導

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
■解体廃棄物分別基準の運用監視
■新築廃棄物分別基準の運用監視
■巡回巡視及び解体施工報告書による監視の継続
■解体パトロール巡視による評価

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自己処理実績無し</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり（第4面第5面別紙ー１）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり（第4面第5面別紙一１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

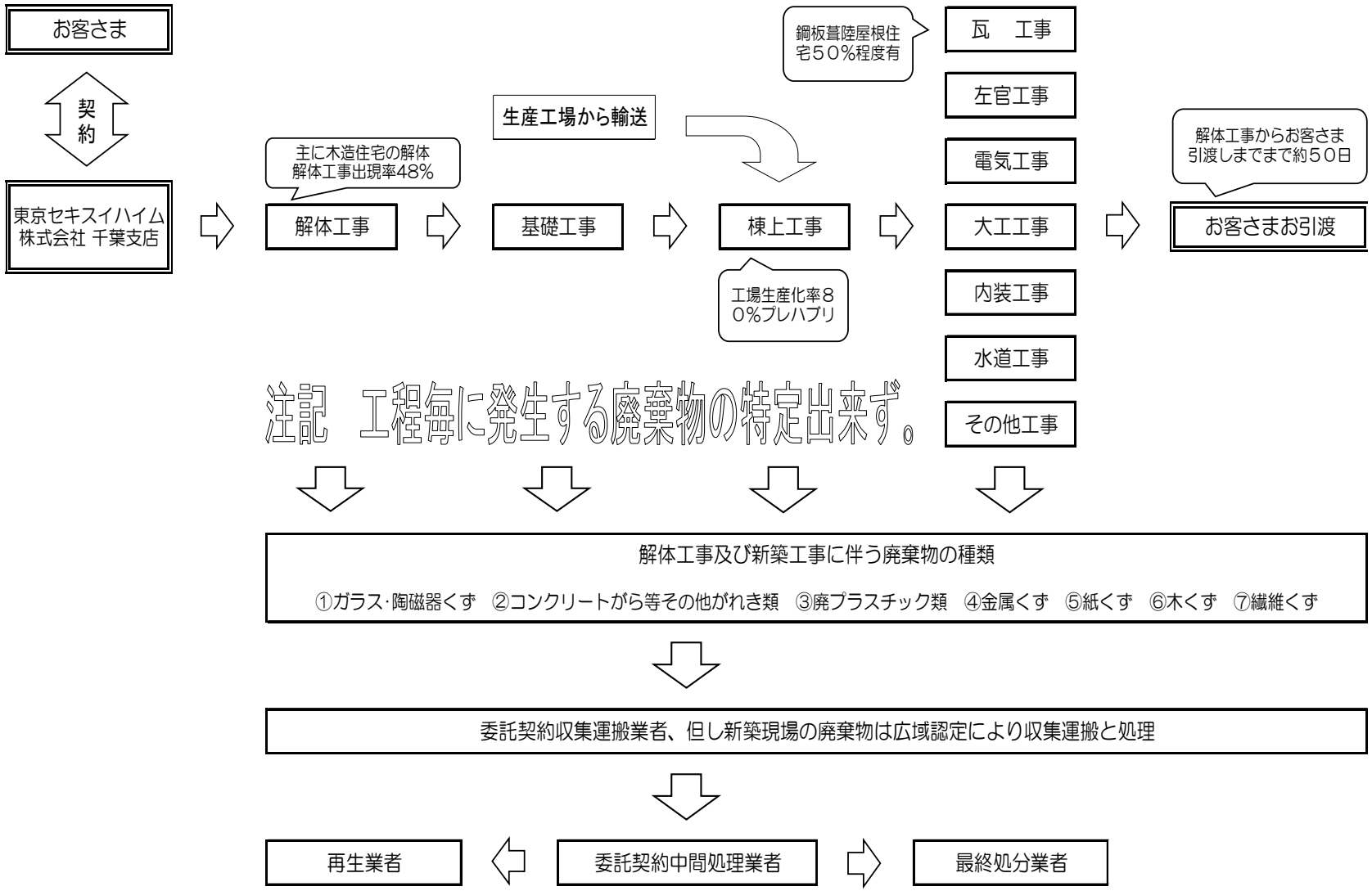
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

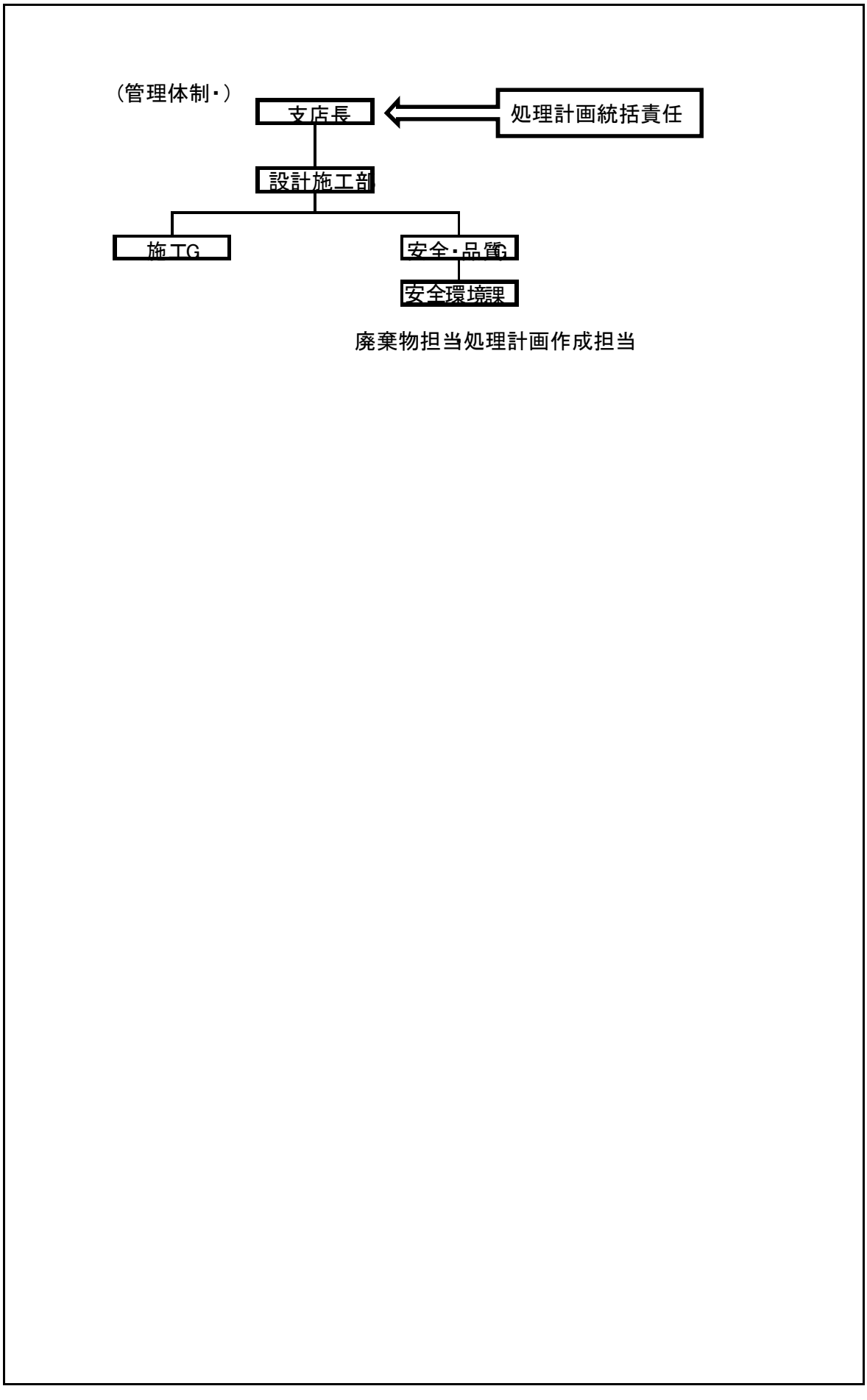
7　※欄は記入しないこと。

④. 産業廃棄物の一連の処理工程

(第1面)別紙ー1



別添２ 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排出量	48.80 t	1.80 t	1,230.10 t	5.32 t	116.62 t	124.30 t	73.23 t	1,979.60 t	112.02 t	452.79 t	5.12 t	100.05 t	84.75 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排出量	43.92 t	1.62 t	1,107.09 t	4.79 t	104.96 t	111.87 t	65.91 t	1,781.64 t	100.82 t	407.51 t	4.61 t	90.05 t	76.28 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	48.80 t	1.80 t	1,230.10 t	5.32 t	116.62 t	124.30 t	73.23 t	1,979.60 t	112.02 t	452.79 t	5.12 t	100.05 t	84.75 t					
優良認定処理業者への処理委託量	26.88 t	1.20 t	780.93 t	2.02 t	3.39 t	44.90 t	45.09 t	452.58 t	0.00 t	318.64 t	2.86 t	71.45 t	58.35 t					
再生利用業者への処理委託量	48.80 t	1.80 t	1,230.10 t	5.32 t	116.62 t	124.30 t	73.23 t	1,979.60 t	112.02 t	452.79 t	2.52 t	100.05 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	43.92 t	1.62 t	1,107.09 t	4.79 t	104.96 t	111.87 t	65.91 t	1,781.64 t	100.82 t	407.51 t	4.61 t	90.05 t	76.28 t					
優良認定処理業者への処理委託量	24.19 t	1.08 t	702.84 t	1.82 t	3.05 t	40.41 t	40.58 t	407.32 t	0.00 t	286.78 t	2.57 t	64.31 t	52.52 t					
再生利用業者への処理委託量	43.92 t	1.62 t	1,107.09 t	4.79 t	104.96 t	111.87 t	65.91 t	1,781.64 t	100.82 t	407.51 t	2.27 t	90.05 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月10日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階

氏 名　東京セキスイハイム㈱　千葉支店

支店長　平林　重宗

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-212-8127

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東京セキスイハイム株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業　小分類：建設工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,315.33 t	全処理委託量	6,315.33 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3,907.60 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

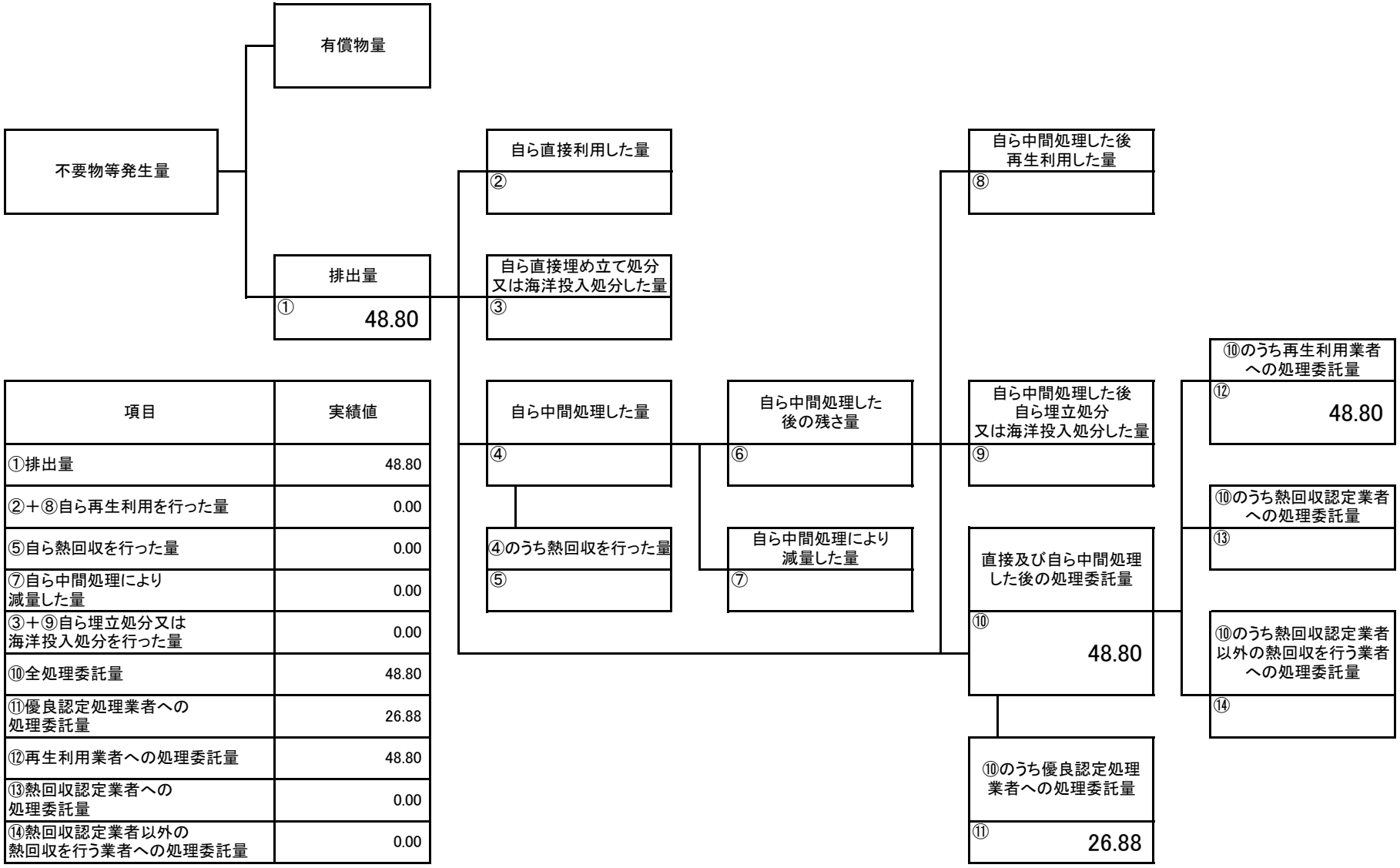
（日本産業規格　A列4番）

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

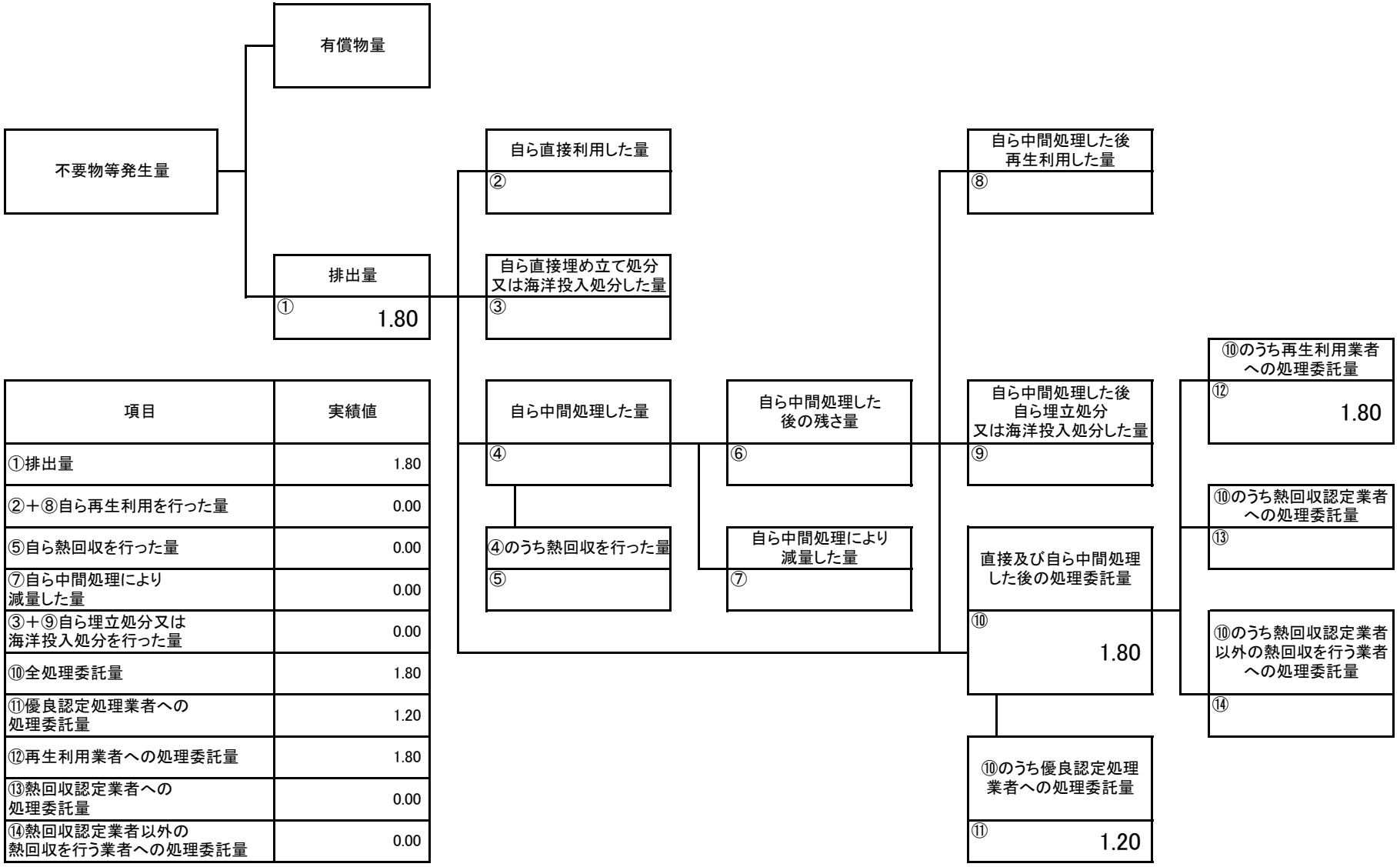


項目	実績値
①排出量	48.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	48.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.88
⑫再生利用業者への処理委託量	48.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず　　）

（単位：トン）

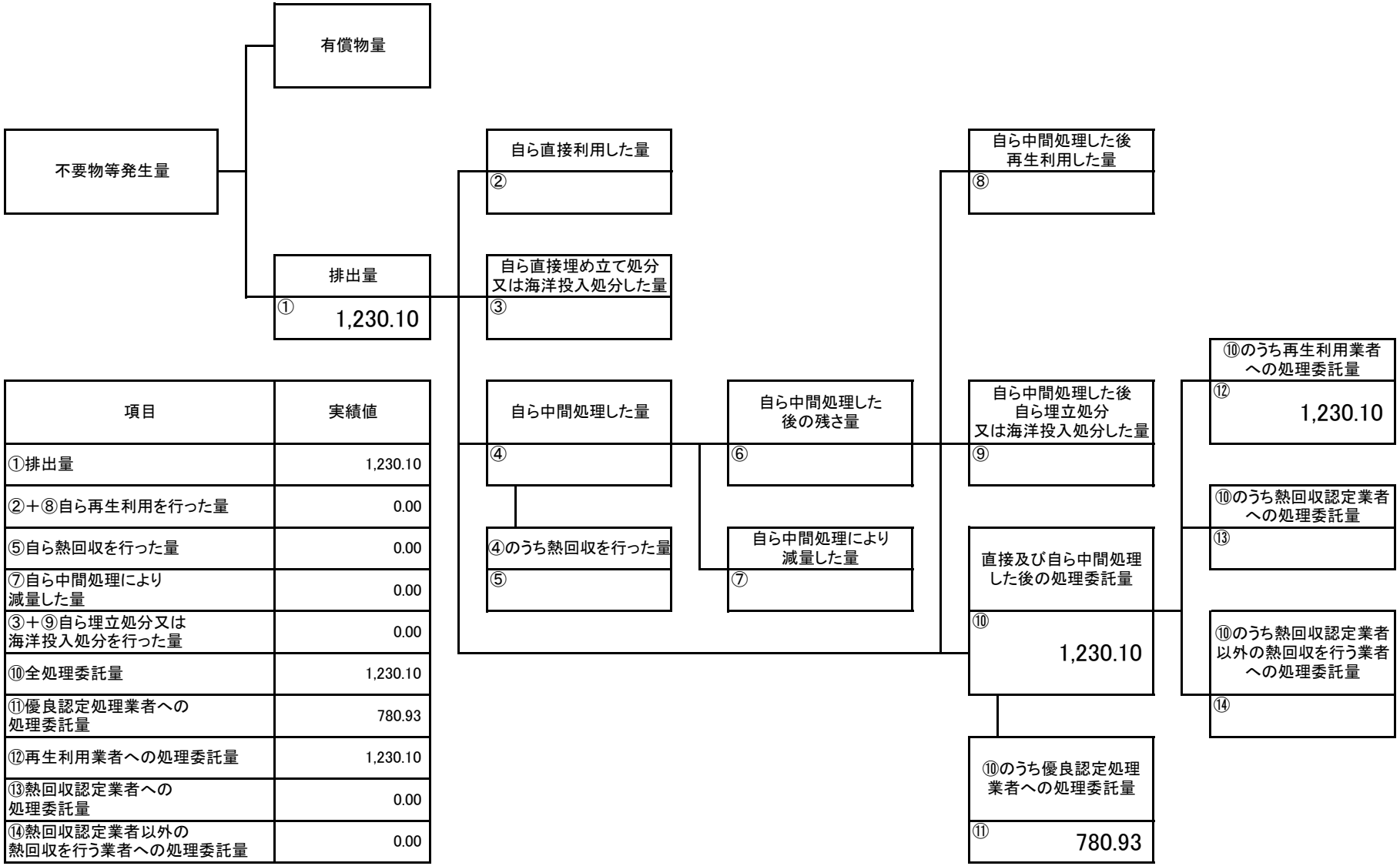


項目	実績値
①排出量	1.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.20
⑫再生利用業者への処理委託量	1.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

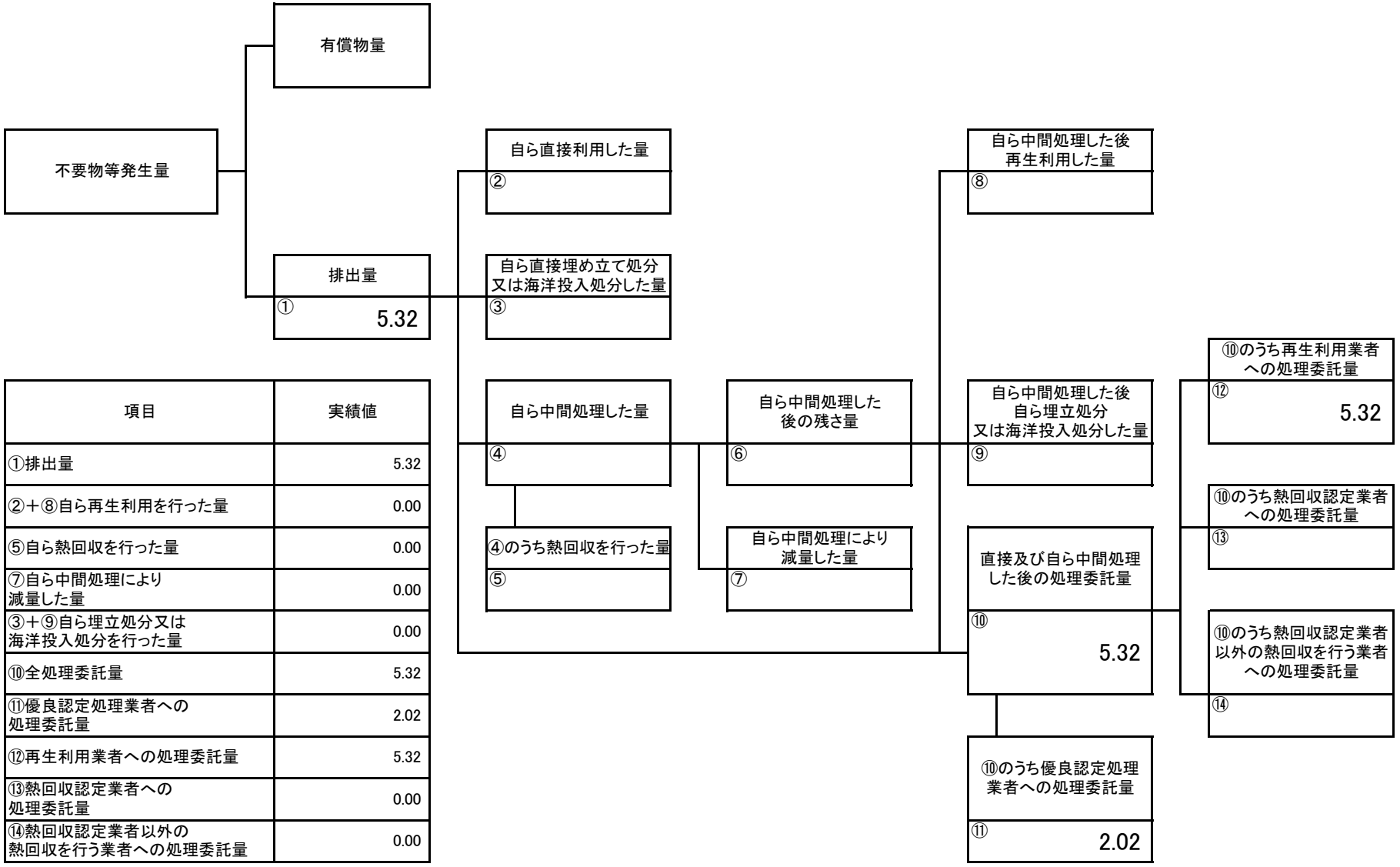


項目	実績値
①排出量	1,230.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,230.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	780.93
⑫再生利用業者への処理委託量	1,230.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 繊維くず　　）

（単位：トン）

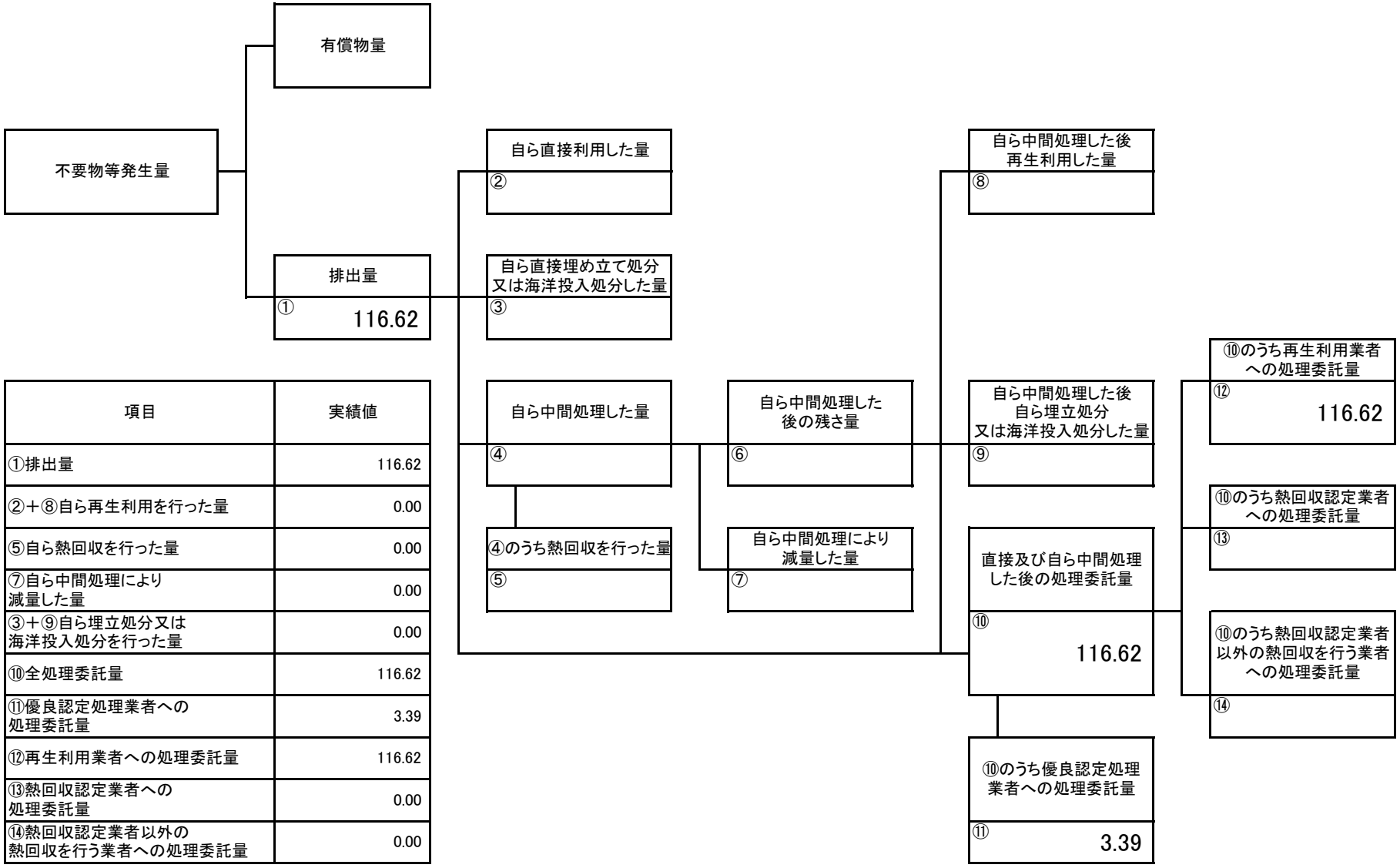


項目	実績値
①排出量	5.32
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.02
⑫再生利用業者への処理委託量	5.32
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず　　）

（単位：トン）

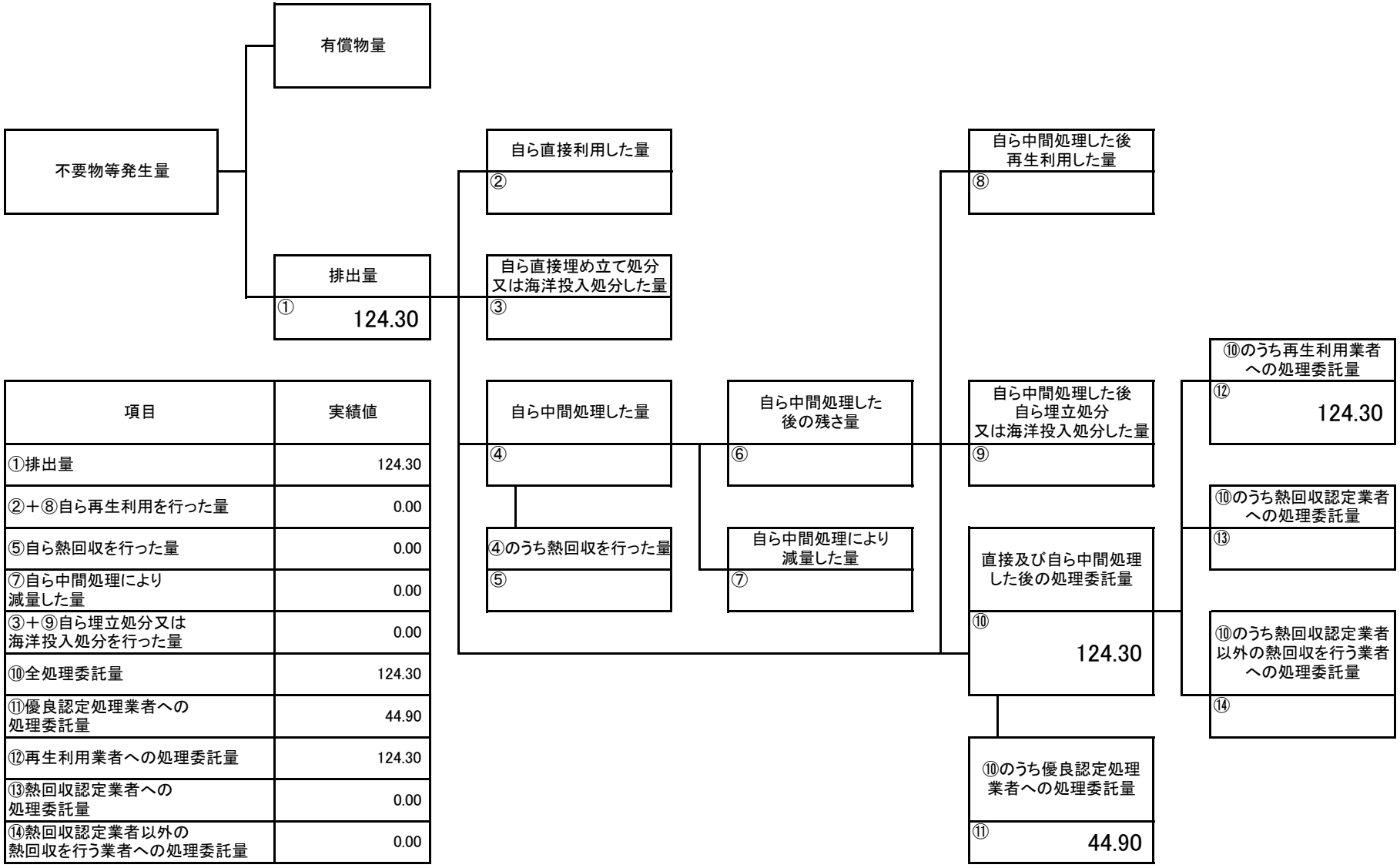


項目	実績値
①排出量	116.62
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	116.62
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.39
⑫再生利用業者への処理委託量	116.62
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

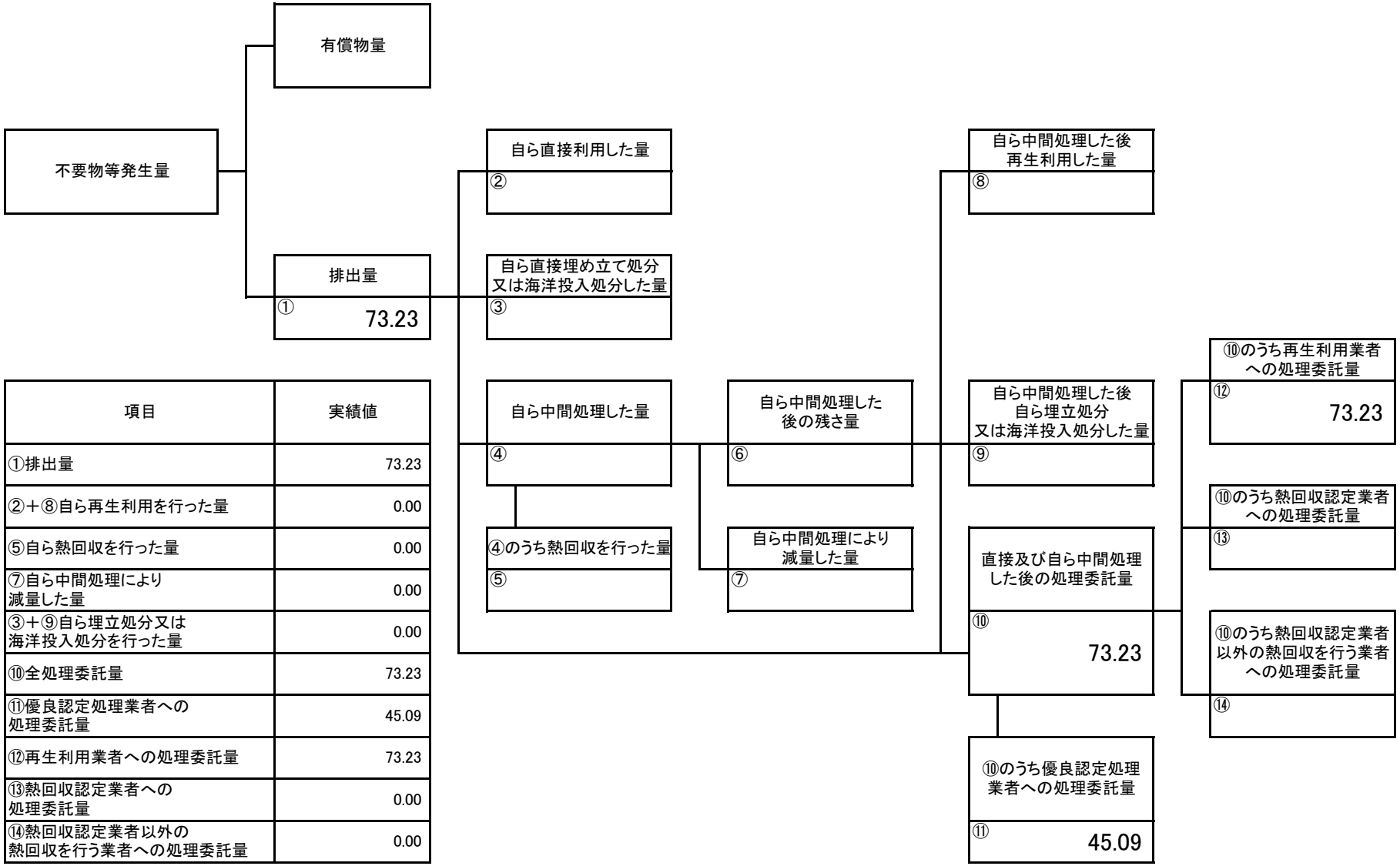


項目	実績値
①排出量	124.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	124.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.90
⑫再生利用業者への処理委託量	124.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

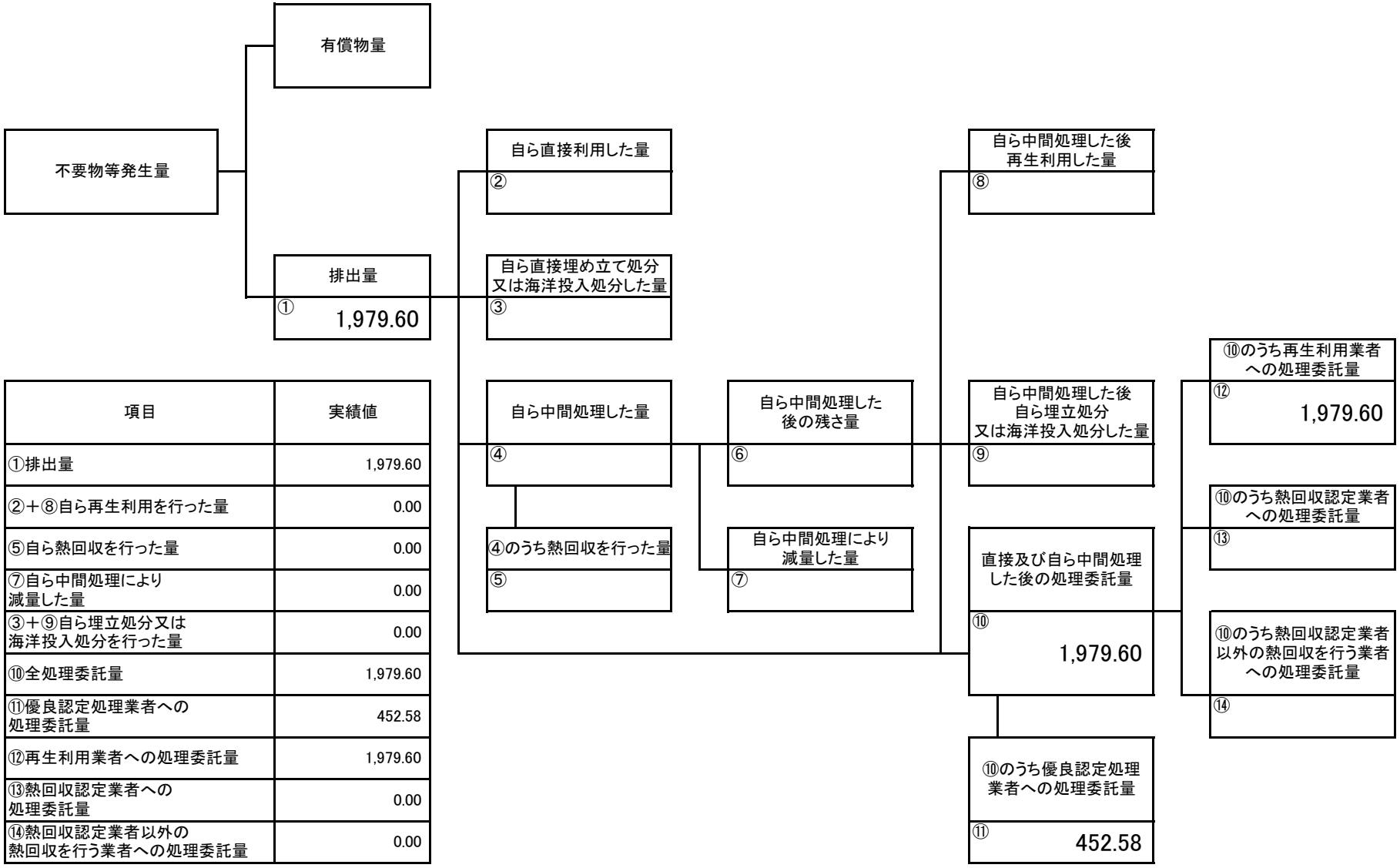


項目	実績値
①排出量	73.23
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	73.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.09
⑫再生利用業者への処理委託量	73.23
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

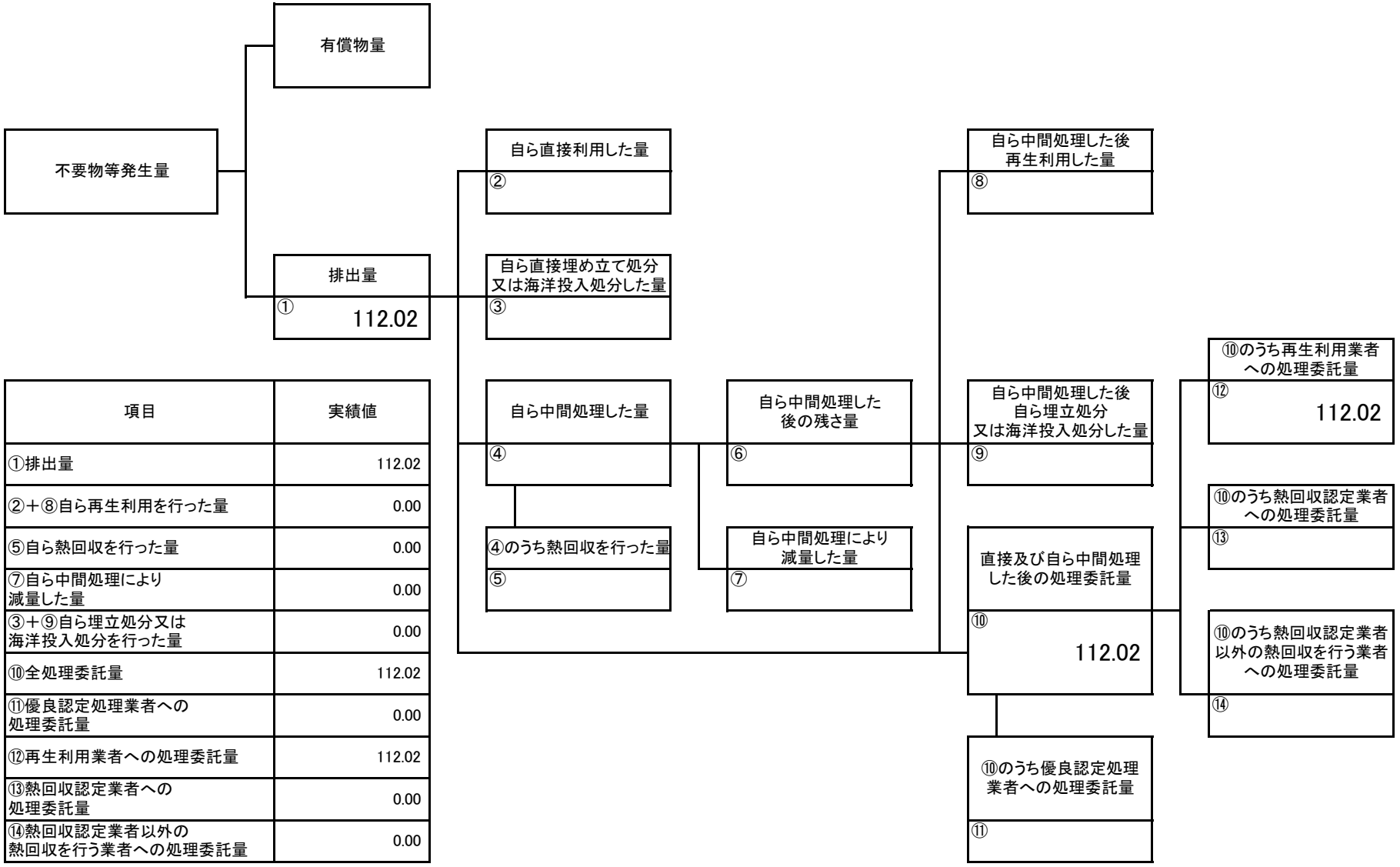


項目	実績値
①排出量	1,979.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,979.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	452.58
⑫再生利用業者への処理委託量	1,979.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 アス・コン片 ）

（単位：トン）

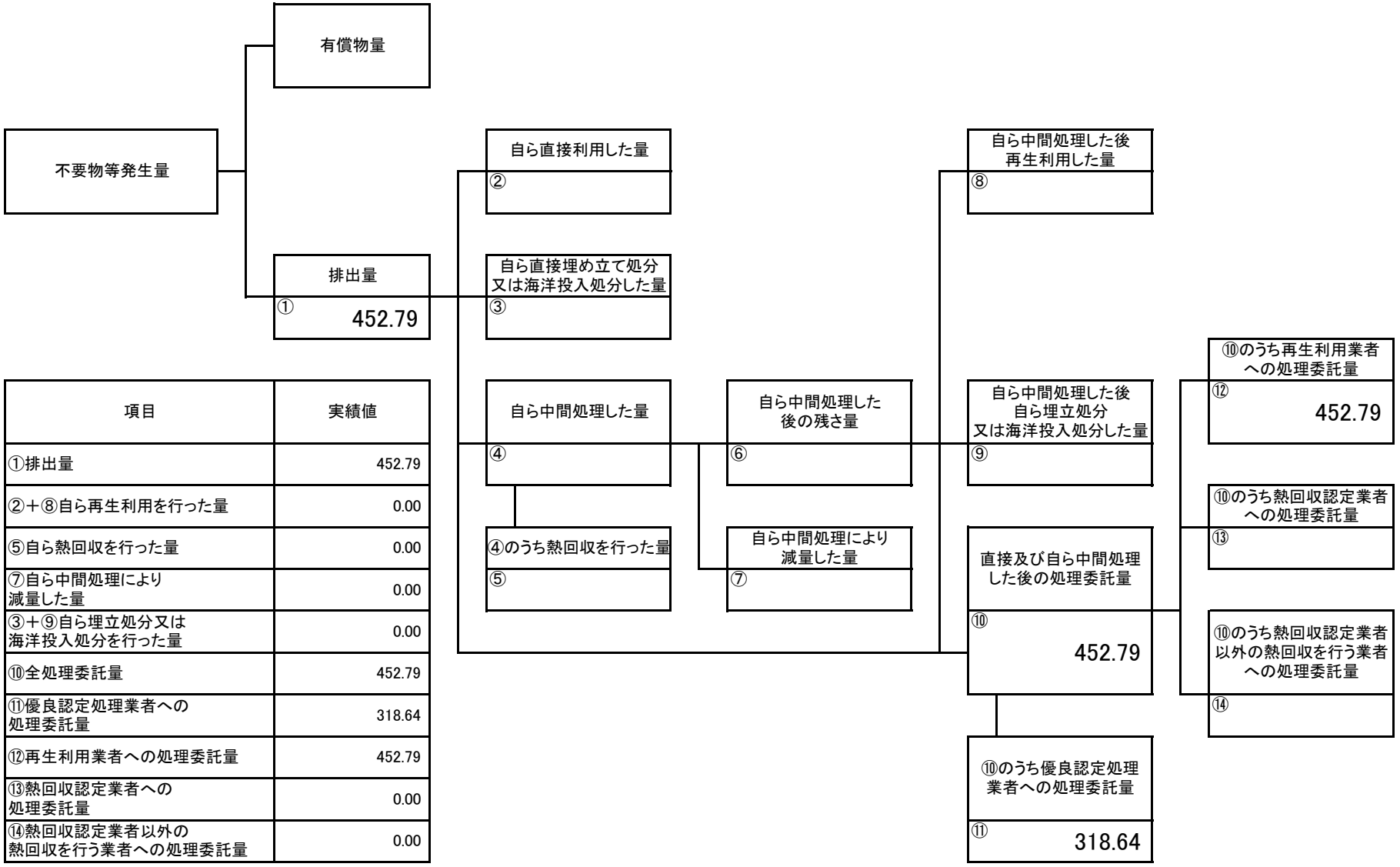


項目	実績値
①排出量	112.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	112.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	112.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類　　）

（単位：トン）

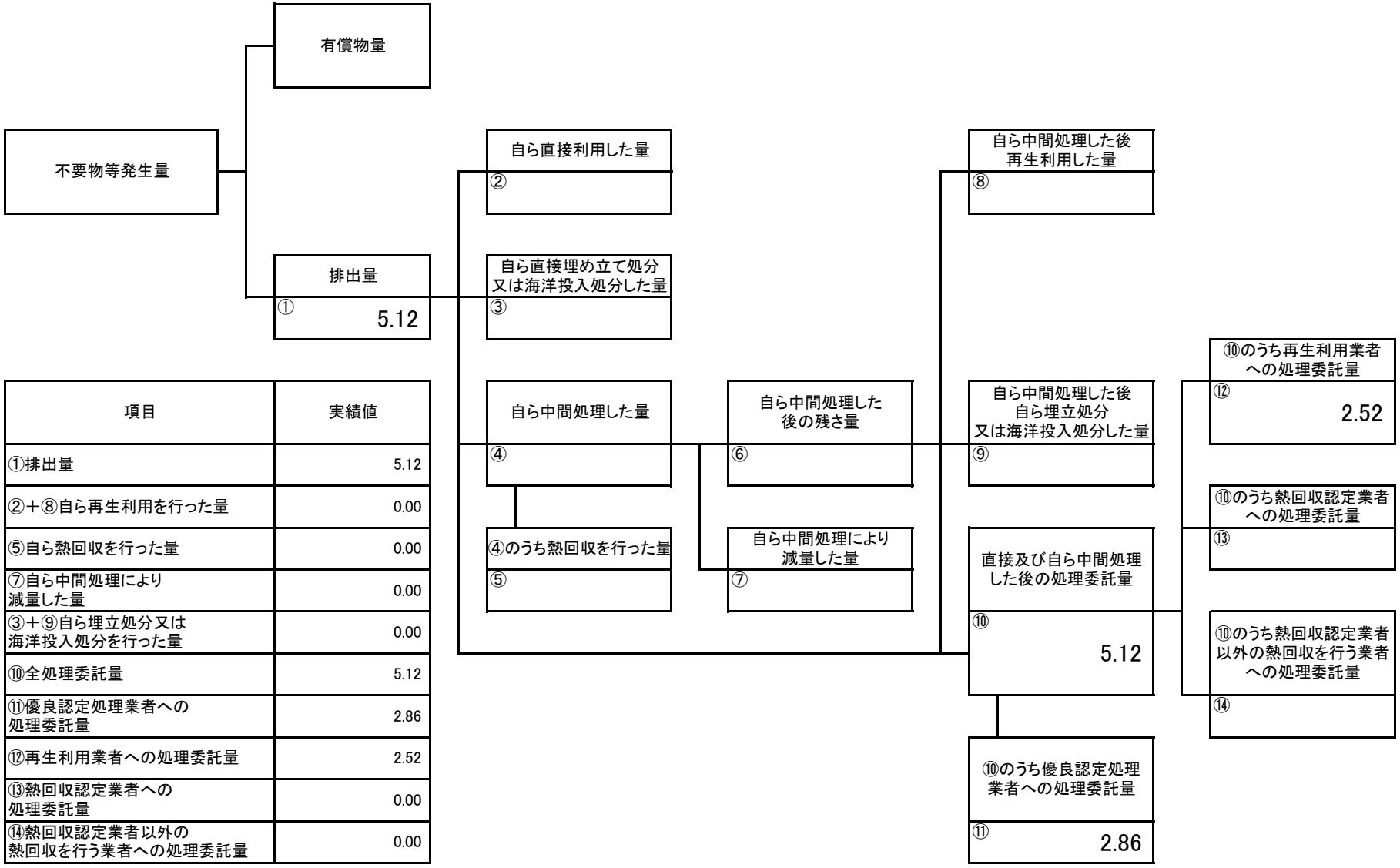


項目	実績値
①排出量	452.79
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	452.79
⑪優良認定処理業者への処理委託量	318.64
⑫再生利用業者への処理委託量	452.79
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

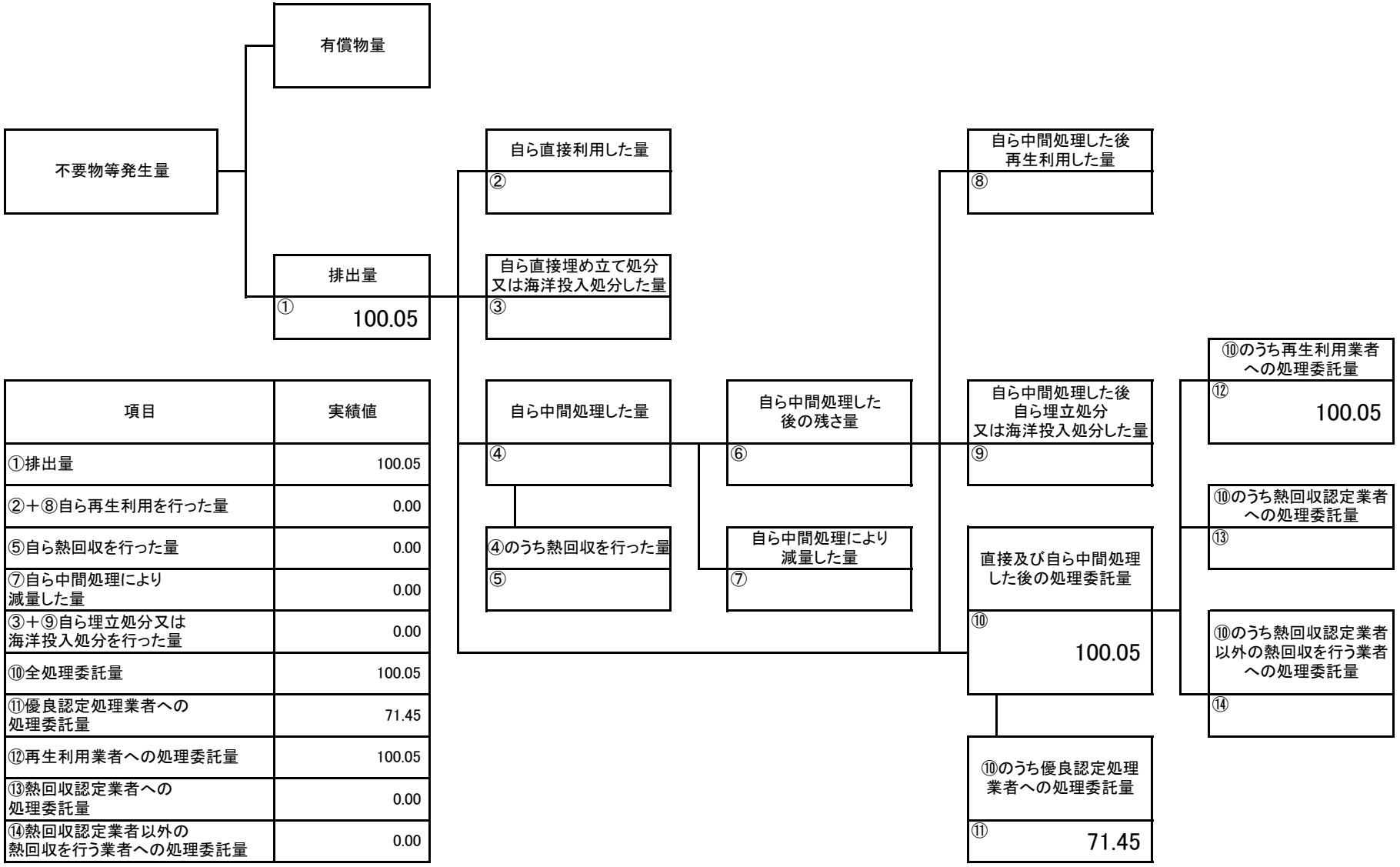


項目	実績値
①排出量	5.12
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.86
⑫再生利用業者への処理委託量	2.52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

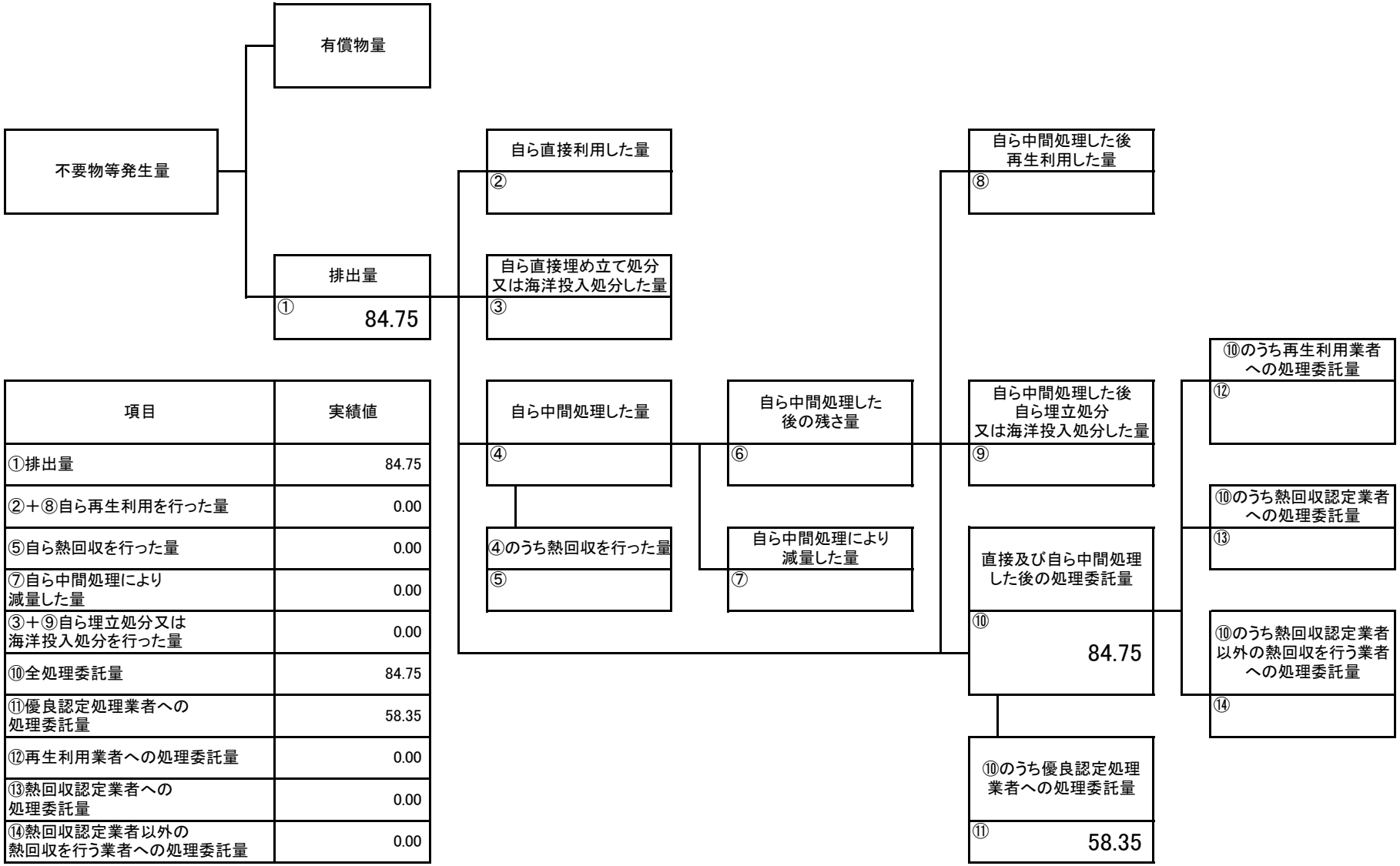


項目	実績値
①排出量	100.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	100.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	71.45
⑫再生利用業者への処理委託量	100.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	84.75
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	84.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.35
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　6月　28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒293-0011

住　所　千葉県富津市新富２８－１

氏　名　東京パワーテクノロジー株式会社

富津火力総括事務所長　　柳川　稔

電話番号　　0439-87-6405

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富津火力総括事務所　他11事務所
事業場の所在地	千葉県富津市新富28-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高：１２５億円
③　従業員数	220名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	ガラスコンクリート陶磁器くず ⇒ 破砕、選別処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理。ガラスコンクリート陶磁器くず ⇒ 直接埋立処理。がれき類 ⇒ 破砕処理 ⇒ 再生利用、汚泥 ⇒ 焼却、中和、脱水処理 ⇒ 再生利用。金属くず ⇒ 破砕、選別、焼却処理 ⇒ 再生利用。廃プラスチック類 ⇒ 破砕、選別、焼却処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理。廃アルカリ ⇒ 中和処理 ⇒ 再生利用（沈殿物）、下水道放流（水分）。廃酸 ⇒ 中和処理 ⇒ 再生利用（沈殿物）、下水道放流（水分）。廃油 ⇒ 油水分離処理 ⇒ 再生利用。廃油 ⇒ 焼却処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理。木くず ⇒ 破砕、選別処理 ⇒ 再生利用。混合廃棄物⇒ 破砕、選別、圧縮処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理。

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

廃棄物総括責任者（本社）
廃棄物総括管理担当者　（本社）
　↓ ―――――――― 環境管理事務局（本社）
環境管理単位（総括事務所及び各事務所）
　廃棄物管理責任者　（各所属長）
　廃棄物管理担当者　（各所担当）
　　富津火力総括事務所
　　千葉事務所
　　千葉事務所（五井地点）、（姉崎地点）
　　袖ヶ浦事務所
　　君津共火事務所
　　技術センター（富津）
　　内製化技術G
　　エンジンメンテナンスSC

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
排出量	195.2　t	1958.11　t

（これまでに実施した取組）
県内の各事務所でリサイクル率向上のため、環境管理組織を構築し、リサイクル 向上及び適正処理の運用を行っている 。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
排出量	100　t	500　t

（今後実施する予定の取組）
今後も可能な限り再生利用業者への処理委託を継続する。
工事の種類により発生する廃棄物が異なるが、種類に応じた排出量の抑制を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別可能な廃棄物については 、分別後保管している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
混合廃棄物は、出来るだけ分別し再生及びリサイクル処理へ委託する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
全処理委託量	195.2 t	1958.11 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	1632.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

コストの許す限り、リサイクル率の高い処理業者を選定して委託している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	がれき類
全処理委託量＿	100 t	500 t
優良認定処理業者への処理委託量	20 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	500 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）
これまでの取組を継続して実施。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
		排　出　量	167.35 t	23.29 t	49.76 t	282.72 t	227.75 t	36.32 t	27.09 t	142.55 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
		排　出　量	80 t	20 t	30 t	20 t	100 t	15 t	15 t	70 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
	全処理委託量	167.35 t	23.29 t	49.76 t	282.72 t	227.75 t	36.32 t	27.09 t	142.55 t
	優良認定処理業者への処理委託量	93.83 t	3.99 t	49.76 t	282.72 t	41.15 t	36.32 t	21.81 t	82.87 t
	再生利用業者への処理委託量	t	19.29 t	t	t	2.69 t	t	9.16 t	127.41 t
	認定熱回収業者への処理委託量	7.02 t	t	t	t	t	3.9 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	木くず	混合廃棄物
	全処理委託量	80 t	20 t	30 t	20 t	100 t	15 t	15 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	70 t	10 t	30 t	20 t	20 t	15 t	15 t	40 t
	再生利用業者への処理委託量	t	10 t	t	t	10 t	t	15 t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	4 t	t	t	t	t	4 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月28日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒293-0011
住　所　千葉県富津市新富２８－１
氏　名　東京パワーテクノロジー株式会社
富津火力総括事務所所長　柳川　稔
電話番号 0439-87-6405

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	富津火力総括事務所　他１１事務所
事業場の所在地	千葉県富津市新富２８－１
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

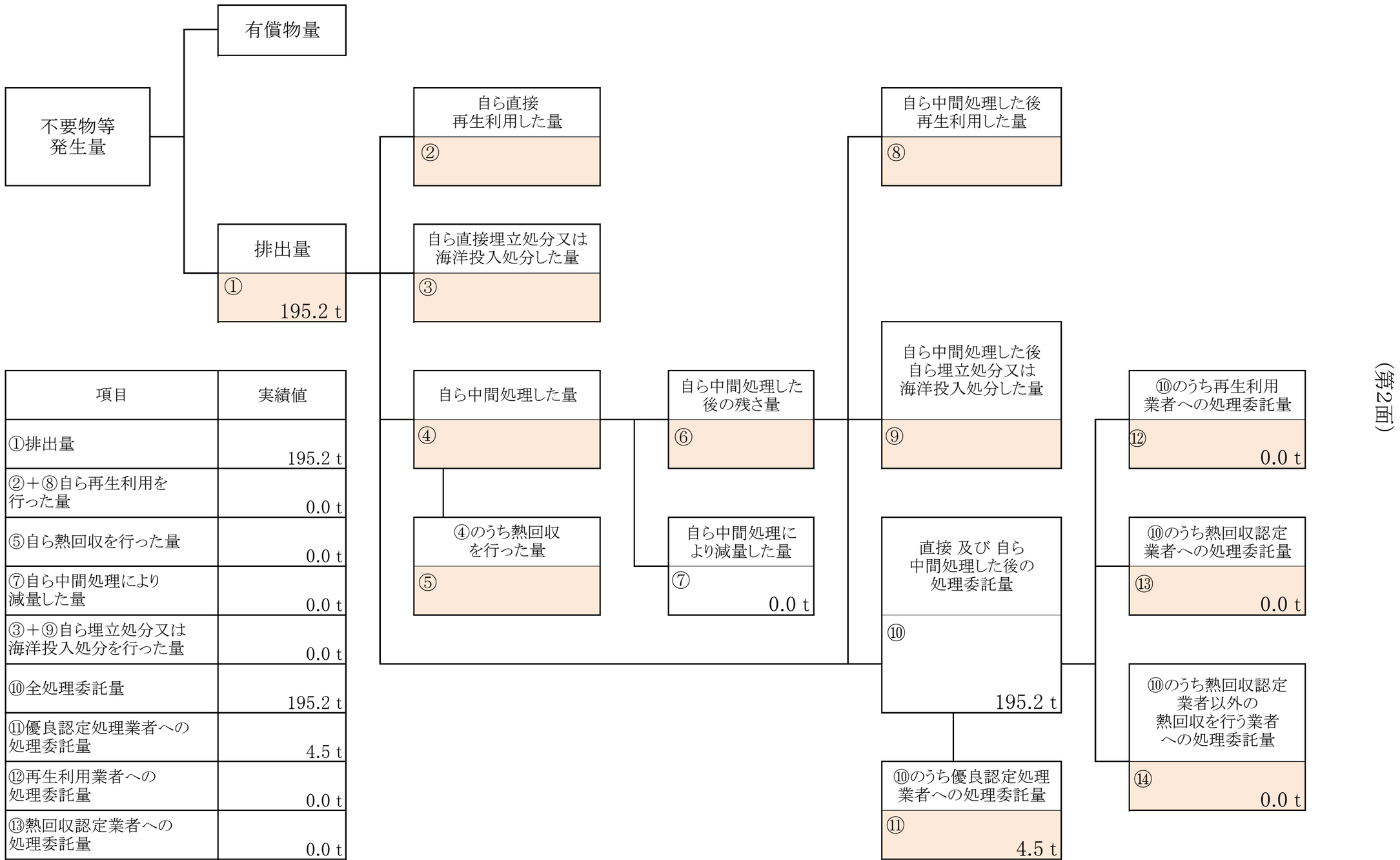
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2640.0ｔ	全処理委託量	2640.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	400.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2640.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

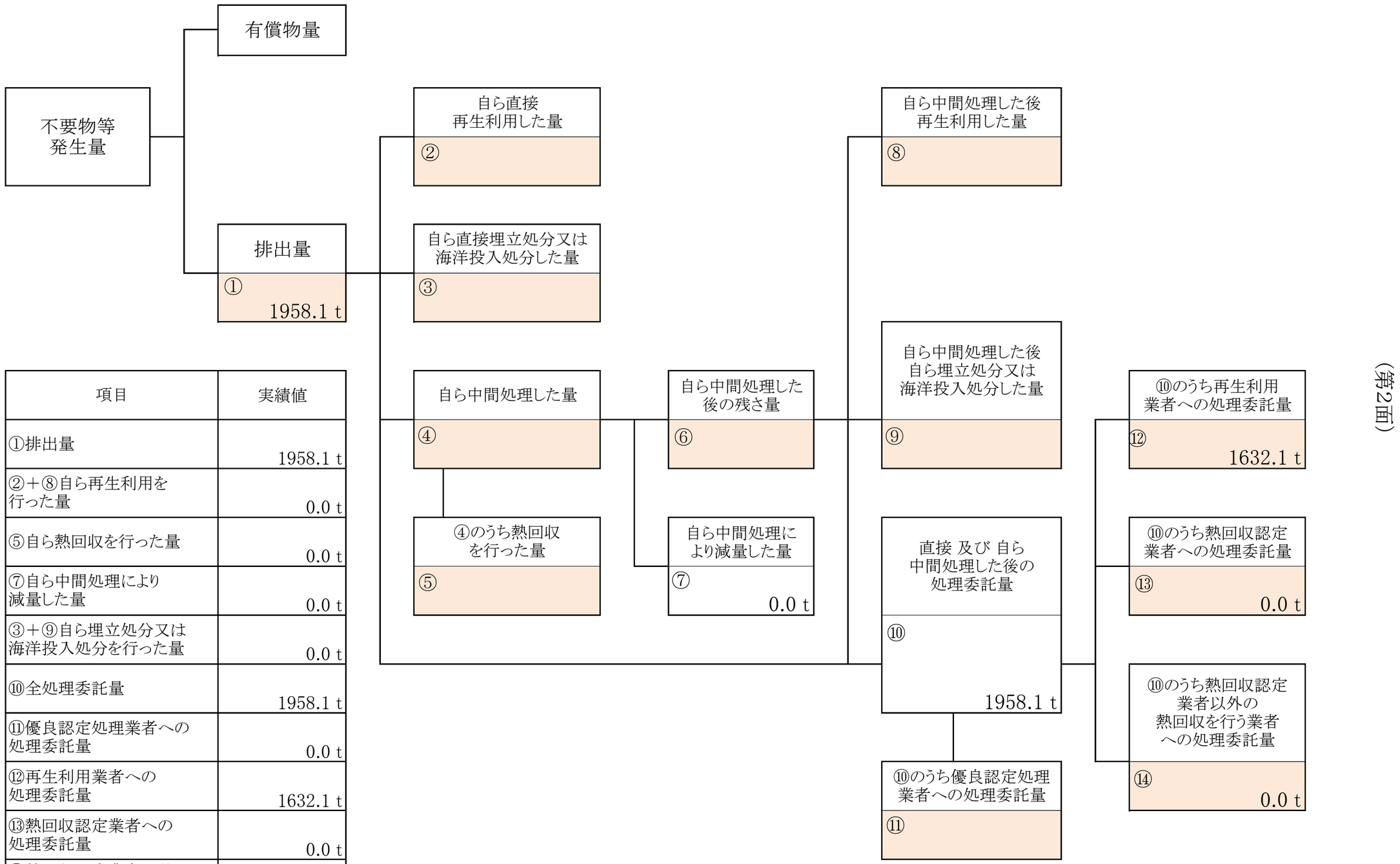


項目	実績値
①排出量	195.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	195.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

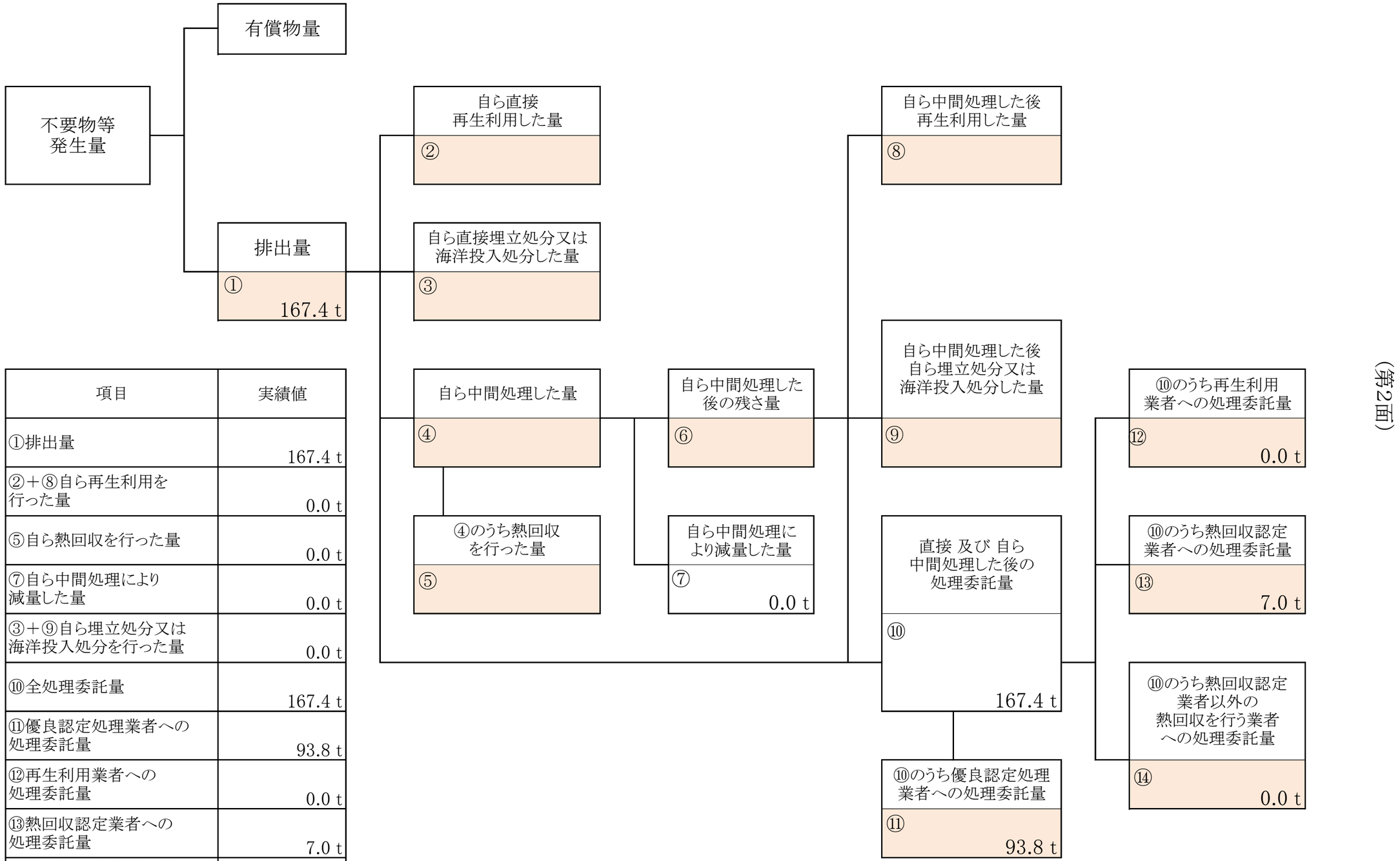


項目	実績値
①排出量	1958.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1958.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1632.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

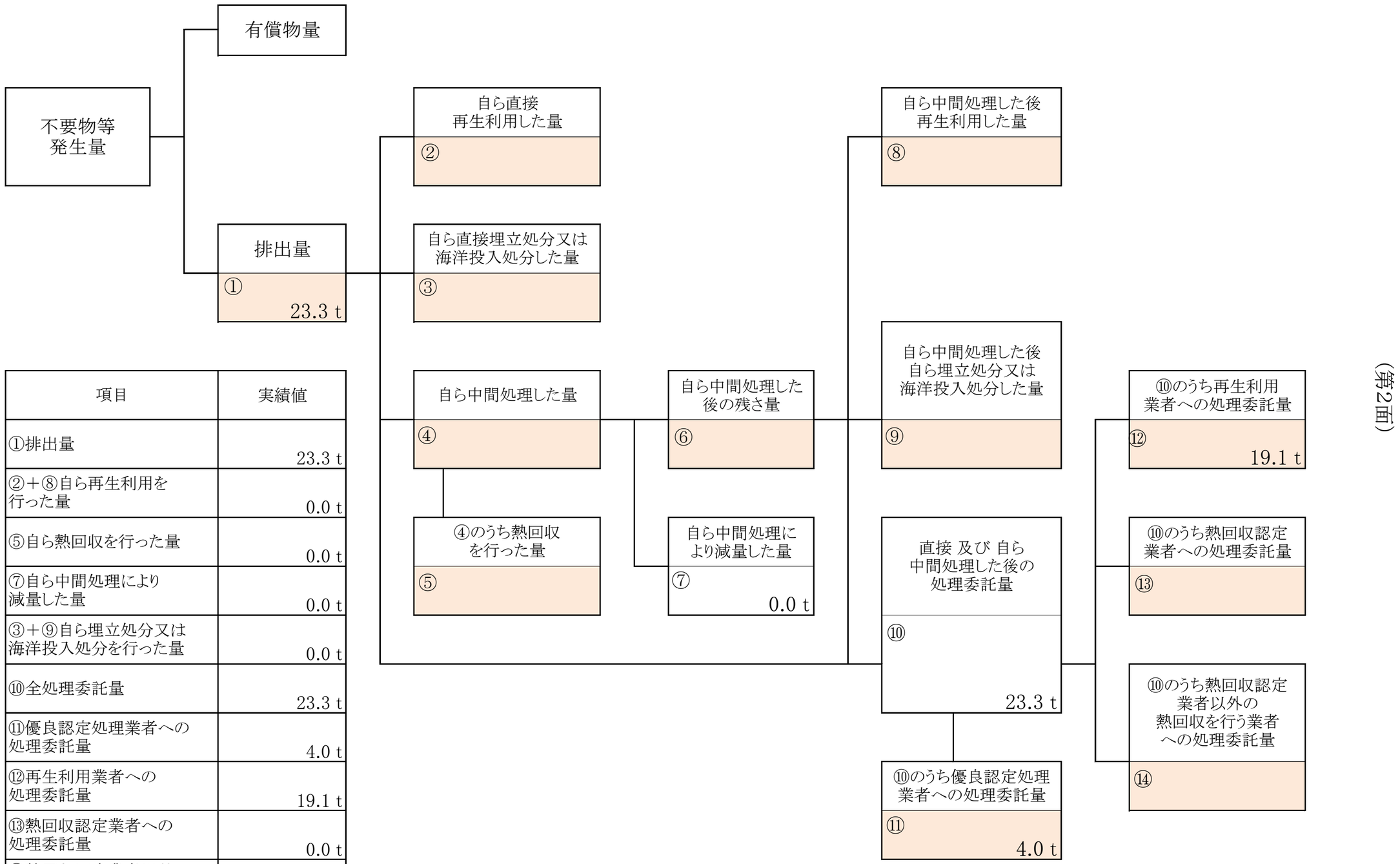


項目	実績値
①排出量	167.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	167.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	93.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	7.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

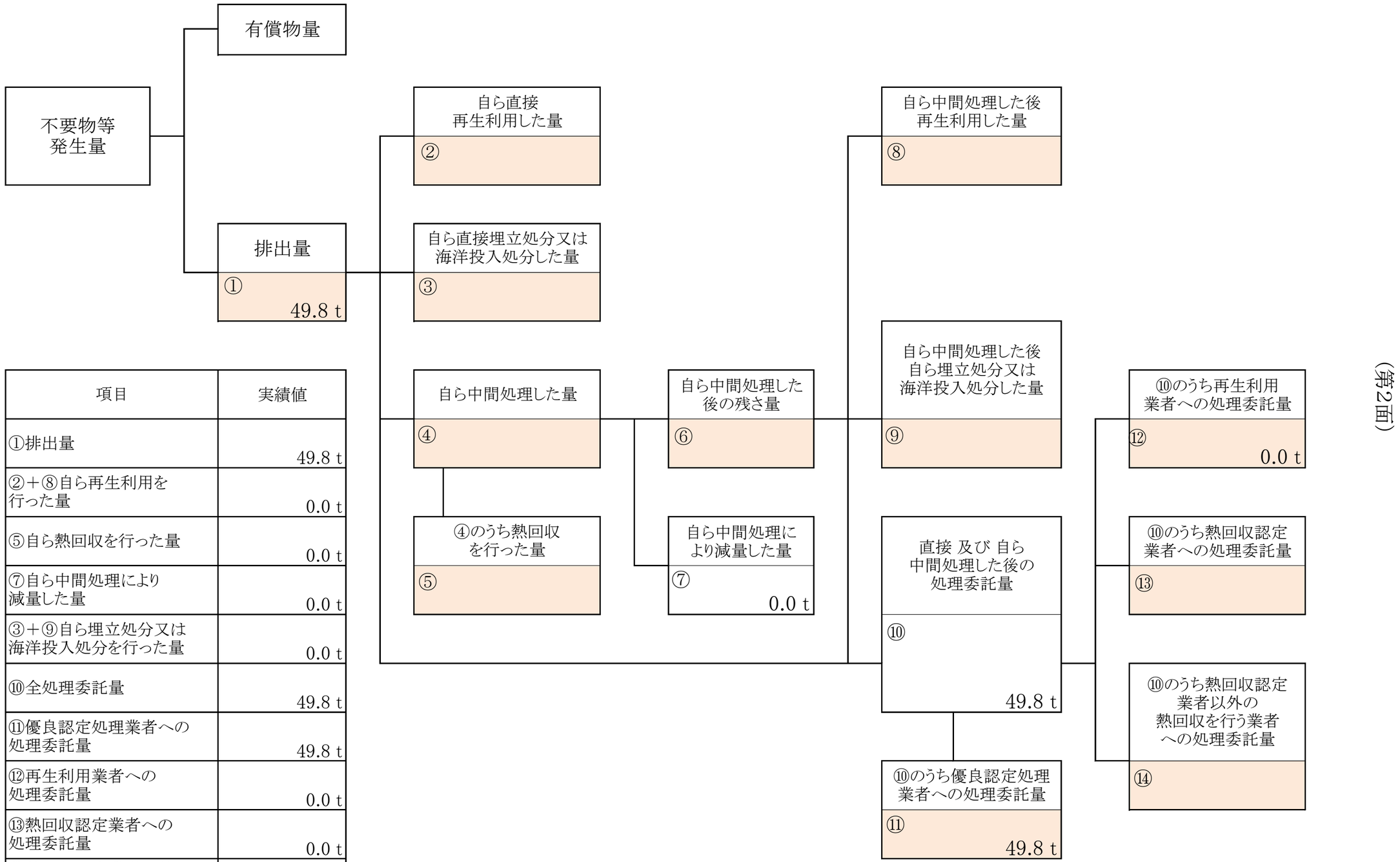


項目	実績値
①排出量	23.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

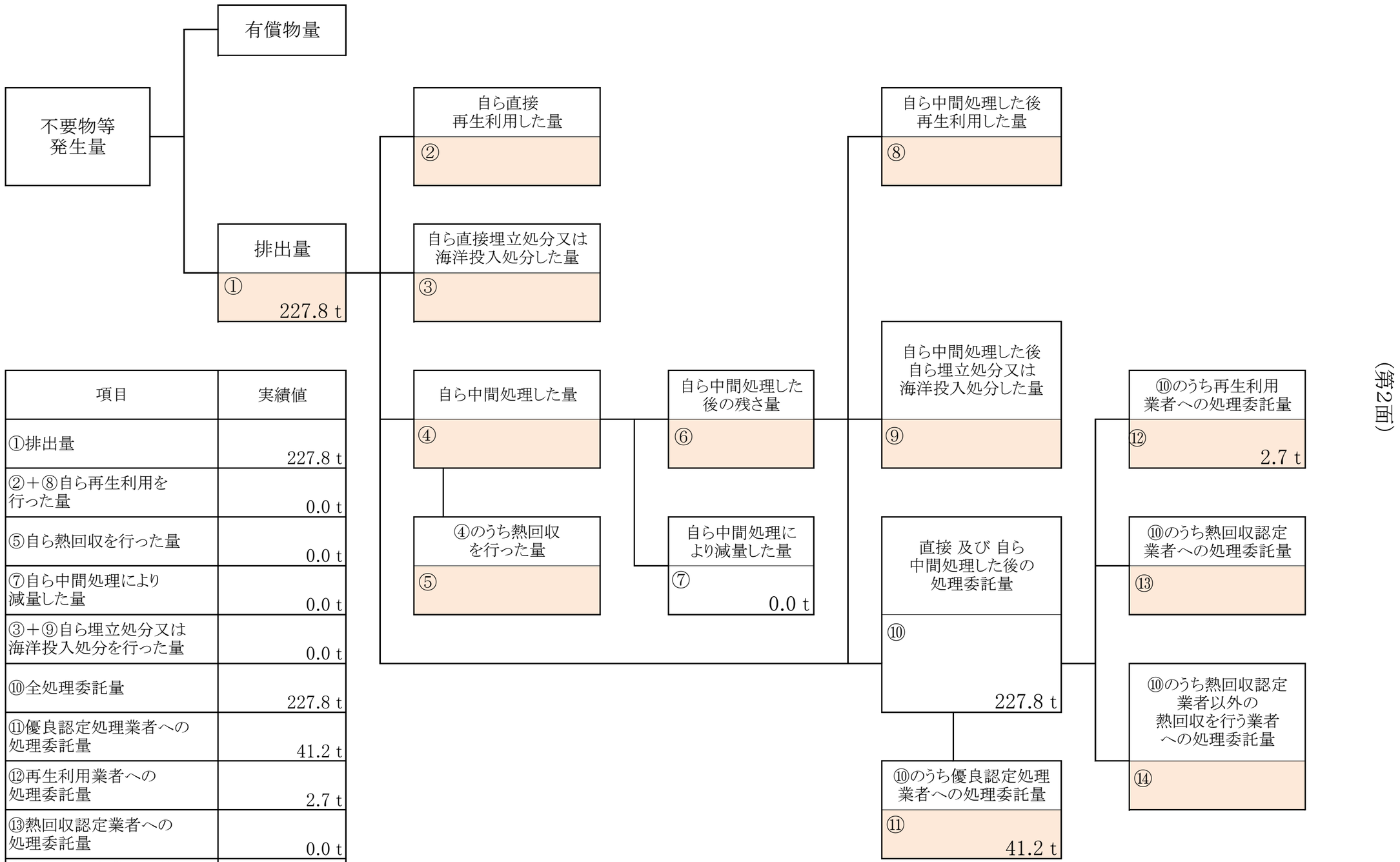


項目	実績値
①排出量	49.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	49.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	49.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

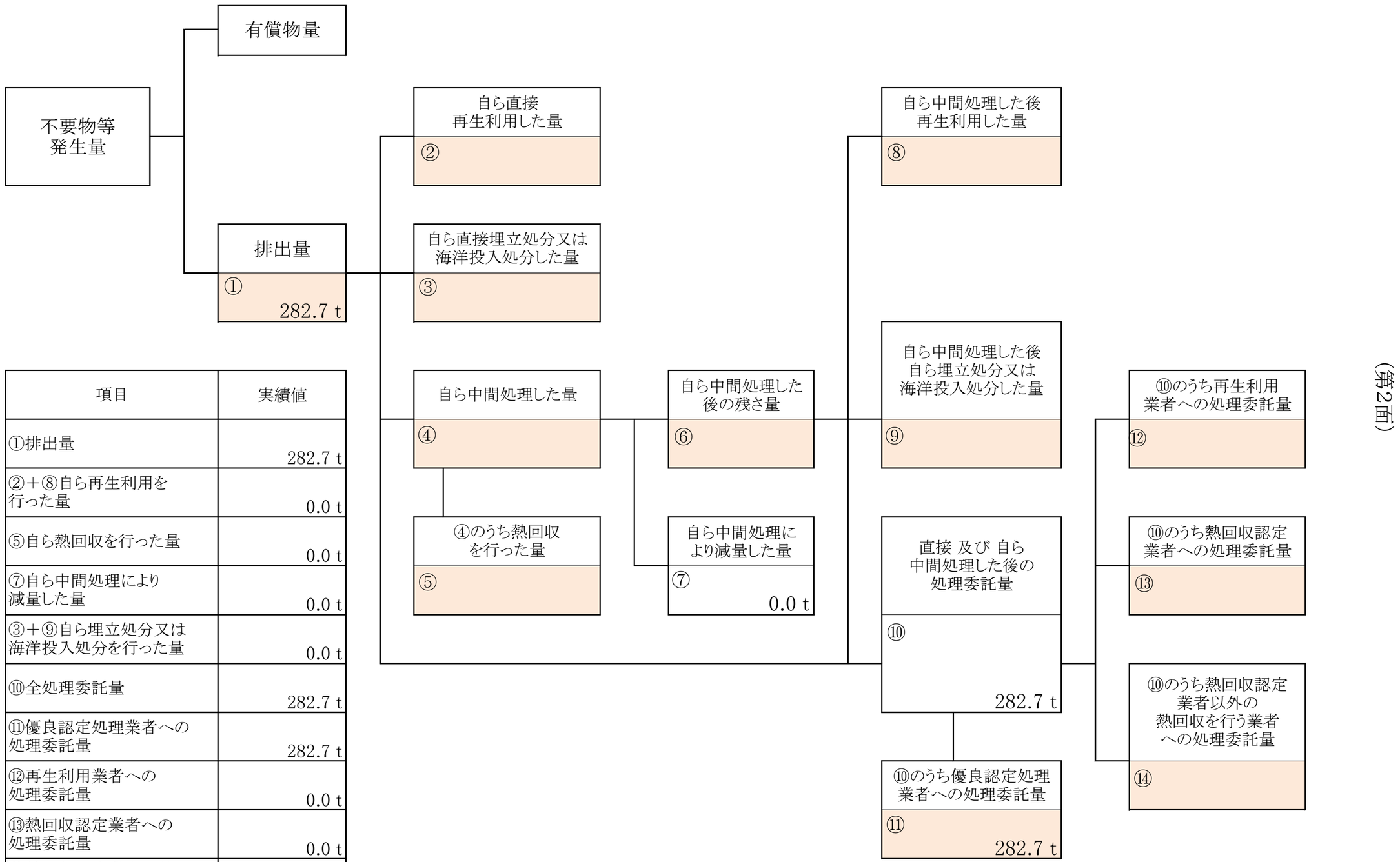


項目	実績値
①排出量	227.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	227.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃酸**）

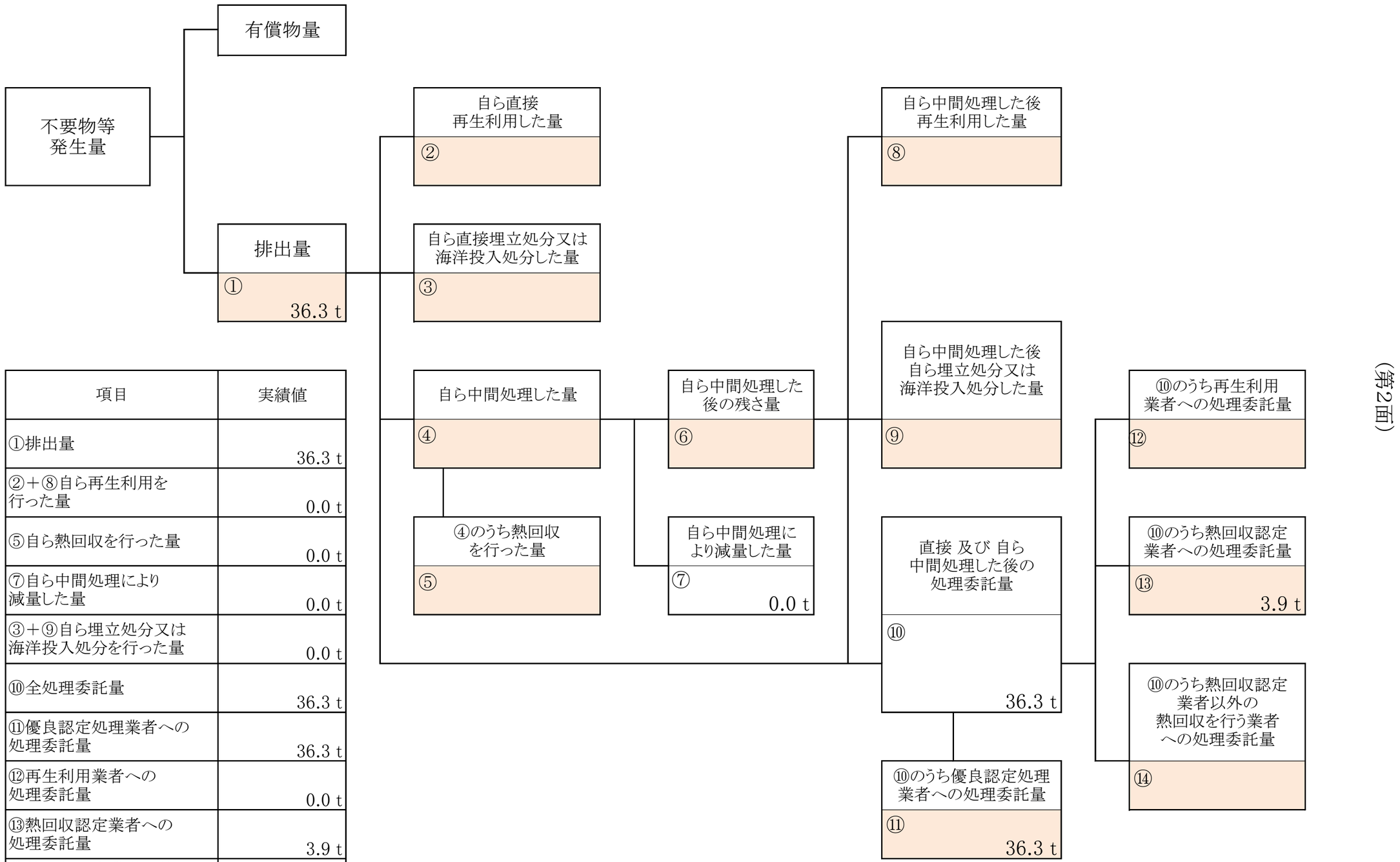


項目	実績値
①排出量	282.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	282.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	282.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

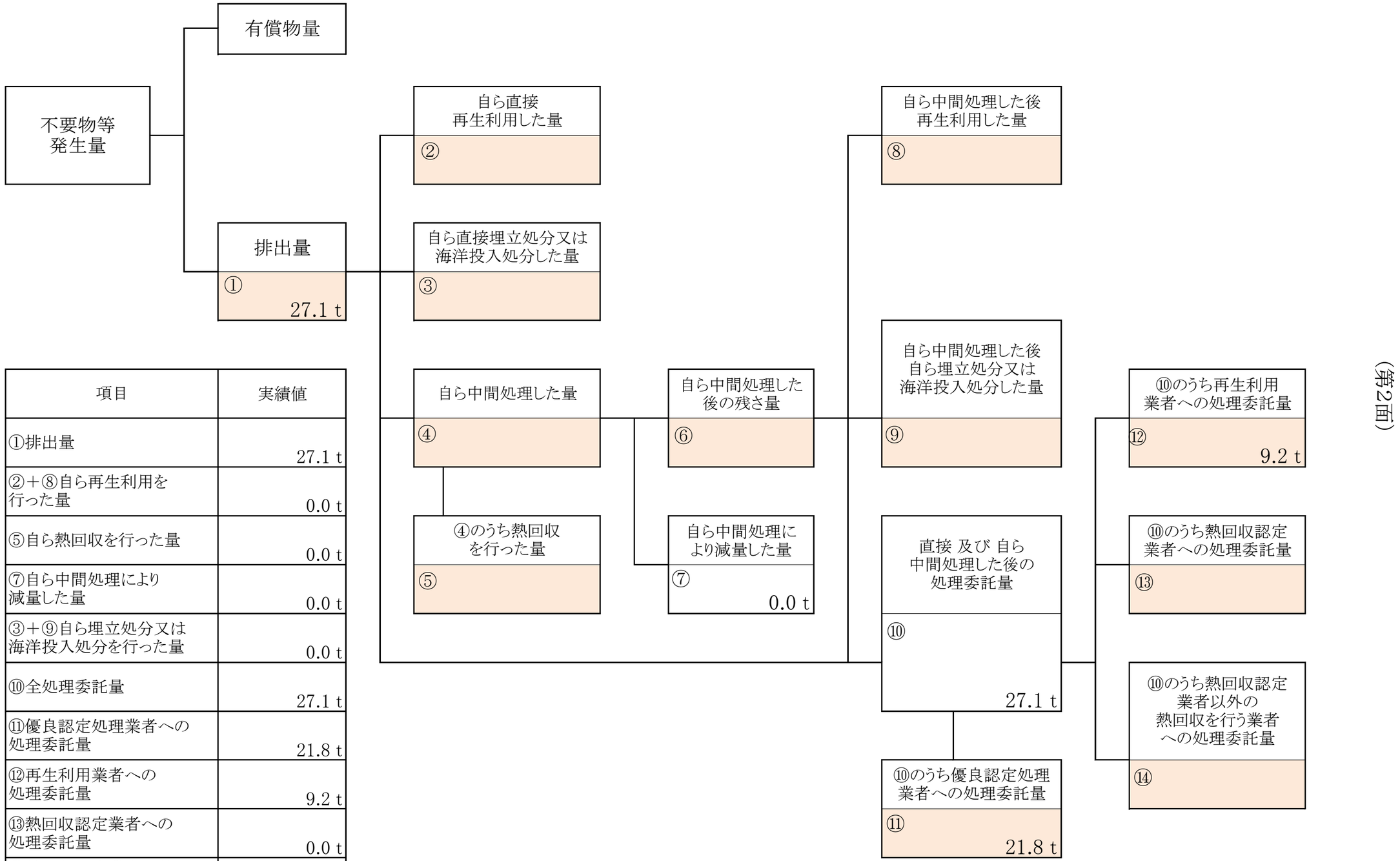


項目	実績値
①排出量	36.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	36.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

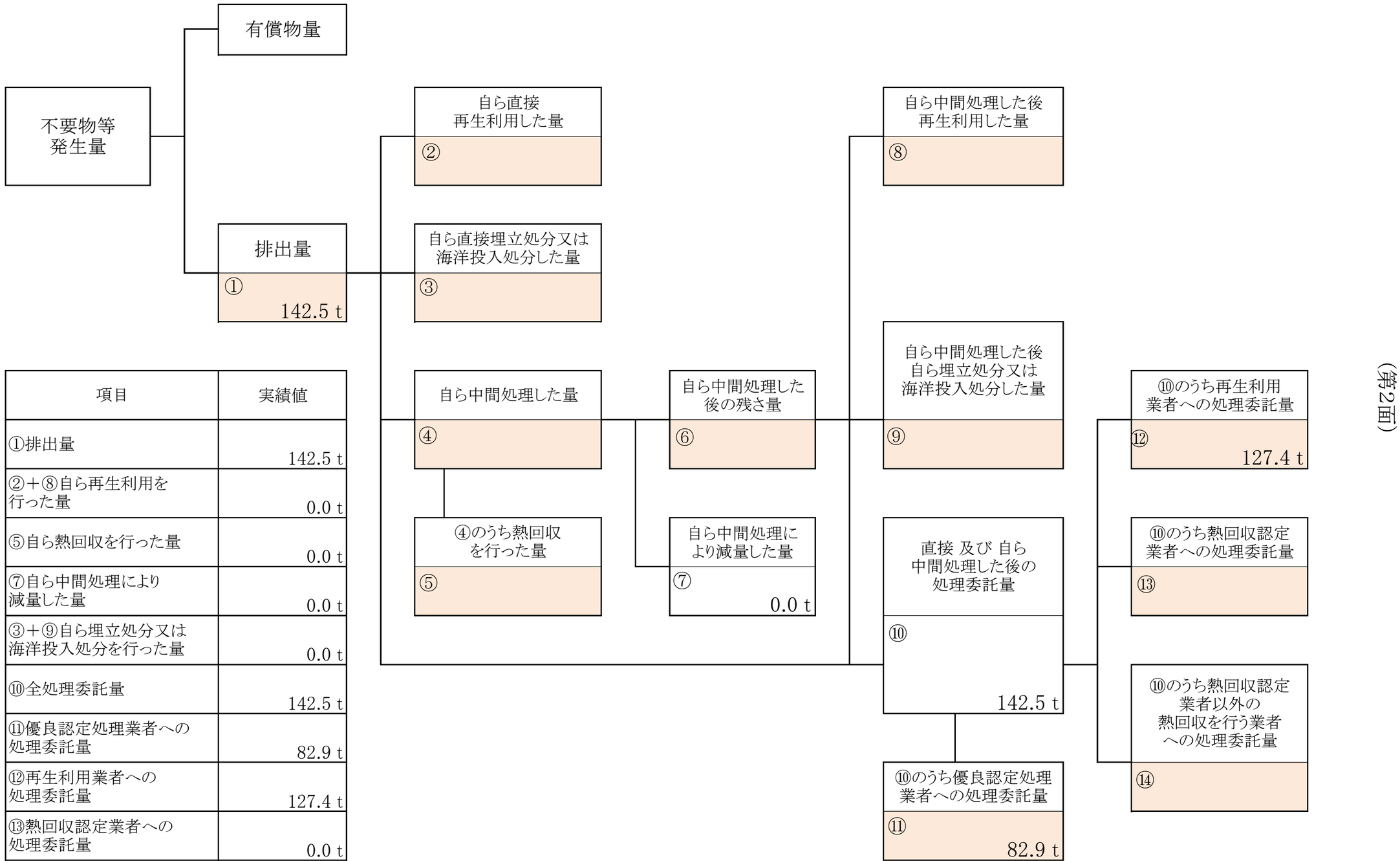


項目	実績値
①排出量	27.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	142.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	142.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	82.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	127.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0045

住　所　千葉県千葉市中央区弁天2-23-1

法人名　東鉄工業株式会社千葉支店

代表者　道塚 賢

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-470-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東鉄工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天2-23-1
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完成工事高　158億
③従業員数	171名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙処理工程

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	2.2 t	t
	（これまでに実施した取組） 排出量を抑制するために梱包材を簡素化するとともに再生利用可能資材のこまめな分別などにより排出量を抑制した。 *別紙にまとめ一覧を添付しています。汚泥に関しては内容が重複していますので、ご承知ください。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	1.98 t	t
	（今後実施する予定の取組） 受注した工事内容により排出量は大幅に変動するが、これまでの取り組みのほか、 一般廃棄物との分別の徹底や金属くずのスクラップ処理など、不必要な排出を 抑えるように現場担当者を教育・指導する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設リサイクル法で定める特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、アスファルト・コンクリート、木材)について、再資源化を促進するために分別を行っている。また、その他の廃棄物についても再生利用しやすいよう、フレコンバック等を利用し分別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在実施している取り組みのほかに、混合廃棄物についても可能な限り再利用しやすいように分別化を進める。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

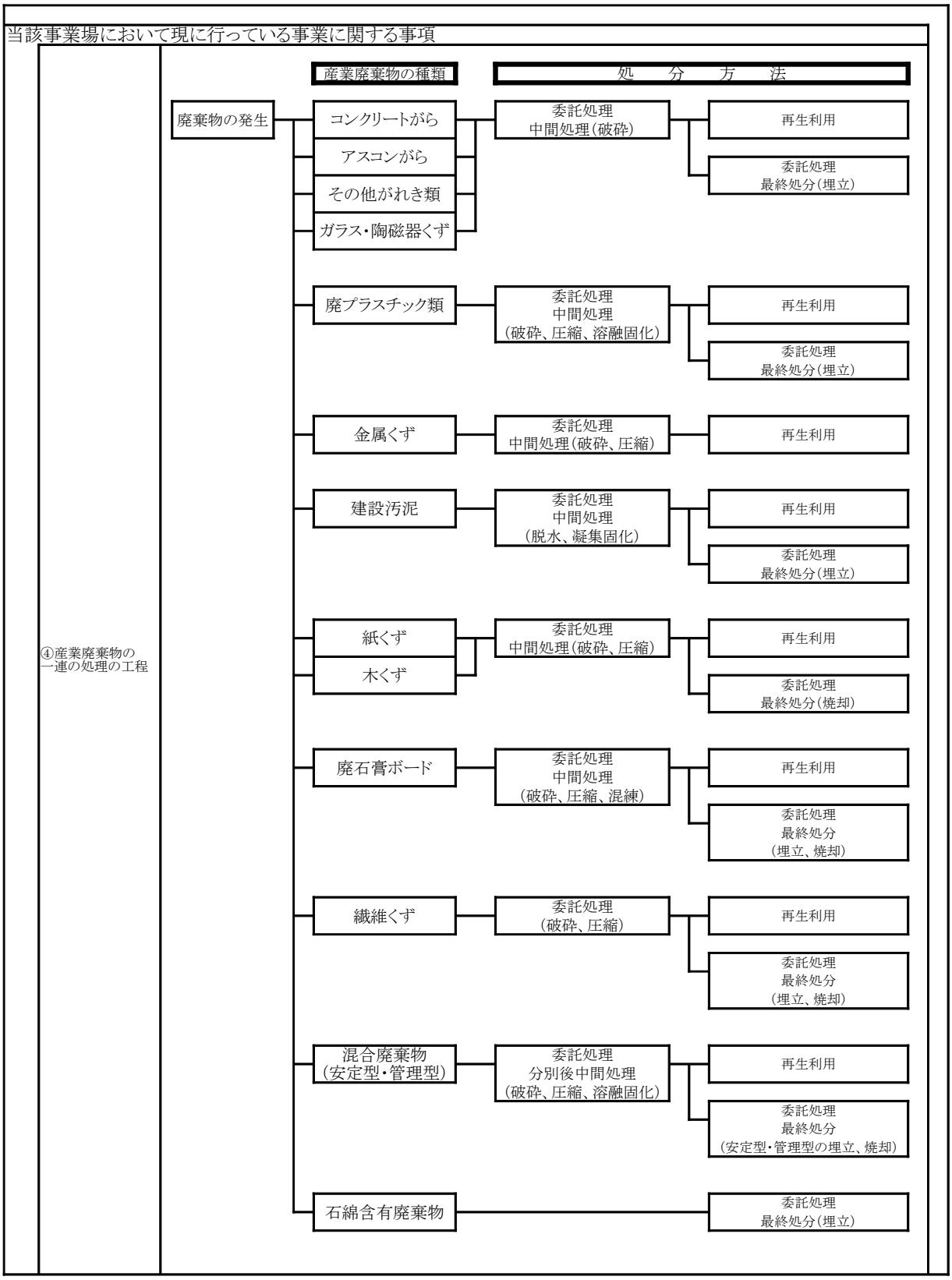
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物処理委託先については、当社にて選別した、経営体力があり適切な設備を保有し処理実績のある業者を利用することで、適切な処分を行っている。 ・電子マニフェストを利用することで、リアルタイムい産業廃棄物の処理過程を把握している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現在実施ている取組のほかに、
・委託先に対し契約前に実地確認を行い、不適と判断される委託先を排除する。
・「優良認定処理業者」を積極的に利用することで、産業廃棄物の適正処理を推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１　処理工程図

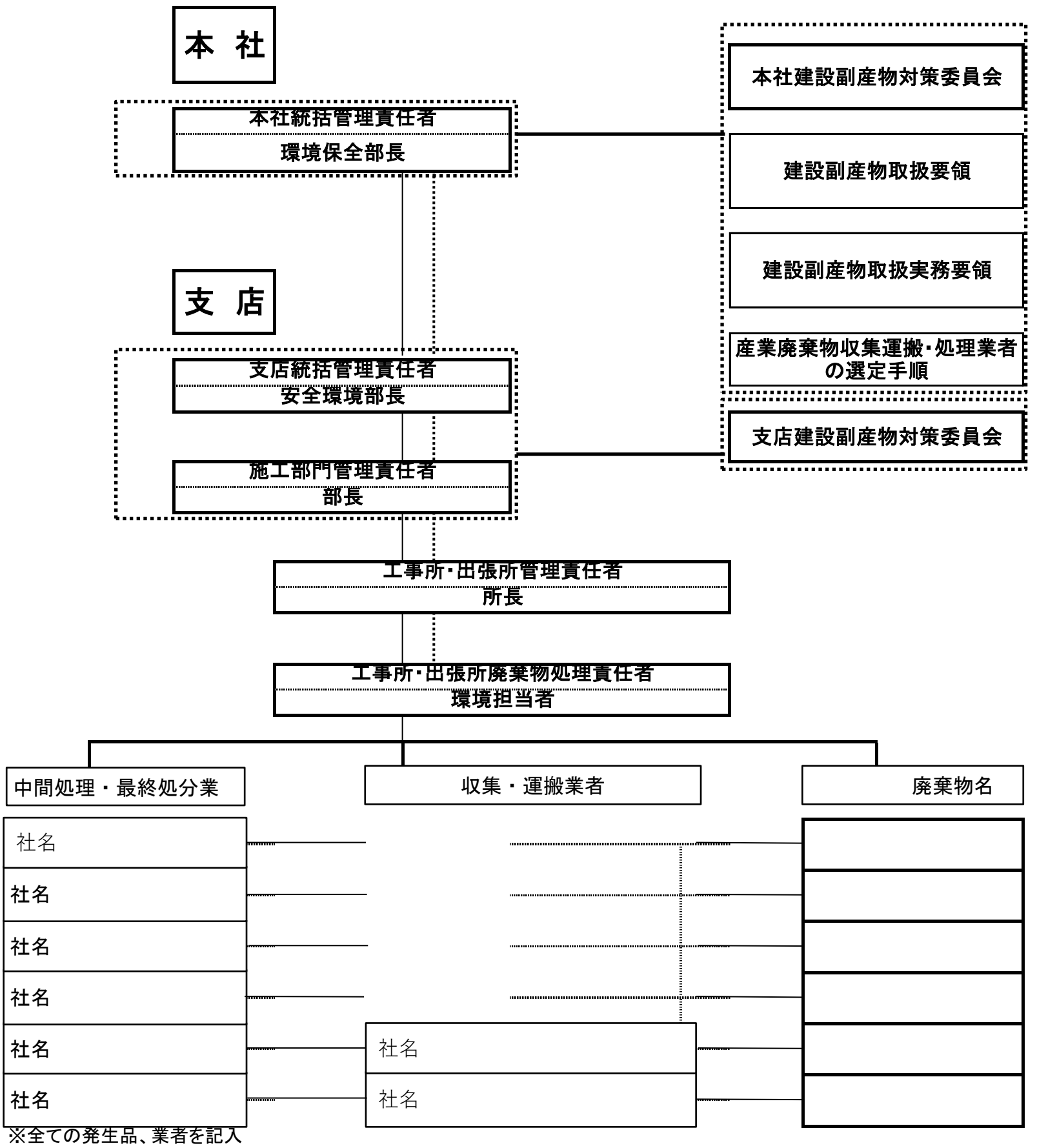

当該事業場において現に行っている事業に関する事項
④産業廃棄物の一連の処理の工程
産業廃棄物の種類
処　分　方　法
廃棄物の発生
コンクリートがら
アスコンがら
その他がれき類
ガラス・陶磁器くず
委託処理 中間処理(破砕)
再生利用
委託処理 最終処分(埋立)
廃プラスチック類
委託処理 中間処理 (破砕、圧縮、溶融固化)
再生利用
委託処理 最終処分(埋立)
金属くず
委託処理 中間処理(破砕、圧縮)
再生利用
建設汚泥
委託処理 中間処理 (脱水、凝集固化)
再生利用
委託処理 最終処分(埋立)
紙くず
木くず
委託処理 中間処理(破砕、圧縮)
再生利用
委託処理 最終処分(焼却)
廃石膏ボード
委託処理 中間処理 (破砕、圧縮、混練)
再生利用
委託処理 最終処分 (埋立、焼却)
繊維くず
委託処理 (破砕、圧縮)
再生利用
委託処理 最終処分 (埋立、焼却)
混合廃棄物 (安定型・管理型)
委託処理 分別後中間処理 (破砕、圧縮、溶融固化)
再生利用
委託処理 最終処分 (安定型・管理型の埋立、焼却)
石綿含有廃棄物
委託処理 最終処分(埋立)

別添２ 管理体制図

建 設 副 産 物 管 理 組 織 図

作成日　　年　　月　　日

所



※全ての発生品、業者を記入

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
排出量	2.20 t	80.69 t	2.40 t	185.41 t	1.14 t	21.50 t	6.00 t	800.35 t	950.75 t	1,664.51 t	259.49 t	27.00 t	130.10 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
排出量	1.98 t	72.62 t	2.16 t	166.87 t	1.03 t	19.35 t	5.40 t	720.32 t	855.68 t	1,498.06 t	233.54 t	24.30 t	117.09 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
全処理委託量	2.20 t	80.69 t	2.40 t	185.41 t	1.14 t	21.50 t	6.00 t	800.35 t	950.75 t	1,664.51 t	259.49 t	27.00 t	130.10 t					
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	80.69 t	2.40 t	107.34 t	1.14 t	21.50 t	6.00 t	282.12 t	26.64 t	1,072.12 t	258.71 t	27.00 t	130.10 t					
再生利用業者への処理委託量	2.20 t	80.69 t	2.40 t	185.41 t	1.14 t	21.50 t	6.00 t	800.35 t	453.99 t	1,664.51 t	259.49 t	0.00 t	130.10 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
全処理委託量	1.98 t	72.62 t	2.16 t	166.87 t	1.03 t	19.35 t	5.40 t	720.32 t	855.68 t	1,498.06 t	233.54 t	24.30 t	117.09 t					
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	72.62 t	2.16 t	96.61 t	1.03 t	19.35 t	5.40 t	253.91 t	23.98 t	964.91 t	232.84 t	24.30 t	117.09 t					
再生利用業者への処理委託量	1.98 t	72.62 t	2.16 t	166.87 t	1.03 t	19.35 t	5.40 t	720.32 t	408.59 t	1,498.06 t	233.54 t	0.00 t	117.09 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0045

住所 千葉県千葉市中央区弁天2-23-1

法人名 東鉄工業株式会社千葉支店

代表者 道塚 賢

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-251-8221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東鉄工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天2-23-1
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

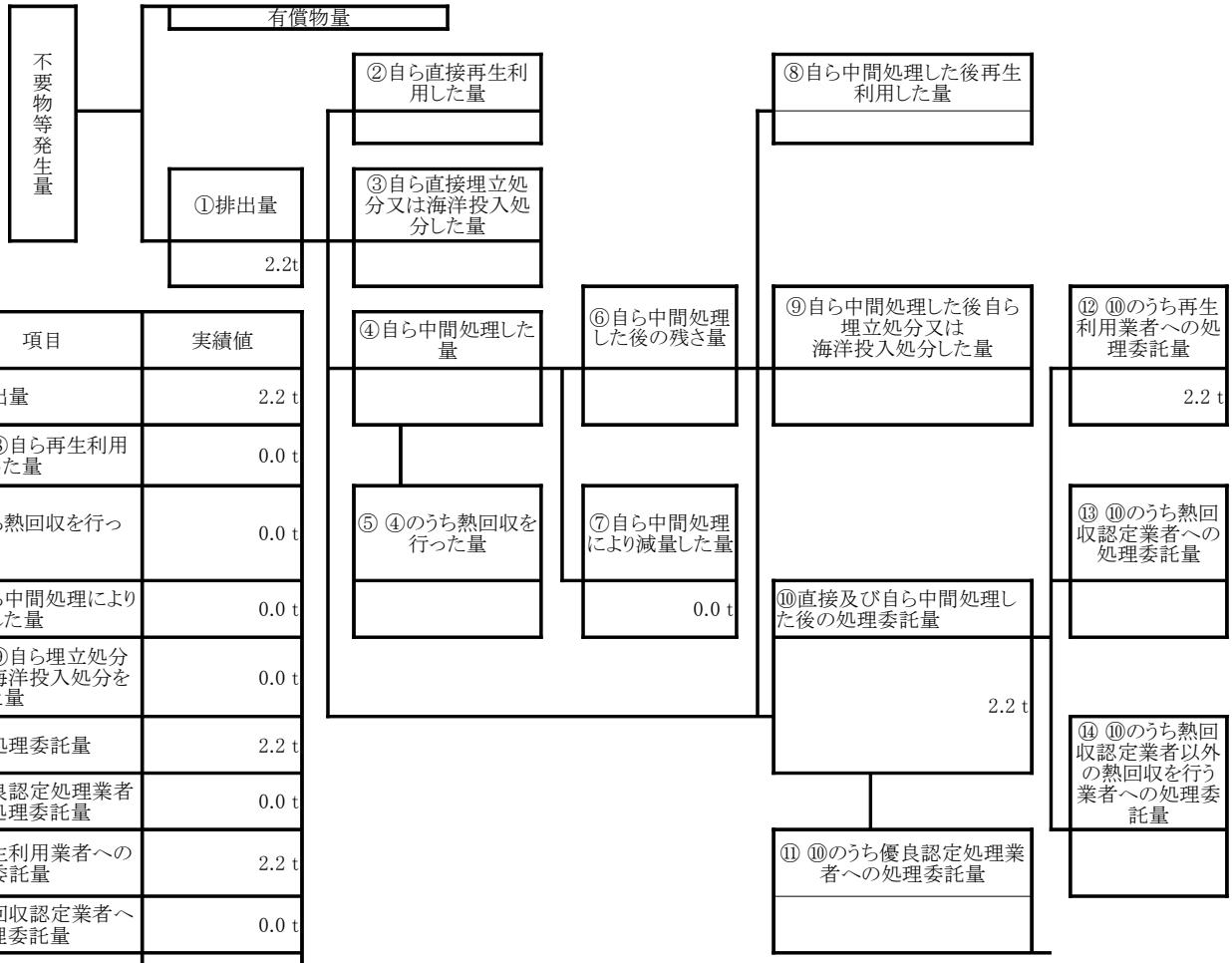
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5734.15 t	全処理委託量	5734.15 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	742.32 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5186.09 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.78 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 汚泥 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

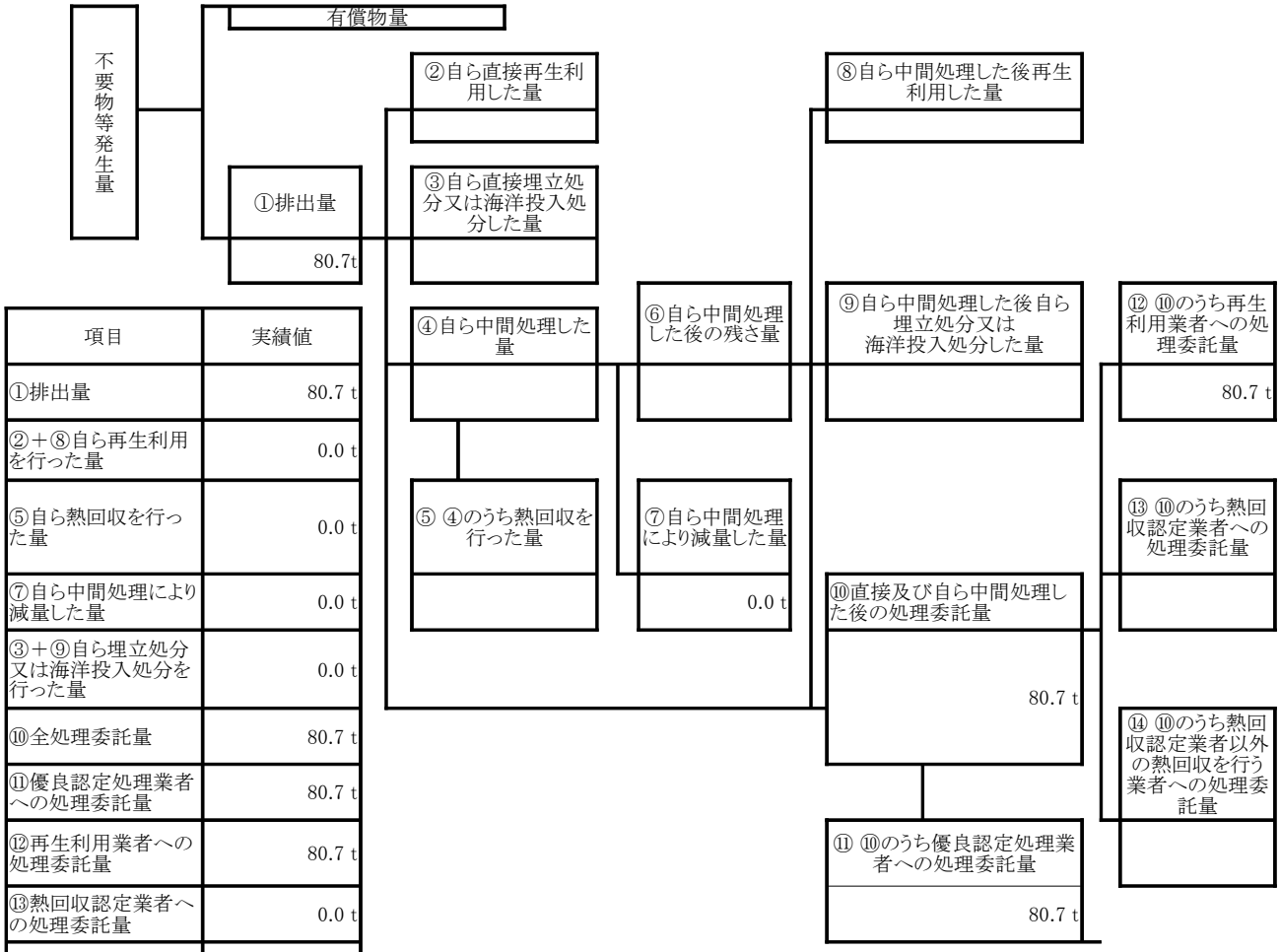


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



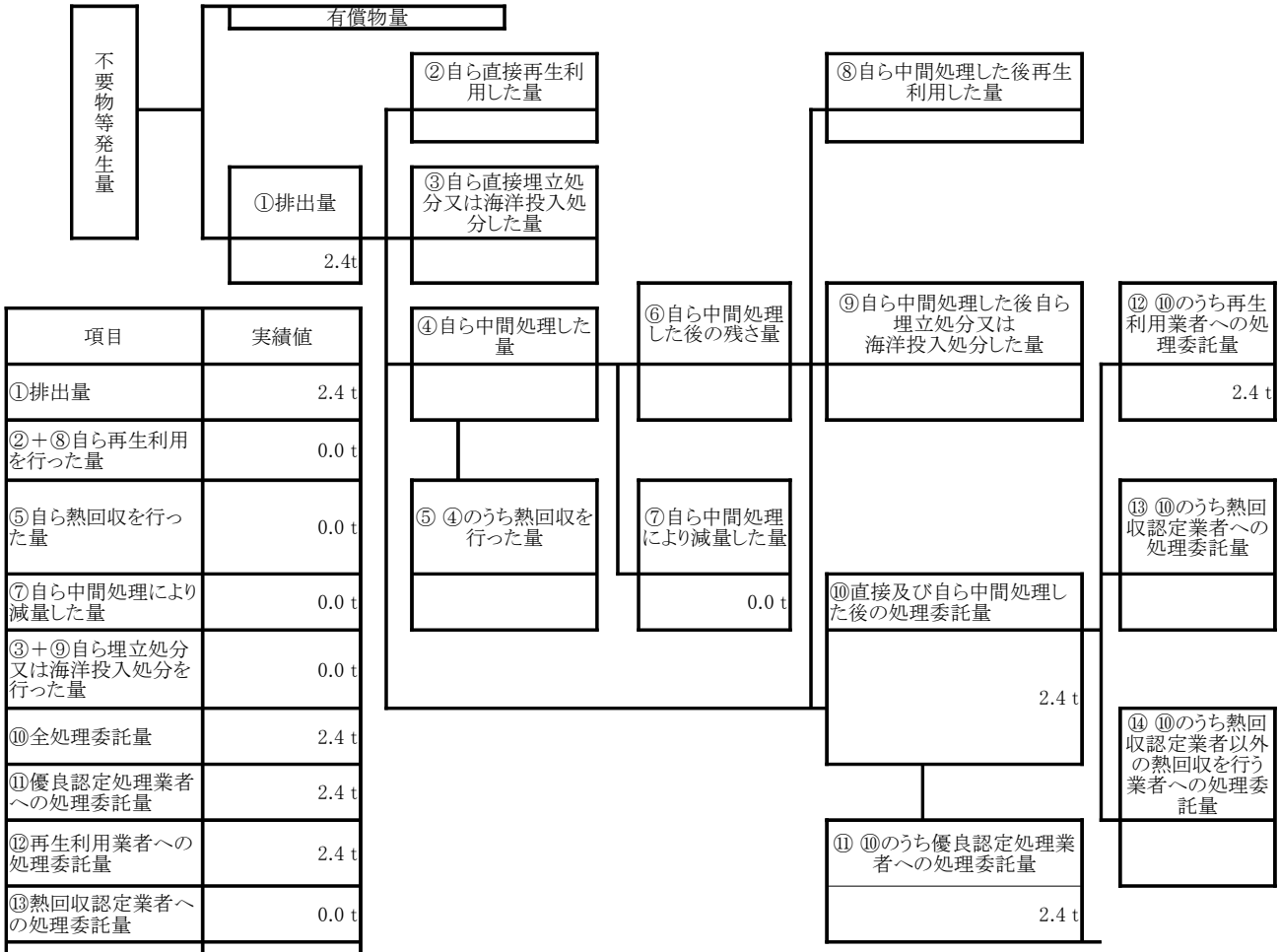
項目	実績値
①排出量	80.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	80.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	80.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	80.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



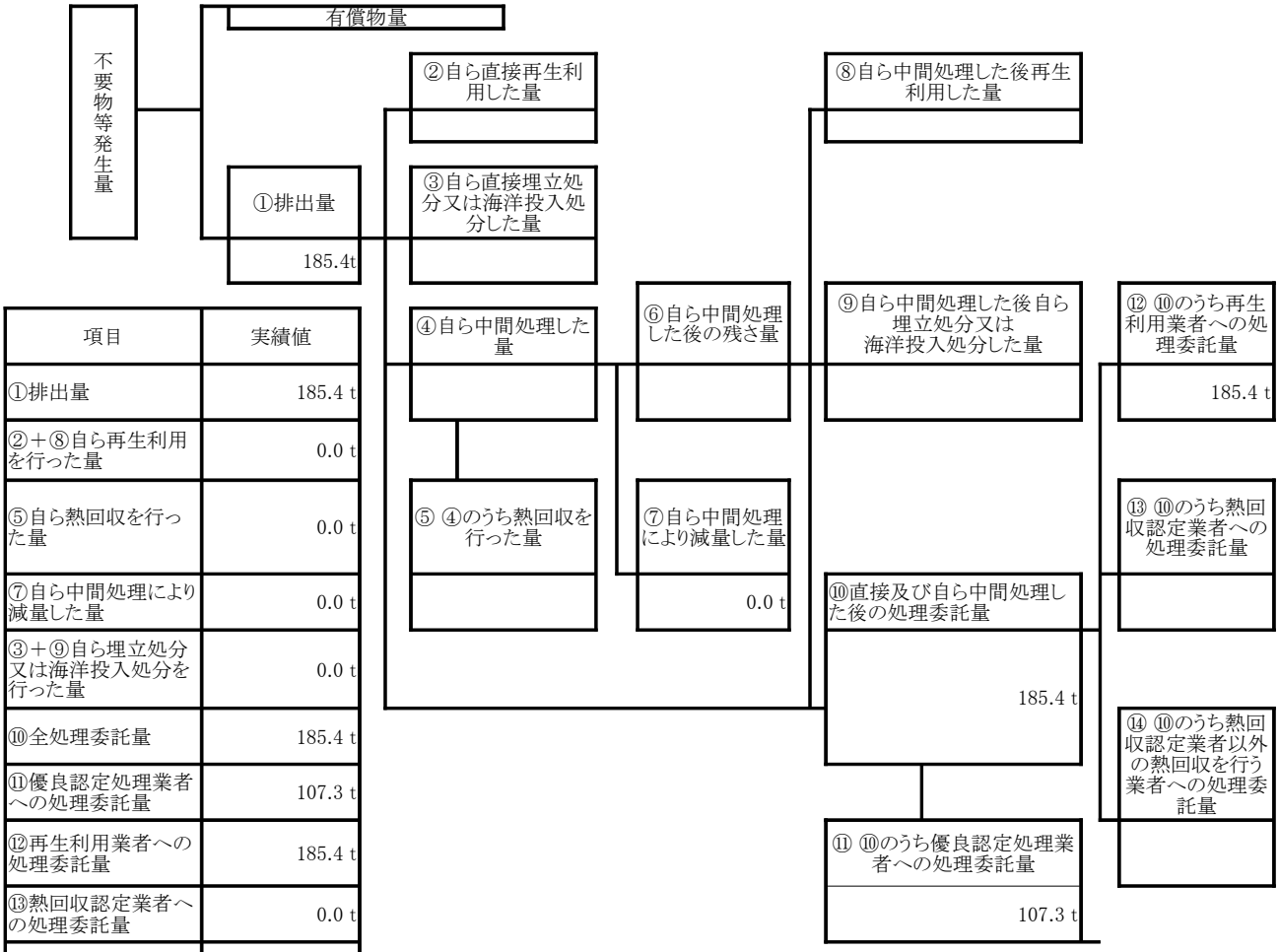
項目	実績値
①排出量	2.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



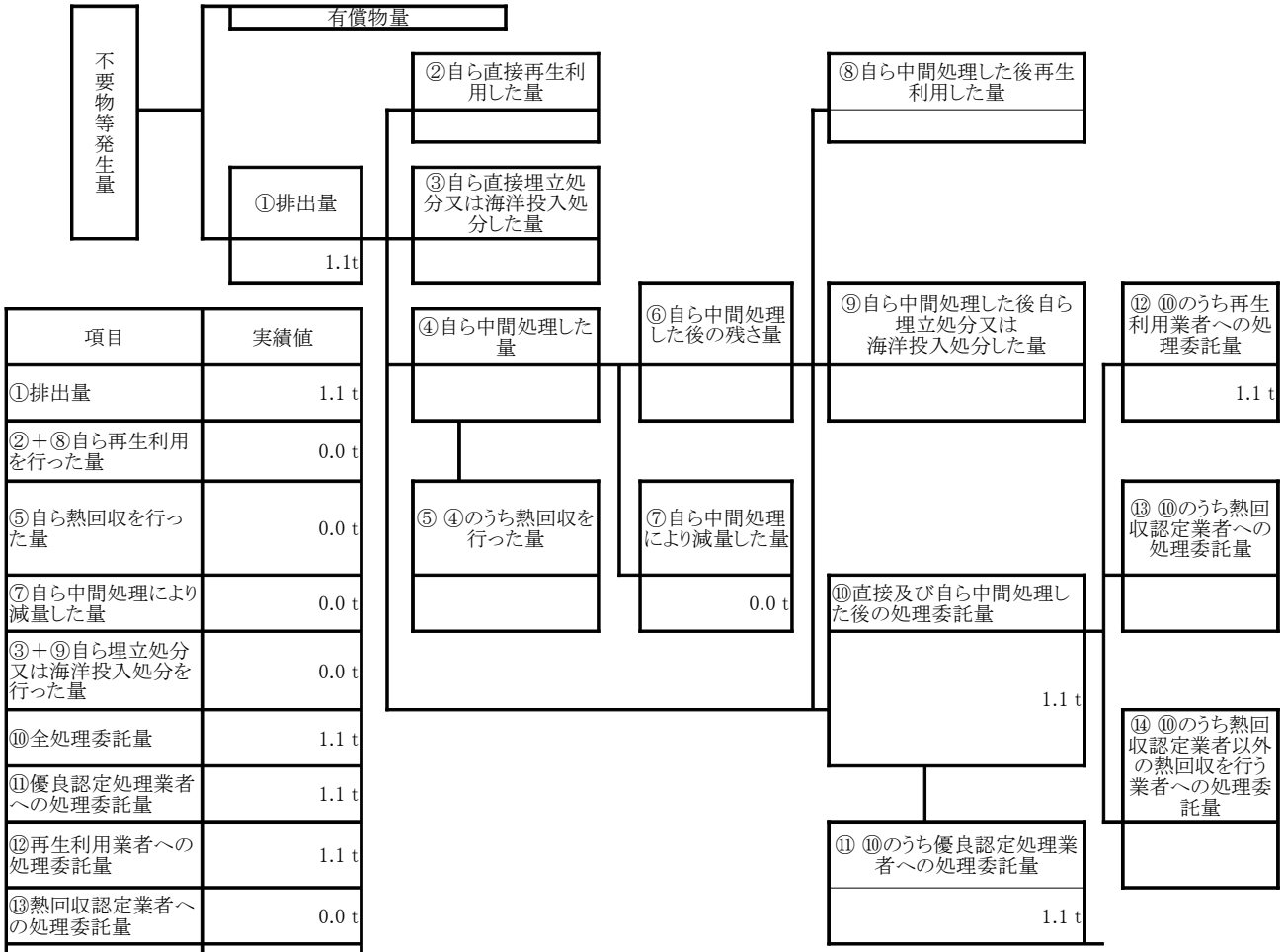
項目	実績値
①排出量	185.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	185.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	107.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	185.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

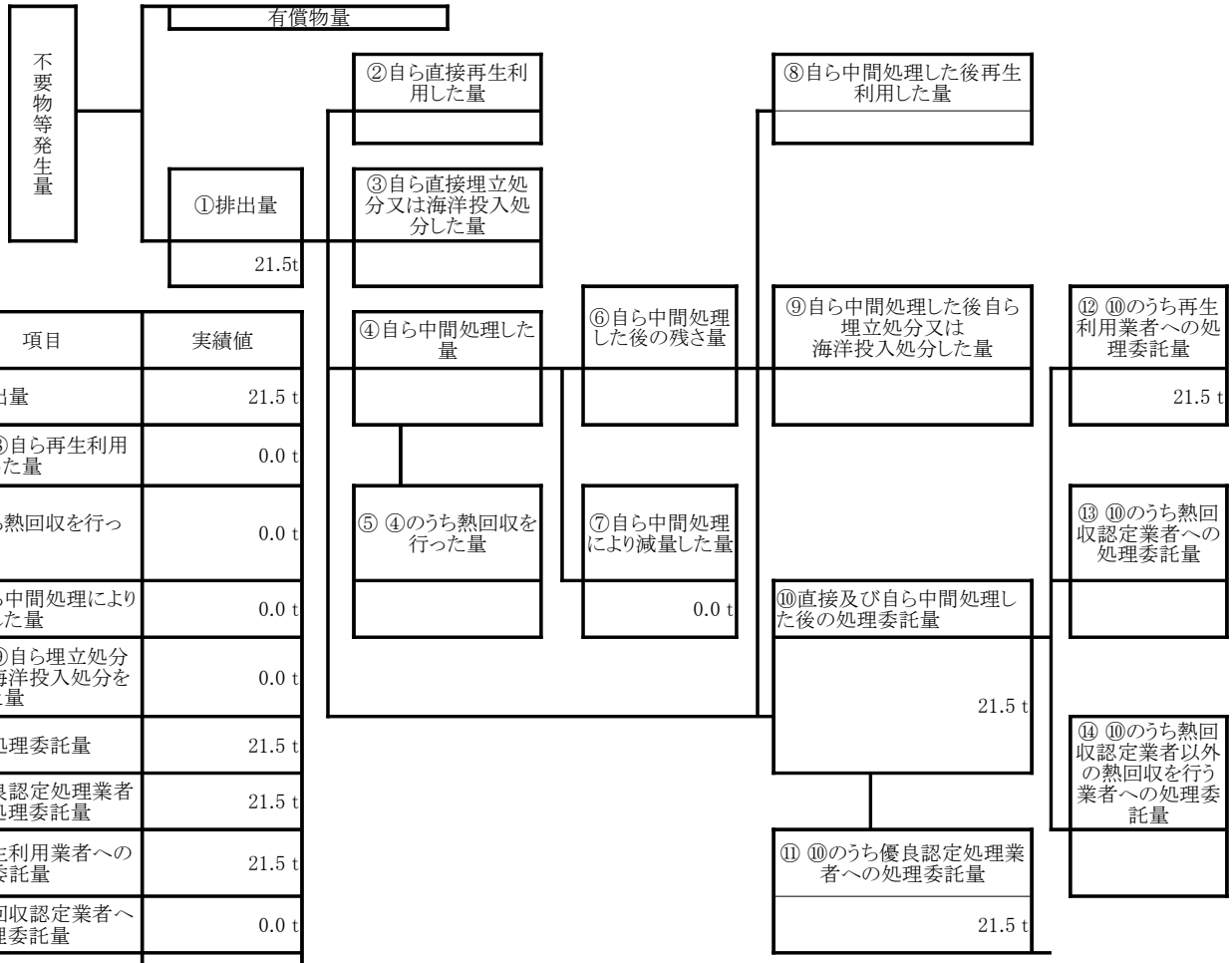


項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

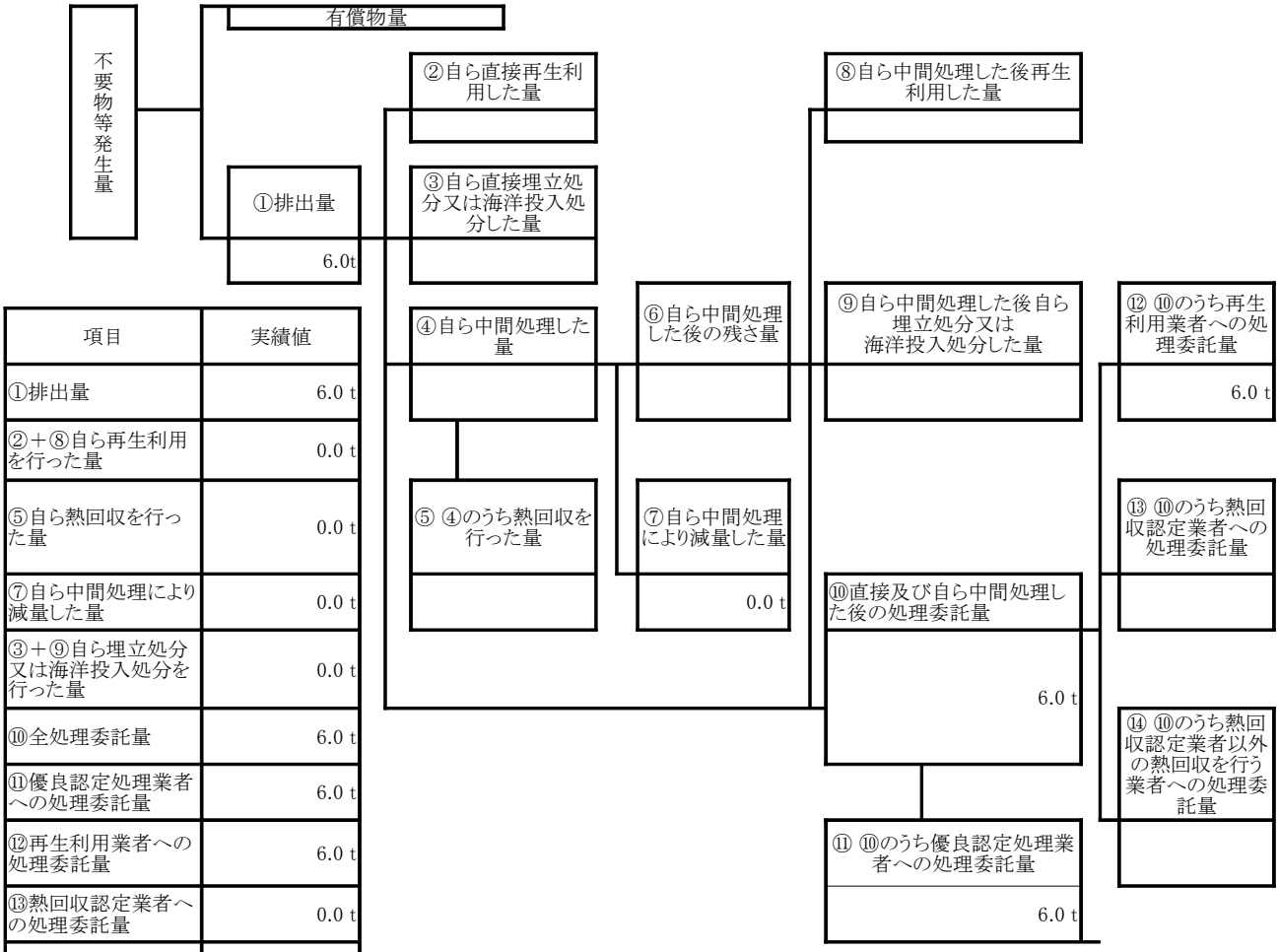


項目	実績値
①排出量	21.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	21.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

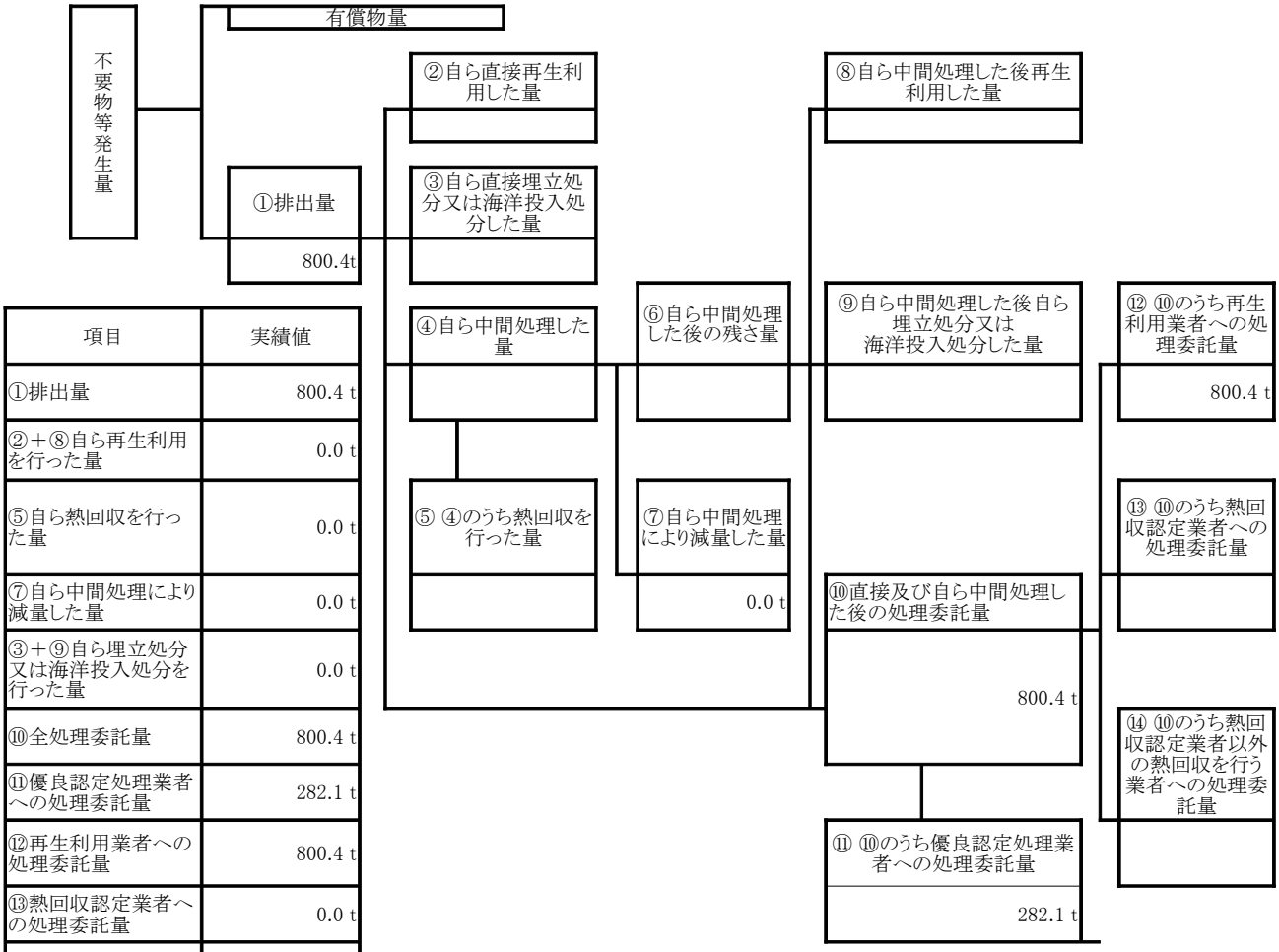


項目	実績値
①排出量	6.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

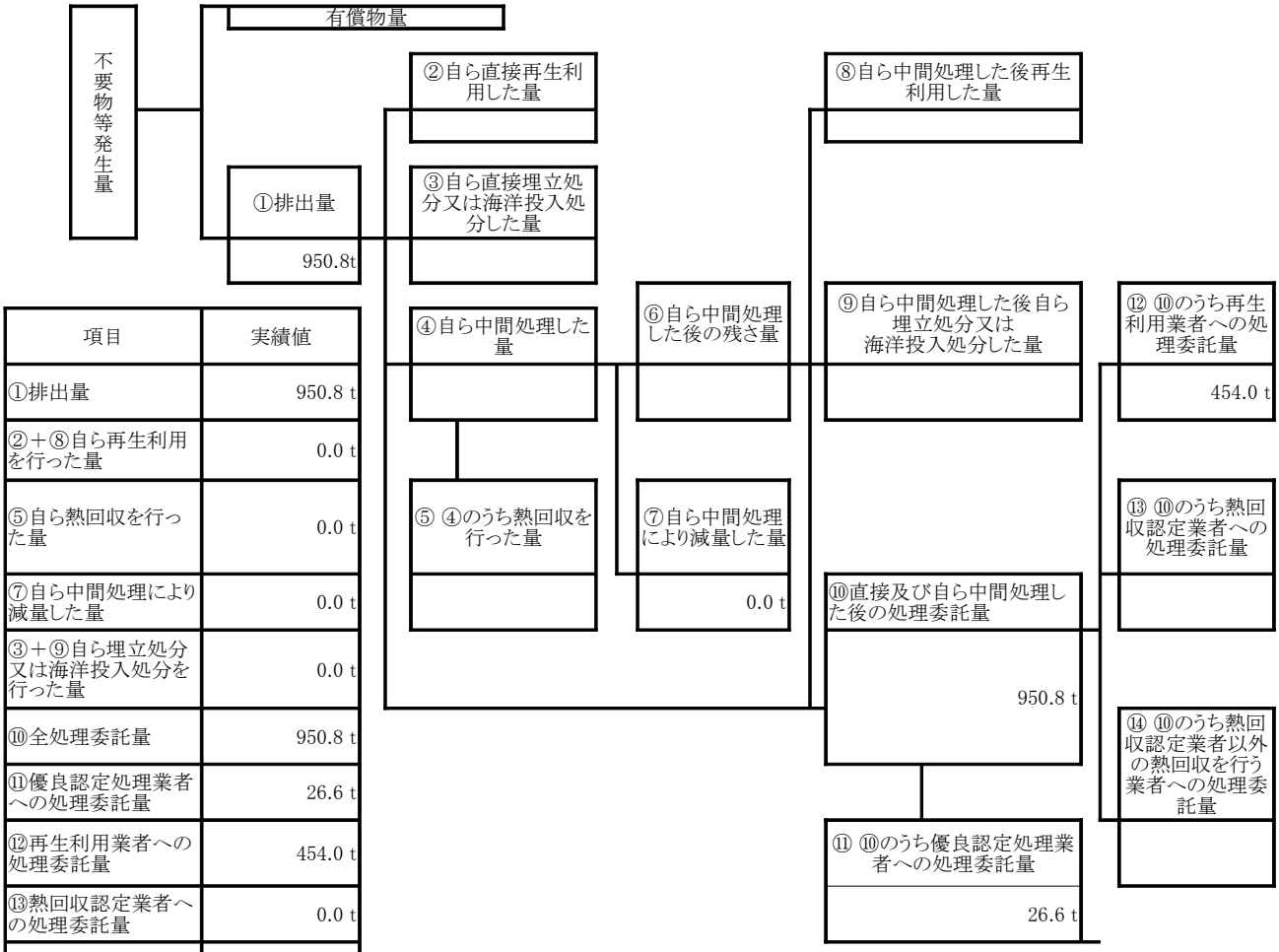


項目	実績値
①排出量	800.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	800.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	282.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	800.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

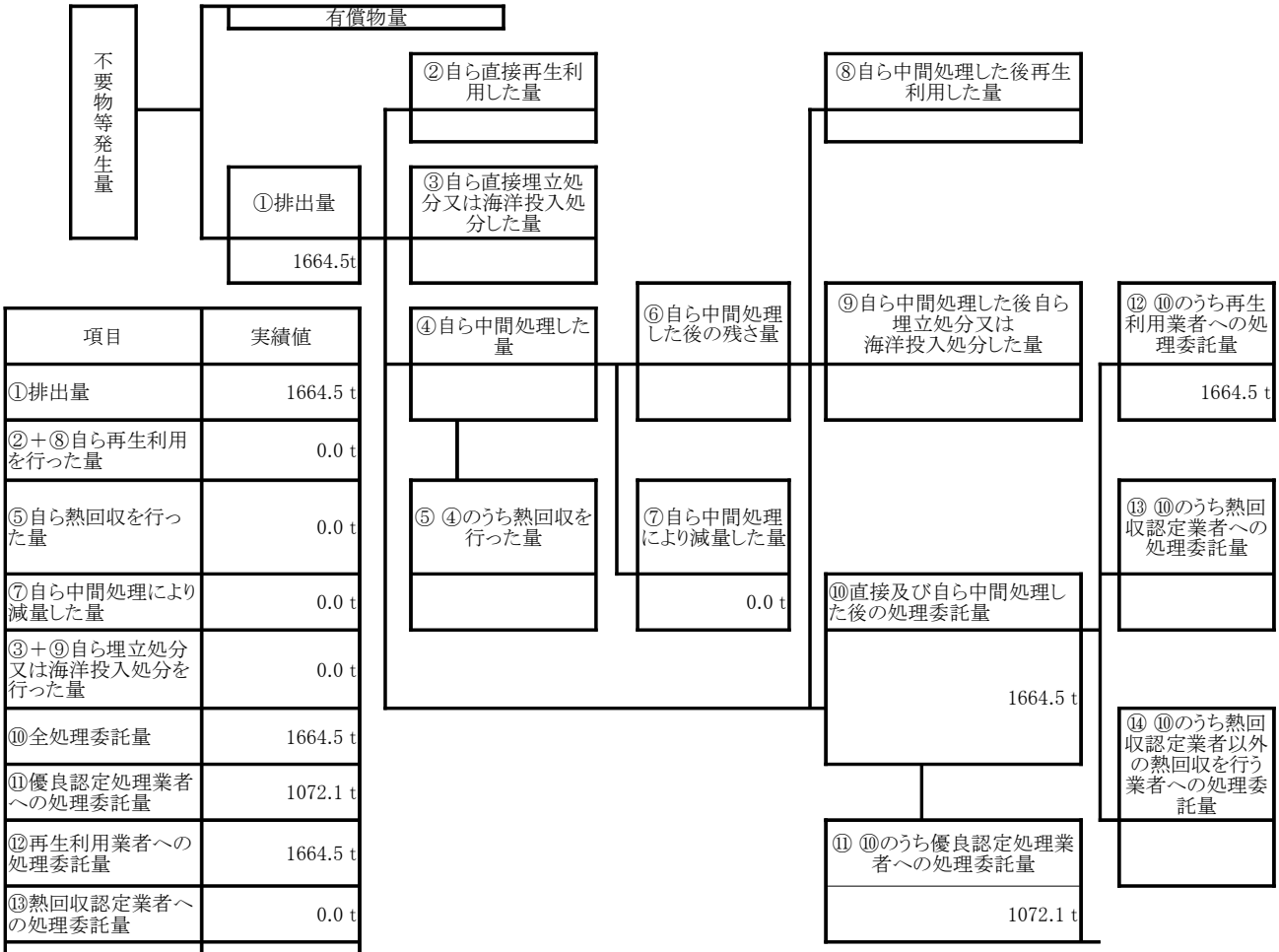


項目	実績値
①排出量	950.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	950.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	454.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

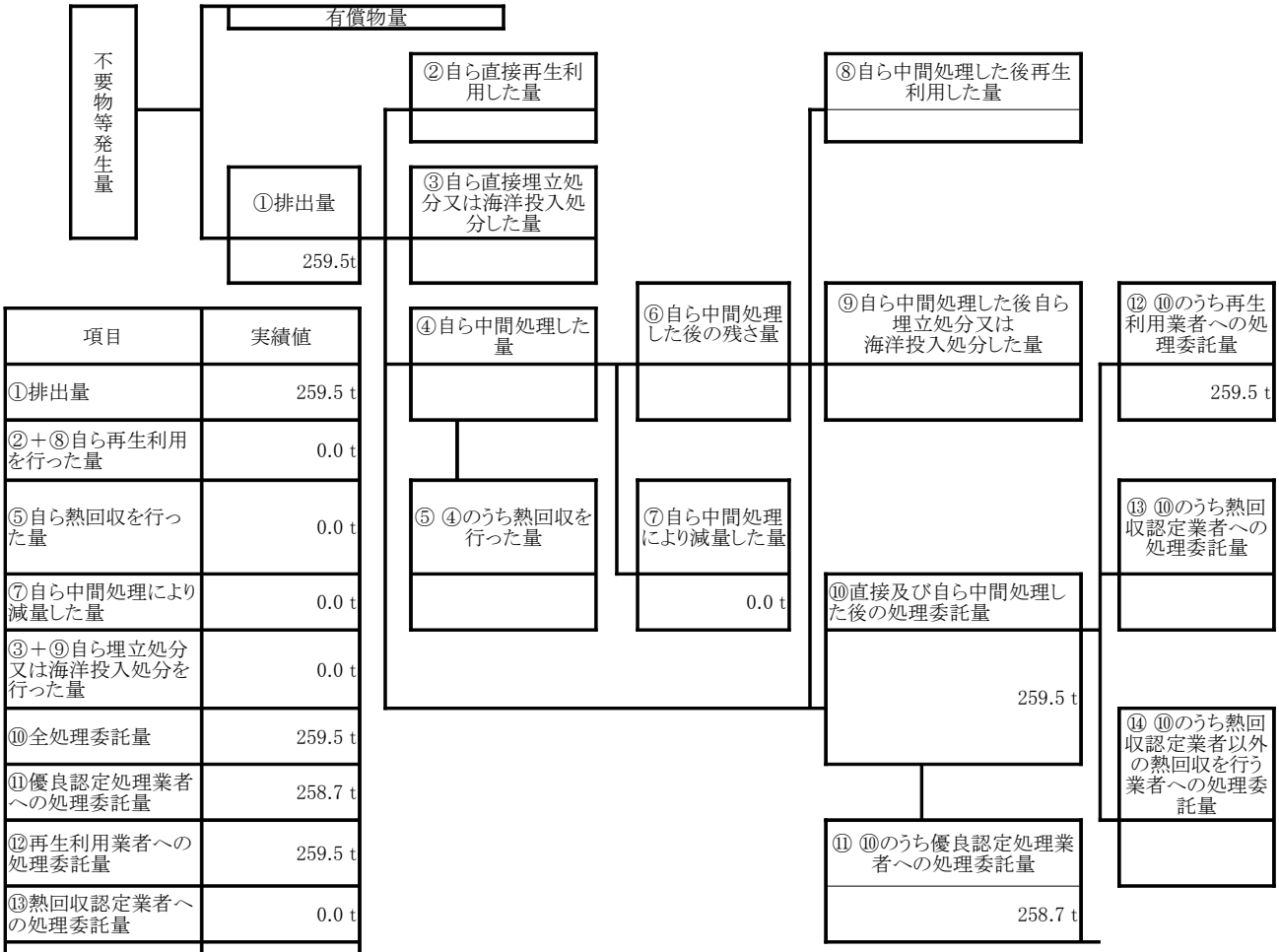


項目	実績値
①排出量	1664.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1664.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1072.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1664.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物(管理型)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

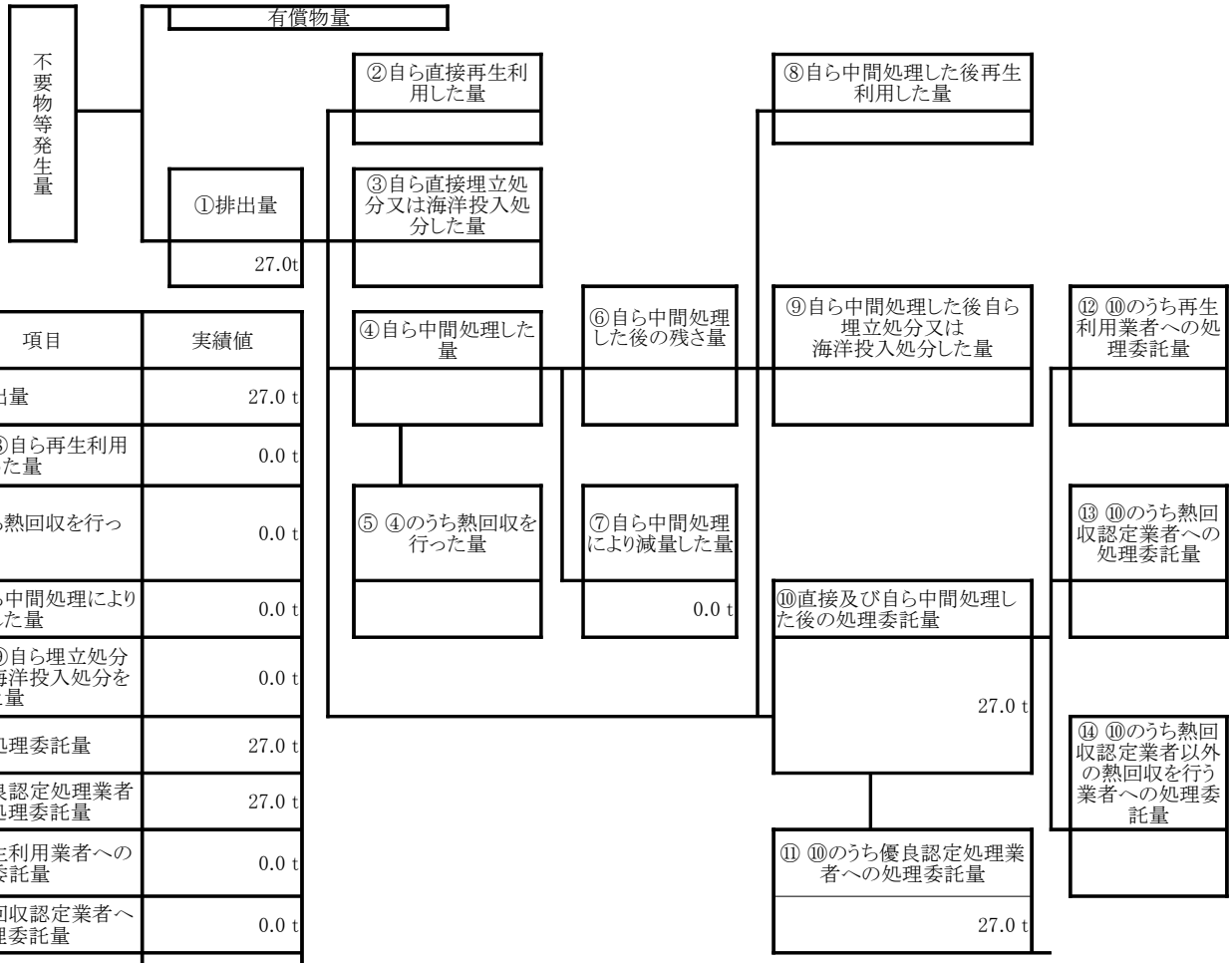


項目	実績値
①排出量	259.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	259.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	258.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	259.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

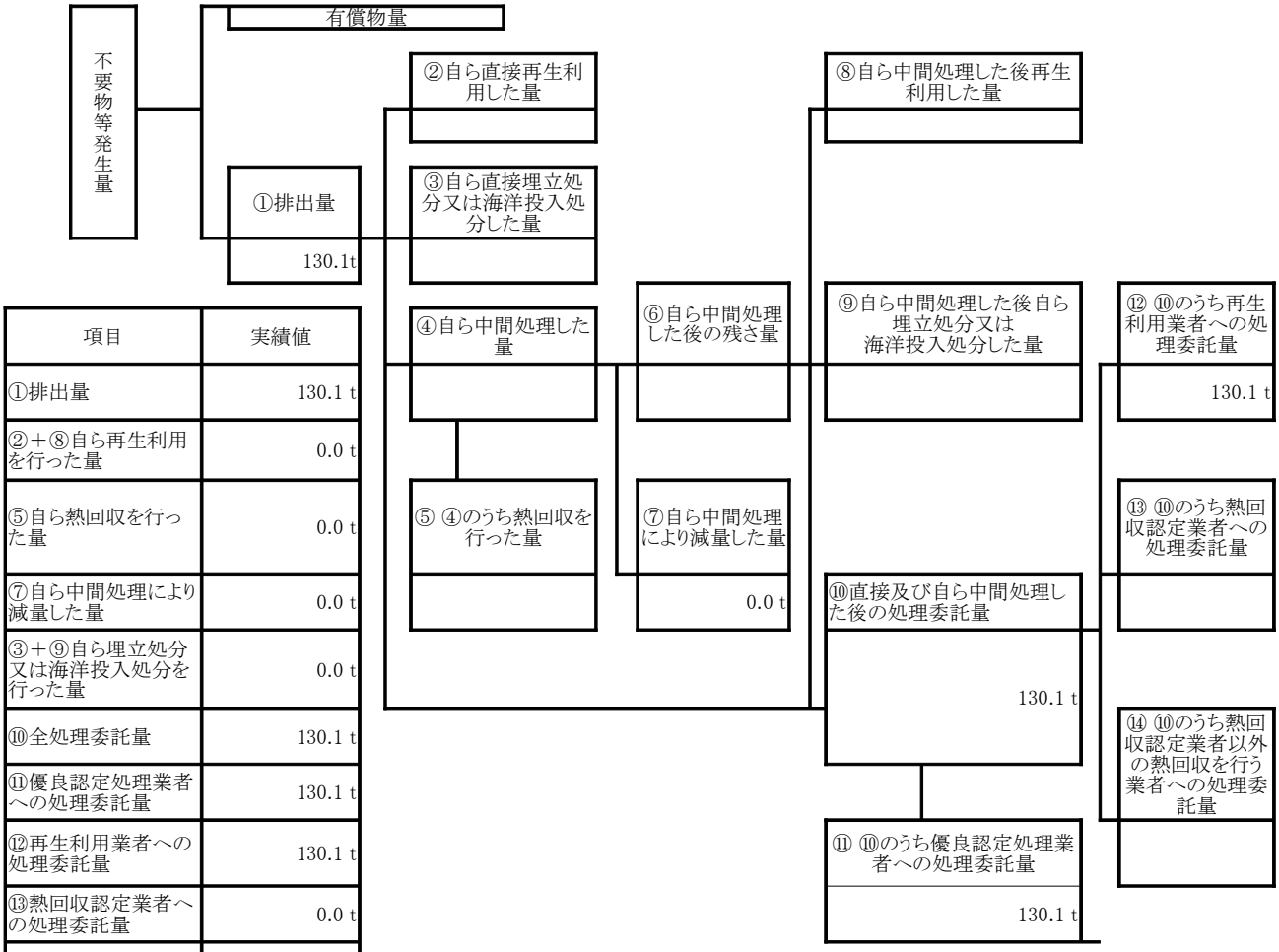


項目	実績値
①排出量	27.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　水銀使用製品　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



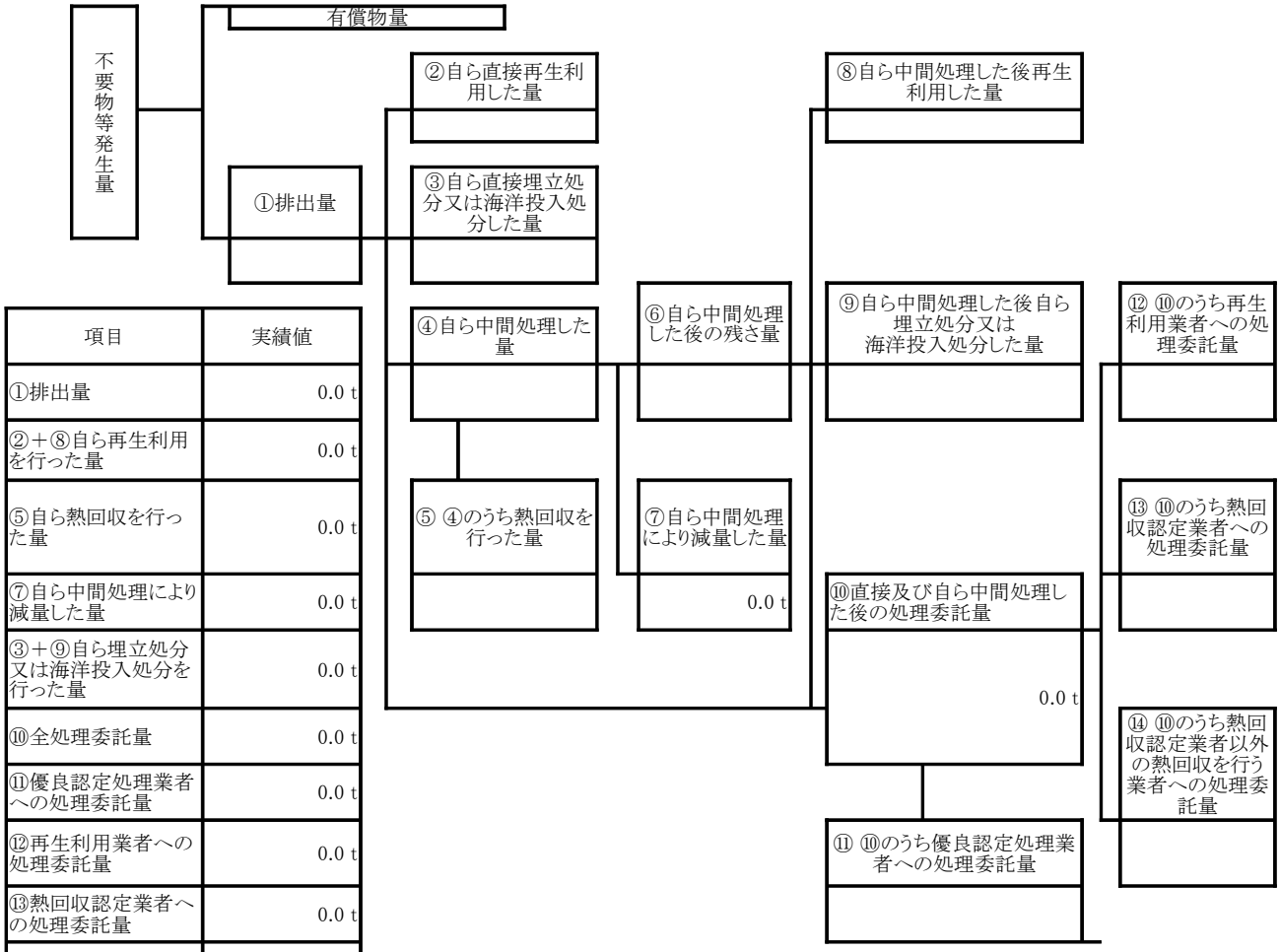
項目	実績値
①排出量	130.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	130.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	130.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	130.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



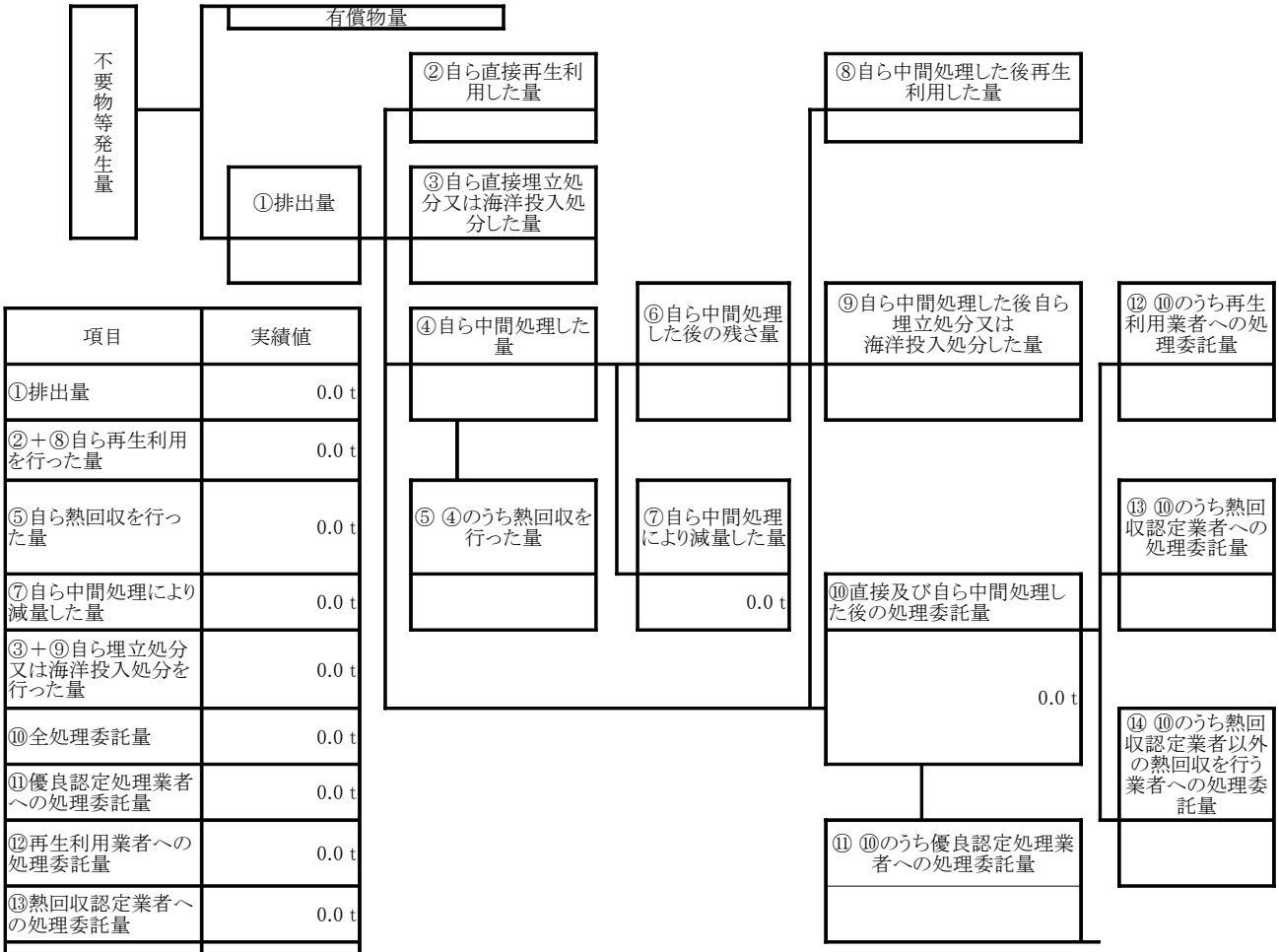
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



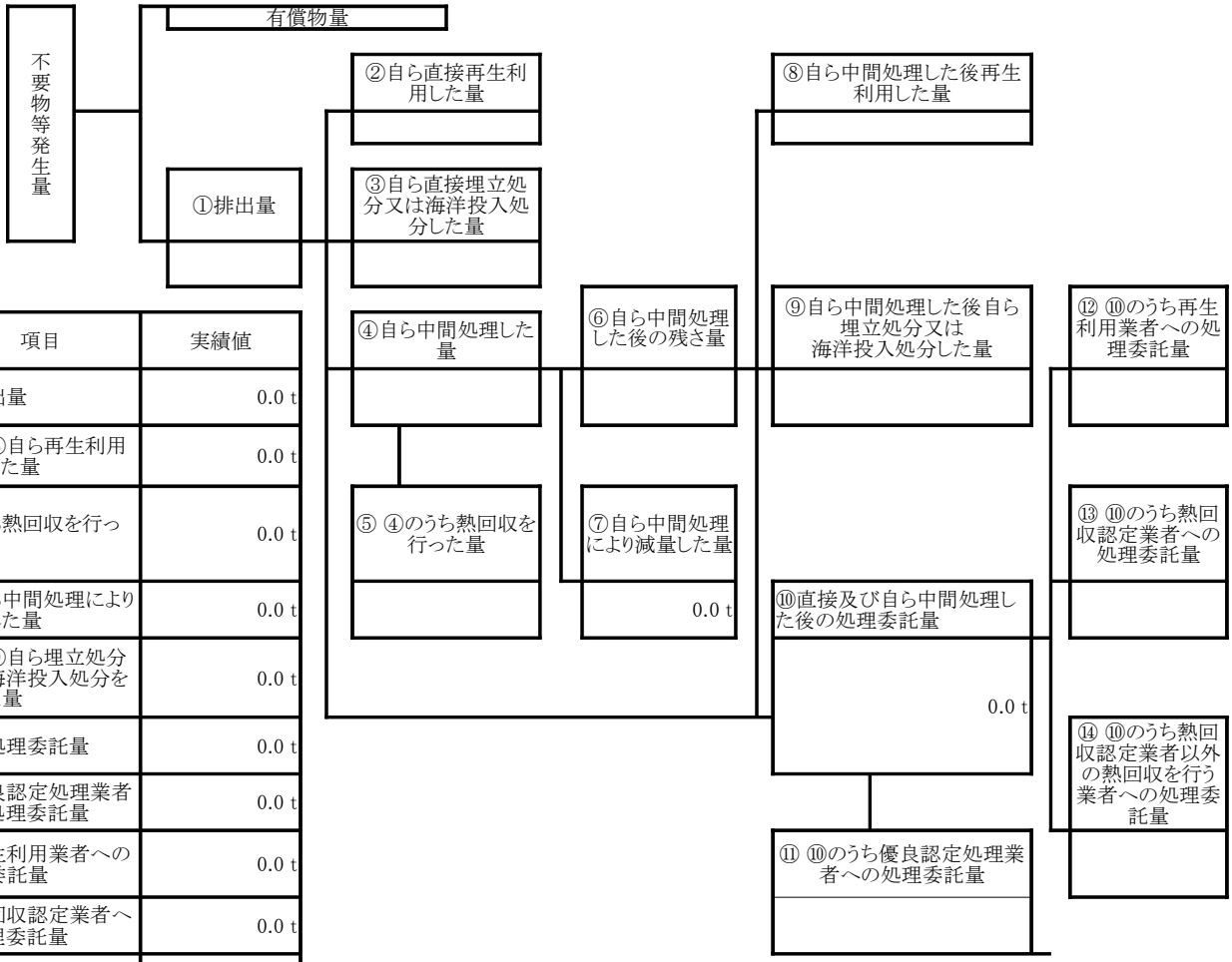
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



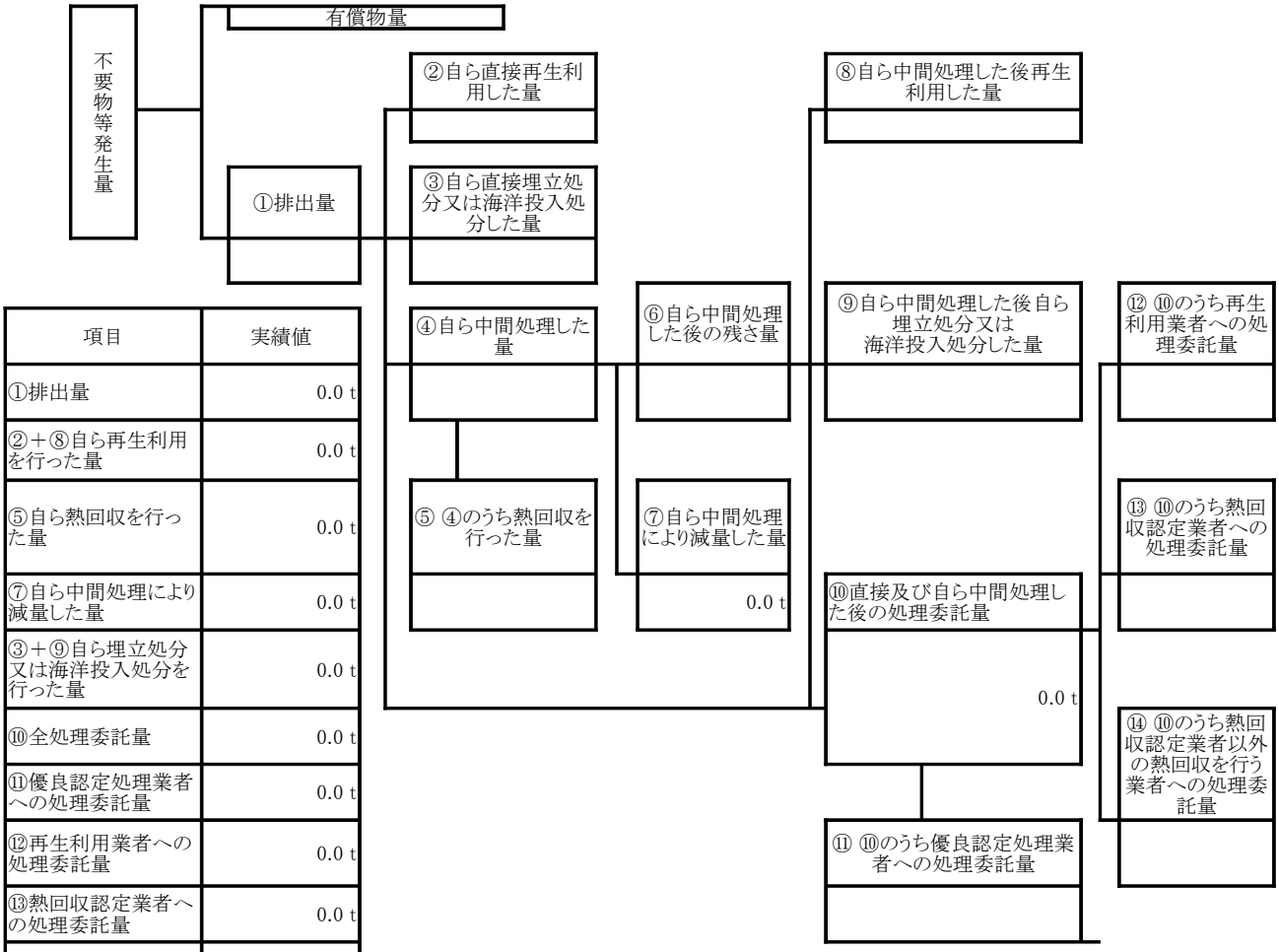
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



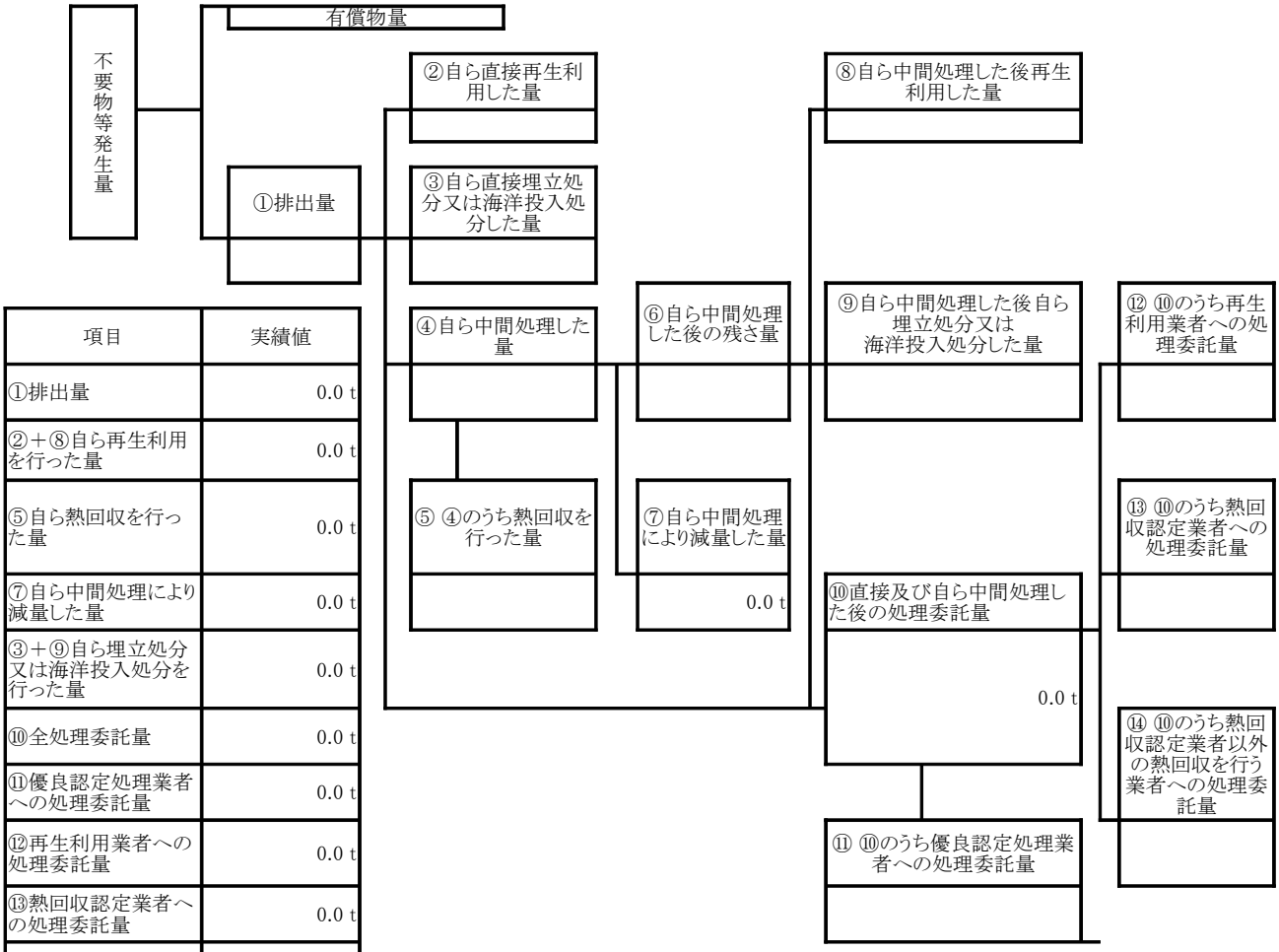
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



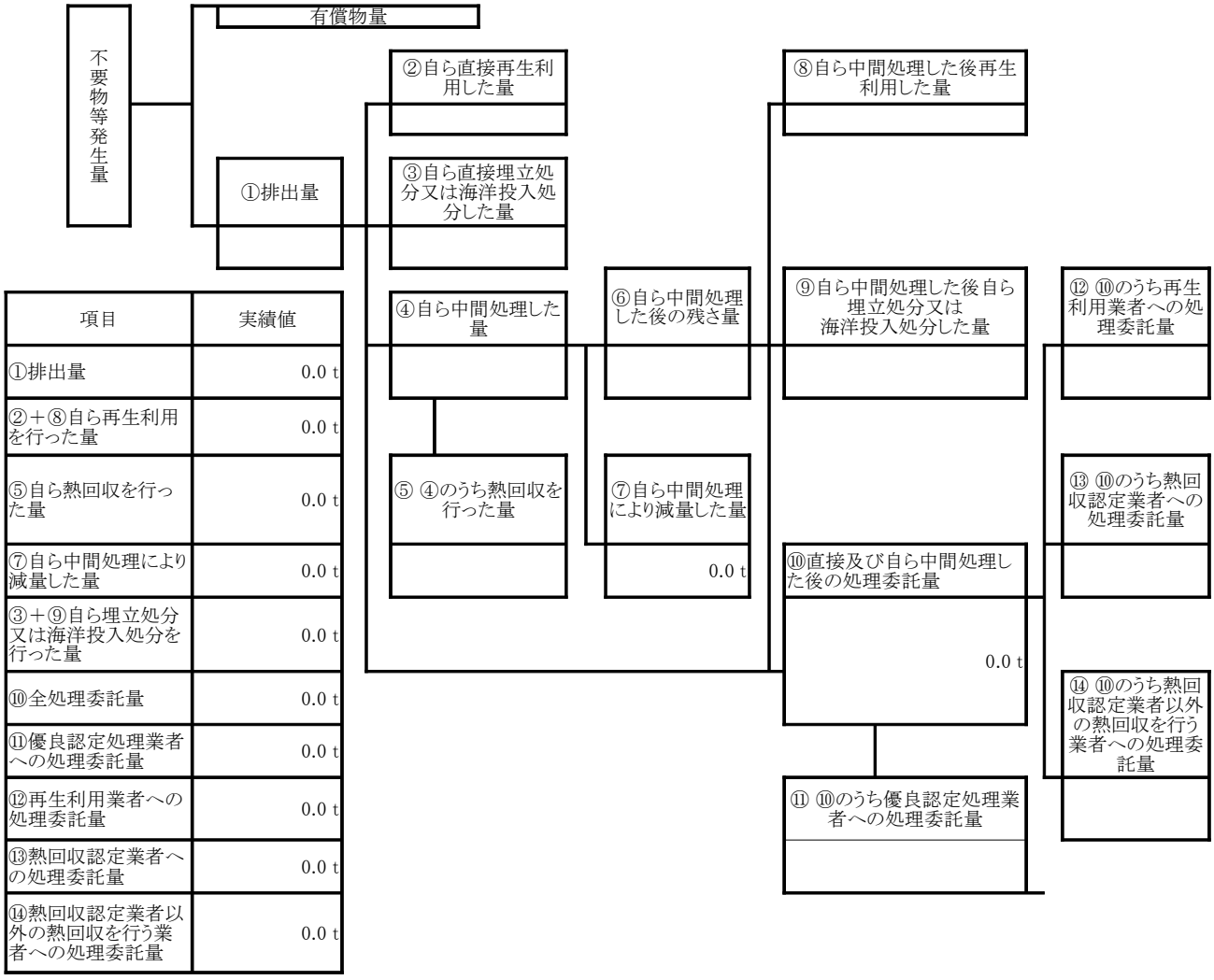
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



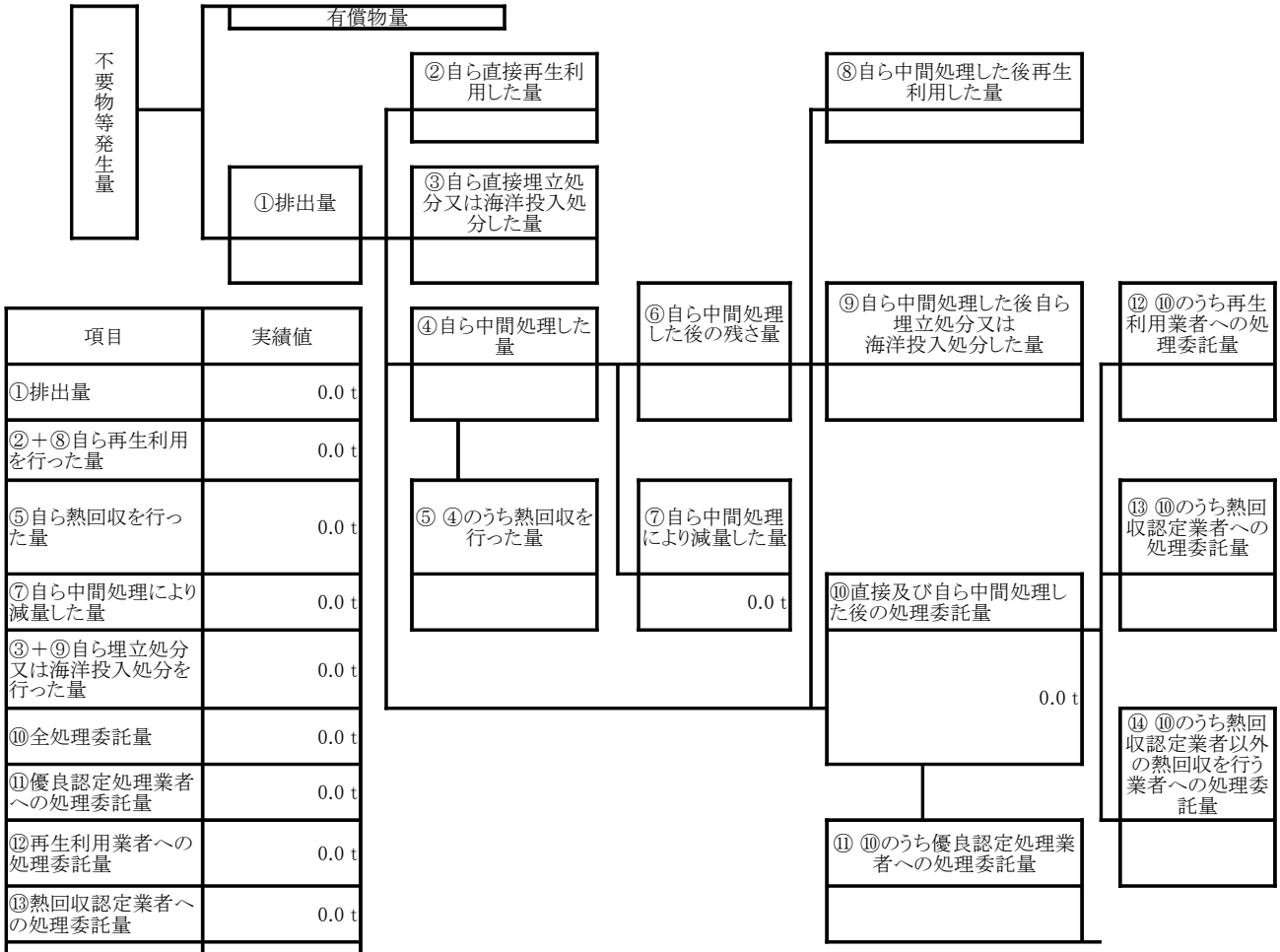
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6年　　4月　　8日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者

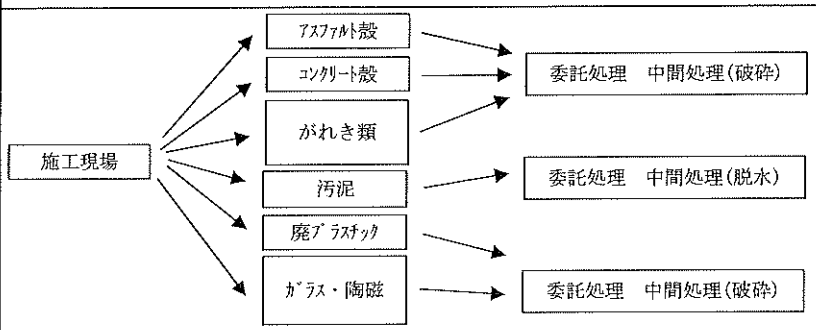
住　所　　千葉県佐倉市鏑木町483

氏　名　　東豊土木工業株式会社
代表取締役　吉田幸弘

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

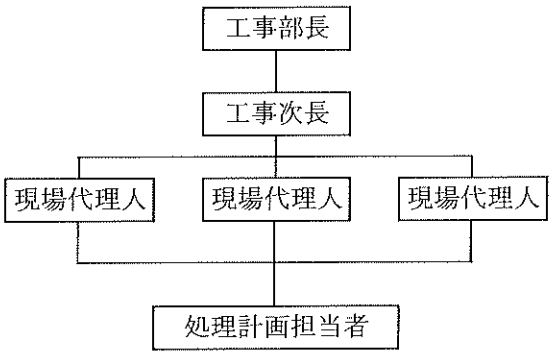
電話番号　　０４３－４８５－４１３１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東豊土木工業株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市鏑木町４８３
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高　10億円
③従業員数	24人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】　別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	排　出　量_	t	t
	（これまでに実施した取組） 官公庁の入札物件のため設計数量以上を排出。		
②計画	【目標】　別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	排　出　量_	t	t
	（今後実施する予定の取組） 出来る限り設計数量に近づくよう、過分な撤去工事を極力減らし排出の抑制を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） その他がれき（路盤廃材）：土砂の混入を極力避ける。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ｺﾝｸﾘｰﾄ殻：付着した土を極力落として処理場へ委託する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】　別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 官公庁の入札物件のため、処分業許可場にて全数量を処分する設計。		
②計画	【目標】　別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 官公庁の入札物件のため、指定処分以外については、自ら再生利用が可能か発注者側と協議を行う。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和４　年度）実績】　別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 現在当社に中間処理に必要な施設は無く計画も無い。		
②計画	【目標】　別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現在当社に中間処理に必要な施設は無く計画も無い。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項　　別紙2のとおり

①現状

【前年度（　令和４　年度）実績】

産業廃棄物の種類_		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
現在当社に埋立処分・海洋投入処分に必要な施設は無く計画も無い。

②計画

【目標】　　別紙2のとおり

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
現在当社に埋立処分・海洋投入処分に必要な施設は無く計画も無い。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和４　年度）実績】　　別紙3のとおり

産業廃棄物の種類_		
全処理委託量_	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
官公庁指定の処分先にて全て処分。

	②計画	【目標】	別紙3のとおり	
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 官公庁指定の処分先にて全て処分。		
※事務処理欄				

別紙1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻
	排　出　量	2472.6	t	471.9 t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥
	排　出　量	625.0	t	108.462 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック		
	排　出　量	2.07	t	t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻
	排　出　量	3000.0	t	500.0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥
	排　出　量	2500.0	t	110.0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック		
	排　出　量	3.0	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	t	t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	t

別紙2

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0	t		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0	t		t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t	0.0	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t		t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項				
①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t		t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t		t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t		t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t		t
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t		t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t		t

別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和5 年度）実績】

産業廃棄物の種類		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	
全処理委託量		2472.6	t	471.9	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2472.6	t	471.9	t
	再生利用業者への処理委託量	2472.6	t	471.9	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

産業廃棄物の種類		がれき類		汚泥	
全処理委託量		625	t	108.462	t
	優良認定処理業者への処理委託量	625	t	0.0	t
	再生利用業者への処理委託量	625	t	108.462	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

産業廃棄物の種類		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ			
全処理委託量		2.07	t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t		t
	再生利用業者への処理委託量	2.07	t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

産業廃棄物の種類					
全処理委託量			t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	
全処理委託量	3000.0	t	500.0	t
優良認定処理業者への処理委託量	2500.0	t	450.0	t
再生利用業者への処理委託量	3000.0	t	500.0	t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
全処理委託量	2500.0	t	110.0	t
優良認定処理業者への処理委託量	2000.0	t	0.0	t
再生利用業者への処理委託量	2500.0	t	110.0	t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ			
全処理委託量	3.0	t		t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t		t
再生利用業者への処理委託量	3.0	t		t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

産業廃棄物の種類				
全処理委託量		t		t
優良認定処理業者への処理委託量		t		t
再生利用業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年4月8日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県佐倉市鏑木町483
氏 名　東豊土木工業株式会社　吉田 幸弘
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-485-4131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東豊土木工業株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市鏑木町483
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

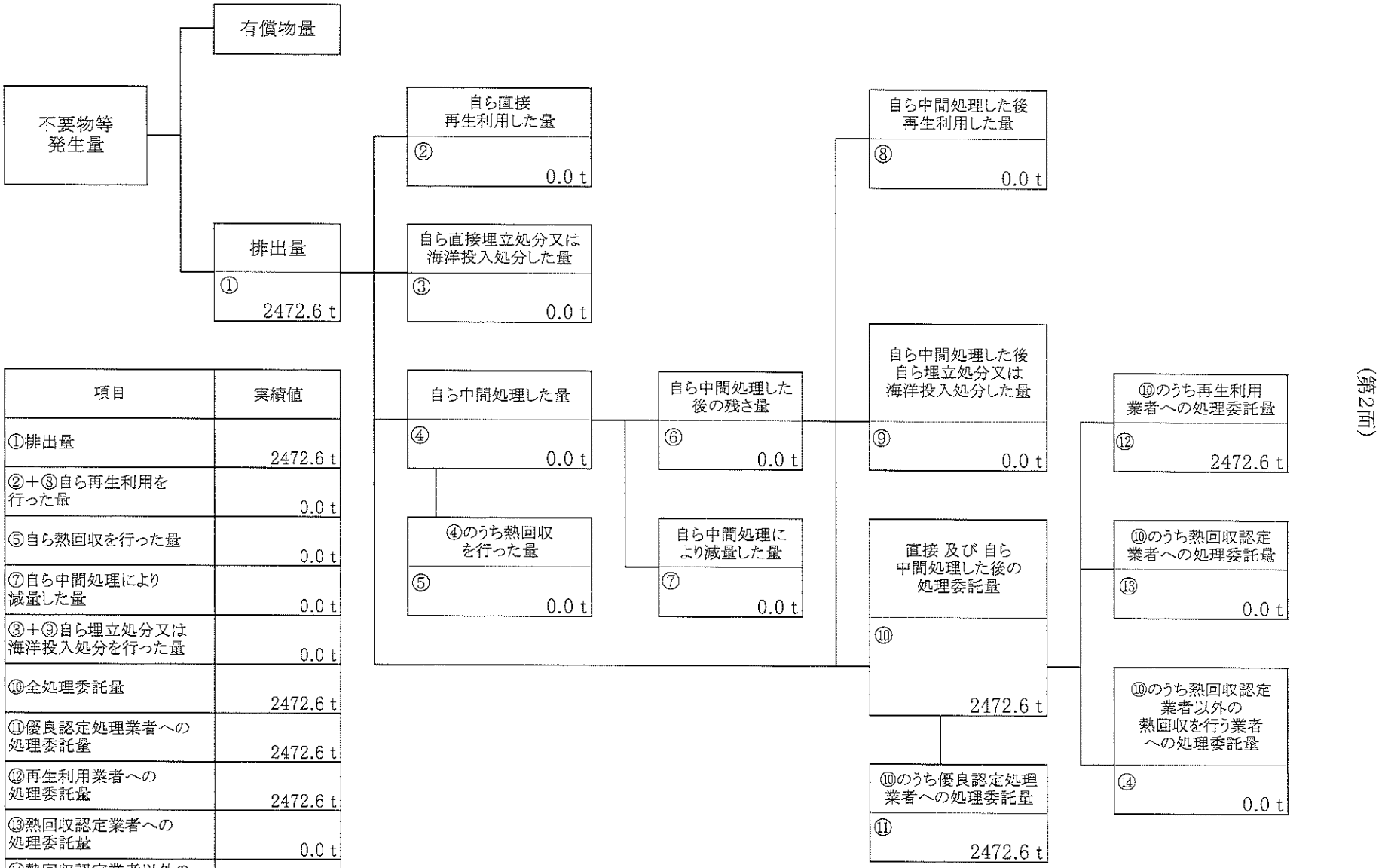
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5819.5 t	全処理委託量	5819.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	4865.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	5819.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト殻　）

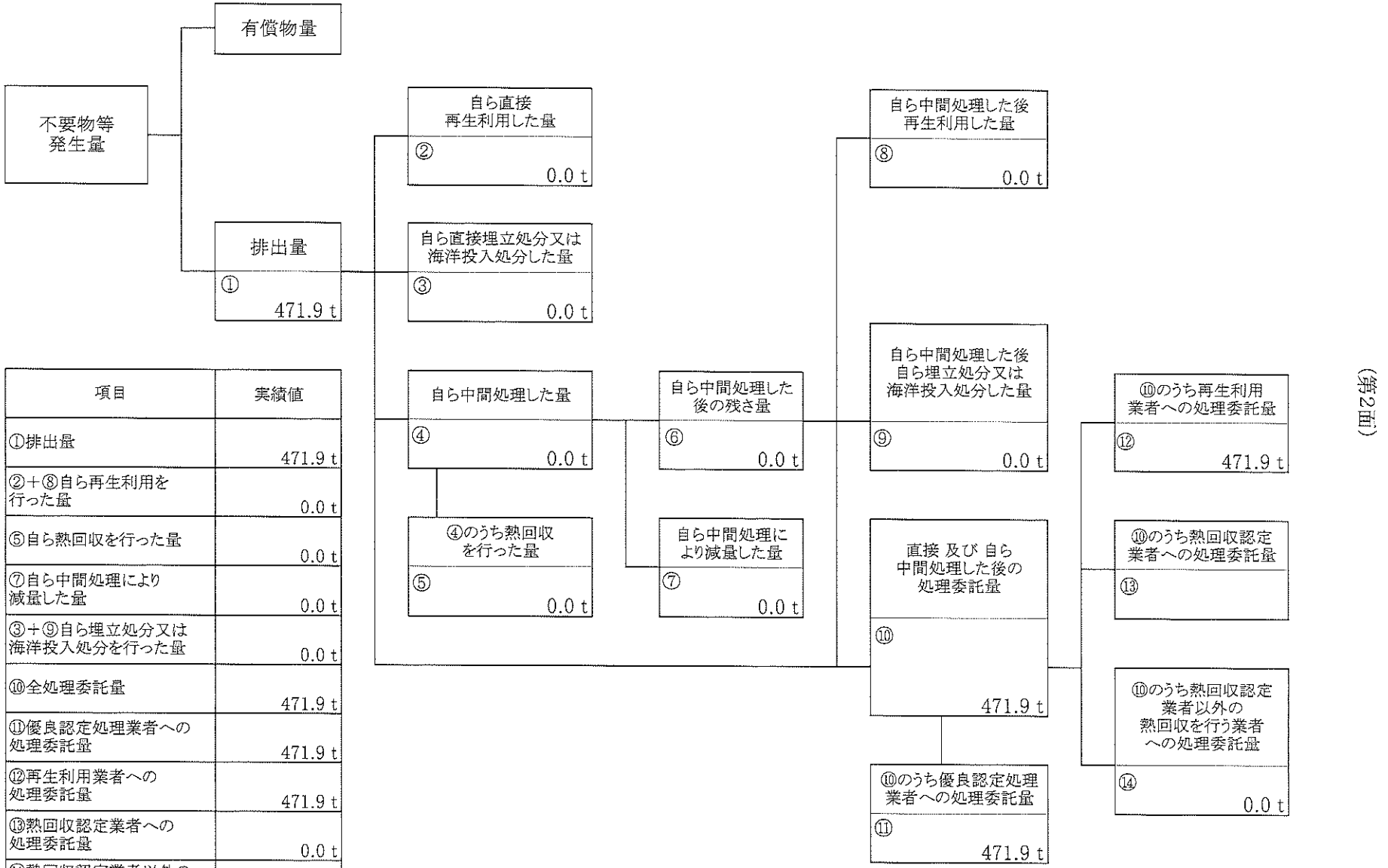


項目	実績値
①排出量	2472.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2472.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2472.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2472.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート殻　）

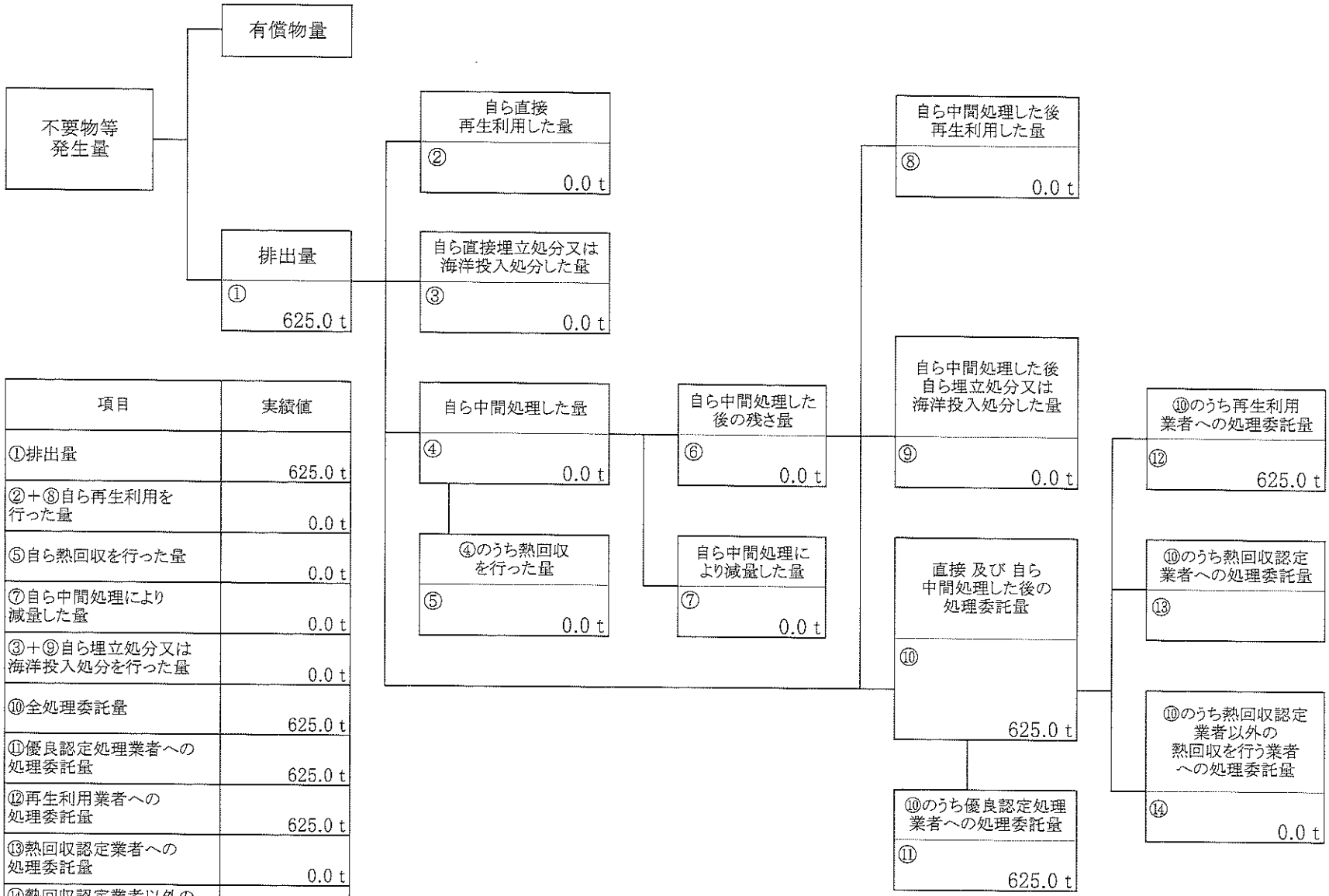


項目	実績値
①排出量	471.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	471.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	471.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	471.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

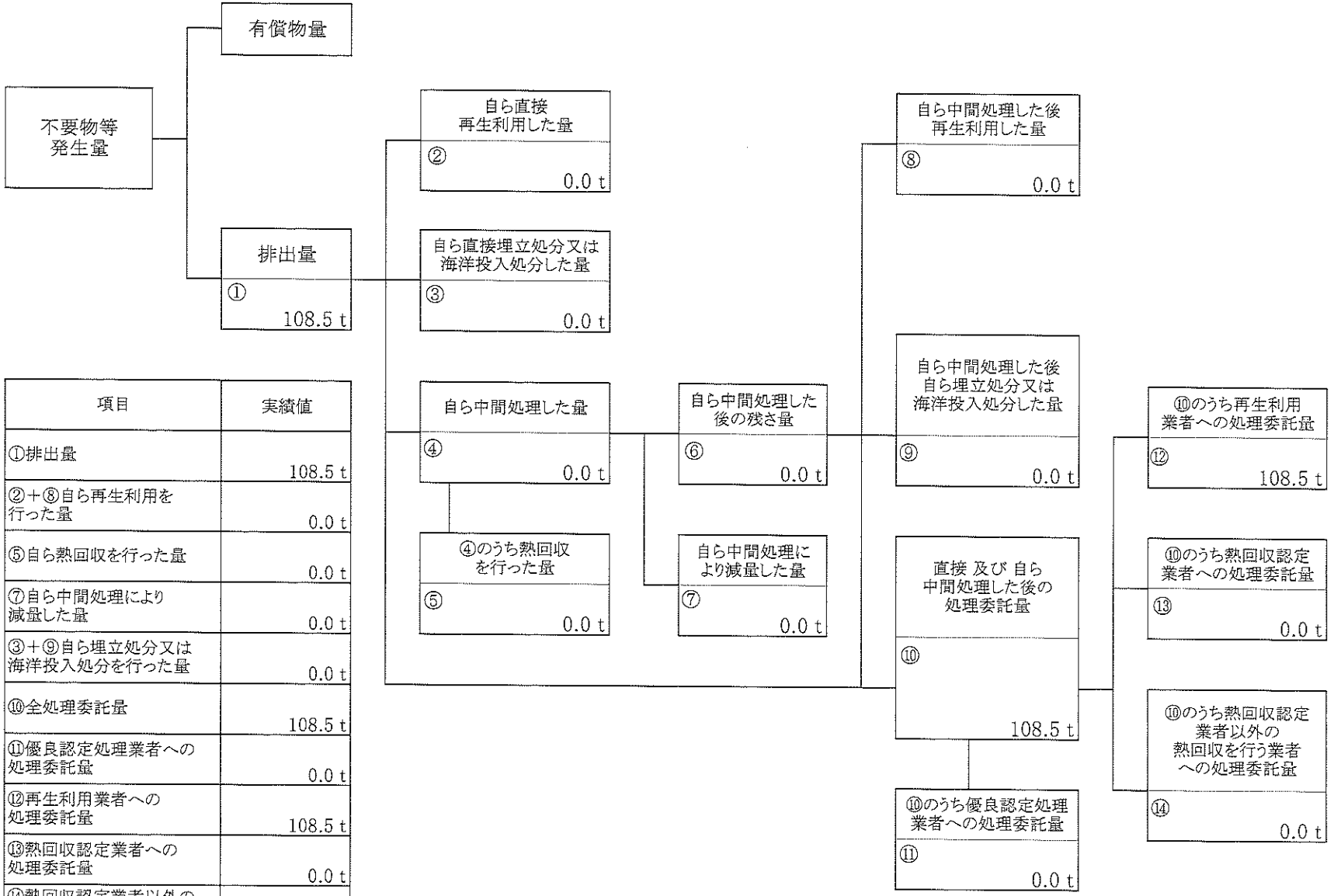


項目	実績値
①排出量	625.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	625.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	625.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	625.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

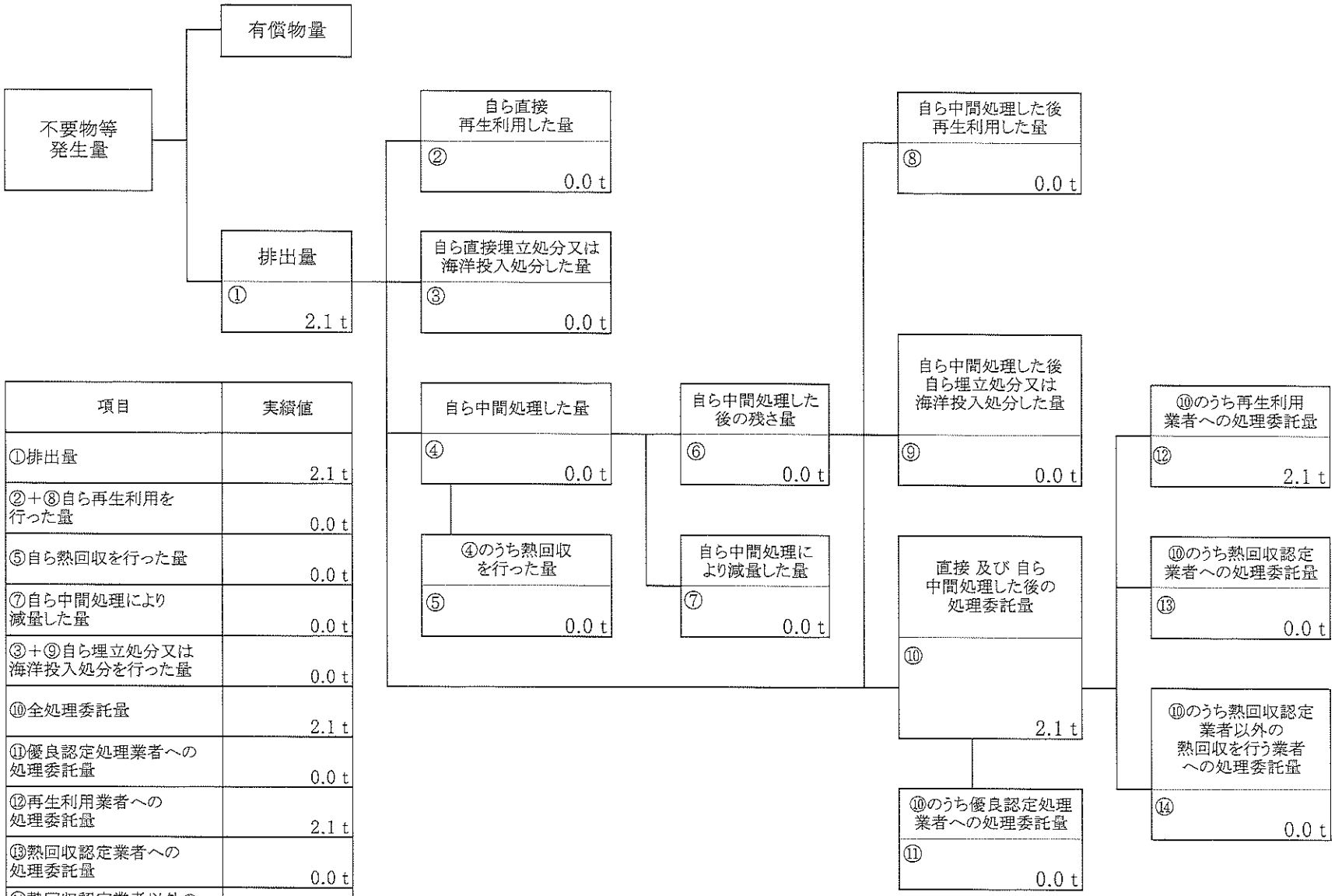


項目	実績値
①排出量	108.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	108.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　131-0033

住所 東京都墨田区向島3-44-4

法人名 東武谷内田建設株式会社

代表者 谷内田 昌克

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3625-1011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東武谷内田建設株式会社
事業場の所在地	東京都墨田区向島三丁目44番4号
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

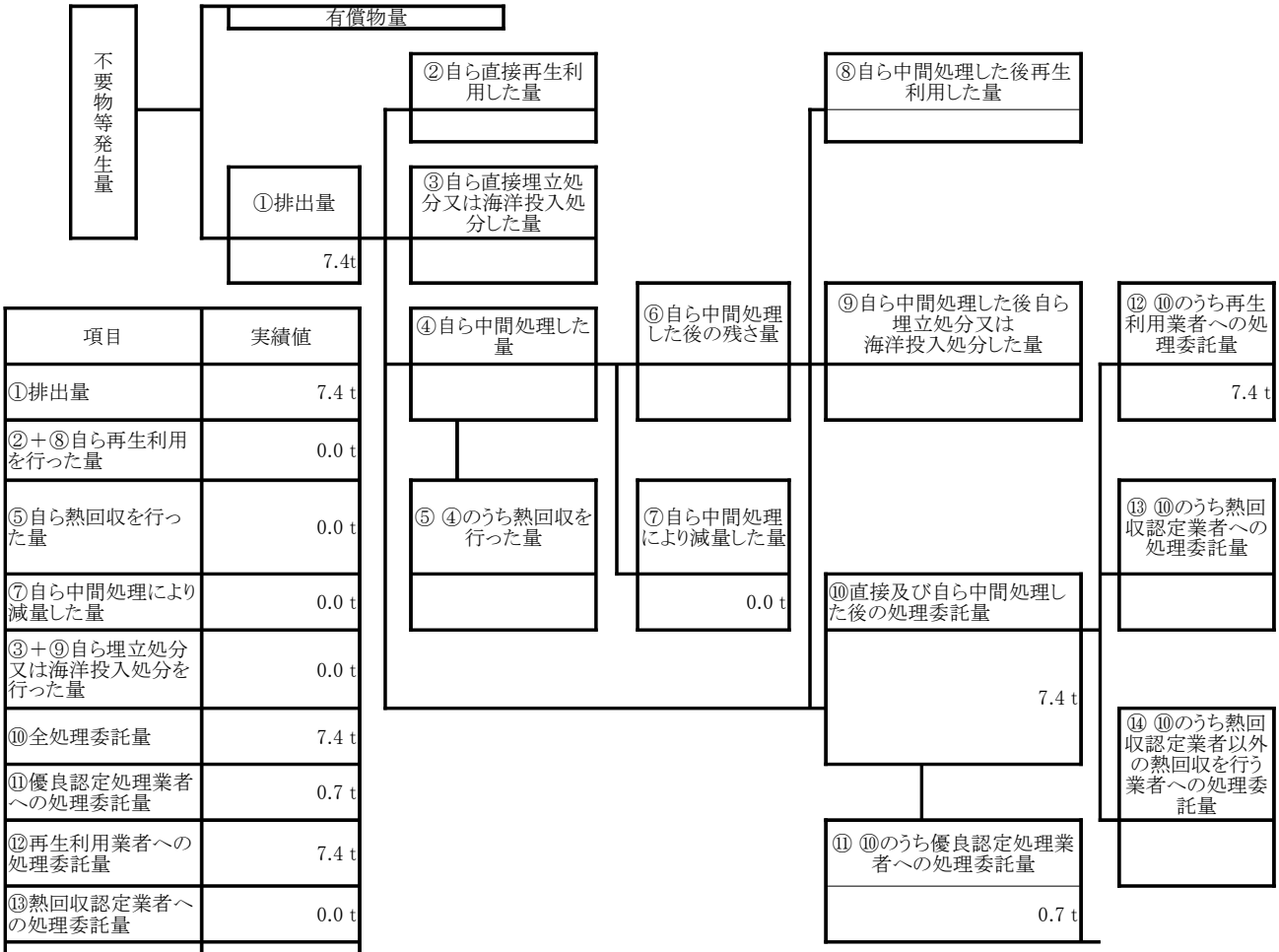
項目	目標値	項目	目標値
排出量	18.9 t	全処理委託量	18.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	4.73 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	18.87 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

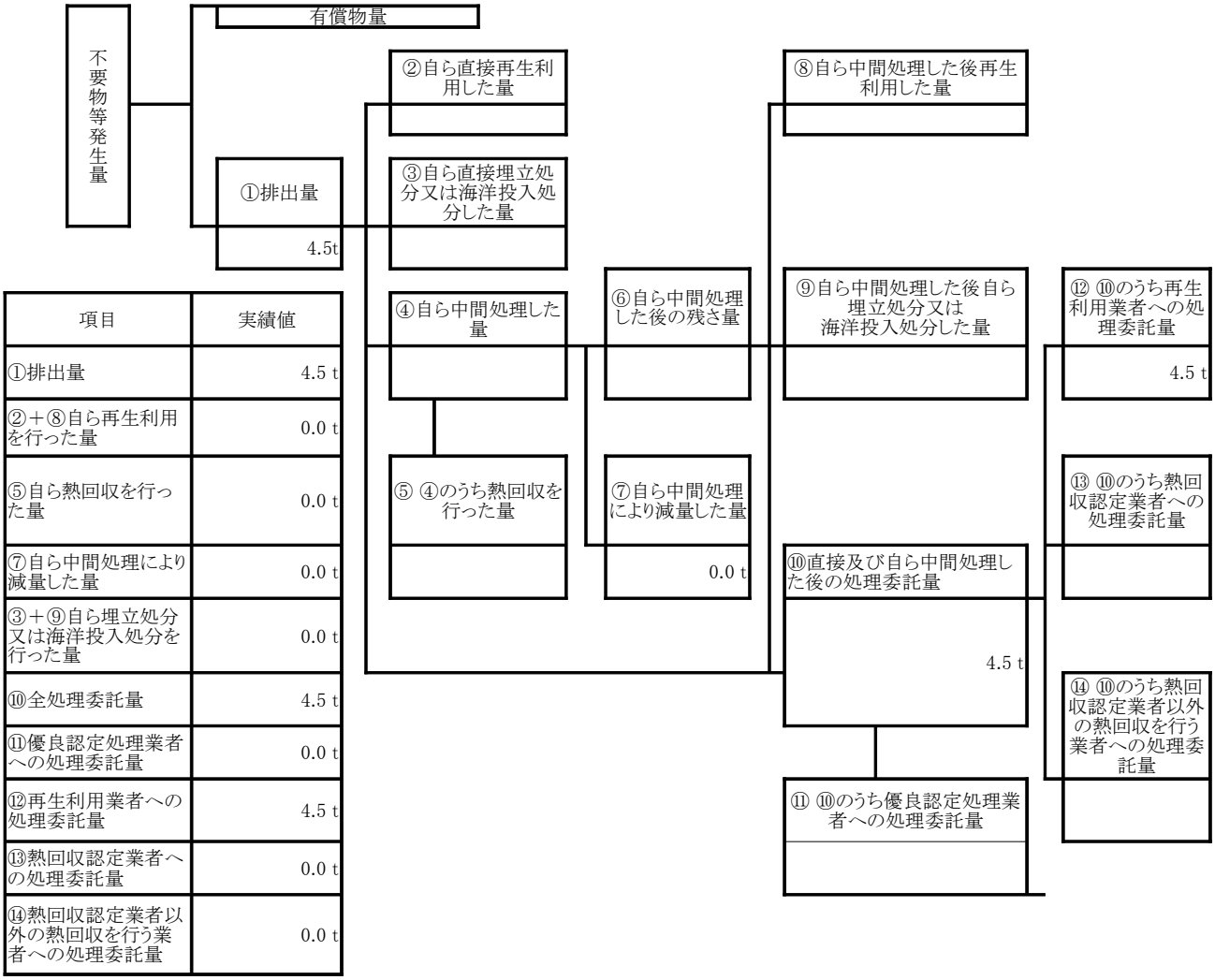


項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



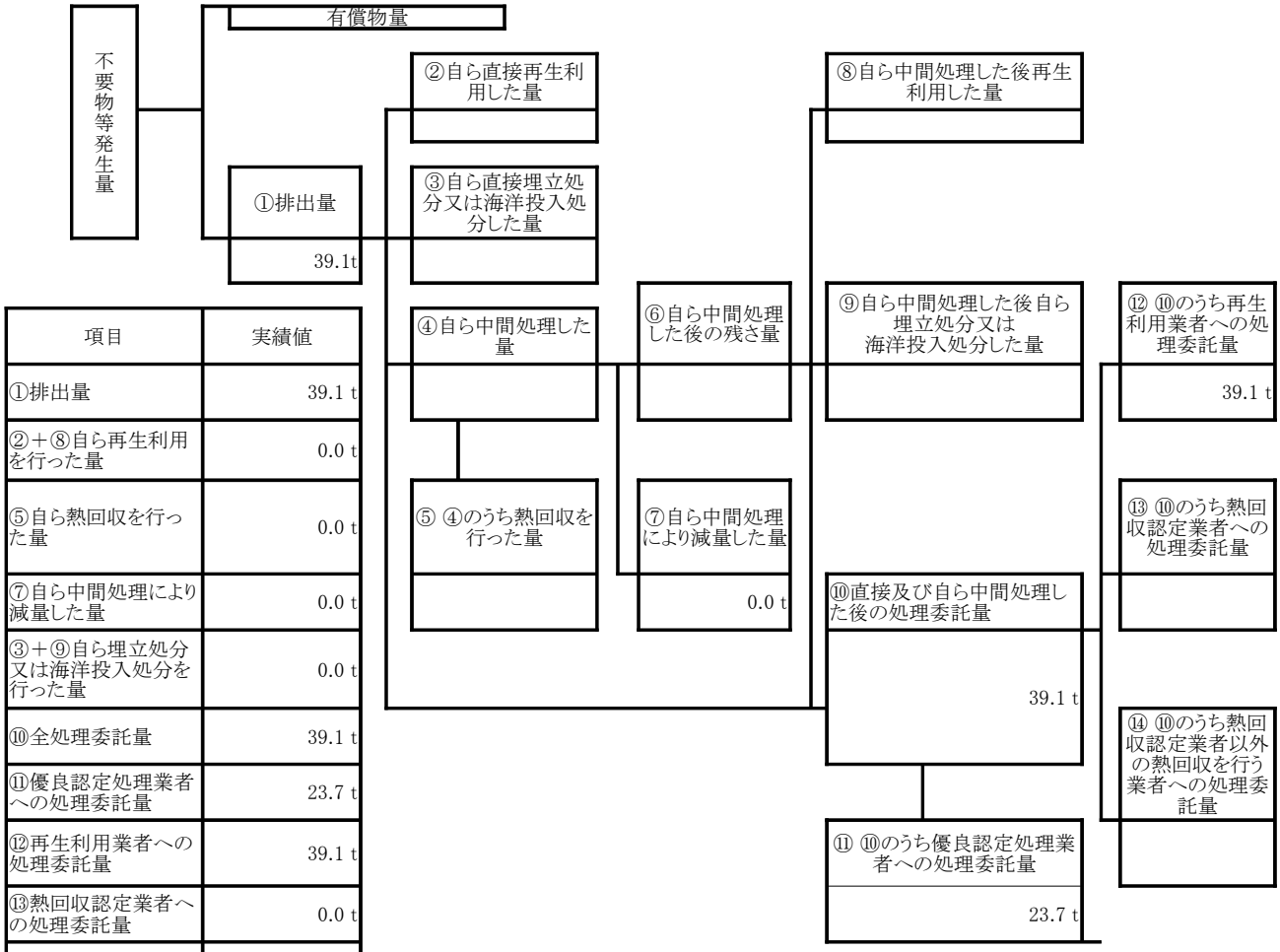
項目	実績値
①排出量	4.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

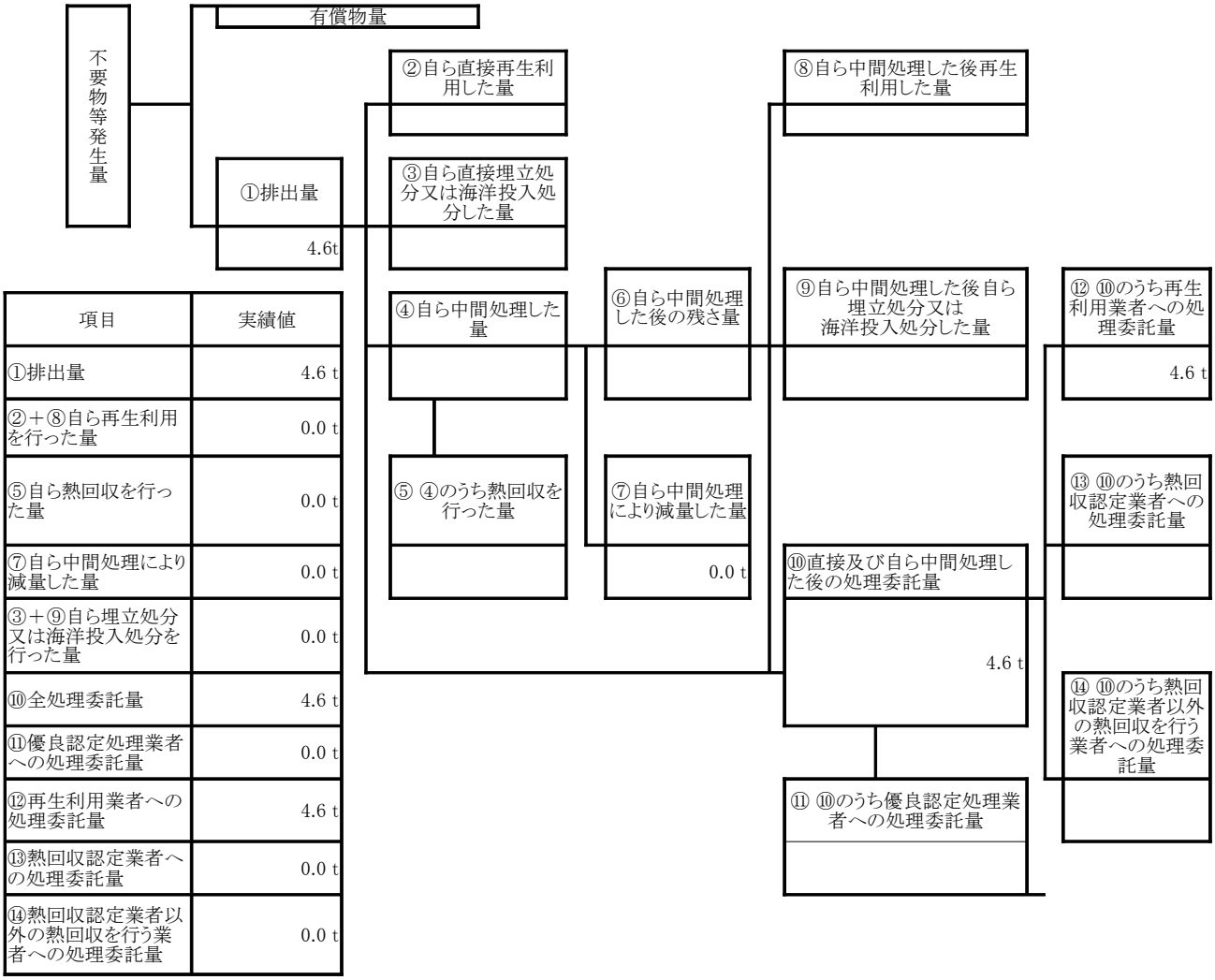


項目	実績値
①排出量	39.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

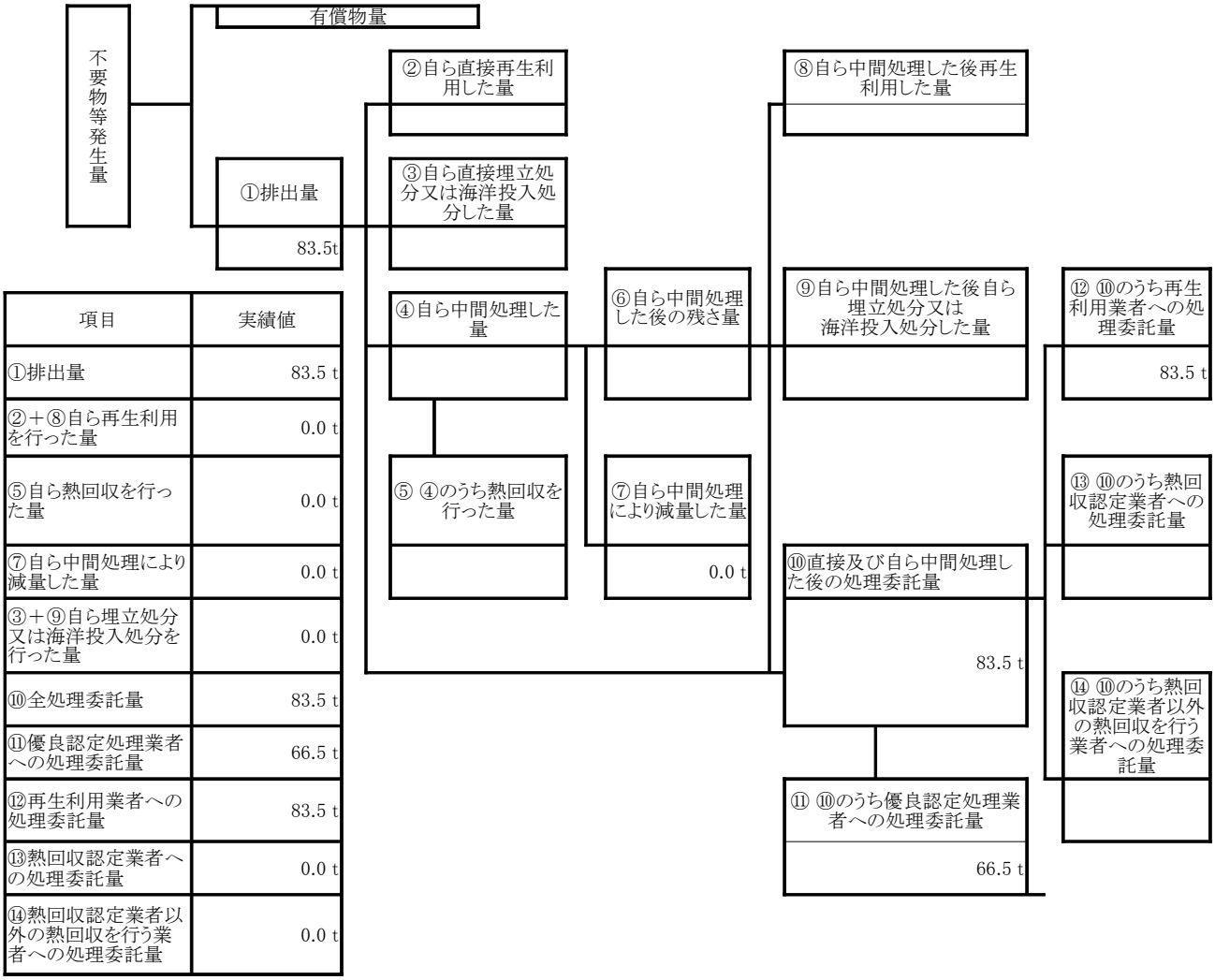


項目	実績値
①排出量	4.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラス陶磁器等くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

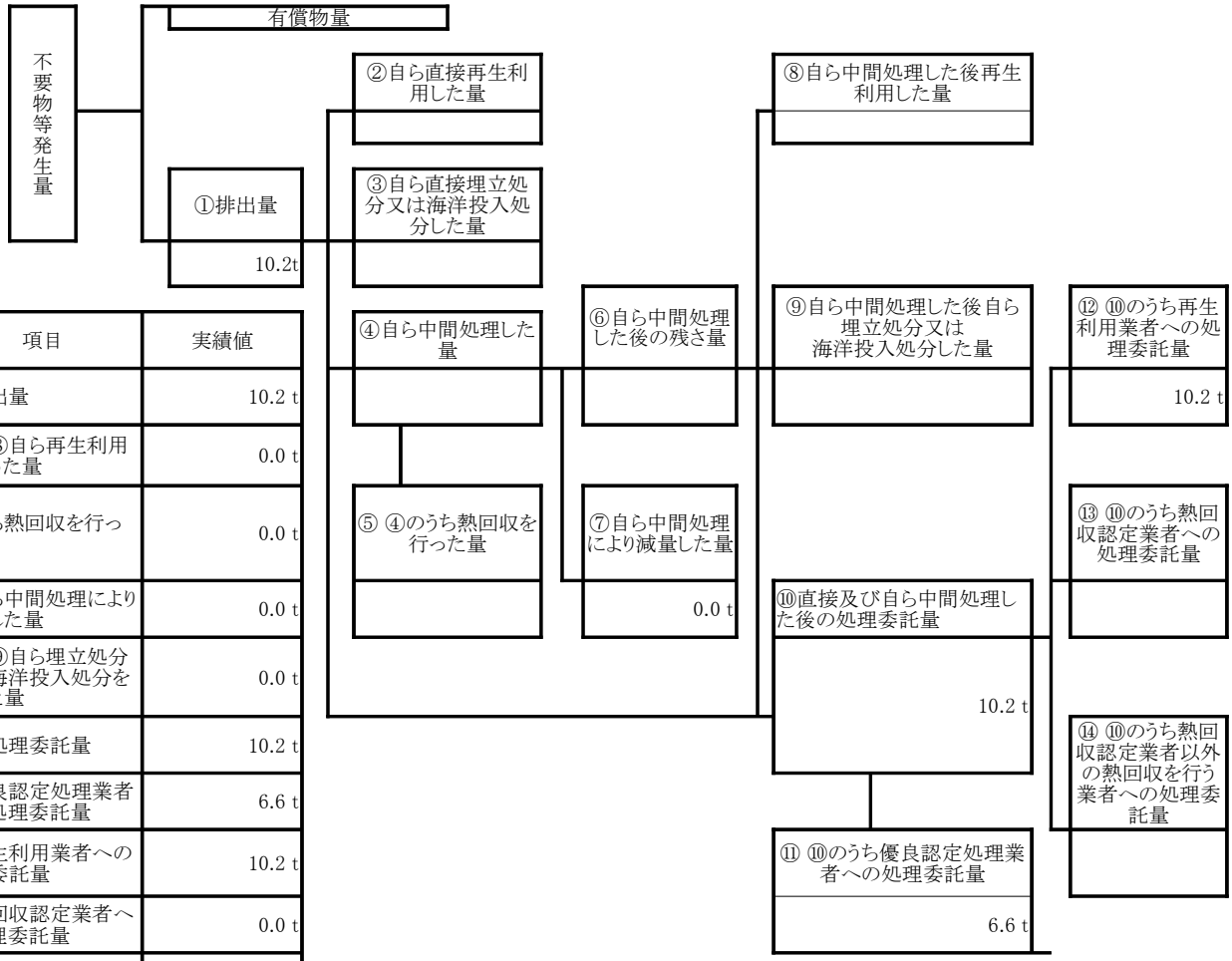


項目	実績値
①排出量	83.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	83.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	83.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



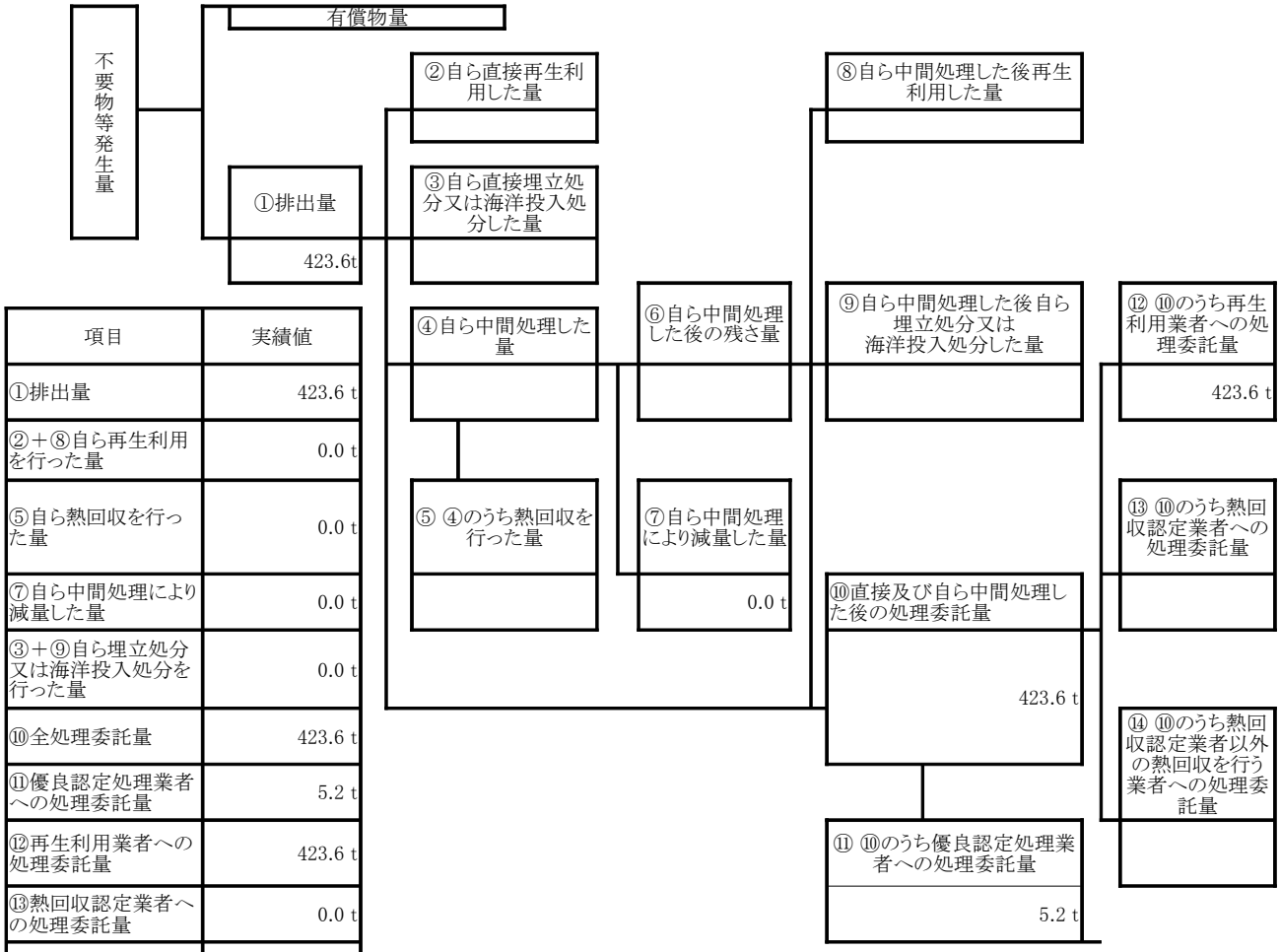
項目	実績値
①排出量	10.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

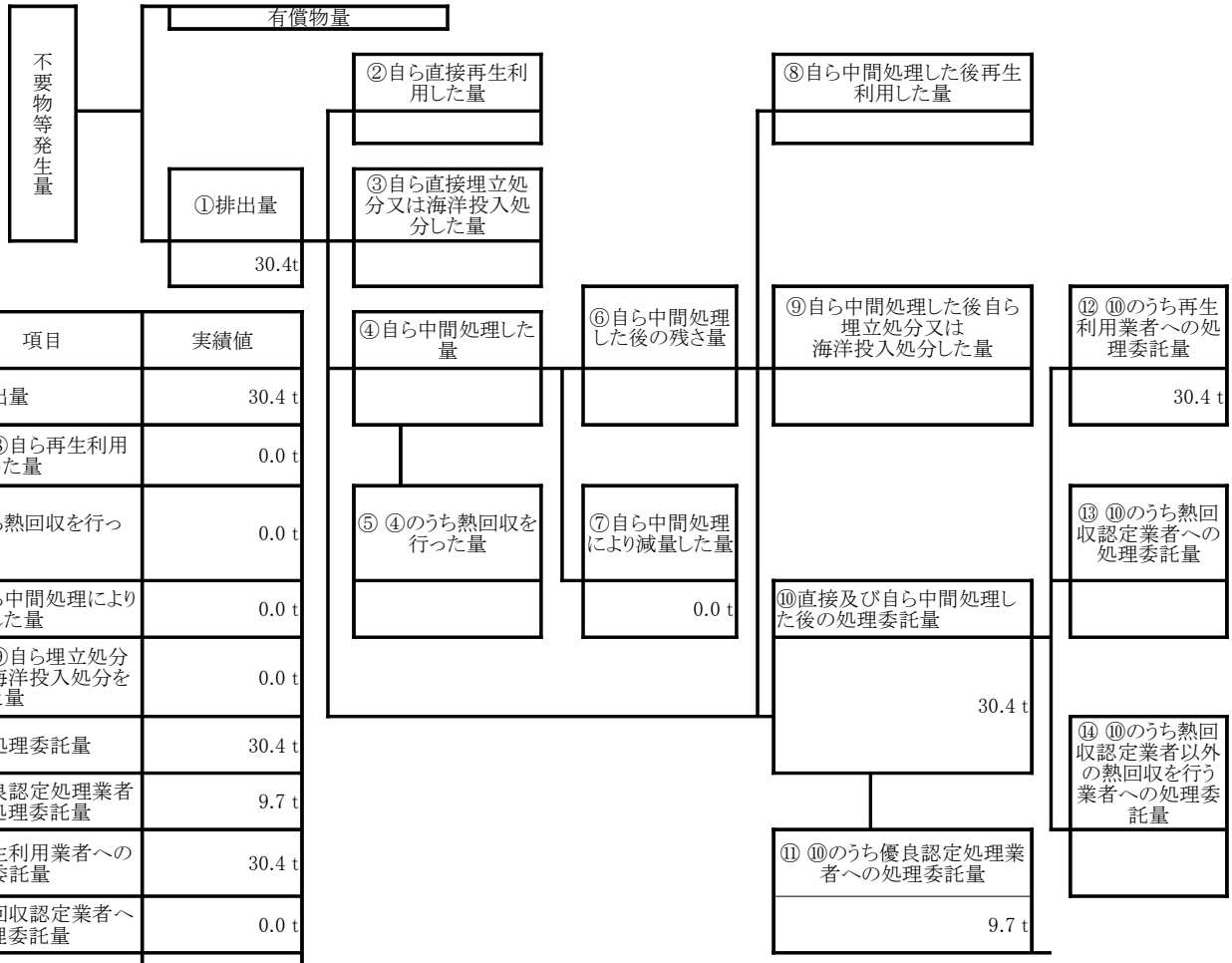


項目	実績値
①排出量	423.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	423.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	423.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: アス・コン片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

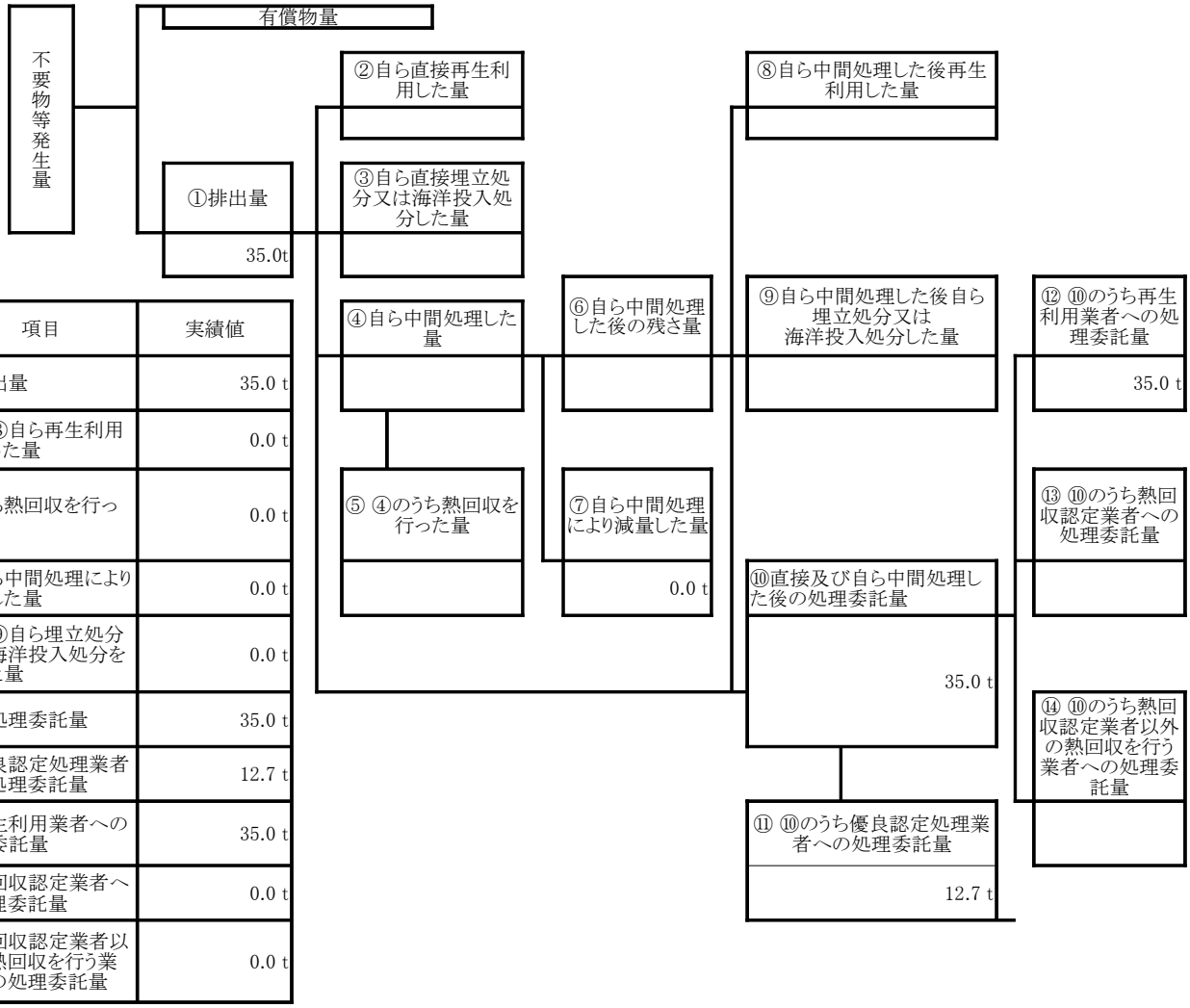


項目	実績値
①排出量	30.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

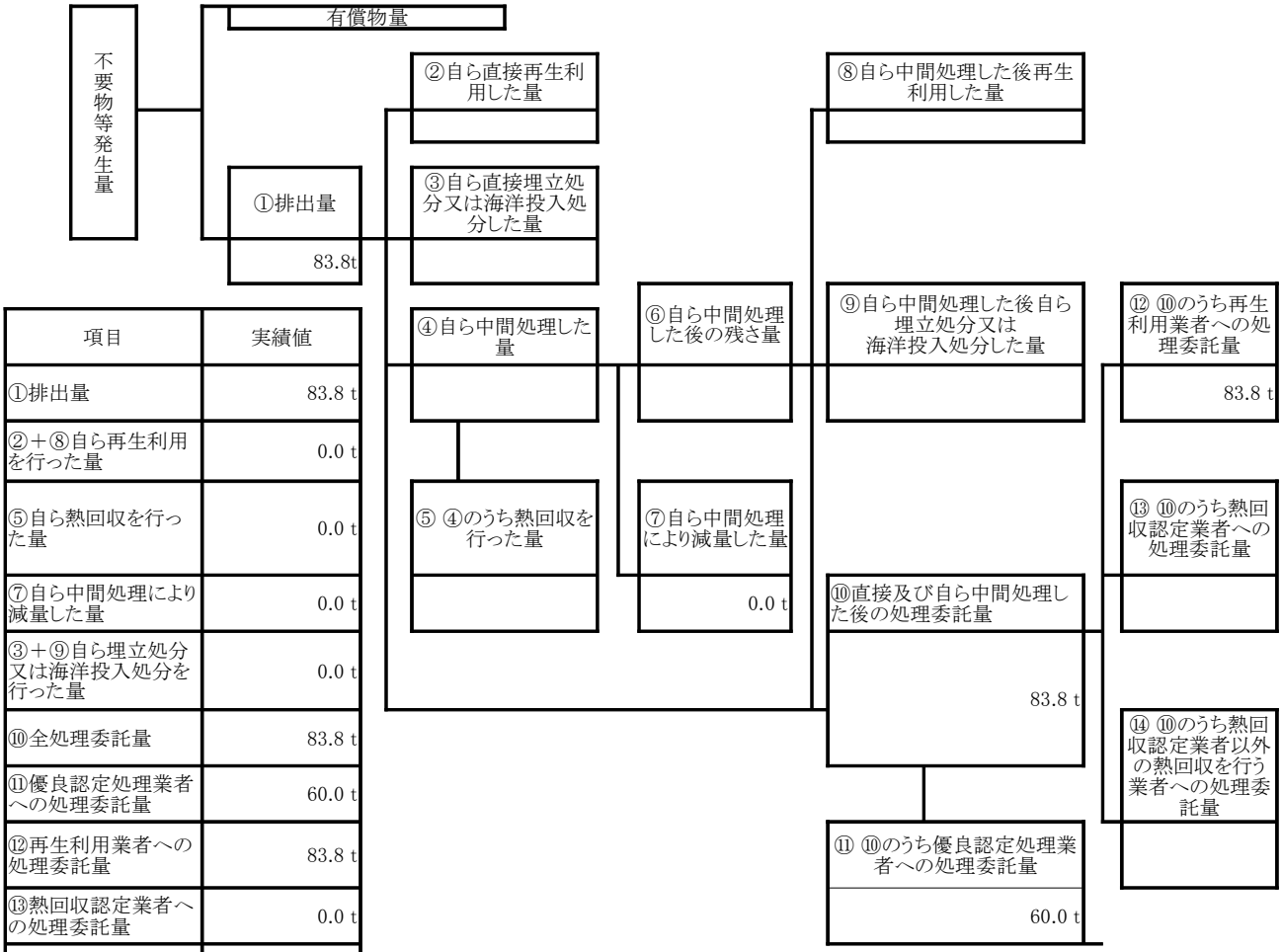


項目	実績値
①排出量	35.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

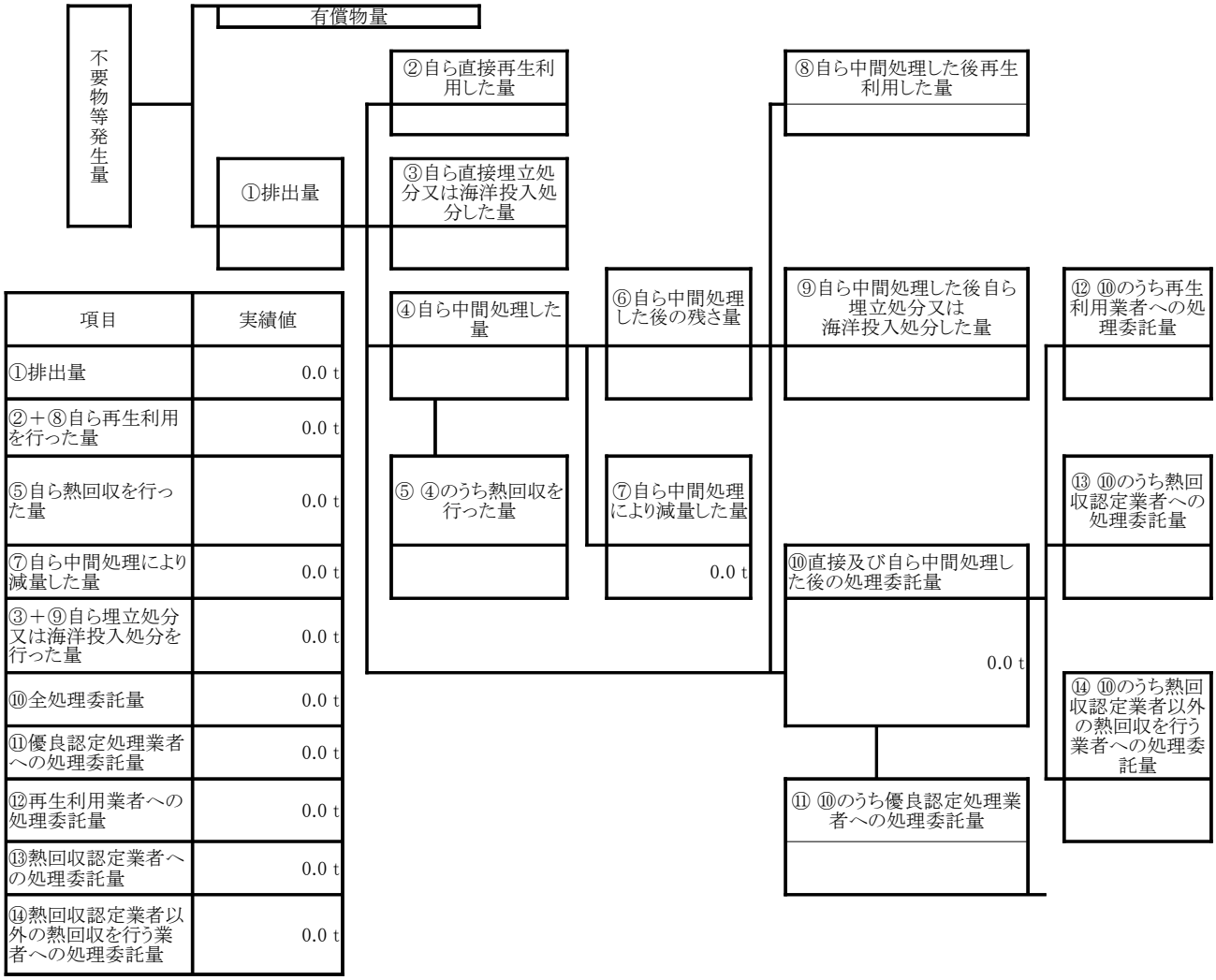


項目	実績値
①排出量	83.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	83.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	83.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



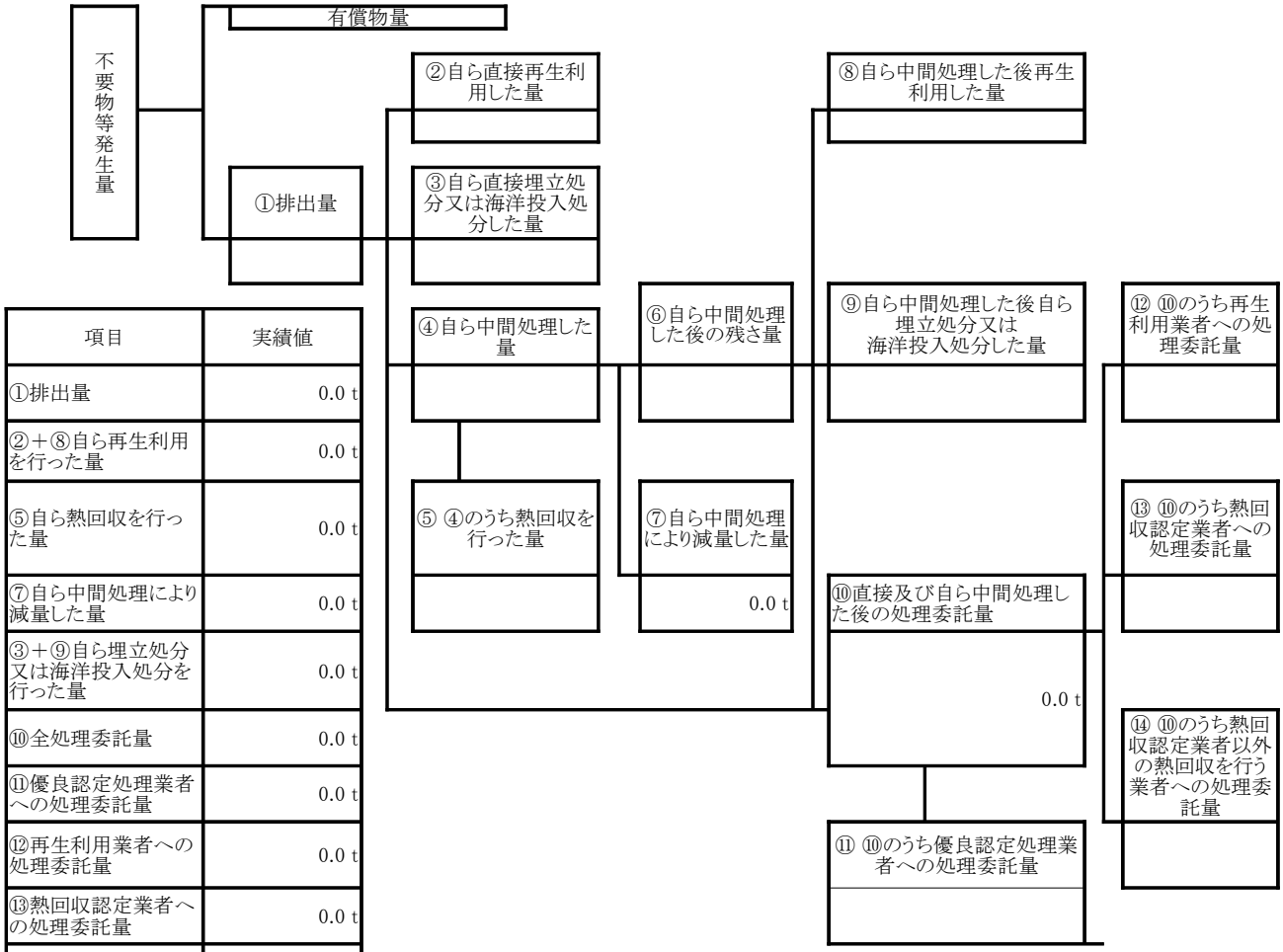
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



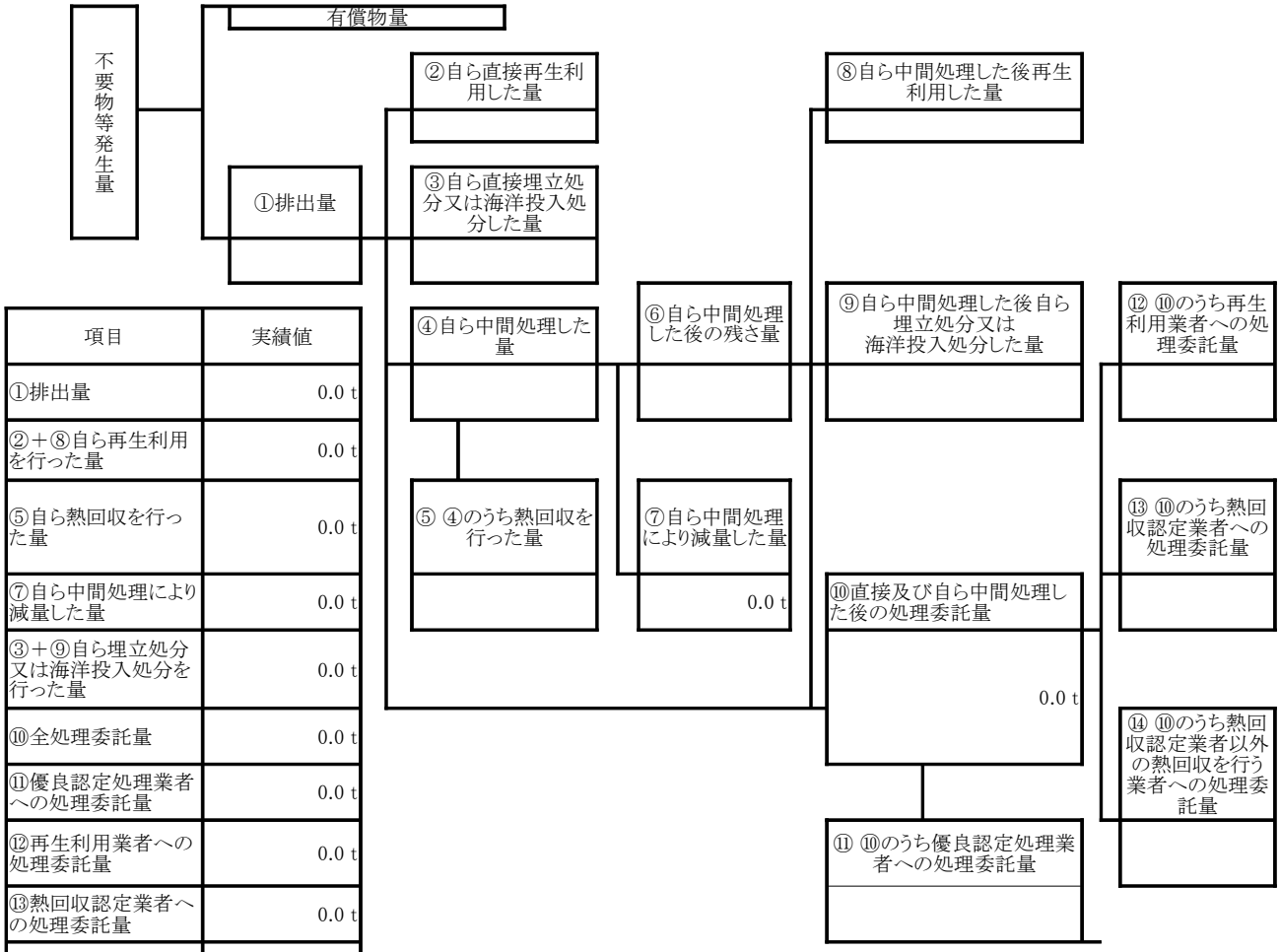
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



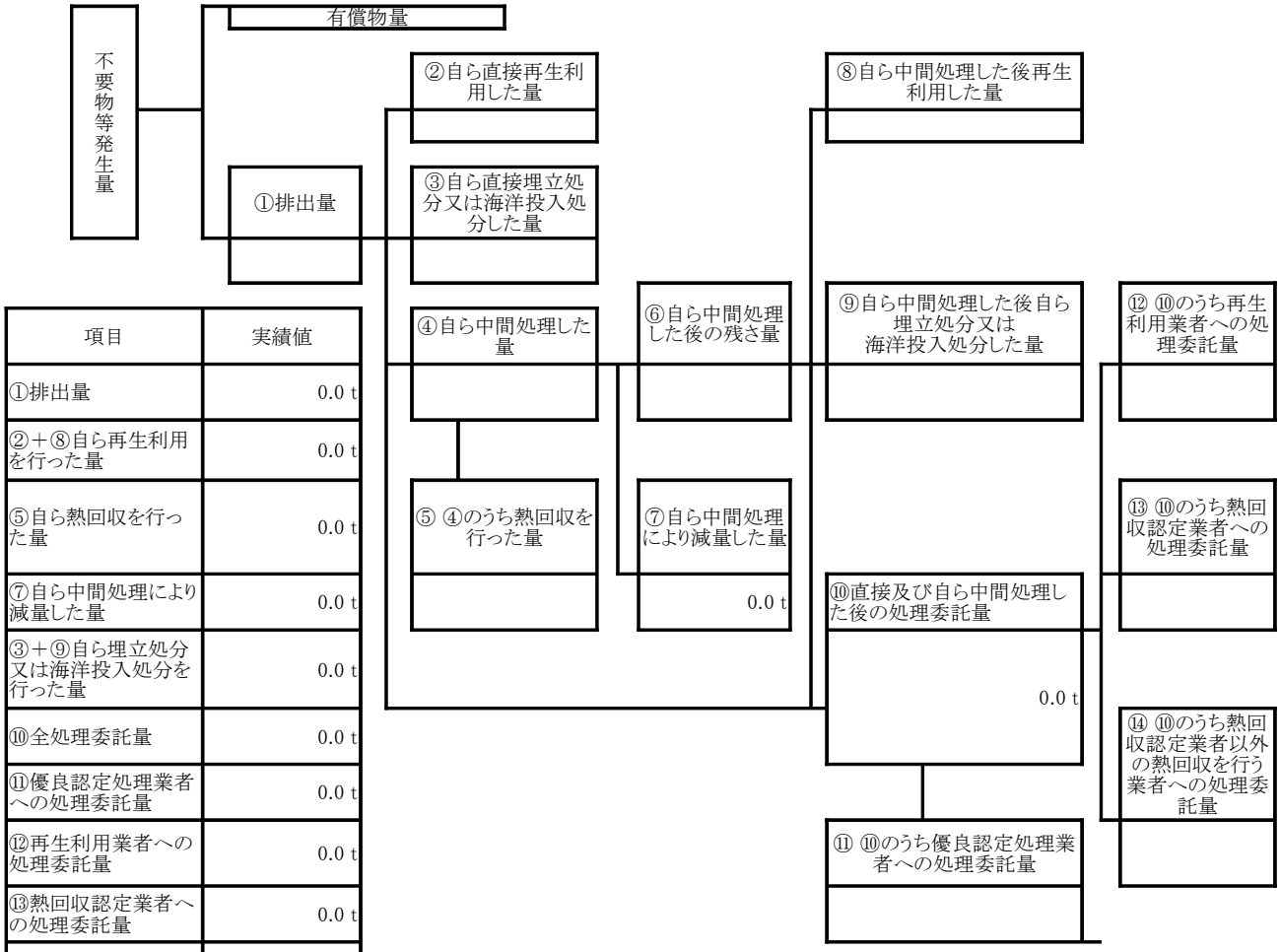
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



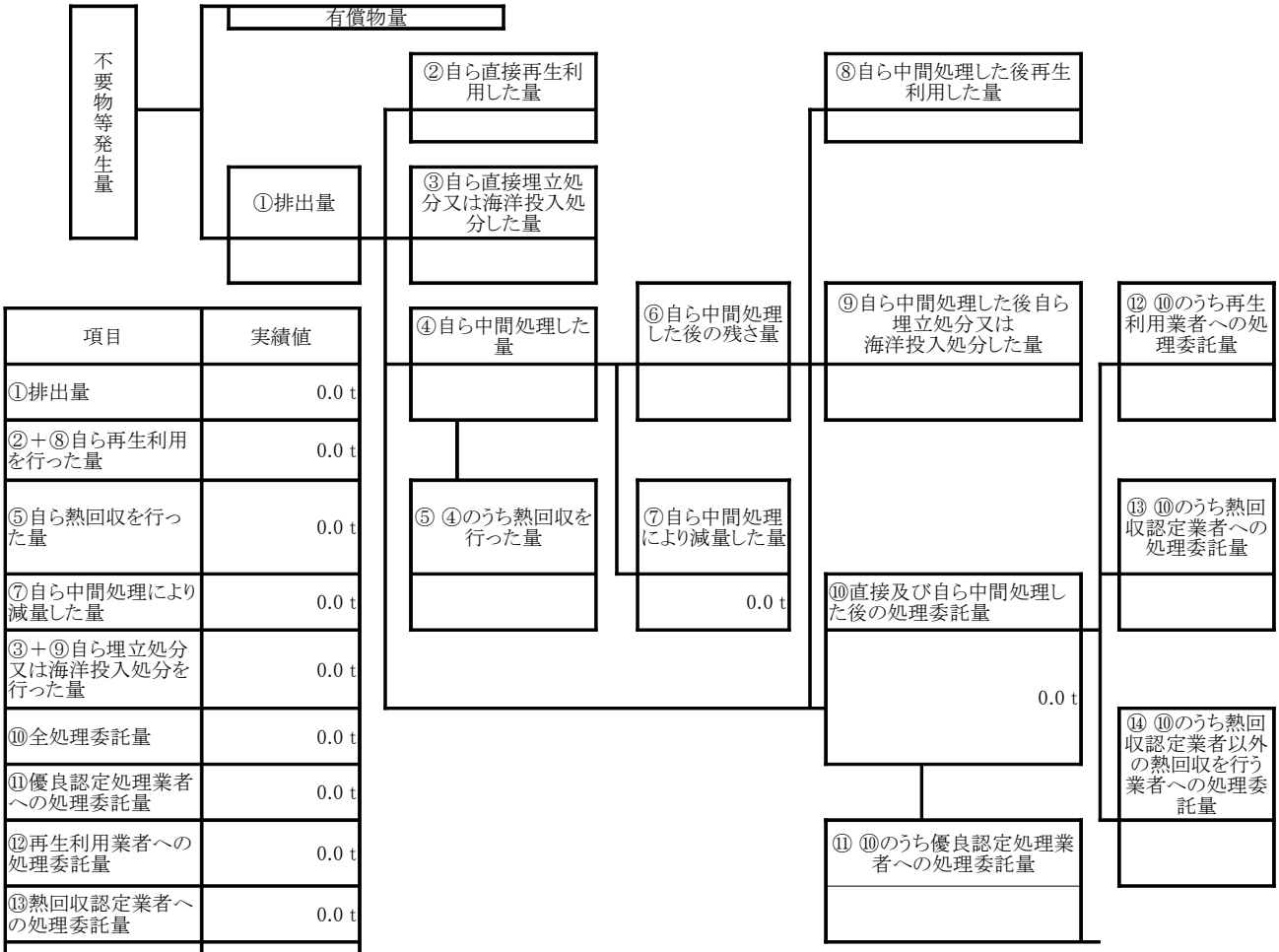
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



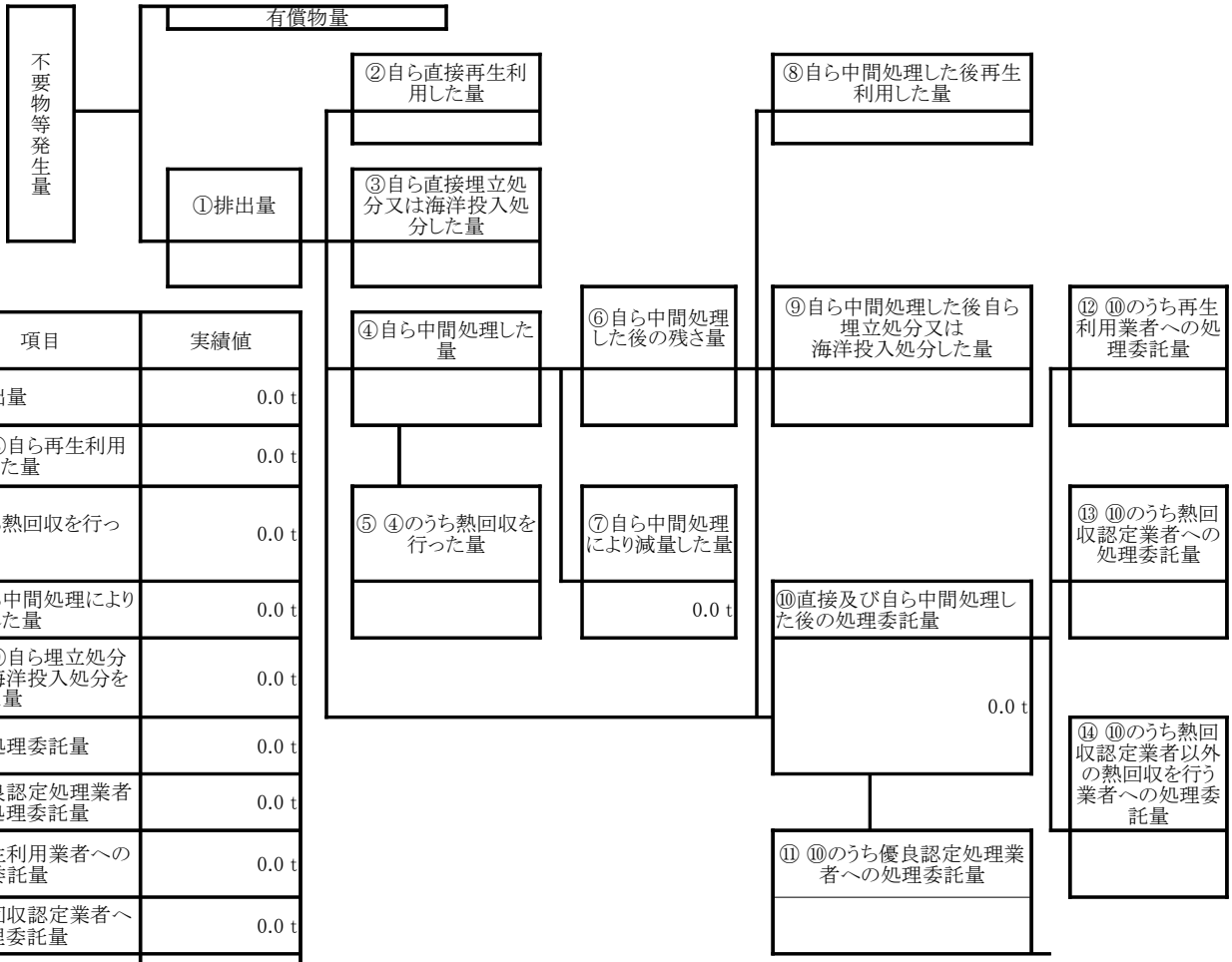
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



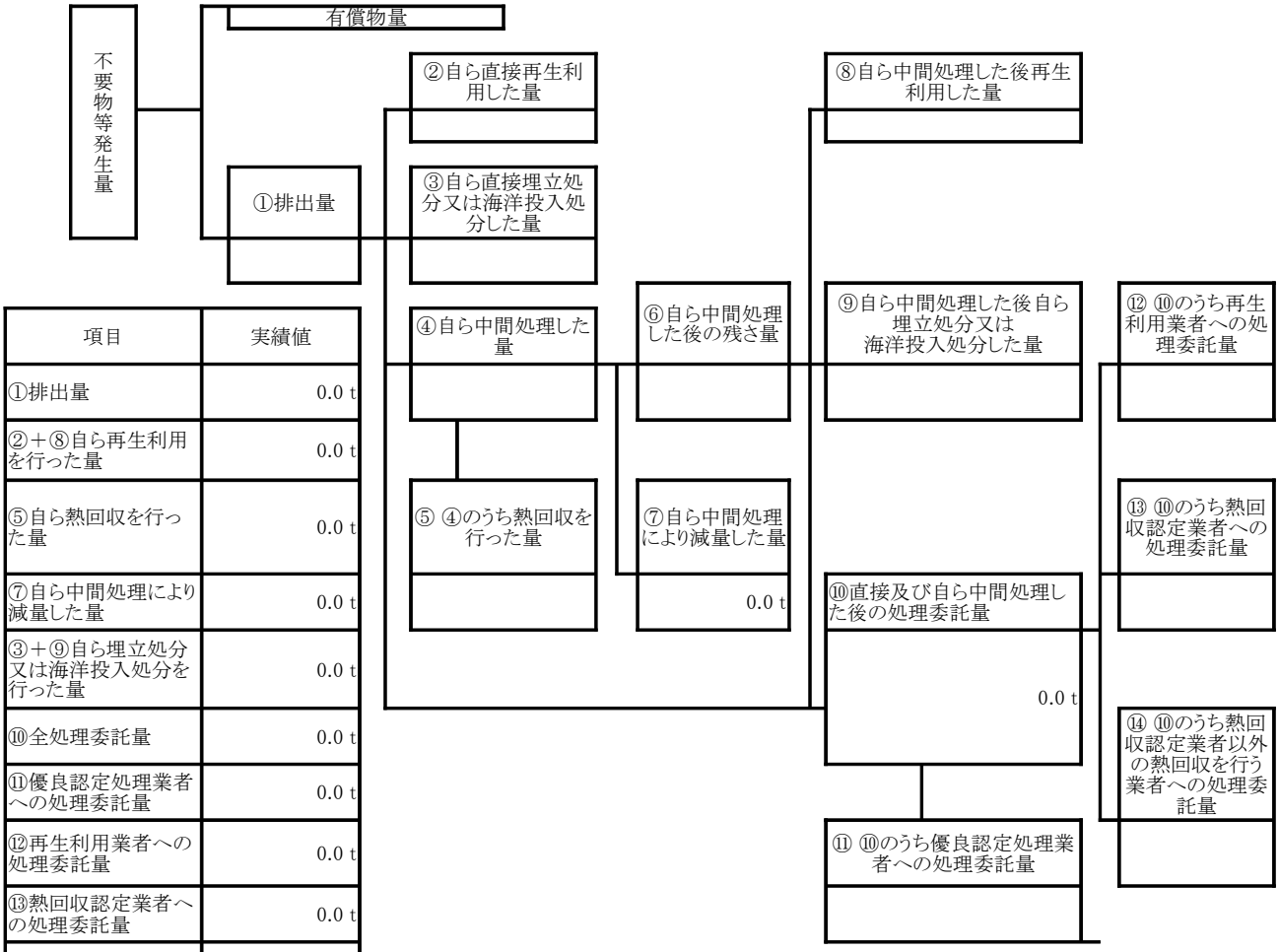
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



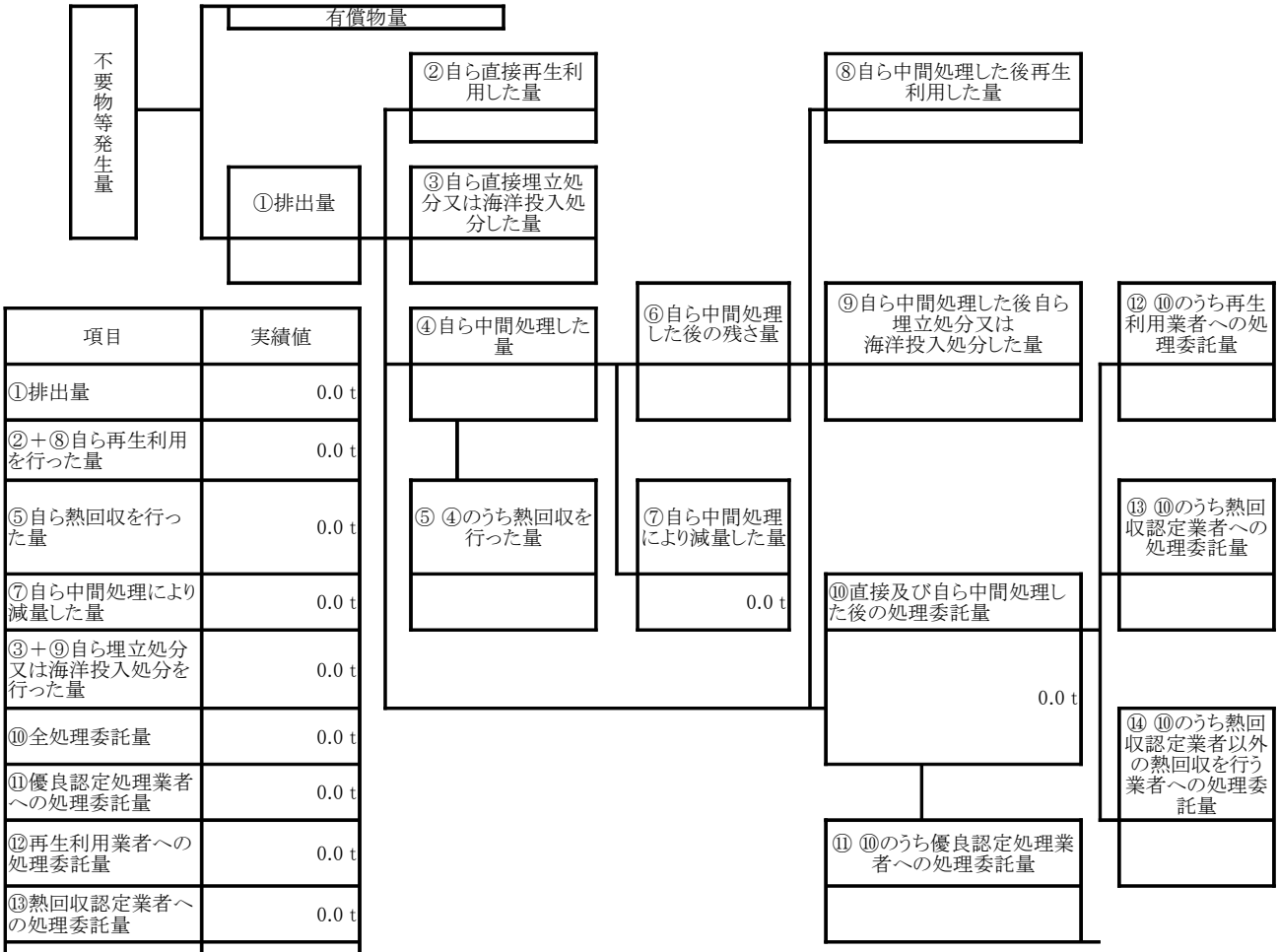
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



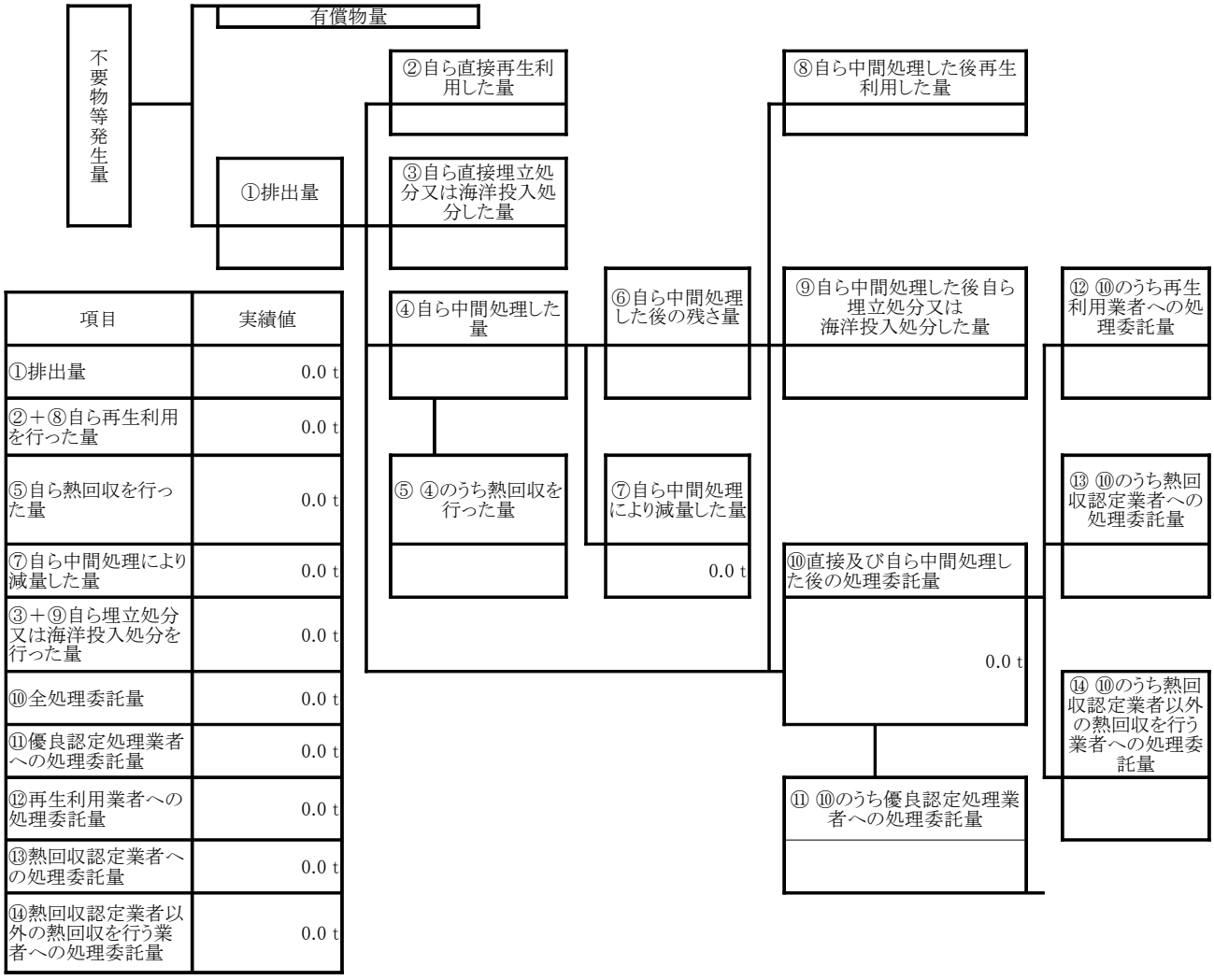
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



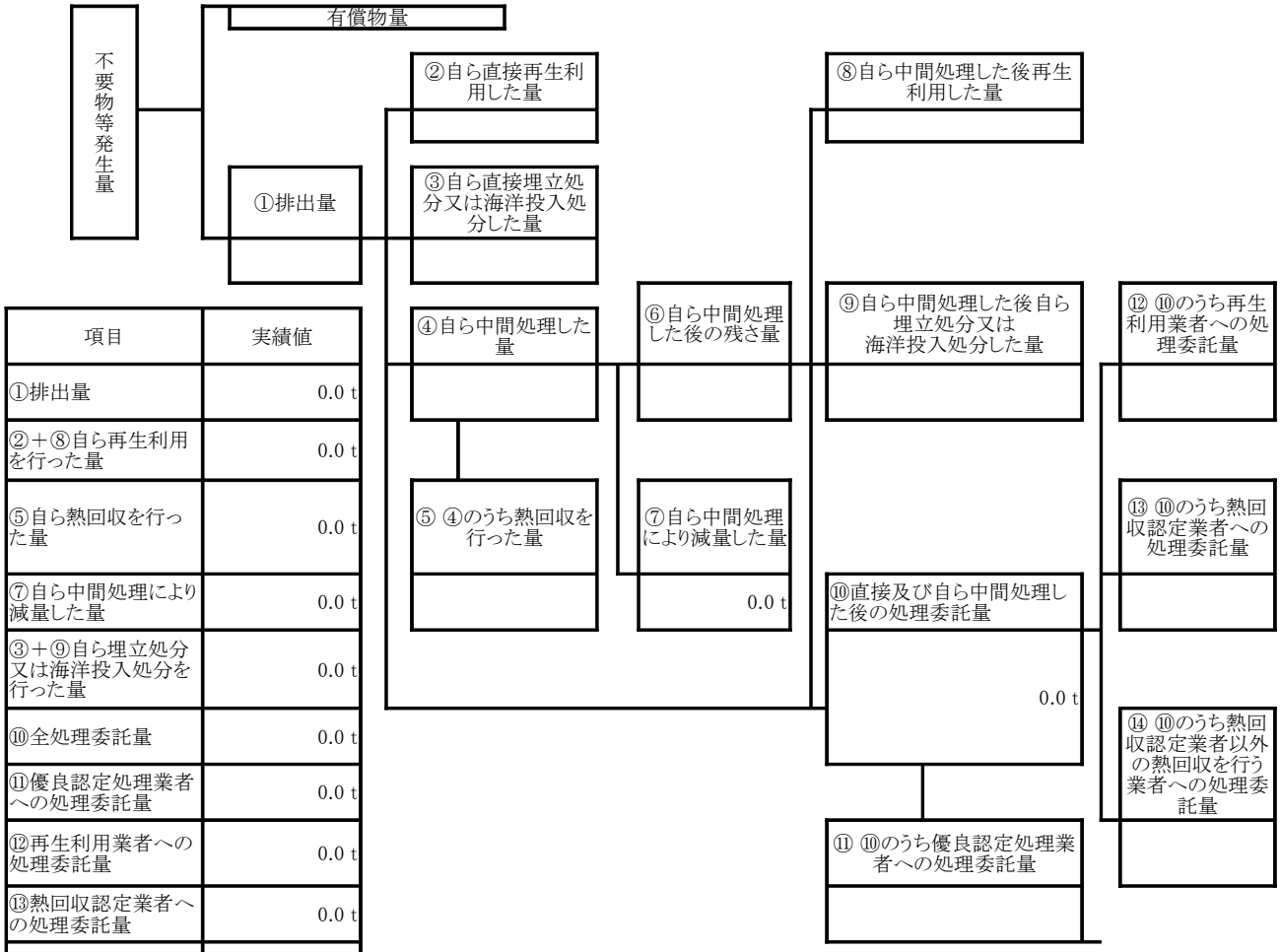
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　286-0133

住　所　千葉県成田市吉倉150-18

法人名　東邦建設株式会社

代表者　宮村 亮祐

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-22-7301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦建設株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市吉倉150-18
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　1,730,000,000円
③従業員数	45人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場で発生した産業廃棄物→処理委託（中間処理）（再資源化施設）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

社長（処理計画統括責任者）－専務取締役（処理計画作成担当）－現場代理人（廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
排出量	85.7 t	284.8 t

（これまでに実施した取組）

混合廃棄物を現場で分別し、混合廃棄物の発生量を抑制するとともに、適正な資材の発注を行い、余剰材の発生を防いだ。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
排出量	300 t	1000 t

（今後実施する予定の取組）

混合廃棄物を現場で分別し、混合廃棄物の発生量を抑制するとともに、適正な資材の発注を行い、余剰材の発生を防ぐ。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

混合廃棄物の発生量を抑制するため、各現場で分別を行った。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

混合廃棄物の発生量を抑制するため、各現場で分別を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリート殻	アスファルト殻
全処理委託量		85.7 t	284.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	85.7 t	284.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

混合廃棄物の発生量を抑制するため、各現場で分別を行った。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>300 t</td><td>1000 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>300 t</td><td>1000 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
混合廃棄物の発生量を抑制するため、各現場で分別を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
		排　出　量	64　t	829.3　t	46　t	12　t	28.6　t	1　t	3　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
		排　出　量	600　t	50　t	50　t	100　t	50　t	5　t	5　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
全処理委託量	64 t	829.3 t	46 t	12 t	28.6 t	1 t	3 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	3 t	t
再生利用業者への処理委託量	64 t	829.3 t	46 t	12 t	28.6 t	1 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	安定型混合廃棄物	建設木材	紙屑	アスベスト	
全処理委託量	600 t	50 t	50 t	100 t	50 t	5 t	5 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	5 t	t
再生利用業者への処理委託量	600 t	50 t	50 t	100 t	50 t	5 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月21日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　286-0133

住所 千葉県成田市吉倉150-18

法人名 東邦建設株式会社

代表者 宮村 亮祐

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0476-22-7301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東邦建設株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市吉倉150-18
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

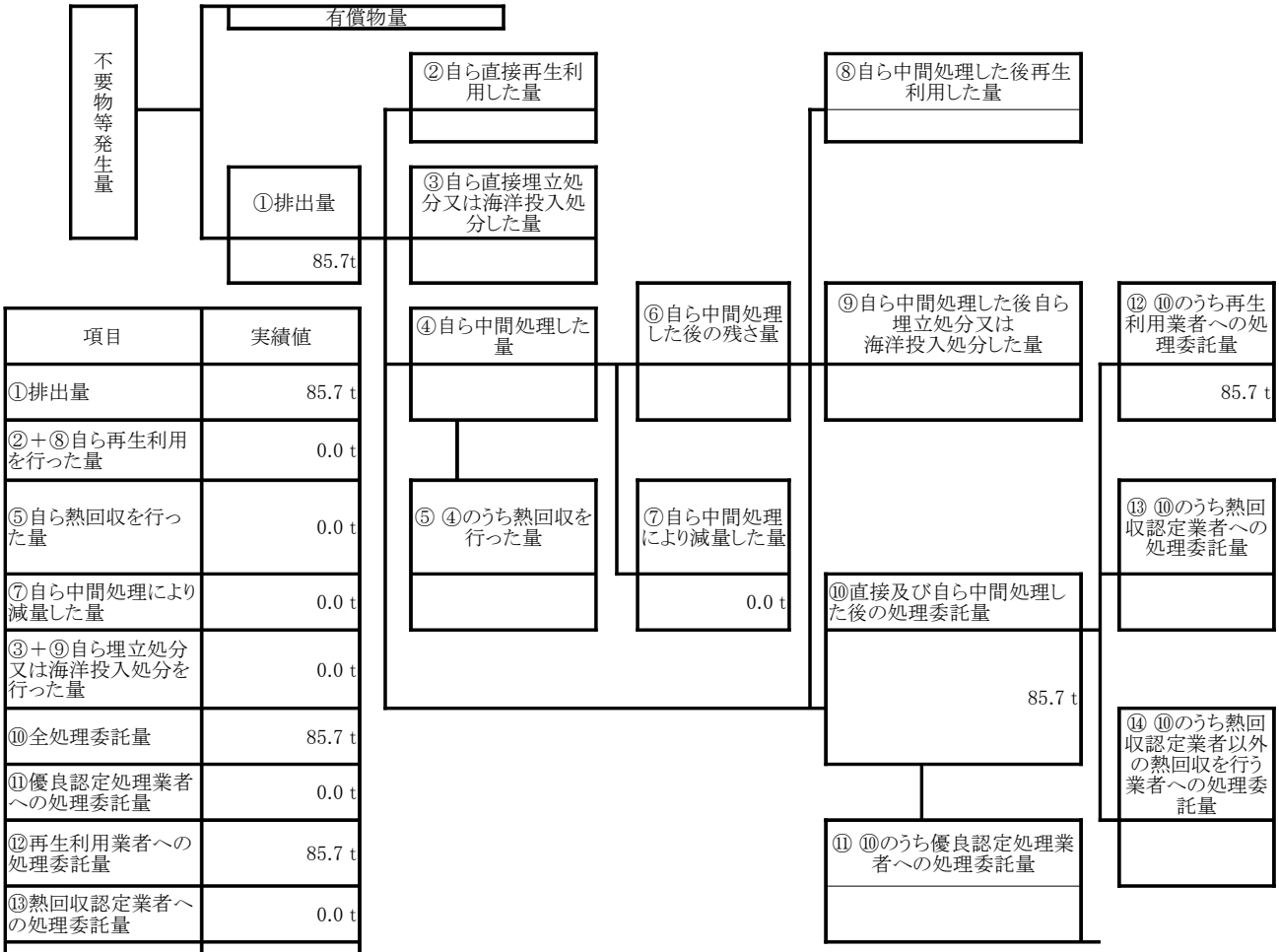
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3812.4 t	全処理委託量	3812.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3812.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート殻 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



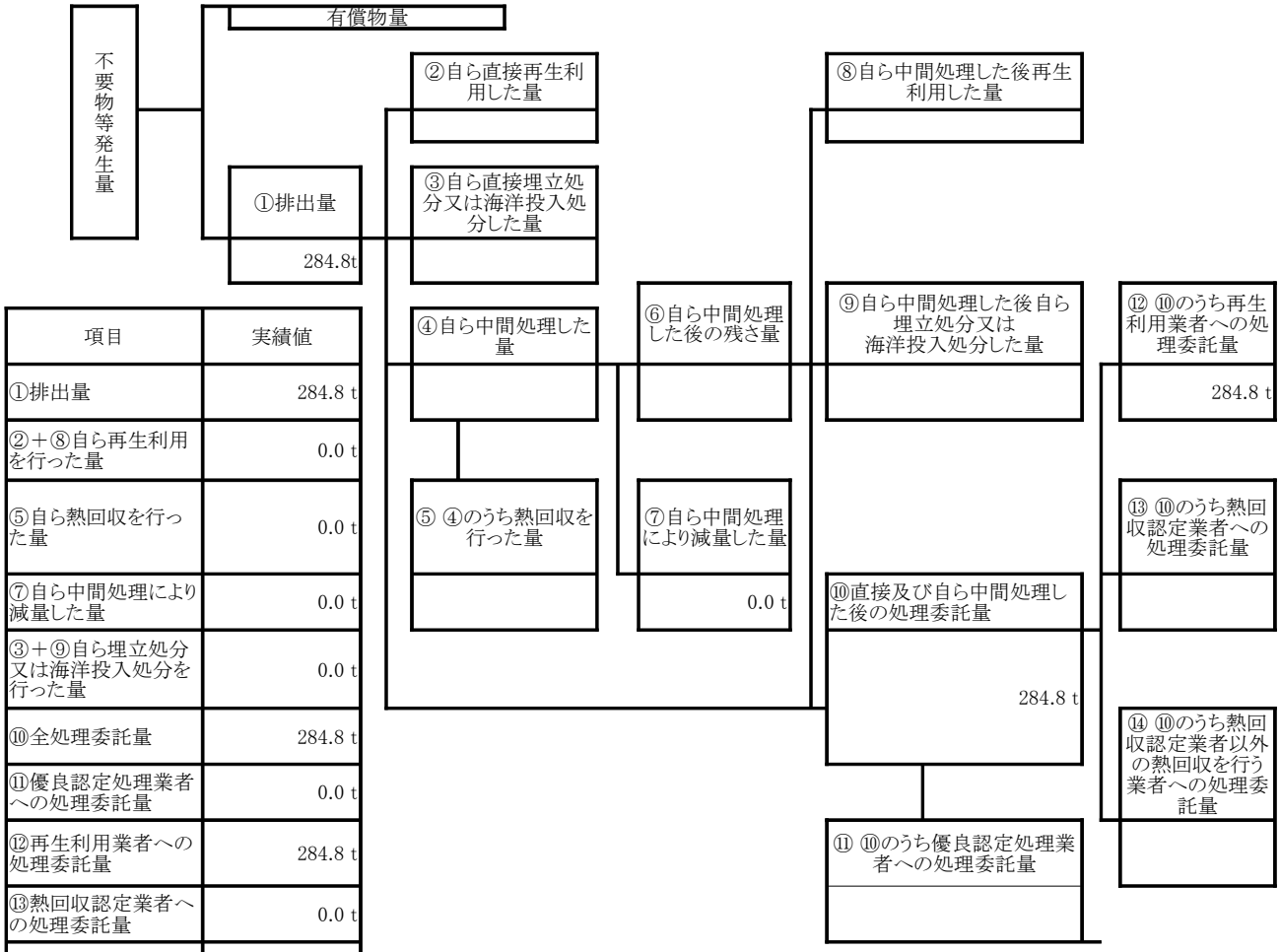
項目	実績値
①排出量	85.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	85.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

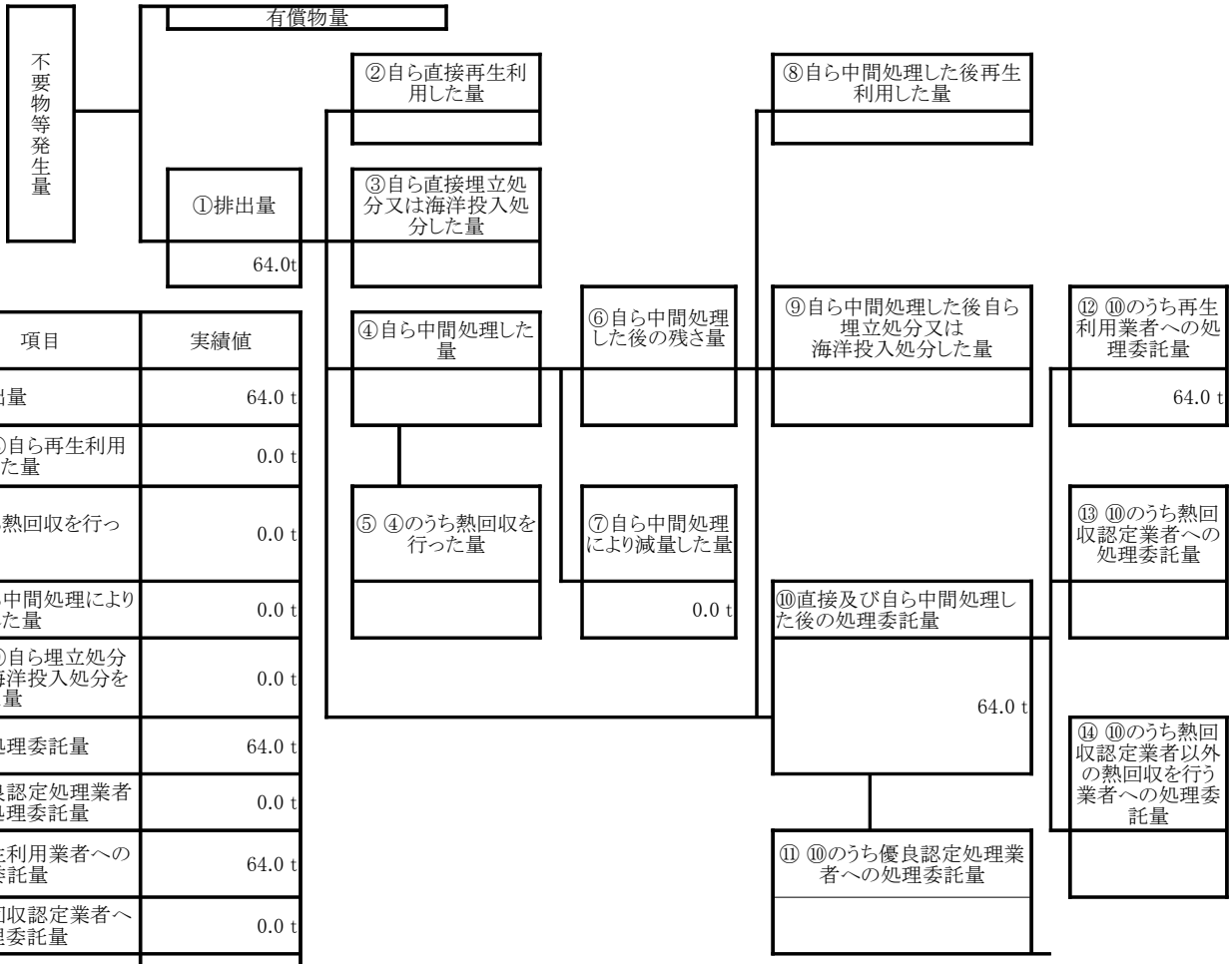


項目	実績値
①排出量	284.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	284.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	284.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

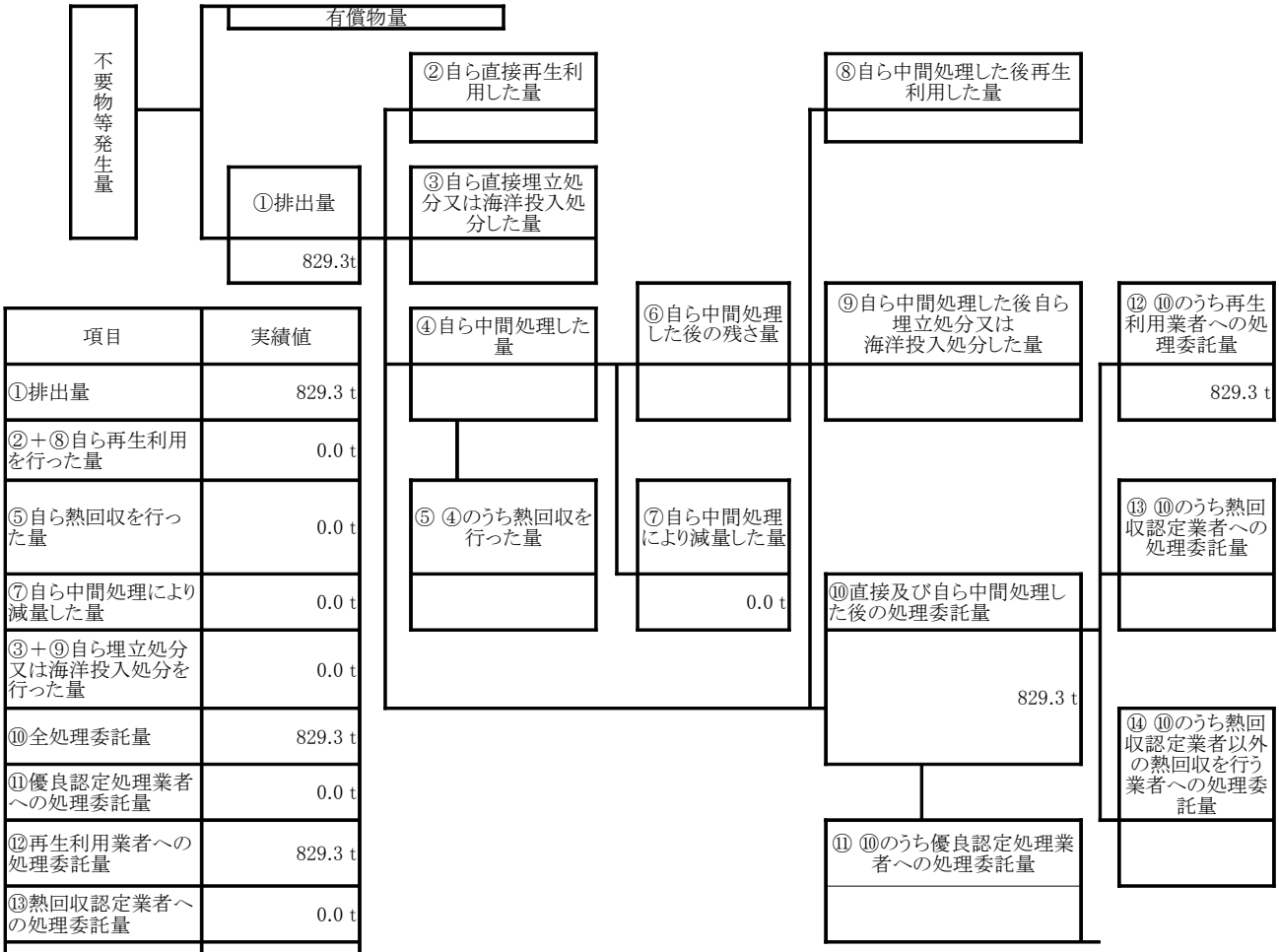


項目	実績値
①排出量	64.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	64.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	64.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **建設汚泥** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



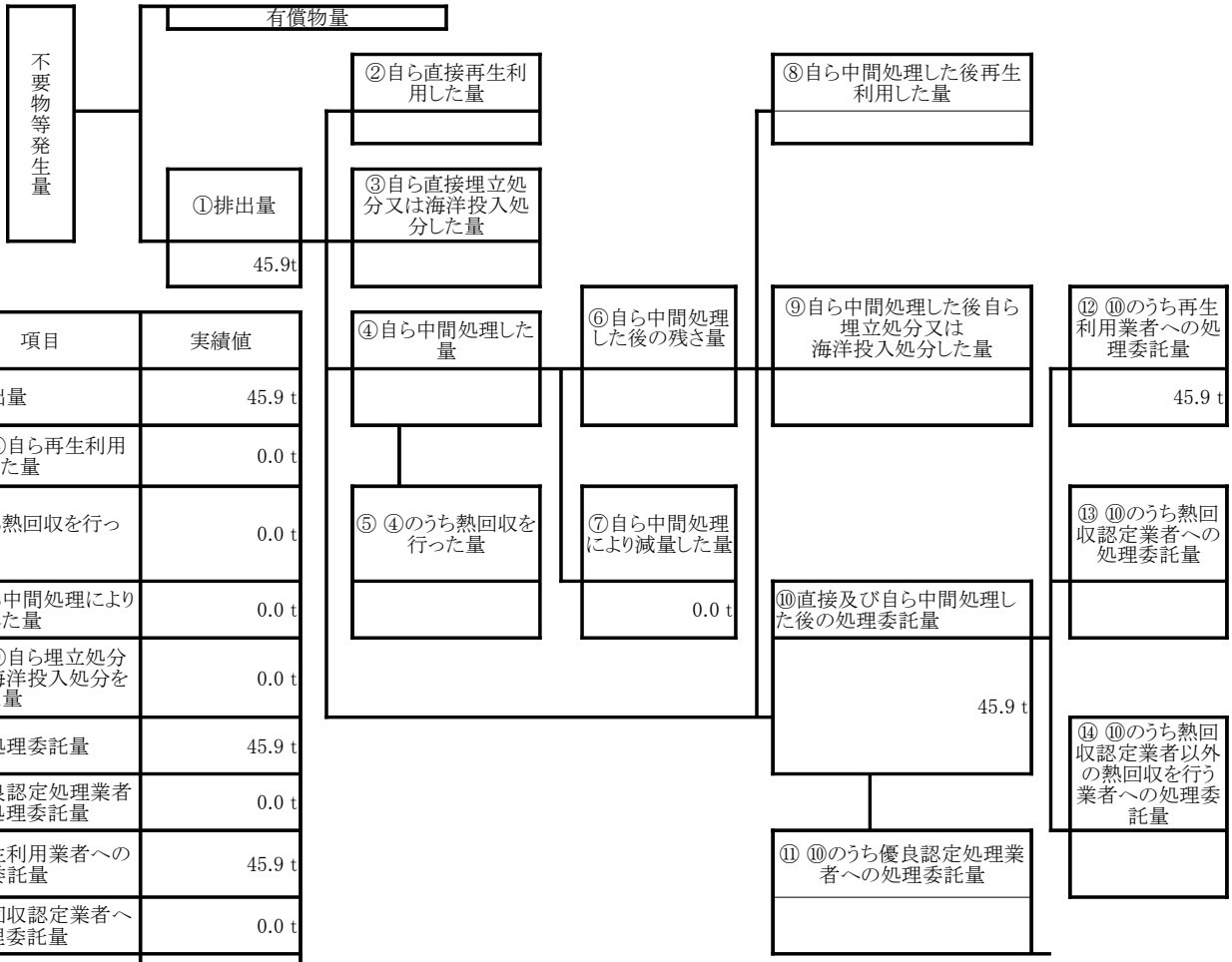
項目	実績値
①排出量	829.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	829.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	829.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



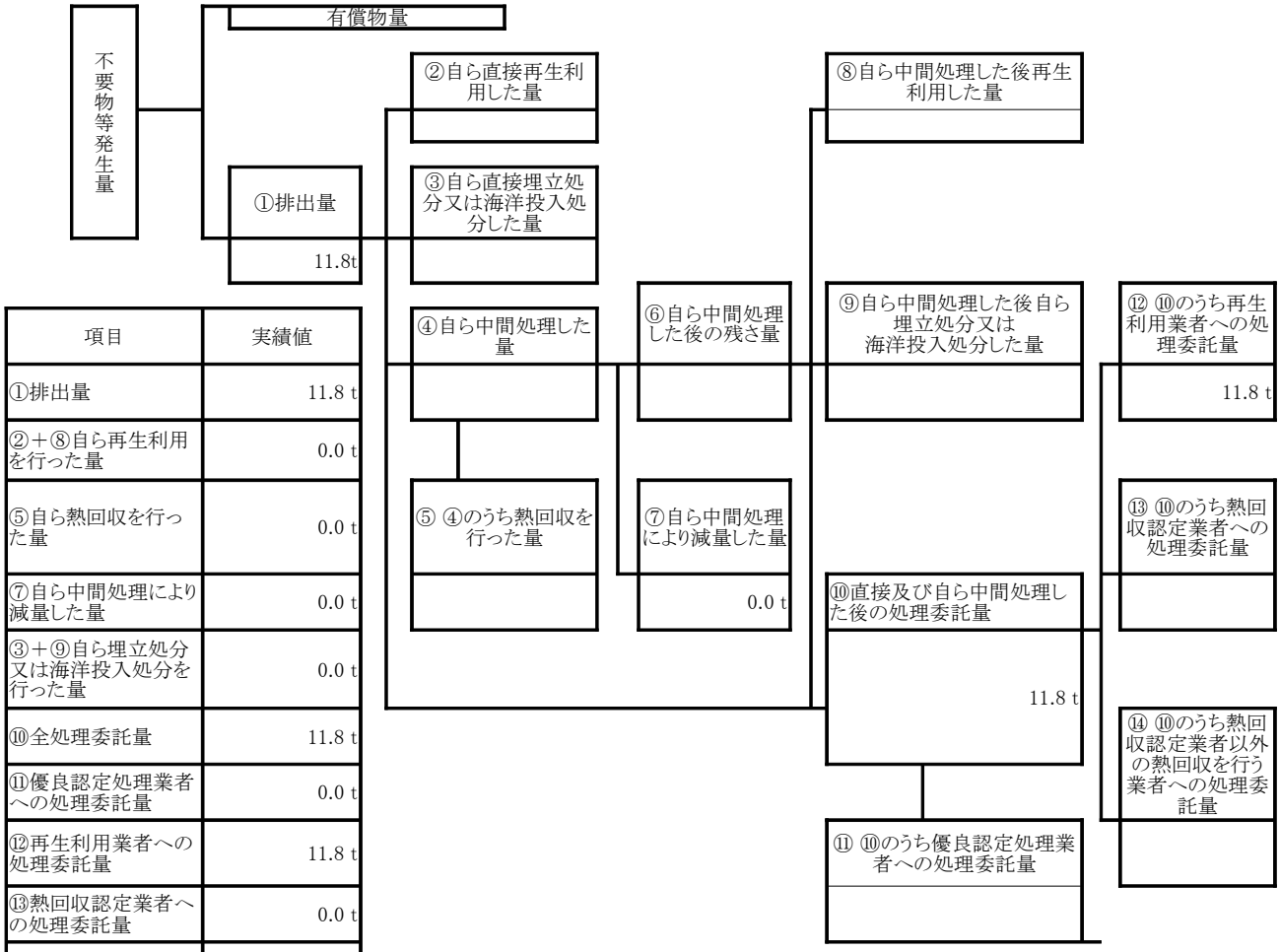
項目	実績値
①排出量	45.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	45.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	45.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



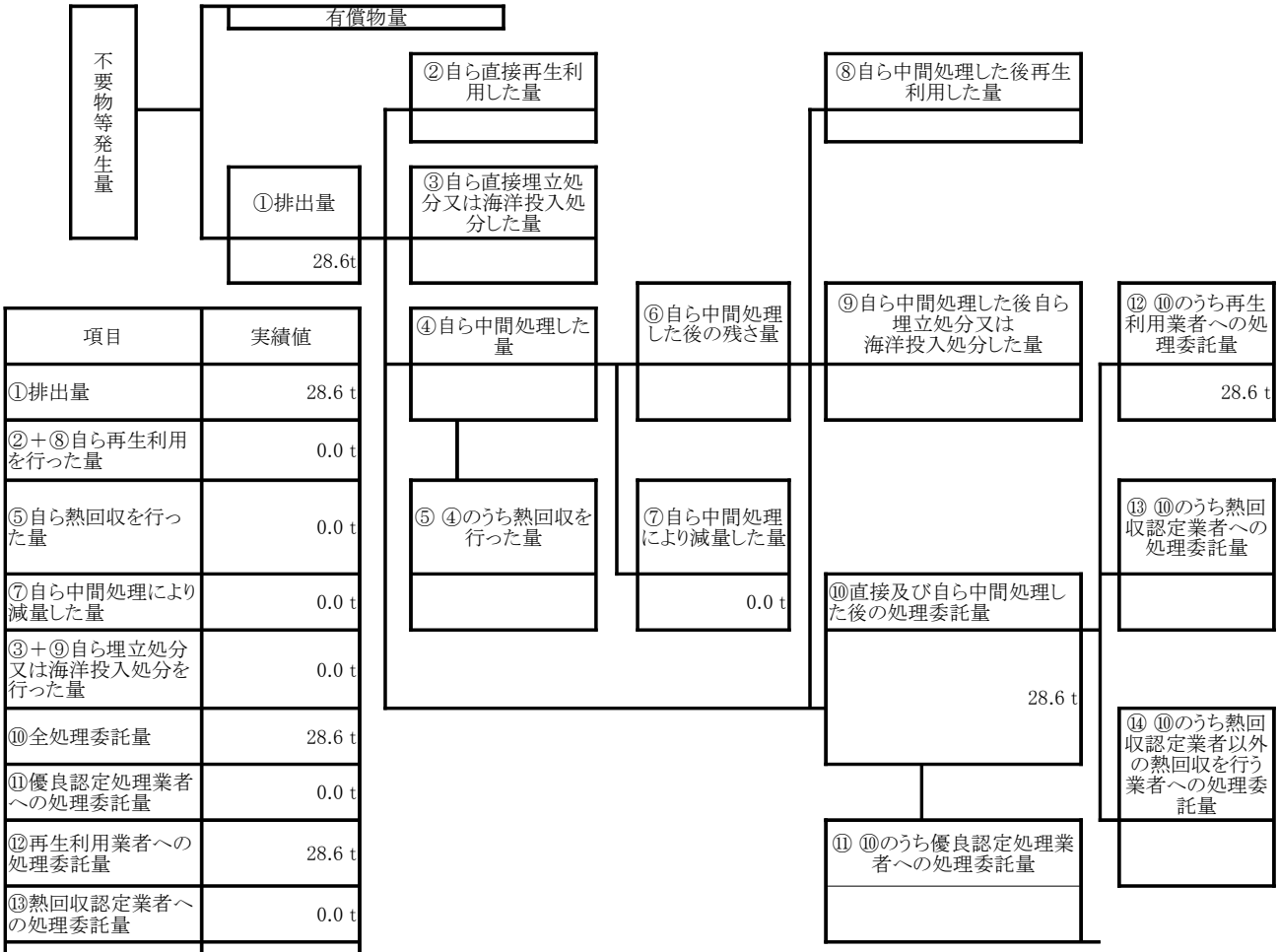
項目	実績値
①排出量	11.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　建設木材　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

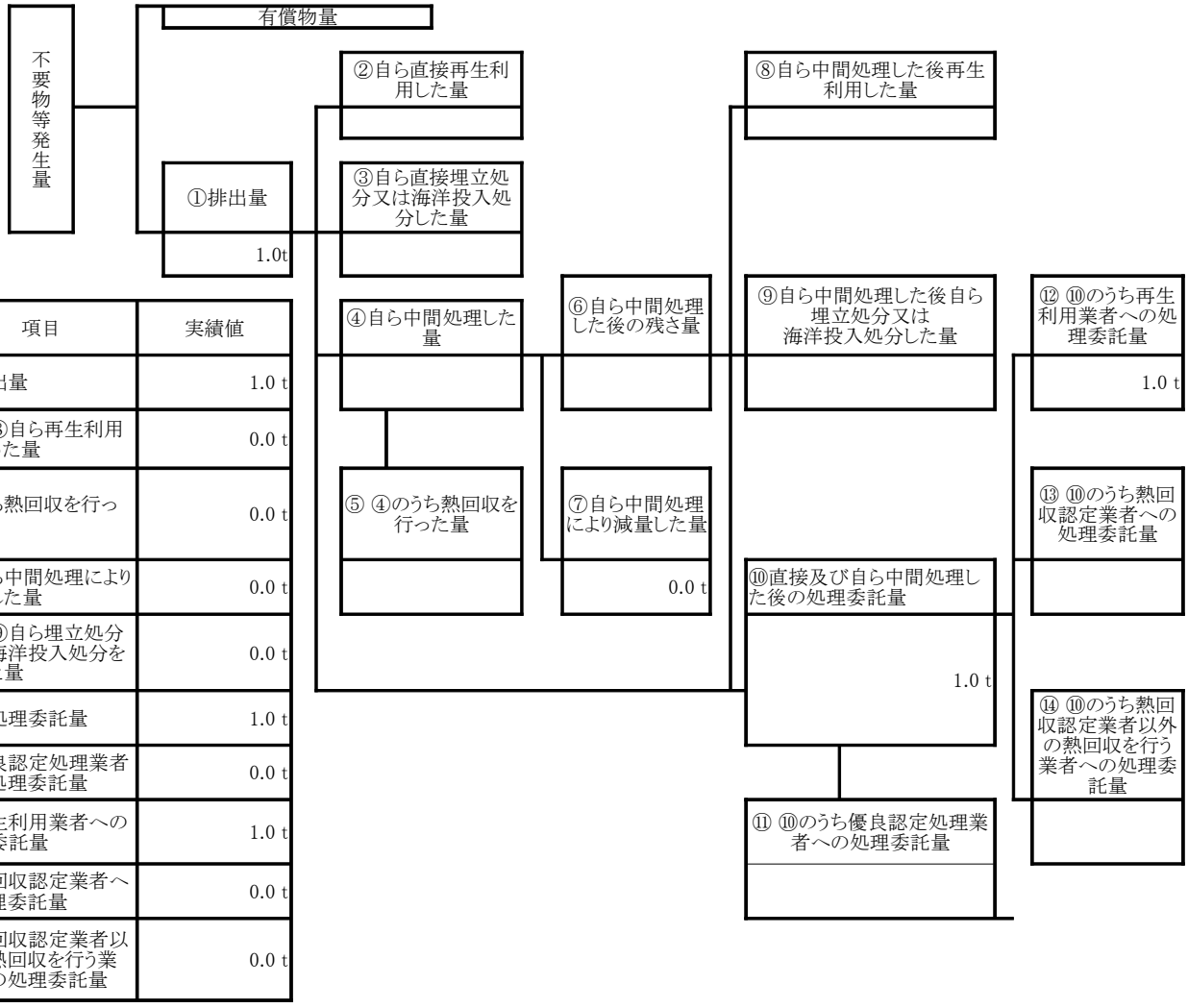


項目	実績値
①排出量	28.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	28.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	28.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



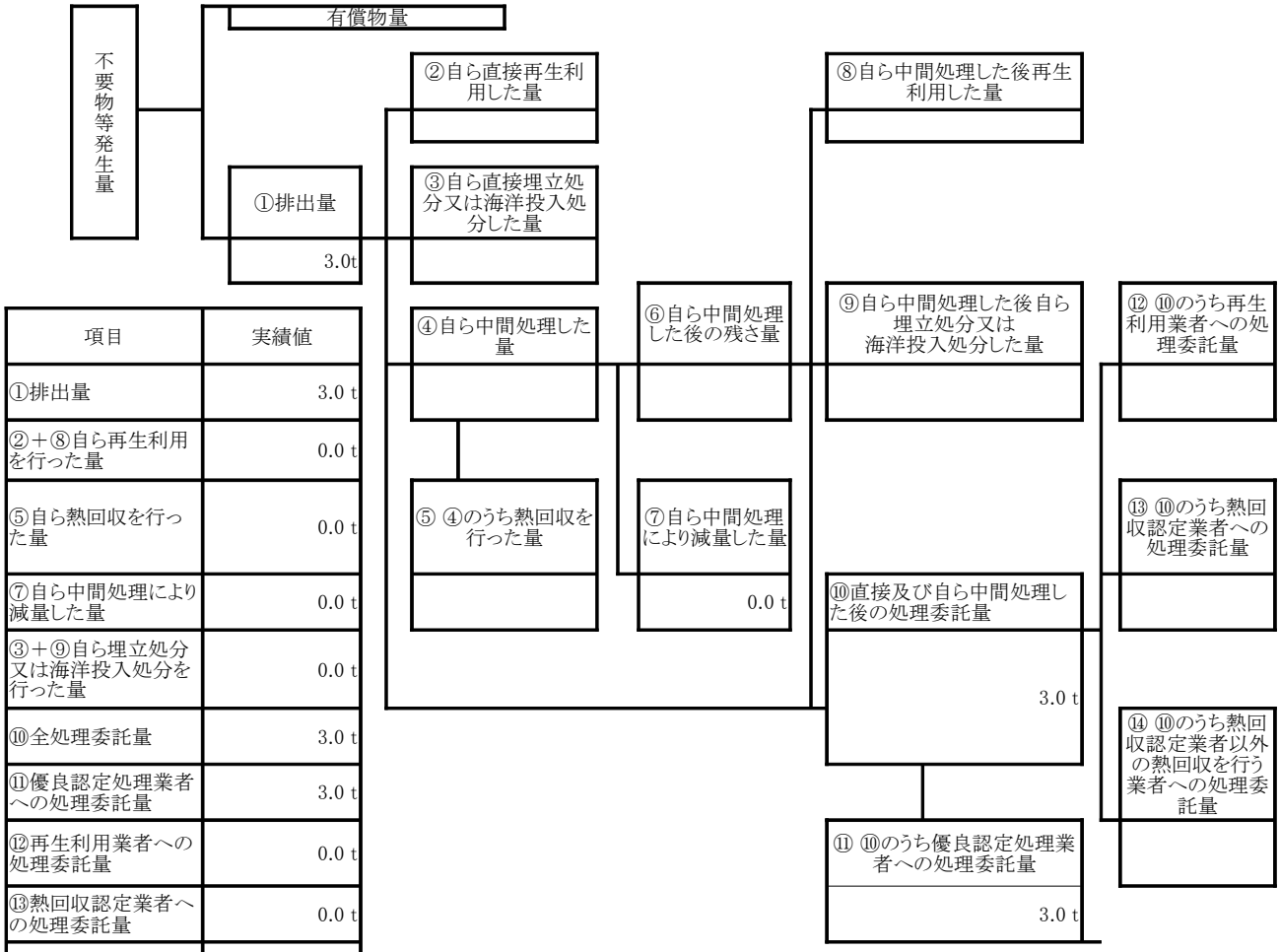
項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスベスト　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



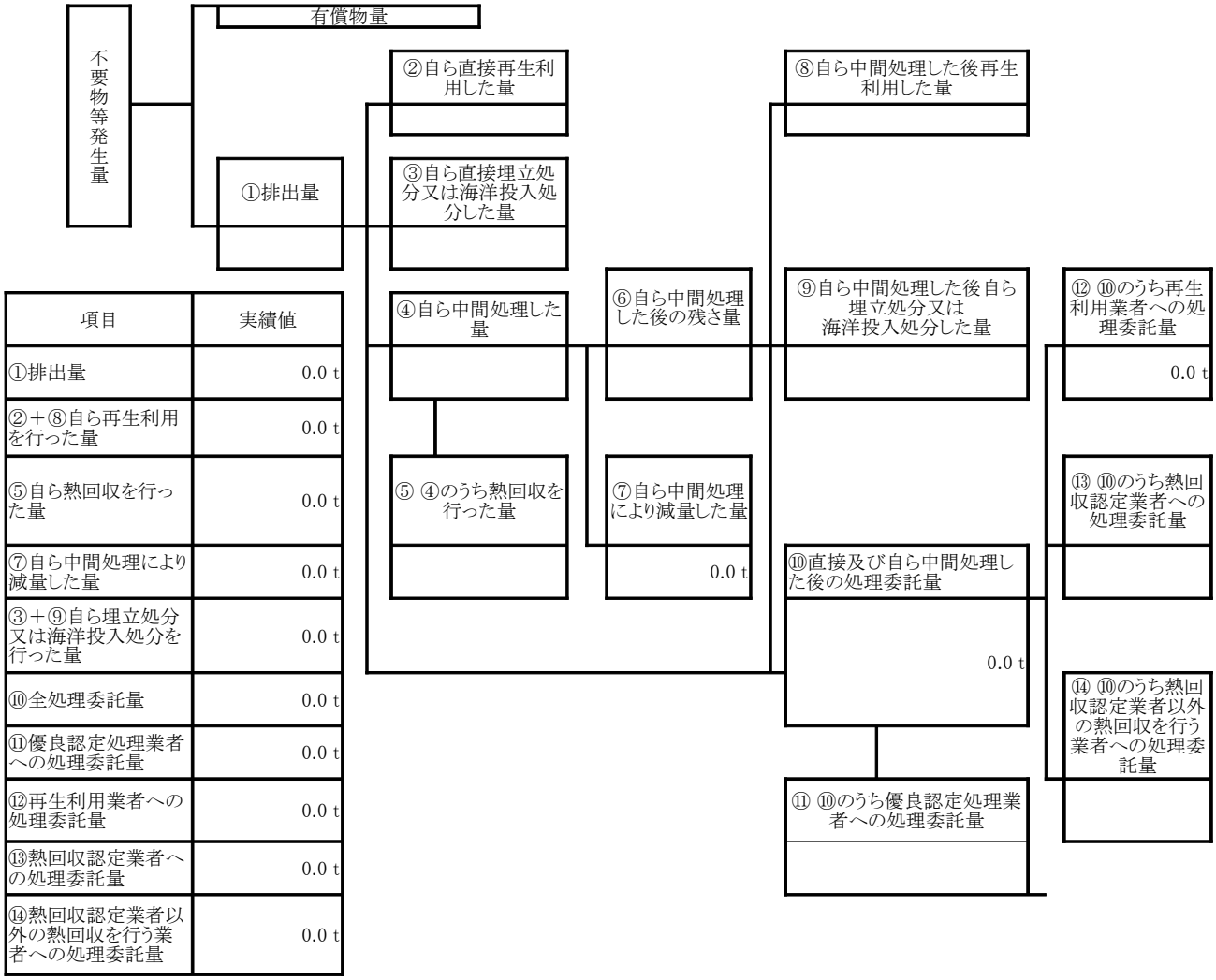
項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

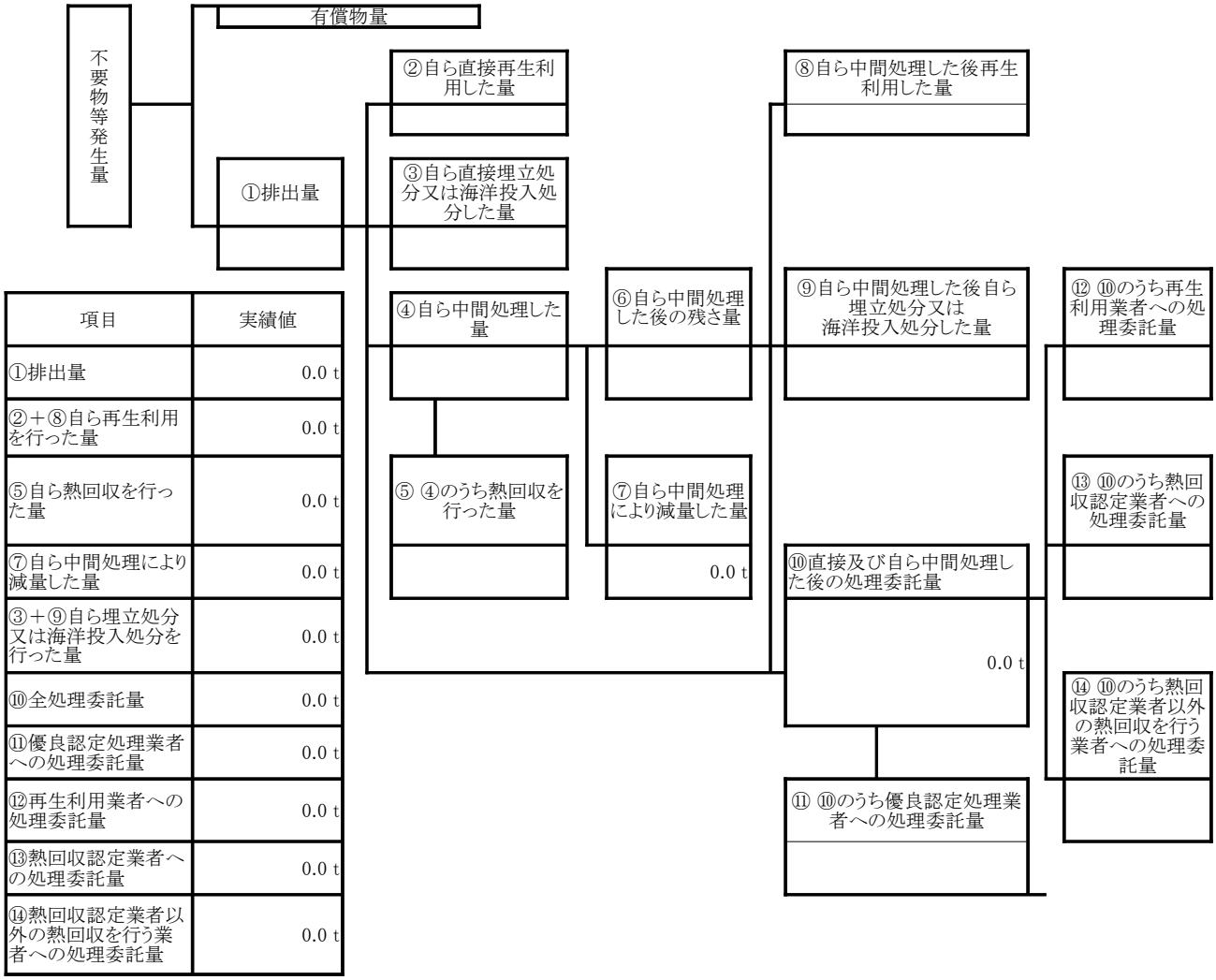


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



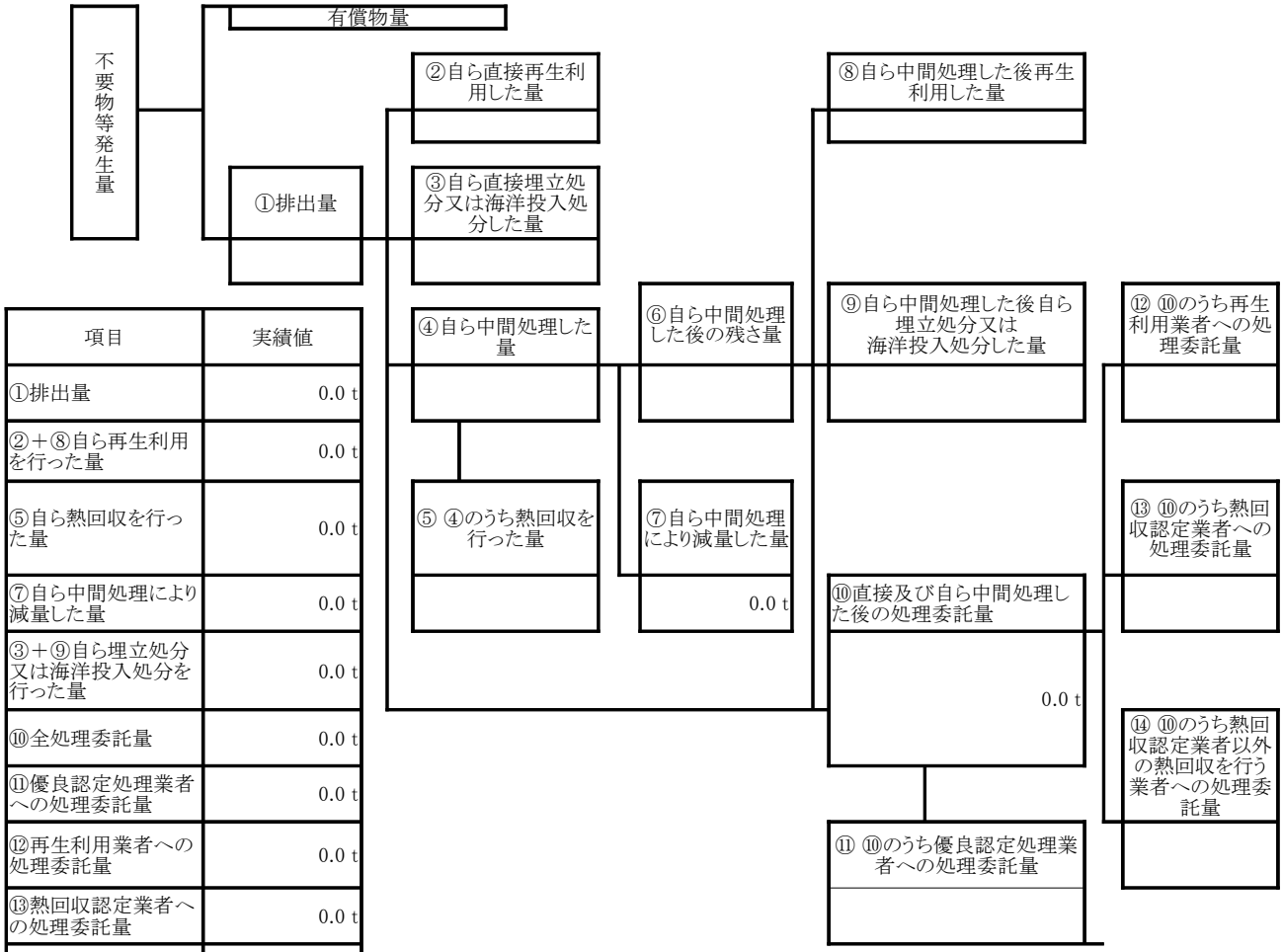
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



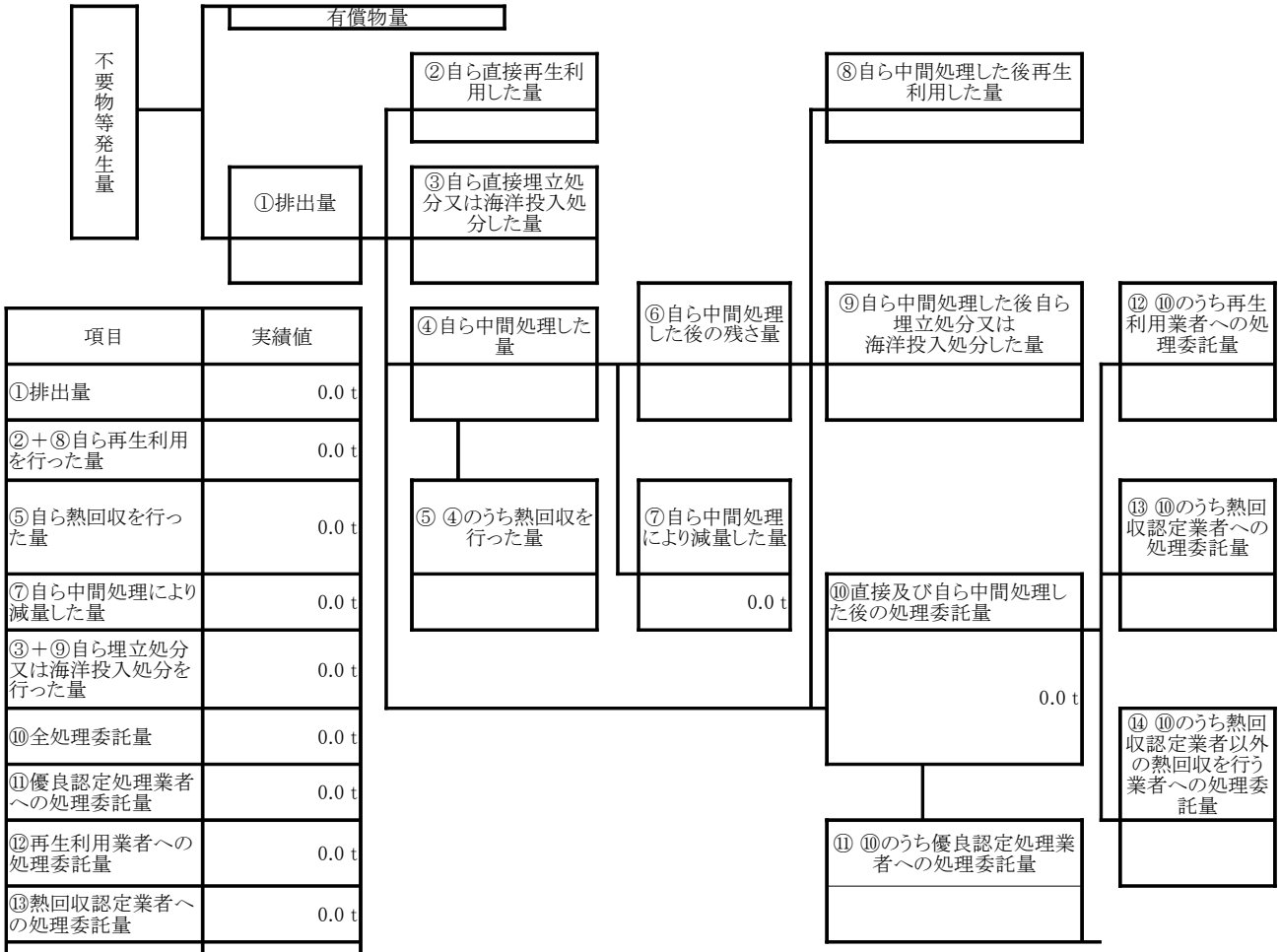
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



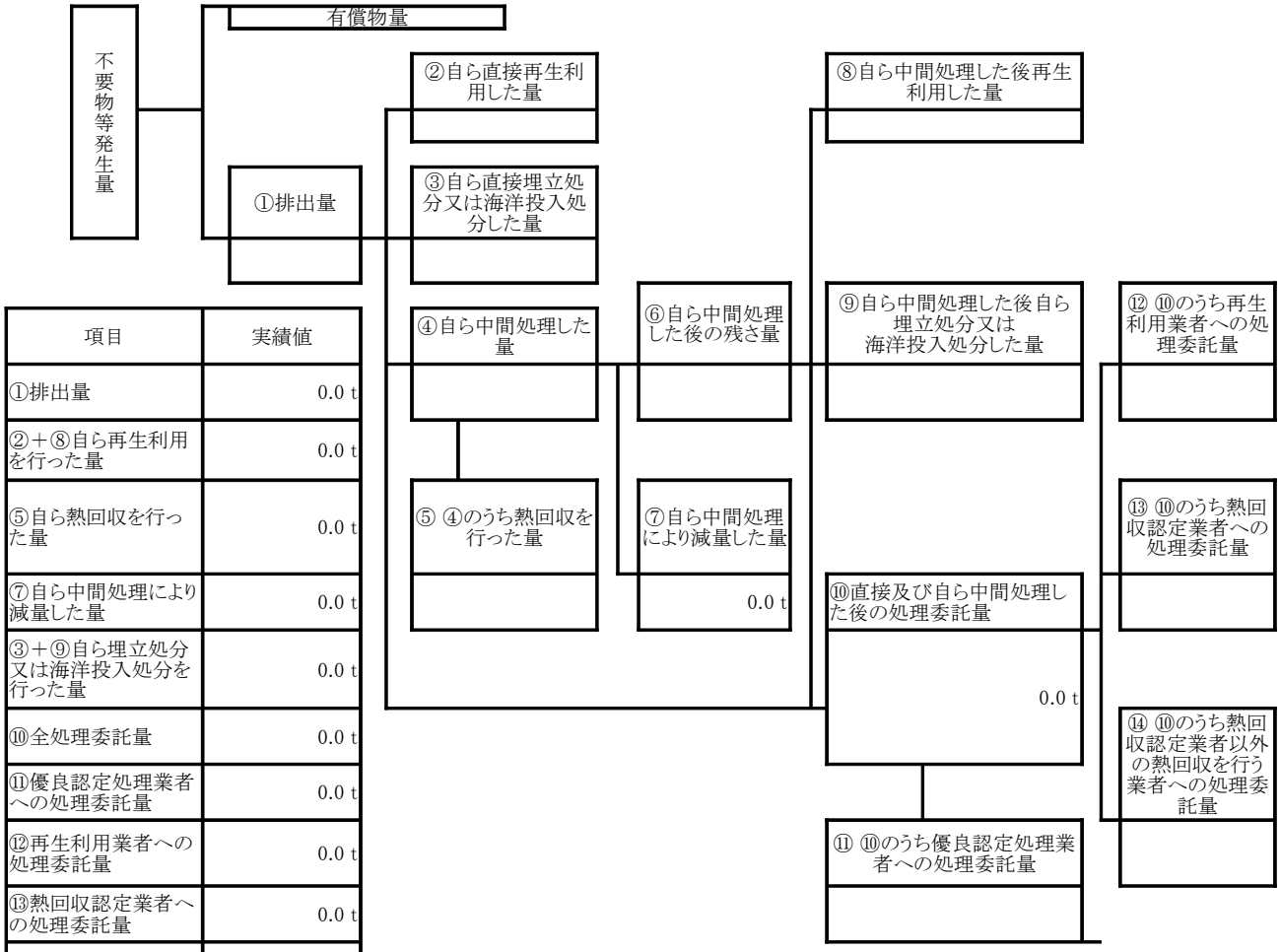
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



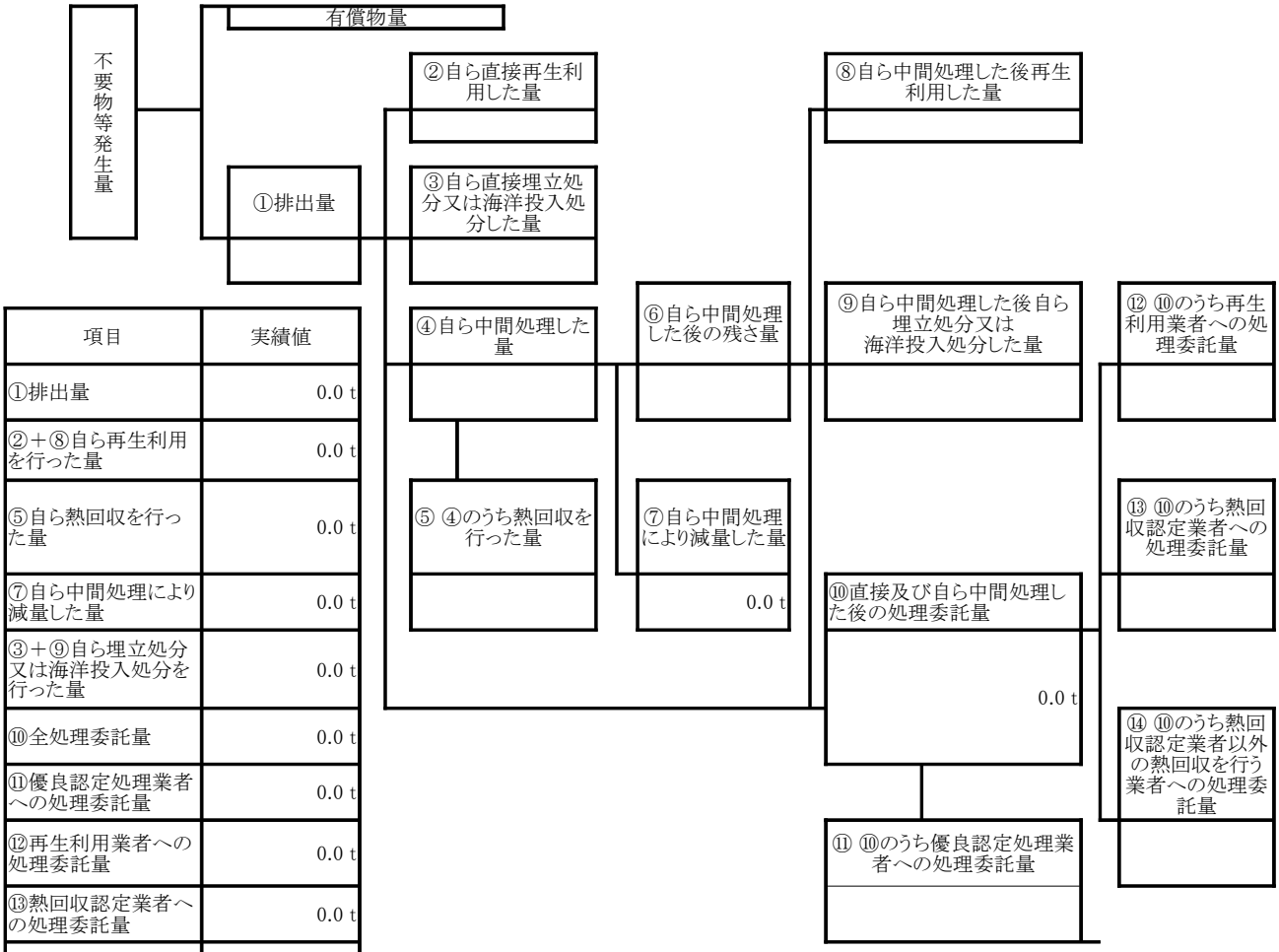
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



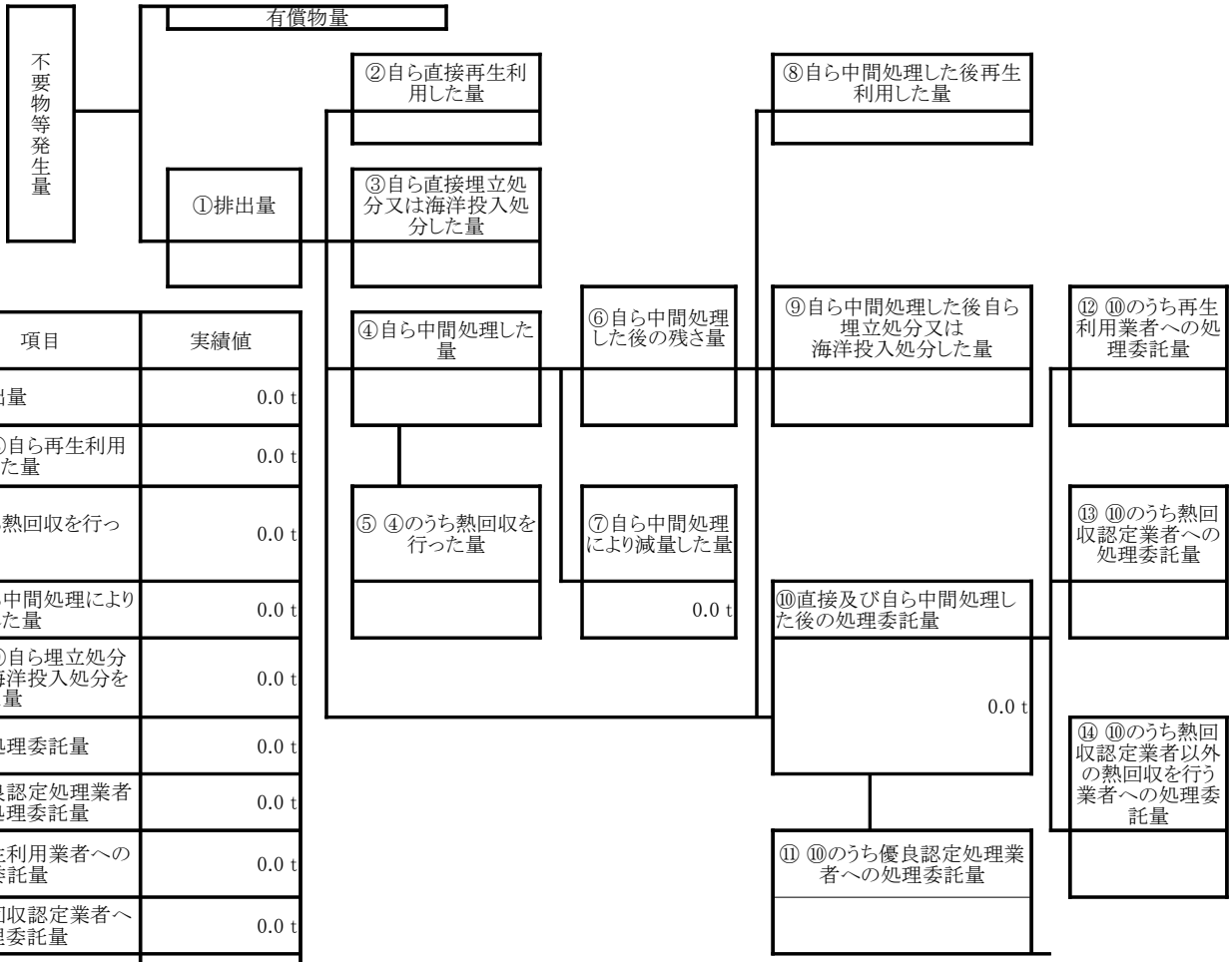
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



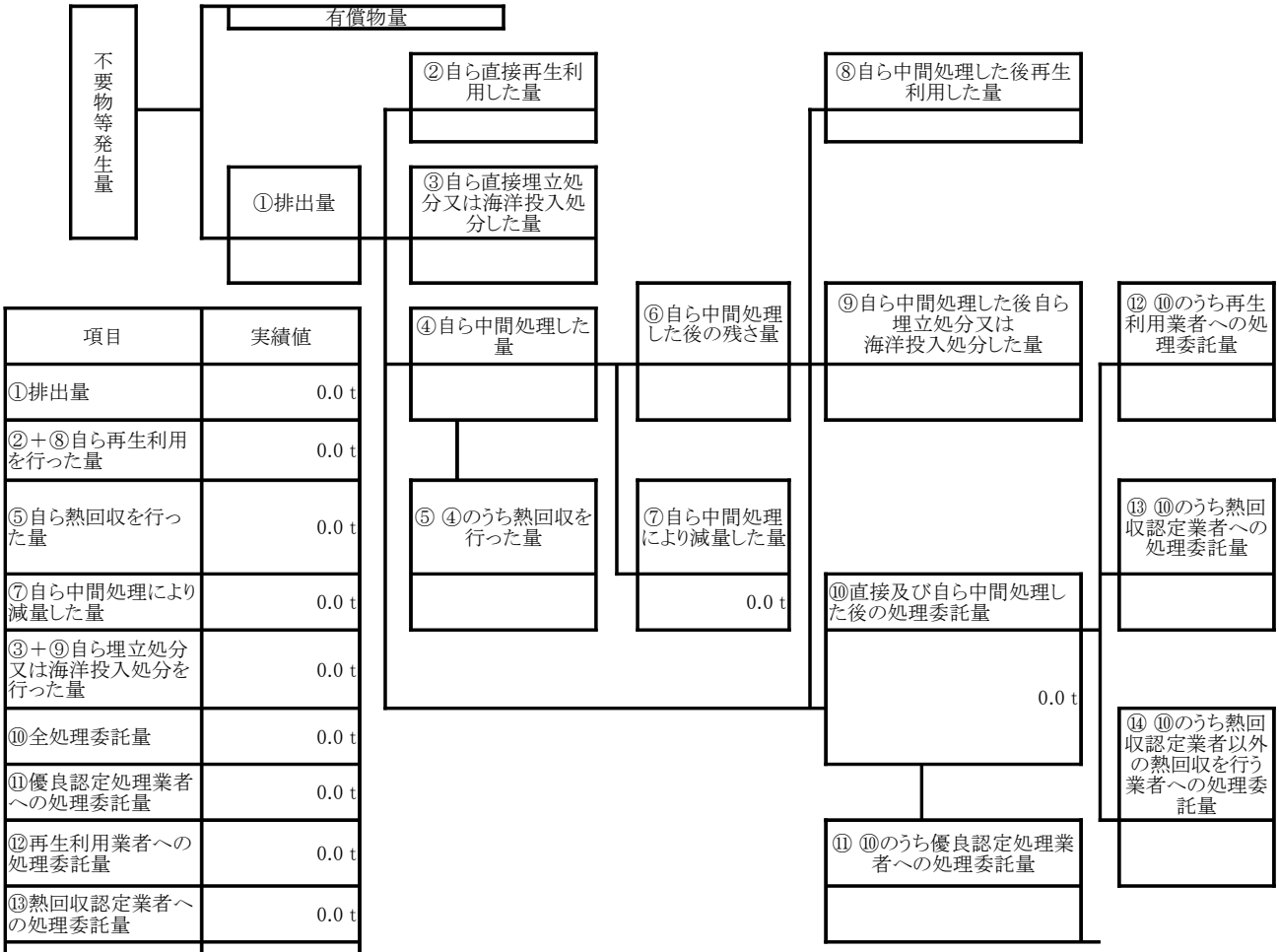
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



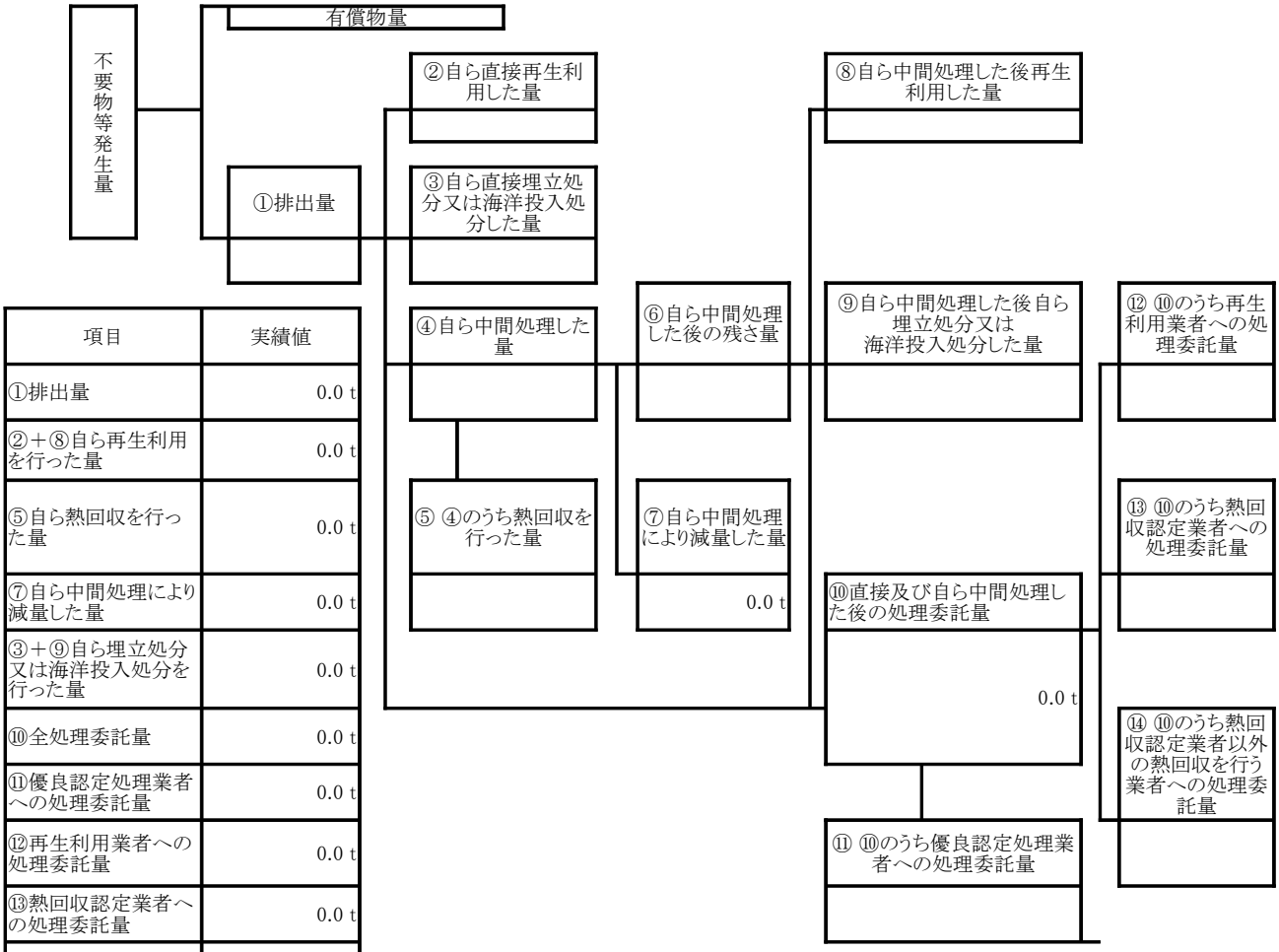
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



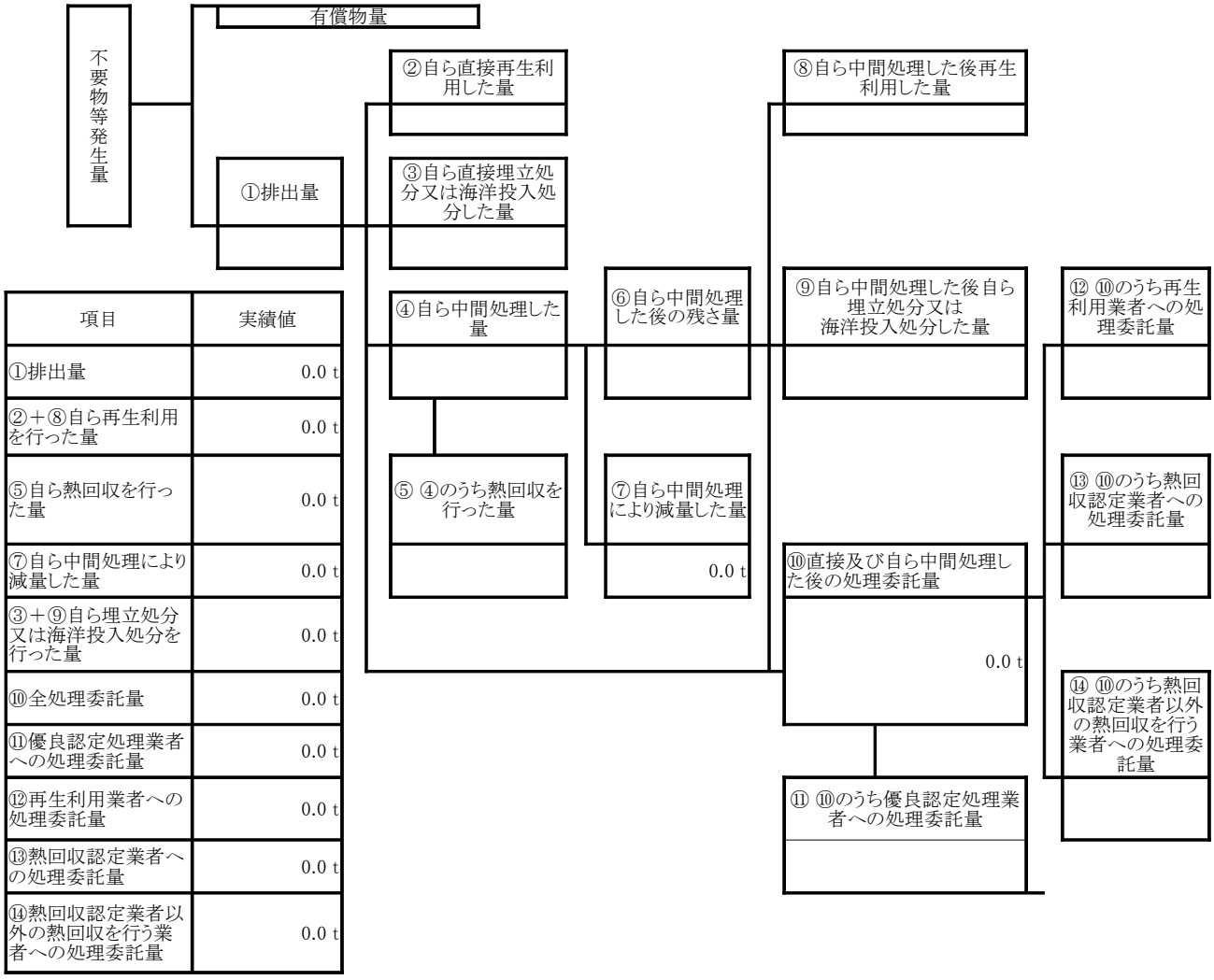
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



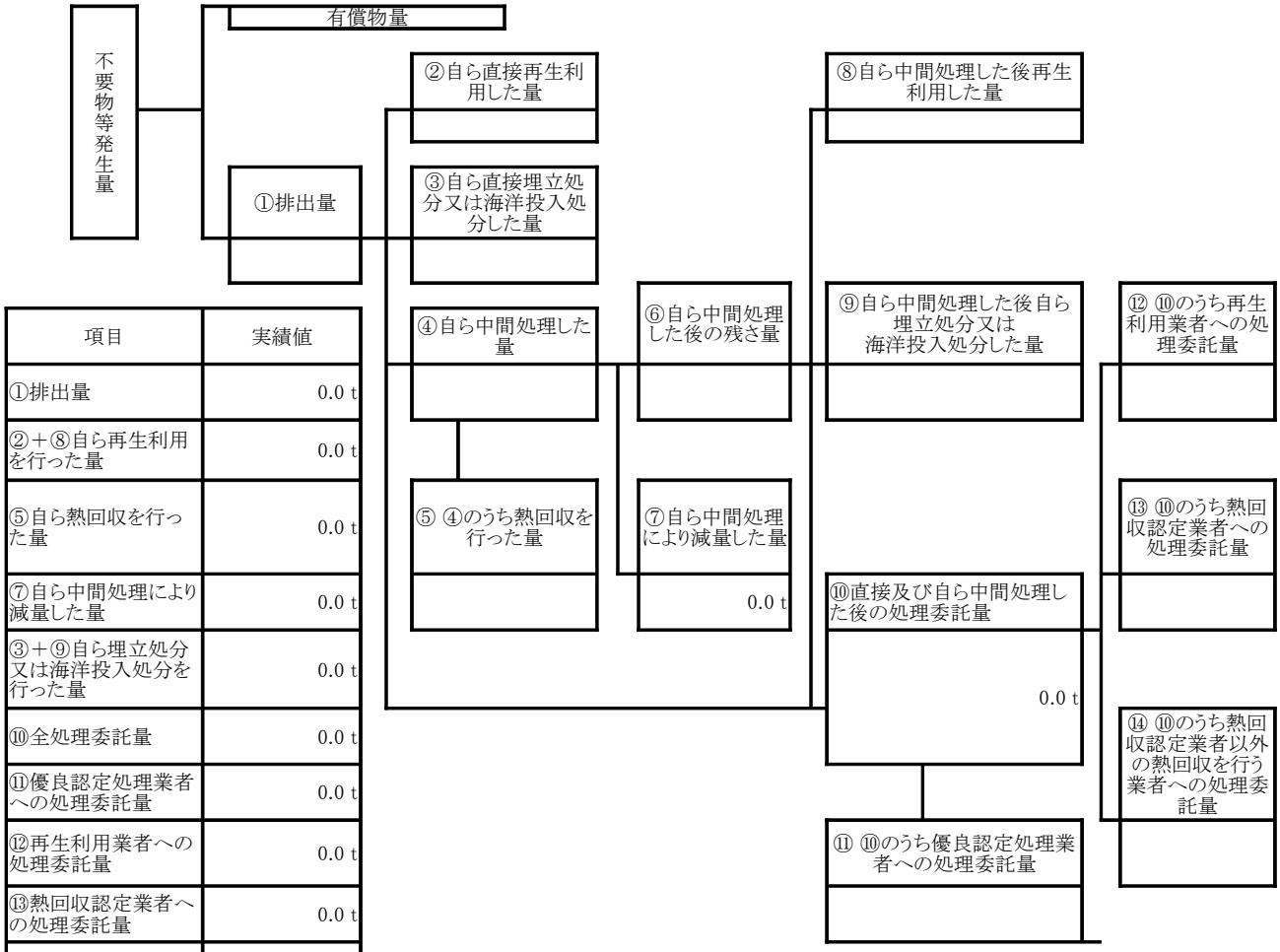
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　21日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒275-0024
住 所　千葉県習志野市茜浜2-8-1
氏 名　東洋エンジニアリング株式会社
取締役社長　細井栄治
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-451-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井化学市原4PPEPC建設工事
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸3番地
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

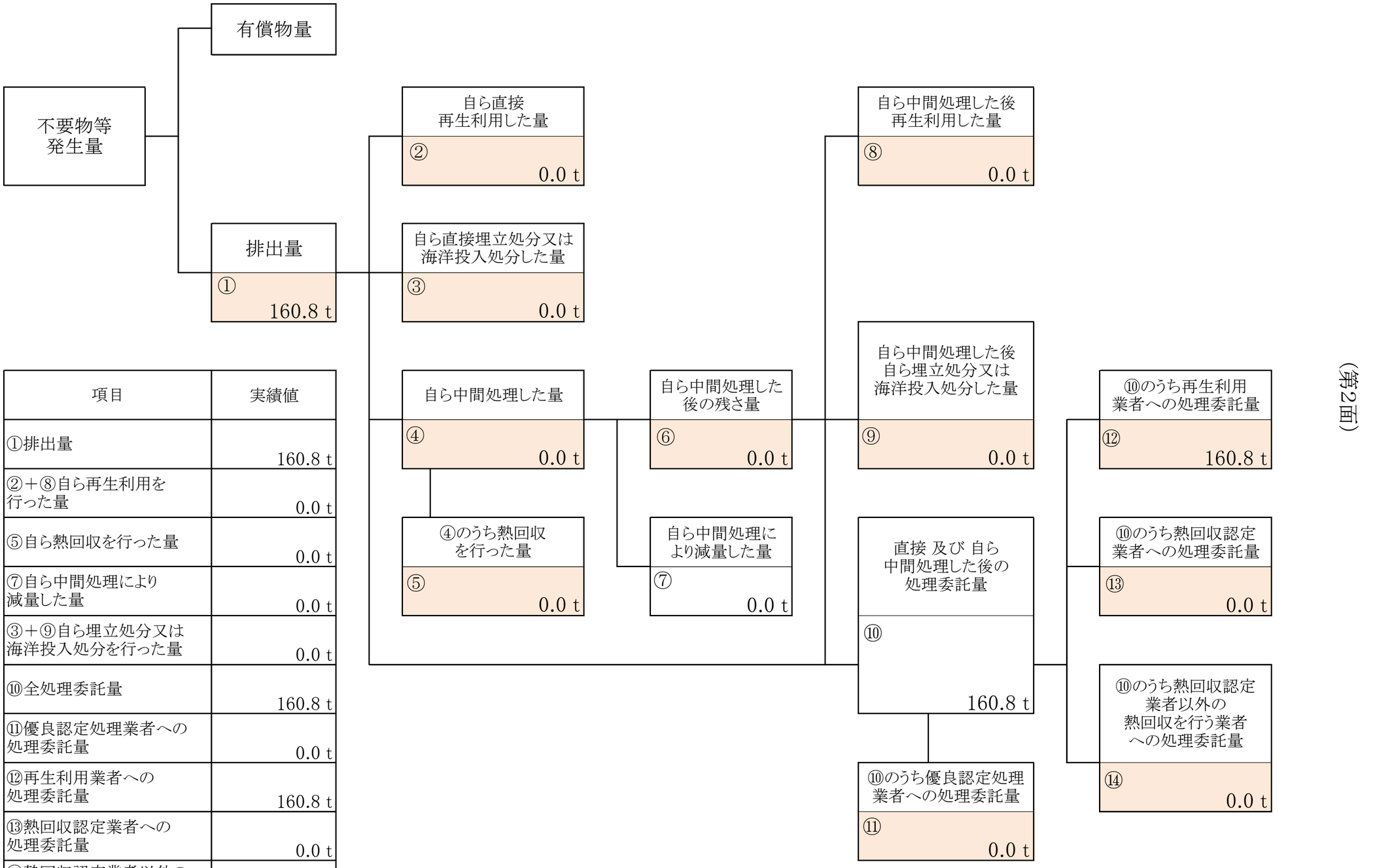
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	600.0 t	全処理委託量	600.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	600.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

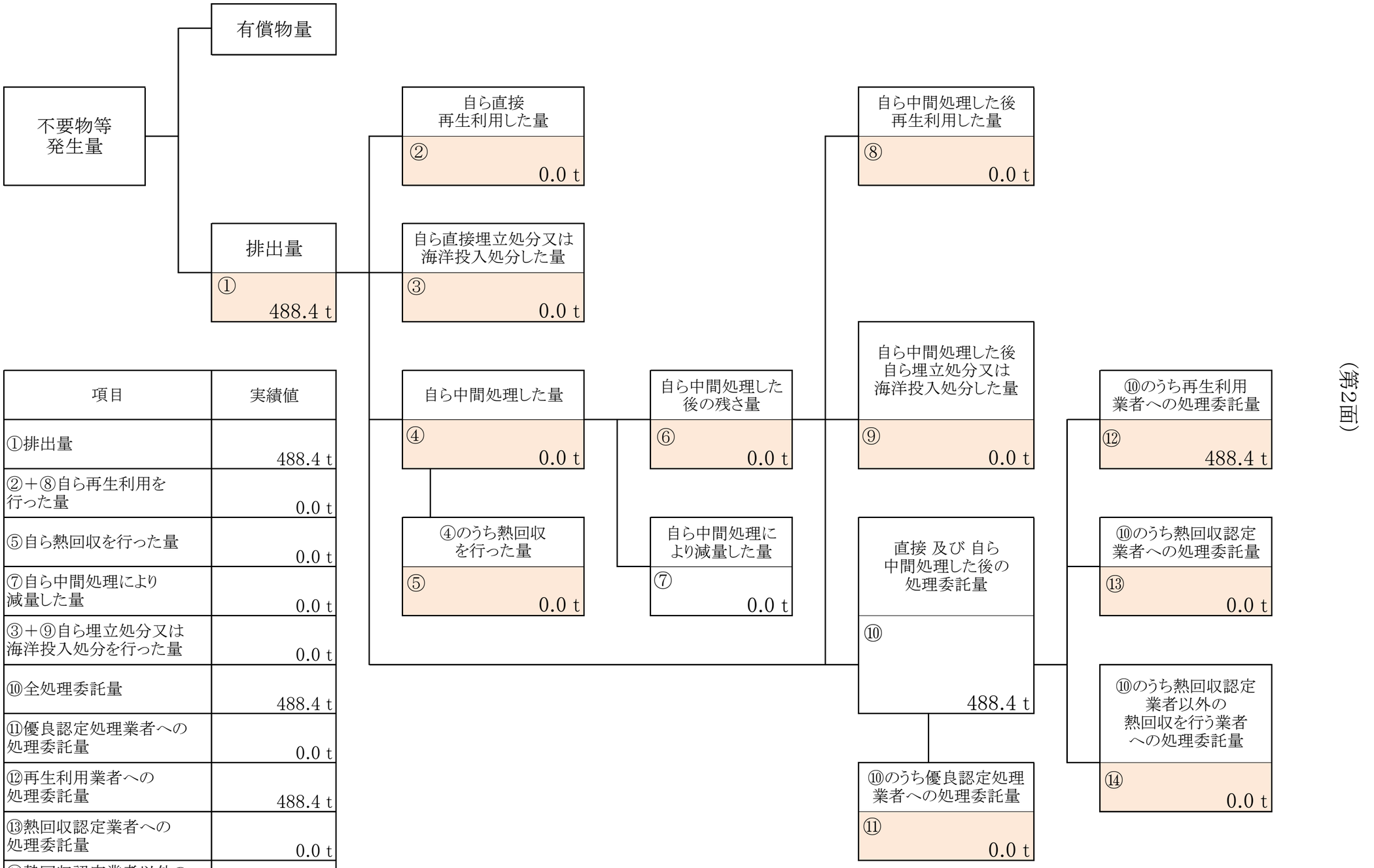


項目	実績値
①排出量	160.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	160.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	160.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

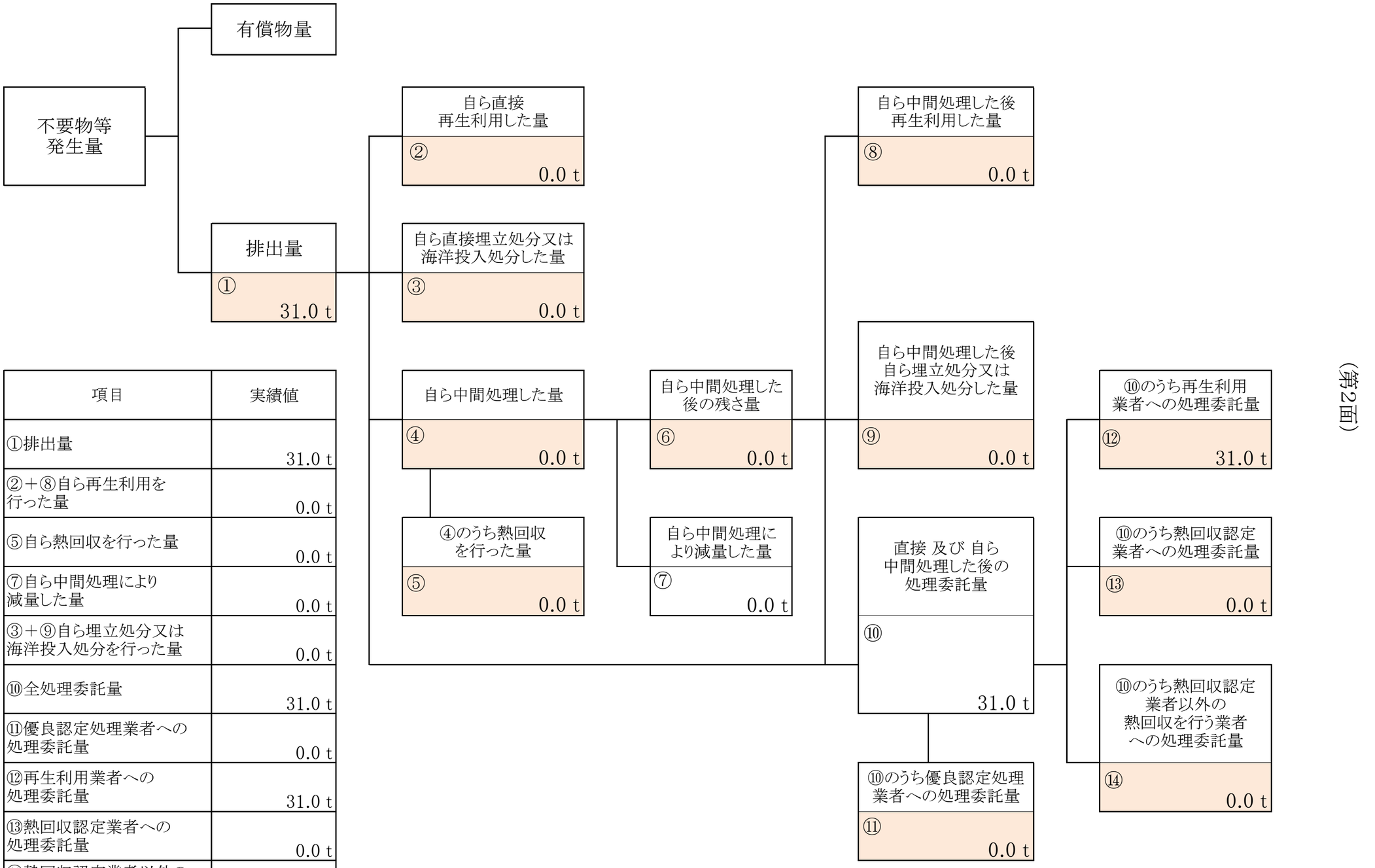


項目	実績値
①排出量	488.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	488.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	488.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

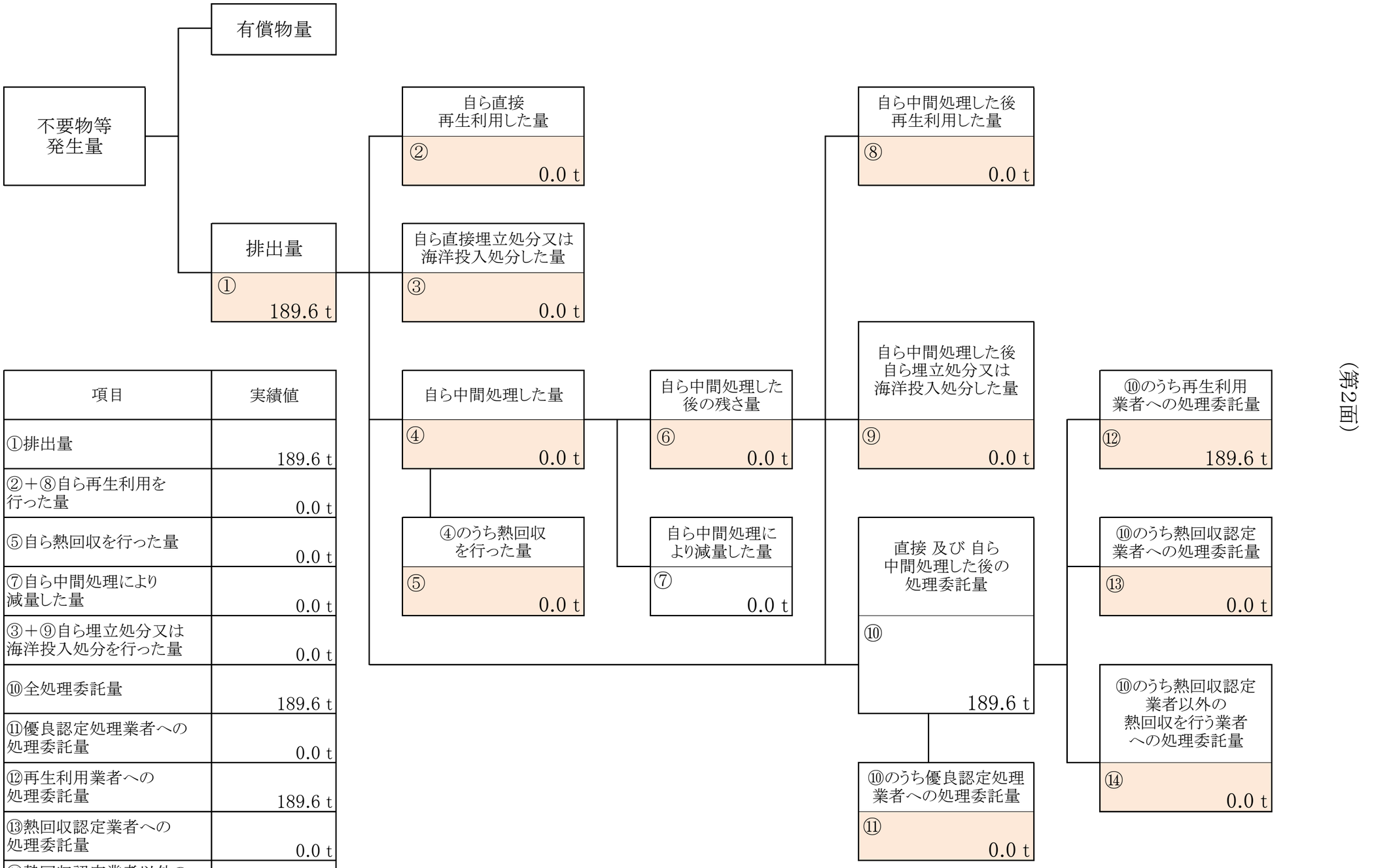


項目	実績値
①排出量	31.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	31.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

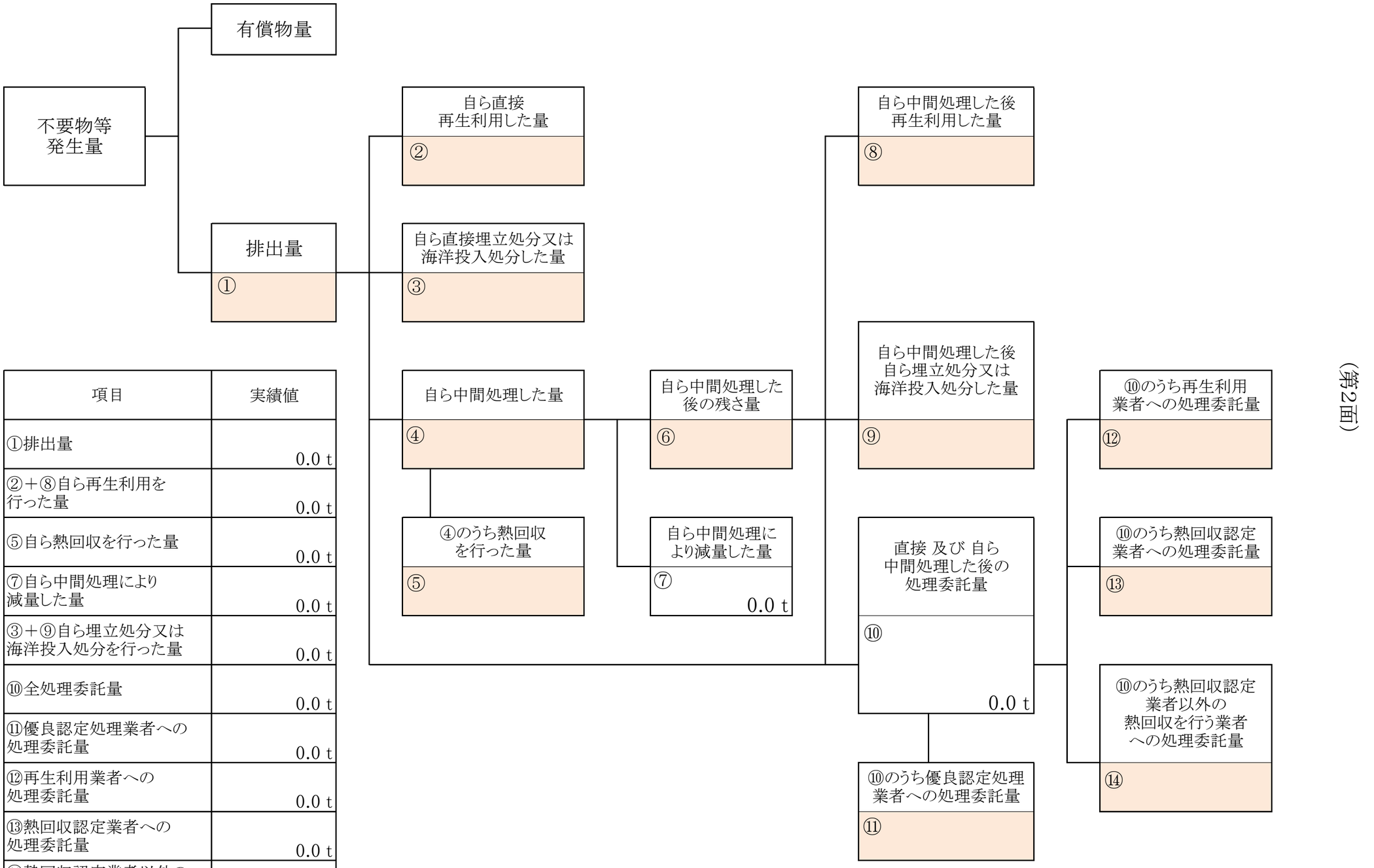


項目	実績値
①排出量	189.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	189.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	189.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

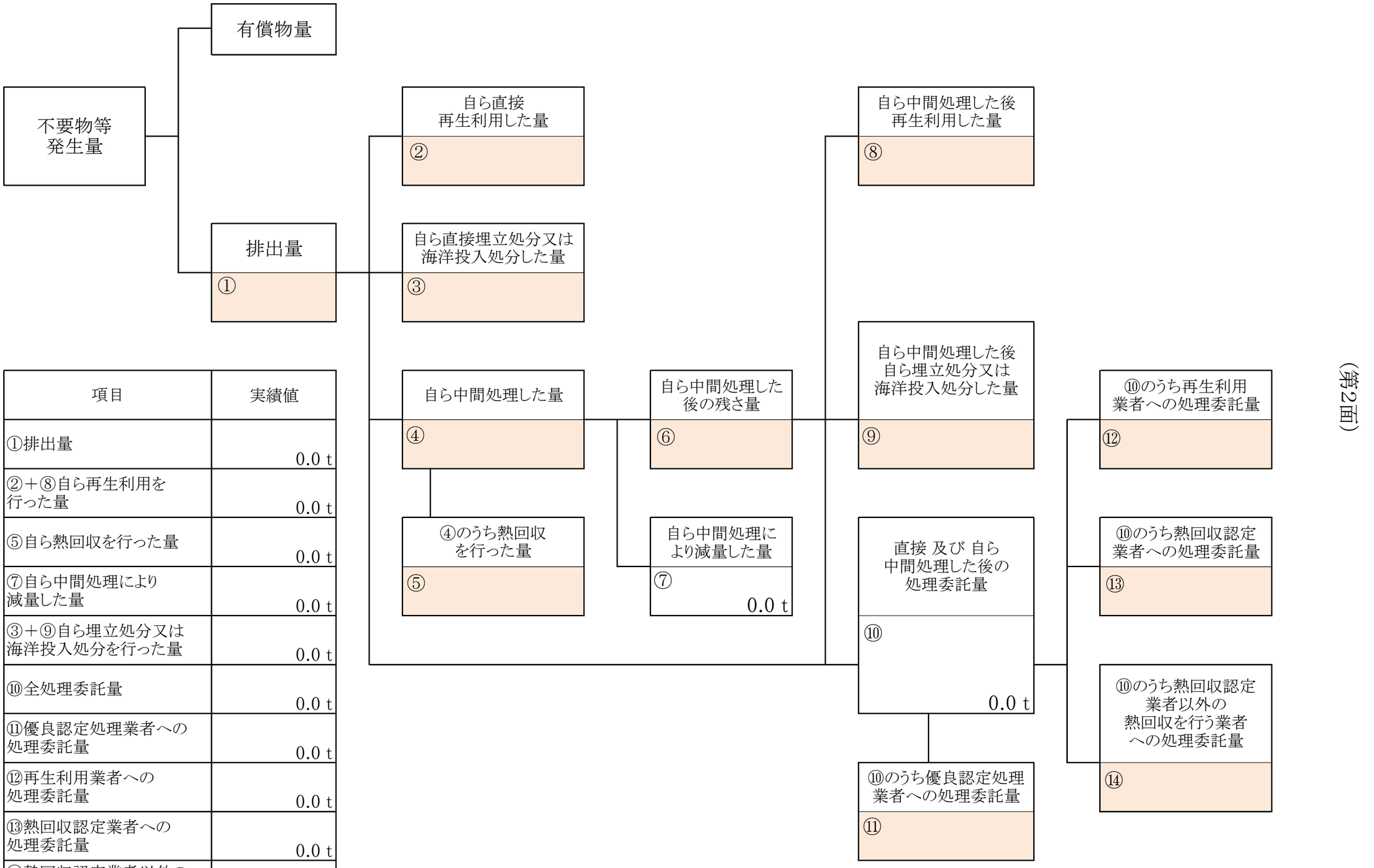


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

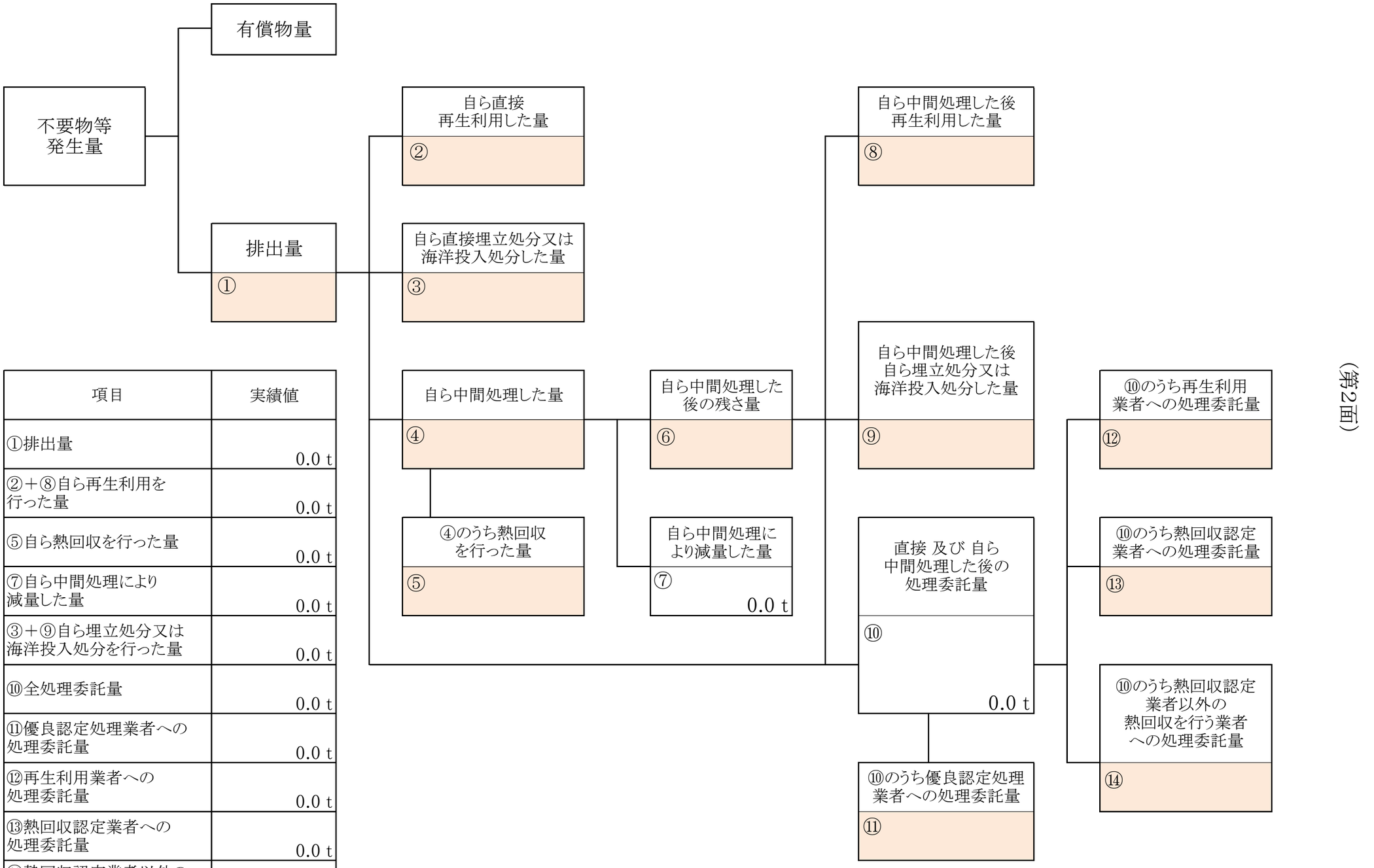


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

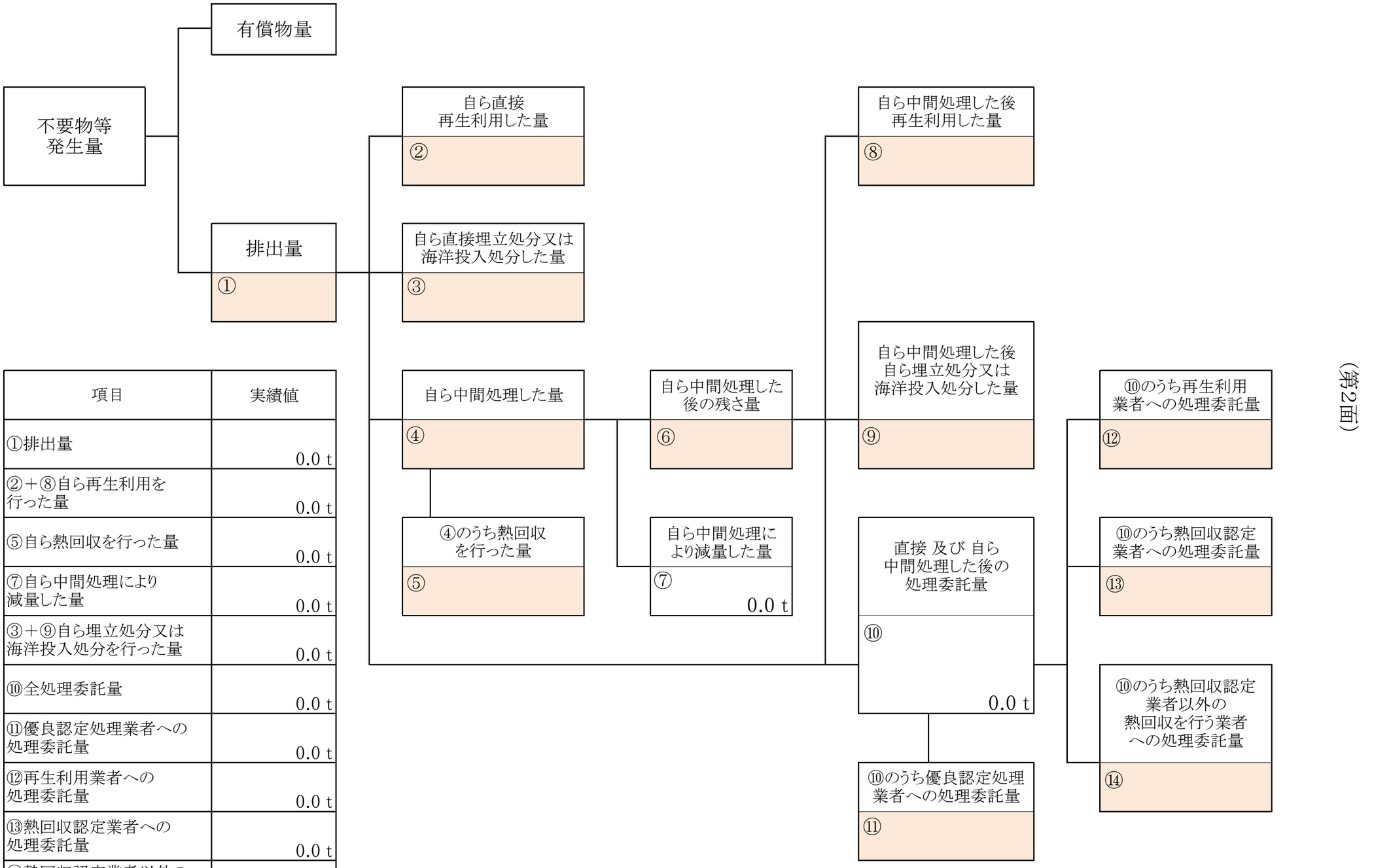


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

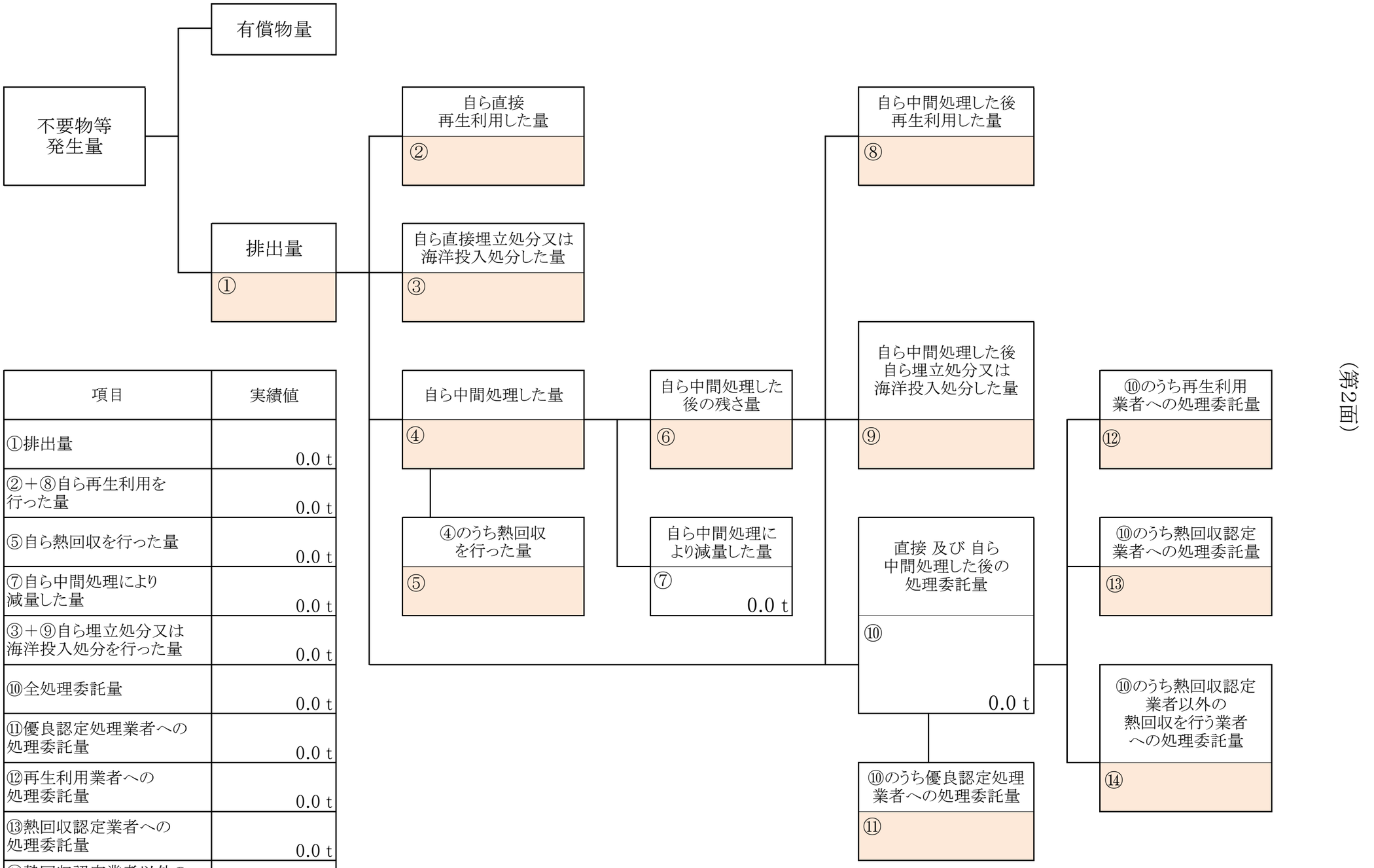


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

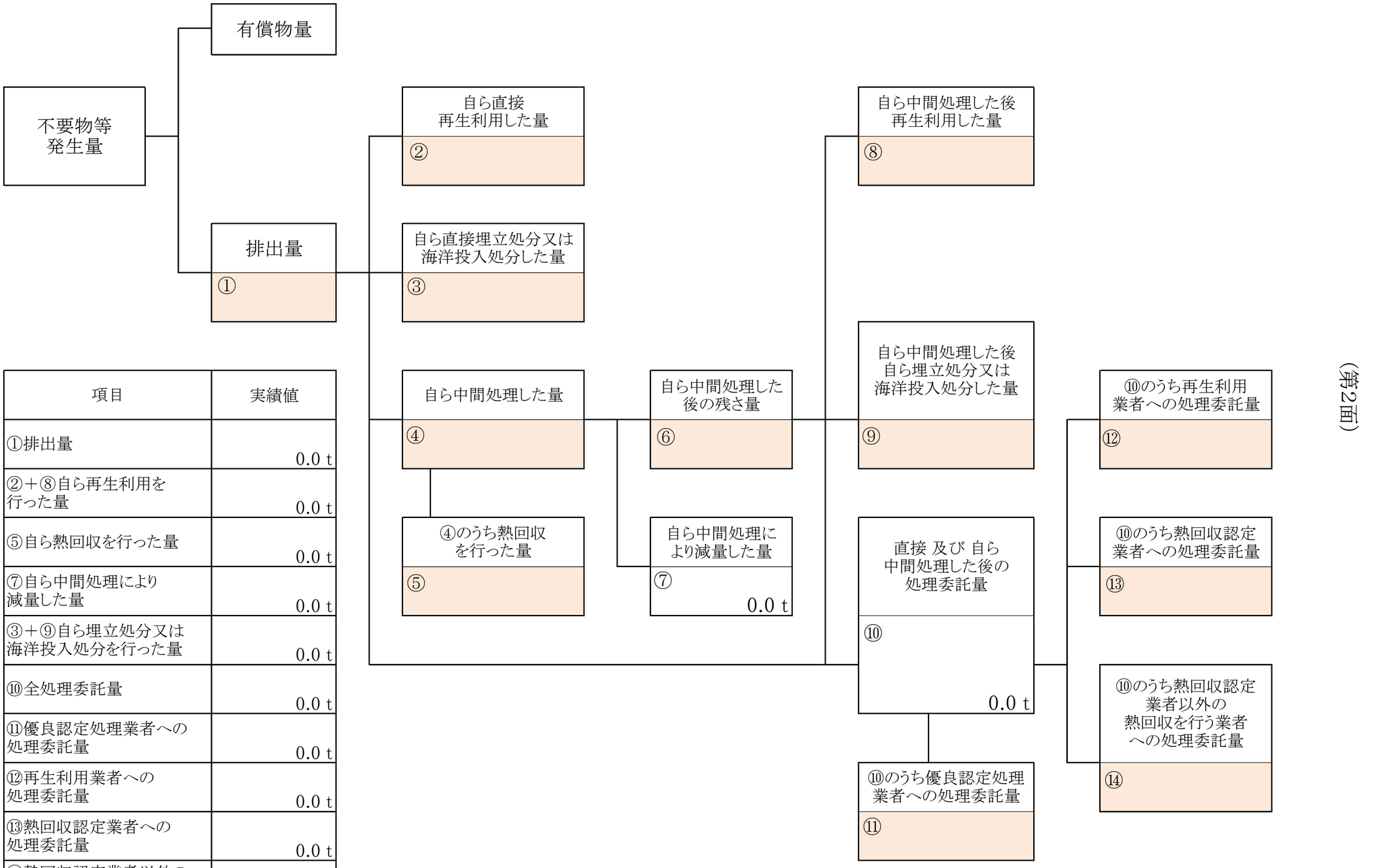


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　　6月　　28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒275-0024

住　所　千葉県習志野市茜浜2-8-1

氏　名　東洋エンジニアリング株式会社
取締役社長　細井 栄治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047-451-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通2
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	完成工事高 約342億円
③　従業員数	約50人(計画期間の平均人数)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出した廃棄物はすべて収集運搬業者および処分業者へ委託

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
排出事業者：東洋エンジニアリング(株)千葉本社
↓
プロジェクト本部(環境マネジメントに係る支援はHSEマネジメント部が実施)
↓
市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事 統括安全衛生責任者(現場代理人)
↓
産業廃棄物管理責任者(元方安全衛生管理者)及び協力会社の安全衛生管理者(各協力会社の所長)
.
契約
.
各産業廃棄物委託業者(収集運搬業者および処分業者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
排出量	511.841 t	324.56 t

（これまでに実施した取組）
令和5年度は建設工事のうち、主に海外調達の機器据付工事、配管工事に伴い発生する木くず/混合廃棄物が多く排出し、減量・リサイクルに努めましたが多量に発生しました。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
排出量	50 t	30 t

（今後実施する予定の取組）
大規模建屋建設は終了し、令和6年度は残工事、試運転のみとなりますので、廃棄物発生量は100ton未満と推定しますが、これまで以上に減量およびリサイクルに努めます。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別については複数の安全衛生管理者による毎日のパトロールにて厳しくチェックしています。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
協力会社から選任された安全衛生管理者を含めて、毎日のパトロールにてさらに厳しくチェックしていきます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	木くず	建設混合廃棄物
全処理委託量＿	511.841 t	324.56 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	511.841 t	324.56 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

積極的に再利用率が高い委託業者に引き取ってもらうようにしています。

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類＿ 木くず 建設混合廃棄物 全処理委託量＿ 50 t 30 t 優良認定処理業者への処理委託量 t t 再生利用業者への処理委託量 50 t 30 t 認定熱回収業者への処理委託量 t t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t t （今後実施する予定の取組） 今後も引き続き積極的に再利用率が高い委託業者に引き取ってもらうようにして、減量化・リサイクル率をさらに高めたいと考えています。
※事務処理欄		

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ガラスくず、コンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	発プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
		排　　出　　量	1　t	103　t	0.3　t	43.7　t	285.6　t	51.1　t	4.1　t	11.031　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	発プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
		排　　出　　量	t	10　t	t	5　t	3　t	3　t	1　t	10　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	発プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	発プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	発プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	発プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	廃プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	廃プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	廃プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
	全処理委託量	1 t	103 t	0.3 t	43.7 t	285.6 t	51.1 t	4.1 t	11.031 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	103 t	0.3 t	43.7 t	285.6 t	51.1 t	4.1 t	11.031 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	ンクリートくず	石膏ボード	アスファルト・コンクリート破	がれき類	コンクリート破片	廃プラスチック類	汚泥（泥状のもの）
	全処理委託量	0 t	10 t	0 t	5 t	3 t	3 t	1 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	10 t	0 t	5 t	3 t	3 t	1 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　28日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒275-0024
住 所　千葉県習志野市茜浜2-8-1
氏 名　東洋エンジニアリング株式会社
取締役社長　細井 栄治
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-451-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通2
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

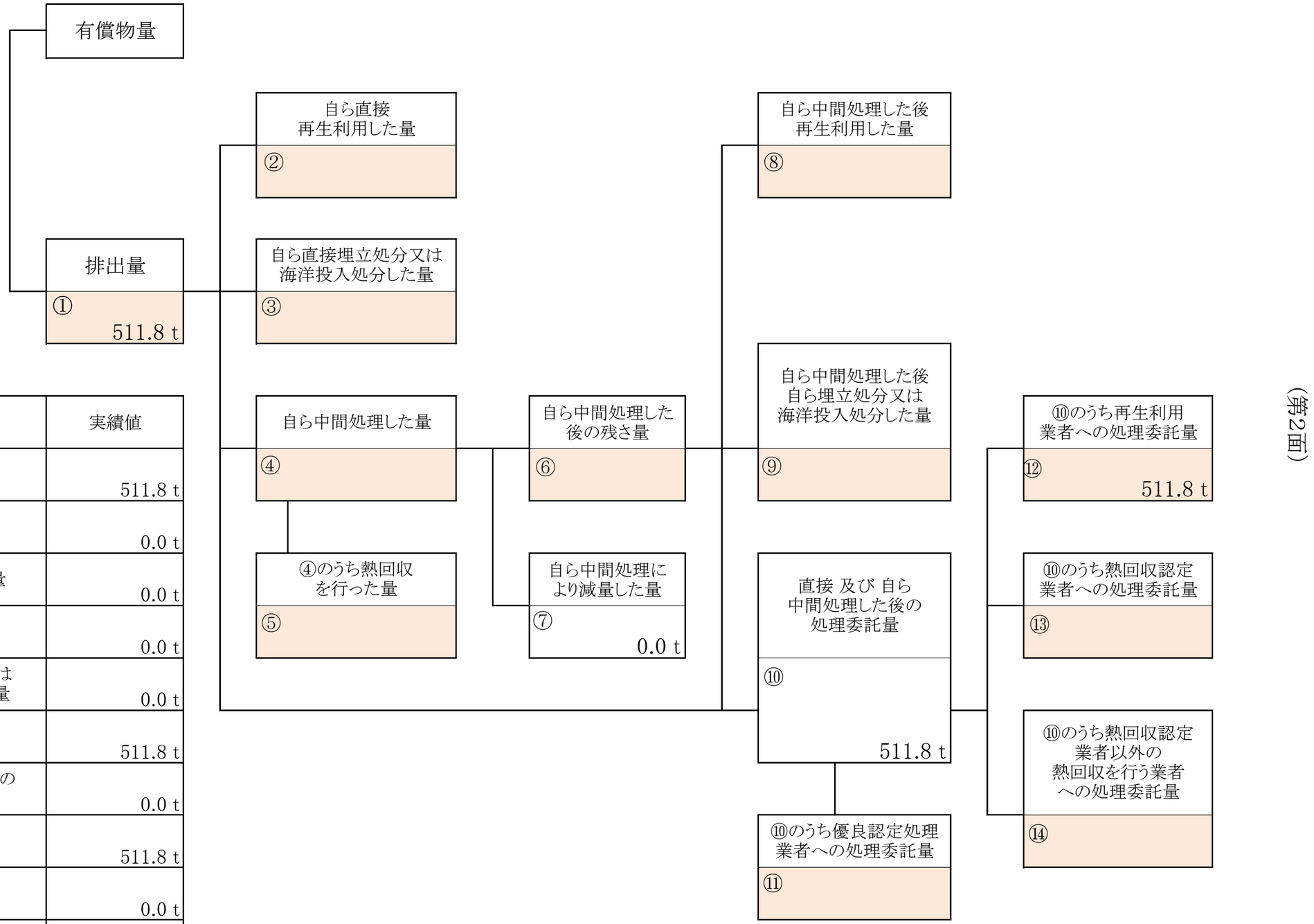
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	500.0 t	全処理委託量	500.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	500.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



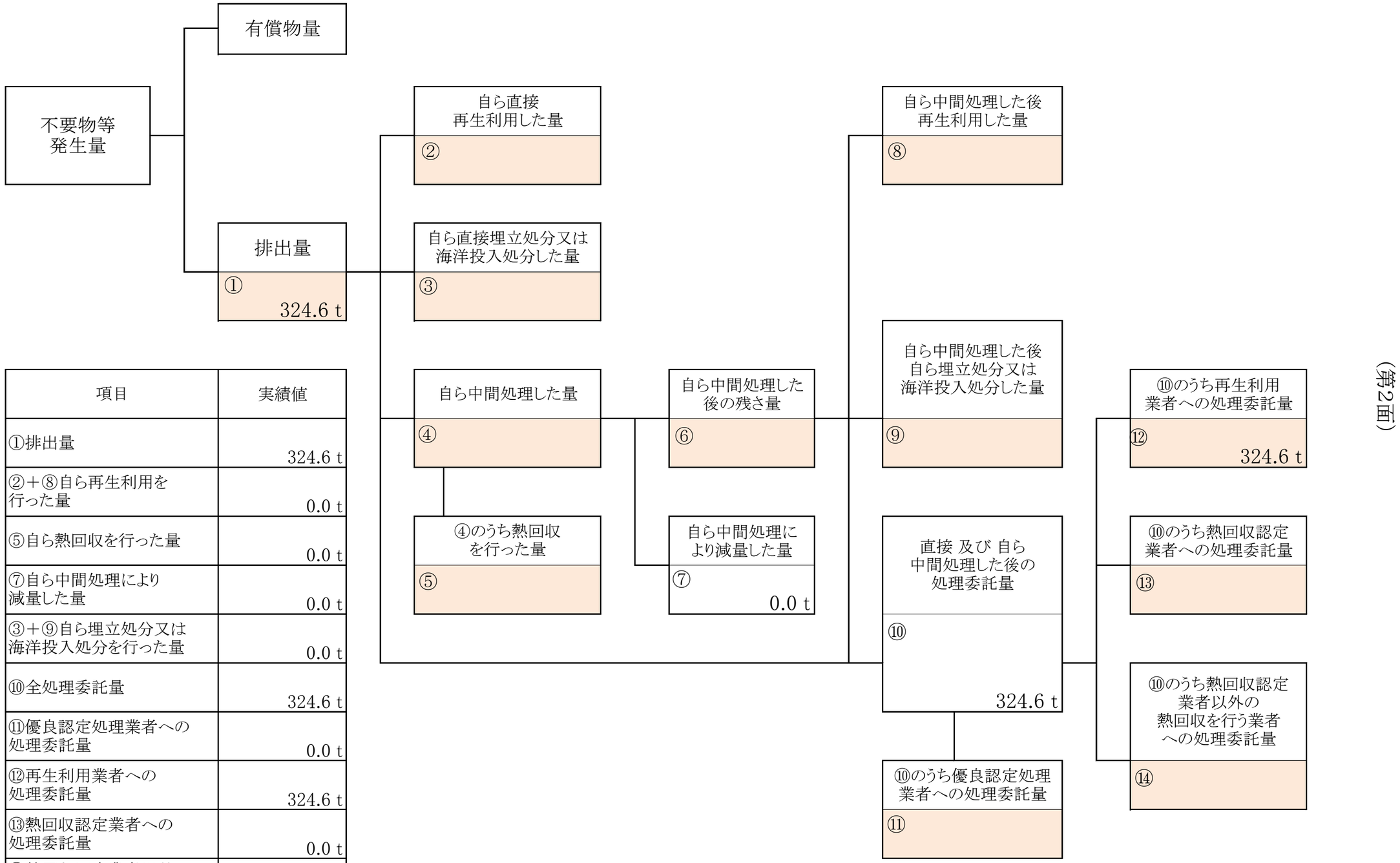
項目	実績値
①排出量	511.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	511.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	511.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

#

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

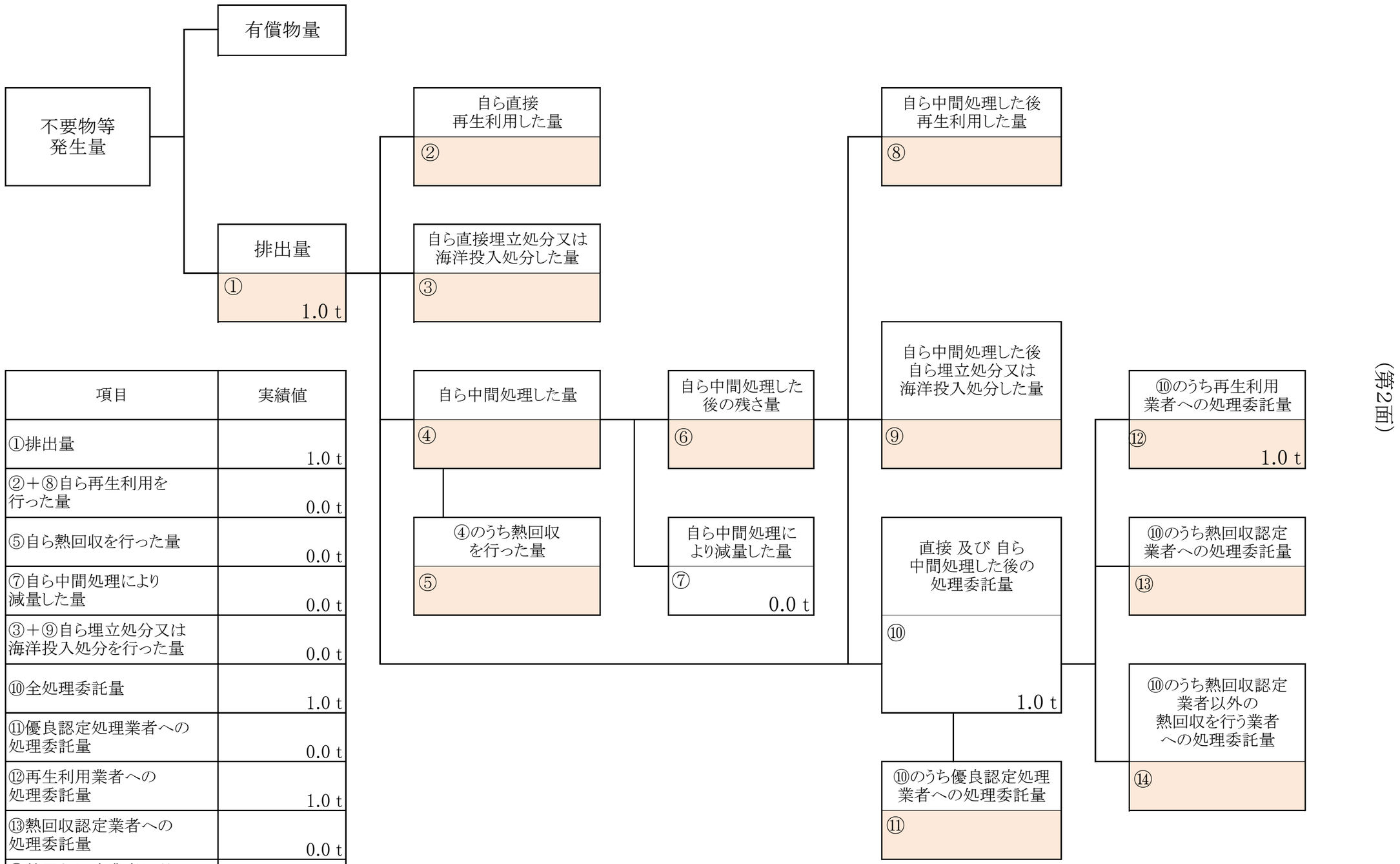


項目	実績値
①排出量	324.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	324.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	324.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型建設混合廃棄物**）

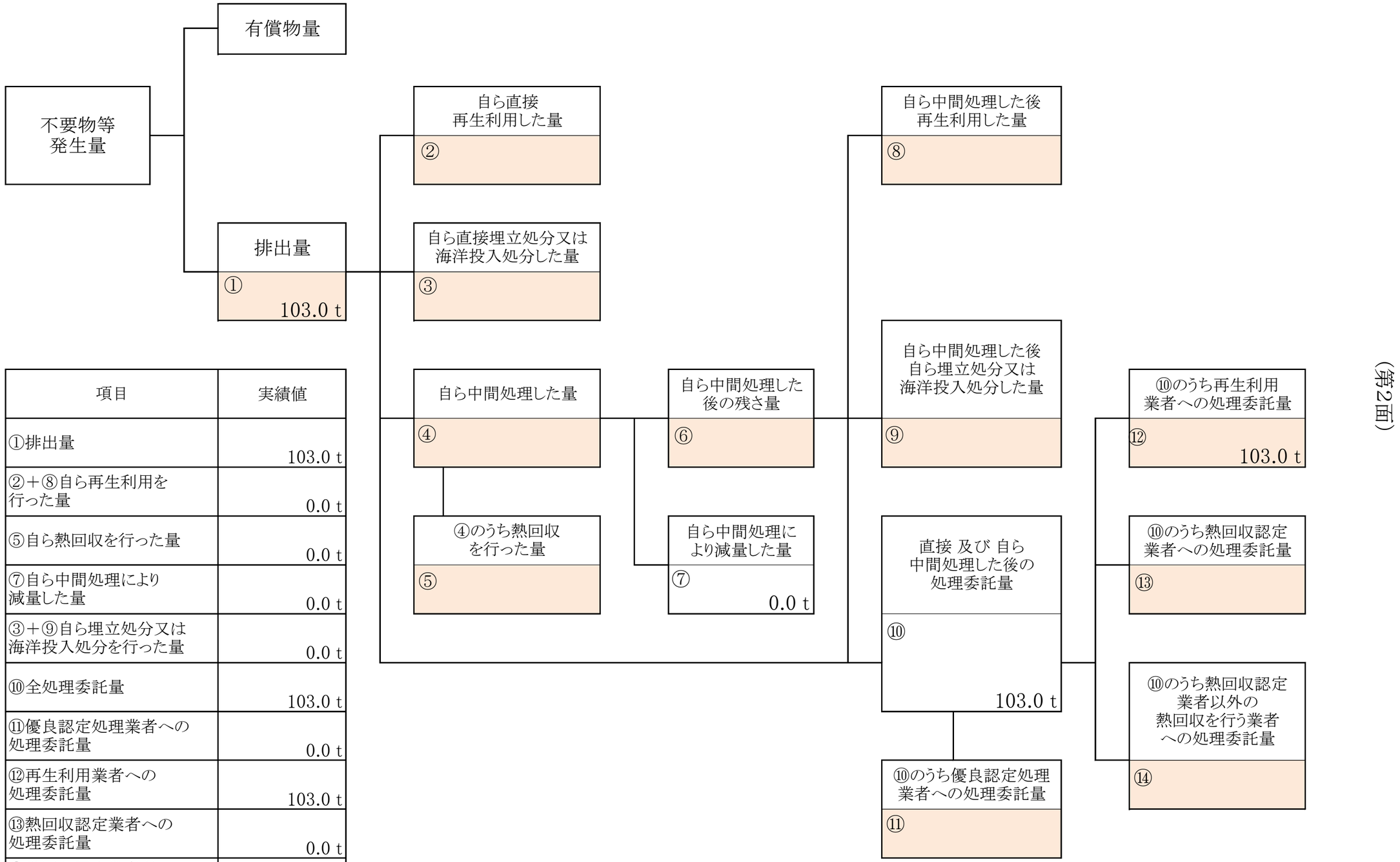


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

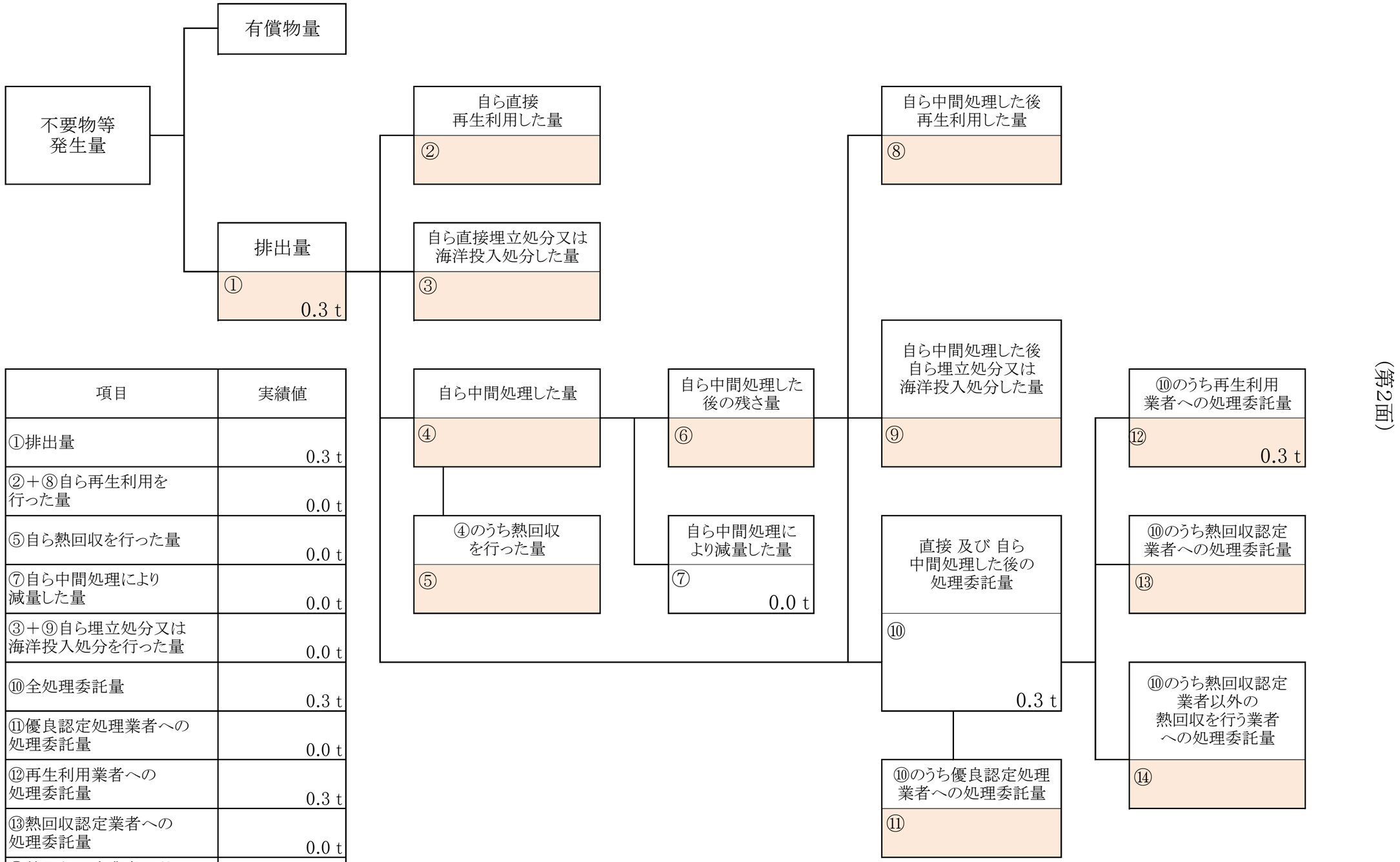


項目	実績値
①排出量	103.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	103.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	103.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石膏ボード）

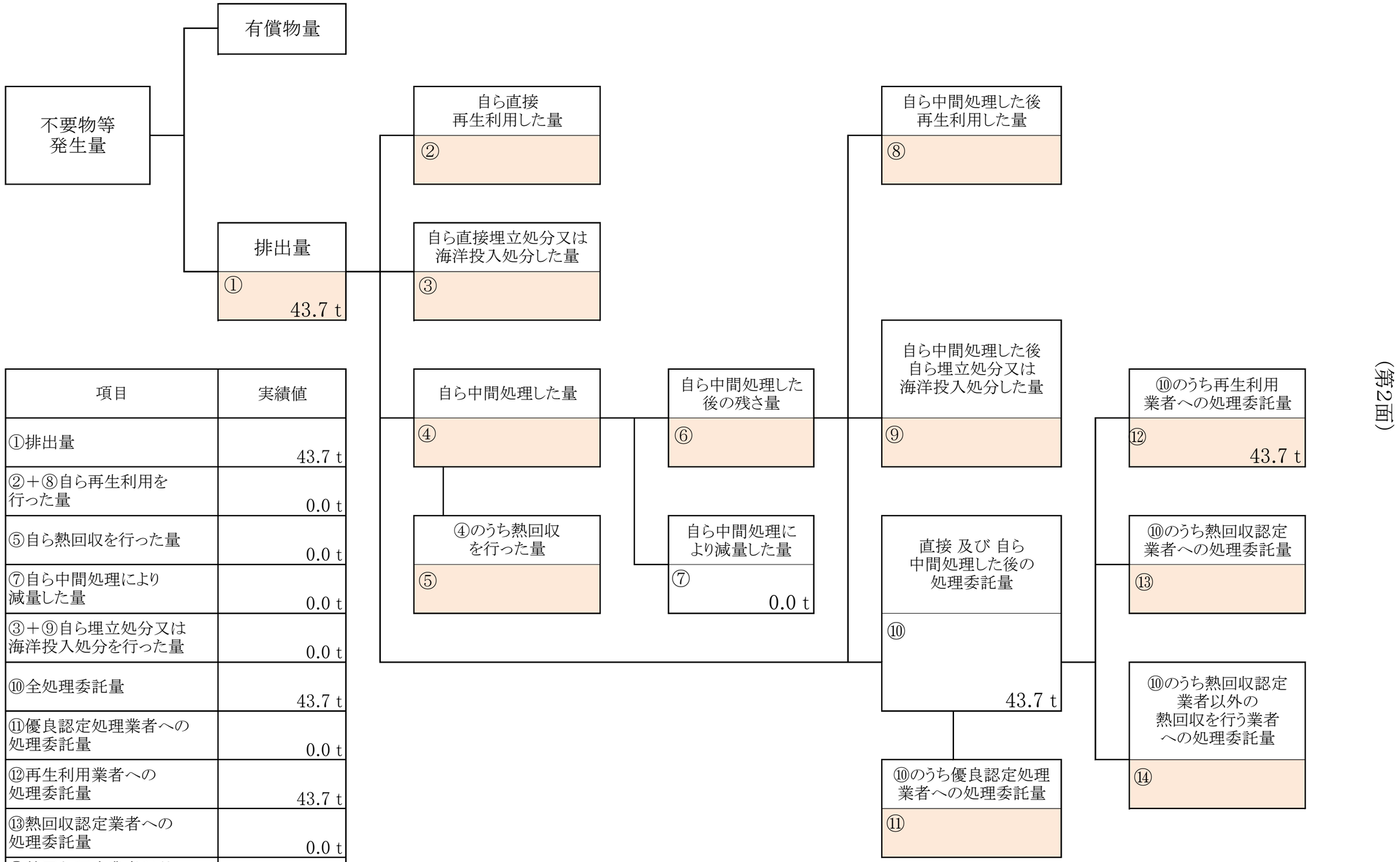


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**アスファルト・コンクリート破片**）

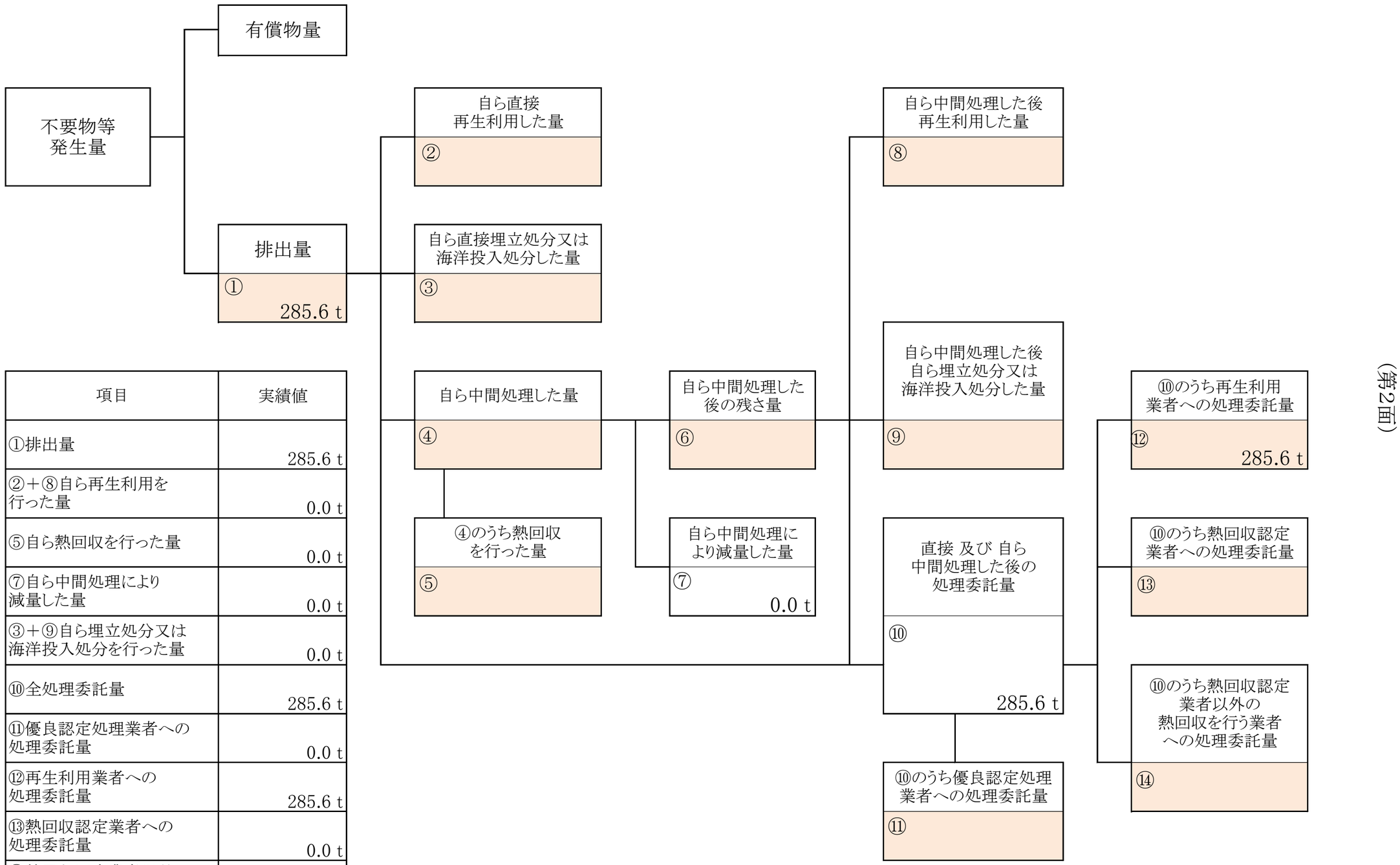


項目	実績値
①排出量	43.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）**）

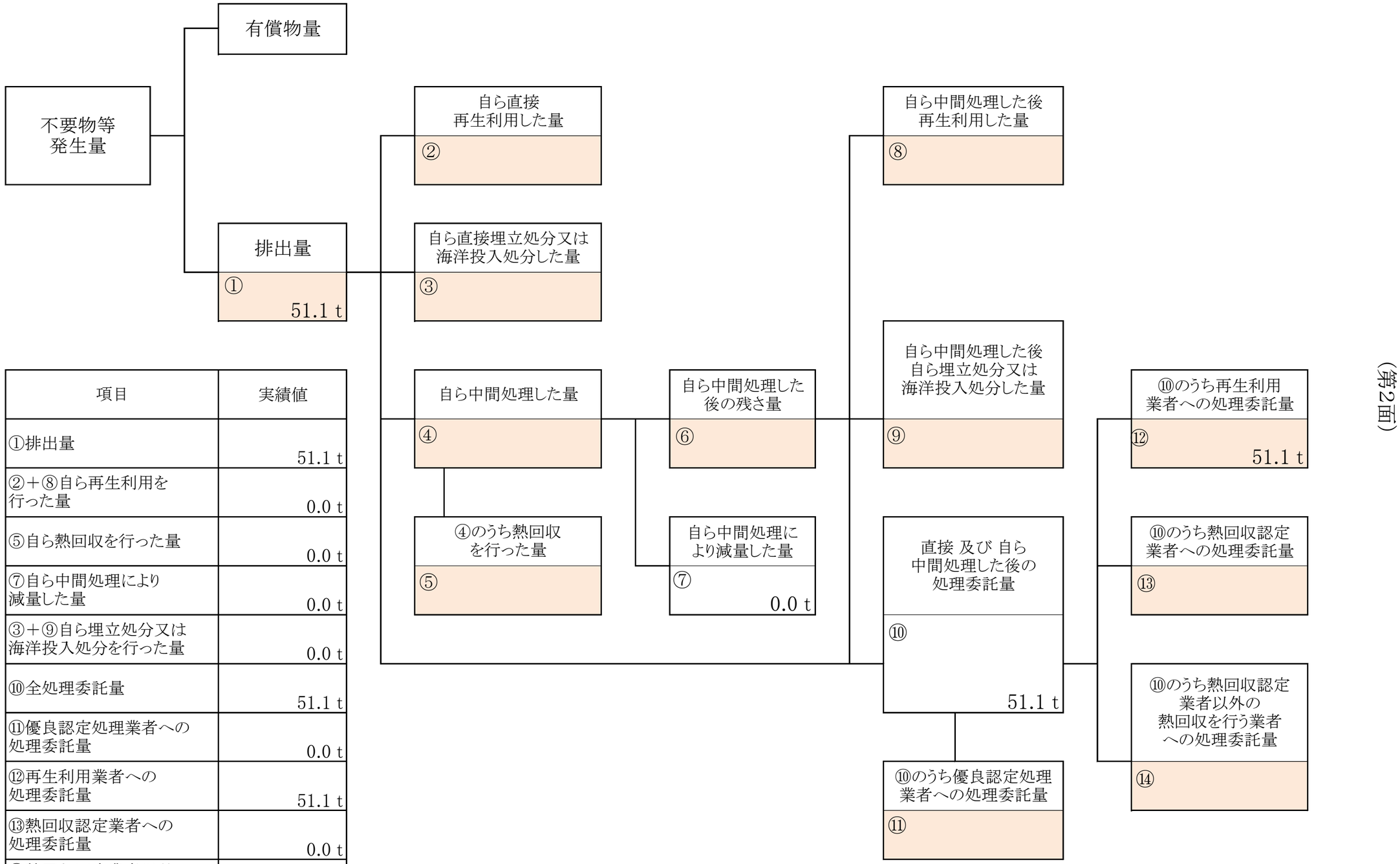


項目	実績値
①排出量	285.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	285.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	285.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**コンクリート破片**）

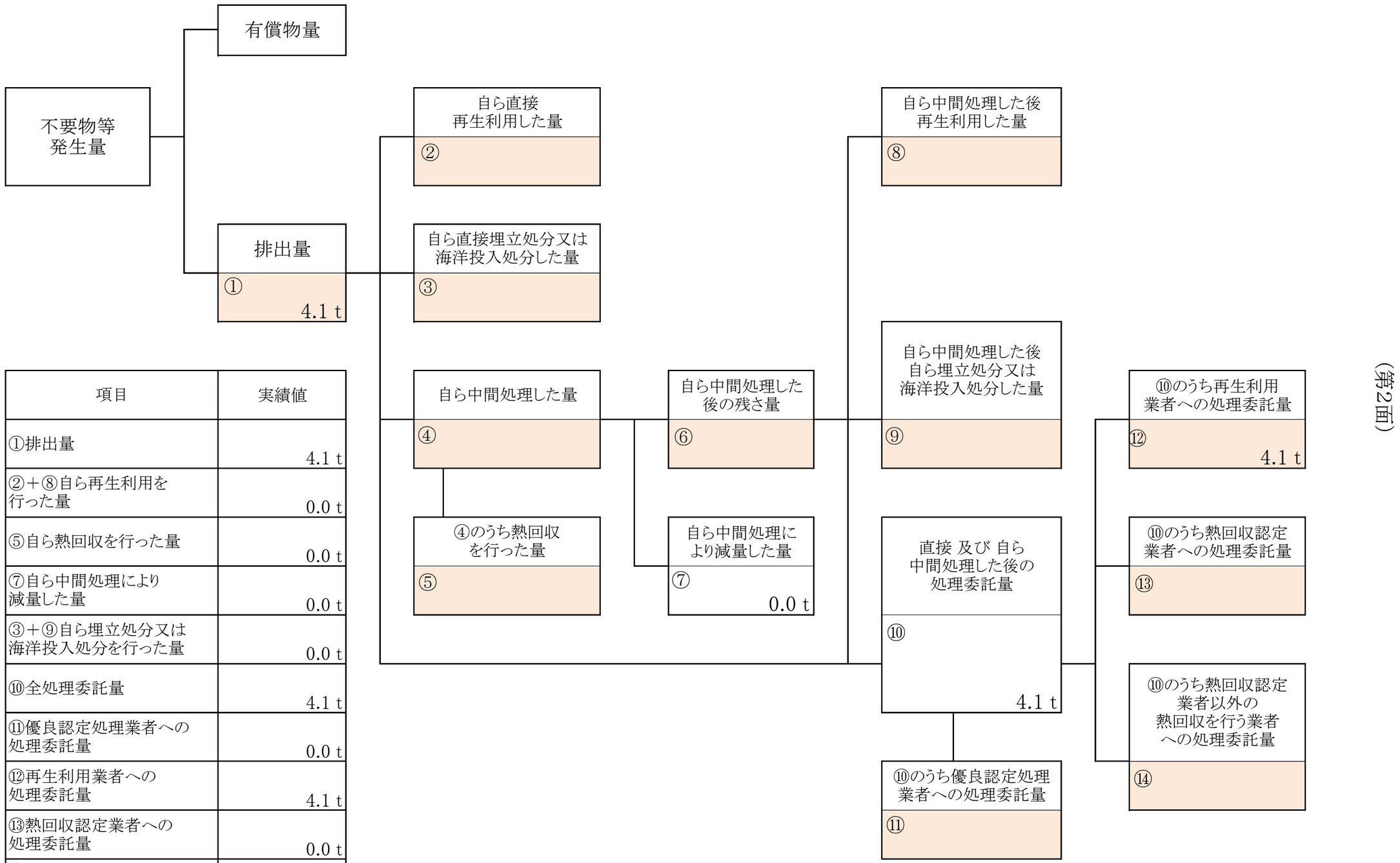


項目	実績値
①排出量	51.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	51.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

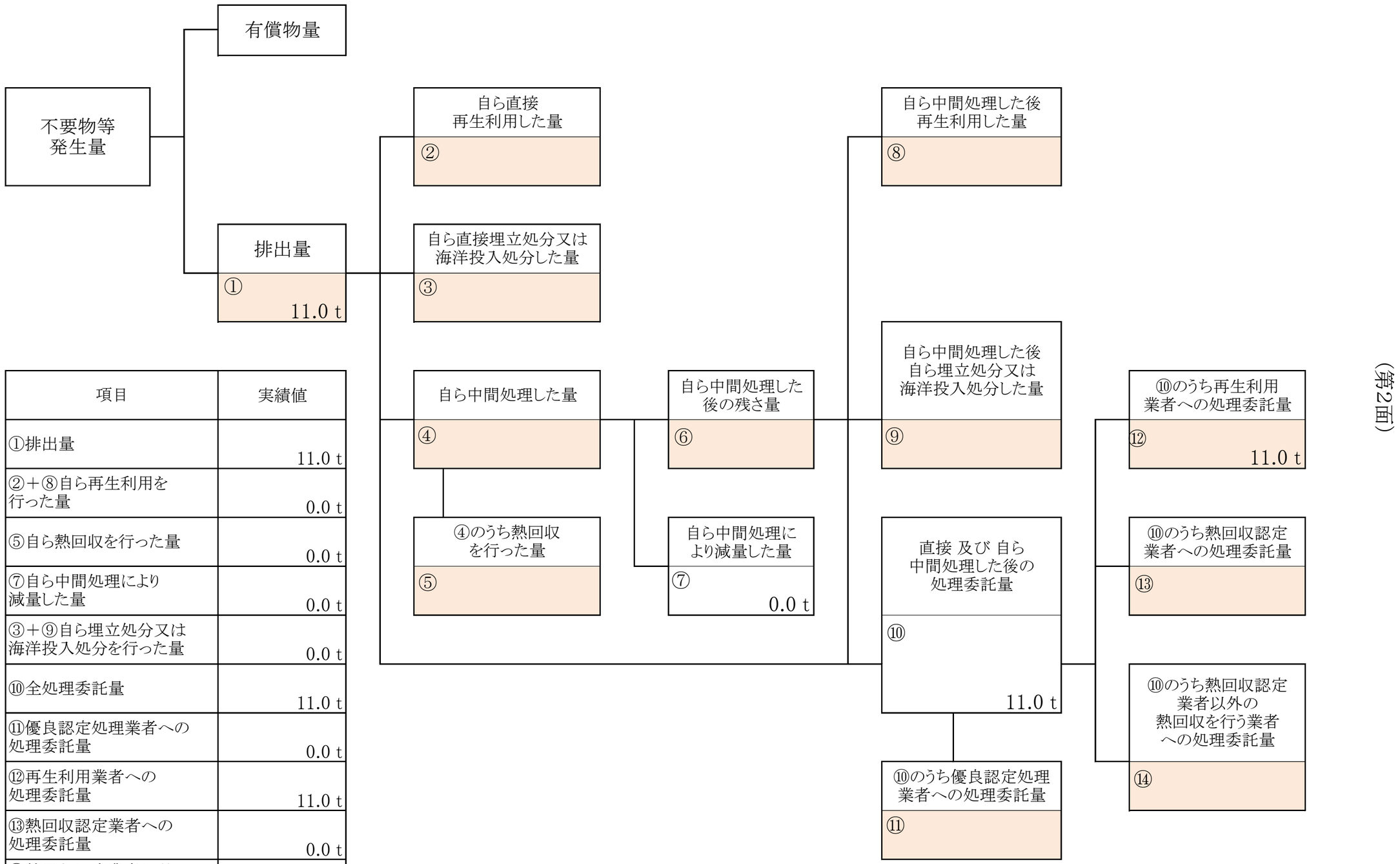


項目	実績値
①排出量	4.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥（泥状のもの）**）



項目	実績値
①排出量	11.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月11日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　101-0051

住　所　東京都千代田区神田神保町1丁目105番地

法人名　東洋建設株式会社　関東支店

代表者　藤井 広記

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6361-5501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋建設株式会社　関東支店
事業場の所在地	東京都千代田区神保町1丁目105番地　神保町三井ビルディング10F
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　１５，０２５百万円（前年度実績）
③従業員数	１７４人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ｺﾝｶﾞﾗｰｱｽｶﾞﾗ→再生処理業者へ委託→破砕→再生砕石として再利用 ・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→破砕・圧縮→燃料原料 ・金属くず→再生事業者へ委託 ・汚泥→中間処理業者へ委託→流動化原料 ・木くず→中間処理業者へ委託→破砕→チップとして再資源化 ・紙くず→再生事業へ委託→製紙原料及び発電用原料

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別表２管理体制図参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別表参照	
排出量	０ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

・梱包材の簡素化を指導している。
・搬入資材の事前の数量確認による予備材の制限等で発生の抑制を図っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別表参照	
排出量	ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

・協力会社が持込む資材については計画数量を正確に把握し、定着材のままでなく現場に合わせて加工した資材として持込むように指導を継続する。
・発生抑制の好事例の情報収集を行い水平展開を継続して行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別している産業廃棄物の種類[ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ、ｱｽｺﾝｶﾞﾗ、がれき類、ｶﾞﾗｽ陶磁器くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、建設汚泥、紙くず、木くず、廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ]

・各現場とも分別に関する意識は向上してきているが工事用地等の条件により現場によるバラツキもあるので引き続きの指導が必要である。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・分別している産業廃棄物の種類[現状と同じ]
・着工前の施工方針会議において仮設計画図等を基に分別ボックスの設置場所と分別品目を確認し、着工時より分別を進める。
・新規入場時教育時に廃棄物の分別に関しても教育指導し、協力会社の作業員へも協力要請を継続する。

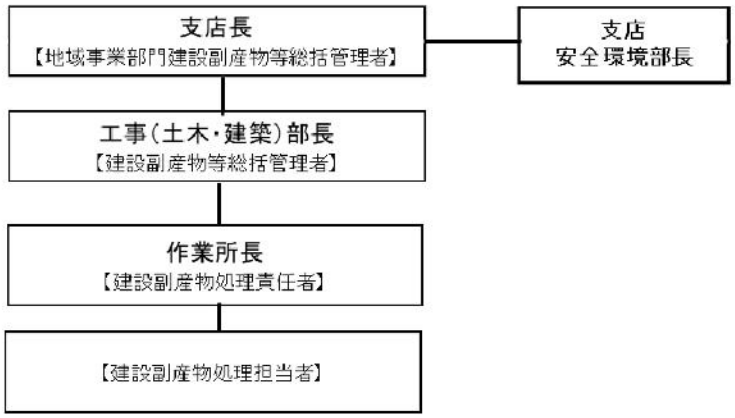
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・当社は産業廃棄物の処理施設を有していない為、発生した廃棄物の処理については全てを処理業者へ委ねている。処理業者へ委託する場合は許可証を確認のうえ委託契約書を締結し、写しを支店へ提出させ委託先や契約内容を確認している。
・委託契約した後に廃棄物を排出する場合はマニュフェストを使用して最終</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・法改正や新法の制定については、その都度作業所へ通知し委託契約上の不備が生じないよう周知を継続する。
・解体廃材や汚泥については排出期間中に最低１回は収集運搬車両の追跡調査を実施し、併せて中間処理施設の状況の確認を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添２ 管理体制図


支店長
【地域事業部門建設副産物等総括管理者】
支店
安全環境部長
工事（土木・建築）部長
【建設副産物等総括管理者】
作業所長
【建設副産物処理責任者】
【建設副産物処理担当者】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
排出量	684.28 t	105.19 t	19.70 t	805.39 t	6.79 t	208.56 t	2,836.07 t	1,420.10 t	623.26 t	1.82 t	13.73 t	1.48 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
排出量	615.86 t	94.67 t	17.73 t	724.85 t	6.11 t	187.70 t	2,552.46 t	1,278.09 t	560.93 t	1.64 t	12.36 t	1.33 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	684.28 t	105.19 t	19.70 t	805.39 t	6.79 t	208.56 t	2,836.07 t	1,420.10 t	623.26 t	1.82 t	13.73 t	1.48 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.34 t	102.56 t	19.70 t	157.31 t	6.79 t	0.00 t	0.00 t	2.22 t	11.84 t	1.82 t	10.27 t	1.48 t
再生利用業者への処理委託量	1.18 t	105.19 t	19.70 t	663.32 t	6.79 t	208.56 t	1,099.88 t	1,333.52 t	623.26 t	1.82 t	13.73 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	615.86 t	94.67 t	17.73 t	724.85 t	6.11 t	187.70 t	2,552.46 t	1,278.09 t	560.93 t	1.64 t	12.36 t	1.33 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.31 t	92.30 t	17.73 t	141.58 t	6.11 t	0.00 t	0.00 t	2.00 t	10.66 t	1.64 t	9.24 t	1.33 t
再生利用業者への処理委託量	1.07 t	94.67 t	17.73 t	596.99 t	6.11 t	187.70 t	989.89 t	1,200.17 t	560.93 t	1.64 t	12.36 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月11日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　101-0051

住所 東京都千代田区神田神保町1丁目105番地

法人名 東洋建設株式会社 関東支店

代表者 藤井 広記

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6361-5501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋建設株式会社 関東支店
事業場の所在地	東京都千代田区神保町1丁目105番地 神保町三井ビルディング10F
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

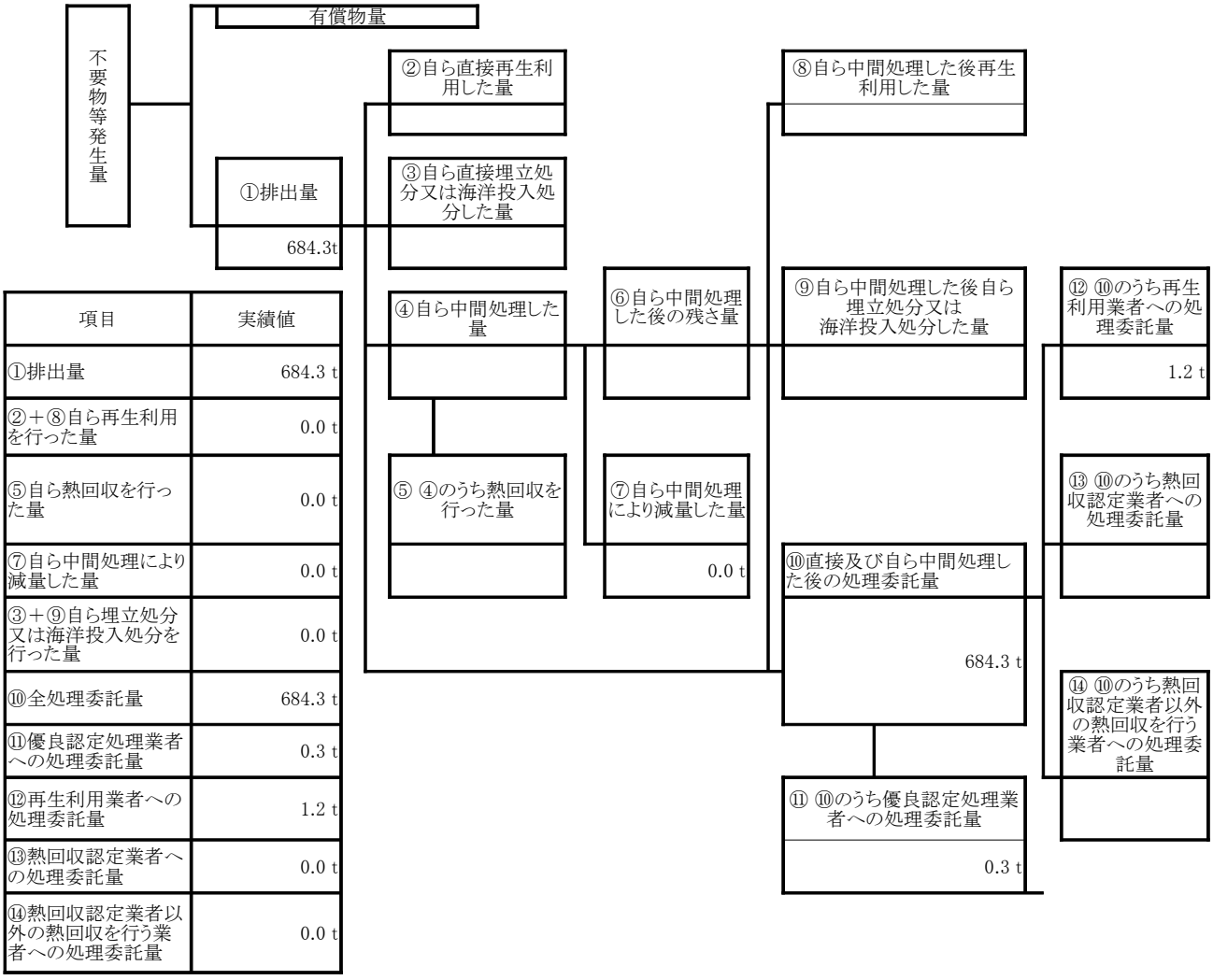
項目	目標値	項目	目標値
排出量	700 t	全処理委託量	700 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	697.8 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 汚泥 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

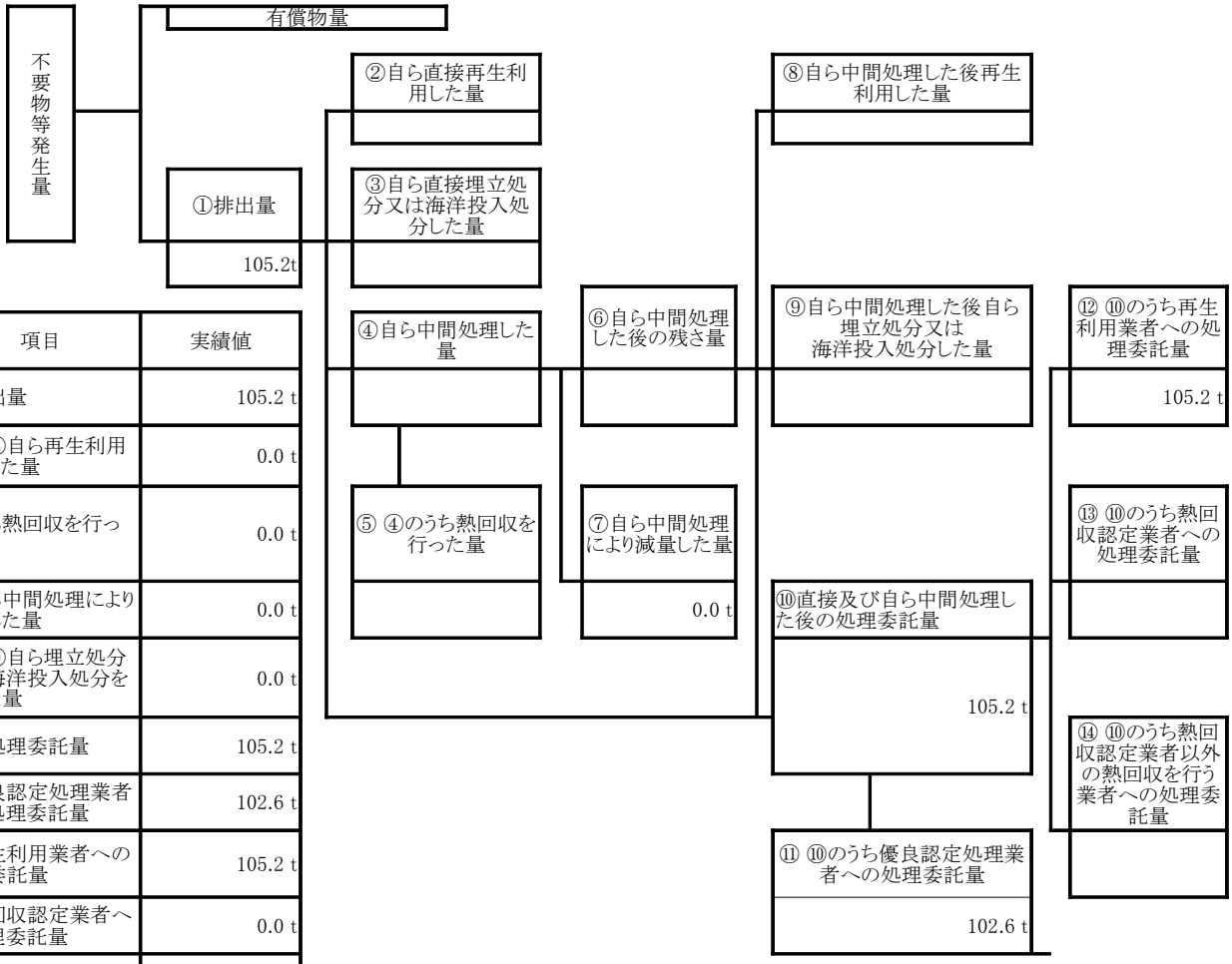


項目	実績値
①排出量	684.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	684.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



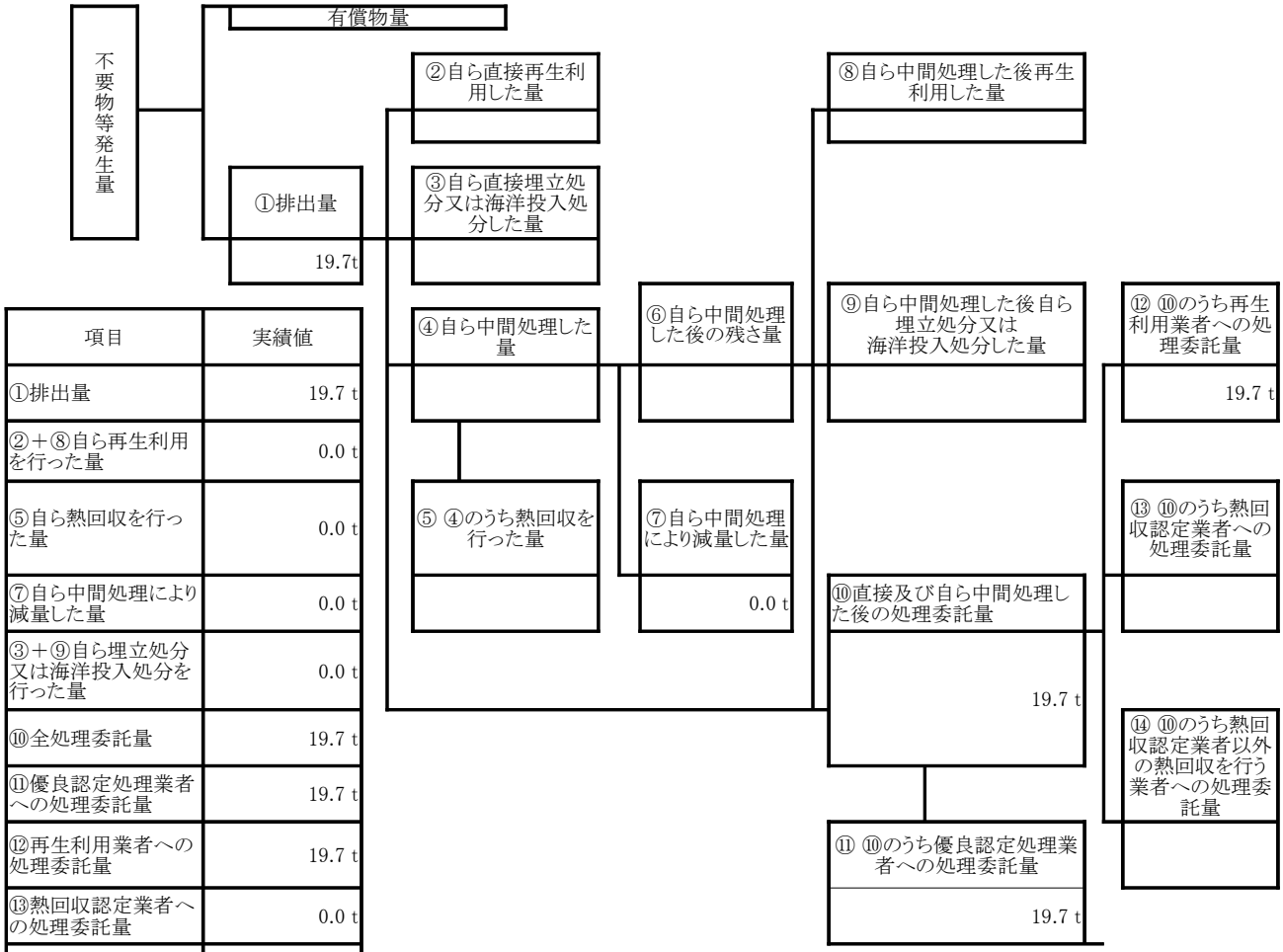
項目	実績値
①排出量	105.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	105.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	102.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	105.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



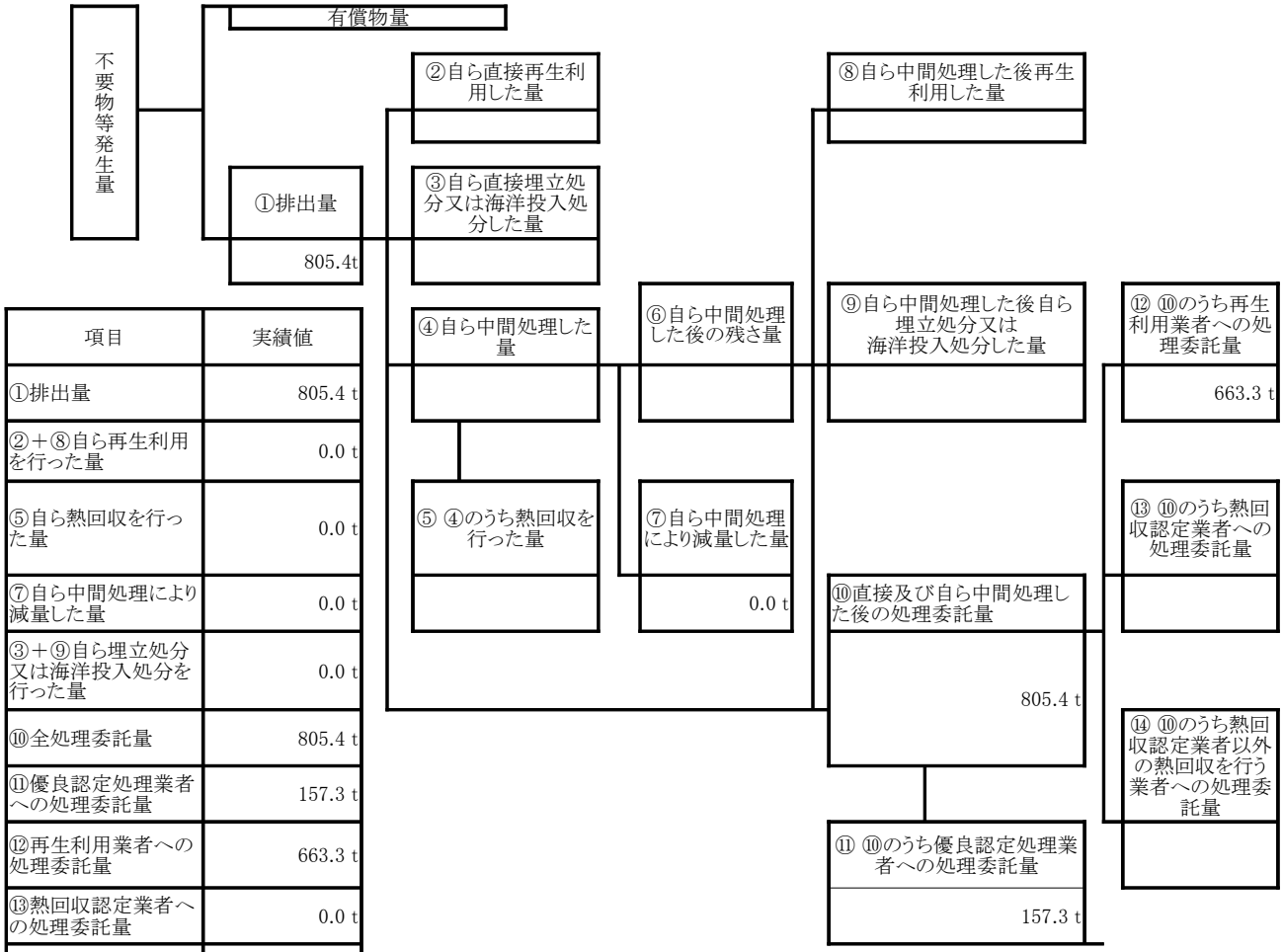
項目	実績値
①排出量	19.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



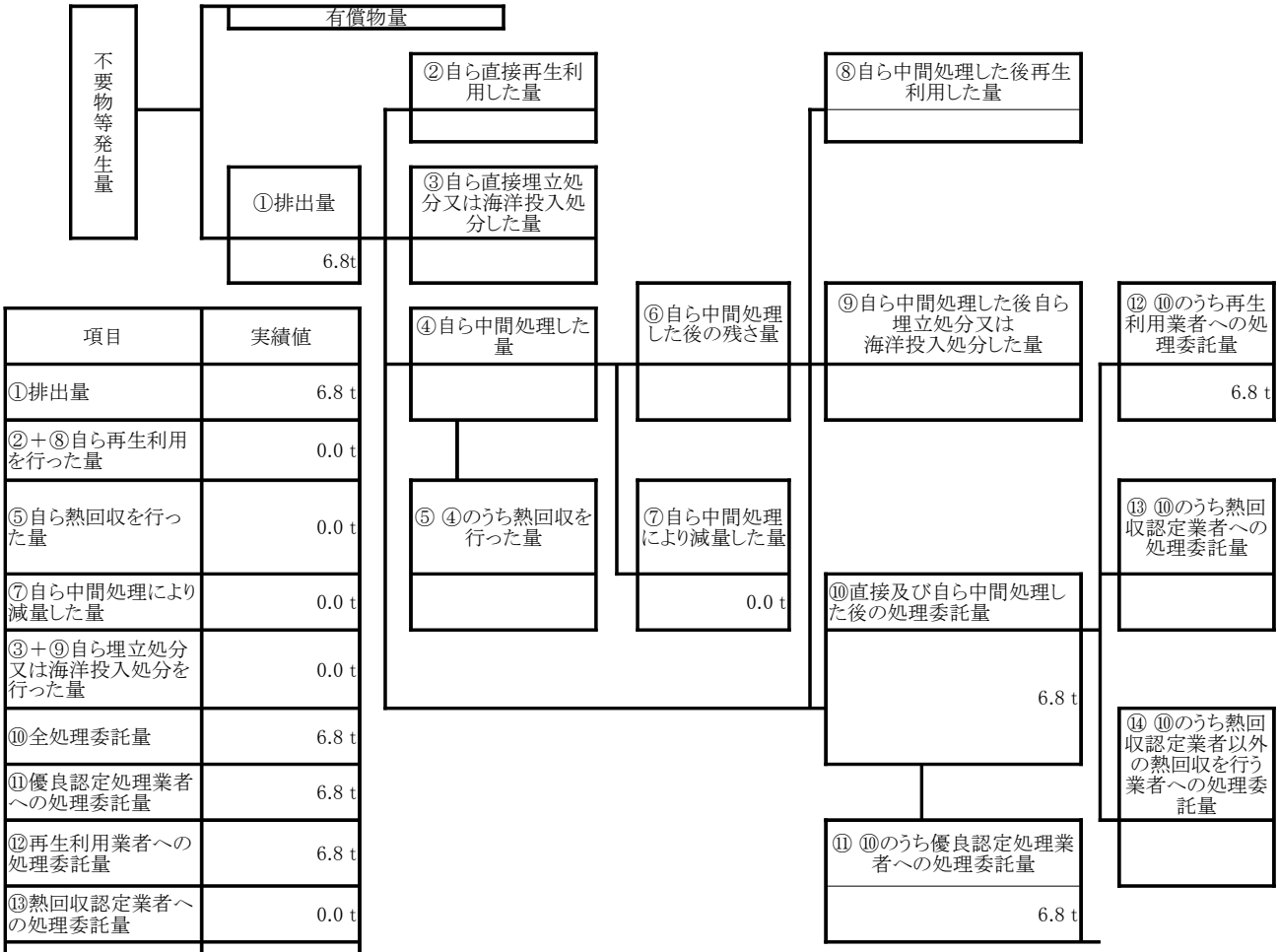
項目	実績値
①排出量	805.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	805.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	157.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	663.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



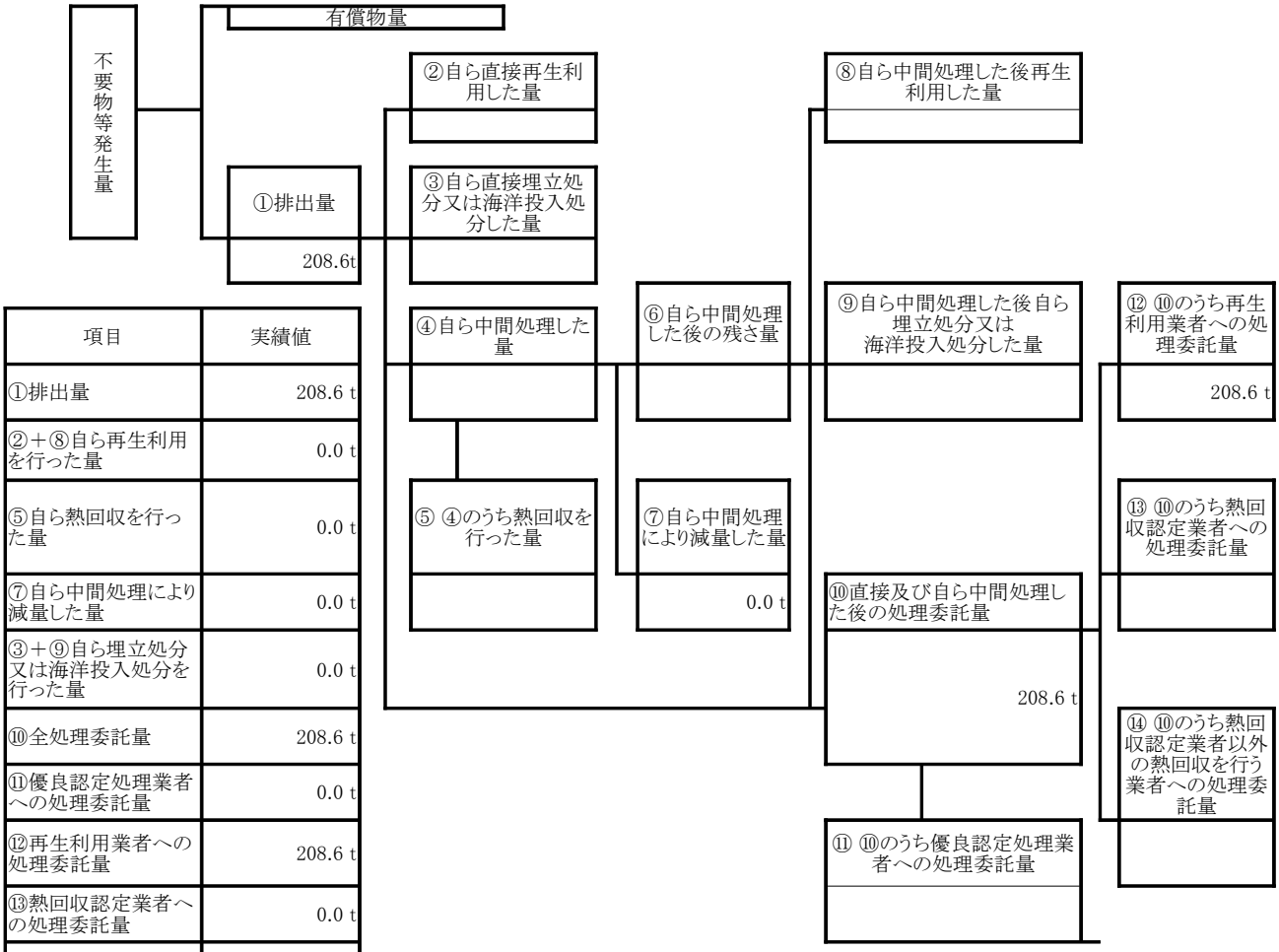
項目	実績値
①排出量	6.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス陶磁器等くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

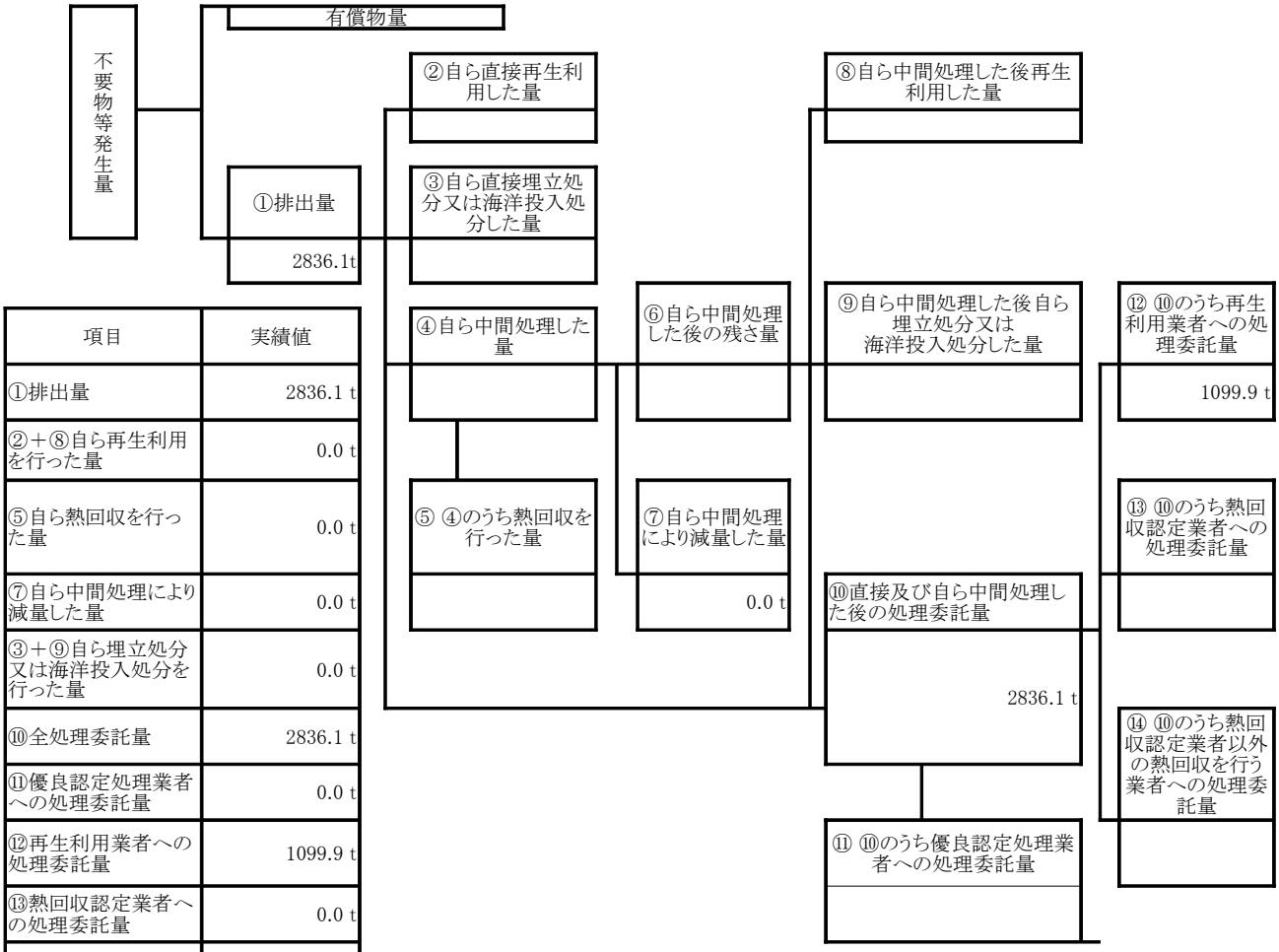


項目	実績値
①排出量	208.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	208.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	208.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

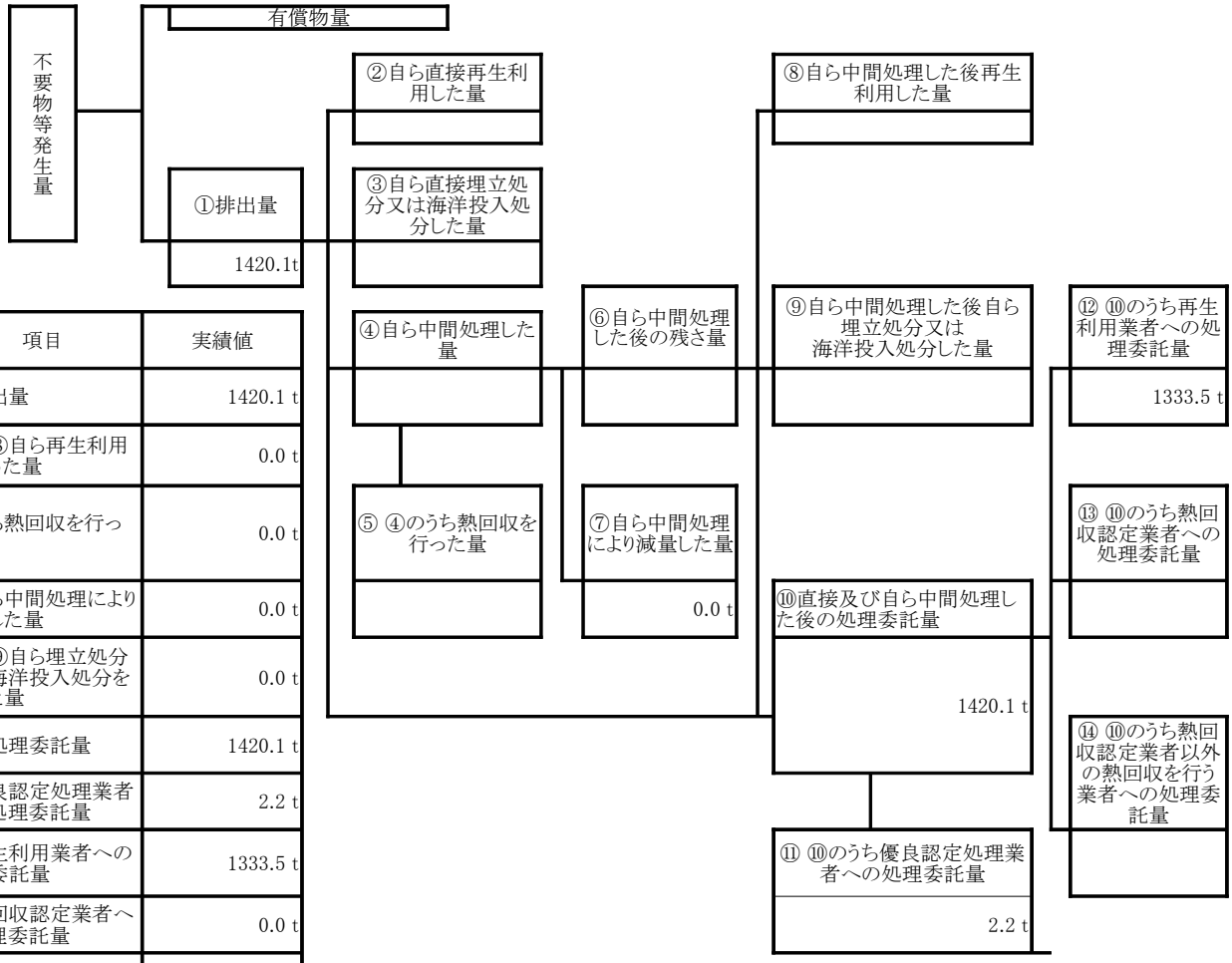


項目	実績値
①排出量	2836.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2836.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1099.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: アス・コン片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

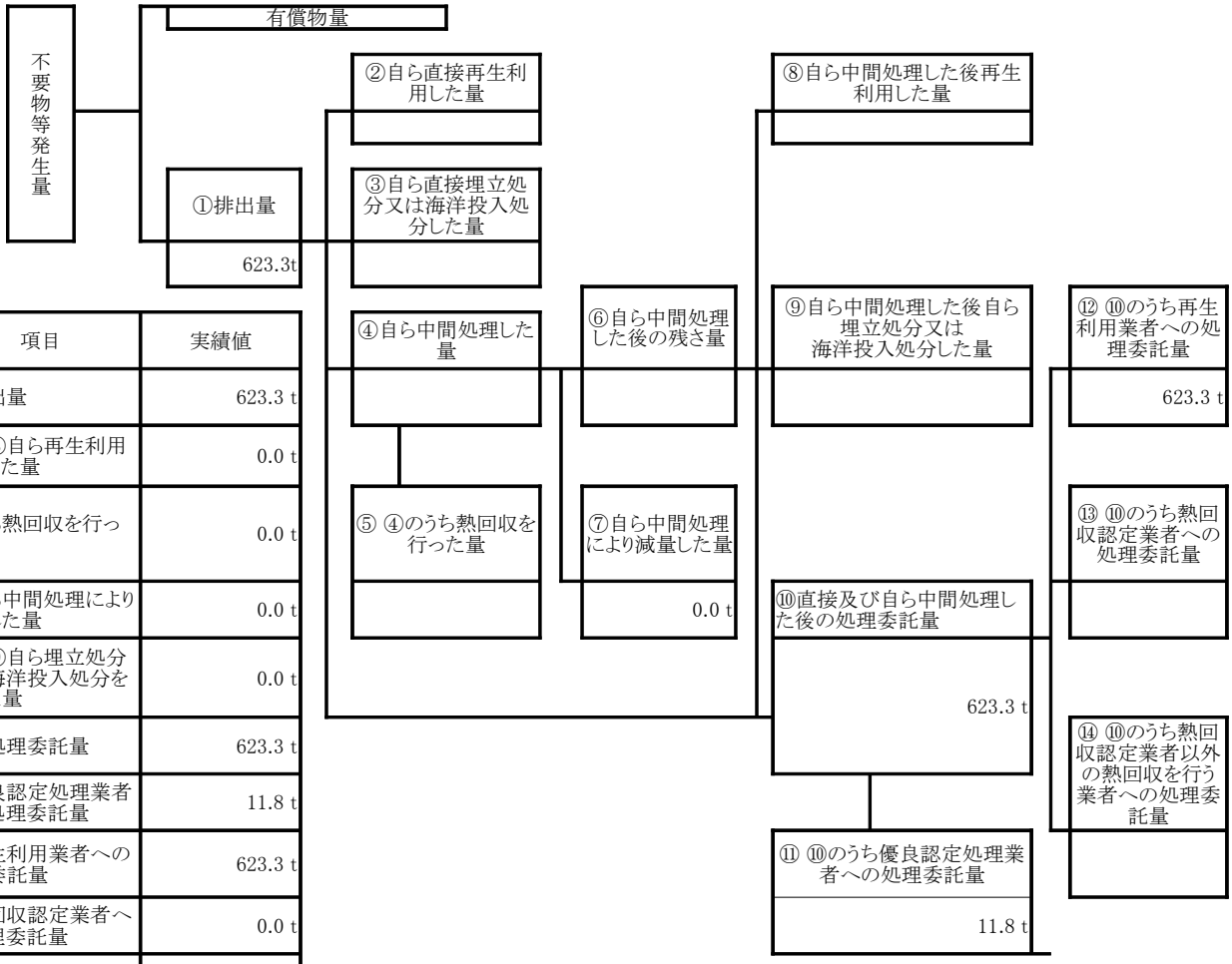


項目	実績値
①排出量	1420.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1420.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1333.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

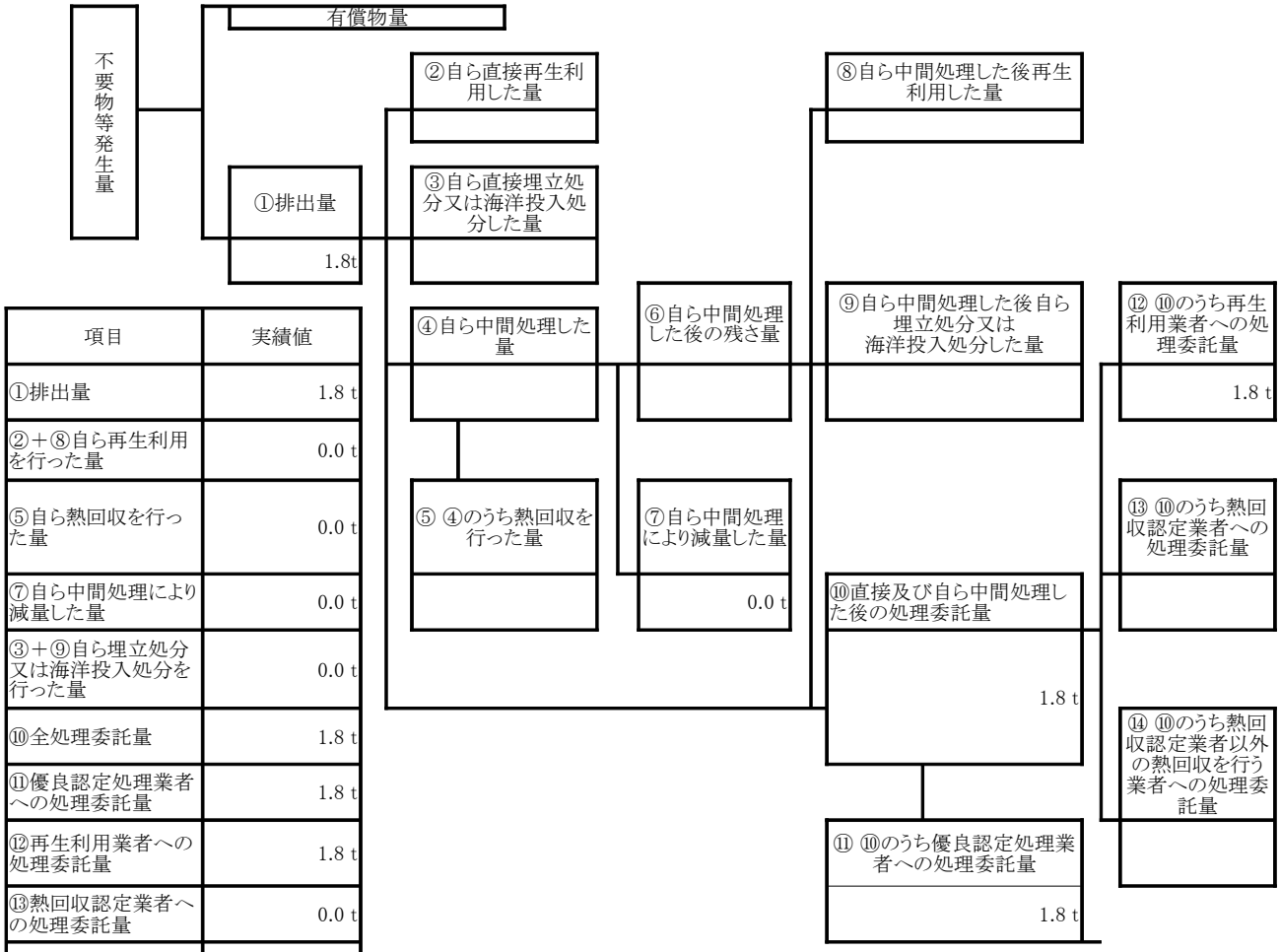


項目	実績値
①排出量	623.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	623.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	623.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（安定型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

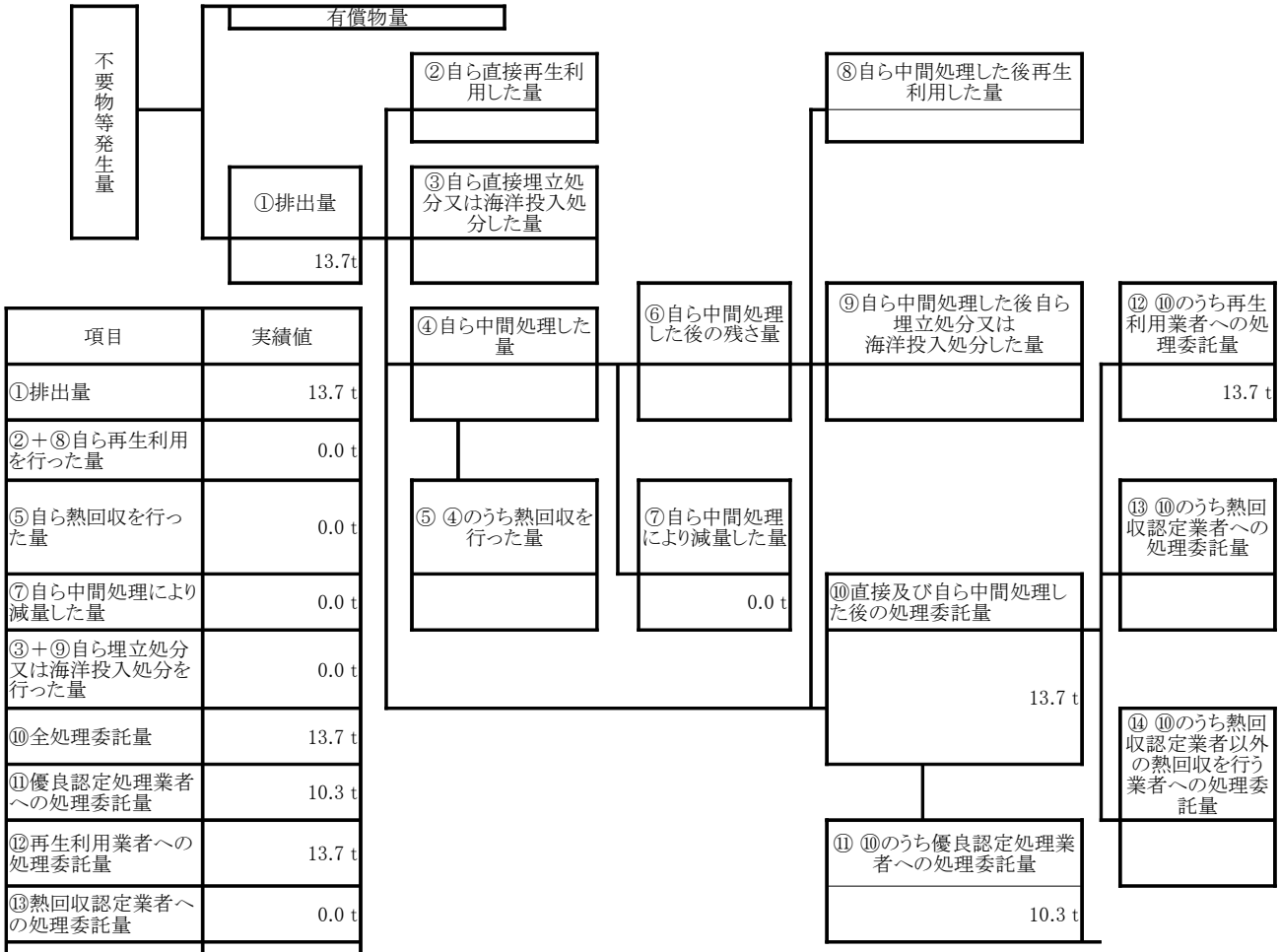


項目	実績値
①排出量	1.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

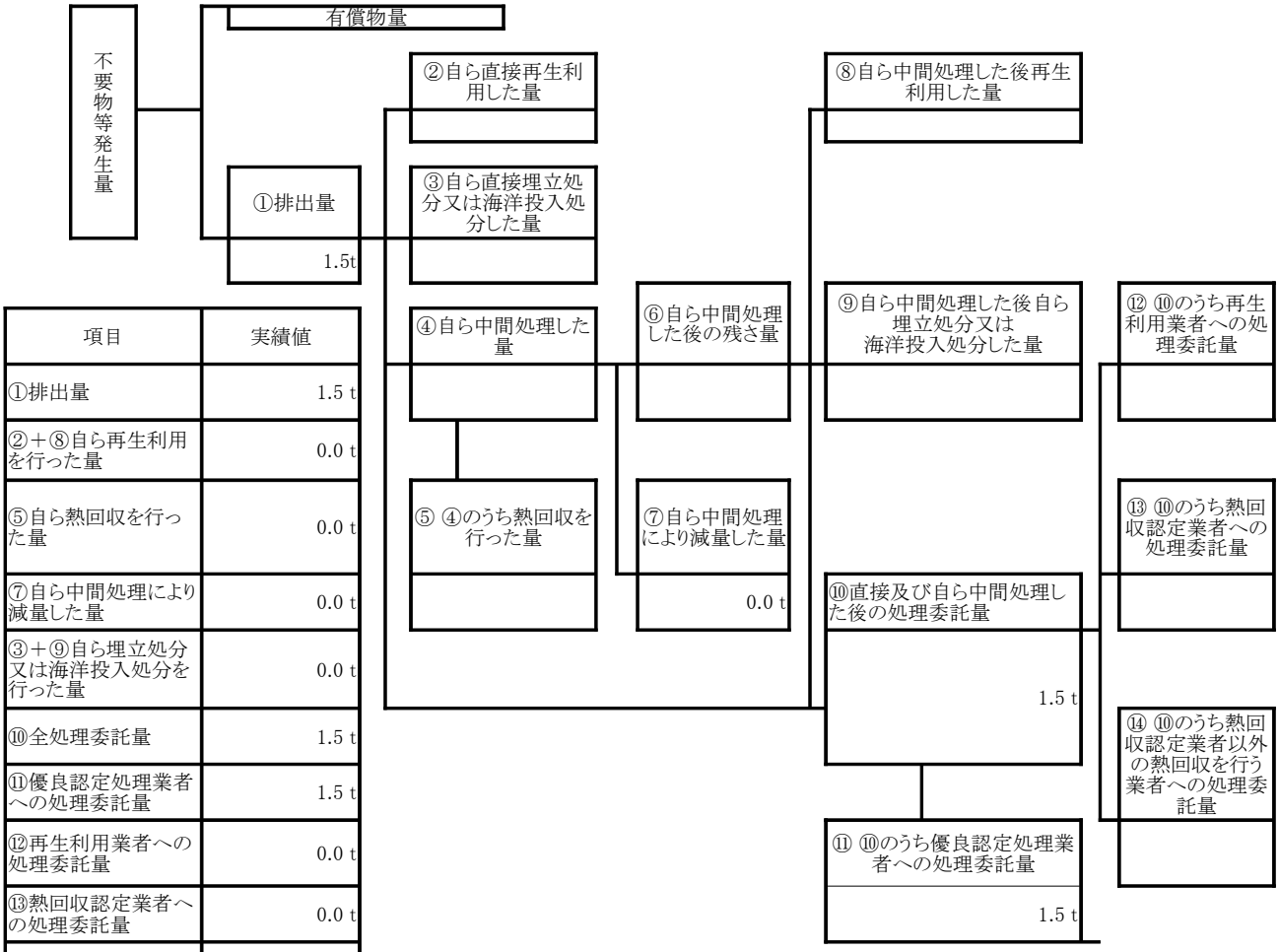


項目	実績値
①排出量	13.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



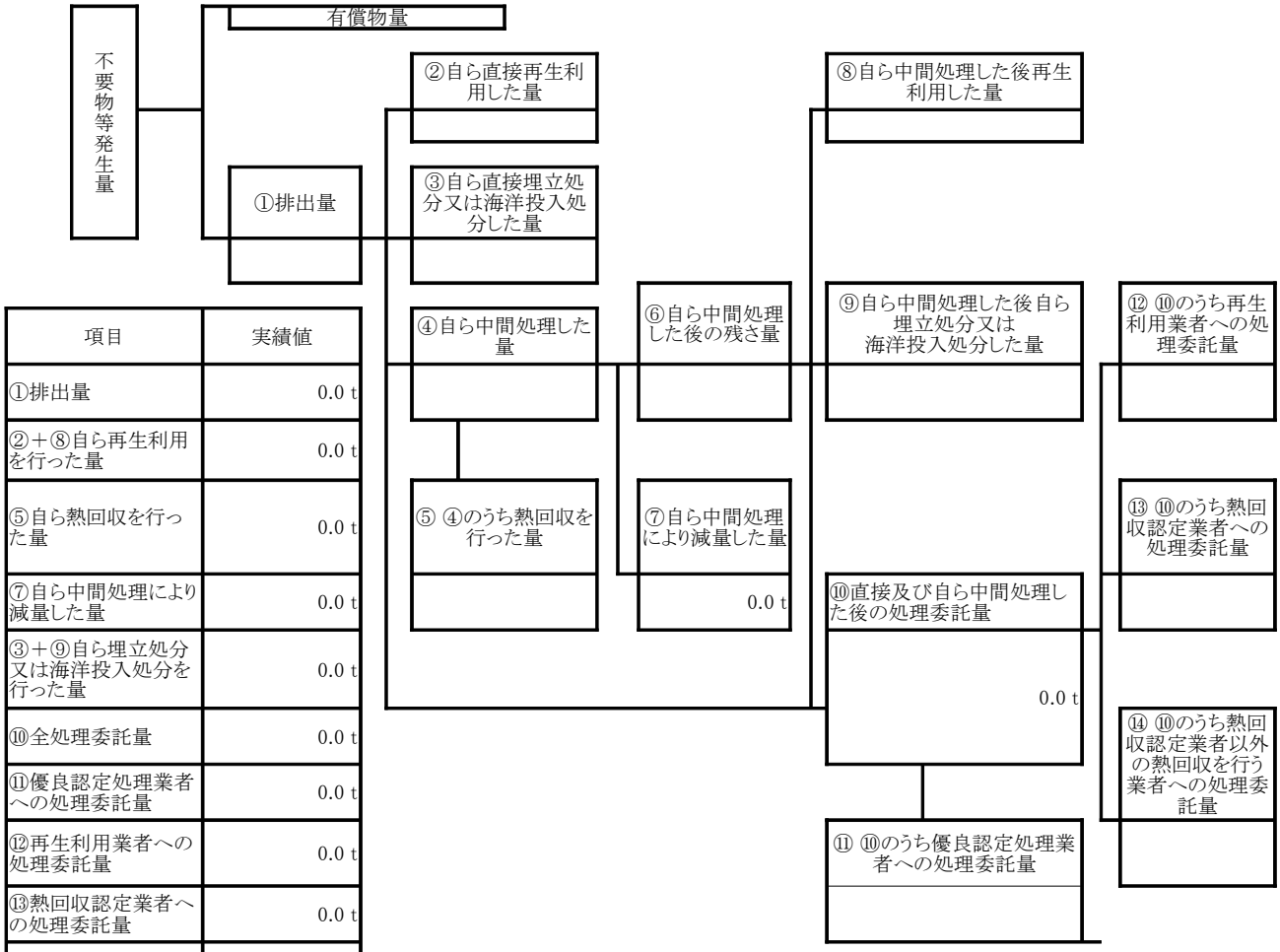
項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



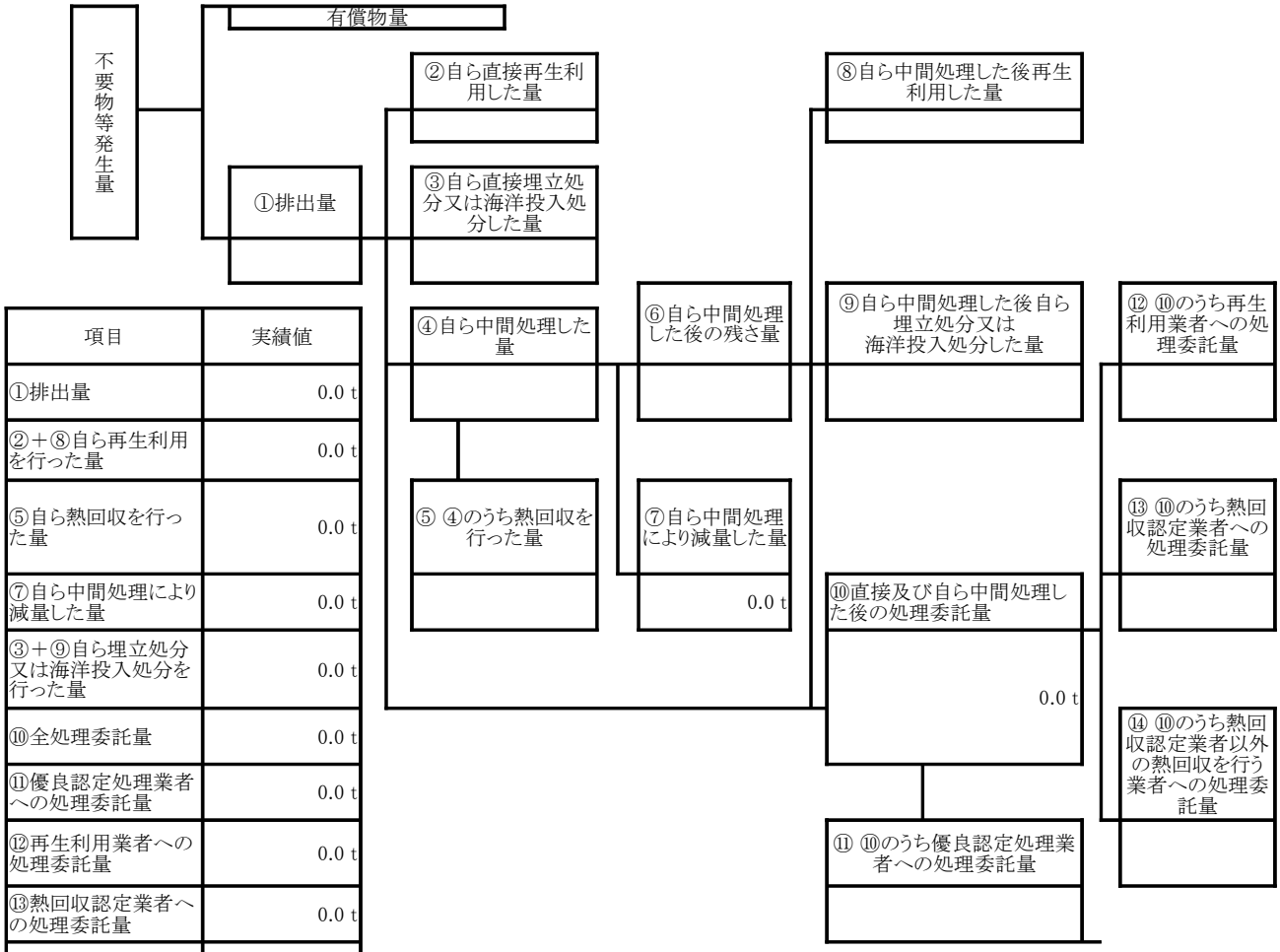
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



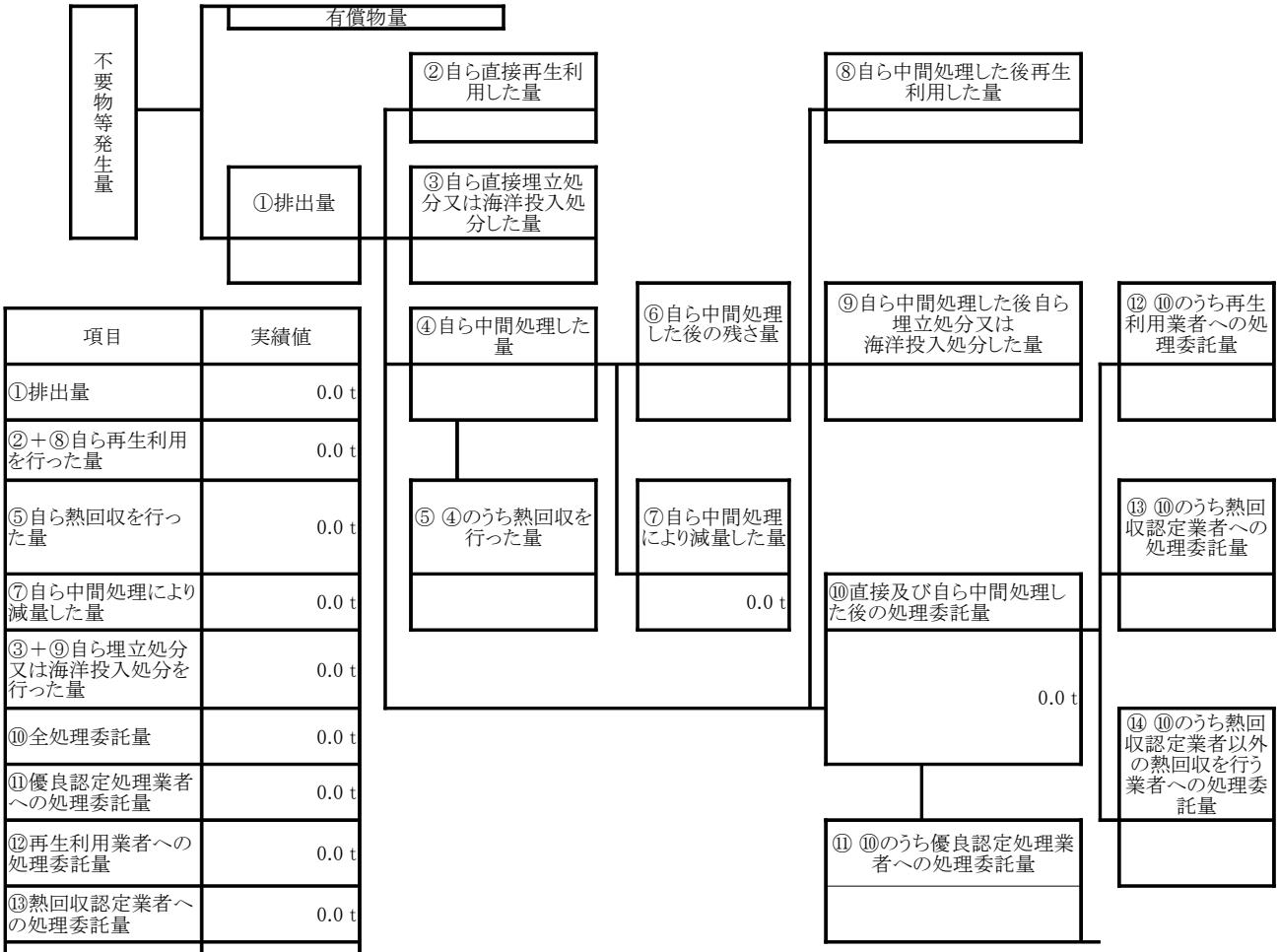
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



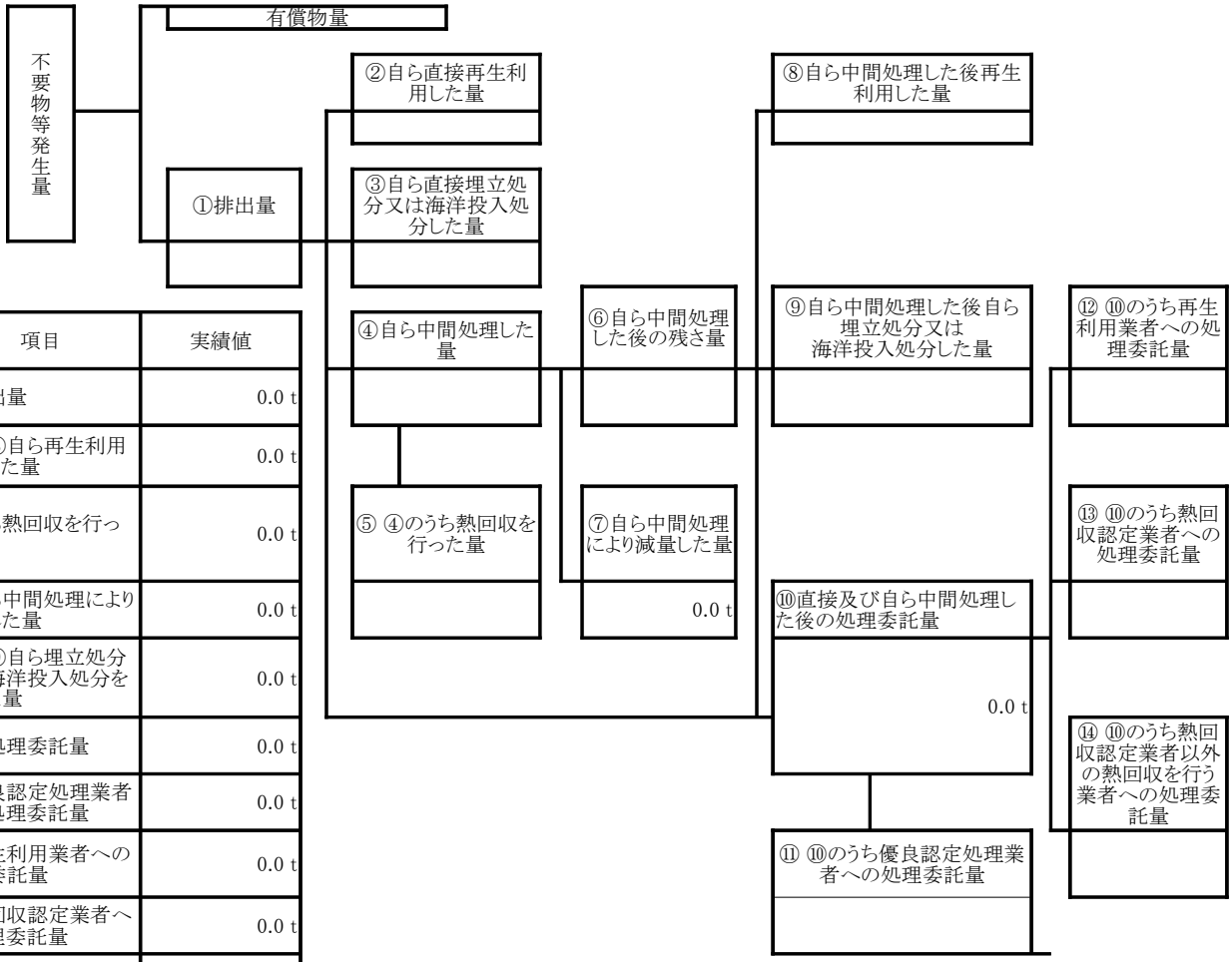
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



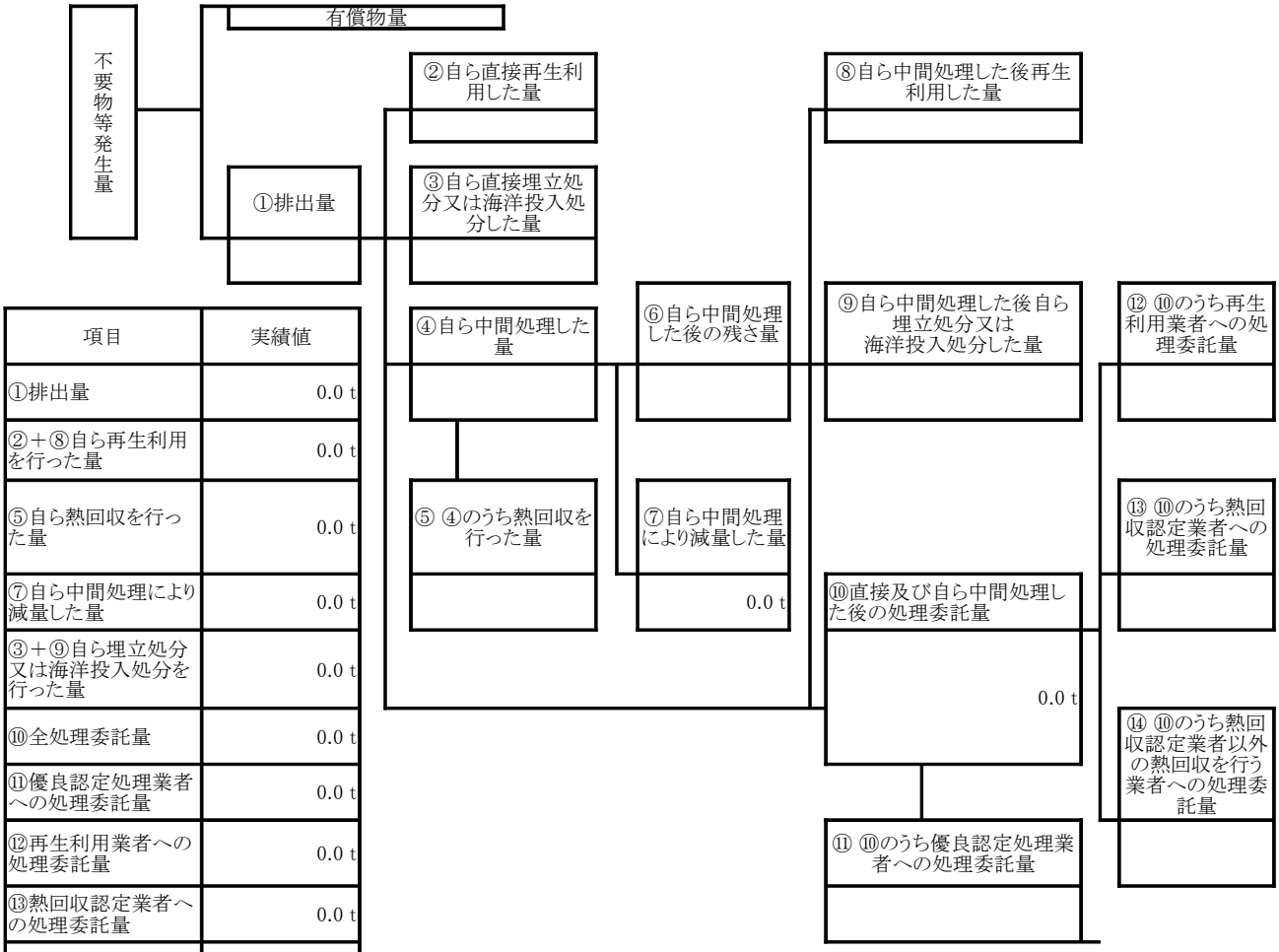
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



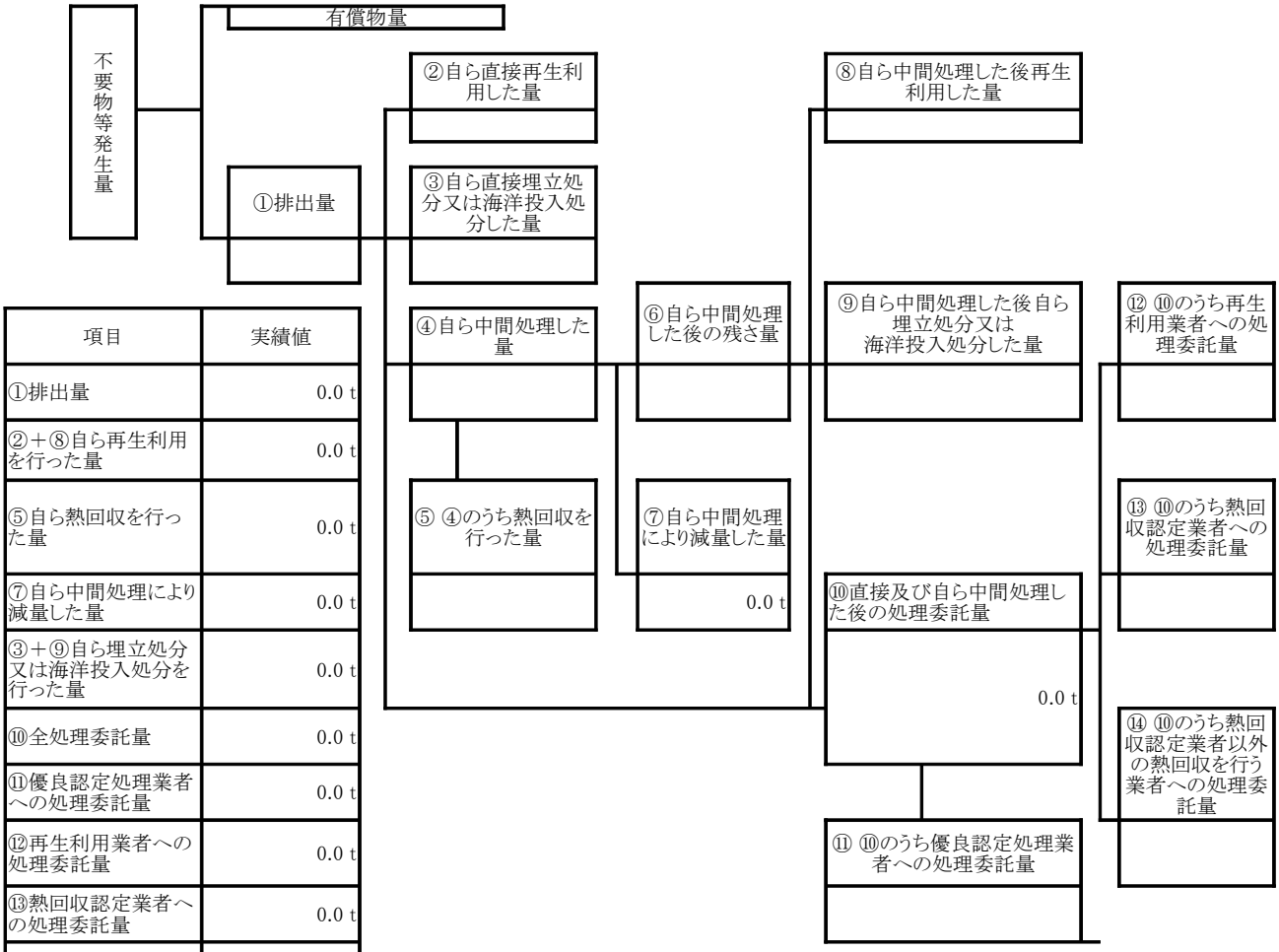
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



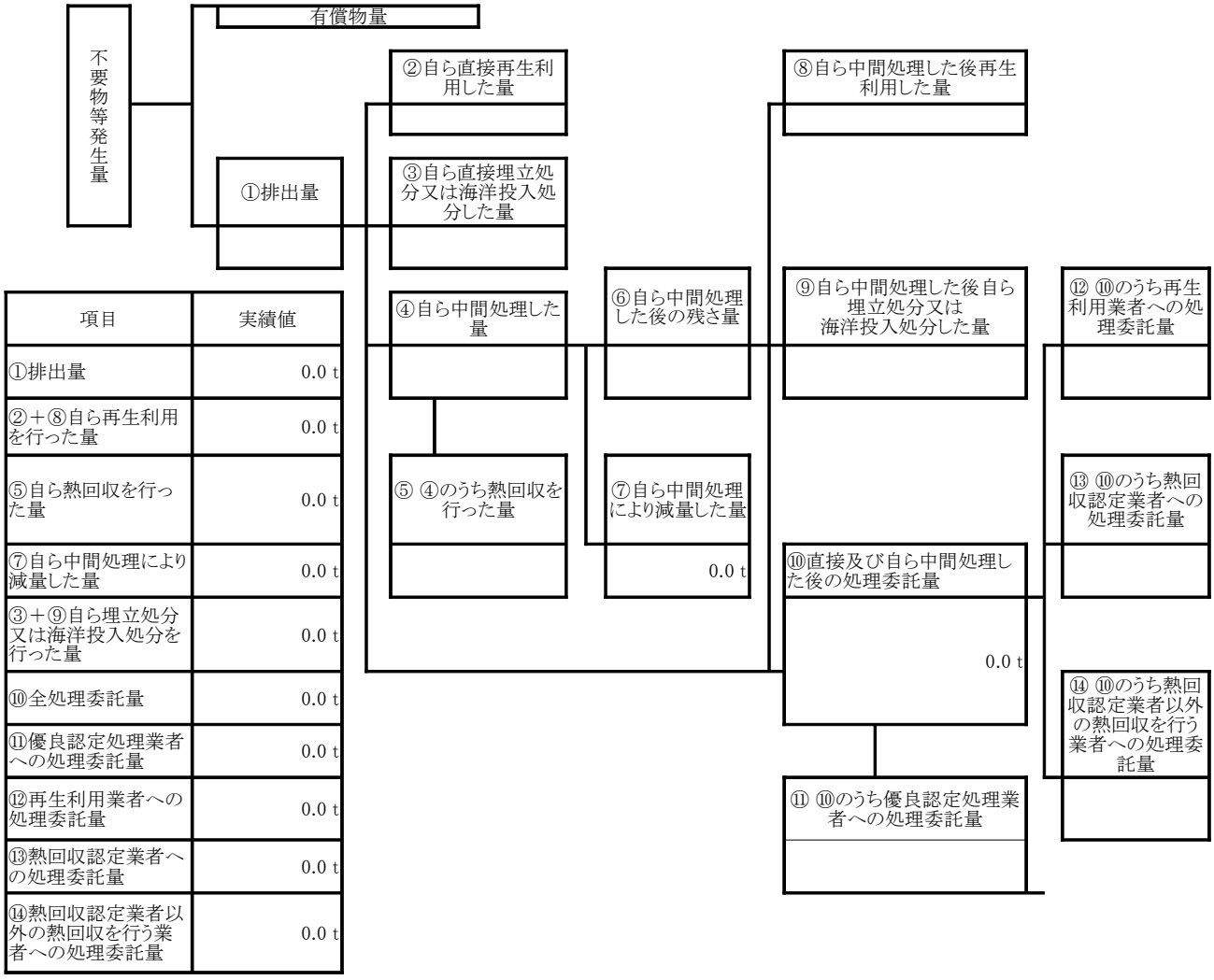
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



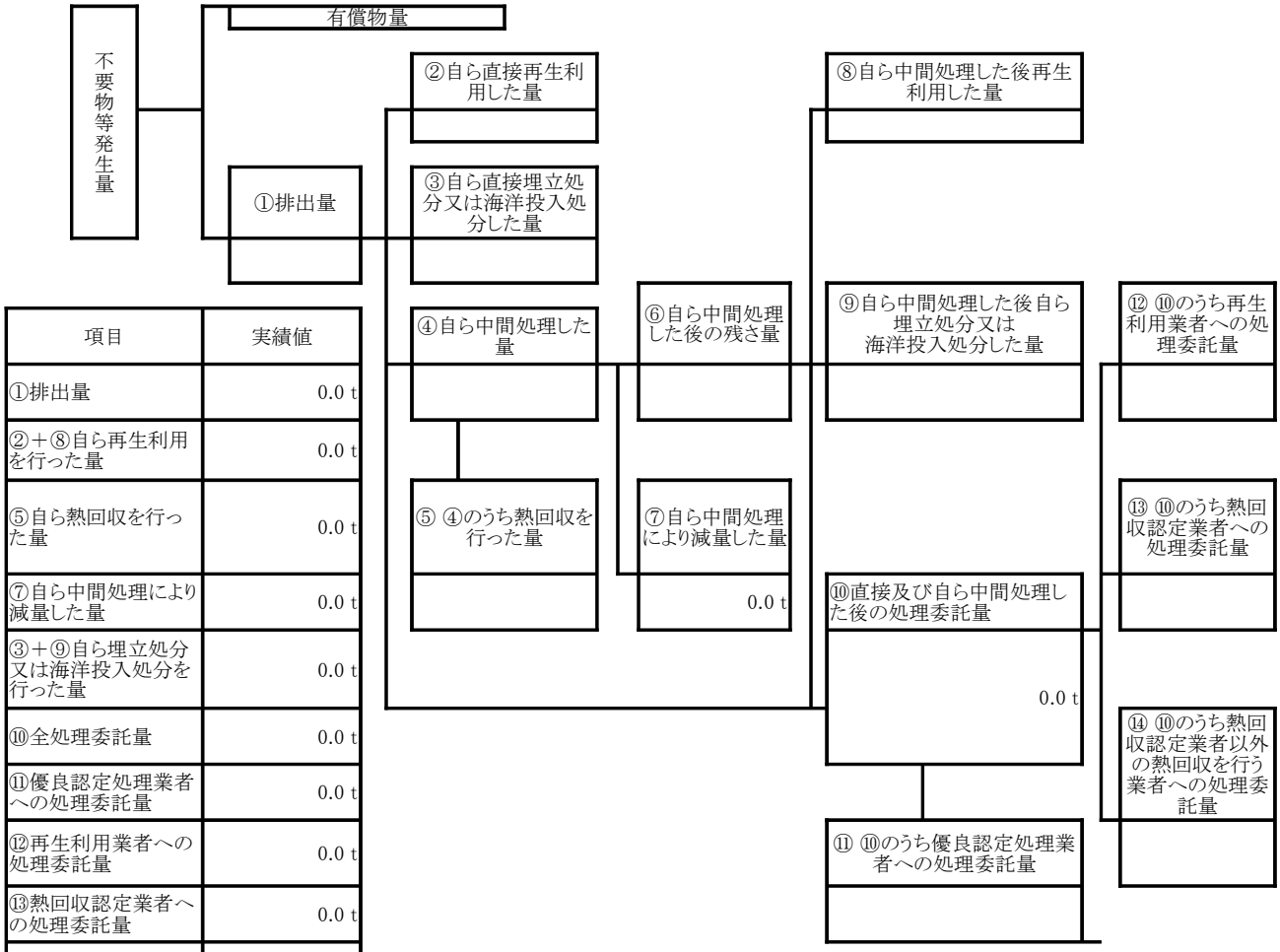
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

千葉県知事 殿

提出者　〒101-0051

住 所　東京都千代田区神田神保町1-105三井ビルディング10階

氏 名　東洋建設株式会社　関東建築支店

常務執行役員関東建築支店長　後藤　孝之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6361-5554

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋建設株式会社　関東建築支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田神保町1-105
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業　総合工事業
②事業の規模	令和５年度完成工事高　2,627 百万円
③従業員数	129名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・環境マネージメントシステムの運用により、目標値を設定し廃棄物縮減を図る
・全工期を通じ、産業廃棄物分別BOX配置を指導
・新築工事竣工間際での混合廃棄物発生増加を指導
・梱包材の簡素化の指導

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・環境マネージメントシステムの継続運用による廃棄物の発生抑制
・全工期を通じ、産業廃棄物分別BOX配置を指導
・コンクリート片、廃アスファルトは再生利用業者と委託契約
・梱包材の簡素化の指導　　・予備材を制限する様に指導
・可能な限り分別回収をおこない産廃削減の徹底指導

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、廃油、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、石綿含有廃棄物、その他に分別を実施
・分別BOX設置による分別回収

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、廃油、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、石綿含有廃棄物、その他に分別を実施
・着工時は混合廃棄物用BOXを極力設置しない

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・再資源化に力を入れてる業者の選別を行い、再資源化向上の指導</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
・再資源化に力を入れてる業者の選別を行い、再資源化向上の
指導</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

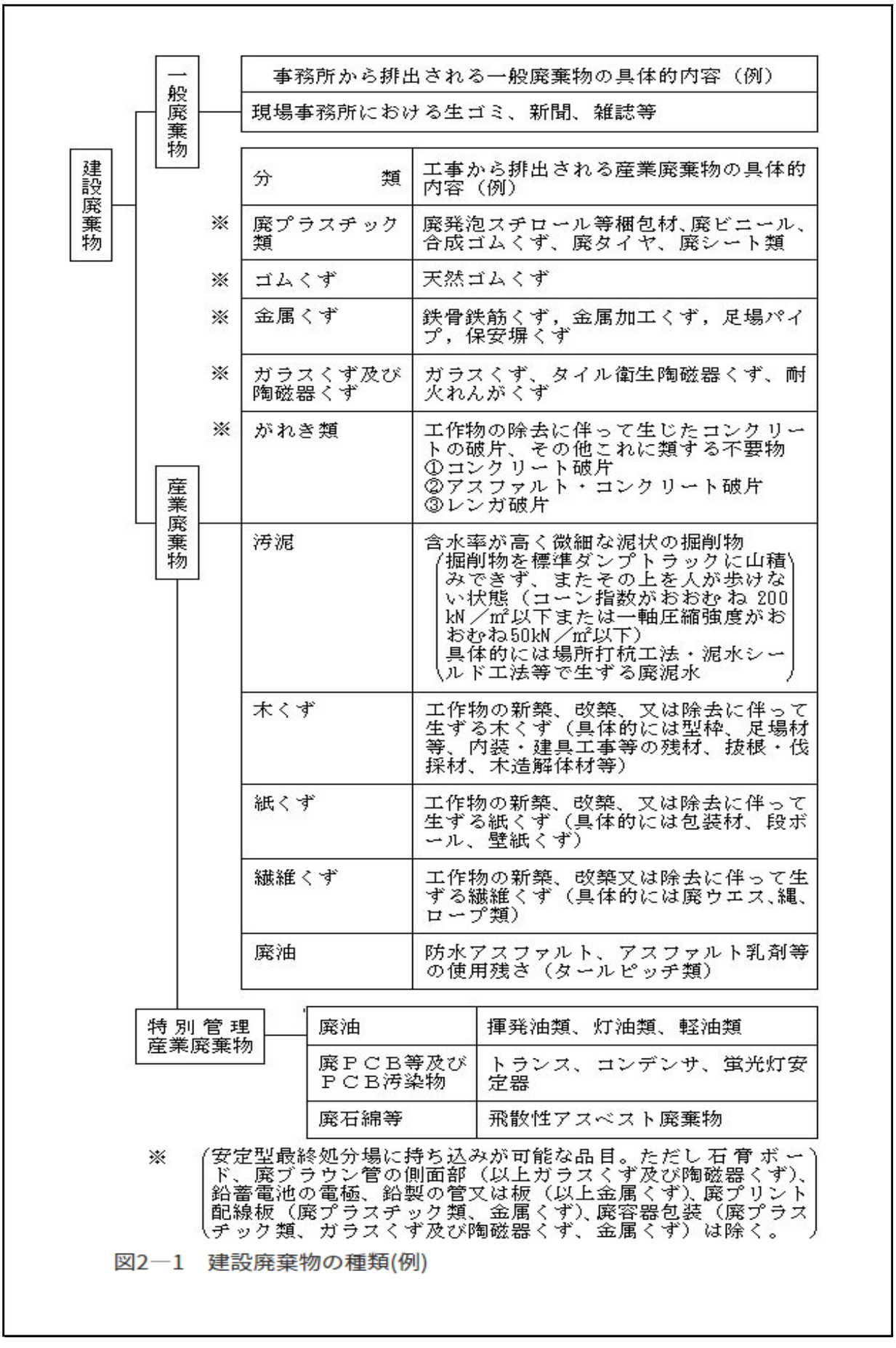
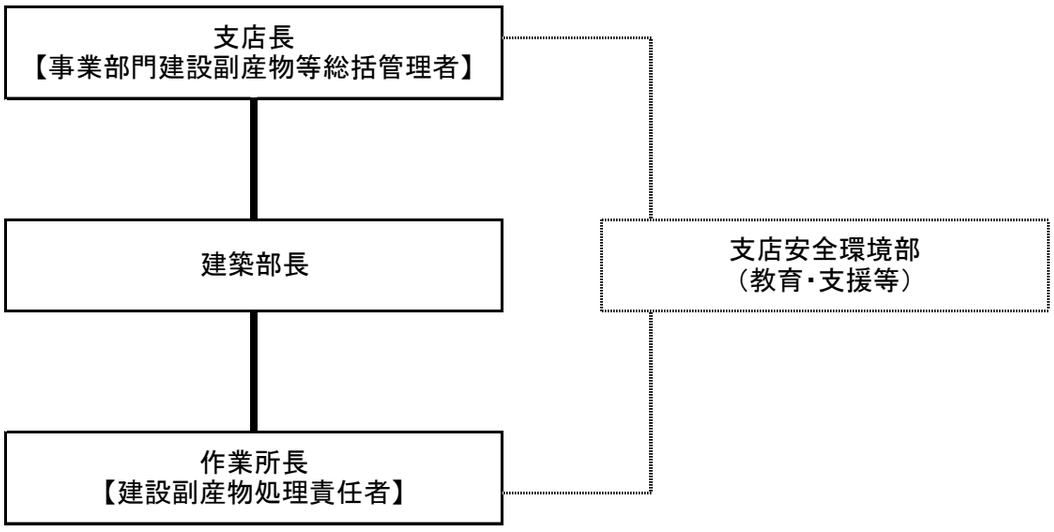


図2―1　建設廃棄物の種類(例)

別添２ 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
排　出　量	5.50 t	1.42 t	0.06 t	147.08 t	24.99 t	136.28 t	6.45 t	154.20 t	87.20 t	4,619.72 t	1,509.77 t	160.38 t	75.66 t	0.15 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
排　出　量	4.95 t	1.28 t	0.05 t	132.37 t	22.49 t	122.65 t	5.81 t	138.78 t	78.48 t	4,157.75 t	1,358.79 t	144.34 t	68.09 t	0.14 t				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
全処理委託量	5.50 t	1.42 t	0.06 t	147.08 t	24.99 t	136.28 t	6.45 t	154.20 t	87.20 t	4,619.72 t	1,509.77 t	160.38 t	75.66 t	0.15 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	124.50 t	18.84 t	77.31 t	5.88 t	40.20 t	18.20 t	222.00 t	420.32 t	141.64 t	25.27 t	0.15 t				
再生利用業者への処理委託量	5.50 t	1.42 t	0.06 t	147.08 t	24.99 t	136.28 t	6.45 t	154.20 t	87.20 t	4,619.72 t	1,509.77 t	160.38 t	75.66 t	0.15 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品				
全処理委託量	4.95 t	1.28 t	0.05 t	132.37 t	22.49 t	122.65 t	5.81 t	138.78 t	78.48 t	4,157.75 t	1,358.79 t	144.34 t	68.09 t	0.14 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	112.05 t	16.96 t	69.58 t	5.29 t	36.18 t	16.38 t	199.80 t	378.29 t	127.48 t	22.74 t	0.14 t				
再生利用業者への処理委託量	4.95 t	1.28 t	0.05 t	132.37 t	22.49 t	122.65 t	5.81 t	138.78 t	78.48 t	4,157.75 t	1,358.79 t	144.34 t	68.09 t	0.14 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月14日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区神田神保町1-105三井ビルディング10階

氏 名　東洋建設株式会社　関東建築支店

常務執行役員関東建築支店長　後藤　孝之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6361-5554

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋建設株式会社　関東建築支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田神保町1-105
事業の種類	建設業　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

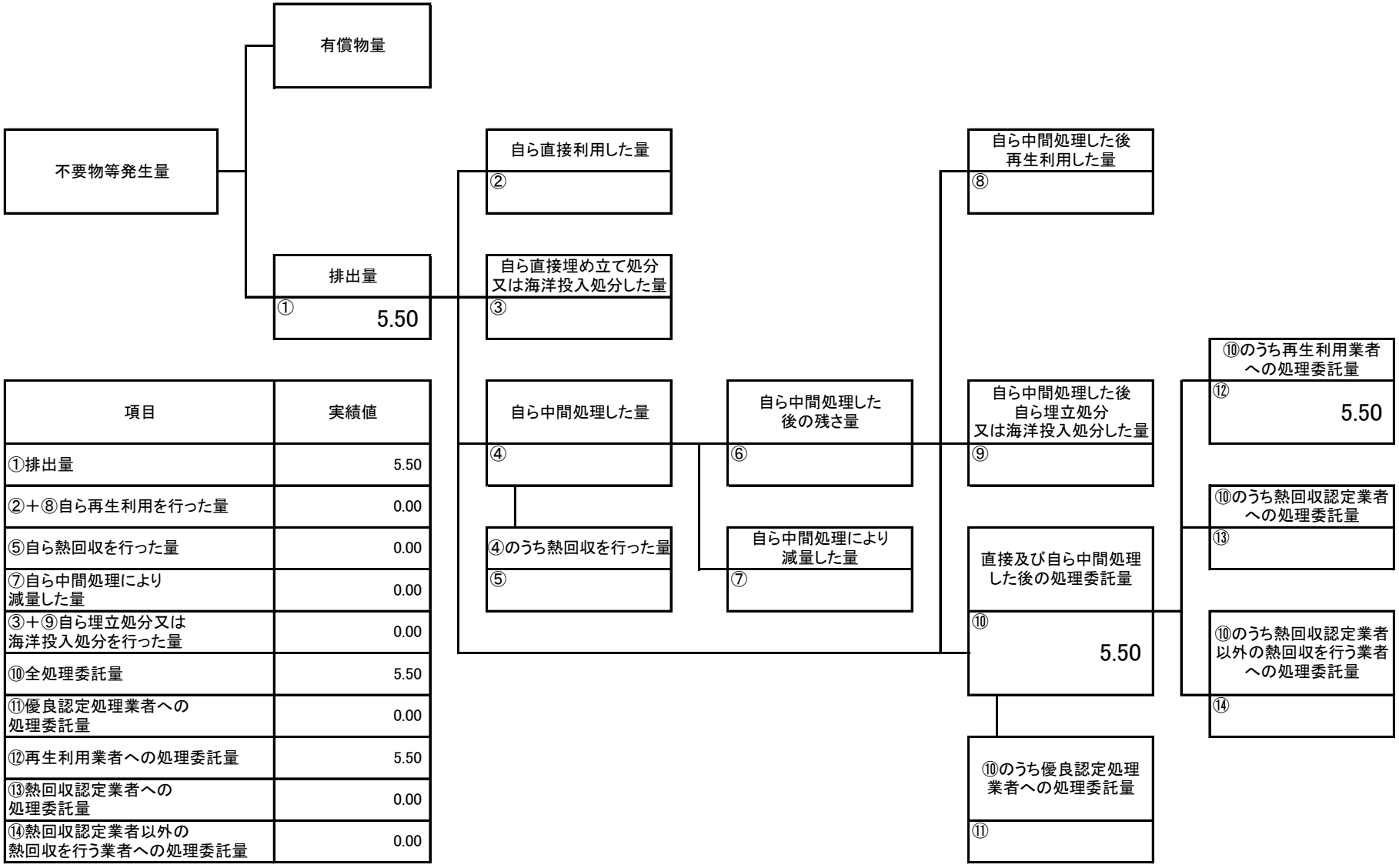
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,580.00 t	全処理委託量	1,580.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	320.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,462.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

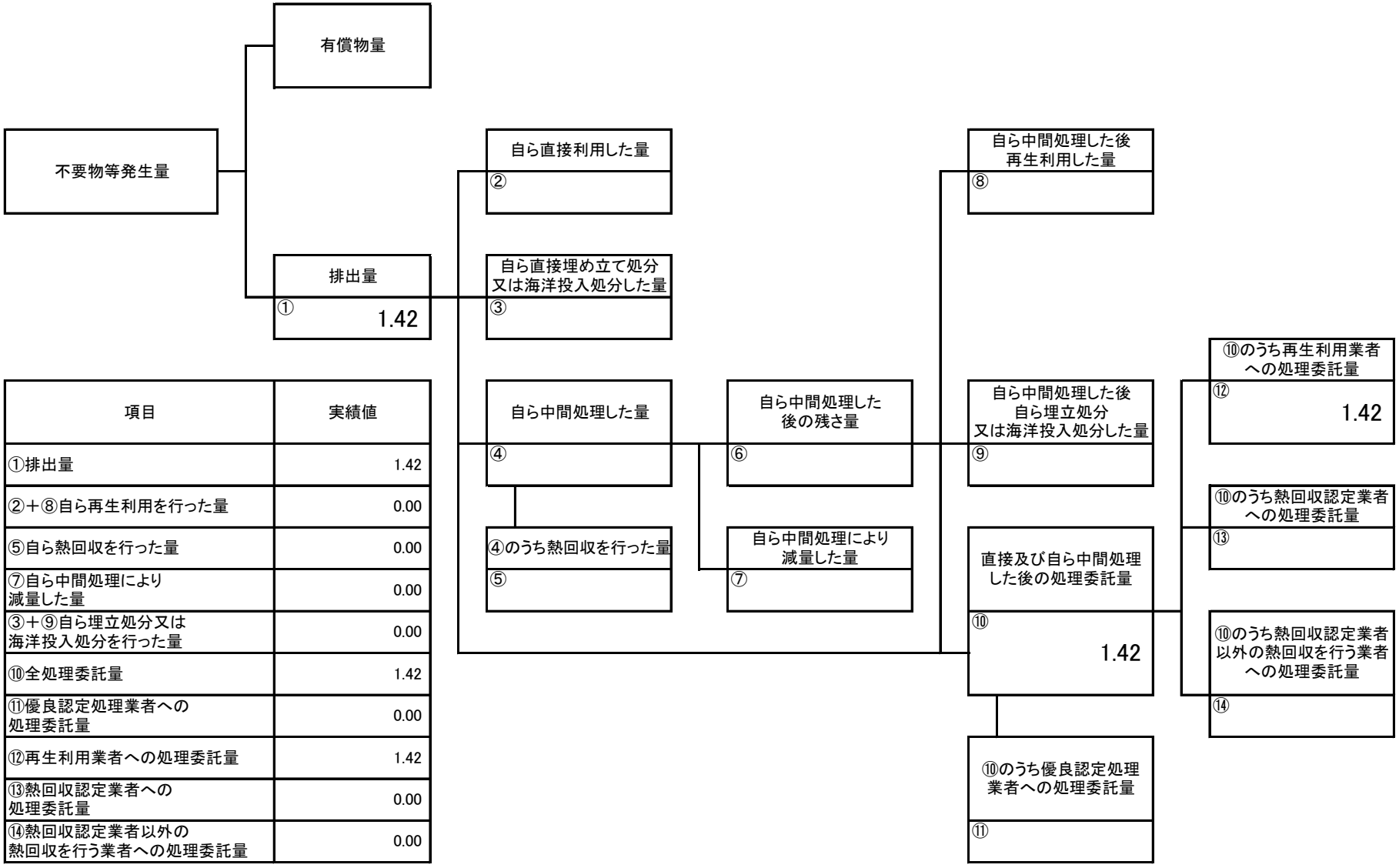


項目	実績値
①排出量	5.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	5.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃油 ）

（単位：トン）

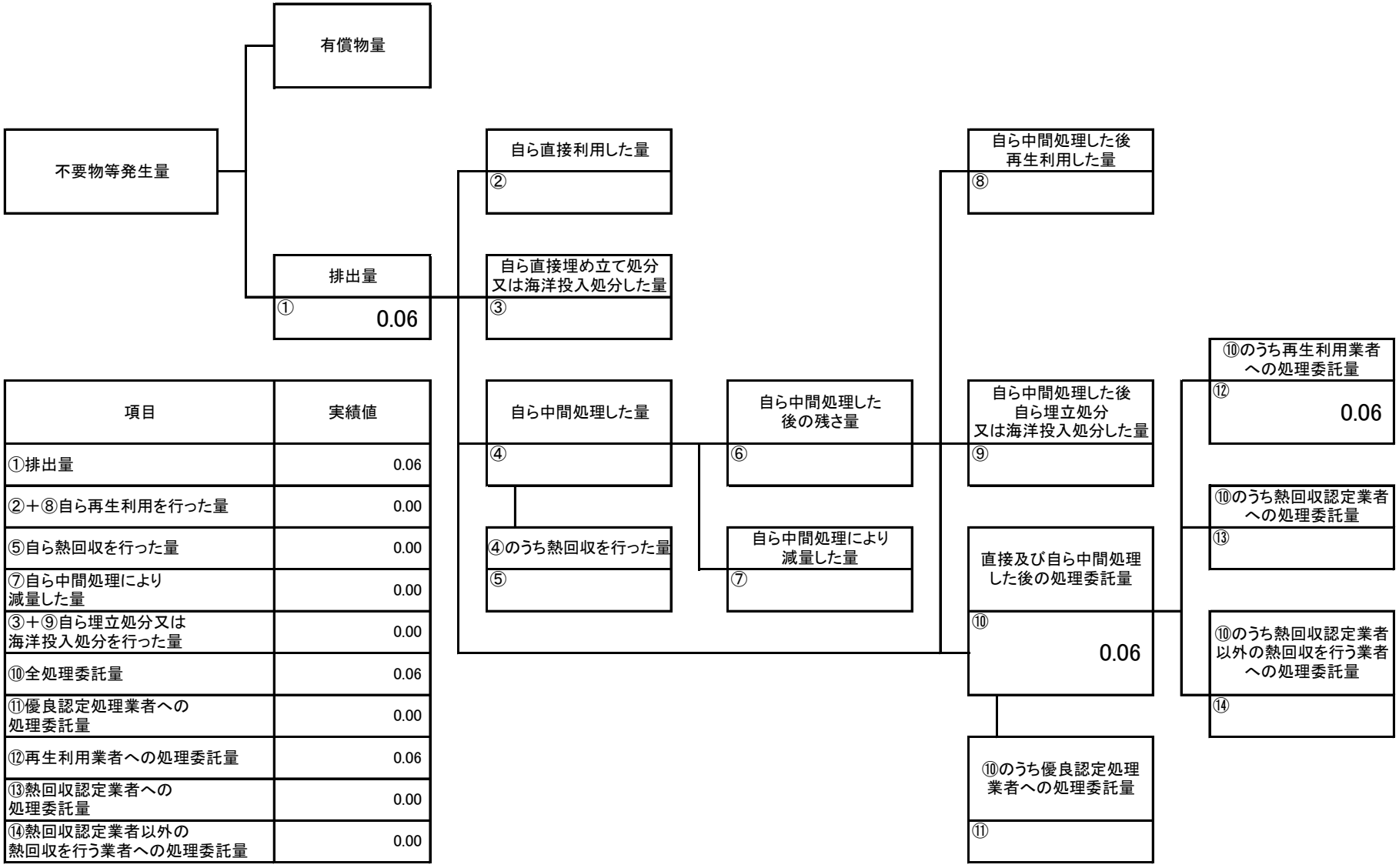


項目	実績値
①排出量	1.42
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.42
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	1.42
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃アルカリ　　）

（単位：トン）

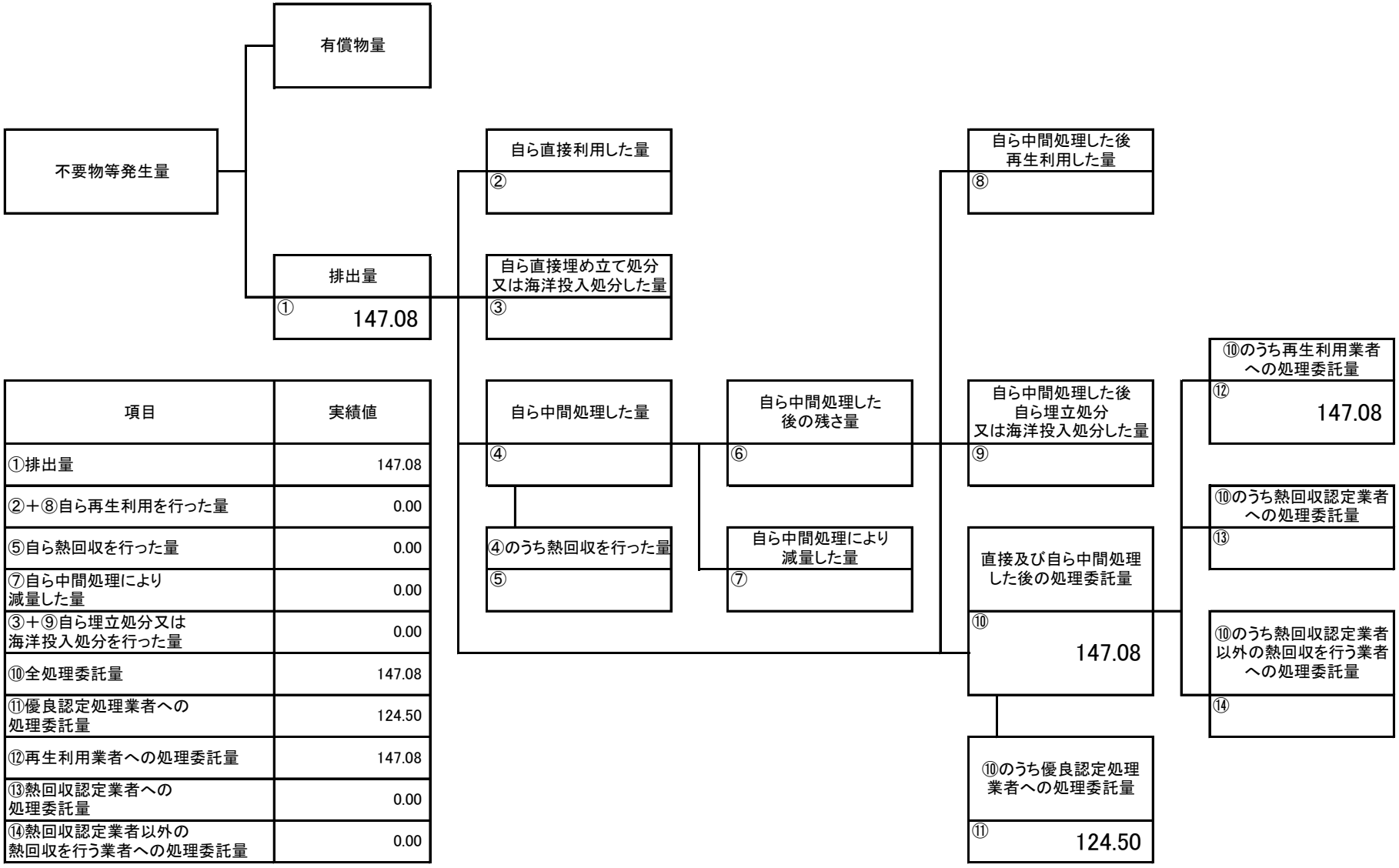


項目	実績値
①排出量	0.06
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.06
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

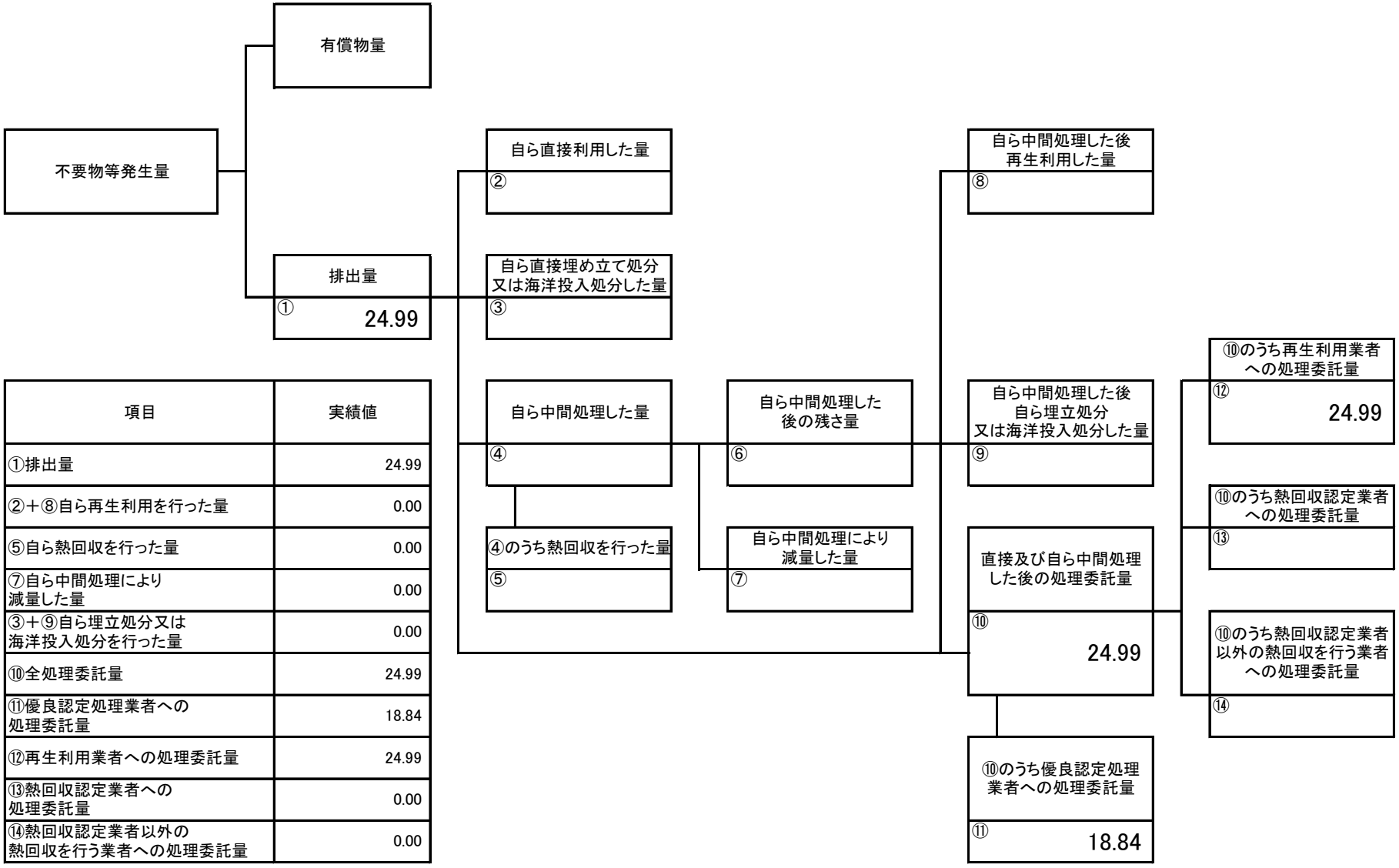


項目	実績値
①排出量	147.08
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	147.08
⑪優良認定処理業者への処理委託量	124.50
⑫再生利用業者への処理委託量	147.08
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず　　）

（単位：トン）

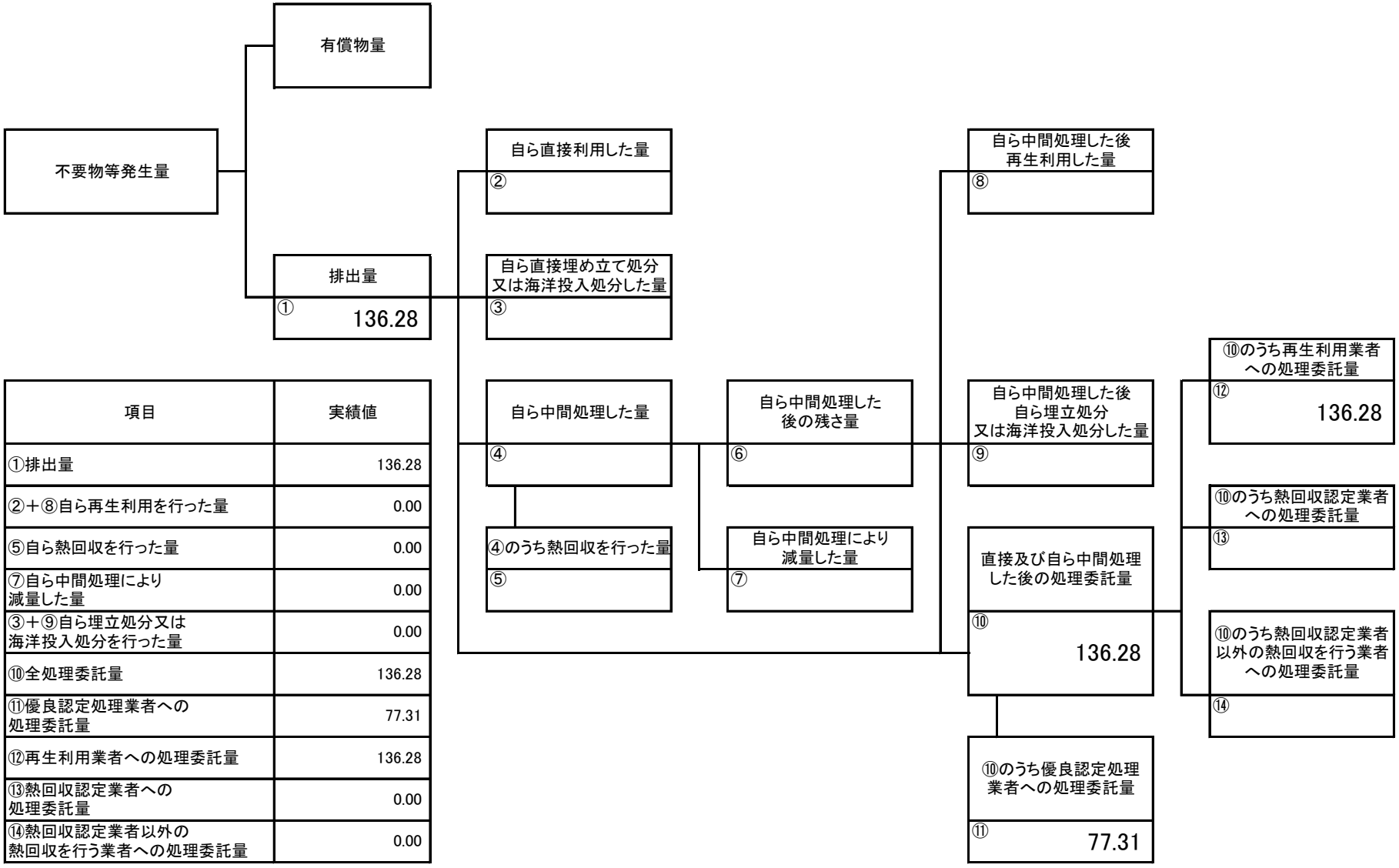


項目	実績値
①排出量	24.99
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	24.99
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.84
⑫再生利用業者への処理委託量	24.99
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

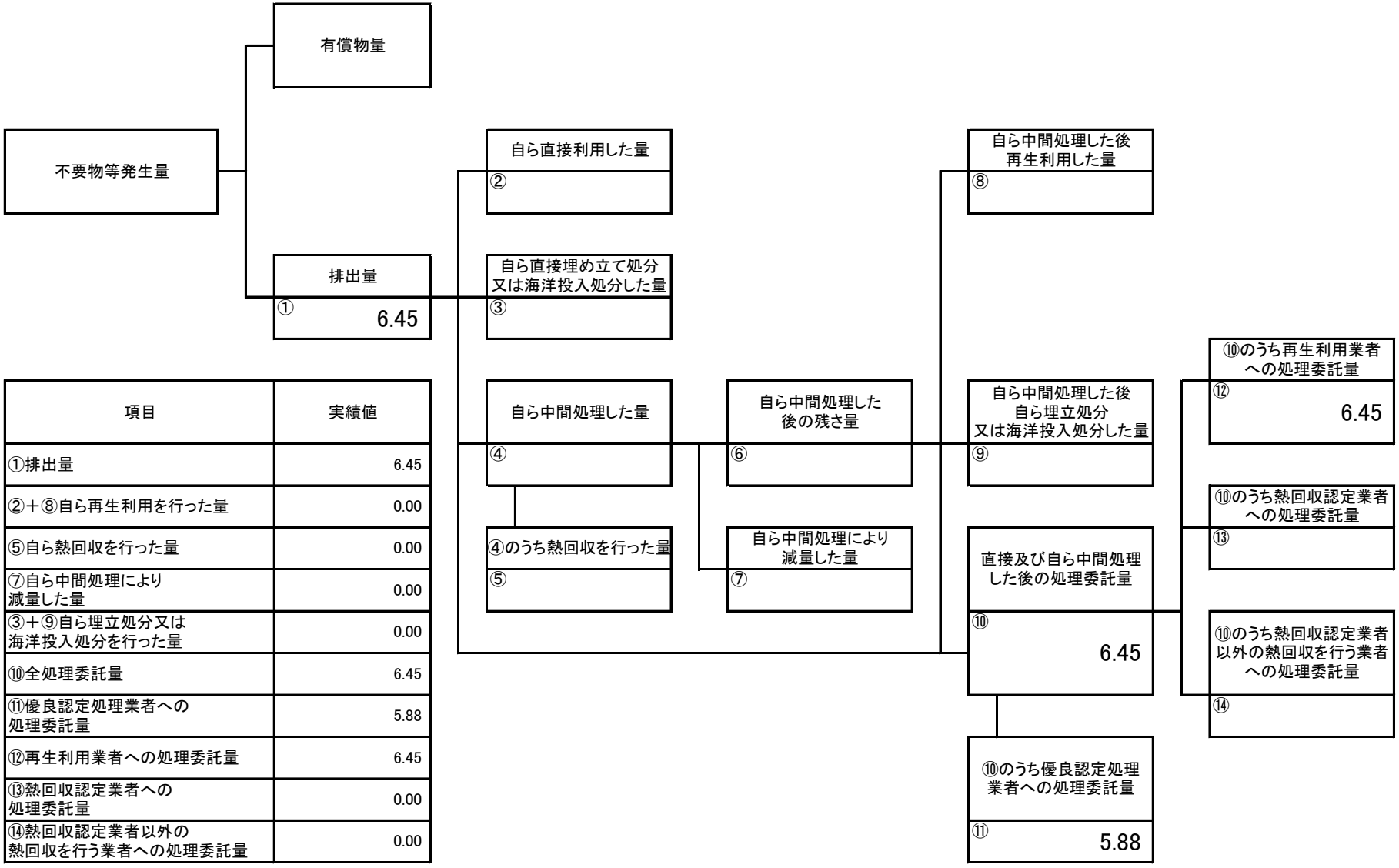


項目	実績値
①排出量	136.28
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	136.28
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.31
⑫再生利用業者への処理委託量	136.28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず　　）

（単位：トン）

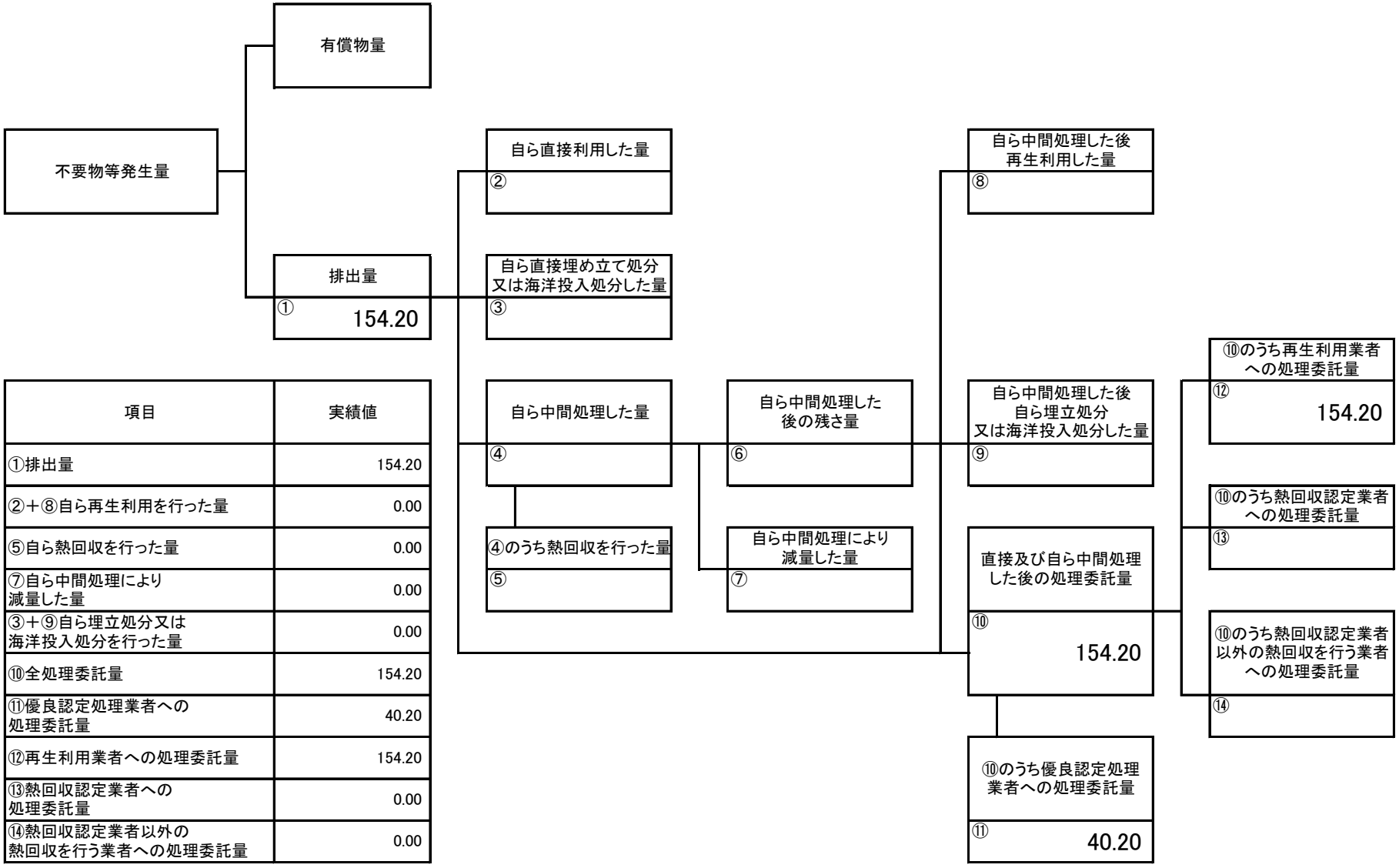


項目	実績値
①排出量	6.45
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.45
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.88
⑫再生利用業者への処理委託量	6.45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

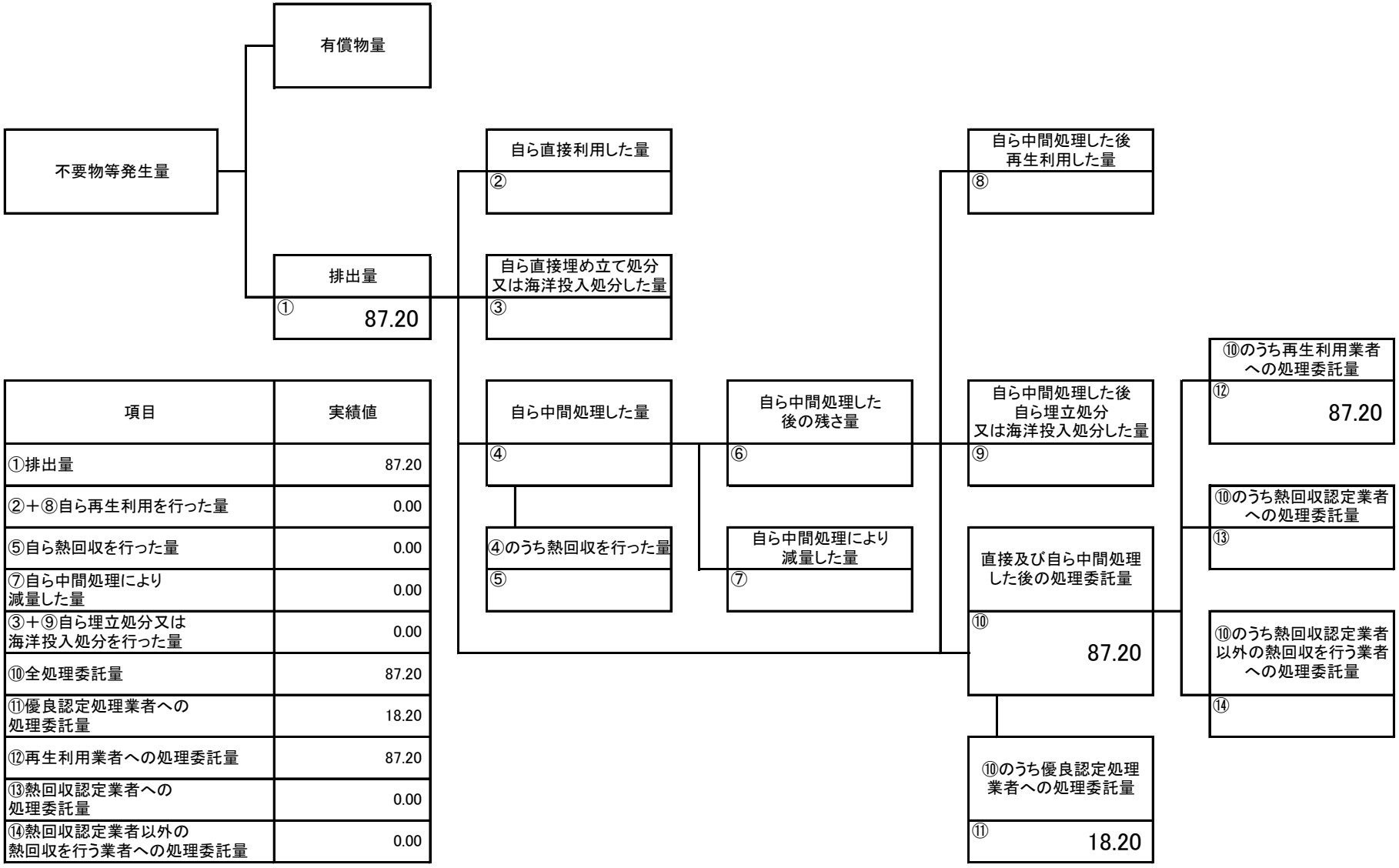


項目	実績値
①排出量	154.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	154.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.20
⑫再生利用業者への処理委託量	154.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

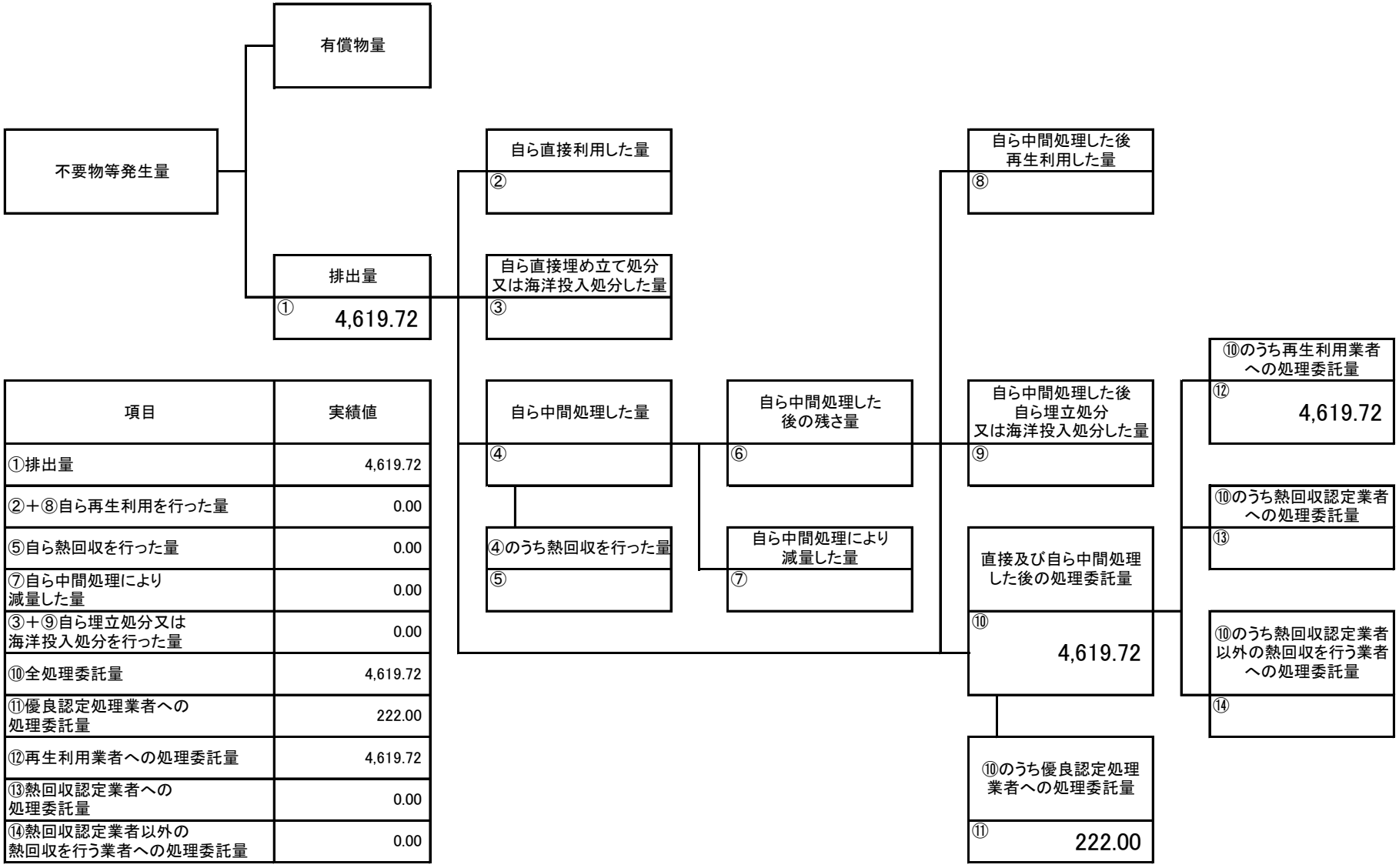


項目	実績値
①排出量	87.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	87.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.20
⑫再生利用業者への処理委託量	87.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

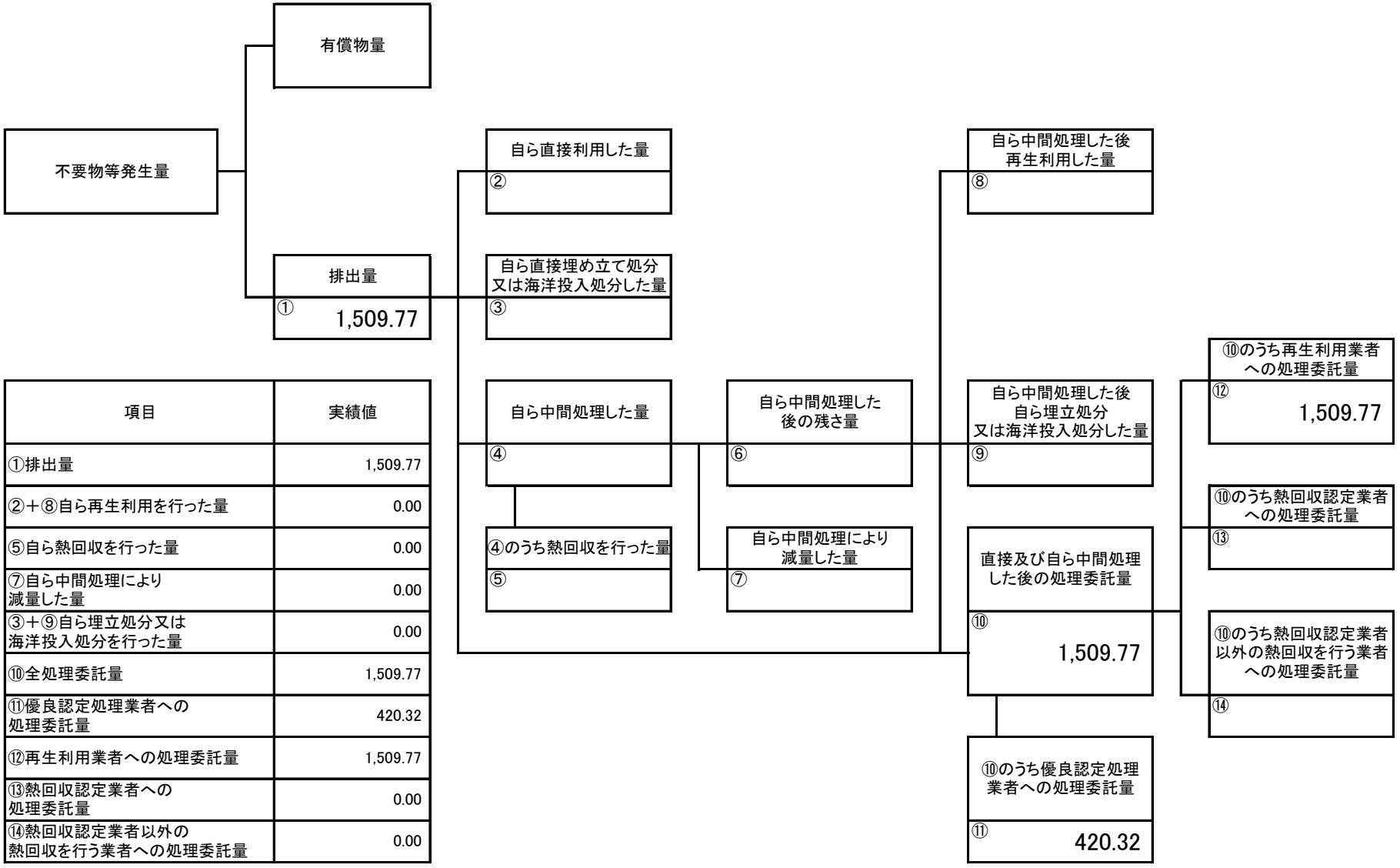


項目	実績値
①排出量	4,619.72
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4,619.72
⑪優良認定処理業者への処理委託量	222.00
⑫再生利用業者への処理委託量	4,619.72
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 アス・コン片 ）

（単位：トン）

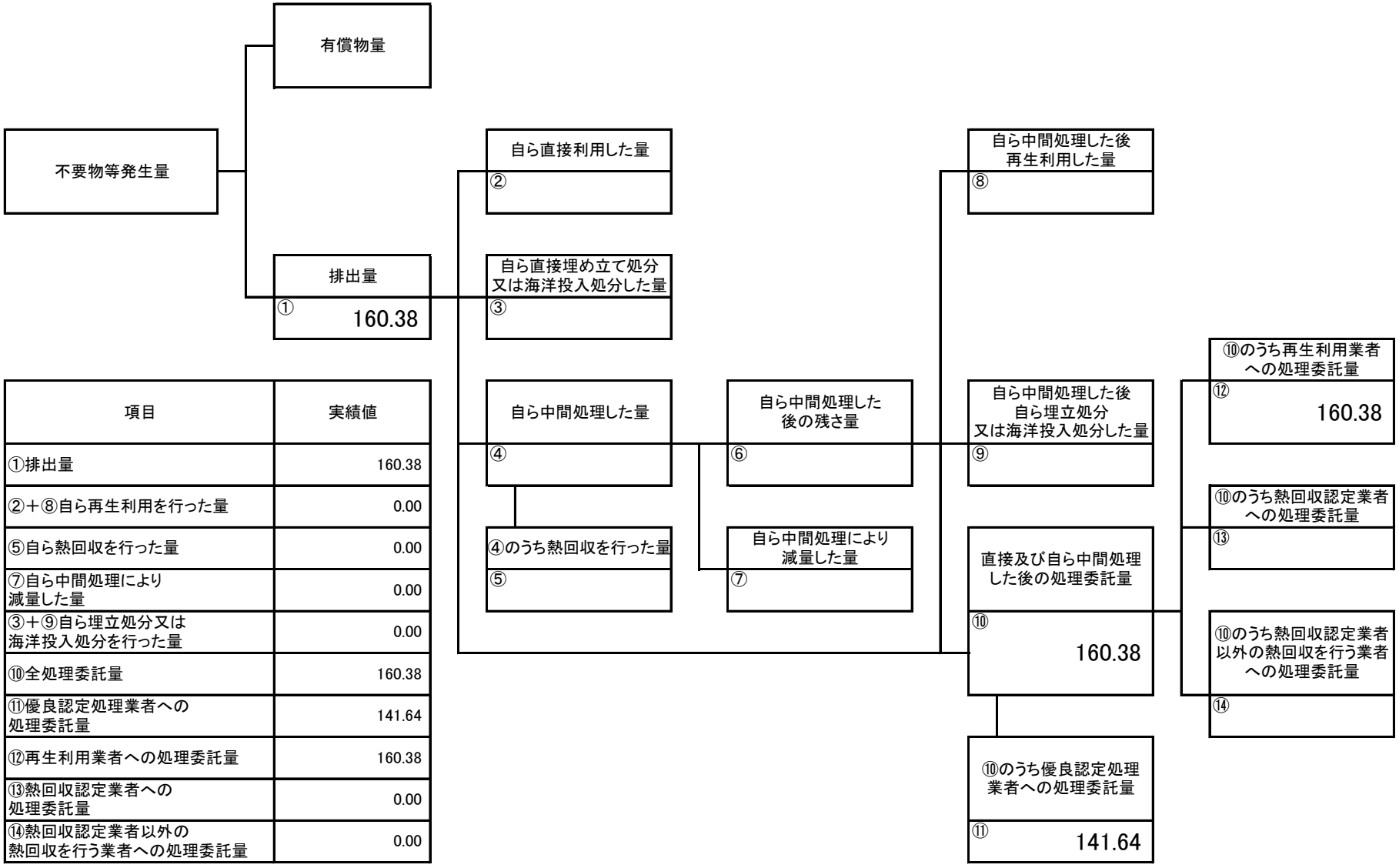


項目	実績値
①排出量	1,509.77
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,509.77
⑪優良認定処理業者への処理委託量	420.32
⑫再生利用業者への処理委託量	1,509.77
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類　　）

（単位：トン）

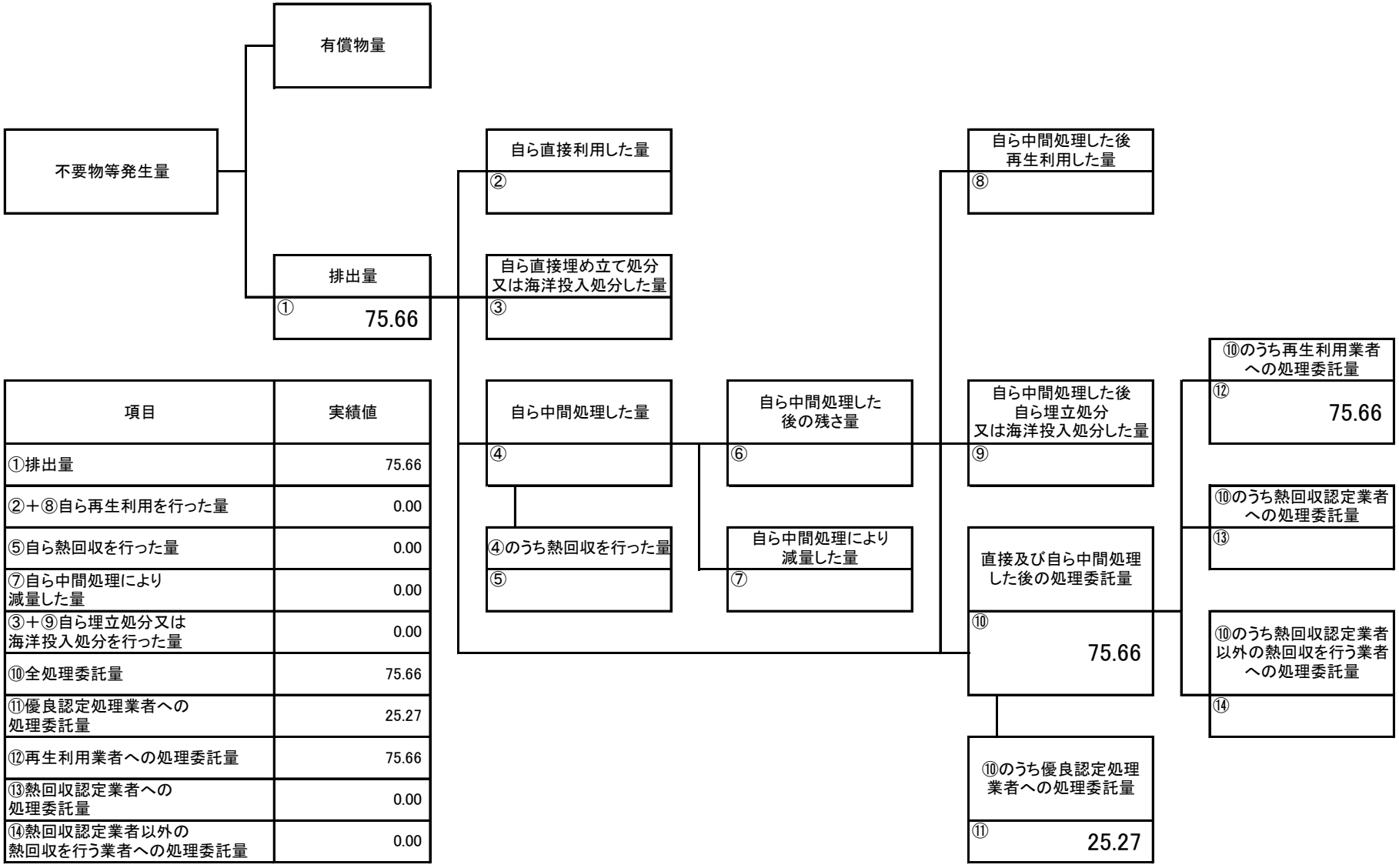


項目	実績値
①排出量	160.38
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	160.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	141.64
⑫再生利用業者への処理委託量	160.38
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

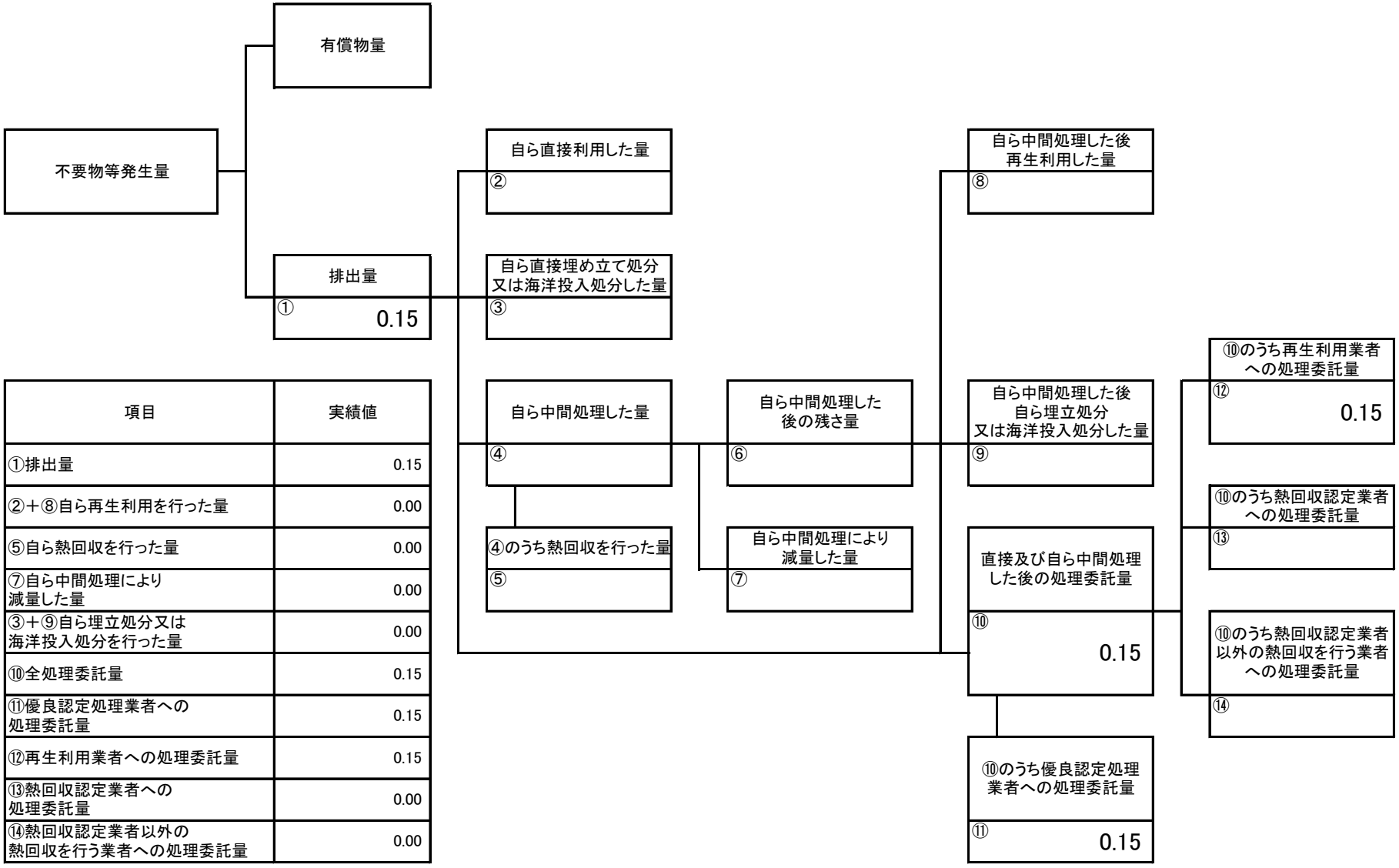


項目	実績値
①排出量	75.66
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	75.66
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.27
⑫再生利用業者への処理委託量	75.66
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 水銀使用製品　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.15
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.15
⑫再生利用業者への処理委託量	0.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　２６日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒３４１－００３８

住　所　埼玉県三郷市中央２丁目４０－４

氏　名　常盤工業株式会社関東支店
執行役員支店長　古谷 斉

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　048-952-3755

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県内管轄工事
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

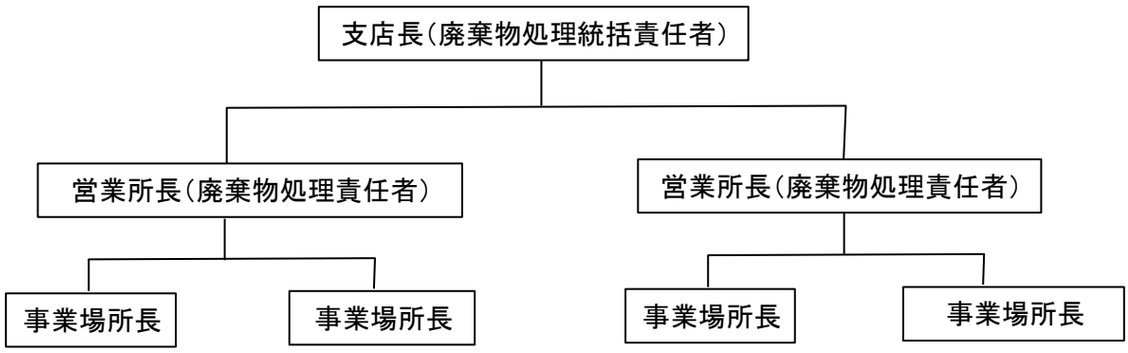
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	令和５年度　元請完成工事高　１，０６５百万円
③　従業員数	４３人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトがら→破砕→再生骨材→再生合材として再資源化 コンクリートがら→破砕→再生骨材→再生路盤材として再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	排出量	1675.5 t	92 t
	（これまでに実施した取組） 発生がれきはすべて再生処理施設に搬出する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	排出量	4500 t	100 t
	（今後実施する予定の取組） 発生廃棄物を最小限に留める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスコンがらとコンクリートがらを分別して適切な再生処理工場に搬出しすべて再生砕石、再生合材として処理する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状を維持する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	158 t	74 t

（これまでに実施した取組）
できるだけ自社工場にて処理する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	80 t

（今後実施する予定の取組）
再生処理に関する情報収集を行う

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
全処理委託量＿	1517.5 t	18 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	アスファルトがら	コンクリートがら
全処理委託量＿	4300 t	20 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
できるだけ自社工場で処理する

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		排　出　量	10 t	5 t	3.1 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		排　出　量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
	全処理委託量	10 t	5 t	3.1 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	5 t	3.1 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
	全処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 10日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒541-0046
住 所　大阪府大阪市中央区平野町4丁目6番4号
氏 名　株式会社都市建コーポレーション
代表取締役 福村 正幸
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　06-4707-6161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社都市建コーポレーション 東京オフィス
事業場の所在地	東京都千代田区神田須田町2丁目8番地2 Daiwa神田須田町ビル2階 （千葉県市川市新井2-2-9）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

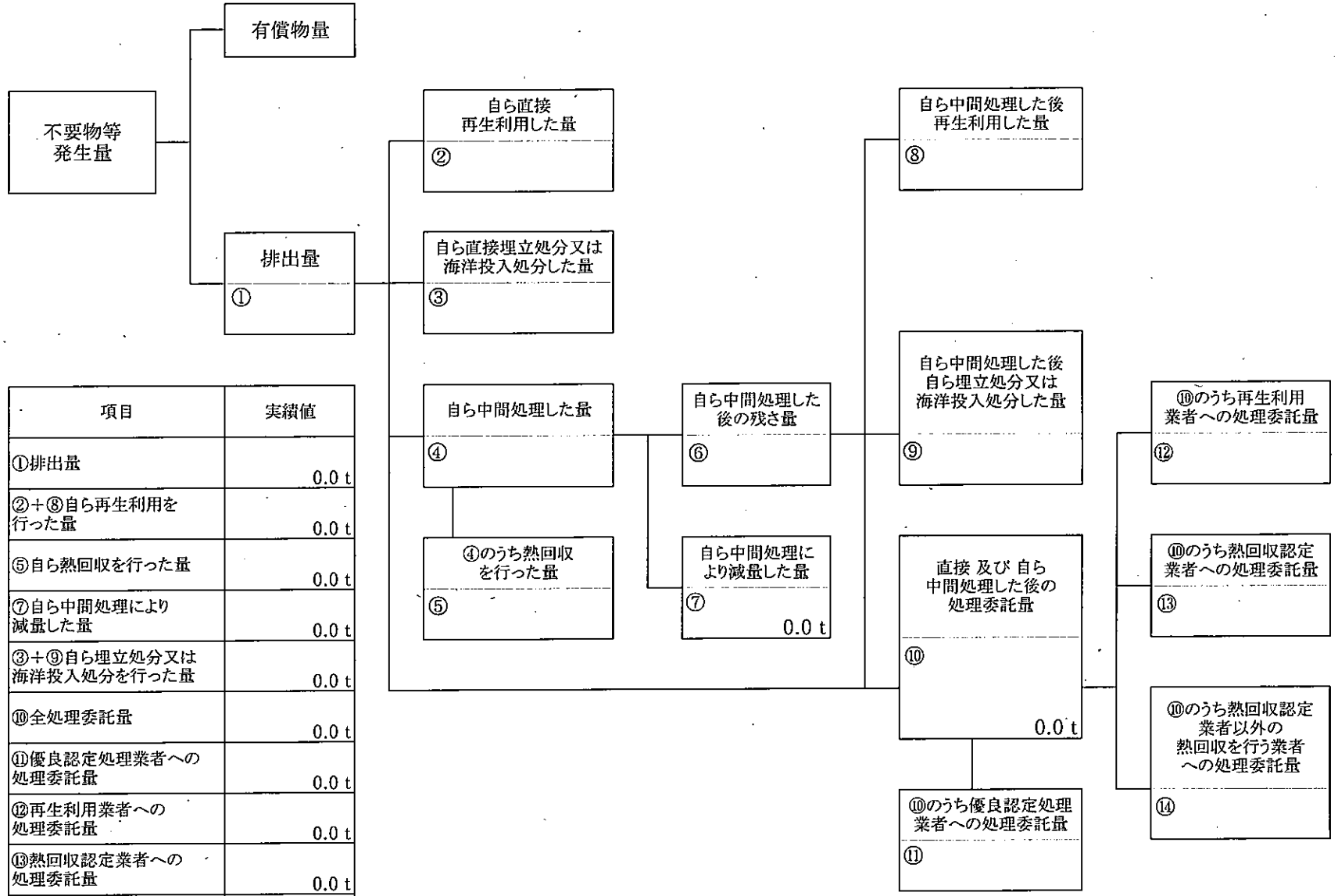
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.0 t	全処理委託量	0.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　無　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒105-0014

住　所　東京都港区芝2丁目5-6
芝256スクエアビル5階

氏　名　株式会社都市テクノ
代表取締役　島村 智之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5446-1388

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社都市テクノの解体工事現場
事業場の所在地	千葉県内各所
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②　事業の規模	元請完成工事高2,123百万円/年
③　従業員数	40人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	・石綿含有産業廃棄物→埋立 ・廃プラスチック→破砕・圧縮→再生資源・熱回収 ・木くず→破砕→再資源化 ・ガラス・コンクリート・陶磁器くず→破砕→再資源化・埋立 ・がれき類→破砕→再資源化 ・混合廃棄物その他→破砕・圧縮・圧縮梱包→埋立・再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

工事部統括部長―現場代理人―現場の各作業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
排出量	39.5 t	138.4 t

（これまでに実施した取組）
現場での分別を徹底する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
排出量	39.5 t	138.4 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き現場分別を徹底する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
内装解体時における手作業での分別
重機を用いたコンクリートガラと付着土のふるい分け

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
引き続き現場分別を徹底する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
全処理委託量	39.5 t	138.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	39.5 t	138.4 t
再生利用業者への処理委託量	4.8 t	89.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

現場での分別を徹底し、再生利用業者へ委託する
業者選定時に優良認定業者を優遇し、認定業者の利用を拡大する
電子マニフェスト・電子委託契約の利用を推進する

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
		全処理委託量		39.5 t	138.4 t
			優良認定処理業者への処理委託量	39.5 t	138.4 t
			再生利用業者への処理委託量	4.8 t	89.5 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 電子マニフェストへの切り替えはほぼ完了したため、 今後は電子委託契約の利用をさらに推進する また、事業計画段階での発生材排出抑制の提案や、 発生材の自ら利用についても模索する			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
		排　出　量	6630 t	200 t	130.8 t	9 t	16.6 t	154.4 t	0.1 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
		排　出　量	6630 t	200 t	130.8 t	9 t	16.6 t	154.4 t	0.1 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
	全処理委託量	6630 t	200 t	130.8 t	9 t	16.6 t	154.4 t	0.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	130.8 t	9 t	16.6 t	3.2 t	0.1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	6630 t	200 t	87.6 t	6.8 t	11 t	154.4 t	0.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	廃機械類	
	全処理委託量	6630 t	200 t	130.8 t	9 t	16.6 t	154.4 t	0.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	130.8 t	9 t	16.6 t	3.2 t	0.1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	6630 t	200 t	87.6 t	6.8 t	11 t	154.4 t	0.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0014

住　所　千葉県千葉市中央区本千葉町15-1 京成千葉中央ビル6F

法人名　戸田建設株式会社千葉支店

代表者　近藤 修介

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　[redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区本千葉町１５－１　京成千葉中央ビル６階
計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高17,397百万円
③従業員数	１１６人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付ファイル参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

添付ファイル参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイル別紙参照	
排出量	17378.77 t	t

（これまでに実施した取組）

環境管理システムで以下の計画について管理を実施した。・施工方法の検討、簡易包装、有価物等で削減の計画を管理。・種類毎の排出量を計画し、排出総量とリサイクル率の目標値を設定
【評価】排出総量の実績は目標値の87.8%と達成したが、リサイクル率は目標85.0%に対し82.6%と達成出来なかった。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイル別紙参照	
排出量	14405 t	t

（今後実施する予定の取組）

・今年度も引続き簡易包装、スクラップ等の有価物での排出、メーカーリサイクル、プレカットの推進、繰返使用が可能な容器での産廃回収等の削減計画を環境システムで目標管理する。
・前年度は目標達成出来なかったリサイクル率については85.0%以上を目標とする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

石膏ボード･木屑･プラスチック類･金属･段ボール･コンクリート塊ｶﾞﾗｽ及び陶磁器等の分別保管を徹底し、再資源化施設での処理を推進した。金属、段ボールの有価物業者への排出を推奨した。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

前年同様に分別保管を徹底する。特に廃プラは再資源化に適した分別を重点的に指導し、メーカーリサイクル、金属屑、段ボールの有価物業者への排出を推進する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイル別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイル別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイル別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイル別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイル別紙参照	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイル別紙参照	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイル別紙参照	
全処理委託量	17378.77 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	1120.69 t	t
再生利用業者への処理委託量	106.93 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

委託可能な業者を審査し、環境管理システムに登録した。
・許可証で事業の範囲等の審査､施設の処理状況を確認。
・適切な二次処理先､再生委託先及び最終処分先を複数確保し、適正処理が出来る施設を有した処理業者。
・電子マニフェストを利用している業者に限定。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイル別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>14405 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1510 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>80 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
環境管理システムにより委託契約締結、処理施設の現地調査の確認等、法的要求事項及び下記の管理を行う
・審査により適正と判断された業者との処理委託。
・電子マニフェスト利用率100%を継続。（前年度は100%達成）
・電子委託契約の推進を継続し、利用率９２%以上を目標とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉市中央区本千葉町１５－１
京成千葉中央ビル　６階
氏　名　戸田建設株式会社千葉支店
支店長　近藤　修介

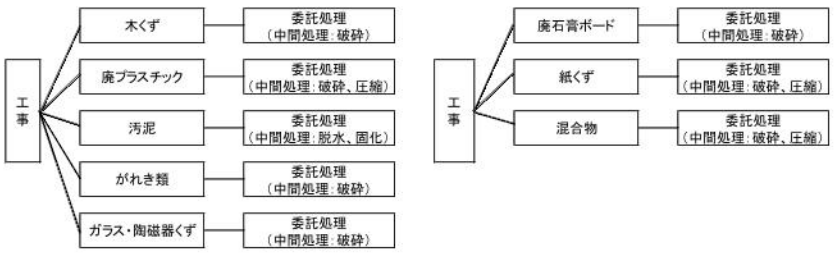
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０４３－３０７－８５７９

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区本千葉町１５－１　京成千葉中央ビル６階
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

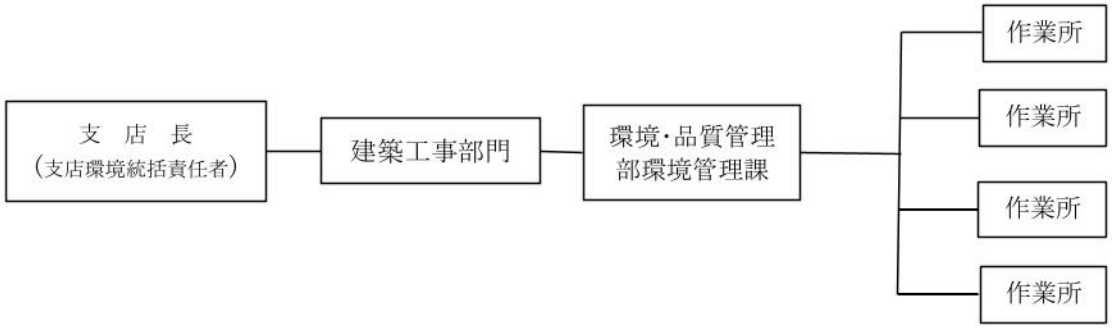
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類:建設業　　中分類：総合工事業 小分類:一般土木建築工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　17,397百万円
③従業員数	１１６人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
排　　出　　量	17,378.77　t	t

（これまでに実施した取組）
環境管理システムで以下の計画について管理を実施した。
・施工方法の検討、簡易包装、有価物等で削減の計画を管理。
・種類毎の排出量を計画し、排出総量とリサイクル率の目標値を設定
【評価】
排出総量の実績は目標値の87.8%と達成したが、リサイクル率は目標85.0%に対し82.6%と達成出来なかった。

②計画

【目標】

＞	別紙の通り	
排　　出　　量	14,405.00　t	t

（今後実施する予定の取組）
・今年度も引続き簡易包装、スクラップ等の有価物での排出、メーカーリサイクル、プレカットの推進、繰返使用が可能な容器での産廃回収等の削減計画を環境システムで目標管理する。
・前年度は目標達成出来なかったリサイクル率については85.0%以上を目標とする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
石膏ボード･木屑･プラスチック類･金属･段ボール･コンクリート塊
ｶﾞﾗｽ及び陶磁器等の分別保管を徹底し、再資源化施設での処理を推進した。金属、段ボールの有価物業者への排出を推奨した。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
前年同様に分別保管を徹底する。特に廃プラは再資源化に適した分別を重点的に指導し、メーカーリサイクル、金属屑、段ボールの有価物業者への排出を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当なし	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当なし	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
全処理委託量	17,378.77 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	1,120.69 t	t
再生利用業者への処理委託量	106.93 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

前年度同様、実績が有る処理業者の中から以下の内容を審査し選定し、委託可能な業者として環境管理システムに登録した。
・許可証で事業の範囲等の審査、施設の処理状況を確認。
・適切な二次処理先、再生委託先及び最終処分先を複数確保し、適正処
　理が出来る施設を有した処理業者。
・電子マニフェストを利用している業者に限定。
・リサイクル率が高く電子契約が可能な業者を優先した。
委託状況は環境管理システムで管理した。
処理状況の確認は電子マニフェスト情報を随時、監視し管理した。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		全処理委託量	14,405.00 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	1,510.00 t	t
		再生利用業者への処理委託量	80.0 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 前年同様、環境管理システムにより委託契約締結、処理施設の現地調査の確認等、法的要求事項及び下記の管理を行う。 ・審査により適正と判断された業者との処理委託。 ・電子マニフェスト利用率100%を継続。（前年度は100%達成） ・電子委託契約の推進を継続し、利用率９２%以上を目標とする。 ・電子マニフェスト情報を監視し、現場毎の処理状況や実績を管理。 ・建設リサイクル法届出の確認、関係法令の確認と厳守。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
排出量	17378.77t	124.39t	1.41t	484.45t	9766.90t	21.98t	187.34t	266.80t	17.05t	9.26t	6499.20t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
排出量	14405.00t	120.00t	15.00t	800.00t	8000.00t	60.00t	140.00t	250.00t	10.00t	10.00t	5000.00t

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当なし										
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当なし										
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当なし										
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当なし										
自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当なし										
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当なし										
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
全処理委託量	17378.77t	124.39t	1.41t	484.45t	9766.90t	21.98t	187.34t	266.80t	17.05t	9.26t	6499.20t
優良認定処理業者への処理委託量	1120.69t	119.04t	1.11t	377.52t	240.90t	17.48t	94.28t	247.80t	17.05t	5.52t	0.00t
再生利用業者への処理委託量	106.93t	t	t	106.93t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外へ熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
全処理委託量	14405.00t	120.00t	15.00t	800.00t	8000.00t	60.00t	140.00t	250.00t	10.00t	10.00t	5000.00t
優良認定処理業者への処理委託量	1510.00t	120.00t	15.00t	720.00t	250.00t	50.00t	100.00t	240.00t	10.00t	5.00t	0.00t
再生利用業者への処理委託量	80.00t	t	t	80.00t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外へ熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0014

住所　千葉県千葉市中央区本千葉町15-1 京成千葉中央ビル6F

法人名 戸田建設株式会社千葉支店

代表者 近藤 修介

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 [redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	戸田建設株式会社千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区本千葉町　15－1　京成千葉中央ビル6階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

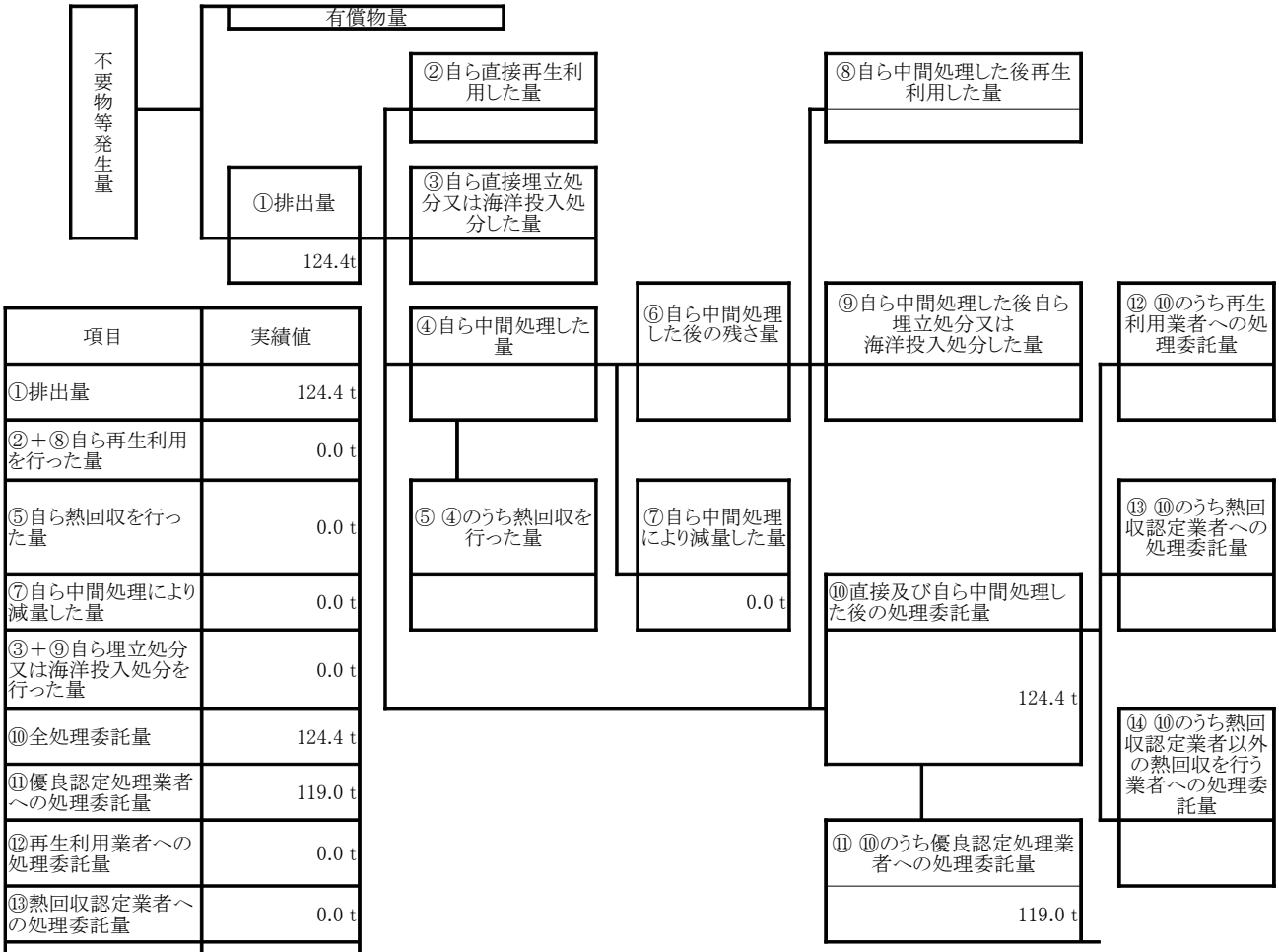
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7058 t	全処理委託量	7058 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3578 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	80 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

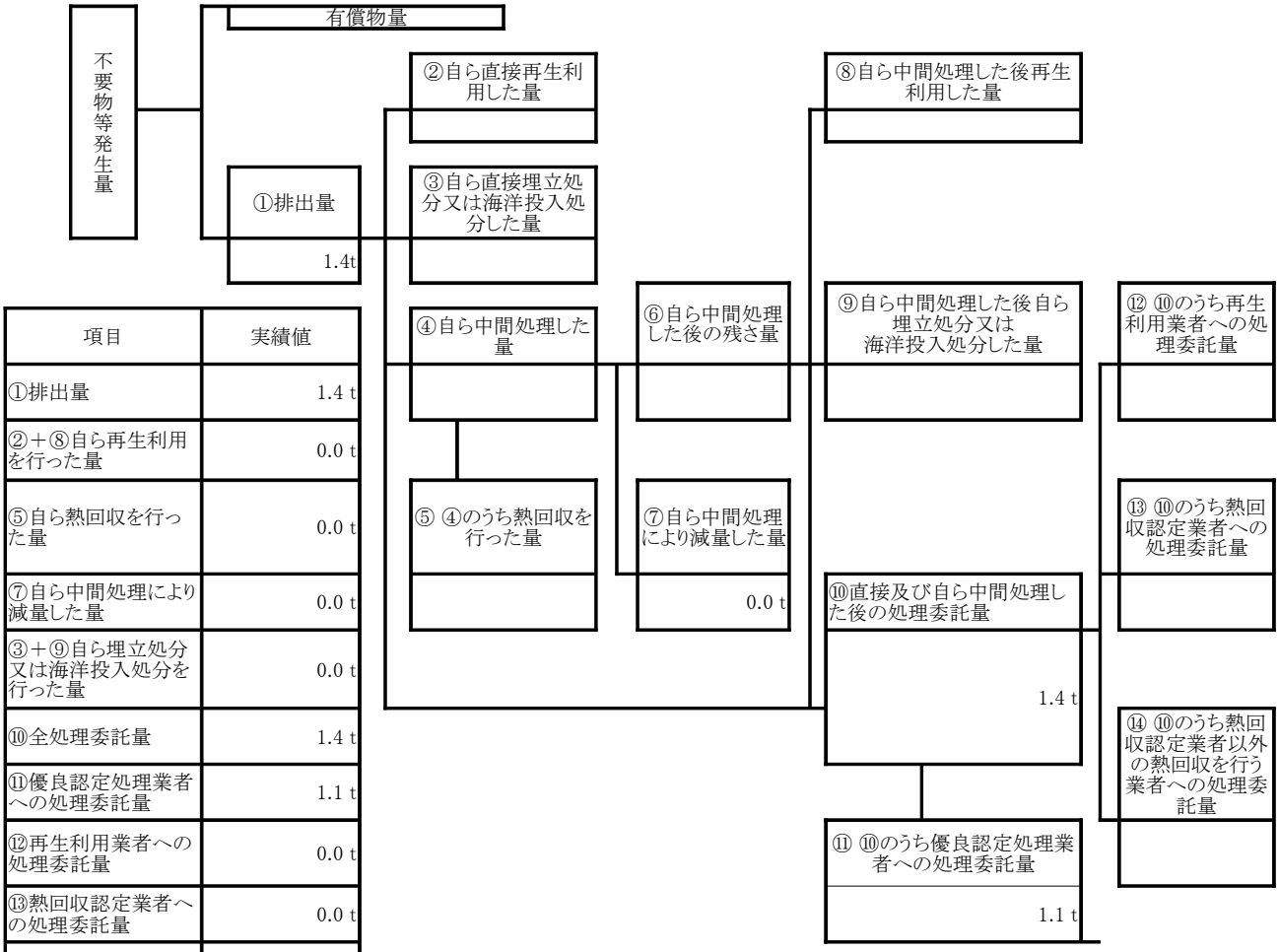


項目	実績値
①排出量	124.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	124.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	119.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



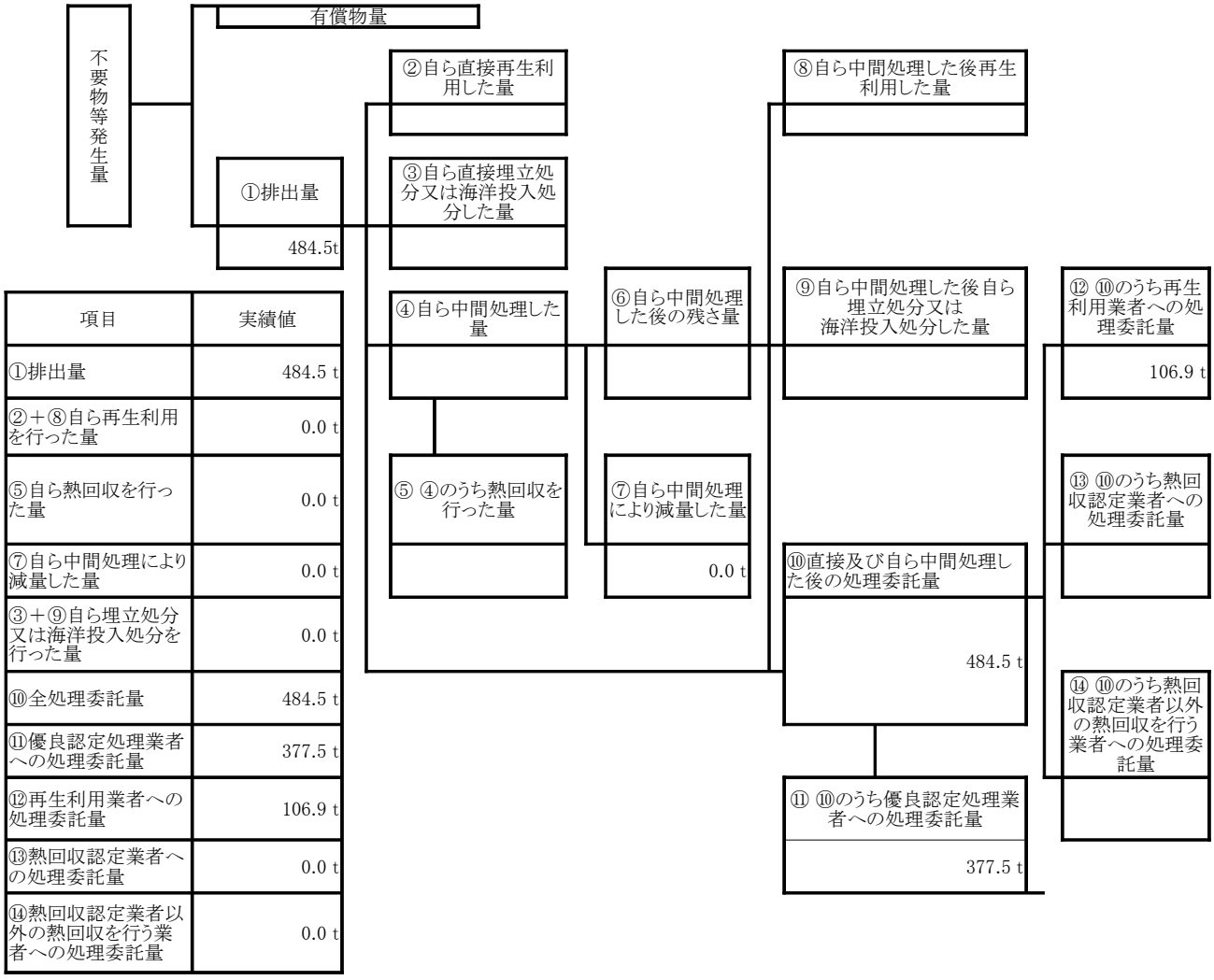
項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



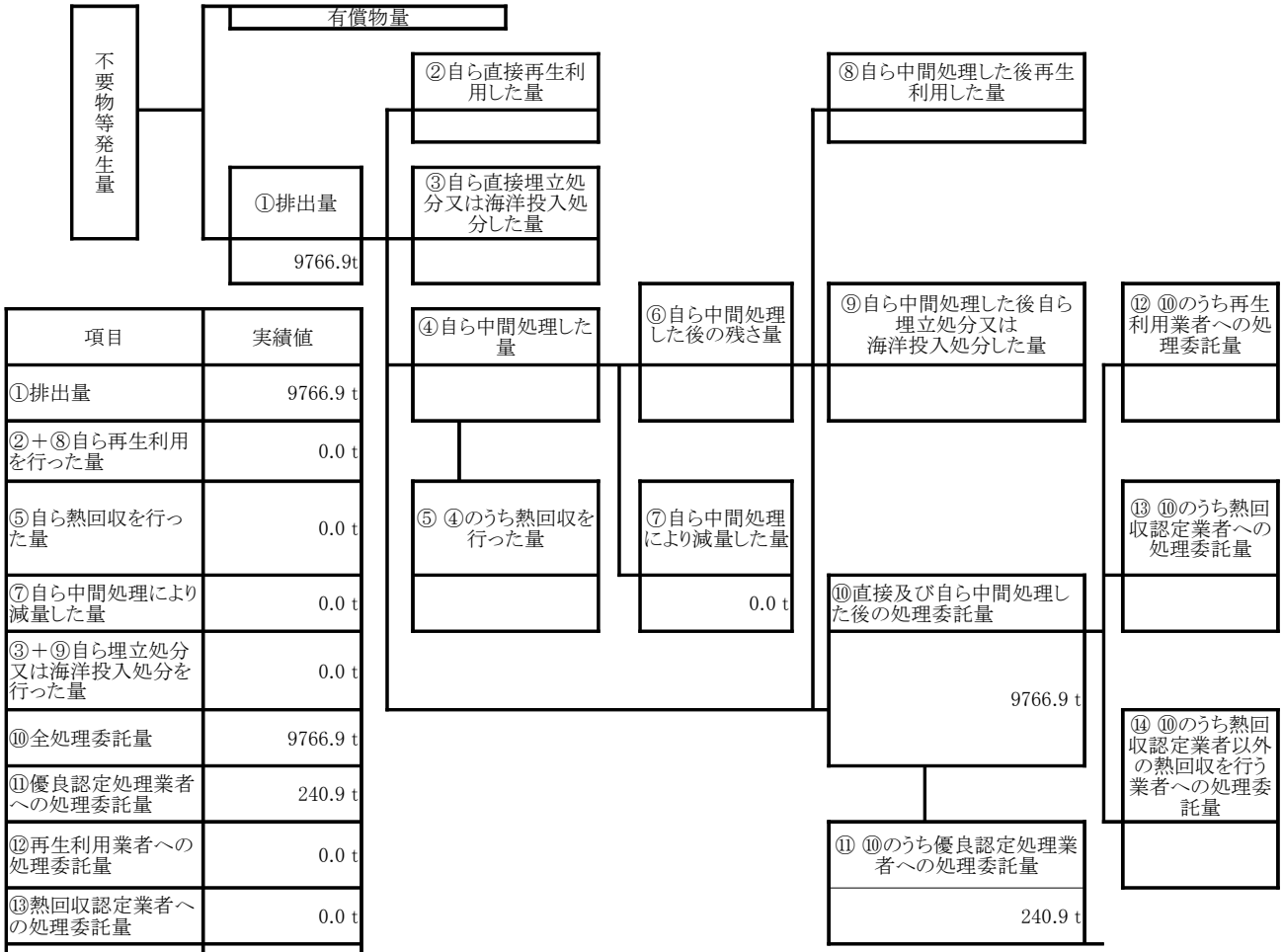
項目	実績値
①排出量	484.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	484.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	377.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	106.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　がれき類　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



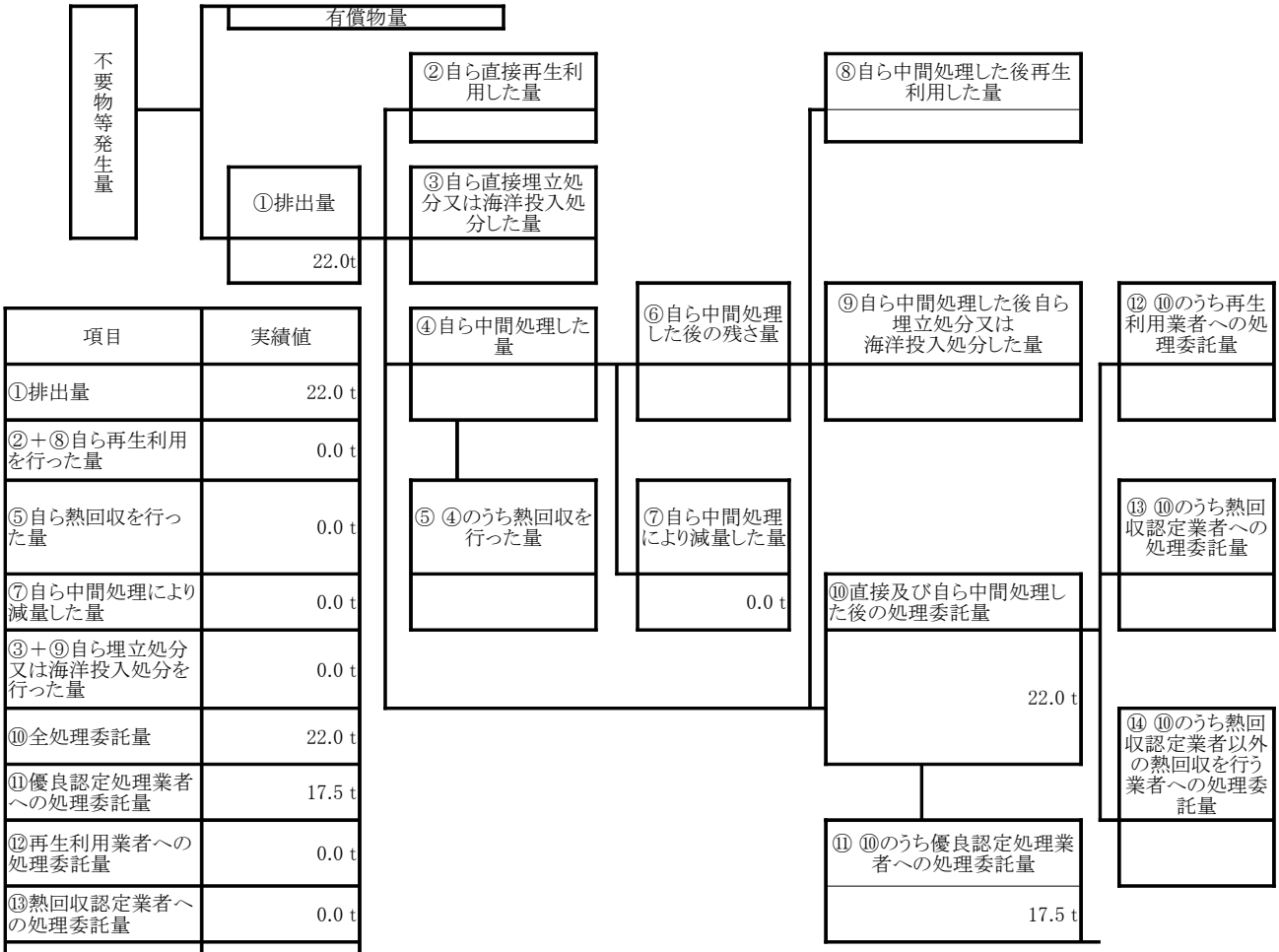
項目	実績値
①排出量	9766.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9766.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	240.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

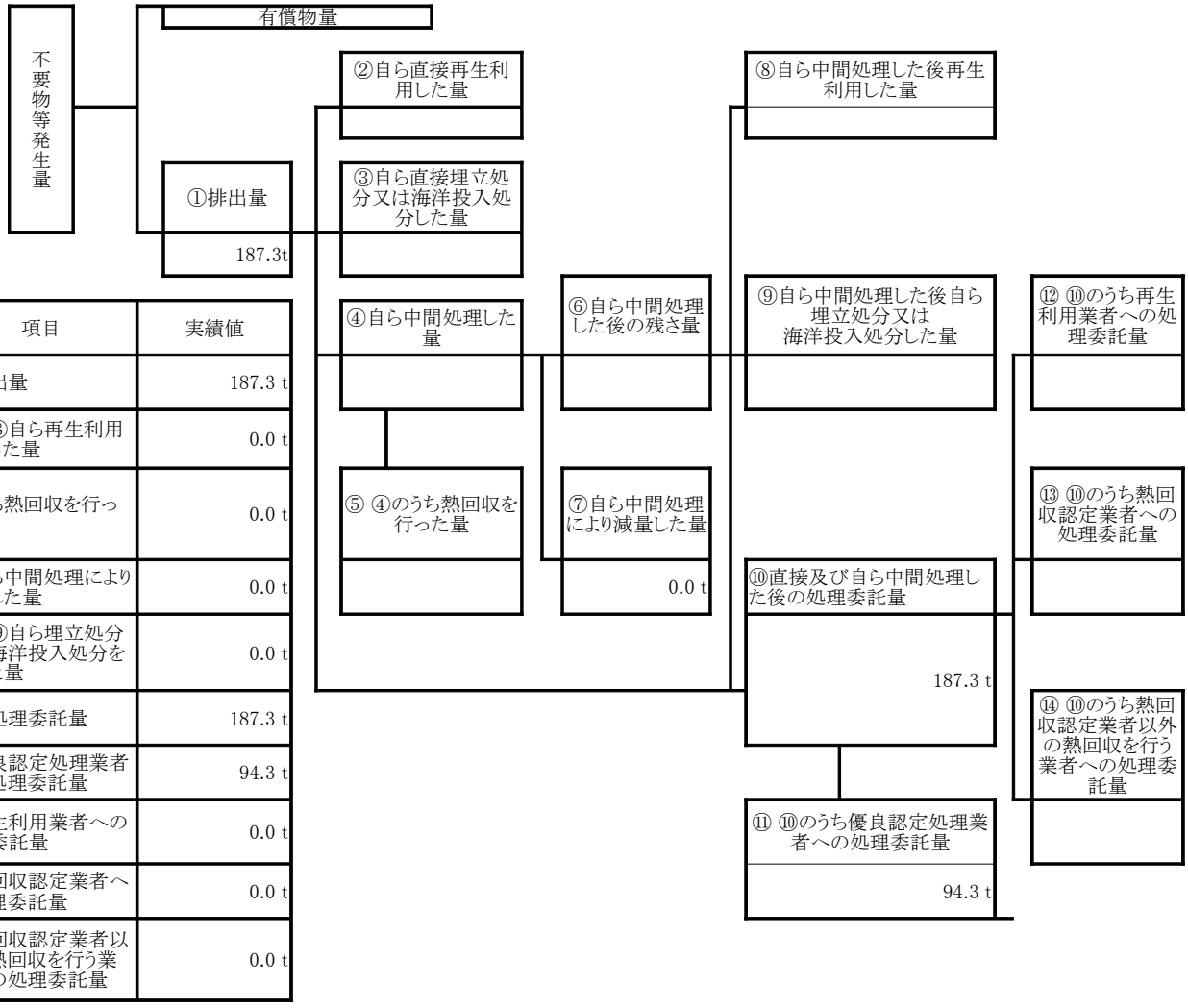


項目	実績値
①排出量	22.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



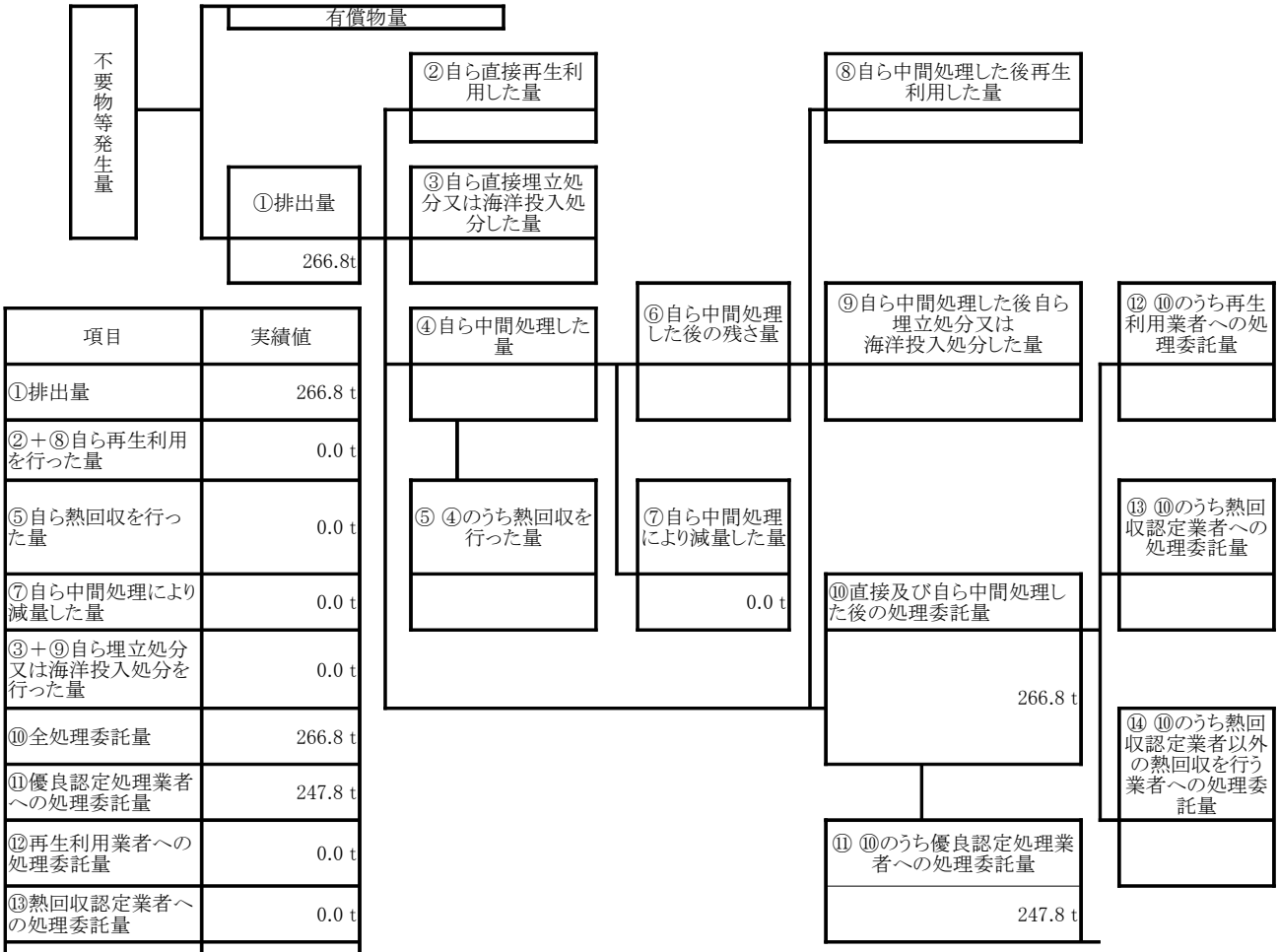
項目	実績値
①排出量	187.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	187.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	94.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



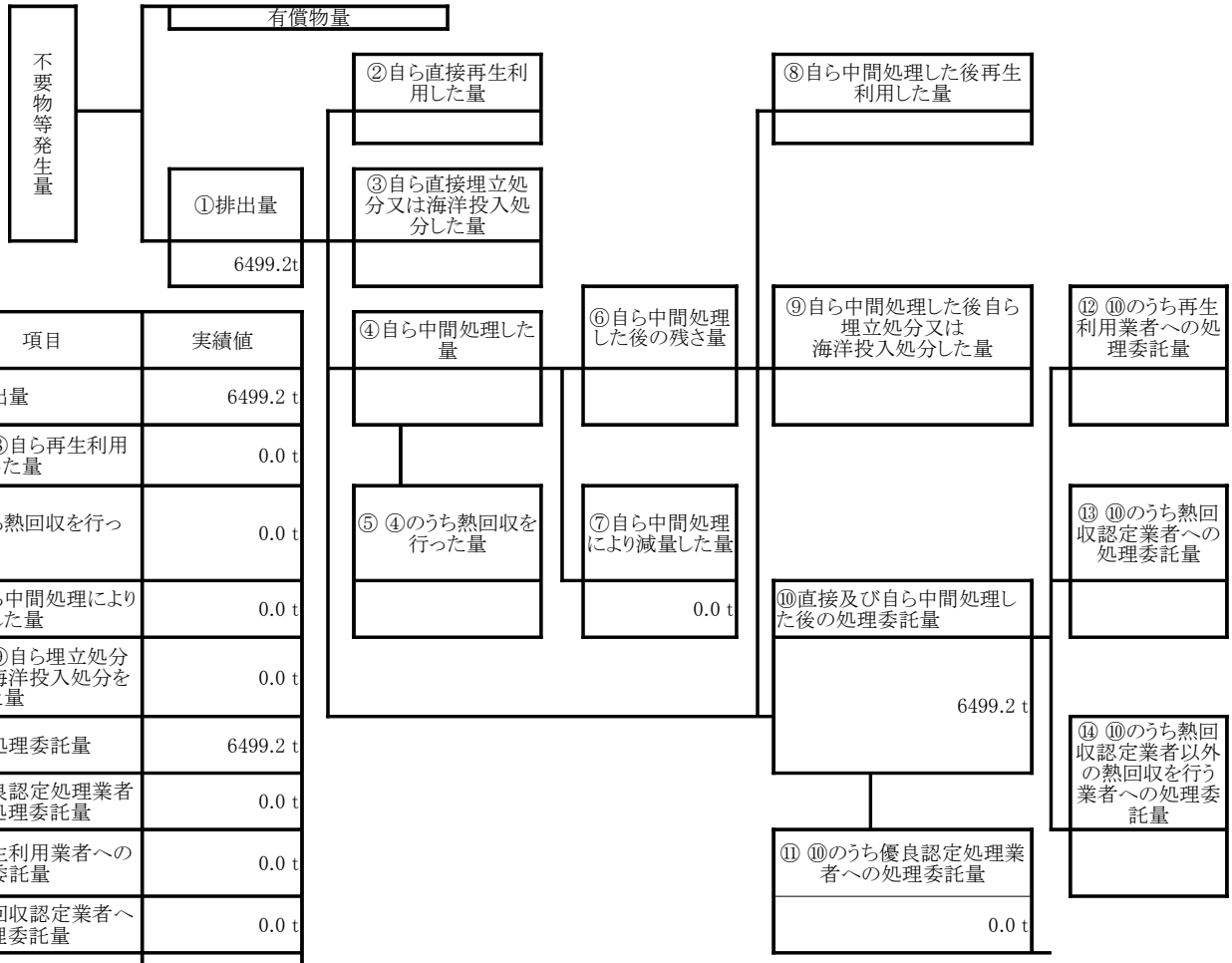
項目	実績値
①排出量	266.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	266.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	247.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

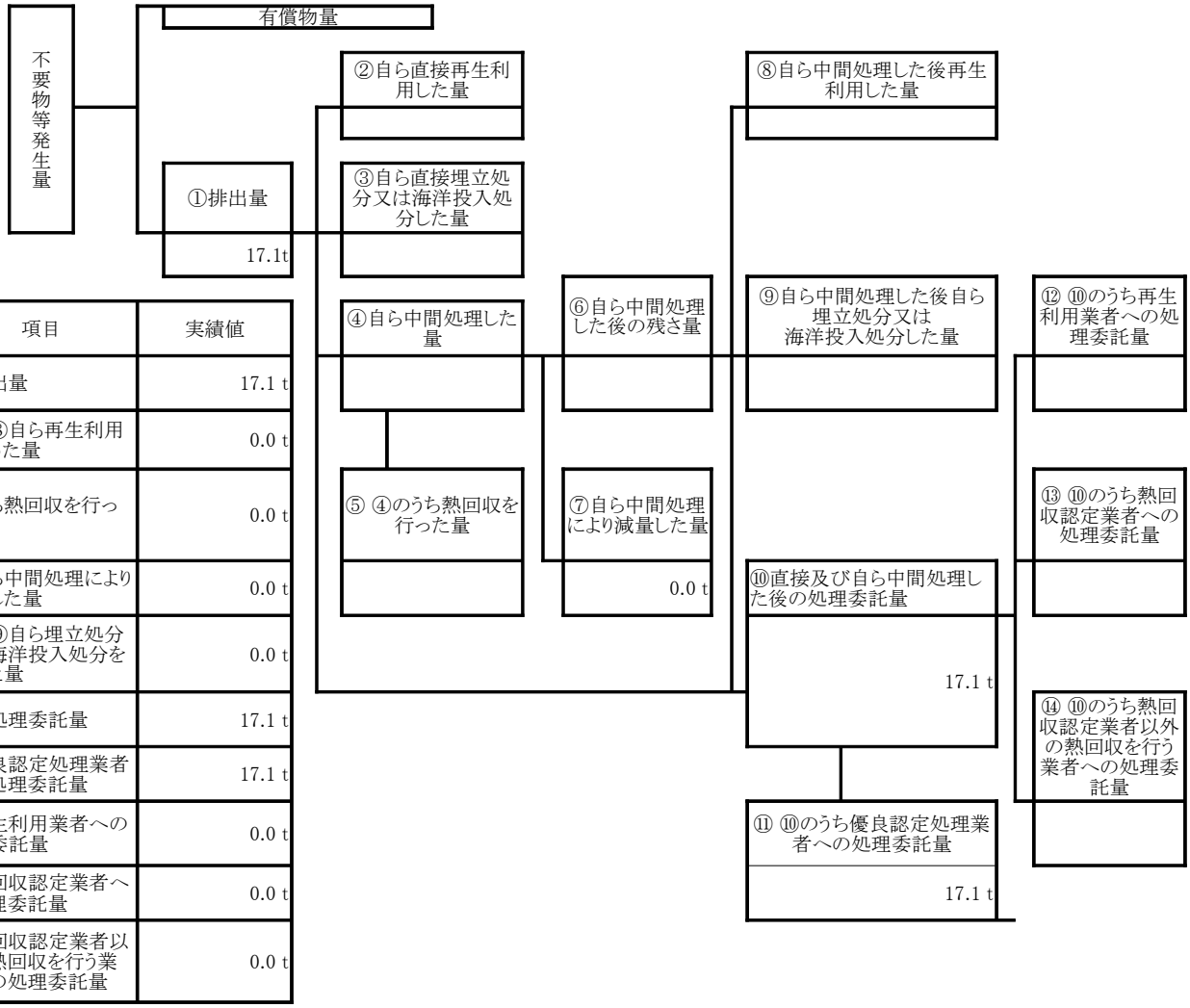


項目	実績値
①排出量	6499.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6499.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

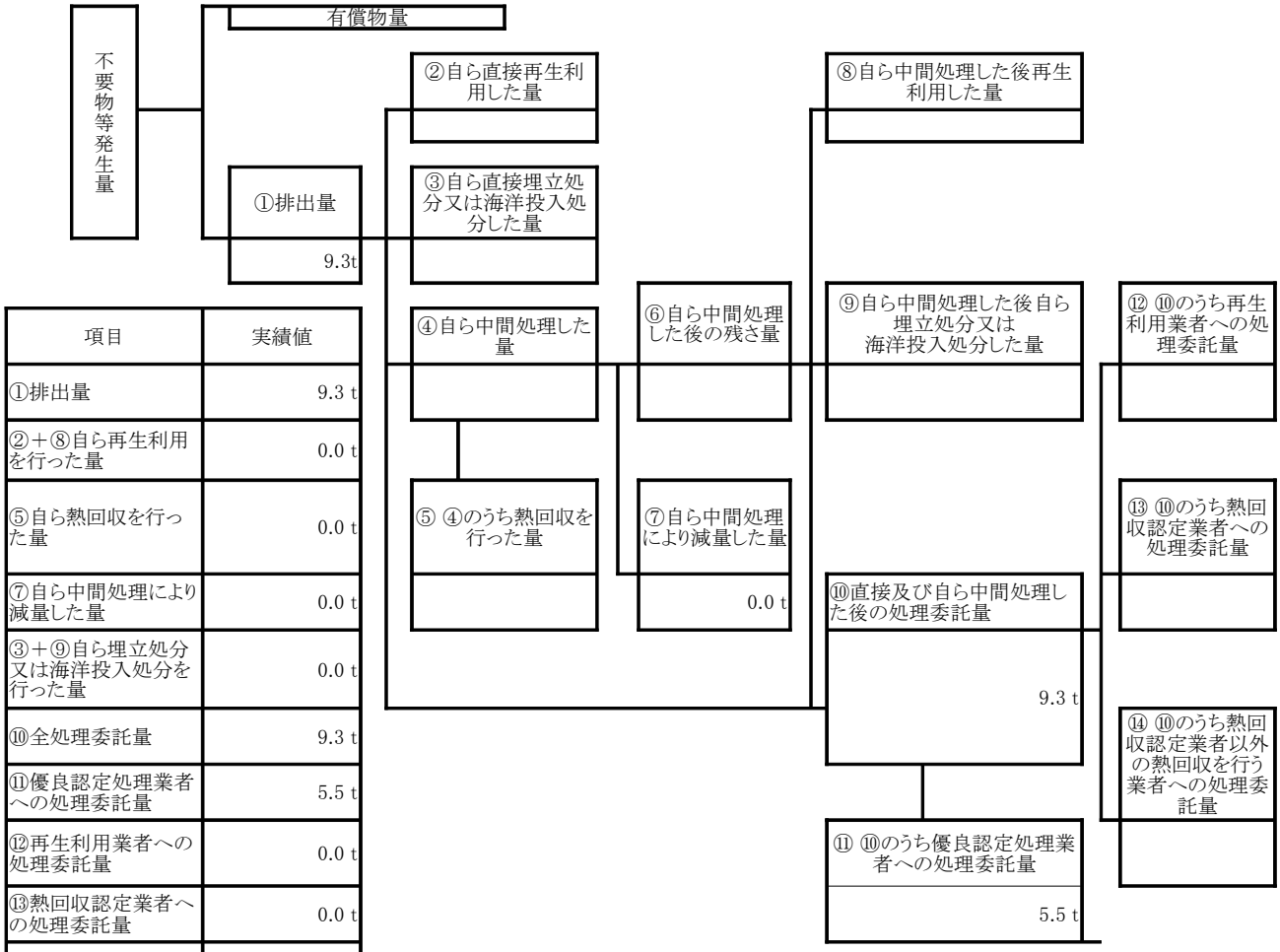


項目	実績値
①排出量	17.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

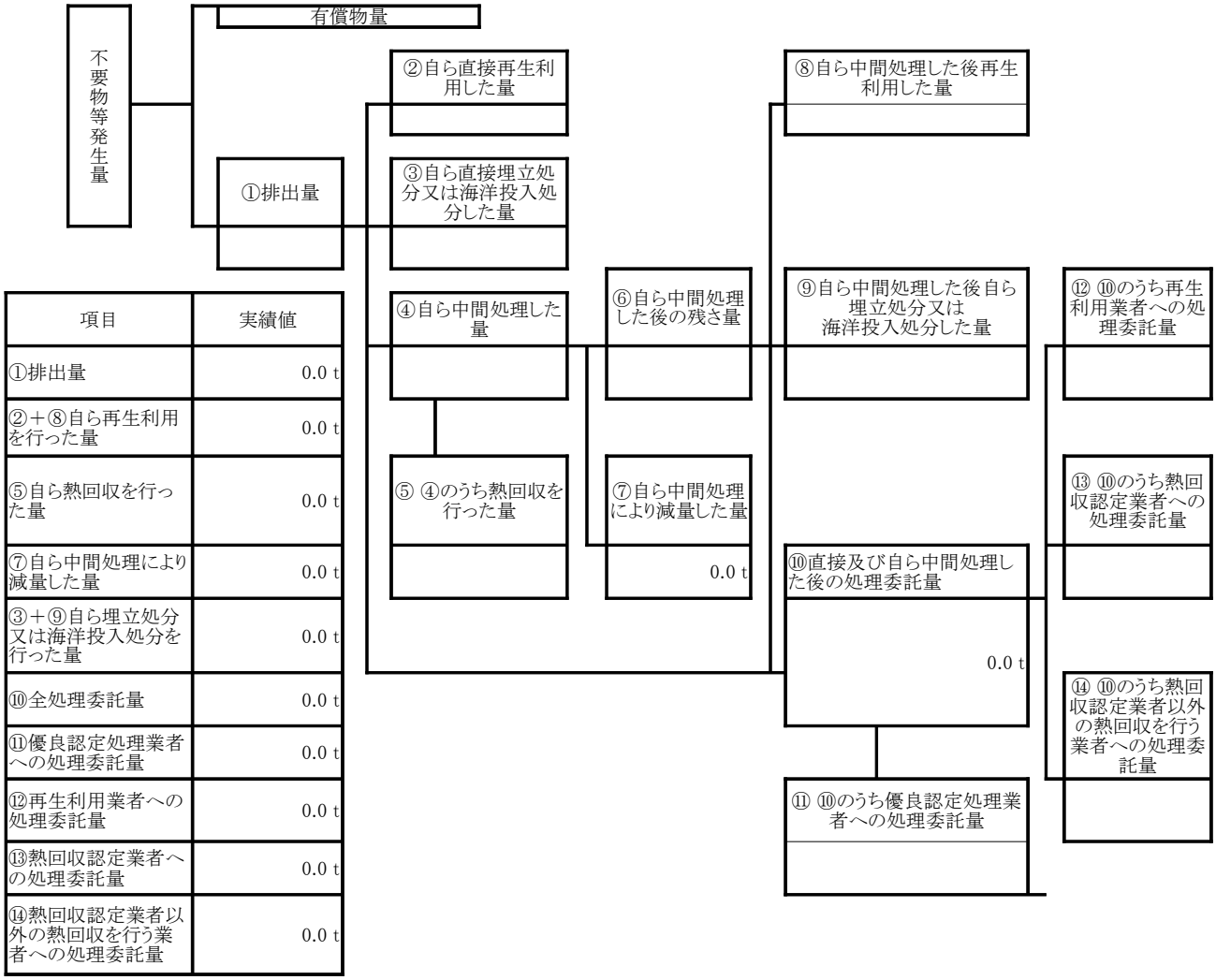


項目	実績値
①排出量	9.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



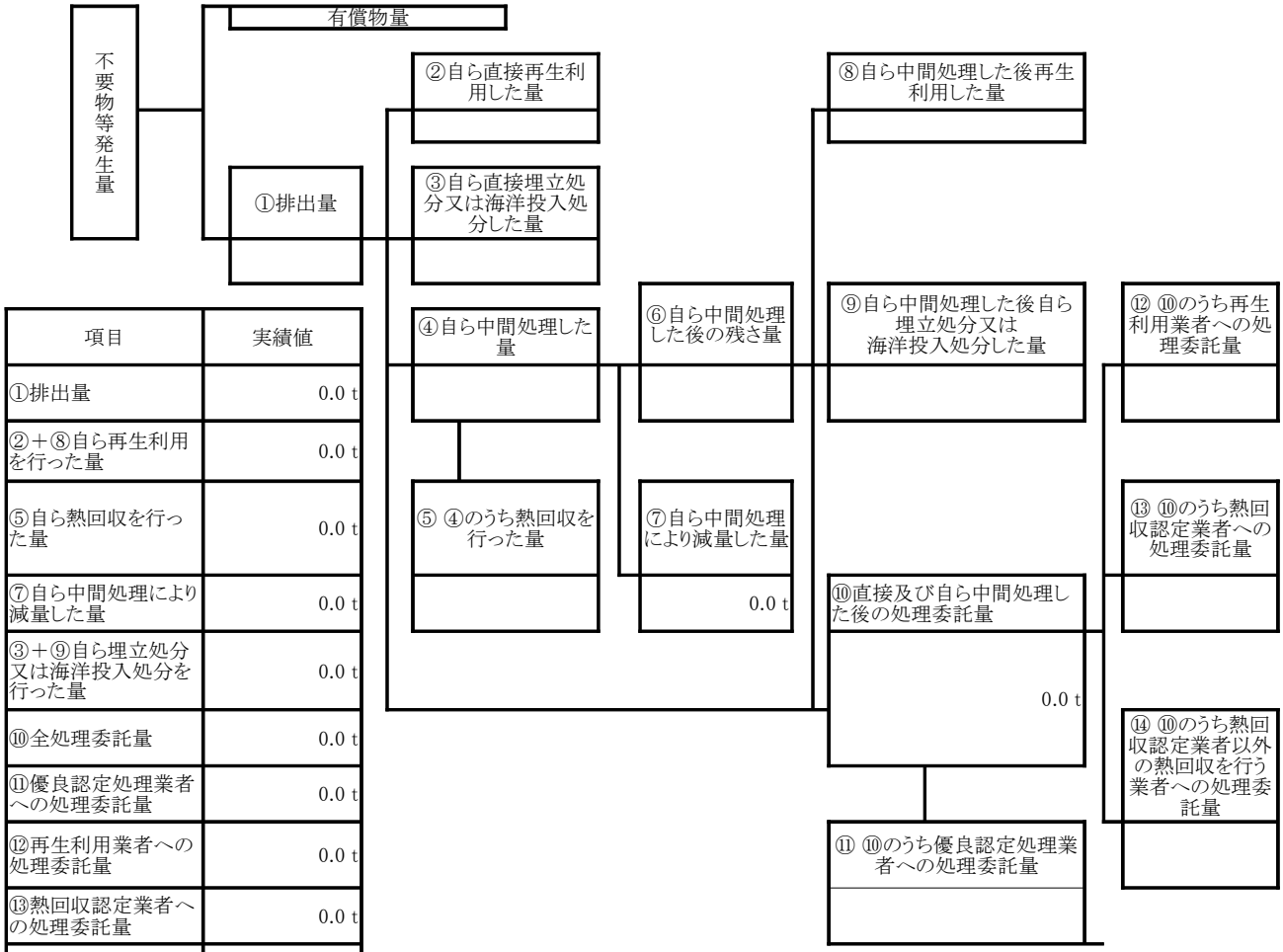
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



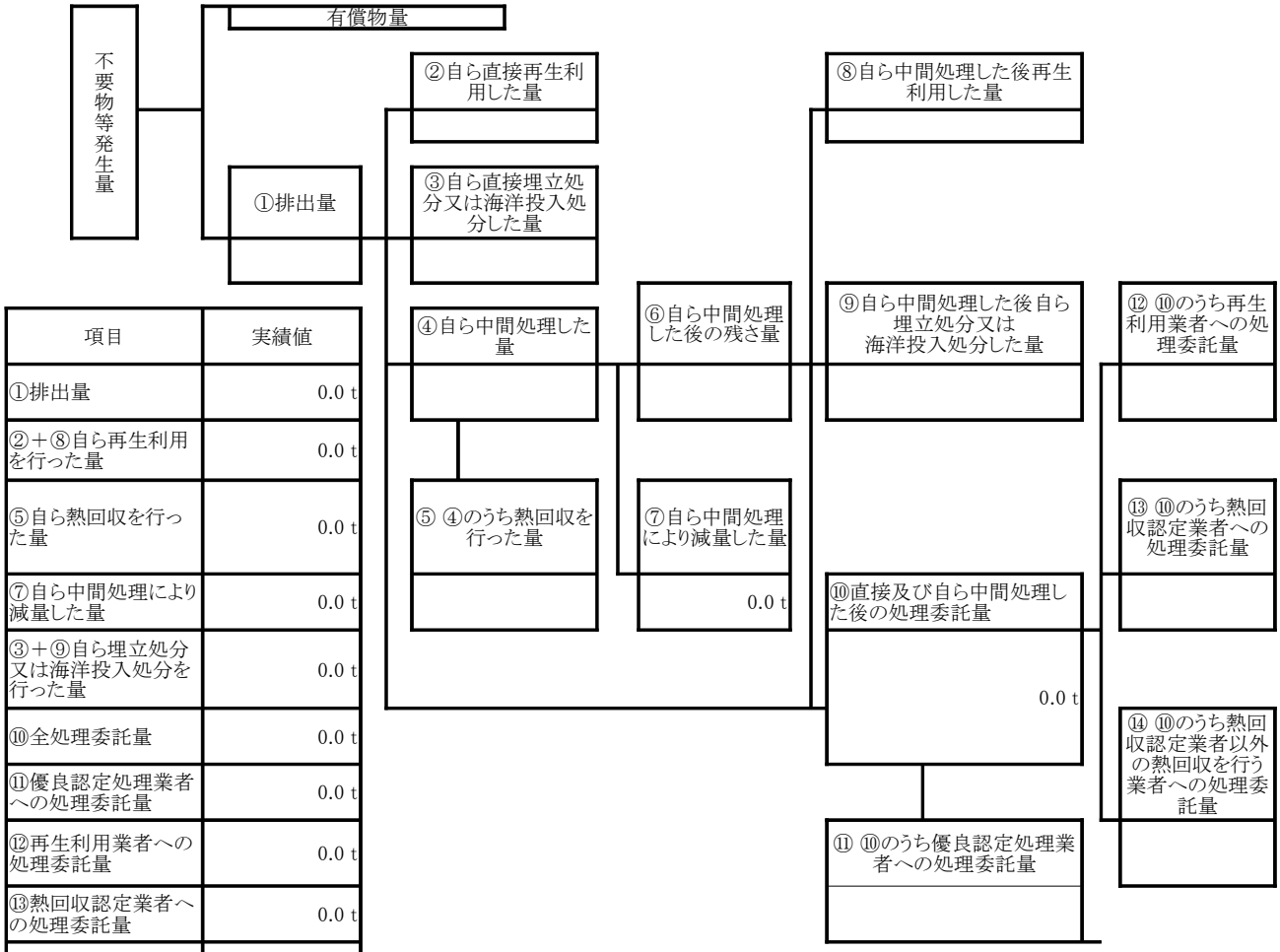
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



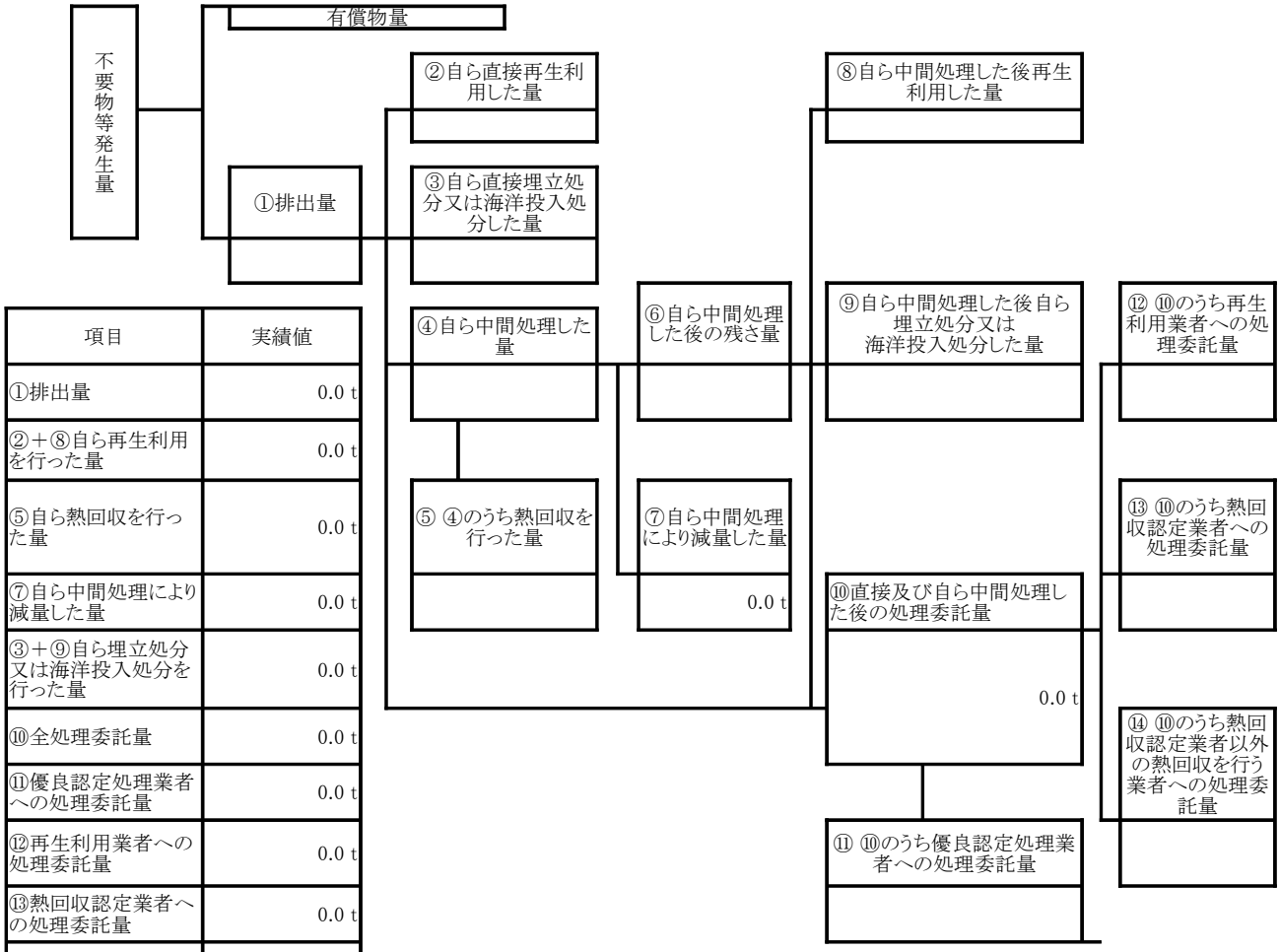
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



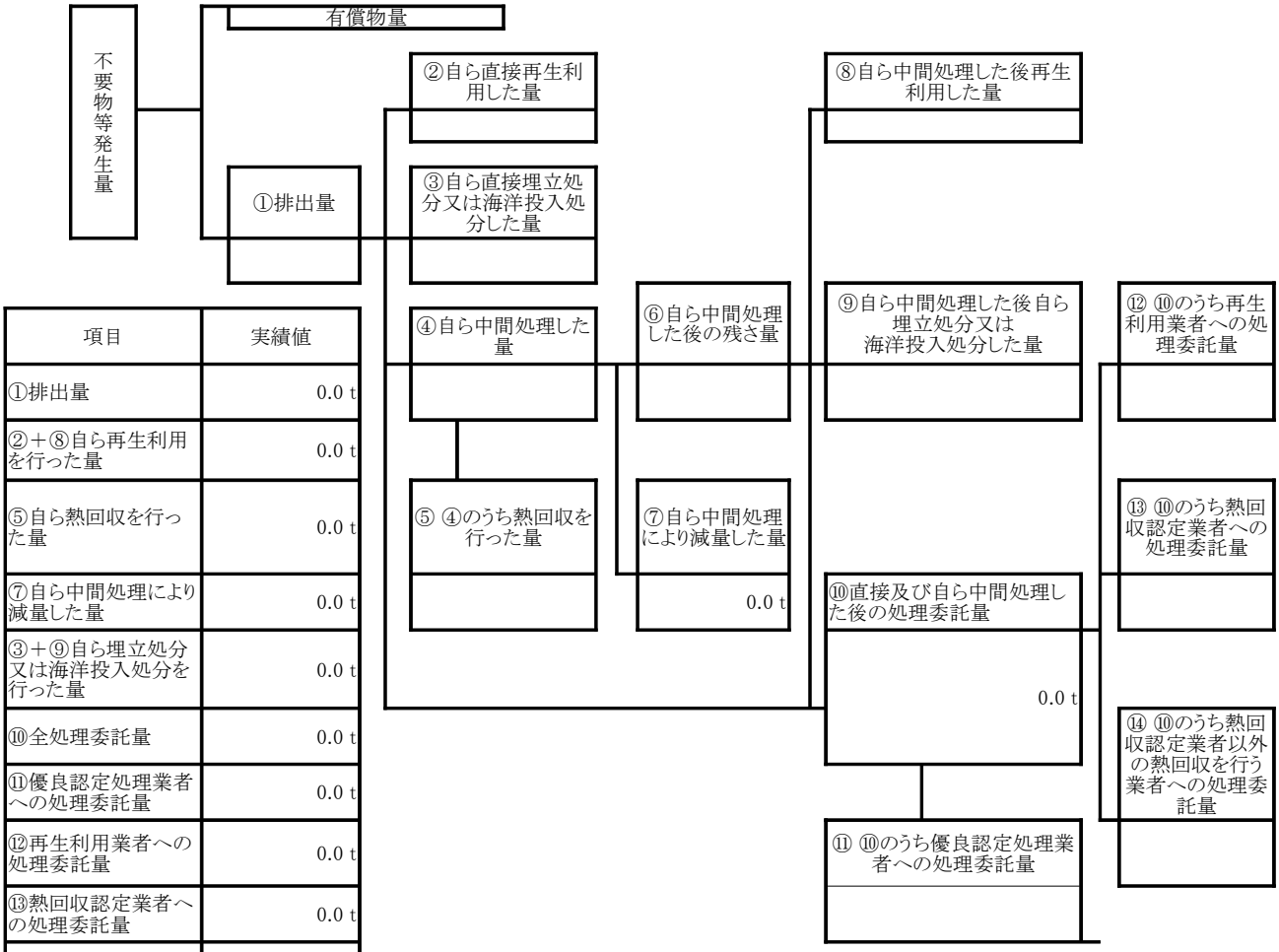
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



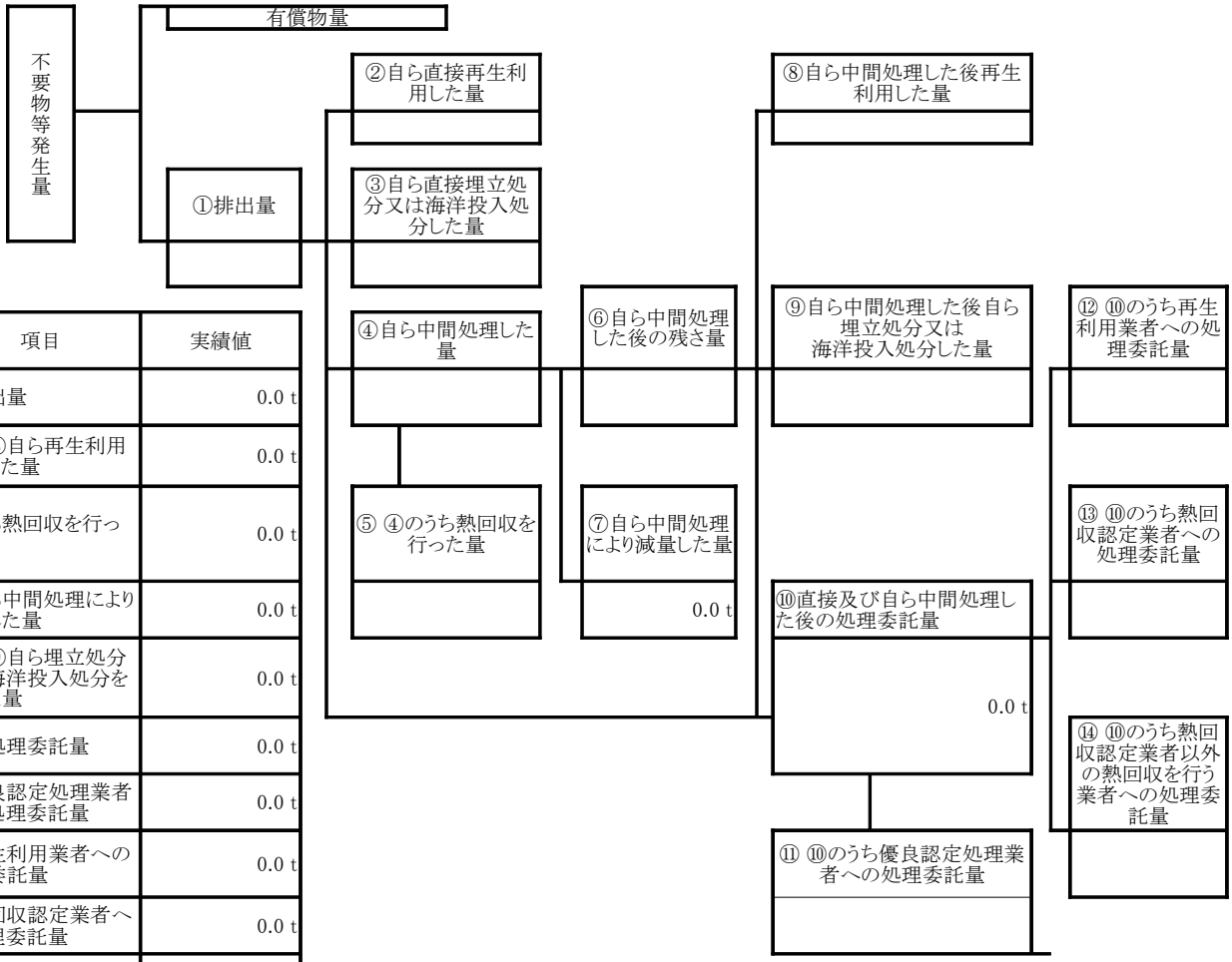
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



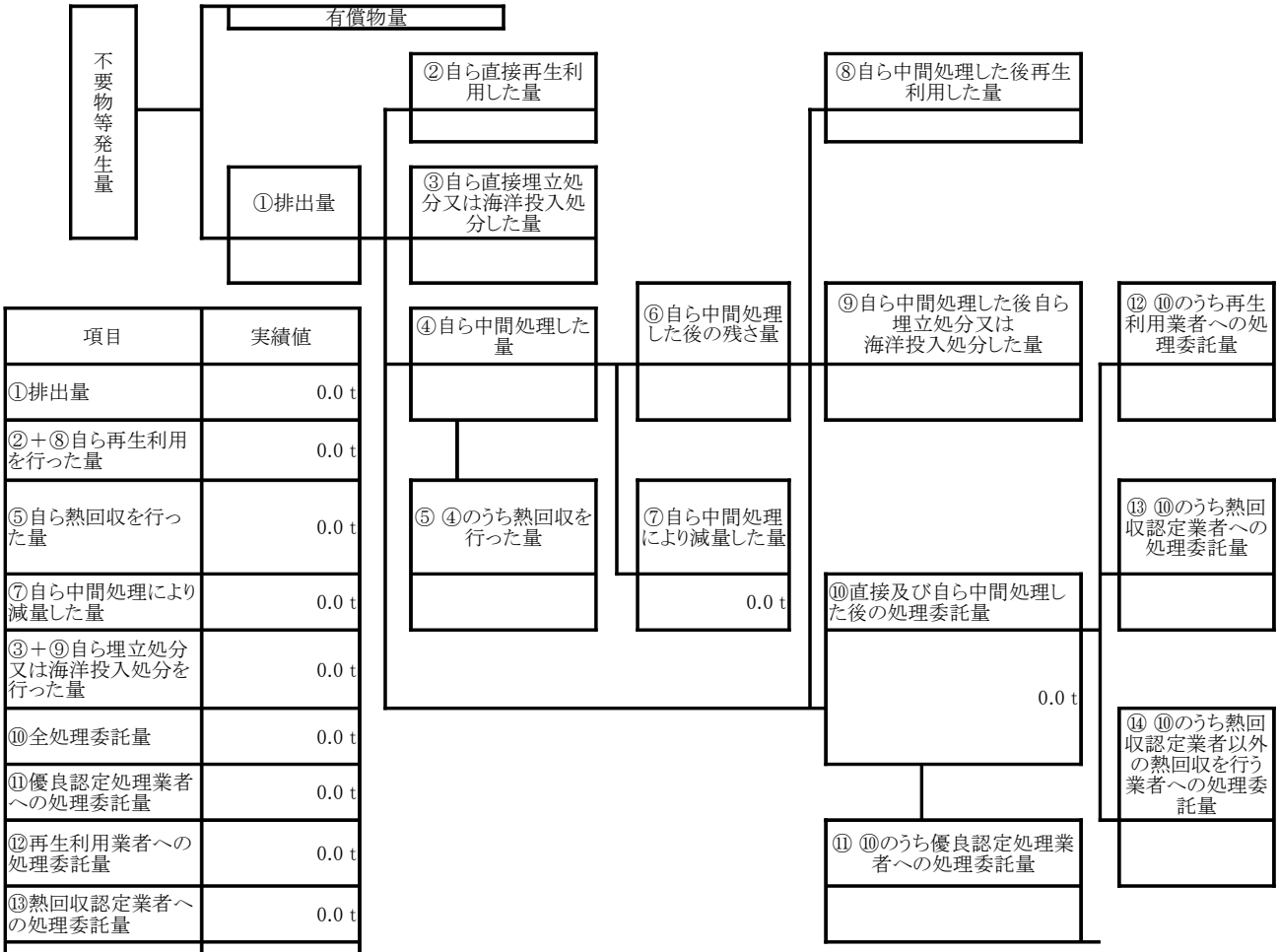
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



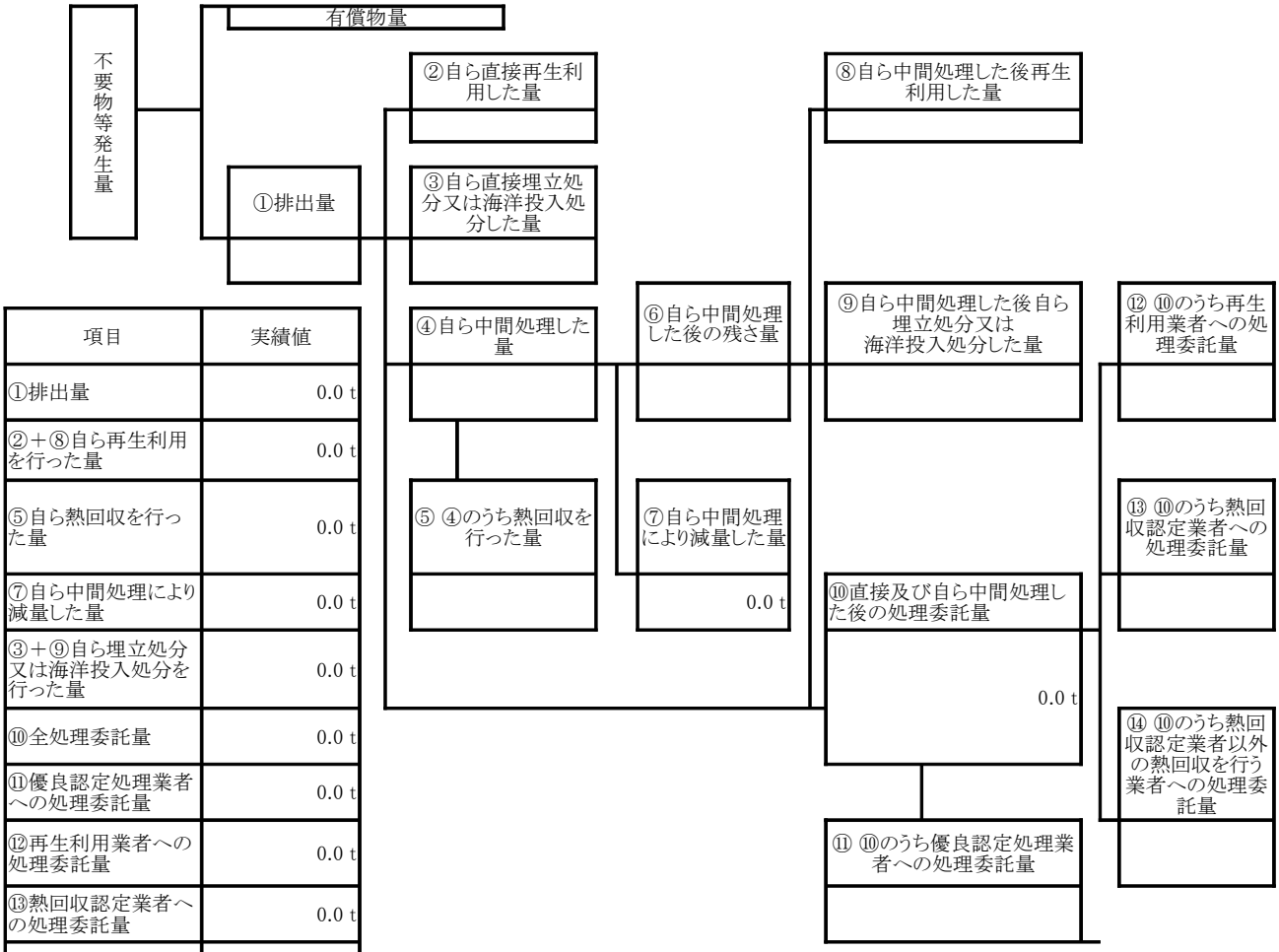
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



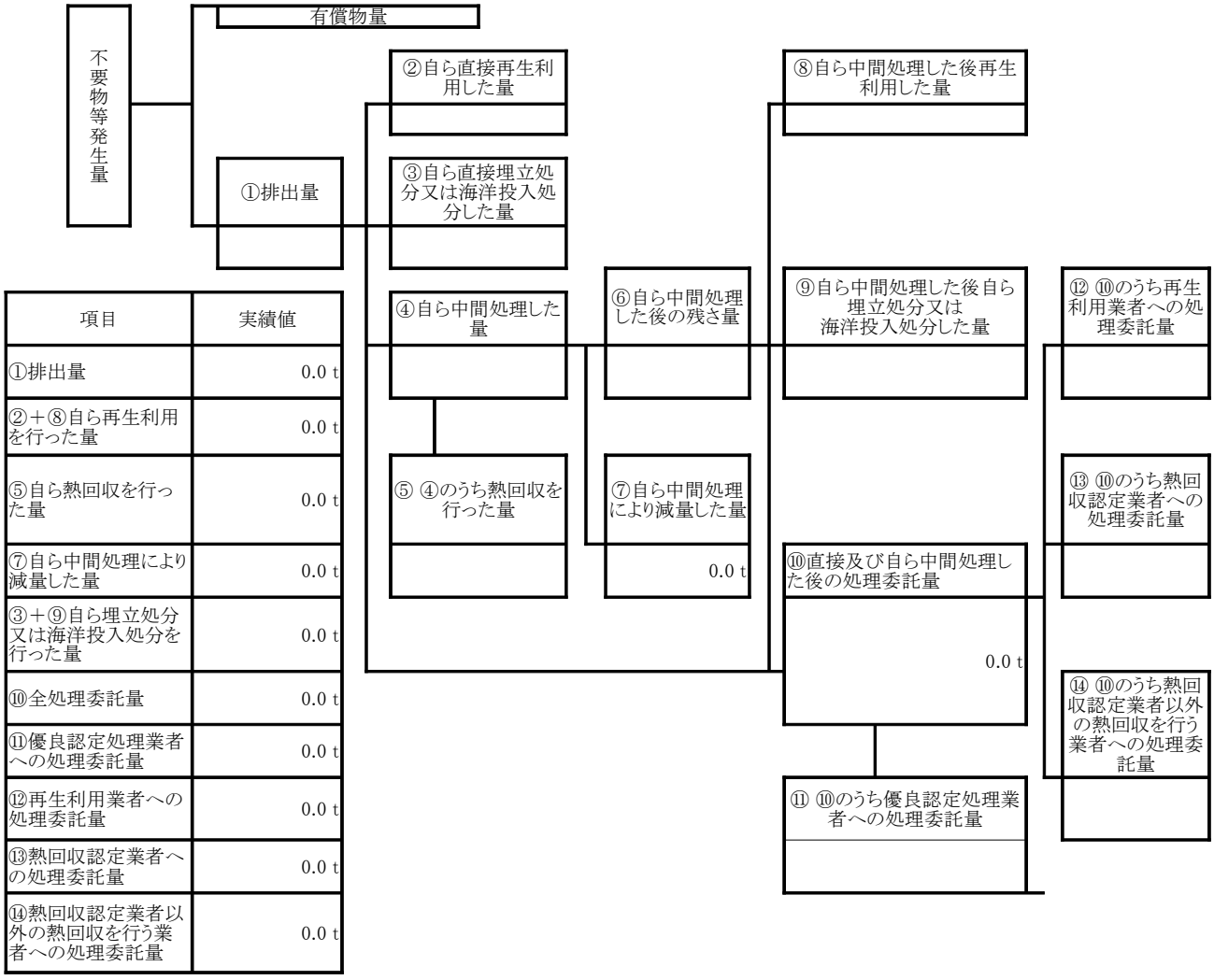
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



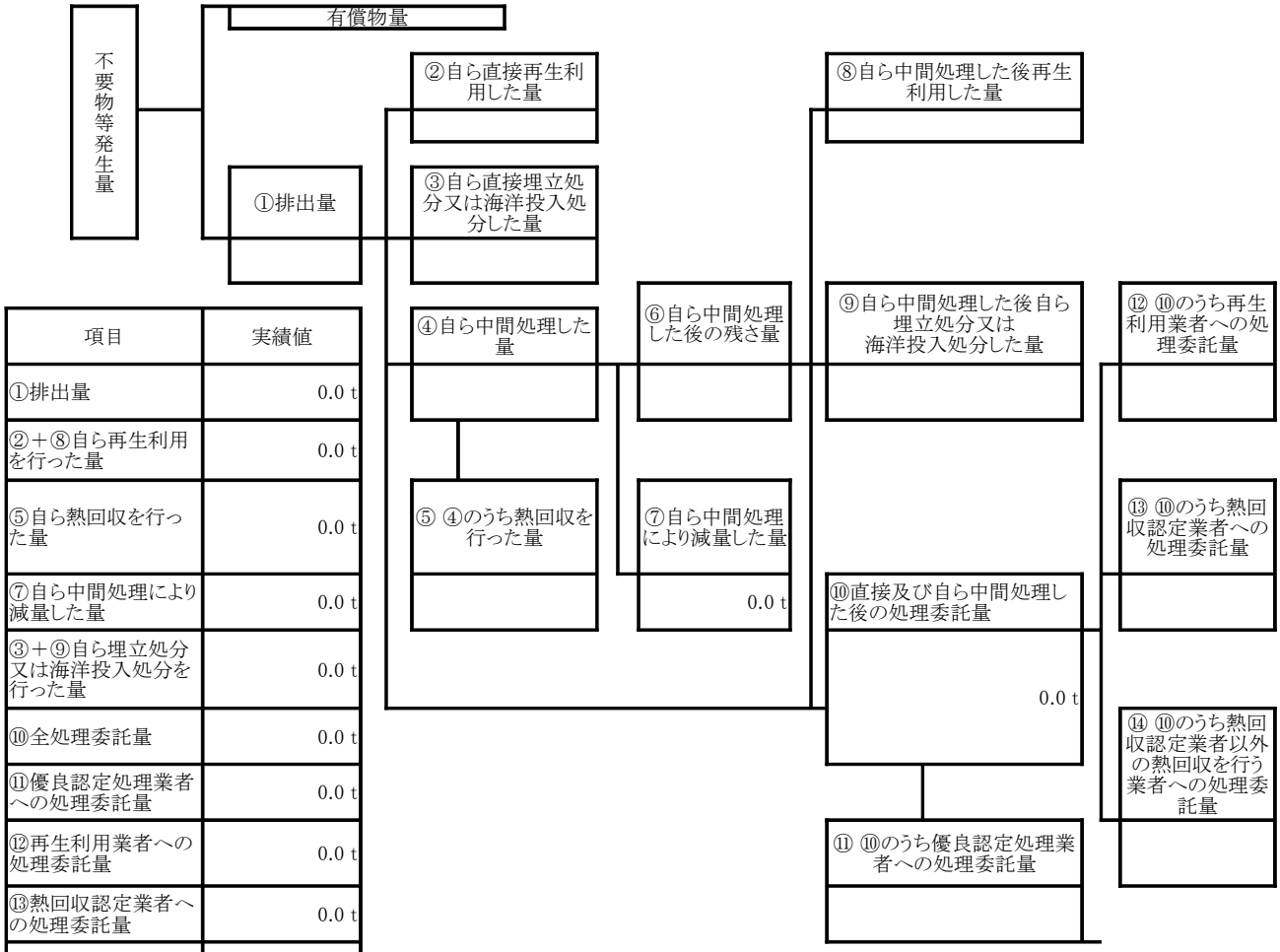
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

千葉県知事 殿



提出者

住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-6-5

氏 名 戸田建設株式会社関東支店

執行役員支店長 林 和男

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 048-827-1301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	戸田建設株式会社関東支店
事業場の所在地	埼玉県さいたま市浦和区高砂2-6-5
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

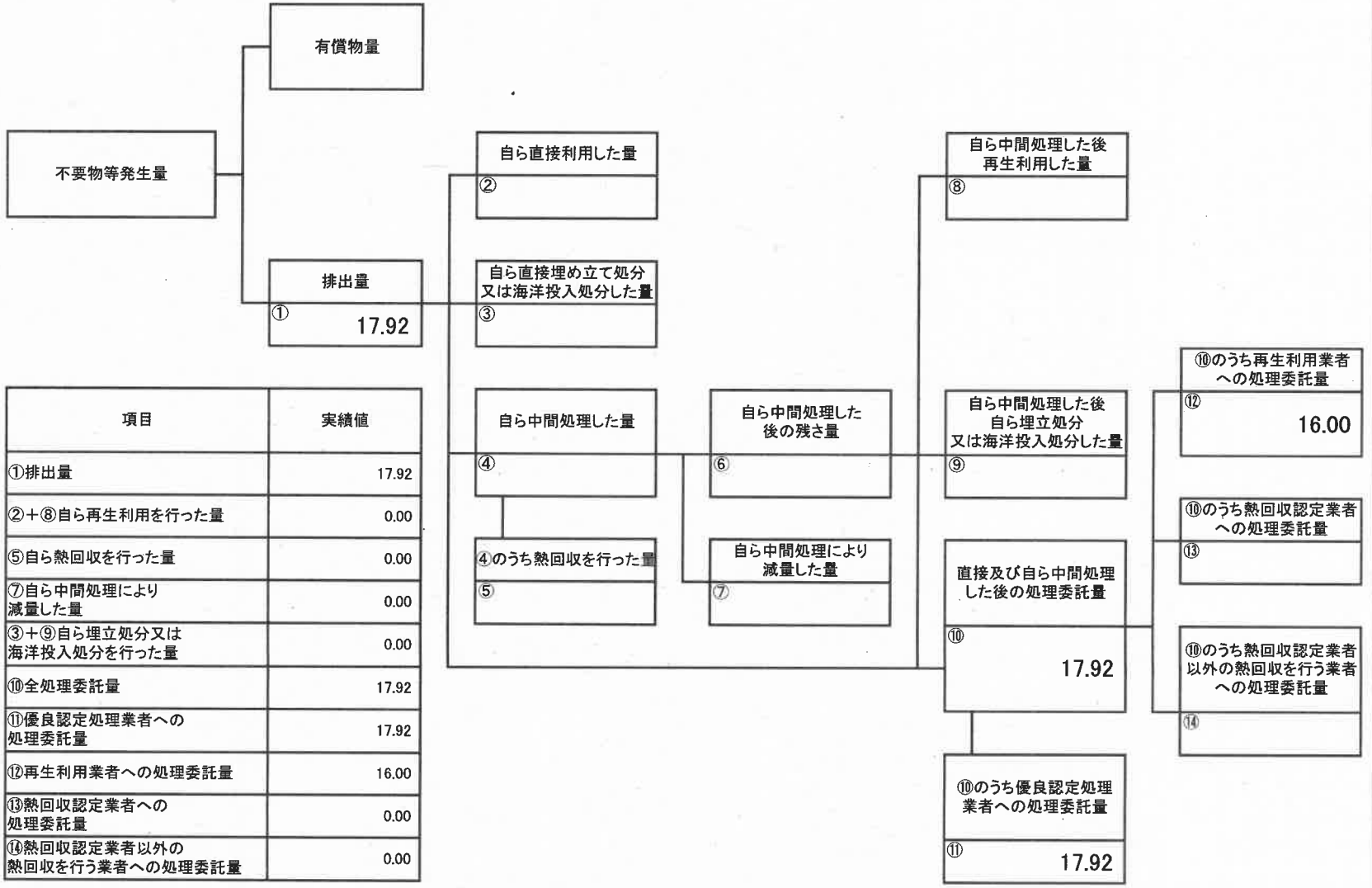
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,093.87 t	全処理委託量	2,093.87 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2,056.22 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,093.75 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類汚泥　）　（単位：トン）



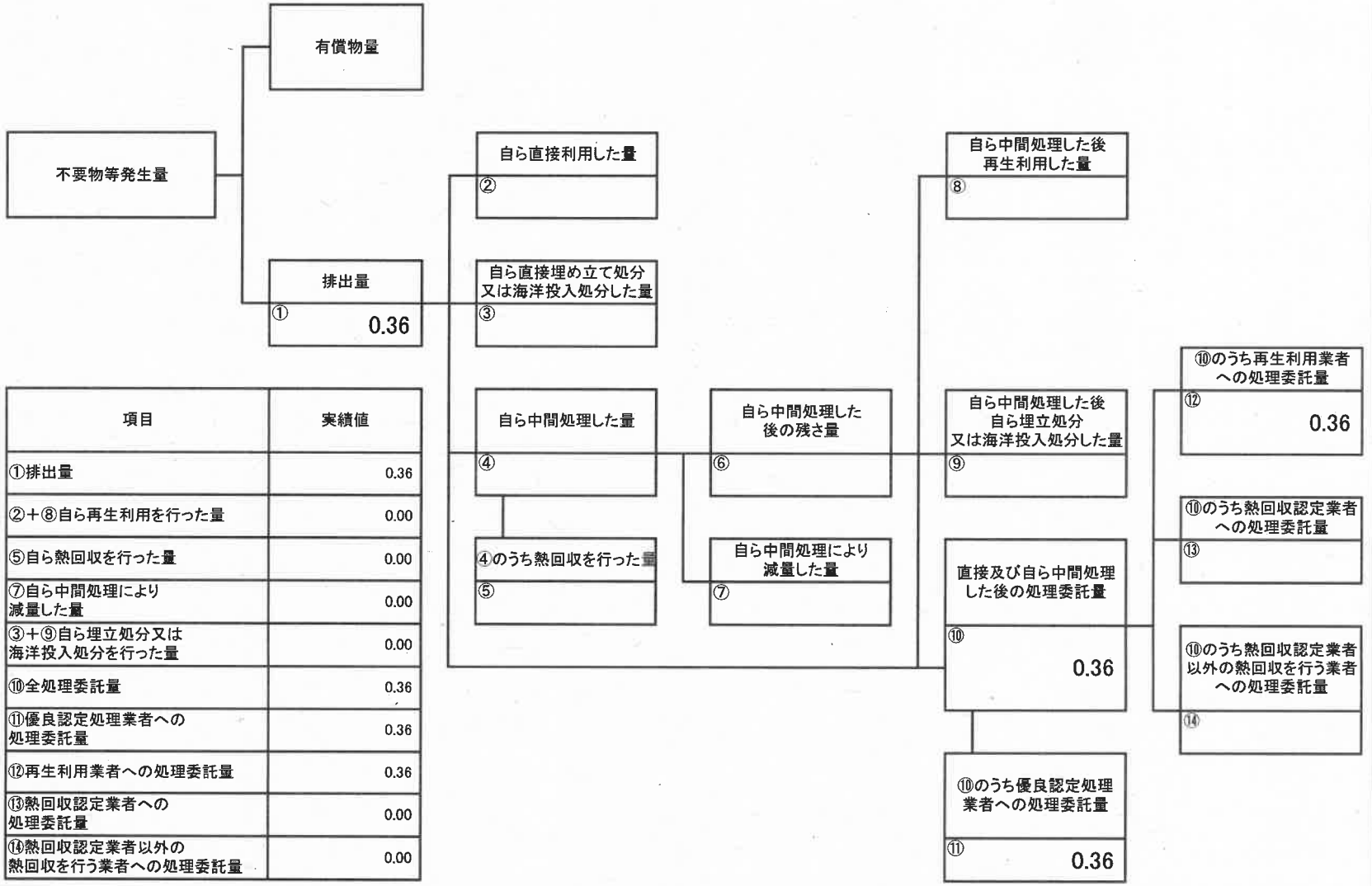
項目	実績値
①排出量	17.92
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	17.92
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.92
⑫再生利用業者への処理委託量	16.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃油　　）

（単位：トン）

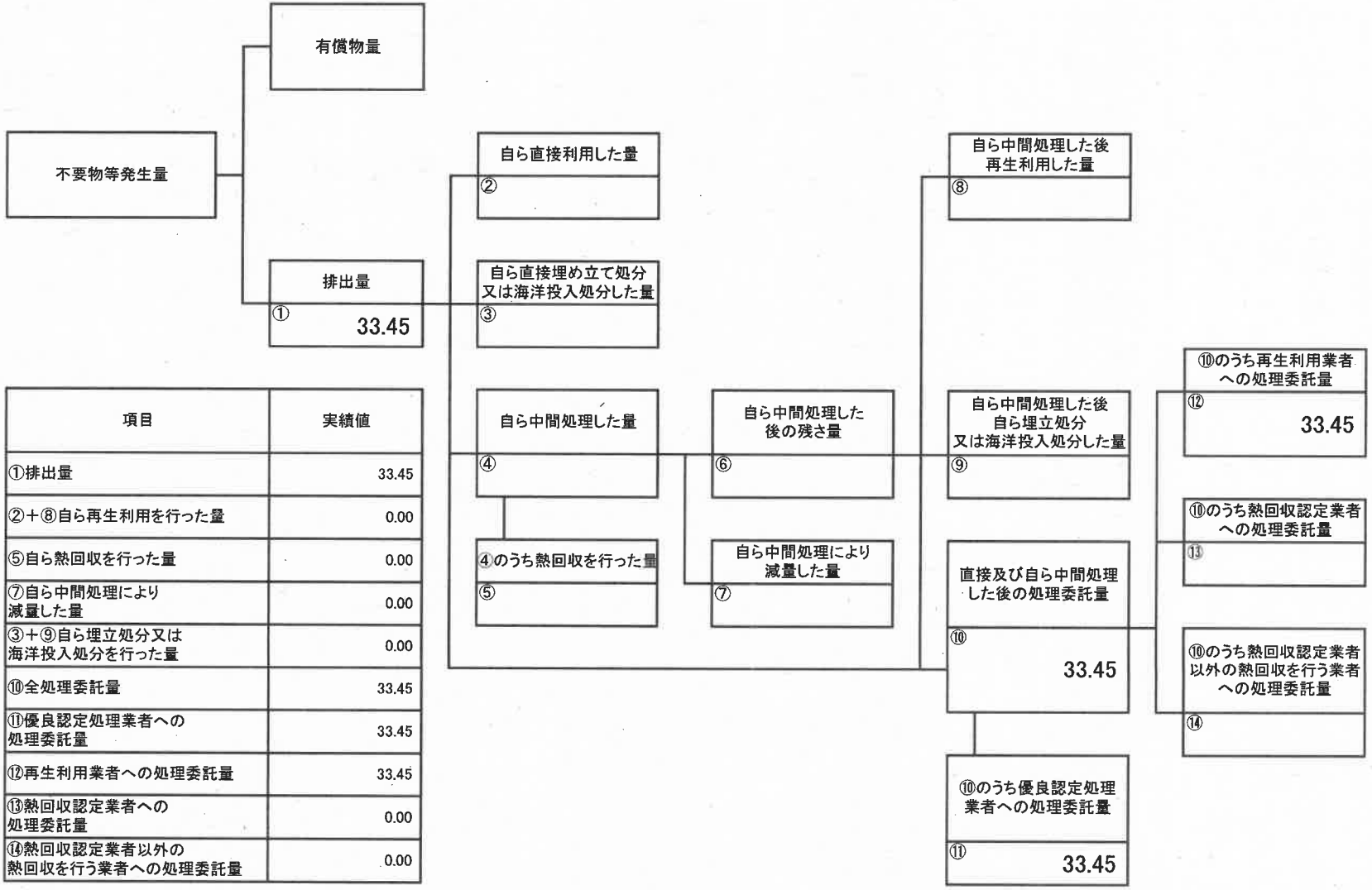


項目	実績値
①排出量	0.36
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.36
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.36
⑫再生利用業者への処理委託量	0.36
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃プラスチック類　　）

（単位：トン）



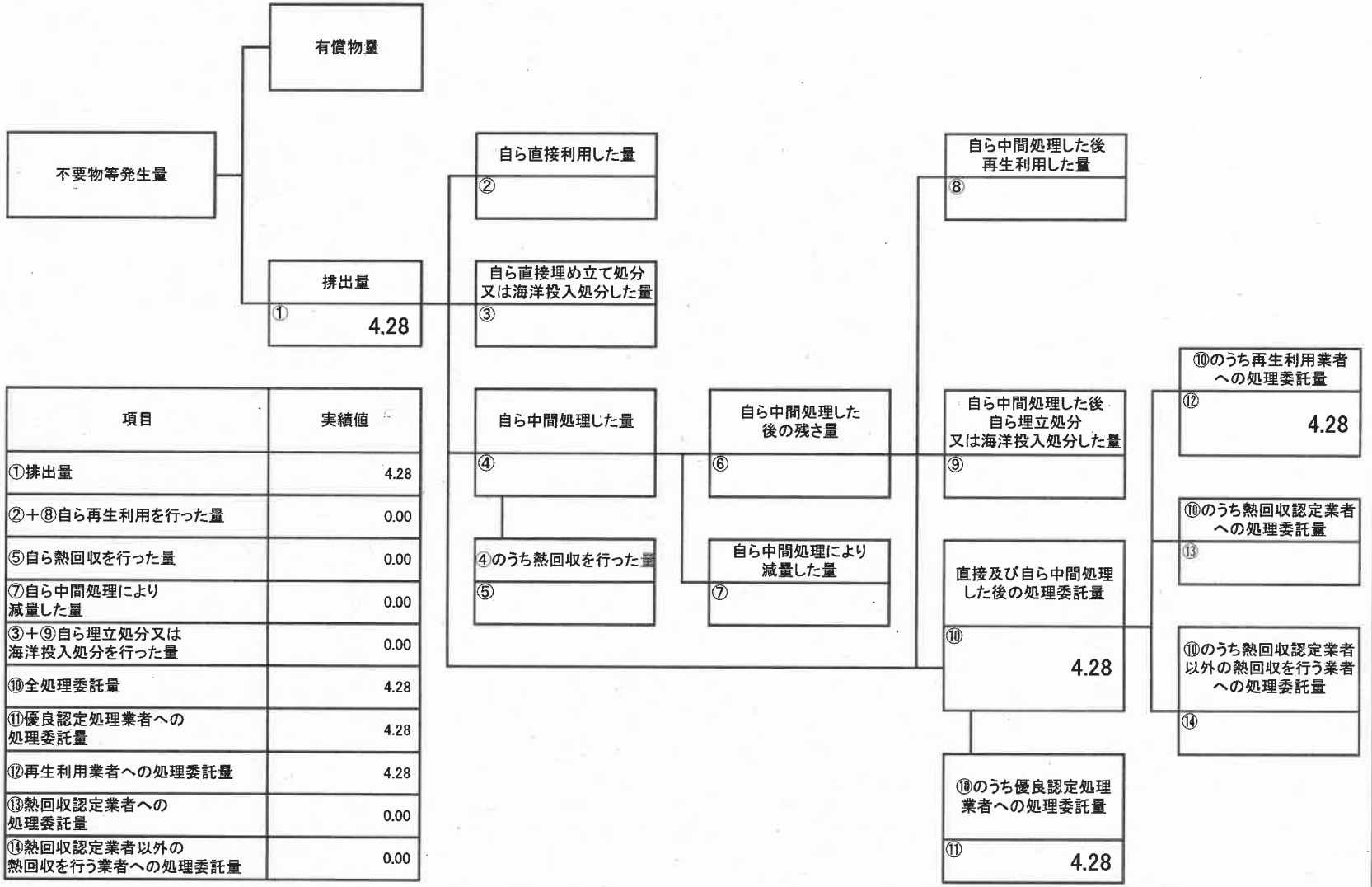
項目	実績値
①排出量	33.45
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	33.45
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.45
⑫再生利用業者への処理委託量	33.45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）



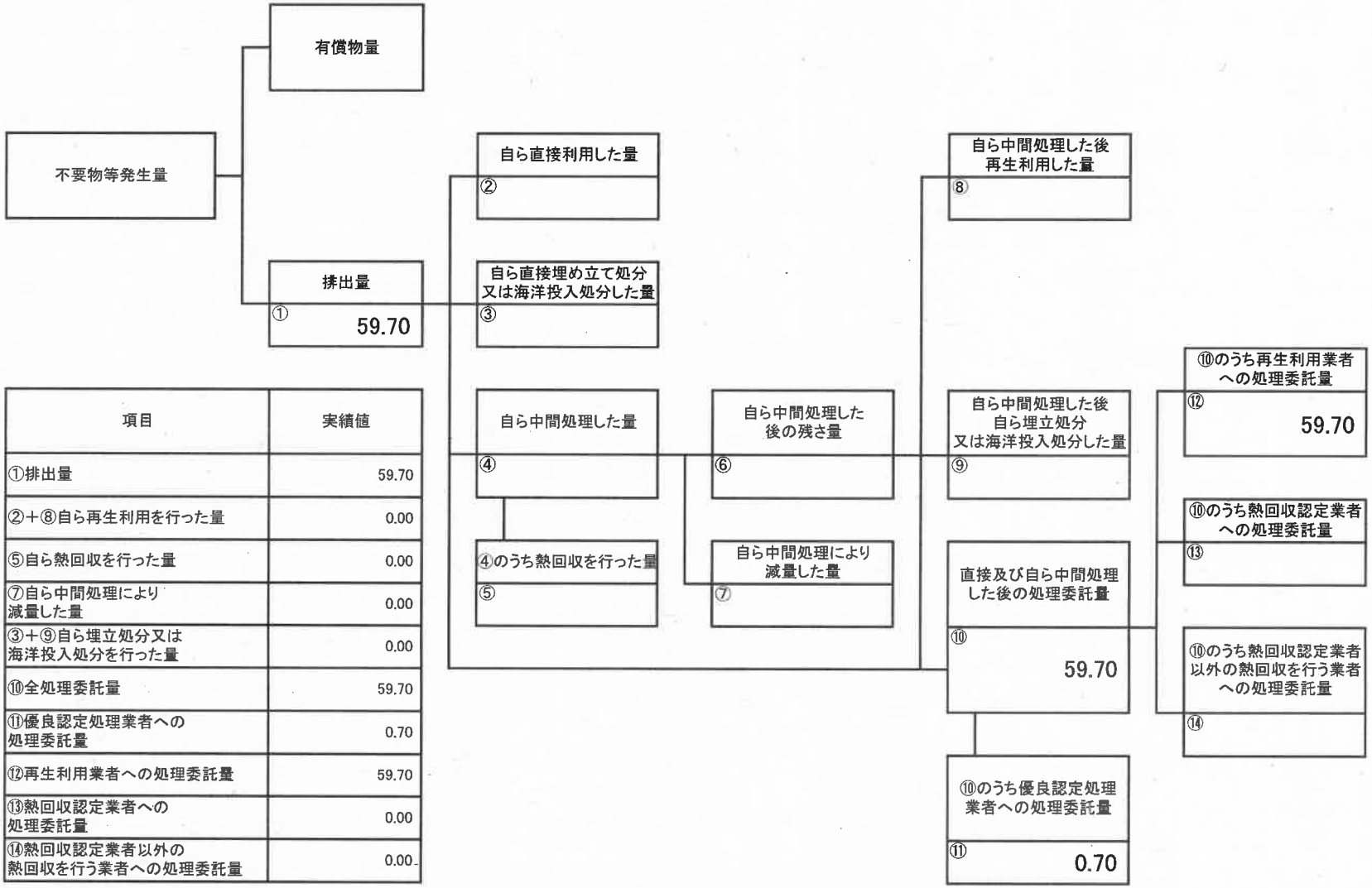
項目	実績値
①排出量	4.28
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.28
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.28
⑫再生利用業者への処理委託量	4.28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず ）

（単位：トン）



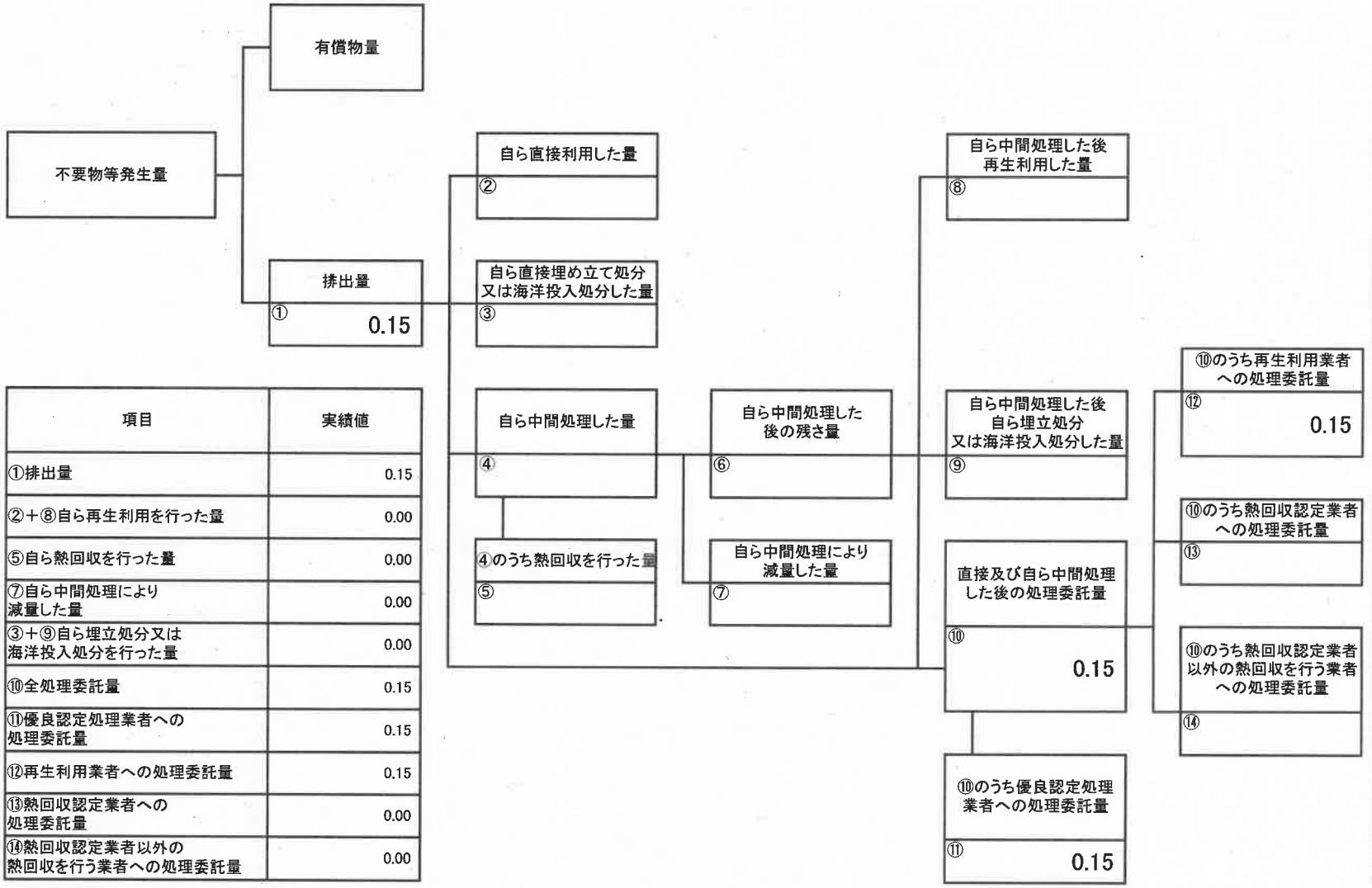
項目	実績値
①排出量	59.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	59.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.70
⑫再生利用業者への処理委託量	59.70
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類金属くず　　）

（単位：トン）

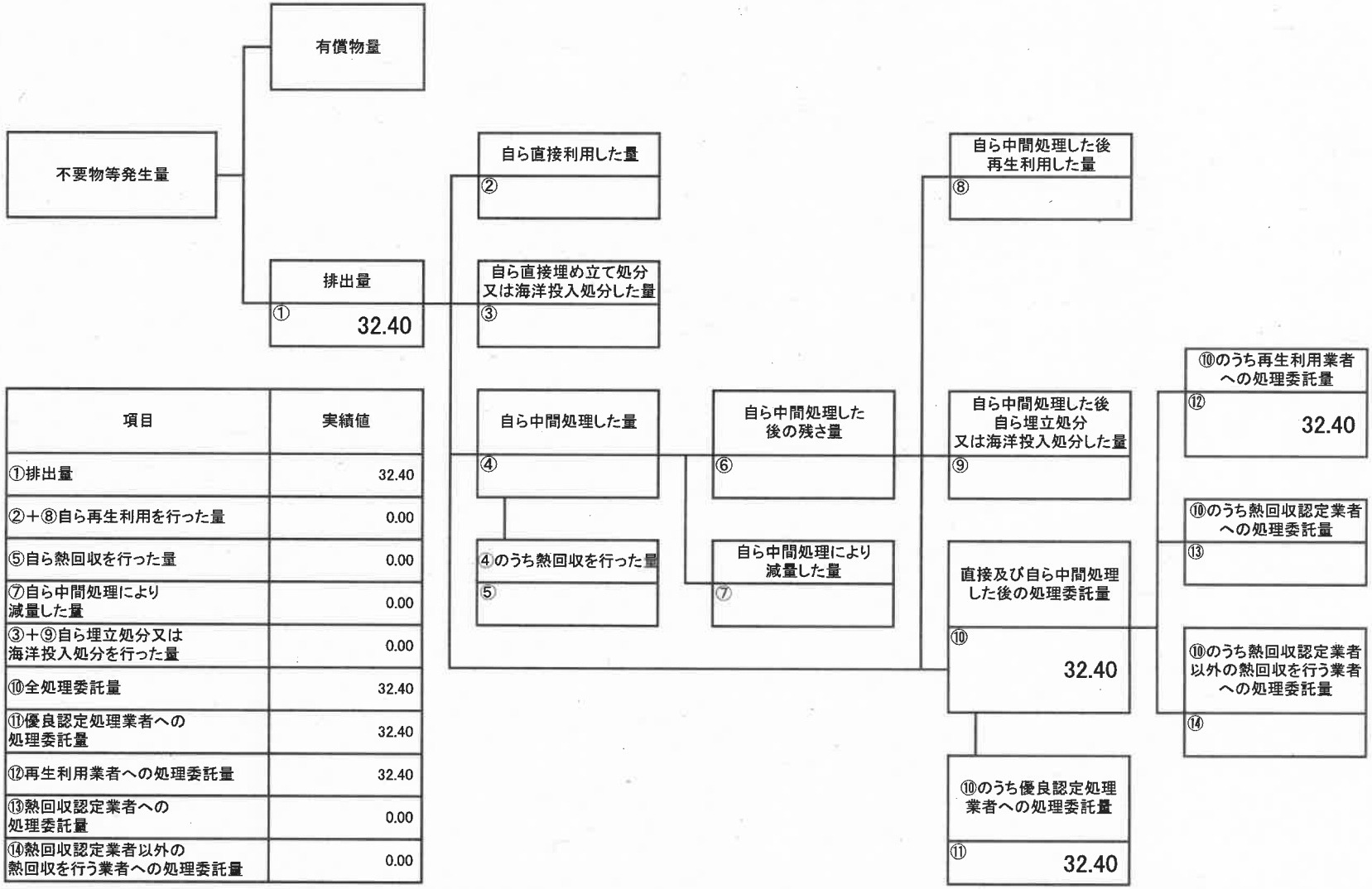


項目	実績値
①排出量	0.15
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.15
⑫再生利用業者への処理委託量	0.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）



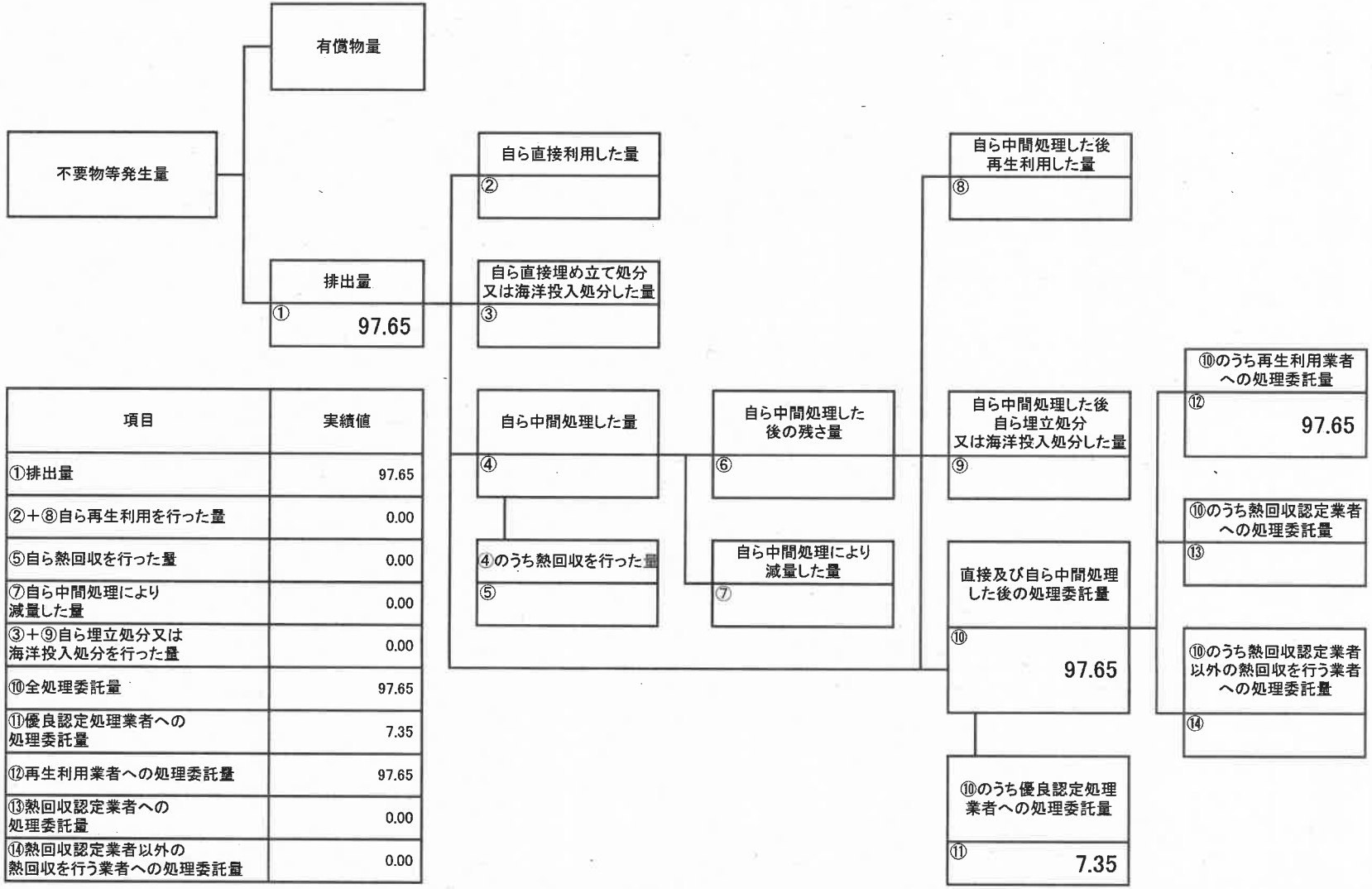
項目	実績値
①排出量	32.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	32.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32.40
⑫再生利用業者への処理委託量	32.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

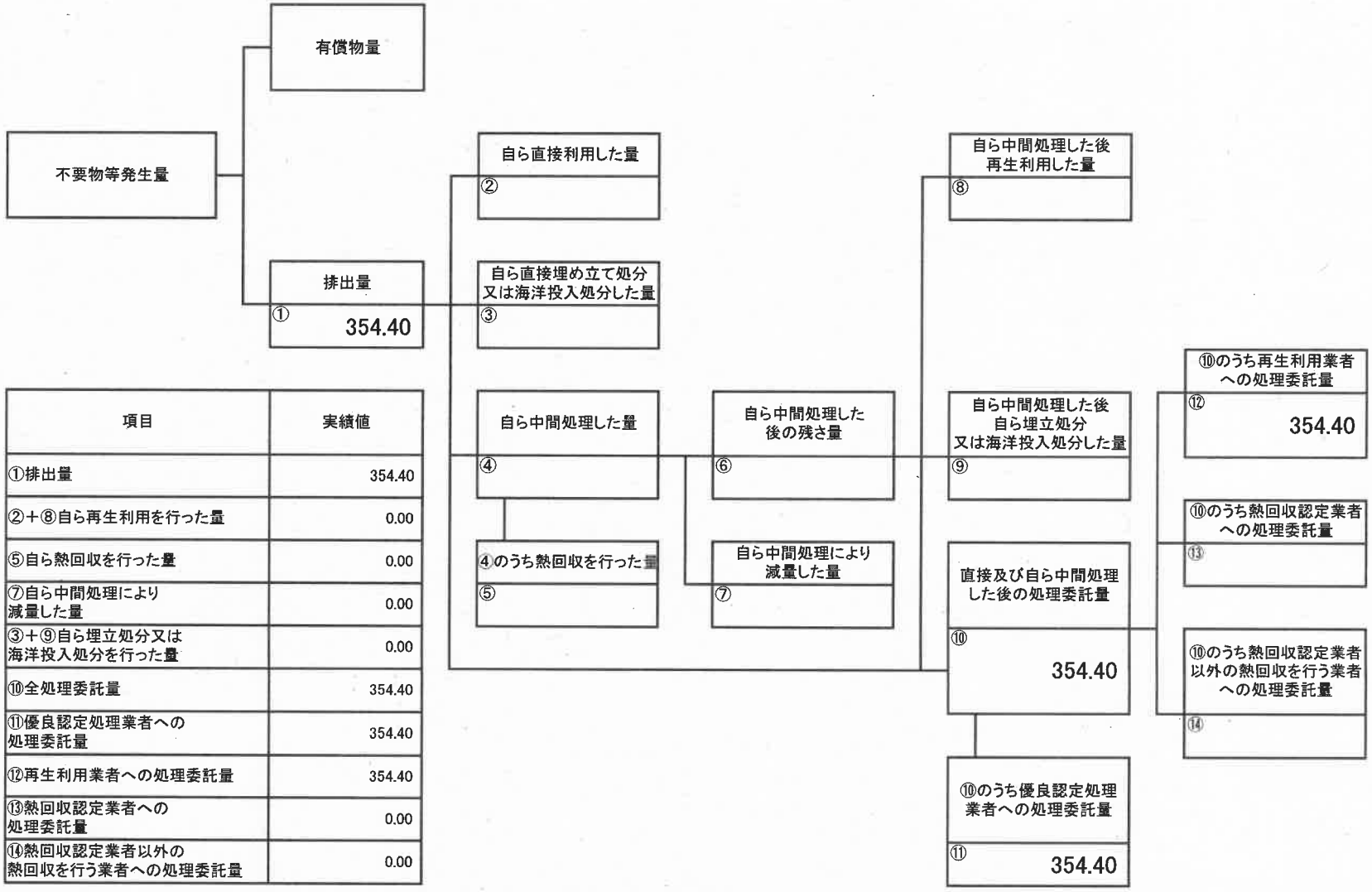


項目	実績値
①排出量	97.65
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	97.65
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.35
⑫再生利用業者への処理委託量	97.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）



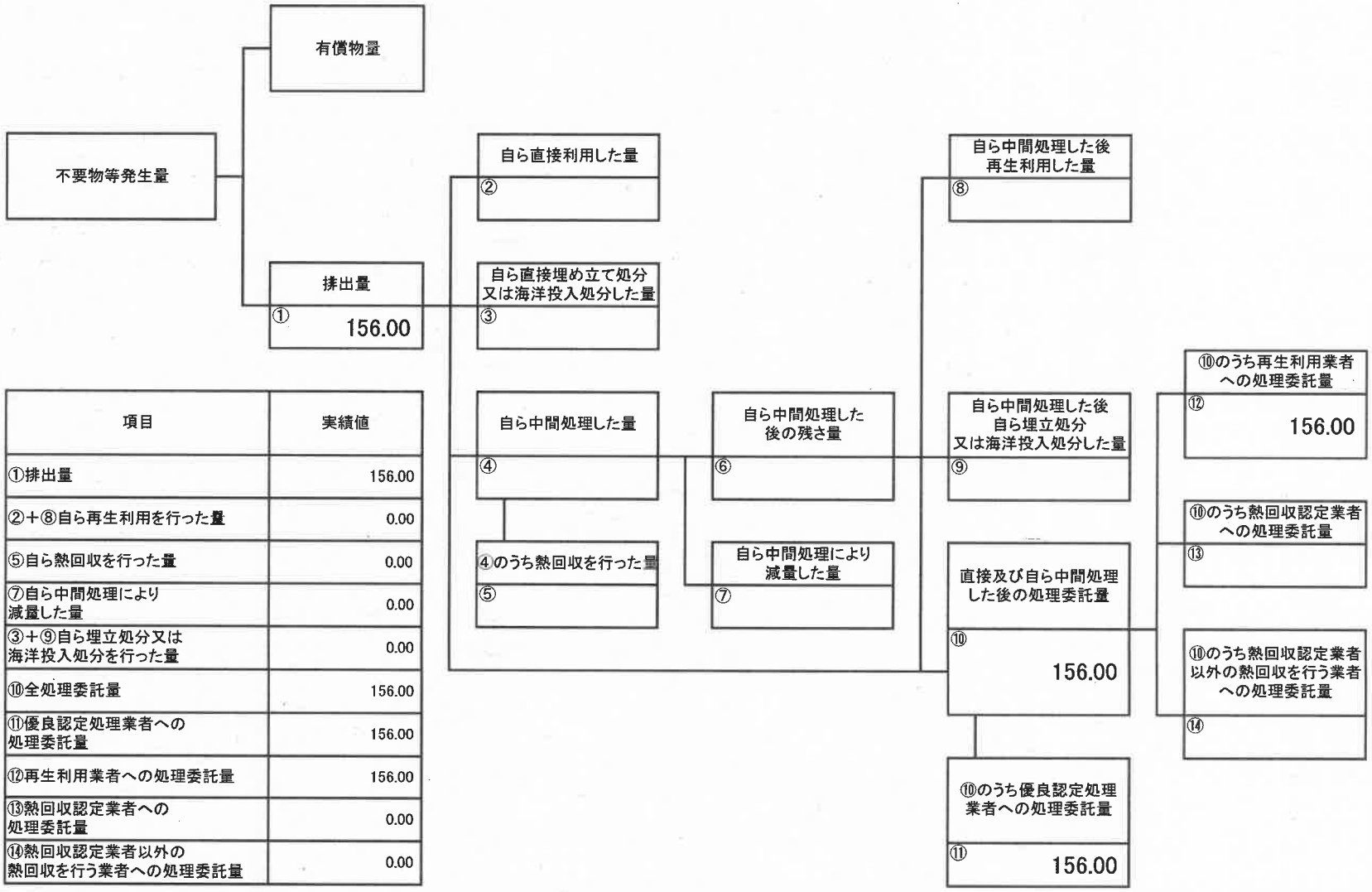
項目	実績値
①排出量	354.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	354.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	354.40
⑫再生利用業者への処理委託量	354.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）



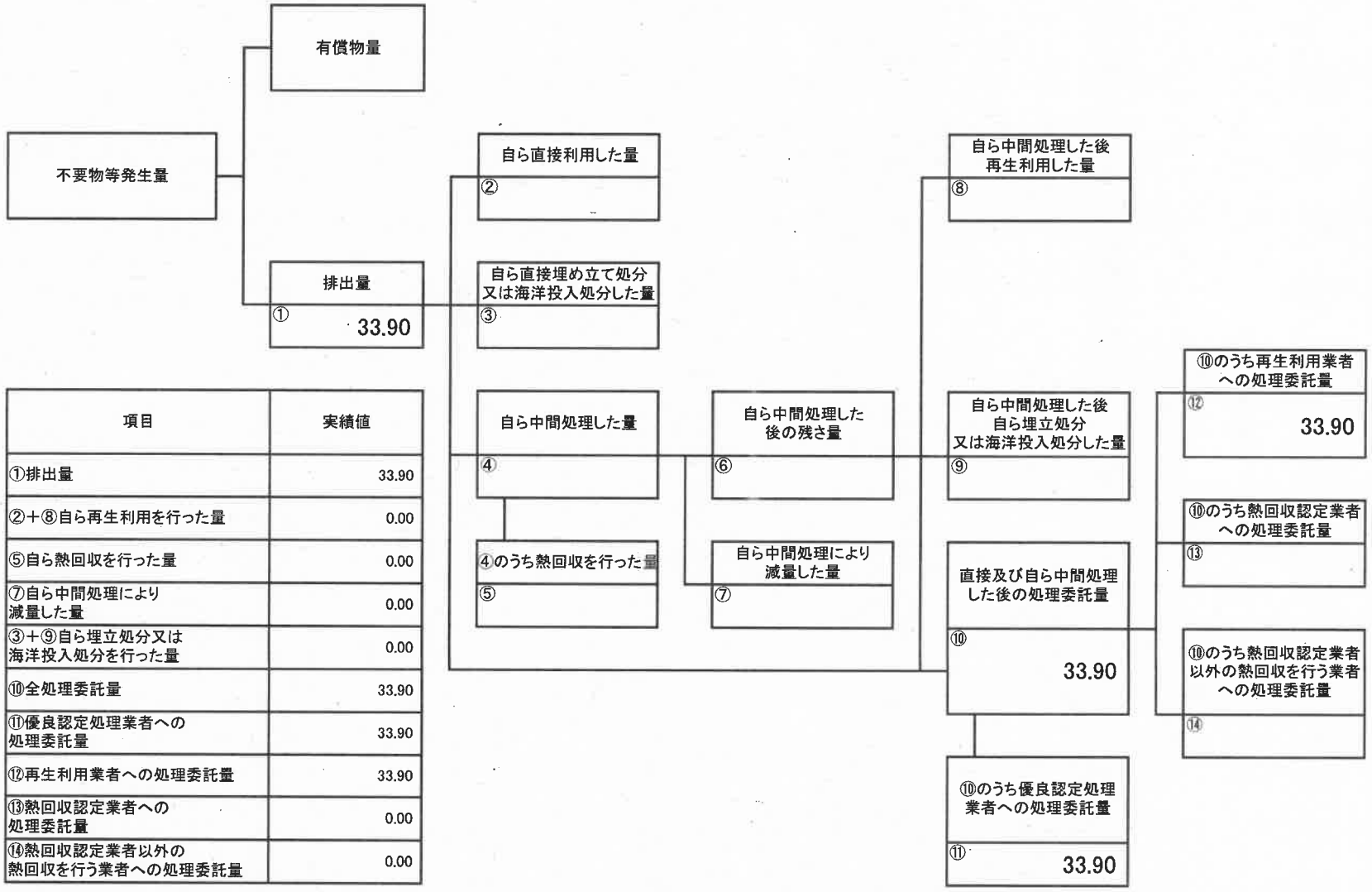
項目	実績値
①排出量	156.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	156.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	156.00
⑫再生利用業者への処理委託量	156.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

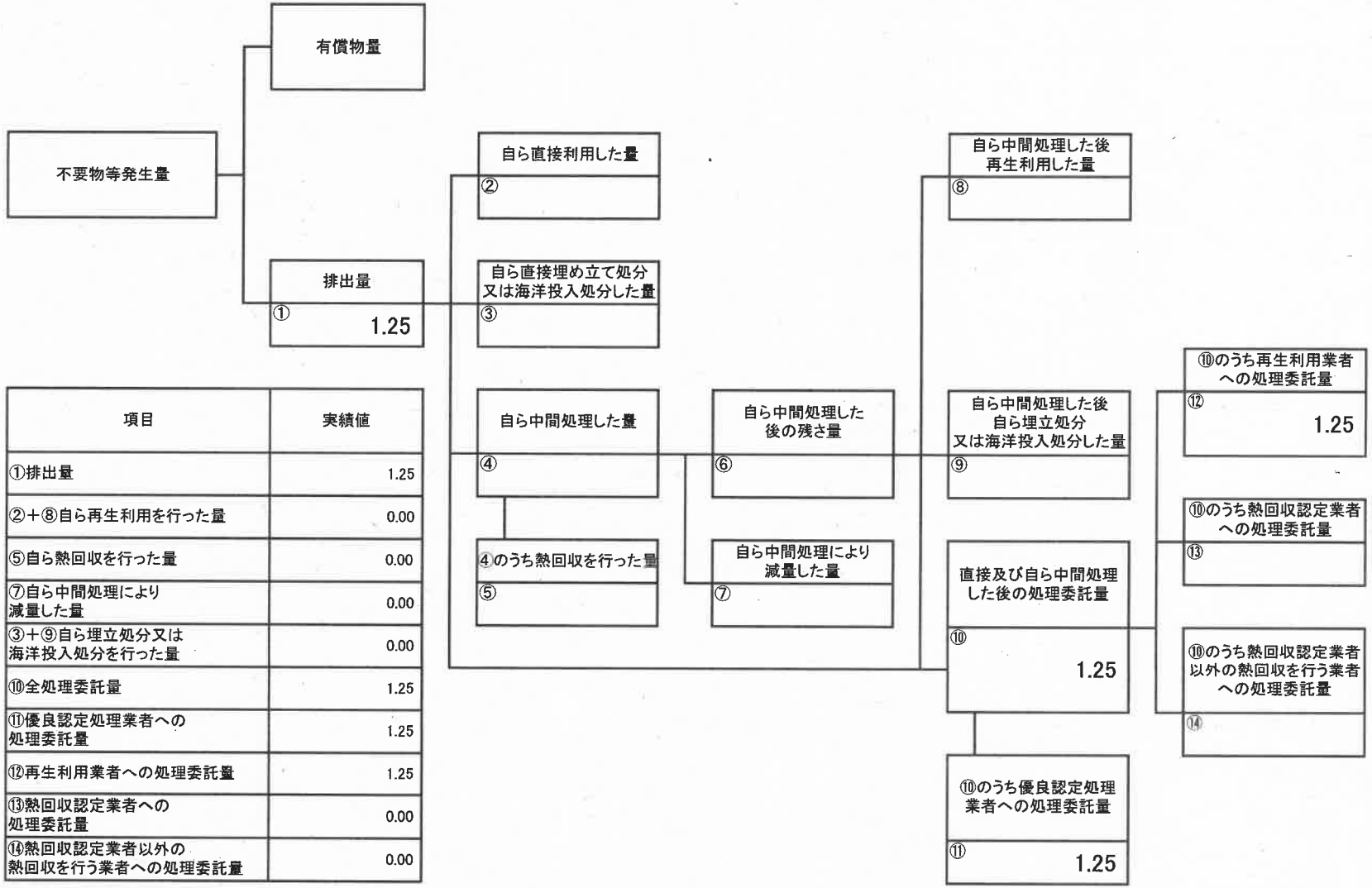


項目	実績値
①排出量	33.90
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	33.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.90
⑫再生利用業者への処理委託量	33.90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

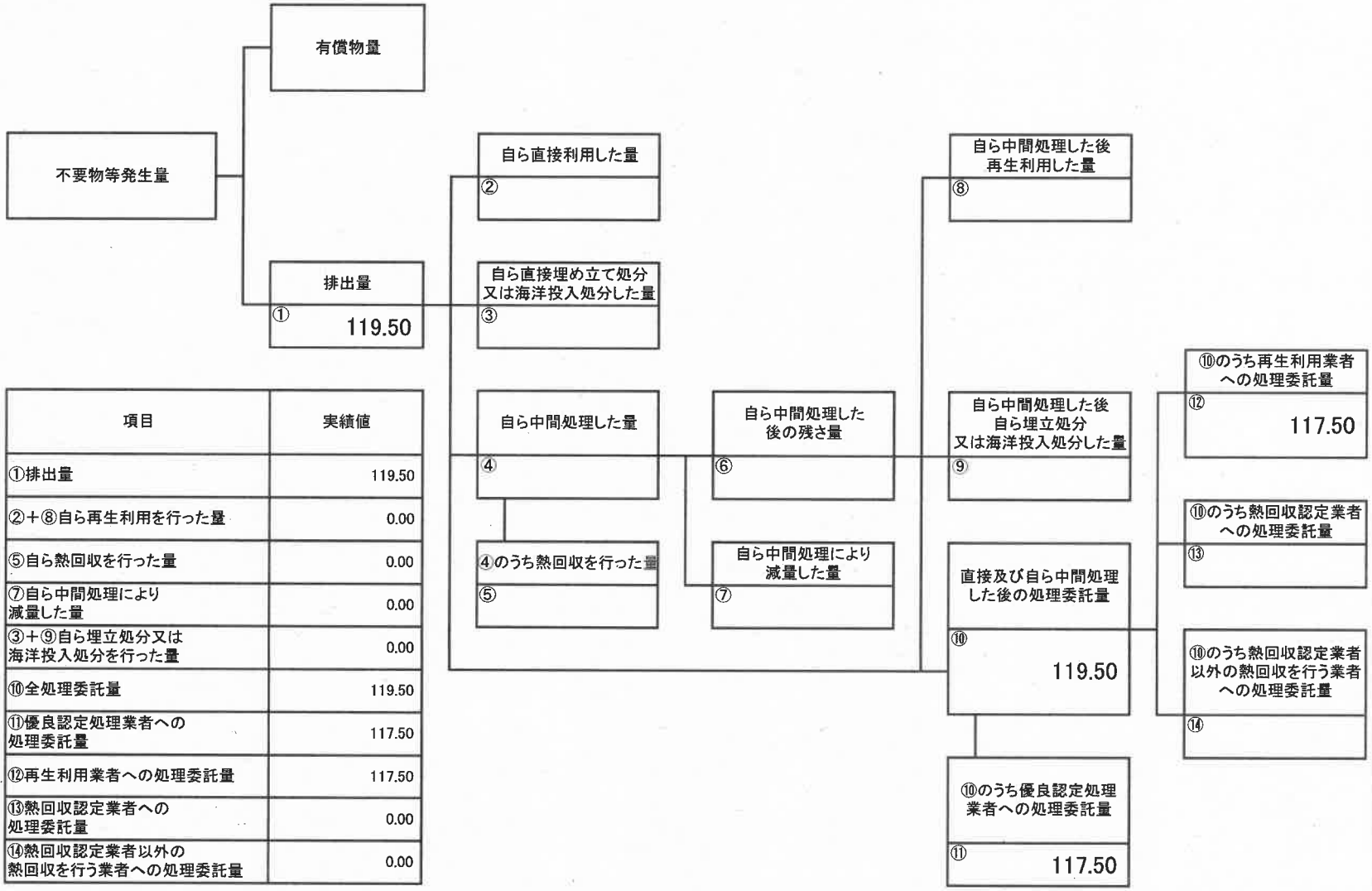


項目	実績値
①排出量	1.25
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.25
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.25
⑫再生利用業者への処理委託量	1.25
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	119.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	119.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	117.50
⑫再生利用業者への処理委託量	117.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月17日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都中央区日本橋1－2－5

氏 名　戸田建設株式会社首都圏土木支店

常務執行役員支店長　福島博夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3535-1585

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社　首都圏土木支店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋1－2－5
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	30,100百万円　　（2023年度完成工事高）
③従業員数	327名　（2023年3月31日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・資材の転用
・現場での分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・資材の転用
・現場での分別

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、廃プラ、金属、木くず、
現場での分別の徹底

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、廃プラ、金属、木くず、
現場での分別の徹底

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同利用は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同利用は行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・作業所に近い処分場を事前により確認して、信頼性、実績、規模、リサイクル率などの条件を満足する施設に処理委託した。
・優良業者に優先して委託した。
・電子マニフェストを運用し処理の管理状況を向上する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
・処理委託施設の定期的な視察実施、最終処分先の確認する。（継続実施）
・電子マニフェスト対応業者を優先的に採用する。（継続実施）
・電子委託契約の推進。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

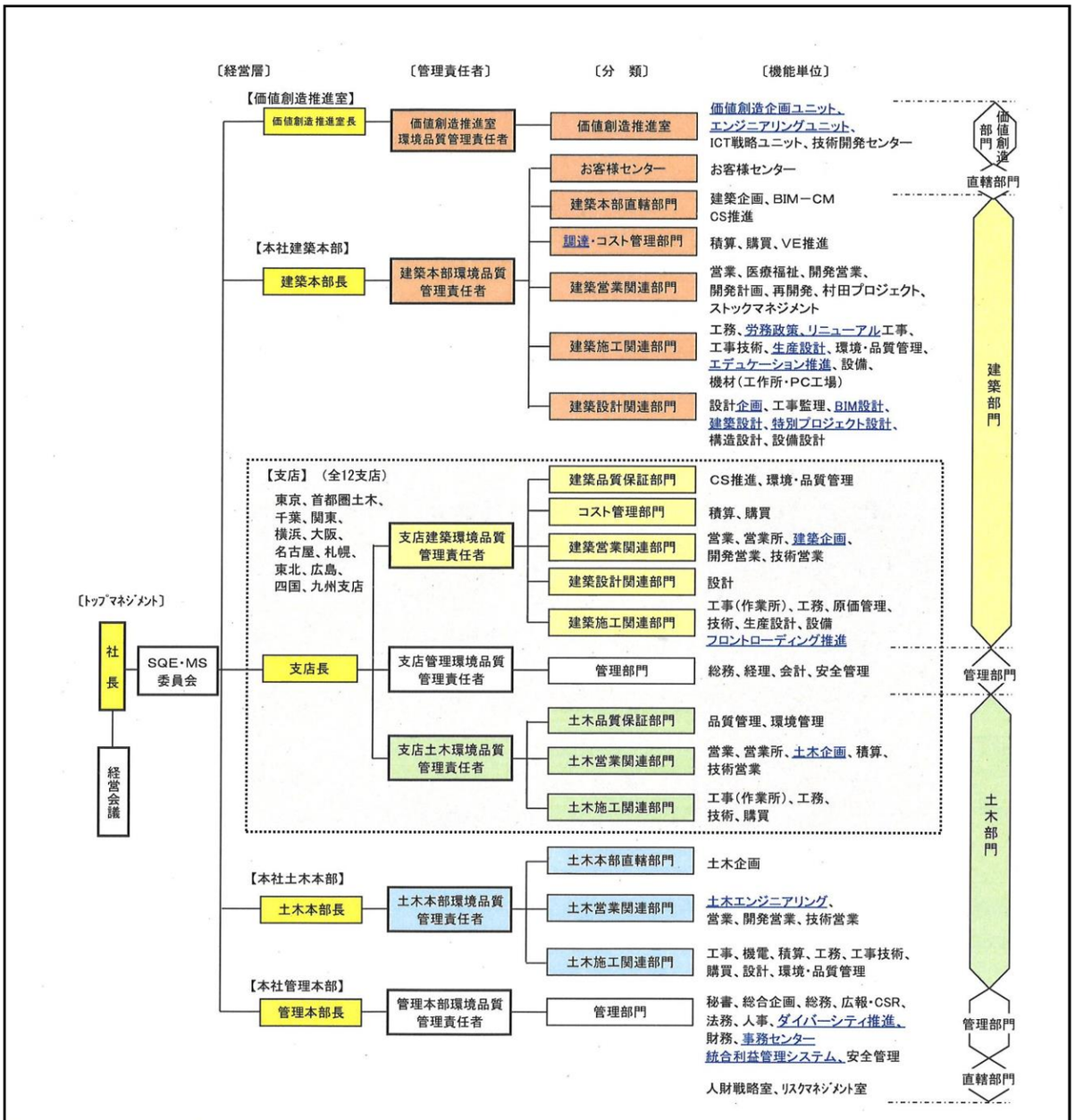
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

	品目	処理工程
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事	
	廃油（重油）	中間処理業者へ委託して燃料（重油）として再生
	廃プラスチック	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	紙くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	木くず	再生処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	繊維くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化
	がれき類（コンクリート塊）（アスファルト・コンクリート塊）	再生処理業者へ委託して破砕して再生砕石として再資源化
	建設系混合廃棄物	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化及び最終処分
	石綿含有産業廃棄物	安定型最終処分場へ埋立（管理型となる付着物がないもの） 管理型最終処分場へ埋立（石膏ボード、木など付着物）
	新築工事	
	汚泥	再生処理業者へ委託して脱水処理して再資源化
	廃プラスチック	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	紙くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	木くず	再生処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	繊維くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	金属くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化
	がれき類	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化
	建設系混合廃棄物	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化

別添２ 管理体制図


〔経営層〕
〔管理責任者〕
〔分　類〕
〔機能単位〕
〔トップマネジメント〕
社長
経営会議
SQE・MS委員会
【価値創造推進室】
価値創造推進室長
価値創造推進室 環境品質管理責任者
価値創造推進室
価値創造企画ユニット、エンジニアリングユニット、ICT戦略ユニット、技術開発センター
お客様センター
お客様センター
建築本部直轄部門
建築企画、BIM－CM CS推進
【本社建築本部】
建築本部長
建築本部環境品質管理責任者
調達・コスト管理部門
積算、購買、VE推進
建築営業関連部門
営業、医療福祉、開発営業、開発計画、再開発、村田プロジェクト、ストックマネジメント
建築施工関連部門
工務、労務政策、リニューアル工事、工事技術、生産設計、環境・品質管理、エデュケーション推進、設備、機材（工作所・PC工場）
建築設計関連部門
設計企画、工事監理、BIM設計、建築設計、特別プロジェクト設計、構造設計、設備設計
【支店】（全12支店）
東京、首都圏土木、千葉、関東、横浜、大阪、名古屋、札幌、東北、広島、四国、九州支店
支店長
支店建築環境品質管理責任者
建築品質保証部門
CS推進、環境・品質管理
コスト管理部門
積算、購買
建築営業関連部門
営業、営業所、建築企画、開発営業、技術営業
建築設計関連部門
設計
建築施工関連部門
工事（作業所）、工務、原価管理、技術、生産設計、設備
フロントローディング推進
支店管理環境品質管理責任者
管理部門
総務、経理、会計、安全管理
支店土木環境品質管理責任者
土木品質保証部門
品質管理、環境管理
土木営業関連部門
営業、営業所、土木企画、積算、技術営業
土木施工関連部門
工事（作業所）、工務、技術、購買
【本社土木本部】
土木本部長
土木本部環境品質管理責任者
土木本部直轄部門
土木企画
土木営業関連部門
土木エンジニアリング、営業、開発営業、技術営業
土木施工関連部門
工事、機電、積算、工務、工事技術、購買、設計、環境・品質管理
【本社管理本部】
管理本部長
管理本部環境品質管理責任者
管理部門
秘書、総合企画、総務、広報・CSR、法務、人事、ダイバーシティ推進、財務、事務センター
統合利益管理システム、安全管理
人財戦略室、リスクマネジメント室
価値創造部門
直轄部門
建築部門
管理部門
土木部門
管理部門
直轄部門

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		排　出　量	0.16 t	5.85 t	0.53 t	654.30 t	3.75 t	273.60 t	189.60 t	497.00 t	19.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		排　出　量	0.14 t	5.27 t	0.48 t	588.87 t	3.38 t	246.24 t	170.64 t	447.30 t	17.10 t									
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
全処理委託量	0.16 t	5.85 t	0.53 t	654.30 t	3.75 t	273.60 t	189.60 t	497.00 t	19.00 t								
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	5.85 t	0.53 t	1.80 t	3.75 t	0.00 t	0.00 t	10.40 t	19.00 t								
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	5.85 t	0.53 t	1.80 t	3.75 t	0.00 t	0.00 t	10.40 t	19.00 t								
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
全処理委託量	0.14 t	5.27 t	0.48 t	588.87 t	3.38 t	246.24 t	170.64 t	447.30 t	17.10 t								
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	5.27 t	0.48 t	1.62 t	3.38 t	0.00 t	0.00 t	9.36 t	17.10 t								
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	5.27 t	0.48 t	1.62 t	3.38 t	0.00 t	0.00 t	9.36 t	17.10 t								
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　４日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒104-0054

住　所　東京都中央区勝どき4-6-2

氏　名　株式会社巴コーポレーション東京支店
執行役員　支店長　佐藤浩幸

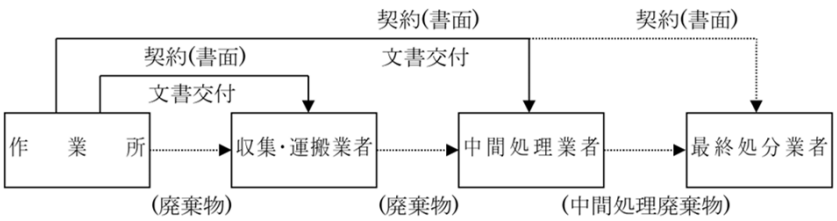
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3533-7801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社巴コーポレーション東京支店
事業場の所在地	〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2　東京支店（現場：佐倉市、成田市）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高 33,342百万円（令和5年度）
③　従業員数	379名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
工事統括(統括責任者)
｜
建設工事部長(廃棄物管理担当部長)
｜
建設工事グループ長(廃棄物管理担当課長)
｜
建設工事現場作業所所長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	24.9 t	31.3 t

（これまでに実施した取組）
混合廃棄物を削減するため分別を徹底
搬入資材の過剰梱包を無くし排出量を抑制

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	10 t	10 t

（今後実施する予定の取組）
取組継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別している種類：廃プラ、紙くず、木くず、金属くず、石膏ボード、がれき類
分別に関する取組：種類ごとに専用のコンテナ等を用意し混合廃棄物の排出量を抑制

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
取組継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量_	24.9 t	31.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	24.9 t	31.3 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

原則として優良認定処理業者に委託

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		廃プラスチック	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
		全処理委託量＿		10 t	10 t
			優良認定処理業者への処理委託量	10 t	10 t
			再生利用業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 取組継続			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		排　出　量	1301.7 t	1.2 t	19.4 t	19.1 t	7 t	25.9 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		排　出　量	100 t	10 t	10 t	10 t	10 t	10 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
	全処理委託量	1301.7 t	1.2 t	19.4 t	19.1 t	7 t	25.9 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1231.7 t	1.2 t	19.4 t	19.1 t	7 t	21.7 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	石綿含有	木くず		
	全処理委託量	100 t	10 t	10 t	10 t	10 t	10 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	10 t	10 t	10 t	10 t	10 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　4日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒104-0054
住 所　東京都中央区勝どき4-6-2
氏 名　株式会社巴コーポレーション東京支店
執行役員　支店長　佐藤浩幸
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3533-7801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社巴コーポレーション東京支店
事業場の所在地	〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2　東京支店（現場：佐倉市、成田市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

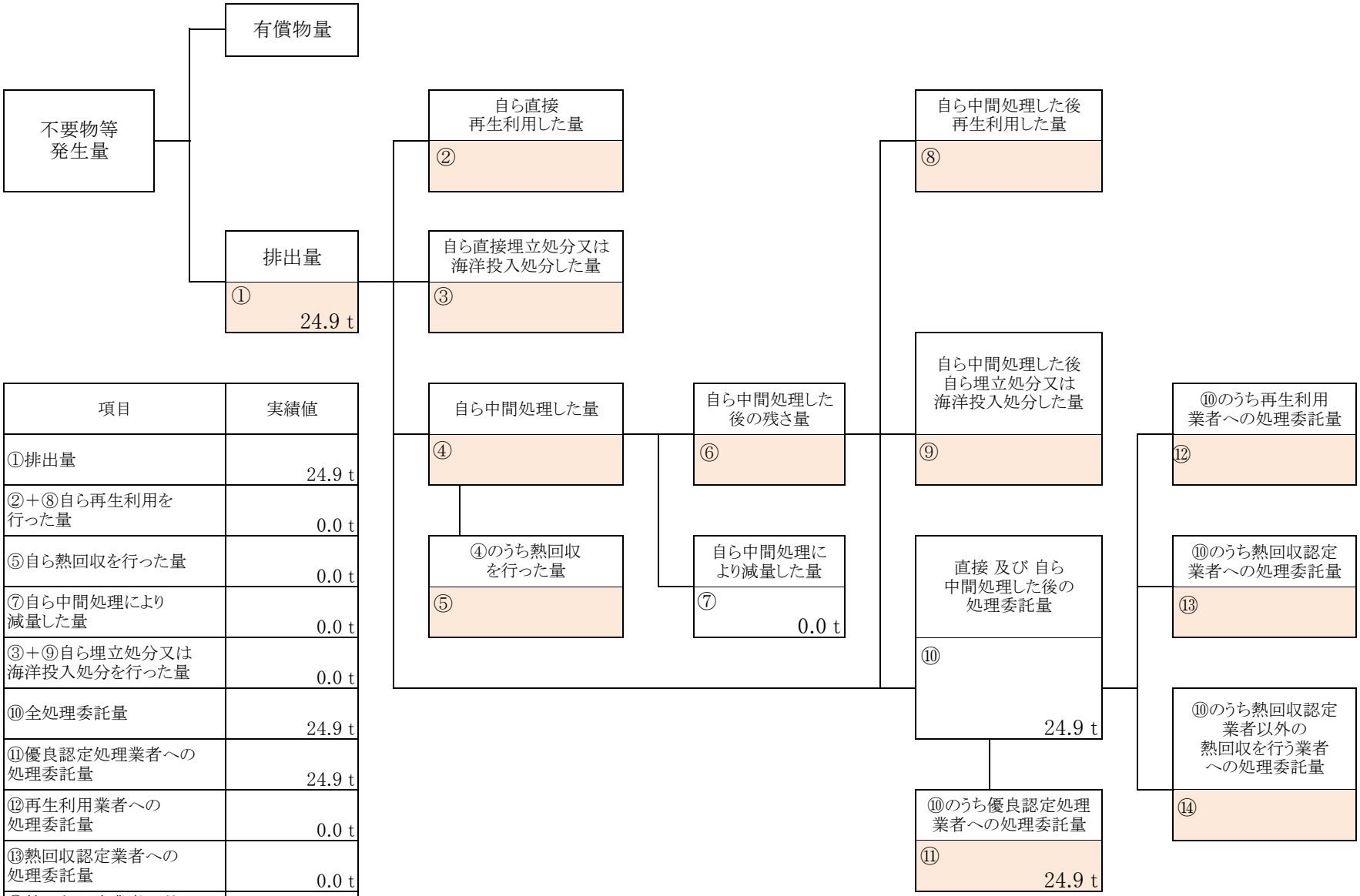
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6800.0 t	全処理委託量	6800.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	6800.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃プラスチック類** ）

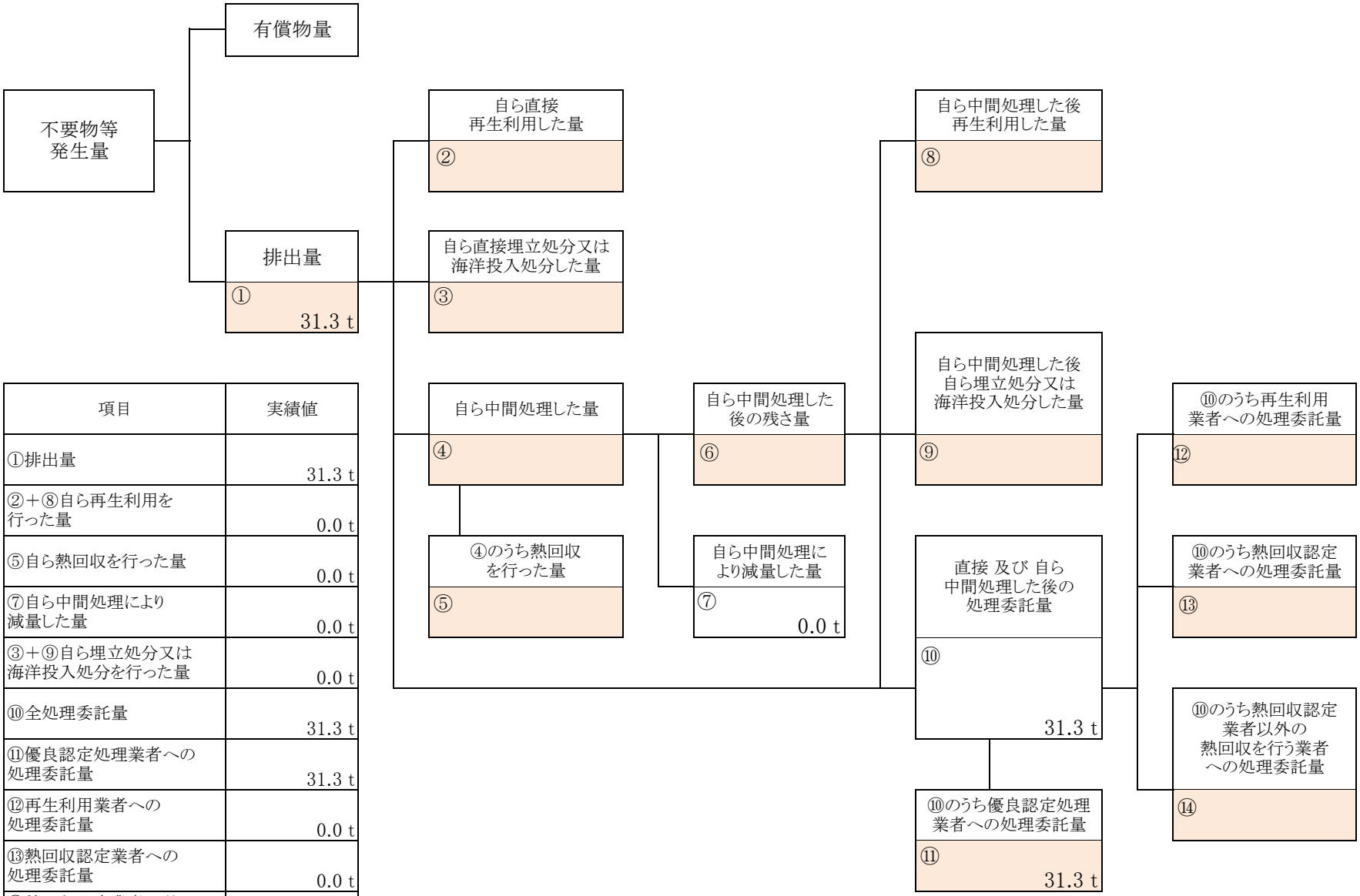


項目	実績値
①排出量	24.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

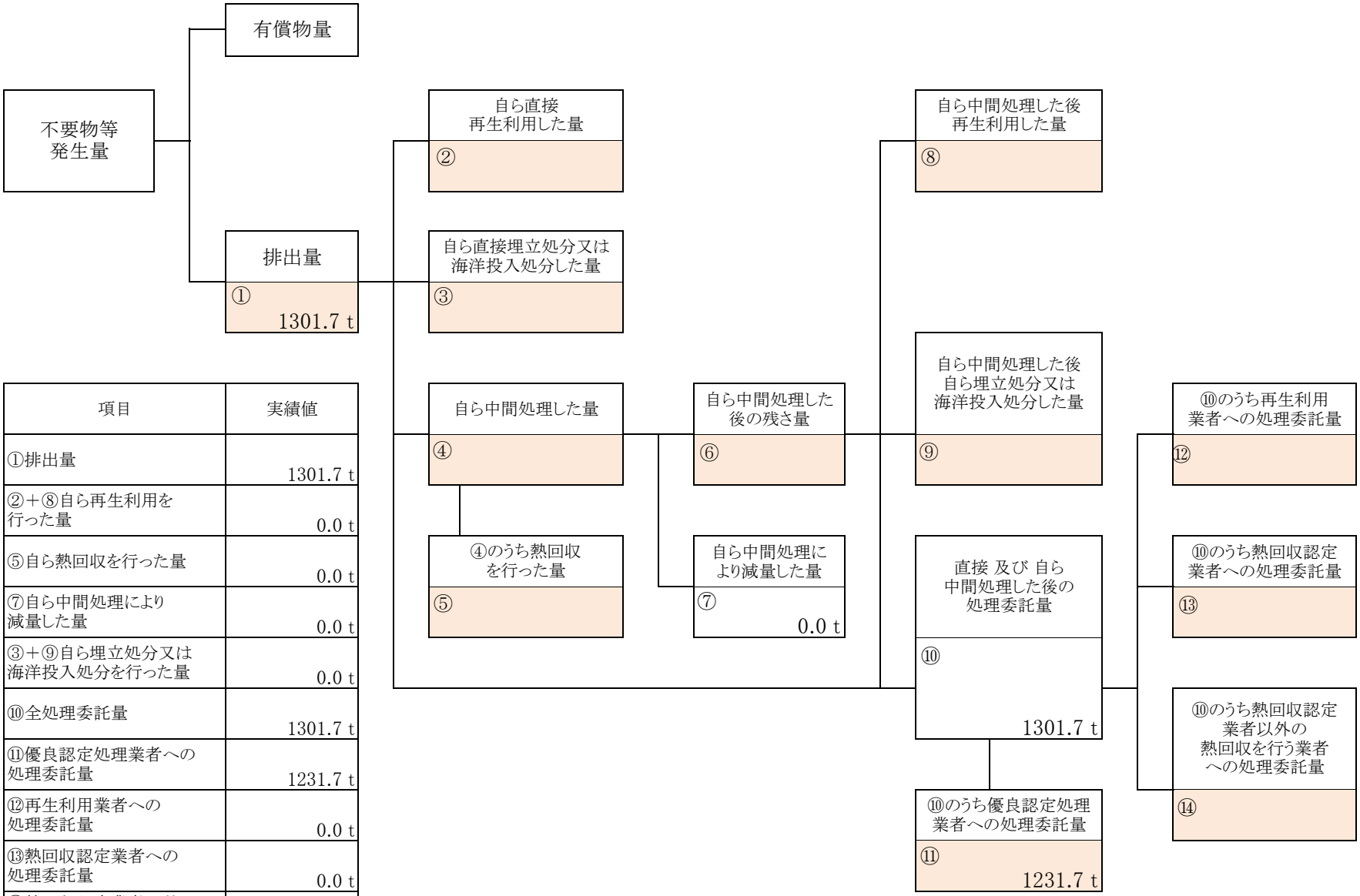


項目	実績値
①排出量	31.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	31.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

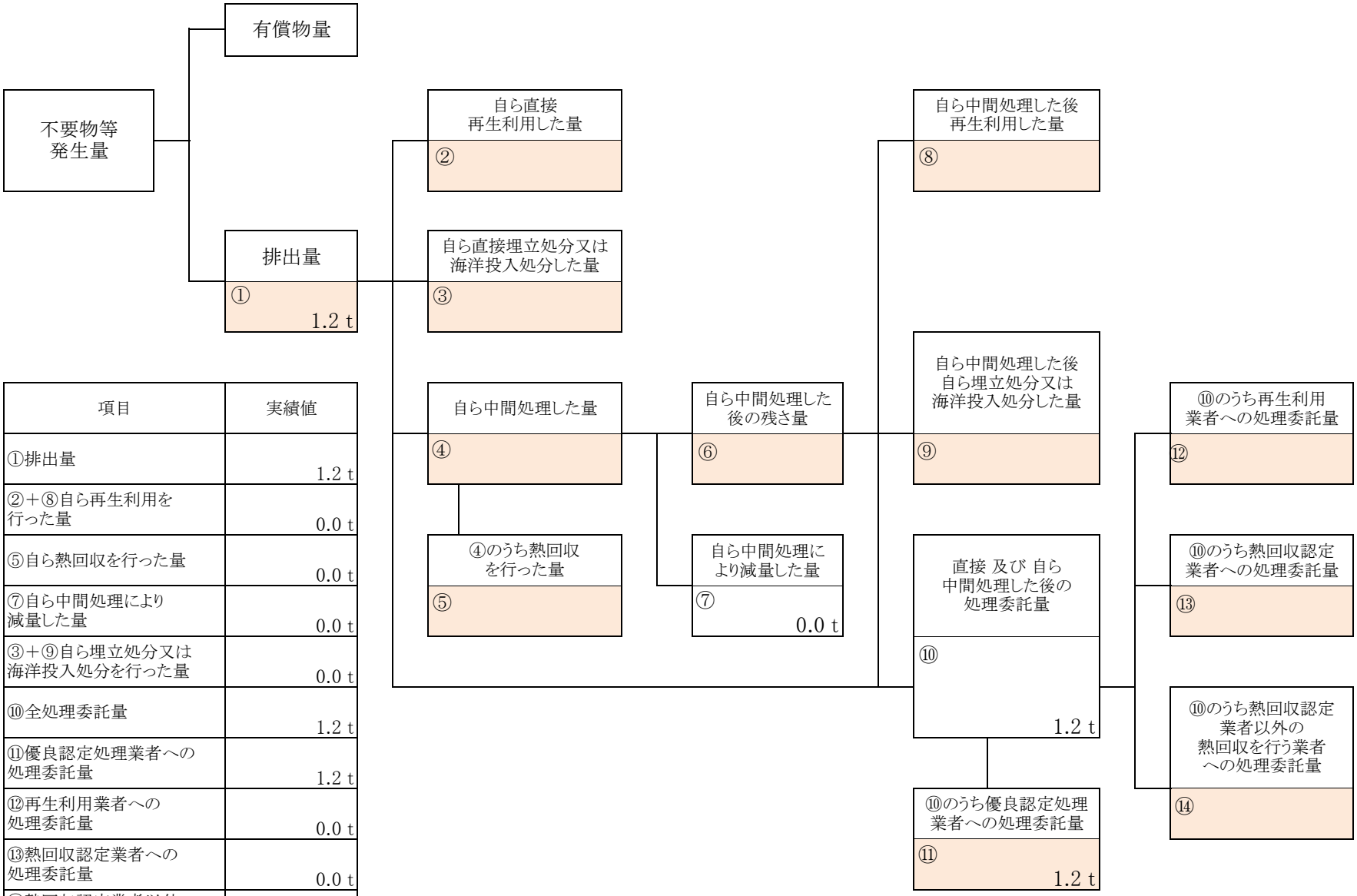


項目	実績値
①排出量	1301.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1301.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1231.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

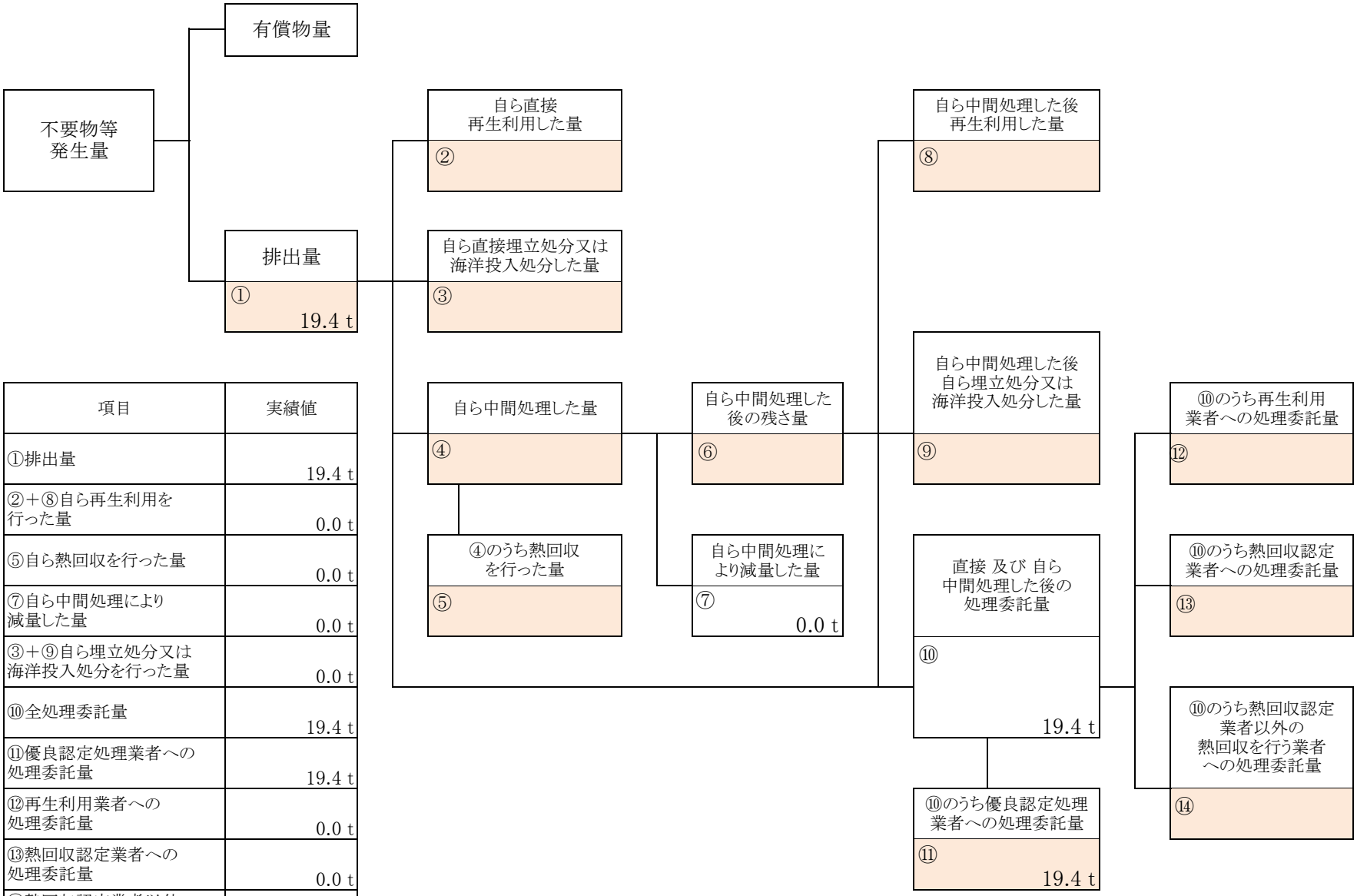


項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **建設混合廃棄物** ）

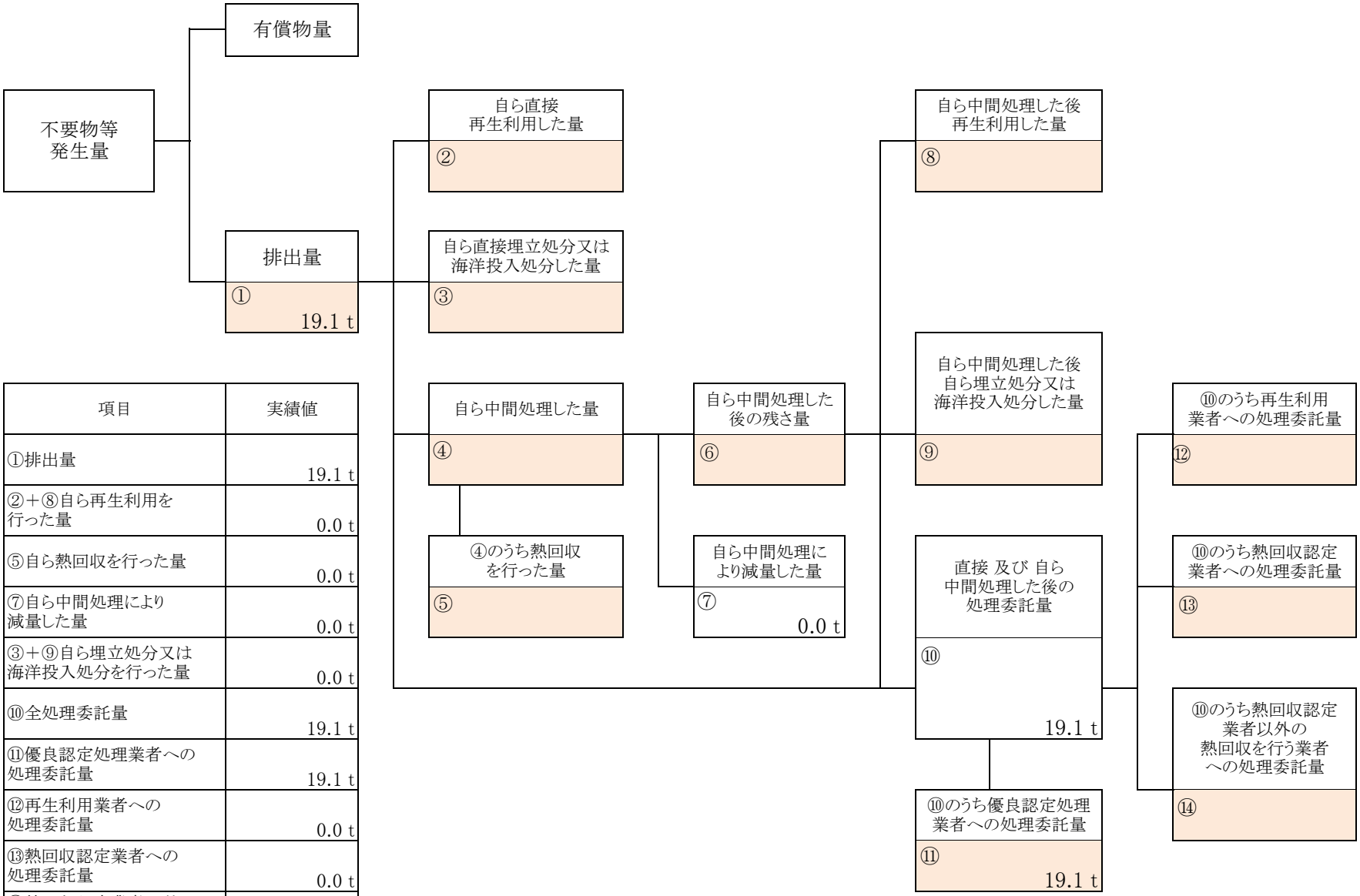


項目	実績値
①排出量	19.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **紙くず** ）

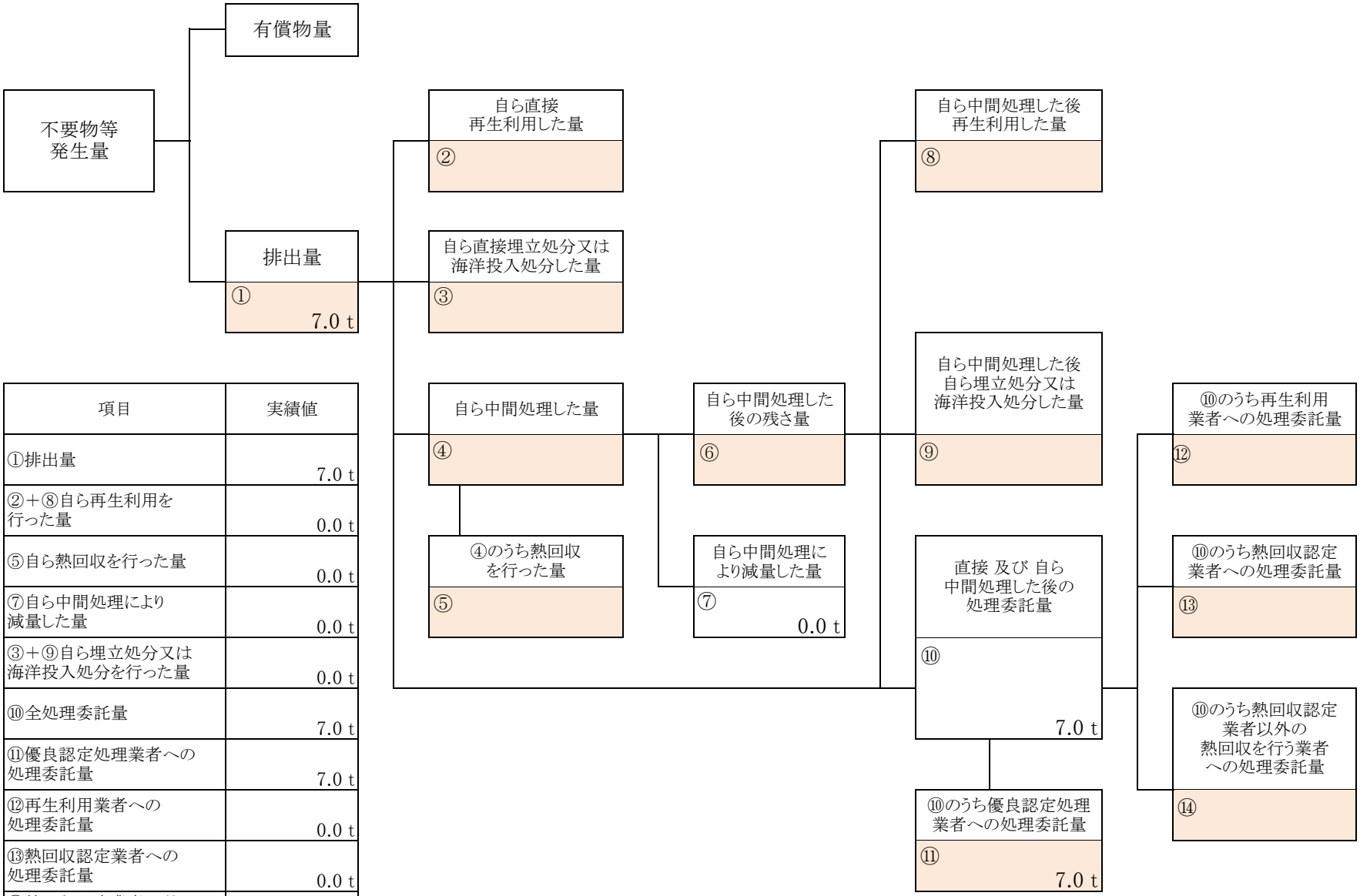


項目	実績値
①排出量	19.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有産業廃棄物**）

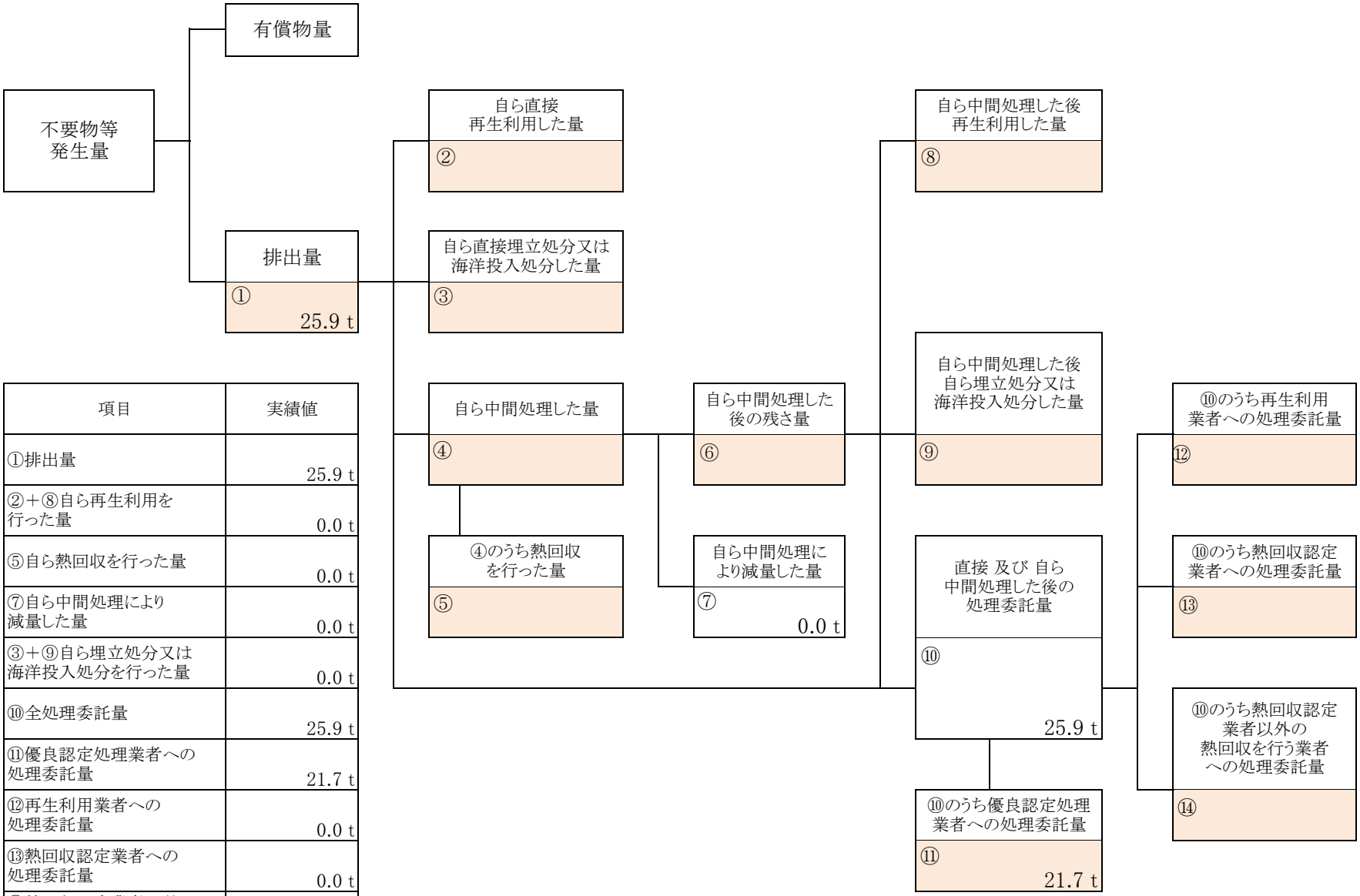


項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）



項目	実績値
①排出量	25.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月29日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都中央区新富2-15-5-701

氏 名　株式会社　友菱

代表取締役　早田　確

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3552-6780

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　友菱
事業場の所在地	東京都中央区新富2-15-5701
事業の種類	総合工事業 不動産取引業、不動産賃貸業・管理業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

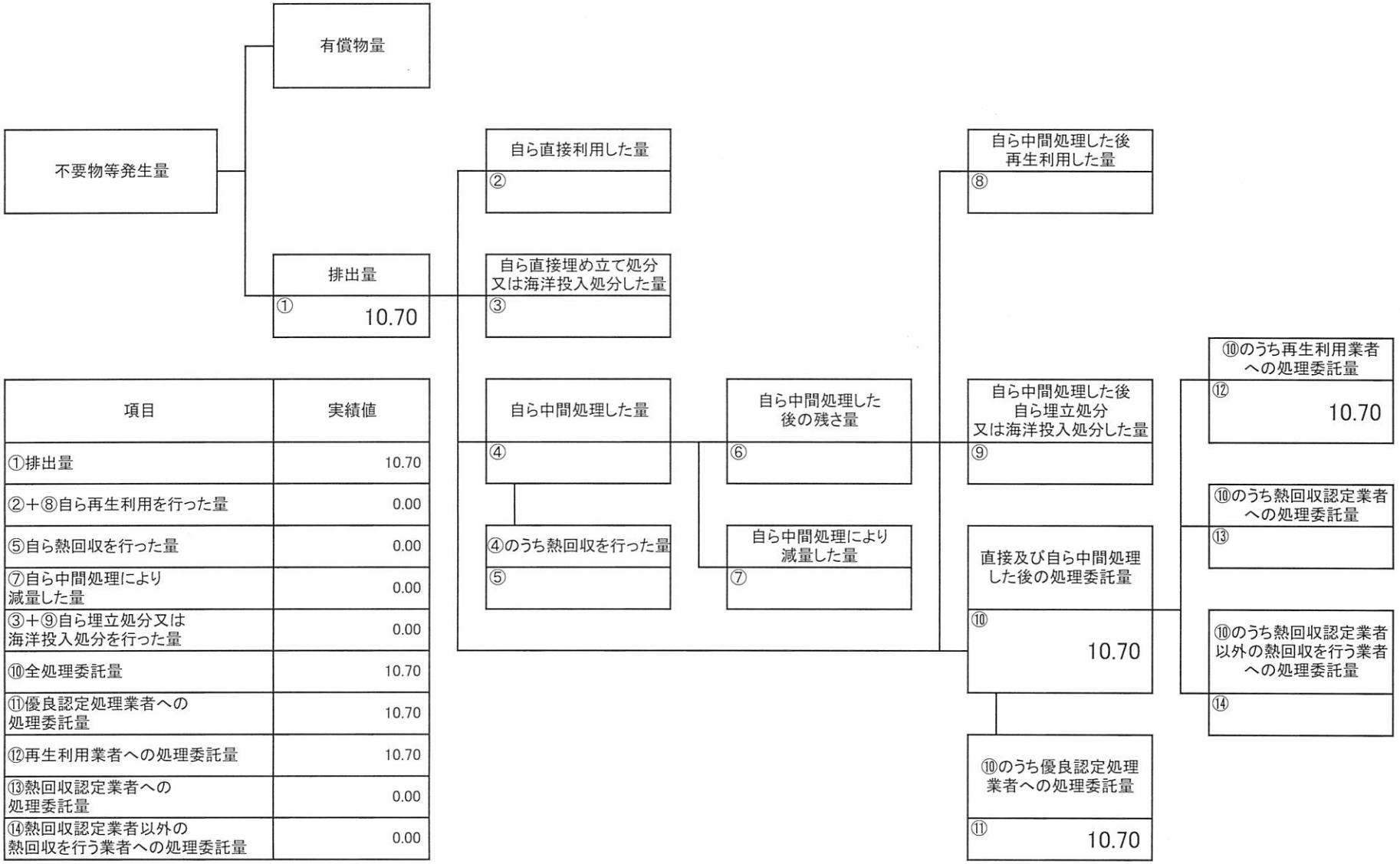
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,969.89 t	全処理委託量	1,969.89 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,161.78 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,842.90 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	8.55 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	10.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	10.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.70
⑫再生利用業者への処理委託量	10.70
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

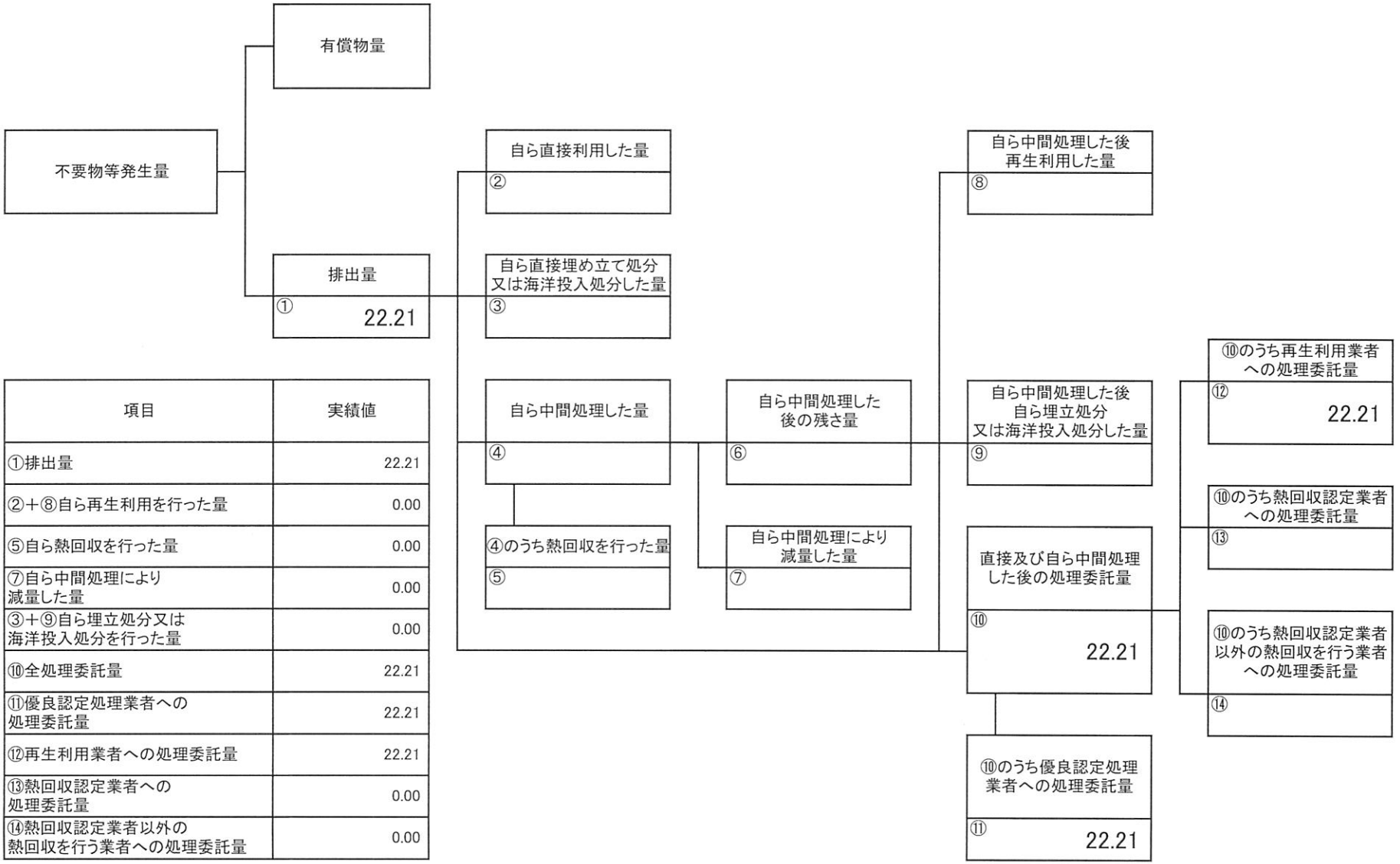


項目	実績値
①排出量	23.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	23.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.30
⑫再生利用業者への処理委託量	23.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

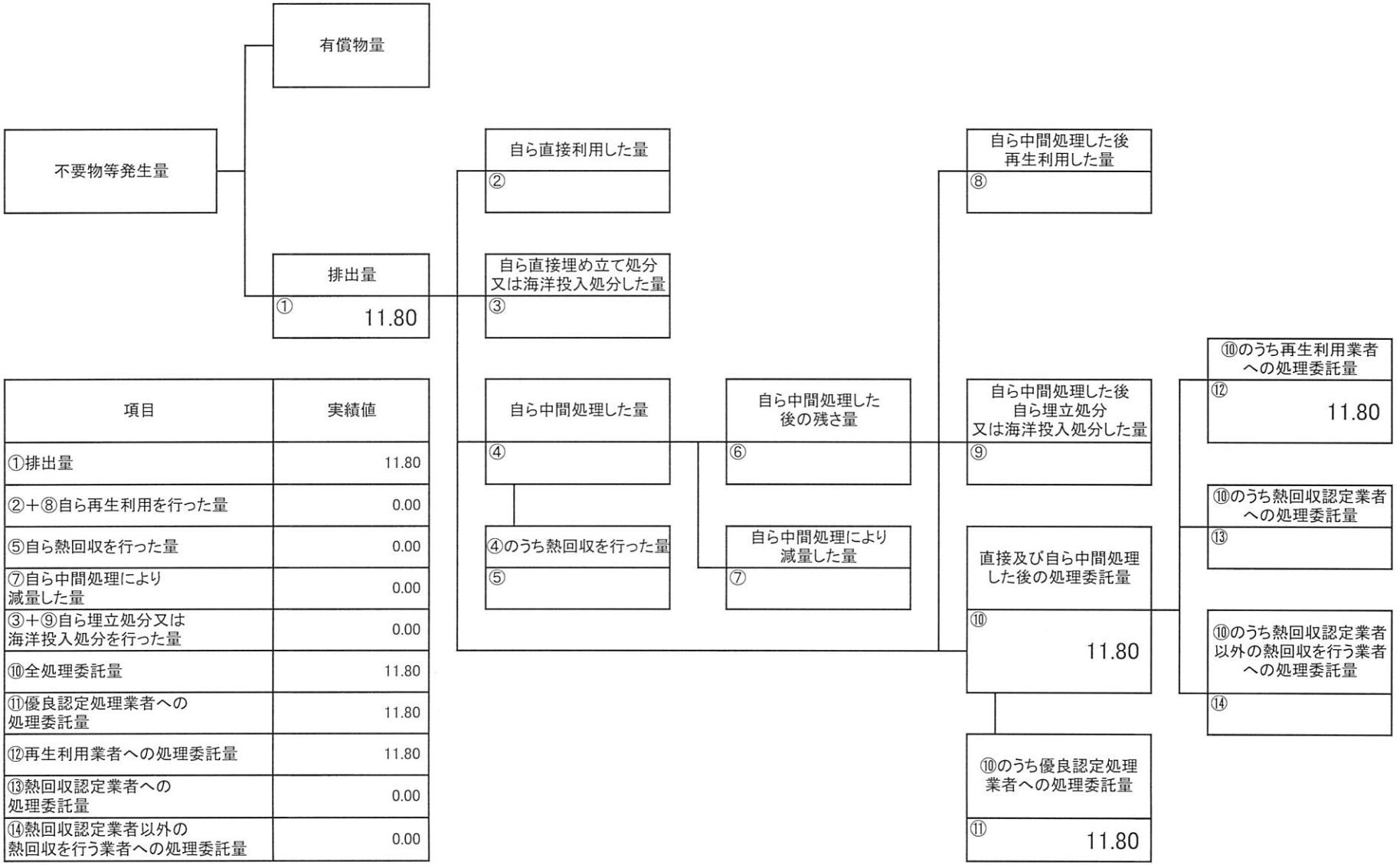


項目	実績値
①排出量	22.21
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	22.21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.21
⑫再生利用業者への処理委託量	22.21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず　　）

（単位：トン）

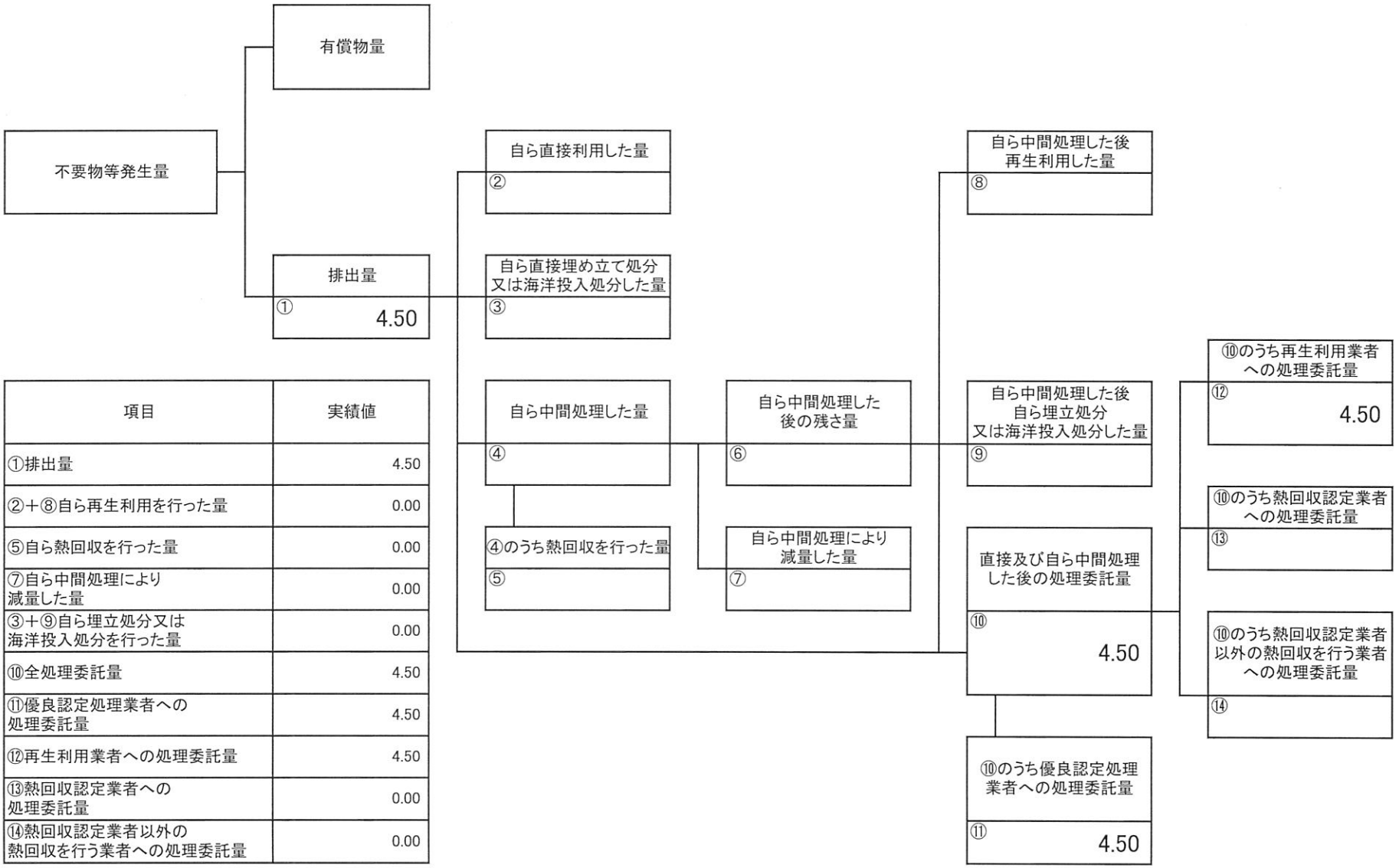


項目	実績値
①排出量	11.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.80
⑫再生利用業者への処理委託量	11.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

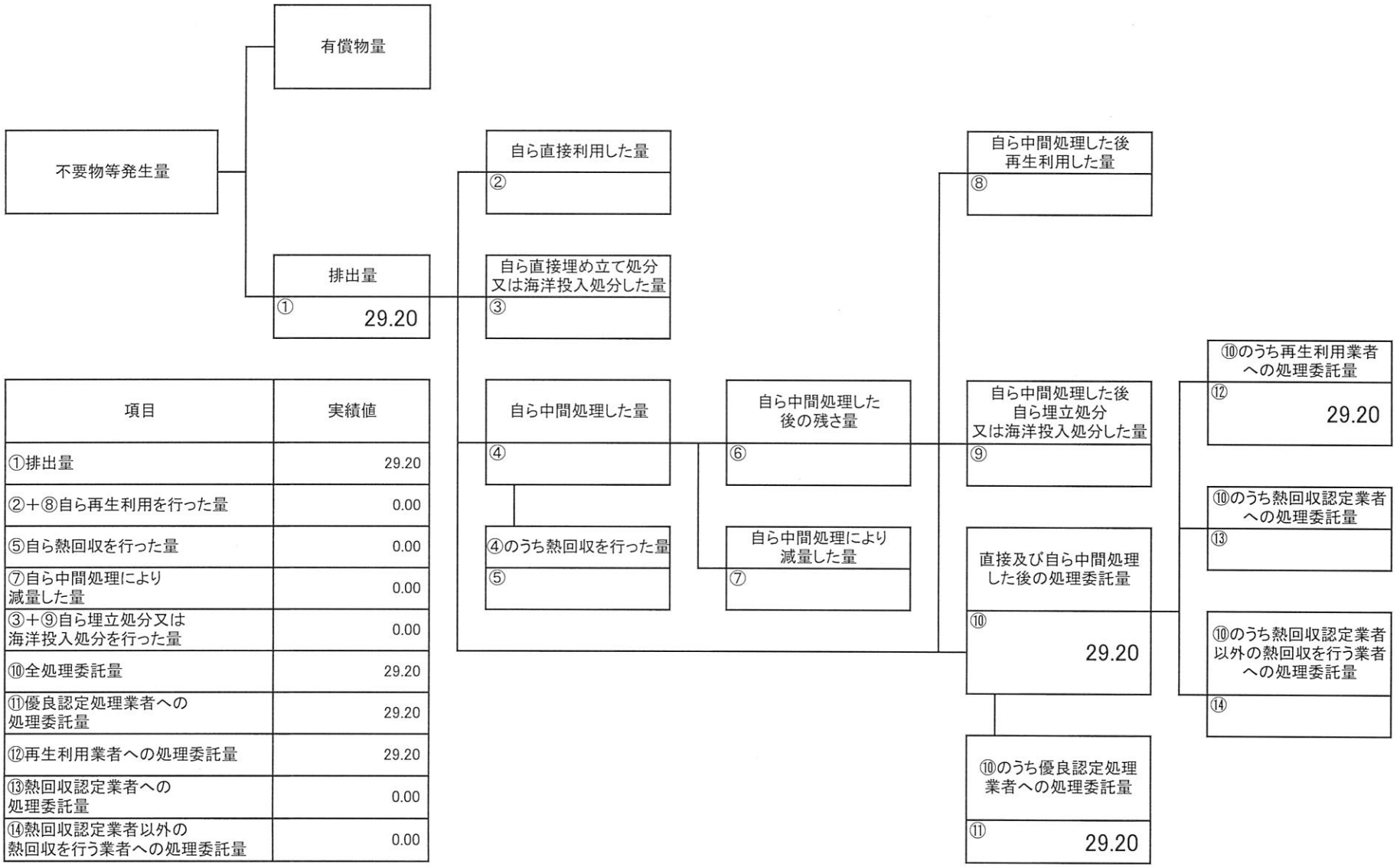


項目	実績値
①排出量	4.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.50
⑫再生利用業者への処理委託量	4.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード ）

（単位：トン）

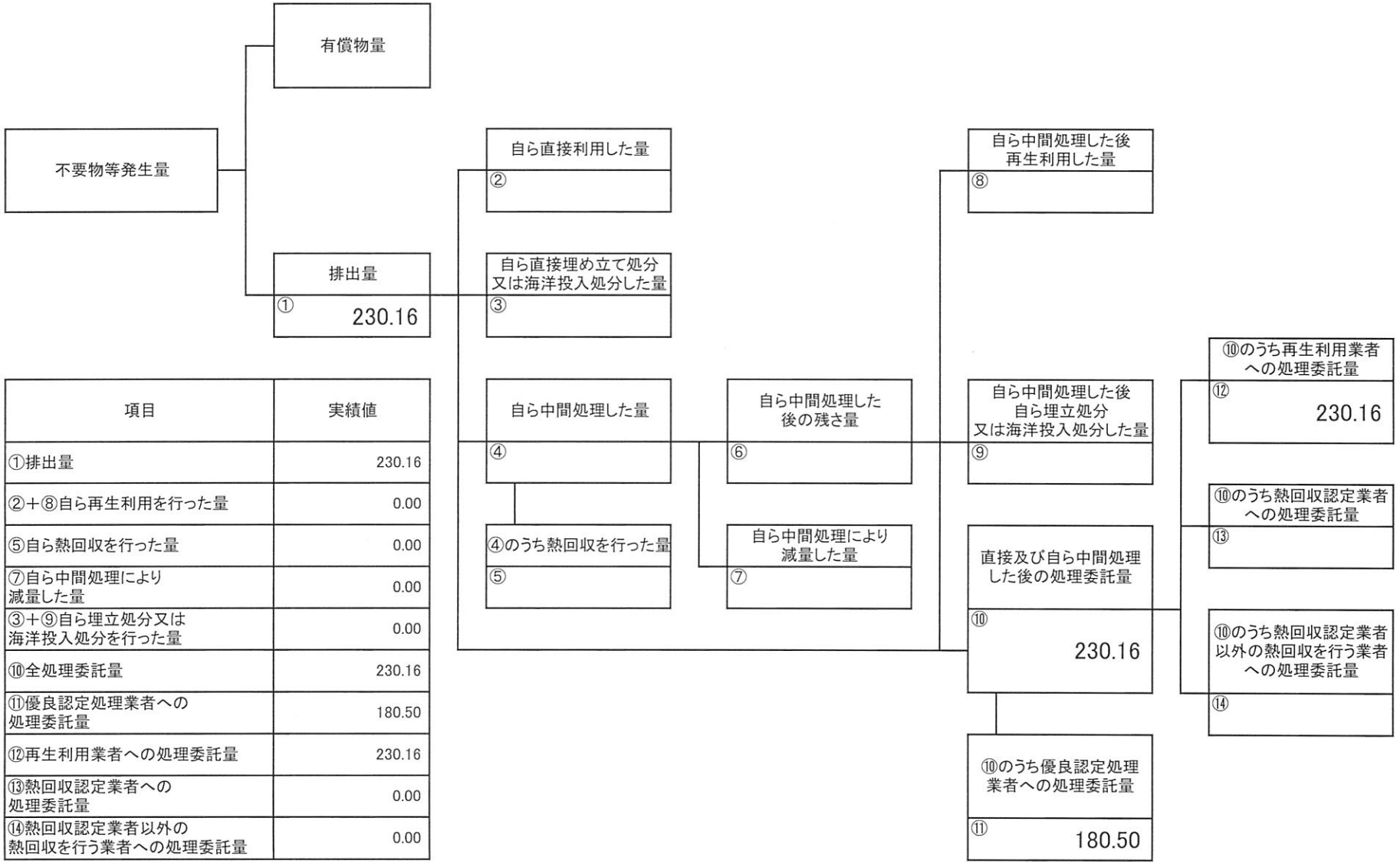


項目	実績値
①排出量	29.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	29.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.20
⑫再生利用業者への処理委託量	29.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

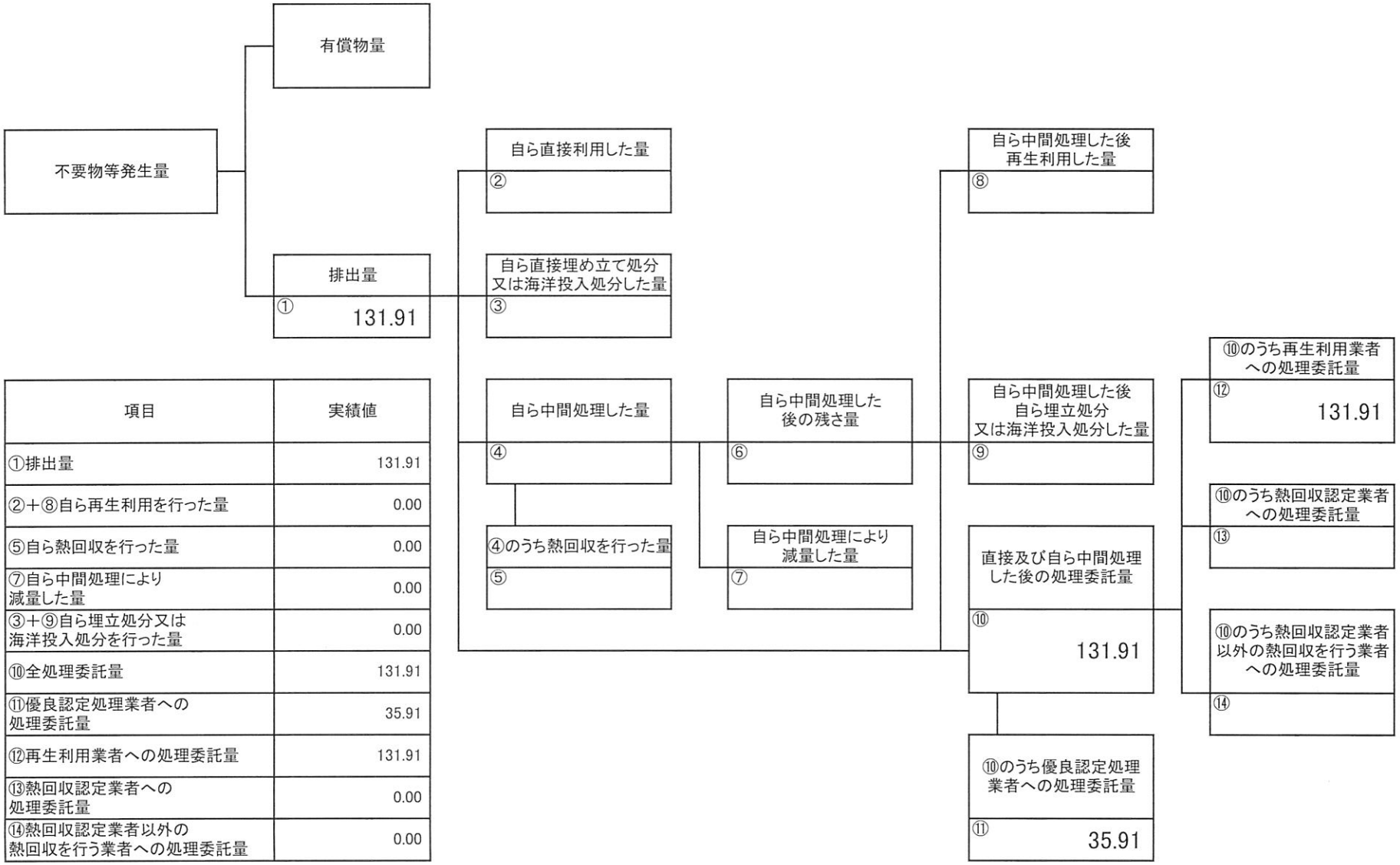


項目	実績値
①排出量	230.16
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	230.16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	180.50
⑫再生利用業者への処理委託量	230.16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 アス・コン片 ）

（単位：トン）

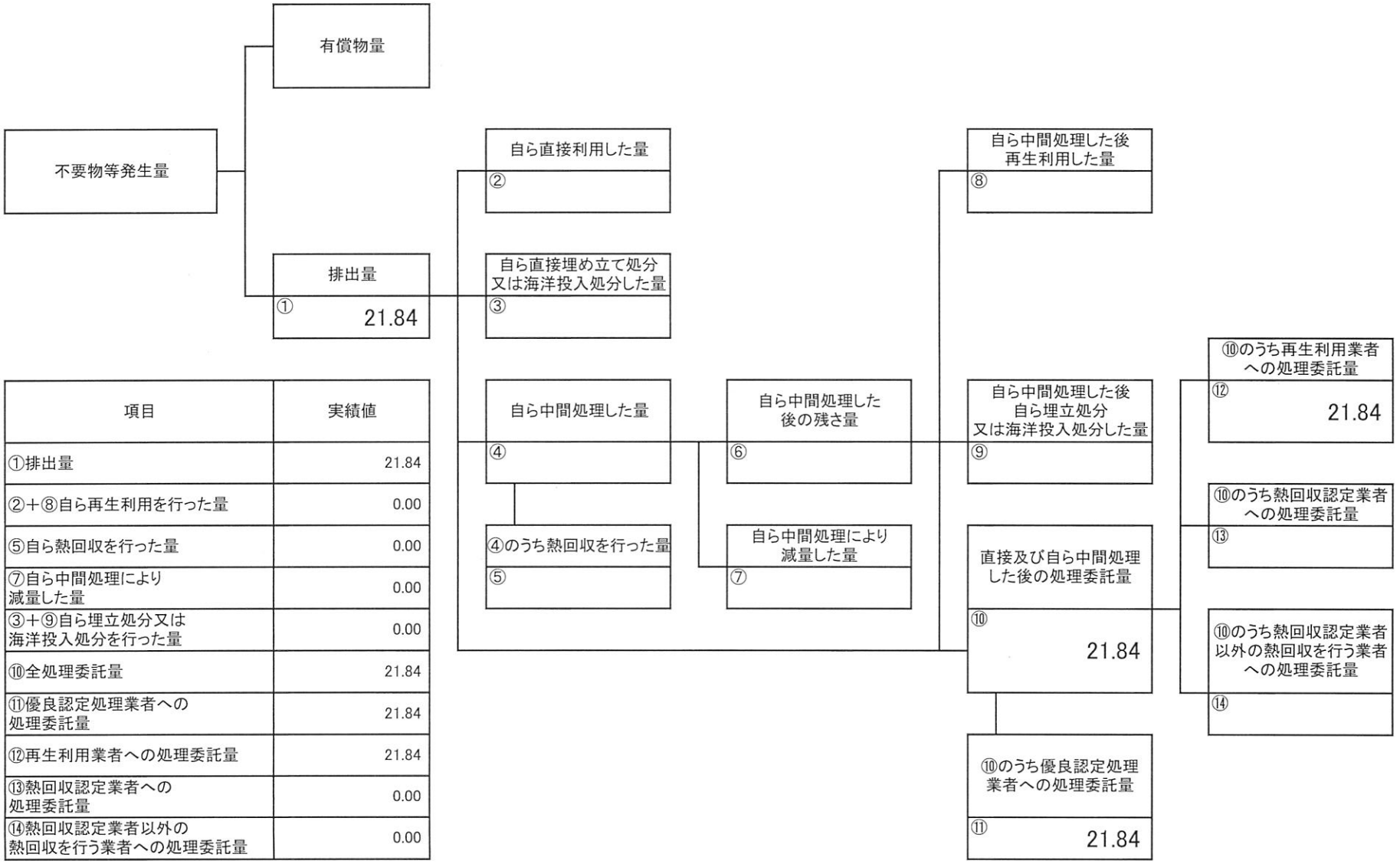


項目	実績値
①排出量	131.91
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	131.91
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.91
⑫再生利用業者への処理委託量	131.91
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類　　）

（単位：トン）

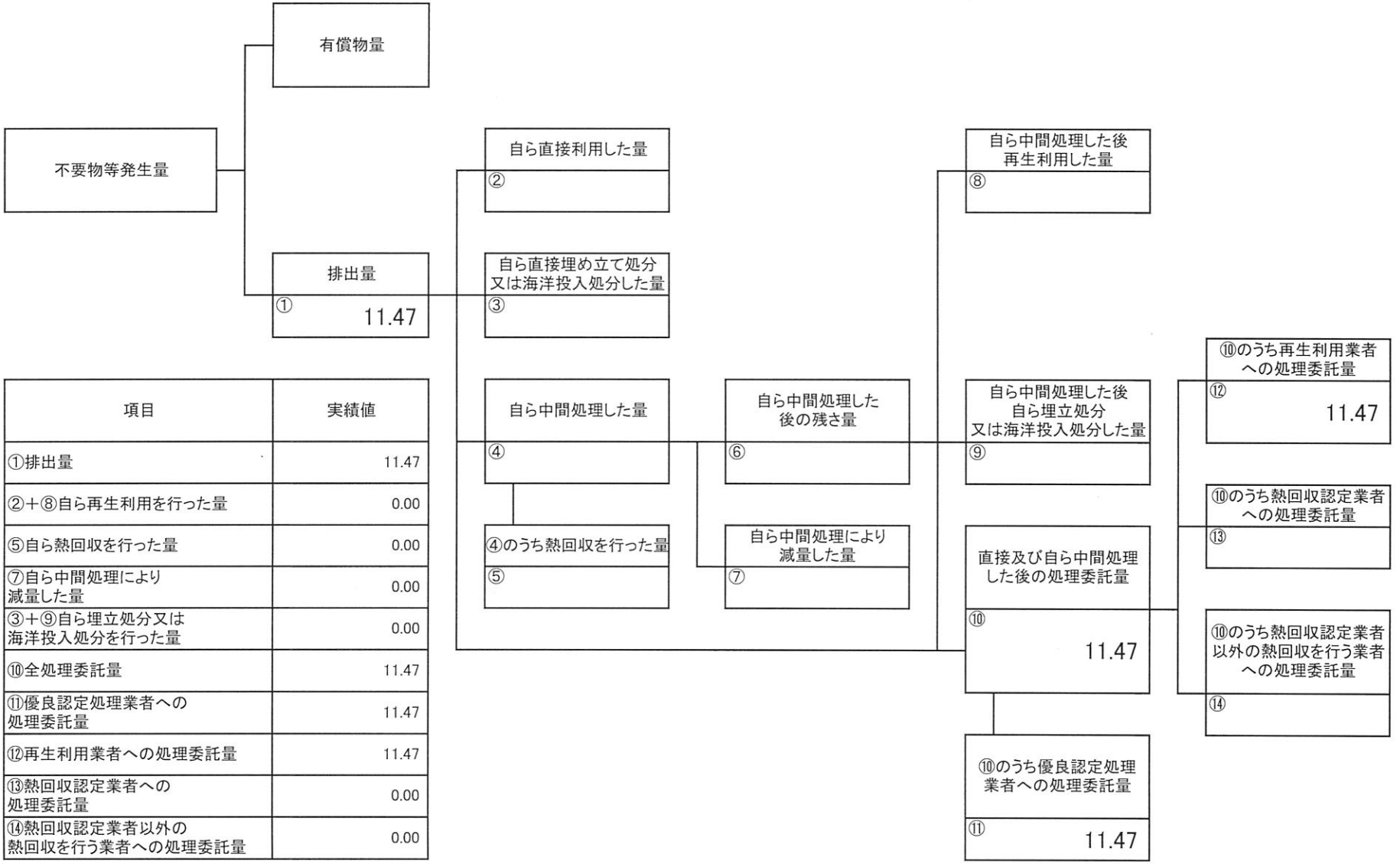


項目	実績値
①排出量	21.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	21.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.84
⑫再生利用業者への処理委託量	21.84
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

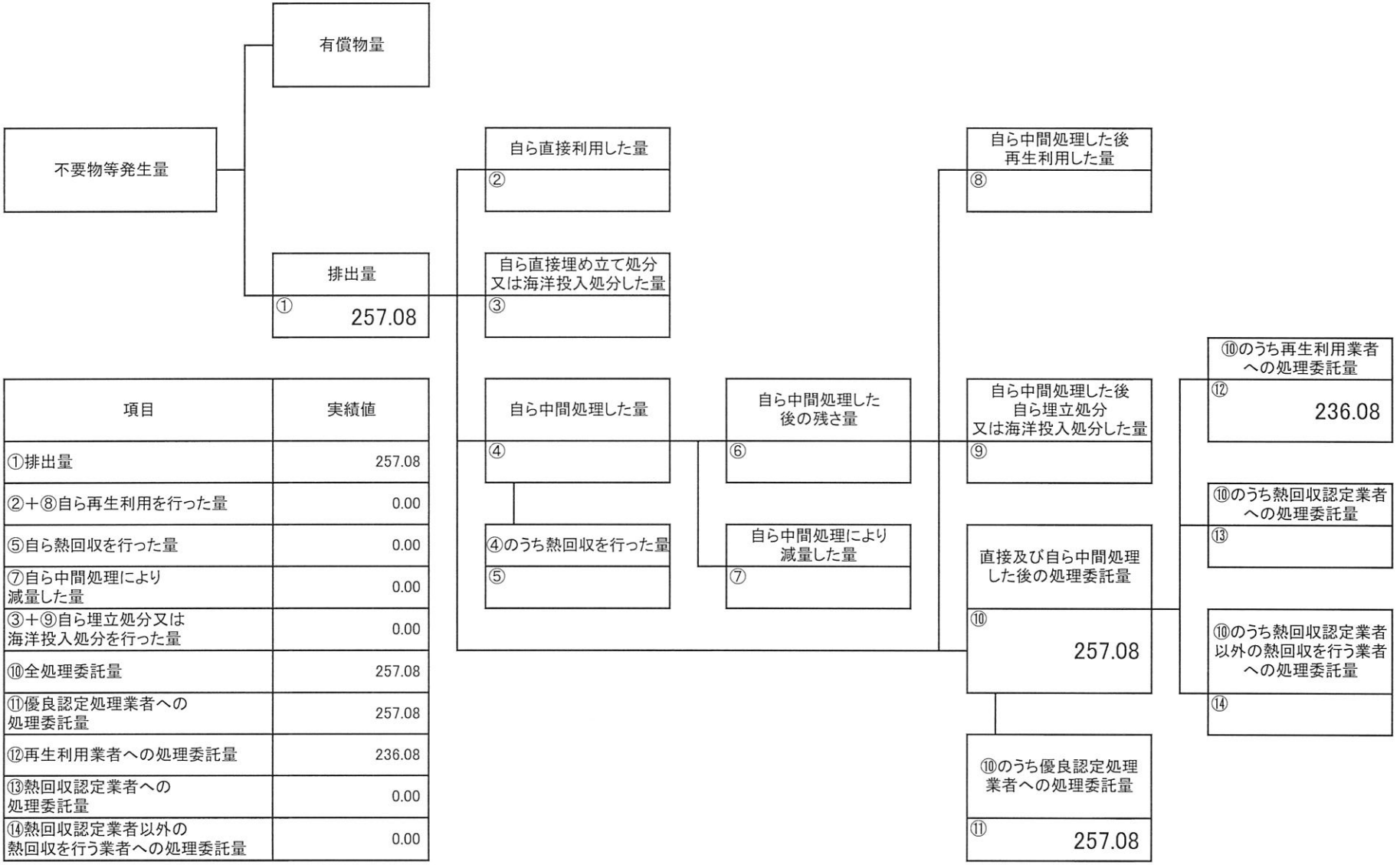


項目	実績値
①排出量	11.47
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11.47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.47
⑫再生利用業者への処理委託量	11.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

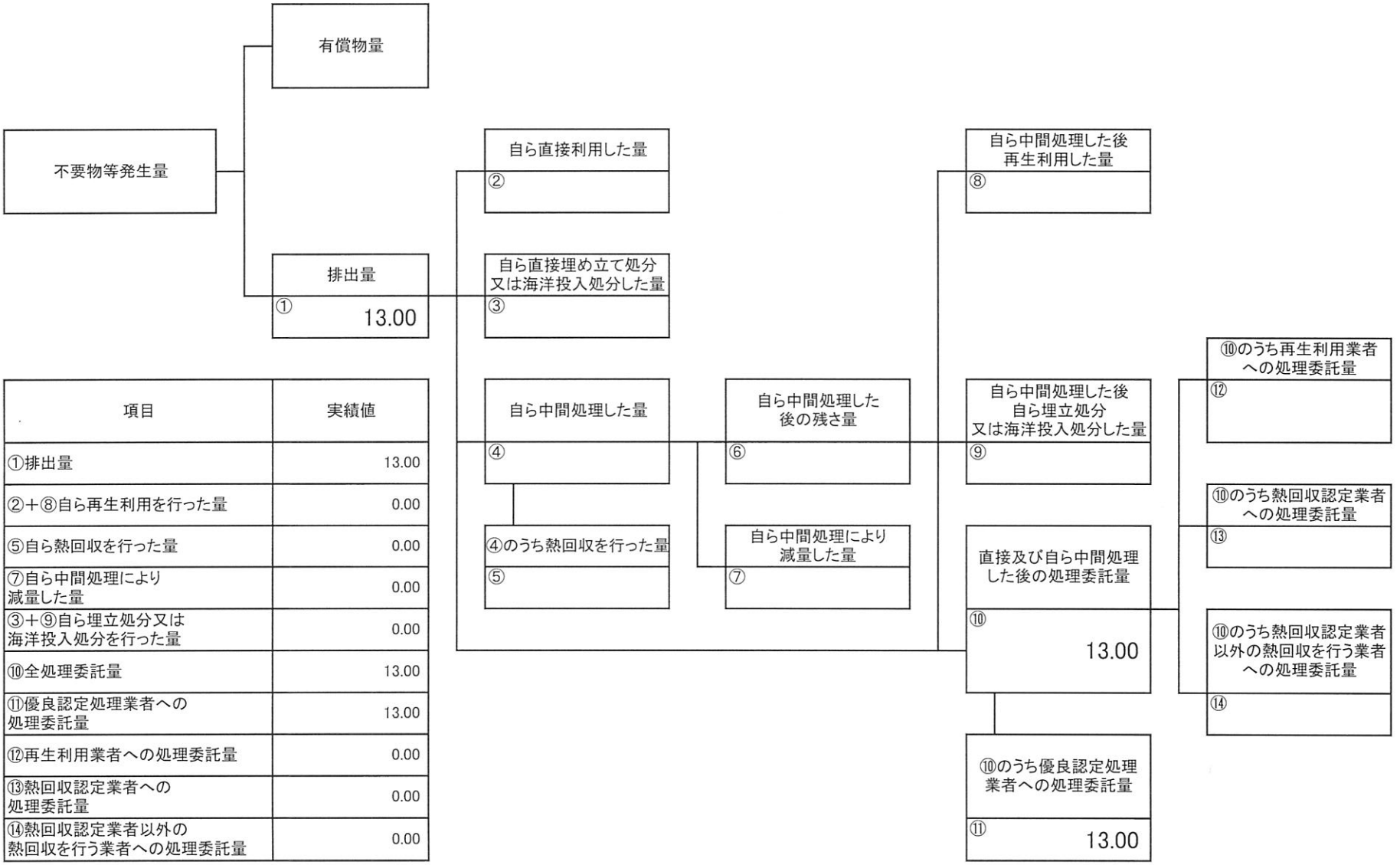


項目	実績値
①排出量	257.08
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	257.08
⑪優良認定処理業者への処理委託量	257.08
⑫再生利用業者への処理委託量	236.08
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	13.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	13.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。